初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究

― 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として ―

課題番号　18330196

平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))

研究成果報告書

資料編Ⅰ　日本の国語教科書

平成２０(2008)年３月

研究代表者　　藤　村　和　男

財団法人教科書研究センター研究部長

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究

― 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として ―

課題番号　18330196

平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))

研究成果報告書

資料編Ⅰ　日本の国語教科書

はしがき

この資料編Ⅰ（CD-ROM）は，平成 18 年度～平成 19 年度科学研究費補助金で行った「初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究―学力の基礎をなす言語能力の形成を中心にして―」の研究成果報告書（印刷物）とは別に作成したものである。このほかに「資料編Ⅱ 各国の国語教科書」（CD-ROM）がある。本論が記述されている研究成果報告書（本編）と合わせてご利用賜りたい。

本資料編Ⅰは，松本修・国内部会主査を中心に，国語部会の研究分担者５名が日夜努力を重ねて，現在の日本の国語教科書の内容を分析した結果をまとめたものである。

平成 20 年 3 月 31 日

研究代表者　　藤　村　和　男

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
平成 18～19 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ））

国内部会　研究分担者名簿

松　本　　修	上越教育大学大学院学校教育研究科准教授・国内部会主査（資料１，２，８）
石　塚　　修	筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授（資料６，７）
小　林　一　貴	岐阜大学教育学部准教授（資料３）
藤　森　裕　治	信州大学教育学部教授（資料４，５）
吉　田　裕　久	広島大学大学院教育学研究科教授

＊（　）内は資料の作成分担

目　　次

はしがき …… 3
国内部会 研究分担者名簿 …… 4

1　平成 17 年版小学校「国語」教科書　語彙数一覧 …… 7
品詞別　東京書籍 …… 8
大阪書籍 …… 14
学校図書 …… 20
教育出版 …… 26
光村図書出版 …… 31

2　平成 17 年版小学校「国語」教科書（2 学年用）文数・重文数・複文数一覧 …… 37

3　平成 17 年度版小学校「国語」教科書　学習課題一覧 …… 45
東京書籍 …… 45
大阪書籍 …… 72
学校図書 …… 101
教育出版 …… 133
光村図書出版 …… 161
国際理解関連教材数 …… 183

4　平成 17 年度版国語教科書における悉皆調査
―学習者に対する働きかけ・問いかけの文をめぐって― …… 185
教科書分析　小学校　東京書籍 …… 188
大阪書籍 …… 280
学校図書 …… 352
教育出版 …… 405
光村図書出版 …… 479
中学校　光村図書出版 …… 545

5　平成 18 年度版小学校国語教科書における悉皆調査
―季節を表す表現― …… 598
学校図書 …… 598
教育出版 …… 680
大阪書籍 …… 787
東京書籍 …… 859
光村図書出版 …… 935

６　平成 17 年版小学校「国語」教科書における手紙を扱った単元 …… 1009

７　光村図書　「社会性」の扱い方の変遷 …… 1011

８　小学校１学年から４学年の国語科教材の使用実態に関する聞き取り調査　1023

研究組織 …… 1027

１　平成17年版小学校「国語」教科書　語彙数一覧

調査担当　松本　修（上越教育大学）

	教材数	語彙数	名詞	代名	動詞	形容	形動	連体	副詞	接続	感動
東京書籍	１０	1002	471	22	254	42	27	7	117	22	40
大阪書籍	１１	936	430	18	290	39	34	7	85	18	15
学校図書	9	1011	454	19	275	54	27	8	111	17	46
教育出版	8	768	390	16	233	36	16	4	46	16	11
光村図書	9	906	366	22	287	54	34	8	101	16	18

方法

１　小学校２年生の平成１７年度版国語教科書の読み物教材（説明文・物語）の本文を文節に区切り，９品詞に分ける。

２　語，品詞の認定には揺れがあり，ある程度の統一はあるものの，分担による作業であるため，完全な一致ははかれない。

３　助詞・助動詞は代表的なものがほぼ使われているということが想定されるため助詞・助動詞はカウントしない。（助詞・助動詞で６０程度・一覧参照）

４　その他の接頭語・接尾語・語素などもカウントしない。

５　教材ごとに品詞別５０音順の一覧を作成する。

３　上下巻通して教科書会社ごとに，品詞別５０音別の一覧を作成する。

４　重なりを整理し，語彙数をカウントする。

　ただし，分担による作業のため，次のような点で必ずしも完全に共通の基準によっているとは言えない部分がある。

・名詞，形容動詞，副詞など判断に揺れが生じる場合がある。

・連語で意味を持つ場合も意味的な違いを無視して形式的に分類する場合がある。

・複合動詞や形式動詞など認定に揺れが生じる場合がある。

・音便，接頭語，接尾辞の扱いなどに揺れが生じる場合がある。

　したがって，細かい文法的な判断を共有し，共同で作業した場合に得られるような意味での正確さは保障できない。しかし，概略の傾向はつかめるものとなっている。

主要助詞・助動詞一覧 計６４

主要助詞　４６

か，が，かしら，から，だけ，だって，だの，たり，つつ，て，で，ても，でお，と，とも，な，ながら，など，なの，なり，に，にて，ね，の，ので，のに，のみ，は，ば，ばかり，ばや，へ，ほか，ほど，まで，も，もの，ものか，ものの，や，やら，よ，より，わ，を，をば

主要助動詞　１８

う，させる，せる，そうだ，た，だ，たい，たがる，です，ない，ぬ（ん），まい，ます，よう，ようだ，らしい，られる，れる

品詞別　東京書籍

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
東京書籍	１０	５７２	３５	１１	１５	５１１
			6.1%	1.9%	2.6%	89.3%

抽象度の高いことば

語彙数　１００２　　代表的な助詞・助動詞　６４

・名詞　４７１
１０２
間×６　あいだ　あいどり　アオバセセリ×２　空きかん×２　あご　あした×８　あそび×３　頭×５　あっこちゃん　あっちがわ　あっというま×２　あつまり　後×６　後ずさり　あな　あぶら　雨戸　雨×１２　あり　あわ×２　安心　いう　家×４　石×４　いじょう×２　いた×６　いたち　一ど×３　一れつ　いつ　一回×２　いっしょ×４　五つ×３　糸×１４　糸　一ぴき×３　一方　一本　いつも　犬　いのしし　今×５　妹×２　入り口　いろり×３　岩あな×３　岩かげ　インドネシア　上×７　牛×７　後ろ　後ろ足　後ろすがた　うす　歌×４　うち×６　内がわ　うめだえつこ×２　うら×３　売り　売りもの　上あご　えだ×３　えっちゃん×２１　大男×６　おおかみ×２９　おおかみさん×４　大きさ×２　おおぜい　大年の市　大にぎわい　大みそか　オール　大よろこび　おいてきぼり　お母さん　おかげ×２　おかざり×２　おきゃくさん　おさんぽ×５　おじいちゃん×３　おじさあん　おじさん×８　おしゃべり　お正月さん　おたん生日　おちば×２　お茶×２　おでこ　音　おどう　弟×３　おつむ　おなか×２　おに×２　おばあちゃん×１２　おみやげ×２　オムレツ　おもし　おゆ　およぎ

７５
かあさん　カイコガ　買いもん×２　顔×８　帰り　かくれんぼ×５　かげ×４　かけ声×２　かさ×６　かさこ×９　数　風×１０　かじ　家族　家族そう出　かた×２　かたがわ　形　かたつむり　がっかり　かっこう　かべ　かます　からかい×３　空ぞり　体×８　体じゅう　川×５　かわ（皮）　がわ　川ぎし×２　かわりばんこ　かんけり×５　かんびょう×２　気×７　木×２３　　黄色　ききょう　きくず　北アメリカ　きつね×３１　きね　木のこ×３　きのこ入り　きば×３　今日×２　空気　くき×３　くぎ　草　口×４　国×２　くふう　くぼみ　くま×１８　くまさん　くり×５　けが　けもの　元気　声×７　小えだ　こがね色　こし　五十センチメートル　こっちがわ　こと×２１　子ども　子どもたち×２　小鳥×４　子ねずみ×８　ごはん　五分間　　米×２　　ごんぼ×２

５１
サーカス　さいご×２　先　さく　ささえ　ざしき　三十×２　三びき×７　さん歩×４　じいさま×２２　じいさん×２　シーソー×１０　しごと　じさま　ししゅう糸　しずく　じぞうさ　じぞうさま×１３　下　下あご　したうち　したなめずり　十本　しばらく　地ひびき　しま　しまい　しみ　じゃま　しゃくとり虫　十五分間　正月×３　しわ　新聞　す×５　すがた　すげ×２　すげがさ　すすき　セーター　せなか×２　先生×２　ぜんぶ　そうこ×２　そうじ　そこ　外　そば×２　空　そり×２　それぞれ

５７
大工さん　大工しごと　だいこん　大事　タオル　高さ　たくさん×４　ただ　たたみ　たね　食べもの　たま×５　ダム×７　ため×４　だめ　ためいき×２　たわら　たんぽぽ×５　ちがい　力　地きゅう　ちょう　長じゃどん×２　ちょうだい×３　ちょうちょ　つぎ×６　つぎはぎ　つけな　土　つば　つな×３　つなわたり　つもり　つらら　手×５　テーブル　てき　手ぬぐい×２　てのひら　てんとう虫×３　とうさん×４　どうぶつ　十日　遠く×２　とおり×２　とかげ　とき×１６　ところ×１１　年こし×２　どしゃぶり　とちゅう×２　友だち×４　土間×２　トランプ×２　とり×３　どろ×６　どろんこ

２９
ないしょ×２　中×１５　長ぐつ　長さ　なかま×２　なし×３　夏　七色　七本　名前×１４　なん日　なんびき　におい　日本×２　二メートル　にんじん×２　ぬかるみ　ね×３　ねこ×１６　ねたきり　ねもと　のこぎり　のき下　のねずみ×３　野っ原　野原×２　のはらこんきち　のみ

７５
は（葉）×４　は（歯）×３　ばあさま×１１　はい水こう　ばさま　はし（橋）×２　はし（端）　はじっさらし　場しょ×２　外れ　はたけ×２　はたなかもうこ　はっぱ×５　はて　花×９　はな（鼻）×２　話×３　羽×２　ハネナシコロギス×２　はやさ　はら×４　パパ×２　春×２　林×２　ハンター×１０　はんたい　はんたいがわ　半分×２　日×２０　ぴいすけ×４　ビーバー×１１　ひげ　ひさし　びしょぬれ　ひそひそ声　人×１１　ひとうす×２　一つ×８　一人　百センチメートル　百八十　ひも　昼間　フィンランド　びんぼう　ぷうすけ×４　風船　ふきっさらし　ふたご　二人×３　ふだん　ふち　ふつう　ふぶき　ふり　プレゼント　ふわふわ　プンタックウンプット　へや　へん　べん強×３　方×６　ぼう×７　ぼうきれ　ぼうし×２４　ほうたい　ぼうや　ほおべた　ほか×３　ホシミスジ×４　ほとり　ポプラ　ほほ　本×５

４９
ま　毎日　前×３　まきつける　町×３　まつ×４　まど×２　まね　まねごと　ママ×３　まゆ×４　ま夜中　まわり　まん中　み×５　みき×３　水×８　みずうみ×４　水かき　水たまり×２　店　みそだる　みち　道ばた　みつばち　みなさん×２　ミニカー

みぶるい　耳　みみずく×２　みんな×５　むかし×２　向き　虫たち×５　むね　村　目×３　め（芽）　もち×２　もちこ×７　もちつき　元　元どおり　もの×９　もも×１０　森×４　森一番　門　もん×２

２３
やきもち　やくそく　やく目　やつ×３　やなぎ　やしき　山×２　やめ×４　やり方×２　やり直し　夕方×３　ユキヤナギ　雪×５　湯気×２　ゆび×３　ゆびぶえ　用×２　ようい　よう虫×５　夜中　四ひき×２　四百五十メートル　夜×２

８
らんぼうもの　リボン×３　りょう手　りんご　ルーカス×９　レインコート×２　ロープ　六人×３

２
わかいしゅ　わた毛×６

・代名詞　２２
あいつ　あたし×９　あちら　あんた　おまえ　おら×２　おれ×３　こいつら　こうここ×３　こちら　こっち×２　これ×７　自分　そこ×３　それ×１２　だあれ×２　だれ×１３　どこ　何×７　ぼく×３１　わたし×３

・動詞　２５４
５０
会う　上がる×９　あげる　あそぶ×１０　あたためる　当たる×２　あつめる　当てる　あまる×２　あむ　ある×３２　歩く×９　あわてる　生きる×４　言う×３２　いく×６０　いける　言われる　いらっしゃる　いる×７９　いる（要る）×３　入れる×２　うかぶ　うごく×６　歌う×３　うちつける　うつ　うつる　　うめく　うもれる×２　売る×３　うるむ　売れる×２　おおう　おきあがる　おきる×２　おく×５　おこる　おさえる　おす　おそわれる　おちる×３　おっこちる　おとす　思う×３　およぐ　おる×２　おれる　下ろす×２　おわる×２

４４
買う×３　かえす　帰る×１７　変える　かかえる　かきおとす　書く×２　かくれる×１１　かけつける　かけのぼる　かけ回る　かけよる　かじる×２　かす　数える×３　数える　かたまる　かためる×２　かぶさる　かぶせる×４　かぶる×６　かむ×３　かりとる　通う　かんせいする　聞く×８　きまる　きめる　切る×４　食う×２　下る　組み立てる　くらす　くる×２８　くる（繰る）　くれる×６　暮れる　くわえる×２　こさえる×２　ござる×２　答える×５　こまる×８　こむ　こらえる　こらえ切る

３０
さがす×３　下がる×２　さく　下げる　さけぶ×４　ささえる×２　さす×３　させる×５　さらう×３　さわる　ししゅうする　しぼむ×３　しまう×７　じゃまする　じゅくす×２　知る　知れる×２　しんじる　すぎる　すごす　すすめる　すべる　すます×３　すむ　する×６０　すわる×２　せき止める×２　そだつ　そらす　そろえる

４５
たおす×２　たおれる×３　たしかめる　出す×４　たすける　出せる　たたく　立つ×４　たつ（経つ）　タッチする　立てる×３　楽しむ　食べる×１４　たまる　足りる　近づく×２　近よる　使う×８　つかまる×４　つく×８　つくる×１９　つける×２　続ける×３　つつむ　つぶやく　つぶれる　つなぎとめる　つみ上げる×３　つみとる　つむ　出かける×４　できあがる×２　できる×９　出る×５　とおる　とがらせる　とがる　とじる×２　とどまる　どなる　とびちる　とぶ×５　とまる×３　とる×３　とれる

１８
直す×２　ながれる×４　なでる　ならべる　なる×２７　にげる×２　にる×２　ぬれる×５　ねむる×２　のこす　のこる　のせる×１０　のぞく　のぼる　のる×５　のびる×４　のみこむ　のむ×２

３３
入る×４　生える×２　はき出す　はこぶ×２　走り出す×３　はじめる×４　走る×３　はずす　話す×２　はなれる×２　はねる　ばらまく　はり上げる　はる　晴れる×２　冷える　引きずる　引く×５　ひっぱる×３　ひらく×２　ひろう×３　広げる　ふきとばす　ふく×５　ふく（拭く）　ふむ×５　ふやす　ふりかえる　ふりむく×２　ふる×７　ふるえる　ほる

２３
まきちらす　待つ×４　守る　丸める×２　見上げる×２　見合わせる　見える×４　見おくる　見下ろす×２　見かける　見せる×２　見つかる×２　見つける×４　見回す　見る×１９　むかえる　むすぶ　もがく　もぐる×２　持つ×５　もどる×３　もらう×４　もれる

9
やく　やくだつ　休む×２　やる×６　ゆびさす×２　ゆるめる　よける　よぶ×６　読む×４

2
分かる　わらう×２

・形容詞　４２
青い×３　赤い×８　新しい×３　あつい×２　いい×９　いそがしい×２　うつくしい×２　うまい×４　うらやましい　ええ×５　えらい　おいしい×２　多い　大きい×４　おもい　おもしろい×４　かるい×２　こわい　さびしい　しかたない　白い　すごい　するどい×２　高い×３　たのしい　小さい×２　つめたい×４　強い×３　ない×６　長い×２　はずかしい　早い　ひくい　ひどい　ふかい　まぶしい　円い　みじかい　むずかしい×２　やさしい×２　よい×３　わりい

・形容動詞　２７
あんぜんだ　いっしょうけんめい　大いそぎだ　大きな×６　大喜びだ　おきのどくに　同じ×３　いやな　いろいろな×３　きゅうに　こんな　さっぱり　上手に×７　じょうぶだ×２　すき　すてきな　そんな　だいじょうぶ×２　大すき　たしかに×２　小さな×８　どんな　ふしぎだ　別の　へんだ×２　ほんとうに×２　りっぱな×４

・連体詞　７
あの　ある×４　いろんな　この×１３　その×２６　どんな　もう×２

・副詞　１１７
あっという間に　いきなり×３　いくら　一番　いっしょに　いっぱい　いつまでも　いつも×２　今にも　思いっ切り　思わず　がっかり　ガリガリ×２　キッコン×６　きっと　ぎゅうっと　きりりと　ぐいぐい×２　ぐしゅん　くすり　くるりと　ぐわあん×２　けっして　こっそり　ゴボッゴボッ　さっさと　さぞ×３　さっそく　さらに　ざんざら　しっかり×６　しぶしぶ×２　シュコシュコ　じょいやさ×４　しょんぼり　じろり×３　じわっと　すこうし　少し×３　少しずつ　すぐに　ずっさん×２　ずっと×４　ずるずる　せっせと　ぜんぜん　そう×６　そうっと×２　そっと×２　そろそろ　ぞろぞろ　そわそわ　たいそう　たちまち　ちっとも　ちゃんと×２　ちょこんと×２　ちょっと×５　ちょろちょろ　ちらり　つぎつぎに×２　どう　どうして　とうとう×３　どかんと　どきっと　ドシーン×３　とつぜん　とっても　トントン　とんぼり×２　なかよく　なんて　何日も　なんにも　何やら　のんびり×２　ぱくん　はじめて　はじめに　バチャバチャ　パッタン×５　はっと　はやく　びくとも　ぴたっと　びっくり×２　びっしょり　ひらひら×３　ぴんと　プープー　ぶつぶつ　ふと　ぶるっと　ぶるぶる　べつに　ぽかあん　ぽきり　ぽつんと　ほとほと　ほんに×２　まず　また×７　まだ×３　まっすぐ　まったく×３　まもなく　まるで×３　もう×４　もうもう　もっと×４　やがて×２　やっと×３　やっぱり×２　ゆっくり　よく×５　わざと

・接続詞　２２

けれども×２　こうして×２　このように　さて×２　じゃあ　すると×９　そうして×２　そこで　そして×９　それから×６　それじゃあ　そんなら　だから　だけど　だったら　だって　だってだって　でも×７　ところが×５　ところが　まず×２　やがて

・感動詞　４０

ああ×５　あっ　あらら　ありがとう×２　あれえ　あれれ　いいえ　いやだ×２　う×３　ううむ　ううん　うん×３　うわあい　ええ×２　えっ　おい　おお×５　くまった×６　こら×３ こんにちわ　さあ×２　さよなら　せえの×２　そうか×３　そうじゃ　そうだ　どうじゃ　ニャーゴ×９　なるほど×２　ね　はい　バイバイ×２　ひひひひ×２　ふうん　へえ　へへへ　ほうら×２　まあまあ　やれ×２　ようし

品詞別　大阪書籍

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
大阪書籍	１１	６１４	２８	１７	１３	５５６
			4.6%	2.8%	2.1%	92.3%

抽象度の高い言葉

語彙数

・ 名詞　９３６

９６

アーチばし　アイスクリーム　間×３　あいどり　アカウミガメ×６　赤とんぼ　あかり　秋×３　あくび　あご　朝　あさい　あした　足もと　あそび×３　頭×３　あたり×２　あと　あな×１０　雨戸　雨×２　あわ×２　安心×２　あんぜん　家×７　いき　いくつ　石×５　いそぎ足　市　一ど×３　一日　いちばん×６　一まい　いっしょ　いっせい　一ちょう目　五つ　いっぱい　一ぴき×２　糸　いのち　今×８　いろり×３　岩あな　岩場　上×１０　後ろ足×２　うす　うち×９　海×４　売りもの　絵×４　絵かきさん×３　えだ×２　えん×３　えんぴつ　大雨　大年　大みそか　お母さん×３　おかざり×２　おかしやさん　おかげ　おかず　おかわり×２　おき　お気のどく　おじいさん×３　おじさん　おしり　おしまい×２　お正月×２　おすもうさん　おつむ　お手紙×３　音　おどう　お父さん×３　おとしもの　おどり×２　おなか×２　おなべ　おに×２　おにの子×１２　おねがい　おばあさん×９　おばあちゃん×２　おひる　おひるね　おまわりさん　おみやげ×４　おやつ　おゆ　おれい　おんど×２

８４

かいがん　買いもの×２　かえり　帰り道　かえる×２１　顔×７　かくし場所×２　かくれんぼ　かげ　がけ　かけ声×２　かさ×５　かさこ×８　数×２　風×７　かた×３　かたがわ　形×２　かたっぱし　かたつむり×５　かま　がま×２１　かます　紙×３　から　からす　からぞり　体×４　川×６　川ぎし　かわり×２　感じ　木×２８　気　きこり×１５　きし×３　きつね×３　きね　きのう　きのこ×３　きのこじる×２　きば　気分　きも　気もち×４　キャベツ×１８　九ひき　今日×２　きょうだい　ぐあい　草×２　草のみ×２　口×２　首　くま×３　くらし　車×２　クレーン車　けはい　けもの道　げんかん×３　元気　子×５　工場　声×４　五かい　子ガメ×２　ここ　心おく　こし　五十まい　コスモス×１４　コスモスつうしんきょく×４　コスモス通り×４　ことば　子どもたち×４　ごちそう　小鳥　ごはん×２　五まい　米×２　コンク

リート　こんど×２　ごんぼ×２

６８
さいしょ　ざいりょう　先　さじ　ざしき　さとう　三角　三角形　三ど　三ばん目　三まい　しあわせ　じいさま×２２　しお　四角　時間　しぐれ　しごと×８　じぞうさじぞうさま×１０　下×４　十センチメートル　しっぽ　十ぴき　しっぽ　自どう車　自分×４　しま×３　しまい　しみ　地面×５　しゃくし　シャベル　しゃもじ　十　十一ひき×３　十年　十まい　正月×２　しょうぼうし　食事×２　ショベルカー　しりあい　しわ×５　しわしわ　しんあい　しんゆう×２　すあな×２　スープ　すがた　すぐすげ×２　すげがさ　スケッチ×２　スコップ　すすき×２　すな×４　すなはま×４　せな　せなか×４　そうじ　そうだん　そっくり　外×３　そば　空×３　そり×２　それっきり

５８
台×５　谷　だいこん　たいじゅう　たいへん×２　たからもの×９　たきぎ×４　たくさん×２　竹×２　だけ　食べもの　谷　たぬき　たび×２　たまご×８　ためいき　たわら　タンカー　タンゴ×１６　力×３　力じまん　地図×４　茶わん　昼夜　ちょうじゃどん×２　次×２　つぎはぎ　つけね　土×１１　つめ　つらら　つりばし×４　つる（蔓）×２　つる　手　手紙×１０　でこぼこ　てつ×２　手伝い　てぬぐい　デパート　天気　電車×２　でんしんばしら　電話×７　電話ボックス×３　道具×３５　とうげ　どうぶつ×５　時×１１　ところ×１３　年×２　年こし×２　とちゅう　土間×２　土曜日　とら×２０　どんぐり×７

２６
中×９　長生き　なかま　夏×２　何×３　何度　何ばい　何びき　なみ　におい　二かいだて　西　にじ　二十まい　二ばん目　二まい　人間×３　にんじん×２　ねじ×２　ねずみ×３　ねもと×３　のき下　のこぎり　野っ原　野ねずみ×３　野山

７８
は×２　は（歯）　場　ばあい×２　ばあさま×１２　ばか　はぐるま×２　はこ　はし×１３　はし（端）　はじめて　場所×４　外れ　はだか　はたけ　はたらき　はちまき　はっぱ×４　ばつじるし　花×８　はな×２　話　ばね×２　林　はらつづみ　春　パワーシャベル　ばん（晩）　半分　日×１１　東　左×２　びっくり　人×８　ひとうす×２　一つ×７　ひと月　人々×２　ひなた　ひも　百三十才　百台×３　百二十こ　百人×４　百まい　百こ　ひょうめん　昼　びんぼう　ピンポン玉　風船×５　ふうとう×２　ふえ×６　ぶじ×２　ふしあわせ　二人×５　ふち　ふとん　船　ふぶき　冬×６　ブルドーザー　ふろしき×１２　ふろしきづつみ×３　プロレスラー　ベット　べつべつ　へび　勉強　べんり　ぼう×２　ほうかぶり　ぼうし　ぼうの木×２　ほおべた　ほか　北海道　ほんとう

４６
間　毎日　まえ×３　前足×３　まご×９　町×３　まつ×４　まで　まど×５　まね　まねごと　まめつぶ　ま夜中　丸木ばし　まわり×３　マント　まん中　右×２　水　水ぎわ　みずならの木×６　店　みそしる　みそだる　道×２　三日目　耳×２　耳あか　耳かき　みんな×２　むかえ　むかし×６　むだ　むね　村×３　め（芽）×３　目×６　もち×２　もちつき　もちこ×６　もと　もの×３　ものおと　ももたろう　森×２　もん×２

２０
やしき　やせっぽち　やつ　山×３　山おく×２　やなぎ×５　夕方×４　夕日　ゆうびんうけ×３　夕やけ×３　雪×５　ゆか　ゆめ　よう×３　よういい　ようす×２　四日　四つ×３　夜×３　四十センチメートル

７
りく　りす×３　りょうがわ　ルミ×９　六月　六十センチメートル　六人

７
ワイヤー　わかいしゅう　わけ×２　わし×６　わたし　わに×８　わにのおじいさん×７

・ 代名詞　１８
あなた×６　いつ　おら×２　きみ×１２　ここ×４　こちら　こっち×２　これ×６　そこ×３　それ×１３　それら×２　だれ×５　だれか　どこ　ぼく×１４　みんな×８　わたし　わたしたち×３

・ 動詞　２９０
５８
会う×４　上がる×５　あきらめる　あきる　あける×２　上げる×２　あそぶ×３　与える　あたためる　あたる　あつめる　あむ　あやまる　あらう　ある×２６　歩き出す　歩く×４　合わせる×２　あわてる　言う×３６　行く×２０　いる×３１　入れる×４　言われる　うごく×４　うしなう　うずくまる　歌う　うつ　うなずく　うなる　うまる　生まれる×３　うむ×７　うめる×２　うもれる×２　売る×５　おいでになる　おおう　おきる×２　お×３　おちる×９　おちはじめる　おりる　おりたたむ×５　おる×２　おとす×２　おどる×３　おどろく×２　おどろく　おぼれる　思う×９　およぐ　下りる　おる　おれる×２　下ろす×２　おわる

４９
買う　帰る×５　かえる×９　書きうつす　かきおとす　かきとる　書く×３　かくす

かけまわる　かける×４　かさねる　かしげる　がっかりする　買ってくる　かぶる×８　かまう　かむ　かわる×２　かりとる×２　かれる　かわかす　かわく　考える×３　かんじる　聞く　聞こえる×２　きまる　切りたおす　切り立つ　切る×７　くぐりぬける　くくる　くずれる　くばる　くふうする×３　組み合わせる×２　組み立てる　くらす　来る×２４　くるむ　くれかける　くれる×１２　こえる　こさえる　ござらっしゃる×２　こまる×２　こらえる　ころす　こわす

３３
さえずる　咲く×２　さけぶ　下げる　ささえる　さしこむ　さし出す　さす　しがみつく　しく　しぬ×３　しまう　しめる　しゃがむ　しょう（背負う）×３　知る×６　しるす　すかせる　好く　すくう×５　すすぐ　すすめる　すべる×２　すます　すむ×２　する×３８　すわりこむ　すわる×２　そだてる　そだつ　そなえる　そろう×３　そろえる×２

５４
たくわえる×２　たしかめる×３　出す×５　たすかる　たすける　たずねる×４　たたく×３　たたむ　立ちどまる　立つ×４　たつ×４　たどりつく　たばねる　食べのこす　食べる×９　ためる　足りる×３　ちがう　近づく×３　ちぢむ　ちらばる　注意する　つかう×１１　つかまえる　つかれる×２　つく　作る×８　つづける×３　つつむ　つなぐ　つぶやく　つぶる×２　つみあげる　つむ　つよくする　出会う×３　出かける×９　でき上がる　できる×１１　手伝う　出て来る×３　出る×３　通る×２　とじる×２　とってくる　とどく　とどける　とびかかる×２　とび出す×２　とびのる×３　とぶ　とまる　とり出す×２　とる×５

２２
ながす×２　ながめる×２　鳴く　なくす　なくなる　なでおろす　なでる　なる×４２　鳴る×３　にげかえる　にげてくる　にらむ　ぬれる　ねむくなる　ねむる　のこす　のこる×３　のせる　のぞく×３　のびる　のぼる×５　のむ

３０
入る×３　生える　はおる　はかどる×３　はかる　はがれる×６　はく　はこぶ×２　始める×４　走る×３　はなれる×２　はりあげる　はる　ひえる　光る　ひきずる　ひきつれる　ひく×３　引っぱる　ひらく×２　ひろう×４　広げる×３　ふく×６　ふりかかる　ふりだす　ふりむく　ふる×５　へこむ　ほりおこす　ほる×６

２６
まかせる　まきこまれる　まく　まげる　まぜる　またぐ　まちがう　まつ×９　まよう　回す　見おろす　みがく　見つける×２　見まわす　見る×１４　むかう×２　むかえる×２　むかってくる×２　むき出す×２　むすぶ×３　もぐる　もち上げる　もつ×４　もっていく×３　もどる×３　もらう×５

１２
やく立つ　休む×２　やってくる×４　やる×５　やむ（止）　ゆする　ゆれる×３　よこぎる　よせ合う　よそう　よぶ×２　よろこぶ×４

６
わかる×３　わける　わすれる　わたす×３　わたる×５　わらう×３

・ 形容詞　３９
赤い　明るい　あたたかい　いい×１０　うすぐらい　うまい×２　うつくしい　うれしい　おいしい×２　大きい×１０　おそろしい　おもい×５　かたい　かなしい　かわいい　くるしい×２　さびしい　さむい×３　白い　すばらしい　せまい　高い　楽しい×２　小さい×２　近い×３　つめたい×４　強い×６　遠い×３　とぼしい　長い×８　早い×２　ひくい　ひどい　ひろい　ふかい×２　太い　丸い　よい×７　わるい

・ 形容動詞　３４
安全な　いやな　いろいろな×５　大急ぎ　大きな×２１　おかしな　おなじ　同じような　空っぽ　かんたんな　きけんな　きゅうな×２　きらいな　元気な×２　しずかな　じょうずな×３　じょうぶな　好きな×２　すてきな×２　すっとんきょうな　そんな×３　大好きな×２　たいせつな　たいらな　たくさん×９　楽しみな　小さな×６　ていねいな　どんな　ひさしぶりな　まん丸な　やわらかな　らくな　りっぱな×２

・ 連体詞　７
ある×２　あの　こうした　この×１７　その×３２　どの　どこの

・ 副詞　８５
あいにく　あちこち　あまり　あんまり　いくら　いちもくさん　いっしょうけんめい　いっせいに　いっぱい×３　いっぺん　いつも×２　うっすら　おそるおそる　かならず　きっと　きらっと　ぐったり　こう×２　こんなに×２　さすが　さぞ×３　さっぱり　さわさわ×２　くちゃくちゃ×２　しげしげ　しっかり×４　じっと　しばらく　じゅんじゅん　すいすい　ずいぶん×２　すぐ　すっかり×２　少し×３　ずっさん　ずっと　すべすべ×２　ずんずん　ぜんぜん×２　そう×５　そのまま×３　そろりそろり×２　そんなに×３　たいそう×２　たいへん　たっぷり　ちょうど　ちょっと　つぎつぎ　つるつる　どう×４　とうとう×５　とても×４　どう×３　ときどき　どすん×４　とにかく　どっさり　どんな　どんどん×４　とつぜん×２　なかなか　何やら　なんとか　なんども　ぬくぬく　にっこり　はじめて　ぱっと　ぱらぱら　ぴくり　ひょっと

ひんやり　ふと　ふわふわ　ぽうん　ほっと　ぽとぽと　ほとんど　ほんとに　ほんに
まだ×２　もう　　もっと　　やっと×３

・　接続詞　１８
けれど×２　けれども×２　こうして　しかし　すると×６　そうして×２　そこで×３
　そして×１２　そのかわり　それから×９　それなら　つぎに×２　つまり　ところが
×６　はじめに　また　やがて×２　よって

・　感動詞　１５
あ×４　ああ×１０　あら　え　ええ×４　おお×４　おおい　さあ×２　じょいやさ×
４　へえ　ほほ　やあ　よし×２　やれやれ×２　わあっ×２

品詞別　学校図書

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
学校図書	９	５７４	２７	５	１１	５３０
			4.7%	0.9%	1.9%	92.3%

抽象度の高いことば

語彙数　１０１１　　代表的な助詞・助動詞　６４

・名詞　４５４
１０５
あいさつ×１１　間　あい手　あいどり　秋　あご　朝×３　秋　足　あじ　あそび方　頭×１５　頭がき　頭ごい×２　頭なめこ　あつまり　あと（跡）　後×７　あな×２　あみ　雨戸　雨×７　あわ×２　あんしん　あんにゃ×２２　家×１２　生き　いくつ×３　いく日　池×４　いせい　いせえび　いそぎんちゃく　いちご　一ど×２　一日　いちめん　一か月　五日め　一こ　いっしょ　五つ　市　一番　井戸×３　井戸水　五つ　一ぱい　一ぴき×１３　一本×２　糸×２　いのち　今×１２　いみ　色×３　色えんぴつ×２　入れもの×２　いろり×３　岩　岩かげ　上×９　ウーフ×３６　後ろ×２　うす　うち×１６　うなぎ　海×４　売り×８　売りもの　えんぴつ　おおいそぎ　大さわぎ　大年　大みそか　大むくれ　大よろこび　おかあさん×６　おかざり×２　お金　小川×２　お気のどく　おく×２　おじいさん×３　おじぎ×３　おじさん×２　おしまい　お正月　お正月さん　おしり　おす×３　おつむ　お手紙×６　音　おどう　お父さん×１９　弟たち×２　おなか×３　おねがい　おばあさん×３　おひげ×２　おひさま　おひるね　おもちゃ　おゆ　おわり

９４
買いもの×２　かえり　かえる×２１　かお×５　かき×１７　かき売りたち×３　かげ　かけ声×２　かご　かさ×４　かさこ×８　数×２　かすれ声　風×４　かた（肩）×２　かたがわ　かたつむり×２１　かた方×２　学校×３　カップめん　角×２　かに×１０　がまがえるくん×３　がまくん×２１　かます　紙×３　紙づつみ×２　画用紙×２　から（殻）×３　からす貝　からぞり　体×３　からだ×２　空っぽ　川×７　がわ（側）　川ぎし×２　カワニナ×２　かわり　木×１１　黄色　キキ×２　ききょう　きつね×７　きね　気分　気もち×５　きょう（今日）×６　きょうだいたち×２　きょ年　切りかぶ×３　切りこみ×２　金色×５　具　食いあげ　くき×２　草×３　口×２　国×７　首　くふう　くま×９　くらげ　くり×２　来る日×２　くわ　げんかん×３　元気×２　子×２　こい×５　工作用モール×２　こうら×２　声×３　小えだ　子ぎつ

ね×２　こけ　心×２　こし　五週間　こしょう（故障）×２　コップ×３　こと×２０　ことば×６　子ども×２　子どもたち×３　五百こ　五ミリメートル　ゴム×２　米×４　ころ（ごろ（頃））×３　コン×１４　今度×４　こんぶ　ごんぼ×２

５１
さかずき　魚×１１　魚売り×３　魚たち×４　先　さけ（酒）×３　ざしき　さなぎ×３　三十センチメートル　しあげ×２　じいさま×２２　しかけ×２　四月　時間×２　しぜん　じぞうさ　じぞうさま×１０　した（舌）×２　七月　しっぽ×２　自分×２　しまい　しみ　　しゃしん×３　しゅうりやさん×２　正月×２　しょっかく　しり合い　しんごう　しんゆう×２　水中ブルトーザー　スイミー×９　すげ×２　すげがさ　すずなり　すべり止め　せい（所為）　生活　成虫×４　せかい　せっちゃくざい×２　せな　ゼリー　セロハンテープ×２　千こ　そうだん　そこ　外　空×４　そり×２　そん（損）

５０
たいこばし　だいこん　ただ　だっぴ　たて　谷川　たね×８　たのみ（頼み）　たび　たまご×４　ため×３　だめ　ためいき×２　たわら　たん一電池　田んぼ　ちがい　近づき　力　力もち　地球×２　チチ×３　注文　ちょうじゃどん×２　ちょ水池　つぎ×６　つぎはぎ　作り方　地上　土×７　土まゆ×３　ツネタ×８　　つぼみ　つらら　手×８　手紙×１２　できあがり　手づかみ×２　てぬぐい　天気　電池×２　十日　時×１１　とこ×３　ところ×５　年×４　年こし×２　とちゅう　土間×２　ドロップ

２９
中×１１　夏×３　名前　なめこ×６　なめこ売りたち×２　なめこがり×２　なわばり　なんど　何びき　二かしょ×２　肉　二、三日　にじ×１０　にじ色　日中　二週間　二本×２　日本　日本語×２　人気　にんじん×２　ねじりはちまき×２　ねずみ×８　ねっこ×５　のき下　野っ原×３　のど×２　のはら×５　　のん気

５７
（葉）は　ばあさま×１２　（倍）ばい×３　バケツ×１３　はさみ×２　はしっこ　はじめ×２　外れ　はたけ　はな（鼻）×２　花×２７　話　はなればなれ　羽×２　はやさ　林×３　原っぱ　ばんざい　はんたい　日×１０　光×４　びっくり　人×１４　ひとうす×２　一口　一つ×６　ひとばん×２　ひともうけ　ひまわり×７　百円　百ぱい　百ぴき×１０　ひる　昼ね×２　昼間　びんぼう　ふうせん×１１　ふうとう×２　ふしぎ×２　二人×４　ふち×３　ふつう　ふぶき　ふり　分×２０　ベッド　へや　へんじ×２　方×３　方向　ぼうし×２　ほおべた　ほか　ポケット×３　ほたる×７　ほとり×２　ほんと

４４
毎日×３　前×６　町×２０　まぐろ×２　まつ×４　まっ黒　まど×６　まね　まねご

と　まま（儘）×３　ま夜中　まわり　まんま（ごはん）　ミサイル　水×３４　水音　水べ　みそだる　店　道　三日め　三つ　みなさん×３　みぶり×６　耳　ミミ×５　みんな×１４　むかし×２　むかし　むこう　虫×７　村×２　目×１０　（芽）め×４　めす×６　モーター×４　もち×２　もちこ×６　もちつき　もちば　元どおり　もの×１２　もん×２　もも色

１６
やぎ×３　やく（約）×２　やし　やしき　やつ　やぶ×２　　山×９　ゆうびんうけ×３　ゆか（床）　雪×５　ゆめ×６　よい（酔い）ようい　幼虫×７　四日　夜×３

４
りす×４　両手×３　六人　六本

４
わかいしゅう　わかめ　わけ　　わけ　　わゴム×７

・代名詞　　１９

あちら　あなた　あれ　いつ　おら×４　おらたち×２　きみ×１１　ここ　こちら　こっち×２　これ　そこ×２　その　それ×６　だれ×８　どこ×６　何×３　ぼく×２１　ぼくら×４

・動詞　２７５
５１
会う×４　上がる×２　あきあきする　明ける　あける　上げる×５　あそぶ×２　あたためる　当たる×２　当てる　あむ　あらう　ある×２３　歩き回る　歩く×４　合わす　あわてる　言う×４６　行く×１８　行ってくる　いばる　いる×５２　要る×１　入れる×７　うえる　うごく×６　歌う　生まれる　うみおえる　うみつける　うむ　うめる×３　うもれる×２　売り切れる×２　売る×７　おいこす　おい出す　おいで　おきる×２　おく×４　おこる（起こる）　おこる（怒る）　教える　おす　おちる　おぼえる　おもう×７　およぐ×７　下りる×５　おる×８　下ろす×２

４９
買う　帰る×１５　返る　かがやく　（架かる）かかる×３　かきおとす　書く×４　かける×６　かける（駆ける）×２　かしげる　かすれる　数えきる　かためる　がっかりする　買ってくる　かぶる×７　かむ×２　かりとる　（涸れる）かれる　（枯れる）かれる×２　かわく×４　かんがえる×６　聞く　聞こえる　切りこむ　切りたおす×２　切る×２　くたびれる　くみ上げる　（汲む）くむ×２　くらす×３　くりかえす　来る

×３１　くれかける　くれる×１１　けっこんする　こさえる×２　ござる×２　こしらえる　こすりつける×２　こする×２　答える×２　こぼれる×２　こまる×４　こめる　こらえる　ごらん（ず）　こわす

２７
さがす　さく×６　さかせる×３　さけぶ×６　さげる（提げる）×５　下げる　さます（覚ます）×２　さます　さめる　しおれる　死ぬ　しぼむ　しまう×１５　しゃくる　しょう（背負う）×２　知る×２　すかせる　（空く）すく×２　すすむ　すます　すむ（住む）×２　すむ（済む）×２　する×４５　すわる×２　成長する　そだつ　そろえる

５３
たおす　たおれる　たがやす　だき合う　出す×８　たずねる×７　たたく×２　立ち上がる　たつ（経つ）×３　立つ×２　たてかける　立てる　食べる×１０　たまげる×４　たまる（堪る）　足りる　ちがう　近づく　ちぢれる　つかう×２　つく×３　つく（着く）　作る×１０　つける×５　つたえる　つつく　つづく×２　つっこむ　つなぐ　つぶやく　つむ　つれてくる　出会う×２　出かける×３　できあがる×２　できる×４　出て来る×２　出る×９　とがらす　どく×５　どなりつける　どなる×２　とばす×４　とびかう×２　とび出す　とび回る　　とぶ×５　とまる　とめる　とりかえる　とりもどす×２　とる×７

２２
なくなる×３　なでる　ならぶ　なる×３４　鳴る×２　（泣く）なく　にぎり合う　にげる　ぬく　ぬらす×２　ぬれる　ねじる　ねる　のこす　のこる　のぞきこむ　のぞく×３　のっかる　のびる×３　上る×２　のみこむ　のむ×９

３１
入る×４　生える×４　はじめる×２　はたらく×４　はなす（離す）はねる　はりあげる　はる（貼る）×２　晴れる　ひえる　ひからびる　光る×３　引く×６　びっくりする×２　引っこぬく　ひっこむ×２　ひっぱる×２　ひねる　ひびわれる×３　ひらく　ひろう×２　ふえる　ふくらむ　ふりむく　ふる（降る）×８　（振る）ふる　ほうりこむ　ほしい×２　ほりかえす　ほる

２６
まかせる　まく（巻く）×２　　まちがう　まつ×８　まねする　まもる　ゆれる×４　見上げる×３　見つける×２　みのる×２　見まわす　見る×２６　むかえる　むすぶ　めがける　めずらしがる　もうかる　もうける　もぐりこむ　もたれる　もつ×５　もっていく　もってくる　もどる　もらう×６　もらう

１１

やすむ　やって来る×４　やって来る×２　やる×８　ゆれる　よいつぶれる×２　よいつぶす　用意する×２　よじのぼる×２　よぶ×２　よろこぶ

　５
分ける　わすれる　わたす　わらう　わらう

・形容詞　５４
青い　赤い×６　明るい×２　あまい×４　いい×１２　いけない　うすい　うつくしい　うまい×２　うんまい×２　うれしい×２　えがった×２　おいしい　大きい　おかしい　おそろしい　おもい　おもしろい×３　おもたい　かたく　かなしい×５　くらい　黒い　こうばしい　（濃く）こく　こわい×２　さびしい　白い×２　白っぽい　すごい×２　すばらしい　ずるい　楽しい×２　小さい×４　つめたい×４　強く　でっかい　でっこい　ばからしい　はやい　ひろい　ふかい　太い　ほそい　ない×１７　長い×２　早い　ひどい　広い　丸い　まるい×２（まあるい）　よい×３い　弱い　わるい

・形容動詞　２７
いっしょうけんめい　いっぱい×３　いろいろな×７　いやな　いやだ×２　大きな×８　同じ　きれい×２　しあわせ　しずか　しんあいなる　そっくり　そんな×２　大切に　たくさんの×２　たしかに　だめ　小さな×１４　どんな×３　ひさしぶりの　ふしあわせ　ふしぎな　まっかな×６　まっさおな　やわらかい×２　ような×３　わずか

・連体詞　８
あの×５　ある×４　こういう×４　この×１０　こんな　その×１３　そんな×３　どの

・副詞　１１１
青々　いかが×３　いちばん　いっせいに　いっぱい×３　いっぺえ×２　いつまで　いつも×２　いよいよ　いろいろ×２　うんと　およそ　カラカラ　からから×３　きいきい　きしきし　きっと×３　くたん　くっきり　ぐんぐん　けっして　こう×３　ごじょごじょ　ゴトゴト×２　ザーザー　さい後に　ざっくざっく×２　さっそく　さっぱり×２　さすがに　さぞ×３　さらさら　ざわざわ　ざんざらざん　しこたま×２　しっかり×３　じっと　ずいぶん　すっくり　すぐ×４　すっかり　ずっさん　ずっと×２　すっぽり　そう×９　そうこう　それぞれ×２　たいそう×２　たくさん　たちまち　たっぷり　たらっ　だんだん×２　たんと　チャプン　ちゃんと　ちょい　ちょうど　ちょっくら　ちょっと　ちりちり　つぎつぎ　つまり　どう×５　とうとう　どうして　とつぜん

とても×５　トントン　どんでん　どんどん　何やら　にこにこ　なんだか×３　なんとか　何やら　ぬるり×２　はじめて×３　はじめに　ばっさ　ぴしゃーん　ぴちぴち×２　びっしり　ぴっしゃんぽっこ　びっしり　ぴっちゃぴっちゃ　ひょっとして　ぴょんぴょん　ぷちん　ふと　ふわふわ×９　ぺろり　ぽしゃん×２　ぽっかり×２　ほんとに×２　ほんに　また×５　まだ×４　まるで　むにゃらむにゃら　もう×１０　もう少し　もし　もっと×４　やっと×３　やっぱり　ようやく　よく×２　より×２　らくらく　わあわあ

・接続詞　　１７

けれど×３　けれども×４　こうして　すると×１０　そうしたら　そうすると　そこで　そして×１５　それから×１２　それでも　それに　そんなら×２　そんで×３　けどだって×３　でも×７　ところが×６

・感動詞　　４６

あ　ああ×６　あっ　あらよー×２　ありがとう　あれ　アンニョンハシムニカ　うわあい　うん　えー×２　ええ×４　おう　おお×４　グーテンターク　グッドアフタヌーン　こら　こんにちは×５　さ　さあ×４　さいなら　じゃ　じょいやさ×４　そう　そうだ×３　そうれ　そりゃ　そんじゃ　どうれ　ナマステー　なになに　なんと　ニーハオ　ねえ×３　はあ×２　はてな×３　へ　へえ　へええ　ほう　ほうれ×３　ほー　ほほや×５　やあ×２　やあ　やれやれ　わあい

品詞別　教育出版

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
教育出版	８	４３０	２５	８	１３	３８４
			5.8%	1.9%	3.0%	89.3%

抽象度の高いことば
だいひょう　世界一　ゆうき　せいこう

語彙数　７６８　代表的な助詞・助動詞　６４

・ 名詞　３９０
８０
間×５　あいて　あいどり　赤ちゃん　秋　あご　あざらし　足　足ばらい　足もと　あそび　あき　あたし　あと×２　あな×４　アニー×４　あばれんぼう　あぶらねん土×２　雨戸　あり×５　アレクサンダ×１８　あわ×２　あんしん　いき　いきおい×３　生きもの×２　池　石　一ど　五つ　一か月　一こ　一センチメートル　一番　一ぴき×３　一ぽん×２　市　一まい　犬　いしがき　今×３　色　いろり×３　ウィリー×１７　上×５　うさぎ×５　うす　うすももいろ　歌×２　うち（家）×６　うちじゅう　うで　海×１０　売りもの　絵　えさ　エナメル線×４　おうち　おおかみ×２　大きさ　大年　大みそか　おかざり×２　お気に入り　お気のどく　おさら　お正月　お正月さん　音×４　おつむ　おどう　男の子×７　大人　お父さん　おなか×２　お兄ちゃん×１０　おはか　おびれ　おもちゃ×７　おゆ

７５
貝×４　買いもの×２　かえり　かお×４　かくれ家　かげ　かけ声×２　かさ×４　かさこ×８　風×２　かず　かた×２　かたがわ　かたまり　学校　かべ　かます　紙　紙きれ　かみさま×４　かみのけ　からす×２　からぞり　体×７　画用紙×２　川×７　川上×２　川口（かわぐち）　川下　川ぞこ　かわり　木×２　気×２　きいちご×２　気ぜつ　北　きつつき×１０　きつね×２０　きつねお兄ちゃん×６　きね　木のみ×４　切りかぶ　きれはし　きのこ　空中　くちばし×５　くま×２　熊本県　ぐみのみ　くらし　クラス　くらやみ　車×２　くろくも山　けんか　子×２　小石×１１　子犬×７　コイル×２　コイルばね×７　声×３　小えだ　心×２　午後　五センチメートル　五十センチメートル　小石　小魚　子どもたち×２　木のは　米×２　小道×３　コンクリート×２　こんど　ごんぼ×２

６０
魚×６　さけ×７　ささごい×６　ざしき　さめ　三がい　三センチメートル　三人　三

年　さん歩×２　三メートル　三、四回　じいさま×２２　時間　しげみ×３　じぞうさ　じぞうさま×１０　下×２　十センチメートル　しっぽ×３　じぶん×４　四方八方　しまい　しみ　　地めん×５　しゃしん　十五センチメートル　シロ×７　じゅうしょ×２　正月×２　上下　しんせつ　しんやくん×４　す×３　水面　水前寺公園　スカート　すき間×２　すげ×２　すげがさ　すな　スピード　スプーン　すみ　すみか×３　すみれ×７　せ（背）　せいこう　世界一　せな　せなか　せりふ　セロハンテープ×２　ぜんまい　ぜんまいねずみ×４　そこ　外　空×２　そらまめ　そり×２

４０
だいこん　だいじ　台どころ　だいひょう　たき　竹ひご×７　食べもの×３　たね×１１　たまご×４　ためいき×３　たわら　たん生日　だんち×７　ちいちゃん×２　ちえ　ちゃわん　ちょう×２　ちょうじゃどん×２　月　つぎ×２　つぎはぎ　つみき　つらら　てぬぐい　てんきん×２　電話ばんごう　東京　どうろ　とかげ×１３　時×６　ところ×４　年　年こし×２　トチ×１２　とちゅう　土間×２　友だち×２　鳥×５　どろぼう×３

２５
中×６　長さ×３　なかま　なかよし　なき虫　夏×２　七十センチメートル　なみだ　におい　西　虹の森　二センチメートル　二年生　二ひき×２　人形×２　にわ×５　人間　にんじん×２　ぬいぐるみ×２　ねじ×２　ねずみ×６　ねもと　農家　のき下　野っ原

５０
ばあさま×１２　パーティー　はこ×３　はし×３　はじ×２　はじめ×２　ばしょ　はずれ×２　はっぱ　はな（鼻）夏２　花×３　話×４　花　　はやさ　はらぺこきつね　春×４　ばん（晩）　ぱんくず×２　日×１６　光　人×２　ひめい×２　ひよこ×１８　ひっこし　ひとうす×２　一つ×５　一人　ひとりぼっち　ひろくん×７　びんぼう　ぶじ　ふしぎ　ふだ　二つ×２　二人×６　ふち　ふつう　ふぶき　冬×２　プレゼント　ページ　へや　ペンギン　ぼう　ほうき×２　ほおべた　ぼくら　北海道　ほっぺた　ポケット×２

３７
前×３　まい子×２　まくら　町×２　まつ×４　まね　まねごと　まばたき　まほう　ま夜中　まんげつ　み×４　みさ×１８　水×６　店　みそだる　みち　みちばた　三つ　みどり　みぶるい　耳　みんな×５　むかし×４　向き　虫×４　むね　村　むらさき×５　目×７　もち×２　もちつき　もちこ×６　もの　ものおき　もん×２

１８
やしき　山　やまがら×５　やりかた　やる気　ゆう気　夕ぐれ　夕やけ×２　雪×５　ゆび×２　ゆめ　夜明け　よういー　用心　四年　夜　四十センチメートル　四センチメー

トル

３
りゆう　るす　六人

２
わかいしゅう　われめ×３

・代名詞　１６
あたしたち　あんた　おまえ×６　おら×２　おれ　彼×１５　きみ×２　こっち×２　これ×２　そこ×２　それ×１１　それら　だれ×５　どこ×７　ぼく×７　みなさん

・動詞　２３３
４２
あがる×２　あげてくる　明ける　上げる×２　あたためる　当たる×２　あつまる　あらわれる×２　ある×３７　歩く×４　あむ　あわてる　言いかえす　言い出す×２　言う×２７　生きのこる　いく×２１　いそぐ×２　いる×１４　入れる　うごく×２　歌う×２　生む×３　生まれる×４　うめる　うもれる×２　うらやむ　売る×５　おいかける　おきる　おく×５　おちつく×２　おちる　おどりつづける　おとす×５　思う×４　おびきよせる　おぼえる×２　およぎまわる　下りる×５　おる　おろす

３８
かえる×１４　買う×２　かきおとす　かかる　書く×２　かくす×２　かけだす　かけまわる　かける　がっかりする　買ってくる　かぶる×７　かよう　からみつく　かりとっておく　かわいがる×３　かわる　きえる　聞かせる　聞く×８　きらす　切りぬく　切る　くすぐる　下って　下りはじめる　くらす×２　くれる×５　くれかける　くる×１６　くわえる×３　けとばす×２　こさえた　ござらっしゃる×２　こまる×３　こらえる　ころぶ　こわれる

２２
さがす×２　さく　さけぶ　さかせる×２　さける　下げる　ささやく×２　させる　しずまりかえる　しぬ　しのびこむ　しょう（背負う）×２　知られ　すき　すごす　すすむ　すてる×３　すます　すむ×３　する×２３　そだてる　そろえる

４９
だき上げる×２　だきしめる　だく×２　たくわえる×３　出す　たすける×３　たずねる　たたかう×２　たたく　立ち止まる　立ちはだかる　たつ×２　立てる×２　たどりつく　食べさせる　食べる×７　足りる　近づく×３　ちやほやする　つかう×２　つか

まえる　つかれはてる　つきかえす　つく×５　作る×４　つけくわえる　つける×２　つつく×３　つづける×２　つっこむ　つぶやく　つまずく　つむ　つめたい　つれる×２　でかける　できあがる　できる×７　出る×４　とばす　とび出す×３　とびたつ　とびちる　とぶ×２　とまる　とり出す　とりつける×４　とる×４

１８
ながす×２　ながす　なく　なくなる×２　なでる　なめる×３　なる×１９　鳴る　なれる　にげる×３　にらみあう　ぬきとる　ぬれる　ねむる　のこす×２　上る　のむ　のりこえる

３４
入る　はこぶ×３　はさむ　はじく×２　はじまる×２　走る×４　走り出す×２　走りよる　はたらかせる　話す×５　はなす　はりあげる　はりつける　はる　晴れる　ひえる　ひく×４　ひっぱる　ひっくりかえる　ひっこす×２　ひみつめかす　ひらく　ひろがる　ふみつける　ぶつかる　太らせる　太る×３　ふやす　ふりむく　ふる×２　ふるえる　ふるわせる×２　ほえる　ほる×２

１８
まきつける×２　まく×４　まける×２　まじる×２　まつ　見せかける　みちる　見つかる　見つける×４　見る×１０　見合わせる　見まわす　むかう　むかえる　むすぶ　もつ×４　もどる×２　もらう×２

6
やすむ　やせる×３　やってくる　やめる×４　やる×６　ゆれる

1
よぶ

5
わく　わたる　わらう×３　わる　われる×３

・ 形容詞　３６
青い　赤い　うまい　うれしい　大きい×５　おもい×２　おもしろい　かたい×４　かなしい　かるい　かわいい　黄色い　きつい　こまかい　こわい　白い×２　すごい　小さい×７　高い×２　楽しい　ちかい×３　つめたい　てれくさい　つまらない×２　はげしい　早い　ひどい　広い　ふかい×２　ふるい　細長い×２　まるっこい　やさしい×２　ゆるい　よい　わるい

・ 形容動詞　１６
いやな　いろいろな×５　いろんな　大きな×２　同じ×３　かわいそうな　きれいな　こんな　そんな　大事な　だめ　小さな　はじめて　ほんとう　べつべつ　まん丸な

・ 連体詞　４
あの　ある×２　この×１５　その×１７

・ 副詞　４６
あんまり　いっそう　いったい　いっぱい　いつも×２　いよいよ　おもに　かみかみ　ぐるぐる　ぐんぐん　コツコツ　ころころ　こわごわ　さぞ×３　さっそく　さっぱり　しっかり×３　しばらく　ずっさん　すべて　せっかく　たいそう　大の　たくさん×６　ちゃんと　ちょうど　つぎつぎ　どう×２　とうとう　とつぜん×３　とっても　とても×２　何やら　ふと　ぺんぺん　ぼうっと×４　ほんとに　ほんに　まるまる×３　むくむく　もちろん　もともと　ひょこひょこ　やっと×２　よく×４　よくよく

・ 接続詞　１６
けれど　けれども×２　こうして　しかし　すると×９　　そこで×２　そして×１７　そのため　それから×３　それとも　だが　つまりで　も×３　ところが×３　また　やがて×２

・ 感動詞　１１
ああ×２　あっ×３　ええ×４　おお×４　さあ×２　じょいやさ×４　はあん　ふうん×２　ほほ　やあ　やれやれ

品詞別　光村図書

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
光村図書	９	５７３	１６	２	８	５４７
			2.8%	0.3%	1.4%	95.5%

抽象度の高い言葉

語彙数　９７０

・名詞　３６６
７５
間×４　青　青色　赤　あかんべ　秋　あくび　朝×６　あざ　あさって　あした×２　足元　あせ×３　頭×４　あたり×４　あと×２　雨水　雨×２　雨ふり　あらわし方　言い方×３　家×６　いき×３　いきおい　生きものたち×３　いせえび　イソギンチャク×８　一ど×３　一日×４　いったい（一帯）　一等×２　いっしょ×３　一週間×３　一ぴき×３　一本×５　糸　いま×３　色×３　岩　岩かげ　上×８　うさぎ×１５　牛　歌×７　歌声　うたたね　うち×５　うなぎ　うなり　馬×１１　海×８　絵　えいよう　えき（液）　えだ×２２　えんぴつ　おおいそぎ　大いばり　おおかみ×５　大きさ×３　大声　大ぜい　おかあさん　おかげ×２　おきゃくさん　音×１４　おとな　お手紙×６　おばあさん×５　おなか　おねがい　お話　お日さま×４　おひるね　オレンジ

６８
かえる×２３　顔×６　かかわり合い　かき方　かげ　かけて　かこい　かさ　風×６　形×２　かたつむり×７　かた手×２　（楽器）がっき×６　かなしみ　がまがえる×２４　紙×３　火曜日　からす貝　空っぽ　川×４　川べり　体×１０　かわ（皮）×２　かわ（革）　かんじ（感じ）×２　木×２１　気×３　黄色　きず×３　きず口　北　きつね×４８　汽笛　きのう　木のみ　気分　きまり　気もち×３　きょう×３　兄弟×３　金色　ぎんか　金曜日　口×２　くま×１８　クマノミ×７　くらげ　黒×２　毛×２　けい馬×５　月曜日×６　家来たち×５　げんかん×３　元気×２　子×７７　子馬×２　声×３　心×２　こし　ごぜんちゅう　こと×２４　ことば×５　ごはん　こぶり　これから　ころ×３　こんど　こんぶ

４８
魚×１９　さかもり　先×６　さけび声　さくしゃ　さるくん×２　さわぎ　サンゴ×３　三びき　三本　三枚　しあさって×３　時間　じく×３　しぐさ　下×４　したく　し

っぽ×２　自分×５　しめりけ　じめん×５　十二センチメートル　少年×２　しょく手×３　知らせ×２　知らんふり　しり合い　しんぱい×２　しんゆう×２　水中ブルトーザー　スイミー×９　水曜日　スーホ×３６　すがた　すじ×３　すず虫　せ（背）×３　せのび×２　ゼリー　先頭　ぜんぶ　草原×９　そうじ×４　そこ（底）×２　外×７　外がわ　そば×７　空×４

４０
大会　たがい×２　たき　竹　竹やぶ×６　たづな　たぬきちゃん　たね×６　たび　たび（度）×２　食べもの　ため　たもと×２　たんぽぽ×６　血　ちえ　ちがい　中国　つかれ　月×６　つぎ×３　つきっきり　月日　強さ　つりざお　手×４　手当て　どうぶつ　通りすがり　時×１１　どく　ところ×１２　年×２　どじょう　とちゅう×２　とのさま×１１　友だち　土曜日　ドロップ　手紙×１１

１６
中×１１　長さ×４　なかま×２　鳴き声×２　夏　何色　なの花ばたけ　名前×４　二、三日　にじ色　二十頭　日　日曜日　二本×１０　ねもと　のり手

５２
は（歯）　白馬×３６　バケツ×５０　はじめ　はっぱ×２　馬頭琴×５　花×７　話　はなればなれ　早口　はやさ　林　はり　春×４　春風×７　ばん（晩）×５　半分×２　日×１０　光×３　ひつじ×５　ひつじかい×７　一口　一つ×３　ぴったり　人×４　ひとり　ひみつ　ひる　ひるすぎ　ふうとう×２　ふきのとう×４　ふし（節）　ぶたくん　二人×４　ふち　太さ×２　船　ふり　ブルーノ＝ムナーリさん　冬　ベッド　べろ　へり　へん　へんじ　方×３　ぼう切れ　ほか×４　ほね×２　ホンソメワケベラ×４　本　ほんもの×２

４１
毎朝　毎日　真上　前×８　まぐろ×２　町×２　真っ黄色×３　まっ黒　まど×４　まね×２　丸木ばし×６　まわり　まんが　（実）み　みき（幹）×８　ミサイル　水×１１　みどり色　みなさん　みなみ　みなり　耳　みんな×１４　むかし×２　むこ　むこう　虫×２　むすめ×２　むち　むちゅう　むね　目×６　木曜日　もちぬし　もちば　元×２　もの×１３　もの（者）　もの音　ものども　もも色　モンゴル×４

１８
矢×５　やくそく　やし　山　夕がた×３　夕日×３　ゆうびんうけ×３　雪×８　弓×２　ゆめ×４　よ（夜）　ようす×５　夜風　よこ×２　四日　夜ふけ　夜　四本

２
らっかさん×３　りんご×２

６
わかものたち　分かれ方　わかめ　わき　わけ×３　わた毛×７

・代名詞　　２２
あいつ　あそこ　あちらこちら　あなた　いつ×２　おまえ×２　きみ×１０　こいつ　ここ　この×６　これ×６　そこ×５　それ×１１　それら　だれ×１８　どこ×４　どっち　どの　何×５　ぼく×１９　わたし×５　わたしたち

・動詞　２８７
５０
あう　あきあきする　あける　上げる×２　あそぶ×２　あたる×３　あたる　あびる　あらわす×７　ある×３８　言いかえす　言う×６０　いく×３０　いころす（射殺す）　いそぐ　いる×７５　いる（要る）　入れる×６　うかぶ×２　うける　うしなう　歌う×２　うちのめす　うつる（映る）×２　うなずく×２　うなる　生まれる　売る　うれる　熟れる　おいかける　おい出す　おいつく　おいはらう×２　おう　おおう　おき上がる×２　おきる×４　おく×５　おくる　おこす　おさめる　教える×２　おどる×４　思いうかべる×２　思い出す　思いつく　思う×６　およぐ×５　下ろす

４０
かがやく　かう（飼う）　帰る×１０　かがやく×４　かかわり合う×２　かき足す　書く×１３　かけだす　かけつける　かけ回る　かけよる×２　かける（駆ける）×４　かこむ　かなしむ　かれる×３　かわる　考え出す×２　かんがえる×７　きえる　聞く×６　聞こえる×２　食いしばる　食う　ください×２　くふうする　組み立てる　くむ（汲む）×３　くらす×５　来る×３８　くれる×１０　けっこんする　けとばす　こえる（越える）×２　答える　こまる　こめる　ごらん×２　ころげおちる　ころす　こわがる

３４
さがす　さからう　さく　さけぶ×３　さげる（提げる）×７　ささやく　ささる×２　さす（刺す）×３　さす　さます×２　さます（覚ます）　さめる（覚める）　さわぎ立てる　さわぐ　しずむ×７　しぬ×２　しぼむ　しまう×８　しめる　しゃがむ　しょうかいする　知る×３　すう　すかせる　すぎる×２　すすめる（薦める）　すぼむ　すます（澄ます）　すむ（住む）×３　すりよせる　する×５０　すわる×４　せわする　そだつ×２

５１
たおれる×３　たおれる　だきかかえる　出す×６　たすける×２　たずねる×４　たたかう　たたく×２　立ち上がる　立ちふさがる　たつ（経つ）×３　立てる×３　たのむ

食べる×５　たまる×３　ちがう×２　近づく×２　近づける　ちらす　ついてくる　つかう×２　つかまえる×３　つかれる　つきささる　つく×２　つく（着く）　作り出す　作る×２　つける×２　つたわる　つづく　つづける×２　つっこむ　つる（釣る）×２　つれてくる×３　できあがる　できる×４　出る×８　とける×３　どける　とどく　とばす×３　どなりたてる　どなりちらす　とぶ　とりもどす　とびかかる×２　とび出す×２　とぶ×３　とり上げる　とる×７

２４
なおる　ながす　ながめる　ながれおちる　なく（泣く）　鳴く　なぐる　なでる×２　鳴らす　なる×３３　にあう　にげる　ぬく　ぬける　ねぼうする　ねむり込む　ねむる×３　ねる（寝る）×２）　のこる×２　のぞく×４　のばす　のびる×４　のみこむ　のる×３

４５
入る×３　生える　はく　はこぶ　はじまる　はじめる×２　走る×５　走りだす×３　はたらく×２　はてる　話しかける×２　話す　はなつ　はね上がる　はねおきる×２　晴れ上がる　晴れる　光る　引いてくる　引きしぼる　引きしまる　引きつれる　ひく（弾く）　ひっくりかえす　びっくりする　ひっぱる　ひびく×２　ひらく×３　ひろう×２　広がる×２　ひろがる　広まる　ふき上げる　ふき出す　ふきとばす　ふく(吹く)×４　ふせぐ　太る　ふりはなす　ふる（降る）　ふる（振る）×２　ふんばる×３　ふやす　ほうっておく　ほしい

２７
まいる　まかせる　まがる　まける　またがる×２　まつ×１０　まもり合う　まもる　丸くなる　まわる　見上げる×３　見える　見下ろす　見せびらかす　見つかる　見つける×４　見とれる　見まわす　見る×３４　むかう×４　むく（向く）×２　もがく×２　もち上げる　もつ×４　もっていく　もどる　もらう×２

１１
役に立つ　休む　やって来る×５　やる×７　ゆすぐ　ゆりうごかす　ゆれる×７　よぶ×２　よりあつまる　　よろこぶ　弱る

５
分かる×２　分かれる×６　わすれる×２　わたす　わらう×３

・形容詞　　５４
青い×３　赤い×５　明るい×２　新しい×４　いい×９　いけない　うつくしい×６　うまい　うれしい　多い×２　大きな×１１　おそろしい×２　おっきい　おもい　おもしろい×５　おもたい　かなしい×６　黄色い×１１　黄色い　くやしい×２　くらい×

３　黒い　けたたましい　こわい　さびしい　さむい×２　白い×７　すごい　すばらしい×２　高い　たくましい　楽しい×２　小さな×８　近い×３　小さい×３　つめたい　つよい　遠い×７　ない×８　長い×５　早い×４　ばからしい　はやい早く　ひどい　広い×５　太い　細い×４　細長い　まずしい×２　丸い　みじかい×５　やさしい×３　よい×２　わかい

・形容動詞　　３４
あんぜん　いっしょに　いっぱい×２　いやだ　いろいろな　大急ぎ　同じ×８　空（カラ）×２　きれい×３　きゅうに　くちぐちに　こんな×２　さまざま×２　ざんねん×３　しあわせな　しずかに×２　しんあいなる　そっくり　ぜったい　そんな×２　だいじ　だいじょうぶ　大好きな　たいへん×２　たくさん×４　ていねい　でたらめ　だめ　どんな×３　ひっしに　ふしあわせ　本当×４　まっすぐ　むちゅうで

・連体詞　　８
ある×６　あの　こういう×２　この×１２　こんな　その×１９　そんな　ほんの

・副詞　１０１
いちばん×４　いっせいに×４　いったい　いっぱい×３　いつも×３　いろいろ×２　うっとり　うんと　思わず　カタカタ×３　カチカチ　かっと　きっと　きっと　きっぱり　きりっと　ぎんぎんぎらぎら×２　ぐっすり　ぐったり　くねくね　ぐるぐる　クワクワ×５　ぐんぐん×２　ケケケ　ケケケケ×２　けっして　こう×３　こっそり　こんど×２　さっさと　じっと　しんと　ずいぶん×２　すぐ×４　少し×３　すくすく　すっかり×２　ずっと×６　すれすれ　ぜひ　そう×８　それぞれ　たくさん×３　ただ　ただの　たった　だんだん×３　ちゃんと×２　ちょうど×２　ちょっと　ちょろり　つぎつぎに　つぎに×２　つまり　どう×５　どうして×４　とうとう　とつぜん　とっても　とても×８　どれくらい×２　とろとろ　どんどん　トントントン×２　ドンドンドン×２　ふうっと　なぜ　なんだか　なんとか　にこっ×２　にこにこ×２　にっこり×２　ねばねば　ぱちぱち　はっと×２　ぴかぴか×３　びっしょり　ヒューヒュー　ひょっとして　ひろびろ　ふいに　ふらふら　ふわふわ　ボーッ　ほんとに×２　ますます　また×４　まだ×５　まったく　まるで　まず　みるみる　もう×９　もっこり　もし×２　もっと×３　もりもり　やがて×２　やっと×２　ゆらゆら　よく×９　リーンリーン

・接続詞　　１６
けれど×２　けれども×２　こうして×２　すると　そこで×４　そうして×３　そして×１３　それから×６　それじゃ　それで　それでも×２　だから　だけど　だって×３

でも×１２　ところが×２

・感動詞　　１８
ああ×２　ありがとう　うん×３　おうい　おまちどお　おや　おやすみ　こんにちは　ごめんね　すまない　そう×２　そうだ　そりゃ　それじゃ　なんだと　ちょっと　や×２　よいしょ×４

２　平成17年版小学校「国語」教科書（２学年用）文数・重文数・複文数一覧

調査担当　松本　修（上越教育大学）

	教材数	文数	重文	複文	単文(一語)	単文
東京書籍	１０	５７２	３５	１１	１５	５１１
			6.1%	1.9%	2.6%	89.3%
大阪書籍	１１	６１４	２８	１７	１３	５５６
			4.6%	2.8%	2.1%	92.3%
学校図書	9	５７３	２７	5	１１	５３０
			4.7%	0.9%	1.9%	92.3%
教育出版	8	４３０	２５	8	１３	３８４
			5.8%	1.9%	3.0%	89.3%
光村図書	9	５７３	１６	2	8	５４７
			2.8%	0.3%	1.4%	95.5%

海外教科書との比較のためのデータであることを考慮し,次のような方針でカウントした。

・文数　基本的には「。」の数で数えるが，歌の歌詞のような部分では「。」がなくても文と認定する場合がある。

・重文　ひとつの文の中に，主語が二つ以上あり，それぞれに述語があるもの。「ピッチャーは投げ，バッターは打つ。」のような文。ただし，日本語では複文に含めて考えられる「ピッチャーが投げると，バッターは打つ。」のような非対等の組み合わせになる合文も重文としてカウントする。（ただし主語が省略されていても異なる主語を前提とする述語がある場合はカウントする。以下同じ。）

・複文　ひとつの文の中に，主語が二つ以上あり，主部・述部・修飾部のいずれかに従属的な主語述語を含む有属文を複文としてカウントする。

・単文（一語文）　助詞・助動詞をもたない単語一語の文を一語文としてカウントする。

・単文　以上のどれでもない文を単文としてカウントする。

東京書籍２年上

１　のはらのシーソー

文数　４６

重文　　１

複文　　１

一語文　０

３　たんぽぽ

文数　２５

重文　　６

複文　　１
一語文　０
４　雨の日のおさんぽ
文数　７７
重文　　２
複文　　０
一語文　２
５　ニャーゴ
文数　７２
重文　　１
複文　　０
一語文　４
・読書のへや　　糸で生きる虫たち
文数　２４
重文　　１
複文　　２
一語文　０

東京書籍２年下
１　名前を見てちょうだい
文数　８９
重文　　７
複文　　０
一語文　２
２　ビーバーの大工事
文数　２８
重文　　４
複文　　１
一語文　０
４　せかいのかくれんぼ
文数　２１
重文　　１
複文　　１
一語文　０
５　かさこじぞう
文数　７６
重文　　９
複文　　２
一語文　１
・読書のへや　あしたも友だち

文数１１４
重文　　３
複文　　３
一語文　３

大阪書籍二年上
・学しゅうのめあてをもとう　「大きなキャベツ」
文数　３９
重文　　２
複文　　０
一語文　２
・じんぶつのしたことを読もう　「お手紙」
文数　９１
重文　　０
複文　　０
一語文　１
・じんぶつのしたことを読もう　「とらとふえふき」
文数　５４
重文　　５
複文　　１
一語文　０
・じゅんじょに気をつけて読もう　「すなはまにあがったアカウミガメ」
文数　２４
重文　　２
複文　　５
一語文　０
・じゅんじょに気をつけて読もう　「はしの話」
文数　２４
重文　　３
複文　　１
一語文　０
・読みもの大すき　「コスモスさんからお電話です」
文数　７７
重文　　４
複文　　０
一語文　４

大阪書籍二年下
・本のせかいを楽しもう　「かさこじぞう」
文数　７５

重文　　９
複文　　２
一語文　０
・読んでわかったことを知らせ合おう　「どんぐりとどううぶつたち」
文数　２３
重文　　０
複文　　０
一語文　０
・みんなで話し合ってつくろう　「道具」
文数　４１
重文　　１
複文　　０
一語文　０
・自分の力をたしかめよう　「いいものもらった」
文数１１２
重文　　０
複文　　１
一語文　６
・読みもの大すき　「わにのおじいさんのたからもの」
文数　５４
重文　　２
複文　　７
一語文　０

学校図書２年上
１　なかよく読もう　「花いっぱいになあれ」
文数　７２
重文　　５
複文　　０
一語文　１
３　しぜんのふしぎ　「ほたるの一生」
文数　２４
重文　　０
複文　　０
一語文　２
４　お話の本を楽しく読もう　「スイミー」
文数　４０
重文　　１
複文　　１
一語文　２

・しりょうへん　「お手紙」
文数　９１
重文　　０
複文　　０
一語文　１

学校図書２年下
１　みんなで読もう　「くまの一ぴき分はねずみの百ぴき分か」
文数１５９
重文　　７
複文　　１
一語文　２
２　みの回りを見つめて　「あいさつのみぶりことば」
文数　１８
重文　　３
複文　　０
一語文　０
４　こんなおもちゃがあるよ　「うごく虫を作ろう」
文数　２０
重文　　０
複文　　０
一語文　０
５　むかし話を楽しもう　「かさこぞう」
文数　７５
重文　　９
複文　　２
一語文　０
・しりょうへん　「頭にかきの木」
文数　７５
重文　　２
複文　　１
一語文　３

教育出版二年上
・思いをうけとめて読もう　「ひっこしてきたみさ」
文数　７３
重文　　６
複文　　１
一語文　３
・じゅんじょに気をつけて読もう　「すみれとあり」

文数　１８
重文　　１
複文　　３
一語文　０
・じゅんじょに気をつけて読もう　「鳥のちえ」
文数　２４
重文　　１
複文　　１
一語文　０
・思いを見つめて読もう　「きつねのおきゃくさま」
文数　８４
重文　　４
複文　　０
一語文　７

教育出版二年下
・じゅんじょやようすを考えよう　「さけが大きくなるまで」
文数　２０
重文　　１
複文　　１
一語文　０
・本のせかいを楽しもう　「かさこじぞう」
文数　７３
重文　　７
複文　　１
一語文　０
・つたえ方をくふうしよう　「きつつき」
文数　３０
重文　　２
複文　　０
一語文　０
・心のつながりを読もう　「アレクサンダとぜんまいねずみ」
文数１０８
重文　　３
複文　　１
一語文　３

光村２年上
１　みんなでよもう　「ふきのとう」
文数　４５

重文　　２
複文　　０
一語文　４
２　じゅんじょに気をつけてよもう　「たんぽぽのちえ」
文数　１８
重文　　４
複文　　０
一語文　０
４　本と友だちになろう　「スイミー」
文数　４４
重文　　１
複文　　１
一語文　２
６　だいじなところに気をつけて読もう　「サンゴの海の生きものたち」
文数　３０
重文　　０
複文　　１
一語文　０
・「ことばの森」あんない　「黄色いバケツ」
文数１７２
重文　　０
複文　　０
一語文　１

光村２年下
１　ようすを考えて読もう　「お手紙」
文数　９１
重文　　０
複文　　０
一語文　１
３　たしかめながら読もう　「一本の木」
文数　２９
重文　　０
複文　　０
一語文　０
４　ことばって、おもしろいな　「音やようすをあらわすことば」
文数　１７
重文　　０
複文　　０
一語文　０

６　お話を楽しもう　「スーホの白い馬」

文数１２７

重文　　９

複文　　０

一語文　０

3　平成 17 年度版小学校「国語」教科書　学習課題一覧

調査担当　小林一貴（岐阜大学）

新編　あたらしいこくご　　１年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	上		うれしい　ひ		
			はきはき　あいさつ	話す・聞く	
			おはなし　ききたいな	読む	
			あいうえおの　うた		
			あいうえお		
			じを　かこう		
			あめですよ		
			ふたと　ぶた		
			わにが　わに　なる		
			ことばあそび		
			はなしたいな　ききたいな	話す・聞く	
			ねこと　ねっこ		
			あひるの　あくび		
			みんなで　あいうえお		おおきなこえでよもう
			てがみ		
			てがみを　かこう	書く	
			おばさんと　おばあさん		
			どうぶつの　はな		
			いしやと　いしゃ		
			きいて　きいて	話す・聞く	やすみじかんにしたことを、みんなにきいてもらいましょう。
			よんで　よんで	書く	したことを、かきましょう。

			は　を　へ		
			おおきな　かぶ		
			ほんが　よみたいな	読む	
			みんなに　しらせよう	書く	みんなにしらせたいことをえとぶんでかきましょう。
			かんじの　はなし		
			かぞえうた		
			かずを　あらわす　かんじ		
			ひらがなの　ひょう		
			あたらしく　ならった　かんじ		
			ことばのせかい		
			ひらがな		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	下		くもは　がようし		
		1 おはなし　だいすき	サラダで　げんき	読む	・どんな　人や　どうぶつが、出て　きたでしょう ・「おはなしカード」を　かきましょう ・いろいろな　おはなしを　よみましょう ・おもしろかった　おはなしの　ことを、「おはなしカード」に　かいて、みんなの　まえで　よみましょう。
			ことばあそびうたを　つくろう	書く	・ことばあそびうたを　よみましょう。 ・「なぞなぞ」に　ならって、どうぶつや　いろいろな　ものの　名まえで　つくりましょう。「ん」が　入って　いない　ことばで　つくりましょう。 ・「たぬき」「せんぬき」のように、おなじ　ところの　ある　ことばを　さがして、文を　つくりましょう。 ・つくった　文を、みんなで　よみあいましょう。
		2 のりものの　ことを　しらべよう	いろいろな　ふね	読む	・どんな　ことを　する　ふねでしょう。その　ことを　する　ために、どのような　くふうが　して　ありますか。 ・きゃくせん　・フェリーボート　・ぎょせん　・しょうぼうてい ・すきな　のりものに　ついて　しらべましょう。 ・のりものには、いろいろな　ものが　あります。すきなのりものについて、本をよんでしらべてみましょう。

			・えらんだのりものについて、つぎのことがわかるようにまとめましょう。 ・どんなことをするためののりものですか。 ・そのことをするために、どのようなくふうがしてありますか。 ・しらべた　ことを　はっぴょうしましょう ・しらべたのりものについて、じぶんでまとめたものをみせながら、はっぴょうしましょう。
3ようすを　おもいうかべながら　よもう	おとうとねずみ　チロ	読む	・チロの　ようすを　おもいうかべましょう ・チロになったつもりで、チロのことばをこえに出してよみましょう。
	かたかなを　かきましょう	言語	
ことばの　ひろば			・どうぶつの　名まえを　かきましょう。
4 よく　見て　かこう	わたしの　はっけん	書く	・はっけんカードを　かきましょう ・生きものの　ようすや　うごきを　よく　見て、はっけんカードに　かきましょう。　・かたちや　大きさ　・いろ　・こえや音　・さわったかんじ　など ・はっけんカードを　もとに　文しょうを　かきましょう ・かいた　文しょうを　もとに、じぶんの　見つけた　ことを　ともだちに　おしえて　あげましょう。
	よう日の　かん字を　おぼえましょう	言語	・らい年の　一月の　カレンダーを　つくりましょう。
ことばの　ひろば			・つぎの　えは　なん月でしょう。かん字で　かきましょう。
5 いろいろな　じゃんけんに　ついて　はなしあおう	じゃんけん（せつめいぶん）	話す・聞く	・「グー」「チョキ」「パー」の　じゃんけんでは、どのように　して　かちまけが　きまりますか。となりの　人と　はなしあって　たしかめましょう。 ・しらべたり　つくったり　しましょう ・ほかのくにのじゃんけんをしらべたり、おもしろいじゃんけんをじぶんでつくったりしましょう。 ・いろいろな　じゃんけんに　ついて　はなしあいましょう ・しらべたり　つくったり　した　じゃんけんに　ついて、「グー」「チョキ」「パー」のじゃんけんの　ときと　おなじように、となりの　人と　はなしあいましょう。 ・みんなにも　おしえて　あげましょう ・おもしろいじゃんけんを、みんなにもおしえてあげましょう。そして、みんなであそんでみましょう。
	なんの　なかまでしょう	言語	・「りんご」や「みかん」を、まとめて　よぶ　ことばは　なんでしょう。 ・「のりもの」には、どんな　ものが　あるでしょう。
ことばの　ひろば			・かたかなを　かきましょう。 ・えを　見て、ものの　名まえを　かたかなで　かきましょう。

		6 おはなしを　たのしもう	はるの　ゆきだるま（おはなし）	読む	・ようすを　おもいうかべながら　よみましょう ・ゆきだるまや　どうぶつたちの　した　ことや　おもった　ことを　かんがえましょう。 ・どちらかを　えらびましょう 1．げきを　する。 ・どうぶつたちの　うごきを　かんがえましょう。 ・ゆきだるまや　どうぶつたちの　した　ことが　よく　わかるように　げきをしましょう。 2．「すきな　ところ　はっぴょう」を　する。 ・すきな　ところを　えらんで、ノートに　かきましょう。すきな　わけも　かきましょう。 ・すきな　わけを　はなした　あと、すきな　ところを　こえに　出して　よみましょう。 ・はるの　おはなしを　よみましょう。
			かたちに　気を　つけて　かきましょう	言語	
		ことばの　ひろば		言語	
		7 すきな　本の　ことを　かこう	本と　ともだち	書く	・いろいろな本をよみましょう。 ・すきな本のことを、ともだちにおしえてあげましょう。 ・よんだ本のことを、えにかいたり、文章にかいたりしましょう。 ・すきなところの文やえをうつして、どんなところがおもしろかったか、どんなことをかんがえたかをかきましょう。 ・かいたものをあつめて、みんなにしょうかいしましょう。
		どくしょの　まど	一年生の　本だな	読書	
			ひらがなと　かたかなの　ひょう		
			あたらしく　ならった　かん字		
			１年上で　ならった　かん字		
			ことばの　せかい		
			かたかな		

新編　新しい国語　　２年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	上		はるの　はな	読む	

		1 たのしく　声に出して　読もう	のはらの　シーソー	読む	・ようすを　おもいうかべながら、声に　出して　読もう
			おがわの　はる	読む	
			たけのこ　ぐん	読む	
		丸、点、かぎを　つかおう		言語	
		ことばの　ひろば		言語	・よう日を　あらわす　かん字を　入れて、カレンダーを　つくりましょう。
		2 みんなの　まえで　話そう	教えて　あげる、たからもの	話す・聞く	・なにを　しょうかいするか　考えよう ・あなたの　たからものは　なんですか。しょうかいしたい　ものを　一つ　えらびましょう。 ・どんな　ことを　しょうかいするか　考えようつぎのことをメモに書いて、話すれんしゅうをしましょう。　（・たからものはなにか。　・いつ、どのようにして手に入れたか。　・大切なわけ　・たからものの思い出　・さいごに一言） ・たからものを　しょうかいしよう ・話が　おわったら、しつもんしましょう。
		手紙で　知らせよう		書く	・毎日の　できごとの　中から、知らせたい　ことを　手紙に　書きましょう。だれに、どんな　ことを　知らせて　あげたいですか。
					・手紙を　書こう ・手紙を　もらったら、手紙を　くれた　人に　へんじを　書きましょう。
			つづけて　みよう	話す・聞く、書く、読む	・国語の　学しゅうを　つづけて　いく　計画を　立てましょう。
		かたかなで　書こう		言語	・絵を　見て、かたかなで　書く　ことばを　考えましょう。
		ことばの　ひろば		言語	・ことばを　えらんで、□に　入れましょう。 ・からだに　かんけいの　ある　ことばを　あつめましょう。 ・どんな　ようすか　考えましょう。
		3 じゅんじょに気を　つけて　読もう	たんぽぽ（せつめい文）	読む	・書いて　ある　ことを、じゅんじょに　気を　つけて　読みとろう ・はじめて　知って、おどろいたのは、どんな　ことですか。 ・たんぽぽの　しくみに　ついて、なにが　どんな　じゅんじょで　書いて　ありますか。 ①下の　絵を　見て、教科書に　書いて　あった　じゅんばんに、ばんごうを　つけましょう。 ②それぞれの　ぶぶんの　せつめいを　しましょう。

					・たんぽぽは、どのように　して　なかまを　ふやしますか。つぎの　ことばを　つかって　まとめましょう。（花　み　わた毛　たね　め） ・生きものに　ついて　書かれた　文しょうを　読みましょう。
		4 ようすや　気もちを　そうぞうしながら　読もう	雨の　日の　おさんぽ（おはなし）	読む	・さんぽに　行った　ときの　ようすを　そうぞうして　読もう ・つぎの　ことを　考えましょう。 ・「ぼく」の　した　こと、見た　こと。　・その　ときに、「ぼく」が　思った　こと。 ・「ぼく」に　なった　つもりで、さんぽに　行った　ときの　話を　しましょう。
		まよい犬を　さがせ		話す・聞く	・村田さんの　話し方に　ついて　考えよう。 ・タロの　ぜん体の　ようすが　わかるように　話して　いますか。 ・「かわいい　しっぽ」とは、どんな　しっぽだと　思いますか。 ・青木さんの　聞き方に　ついて　考えよう。 ・どのように　聞き、どんな　しつもんを　すれば　よかったと　思いますか。 ・ともだちの　犬を　さがそう。 ①二人一組に　なって、一人は　かいぬしに、もう一人は　さがす　人に　なります。 ②かいぬしは、５６・５７ページの　絵の　中から、じぶんの　犬を　えらびます。 ③かいぬしは、じぶんの　犬の　ようすを　話します。さがす　人は、話を　聞いて　さがします。わからない　ことは　聞きかえしましょう。 ・ともだちの　犬を　見つけられましたか。
		かん字の　書き方に気を　つけよう		言語	
		ことばの　広場		言語	
		5 だれが　なにをしたかを　考えながら　読もう	ニャーゴ（おはなし）	読む	・お話の　じゅんばんを　かんがえよう ・どんな　お話でしたか。絵を　見て、お話の　じゅんに　ばんごうを　つけましょう。 ・だれが　なにを　したかを　読みとろう ・ねこや　ねずみが、したり　言ったり　した　ことを、ノートに　まとめましょう。 ・右ページの　中から、すきな　場めんを　えらんで、絵を　かきます。 ・「だれが」「なにを」した　ところかを、かんたんに　まとめます。 ・ねこや　ねずみが　言った　ことを　ふき出しに　書きます。思った　こともそうぞうして　書きましょう。

					・どんな　ことを　かいたか、ともだちと　見せ合いましょう。 ・本を　たくさん　読もう ・「ニャーゴ」のような　たのしい　お話を　さがして、たくさん　読みましょう。
		じゅんじょを　考えて		書く	・よく　思い出して ・した　ことを　思い出して、文しょうに　書きましょう。 ・いつ、どこで、だれと、どんな　ことを　したか。 ・なにを、どんな　じゅんじょで　したか。 ・そのとき、どんな　ことを　思ったり　考えたり　したか。 ・書いた　後で ・書きおわったら、読みかえしましょう。声に　出して、読んで　みましょう。
		6 じゅんじょよくせつめいしよう	「おもちゃまつり」へ　ようこそ	話す・聞く	・しょうかいする　おもちゃを　きめよう ・どんな　手作りおもちゃが　あるか、グループで　さがしましょう。 ・作り方を　しょうかいした　本を　さがす。 ・家の　人や　きんじょの　お年よりに　聞いて　みる。 ・どの　おもちゃを　しょうかいしたいか、グループで　話し合いましょう。そして、じぶんたちで　作って　みましょう。 ・作り方や　あそび方を　ノートに　まとめよう ・せつめいの　れんしゅうを　しよう ・たのしい　せつめいの　し方を　考えましょう。まとめた　ことを　もとに　台本を　作り、れんしゅうしましょう。 ・「おもちゃまつり」を　ひらこう ・ほかの　クラスの　ともだちや　一年生を　まねいて、おもちゃの　作り方やあそび方を　教えて　あげましょう。 ・作り方と　あそび方を　紙に　かいて、見せながら　せつめいしたり、作りながらせつめいしたり　するなど、せつめいの　し方を　くふうして　みましょう。
		かん字の　れんしゅう			
		（ふろく）			
		読書のまど	二年生の　本だな	読書	
		読書のへや	糸で　生きる　虫たち	読書	

			新しく　ならった　かん字		
			一年で　ならった　かん字		
			かん字の　ひつじゅん		
			ことばの　せかい		
			図書かんへ　行こう		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	下		金の　ストロー		
		1 おもしろい　お話を　たくさん読もう	名前を　見て　ちょうだい	読む	・お話の　「人ぶつ」に　ついて　ノートに　まとめよう ・えっちゃんは、どんな　「人ぶつ」に、どこで　会ったでしょう。 ・それぞれの　「人ぶつ」は、どんな　ことを　言ったでしょう。また、どんな　ようすだったでしょう。 ・お話の　中の　ことばを　かえて　音読する　クイズを　出そう ・かんそうを　カードに　書こう ・おもしろい　お話を　読もう ・おもしろかった　本の　ことを、「読書ゆうびん」に　書いて　しょうかいしよう
		かんじた　ことを		書く	・毎日の　生活の　中で、見た　ことや　した　ことから、かんじた　ことを　みじかい　ことばで　書きましょう　書いた　作ひんを　友だちと　交かんして　読み合いましょう
		2 どうぶつの　ひみつを　しらべよう	ビーバーの　大工事	読む	・ビーバーは、どのように　して　木を　たおしますか。 ・ビーバーは、どんな　じゅんじょで　ダムを　作りますか。 ・ビーバーの　すは、どんな　ふうに　なって　いますか。 ・ビーバーが、ダムを　作るのは　なぜですか。 ・「どうぶつの　ひみつ」クイズを　作って　出し合おう ・どうぶつの　ひみつを　しらべて　クイズを　作ろう ・みんなで　クイズを　出し合おう
		組み合わせた　ことばを　つかおう		言語事項	
		ことばの　広場			・たてもの、家具に　かんけいの　ある　ことばを　あつめましょう。
		3 じゅんじょを　考	わたしの　見学ノート	書く	・見学した　ことを　メモに　まとめよう

		えながら　書こう			・見学メモを　もとに　文しょうを　書こう
		組に　なる　ことばを　あつめよう		言語事項	組になる言葉を集めて分類する
		ことばの　広場			
		4 いろいろな　あそびに　ついて話し合おう	せかいの　かくれんぼ	話す・聞く	・二つの　かくれんぼに　ついて、つぎの　ことを　たしかめましょう。 ・じゅんびする　ものは　何か。 ・どのように　して　あそぶか。 ・二つの　かくれんぼの　あそび方を　くらべて　みましょう。 ・どんな　ところが　同じか。 ・どんな　ところが　ちがうか。 ・あそび方の　くふうを　話し合おう」 ・いろいろな　あそびを　しょうかいしよう ・あそび方の　くふうを　話し合おう ・あそび方の　くふうを　みんなに　しょうかいしよう
		主語と　じゅつ語に気を　つけよう		言語事項	・左の　絵を　見て、主語と　じゅつ語の　ある　文を　作りましょう。
		ことばの　広場			・組に　なる　ことばを　あつめましょう。 ・□に　入る　ことばを　考えましょう。
		5 むかし話の　おもしろさを　あじわおう	かさこじぞう	読む	・場しょと　出て　くる　人ぶつを　まとめよう ・場めんごとに、場しょと　出て　くる　人ぶつを　ノートに　まとめましょう。 ・じいさまと　ばあさまの　した　ことや　言った　ことから、二人が　どんな　人かを　考えましょう。 1 音読げきをする ・人ぶつの　気もちが　あらわれるように、音読の　し方を　工夫しましょう ・やくを　きめて　れんしゅうし、音読げきを　しましょう。 2 紙しばいをする ・それぞれの　場めんの　絵を　考えて、かきましょう。 ・絵に　合った　お話しの　文を　えらび、絵の　うらがわに　書きうつしましょう。 ・場めんの　ようすを　思いうかべながら、音読しましょう。 ・自分の　作った　紙しばいを　はっぴょうしましょう。

					・むかし話を　読もう
		おくりがなに　気をつけよう		言語事項	
		ことばの　広場			・「ことばの　せかい」を　見て、□に　ことばを　入れましょう。 ・「ことばの　せかい」を　さんこうに　して、学校の　まわりの　地図を　作りましょう。
		6 書き方を　くふうして	「きせつの　思い出ブック」をつくろう	書くこと	・きせつの　お話や　詩を　あつめよう ・「きせつの　思い出ブック」を　作ろう
		読書の　まど	おもしろい　お話		
		読書の　へや	あしたも　友だち	読書	
		日本語の　しらべ	夕やけ　小やけ		・声に　出して　読みましょう
			新しく　ならった　かん字		
			二年上で　ならった　かん字		
			一年で　ならった　かん字		
			かたかなの　ひょう		
			ことばの　せかい		
			だいじな　ことを　たしかめよう		

新編　新しい国語　　３年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	上		とおくに　みえる　き		
		1 場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう	すいせんのラッパ	読む	・声に出して読もう・「すいせんのラッパ」を目をさましたかえるたちの、それぞれのようすをそうぞうしながら、声に出して読んでみましょう。 ・二つの詩を、言葉のリズムを楽しみながら、声に出して読みましょう。 ・物語や詩を書き写し、声に出して読むときにくふうすることを考えよう
			どきん		
			夕日がせなかをおしてくる		
		国語じてんの使い方を知ろう		言語	

		言葉の広場		言語	
		2 自分をしょうかいするスピーチをしよう	知ってほしいな、自分のこと	話す・聞く	・自分について知ってもらいたいことを書き出そう ・スピーチの練習をしよう ・自分をしょうかいするスピーチをしよう
		しょうたいじょうを書こう		書く	・しょうたいじょうを書こう ・はがきに書いてみよう
			つづけてみよう	話す・聞く	
				書く	楽しかったことや心にのこったことを文しょうや詩に書いて、グループごとにしょうかいしましょう
				読む	読んだ本の記ろくを書きましょう
		形のかわる言葉に気をつけよう		言語	・動作や様子を表す言葉を見つけて、形がどうかわるか話し合いましょう。
		言葉の広場		言語	・□の中にはどんな言葉が入るでしょうか。 ・家族や親せきを表す言葉を集めましょう。
		3 だんらくごとに内ようをとらえながら読もう	自然のかくし絵	読む	・だんらくごとに書かれていることを正しく読みとろう ・だんらくごとに、かいてあることをノートに整理しましょう。 ・ノートに整理したことをもとに、つぎのことをたしかめましょう。 ・こん虫や生き物について書かれている本や、ほかの文章も読んでみましょう。
		どちらがすき		話す・聞く	・どのように答えれば、聞く人によく分かってもらえるか考えよう ・メモの書き方を考えよう
		漢字の組み立てと意味を考えよう		言語	・「さんずい」、「しんにょう」の漢字が、それぞれ何にかんけいのある意味を表すことが多いか考えてみましょう。
		言葉の広場			・つぎの言葉を春夏秋冬のそれぞれに分けましょう。 ・□の中に入る言葉を考えましょう。 ・動物や植物にかんけいのある言葉を集めましょう。
		4 物語のあらすじを考えながら読もう	ゆうすげ村の小さな旅館	読む	・物語を表に整理しよう ・あらすじを書こう ・本をたくさん読もう
		出来事をつたえよ		書く	・次の二つの文章を読んで、どちらが分かりやすいか、くらべてみましょう。

		う			・書くことをえらぼう ・出来事を書こう
		5 中心をはっきりさせてせつ明しよう	わたしのお気に入りの場所	話す・聞く	・しょうかいする場所を決めよう ・発表の練習をしよう ・発表会を開こう
		読書のまど	三年生の本だな		
		読書のへや	道具を使う動物たち		
		読書のへや	じゅげむ		
		新しく習った漢字			
		三年までに習う漢字			
		二年で習った漢字			
		言葉の世界			
		図書館へ行こう			

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	下		木の葉		
		1 世界の民話を読もう	木かげにごろり	読む	・場面のうつりかわりを表に整理しよう ・話のおもしろさについて話し合おう ・世界の民話を読もう ・読んだ民話のポスターを作ろう ・ポスターをしょうかいしよう
		想ぞうを広げて		書く	・絵を見て、想ぞうしてみよう ・想ぞうしたことをもとに、子どもたちを主人公にしたお話を書こう
		2 いろいろなお祭りについて調べよう	つな引きのお祭り	読む	・それぞれの「つな引きのお祭り」についてせつ明されていることをノートにまとめましょう。 ・各地の「つな引きのお祭り」には、どんないのりやねがいがこめられているでしょう。 ・自分たちの町や地方のお祭りや行事について、知っていることや調べてみたいことを話し合いましょう ・いろいろなお祭りや行事について調べて、しょうかいしよう ・しょうかいするお祭りや行事をえらぼう

					・いろいろな方ほうで調べよう ・調べたことをしょうかいしよう
		言葉の広場		言語	・言葉をえらんで、□の中に入れましょう。 ・次の言葉は、どんなものやことを数えるときに使いますか。
		漢字の表す意味を考えよう		言語	・次の言葉の中で、「空」「表」「家」という漢字が、それぞれどんな意味で使われているか話し合いましょう。
		3 伝えたいことをはっきりさせて書こう	「わたしの研究レポート」を書こう	書く	・調べることをえらぼう ・調べたことをメモしよう ・組み立てメモを書こう ・「わたしの研究レポート」を書こう
		様子をくわしく表そう		言語	・次の文の中から、様子をくわしく表す言葉をさがして、何の様子をくわしく表しているか考えましょう。 ・絵を見て、様子をくわしく言いましょう。 ・後の〔　　〕の中から言葉をえらんで（　　）に入れてみましょう。その言葉は、何の様子をくわしく表しているのでしょう。
		言葉の広場		言語	・上の地図を見て、家から学校までの間にあるたて物を、空欄の中に入れてみましょう。 ・自分の家から学校までの間にあるたて物をあげてみましょう。
		4 よりよいくらしについて話し合おう	もうどう犬の訓練	話す・聞く	・もうどう犬になるまでのことが、どういうじゅんじょで書かれていますか。だんらくの内ように気をつけてまとめましょう。 ・次のことが書かれている所をさがして、ノートにまとめましょう。 ・もうどう犬になるために、できなくてはいけないこと ・もうどう犬がしてはいけないこと ・「もうどう犬の訓練」を読んで、分かったことや感じたこと、もっと知りたいと思ったことを、おたがいに発表しましょう。 ・考えたことや調べたことを話し合おう ・どんなことについて話し合うかを決めよう ・いろいろな方ほうで調べて、自分の考えをまとめよう ・グループで話し合いをしよう ・感想をまとめよう
		いろいろなつたえ			・身の回りから、いろいろなつたえ方をさがしてみましょう。

		方を知ろう			
		5 中心となる人物の気持ちを考えよう	サーカスのライオン	読む	・物語の中心となる人物の気持ちを考えよう ・学習方をえらぼう　1ポスターを作る　2音読発表会をする ・心のふれあいを描いた物語を読む
		「こそあど言葉」を使い分けよう		言語	・絵を見て、こそあど言葉を使った文を作ってみましょう。 ・絵を見て、（　　）の中に、こそあど言葉を入れましょう。
		言葉の広場		言語	・「言葉の世界」から、組になる言葉をさがして□に入れましょう。 ・「言葉の世界」をさん考にして、きせつごとに学校の行事をあげましょう ・病院に関係のある言葉を集めましょう
		6 想ぞうしたことを書こう	「もしもの国」に行ってみよう	書く	・「もしもの国」を想して書こう　[昔話の国][動物の国][未来の国]「ぼうけんの国] ・「もしもの国」の発表をしよう
		読書のまど	世界の民話	読書	
		読書のへや	手ぶくろを買いに		
		日本語のしらべ	どこかで春が		
		新しく習った漢字			
		二年で習った漢字			
		言葉の世界			
		だいじなことをたしかめよう			

新編　新しい国語　　４年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	上		春		
		１．人物の気持ちを想ぞうしながら声に出して読もう	こわれた千の楽器（野呂　さかん）	読む	・声に出して読もう ・「こわれた千の楽器」を、楽器たちの気持ちを想ぞうしながら、声に出して読みましょう。 ・二つの詩を、えがかれている様子や気もちを想ぞうしながら、声に出して読みましょう。
			ふしぎ（金子　みすず）	読む	

			よかったなあ（まど・みちお）	読む	・声に出して読むときにくふうすることを考えましょう
		漢字辞典の使い方を知ろう		言語	漢字辞典を使って、今までに習った漢字について、読み方や意味、ほかの漢字とむすびついてできる言葉を調べてみましょう。
		言葉の広場		言語	
		2.出来事をしょうかいするスピーチをしよう	知らせたい、あんなことこんなこと	話す・聞く	身の回りで起こったおもしろいこと、感動したことなど、知ってもらいたい出来事を話題にしてスピーチをしましょう。
		お礼の手紙を書こう		書く	・お礼の気持ちが伝わるように ・お世話になった人に、お礼の気持ちを伝える手紙を書きましょう。 ・お礼の手紙を書こう ・だれに、どんなことについてお礼の気持ちをつたえるかを考えて、手紙を書きましょう。 ・手紙を出すときの、ふうとうの書き方も覚えておきましょう。
			続けてみよう	話す・聞く・読む・書く	・国語の学習を続けていく計画を立てましょう。 ・朝の会や帰りの会で、二、三人ずつ一分間スピーチをしましょう。 ・体験したことや学習の記録を、ノートやメモに書いて残しておきましょう。 ・いろいろな本を読んで読書カードに書きましょう。
		主語と述語の関係をとらえよう		言語	
		言葉の広場		言語	
		３．だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう	ヤドカリとイソギンチャク（武田　正倫）	読む	・だん落とだん落の結び付きを考えながら、書かれていることを読み取ろう ・この文章は五つのまとまりからできています。まとまりごとに、書いてあることをノートに整理しましょう。 ・この文章には、問いかけをしているだん落と、それに答える内ようのだん落とがあります。次の問いに対する答えの中心になっている部分はどこですか。 ・ヤドカリとイゾギンチャクはどんな関係ですか。 ・生き物や自然について書かれたほかの本も読んでみましょう。
		電話で伝え合おう		話す・聞く	・高山さんの話し方について考えよう ・坂田さんと、黒岩さんのお母さんの聞き方をくらべよう ・伝言ゲームをしよう
		漢字の読み方に気をつけよう		言語	

		言葉の広場		言語	
		４．物語のもり上がりを考えながら読もう	夏のわすれもの（福田　岩緒）	読む	・物語を一本の線で表そう　・物語の出来事の流れを、図のように、一本の線で表してみましょう。〔物語全体を読んで、かん単にあらすじをまとめます。出来事の流れの中で大切だと思う文をすべてぬき出します。その中で、もっとも大切だと思う文（物語がいちばんもり上がるところ）をぬき出します。最初の文と最後の文、ぬき出した文を、物語の順番に書き写します。最も大切だと思う文を◎印、そのほかの文を●印にして、この物語がどのようにもり上がっていったかを図に表してみましょう。〕 ・物語のもり上がりについて考えよう ・かいた図を友だちと見せ合い、ぬき出した文や付けた印の、同じ点やちがう点をたしかめましょう。
		自分新聞を作ろう		書く	・伝えたいことを選ぼう ・四年生になってから体験したこと記事に書いて、「自分新聞」を作りましょう。 ・学校生活の中から　・家での毎日の生活の中から ・メモに書き出そう ・新聞にまとめよう ・新聞を読み合おう
		５．すじ道を立てて説明しよう	「くらしの百科」の時間です	話す・聞く	・「生活のくふう」について調べ、メモにまとめよう ・発表の練習をしよう ・発表会を開こう
		ローマ字１		言語	
		読書のまど	四年生の本だな	読む	
		読書の部屋	色さいとくらし	読む	
			ポレポレ（西村　まり子）	読む	
			新しく習った漢字	言語	
			四年までに習う漢字	言語	
			三年で習った漢字	言語	
			言葉の世界	言語	
			図書館へ行こう	読む	
		漢字の練習		言語	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	下		水平線		
		１．愛の心をえがいた物語を読もう	世界一美しいぼくの村（小林豊）	読む	・物語の出来事の流れをまとめよう ・思ったことや感じたことを話し合おう ・愛の心をえがいた本を読もう ・読書会を開こう
		心の目を開いて		書く	・毎日の生活の中から、題材を見つけて、感じたことや想ぞうしたことを詩に書きましょう。 ・書いた詩を、みんなで交かんした読み合いましょう。
		２．いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう	ウミガメのはまを守る（清水達也）	読む	・ウミガメの保護について、どんなことが説明されているかを整理しましょう。 ・本文の写真を使いながら、ウミガメを守るくふうについて発表しましょう。写真には、説明を付けるようにしましょう。 ・自分たちの学校や、住んでいる地いきで行われ手いる「環境を守るくふう」について、知っていることや調べたいことを話し合ってみましょう。 ・自分たちの町の「環境を守るくふう」について調べ、パンフレットにまとめよう　・しょうかいする「環境を守るくふう」を決めよう　・グループで情報を集めよう　・集めた情報をまとめてパンフレットを作ろう　・いろいろな人に伝えよう
		文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう		言語	
		言葉の広場		言語	
		３．中心をはっきりさせて書こう	活動ほう告を書こう	書く	・ほう告することについて話し合おう ・クラブ活動や学級の係り活動など、みなさんが取り組んでいる活動について、ほう告する文章を書きましょう。 ・グループごとに話し合って、ほう告したいことを選びましょう。そして、分たんを決めて協力して書きましょう。 ・取材メモを書こう ・順じょやほう告の中心を決め、組み立てメモを書こう ・組み立てメモをもとに、ほう告する文章を書こう
		言葉の広場		言語	

		４．くらしの中の世界について話し合おう	くらしの中の和と洋	話す・聞く	・「和」と「洋」のそれぞれの良さが、どのような点からのべられていますか。 ・和室と洋室についてのべられているところをノートに整理しましょう。 ・「衣」や「食」の中にある「和」や「洋」をさがしてみましょう。 ・くらしの中の世界の文化について話し合おう　・話題を決めよう　・話題ごとに話し合おう　・考えたことをまとめよう
		漢字を正しく使おう		言語	
		言葉の広場		言語	
		５．人物の気持ちのうつり変わりを考えよう	ごんぎつね（新美　南吉）	読む	・人物の気持ちの変化を、出来事の流れにそってまとめよう ・「ごんぎつね」の出来事の流れを、一本の線で表してみましょう。 ・ごんの兵十に対する気持ちの変化を、ノートにまとめましょう。 ・学習方法を選ぼう 1 本の帯を作る　2 読書会をする　3 音読発表会をする ・同じ作者の本を読もう
		６．伝えたいことを選んで書こう	一年間の思い出をしょうかいしよう	書く	・一年間をふり返ろう　・しょうかいの方法を考えよう　・文章を書こう　・新聞や文集を読み合おう
		ローマ字２		言語	
		読書のまど	愛の心をえがいた本	読む	
		読書の部屋	一つの花（今西　祐行）	読む	
		日本語のしらべ	あの町この町（野口　雨情）	読む	
		もっと知りたいとき、読んでみましょう	清水（井関　義久）	読む	
			新しく習った漢字	言語	
			三年で習った漢字	言語	
			言葉の世界	言語	
			だいじなことをたしかめよう	話す・聞く・読む・書く	
		漢字の練習		言語	

新編　新しい国語　　５年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	上		今日はきのうの続きだけど		
		１．表現のくふうを考えながら声に出して読もう	だいじょうぶ　だいじょうぶ（いとう　ひろし）	読む	・声に出して読もう ・「だいじょうぶ、だいじょうぶ」を声に出して読もう。 ・二つの詩を、言葉の意味を考えたり、えがかれている情景を想像したりしながら、声に出して読もう。 ・声に出して読むときに工夫することを考えよう
			水のこころ（高田　敏子）	読む	
			山頂から（小野　十三郎）	読む	
		言葉の種類に気をつけよう		言語	
		言葉の広場		言語	
		２．自分の考えを伝えるスピーチをしよう	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	話す・聞く	・話すことを考えよう ・メモを作ってスピーチの練習をしよう ・スピーチをしよう
		質問の手紙を書こう		書く	・手紙にはいろいろな種類があります。それぞれの目的にふさわしい書き方をくふうしましょう。
			続けてみよう	話す・聞く・読む・書く	・国語の学習を続けていく計画を立てましょう。 ・朝の会や帰りの会で、一分間スピーチをしましょう。自分の身の回りの出来事をしょうかいし、それについての自分の感想や意見を話しましょう。 ・学習したことや体験したことについて、記録や感想をノートやカードに書いて残しておきましょう。 ・本をたくさん読みましょう。そして、読んだ本のことを、自分の「読書ノート」に記録しましょう。
		国語辞典を活用しよう		言語	
		言葉の広場		言語	
		３．文章の仕組みを考えながら読もう	動物の体（増井　光子）	読む	・文章の仕組みを考えながら、書かれていることを読み取ろう。 ・まとまりごとに、書いてあることをノートに整理しよう。 ・動物の体の特ちょうを読み取ろう。

				・動物の体の形と気候との関係や、動物の体内の仕組みと環境との関係が、どのようなだん落の組み立てで書かれているかまとめよう。 ・筆者がいちばん言いたいことは何か。それはどのだん落に述べられているか考えよう。 ・動物や自然環境について書かれたほかの本や文章も読んでみよう。
		会話をはずませよう		話す・聞く	・小林さんと倉田さんの会話について考えよう ・早川さんと山根さんの会話について考えよう ・二人一組になって、自分がしたことや、見たこと、聞いたことなどから、友達に教えてあげたいことを話しましょう。聞く側は、その話の内容が深まるように、受け答えしましょう。
		漢字の由来に関心を持とう		言語	
		言葉の広場		言語	
		４．強く心に残ったことを考えながら読もう	ちかい（ジェラティ）	読む	・物語の流れをまとめよう ・どんな出来事が起こり、それがどうなったか、次のような点に注意して、物語の流れをノートにまとめよう。〔時・場所・登場人物・出来事、人物の行動や会話・人物の心の動き〕 ・最も強く心にのこったことを短い文で表そう ・物語を読んで、最も強く心に残ったこと、その物語が自分に強く語りかけてきたことを、自分の言葉で一文に書き表そう。 ・最も強く心に残ったことを話し合おう ・まとめた文をグループやクラスで発表しよう。友達と自分との感じ方のちがいなどについて話し合い、考えを深めよう。 ・テーマにそって読書をしよう ・「ちかい」には、「人間と動物」「人間と自然」など、自分が興味を持ったテーマにそって、本を読み広げていこう。
		相手や目的を考えて		書く	・左のメモは、ある五年生の図書委員が書いたものです。このメモをもとに、図書委員になったつもりで、文章を考えましょう。〔①三年生に、図書委員の仕事を紹介する。②高学年の人に、図書委員の仕事をしょうかいし、学校図書館の利用をよびかける。〕 ・自分が参加している委員会やクラブについて、次のような文章を書きましょう。〔低学年の人や家の人に、活動の様子をしょうかいする文章・五年生に、参加や協力をよびかける文章〕 ・書いた文章をそれぞれの人たちに読んでもらい、感想を聞かせてもらいましょう。

		５．話の組み立てをくふうして	ニュースを伝え合おう	話す・聞く	・ニュースについて調べよう　・話題をつかむ　・情報を整理する　・話し方などのくふうに着目する ・ニュースを伝える練習をしよう ・ニュースを伝えよう
		方言と共通語に関心を持とう		言語	
			言葉の広場	言語	
		読書のまど	五年生の本だな	読む	
		読書の部屋	大造じいさんとがん（椋 鳩十）	読む	
			人はねむる、動物もねむる（井上　昌次郎）	読む	
			ローマ字の表	言語	
			新しく習った漢字	言語	
			五年までに習う漢字	言語	
			四年で習った漢字	言語	
			言葉の世界	言語	
			図書館へ行こう	読む	
		漢字の練習		言語	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	下		あなたの心のなかに		
		1 人間の生き方をえがいた作品を読もう	マザー・テレサ	読む	・テレサがしたことを表にまとめよう ・テレサの考え方や生き方について話し合ってみよう ・伝記を読もう ・本のカバーを作ろう・本のカバーをしょうかいしよう
		一まいの地図から		書く	・絵を見て、想像してみよう ・想像したことを物語に書こう
		2 いろいろな環境	森林のおくりもの	読む	・知りたいことをまとめよう

		問題について調べよう			・調べてみたい問題についての資料を見つけよう ・ブックガイドを作ろう ・成果を分かち合おう
		敬語を適切に使おう		言語	・次のことを話すとき、ア、イ、ウのように相手や場面が変わると言い方がどう変わるか考えてみましょう。
		3 いろいろな角度から考えて書こう	考えをまとめて書こう	書く	・いろいろな角度から考えよう ・考えをまとめて文章を書こう
		動詞にそえて使う言葉に目を向けよう		言語	
		言葉の広場			
		4 身近な生活について討論しよう	インスタント食品とわたしたちの生活	話す・聞く	・まとまりごとの内容をまとめ、筆者が、どんな組み立てで考えを述べているかとらえよう。 ・文章の中で筆者が述べていること以外に、インスタント食品にはどんな良さや問題点があるか考えてみよう。 ・インスタント食品の良さとして挙げられること、問題点として挙げられることへの反論を考え、カードなどに書き出してみよう。 ・身近な問題を取り上げて討論しよう
		短歌と俳句を味わおう		読む	
		5 表現のおもしろさを考えよう	注文の多い料理店	読む	・表現のくふうや、登場人物の心情の変化について考えよう ・学習方法を選ぼう 1 本のカバーを作る ・出来ごとの流れを短い文章にまとめよう ・最も強く心に残ったことを短い言葉で表現し、それを中心に感想をまとめよう ・次のようなことを入れた、「注文の多い料理店」の本のカバーを作ろう 2 解説ノートを作る ・グループごとに話し合い、解説ノートに書く内容を決めよう ・書く内容を分たんし、解説ノートを作ろう ・解説ノートの最後に、グループの一人一人が最も強く心に残ったことを書こう ・完成した解説ノートの内容を、グループ全員でしょうかいしよう 3「朗読発表会」をする

					・「注文の多い料理店」を読んで、最も強く心に残った場面を選ぼう ・選んだ場面の様子や、二人のしんしの心情を考えよう ・場面の様子や、二人のしんしの心情がよく表れるように、朗読の仕方を考えよう ・朗読の練習をしよう ・最も強く心に残ったことを話した後で、朗読の発表会をしよう
		熟語の意味を考えよう		言語	
		言葉の広場			
		6 題材や表現に注意して	昔話をしょうかいしよう	書く	・自分たちの地いきの昔話を知ろう ・昔話のあらすじを書こう ・昔話のしょうかいをしよう 1 昔話の「研究ノート」を書く 2・昔話の「語り」をする ・昔話に親しもう
		読書のまど	伝記	読書	・本をたくさん読みましょう
		読書の部屋	1000 の風、1000 のチェロ		
		日本語のしらべ	この道		・声に出して読みましょう
			竹取物語／百人一首		・声に出して読みましょう
			吾輩は猫である・坊っちゃん		・声に出して読みましょう
			蜘蛛の糸		・声に出して読みましょう

新編　新しい国語　　６年上・下　　東京書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	上		紙風船		
		1 表現を味わいながら声に出して読もう	風切るつばさ	読む	・声に出して読もう ・声に出して読むときにくふうすることを考えよう
			野のまつり	読む	
			五月	読む	
			雪	読む	

		言葉の広場			
		漢字辞典を利用しよう		言語	
		2 自分の意見を伝えるスピーチをしよう	伝え合おう、わたしの意見	話す・聞く	・話したいことを選ぶ ・スピーチメモを作って、スピーチの練習をしよう ・スピーチをしよう
		依頼の手紙を書こう		書く	・依頼の手紙を書くときには、依頼の理由や内容を整理して、分かりやすく書きましょう。
			続けてみよう	書く	・国語の学習を続けていく計画を立てましょう。次にしょうかいすることを参考にしましょう。
		ことわざや昔の言い方に関心を持とう		言語	・次のことわざは、どんな意味を表しているでしょうか。 ・音楽の教科書を見て、歌詞の中から言い方を見つけてみましょう。
		言葉の広場			
		3 文章の構成を考えながら読もう	イースター島にはなぜ森林がないのか	読む	・文章の構成を考えながら、書かれていることを読み取ろう ・この文章は大きく三つのまとまりから構成されている。まとまりごとの内容を考えて、書いていることをノートに整理しよう。 ・イースター島にはなぜ森林がないのかについて読み取ろう。 ・筆者がこの文章でうったえようとしているのはどんなことか、話し合おう。 ・教科書の「付録」も参考にして、自然や環境について書かれた本や文章を読んでみよう。
		気持ちのよい話し方をしよう		話す・聞く	・相手のことを思いやった言葉づかいをしよう ・内山さんになったつもりで、和田さんにたのんでみましょう「はい、どうぞ」と、和田さんが気持ちよく本をわたせるように言いましょう。 ・相手が校長先生だとしたら、どのように言うとよいでしょう。 ・内山さんと、男の子の道のゆずり方を比べてみましょう。内山さんに道をゆずられた人は、どんなふうに感じたと思いますか。
		日本の文字に関心を持とう		言語	
		言葉の広場			
		4 強く語りかけてきたことを考えて読もう	ヒロシマのうた	読む	・物語の流れをとらえよう ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめよう ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて話し合おう ・読書を通じて考えを深めよう

		しょうかい文を書こう		書く	・上の文章と下の文章を比べてみましょう。 ・クラスや人物など、一つの題材についてのしょうかいを、目的と意図を考えてくわしく書いたり、簡単に書いたりしましょう。
		5 役割に応じた話し方をくふうして	ニュース番組を作ろう	話す・聞く	・ニュース番組について調べよう ・どんなコーナーがあるか ・各コーナーは、どのくらいの時間でまとめられているか ・どんな役割の人がいるのか ・分かりやすく伝えたり、見る人の興味をひきつけたりするために、どんな工夫がされているか ・自分たちのニュース番組を作り、発表の練習をしよう 1 番組の全体構成を決めよう　2 取材に出かけよう 3 番組の台本を作ろう　4 発表の練習をしよう ・ニュース番組発表会を開こう
		読書のまど	六年生の本だな		
		読書の部屋	桃花片		
			マンモス絶滅のなぞ		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	下		いのち		
		1 作家と作品をかかわらせて読もう	宮沢賢治	読む	・宮沢賢治の年表を作ろう ・賢治の理想や生き方について話し合おう ・賢治や他の作家の作品を読もう ・ポスターセッションをしよう ①ポスターに書く内容を決めよう　②ポスターを作って、せつめいの練習をしよう ③ポスターを使って発表し合おう
		感動をリズムにのせて		書く	・俳句を作ろう
		2 いろいろな言葉について調べよう	言葉の意味を追って	読む	・次のことを整理しよう。　・国語辞典とはどのようなものか。　・「広辞苑」の特ちょうと、出版されるまでの流れ。　・新村親子の、辞書作りにかける情熱。　・この文章を読んで、辞典作りについて分かったことをまとめよう。　・国語辞典は、どのような作業の過程を経て出版されるのか。　・辞典を

					作るときに大切なことや難しいことはどんなことか。 ・辞書を作ろう ・辞書作りにちょう戦しよう ・言葉を説明する観点を考えよう ・辞典に取り上げる言葉を説明しよう ・辞典を作ってしょうかいし合おう
		言葉の由来に関心を持とう		言語	・身近な外来語について、どこの国の言葉だったか調べてみましょう
		言葉の広場			
		3 構成をくふうして書こう	「わたしの意見」を書こう	書く	・取り上げる問題を決めよう ・いろいろな方法で取材し、メモを書こう ・自分の考えをはっきりさせて、構成メモを書こう ・意見文を書こう ・意見を伝え合おう
		文末の言い方に目を向けよう		言語	・二つの文をそれぞれ比べて、判断の仕方がどうちがうか話し合いましょう。 ・次の[　　]のような場面では、文末がどのような言い方になるか、話し合いましょう。
		言葉の広場			
		4 わたしたちの「未来」について討論しよう	百年前の未来予測	話す・聞く	・予測記事のしょうかいとして挙げられているそれぞれの内容は、どういう分野に関することか、整理してみよう。 ・科学技術が進歩し、生活が便利になるとともに起こってきた問題について、筆者はどんな例を挙げ、どんな考えを述べているか。 ・五十年後、百年後の私たちの生活の様子や、できるようになることを予測してみよう。また、それにともなって起きる問題も考えてみよう。 ・「未来」についての討論会を開こう ・討論会の進め方を知り、計画を立てよう ・討論者と司会者を決めよう ・分野ごとに討論会をしよう
		文の組み立てに目を向けよう		言語	・次の（　　）中に、文の骨組みを作る言葉を入れて、いろいろな文を作りましょう。 ・－を引いた言葉が、どの言葉を修飾しているかに注意して、文の意味のちがいを話し合いましょう

		言葉の広場			
		5 人物の生き方を考えよう	海のいのち	読む	・登場人物の生き方を考えながら読もう ・「海」は、登場するそれぞれの人物にとって、どのような意味を持っているのか考えよう。 ・「瀬の主」に対する太一の考えは、どのように変化しただろう。ノートにまとめよう。 ・「海のいのち」を読んで、人物の生き方を中心に感想をまとめよう。まとめた感想を発表しよう。 ・学習方法を選ぼう 1 ポスター・セッションをする ・海の命を読んで、ポスターを作ろう。 ・ポスター・セッションで説明する練習をしよう。 ・説明役と聞き役とに分かれて、ポスター・セッションをしよう。 2 読書会をする ・グループごとにテーマを決めて話し合おう。 ・話し合ったことをふまえて、自分に最も強く語りかけてきたことをまとめよう。 まとめをもとに、さらに、グループで話し合おう。 3 「語り」発表会をする ・「海のいのち」を読んで、自分に最も強く語りかけてきたことをノートにまとめよう。 ・最も強く心に残った場面を選び、「語り」の練習をしよう。 ・自分に最も強く語りかけてきたことについて話した後、「語り」を発表しよう。 ・同じ作者の本を読もう
		熟語の構成について考えよう		言語	・意味を考えながら、上の例のように熟語の構成を図で示しましょう。
		言葉の広場			
		6 さまざまな表現方法を生かして	「未来へのメッセージ」を書こう	書く	・文集や新聞にまとめる ・メッセージを伝え合おう
		読書のまど	一人の作家を追って		・本をたくさん読みましょう
		読書の部屋	雪渡り		
		日本語の調べ	ふるさと		・声に出して読みましょう
			枕草子／平家物語		・声に出して読みましょう
			「論語」の言葉		・声に出して読みましょう

しょうがくこくご　１　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	上		みんなのはる		
			あいうえお		
			あいさつ		
			わたしの　なまえ		
			おはなし　きかせて		
			みつけたよ		
			まおうの　はこ		
			あいうえおの　うた		・はっきりと　よもう ・たてに　よんで　みよう ・よこに　よんで　みよう
			きいて　ほしいな		
			どうぞの　いす		
			した　こと、おしえて		
			だいじな　たまご		
			おはなしを　つくろう		
			おおきな　かぶ		
			がっこうとしょかんへ　いこう		
			えにっきを　かこう		・おもしろかった　ことや　たのしかった　ことを、えと　ぶんに　かきましょう
			ぶどう		
			なつやすみの　こと		・みなさんも、ともだちと　はなしあって　みましょう
			かんじが　できた		
			かぞえて　みよう		
			ひらがなの　ひょう		
			かたかなの　ひょう		
			あたらしく　ならった　かんじ		

			いろいろな　かぞえかた		
			一ねんせいの　ほんだな		
			こえを　だそう		・よむ　まえに　れんしゅうしましょう ・口の　かたちに　きを　つけて　よみましょう ・おおきな　こえで　よみましょう

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	下	一　だれがなにをしたかをよもう	はんぶんずつ　すこしずつ	読む	・おはなしを　よんで、どうぶつたちの　した　ことを　はなしあいましょう。 ・だれが、どう　したかに　きを　つけて、こえに　だして　よみましょう。
					・森の　くまじいさんは、さけを　どう　しましたか。はなしあいましょう。
					・ほかの　どうぶつたちは、どう　しましたか。ノートに　かきましょう。
					・どうぶつたちが　てがみと　マフラーを　とどけたのは　なぜですか。とどけた　どうぶつに　なって、はなしましょう。
					・くまじいさんに　なって、へんじの　てがみを　かいて、はっぴょうしましょう。 ・おはなしを　よむ　ときは、だれが　どんな　ことを　したのかを　かんがえて　よもう。
			日づけの　よみかた	言語	
		二　よくおもいだしてかこう	おしえて　あげたい　こと	書く	・かく　ことを　みつけて、どんな　ことが　あったか、よく　おもいだしましょう。
			くらべて　せつめいしよう	話す・聞く、書く	・みなさんも、「いぬと　ねこ」「トラックと　バス」などで、おなじ　ところや　ちがった　ところを　みつけて、せつめいして　みましょう。
			よう日の　よみかた	言語	
		三　なにがどうするのかをよもう	たねの　たび	読む	・といかけて　いる　ぶんを　みつけて　ノートにかきうつしましょう。
					・「　をみてください。」という　ぶんに　きを　つけて　よみとり、つぎの　ことをはなしあいましょう。
					・どんな　草や　木の　ことが　かかれて　いますか。
					・それぞれの　草や　木の　たねは、どこに　ありますか。
					・それぞれの　たねは、どんな　たびの　しかたを　しますか。

					・「おおくの　たねは、たびを　しやすい　ふくを　きて」と　かかれて　いますが、三つの　たねは、どんな　ふくを　きて　いますか。えを　かいて、せつめいしましょう。
			かずの　よみかた	言語	・よんで　みましょう。　・かぞえて　みましょう。
		四　おもしろい本をよもう	天に　のぼった　おけや	話す・聞く、読む	・おはなしの　すじの　おもしろい　ところを　みつけながら、こえに　出して　よみましょう。
					・ともだちと　やくわりを　きめて　よみましょう。
					・「トーンカッカ」「ピイピイ　カラカラ」などの　いいかたを、いろいろな　よみかたで　たのしみましょう。
					・おもしろいと　おもった　ところを、えに　かいて　はっぴょうしましょう。
					・しって　いる　ほかの　むかしばなしを、ともだちと　おしえあいましょう。
					・としょかんで、むかしばなしの　ほんを　えらんで　よみましょう。
			おはなしを　おしえっこしよう	話す・聞く、書く	・よんだ　日と、本と、かいた　人を、「おはなしノート」に　かいて　おきましょう。
					・おもしろかった　本の　すきな　ところや、おもった　ことを　えと　文に　して　かいて　おきましょう。
					・いちばん　おもしろいと　おもった　本を　えらんで、ともだちと　おしえっこしましょう。 ・みなさんも、おもしろかった　本を　かみ人ぎょうで、おしえっこしましょう。
			かたかな　1	言語	・かたかなを　よんだり、かいたり　して　みましょう。
		五　ことばであそぼう	なぞなぞで　あそぼう	言語	・つぎの　なぞなぞの　こたえが　わかりますか。
					・なぞなぞを　つくって　みましょう。
					・なぞなぞを　つくったら　みんなで　あそびましょう。
			気もち	読む	
			みんなの　し	書く	・はなしかけるように　かきましょう。
			かたかな　2	言語	・よんでみましょう。　・かきあらわしかたをくらべてみましょう。
		六　よんでつくってみよう	かみコップ人ぎょう	話す・聞く、書く、読む	・よういする　ものを　よみとりましょう。
					・じゅんじょを　あらわす　ことばに　気を　つけて、つくりかたを　よみとりましょう。 ・はじめに　・つぎに　・さいごに
					・つくりかたが　わかったら、じぶんで　つくりましょう。
					・うまく　できなかった　ときは、もう　一ど　よんでやりなおしましょう。（□に　○を　つけましょう。）
					・ものの　つくりかたの　かいてある、ほかの　本を　よんで、みんなに　はっぴょうしましょう。
			文を　つくろう	言語	

			かん字さがし	言語	・つぎの　えの　なかには、かん字で　かける　ものが　あります。さがして　みましょう。 ・かん字で　かける　ものを、えの　なかから　さがして、ともだちと　はなしたり、ノートに　かいたり　して　みましょう。
			たのしい　こうえん	話す・聞く、書く	・みんなと　あそびましょう。　・こうえんに　たくさんの　人が　います。こどもたちは、どんな　あそびを　して　いますか。 ・ほかに、どんな　人たちが　いるでしょう。
		七　じぶんの力でよもう	ぴかぴかの　ウーフ	話す・聞く、書く、言語	・おはなしの　はじめから　おわりまで、はっきりした　こえで　よみましょう。
					・ウーフは、だれと　出あいましたか。また、その　とき　どう　しましたか。じゅんばんに　ノートに　かきましょう。
					・おはなしの　おもしろい　ところを　見つけて、はなしましょう。
			ひらがなと　かたかなの　ひょう	言語	
			あたらしく　ならった　かんじ	言語	
			一ねんで　ならう　かんじ	言語	
			かん字の　ぶぶん	言語	・かん字の　ぶぶんを　しらべて　みましょう。
			かきうつそう	書く	・字を　まちがえないように、さいごまで　ていねいに　かきましょう。
					・どんな　ことを　うたった　うたなのかをかんがえましょう。
					・こえに　出して　たのしく　よみながら、おぼえましょう。
			こえの　大きさ	話す・聞く、読む	

小学こくご　２　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	上	一　学しゅうのめあてをもとう	たけのこ　ぐん！（詩）	読む	
			大きな　キャベツ（ものがたり）	話す・聞く	・先生に　おはなしを　よんで　もらって、ききましょう。
					・おはなしを　きいて　おもった　ことを　はなしましょう。
			お話の　はこを　作ろう	書く	・お話の　たねを　たくさん　あつめて、「お話のはこ」に　入れましょう。

					・お話の　はこから　一まいずつ　カードを　とり出して、たずねたい　ことを　その　人に　あてて　書きましょう。
					・おたずねの　カードを　もとに、いろいろ　おもい出して　作文に　書いて　みましょう。
			じぶんの　めあてを　きめよう	話す・聞く、書く	1 「たけのこ　ぐん！」「大きな　キャベツ」「お話の　はこを　作ろう」の学しゅうで、はんや　みんなで　した　ことに　〇を　つけましょう。
					2 はじめの　おりこみ「1年で学しゅうした　こと」を　見て、いまの　じぶんの　国語の　力を　たしかめましょう。
					3 国語の　学しゅうで、どんな　ことが　じょうずに　なりたいか、話しあいましょう。
					4 これから　一年かん、あなたが　いちばん　がんばりたい　ことを　書いて　おきましょう。
			わたしの　すきな　ことを　話そう	話す・聞く	・学きゅうの　みんなに、「わたしの　すきな　こと」を　話しましょう。 ・話す　ときは、聞く　人に　聞こえる　声で、じゅんじょよく、ていねいに　話しましょう。 ・聞く　ときは、話を　さいごまで　しっかり　聞きましょう。
		二　じんぶつのしたことをよもう	お手紙（ものがたり）	読む	・かえるくんや　がまくん、かたつむりくんに　なった　つもりで、声に　出して　よみましょう。
					・１７ページと　２５ページの　かえるくんと　がまくんの　えを　見ながら、そのときの　ようすを　話しあいましょう。
					・つぎの　ことを　かんがえて　ノートに　書き、話しあいましょう。
					・かえるくんが　大いそぎで　いえへ　かえった　わけ。
					・かえるくんが　がまくんに「・・・・もうちょっと　まって　みたら　いいと　思うな。」と　言った　わけ。
					・「とても　いい　手紙だ。」と　がまくんが　言った　わけ。
					・この　お話で　おもしろいなあと　思った　ところを　はっぴょうしましょう。
			とらと　ふえふき（みんわ）	読む	
			文を　作ろう	言語	
		三　じゅんじょを　かんがえて書こう	学校での　できごと	書く	・学校での　できごとを、じゅんじょよく　作文に　書きましょう。
					・書きおわったら、よみかえしたり、ともだちに　よんで　もらったり　して、わかりやすく　書き直しましょう。
					・できあがった　作文は、声に　出して　よみ、家の　人に　聞いて　もらいましょう。

			かん字の　組み合わせゲーム	言語	・かん字カードを　作り、形の　にた　かん字を　組み合わせる　ゲームを　して　みましょう。
			じゅんじょを　かんがえて　せつめいしよう	話す・聞く、書く	・みなさんも、この　地図を　見ながら、石川さんの　家から　いろいろな　ところへ　行く　道じゅんを、書いたり、話したり　して、せつめいして　みましょう。おなじように、竹中さんの　家からも　せつめいして　みましょう。
		四　じゅんじょに気をつけてよもう	すなはまに　上がった　アカウミガメ（せつめい文）	読む	・アカウミガメの　お母さんが　する　ことを　かんがえながら、はっきりした声で　よみましょう。
					・もんだいを　出して　いる　文を　見つけて、ノートに　書きましょう。
					・アカウミガメの　お母さんが　たまごを　うむ　ために　する　ことを、ノートに　書きましょう。
					・おきに　かおを　出した　とき。　・すなはまに　上がって　いく　とき。
					・あなを　ほる　とき。　・たまごを　うんだ　あと。
					・その　一つ一つに　ついて、わけを　話し合いましょう。
					・じゅんじょを　あらわす　ことばに　気を　つけて　よみましょう。
					・アカウミガメの　お母さんの　しゃしんを　見て、思った　ことや　かんがえた　ことを　話し合いましょう。
			はしの　話（せつめい文）	読む	
			本の　せかいを　たのしもう	読書	・学校の　図書かんの　いろいろな　本を　読んで　たのしみましょう。そして、本の　名前と　おもしろかった　ところを　「お話カード」に　記ろくして　おきましょう。
			あめのうた（詩）	読む	
			みんなの　詩	書く	・「こんな　ことが　あったよ。」と　いう　気もちで　書きましょう。
		五　会話をたのしもう	いろいろな　人に　なって	話す・聞く	・田中さんたちのように、いろいろな　人に　なって、会話を　して　みましょう。 ・会話が　つづくように　なったら、みんなの　前で　はっぴょうしましょう。
			なかまの　かん字あつめ	言語	・なかまの　かん字を　あつめて、あそびましょう。
			一年で　ならった　かん字	言語	
			２上の　まとめ		
			あたらしく　ならった　かん字	言語	
			一年で　ならった　かん字	言語	
		読みもの大すき	コスモスさんからお電話です（ものがたり）	読む	
		国語の　ひろば	お話の　たね	話す・聞く、書く	・絵や　ことばを　手がかりに、話したい　ことや　書きたい　ことを　見つけましょう。

			ノートの　くふう	書く	・何を　学んだのかを　書きとめて、たしかめましょう。
			二年生の　本だな	読む	
			げんこう用紙の　つかい方	書く	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	下	一　おもしろい本をしょうかいし合おう	かさこじぞう（みんわ）	話す・聞く、書く、読む	・じいさま、ばあさま、じぞうさまなどのやくにわかれ、声に出して読みましょう。
					・大みそかのできごとをばめんにわけ、それぞれのばめんでのじんぶつのようすをまとめましょう。
					・じいさまやばあさまのやさしさがわかるのはどんなところか、ばめんごとに話し合いましょう。
					・「かさこじぞう」のようなむかし話を読んで、みんなにしょうかいしましょう。
			本の中の音楽をさがそう	読む	・いろいろな本を、中の歌や音楽をさがしながら読んでみましょう。
			「読書ゆうびん」を出し合おう	書く	・「読書ゆうびん」を出し合って、友だちに本をしょうかいしたり、さがしている本を教えてもらったりしましょう。 ・みなさんも、いろいろな「読書ゆうびん」を出し合いましょう。
		二　読んでわかったことを知らせ合おう	どんぐりとどうぶつたち（せつめい文）	話す・聞く、書く、読む	・書かれていることを、夏・秋・冬・春にわけて、ひょうにまとめましょう。 ・さし絵をさんこうにして、せつめいしてあることをたしかめましょう。
					・地面や土の中のどんぐりについて、もんだいを出している文を書きうつし、そのこたえを話し合いましょう。
					・「そのかわり」（２５ページ８行目）ということばの、前の文とあとの文をノートに書きうつして話し合いましょう。
			どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	話す・聞く、書く	・「どんぐりとどうぶつたち」を読んでわかったことや、ほかの本や図かんなどを読んで知ったことを、クイズにしてしょうかいする。
					・みずならの木やどんぐりやどうぶつが思っていることをかんがえて、「どんぐりとどうぶつたち」の文につけくわえて読み、ろく音する。
			楽しいどうぶつ園	話す・聞く、書く	・どうぶつ園の中に入りましょう。 ・どんなじゅんに回りますか。 ・どうぶつのようすを、よくかんさつしましょう。 ・どうぶつ園には、どんな人たちがいますか。
			ことばをふやす	言語	・いろいろななかまになることばをあつめ、かん字をつかって書いてみましょう。

		三　ことばをていねいにつかおう	あいさつをしよう	言語	・つぎの絵の場面ではどんなあいさつをするか、考えましょう。 ・場面とやくわりをきめて、あいさつをしてみましょう。
					・あいさつについて、気づいたことや考えたことを話し合いましょう。
			かたかなで書くことば	言語	・みの回りで、かたかなで書くことばをさがしてみましょう。
			かがみの　そばを　とおる　とき（詩）	読む	
		四　みんなで話し合って作ろう	道具（せつめい文）	話す・聞く、書く、読む	・どんな道具がどんなしごとをするのか考えて読みましょう。
					・いろんな道具のしょうかいを読みとり、ノートに書きましょう。
					・家にあるいろいろな道具について話し合いましょう。
					・つぎのしごとをする道具を見つけ、べんりなところを考えてはっぴょうしましょう。
					（はかる道具・切る道具・たたく道具・まぜる道具・引っぱる道具・回す道具）
					・「もっとちがった道具」にはどんなものがあるか、本でしらべたり家の人に聞いたりして、はっぴょうしましょう。
			図かんを作ろう	話す・聞く、書く	・くらしの中でつかわれているいろいろな道具のなかから、きょうみのある道具についてしらべ、絵と文でしょうかいする図かんを作りましょう。
					・みなさんも、みの回りの道具についてしらべ、図かんを作ってみましょう。
			かん字クイズ	言語	・はんたいのことを表すかん字で、クイズを作りましょう。
		五　自分の力をたしかめよう	いいものもらった（ものがたり）	話す・聞く、書く、読む、言語	・ようすを思いうかべながら、はっきりした声で読みましょう。
					・すきなところやおもしろいところを話し合いましょう。
					・タンゴのしたことを、じゅんじょよくノートにまとめましょう。
					・タンゴになって、おばあさんにおれいの手紙を書きましょう。
					・ほかのお話を読んで、友だちと教え合いましょう。
			一年でならったかん字	言語	
			あたらしくならったかん字	言語	
			かたかなのひょう	言語	
			二年までにならうかん字	言語	
		読みもの大すき	わにのおじいさんのたからもの（ものがたり）	読む	

		ゆたかなことば	いろいろな文字を見つけよう	言語	・このほかにも、みのまわりから、いろいろな文字をさがしてみましょう。
			書きうつそう	書く	
			国語のことば	読む	

小学国語　３　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	上	一　学習のめあてをもとう	ふしぎ（詩）	読む	
			里の春、山の春（物語）	話す・聞く	・先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。
					・お話を聞いて思ったことを話しましょう。
			絵や写真から題を考えよう	書く	・絵や写真から、学級のみんなでいろいろな作文の題を出し合ってみましょう。そして、一つの題をえらんで、作文を書いてみましょう。
			自分のめあてをきめよう	話す・聞く・書く	・「ふしぎ」「里の春、山の春」「絵や写真から題を考えよう」の学習では、どんなことをしましたか。したことに〇をつけましょう。
					・はじめのおりこみ「２年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力をたしかめて、次のマークに色をぬりましょう。
					・国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。次のれいを読んで話し合いましょう。
					・これから一年間、あなたがいちばんがんばりたいと思う国語の学習はどんなことですか。自分のめあてを書いておきましょう。
			わたしのたから物を話そう	話す・聞く	・自分がたいせつにしているたから物のことを、みんなにしょうかいしましょう。
			くわしくすることば	言語	
		二　場面のようすを思い浮かべながら読もう	つり橋わたれ（物語）	読む	・この物語を読んで、みんなで考えてみたいことを話し合いましょう。
					・次の場面で、トッコにどんなことがおこりましたか。ノートにまとめましょう。 ・おばあちゃんの家に来て、山の子どもたちに、東京のじまんばかりしてしまったとき。 ・緑の山にむかって、大きな声で「ママーッ。」とよんだとき。 ・かすりの着物を着た男の子を追いかけているとき。 ・山のつつじの後ろから、サブとミヨとタケシがあらわれたとき。

					・人物のようすがよく表れるように、声を出して読みましょう。 ・「やあい、勇気があったら、とっととわたれ。」　・「あら、あんた、いつ来たの。」 ・「おうい、どこにいるのうっ。」 ・トッコになって、東京のお母さんに、この山でのできごとを知らせる手紙を書きましょう。
			あらしの夜に（物語）	読書	
			お礼のはがきを書こう	書く	・おせわになった人には、きちんとお礼をつたえたいものです。でも、その場で言いきれなかったり、電話ではうまく言えなかったりすることもあります。あいてに感しゃの気もちをつたえるために、お礼のはがきを書きましょう。
			漢字の組み立て	言語	
		三　様子がわかるように書こう	スケッチしたいこと	書く	・文章でスケッチするにはどうすればいいか、考えてみましょう。
					・川上さんの学級のように、学校の中の場所や生き物などを文章でスケッチしてみましょう。
			漢字の部分合わせゲーム	言語	・漢字の部分合わせゲームをしましょう。
			わけをせつめいしよう	話す・聞く、書く	・みなさんも、自分のすきなこと、したいと思うこと、考えていることなどを、そのわけといっしょに書いたり、話したりして、せつめいしてみましょう。
		四　大事なことをまとめながら読もう	動物たちのしぐさ（せつめい文）	読む	・このせつめい文を読んで、はじめて知ったこと、おどろいたこと、ふしぎに思ったことなどを話し合いましょう。
					・「何を表しているでしょうか。」（６０ページ４～５行目）のようなといかけの文を□でかこみ、その答えを見つけて、よこに線を引きましょう。
					・それぞれの動物のしぐさが何を表しているのか、次のような表にまとめて考えてみましょう。
					・いろいろな動物たちのしぐさについて、まとめて書いてあるところを見つけ、ノートに写しましょう。
					・あなたのすきな動物のしぐさについて、しらべたことを表にまとめて発表しましょう。
			地らいをふんだゾウ　モタラ	読書	
			こそあどことば	言語	
			本のせかいで新しいはっけんをしよう	読む	・本を読み終わったら、心にのこったことやわかったことを、カードに記ろくしておきましょう。
			夕日がせなかをおしてくる（詩）	読む	
			みんなの詩	書く	・「たとえ」のことばを使って書きましょう。
		五　考えを出し合おう	インタビューの計画	話す・聞く	・みなさんも、川上さんのはんのように、インタビューの計画について、話し合ってみましょう。

					・ほかにも、みんながきょうみをもっている話題について、はんで話し合ってみましょう。
			漢字のビンゴゲーム	言語	
			国語辞典の使い方	言語	
			二年で習った漢字	言語	
			３上のまとめ		
			新しくならったかん字	言語	
			二年までにならったかん字	言語	
		読みもの大すき	母さんの歌（物語）	読む	
		国語の広場	お話のたね	話す・聞く、書く	・絵やことばを手がかりに、話したいことや書きたいことを見つけましょう。
			ノートのくふう	書く	
			三年生の本だな	読む	
			音読記号	読む	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	下	一　すきな本をしょうかいし合おう	きつねをつれて村祭り（物語）	話す・聞く、書く、読む	・場面の様子を思いうかべながら、声に出して読みましょう。
					・この物語の次の場面でどんなできごとがあったか、かんたんにノートにまとめましょう。 ・村祭りに行くまで。　・お店を開く用意をしているとき。 ・おかぐらをおどっているとき。　・村祭りから帰るとき。
					・この物語では、ごんじいの思ったことが、（　）の中に書かれています。読み方をくふうして、声に出して読みましょう。
					・はんに分かれて、声に出して読む練習をし、発表し合いましょう。
					・次の場面での人物の様子を想ぞうして話し合いましょう。 ・ごんじいがきつねの男の子と出会って、目をぱちくりさせたとき。 ・ごんじいが、「あっ、あわわわ・・・・。」「わっ、わわわあっ・・・。」とあわてたとき。 ・こうたが、「いやだあ、コーン！」とさけんで、いちもくさんににげ出したとき。

					・ごんじいが、何度も何度もとうげの方をふり返ってうなずいたとき。
			あなたはどのきつねがすき？	読書	
			クイズで本をしょうかいし合おう	話す・聞く、書く	・たいせつな本、おもしろい本、大すきな本など、とっておきの本を、クイズを作って友だちにしょうかいしてみましょう。
					・みなさんも、いろいろなクイズを作って、答えを考えてもらいながら、本をしょうかいしてみましょう。
		二　読み取ったことから調べたり考えたりしよう	自転車の活やく（せつめい文）	話す・聞く、書く、読む	・「自転車の活やく」には、問いかけの文が二つあります。文章の中からさがして、□でかこみましょう。
					・自転車にある、ひこうきや電車や自転車などがまねできないこととは、どんなことですか。四つに分けて書きましょう。
					・「自転車の活やく」を読んで、次のことを表にまとめ、ノートに書きましょう。
					・日本ではまだ、自転車の使い方に問題があるといっていますが、それはどんなことでしょう。ノートにまとめ、自転車の使い方について話し合いましょう。
			自転車について考えよう	話す・聞く、書く	・「自転車の活やく」の一部をかえたものを音読し、まちがいを見つけてもらうゲームをする。
					・身の回りでの自転車の使い方について、どんな問題があるのか、いろいろ人に聞いて調べる。
					・ぜひ、乗ってみたいすばらしい自転車を考えて、短い詩を書き、絵をつける。
			山の湖でのできごと	話す・聞く、書く	
			ことばをふやす	言語	・同じなかまを表すときに使われることばをさがしましょう。
		三　いろいろなことばをさがそう	クロスワードパズルをしよう	言語	・次のページのクロスワードパズルをといてみましょう。
					・今度は、クロスワードパズルを作ってみましょう。
					・クロスワードパズルができたら、友だちと交かんして遊びましょう。
			送りがな	言語	
			みえないストロー（詩）	読む	
		四　わかりやすくまとめよう	点字と手話（せつめい文）	話す・聞く、書く、読む	・「点字と手話」を読んで、どんなことがせつめいされているか、話し合いましょう。
					・目や耳の不自由な人たちとつたえ合うために、どんなものが発明されていますか。その名前をノートに書きましょう。
					・目で読む文字の代わりをするもの。　・耳で聞く音声の代わりをするもの。
					・このせつめい文を書いた人は、みなさんが点字を書けるようになったら、どんな

					ことができるといっているでしょう。二つに分けてノートに書きましょう。
					・「手話」と「指文字」のしくみをせつめいしているところに線を引き、れいを見ながら、実さいにやってみましょう。
					・このせつめい文を書いた人は、みなさんが手話をおぼえたら、どのようになるといっているでしょう。二つに分けて書きましょう。
					・体の不自由な人たちがくらしやすくなるために、「こうなってほしい」と思うことを絵本して発表しましょう。
			絵本を作ろう	話す・聞く、書く	・体の不自由な人がくらしやすくなるために、「実さいにこんなふうになっている」「こんなふうになったらいいな」ということを絵本にしてしょうかいし合いましょう。
					・みなさんも、はんで話し合って、調べたことや考えたことを、絵本にしてみましょう。
			ふつうの言い方　ていねいな言い方	言語	
			漢字のクロスワードパズル	言語	・漢字のクロスワードパズルをしましょう。
		五　自分の力をたしかめよう	やまんばのにしき（民話）	話す・聞く、書く、読む、言語	・民話のことばの調子に気をつけて、声に出して読む。
					・読んでおもしろいと思ったことをまとめて、みんなに話す。
					・あかざばんばややまんばなどの人物のしたこと読み取って、ノートにまとめる。
					・この話のつづきを考えてノートに書き、発表する。
					・いろいろな民話を読んで、友だちとしょうかいし合う。
			二年で習った漢字	言語	
			新しく習った漢字	言語	
			三年までに習う漢字	言語	
		読みもの大すき	おにたのぼうし（物語）	読む	
		ゆたかなことば	つたえ方を考えよう	言語	・絵や写真でつたえるとべんりなこと、ことばでつたえるとべんりなことを、さがしてみましょう。
					・何かをつたえるときの、写真や絵のよいところと、ことばのよいところをさがしてみましょう。
			外来語を書き表そう	言語	・次の絵の物の表すことばは、外国から入ってきました。かたかなで書いてみましょう。
					・身の回りで外国語をさがして、その書き表し方を調べてみましょう。
			書き写そう	書く	
			国語のことば	書く	

小学国語　４　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	上	一　学習のめあてをもとう	春のうた（詩）	読む	・声に出して読みましょう。
			ならなしとり（民話）	話す・聞く	・先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。
					・お話を聞いて思ったことを話しましょう。
			取材を広げよう	書く	・自分のことをふり返って、作文の題材になりそうなことを考えましょう。
					・いろいろな題のなかから、とくに書きたいことをはっきりさせましょう。
			自分のめあてを決めよう	話す・聞く、書く	1 「春のうた」「ならなしとり」「取材を広げよう」の学習では、どんなことをしましたか。したことに〇をつけましょう。
					2 はじめのおりこみ「３年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力をたしかめて、次のマークに色をぬりましょう。
					3 国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。次の例を読んで話し合いましょう。
					4 これから一年間、あなたがいちばんがんばりたいと思う国語の学習はどんなことですか。自分のめあてを書いておきましょう。
			ニュースを話そう	話す・聞く	・自分の身の回りで起こったできごとを、ニュースにして、みんなに伝えましょう。
			漢字の音読みと訓読み	言語	
		二　場面のつながりを考えて読もう	雨の夜のるすばん	読む	・場面ごとに、書かれていることのあらましをノートにまとめましょう。
					・場面ごとの様子を想ぞうしながら音読し、次のことをノートにまとめて話し合いましょう。 ・第一場面での、「ぼく」と弟の住む農村の様子。 ・第二場面での、るすばんをする「ぼく」と弟の様子。 ・第三場面での、「それから二、三日の間」の様子。
					・登場人物の役を決め、場面の様子がよくわかるように音読しましょう。
			白いぼうし	読書	
			しょうたいじょうを書こう	書く	・行事などに来てもらいたい人に、来てほしい気持ちや、日時などを伝えるしょうたいじょうをだしましょう。
			文のほね組み	言語	
		三　組み立てを考	学級しょうかい	書く	・どうやったら、調べたいことを文章にまとめることができるか、考えてみましょう。

		えて書こう			
					・四年一組のみんなの場合を参考にして、一人、あるいははんで、学級のことを調べて、文章にまとめましょう。
			漢字の画数合わせゲーム	言語	・同じ画数の漢字を集めて、漢字の画数合わせゲームをしましょう。
			分類して説明しよう	話す・聞く、書く	・見たり聞いたり調べたりしたことを、見方を決めて分類し、書いたり話したりして、わかりやすく説明してみましょう。
		四　だんらくごとにまとめながら読もう	夜に鳴くセミ（説明文）	読む	・一字さげのところに番号を付け、いくつのだんらくでできているか、たしかめましょう。
					・この文章は、大きくは次の三つのまとまりに分けることができます。それぞれ、どこからどこまでか、だんらくの番号をノートに書き出しましょう。 １．読者に問題を投げかけている部分 ２．問題に対して答えを出している部分 ３．筆者の考えをまとめている部分
					・２の部分について、次のことをまとめましょう。 ・ニイニイゼミが少なくなって、ミンミンゼミがふえてきたわけ。 ・近年、東京に「夜に鳴くセミ」があらわれたわけ。
					・読み取ったことをもとに、クイズを作って答え合いましょう。
			リサイクルよりたいせつなもの（説明文）	読書	・「リサイクルよりたいせつなもの」は、ごみをへらす方法を、クイズで説明した文章です。このようにわかりやすい説明の仕方をくふうした、いろいろな本を見つけて、読んでみましょう。
			漢和辞典の使い方	言語	
			本の世界を広げよう	読む	・自分が読みたい本や調べてみたい事がらにかんけいのある本をさがして読んでみましょう。 ・読んだ本について、「読書カード」に次のようなことを記録しておきましょう。
			草の実（詩）	読む	
			みんなの詩	書く	・様子や心の動きが分かるように書きましょう。
		五　話し合って考えをまとめよう	学級の行事について	話す・聞く	・水野さんの学級のように話し合ってみましょう。
			漢字の十字路クイズ	言語	・自分で漢字の十字路を作り、友達と問題を出し合ってみましょう。
			ローマ字　１	言語	
			三年で習った漢字	言語	
			４上のまとめ		

			新しく習った漢字	言語	
			三年までに習った漢字	言語	
			主な部首と部分	言語	
		読み物大好き	ねこが見分ける	読む	
		国語の広場	お話のたね	話す・聞く、書く	
			ノートのくふう	書く	
			四年生の本だな	読む	
			漢字の筆順	言語	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	下	一　きょうみのある本をしょうかいし合おう	カレーの旅（説明文）	話す・聞く、書く、読む	・文章の中で、だんらくが結び付いて、さらに大きなまとまりができることがあります。「カレーの旅」を、次の三つの大きなまとまりに分けて、それぞれのだんらく番号を全部書き出しましょう。
					・問題を出している部分　・問題について説明している部分　・全体をまとめている部分
					・問題について説明している部分を、次の三つに分けて読み取り、ノートにまとめましょう。 ・インドのカレー　・イギリスのカレー　・日本のカレー
					・読者を引き付けるために、筆者がどのような書き方のくふうをしているか、話し合いましょう。
			食べよう、作ろう、読んでみよう	読書	
			読書新聞を作ろう	話す・聞く、書く	・本を読んで思ったことやわかったことを、読書新聞を作ってしょうかいし合いましょう。 ・みなさんも、読書新聞を作って本をしょうかいし合いましょう。
			つながりを表す言葉	言語	
		二　読み取ったことから考えを深めよう	ごんぎつね（物語）	話す・聞く、書く、読む	・この物語のあらすじをまとめて、聞く人によく分かるように発表しましょう。
					・次のときの、ごんや兵十の様子を想ぞうして話し合いましょう。 ・兵十のとった魚を川へ投げ込んだごん。 ・兵十のおっかあが死んだことを知ったごん。 ・いわしを兵十のうちへ投げこんだごん。

					・兵十のうちへ、くりやまつたけを持っていったごん。 ・兵十と加助の話を聞いたごん。 ・火なわじゅうをぱたりと取り落とした兵十。
					・次のところを、くふうして、声に出して読んでみましょう。 「兵十のおっかあは、とこについていて、・・・・あんないたずらをしなけりゃよかった。」 「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」 「いったい、だれが、いわしなんかを・・・・ひどい目にあわされた。」 「ごん、おまえだったのか。いつもくりをくれたのは。」
					・いちばん強く心に残ったことを中心に、感想文を書いて発表しましょう。
			「ごんぎつね」への思いを深めよう	話す・聞く、書く	・「ごんぎつね」の音読げきをする。 ・読む場面を決め、役わりに分かれ、読み方をくふうして音読し、みんなに聞かせる。
					・「ごんぎつねマップ」を作る。 ・「ごんぎつね」のぶたいとなっている村の様子や、ごんの行動をしめした地図を作る。
					・（六）の場面のあと、兵十はどうしたかを考え、続きの物語を作る。 ・「ごんぎつね」の続きの物語を作る。
			山中の家でのできごと	話す・聞く、書く	
			言葉をふやす	言語	
		三　言葉のおもしろさを見つめよう	広告の言葉を考えよう	言語	・広告の言葉を集めよう。
					・広告の言葉を作ろう。
					・言葉の使い方について話し合おう。
			言葉のいろいろな意味	言語	
			うち知ってんねん（詩）	読む	
		四　ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	進化した路面電車（説明文）	話す・聞く、書く、読む	・「進化した路面電車」を読んで、次のことをノートにまとめましょう。 ・１９３２年以後、多くの都市から路面電車がなくなった理由。 ・最近になって、路面電車の役わりを見直そうという考えが出てきた理由。
					・「第一に」「第二に」・・・・という言葉に注目して、今までの路面電車の長所と短所を表にまとめ、ノートに書きましょう。

					・「進化した路面電車」が、なぜ「公共の交通機関の主役」になるのかを考えて、ノートにまとめましょう。
					・未来の交通のしくみについて考え、話し合いましょう。
					・自分たちの住んでいる町や村にある交通機関について、その長所や短所について話し合いましょう。
			パンフレットを作ろう	話す・聞く、書く	・自分たちの町に作りたいものを考えたり、知らない町の様子を想像したりして、それをしょうかいするパンフレットを作りましょう。 ・みなさんも、学級やはんで、いろいろなパンフレットを作りましょう。
			ローマ字　2	言語	
			漢字当てクイズ	言語	
		五　自分の力をたしかめよう	風のゆうれい（物語）	話す・聞く、書く、読む	・場面の様子を思いうかべながら、聞く人にもわかるように、声に出して読む。
					・二人の友達（ジョナサンとデイビット）が、どんな場面でどんな方法をとってどうなったかを、ノートにまとめる。
					・三つの場面で、二人がそれぞれちがった行動をとたわけを考えて発表し、話し合う。
					・最後にある、「わたしは、それはそれできっと幸せなのだと思いますよ。」という言葉について、思ったことを文章に書く。
					・ほかの外国の物語を見つけて読み、友達としょうかいし合う。
			三年で習った漢字	言語	
			新しく習った漢字	言語	
			四年までに習う漢字	言語	
		読み物大好き	一つの花（物語）	読む	
		ゆたかな言葉	伝え方を考えよう		
			世界の言葉と出会おう	言語	
			書き写そう	書く	
			国語の言葉	言語	

小学国語　５　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	上	一　学習のめあて	コブシの花（詩）	読む	・声に出して読みましょう。

		をもとう			
			四万十川と生きる	話す・聞く	・先生にお話を読んでもらって聞きましょう。
					・お話を聞いて思ったことを話しましょう。
			発想を豊かに	書く	・「桜」という一つの言葉から、さまざまな題材を見つけましょう。
					・辞典やインターネットを活用して、いろいろな言葉の世界に遊んでみましょう。
					・一つの言葉から三つの題を考えて、作文を書いてみましょう。
			自分のめあてを決めよう	話す・聞く・書く	1 「コブシの花」「四万十川と生きる」「発想を豊かに」の学習では、どんなことをしましたか。したことに〇を付けましょう。
					2 初めの折りこみ「４年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語力を確かめて、次のマークに色をぬりましょう。
					3 国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。次の例を参考にして話し合いましょう。
					4 これから一年間、あなたがいちばんがんばりたいと思う国語の学習はどんなことですか。書いておきましょう。
			みんなに相談したいことを話そう	話す・聞く	・いつも気になっていることやこまっていることなどについて、一分間スピーチをして、みんなでいっしょに考えましょう。
			二つの事がらをつないだ文	言語	
		二　気持ちや様子を表す表現に着目して読もう	かばんの中にかばんを入れて（物語）	読む	・「かばんの中にかばんを入れて」という題名について、思ったことや感じたことを話し合いましょう。
					・この物語の次の場面で、一郎さんとトランクとの会話や行動に注目しながら読み、一郎さんの気持ちの変化をノートにまとめましょう。 ・かばんにはかばんの考え方があるんだなあと、感心したとき。 ・トランクといっしょに旅行に出かけることになったとき。 ・トランクのなかに何をいれようか、まよったとき。 ・かばんを売りに歩く前、ホテルにとまったとき。 ・翌日、かばんを売って、列車で帰るとき。
					・次のような、表現がおもしろいと思う文や会話を、場面ごとに書き出し、そのおもしろさについて話し合いましょう。 例：しんだい車は、ゆりかごのようにやさしくゆれて、星空の下を、北へ北

				へと走ってゆきました。
				・一郎さんからトランクにあてて、または、トランクから一郎さんにあてての手紙を書いてみましょう。
				・一郎さんとトランクの気持ちを想ぞうしながら、会話文をくふうして声に出して読みましょう。
		手紙（物語）	読書	
		いらい状を書こう	書く	
		決まった言い方と結び付く言葉	言語	
		三　事実と意見を整理して書こう	提案したいこと（意見文）	書く	・どうやったら自分の意見を文章にまとめることができるのか、考えてみましょう。 ・藤崎さんの学級のように、自分の思いや考えを文章にまとめてみましょう。
					・自分の意見をより強くうったえることができるように、書いた文章を見直し、意見や根拠を付け足したり、のべる順番やのべ方をくふうしたりしましょう。
					・書いた文章の合評会をして、それぞれのよいところなどを話し合いましょう。
					・最後に、みんなの意見を一つにとじて読み合い、それぞれの意見について話し合いましょう。そして、提案を実行にうつしたり、生活に生かしたりしましょう。
			漢字の音合わせゲーム	言語	・漢字カードを作り、同じ音をもつ漢字を集めるゲームをしてみましょう。
			例を挙げて説明しよう	話す・聞く・書く	・みなさんも、いろいろなことを、調べて考えたことを、例を挙げて書いたり、話したりして、説明しましょう。絵や写真などを使うのも効果があります。
		四　文章の構成を考えながら読もう	花を食べる（説明文）	読む	・「花を食べる」という題名について、思ったことや感じたことを話し合いましょう。
					・「花を食べる」という文章は、筆者の考えが三つの大きなまとまりに分けられます。それぞれのまとまりごとに、次のことを読み取り、ノートにまとめましょう。 〈第一のまとまり〉・二つの花の食べ方の例　・これから説明しようとする課題 〈第二のまとまり〉・花を「実に上手に食べてきた」とはどういうことか。 ・花を食べることには、どんな意味があるのか。表にまとめましょう。 ・現代では、花を食べることはどうなっているのか。 〈第三のまとまり〉・筆者は、花を食べるという日本人のちえをどう考えているか。
					・筆者は、読者に対して、どんなのべ方のくふうをしているのか話し合いましょう。
					・「花を食べる」を読んで、おもしろいなと思ったこと、初めて知ったことなどを話し合いましょう。
			なぜ、おばけは夜に出る（論説文）	読書	

			仮名づかいのまとめ	言語	
			本の世界を深めよう	読む	・図書館で本をさがす方法を学びましょう。
			やしの実（詩）	読む	
			みんなの詩	書く	・想像力をはたらかせて、イメージが目にうかぶように書きましょう。
					・一言でずばり、特ちょうをとらえて書きましょう。
		五　論を組み立てて話し合おう	賛成？　それとも反対？（討論会）	話す・聞く	・村田さんの学級のように、論題を決めて、討論会をしてみましょう。
					・討論会のあと、両者の側の討論のしかたをふり返り、「評価カード」にまとめましょう。
			漢字のしりとり	言語	
			「受身」「使役」の表現	言語	
			四年で習った漢字	言語	
			５上のまとめ		
			新しく習った漢字	言語	
			四年までに習った漢字	言語	
		読み物大好き	とび出し注意（物語）	読む	
		国語の広場	題材のファイル	話す・聞く・書く	
			ノートのくふう	書く	
			五年生の本だな	読む	
			すいこうのしかた	書く	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	下	一　読書の世界を広げよう	注文の多い料理店（物語）	話す・聞く、書く、読む	・次の場面での二人の紳士の気持ちを想像しましょう。 ・犬を連れて山おくを歩いているとき。 ・山猫軒での中で、戸の文字を読みながら、次々と部屋に入っていくとき。 ・泣いて泣いて泣いて泣いて泣いているとき。 ・山猫軒が消えてしまったとき。 ・りょうしの持ってきただんごを食べ、山鳥を買って帰っていくとき。）
					・次のような、表現がおもしろいと思う文を書き出して、そのおもしろさについて話し合いましょう。

					【どなたもどうかお入りください。決してごえんりょはありません。】 【当軒は注文の多い料理店ですからどうかそこはご承知ください。】 【料理はもうすぐできます。十分とお待たせはいたしません。すぐ食べられます・・・・・。】 【いやわざわざご苦労です。たいへんけっこうにできました。さあおなかにお入りください。】
					・二人の紳士の会話や、戸に書いてある言葉などに着目しながら、声に出して読みましょう。
					・作者宮沢賢治は、この物語を通して、読者にどんなことを伝えたかったのでしょうか。みんなで話し合いましょう。
					・宮沢賢治のいろいろな作品を読み、作家と作品について話し合いましょう。
			自然や動物と人間との関係	読書	
			読書発表会を開こう	話す・聞く・書く	・今まで学習したことや関心のあることのなかからテーマを決めて読書をし、わかったことや考えたことを発表しあいましょう。 ・みなさんも、テーマを決めて、読書発表会を開いてみましょう。
		二　読み取ったことについて研究しよう	マンガの表現を楽しむ（説明文）	話す・聞く、書く、読む	・この文章は、序論・本論・結論の三つの内容に分けて述べられています。それぞれ、どんなことが書かれているか話し合いましょう。
					・筆者は、マンガを成り立たせるものとして、三つのことを挙げています。文中の言葉を使って、ノートに書き出しましょう。
					・図１の四コママンガの例について次のことを調べて表にまとめましょう。
					・図６を見ながら、次の表現についてノートにまとめましょう。 ・時間の表し方　・時間の変化
					・筆者は、マンガを楽しむためにどんなことをしてほしいといっていますか。みんな話し合いましょう。
			マンガを研究しよう	話す・聞く、書く	・「マンガの表現を楽しむ」で学んだ表現方法の具体例を、いろいろなマンガからさがして、確かめる。
					・これまでに学習した教科書の文章のなかから、好きな部分を選び、マンガにする。
					・「マンガの表現を楽しむ」の筆者と同じように、自分でもマンガの表現のくふうを見つけて、説明する。
			ベンチの一日	話す・聞く、書く	・一日のいろいろな時間にくる人やものを挙げてみましょう。
					・それぞれの人やものは、そこで、どんなことをするのでしょうか。
					・絵の中の木とベンチの会話を想像して、やりとりしてみましょう。
			言葉を増やす	言語	・いろいろな言葉を集めて、名詞・動詞・形容詞を見つけましょう。
		三　生活の中の言	方言を考えよう	言語	・みなさんの地いきにはどんな方言があるでしょうか。それらの方言は、共通語で

		葉を見つけよう			言うとどうなるでしょうか。いろいろな方言を集めて、確かめてみましょう。
			漢字の成り立ち	言語	
			今日（詩）	読む	
		四　表現のしかたをくふうしてまとめよう	洪庵のたいまつ（伝記）	話す・聞く、書く、読む	・緒方洪庵の生まれてから死ぬまでの生き方を、時代に分けて年表にまとめましょう。
					・洪庵の生き方について、次のことを事実と意見に分けて読み取り、まとめましょう。 ・蘭方医学を学ぶようになった理由 ・当時の日本の様子と洪庵の勉強ぶり ・適塾の教育と塾生たちの生活 ・奥医師時代の洪庵の生き方
					・洪庵の一生を、作者はどんな言葉で表現していますか。文中からさがして、ノートに書き出しましょう。
					・洪庵はどんな一生を送ったか、全体を読んで話し合いましょう。
					・作者は、なぜ、「洪庵のたいまつ」という題を付けたのでしょう。作者の立場に立って考え、話し合いましょう。
					・心に残る郷土の人物をしょうかいし合いましょう。
			伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	話す・聞く、書く	・自分たちの郷土に生まれて活やくした人物について調べ、しょうかいし合いましょう。 ・伝記新聞を作ろう　・カセットブックを作ろう　・案内書を作ろう
			組み合わせ言葉	言語	
			漢字のつながり作り	言語	
		五　自分の力を確かめよう	森を育てる漁師の話	話す・聞く、書く、読む、言語	・「森を育てる漁師の話」を一読して、どんなことが書かれているかを確かめる。
					・「森を育てる漁師の話」の内容をもとに、どんな課題が作れるかを考える。
					・「森を育てる漁師の話」の学習課題を決めて、課題表を作る。
					・それぞれの課題について、学習した結果をノートにまとめる。
					・ノートをもとに、一つ一つの課題の学習結果を、自分で評価する。
			四年で習った漢字	言語	
			新しく習った漢字	言語	
			五年までに習う漢字	言語	
		読み物大好き	大造じいさんとがん（物語）	読む	

		豊かな言葉	情報について考えよう	読む	・テレビと新聞の伝え方の長所と短所を整理してまとめてみましょう。
					・同じ事実を、新聞とテレビがどのように報道しているかを調べてみましょう。
					・同じ日の同じ新聞を何種類か集め、紙面のちがいを比べてみましょう。
					・情報の受け手として、どんな点に気をつければいいか、考えましょう。
			昔の仮名づかいを調べよう	言語	・ほかにも、歴史的仮名づかいで、今とちがう書き表し方をする言葉をさがしてみましょう。
			書き写そう	書く	
			国語の言葉	読む	

小学国語　６　　上・下　　大阪書籍

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	上	一　学習のめあてをもとう	出発（詩）	読む	
			南極のペンギン	話す・聞く	・先生にお話を読んでもらいましょう。
					・お話を聞いて思ったことを話しましょう。
			視野の広がりを	書く	・視野を広げて考えたことを作文に書いてみましょう。
			自分のめあてを決めよう		1 「出発」「南極のペンギン」「視野の広がりを」の学習では、どんなことをしましたか。したことに〇をつけましょう。
					2 初めの折りこみ「５年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力を確かめて、次のマークに色をぬりましょう。
					3 国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。次の例を参考にして話し合いましょう。
					4 これから一年間の国語の学習で、あなたが目標としてがんばりたいと思うことは、どんなことですか。書いておきましょう。
			うったえたいことを話そう	話す・聞く	・学級や学校に対して、あるいは社会に対して、自分のうったえたいことを、三分間のスピーチで発表しましょう。
		二　すぐれた表現を味わおう	0 じいさんのチェロ（物語）	読む	・全文を通して読み、中心となる人物の様子について話し合いましょう。
					・「まったく、いやになっちゃう。」とは、何の、どんなことを表していますか。か条書きでノートに書き出して、話し合いましょう。

					・「わたし」の０じいさんへの態度や気持ちがどう変わっていったか、ノートに書き出して話し合いましょう。 ・初めのころ　・広場でチェロの演奏を聞いたとき　・絵をかいてドアの下から差し入れたとき
					・０じいさんの人がらや気持ちを想像して、ノートに書き、話し合いましょう。 ・いつも何か考えごとをしているように、無口な訳。 ・ばくだんの落ちた広場で、チェロをひいた訳。 ・チェロの代わりに、毎日ハーモニカをふいてくれた訳。
					・この物語は、「わたし」が聞き手を前にして話すように書かれています。「わたし」の気持ちを考えながら音読しましょう。
					・主人公の「わたし」がいちばん言いたいことはどんなことでしょう。ノートにまとめて話し合いましょう。
			冬きたりなば（物語）	読書	
			ファックスやメールを利用しよう	書く	
			仮名の成り立ち	言語	
		三　目的や意図に応じて表現をくふうして書こう	新聞の研究（調査・報告）	書く	・研究したことの報告をまとめるには、どうすればいいか、考えてみましょう。 ・みなさんも、川上さんの学級のように、一人で、あるいは、班で研究したことを報告にまとめてみましょう。
					・投書らん以外にも、いろいろな観点から、新聞の紙面について研究してみましょう。
					・書いた報告を読み合ったあと、みんなの研究の成果について、話し合ったり、みんなの報告集を作ったりしましょう。
			漢字のジグソーパズル	言語	・漢字を使ったジグソーパズルをしてみましょう。
			推論によって説明しよう	話す・聞く、書く	・みなさんも、いろいろな事実から自分なりに推論したことを、書いたり話したりして、発表してみましょう。
		四　筆者の考えに着目して読もう	川の自然（説明文）	読む	・全文を読み、「川の自然」という題名について、思ったことや考えたことを話し合いましょう。
					・「川の自然」は、大きく三つのまとまりに分かれています。それぞれのまとまりごとに、次のことを読み取り、ノートにまとめましょう。 〈第一のまとまり〉　・「川は不思議な自然」という訳。 ・川全体を特ちょうづけている瀬と淵とはどんな所か。 〈第二のまとまり〉　・可児藤吉さんの見つけた、川のもつ特ちょうとは何か。 ・可児さんが、蛇行している川と瀬や淵との関係を調べて分かったこと。 ・イトウやサケなどの産卵する場所。

					・瀬が、魚たちにとって理想的な産卵場所となる訳。 ・治水事業が必要な訳と、その問題点。 ・川の自然を取りもどす新しい試み。 〈第三のまとまり〉　・わたしたちが自分の目で確かめることは何か。
					・筆者は、「川の自然」を取りもどすことをうったえるために、どんな事実を挙げて説明しているか、話し合いましょう。
					・この説明文の要旨をノートにまとめ、話し合いましょう。
			インタビュー　地球環境を考える	読書	
			敬語	言語	
			本の世界で学ぼう	読む	・今までの読書をふり返って、今後の読書計画を立てましょう。
					・読書記録をもとに、自分の読書の特ちょうやけいこうについて、班の友達と話し合ってみましょう。
			短歌と俳句	読む	
			みんなの詩	書く	・見方や感じ方をとぎすまして心の言葉とひびきを合わせて書きましょう。
		五　話し合って新しい考えを生み出そう	未来社会を考える（パネルディスカッション）	話す・聞く	・未来の社会について話し合って考えてみましょう。
					・それ以外にも、いろいろな立場に分かれて検討し合える話題を選んで、パネルディスカッションをしてみましょう。
			漢字のトランプ	言語	・漢字の画数を、トランプの数字の代わりにしてゲームをしてみましょう。
			五年で習った漢字	言語	
			６上のまとめ		
			新しく習った漢字	言語	
			小学校で習う漢字	言語	
		読み物大好き	桃源郷ものがたり（物語）	読む	
		国語の広場	題材のファイル	話す・聞く、書く	
			ノートのくふう	書く	
			六年生の本だな	読む	
			表現のくふう	話す・聞く、書く	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	下	一　読書で考えを深めよう	外国の人と理解し合うために（説明文）	話す・聞く、書く、読む	・全文を読んで、外国の人といっしょに過ごしたことや、ものをたずねられた経験について話し合いましょう。
					・この文章は、序論・本論・結論の三つの大きなまとまりに分けられます。それぞれのまとまりごとの内容を簡単にまとめ、筆者の説明のしかたのくふうについて話し合いましょう。
					・筆者が問題を提示している文を書き写しましょう。
					・次の、人との付き合い方について、日本人と外国人とのちがいをまとめましょう。 ・身ぶり　・ほめ言葉　・視線
					・筆者は、外国人と接する日本人の言い方や態度をどのようにとらえていますか。みんなで話しあいましょう。
					・本論で筆者がいちばん言いたいことを、次の言葉に続けて、二十字くらいでノートにまとめましょう。
					・この文章で、筆者の主張がまとめて書かれている文を、ぬき書きましょう。
					・次の言い方を比べて、話し合ってみましょう。また、これと同じような例をさがしてみましょう。 ・「とてもおいしいおかしらですから、どうぞめしあがってください」 ・「つまらないものですが、どうぞめしあがってください」
			異なる文化との出会い	読書	
			読書による異文化交流をしよう（ポスターセッション）	話す・聞く、書く	・みなさんも、テーマを決めて異文化交流会を開きましょう。
			和語・漢語・外来語	言語	
		二　読み取ったことについて自分の意見をもとう	愛を運ぶ人　マザー＝テレサ（伝記）	話す・聞く、書く、読む	・マザー＝テレサの一生を年れいにそって読み取り、次の表にまとめましょう。
					・次のときのマザー＝テレサの考え方を読みとり、話し合いましょう。 ・ベンガル人が、「ありがとう。」と言って死んでいったとき。 ・ノーベル平和賞を受賞したとき。
					・マザー＝テレサの考えていた「愛」「幸せ」についての感想を書き、発表しあって、意見を述べ合いましょう。
			伝記から生き方を見つめよう	話す・聞く、書く	・「マザー＝テレサ」のように、人々につくした人の伝記を読み、ブックトークの形でみんなにしょうかいする。
					・「愛を運ぶ人　マザー=テレサ」を読んで、もっと知りたい事がらを調べ、ポスターセッションで発表する。

					・身近な人や、自分自身の中にある、「マザー＝テレサ」のように生きたいと願う心を探し出して、文章に書く。
			時空をこえて	話す・聞く、書く	・この時代の日本や中国について、本や資料でいろいろ調べ、望や有希子になって、見聞きしたことを語りましょう。
					・望と有希子は、次にどんな世界に行くのでしょうか。絵を手がかりに、二人の旅を想像して、物語にしましょう。
			言葉を増やす	言語	
		三　身につけた言葉をふり返ろう	「思い出辞典」を作ろう	言語	・思い出の人や物、ときや場所、できごとや行事などには、それを表す言葉があります。そんな言葉を集めて、自分たちの「思い出辞典」を作ってみましょう。
			漢語の組み立て	言語	
			春に（詩）	読む	
		四　言葉の文化を受けつごう	落語の招待関	話す・聞く、書く、読む	・落語について知っていることを話し合いましょう。
					・「落語の話術」について、次のことをノートにまとめましょう。 ・落語は、話すだけの芸であるということ。 ・昔話と落語との、同じところとちがうところ。
					・「サゲの効果」について、次のことを説明しましょう。 ・サゲとは何か。　・サゲのはたらき。
					・「落語のおもしろさ」について、筆者の体験をノートにまとめましょう。 ・少年時代　・生の落語を聞いたとき。 ・うまいと感じる芸のおもしろさがわかってきたとき。
					・四十九～五十ページにある、『崇徳院』という落語のせりふの部分を音読しましょう。
					・次のことをノートにまとめて話し合いましょう。 ・落語は演者によって、上手下手だけでなく内容もかなり変わるということ。 ・筆者が、「これから大人になっていくみなさん」に言いたいこと。 ・「『笑い』は尊い文化です。」ということについての、自分の考え
					・日本には、落語のほかにもさまざまなすぐれた話芸があります。話芸を選んでちょう戦し、発表会をしましょう。
			語りにちょう戦しよう	話す・聞く	・小学校最後の仕上げとして、いろいろな語りにちょう戦し、発表会を開きましょ

					う。・みなさんも、語りにちょう戦して、楽しい発表会を開きましょう。
			伝統芸能への招待	読む	
			相手を尊重した言葉づかい	言語	
			漢字の熟語づくり	言語	・友達とチームに分かれて、漢字の熟語を作るゲームをしましょう。
		五　自分の力を確かめよう	二十一世紀に生きる君たちへ（論説文）	話す・聞く、書く、読む	1 文章の大まかな内容をつかんで、自分で学習課題を作る。
					2 自分の学習課題を解決するために、読み方やまとめ方をくふうする。
					3 課題を解決するために、今まで身につけた力を生かして学習し、結果をまとめる。
					4 学習の結果を、発表したり確かめたりして、自分で評価する。
			五年で習った漢字	言語	
			新しく習った漢字	言語	
			小学校で習う漢字	言語	
		読み物大好き	川とノリオ（物語）	読む	
		豊かな言葉	情報について考えよう	読む	・自分が調べたいことを、インターネットで調べてみましょう。
					・ホームページ作りにちょう戦してみましょう。
			言葉のアクセントを調べよう	言語	
			書き写そう	書く	
			国語の言葉	話す・聞く、書く	

みんなと学ぶ　しょうがっこう　こくご　　１ねん　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	上		なかよし	話す・聞く	
			あいうえお	話す・聞く・読む・書く	
		おおきな　こえで よみましょう	あいうえおの　うた	読む	
			しりとり	話す・聞く・読む	
			じを　かく	書く	
		はっきりと　いいましょう	あいさつ	話す・聞く	
		はっきりと　よみましょう	いい　もの　みつけた	読む・書く	
		はっきりと　はなしましょう	ききたいな　はなしたいな	話す・聞く・読む・書く	
			どこが　にて　いる・どこがちがう	読む・書く	
			゛の　つく　じ	読む・書く	
			゜の　つく　じ	読む・書く	
		のばす　おん	いちばんぼし	読む・書く	
		えを　みて　おはなしを　しましょう	まて　まて　かえるくん	話す・聞く	
		はっきりと　よみましょう	ひらがなの　ひょう	読む	
		たのしく　よみましょう	あかさたなの　うた	読む	
		おはなしを　きき	こんな　おはなし　ききたいな	話す・聞く	

		ましょう			
		おもいだして　はなしましょう	きのうの　こと	話す・聞く・読む・書く	
			は・を・へ	読む・書く	
		つまる　おん	らっこの　かあさん	読む・書く	
		ちいさい　ゃ・ゅ・ょ	やさいかご	読む・書く	
		たのしく　よみましょう	たぬきの　じてんしゃ	読む	
		はなしたい　ことを　かきましょう	せんせいあのね	書く	
		しゃしんで　たしかめながら　よみましょう	いきものの　あし	読む	
		おおきな　こえで　たのしく　よみましょう	おおきな　かぶ	読む	
		かんじで　かきましょう	かずの　かんじ	読む・書く	・よんで　みましょう。 ・かぞえて　みましょう。
		たのしく　かきましょう	えにっき	書く	
		しを　よもう	なみは　てかな（こわせ　たまみ）	読む	
			あした（かんがわ　としこ）	読む	
		ことばで　あそぼう		書く	・さかさまことばあそび。 ・ことばのかいだん。 ・どうぶつをさがそう。 ・五十音たんけん。
		つたわったかな		話す・聞く	・「でんごんゲーム」を　しましょう。

					・はじめの　人と　さいごの　人は、みんなの　まえで　はっぴょうしましょう。 ・はじめと　さいごを　くらべて　みましょう。 ・うまく　つたわったかな。どんな　ことに　きを　つければ　きちんと　つたわるか、かんがえましょう。
		1．しろう・つたえよう	よく　見て　かこう	話す・聞く・読む・書く	・みの　まわりに　ある　どうぶつや　草花などを　よく　見て、気がついたことを、先生や　ともだちに　つたえましょう。 ・かいた　ものは、かならず　よみかえしましょう。 ・かいたら、きょうしつに　はったり、はっぴょうかいを　したり　して、みんなに　つたえましょう。
		ことばのいずみ1	かんじの　できかた	言語	
			月よに（あわ　なおこ）	読む	
			ひらがな・かたかな・かんじのまとめ	言語	
		ことばを　ひろげる	ことばを　見つけよう	話す・聞く・書く	・どんな　ものが、いくつ　見つかるかな。

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	下	1．なかよく　よもう	はじめは「や！」（こうやま　よしこ）	読む	・たのしみながら　こえに　出して　よみましょう。 1 あらすじを　とらえる　　おはなしの　じゅんに、つぎの　えに　ばんごうを　つけましょう。 2 こえに　出して　よむ　　いちばん　すきな　ばめんを、こえに　出して　よみましょう。
		ことばのいずみ1	かんじと　あそびましょう	言語	1 くらべて　かいて　ごらん 2 かぞえて　ごらん 3 よんで　ごらん
		はなす・きく	よく　きいて　あてよう	話す・聞く	・左の　かたちを　つかって　えを　かきましょう。

					・先生の　はなしを　よく　きいて、きいた　とおりの　かたちの　えを　かきましょう。 ・ともだちと　やって　みましょう。 ・よく　つたわるように　するには、どう　すれば　よいでしょうか。
		かく　こと	さいきん　した　ことを　つたえよう	書く	・みなさんも、した　こと、見た　こと、きいた　ことを　先生や　ともだちに　しらせましょう。 ・かく　ときには、つぎの　ことに　気を　つけましょう。「いつ」「だれと」「どうした」をかく。したことのじゅんじょをかんがえながらかく。
		２．しぜんの　ふしぎ	まめ	読む	・じゅんじょを　たしかめよう (1)まめが　そだつ　じゅんに、しゃしんに　ばんごうを　つけましょう。 (2)つぎの　ぶんに　あう、(1)の　しゃしんの　ばんごうを　つけましょう。
			きかせて　しって　いる　こと	話す・聞く	・草花や　やさいの　生ちょうに　ついて、しって　いる　ことや　きいて　きたことをはっぴょうしましょう。 ・はなす　ひとは　ゆっくり　はっきり　はなしましょう。 ・きく　人は、はなす　人を　見ながら、大(だい)じな　ことを　おとさずに　ききとりましょう。
		ことばのきまり１	文を　つくりましょう	言語	・文を　つくりましょう。 ・えを　見て、文を　つくりましょう。
		３．ことばを　つくる	えを　見て　はなそう	（ことばをつくる）	
		こんな　ことに　気を　つけましょう	。（まる）の　つけかた	書く	・右(みぎ)の　文しょうに「。」を　つけて、ノートに　かいて、よんで　たしかめましょう。
		しを　かこう	ふしぎだな	書く	
		ことばのいずみ２	ことばと　あそびましょう・かたかな	言語	
		４．こんな　あそびが　あるよ	おにごっこ（わく　ようぞう）	読む	・じゅんじょを　たしかめよう (1)かくれんぼの　あそびかたの　じゅんに、（　）に　ばんごうを　入れましょう。 (2)手つなぎおにの　あそびかたを、じゅんじょよく　はなしましょう。

			わかりやすく　かこう	書く	・かきおわったら、ともだちと　こうかんして　よみあいましょう。かいて　あるとおりに　あそべるか　たしかめましょう。
		ことばのきまり２	文を　つくりましょう・「ます」と「ません」	言語	・えを　見て、文を　つくりましょう。カードの　ことばを　つかいましょう。 ・「はい。」「いいえ。」につづけて、正しく　へんじを　しましょう。
		ことばを　おくる	ゆうびんやさんごっこを　しよう	書く	・ゆうびんやさんごっこを　して、ゆうびんを　出しあいましょう。 ・見つけた　ことや　しらせたい　ことを　かいて　クラスの　ポストに　入れましょう。
		５．たのしんでよもう	ろくべえ　まってろよ（はいたに　けんじろう）	読む	1 こころを　そうぞうする ・つぎの　とき、かんちゃんたちは、どんな　ことを　おもったでしょう。 2 えらんで　とりくむ ・この　おはなしを、やくわりを　きめて　おんどくしたり、げきに　したり　しましょう。
			一年生をふりかえって	話す・聞く	・この一年、こくごの　べんきょうで、あなたが　いちばん　たのしかった　ことや　がんばった　ことを　はなしましょう。
		しりょうへん	かってな　くま（さの　ようこ）	読む	
			じゅぎょうで　つかう　ことば	言語	
			ひらがな・かたかな・かん字のまとめ	言語	
			ことばを　ひろげる　ことばを見つけよう	話す・聞く・書く	どんなものが見えるかな。
			しりょうしつ　「い」　の　つく　ことば	言語	

みんなと学ぶ　小学校こくご　　２年　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
			あたらしい　気もちで		

2	上		その　時の　気もちを　書きのこして　おこう		
			としょしつたんけんを　しよう		
		出あう・つたえあう	ふたりで　はなしましょう　－この　本　大好き！－		・大すきな　本を　もって　きて　ともだちに　しょうかいしよう。 ・おもしろい　ところや　たのしい　ところを　よんで　あげよう。 ・あなたは　どう　おもった？ ・こんどは　きみの　ばんだよ。
		こえに　出して　よもう	はるですよ（よだ　じゅんいち）		
			たんぽぽ（かわさき　ひろし）		
		1．なかよく　読もう	花　いっぱいに　なあれ（まつたに　みよこ）	読む	1 あらすじを　とらえる ・おはなしの　じゅんに、えに　ばんごうを　つけましょう。 2 かんそうを　出しあう ・下の　えの　ばめんで、みなさんが　おもった　ことを　出しあいましょう。
		ことばのいずみ1	音を　あらわす　ことば ようすを　あらわす　ことば	言語	1 下の　絵の　中から、どんな　音が　きこえて　くるか、さがして　みましょう。 2 つぎの、音を　あらわす　ことばを　つかって、文を　作りましょう。ワンワン・ポチャン・ガアガア ・下の　絵の　中から、ようすを　あらわす　ことばを　さがして　みましょう。
		2．分かるように　つたえよう	やって　ごらん　おもしろいよ	話す・聞く	1 あそびを　きめよう ・みんなの　意見の　よい　ところを　聞きとりましょう。 2 せつ明の　しかたを　かんがえよう 3 れんしゅうしよう ・はじめに・つぎに・さい後になどのことばをつかって、話しましょう。 ・一年生に　分かりやすいように、大きい　声で、　ゆっくり　はっきり話しましょう。

					4 あそび大会を　しよう
		ことばのきまり 1	文の　おわりの　言い方 「、」を　つける　ところ	言語	1 つぎの　文を　読んで　みましょう。 2□の　中に　入る　ことばを　かんがえて、「前の　こと」「いまの　こと」「これからの　こと」の　三つの　言い方に　しましょう。 ・つぎの　1 から　3 の　文に　「、」を　つけて、二通りの　文に　しましょう。
		書く　こと	友だちに　つたえよう	書く	・した　こと、見た　ことの　じゅんじょを　おもい出して、書きましょう。 ・書いたら、読みかえしましょう。 ・でき上がった　ものを、みんなで　読み合いましょう。
		3．しぜんの　ふしぎ	ほたるの　一生（ささき　こん）	読む	1 書かれて　いる　ことを　読む。 ①ほたるが　とびかうのは　いつですか。 ②ほたるは、なんの　ために　光るのですか。 ③ほたるの　幼虫は、どこに　すんで　いますか。 ④ほたるの　幼虫は、なにを　食べて　いますか。 2 じゅんじょをとらえる。ほたるの一生を、ひょうにまとめましょう。
			分かった　ことを　つたえよう	話す・聞く	1 しりたい　ことは　なんですか。 2図書室（としょしつ）に　行って、本を　さがして　読みましょう。 3 読んで　分かった　ことを、みんなに　つたえましょう。
		ことばのいずみ 2	いみを　合わせた　かん字 同じ　かん字の　読み方の　ちがい	言語	
		4．お話（はなし）の　本を楽しく　読もう	スイミー（レオ＝レオニ）	読む	
			読書あん内	読む	
			すきな　本の　ポスターを　作ろう	読む	
		しを　読もう	せいのび（ぶしか　えつこ）	読む	
			風（はたち　よしこ）	読む	

		ことばであそぼう	ことばのへんしん・早口ことば・つづけてみよう	言語	
		コミュニケーション	どう言えばいいかな	話す・聞く	どんな顔(かお)で話せたかな。あい手にもきいてみましょう。
		5．しろう・つたえよう	ちがいをくらべて書こう	書く	・二つにちがいがよく分かるかどうか、書きおわった文章を読みかえしましょう。 ・友だちと読み合って、よいところを見つけましょう。 ・書いた文章は、教室(きょうしつ)にはったり、読んでもらったりして、くらべたことをみんなにつたえましょう。
		ことばのきまり2	□は/が、□を/に/から□。	言語	1□に、ことばを入れましょう。 2絵を見て、文を作りましょう。
		しりょうへん	お手紙（アーノルド＝ローベル）	読む	
			じゅぎょうで　つかう　ことば	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			かん字のまとめ	言語	
			ことばを広げる　ことばを　見つけよう	言語	ようすが分かることばを見つけよう。
			しりょう室　ようすをあらわすことば	言語	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	下		いちばんぼし		
		1．みんなで読もう	くま一ぴき分はねずみ百ぴき分か（かんざわ　としこ）	読む	1かんそうを出し合う ・楽しかったばめんをえらんで話しましょう。 2ことばを書きぬく ・おとうさんが、ウーフにいちばん言いたかったことばを書きぬきましょう。

		ことばのいずみ１	つながりのあることば・かたかなで書くことば	言語	
		話す・聞く	たからさがしにちょうせん！	話す・聞く	・グループで力を合わせて、かくされたたからをさがしましょう。 ・今度(ど)は、みなさんがかくす場所(ばしょ)をきめ、友だちにヒントを出して、たからものをさがしてもらいましょう。 ・きちんとつたわるようにするには、どうすればよいでしょうか。
		書くこと	ふだんのできごとを書こう	書く	・文章を書くときには、つぎのことに気をつけながら書くと、読む人に分かりやすくなります。 ・「いつ」「だれが」「どうしたか」を書く。 ・「見たこと」「したこと」「思ったこと」をじゅんじょを考(かんが)えて書く。 ・書きおわったら読みかえして、まちがったところを直す。
		２．みの回りを見つめて	あいさつのみぶりとことば	読む	1 大体を読みとる ①どのようなあいさつのみぶりがしょうかいされていましたか。書き出しましょう。 ②どのようなあいさつのことばがしょうかいされていましたか。書き出しましょう。 2 大事なことを読みとる どのようなあいさつのみぶりやことばでも、かわりのないことはどんなことでしょうか。 文章から見つけましょう。
			はっぴょう会をしよう	話す・聞く	1 話すじゅんじょを考えて、ノートに書きましょう。 2 ノートを見ながら、はっぴょうしましょう。みんなに分かるように、ゆっくり、はっきり話しましょう。 ・聞く人は、話す人を見ながら、大事なことをおとさないように聞きとりましょう。 ・分からないこと、もっと知りたいことはしつもんしましょう。
		ことばのきまり１	くわしくあらわすことば・さししめすことば	言語	1 くわしくあらわすことば ・みんなの風船は、何色ですか。 ・どんな風船かよく分かるように話しましょう。 2 さししめすことば

					・つぎの、この・その・あの　はだれの風船をさしていますか。
		３．ことばを作る	しゃしんから話を作ろう	（ことばをつくる）	・つぎのページのしゃしんを見ましょう。だれがいますか。何がありますか。何をしていますか。 ・今度はしゃしんの中のようすをそうぞうしてみましょう。どんな場面でしょう。何を話しているのでしょう。 ・右のページの三まいのしゃしんを、じゆうにならべかえて、話を作りましょう。
		こんなことに気をつけましょう	話しことばの書き方	書く	
		しを書こう	心がふわっ！	書く	
		ことばのいずみ２	まとめてよぶことば	言語	・読んでみましょう。 １まとめて、何とよびますか。 ２まとめて「自動車」「どうぶつ」とよばれるものには、どんなものがありますか。 ・もっとまとめてよぶことばをひょうの中に書きましょう。
		４．こんなおもちゃがあるよ	うごく虫を作ろう	読む	
			おもちゃの作り方を知らせよう	書く	・みなさんもかんたんなおもちゃを作って、作り方を知らせる文章をかきましょう。 ・作り方が分かるように、じゅんじょに気をつけて書きましょう。 ・書いた文章を友だちと交かんして、読みながらおもちゃを作ってあそびましょう。
		ことばのきまり２	は・を・へ　ふつうの言い方とていねいな言い方	言語	
		ことばをおくる	「ありがとう」のカードをおくろう！	書く	・家族や友だちや近所の人に、「ありがとう」のカードをおくりましょう。
		５．むかし話を楽しもう	かさこじぞう（いわさき　きょうこ）	読む	・つぎの場面についてそうぞうしたことを、みんなで話し合いましょう。 〔①せっせとすげがさをあそんでいた時。②しかたなく帰ることにした時。③やっと安心して、うちに帰ることにした時。④つけなかみかみ、おゆをのんでねた時。⑤空ぞりを引いて帰っていくじぞうさまを見た時。〕 ・このお話を、紙しばいやまきものなどにして、声に出してひょうげんしましょう。
			二年生をふりかえって	話す・聞く	この一年、国語のべんきょうで、あなたがいちばんたのしかったことやがんばったことについて話しましょう。

		しりょうへん	頭にかきの木（もちづき　しんざぶろう）	読む	
			じゅぎょうで　つかう　ことば	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			かん字のまとめ	言語	
			ことばを広げる　ことばを　見つけよう	言語	はんたいになることばを見つけよう。
			しりょう室　はんたいことば	言語	

みんなと学ぶ　小学校国語　　３　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	上		新しい気もちで		
			出合ったことや発見したことを書きのこしておこう		
			図書室を利用して調べよう		
		出会う・つたえ合う	二人で話しましょう…とっておきのたからもの…	話す・聞く	・とっておきのたからものを友だちにしょうかいしよう。 ・すきなところや大切にしている理ゆうをつたえよう。 ・交たいしてつづけよう。 ・おたがいのたからものについて話そう。
		声に出して読もう	くまさん（まど・みちお）	読む	
			かえるのぴょん（谷川　俊太郎）	読む	
		１．場面をとらえよう	つり橋わたれ（長崎　源之助）	読む	・つぎの場面でのトッコのようすや、トッコが思ったことを考えましょう。 ①トッコは、きゅっとくちびるをかみしめて、ゆれるつり橋を見ました。 ②「ふんだ。あんたたちなんかと、だれが遊んでやるもんか。」 ③「ママーッ。」 ④「あら、あんた、いつ来たの。」と、トッコがきくと、男の子は、「あら、あんた、いつ来たの。」と言って、にっこりしました。

					・トッコになったつもりで、「着物を着た男の子」「山の子たち」「おばあちゃん」などへ手紙を書きましょう。
		言葉のいずみ１	言葉のなかま分け	言語	・言葉のなかま分け
		２．思いをつたえ合おう	友だちっていいな	話す・聞く	・友だちと楽しくすごしたり、こまっているときにたすけてもらった時のできごとを、グループの友だちに話しましょう。 1 つたえたいことをカードに書き出そう 2 聞き合って、カードを整理しよう 3 発表しよう ・どんな話し方をするとよくつたわるでしょう。 ・どんな聞き方をすると話がよく聞けるでしょう。 4 友だちの話を聞いて、カードを交かんしよう 5 グループの人どうしで話し合おう
			手紙を書く―はがきを書こう―	書く	・見たり聞いたりしたことをはがきに書いて、親せきや友だちに知らせましょう。夏休みには、先生にもはがきを出しましょう。
		言葉のきまり１	文の四つのかた	言語	1 下の絵を見ながら考えましょう。 2 上の絵を見て、短(みじか)い文を作りましょう。そして、作った文が 1 の①②③④のどのかたになるのか、考えましょう。
		書くこと	知らせたいことを整理して書こう	書く	・書けたら読みかえして、まちがえた所などを直しましょう。 ・できあがった作品を、みんなで読み合いましょう。
		３．自然のひみつ	とんぼのひみつ	読む	・まとまりを考えて、内ようを表にまとめましょう。
			ミラクル　ミルク（中西　敏夫）	読む	①「ミラクルミルク」は九つのだん落からできています。だん落ごとに番号をつけましょう。 ②つぎの表をかんせいさせましょう。
			調べたことをカードにしよう	書く	・みなさんが、身の回りの食べ物のことでぎ問に思ったことを調べて、みんなに教えましょう。あなたは、どんなことを調べますか。 1 カードにまとめる　図書館などで調べたことは、すぐにカードにまとめるようにしましょう。そのときに気をつけることは、①何を調べているのか。②分かったことは何か。をはっきりさせることです。また、カードには、調べた本と、書いた人の名前、調べて思ったことも書いておきましょう。

					2 発表する　書きおわったら、けいじ板などにはって、みんなで知らせ合いましょう。
		言葉のいずみ２	国語じてんを引いてみよう	言語	1 国語じてんをつかうとき 2 言葉のさがし方・五十音じゅんにさがす　・言い切りの形でさがす　・文に合う意味をさがす　・かたかな言葉をさがす
		４．いろいろな本を読もう	海の光（緒島　英二）	読む	
			読書あん内	読書	
			本のしょうかいをしよう	読書	・今までに読んだ本の中から一さつをえらんで、友だちにしょうかいをしましょう。 1 しょうかいしたい本をえらぶ 2 しょうかいする場面をえらぶ 3 しょうかのしかたを考える 4 グループでしょうかいし合う
		詩を読もう	山（原　国子）	読む	
			星とたんぽぽ（金子　みすず）	読む	
		言葉で遊ぼう	かくし言葉・言い方を考えて	言語	
		コミュニケーション	声をとどけよう、受け止めよう	話す・聞く	1 グループを作り、絵のようにならんでボールをパスし合います。 2 初めは自由にパスし合いましょう。そして、一通りパスを回した後、その時の感想を話し合いましょう。 3 次は、必ず相手と名前をよび合って、相手の顔を見て、とどくようにパスをしましょう。ボールは投げても転がしてもかまいません。 4 今度はどんな感想をもちましたか。話し合いましょう。 ・パスゲームで感じたことから、ふだんの会話でどんなことに気をつけたらよいのか考えましょう。
		５．知ろう・つたえよう	見てきたことを新聞にまとめよう	書く	1 じゅんびをしよう 2 調べたことをメモにしよう 3 見出しをつけて記事を書こう 4 新聞にしあげよう ・グループで作るときは、見やすいわりつけを話し合って考えましょう。 5 新聞の発表会をしよう

					・よい表現のしかたを、つぎの新聞作りに生かしましょう。
		言葉のきまり２	くわしく表す言葉	言語	
		しりょうへん	モチモチの木（斎藤　隆介）	読む	
			じゅぎょうでつかう言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　動きを表す言葉をたくさんあつめよう	言語	
			しりょう室　動作を表すこ言葉		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	下		ななくさ(坂田　寛夫)		
		１．想ぞうしながら読もう	わにのおじいさんのたから物（川崎　洋）	読む	1 人物の心を想ぞうする ・つぎの場面でのおにの子について、みんなで話し合いましょう。 〔①わにのそばにしゃがんで、しげしげとながめた時。②わにの体のまわりに、ほおの葉をつみ上げていったとき。③「君に、わしのたから物をあげよう。」と、わにのおじいさんから言われた時。④地図を見ながら、たから物をさがしていた時。⑤思わず、ぼうしを取った時。〕 2 思いを出し合う ・あなたは、夕やけを見ているおにの子に、何と言ってあげたいですか。考えたことを、みんなで出し合いましょう。
		言葉のいずみ１	漢字のでき方	言語	
		話す・聞く	あの子をさがして！	話す・聞く	・二人組になって当てっこゲームをしましょう。 ・今日(きょう)はお祭(まつ)りです。あなたは友だちと、この絵の中にいるもう一人の友だちと三人で待(ま)ち合わせをしています。絵の中から一人をえらび、相手にヒントを出して、待ち合わせをしている絵の中の友だちを当ててもらいましょう。

					・どんなことに気をつけて聞きましたか。
		書くこと	まとまりをはっきりさせて書こう	書く	・ちょっと自まんしたいできごとや、友だちや先生に分かってもらいたいことを文章(ぶんしょう)に書いてみましょう。 ・書きおわったら読み返(かえ)して、まちがえたところなどを直しましょう。
		２．くらしを見つめて	年の始(はじ)まり（宮本(みやもと)　袈裟雄(けさお)）	読む	1 大体をつかむ ①年の始まりの三つの考え方を、表にまとめましょう。 ②小正月のころのさまざまな行事をまとめましょう。 2 中心をつかむ ・それぞれの年の始まりの行事には、どんなねがいがこめられているかをまとめましょう。
			クラスのみんなにしょうかいしよう	話す・聞く	1 しょうかいメモを作ろう 2 紹介しよう ・みなさんも、身の回りにある、古くからつたわっているものなどを調べ、しょうかいし合いましょう。
		言葉のきまり 1	指ししめす言葉（こそあど言葉）	言語	
		３．メディアを生かす	詩のみりょくをつたえよう	メディア	1 詩のおもしろさを発見しよう 2 詩のおもしろさや楽しさを、いろいろは方法(ほう)でつたえよう 3 詩のおもしろさや楽しさをつたえ合う発表会を開こう
		文章の達人になろう	文章の分かりやすさ	書く	・次の三つの文章を読みくらべてみましょう。
		詩を書こう	ふしぎの心	書く	
		言葉のいずみ 2	かなで書くと同じになる言葉	言語	
		４．調べたことをつたえよう	合図としるし	読む	・大事なことをとらえよう 1 次の表をかんせいさせましょう。 2 合図やしるしのはたらきについてたしかめましょう。
			調べたことをまとめながら書こう	書く	・自分で調べたことをもとにして、身の回りの合図としるしについてせつ明する文章を書きましょう。 1 見つけたものや、考えたことをカードに書こう・かじょう書きにして、かんたんにまとめましょう。

					2 まとまりを考えて文章を書こう
		言葉のきまり 2	思ったことを表す言葉	言語	
		言葉をおくる	カードをおくろう	書く	・家族や友だち、お世話になった人たちに、カードを書いておくりましょう。だれに、どんな気持ちをつたえるかを考えて書きましょう。
		５．表げんを味わおう	百羽のつる（花岡　大学）	読む	1 様子を思いうかべる ①「ひわひわと」や「ゆっくりゆっくりと」などのように、様子を表す言葉をさがして、それぞれの文は、どんな感じがするか、話し合いましょう。 ②つるたちの様子を想ぞうしながら、音読しましょう。 2 えらんで取り組む ・まわりの様子やつるたちの様子が分かるようにくふうして、グループ音読をしたりげきをしたりしてみましょう。
			三年生をふり返って	話す・聞く	・この一年、国語の勉強で、あなたがいちばん楽しかったことやがんばったことについて話しましょう。
		しりょうへん	のはらうたⅠ（工藤　直子）	読む	
			きゅうしょく（谷川　俊太郎）	読む	
			世界中（じゅう）の海が（マザー・グースの歌）	読む	
			夕日がせなかをおしてくる（阪田　寛夫）	読む	
			じゅ業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　組になる言葉を見つけよう	言語	「男・女」のように、組になる言葉を見つけよう。
			しりょう室　組になる言葉	言語	

みんなと学ぶ　小学校国語　　４　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	上		新しい気持ちで		・これから、国語の時間にやってみたいこと、できるようになりたいことを考えてみましょう。
			毎日のくらしの中から話題を見つけよう		
			図書館を利用して調べよう		・学校の図書館だけでなく、近くにある図書館も利用して調べましょう。
		出会う・つたえ合う	二人で話そう　…とっておきの話…		・とっておきの話を友だちにしょうかいしよう。おもしろい話やこわい話をいっしょに話そう。 ・話すじゅんじょを考えて聞く人をしっかりひきつけよう。 ・交代してつづけよう。 ・おたがいの話の内ようや話し方について話し合おう。
		声に出して読もう	春の歌（草野　心平）	読む	
			めがさめた（工藤　直子）	読む	
		１．情景を思いうかべながら読もう	白いぼうし（あまん　きみこ）	読む	1 あらすじをつかむ ・四つの場面で、だれが出てきて、どんなことが起こりましたか。次の表にまとめましょう。 2 情景を思いうかべる ・色やにおいを表す言葉が使われている文を見つけ、それぞれどんな情景を思いうかべるか、話し合いましょう。 3 手紙を書く ・女の子になったつもりで、松井さんに手紙を書きましょう。
		言葉のいずみ１	いろいろな意味を表す言葉	言語	
		２．中心をはっきりさせて伝えよう	わたしはレポーター	話す・聞く	1 調べるものを決めよう 2 取材のじゅんびをしよう 3 取材をしよう 4 発表の内容を整理しよう　①取材してきたことを整理しましょう。②発表の中心を決めましょう。③話の中心が伝わるように、メモをならべかえながら、発表の組み立てを考えましょう。

					5 発表会をしよう。 ・聞く人は、話の中心がどこにあるかに注意して聞き、しつ問したり感想を伝えたりしましょう。
			手紙を書く―招待状を書こう―	書く	・学習発表会やてんらん会などを開くとき、家の人や地いきの人に招待状を出して、日ごろの学習の成果を見ていただきましょう。
		言葉のきまり１	主語・述語・修飾語	言語	
		書くこと	中心を考えて書こう	書く	・みなさんも、心に残っている最近のできごとを、文章に書きましょう。そして、書き手がいちばん書きたかったことは何かを考えながら、読み合いましょう。
		３．自然のひみつ	地下からのおくり物	読む	表を完せいさせましょう。
			あめんぼはにん者か（日高　敏隆）	読む	・次の表を完せいさせましょう。 ・二つの文章を読んで話し合おう・かんきょうをよごすことのえいきょうは思いがけないところにでます。二つの文章では、それぞれどのだん落に、えいきょうが出ると書いてありましたか。 かんきょうをよごすことのえいきょうについて、はかにどんなことがあるか、話し合いましょう。
			調べたことを知らせよう	書く	・今度はみなさんが、身の回りの虫や動物・植物のことを調べて、みんなに教えましょう 1 カードにまとめる　2 発表する
		言葉のいずみ２	漢字の部分の名前	言語	
		４．いろいろな本を読もう	ポレポレ（西村　まり子）	読む	
			読書あん内	読書	
			本のしょうかいを新聞を作ろう	読書	1 しょうかいする本を選ぶ 2 記事を書いてしょうかい新聞を作る
		詩を読もう	水平線（小泉　周二）	読む	
			ぼくが　ここに（まど・みちお）	読む	
		言葉で遊ぼう	言葉の中から言葉をさがそう・作ってみよう	言語	
		コミュニケーショ	心をとどけよう、受け止めよう	話す・聞く	・次の会話を役わり分たんして、声に出して読みましょう。

		ン			1 どんな感じがしましたか。・気がついたことを出し合いましょう。 2 あなたが太一さんだったら、つばささんとどんなやりとりをしますか。①～⑥を言いかえてみましょう ・右の会話と言いかえた会話が、どうちがっているのか話し合いましょう。
		５．知ろう・伝えよう	見学の記録文を書こう	書く	・工場や博物館などを見学すると、いろいろなことが分かります。見学して分かったことを記録文に書きましょう 1 見学する前 2 メモを取りながら見学しよう 3 メモや資料をもとに書いてまとめよう
		言葉のきまり 2	どうする何（だれ）どんな何（だれ）	言語	
			ローマ字	言語	
		しりょうへん	りんご畑の九月（後藤　竜二）	読む	
			じゅ業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　関係のある言葉をさがせ	言語	・関係のある言葉をたくさん集めよう。
			しりょう室　「お」と「こ」		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	下		ぶどう　（のど　さかん）		
		１．読みを深めよう	ごんぎつね（新美　南吉）	読む	1 場面の様子から考える ・次の場面での、ごんと、その心情について話し合いましょう。 〔①いたずらばかりしていた時。②「兵十だな。」と、じっとのぞいて見た時。③「ちょっ、あんないたずらをしなけりゃよかった。」とあなの中で考えた時。④「おれは、引き合わないなあ。」と思った時。⑤ぐったりと目をつぶったままうなずいたとき。〕

					話し合う　「兵十は、火なわじゅうを、【ばたり】と【取り落とし】ました。【青いけむり】が、【まだ】、つつ口から細く出ていました。」の【】の言葉から伝わってくる様子について話し合いましょう。
		言葉のいずみ１	漢字の音と訓・漢和辞典を引いてみよう	言語	
		話す・聞く	かざりつけはどうする？	話す・聞く	・グループのみんなで食べるケーキのかざりを決めましょう。使えるお金はグループで百円まで。 まずは、自分の考えでかざりを決めましょう。 ・次にグループのみんなで決めましょう。自分がかざりを選んだ理由を伝え合い、みんなで一つの考えにまとめましょう。 ・みんなで協力してすてきなかざりつけができましたか。
		書くこと	中心とだん落を考えて書こう	書く	・ふだんの生活の中で、自分がどんなことをしたのか、どんなことを考えたり思ったりしているのかを、文章に書いて友だちと知らせ合いましょう。 ・最近のできごとの中から心に残っていることを、中心のだん落のまとまりを考えて、文章を書きましょう。
		２．くらしを見つめて	手で食べる、はしで食べる（森枝　卓士）	読む	1 まとまりごとに要点をとらえよう （1）文章の前半についてまとまりごとに要点を書きましょう。 （2）文章の後半について、要点をまとめて、表をかん成させましょう。
			文化のちがいを調べて発表しよう	話す・聞く	・いろいろな国の文化や生活のちがいをグループごとに調べ、感想を加えて発表し合いましょう。 1 調べよう 2 課題を発表しよう ・聞く人は、要点をメモしながらよく聞いて、感想カードやていあんカードを発表グループにわたしましょう。 ・感想やていあんを生かして、発表会を開きましょう。
		言葉のきまり１	文と文との関係	言語	
		３．メディアを生かす	コマーシャルを作ろう	メディア	・コマーシャルをよく見よう ・広告を作ってみよう自分たちの住んでいる県や地いきの観光地や特産物、または、自分たちがふだんから学校や地いきで取り組んでいる活動などを、他の地いきの人

					に知らせるコマーシャル広告を作りましょう。 1 ボディーコピーを作ろう 2 キャッチコピーを作ろう 3 広告にしあげよう 4 発表会をしよう ・できあがった広告を発表しましょう。そして、その広告でくふうしてあるのはどんなところか、また、どんなことが伝わったかを、おたがいに伝え合いましょう。
		文章の達人になろう	まとまりと分かりやすさ	書く	・これから、友達のよいところをクラスのみんなにしょうかいしてみましょう。 ・伝えたいことを整理してまとめよう
		詩を書こう	感じる心	書く	
		言葉のいずみ 2	慣用句・送りがな	言語	
		４．意見を伝えよう	点字を通して考える（黒崎　恵津子）	読む	1 まとまりをつかむ ・この文章を大きく三つのまとまりに分け、まとまりごとに見出しを付けましょう。 2 要点をつかむ ・今の点字ができるまでに、どんな文字が考え出されましたか。それらを書き出し、その良い点と悪い点をかじょう書きにしましょう。 3 中心をまとめる。 ・バリアフリーを実現するためには、どうすればよいと、筆者は書いていますか。
			くらしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	書く	・みなさんの身の回りには、もう少し改良すると、もっと便利になりそうな物やバリアフリーに役立ちそうだと思えるものなどはありませんか。気がついたことや考えたことを、友達とてい案し合いましょう。 1「点字を通して考える」の話の進め方をまねて、表にまとめる 2 表をもとに、文章にまとめる 3 アイデアをてい案し合う
		言葉のきまり 2	そうだ・そうだ	言語	
		言葉をおくる	漢字をおくろう	書く	・友達のことを漢字一字で表して、カードに大きな字を書いてみましょう。 ・文字の色や筆記用具などをくふうして、その字を選んだ理由も分かるように、言葉を加えておくりましょう。
		５．表現を味わお	小鳥を好きになった山（アリス	読む	1 会話に注目する

		う	＝マクレーラン）		・「山」と「小鳥」の会話文を音読して、気づいたことや感じたことを発表しましょう。 2 選んで伝える ・この物語を読んで感じたことや考えたことを、話し合ったりポスターにしたりしてみましょう。
			ローマ字	言語	
			四年生をふり返って	書く	・この一年、国語の勉強で、あなたがいちばん楽しかったことやがんばったことについて書きましょう。
		しりょうへん	いちばんの願いごと（ミヒャエル＝エンデ）	読む	
			じゅ業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　漢字のしりとりにちょう戦！	言語	
			しりょう室　音をしめす部分	言語	

みんなと学ぶ　小学校国語　　５　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	上		新しい気持ちで		
			体験を通して話題を見つけよう		
			コンピュータを使おう		
		出会う・伝え合う	二人で話そう…好きな本を当てよう…	話す・聞く	・自分の好きな本を持ってきて、教室にならべましょう。 ・二人で組になって、おたがいに相手が持ってきた本を当ててみましょう。 ・相手のヒントをよく聞いて、持ってきた本を当てましょう。 ・この本が好きなんだね。どんなところが好きなの。
		声に出して読もう	ぼくにはぼくの道がある（小海永二）	読む	

			ケヤキの新芽（みずかみ　かずよ）	読む	
		１．びょう写を読もう	大造じいさんとがん（椋　鳩十）	読む	1 あらすじを読み取る ・本文を三つに分け、がんをとらえるために、大造じいさんが考えた方法とその結果をまとめましょう。 2 びょう写を読み味わう ・次の場面の、残雪と大造じいさんの心情を読み取りましょう。 ①残雪は、むねの辺りをくれないのそめて、…ただの鳥に対しているような気がしませんでした。 ②ある晴れた春の朝でした。…いつまでも、いつまでも見守っていました。
		言葉のいずみ 1	組み合わせの言葉・意味の似ている言葉	言語	
		２．意見を交流しよう	地域との交流計画を立てよう	話す・聞く	・クラスで提案することを、グループごとに話し合ってまとめましょう。 ・グループでまとまった意見をもとにクラス全体で話し合いましょう。 1 グループの意見をまとめよう 2 クラス全体で話し合おう ・みなさんのクラスでもいろいろな議題で話し合いをしましょう。
			お礼状を書こう	書く	・お世話になった人や、感謝したい人に、お礼の手紙を書きましょう。 ・心のこもった手紙は、相手の気持ちを温かくします。心と心のふれ合いを大切にしましょう。
		言葉のきまり 2	前後のつながりを示す言葉・指し示す言葉	言語	
		書くこと	心の動きを伝えよう	書く	・最近、家や学校や地域で、どんなことがありましたか。思い出してみましょう。 ・みなさんも、最近のできごとの中から思い出したことや、心に残ったことなどを、表現のしかたをくふうして、文章に書きましょう。
		３．自然とともに	谷津干潟の生き物たち（国松俊英）	読む	1 要点をおさえる （1）谷津干潟はどんなところか、本文を読んで、要点をまとめましょう。 （2）下の地図の①～⑤の場所の様子と、そこにどんな生き物が生息していて、どんなことをしているかまとめましょう。

					2 筆者の考えをつかむ 「生き物たちにとって、谷津干潟の果たしている役わりは小さくありません。」とありますが、そのわけを考え、まとめましょう。
			必要なことを選んでまとめよう	書く	・身の回りの自然や生き物について調べ、ポスターにまとめましょう。 ・でき上がったら、発表するなどしてみんなで知らせ合いましょう。 ・ここで学んだ調べ方やまとめ方は、ほかの学習にも生かしましょう。
		言葉のいずみ2	共通語と方言・文語と口語	言語	
		４．本の世界を広げよう	注文の多い料理店（宮沢　賢治）	読む	
			読書案内	読書	
			読書の楽しみを広げよう	読書	・同じ本を読んでも、人によって心に残る場面がちがったり、感想がちがったりすることがあります。グループで同じ本を読んで、楽しい読書ゲームをしましょう。 1 グループで一さつの本を読もう 2 クイズを作ろう 3 読書ゲームをしよう ・カードにして示す、紙しばいにするなど、クイズの出し方をいろいろくふうしてみましょう。
		詩を読もう	原っぱ（長田　弘）	読む	
			露（北原　白秋）	読む	
		言葉で遊ぼう	上から読んでも下から読んでも・想像しよう	言語	
		コミュニケーション	言葉のいろいろな伝わり方	話す・聞く	・いろいろな言い方や伝わり方について分かったことを出し合いましょう。
		５．知ろう・伝えよう	方言を調べて報告しよう	書く	・みなさんも、自分の土地や、親せきの住んでいる土地の言葉に注目しましょう。そして、その言葉と共通語とを比べ、「方言通信」としてまとめましょう。 1 調べる方法を考える ①どんな調べ方をするか②取材したり調べたりするときにすること。 2「方言通信」にまとめる 3 発信しよう
		言葉のきまり2	文の構造	言語	

		資料編	チョコレートのおみやげ（岡田淳）	読む	
			じゅ業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　関係のある言葉をさがせ	言語	
			資料室　主な部首の名前		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	下		紙風船　（黒田　三郎）		
		１．平和を求めて	父ちゃんの凧（長崎　源之助）	読む	1 場面を読み味わう ・次の場面を読み、「父」がどのような１ことを思ったかを書きましょう。〔①中国の少年のむかで凧を見つけ、見せてもらった時。②五十まいの凧を作っている時。③凧をあげた時。〕 2 人物をつかむ ・「父」がどんな人物か分かる表現を書き出しましょう。
		言葉のいずみ１	熟語の組み立て・かなのでき方	言語	
		話す・聞く	話し合いが行きづまったら	話す・聞く	・あなたのクラスでも、こんなことはありませんか。 ・話し合いが行きづまったらどうすればよういのでしょうか。
		２．文化を受けつぐ	和紙の心（町田　誠之）	読む	1 内容をとらえる (1) この文章を大きく四つに分けましょう。 (2) 和紙と洋紙について、作り方・性質・特長をまとめましょう。 (3) 和紙の性質や特長と、それを生かしたものについて整理しましょう。 2 筆者の意見をつかむ ・この文章で、筆者が伝えようとしていることをまとめましょう。
			調べたことをもとにポスターセ	話す・聞く	・古くから伝わっているものや文化についてテーマを見つけ、みんなでしょうかい

			ッションを開こう		し合いましょう。 1 テーマを決めて調べよう　2 ポスターを作ろう　3 ポスターセッションを開こう
		言葉のきまり 1	「れる」「られる」を使った文	言語	
		３．メディアをつくる	わたしたちの本を作ろう	メディア	・みなさんの今までの活動や体験を、「本」という形にまとめましょう。そして、本作りを通して、自分たちの活動や体験を効果的に伝える方法を考えましょう。 1 どんな本を作りたいか話し合おう 2 本全体の構成や内容・分量（ページ数）を決めよう 3 分たんを決めて、作業を進めよう 4 記事の順序やならべ方を検とうしよう 5 印刷・製本をしよう 6 本の合評会を開こう 7 より多くの人に本でもらおう
		文章の達人になろう	伝えることをはっきりと	書く	・用けんを確実に伝える文章を書こう。 ・できた文章を友達と交かんして、「だれ」に「どういう理由」があって、「何をどうしたい」ということがきちんと伝わるかどうか、確かめましょう。
		詩を書こう	大切な心	書く	
		言葉のいずみ 2	ことわざ・故事成語	言語	
		４．心をつなぐ	心と心をつなぐ「もうひとつのお金」	読む	1 内容をおさえる （1）地域通貨とふつうのお金のちがいをまとめましょう。 （2）地域通貨を使うことのよさをまとめましょう。 2 筆者の考えをつかむ ・筆者が地域通貨を広めていきたいと考えるのはなぜか、自分の考えも交えて話し合ってみましょう。
			意見文を書こう	書く	・身の回りのできごとに注目して、その良い点や悪い点について考えてみましょう。そして、そこから考えたことを、全体の構成を考えながら、意見文にまとめましょう。 ・みなさんも、いろいろなことに目を向けて考え、自分の意見をまとめましょう。
		言葉のきまり 2	組になって使われる言葉・述語のいろいろなすがた	言語	
		言葉をおくる	慣用句やことわざをおくろう	書く	・慣用句やことわざなど、自分の好きな言葉を選んで、友達におくりましょう。

		５．ひびき合う声	木竜うるし（木下　順二）	読む	1 表現の効果を考えて人物の性格をとらえる・ 権八と藤六は、どのような性格の役がらですか。せりふやト書きを手がかりにして、それぞれがあたえられている役わりとおもしろさやおかしさをノートにまとめましょう。 2 心情の変化を読み取る ・権八の行動から心情の変化を読み取って、まとめましょう。 3 選んで表現する ・役を決め、人物の性格や場面の情景、心情などがよく表れるように、グループで音読したり、上演したりしましょう。
			五年生をふり返って	書く	・この一年、国語の勉強で、あなたがいちばん楽しかったことやがんばったことについて書きましょう。
		資料編	まんじゅうこわい（川端　誠）	読む	
			授業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　ことわざや慣用句を覚えよう	言語	
			資料室　ことわざ・故事成語	言語	

みんなと学ぶ　小学校国語　　６　　上・下　　学校図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	上		新しい気もちで		
			身の回りのことを見つめよう		
			「調べる」ことの達人になろう		
		出合う・伝え合う	二人で話そう…未来のあなたにインタビュー…	話す・聞く	・未来のあなたはどんな人になっているでしょうか。 ・仕事や家族は？どんな性格で、どんなものが好きなんだろう？ ・未来の自分になりきって、友達のインタビューに答えましょう。

					・立場を交代して、未来の友達にインタビューしてみましょう。 ・友達がすてきな夢を持っていることを知っていましたか？
		声に出して読もう	今日からはじまる（高丸　もと子）	読む	
			どこかで春が（百田　宗治）	読む	
		１．びょう写を読もう	あの坂をのぼれば（杉　みき子）	読む	1 情景びょう写を味わう・ ・ー（※傍線のこと）の言葉に注意して、次の場面の情景を想像しましょう。 〔①草いきれがむっと立ちこめる山道である。②見下ろす行く手は、またも波のように、下ってのぼって、その先の見えない、長い長い山道だった。③ちょうのようにひらひらと、白い物がまい落ちる。手のひらをすぼめて受け止めると、それは、雪のようなひとひらの羽毛だった。〕 2 表現から心情をとらえる 〔①「―あの坂をのぼれば、海が見える。」のくり返しに着目し、それぞれの時の少年の心情を想像しましょう。②海鳥を見つけた時の少年の心情の変化を想像しましょう。〕
		言葉の泉 1	文語の文章	言語	
		２．意見を交流しよう	わたしたちの学校改善計画	話す・聞く	1 提案メモを作ろう　2 提案の準備をしよう　3 提案をしよう ・みなさんのクラスでも、学校生活のいろいろな機会に、立場や意図をはっきりさせて提案したり、話し合ったりしましょう。
			依頼状を書こう	書く	・自分たちがよく知らないことを教えてもらいたいときや、自分たちではできないことをしてもらいたいときなど、だれかに協力をお願いしなければならないことがあります。
		言葉のきまり 1	接続語の働き・文のつながり	言語	
		書くこと	体験したことを伝えよう	書く	・みなさんも、体験を通して学んだことを文章にして伝え合いましょう。
		3. 人間を知る	自分の脳を自分で育てる（川島隆太）	読む	1 内容をつかむ ・脳が働いている様子を読み、表を完成させましょう。 2 筆者の考えをつかむ ・前頭前野の働きを活発にするために、どんな実験結果からどんなことが言えると筆者は考えていますか。まとめましょう。
			調べたことと考えたことを区別	書く	・人間の体のしくみについて、疑問に思ったことや、知りたいと思ったことを調べ

			してまとめよう		ましょう。 1 テーマを決めて調べよう 2 調べたことをまとめよう ・ポスターをけい示して、みんなに知らせましょう。 ・ここで学んだ調べ方を、ほかの学習にも生かしましょう。
		言葉の泉２	熟語の構成	言語	
		４．本の世界を広げよう	夢に向かって―モンゴメリー伝記―	読書	
			読書案内	読書	
			読書会をしよう	読む	・みなさんは、今までにいろいろな本を読んできて、特に気に入った本や、心に残った本があると思います。 その読書経験を生かして読書会を開きましょう。そして学級全体に読書の輪を広げましょう。 1 しょうかいする本を決めよう 2 しょうかいメモを作ろう 3 読書会をしよう ・いろいろな人に本をしょうかいしたり、しょうかいしてもらったりしながら、豊かな読書生活を送りましょう。
		詩を読もう	短歌と俳句（佐佐木　幸綱）	読む	
		言葉で遊ぼう	しゃれで遊ぼう・考えてみよう	言語	
		コミュニケーション	コミュニケーションと心のドア	話す・聞く	・インタビューゲームをしよう。これまで、あまり話したことのない友達との共通点を探してみまう。
		５．知ろう・伝えよう	言葉のおもしろさ大研究	書く	・ここでは、言葉の持つおもしろさについて考えていくことにしましょう。そして、「言葉研究レポート」にまとめて発信しましょう。 1 グループで話し合い、テーマを見つける 2 各自のテーマを決める 3 資料を集める 4 資料を整理し、レポートにまとめる ・今までの例を参考にしたり、自分で調べたりして話題を見つけ、「言葉研究レポ

					ート」を書きましょう。 ・できあがったレポートは、友達と交かんして、感想や意見を書いてもらいましょう。
		言葉のきまり２	敬語	言語	
		資料編	ロシアパン（高橋　正亮）	読む	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			言葉を広げる　四字熟語に全力投球！	言語	
			資料室　熟語の読み	言語	

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	下		なだれ		
		１．心を見つめて	山へ行く牛（川村　たかし）	読む	1 びょう写から心の動きを読み取る ・次の場面の島子の気持ちを想像して、島子の言葉で話したり書いたりしましょう。〔①島子は…言葉が、のどのおくにつまってしまった。②島子は、だまってうなずいてみせた。…自信があった。③牛は…、島子はまた、父のことを思い出していた。④島子は、わざと弁当を…親子どんぶりの味がわすれられなかったので。⑤両手を放して…牛は泣いていた。⑥自分もまた牛になっていた。〕 2 朗読する ・感動した場面をぬき書きして読みましょう。
		言葉の泉１	言葉の変化	言語	
		話す・聞く	こんなときどうする？（話し合いの進め方）	話す・聞く	・話し合いのときの司会の役割はいろいろあります。どんな発言を心がけたらよいか、よく考えてみんなで話し合ってみましょう。
		２．環境とともに	エネルギー消費社会（高木　仁三郎）	読む	1 文章の要旨と構成をとらえる ・この文章は大きく三つの部分に分けられます。それぞれの内容を短い文でまとめましょう。 2 事実と意見を区別する

					・筆者は、エネルギーのろう費が環境にえいきょうをあたえるという問題を挙げていますが、その対策として、筆者の主張していることを四つ書き出しましょう。 3 筆者の主張をまとめる ・この説明文を通して、筆者は何をうったえようとしているのかまとめましょう。
			討論会を開こう―考えを深めるために―	話す・聞く	・今度は、みなさんの身の回りの、見直したい問題を整理して、話し合ってみましょう。 1 提案者と司会を決める 2 準備をする 3 パネルディスカッションをする
		言葉のきまり 1	文の構造・「は」と「が」	言語	
		３．メディアを学ぶ	ニュースを読み解こう	メディア	・ニュースについて考えよう ・それでは、メディアが伝える情報の中からニュース番組に注目し、考えて見ましょう。 1 わたしたちはニュースをどのように受け止めているか ・最近、一週間ほどの間にテレビで見たり新聞で読んだりしたニュースと、その内容を表に書き出してみましょう。 2 テレビニュースを読み解く ・いくつかの放送局の夕方のニュース番組を、放送開始から十分間録画しましょう。そして、グループごとに分担してそのビデオを見て、内容を調べましょう。 ・まとめよう　　今まで調べたこと表や調査カードに感想などを書き加え、まとめましょう。
		文章の達人になろう	効果的な伝え方	書く	・読み手に自分の考えや意見を効果的に伝えるために、いろいろな表現のしかたをくふうしましょう。
		創造する心	「連詩」を発見する（大岡　信）	書く	
			連枝を作ろう	書く	1 宇宙短歌を作ってみよう。 2 連詩を作ろう ・みなさんも、グループにわかれて、連詩を作ってみましょう。友達同士で助け合って作ると、思いがけない発想が出てきて、楽しくできます。そして、できた詩をクラス全体に発表しましょう。

		言葉の泉２	言葉の成り立ち	言語	
		言葉をおくる	詩をおくろう	書く	・自分の好きな詩や歌詞などを選んで、友達やお世話になった人におくりましょう。思いをこめたメッセージをそえましょう。
			あいたくて（工藤　直子）	書く	
		４．共に生きる	アジアを見つめる、アジアから考える（榎井　縁）	読む	1 筆者の主張をつかむ (1)「自分が…アジアの一員と呼ばれることには、とまどう人もいるかもしれません。」と筆者は書いています。その理由として、筆者が挙げている三つの点を書き出して見ましょう。 (2) (1) で挙げた三点に対して、筆者はどのような事実を挙げて論じているでしょうか。整理してみましょう。 2 自分の意見をまとめる ・この文章を読んで、新たに気づいたことや考えたことをまとめましょう。
		言葉のきまり２	意味を付け加える言葉・「せる」「させる」を使った文	言語	
			考えを広げよう	話す・聞く	・この文章を読んで、感じたことや考えたことをみんなで話し合いましょう。
			このすばらしい世界（山口　タオ）	読む	
			六年生をふり返って	書く	・六年間の国語の学習をふり返って、楽しかったこと、がんばったことについて書きましょう。
		資料編	授業で使う言葉	言語	
			話し方・聞き方・まとめ方	話す・聞く・書く	
			漢字のまとめ	言語	
			音別　小学校学習漢字一覧表	言語	
			言葉を広げる　四季のうたに親しもう	言語	・声に出して読み、覚えよう。
			資料室　季節の言葉集め	言語	

ひろがることば　しょうがくこくご　　１　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	上		はるの　おたより		
			みんなと　たのしく		
			たのしく　よみましょう　１		
			はなしましょう　ききましょう		
			たのしく　よみましょう　２		
			えと　ことばで　かきましょう		
			けむりの　きしゃ		
			ぶんを　つくって　みましょう		
			なにが、かくれて　いるのでしょう		
			しらせたい　ことを　かきましょう		
			おはなしの　くに		
			おおきな　かぶ		
			「めいし」で　じこしょうかいしよう		
			けんかした　山		
			たのしかった　ことを　かきましょう		
			あたらしく　まなんだ　かんじ		
			口の　たいそう　あ・い・う・え・お		
			まちがえやすい　ひらがな		
			かたかなの　ひょう		
			えにっき		
			ことばの　あそび		
			ひらがなの　ひょう		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	下	たのしく　こえにだして　よもう	てんとうむし	（読む）	
			木	（読む）	
		じゅんじょを　かんがえよう	はたらく　じどう車	読む	・『はたらく　じどう車』を　よんで、つぎの　ことを　はっぴょうしましょう。 (1) どんな　じどう車が　でて　きますか (2) それぞれの　じどう車は、どんな　はたらきを　しますか (3)「つかいみち」に　あわせて、どのように　つくられて　いますか
				言語事項	・「じどう車には、いろいろな　ものが　あります。」の「じどう車」を、ほかのことばに　かえて、ノートに、かきましょう
			くわしく　する　ことば	言語事項	
			のりものの　ことを　しらせよう	書く	・なんと　言うのりものか。のりものの　なまえを　かく。 ・どんな　のりものか。のりものの　はたらきを　かく。 ・どんな　つくりか。のりものの　なかや　そとがわの　つくりを　かく。 ・かきおわったら、きょうしつに　はりだして　よみあいましょう。
			かたかな	言語事項	・つぎの　ことばを　よんだり、かいたり　しましょう。 ・どこが　ちがうでしょう。 ・かたかなの　ことばを、なかまごとに　あつめましょう。 ・『はたらく　じどう車』の　中から、かたかなの　ことばを　見つけて　かきましょう。
		かん字の　ひろ場1	よう日や　日づけの　よみかた	（言語事項）	・カレンダーを　見て、よう日や　日づけの　かん字を　あつめましょう。
		どくしょのひろば	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	読書	・どうぶつの　でて　くる本を　よんで　みましょう。よんだ　本の　名まえと、かいた　人の　名まえ、じぶんの　名まえを　カードに　かきましょう。 ・できた　カードを、おなじ　どうぶつごとに　まとめて　はり、「おはなし　どうぶつえん」を　つくり　ましょう ・「おはなし　どうぶつえん」を　見て、よみたいなと　おもった　本を　よんでみましょう。 ・よみおわった　人は、「おきゃくさまカード」に、じぶんの　名まえを　かいてはりましょう

		本の　せかいを　たのしもう	うみへの　ながい　たび	読書	
		かん字の　ひろ場２	かわる　よみかた	（言語事項）	
		みんなに　つたえよう	みぶりで　あそぼう	話す・聞く、読む	・みぶりで　つたえる　あそびを　して　みましょう。 ・みんなで　あそんで　みましょう
			みぶりで　つたえる	話す・聞く、読む	・どんな　みぶりを　するでしょう ・『みぶりで　つたえる』を　よんで、どのような　ときに、どのような　みぶりを　するか、はなしあって　みましょう。
			みぶりを　つかって　はなそう	話す・聞く、読む	・じぶんが　見た　ことの　ある　生きものの　ことを　はなして　みましょう。 ・つたえたい　生きものの　ようすを　くわしく　おもいだして　はなしましょう。
		かん字の　ひろ場３	にて　いる　かん字	（言語事項）	
		した　ことを　おもい出して　かこう	かきたい　ことを　一つ　えらんで	書く	・やまざきさんの　さく文を　よんで、つぎの　ページの　「れい」のように、あてはまる　ところに　しるしを　つけて　みましょう。 ・かいた　さく文を、ともだちや　いえの　人に　よんで　もらいましょう。
			文を　つくりましょう	言語事項	えに　あわせて、文を　くわしく　して　みましょう。 いみの　ちがいを　かんがえて　みましょう。
		かん字の　ひろ場４	しるしから　できた　かん字	（言語事項）	
		こころの　つながりを　よもう	お手がみ	読む	(1)かえるくんが　かいた　手がみを、こえに　出して　よんで　みましょう。 (2)がまくんは、手がみの　なかみを　きいて、こころの　中で、かえるくんに　どんな、ことを　いったでしょう。がまくんに　なって、ことばを　かいて　みましょう。 ・みなさんも、だれかに　なにかを　して　もらったり、してあげたり　した　ことが　ありますか。その　ときに　おもった　ことを　はなして　みましょう。
				言語事項	『お手がみ』の　中から、□に　あてはまる　ことばを　さがしましょう。
		こくごの　学しゅう	これまで　これから		
		かん字を学ぼう	あたらしく　学んだ　かん字	（言語事項）	
			１上で　学んだ　かん字	（言語事項）	

		ふろく･おぼえよう	まちがえやすいかたかな		
			ひらがなのひょう		
			まちがえやすいひらがな		
			かたかなのひょう		
		ふろく・しりたい	かぞえかた		
		ふろく・かきたい	しょうたいじょうづくり		
			ノートのかきかた・うつしかた		
		ふろく・もっとよみたい	おじさんのかさ		
		ふろく･あそびたい	ことばのあそび		

ひろがることば　小学国語　　２　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	上	元気に　声を　出そう	つくし　だれの　子	（話す･聞く，読む）	
			おてだまうた		
		やって　みたいな、こんな　こと		話す・聞く	話すまでの　じゅんび ①やって　みたい　ことを　おもい出す。 ②その　中から、みんなに　話したい　ことを　一つ　えらぶ。 ③どのように　話すか　じゅんじょを　かんがえる。 ④話す　れんしゅうを　する。 ・みなさんも、じゅんばんを　きめて、まい日、朝の会などで　話して　みましょう
			はっきりと　した　声で	言語事項	・つぎの　詩を　読んで　みましょう ・つぎの　ことばを　ともだちに　いって　みましょう ・聞いて　いる　人が　よく　わかるように、声に　出して　いって　みましょう
			わたしの　日記ちょう	書く	・「わたしの　日記ちょう」を　つくって、まい日の　生活を　ふりかえって　みましょう。
		１思いを　うけと	ひっこして　きた　みさ	読む	・まとまりごとに、「みさ」の　ようすを　思いうかべながら、声に　出して　読

		めて　読もう			んで　みましょう。 ・教科書の　中から、つぎの　文を　ノートに　書きうつして、その　時の　「みさ」や「しんやくん」の　気もちを　かんがえて　みましょう。 ・この　お話の　あとの　「みさ」に、手紙を　書いて　みましょう。そして、書いた　手紙を　はっぴょうしあいましょう。
				言語事項	「・・・たり、・・・たり」と　いう　言いかたを　つかって、みじかい　文を　書いて　みましょう
					・つぎの　どちらかを　えらんで、グループで　学しゅうを　すすめましょう。 ・おはなしかるた ・音読テープ
		かん字の　ひろ場１	画と　書きじゅん	（言語事項）	・画の　数を　たすと　右がわの　数になるような　かん字を、下から　えらびましょう。
		2 見つけた　ことを　書こう	たんけんした　ことを	書く	1 しらべたい　ことを　話しあう 2「はっけんカード」に　書く 3「はっけんカード」をもとに　書く 4 書いた　作文を　しょうかいする
		かたかなで　書くことば		言語事項	・かたかなで　書くのは　どちらでしょう。 ・絵の　中から、かたかなで　書く　ことばを　さがして　書きましょう。 ・ほかにも、かたかなで　書く　ことばを　あつめて　みましょう。
		かん字の　ひろ場２	仲間の　かん字	（言語事項）	・かぞくを　あらわす　ことばを　えらんで、□に　書きましょう。 ・どんな　仲間か　かんがえながら、□に　かん字を　書きましょう。 ・□に、はんたいの　いみの　かん字を　書きましょう。
		3 じゅんじょに気を　つけて　読もう	すみれと　あり	読む	・この　せつ明文を　読んで、おもしろいな、もっと　くわしく　しりたいなと　思った　ことを、ノートに　書きましょう。 ・すみれの　たねは、どのようにして　遠くまで　はこばれますか。
				言語事項	・一線の　ことばが　ないと、文の　いみは　どう　かわりますか。話しあって　みましょう。
		読書の　ひろ場	図書室へ　行こう	読書	
			鳥の　ちえ	読書	

		詩を書こう	かんじた　ことを	書く	
		かん字の　ひろ場３	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		4 だいじなことを知らせ合おう	たからものを知らせ合おう	話す・聞く	・きき方名人になろう ・夏休みに見つけたものやたからものを、二人ひと組みになって、友だちと見せ合いましょう。友だちは、どんなものを見せてくれるでしょう ・つぎのようなことを、たずねてみましょう。
			手紙で知らせよう	書く	・二人ひと組で話したことを思い出して、手紙に書きましょう。そして、友だちにわたして、知らせましょう。 ・手紙をもらったら、へんじを書きましょう。
		かん字の　ひろ場４	かん字の組み立て	（言語事項）	・つぎのかん字を、わけたり、組み合わせたりしてみましょう。
		5 思いを見つめて読もう	きつねのおきゃくさま	読む	・すきな場面を思いうかべてどんなところがすきなのか、思ったことやかんじたことをはっぴょうしましょう。 ・ひよこやあひるやうさぎになったつもりで、「親切なお兄ちゃん」の話をしてみましょう。 ・「はずかしそうにわらってしんだ。」（79 ページ）時の、きつねが言いたかったことを、だれかに話しかけるように書いてみましょう。
				言語事項	・くりかえしのあるお話をたのしもう。
		かん字を学ぼう	あたらしく　学んだ　かん字		
			１下までに　学んだ　かん字		
		ふろく・おぼえよう	気をつけて書くところ		
			ちゅういする書き方		
			かたかなのひょう		
		ふろく・知りたい	はっきりした声を出す練習		
		ふろく・はってん	かん字のへんとつくり、かんむりとあし		
		ふろく・かきたい	はがきの書き方		
		ふろく・しらべたい	あるとべんりな七つどうぐ		

		ふろく・もっと読みたい	本とあそぼう		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	下	たのしく読もう	ちいさい　おおきい	（読む）	
		1 じゅんじょやようすを考えよう	さけが大きくなるまで	読む	・さけが大きくなるようすを、時や場所をあらわすことばに気をつけて、つぎのようにまとめてみましょう。
				言語事項	・「れい」にならって、傍線のことばをつかって、文を作りましょう。
			「生きものふしぎ図かん」をつくろう	書く	・みなさんも、友だちといしょに「生きものふしぎ図かん」を作って、読み合いましょう。
			音やようすをあらわすことば	言語事項	・どんなちがいがあるか、考えましょう。 ・つぎの（　　）に、音やようすをあらわすことばをあてはめてみましょう。 ・音やようすをあらわすことばをつかって、文を作りましょう。
		かん字の広場５	かん字の読み方（おくりがな）	（言語事項）	
		読書の広場	「お話びじゅつかん」を作ろう	読書	
		2 本のせかいを楽しもう	かさこじぞう	読書	
		かん字の広場６	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	・そのかん字をつかって、みじかい文を作りましょう。
		3 つたえ方をくふうしよう	きつつき	読む	・作り方の順序に気をつけて読もう。 ・作り方を説明しよう。
			「おもちゃ大会」をひらこう	話す・聞く	・おもちゃを作って、あそぼう
		かん字の広場７	かん字のつかい方と読み方	（言語事項）	
		4 じゅんじょよく思い出して書こう	できごとをふりかえって	書く	
		はんたいのいみのことば、にたいみのことば		言語事項	・はんたいのいみのことばを考えましょう。 ・はんたいのいみのことばをあつめましょう。 ・一線のことばとにたいみのことばを、考えましょう ・にたいみのことばを考えて、あつめましょう

		かん字の広場８	おなじぶぶんをもつかん字・おなじ読み方のかん字	（言語事項）	・左の絵の□にかん字のぶぶんをあてはめて、「言」のつくかん字を作りましょう。 ・左の絵をさんこうにして、つぎのかん字のぶぶんをつかったもんだいを作りましょう。（おなじかん字は、二回までつかえます。） ・□の中に、まん中の読み方のかん字をあてはめて、ことばを作りましょう。 ・上や右の絵をさんこうにして、つぎのかん字をつかったもんだいを作りましょう。（おなじかん字は、二回までつかえます。）
		5 心のつながりを読もう	アレクサンダとぜんまいねずみ	読む	・つぎの場めんを読みましょう。 (1) 右の文を読んで、どう読んだら、場めんのようすがよくつたわるか、話し合いましょう。 (2) 右の文の「きみ、だれ？」と 65 ページの「きみ、だれ？」とをくらべて、気づいたことを話し合ってみましょう。 (3) アレクサンダーのねがいがかわったわけを、話し合ってみましょう。 ・とかげに、何かをおねがいするとしたら、あなたは何をおねがいしますか。ノートに書きましょう。
				言語事項	つぎの「れい」と同じ意味で、傍線のことばをつかっているのは、どちらの文でしょう。
		国語の学しゅう	これまで　これから		
		かん字を学ぼう	新しく学んだかん字	言語事項	
			二上までに学んだかん字	言語事項	
		ふろく・知りたい	よこ書きメモの書き方		
		ふろく・読み深めたい	グループで読もう		
		ふろく・もっと読みたい	わにのおじいさんのたからもの	読書	
		ふろく･あそびたい	ことばのあそび		
			すきなお話を色と形で作ってみよう		

ひろがる言葉　小学国語　　３　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）

3	上	元気に声を出し合おう	かえるのぴょん		
			かもつれっしゃ		
			スピーチをしよう―こども広場の一日	話す・聞く	・一分間スピーチをしよう ・朝の会や帰りの会などで、短いスピーチをしてみましょう。みぢかなことがらを話題にえらび、自分の考えをかんたんにまとめて話しましょう。
			声の大きさ、話す速さ	言語事項	・あわてて話したり、声が大きすぎたりしたことはありませんか。つぎの場面で、声の大きさや話す速さを考えてみましょう。 ・みなさんは、ふだん、声の大きさや話す速さに気をつけて話をしていますか。つぎのようなことについて、みんなで話し合ってみましょう。
			発見ノート	書く	・「発見ノート」を作って、みのまわりで発見したことを書いていきましょう。そして、スピーチや作文の話題をさがすときに読みかえしてみましょう。
		1 思いをそうぞうして読もう	消しゴムころりん	読む	・この話を読んで、おもしろいな、ふしぎだなと思ったところをしょうかいし合いましょう ・次の場面の「さおり」の気もちについて話し合いましょう。 ・やもりが「さおり」に消しゴムをあげたわけを考えて、話し合ってみましょう。 ・つぎのどちらかをえらんで、グループで学習をすすめましょう。 ・さおりの日記　・つぶやきノート
				言語事項	（「なっている」「なる」の違い）
		漢字の広場１	漢字学習カード	（言語事項）	・二年生で学んだ漢字の中からいくつかえらび、上のような漢字学習カードを作りましょう。 ・「色」につながりのある漢字を思い出し、左のような図を作って、漢字をあてはめてみましょう。・思いついた言葉を次々に書いていくこともできます。左のような図を書いて、いろいろな漢字を使った言葉をつなげてみましょう。
		2 調べたことの中からえらんで書こう	かんさつしたことを	書く	1 カードを作ってかんさつする 2 ふしぎに思ったことを調べる 3 かんさつしたことや調べたことをもとにまとめる
			インタビューをしよう	話す・聞く	・調べていることについて、くわしく知っている人（せんもん家）にインタビューをしてみましょう。①だれにインタビューするかをきめる　②インタビューメモを

					作る　③相手のつごうのより日時をたずねて、インタビューを申しこむ　④グループで分たんをきめる　⑤インタビューの練習をする　⑥インタビューする
			国語じてんの引き方	言語事項	・次の言葉は、どのようなじゅんでならんでいるでしょう。 ・「ゃ・ゅ・ょ」（よう音）や、つまる音を表す「っ」（そく音）のように小さく書く文字は、どのようなじゅんでならんでいるでしょう。調べてみましょう。 ・次の「あう」は、どのような漢字で書いたらよいでしょう。 ・一線の言葉の意味をしらべましょう。
		漢字の広場２	送りがな	（言語事項）	・次の（　　）に送りがなを書きましょう。 ・送りがなに気をつけて読みましょう。
		3 だいじなことを見つけながら読もう	めだか	読書	・この文しょうを読んで、今まで知っていたことや初めて知ったこと、もっと知りたいことを発表しましょう。 ・文しょうのだいじなことがはっきりするように、段落に気をつけながら、次のことについてノートにまとめて、発表し合いましょう。 (1) めだかは、どのようにしててきから身を守っているのか。 (2) 自然のきびしさにたえらえる、めだかの体のとくべつな仕組みとは、どのようなものか。
				言語事項	
		読書の広場	目次をひらこう	読書	
			森のスケーター　やまね	読書	
		詩を書こう	はっとしたことを	書く	・生活の中ではっとしたことを、詩に書いてみましょう。
		漢字の広場３	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		4 楽しくつたえ合おう	楽しい活動を考えよう	話す・聞く	
			グループで話し合おう	話す・聞く	
			手紙でつたえよう	書く	・みなさんも、手紙のよさについてかんがえてみましょう。そして、だれに、何をつたえるかを考えて、手紙を書いてみましょう。
		漢字の広場４	二つの漢字でできた言葉	（言語事項）	
		5 ねがいを受け止めて読もう	わすれられないおくりもの	読む	・あなぐまがそれぞれの動物にのこしてくれた「おくりもの」について、次のようにして読み深めましょう

					(1) あなぐまの「おくりもの」をノートに書き出す (2) あなぐまの「おくりもの」が、どうして「わすれられないおくりもの」になっているのかを考えて、ノートにまとめる。 (3) まとめたことをもとに、みんなで話し合う。
				言語事項	・「ありがとう、あなぐまさん」（87 ページ）のあとに、もぐらはどんな言葉をつづけたと思いますか。自分の考えをノートに書き、友だちと交かんして読み合いましょう。
			どんな言い方がつづくでしょう	言語事項	
		活用しよう	学習にやく立つ活動		
			学習にやく立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字	（言語事項）	
			二下までに学んだ漢字	（言語事項）	
		ふろく・調べたい	電話のかけ方		
			ファクシミリを使おう		
			使ってみよう！カメラ・ビデオ・テープレコーダー		
		ふろく・はってん	ローマ字で入力しよう		
		ふろく・もっと読みたい	ぼうけん大すき		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	下	様子を思いうかべて読んでみよう	夕日がせなかをおしてくる		
			ゆうひのてがみ		
			いちばんぼし		
		1 まとまりやつながりに気をつけよう	広い言葉、せまい言葉	読む	・次のようにして、この文しょうを読んでみましょう。 (1) 四つのまとまりごとに、じゅんじょやせつ明の仕方をたしかめる。 (2) とり上げられている言葉の関係を、11 ページのような図に書き表す。

					(3)書いた図をもとに、どの言葉がどの言葉より「広い言葉」か、または、「せまい言葉」かを、発表し合う。 ・「問い」と「答え」を表す文をさん考に、身近なものを表す言葉について、どちらが「広い言葉」、どちらが「せまい言葉」か、問題を出し合いましょう。 ・次のどちらかをえらんで、グループで学習をすすめましょう。 ・広い言葉、せまい言葉　　・言葉の仲間集め
				言語事項	傍線の言葉は、なんの言葉がなんの言葉より「広い」といっているのか、考えましょう
			まとまりやじゅんじょを考えて	書く	（教科書を参考に説明文を書く） （組み立てメモを作る）
		こそあど言葉		言語事項	・右の絵の中から、話をしている二人を見つけ、こそあど言葉を使って話をしましょう。 ・次の（　　）にいろいろなこそあど言葉を入れて、どんなちがいがあるかを考えましょう。
		漢字の広場５	漢字の音と訓	（言語事項）	
		2 本の世界を広げよう	のらねこ	読書	
		読書の広場	「読書クイズ」を出し合おう		・じゅん番にならべよう。
		漢字の広場６	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		3 身近な話題をとらえて話し合おう	いろいろな絵を見つけよう	話す・聞く	カードに書いてしょうかいしよう。
			くらしと絵文字	読む	・まとまりごとに大事なことを読みとろう。 ・絵文字かどうか話し合おう。
			「絵文字発表会」をしよう	話す・聞く	1 オリジナル絵文字を作ろう 2 絵文字発表会の準備 3 オリジナル絵文字発表会
		漢字の広場７	漢字の組み立て（一）	（言語事項）	
		4 中心をはっきりさせて書こう	強く心にのこっていることを	書く	1 中心にする場面を考える 2 会話を生かして 3 書きおわったら ・友だちとさく文を読み合い、感想を話し合ってみましょう。
		文の組み立て		言語事項	・次の文の意味をくらべてみましょう。

					・次の□に、「どうする」「どんなだ」「なんだ」にあたる言葉を入れてみましょう。
		漢字の広場８	漢字の組み立て（二）	（言語事項）	・漢字を「へん」や「つくり」、「かんむり」、「あし」などの部分に分け、それぞれをカードに書き込み、カードゲームをしましょう。
		5 心の通い合いを読もう	おにたのぼうし	読む	・次の場面を読みましょう。 (1)おにたが、「おにだって、いろいろあるのに。おにだって・・・。」と、言葉をとちゅうまでしか言わなかった理由を考えて、ノートに書いてみましょう。 (2)「おにには、いろいろあるのにな。」（70 ページ）と、「おにだって、いろいろあるのに。おにだって・・・。」のおにたの気持ちを考えて、話し合いましょう。 ・みなさんは、おにたに何か言いたいことはありませんか。その気持ちを知らせる手紙をおにたに書き、友だちと交かんして読み合いましょう
			心の動きを表す言葉	言語事項	
		国語の学習	これまで　これから		
		活用しよう	学習に役立つ活動	話す・聞く、書く、読む	
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字		
			三上までに学んだ漢字		
		ふろく・知りたい	いろいろなかっこ		
		ふろく・書きたい	おび紙作り		
		ふろく・はってん	漢字のなり立ち		
		ふろく・もっと読みたい	ソメコとオニ		
		ふろく・遊びたい	言葉の遊び		
			物語の世界を音で表そう		

ひろがる言葉　小学国語　　４　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	上	さあ、はじめよう	春のうた		

		元気に声を出し合おう			
			あり		
			楽しいスピーチをしよう―「わたしの〇〇」	話す・聞く	・「わたしの〇〇」という題でスピーチをしてみましょう。
			読む速さ、声の大きさ	言語事項	・次の文章は、ある童話の一場面です。声に出して読んでみましょう。
			体験ノート	書く	・みなさんも、「体験ノート」を作って、心にのこったことを書いていきましょう。そして、このあとの、書いたり話したりする学習に生かしましょう。
		1 思いを想ぞうして読もう	やい、とかげ	読む	・「やい、とかげ」という題名について、思ったことを話し合いましょう。 ・場面の様子がはっきりとうかんでくるところを見つけて、その中での「ぼく」のようすを読み取って話し合いましょう。 ・次のそれぞれの言い方には、どのような意味のちがいがありますか。ノートに書いて発表し合いましょう。 ・次のどちらかをえらんで、グループで学習を進めましょう。 ・一人語り　　・一まい紙しばい
		漢字の広場１	漢字に親しむ―漢字の島めぐり	（言語事項）	一筆書きのように、それぞれの島をめぐりながら、矢じるしから矢じるしまで通ってみましょう
		2 調べたことを整理して書こう	昔のことを調べよう	書く	1 調べたいことを見つける 2 昔の生活について調べる 3 調べたことをもとに作文を書く 4 文集にまとめて読んでもらう
		二つの事がらをつなぐ		言語事項	・次の文の（　　）に、「ので」を入れるのと、「のに」を入れるのとでは、意味はどうちがうのか、くらべてみましょう。
		漢字の広場２	送りがな	（言語事項）	
		3 中心をとらえながら読もう	花を見つける手がかり	読む	・この文章を読んで、おもしろいな、不思議だなと思ったところをグループで話し合いましょう。 ・段落と段落のつながりに気をつけて、三つの実験について次のことを読み取りましょう。 ・大事なことを落とさないようにして、それぞれの実験について、できるだけ短い

					文章にまとめてみましょう。
				言語事項	・次の二つの言い方のちがいを、なぜそのような言い方になっているかを考えながら、話し合いましょう。
		読書の広場	「じょうほうけいじ板」を作ろう	読書	・みなさんも、分類表などを参考にして、目的に合った本をさがしてみましょう。
			とんぼの楽園づくり	読書	
		詩を書こう	新しい目で	書く	
		漢字の広場３	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		４楽しく伝え合おう	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	話す・聞く、書く	
			学級で話し合おう	話す・聞く	１学級会係の打ち合わせ ２学級会での話し合い
			学級新聞を作ろう	書く	・みなさんも、どんな新聞を作るか、どんな記事をのせるかを考えながら、グループで協力して新聞を作ってみましょう。
		漢字の広場４	漢字の部首	（言語事項）	・共通している部分から、何に関係のある漢字か考えましょう。 ・「日」という字がふくまれる漢字の集まりです。送りがなをヒントにして、漢字を完成させましょう。 ・「力」という字がふくまれる漢字の集まりです。組み合わさって言葉になるように、漢字を完成させましょう。
		５願いを受け止めて読もう	一つの花	読む	・次の時のお父さんやお母さんの願いや気持ちを読み取って、話し合いましょう。 (1)ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いした時。　(2)「ゆみ。さあ、一つだけ挙げよう。一つだけのお花、大事にするんだよう・・・。」と言った時。　(3)コスモスの花でいっぱいに包まれている家から、買い物かごをさげたゆみ子を送り出した時。 ・「一つの花」「一つだけの花」「コスモスのトンネル」がどのようなことを表しているか考え、みんなで話し合いましょう。 ・『一つの花』は、大きく三つの場面に分かれます。もっとも心を動かされたのは、どの場面の、だれの、どのような言葉や行動ですか。それらを書き出し、感じたことをノートに書きましょう。
				言語事項	・戦争に関する言葉を教科書から見つけノートに書きましょう。意味がよく分からない言葉は、時点を引いたり、人にたずねたりして調べましょう

				言語事項	時を表す言葉
		ローマ字１		（言語事項）	
		ローマ字２			
		ローマ字３			
		ローマ字４			
		ローマ字５			
		ローマ字の筆じゅん			
		活用しよう	学習に役立つ活動		
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字		
			三上までに学んだ漢字		
		ふろく・知りたい	ローマ字とコンピューター		
		ふろく・調べたい	アンケートのとり方		
			じょうほうを集める・調べる		
		ふろく・はってん	俳句を読み味わおう		
		ふろく・読み深めたい	音読記号		
		ふろく・もっと読みたい	チャレンジャー！		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	下	いろいろな詩と出会おう	いろいろな詩		
		1すじ道を立てて考えよう	アーチ橋の仕組み	読む	・三つの大きなまとまりごとに内容を読み取り、それを表す題（小見出し）をそれぞれにつけてみましょう。 ・アーチ橋のつくり方を、友達にわかりやすく説明する文章を書いてみましょう・ ・次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。 ・アーチ橋クイズ　　・アーチの仕組み

				言語事項	・「まず」「次に」「このように」「こうして」などの言葉が、文章のどんなところに使われているか、たしかめましょう。そして、これらの言葉のはたらきを、ノートにまとめましょう
			実験したことをもとに	書く	
			点（、）を打つところ	（言語事項）	・次のような文では、どこに読点を打つと読みやすくなるでしょう。読点を打って書き直しましょう。 ・次の文は、それぞれ二通りの意味にとれます。意味のちがいがはっきりわかるように、点を打って二つの文に書き直しましょう。
			漢字辞典の引き方	言語事項	
		漢字の広場５	漢字の表す意味	（言語事項）	
		2 本の世界を広げよう	アジアの笑い話	読書	
			・ホジャ物語（トルコ）		
			・アーファンティ物語（中国）		
			・引越し（朝鮮）		
			ぞろぞろ-落語（日本）		
		読書の広場	「お笑いけいじ版」を作ろう	読書	・集めるグループ　　・作るグループ　　・えんじるグループ
		漢字の広場６	読んでみよう・書いてみよう	言語事項	
		3 見方を変えて話し合おう	「便利」について考えよう	話す・聞く	・昔にくらべて便利になったと思うものを出し合ってみましょう。 ・木下さんのおばあさんは、続けて何が言いたいのでしょうか。想ぞうして話し合ってみましょう。
			「便利」ということ	読む	・段落に気をつけて、書き手の考えを読み取ろう。 ・「便利」について話し合おう。
			ポスターセッションで発表しよう	話す・聞く	1 何について調べるか 2 どのように調べるか 3 どんなポスターにするか 4 ポスターセッションをしよう
		漢字の広場７	漢字を組み合わせた言葉	（言語事項）	
		4 段落と段落との	心の動きがわかるように	書く	1 心の動いた場面を中心に

		つながりを考えて書こう			2 心の動きがわかるよういい 3 書き終わったら ・原稿用紙の使い方を学ぶ
		修飾語		言語事項	
		漢字の広場８	読み方が同じ漢字	（言語事項）	
		5 心の通い合いを読もう	ごんぎつね	読む	・次の場面を読みましょう (1)「ひとりぼっちの兵十か。」のあとには、ごんのどのような言葉が続くか、話し合ってみましょう。 (2)次のことをノートにまとめて、発表し合いましょう。 ・この場面のあと、ごんは兵十にどのようなことをしたか。 ・なぜ、そのようなことをしたか。 ・ごんのしたことに対して、兵十はどのように思ったか。 ・『ごんぎつね』を読んで、いちばん心を打たれたことを中心に、感想を書きましょう。また、書いた感想を発表しましょう。
			決まった言い方　ー慣用句ー	言語事項	・次のような言い方を知っていますか。
		ローマ字６		（言語事項）	
		ローマ字７			
		国語の学習	これまで　これから		
		活用しよう	学習に役立つ活動		
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字	（言語事項）	
			四下までに学んだ漢字	（言語事項）	
		ふろく・はってん	方言について知ろう		
		ふろく・もっと読みたい	寿限無（落語）		
		ふろく・遊びたい	言葉の遊び		
			好きな物語を光と動きで表そう		

ひろがる言葉　小学国語　　５　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	上	声に出して伝え合おう	うぐいす		
			水平線		
			自分をアピールしよう	話す・聞く	
			話し方を考えよう	言語事項	・ー線の言葉の調子に気をつけて、次のせりふを音読しましょう。 ・次の文末を、（　　）の意味にふさわしい調子で音読しましょう 男の子のせりふのどの言葉を強調するかを考えながら、二人のせりふを音読しましょう。 ・こめられている気持ちを考えながら、次のせりふの中で強調して読む言葉の横に「＝」を書き入れ、音読しましょう。
			情報ノート	書く	・みなさんも、いろいろなところから見つけてきた情報を、「情報ノート」に集めていきましょう。そして、これからの学習に生かしていきましょう。
		1 心を見つめて読もう	五月になれば	読む	・文章の中から「時を表す言葉」を見つけ、物語の流れをノートに整理して、発表しましょう。 ・両親と大樹が転校について話し合う場面（23 ページ）の、それぞれの人物の気持ちや考えていることを話し合いましょう。 ・文章の表現で気に入ったところについて、どのようなところがよいのかを考えてみましょう。また、その場面をくり返し音読しましょう ・次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。 ・空想インタビュー　　・創作日記
				言語事項	・ー線の言葉によって、どのような意味が読み取れるか、考えてみましょう。
		漢字の広場１	熟語のしりとり	（言語事項）	・□の中の漢字を用いて、左のような熟語のしりとりを完成させましょう。
		2 情報を整理して書こう	見学したことをもとに	書く	1 自分の調べたいことを見つける 2 下調べをして、課題についての情報を集める 3 課題にそってメモを作る 4 調べたことを整理して、組み立て表を作る 5 組み立て表をもとに記録文を書く 6 感想や意見をもらう

		和語・漢語・外来語		言語事項	・次の二つの文を読み比べてみましょう。 ・自分が知っている外来語を書き出し、世界のどの言葉から入ってきたものなのかを辞典で調べてみましょう。
		漢字の広場２	熟語の組み立て	（言語事項）	・次の熟語の意味を考え、国語辞典を使って確かめましょう。
		3 内容を的確におさえながら読もう	まんがの方法	読む	・今までに読んだまんがの中で、おもしろいと思ったものを発表し合いましょう。 ・まんがのおもしろさを生み出している「まんがの方法」とその効果について、わかったことや考えたことを、ノートに書きましょう。 ・グループで好きなまんがを選び、その中でどのような「まんがの方法」が使われているかを話し合ってみましょう。
				言語事項	・「例」のように、次の（※色塗り）で示した「　」や（　）は、どのようなはたらきをしているか話し合ってみましょう。
		読書の広場	おもしろさのひみつをさぐろう	読書	
		詩を書こう	季節の中で―詩集を読んで	書く	
		漢字の広場３	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		4 考えを伝え合って深めよう	どちらを選びますか	話す・聞く	
			討論会をしよう		・根拠をあげて聞き手をなっとくさせる話し方をするように気をつけて、討論会をしてみましょう。
			コラムを書こう	書く	・コラムとは ・コラムの書き方
		漢字の広場４	結びついてできる言葉	言語事項	
		5 生き方を見つめて読もう	大造じいさんとがん	読む	・大造じいさんが残雪をとらえるために、どのような方法をとったかをノートに整理し、発表しましょう。 ・大造じいさんは、残雪に対してどのような思いをもっていましたか。そして、それは、どの場面で、どのように変わっていきましたか。また、その変わっていった理由を話し合ってみましょう。 ・この物語には、「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来た。」（85 ページ）などのように、場面の情景を表す効果的な表現があります。このような表現を見つけてノートに書き出し、音読してみましょう。

			仮名遣いで気をつけること	言語事項	
		活用しよう			
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字	（言語事項）	
			4下までに学んだ漢字	（言語事項）	
		ふろく・読み深めたい	群読―声を重ねて		
		ふろく・調べたい	インターネットで調べよう		
			調べたことを整理しよう		
		ふろく・知りたい	発音や書き表し方に注意する外来語		
		ふろく・はってん	漢字の音		
		ふろく・もっと読みたい	お話ふるさとのたび		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	下	思いをこめて読んでみよう	はたはたのうた		
			山のあなた		
			素朴な琴		
		1情報を正確にとらえよう	森を育てる炭作り	読む	・次の事がらについて、読み取ったことをノートにまとめましょう。 ・現在の主な炭の使われ方　・炭焼きの技術の効用　・炭作りによって、トホ＝リイル村に起きた変化 ・次の点に注意して、文章構成の工夫について話し合ってみましょう。　・事実を述べている部分と、筆者の考えを述べている部分　・大きな段落どうしの関係 ・この文章を、筆者の言いたいことを中心に要約し、短い文章で要旨をまとめてみましょう。 ・次のどちらかを選んで、グループ学習を進めましょう。 ・炭の使われ方調べ　　・炭の解説書作り

			放送原こうを書こう	書く	・書いた放送原こうをおたがいに読み合い、よいところや感想を話し合いましょう。そして、校内放送で読んだりビデオライブラリーにとっておいたりして、いろいろな人に感想を聞いてみましょう。
			言葉の種類	言語事項	・次の－線の言葉の中から、物や事がらの名前を表す言葉を選びましょう。 ・次の文の中から名詞と動詞をぬき出しましょう。 ・文の意味を考えながら、下の□（※四角の欄）の中の様子を表す言葉を、（　　）に合う形にして入れましょう。 ・次の－線の言葉のちがいを考えましょう。
		漢字の広場５	同じ読み方の漢字	（言語事項）	
		2 本の世界を深めよう	雪わたり	読書	
			「読書発表会」をしよう	読書	・みなさんも、「読書発表会」をしてみましょう。次の例を参考にして、自分のテーマを決めましょう。
		言葉と文化	ことわざ		・身近な人にことわざについてきいたり、図書館で調べたりして、どのような生活のちえがこめられているか、話し合いましょう。
		漢字の広場６	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		3 課題を見つけて伝え合おう	日本語を考える	読む	・筆者の考えをまとめよう ・自分の考えをまとめよう ・経験を発表し合おう
			日本語について調べよう	話す・聞く	1 調べることを決める 2 資料を集める 3 発表方法を考える 4 発表する 5 発表会のあとで
		漢字の広場７	漢字の成り立ち（一）	（言語事項）	
		4 構成をくふうして書こう	感じたり考えたりしたことを	書くこと	1 考えや意見を持つようになったできごとを選ぶ 2 構成をくふうする 3 事実と意見をはっきりさせて書く 4 書き終わったら

		方言とアクセント		言語事項	・地図を見て気がつたことを話し合ってみましょう。 ・みなさんの住んでいる所では、家族のことをよぶ言い方にどんなものがありますか。いろいろ場面を考えて、次の空欄に入れてみましょう。 ・ー線の言葉の発音に注意してよんでみましょう。 ・ー傍線の言葉のアクセントに気をつけながら読んでみましょう。 ・方言が使われている詩や物語をさがして、しょうかいし合いましょう。
		漢字の広場８	漢字の成り立ち（二）	（言語事項）	
		5 生き方を考えながら読もう	みすゞさがしの旅	読む	・次の場面を読みましょう。 (1) この文には、筆者のどのような思いが表されているかを話し合いましょう。また、ほかにも筆者の思いが表れているところをさがしましょう。 (2) 筆者はみすずの作品のどのようなところに心をひかれたのか、話し合いましょう。 ・「いつ」「どのような」ことがあったのかに気をつけて、筆者のみすずさがしの旅を表にまとめてみましょう。そして、その時その時の筆者の気持ちを確かめてみましょう。 ・みすずのほかの作品を図書館などでさがしましょう。そして、好きな作品を選んで音読の練習をし、友達と発表し合いましょう。
				（言語事項）	・動きの様子を表す言い方 ・同じ形で意味のちがう言い方
		国語の学習	これまで　これから		
		活用しよう	学習に役立つ活動		
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字		
			5 上までに学んだ漢字		
		ふろく・知りたい	くぎり符号の使い方		
		ふろく・書きたい	きゃく本作り		
		ふろく・もっと読みたい	言葉と事実		
		ふろく・はってん	注意する仮名づかい		
		ふろく・遊びたい	言葉の遊び		
			物語の世界を作ろう		

ひろがる言葉　小学国語　　６　　上・下　　教育出版

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	上	声に出して伝え合おう	風景　純銀もざいく		
			大木		
		リレースピーチをしよう		話す・聞く	・みんなで考えを深め合うことのできる話題を選びましょう。 ・みなさんも、グループごとに毎週話題を変えて、リレースピーチを続けてみましょう。
		言葉のリズムを楽しもう		言語事項	・次の二つの歌を知っていますか。内容も雰囲気もずいぶんちがう歌ですが、声に出して読み比べてみると、似たところがあるのに気づきます。 ・七音と五音の組み合わせでできている歌や文句をさがしましょう。 ・次の歌はどのようなところに特徴がありますか。 ・言葉や文の、初めや終わりに決まった音を使って、リズムのある言い回しを作ってみましょう。
		創作ノート		書く	
		1 心を見つめて読もう	美月の夢	読む	・次の時の、美月の心情や夢について話し合いましょう。 ・学校で作文を書いている時 ・沼田さんとはがきのやりとりをしている時 ・マンションの屋上に立っている時 ・思いえがいた美月の心情や場面の情景が、聞いている人にも伝わるように、音読してみましょう。 ・次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。 ・絵まき物　　・ミニ台本
				言語事項	・次のそれぞれの表現を比べて、どのようなちがいがあるか話し合いましょう
		漢字の広場１	漢字三字以上の熟語の構成	（言語事項）	
		2 情報をもとに考えをまとめて書こう	社会に目を向けて	書く	1 課題を見つける 2 課題について調べる 3 友達と話し合う

					4 調べたことをもとに書く 5 書き終わったら発信する
			意味をそえる言葉	言語事項	
		漢字の広場２	熟語作り	（言語事項）	
		3 新しい世界を求めながら読もう	ぼくの世界、きみの世界	読むこと	・『僕の世界、きみの世界』を読んで、自分にも似た経験があるかどうかを思い出し、発表し合いましょう。 ・次のそれぞれの例は、筆者がどのようなことを言いたいために用いているのか、話し合ってみましょう。 ・電球を見た体験　・「あまみ」と「痛み」の感覚　・アニメのおもしろさ　・次の三つの言葉に注意しながら、筆者の言いたいことと、それについての自分の考えをノートにまとめましょう。 ・自分だけの世界がある（51 ページ）　・一人きりの自分（52 ページ）　・心を伝え合うための努力（52 ページ）
				言語事項	・例と同じ意味で「れる・られる」が用いられているのは、どの文でしょう。
		読書の広場	新しい世界と出会おう	読書	
		言葉と文化	短歌と俳句	読む	
		漢字の広場３	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		4 考えを伝え合って深めよう	みんなでつくろう「未来の車」	話す・聞く	
			パネルディスカッションをしよう	話す・聞く	・「未来の車」について、みなさんも考えてみませんか。
			パンフレットを作ろう	書く	1「未来の車」の特徴を整理する 2 パンフレットの内容や紙面を考える 3 パンフレットを使ってしょうかいしよう 4 パンフレットを見せ合おう
		漢字の広場４	音を表す感じ	（言語事項）	
		5 人間を見つめて読もう	川とノリオ	読むこと	・戦争中の子供たちの生活の様子について、で知っていることを発表してみましょう。 ・次のような表現を手がかりにして、その時の情景や心情をについて話し合ってみましょう。　(1) 母ちゃんの日に焼けた細い手が、きつくきつくノリオをだいていた。（78 ページ）　(2) じいちゃんの横顔が、へいけがにのように、ぎゅっとゆが

					む。（83 ページ）　(3)そして、ノリオの母ちゃんはとうとう帰ってこないのだ。（86 ページ）　(4)ノリオは、青いガラスのかけらを、ぽんと川の水に投げてやった。（86 ページ）　(5)サクッ、サクッ、サクッ、母ちゃん帰れよう。（87 ページ） ・この物語を読んでみたくなるような、簡単なしょうかい文を書いてみましょう。
			表現の方法	言語事項	・この物語を読んで、ほかにも同じような表現の工夫があるか、探しましょう。 ・次の例を参考にして、名詞で止める短い文を作ってみましょう。
		活用しよう	学習に役立つ活動		
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字		
			5 下までに学んだ漢字		
		ふろく・はってん	漢詩を読み味わおう		
		ふろく・知りたい	漢数字の書き表し方		
		ふろく・書きたい	いろいろな文体で書く		
		ふろく・もっと読みたい	さるは「ここ」と鳴いていた		
			世界へはばたけ		
		ふろく・調べたい	情報の発信と受信，その注意		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	下	思いをこめて読み深めよう	イナゴ		
			ペガサス		
		1 情報の伝え方を考えよう	人類よ、宇宙人になれ	読む	・筆者の考えについて、下の表のようにまとめながら読みましょう。 ・まとまりごとに小見出しを書き出す。 ・まとまりごとの要点を書き出す。 ・筆者は、自分の意見をどのように書き表しているかについて書く。（〈　〉の中に示す。） ・自分の考えや意見、疑問などを書く。（☆印で示す。）

					・「人類進化のとるべき道」についての筆者の考えに対し、自分の考えたことを書いて、発表し合いましょう。 ・次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。 ・惑星比べ　　・たとえ探し
			調べたことをまとめる	書く	・わたしたちも、宇宙について興味がわいたり、知りたくなったりしたことを調べ、小見出しや図を使った簡単な報告文を書いてみましょう。 ・書いた報告文を読み合って、感想やよいところをカードなどに書き、伝え合いましょう。
			わかりやすい文を書くために ー主語を整えようー		
		敬語		言語事項	
		漢字の広場５	読んでみよう・書いてみよう	（言語事項）	
		2 本の世界を深めよう	きつねの窓	読書	
		読書の広場	「読書座談会」をしよう		・みなさんも、話し合う本やテーマを決め、グループに分かれて「読書座談会」を行ってみましょう。
		漢字の広場６	送り仮名のきまり	（言語事項）	
		3 生き方を考えながら読もう	田中正造	読む	・次の場面を読みましょう。 (1) この時農民たちは、どのような気持ちだったでしょう。また、正造はどのような思いで上京請願を止めたのでしょう。ノートに書いて発表し合いましょう (2) 立ちはだかる憲兵や警察らが、なみだをうかべて、正造のうったえに聞き入った理由を考えて、話し合いましょう。 ・正造についてのできごとを、年表にまとめましょう。そして、それをもとに、正造の生き方について話し合いましょう。 ・正造の生き方で深く考えさせられたことを中心に、自分の考えをまとめてノートに書きましょう。
				言語事項	・文末表現の効果 ・「か」で終わる文
		漢字の広場７	同じ訓をもつ漢字	（言語事項）	
		4 効果的な書き方	思いや願いを	書く	1 どんな題材を選ぶか

		をくふうして書こう			2 事実と、意見や考えとをどう組み合わせるか 3 文末をはっきり意識して書く 4 卒業記念の作品として
		日本語の文字		言語事項	・「本」や「武」、「問」、「閉」の成り立ちを漢字辞典で調べてみましょう。 ・次の新聞記事を、漢字と平仮名、片仮名、ローマ字に色分けし、気づいたことを話し合いましょう。
		漢字の広場８	漢字の読み方	（言語事項）	
		5 願いや考えを深めながら読もう	体験を発表し合おう	話す・聞く	・ボランティアについて知っていることや、体験などを話し合いましょう。
			ボランティアしあおうよ	読む	・この文章を読んで、次のことについて筆者の願いや考えを話し合いましょう。 ⑴ボランティアの基本　⑵ボランティアのスタートライン　⑶すてきなボランティア ⑷ボランティアしあう　⑸ボランティアのみりょく　⑹ボランティアとは ・文章を読んで、ボランティアについて考えたことをノートにまとめましょう。
				言語事項	・次の外来語の意味を、国語辞典で調べましょう。和語や漢語で表せるものは、言いかえてみましょう。
		国語の学習	これまで　これから		
			支度		
		活用しよう	学習に役立つ活動		
			学習に役立つ言葉		
		漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字		
			六上までに学んだ漢字		
		ふろく・調べたい	さまざまな辞書を使ってみよう		
		ふろく・はってん	日本生まれの漢字―国字		
		ふろく・遊びたい	言葉の遊び		
			言葉からひろげよう　言葉をひろげよう		

こくご　一　　上 かざぐるま　・　下 ともだち　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	上		はる		・せんせいに　あわせて　おおきな　こえで
			おはなし　よんで		
			どうぞ　よろしく		
			うたに　あわせて　あいうえお		
			たんけんしたよ、みつけたよ		
			かきと　かぎ		
			ともだち		
			ねこと　ねっこ		
			はなの　みち		
			ことばを　いれて　ぶんを　つくろう		
			あいうえおで　あそぼう		・たてに　よんで　みましょう。 ・よこに　よんで　みましょう。 ・ことばを　みつけましょう。
			おばさんと　おばあさん		
			いろいろな　くちばし		
			はをへを　つかってかこう		
			おもちやと　おもちゃ		
			おむすび　ころりん		
			すきな　もの、おしえて		
			ほんと　なかよし		
			てがみを　かこう		
		はっきり　はなそう	みんなに　しらせたい　こと	はなす・きく	
		みんなで　よもう	大きな　かぶ	よむ	・「大きな　かぶ」の　おはなしには、どんな　ひとや　どうぶつが　でて　きましたか。 ・だれが、だれを　よんで　きましたか。 ・みんなで　こえに　だして　よみましょう。

		かんじで　かこう	かずと　かんじ	ことば	・こえに　だして　十まで　かぞえましょう。 ・かきじゅんに　きを　つけて、かきましょう。
		くらべて　よもう	じどう車くらべ	よむ	・はしご車は、かじの　ときに　はたらく　じどう車です。どんな　しごとを　して　いますか。その　ために、どんな　つくりに　なって　いるでしょうか。 ・ほかに、どんな　じどう車が　ありますか。ぶんと　えを　かきましょう。 ・かたかなを、よんだり、かいたり　しましょう。
			ことばで　あそぼう	ことば	・ことばを　つなげましょう。 ・かたかなを　かきましょう。

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
1	下	こえに　だして　よもう	くじらぐも	読む	・「くじらぐも」を、こえに　だして　よみましょう。どんな　ところが　おもしろいですか。 ・かぎ（「　」）の　ところは、どのように　よみますか。 ・みんなは、くもの　うえで　どんな　ことを　はなしたでしょう。 ・どんな　かたちの　くもを　見た　ことが　ありますか。えに　かいて、くもと　おはなし　したい　ことを　かきましょう。
		たのしく　つかおう	かんじの　はなし	言葉	・かんじを　つかった　文を、よんだり、かいたり　しましょう。
		よく　見て　かこう	しらせたいな、見せたいな	書く	
			かたかな	言葉	
		本と　ともだちに　なろう	ずうっと、ずっと、大すきだよ	読む	・この　おはなしを　よんで　おもった　ことを、はなしましょう。 ・すきな　本や、おもしろかった　本を、ともだちに　しらせまよう。
			日づけと　よう日	言葉	
		かいて　たのしもう	あつまれ、ふゆの　ことば	書く	
			あめふり　くまの　こ		
		ことばって、おもしろいな	ものの　名まえ	読む、書く、話す・聞く	
			おみせやさんごっこを　しよう	読む、書く、	

				話す・聞く	
			かたかなの　かたち	言葉	・かたちに　きを　つけて　かきましょう。
			わたしは、なんでしょう	話す・聞く	・こうたいで、もんだいを　出したり、あてたり　しましょう。
		ちがいを　かんがえて　よもう	どうぶつの　赤ちゃん	読む	・ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんを　比べましょう。生まれたときは、どんな　ところが　ちがいますか。 ・ほかの　どうぶつの　赤ちゃんの　ことを　しらべて、カードに　かきましょう。
			にて　いる　かん字	言葉	・にて　いる　かん字に　気をつけて、かきましょう。 ・かきじゅんや　かたちにも　気を　つけましょう。
		おもい出して　かこう	いい　こと　いっぱい、一年生	書く	
		おはなしを　たのしもう	たぬきの　糸車	読む	・「たぬきの　糸車」を、こえに　出して　よみましょう。 ・いままでに　よんだ　中で、「みんなにも　よんで　もらいたい。」と　おもう　おはなしは　ありませんか。ともだちに、おすすめの　おはなしを　しょうかいしましょう。
		ことばの　森	どうぶつ村の　おんがくかい		
			なかよしの　うた		

こくご　２　　上 たんぽぽ　・　下 赤とんぼ　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	上	1 みんなで　よもう	ふきのとう	読む	・ふきのとうや　竹やぶ、春風や　お日さまの　やくに　わかれて、こえに　出して、よみましょう。
				話す・聞く	・学校や　のはらや　こうえんで、春らしいと　おもう　ことばを　みつけましょう。見つけた　ことばを、みんなに　はなしましょう。 ・あつめた　春らしい　ことばを　かみに　かきましょう。えを　つけても　いいですね。
			今週の　ニュース	書く	・みんなに　しらせたい　ことを、カードに　書いて　はりましょう。
		2 じゅんじょに気を　つけて　よもう	たんぽぽの　ちえ	読む	・「たんぽぽの　ちえ」を　よんで、はじめて　しった　ことや、おもしろいと　思った　ことを　話しましょう。 ・たんぽぽは　どんな　ときに　どんな　ようすを　して　いますか。かわって　い

					く　じゅんじょに　気を　つけて　よみましょう。順序に気をつけて読みましょう。 ・たんぽぽには、どんな　ちえが　ありましたか。ちえと、ちえを　はたらかせている　わけを　書きましょう。
				言葉	・文の　おわりまで　しっかり　よみましょう。ようすを　書いて　いる　文と、わけを　書いて　いる　文とでは、おわりかたに　どんな　ちがいが　ありますか。 ・「なぜ」「どうして」は、わけを　たずねる　ことばです。こたえる　ときは、ふつう、「それは、ーからです。」を　つかいます。
				書く	・学校や　いえの　近くで、たんぽぽを　見つけたら、どんな　ようすか　書きましょう。教科書に　書いて　ある　ことと　くらべて、気が　ついた　ことも　書きましょう。
		かん字の　ひろば	一年生で　ならった　かん字①		・えの　中の　ことばを　つかって、うんどうかいの　ようすを　書きましょう。
		3 書いて　知らせよう	かんさつ名人に　なろう	書く	
			ともこさんは　どこかな	話す・聞く	・よく　聞いて、前の　ページの　絵の　中から、ともこさんを　さがしまそう。 ・こんどは、あなたが、まいごの　お知らせを　します。だいじな　ことに　気をつけて、話しましょう。
			同じ　ぶぶんを　もつ　かん字	言葉	・同じ　ぶぶんに　気を　つけて、ー線の　かん字を　読んだり　書いたり　しましょう。
			かん字の　書きじゅん	言葉	
		4 本と　友だちになろう	スイミー	読む	・スイミーが、元気を　とりもどしたのは、海の　中で、どんな　「すばらしい　もの」「おもしろい　もの」を　見たからでしょう。 ・スイミーや　小さな　魚の　きょうだいたちは、どんな　ときに、どんな　ことを　言ったと　思いますか。かぎ（「　」）を　つけて　書きましょう。 ・いちばん　すきな　ところを、こえに　出して　読みましょう。
				言葉	・「ーような」「ーみたいな」などの　たとえを　つかうと、ようすが　よく　わかります。「ーような」「ーみたいな」を　つかって、みの　まわりの　ものの　ことを　書きましょう。
				書く	・がっきゅうぶんこや　図書かんで、「おもしろそうだな。」と　思う　本を　さがして　よみましょう。読んだ　あとで、友だちに　お話を　しょうかいする　カードを　書きましょう。
		かん字の　ひろば	一年生で　ならった　かん字②		・犬と　いっしょに　さんぽを　する　お話を　つくりましょう。
			もう　すぐ　夏休み	書く	

			おおきくなあれ	（読む））	
			丸、点、かぎ	（言葉）	
		5 友だちに分かるように　話そう	あったらいいな、こんなもの	話す・聞く	
			カンジーはかせの大はつめい	言葉	
		6 だいじなところに　気をつけて読もう	サンゴの海の生きものたち	読む	・「サンゴの海の生きものたち」を読んで、はじめて知った　ふしぎに思ったことについて、話しましょう。 ・どんな生きものが　出てきましたか。海の生きものになって、それぞれ、どのように、かかわり合っているのか、たしかめましょう。
				書く	・生きものについて　書かれた本を読みましょう。はじめて知ったことや、ふしぎだなと思ったことを書いて、「生きものカード」をつくりましょう。
		かん字の　ひろば	一年生で　ならった　かん字③		・絵の中のことばをつかって、一週間のできごとを書きましょう。
		「ことばの森」	黄色いバケツ		・紙しばいをつくって、だれかに読んであげましょう。何まいの絵をかきますか。きつねくんは、どんな気もちだったのでしょう。

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
2	下	1 ようすを考えて読もう	お手紙	読む	・「お手紙」には、かえるくん、がまくん、かたつむりくんの　三人の**じんぶつ**が出てきます。じんぶつが言ったことや　したことで、おもしろいなと思ったところは　どこですか。 ・会話（かぎ「　　」のところ）の読み方に気をつけて、声に出して読みましょう。
				言葉	
				書く	・かえるくん、がまくん、かたつむりくんに、手紙を書きましょう。
			何が　どうした	読む	・下の絵を見て、主語とじゅつ語がそろった文を　作りましょう。
			かん字の読み方	言葉	・一線を引いたかん字に　気をつけて、読みましょう。 ・たくさんの読み方があるかん字です。読んでみましょう。 ・一線の部分は、にている読み方ですが、ちがいがあります。気をつけてつかいましょう。
			見たこと、かんじたこと	書く	・「あれっ。」とか、「おやっ。」とか思ったことを、みじかいことばで書いてみましょう。 ・だいめいをかくすと、なぞなぞのようにあそべますね。

2 お話、大すき	お話がいっぱい	読む、書く	
	こんなお話を考えた	読む、書く	1 次のページの絵を見て、お話を作りましょう。 2 お話ができたら、①と②を後ろにつけて、絵本を作りましょう。
	かたかなで書くことば	言葉	
3 たしかめながら読もう	一本の木	読む	・「一本の木」を読んで、ムナーリさんのかき方で　木の絵を　かいてみましょう。 ・40・41・42 ページには、たくさんの木の絵があります。それぞれの木を　せつめいしてる文を　さがしましょう。 ・左のようなカードを　作って、ムナーリさんの　木のかき方が分かる　絵入りのせつめい書を　作りましょう。 ・絵入りの説明書を作って、絵のかき方や　ものの作り方などを　友達に伝えましょう。
かん字の広場	一年生でならったかん字④		・絵の中のようすを　書きましょう。
	いるか		
	何に見えるかな	話す・聞く	・紙をちぎって、何に見えるかを話し合い、楽しみましょう。
4 ことばって、おもしろいな	音やようすをあらわすことば	読む、書く、話す・聞く	
	ことばであそぼう	読む・書く・話す・聞く	
	なかまのことばとかん字	言葉	・なかまのことばとかん字を、いっしょにおぼえましょう。
5 くわしく思い出して書こう	楽しかったよ、二年生	書く	
かん字の広場	一年生でならったかん字⑤		・絵の中のことばをつかって、公園のようすを書きましょう。
6 お話を楽しもう	スーホの白い馬	読む	・「スーホの白い馬」を読んで、おもしろいと思ったところ、心にのこったところを話しましょう。 ・白馬は、どんなことをしましたか。したことに気をつけて読みましょう。 ・スーホととのさまは、どんなことを言ったり、したりしましたか。 ・「スーホの白い馬」で、いちばんすきなところを、声に出して読みましょう。
		言葉	・一線の、たとえのことばをぬいて読んでみましょう。あるのとないのとでは、どんなちがいがかんじられるでしょう。 ・くらべてみましょう。

				話す・聞く	・二年生になって、いろいろなお話を読みましたね。ともだちにも読んでほしいと思うお話を、しょうかいしましょう。
		ことばの森	ことばのしらべ		
			ことばとことばでタタタタタ		

国語　三　　上　わかば　・　下 あおぞら　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	上		つづけてみよう		
		1 本と出会う、友だちと出会う	きつつきの商売	読む	・「きつつきの商売」には、「１」と「２」の二つのばめんがあります。「1」と「2」について、つぎのことをくらべましょう。 ・「１」か「２」のどちらかのばめんをえらんで、聞えてきた音や、登場人物の様子などがよく分かるように音読しましょう。
				言葉	・音をあらわす言葉を見つけたり考えたりして、はっぴょうしましょう。友だちとにているところやちがうところを見つけましょう。 ・おぼえてつかいましょう。
				書く	・「きつつきの商売」の音読を、ほかの学年の人たちや、家の人、ちいきの人に聞いてもらえるとうれしいですね。聞いてほしい人をしょうたいして、音読はっぴょう会を開きましょう。
			漢字の音と訓	言葉	
		2 まとまりに気をつけて読もう	ありの行列	読む	・「ありの行列」を読んで、はじめて知ったことやおどろいたこと、ぎもんに思ったことを発表しましょう。 ・「ありの行列」には、はじめの段落に「問い」がしめされています。どんな「問い」でしょう。 ・「問い」の「答え」は、どこに書いてあるでしょう。書いてある段落を見つけましょう。どの言葉や文で、それが分かりますか。 ・「答え」を出すために、ウィルソンはどんな実験や研究をしたのでしょう。段落ごとにたしかめましょう。
				言葉	・「ありの行列」には、「ました。」で終わる文と、「です。」「ます。」で終わ

					る文とがあります。かんさつしたり研究したりしたことを書いた文には、どちらの書き方が多くつかわれていますか。分かったことを説明している文ではどちらの書き方が多いですか。 ・「ありの行列」に出てきた、次の言葉のはたらきを考えてみましょう。
		漢字の広場	二年生で習った漢字①		・男の子は、どんなぼうけんをしてねこをさがしたのでしょう。絵の中の言葉をつかって、お話を書きましょう。
			国語辞典を使おう	言葉	・あなたがよく使う国語辞典で、次の言葉はどちらが先に出ているか調べてみましょう。 ・次の一線の言葉を国語辞典で調べ、どの意味が当てはまるか考えましょう。 ・国語辞典を使って、いろいろな問題を作り、楽しみましょう。
			わたしと小鳥とすずと	書く	
		3 分かりやすく書こう	おもしろいもの、見つけた	書く	1 知らせたいものを決めよう。 2 知らせたいことを整理しよう。 3 書いた文章を読み直そう。
			様子をつたえる	話す・聞く	
			くわしくする言葉	言葉	・修飾語を足して、文をくわしくしましょう。 ・次のゲームをしましょう。
		漢字の広場	二年生で習った漢字②	言葉	・どんな動物がいますか。どんな物がありますか。どんな人が何をしていますか。くわしくする言葉を使って書きましょう。
			道あんないをしよう	話す・聞く	・前のページの地図を使って、道あんないのれんしゅうをしましょう。
			たしかめながら話す・聞く	話す・聞く	
		4 本と友だちになろう	三年とうげ	読む、書く	・「三年とうげ」を読んで、おもしろいと思ったことや心にのこったことを発表しましょう。わけもいっしょに話しましょう。 ・「三年とうげ」には、声に出して読むと調子のよいところがたくさんあります。さがして読みましょう。
			本は友だち	読む、書く	1 いろいろな本を読もう。　　2 本のおびを作ろう。
			本のさがし方	読む、書く	
		漢字の広場	二年生で習った漢字③	言葉	・時を表す言葉をあつめました。その時々の出来事をそうぞうして、文章を書きましょう。
			キリン		
			へんとつくり	言葉	・「きへん・にんべん・いとへん」のついた漢字は、何に関係があるのでしょう。

		5 進んで話し合い、発表しよう	「分類」ということ	話す・聞く	1 自分の考えと友だちの考えをくらべよう。　　2 発表しよう。
			〈資料〉分類	話す・聞く	
			インタビュー	話す・聞く	
			反対の意味の言葉	言葉	・次の中から、反対の意味を表す言葉の組み合わせを見つけましょう。 ・反対の意味の言葉の組み合わせを集めて、ゲームをしましょう。
		言葉の森	聞き耳ずきん		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
3	下	1 場面の様子をそうぞうしながら読もう	ちいちゃんのかげおくり	読む	・「ちいちゃんのかげおくり」には、はじめに、家族がみんなでする「かげおくり」の場面があります。 ・二つのばめんをくらべてみましょう。・二つの「かげおくり」の間にはどんな出来事があったのでしょう。 ・会話のところを声に出して読んでみましょう。 ・「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、いちばん心にのこったところはどこでしょう。言葉や文を書きだし、その理由といっしょに発表しましょう。
				言葉	・動作を表す言葉には、にているようでも、ちがう意味を表すものがあります。それぞれ、どんな様子を表すでしょう。
			こそあど言葉	言葉	・どんなときに、こんな「こそあど言葉」を使っていますか。上の絵を見て、同じようにとなりの人とやりとりをして、たしかめましょう。 ・次の表をかんせいさせましょう。 ・教室の中で、友だちと組になって、「こそあど言葉」を使ったやりとりをしてみましょう。
		漢字の広場	二年生で習った漢字④	言葉	・日曜日の家の中の様子です。だれが、どんなことをしていますか。こそあど言葉もいくつか入れて、文章を書きましょう。
		2 大事なことをたしかめよう	すがたをかえる大豆	読む、書く	・「すがたをかえる大豆」には、大豆の食べ方がいくつに分けて書いてありましたか。ノートに、おいしく食べるくふうと食品を書き出して整理しましょう。 ・「すがたをかえる大豆」の文章の書き方について考えてみましょう。
				言葉	・「すがたをかえる大豆」には、人が大豆に手をくわえるときの言葉がたくさん出てきます。さがしてみましょう。

			食べ物はかせになろう		1 調べることを決めよう。　2 調べよう。　3 調べたことを整理して、文章にまとめよう。
			本で調べる		本の中身の色々な探し方について学びましょう
			カンジーはかせの音訓遊び歌	言葉	・カンジーはかせの歌で、かるたを作って遊びましょう。自分で漢字の音と訓を使った歌を作るのも楽しいですね。
			送りがな		
		3 まとまりに分けて書こう	せつめい書を作ろう	書く	1 何についてせつめいするかを決めよう。 2 どんなせつめい書にするかを考えて書こう。 3 みんなに読んでもらおう。
		漢字の広場	二年生で習った漢字⑤	言葉	・家を出て、線路まで歩いていきます。何がありますか。どんな人がいますか。文章に書きましょう。
			名前をつけよう	話す・聞く	・話し合って、名前をつけましょう。
			漢字の意味	言葉	・絵を見て、ー線のついた言葉に当てはまる漢字を書きましょう。 ・次の文の□には、（　　）の中のどちらが当てはまるでしょうか。
			たから物をさがしに	書く	・絵地図を見ながら、男の子と女の子が、たから物を手に入れるまでのことをそうぞうして、物語を作りましょう。
		4 言葉って、おもしろいな	漢字と友だち	話す・聞く、書く	1 漢字のなりたちを知ろう。　2 漢字で遊ぼう。
			〈資料〉あっとおどろく漢字の話		
		漢字の広場	二年生で習った漢字⑥	言葉	・それぞれの教科でどんなことをしますか。そうぞうしたことも入れて、文章に書きましょう。
		学習したことを生かして	モチモチの木		
		言葉の森	へんしん物語		
			世界の「こんにちは」と文字		

国語　四　　上 かがやき　・　下 はばたき　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）

4	上		つづけてみよう		・みんなで楽しむ「今日のひと言」 ・言葉のたんじょう日プレゼント
		1本と出会う、友だちと出会う	三つのお願い	読む	・三つのお願いについて、それぞれ次のことをたしかめましょう。 ・「三つのお願い」は、「わたし」（ノービィ）が、「語り手」となって、自分のことや、友だちのビクターのこと、ママのことをつたえる形式で書かれています。みなさんも聞く人に語りかけるつもりで音読しましょう。次のことに気をつけて、くふしましょう。
				言葉	・「三つのお願い」の中で、大事だと思う言葉を考えてみましょう。
				話す・聞く	・次の話題のどれかについて発表しましょう。
				書く	・発表した自分の体験や思いを入れて、ノービィかビクターにあてた手紙を書きましょう。
			手紙を書く	書く	
			漢字の組み立て	言葉	
		2段落のつながりに気をつけて読もう	「かむ」ことの力	読む	・「『かむ』ことの力」を読んで、初めて知ったことや大切だと思ったことを発表しましょう。 ・この文章は、次の大きな二つのまとまりが中心になっています。　（※省略）　それぞれのまとまりは、いくつの段落からできているでしょう。また、一つ一つの段落には、どんな内容が書かれているでしょう。 ・「『かむ』ことの力」は、中心となる二つの大きなまとまりのほかに、どんなまとまりからできているでしょうか。 ・一つの段落で、初めに大事なことを書いて、その後その説明をつづける書き方をすると、読者に内容が伝わりやすくなります。「『かむ』ことの力」から、そういう段落を見つけて、たしかめましょう。
				言葉	・反対の様子を表す言葉を集めましょう。 ・たがいに関係のある言葉の仲間集めをしましょう。
		漢字の広場	三年生で習った漢字①	言葉	・この町の住人になったつもりで、町やまわりの様子をしょうかいする文章を書きましょう。
			春のうた	読む	
			漢字辞典の使い方	言葉	・漢字辞典を使って、一線の漢字の意味や使い方を調べてみましょう。

		3 伝えたいことをはっきりさせて書こう	新聞記者になろう	書く	1 新聞の形式と内容を調べよう。 2 どんな新聞を作るか、どんな話題をのせるかを考えよう 3 取り上げた話題について、取材しよう。 4 記事の下書きをしよう。
			いろいろな符号	書く	
		漢字の広場	三年生で習った漢字②	言葉	・ふれあい祭りの会場には、たくさんの人が集まっています。人々が「していること」を中心に、文章を書きましょう。
			ローマ字	言葉	・自分の名前や学校名をローマ字で書いて、めいしを作ってみましょう。
			伝言はまちがえずに	話す・聞く	・次のような場面を考えて、メモを取りながら聞いたり、相手が聞き取りやすいように話したりしてみましょう。速く、正確にメモが取れるように、工夫したり練習したりしましょう。
		4 本と友達になろう	白いぼうし	読む、書く	・この作品で、いちばんおもしろいな、すてきだなと思うところ、心に残るところを発表しましょう。 ・「松井さん」の人がらは、話し方や行動に気をつけて読むと、よく分かります。その部分をいくつか書き出し、どんな人がらかについて話し合ってみましょう。 ・「白いぼうし」には、においや色を表したり想像させてたりする言葉がたくさん出てきます。（※省略）これらの言葉から、どんな様子が思いうかぶでしょうか。また、これらの言葉は作品全体にどんな感じをあたえているでしょうか。ほかの例もさがして、考えてみましょう。
				言葉	・「白いぼうし」には、こそあど言葉がたくさん出てきます。それらが指ししめす意味を考えると、場面の様子がさらにくっきりと想像できます。
			本は友達	読む、書く	1 いろいろな本を読もう。　2「おすすめの本」カード集を作ろう。
			本のさがし方		図書館での本のさがし方を学びましょう
		漢字の広場	三年生で習った漢字③	言葉	・午後の学校の様子です。どこで、どんなことが行われていますか。想像したことも加えて、文章に書きましょう。
			ぼく	読む、書く	
		5 調べて発表しよう	「伝え合う」ということ	話す・聞く	1 自分の課題をもって調べよう。　2 発表しよう。　3 感想を交流して、考えを深めよう。
			〈資料〉手と心で読む	話す・聞く	

			にた意味の言葉	言葉	・次のそれぞれについて、文を作ってちがいを考えてみましょう。また、ほかにも、みた意味の言葉を集めましょう。
		漢字の広場	三年生で習った漢字④	言葉	・絵の中の言葉を使って、二つの昔話を完成させましょう。
		言葉の森	いろはにほへと		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
4	下	1 場面をくらべて読もう	一つの花	読む	・場面ごとの様子や、場面と場面のつながりについて、登場人物に注目して詳しく読みましょう。 ・戦争中と戦争後の場面について、次のことに気をつけてくらべてみましょう。 ・題名の「一つの花」は、物語りのどんなところに出てきますか。この題名のつけ方について、思ったことや考えたことを話し合いましょう。
				言葉	・言葉を置きかえると、様子はどのようにちがってきますか。
			文と文のつながり	言葉	
		2 材料の選び方を考えよう	アップとルーズで伝える	読む、書く	・「アップとルーズで伝える」は、八つの段落に分けて書かれています。 ・「しかし」（20 ページ 7 行目）、「でも」（21 ページ 8 行目）に着目して、アップルーズが、それぞれ伝えられることと伝えられないことをまとめましょう。
				言葉	本文の中から、次の言葉を書き出しましょう。また、知っているほかの言葉も集めて、書き足しましょう。
			四年三組から発信します	読む、書く	1 知らせたい物を決め、材料を集めよう。 2 目的や相手に合わせて知らせることを選び、文章にまとめよう。
			選んで伝える	読む、書く	
		漢字の広場	三年生で習った漢字⑤	言葉	・休日の様子です。どこで、どんな人が、どんなことをしているかを、文章に書きましょう。
			いろいろな意味をもつ言葉	言葉	
		3 調べたことを知らせよう	生活を見つめて	書く	1 調べることを決めよう。　2 調べ方を決めて、調べよう。　3 調べたこと、分かったことを整理しよう。　4 まとめたことを知らせる文章を書こう。　5 感想や意見の交流をしよう。
			表やグラフにまとめる	書く	表やグラフを作ってみましょう

			熟語の意味	言葉	・訓を手がかりにして、次の言葉の意味を考えましょう。 ・漢字の組み合わせを手がかりにして、次の熟語の意味を考えてみましょう。その後、漢字辞典などでたしかめましょう。
			話し合って決めよう	話す・聞く	・次のような話題で話し合ってみましょう。
			つぶやきを言葉に	書く	・友達の詩を参考にして、不思議だなと思ったり、はっとしたりしたことを、言葉にしてみましょう。
		4 言葉って、おもしろいな	言葉遊びの世界	話す・聞く、書く	
			〈資料〉いろいろな言葉遊び	話す・聞く、書く	
		漢字の広場	三年生で習った漢字⑥	言葉	・絵の中の言葉を使って、学校や家での勉強について、文章に書きましょう。
			カンジーはかせの漢字しりとり	言葉	
		学習したことを生かして	ごんぎつね	（話す・聞く、書く、読む）	
		言葉の森	言葉のおうえんだん		・走り終わった人に言う言葉を考えて、空いているふき出しに入れましょう。いくつ考えられますか。 ・ふき出しの中の言葉を使って、短いお話を考えましょう。 ・感謝している気持ちや様子を表す、いろいろな言い方を集めましょう。
			心でパチリ		・自分の感じたことを十七音で表現してみませんか。

国語　５　　上 銀河　・　下 大地　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	上		続けてみよう		
		1 本に親しみ、人間を見つめよう	新しい友達	読む	・「わたし」や「まりちゃん」の心情で、共感できるところ、疑問に思うところを話し合ってみよう。 ・この作品で、「坂本君」はどんな役わりを果たしているだろうか。考えてみよう。 ・この作品では、クロッカスが三つの場面で出てくる。どの場面のクロッカスが心に残っただろうか。それは、なぜだろう。

				言葉	・「新しい」について次のような観点から言葉を集めてみよう。
				書く	・次にしめす事がらを生かして、「わたし（ぼく）と友達」という内容で、自分の体験を文章に書いてみよう。
			漢字の成り立ち	言葉	
			お願いの手紙、お礼の手紙	言葉	・次の例を見ながら、だれに、どんなお願いをするか決めて、手紙の書き方を練習してみましょう。 ・相手と出来事を決めて、お礼の手紙の書き方を練習してみましょう。 ・書いた手紙を友だちに読んでもらいましょう。用件や気持ちがきちんと伝わるか、分かりにくいところはないかを、たがいに確かめましょう。
			敬語	言葉	
		2 要旨をとらえよう	サクラソウとトラマルハナバチ	読む	・「サクラソウとトラマルハナバチ」は、全体が次のような構成になっている。それぞれ、どこからどこまでか、本文で確かめてみよう。 ・筆者が、この文章を通して読者に考えてもらいたいと思っているのはどういうことだろうか。それについてどう思うかを話し合おう。
			晴間	読む	
			海雀	読む	
			雪	読む	
		3 調べたことを整理して書こう	言葉の研究レポート	書く	1 課題を決めよう。　2 調べよう。　3 レポートを書こう。
			仮名づかいの決まり		
			インタビュー名人になろう	話す・聞く	・インタビューする人とされる人を交代して、練習しましょう。練習を友達に見てもらって、助言し合いましょう。
		漢字の広場	四年生で習った漢字①	言葉	・うめおばあちゃんになって、自分の生活やしゅみなどをしょうかいする文章を書きましょう。
		4 読書の世界を広げよう	千年の釘にいどむ	読む、書く、話す・聞く	・次のどちらかの方法で、「千年の釘にいどむ」を読んでみよう。 ・「千年の釘」の感想をまとめよう。
			本は友達	読む、書く、話す・聞く	1 読書の楽しさを知ろう。　2 読書会をしよう。
		漢字の広場	四年生で習った漢字②	言葉	・放送係が運動会の様子を放送しているように、文章を書きましょう。今、目の前で起きているように伝える表現を工夫しましょう。

			未確認飛行物体		
			カンジー博士の暗号解読	言葉	
		5 伝え合って考えよう	人と「もの」との付き合い方	話す・聞く、書く	1 課題を決めて、調べよう。 2 調べたことを、発表したり聞いたりしよう。 3 自分の考えを文章に書こう。
			〈資料〉ごみ問題ってなあに		
		漢字の広場	四年生で習った漢字③	言葉	・絵を見て、あらすじを決め、短いお話を作りましょう。主人公は、どのように成長し、どんな冒険をするのでしょう。
			和語・漢語・外来語	言葉	（二つの事例について）どのように感じ方がちがうか話し合ってみましょう。 文中の傍線の言葉は、漢語と和語で意味がどのようにちがうでしょうか。
		言葉の森	どうして泣くのかな		
			歌う日本列島		
			ちえの言葉、言葉のちえ		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
5	下	1 人物の考え方や生き方をとらえよう	わらぐつの中の神様	読む	・現在の「マサエ」の家庭の話があることによって、どんな効果が生まれているか、次のことを話題にして話し合おう。 ・「おばあちゃん」の思い出話を、次のようなわらぐつと人物の関係に気をつけて読もう。 ・人物の人がらや考え方が表れている言葉、場面の様子がよく表れている表現の中から、いちばん心に残ったところを書き出し、発表しよう。なぜ、自分がその言葉や表現を選んだのか、その理由も付け加えよう。
				言葉	・次の表現の意味を考えよう。
			方言と共通語		
		漢字の広場	四年生で習った漢字	言葉	・各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように、文章を書きましょう。
			言葉の組み立て	言葉	・上の絵を参考にして、「飛び上がる」のほかに、「飛びー」という言葉を集めましょう。それぞれどういう意味か、どのように使うかを考え、短い文を作ってみましょう。

					・複合語を集めましょう。それぞれ、どんな組み合わせで出来ているか、どういう意味かを調べましょう。
		2 目的に応じた伝え方を考えよう	ニュース番組作りの現場から	読む、書く	・「ニュース番組作りの現場から」では、ニュースを人々に伝えるまでの過程が、時間の順序にしたがって書かれている。過程が分かるように、次のような表に整理しよう。 ・番組作りのそれぞれの過程で。大事なこと、気をつけることはなんだろう。
				言葉	・「ニュース番組作りの現場から」には、たくさんの複合語が使われている。
			工夫して発信しよう	読む、書く	1 話し合って計画を立てよう。　2 必要な材料を集めよう。　3 編集しよう。
			編集して伝える	読む、書く	
		漢字の広場	四年生で習った漢字⑤	言葉	・だれが、どこで、何をしていますか。人物の様子や気持ちが分かる言葉も入れて、文章に書きましょう。
		詩を味わおう	ねぎぼうず		
			ケムシ・		
			耳		
			蝶		
			漢字の読み方と使い方	言葉	
			「失敗」をめぐって	話す・聞く	・みなさんも、「失敗」をめぐって、グループで話し合ってみましょう。子安さんたちとちがう話題、ちがう進め方を考えてもいいでしょう。
			物語を作ろう	書く	①写真から好きな一まいを選びましょう。写っている物、様子を表す言葉、それから連想される言葉を、できるだけたくさん書き出してみましょう。 ②書き出した言葉を見ながら、物語のおおまかなイメージを思いうかべましょう。 ③物語のおおまかな「すじ」を考えましょう。 ④表現を工夫して、物語を書きましょう。
		3 言葉って、おもしろいな	どんなとき、だれに	話す・聞く・書く	・別の星の宇宙人から、次のようなメッセージがとどきました。日本全国の人に向けた公式のあいさつにふさわしい文章にするには、このメッセージをどのように直したらいいでしょう。直したほうがいいと思うところを書きかえて、友達に読んでもらいましょう。たがいに、どこをどんなふうに直したか比べてみましょう。 ・相手を決めて自分の最近の生活を報告したり、相手の様子をたずねたりする手紙を書きましょう。　・下の絵は、友達どうしの会話の場面です。あ

					なたの住んでいる地方では、どんな言い方をしますか。また、絵の中で話しかけられている人が、先生に変わった場合、話し手の言葉や表現はどのように変わるでしょう。先生の言葉も考えて、実際に演じてみましょう。 ・先生からの伝言を、図工係としてクラスのみんなに伝えます。次の①②では、伝える言葉や表現にどんなちがいが出てくるでしょう。両方の伝え方をためしてみましょう。
			〈資料〉宇宙人からのメッセージ		
			言葉や表現のちがいから	話す・聞く・書く	
		漢字の広場	四年生で習った漢字⑥	言葉	・今日一日の出来事を伝える新聞記事を書きましょう。「いつ」「どこで」「だれが」など、必要な事がらを考えましょう。
			同じ読み方の熟語	言葉	
		学習したことを生かして	大造じいさんとガン		
		言葉の森	月夜のみみずく		・様子がよく分かるように、朗読したり暗唱したりしよう。 ・「とうさん」の自然に対する考え方、それについての自分の考えをまとめよう。

国語　六　　上 創造 ・ 下 希望　　光村図書

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	上		続けてみよう		
		1本に親しみ、自分と対話しよう	カレーライス	読む	・次の（1）（2）（3）の場面で、心情を表している言葉や言動に着目して、「ぼく」の気持ちを考えてみよう。 ・この作品には、カレーの「甘口」と「中辛」が出てくる。この二つの言葉には、どんな意味がこめられているだろうか。「ぼく」と「お父さん」の立場で考えてみよう。 ・「カレーライス」では、地の文が「ぼく」の立場で書かれている。そのことは、どのような効果を上げているだろうか。考えてみよう。
				書く	・次のどれかの課題で書いてみよう。・20ページに挙げた（1）（2）（3）のどれかの場面を選び、「お父さん」の視点で日記を書く。

					・同じように場面を選び、それについて　「お母さん」が友人に話している会話を想像して書く。 ・「ぼく（わたし）は悪くない。」という書き出しで、自分が経験した事を書く。あるいは、短い物語風の文章を書く。
			漢字の形と音・意味	言葉	
		2 文章を読んで、自分の考えをもとう	生き物はつながりの中に	読む	・筆者は、第一段落で話題を提示し、「生き物の特徴をさぐってみましょう。」と呼びかけている。それによって、読者は何に気をつけて読んでいけばいいのかがわかる。 ・筆者は、本物のイヌとロボットのイヌとを比べながら、ところどころに「人間」の話を盛り込んでいる。それははなぜだろうか、考えてみよう。 ・この文章全体で、最終段落はどのような役割をしているのだろうか。 ・次の内容をそれぞれ一まとまりにして、二つのまとまりからなる文章を書こう。
				言葉	・言葉や表現に気をつけて、本物のイヌとロボットのイヌの何が比べられているかを見つけよう。 ・次のような表現を使って、短い文を作ってみよう。「どんなに―でも、―」や「―こそが、―」を使って短い文を作りましょう
		漢字の広場	五年生で習った漢字①	言葉	・町のあちこちで、いろいろな出来事が起きています。新聞記事のように、出来事を伝える文章を書きましょう。
			短歌・俳句の世界		
			暮らしの中の言葉	言葉	・例にならって、ことわざの意味や由来を調べましょう。 ・辞典を使って、次の言葉の意味を調べましょう。 ・ことわざや漢字四字の言葉を使って、短い文を作りましょう。
		3 相手や目的に合わせて書こう	ガイドブックを作ろう	書く	1 どんなガイドブックにするかを考えよう。 2 材料を集めて全体の構成を決めよう。 3 ガイドブックを作ろう。
			よりよい文章に		
		漢字の広場	五年生で習った漢字②	言葉	・キャンプ場での人々の行動を書きましょう。友達が書いたものを読んで、上手だなと思う文を見つけましょう。
			学級討論会をしよう	話す・聞く	・話題を決めて討論会をしてみましょう。
		4 読書の世界を深	森へ	読む、書く、	・筆者といっしょに森を歩いているつもりで、「森へ」を読んでみよう。いろいろ

		めよう		話す・聞く	な感覚を働かせて、どんな様子かを想像しよう。 ・感じたことを言葉で伝えるために、筆者はさまざまな表現の工夫をしている。 ・「森へ」を読んで、どんなことを考えただろうか。次のテーマから一つを選んで、考えをまとめよう。
				言葉	・「森へ」の文章中には、ところどころ問いかけるような表現がある。その効果を考えてみよう。
		詩を味わおう	本は友達	話す・聞く	1 いろいろな本を読もう。　2 読書発表会をしよう。
		漢字の広場	五年生で習った漢字③	言葉	・絵の中の男の人は、どんな事件をどのように解決するのでしょう。作家になったつもりで、探偵物語を書いてみましょう。
			船		
			りんご		
			同じ訓をもつ漢字	言葉	同訓異字語の使い分けを学びましょう
		5 共に考えるために伝えよう	みんなで生きる町	話す・聞く、書く	1 問題意識をもとう。　2 調べたことを発表し、考えよう。　3 提案を文章にまとめよう。
			〈資料〉多くの人が使えるように		
		漢字の広場	五年生で習った漢字④	言葉	・家の人に、学校での学習や活動を伝える文章を書きましょう。
			日本で使う文字	言葉	・次の二つの文を比べて、漢字と仮名を交ぜて書き表す利点を話し合いましょう。 ・どの部分を漢字で書き、どの部分を仮名で書いているか、次の文を例に考えてみましょう。
		言葉の森	今も昔も		
			狂言　柿山伏		

学年	上下の別	単元名	教材の題名	領域	学習活動、課題（教科書の表現より）
6	下	1 表現を味わい、豊かに想像しよう	やまなし	読む	・「やまなし」では、最初に、「小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。」とある。どこから見た風景が映し出されているのだろう。自分もその場にいて、自分の目で見ているような気持ちで読み味わってみよう。 ・「やまなし」の特色を、次の点から考えて、話し合ってみよう。 ・この作品に、どうして「やまなし」という題名がつけられたかを、次のことから考えてみよう。

				・作品を読んで、自分なりに考えたこと、感じたことを書き、発表しよう。友達の発表を聞いて、考えを深めよう。
			言葉	・次の表現から、どんな情景が目に浮かぶか想像してみよう。
		〈資料〉イーハトーヴの夢	読む	
		熟語の成り立ち	言葉	・次の熟語は、上の①から④のどれに当たるでしょうか。漢字字典を使って意味を調べ、考えましょう。 ・知っている熟語をつなげて、漢字四字以上の長い熟語を作ってみましょう。
		覚えておきたい言葉		
	漢字の広場	五年生で習った漢字⑤	言葉	・商店街の通りやお店の中の様子を、文章に書きましょう。会話を想像して書き、その効果を考えましょう。
	2 筆者の言葉を受け止め、自分の考えを伝えよう	平和のとりでを築く	読む、書く	・広島の「産業奨励館」が「原爆ドーム」とよばれているのはなぜだろう。どうして保存されることになったのだろうか。そのわけをまとめよう。 ・「規模が小さいうえ、歴史も浅い」遺跡である原爆ドームが世界遺産になったのはなぜだろうか。筆者がどのように考えているかをまとめよう。 ・次のどちらか一つを選んで自分の考えを発表しよう。
			言葉	・文の書き方の特徴に気をつけて読もう。
		自分の考えを発信しよう	読む、書く	1「平和」について考えよう。　2 自分の考えを書こう。　3 考えを発信しよう。
		インターネットと学習		
	漢字の広場	五年生で習った漢字⑥	言葉	・どんなとき、どんなことがあったか、そのとき、どんな気持ちだったか。絵を見て想像し、文章に書きましょう。
		今、わたしは、ぼくは		
		感動を言葉に	書く	・見たり感じたりしたことから連想を広げる。心のつぶやきを言葉にする。書き表し方を工夫することで、様子や動きが生き生きと伝わってきます。みなさんも、表現のしかたを工夫して書いてみましょう。
	3 言葉って、おもしろいな	わたしたちの言葉	話す・聞く、書く	・「おかしい」を使っていろいろな文を作ってみましょう。それぞれの「おかしい」が表す意味を考えて、分類しましょう。 ・次に挙げた語も、いくつかの意味を持っています。例文を作って、どのような意味があるのかを確かめましょう。 ・場所を表す「に」と「で」を使った文章を考えて書き、森先生の説明を確かめて

					みましょう。 ・次に挙げたものを参考にして、生活の中のいろいろなあいさつ言葉を集めてみましょう。家の人や先生方にもたずねて、自分たちのあいさつと比べ、気づいたことや感じたことをまとめましょう。 ・日本語のあいさつ言葉にこめられた意味や思いについて、調べたり、友達と話し合ったりしましょう。
			〈資料〉言葉の橋		
			カンジー博士の漢字クイズ大会	言葉	
		学習したことを生かして	海の命		
			今、君たちに伝えたいこと		
			生きる		

国際理解関連教材数

	学校図書	教育出版	光村図書	大阪書籍	東京書籍	計
1 上	0	0	1	0	1	2
1 下	1	3	2	0	0	6
2 上	1	2	0	1	1	5
2 下	2	1	0	3	1	7
3 上	3	5	1	3	2	14
3 下	2	3	1	4	2	12
4 上	5	4	3	2	4	18
4 下	3	3	2	4	2	14
5 上	2	2	2	4	4	14
5 下	3	1	3	1	1	9
6 上	2	2	3	5	5	17
6 下	4	3	1	5	1	14
計	28	29	19	32	24	132

調査担当　小林一貴（岐阜大学）

４　平成 17 年度版国語教科書における悉皆調査
―学習者に対する働きかけ・問いかけの文をめぐって―

調査担当　藤森裕治（信州大学教育学部）

１．主旨

学習者は、国語教科書の本文からどのような事柄を指示されたり問いかけられたりしているか。その傾向と特徴を分析し、日本の国語教科書が内包する教育内容の諸特性を捉える。

２．方法

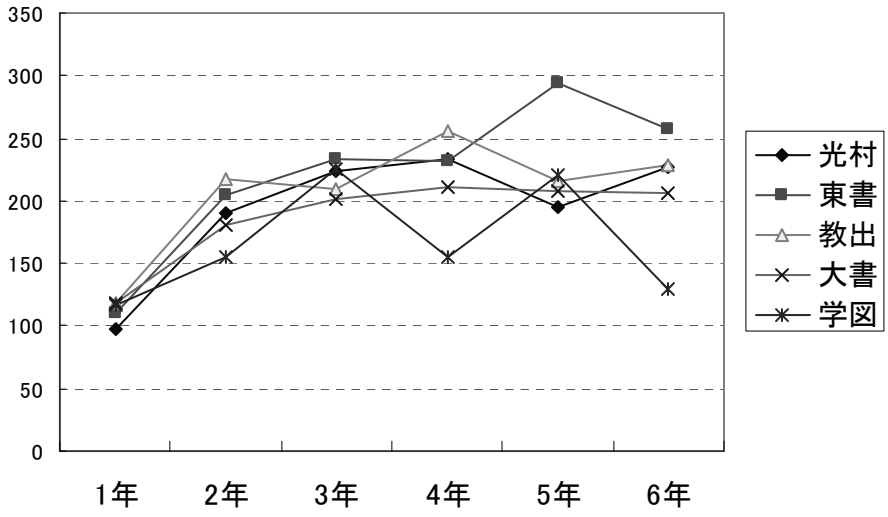
平成 17 年度版国語教科書として、小学校の全社、中学校は光村図書版のみを取り上げ、表紙から巻末にいたるすべての文章を対象に、以下の条件を満たす文を抽出した。

(1)……しよう。……みよう。のように、学習者に対して何らかの活動を指示する文。
(2)……か。……だろう。のように、学習者に対して何らかの問いを発する文。

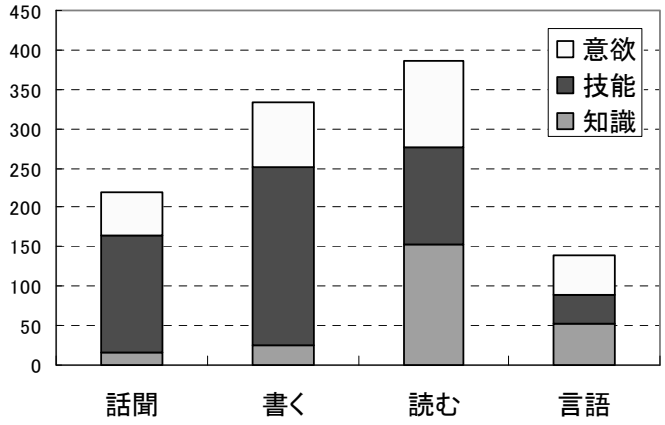
これらを EXCEL に記録し、以下のカテゴリーで分類した。

構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束

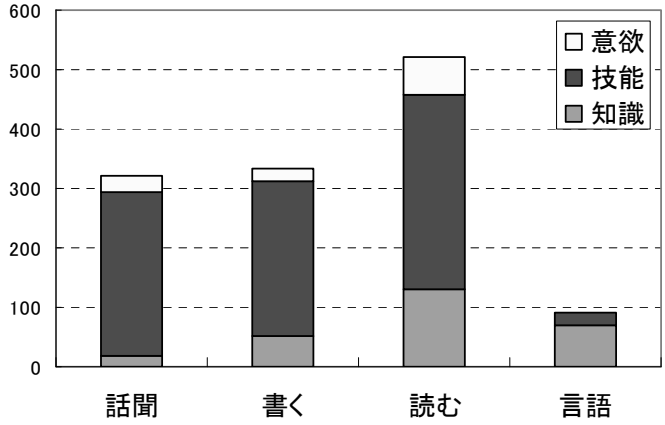
対象文総数

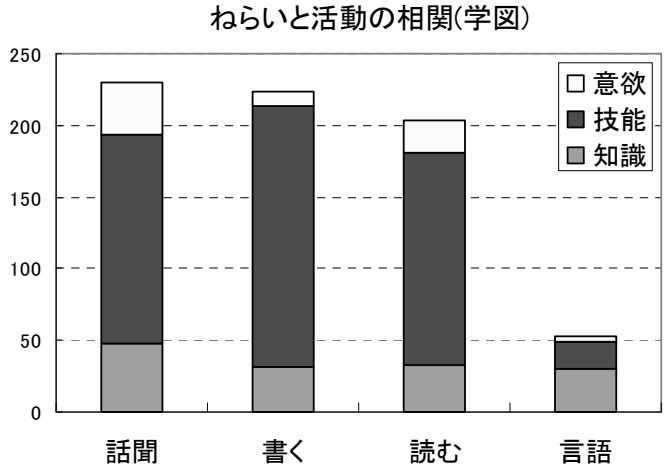


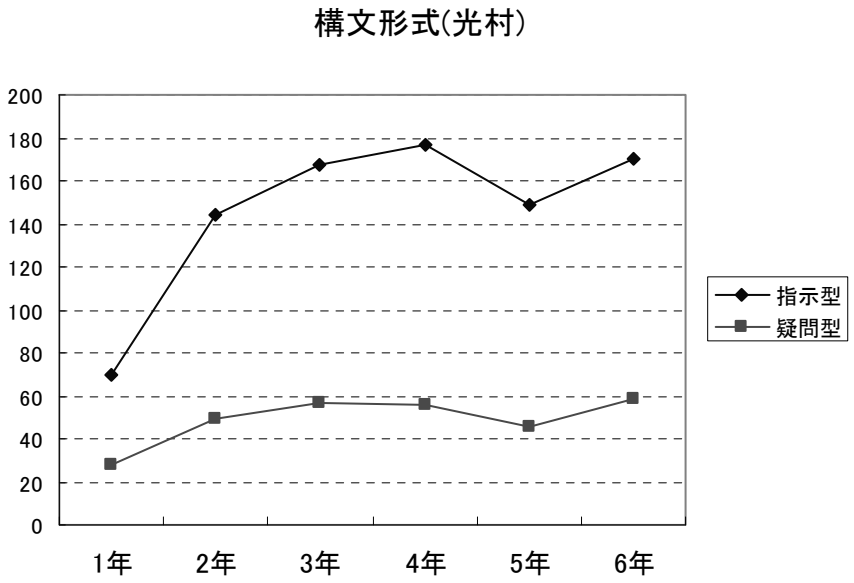
ねらいと活動の相関(光村)



ねらいと活動の相関(東書)




ねらいと活動の相関(学図)
250
200
150
100
50
0
意欲
技能
知識
話聞
書く
読む
言語


構文形式(光村)
200
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
指示型
疑問型
1年
2年
3年
4年
5年
6年

平成 17 年度版国語教科書における悉皆調査―学習者に対する働きかけ・問いかけの文―

調査担当　藤森裕治（信州大学教育学部）

教科書分析（東京書籍・小学校）

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	上	うれしい　ひ	おや　なにかな		1	1								1	1		1	
2	1	上	ふたとぶた	なにに　かわるかな		1		1							1	1		1	
3	1	上	みんなで　あいうえお	おおきな　こえで　よもう	1			1			1			1			1		1
4	1	上	みんなで　あいうえお	あいうえお　と、たてに　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
5	1	上	みんなで　あいうえお	あかさたな　と、よこに　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
6	1	上	みんなで　あいうえお	かーきーくーけーこー　と、のばして　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
7	1	上	どうぶつの　はな	どう　しましょう。		1	1								1	1		1	
8	1	上	どうぶつの　はな	これは、なんの　はなでしょう。		1	1								1	1		1	
9	1	上	どうぶつの　はな	これは、なんの　はなでしょう。		1	1								1	1		1	
10	1	上	きいて　きいて	やすみじかんに　した　ことを、みんなに　きいて　もらいましょう。	1			1			1				1		1	1	
11	1	上	よんで　よんで	した　ことを　かきましょう。	1			1		1					1	1			1
12	1	上	は　へ　を	どちらが　はいるかな		1		1					1			1			1
13	1	上	みんなに　しらせよう	みんなに　しらせたい　ことを　えと　ぶんで　かきましょう。	1			1		1				1			1	1	
14	1	上	かんじの　はなし	かんじを　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
15	1	上	かずを　あらわす　かんじ	かぞえて　みましょう。	1			1			1			1		1			1
16	1	下	サラダで　げんき	なにを　かんがえて　いるのかな。		1	1				1				1	1		1	
17	1	下	サラダで　げんき	出て　くる　人や　どうぶつに　きを　つけて　よみましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
18	1	下	サラダで　げんき	いろいろな　おはなしを　よんで、「おはなしカード」を　かきましょう。	1			1		1				1		1		1	
19	1	下	サラダで　げんき	どんな　人や　どうぶつが　出て　きたでしょう		1		1		1			1			1			1
20	1	下	サラダで　げんき	おはなしに　出て　きた　どうぶつを、出てきた　じゅんばんに　さがしましょう。	1			1			1		1			1			1
21	1	下	サラダで　げんき	「おはなしカード」を　かきましょう	1			1		1				1		1		1	
22	1	下	サラダで　げんき	カードに　すきな　ところの　えや　ぶんを　かきうつしましょう。	1			1		1				1		1			1
23	1	下	サラダで　げんき	いろいろな　おはなしを　よみましょう	1			1			1				1	1		1	
24	1	下	サラダで　げんき	がっきゅうぶんこには、どんな　本が　あるのかな。		1		1			1				1	1		1	
25	1	下	サラダで　げんき	「ふろく」も　みて　みましょう。	1			1			1				1	1			1
26	1	下	サラダで　げんき	どのように　よみますか。		1		1			1			1		1		1	
27	1	下	サラダで　げんき	おもしろかった　おはなしのことを、「おはなしカード」にかいて、みんなの　まえで　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
28	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	ことばあそびうたを　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
29	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	「なぞなぞ」に　ならって、どうぶつや　いろいろな　ものの　名まえで　つくりましょう。	1			1		1				1		1		1	
30	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	「ん」が　入っていない　ことばで　つくりましょう。	1			1		1				1		1		1	
31	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	「たぬき」「せんぬき」のように、おなじ　ところのある　ことばを　さがして、文を　つくりましょう。	1			1		1				1		1		1	
32	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	つくった　文を、みんなで　よみあいましょう。	1			1			1				1		1	1	
33	1	下	ことばあそびうたを　つくろう	おなじ　ところの　ある　かんじを　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
34	1	下	いろいろな　ふね	どんな　ふねが　あるのかな。		1	1				1				1	1		1	
35	1	下	いろいろな　ふね	かいて　ある　ことを　正しく　よみとりましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
36	1	下	いろいろな　ふね	いろいろな　のりものの　ことを　しらべて　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1	1	
37	1	下	いろいろな　ふね	どんな　ことを　する　ふねでしょう。		1		1			1		1			1			1
38	1	下	いろいろな　ふね	その　ことを　するために、どのような　くふうが　して　ありますか。		1		1			1		1			1			1
39	1	下	いろいろな　ふね	すきな　のりものに　ついて　しらべましょう	1			1			1			1		1		1	
40	1	下	いろいろな　ふね	すきな　のりものに　ついて、本を　よんで、しらべて　みましょう。	1			1			1			1		1		1	
41	1	下	いろいろな　ふね	えらんだ　のりものについて、つぎの　ことが　わかるように　しらべて　まとめましょう。	1			1			1			1		1			1
42	1	下	いろいろな　ふね	どんな　ことを　するための　のりものですか。		1		1			1		1			1		1	
43	1	下	いろいろな　ふね	その　ことを　するために、どのような　くふうが　して　ありますか。		1		1			1		1			1		1	
44	1	下	いろいろな　ふね	しらべた　ことを　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1		1
45	1	下	いろいろな　ふね	しらべた　のりものに　ついて、じぶんで　まとめた　ものを　みせながら、はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1		1
46	1	下	いろいろな　ふね	おなじ　ところの　ある　かんじを　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
47	1	下	おとうとねずみ　チロ	だれからの　手がみでしょう。		1	1				1				1	1		1	
48	1	下	おとうとねずみ　チロ	ようすを　おもいうかべながら　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
49	1	下	おとうとねずみ　チロ	チロの　ようすを　おもいうかべましょう	1			1			1		1			1			1
50	1	下	おとうとねずみ　チロ	チロに　なった　つもりで、チロの　ことばを　こえに　出して　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
51	1	下	おとうとねずみ　チロ	なかまに　なる　かん字を　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
52	1	下	おとうとねずみ　チロ	くみに　なる　ことばを　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
53	1	下	かたかなを　かきましょう	かきかたに　きを　つけましょう。	1			1		1				1		1			1
54	1	下	ことばの　ひろば	どうぶつの　名まえを　かきましょう。	1			1		1			1			1			1
55	1	下	わたしの　はっけん	ものの　ようすを　よく　見て、文しょうをかきましょう。	1			1		1				1		1		1	
56	1	下	わたしの　はっけん	みの　まわりに　いる　生きものの　ようすを　よく　見て、見つけた　ことを　かきましょう。	1			1		1				1		1		1	
57	1	下	わたしの　はっけん	生きものの　ようすや　うごきを　よく　見て、はっけんカードに　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
58	1	下	わたしの　はっけん	はっけんカードを　もとに　文しょうを　かきましょう	1			1		1				1		1			1
59	1	下	わたしの　はっけん	かいた　文しょうを　もとに、じぶんの　見つけたことを　ともだちに　おしえて　あげましょう。	1			1	1						1		1	1	
60	1	下	わたしの　はっけん	はなした　ことばには、かぎ（「　」）を　つけましょう。	1			1		1				1		1			1
61	1	下	わたしの　はっけん	かきおわったら、よく　よみかえして、まちがって　いる　ところを　かきなおしましょう。	1			1		1				1		1			1
62	1	下	わたしの　はっけん	なかまに　なる　かん字を　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
63	1	下	よう日の　かん字を　おぼえましょう	らい年の　一月の　カレンダーを　つくりましょう。	1			1		1				1		1			1
64	1	下	よう日の　かん字を　おぼえましょう	らい年の　一月一日は、なんよう日でしょう。		1		1			1		1			1			1
65	1	下	よう日の　かん字を　おぼえましょう	お正月の　ようすを　えに　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
66	1	下	ことばの　ひろば	つぎの　えは　なん月でしょう。		1		1			1		1			1			1
67	1	下	ことばの　ひろば	かん字で　かきましょう。	1			1		1			1			1			1
68	1	下	じゃんけん	じゃんけんの　かちまけの　しくみに　気をつけて　よみましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
69	1	下	じゃんけん	いろいろな　じゃんけんに　ついて　はなしあいましょう。	1			1	1					1			1	1	
70	1	下	じゃんけん	どれを　出しても、かったり　まけたり　します。どうしてでしょう。		1	1				1				1	1			1
71	1	下	じゃんけん	「グー」「チョキ」「パー」の　じゃんけんでは、どのように　して　かちまけが　きまりますか。		1		1			1		1			1			1
72	1	下	じゃんけん	となりの　人と　はなしあって　たしかめましょう。	1			1	1				1				1	1	
73	1	下	じゃんけん	ほかの　くにの　じゃんけんを　しらべたり、おもしろい　じゃんけんを　じぶんで　つくったり　しましょう。	1			1			1				1	1			1
74	1	下	じゃんけん	しらべたり　つくったり　した　じゃんけんに　ついて、「グー」「チョキ」「パー」の　じゃんけんの　ときと　おなじように、となりの人と　はなしあいましょう。	1			1	1				1				1	1	
75	1	下	じゃんけん	はなしあう　ときに　気を　つけましょう	1			1	1					1			1		1
76	1	下	じゃんけん	かちまけの　しくみが　わかるように、じゅんじょよく　せつめいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
77	1	下	じゃんけん	せつめいを　きいて　わからない　ことは、ききかえしましょう。	1			1	1					1			1	1	
78	1	下	じゃんけん	おもしろい　じゃんけんを、みんなにも　おしえて　あげましょう。	1			1	1						1		1	1	
79	1	下	じゃんけん	そして、みんなで　あそんで　みましょう。	1			1	1						1		1	1	
80	1	下	じゃんけん	くみに　なる　ことばを　あつめましょう。	1			1				1		1		1			1
81	1	下	じゃんけん	「気」の　つかいかたを　おぼえましょう。	1			1				1	1			1			1
82	1	下	なんの　なかまでしょう	「こん虫」や「とり」を、まとめて　よぶ　ことばは　なんでしょう。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
83	1	下	なんの　なかまでしょう	「りんご」や「みかん」を、まとめて　よぶ　ことばは　なんでしょう。		1		1			1		1			1			1
84	1	下	なんの　なかまでしょう	「のりもの」には、どんな　ものが　あるでしょう。		1		1			1		1			1			1
85	1	下	ことばの　ひろば	かたかなを　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
86	1	下	ことばの　ひろば	えを　見て、ものの　名まえを　かたかなで　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
87	1	下	はるの　ゆきだるま	ようすを　おもいうかべながら　よみ、おはなしを　たのしみましょう。	1			1			1				1	1		1	
88	1	下	はるの　ゆきだるま	げきを　したり、すきな　ところを　こえに　出して　よんだり　しましょう。	1			1			1			1			1		1
89	1	下	はるの　ゆきだるま	ようすを　おもいうかべながら　よみましょう	1			1			1			1		1			1
90	1	下	はるの　ゆきだるま	ゆきだるまや　どうぶつたちの　した　ことや　おもった　ことを　かんがえましょう。	1			1			1		1			1		1	
91	1	下	はるの　ゆきだるま	どちらかを　えらびましょう	1			1							1	1			1
92	1	下	はるの　ゆきだるま	どうぶつたちの　うごきを　かんがえましょう。	1			1			1			1		1		1	
93	1	下	はるの　ゆきだるま	ゆきだるまや　どうぶつたちの　した　ことが　よく　わかるように　げきを　しましょう。	1			1	1					1			1	1	
94	1	下	はるの　ゆきだるま	すきな　ところを　えらんで、ノートに　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
95	1	下	はるの　ゆきだるま	すきな　わけも　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
96	1	下	はるの　ゆきだるま	すきな　わけを　はなした　あと、すきな　ところを　こえに　出して　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
97	1	下	はるの　ゆきだるま	はるの　おはなしを　さがして、よんで　みましょう。	1			1			1			1		1			1
98	1	下	はるの　ゆきだるま	よんだ　おはなしを、ともだちに　しょうかい　しましょう。	1			1	1					1			1	1	
99	1	下	はるの　ゆきだるま	くみに　なる　ことばを　あつめましょう。	1			1				1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
100	1	下	かたちに　気を　つけて　かきましょう	かたちの　にて　いる　かん字に　気を　つけましょう。	1			1		1				1		1			1
101	1	下	かたちに　気を　つけて　かきましょう	かたちの　にて　いる　かん字を　下から　えらんで、□に　入れましょう。	1			1		1				1		1			1
102	1	下	ことばの　ひろば	１０５・１０６ページの　「ことばのせかい」を　見て、□に　入れる　ことばを　えらびましょう。	1			1		1				1		1			1
103	1	下	本と　ともだち	いろいろな　本を　よみ、すきな　本の　ことを　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
104	1	下	本と　ともだち	いろいろな　本を　よみましょう。	1			1			1			1		1		1	
105	1	下	本と　ともだち	先生に、いろいろな　本を　よんで　もらいましょう。	1			1			1				1		1		1
106	1	下	本と　ともだち	あなたは　どんな　本が　すきですか。		1		1			1				1	1			1
107	1	下	本と　ともだち	じぶんの　すきな　本の　ことを、ともだちに　おしえて　あげましょう。	1			1	1						1		1	1	
108	1	下	本と　ともだち	よんだ　本の　ことを、えに　かいたり、文しょうに　かいたり　しましょう。	1			1		1				1		1			1
109	1	下	本と　ともだち	すきな　ところの　文や　えを　うつして、どんな　ところが　おもしろかったか、どんなことを　かんがえたかを　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
110	1	下	本と　ともだち	かいた　ものを　あつめて、みんなに　しょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
111	2	上	１たのしく声に出して読もう	ようすをおもいうかべながら、声に出して読みましょう。	1		1				1			1		1			1
112	2	上	１たのしく声に出して読もう	口を大きくあけ、しせいに気をつけて、はっきりとした声で読みましょう。	1		1				1			1		1			1
113	2	上	１たのしく声に出して読もう. たんぽぽ	花をよく見てみましょう。	1		1							1		1		1	
114	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	ようすをおもいうかでながら、声に出して読もう	1			1			1			1		1			1
115	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	口を大きくあけて、せすじをのばして言いましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
116	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	はっきりと言えるように、くりかえしましょう。	1			1			1			1		1			1
117	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	「えんぴつ」のかわりに、いろいろなことばをあてはめましょう。	1			1			1			1		1		1	
118	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	おなかから声を出しましょう。	1			1			1			1		1			1
119	2	上	１たのしく声に出して読もう・てびき	いろいろなしせいで声を出し、どんな声が出るかためしましょう。	1			1			1				1	1		1	
120	2	上	１たのしく声に出して読もう・丸、点、かぎをつかおう	絵を見て、点（、）をつけましょう。	1			1			1		1			1			1
121	2	上	１たのしく声に出して読もう・丸、点、かぎをつかおう	つぎの文に、丸やかぎをつけましょう。	1			1			1		1			1			1
122	2	上	１たのしく声に出して読もう・ことばのひろば	よう日をあらわすかん字を入れて、カレンダーをつくりましょう。	1			1			1		1			1			1
123	2	上	２みんなのまえで話そう	はっきり話して、しっかり聞きましょう。	1		1		1					1		1			1
124	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	じぶんが大切にしているたからもののことを、みんなに教えてあげましょう。	1		1		1						1	1			1
125	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	なにをしょうかいするか考えよう	1		1		1					1		1			1
126	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	あなたのたからものはなんですか。		1	1		1					1		1			1
127	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	しょうかいしたいものを１つえらびましょう。	1		1		1					1		1			1
128	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	どんなことをしょうかいするか考えよう。	1		1		1					1		1			1
129	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	つぎのことをメモに書いて、話すれんしゅうをしましょう。	1		1		1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
130	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	たからものをしょうかいしよう	1		1		1					1		1			1
131	2	上	２みんなのまえで話そう・教えてあげる、たからもの	話がおわったら、しつもんしましょう。	1		1		1					1		1		1	
132	2	上	２みんなのまえで話そう・手紙で知らせよう	毎日のできごとの中から、知らせたいことを手紙に書きましょう。	1			1		1					1	1			1
133	2	上	２みんなのまえで話そう・手紙で知らせよう	だれにどんなことを知らせてあげたいですか。		1		1	1					1		1			1
134	2	上	２みんなのまえで話そう・手紙で知らせよう	手紙を書こう	1			1		1				1		1		1	
135	2	上	２みんなのまえで話そう・手紙で知らせよう	手紙をもらったら、手紙をくれた人にへんじを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
136	2	上	２みんなのまえで話そう・つづけてみよう	国語のがくしゅうをつづけていく計画を立てましょう。	1			1	1						1	1			1
137	2	上	２みんなのまえで話そう・つづけてみよう	あさの会やかえりの会で、さいきん気に入っているものごとのしょうかいをしましょう。	1			1	1					1		1			1
138	2	上	２みんなのまえで話そう・つづけてみよう	学校やいえでのできごとの中から、うれしかったことなどを、日記に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
139	2	上	２みんなのまえで話そう・つづけてみよう	先生に本を読んでもらったり、本をしょうかいしてもらったりしましょう。	1			1			1				1	1		1	
140	2	上	２みんなのまえで話そう・つづけてみよう	そして、その本をじぶんでも読みましょう。	1			1			1			1		1			1
141	2	上	２みんまのまえで話そう・かたかなで書こう	絵を見て、かたかなで書くことばを考えましょう。	1			1	1					1		1			1
142	2	上	２みんなのまえで話そう・ことばのひろば	ことばをえらんで、□に入れましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
143	2	上	2みんなのまえで話そう・ことばのひろば	からだにかんけいのあることばをあつめましょう。	1			1				1	1			1			1
144	2	上	2みんなのまえで話そう・ことばのひろば	どんなようすか考えましょう。	1			1	1					1		1			1
145	2	上	３じゅんじょに気をつけて読もう・たんぽぽ	どんな草か、知っていますか。		1	1				1		1			1		1	
146	2	上	３じゅんじょに気をつけて読もう・たんぽぽ	じゅんじょに気をつけて、書いてあることを読みとりましょう。	1		1				1		1			1			1
147	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	書いてあることを、じゅんじょに気をつけて読みとろう	1			1			1		1			1			1
148	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	はじめて知っておどろいたのは、どんなことですか。		1		1			1		1			1			1
149	2	上	３じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	たんぽぽのしくみについて、なにがどんなじゅんじょで書いてありますか。		1		1			1		1			1			1
150	2	上	３じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	下の絵を見て、教科書に書いてあったじゅんに、ばんごうをつけましょう。	1			1		1			1			1			1
151	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	それぞれのぶぶんのせつめいをしましょう。	1			1	1				1			1			1
152	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	たんぽぽは、どのようにしてなかまをふやしますか。		1		1			1		1			1			1
153	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	つぎのことばをつかってまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
154	2	上	３じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	せつめいの文しょうを読むときは、なにがどんなじゅんじょで書いてあるかに気をつけましょう。	1			1			1			1		1			1
155	2	上	3じゅんじょに気をつけて読もう・てびき	生きものについて書かれた文しょうを読みましょう。	1			1			1			1		1			1
156	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・雨の日のおさんぽ	雨の日はすきですか。		1	1				1							1	
157	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・雨の日のおさんぽ	雨の日は、どうしていますか。		1	1				1							1	
158	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・雨の日のおさんぽ	ようすや気もちをそうぞうしながら読みましょう。	1		1				1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
159	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・てびき	さんぽに行ったときのようすをそうぞうして読もう	1			1			1			1		1			1
160	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・てびき	つぎのことを考えましょう。	1			1			1			1		1			1
161	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・てびき	「ぼく」になったつもりで、さんぽんに行ったときの話をしましょう。	1			1	1					1		1			1
162	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	どうしてだと思いますか。		1		1			1			1		1			1
163	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	村田さんの話し方について考えよう	1			1			1			1		1			1
164	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	タロのぜん体のようすがわかるように話していますか。		1		1			1			1		1			1
165	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	「かわいいしっぽ」とは、どんなしっぽだとおもいますか。		1		1			1			1		1			1
166	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	青木さんの聞き方について考えよう。	1			1			1			1		1			1
167	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	どのように聞き、どんなしつもんをすればよかったと思いますか。		1		1	1					1		1			1
168	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	わからないことは聞きかえしましょう。	1			1	1					1		1			1
169	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・まよい犬をさがせ	ともだちの犬を見つけられましたか。		1		1						1		1			1
170	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	つぎのひつじゅんで書いていくと、なんというかん字になりますか。		1		1		1				1		1			1
171	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	１画で書くところに気をつけて、つぎのかん字を書いてみましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
172	2	上	4ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	画数はいくつですか。		1		1		1				1		1			1
173	2	上	4ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	ひつじゅんに気をつけて書きましょう。	1			1		1				1		1			1
174	2	上	4ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	つぎのかん字は、どこから書きはじめますか。		1		1		1				1		1			1
175	2	上	4ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・かん字の書き方に気をつけよう	つぎのような、画数の多いかん字のひつじゅんにも気をつけましょう。	1			1				1		1		1			1
176	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・ことばの広場	１０５．１０６ページの「ことばのせかい」を見て、「」に入ることばを考えましょう。	1			1		1			1			1			1
177	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・ことばの広場	□にことばをいれましょう。	1			1				1	1			1			1
178	2	上	４ようすや気もちをそうぞうしながら読もう・ことばの広場	上のことばと下のことばをせんでむすびましょう。	1			1		1			1			1			1
179	2	上	5だれがなにをしたかを考えながら読もう	お話のじゅんばんを考えながら読みましょう。	1		1				1			1		1			1
180	2	上	5だれがなにをしたかを考えながら読もう	だれがなにをしたかを読みとりましょう。	1		1				1		1			1			1
181	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	お話のじゅんばんを考えよう	1			1	1					1		1			1
182	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	どんなお話でしたか。		1		1			1		1			1			1
183	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	絵を見て、お話のじゅんにばんごうをつけましょう。	1			1		1			1			1			1
184	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	だれがなにをしたかを読みとろう	1			1			1		1			1			1
185	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	ねこやねずみが、したり言ったりしたことを、ノートにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
186	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	どんなことをかいたか、ともだちと見せ合いましょう。	1			1		1				1			1		1
187	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	思ったこともそうぞうして書きましょう。	1			1		1				1		1			1
188	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	本をたくさん読もう	1			1			1			1		1		1	
189	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	「ニャーゴ」のようなたのしいお話をさがして、たくさん読みましょう。	1			1			1			1		1			1
190	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・てびき	読むときは、お話のじゅんばんを考えながら読みましょう。	1			1			1			1		1			1
191	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・じゅんじょを考えて	したことを思い出して、文しょうに書きましょう。	1			1		1					1	1			1
192	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・じゅんじょを考えて	書きおわったら、読みかえしましょう。	1			1			1			1		1		1	
193	2	上	５だれがなにをしたかを考えながら読もう・じゅんじょを考えて	声に出して、読んでみましょう。	1			1			1			1		1		1	
194	2	上	６じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	じゅんじょに気をつけて、あいてにわかるようにせつめいしましょう。	1		1		1					1		1			1
195	2	上	６じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	じぶんでおもちゃを作ってあそんだことはありませんか。		1	1									1			1
196	2	上	６じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	手作りおもちゃの作り方やあそび方を、みんなに教えてあげましょう。	1		1		1						1	1			1
197	2	上	６じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	しょうかいするおもちゃをきめよう	1		1							1			1		1
198	2	上	６じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	どんな手作りおもちゃがあるか、グループでさがしましょう。	1		1							1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
199	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	どのおもちゃをしょうかいしたいか、グループで話し合いましょう。	1		1		1					1			1		1
200	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	そして、じぶんたちで作ってみましょう。	1		1							1			1		1
201	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	作り方やあそび方をノートにまとめよう	1		1			1				1			1		1
202	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	書くときにちゅういしましょう	1		1			1				1			1	1	
203	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	せつめいのれんしゅうをしよう	1		1		1					1			1		1
204	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	たのしいせつめいのし方を考えましょう。	1		1			1				1			1		1
205	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	まとめたことをもとに台本を作り、れんしゅうしましょう。	1		1		1					1			1		1
206	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	れんしゅうをして、気づいた点やなおしたほうがよい点を書きこもう。	1		1			1			1				1		1
207	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	「おもちゃまつり」をひらこう	1		1		1						1		1		1
208	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	ほかのクラスのともだちや1年生をまねいて、おもちゃの作り方やあそび方を教えてあげましょう。	1		1		1						1		1		1
209	2	上	6じゅんじょよくせつめいしよう・「おもちゃまつり」へようこそ	作り方やあそび方を紙にかいて、見せながらせつめいしたり、作りながらせつめいしたりするなど、せつめいのし方をくふうしてみましょう。	1		1			1				1			1		1
210	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう	出てくる「人ぶつ」が、どんなことをしたかに気をつけて読みましょう。	1		1				1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
211	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう	おもしろいお話を読んで、「読書ゆうびん」を書きましょう。	1		1			1					1	1			1
212	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	お話の「人ぶつ」についてノートにまとめよう	1			1		1			1			1			1
213	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	えっちゃんは、どんな「人ぶつ」に、どこであったのでしょう。		1		1			1		1			1			1
214	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	それぞれの「人ぶつ」は、どんなことを言ったでしょう。		1		1			1		1			1			1
215	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	また、どんなようすだったでしょう。		1		1			1		1			1			1
216	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	大男に出会ったとき、きつねや牛は、どうしたでしょう。		1		1			1		1			1			1
217	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	えっちゃんは、どうしたでしょう。		1		1			1		1			1			1
218	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	お話の中のことばをかえて音読するクイズを出そう	1			1			1			1		1			1
219	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	かんそうをカードに書こう	1			1		1				1		1			1
220	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	お話を読んだかんそうをカードに書いて、友だちと交かんしましょう。	1			1		1				1			1		1
221	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	おもしろいお話を読もう	1			1			1				1	1		1	
222	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
223	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	おもしろかった本のことを、「読書郵便」に書いてしょうかいしよう。	1			1	1						1	1			1
224	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	読んでもらいたい人にあてて、手紙を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
225	2	下	1おもしろいお話をたくさん読もう・てびき	つぎのようなことを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
226	2	下	１おもしろいお話をたくさん読もう・かんじたことを	２年生が書いた作ひんを読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
227	2	下	１おもしろいお話をたくさん読もう・かんじたことを	毎日の生活の中で、見たことやしたことから、かんじたことをみじかいことばで書きましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
228	2	下	１おもしろいお話をたくさん読もう・かんじたことを	書いた作ひんを友だちと交かんして読み合いましょう。	1			1			1			1			1		1
229	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう	じゅんじょに気をつけて、書いてあることを読みとりましょう。	1		1				1		1			1			1
230	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう	どうぶつについて書かれた本を読んでクイズを作りましょう。	1		1				1				1	1			1
231	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・ビーバーの大工事	みずうみのまん中にあるのはなんでしょう。		1	1				1		1			1			1
232	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	ビーバーは、どのようにして木をたおしますか。		1		1			1		1			1			1
233	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	ビーバーは、どんなじゅんじょでダムを作りますか。		1		1			1		1			1			1
234	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	ビーバーのすは、どんなふうになっていますか。		1		1			1		1			1			1
235	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	ビーバーがダムを作るのはなぜですか。		1		1			1		1			1			1
236	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	「どうぶつのひみつ」クイズを作って出し合おう	1			1	1						1		1		1
237	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	どうぶつのひみつをしらべてクイズをつくろう	1			1		1				1		1			1
238	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	すきなどうぶつをえらんで、そのどうぶつのひみつについて、本でしらべましょう。	1			1			1			1		1			1
239	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	そして、しらべたことをもとにして、クイズを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
240	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	みんなでクイズを出し合おう	1			1	1						1		1	1	
241	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	クイズの答えが書いてある本をさがして読みましょう。	1			1			1			1		1			1
242	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	答えが分かったら、かい答用紙に書いて、クイズを作った人にわたしましょう。	1			1		1				1			1		1
243	2	下	2どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	はじめて知ったことや、もっと知りたいと思ったことをメモして、おたがいに教え合いましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
244	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	先生や家の人にも、読んでもらいましょう。	1			1			1			1		1			1
245	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・てびき	ひょう紙もつけましょう。	1			1		1				1		1			1
246	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・組み合わせたことばをつかおう	①の文と②の文をくらべてみましょう。	1			1		1			1			1			1
247	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・組み合わせたことばをつかおう	線を引いたことばを、組み合わせたことばにしてみましょう。	1			1		1			1			1			1
248	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・組み合わせたことばをつかおう	つぎの組み合わせたことばをつかって、文を作りましょう。	1			1				1	1			1			1
249	2	下	２どうぶつのひみつをしらべよう・ことばの広場	たてものや家具にかんけいのあることばをあつめましょう。	1			1				1		1		1			1
250	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	じゅんじょを考えながら、見たことや分かったことを書きましょう。	1		1			1				1		1			1
251	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	家や学校の近くにある、お店や工場などを見学して、見たことや分かったことを文しょうに書きましょう。	1		1			1					1	1			1
252	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	見学したことをメモにまとめよう	1		1			1				1		1			1
253	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	見学して気づいたことや、せつ明を聞いて分かったことを、見学メモにまとめましょう。	1		1			1				1		1			1
254	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	書くときにちゅういしましょう	1		1			1				1		1		1	
255	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	見学メモをもとに文しょうを書こう	1		1			1				1		1			1
256	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・わたしの見学ノート	書きあげた文しょうを、おたがいに読み合い、友だちの文しょうのよいところを見つけましょう。	1		1				1			1			1		1
257	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・組みになることばをあつめよう	組になることばをあつめて、①②③のように分けましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
258	2	下	３じゅんじょを考えながら書こう・ことばの広場	ことばをえらんで、□に入れましょう。	1			1		1			1			1			1
259	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう	あそび方のじゅんじょに気をつけて文しょうを読み合いましょう。	1		1				1			1		1			1
260	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう	いろいろなあそび方のくふうについて話し合いましょう。	1		1		1					1			1		1
261	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・せかいのかくれんぼ	かくれんぼは、ほかの国にもあるのかな。		1	1				1		1			1			1
262	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	２つのかくれんぼについて、つぎのことをたしかめましょう。	1			1			1		1			1			1
263	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	２つのかくれんぼのあそび方をくらべてみましょう。	1			1			1		1			1			1
264	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	あそび方のくふうを話し合おう	1			1	1						1		1		1
265	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	いろいろなあそびをしょうかいしよう	1			1	1					1			1		1
266	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	ふだんしているあそびや、知っているあそびには、どんなものがありますか。		1		1						1		1			1
267	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	じゅんびするものや、あそび方がよく分かるように、みんなにしょうかいしましょう。	1			1	1					1		1			1
268	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	どんなあそびがあるか、家の人や近じょの人に聞いたり、本でしらべたりしましょう。	1			1						1		1			1
269	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	あそび方のくふうを話し合おう	1			1	1					1		1			1
270	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	グループを作ってしてみたいあそびを１つえらびましょう。	1			1						1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
271	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	そして、それぞれのあそびをもっと楽しくするためのくふうを考えて、みんなで話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
272	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	話し合うときに気をつけましょう	1			1	1					1			1	1	
273	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	あそび方のくふうをみんなにしょうかいしよう	1			1	1					1			1		1
274	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・てびき	グループで話し合ってきめたあそび方のくふうを、クラスのみんなにしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1		1
275	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・主語とじゅつ語に気をつけよう	文を読むときは、主語とじゅつ語にちゅういしましょう。	1			1			1		1			1			1
276	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・主語とじゅつ語に気をつけよう	つぎの①と②の文をくらべてみましょう。	1			1			1		1			1			1
277	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・主語とじゅつ語に気をつけよう	左の絵を見て、主語とじゅつ語のある文を作りましょう。	1			1				1	1			1			1
278	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・ことばの広場	組になることばをあつめましょう。	1			1				1	1			1			1
279	2	下	４いろいろなあそびについて話し合おう・ことばの広場	□に入ることばを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
280	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう	ようすをそうぞうしながら読み、むかし話のおもしろさをあじわいましょう。	1		1				1			1		1			1
281	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう	むかし話を読んで、音読げきをしたり、紙しばいをしたりしましょう。	1		1							1		1			1
282	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	場しょと出てくる人ぶつをまとめよう	1			1			1			1		1			1
283	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	場めんごとに、場しょと出てくる人ぶつをノートにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
284	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	じいさまとばあさまのしたことや言ったことから、２人がどんな人かを考えましょう。	1			1			1		1			1			1
285	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	どちらかをえらぼう	1			1			1					1			1
286	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	人ぶつの気もちがあらわれるように、音読のし方をくふうしましょう。	1			1			1			1		1			1
287	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	やくをきめてれんしゅうし、音読げきをしましょう。	1			1			1			1		1			1
288	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	場めんのようすや人ぶつの気もちに合ったうごきをつけましょう。	1			1			1			1		1			1
289	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	友だちの音読げきを見て、よいところを教え合いましょう。	1			1	1				1				1		1
290	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	それぞれの場めんの絵を、かきましょう。	1			1		1			1			1			1
291	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	ようすを思いうかべてかきましょう。	1			1		1			1			1			1
292	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	絵に合ったお話の文をえらび、絵のうらがわに書きうつしましょう。	1			1		1				1		1			1
293	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	場めんのようすを思いうかでながら、音読しましょう。	1			1			1		1			1			1
294	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	出てくる人ぶつがどんな人かを考えながら、よみましょう。	1			1			1			1		1			1
295	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	自分の作った紙しばいをはっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1		1
296	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	友だちのはっぴょうを聞いて、よいところを教え合いましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
297	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	むかし話を読もう	1			1			1				1		1		1
298	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・てびき	いろいろなむかし話をよみましょう。	1			1			1			1			1	1	
299	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・おくりがなに気をつけよう	つぎのかん字の読み方とおくりがなを考えましょう。	1			1		1				1			1		1
300	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・ことばの広場	１１７・１１８ページの「ことばのせかい」を見て、□にことばを入れましょう。	1			1		1			1				1		1
301	2	下	５むかし話のおもしろさをあじわおう・ことばの広場	「ことばのせかい」をさんこうにして、学校のまわりの地図を作りましょう。	1			1		1			1				1		1
302	2	下	６書き方をくふうして	これまでに学しゅうしたことを生かして文しょうを書こう	1		1			1				1		1			1
303	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	きせつの思い出をしょうかいしよう	1		1		1						1		1		1
304	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	どんなことが、心にのこっていますか。		1	1				1			1		1			1
305	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	グループですきなきせつをえらんで、そのきせつらしいものや、思い出をしょうかいする「きせつの思い出ブック」を作りましょう。	1		1			1				1			1		1
306	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	しょうかいするきせつをきめて、そのきせつのことを思い出し、心にのこっていることを文しょうに書きましょう。	1		1			1				1			1		1
307	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	きせつのお話や詩をあつめよう	1		1				1			1		1			1
308	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	えらんだきせつのことが書かれているお話や詩をさがして、読みましょう。	1		1				1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
309	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	読んだお話のことをカードに書いたり、詩を書きうつしたりしましょう。	1		1			1				1		1			1
310	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	自分でも、そのきせつのことを、みじかいお話や詩に書いてみましょう。	1		1			1				1		1			1
311	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	「きせつの思い出ブック」を作ろう	1		1			1				1			1		1
312	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	書いたものを、グループであつめ、絵やしゃしんも入れて、「きせつに思い出ブック」を作りましょう。作り方もくふうしましょう。	1		1			1				1			1		1
313	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	「きせつの思い出ブック」ができあがったら、みんなに見てもらいましょう。	1		1							1			1		1
314	2	下	６書き方をくふうして・「きせつの思い出ブック」を作ろう	そして、書き方や作り方のよいところを見つけて、かんそうをつたえ合いましょう。	1		1			1				1			1		1
315	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	これから何が起こるのかな。		1	1				1				1	1		1	
316	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	場面のようすをそうぞうしたり、言葉のリズムを楽しんだりしながら、声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
317	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	声の大きさや高さに気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
318	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	「すいせんのラッパ」を、目をさましたかえるたちの、それぞれのようすをそうぞうしながら、声に出して読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
319	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（どきん・夕日がせなかをおしてくる）	二つの詩を、言葉のリズムを楽しみながら、声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
320	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	「すいせんのラッパ」のすきな場面や、二つの詩のうちの一つをえらんで、ノートに書き写しましょう。	1			1		1				1		1			1
321	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう（すいせんのラッパ）	書き写したものに、声を出して読むときに大切だと思うことを考えて書きこみ、読み方を練習しましょう。	1			1			1			1		1		1	
322	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう	場面のようすや、人物の気持ちをうまく表すには、声の大きさや高さをどのようにすればよいか、考えましょう。	1			1			1			1		1		1	
323	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう	声の大きさをくふうして読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
324	3	上	場面のようすを思いうかべながら声に出して読もう	声の高さをくふうして読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
325	3	上	国語じてんの使い方を知ろう	「足場（あしば）」という言葉を引いてみましょう。	1			1			1			1		1			1
326	3	上	言葉の広場	それぞれ、どんな所をさす言葉か、しらべてみましょう。	1			1			1			1		1			1
327	3	上	言葉の広場	―を引いた言葉と組になる言葉をえらんで、□に入れましょう。	1			1		1				1		1			1
328	3	上	知ってほしいな、自分のこと	知らせたいことをえらび、声の大きさや速さを考えて話しましょう。	1			1	1					1			1		1
329	3	上	知ってほしいな、自分のこと	もっと知りたいことはないか考えながら聞きましょう。	1			1	1					1			1		1
330	3	上	知ってほしいな、自分のこと	自分のことをしょうかいするスピーチをしましょう。	1			1	1					1			1	1	
331	3	上	知ってほしいな、自分のこと	おたがいのことを知り合って、もっとなかよくなりましょう。	1			1	1						1		1		1
332	3	上	知ってほしいな、自分のこと	自分について知ってもらいたいことを書き出そう	1			1		1					1		1	1	
333	3	上	知ってほしいな、自分のこと	すきなこと、とく意なこと、してみたいことなど、知ってもらいたいことで思いつくことを、線でつないでいきましょう。	1			1		1					1		1		1
334	3	上	知ってほしいな、自分のこと	スピーチの練習をしよう	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
335	3	上	知ってほしいな、自分のこと	えらんだことを、どんな順序で話すか考えて、スピーチメモを作りましょう。	1			1		1				1			1		1
336	3	上	知ってほしいな、自分のこと	メモをもとに話す練習をしましょう。	1			1	1					1			1		1
337	3	上	知ってほしいな、自分のこと	自分をしょうかいするスピーチをしよう	1			1	1					1			1		1
338	3	上	知ってほしいな、自分のこと	スピーチを聞いて、もっと知りたいことをしつもんしましょう。	1			1	1						1		1	1	
339	3	上	しょうたいじょうを書こう	相手を考えて手紙を書きましょう。	1			1		1				1			1		1
340	3	上	しょうたいじょうを書こう	みなさんも、家の人や地いきの人たちを、学校にしょうたいする手紙を書きましょう。	1			1		1				1			1	1	
341	3	上	しょうたいじょうを書こう	どんな人をしょうたいしたいですか。		1		1		1					1		1	1	
342	3	上	しょうたいじょうを書こう	どんなふうに書いたら、気持ちがつたえられるかくふうしましょう。	1			1		1				1			1	1	
343	3	上	しょうたいじょうを書こう	はがきに書いてみよう	1			1		1				1		1			1
344	3	上	しょうたいじょうを書こう	はがきに書いて出すときの書き方もおぼえておきましょう。	1			1		1			1			1			1
345	3	上	つづけてみよう	国語の学習をつづけていく計画を立てましょう。	1			1		1				1		1			1
346	3	上	つづけてみよう	つぎにしょうかいすることをさん考にしましょう。	1			1			1			1		1			1
347	3	上	つづけてみよう	朝の会や帰りの会で、二、三人ずつスピーチをしましょう。	1			1	1					1			1		1
348	3	上	つづけてみよう	楽しかったことや心にのこったことを、文しょうや詩に書いて、グループごとにしょうかいしましょう。	1			1		1				1			1		1
349	3	上	つづけてみよう	本をたくさん読みましょう。そして、読んだ本の記ろくをつけましょう。	1			1			1			1		1			1
350	3	上	形のかわる言葉に気をつけよう	「泳ぐ」はどうかわるでしょう。		1		1			1			1		1			1
351	3	上	形のかわる言葉に気をつけよう	「青い」「しずかだ」は、それぞれ、どうかわるでしょう。		1		1			1			1		1			1
352	3	上	形のかわる言葉に気をつけよう	動作や様子を表す言葉を見つけて、形がどうかわるか話し合いましょう。	1			1	1					1	1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
353	3	上	言葉の広場	□の中には、どんな言葉が入るでしょうか。		1		1		1				1		1			1
354	3	上	言葉の広場	上下の（　　）の中から一つずつえらんで、組み合わせた言葉を当てはめましょう。	1			1		1				1		1			1
355	3	上	言葉の広場	家族や親せきを表す言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
356	3	上	自然のかくし絵	だんらくごとに、書かれていることを正しく読み取りましょう。	1			1			1			1		1			1
357	3	上	自然のかくし絵	だんらくごとに、書いてあることをノートに整理しましょう。	1			1		1				1		1			1
358	3	上	自然のかくし絵	だんらくごとに、番ごうをつけましょう。	1			1		1				1		1			1
359	3	上	自然のかくし絵	それぞれのだんらくに書いてあることを、短くまとめて書きましょう。	1			1		1				1		1			1
360	3	上	自然のかくし絵	文章を読むときには、それぞれのだんらくに何が書かれているかを考えましょう。	1			1			1			1		1			1
361	3	上	自然のかくし絵	とくに、くりかえし出てくる言葉や、だい名とつながりがあると思う言葉に気をつけましょう。	1			1			1			1		1			1
362	3	上	自然のかくし絵	ノートに整理したことをもとに、つぎのことをたしかめましょう。	1			1			1			1		1			1
363	3	上	自然のかくし絵	こん虫や生き物について書かれている本や、他の文章も読んでみましょう。	1			1			1				1	1		1	
364	3	上	どちらがすき	ことがらごとにまとめて話しましょう。	1			1	1					1			1		1
365	3	上	どちらがすき	メモを取りながら聞きましょう。	1			1	1					1			1		1
366	3	上	どちらがすき	さて、どんな答えが返ってくるでしょうか。		1		1	1						1		1	1	
367	3	上	どちらがすき	どのように答えれば、聞く人によく分かってもらえるか考えよう	1			1	1					1			1		1
368	3	上	どちらがすき	森さん、前田さん、池谷さん、先生の答え方をくらべましょう。	1			1			1			1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
369	3	上	どちらがすき	メモの書き方を考えよう	1			1			1			1			1		1
370	3	上	どちらがすき	先生が答えたことをとなりの人に読んでもらい、メモを取りながら聞く練習をしましょう。	1			1	1					1			1		1
371	3	上	どちらがすき	どちらがすきか、聞き合おう	1			1	1						1		1	1	
372	3	上	どちらがすき	答える人は、すきな理由を言うときに、番ごうを使って話しましょう。	1			1	1					1			1		1
373	3	上	どちらがすき	聞く人は、メモを取りながら聞きましょう。	1			1	1					1			1		1
374	3	上	どちらがすき	役わりを交たいしたり、ほかの人と組になったりして、何度もやってみましょう。	1			1	1					1			1		1
375	3	上	漢字の組み立てと意味を考えよう	「さんずい」、「しんにょう」の漢字が、それぞれ何にかんけいのある意味を表すことが多いか考えてみましょう。	1			1		1			1			1			1
376	3	上	言葉の広場	１１７・１１８ページの「言葉の世界」をさん考にして、つぎの言葉を、春、夏、秋、冬のそれぞれに分けましょう。	1			1		1				1		1			1
377	3	上	言葉の広場	□の中に入る言葉を考えましょう。	1			1		1				1		1			1
378	3	上	言葉の広場	動物や植物にかんけいのある言葉を集めましょう。	1			1		1					1	1			1
379	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	場面のうつりかわりに注意して、物語のあらすじを読み取りましょう。	1			1			1			1		1			1
380	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	物語を表に整理しよう	1			1			1			1		1			1
381	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	時を表す言葉に注意して、場面のうつりかわりを表に整理しましょう。	1			1			1			1		1			1
382	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	主なとう場人物の様子や行動、気持ちなどをまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
383	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	あらすじを書こう	1			1		1				1		1			1
384	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	表をもとに、あらすじを書きましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
385	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	れいにならって、どんなヒントがあったか、話し合ってみましょう。	1			1	1				1				1		1
386	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	本をたくさん読もう	1			1			1				1	1		1	
387	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	ふしぎな世界をえがいた物語を読みましょう。	1			1			1				1	1			1
388	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	教科書の「ふろく」などをみて、本をさがしましょう。	1			1			1			1		1			1
389	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	物語のあらすじや、どんな「しかけ」がかくされているかを考えながら読みましょう。	1			1			1			1		1			1
390	3	上	出来事をつたえよう	だいじなことをおとさずに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
391	3	上	出来事をつたえよう	毎日の生活の中で起こった、うれしかったことやおどろいたことなど、みんなに知ってもらいたい出来事を、文章に書きましょう。	1			1		1				1			1		1
392	3	上	出来事をつたえよう	出来事を、読む人に分かりやすく書くには、どういうことに気をつけたらいいでしょう。		1		1			1			1			1	1	
393	3	上	出来事をつたえよう	次の二つの文章を読んで、どちらが分かりやすいか、くらべてみましょう。	1			1			1			1		1			1
394	3	上	出来事をつたえよう	書くことをえらぼう	1			1		1					1	1			1
395	3	上	出来事をつたえよう	書くことをえらぶときには、「いつ」「どこで」「だれが（何が）」を手がかりに、見たことやしたことを思い出して、「どうした」かを考えてみましょう。	1			1		1				1		1			1
396	3	上	出来事をつたえよう	出来事を書こう	1			1		1				1		1			1
397	3	上	出来事をつたえよう	石川さんや内山さんの文章をさん考にして、だいじなことをおとさずに、つたえたいことを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
398	3	上	出来事をつたえよう	文章を書いた後で読み直すときにも、いつ」「どこで」「だれが（何が）」「どうした」に気をつけましょう。	1			1			1			1		1			1
399	3	上	わたしのお気に入りの場所	お気に入りの場所はどんな所？		1		1			1				1	1		1	
400	3	上	わたしのお気に入りの場所	どうして気に入ってるの？		1		1			1				1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
401	3	上	わたしのお気に入りの場所	話の中心を考えて、分かりやすくせつ明したり、聞いたりしましょう。	1			1	1					1			1		1
402	3	上	わたしのお気に入りの場所	学校や家の近くに、お気に入りの場所はありませんか。		1		1			1				1	1		1	
403	3	上	わたしのお気に入りの場所	お気に入りの場所のよさを、おたがいにしょうかいし合いましょう。	1			1	1					1			1		1
404	3	上	わたしのお気に入りの場所	グループの中で、お気に入りの場所を出し合い、しょうかいする場所を決めましょう。	1			1	1					1			1		1
405	3	上	わたしのお気に入りの場所	しょうかいする場所が決まったら、どんなことを、どのようにしてしょうかいするか話し合い、ざいりょうを集めるための計画を立てて取ざいしましょう。	1			1	1					1			1		1
406	3	上	わたしのお気に入りの場所	発表の練習をしよう	1			1	1					1			1		1
407	3	上	わたしのお気に入りの場所	司会をする人、レポーター役の人、かいせつをする人に役わりを分けるなど、楽しい発表の仕方をくふうしましょう。	1			1	1					1			1		1
408	3	上	わたしのお気に入りの場所	集めたざいりょうをもとに、発表のための台本を作りましょう。	1			1		1				1			1		1
409	3	上	わたしのお気に入りの場所	練習するときに注意しましょう	1			1	1					1			1		1
410	3	上	わたしのお気に入りの場所	発表会を開こう	1			1	1					1			1		1
411	3	上	わたしのお気に入りの場所	話を聞いたときの様子を短いげきにしてしょうかいするなど、発表の仕方をくふうしましょう。	1			1	1					1			1		1
412	3	上	道具を使う動物たち	では、人間以外には、道具を使う動物はいないのでしょうか。		1	1				1		1			1		1	
413	3	上	図書館へ行こう	どのたなに、どんな本があるかたしかめよう。	1			1			1			1		1			1
414	3	上	漢字の練習	二年で習った漢字を書きましょう。	1			1		1			1			1			1
415	3	上	漢字の練習	ふろくの漢字のひょうで、ほかの読み方やつかい方をたしかめましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
416	3	下	木かげにごろり	木かげがのびると、地主はこまって、おひゃくしょうたちは大よろこび。さて、なぜでしょうか。		1	1				1				1	1		1	
417	3	下	木かげにごろり	場面のうつりかわりを整理しましょう。	1			1			1			1		1			1
418	3	下	木かげにごろり	世界の民話を読み、ポスターを作ってしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1		1
419	3	下	木かげにごろり	時を表す言葉、場所を表す言葉、人物のしたことや会話文をもとに、場面のうつりかわりを表に整理しましょう。	1			1			1			1		1			1
420	3	下	木かげにごろり	その変化から、場面のうつりかわりを考えてみましょう。	1			1			1			1		1			1
421	3	下	木かげにごろり	この話のおもしろさは、どんなところにあると思うか、話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
422	3	下	木かげにごろり	「ふろく」にしょうかいされている本も読んでみましょう。	1			1			1				1	1			1
423	3	下	木かげにごろり	読んだ民話をしょうかいするポスターを作りましょう。	1			1		1				1			1		1
424	3	下	木かげにごろり	ポスターの内ようを決めましょう。	1			1		1				1		1			1
425	3	下	木かげにごろり	決めた内ようを文章や絵で表して、ポスターにしましょう。	1			1		1				1		1			1
426	3	下	木かげにごろり	話のおもしろさがつたわるように、くふうして作りましょう。	1			1		1				1		1			1
427	3	下	木かげにごろり	できたポスターを、みんなにしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
428	3	下	木かげにごろり	友だちのしょうかいを聞いて、おもしろそうだと思った話を読んでみましょう。	1			1			1				1		1		1
429	3	下	想ぞうを広げて	絵を見て、想ぞうしたことを書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
430	3	下	想ぞうを広げて	森をぬけてしろへ向かう子どもたちは、これからどんな出来事に出会うのでしょう。		1		1			1				1	1		1	
431	3	下	想ぞうを広げて	想ぞうしたことをもとに、子どもたちを主人公にしたお話を書こう	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
432	3	下	想ぞうを広げて	子どもたちの名前を考えましょう。	1			1			1			1		1			1
433	3	下	想ぞうを広げて	子どもたちは、どんな動物と出会うでしょう。		1		1			1			1		1			1
434	3	下	想ぞうを広げて	子どもたちがしろに着くまでに出会う出来事を想ぞうしてみましょう。	1			1			1			1		1			1
435	3	下	想ぞうを広げて	書きあげたお話を交かんして、おたがいに読み合いましょう。	1			1			1			1			1		1
436	3	下	つな引きのお祭り	これから何をするのでしょう。		1	1				1				1	1		1	
437	3	下	つな引きのお祭り	それぞれのお祭りについて、書かれている内ようを読み取りましょう。	1			1			1			1		1			1
438	3	下	つな引きのお祭り	いろいろなお祭りや行事について調べ、分かったことをしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
439	3	下	つな引きのお祭り	それぞれの「つな引きのお祭り」について、せつ明されていることをノートにまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
440	3	下	つな引きのお祭り	各地の「つな引きのお祭り」には、どんないのりやねがいがこめられているでしょう。		1		1			1			1		1			1
441	3	下	つな引きのお祭り	自分たちの町や地方のお祭りや行事について、知っていることや調べてみたいことを話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
442	3	下	つな引きのお祭り	いろいろなお祭りや行事について調べて、しょうかいしよう	1			1	1					1			1	1	
443	3	下	つな引きのお祭り	しょうかいするお祭りや行事をえらぼう	1			1	1					1		1			1
444	3	下	つな引きのお祭り	グループごとに、どのお祭りや行事について、どんなことを中心にしょうかいするか、話し合って決めましょう。	1			1	1					1			1		1
445	3	下	つな引きのお祭り	いろいろな方ほうで調べよう	1			1	1					1		1			1
446	3	下	つな引きのお祭り	ひつようなざりょうを集めに、取ざいにでかけましょう。	1			1	1					1		1			1
447	3	下	つな引きのお祭り	調べて分かったことは、メモをもとにカードに整理しましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
448	3	下	つな引きのお祭り	調べたことをしょうかいしよう	1			1	1					1			1	1	
449	3	下	つな引きのお祭り	かべ新聞やポスターなど、まとめ方をグループで決めましょう。	1			1	1					1			1		1
450	3	下	つな引きのお祭り	カードをもとに文章を書き、写真や図も入れてまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
451	3	下	つな引きのお祭り	かんせいしたら、みんなで読みあいましょう。	1			1			1			1			1	1	
452	3	下	言葉の広場	言葉をえらんで、□の中にいれましょう。	1			1		1				1		1			1
453	3	下	言葉の広場	次の言葉は、どんなものやことを数えるときに使いますか。		1		1			1		1			1			1
454	3	下	漢字の表す意味を考えよう	それぞれの「長」は、どんな意味で使われているのでしょうか。		1		1			1			1		1			1
455	3	下	漢字の表す意味を考えよう	次の言葉の中で、「空」「表」「家」という漢字が、それぞれどんな意味で使われているか話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
456	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	身の回りのくらしの中から、自分がきょう味を持ったことを調べて、「研究レポート」を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
457	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	調べることをえらぼう	1			1			1			1		1			1
458	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	調べたことをメモしよう	1			1		1				1		1			1
459	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	組み立てメモを書こう	1			1		1				1		1			1
460	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	「わたしの研究レポート」を書こう	1			1		1				1		1			1
461	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	身の回りから、きょう味のあることを取り上げて、「研究レポート」を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
462	3	下	「わたしの研究レポート」を書こう	書いたレポートを、お互いに読みあいましょう。	1			1			1			1			1	1	
463	3	下	様子をくわしく表そう	どんな赤ちゃんですか。		1		1			1		1			1			1
464	3	下	様子をくわしく表そう	どのように歩いていますか。		1		1			1		1			1			1
465	3	下	様子をくわしく表そう	次の文の中から、様子をくわしく表す言葉をさがして、何の様子をくわしく表しているか考えましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
466	3	下	様子をくわしく表そう	絵を見て、様子をくわしく言いましょう。	1			1	1					1		1		1	
467	3	下	様子をくわしく表そう	後の〔　　〕の中から言葉をえらんで、(　　)に入れてみましょう。その言葉は、何の様子をくわしく表しているでしょう。		1		1		1				1		1			1
468	3	下	言葉の広場	上の地図を見て、家から学校までの間にあるたて物を、□の中に入れましょう。	1			1		1				1		1			1
469	3	下	言葉の広場	自分の家から学校までの間にあるたて物をあげてみましょう。	1			1	1					1		1			1
470	3	下	もうどう犬の訓練	もうどう犬は、どのようにして一人前になっていくのでしょう。		1	1				1			1		1			1
471	3	下	もうどう犬の訓練	何がどういうじゅんじょで書かれているか、だんらくの内ように気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
472	3	下	もうどう犬の訓練	考えたことや調べたことを、グループで話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
473	3	下	もうどう犬の訓練	もうどう犬になるまでのことが、どういうじゅんじょで書かれていますか。		1		1			1		1			1			1
474	3	下	もうどう犬の訓練	だんらくの内ように気をつけてまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
475	3	下	もうどう犬の訓練	次のことが書かれている所をさがして、ノートにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
476	3	下	もうどう犬の訓練	「もうどう犬の訓練」を読んで、分かったことや感じたこと、もっと知りたいと思ったことを、おたがいに発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
477	3	下	もうどう犬の訓練	考えたことや調べたことを話し合おう	1			1	1					1			1	1	
478	3	下	もうどう犬の訓練	本を読んだり、いろいろなしりょうで調べたりして、分かったことや考えたことについて、グループで話し合ってみましょう。	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
479	3	下	もうどう犬の訓練	そして、グループごとの話し合いをみんなに聞いてもらい、しつ問を受けたり、それに答えたりしましょう。	1			1	1					1			1	1	
480	3	下	もうどう犬の訓練	グループに分かれて、「もうどう犬の訓練」を読んで、もっと知りたいと思ったことを出し合い、どんなことについて話し合うかを決めましょう。	1			1	1					1			1		1
481	3	下	もうどう犬の訓練	アイマスクをして校内を歩くなど、体けん学習でしたことを思い出したり、いろいろな方ほうで調べたりしたことをもとに、分かったことや、自分の考えなどをまとめてみましょう。	1			1		1				1		1			1
482	3	下	もうどう犬の訓練	ひとつのグループが話し合いをして、他の人たちにその話し合いを聞いてもらいましょう。	1			1	1					1			1	1	
483	3	下	もうどう犬の訓練	聞いている人たちからしつ問を受けたり、それに答えたりしましょう。	1			1	1					1			1	1	
484	3	下	もうどう犬の訓練	話し合うときに注意しましょう	1			1	1					1			1		1
485	3	下	もうどう犬の訓練	感想をまとめよう	1			1			1			1		1			1
486	3	下	もうどう犬の訓練	さい後に、話し合いを終えての感想をまとめましょう。	1			1	1					1		1			1
487	3	下	もうどう犬の訓練	さらに、今後の話し合いにどのように生かせるか考えてみましょう。	1			1	1					1			1		1
488	3	下	いろいろなつたえ方を知ろう	身の回りから、いろいろなつたえ方をさがしてみましょう。	1			1			1			1		1		1	
489	3	下	サーカスのライオン	物語の中心となる人物の気持ちを考えながら読みましょう。	1			1			1			1		1			1
490	3	下	サーカスのライオン	ポスターを作ったり、音読発表会をしたりしましょう。	1			1			1			1			1		1
491	3	下	サーカスのライオン	物語の中心となる人物の気持ちを考えよう	1			1			1			1		1			1
492	3	下	サーカスのライオン	「サーカスのライオン」のあらすじをまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
493	3	下	サーカスのライオン	場面ごとに、じんざの気持ちのうつりかわりを考えてみましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
494	3	下	サーカスのライオン	サーカスのおしまいの日のライオンの曲芸や、それを見ているお客たちは、どのような様子だったでしょう。		1		1			1		1			1			1
495	3	下	サーカスのライオン	学習方ほうをえらぼう	1			1			1				1	1			1
496	3	下	サーカスのライオン	いちばん強く心にのこった場面を文章や絵で表して、ポスターを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
497	3	下	サーカスのライオン	タイトルを考えて、ポスターに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
498	3	下	サーカスのライオン	その場面をえらんだ理由を、ノートに書いておきましょう。	1			1		1				1		1			1
499	3	下	サーカスのライオン	作ったポスターを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
500	3	下	サーカスのライオン	ポスターを見せましょう。	1			1	1					1			1	1	
501	3	下	サーカスのライオン	あらすじをしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
502	3	下	サーカスのライオン	ポスターにかいた場面をえらんだ理由も、発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
503	3	下	サーカスのライオン	いちばん強く心にのこった場面をえらび、音読の仕方を考えましょう。	1			1			1			1		1			1
504	3	下	サーカスのライオン	四、五人くらいのグループを作って、それぞれ音読する場面を決めましょう。	1			1			1			1			1		1
505	3	下	サーカスのライオン	人物の気持ちを想ぞうしながら読みましょう。	1			1			1			1		1			1
506	3	下	サーカスのライオン	場面の様子に合わせて、声の大きさや読む速さをくふうしましょう。	1			1			1			1		1			1
507	3	下	サーカスのライオン	音読の練習をしましょう。	1			1			1			1		1			1
508	3	下	サーカスのライオン	その場面をえらんだ理由をノートに書いておきましょう。	1			1		1				1		1			1
509	3	下	サーカスのライオン	音読発表会をしましょう。	1			1			1			1			1	1	
510	3	下	サーカスのライオン	あらすじをしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
511	3	下	サーカスのライオン	音読する場面について、えらんだ理由を発表しましょう。	1			1			1			1			1	1	
512	3	下	サーカスのライオン	音読をしましょう。	1			1			1			1		1		1	
513	3	下	サーカスのライオン	心のふれ合いをえがいた物語を読もう	1			1			1				1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
514	3	下	サーカスのライオン	いろいろな物語を読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
515	3	下	「こそあど言葉」を使い分けよう	絵を見て、こそあど言葉を使った文を作ってみましょう。	1			1		1				1		1		1	
516	3	下	「こそあど言葉」を使い分けよう	絵を見て、（　）の中に、こそあど言葉を入れましょう。	1			1		1				1		1			1
517	3	下	言葉の広場	１１９・１２０ページの「言葉の世界」から、組になる言葉をさがして□に入れましょう。	1			1		1				1		1			1
518	3	下	言葉の広場	「言葉の世界」をさん考にして、きせつごとに学校の行事をあげましょう。	1			1			1			1		1			1
519	3	下	言葉の広場	病院にかんけいのある言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
520	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	これまでに学習したことを生かして、想ぞうしたことを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
521	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	そんなことを考えたことはありませんか。		1		1			1				1	1		1	
522	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	今までに読んだ本などを思い出しながら、想ぞうをふくらませて、いろいろな「もしもの国」を考えてみましょう。	1			1			1			1		1			1
523	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	グループで、行きたい「もしもの国」をえらび、想ぞうしたことを文章に書いて、小さな文集にまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
524	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	「もしもの国」を想ぞうして書こう	1			1		1				1		1			1
525	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	知っている昔話を思い出して、その一部をかえたらどうなるか想ぞうしてみましょう。	1			1			1				1	1		1	
526	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	主人公や登場する人物をべつのものにしたらどうだろう。		1		1			1			1		1			1
527	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	お話のさい後がちがったらどうなるだろう。		1		1			1			1		1			1
528	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	すきな動物をえらんで、その動物になったつもりで想ぞうしてみましょう。	1			1			1				1	1		1	
529	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	どんな場所にすんでいて、どんなふうにくらしているだろう。		1		1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
530	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	まわりの様子や人間のことは、どんなふうに見えるだろう。		1		1			1			1		1			1
531	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	どんなことを思っているだろう。		1		1			1			1		1			1
532	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	十年後、三十年後・・・、これから先のことを想ぞうしてみましょう。	1			1			1				1	1		1	
533	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	そのとき、自分は何をしているか。		1		1			1			1		1			1
534	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	世の中の様子は、どうかわっているだろうか。		1		1			1			1		1			1
535	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	自分が主人公になったつもりで、楽しいぼうけんを想ぞうしてみましょう。	1			1			1				1	1		1	
536	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	一人で考えて書いたり、グループで、やくそくを決めて「お話リレー」をしたりしましょう。	1			1		1				1			1		1
537	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	これまでのもののほかに、自分たちでも、べつの「もしもの国」やちがった書き方を考えて書いてみましょう。	1			1		1				1			1		1
538	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	「もしもの国」の発表をしよう	1			1	1					1			1	1	
539	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	書いた文章は、グループで集め、表紙をつけて小さな文集にまとめましょう。	1			1		1				1			1		1
540	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	クラスのみんなに読んでもらうために、自分たちがおもしろいと思うところをグループごとにしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
541	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	友だちと「もしもの国」の文集を読み合い、文章のよいところ、くふうしているところを見つけて、感想を話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
542	3	下	どこかで春が	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
543	3	下	だいじなことをたしかめよう	場面の様子や、人物の気持ちをうまく表すには、声の大きさや高さをどのようにすればよいか、考えましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
544	3	下	だいじなことをたしかめよう	文章を読むときには、それぞれのだん落に何が書かれているかを考えましょう。	1			1			1			1		1			1
545	3	下	だいじなことをたしかめよう	とくに、くり返し出てくる言葉や、題名とつながりがあると思う言葉に気をつけましょう。	1			1			1			1		1			1
546	3	下	漢字の練習	二年で習った漢字を書きましょう。	1			1		1			1			1			1
547	3	下	漢字の練習	ふろくの漢字の表で、ほかの読み方や使い方をたしかめましょう。	1			1		1				1		1			1
548	3	下	漢字の練習	「●送りがなに注意する漢字」の送りがなは、１１５ページからの「二年で習った漢字」の表でたしかめましょう。	1			1		1				1		1			1
549	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう	様子や気持ちを想ぞうしながら、声に出して読みましょう。	1		1				1			1		1			1
550	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう	読む速さや間の取り方に気をつけて読みましょう。	1		1				1			1		1			1
551	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	声に出して読もう	1			1			1			1		1		1	
552	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	「こをれた千の楽器」を、楽器たちの気持ちを想ぞうしながら、声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
553	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	２つの詩を、えがかれている様子や気持ちを想ぞうしながら、声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
554	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	声に出して読むときにくふうすることを考えよう	1			1			1			1		1			1
555	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	「こをれた千の楽器」の好きな場面や、２つの詩のうちの１つをえらんで、ノートに書き写しましょう。	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
556	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	ノートに書き写した場面や詩に、声に出して読むときに大切だと思うことを考えて書きこみ、読み方を練習しましょう。	1			1			1			1		1			1
557	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	ゆっくり読んだり、速く読んだりして、感じのちがいを話し合いましょう。	1			1	1					1		1			1
558	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・てびき	少し間を取るところに<、たくさん間を取るところに<<を書きこみ、声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
559	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・漢字辞典の使い方を知ろう	漢字辞典を使うときは、まず、調べたい漢字の部首がなにであるかを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
560	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・漢字辞典の使い方を知ろう	「粉」という漢字の読み方、成り立ち、意味を調べてみましょう。	1			1				1	1			1			1
561	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・漢字辞典の使い方を知ろう	漢字辞典を使って、今まで習った漢字について、読み方や意味、ほかの漢字とむすびついてできる言葉を調べてみましょう。	1			1				1	1			1			1
562	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・言葉の広場	言葉をえらんで、「」に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
563	4	上	１人物の気持ち想ぞうしながら声に出して読もう・言葉の広場	組になる言葉を線でむすびましょう。	1			1		1			1			1			1
564	4	上	2出来事をしょうかいするスピーチをしよう	ひつようなことを落とさずに話しましょう。	1		1		1					1		1			1
565	4	上	2出来事をしょうかいするスピーチをしよう	メモを取りながら聞きましょう。	1		1		1					1		1			1
566	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	身の回りで起こったおもしろいこと、感動したことなど、知ってもらいたい出来事を話題にしてスピーチしましょう。	1		1		1						1	1			1
567	4	上	2出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	題材を集めて書き出そう	1		1			1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
568	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	時、場所、人物などを思いうかべ、それを手がかりにして、どんな出来事があったか思い出しましょう。	1		1				1			1		1			1
569	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	スピーチの練習をしよう	1		1		1					1		1		1	
570	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	メモをもとにして、話す練習をしましょう。	1		1		1					1		1			1
571	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	スピーチをしよう	1		1		1					1		1		1	
572	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・知らせたい、あんなことこんなこと	スピーチをしよう聞くときは、かんたんなメモを取りながら聞きましょう。	1		1		1					1		1			1
573	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	お世話になったひとに、お礼の気持ちを伝える手紙を書きましょう。	1			1		1					1	1			1
574	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	手紙の形式に注意しましょう	1			1			1			1		1			1
575	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	お礼の手紙を書こう	1			1		1				1		1		1	
576	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	だれに、どんなことについてお礼の気持ちを伝えるか考えて、手紙を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
577	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	手紙を出すときの、ふうとうの書き方も覚えておきましょう。	1			1			1			1		1			1
578	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	国語の学習を続けていく計画を立てましょう。	1			1							1	1			1
579	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	次にしょうかいすることをさん考にしましょう。	1			1						1		1			
580	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	朝の会や帰りの会で、２、３人ずつ１分間スピーチしましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
581	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	体験したことや学習の記録を、ノートやメモに書いて残しておきましょう。	1			1		1				1		1			1
582	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	いろいろな本を読んで読書カードに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
583	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・お礼の手紙を書こう	カードを入れる箱を作って、読みたい本をえらぶときに、みんなで利用しましょう。	1			1						1		1			
584	4	上	2出来事をしょうかいするスピーチをしよう・主語と述語の関係をとらえよう	主語をさがしましょう。	1			1					1			1			1
585	4	上	2出来事をしょうかいするスピーチをしよう・主語と述語の関係をとらえよう	文の中に主語がないときは、省略されている主語を考えましょう。	1			1				1	1			1			1
586	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・言葉の広場	言葉をえらんで、「」の中に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
587	4	上	２出来事をしょうかいするスピーチをしよう・言葉の広場	言葉をえらんで、「」の中に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
588	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう	だん落とだん落の結び付きを考えて、書かれていることを正しく読み取りましょう。	1		1				1		1			1			1
589	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	だん落とだん落の結び付きを考えながら、書かれていることを読み取ろう。	1			1			1		1			1			1
590	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	まとまりごとに、書いてあることをノートに整理しましょう。	1			1		1			1			1			1
591	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	だん落ごとに番号をつけましょう。	1			1		1			1			1			1
592	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	５つのまとまりごとに、書いてあることを短くまとめましょう。	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
593	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	文章を読むときは、まとまりごとに何が書いてあるかをとらえ、さらに、それぞれのまとまりがどのように結び付いているかを考えましょう。	1			1			1			1		1			1
594	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	次の問に対する答えの中心になっている部分はどこですか。		1		1			1		1			1			1
595	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	ヤドカリとイソギンチャクは、どんな関係ですか。		1		1			1		1			1			1
596	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・てびき	生き物や自然について書かれたほかの本も読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
597	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	高山さんの話し方について考えよう	1			1			1				1	1			1
598	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	相手に分かりやすい話し方になっているでしょうか。		1		1	1					1		1			1
599	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	坂田さんと、黒岩さんのお母さんの聞き方をくらべよう	1			1	1					1		1			1
600	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	だいじなことを落とさずに聞くには、どうすればよいでしょう。		1		1	1					1		1			1
601	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	相手と対面しているとき以上に注意しましょう。	1			1	1					1		1		1	
602	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	伝言ゲームをしよう	1			1	1					1			1	1	
603	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・電話で伝え合おう	順番をかえて何度かしてみましょう。	1			1	1					1			1		1
604	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・漢字の読み方に気をつけよう	同じような意味を表す言葉や、言い方を考えましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
605	4	上	3だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・漢字の読み方に気をつけよう	正しい送りがなを付けましょう。	1			1		1			1			1			1
606	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・言葉の広場	１２５，１２６ページの「言葉の世界」を見て、次の「」に言葉を入れましょう。	1			1				1	1			1			1
607	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・言葉の広場	次の言葉は、どのようなときに使いますか。		1		1				1	1			1			1
608	4	上	３だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう・言葉の広場	それぞれが使われる場面を思いうかべて、それぞれの言葉の使い方のちがいを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
609	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう	大切だと思う文に注意しながら、もり上がりについて考えましょう。	1		1				1		1			1			1
610	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	物語を１本の線で表そう	1			1			1		1			1			1
611	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	物語の出来事の流れを、図のように、１本の線で表してみましょう。	1			1			1		1			1			1
612	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	最も大切だと思う文を◎印、そのほかの文を●印にして、この物語がどのようにもり上がっていったかを図に表してみましょう。	1			1			1		1			1			1
613	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	物語のもり上がりについて考えよう	1			1			1			1		1			1
614	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	かいた図を友達と見せ会い、ぬき出した文や付けた印の、同じ点やちがう点をたしかめましょう。	1			1			1			1		1			1
615	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	これまでに読んだ物語をふり返り、語り手についてたしかめてみましょう。	1			1			1			1		1			1
616	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	本をたくさん読もう	1			1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
617	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	家族や友達について書かれた物語を読みましょう。	1			1			1			1		1			1
618	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・てびき	本をさがすときは、教科書の「ふろく」もさん考にしましょう。	1			1			1			1		1			1
619	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	伝えたいことを選ぼう	1			1		1				1		1			1
620	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	４年生になってから体験したことを記事に書いて、「自分新聞」を作りましょう。	1			1		1					1	1			1
621	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	どんな出来事があったかを思い出して、みんなに伝えたいことを選びましょう。	1			1		1				1		1			1
622	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	メモに書き出そう	1			1		1				1		1		1	
623	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	選んだことについて、「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうしたか」などを書き出して整理し、記事を書くためのメモを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
624	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	記事の見出しも考えましょう。	1			1		1				1		1			1
625	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	新聞にまとめよう	1			1		1				1		1		1	
626	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	メモをもとに、「自分新聞」を作りましょう。	1			1		1				1		1			1
627	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	体験や出来事以外に、読んだ本の感想や苦立ちに聞いたことも記事にしてみましょう。	1			1		1				1		1			1
628	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	新聞を読み合おう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
629	4	上	４物語のもり上がりを考えながら読もう・自分新聞を作ろう	できあがった新聞をみんなで読み合いましょう。	1			1			1			1			1		1
630	4	上	５すじ道を立てて説明しよう	聞き手のきょう味をひくようにくふうし、すじ道を立てて説明しましょう。	1		1		1					1			1		1
631	4	上	５すじ道を立てて説明しよう	もっとくわしく知りたいことはないか考えながら聞きましょう。	1		1		1					1		1			1
632	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	「生活のくふう」について調べ、メモにまとめよう	1		1			1				1		1			1
633	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	グループごとに、次のような方法でいろいろな「生活のくふう」をさがし、メモにまとめましょう。	1		1			1					1		1		1
634	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	発表の練習をしよう	1		1		1					1			1	1	
635	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	集めた「生活のくふう」の中からいくつ選ぶか、どれをしょうかいするかを決め、それぞれの「生活のくふう」の内ように合ったしょうかいの仕方を考えましょう。	1		1		1					1			1		1
636	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	テレビの生活情報番組のように、いくつかのコーナーをもうけるなど、聞き手のきょう味をひくようにくふうしましょう。	1		1		1					1			1		1
637	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	発表の仕方や順番が決まったら、台本を作って練習しましょう。	1		1		1					1			1		1
638	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	練習するときに気をつけましょう	1		1		1					1			1	1	
639	4	上	５すじ道を立てて説明しよう・「くらしの百科」の時間です	発表会を開こう	1		1		1					1			1	1	
640	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	１　「ローマ字の表」を見てみよう	1			1				1	1			1			1
641	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	ローマ字で書かれた言葉を読みましょう。	1			1			1		1			1			1
642	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	絵を見てローマ字を入れましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
643	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	ローマ字を書いてみましょう。	1			1		1			1			1			1
644	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	２　のばす音の表し方に注意しよう	1			1				1	1			1			1
645	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	３　「しゃ、しゅ、しょ」などの音や、つまる音の表し方に注意しよう	1			1				1	1			1			1
646	4	上	5すじ道を立てて説明しよう・ローマ字1	ローマ字でかきましょう。	1			1		1			1			1			1
647	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう	物語の出来事の流れをまとめましょう。	1		1				1		1			1			1
648	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう	愛の心をえがいた本を読み読書会を開きましょう。	1		1		1				1			1			1
649	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	物語の出来事の流れをまとめよう	1			1			1		1			1			1
650	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	物語の出来事の流れを、ノートにまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
651	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	思ったことや感じたことを話し合おう	1			1	1				1			1			1
652	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	次のようなことについて、話し合いましょう。	1			1	1				1			1			1
653	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	ヤモのお兄さんを思う気持ち、お父さんのヤモを思う気持ちがどんなところに表れているでしょう。		1		1			1		1			1			1
654	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	最後の１文、「その年の冬村は戦争ではかいされ、今はもうありません。」について考えましょう。	1			1			1		1			1			1
655	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	戦争ではかいされたのはなんでしょう。		1		1			1		1			1			1
656	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	愛の心をえがいた本を読もう	1			1			1			1		1			1
657	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	愛の心をえがいた本を読みましょう。	1			1			1			1		1			1
658	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	教科書の「ふろく」にしょうかいされている本も読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
659	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	読書会を開こう	1			1			1			1		1			1
660	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	本を読んだ感想を話し合う読書会を開きましょう。	1			1			1			1			1		1
661	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	４，５人ぐらいのグループを作りましょう。	1			1	1					1			1		1
662	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	読書会で取り上げる本をそれぞれのグループで決めて、その本を読みましょう。	1			1			1			1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
663	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	グループで話し合う課題をいくつか決めましょう。	1			1	1					1			1		1
664	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	人物がしたことや言ったことについて、その意味を考えよう。	1			1			1			1			1		1
665	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	いちばん心に残ったのはどんなことかな。		1		1			1			1			1		1
666	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	課題にそって、思ったことや感じたことを話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
667	4	下	1愛の心をえがいた物語を読もう・てびき	友達の考え方や感じ方のよいところを見つけましょう。	1			1	1					1			1		1
668	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・心の目を開いて	４年生が書いた詩を読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
669	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・心の目を開いて	毎日の生活の中から、題材を見つけて、感じたことや想ぞうしたことを詩に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
670	4	下	１愛の心をえがいた物語を読もう・心の目を開いて	書いた詩をみんなで交かんして読み合いましょう。	1			1			1			1			1		1
671	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう	ウミガメの保護について、書かれている内ようを読み取りましょう。	1		1				1		1			1			1
672	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう	「環境を守るくふう」について情報を集め、分かったことをしょうかいしましょう。	1		1		1					1		1			1
673	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	ウミガメの保護について、どんなことが説明されているかを整理しましょう。	1			1			1		1			1			1
674	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	本文の写真を使いながら、ウミガメを守るくふうについて発表しましょう。	1			1	1					1		1			1
675	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	写真には、説明を付けるようにしましょう。	1			1						1		1			1
676	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	自分たちの学校や、すんでいる地いきで行われている「環境を守るくふう」について、知っていることや調べたいことを話し合ってみましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
677	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	自分たちの町の「環境を守るくふう」について調べ、パンフレットにまとめよう	1			1		1					1		1		1
678	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	グループで情報を集めよう	1			1						1			1		1
679	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	グループの友達と分たんして、インタビューなどによって情報を集めましょう。	1			1	1					1			1		1
680	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	環境を守ろうとしたわけやきっかけ、活動の様子、守っている人の思いや願いなど、こう目を立てて集めるようにしましょう。	1			1						1			1		1
681	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	活動の様子などがよく分かるように写真やイラストも、わすれずに集めましょう。	1			1						1			1		1
682	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	集めた情報をまとめて、パンフレットを作ろう	1			1		1				1			1		1
683	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	最初のページを表紙にしましょう。	1			1		1				1			1		1
684	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	そして、最後のページには、「後書き」も書きましょう。	1			1		1				1			1		1
685	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	いろいろな人に伝えよう	1			1	1					1			1		1
686	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	できあがったパンフレットを、おたがいに読み合いましょう。	1			1			1			1			1		1
687	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・てびき	また、取材でお世話になった人に、手紙をそえて送ったり、他の学年や他の学校の友達にしょうかいしたりしましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
688	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう	（）の中に、どんな接続詞が入るか考えましょう。	1			1				1	1				1		1
689	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・言葉の広場	組になる言葉を選んで、「」の中に入れましょう。	1			1				1	1				1		1
690	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・言葉の広場	線を引いた言葉意味のちがいを考えましょう。	1			1				1	1				1		1
691	4	下	２いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう・言葉の広場	食事に関係する言葉を集めましょう。	1			1				1	1				1		1
692	4	下	３中心をはっきりさせて書こう	だん落とだん落の続き方に注意し、ほう告することの中心をはっきりさせて文章をかきましょう。	1		1			1				1		1			1
693	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	ほう告することについて話合おう	1		1		1					1		1			1
694	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	クラブ活動や学級の係活動など、みなさんは、日ごろどのような活動をしていますか。		1	1								1	1			1
695	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	取り組んでいる活動について、ほう告する文章を書きましょう。	1		1			1					1		1		1
696	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	グループごとに話し合って、ほう告したいことを選びましょう。	1		1		1					1			1		1
697	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	そして、分たんを決めて協力して書きましょう。	1		1			1				1			1		1
698	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	取材メモを書こう	1		1			1					1		1	1	
699	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	決めた分たんごとに取材をして、メモを書きましょう。	1		1			1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
700	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	順じょやほう告の中心を決め、組み立てメモを書こう	1		1			1							1		1
701	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	メモを持ちよって、内ようにおかしなところがないかたしかめたり、付け足すことがないか考えたりしましょう。	1		1			1				1			1		1
702	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	ほう告することについて話合おう告の中心（いちばん伝えたいこと）をどのようなことにするか決めましょう。	1		1			1				1					1
703	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	組み立てメモをもとに、ほう告する文章を書こう	1		1			1						1			1
704	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	組み立てメモをもとに、それぞれの分たんした部分を文章に書きましょう。	1		1			1				1		1			1
705	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	完成したほう告の文章を、他のグループの友達と交かんして読み合い、感想や意見を伝え合いましょう。	1		1		1					1			1		1
706	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・活動ほう告を書こう	グループのほう告を全部集めて、他のクラスや他の学年の人たちに読んでもらいましょう。	1		1				1			1			1		1
707	4	下	３中心をはっきりさせて書こう・言葉の広場	次の言葉は、どんなものを、何で、どのようにするときに使う言葉でしょうか。	1			1				1	1			1			
708	4	下	3中心をはっきりさせて書こう・言葉の広場	線を引いた言葉の、意味のちがいを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
709	4	下	3中心をはっきりさせて書こう・言葉の広場	次の物を見る場合、どこへ行ったらいいでしょうか。		1		1					1			1			1
710	4	下	3中心をはっきりさせて書こう・言葉の広場	言葉を選んで、「」に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
711	4	下	3中心をはっきりさせて書こう・言葉の広場	２つの言葉の意味を考えて、それぞれ文を作りましょう。	1			1				1	1			1			1
712	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう	何をどのようにくらべているかに気をつけて、書かれていることを読み取りましょう。	1		1				1		1			1			1
713	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう	くらしの中の世界の文化について、意見や感想を話し合いましょう。	1		1		1					1		1			1
714	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	「和」と「洋」それぞれの良さが、どのような点からのべられていますか。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
715	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	和室と洋室についてのべているところをノートに整理しましょう。	1			1		1			1			1			1
716	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	どんなことをくらべているか。		1		1			1		1			1			1
717	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	どんな良さがあるか。		1		1			1		1			1			1
718	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	「衣」や「食」の中にある「和」と「洋」をさがしてみましょう。	1			1					1			1			1
719	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	くらしの中の世界の文化について話し合おう	1			1	1					1			1		1
720	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	自分たちのくらしの中にある、伝統的な日本の文化にもとづくものと、外国の文化を取り入れたものについて、みんなで話し合ってみましょう。	1			1	1						1		1		1
721	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	話題をきめよう	1			1		1				1		1		1	
722	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	まず、同じような役わりをもつものを挙げて、その中から、自分が考えてみたいものを決めましょう。	1			1		1				1		1			1
723	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	次に、選んだものについて、調べたことや、実際に使った経験をもとに、特色や良さを考えてノートにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
724	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	話題ごとに話し合おう	1			1	1					1			1		1
725	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	同じ話題を選んだ人どうしでグループを作り、話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
726	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	聞いている人たちに質問や意見を出してもらいましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
727	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	話し合う時に注意しましょう。	1			1	1					1				1	
728	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	考えたことをまとめよう	1			1		1				1			1		1
729	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・てびき	話し合いを通して考えたことや感じたことをまとめましょう。	1			1		1				1			1		1
730	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・漢字を正しく使おう	右の□には、どのような漢字を書いたらいいでしょう。		1		1		1			1			1			1
731	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・漢字を正しく使おう	漢字を書くときには、その言葉が、文の中でどんな意味を表しているかよく考えて、正しい漢字を書くように気をつけましょう。	1			1		1			1			1			1
732	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・漢字を正しく使おう	同じ読み方の漢字がいくつもあるときには、特に注意しましょう。	1			1				1	1			1			1
733	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・漢字を正しく使おう	次の□に、正しい漢字を入れましょう。	1			1				1	1			1			1
734	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・漢字を正しく使おう	□に入る、正しい漢字を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
735	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・言葉の広場	１２５，１２６ページの「言葉の世界」を見て、反対の意味を持つ言葉を集め、集めた言葉を使って、文を作りましょう。	1			1		1			1			1			1
736	4	下	４くらしの中も世界について話し合おう・言葉の広場	組になる言葉の、意味のちがいを調べましょう。	1			1				1	1			1			1
737	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう	場面と場面の関係に注意して、人物の気持ちの変化を想ぞうしながら読みましょう。	1		1				1			1		1			1
738	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう	本の帯を作ったり、読書会をしたり、音読発表会をしたりしましょう。	1		1				1				1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
739	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	人物の気持ちの変化を、出来事の流れにそってまとめよう	1			1		1			1			1			1
740	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	「ごんぎつね」の出来事の流れを、１本の線で表してみましょう。	1			1		1			1			1			1
741	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	ごんの兵十に対する気持ちの変化を、ノートにまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
742	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	ごんは、最後にうなずいたとき、どんな表じょうをしていたでしょう。		1		1			1		1			1			1
743	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	学習方法を選ぼう	1			1						1		1		1	
744	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	「ごんぎつね」の出来事の流れを短い文でまとめて、本の帯の表側に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
745	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	話の内ようが分かるように短くまとめたり、読み手をひきつけるような書き方のくふうをしたりしましょう。	1			1		1				1		1			1
746	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	いちばん強く心に残ったことを、本の帯のうら側に書きましょう。	1			1		1			1			1			1
747	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	本のせ表紙に当たる部分には、読み手がきょう味を持つような短い言葉を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
748	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	空いているところに絵をかくなどして、楽しい帯を作りましょう。	1			1		1				1		1			1
749	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	完成した本の帯を発表しましょう。	1			1	1					1			1		1
750	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	友達の発表を聞いて、くふうした点を見つけましょう。	1			1	1					1					1
751	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	グループを作って、「ごんぎつね」の感想を発表し合いましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
752	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	何を課題として話し合うか決めましょう。	1			1	1					1			1		1
753	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	課題にそって、話合いましょう。	1			1	1					1			1		1
754	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	友達の考え方や感じ方の良いところを、たくさん見つけましょう。	1			1	1					1			1		1
755	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	「ごんぎつね」の中で、いちばん強く心に残った場面を選びましょう。	1			1			1		1			1			1
756	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	選んだ場面の音読の仕方を考えましょう。	1			1			1			1		1			1
757	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	ごんや兵十の気持ちが聞く人に伝わるように、読み方をくふうしましょう	1			1			1			1		1			1
758	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	選んだ場面を音読しましょう。	1			1			1			1		1			1
759	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	その場面を選んだ理由も発表しましょう。	1			1	1					1		1			1
760	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	同じ作者の本を読もう	1			1			1			1		1		1	
761	4	下	５人物の気持ちのうつり変わりを考えよう・てびき	新美南吉の作品を読もう	1			1			1			1		1		1	
762	4	下	６伝えたいことを選んで書こう	これまでに学習したことを生かして、しょうかいしたい思い出を書きましょう。	1		1			1				1		1			1
763	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	１年間をふり返ろう	1		1							1		1			1
764	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	どんなことが心に残っていますか。		1	1								1				1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
765	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	１年間をふり返り、いろいろな思い出についてグループで話し合いましょう。	1		1		1					1			1		1
766	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	次のようなことを考えて、伝えたいことを選びましょう。	1		1							1			1		1
767	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	しょうかいの方法を考えよう	1		1							1			1		1
768	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	取り上げたいことが決まったら、内ように合ったしょうかいの方法を考えましょう。	1		1							1			1		1
769	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	調べたり取材したりしたことも加えて１年間をふり返りたい場合は、４年上で学習した新聞の作り方を生かし、思い出をいろいろな記事にしてまとめましょう。	1		1			1				1			1		1
770	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	絵や写真をのせたり、前に書いた文章をしょうかいしたりしたい場合は、文集の形にして、思い出を書いた文章といっしょに見てもらいましょう。	1		1							1			1		1
771	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	文章を書こう	1		1			1							1	1	
772	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	新聞や文集の内ように合わせて文章を書きましょう。	1		1			1				1			1		1
773	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	書いた後で、まちがいや分かりにくいところがないか見直すようにしましょう。	1		1							1			1		1
774	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	新聞や文集を読み合おう	1		1				1						1		1
775	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	グループで使った新聞や文集を、クラスのみんなで読み合いましょう。	1		1				1			1			1		1
776	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・１年間の思い出をしょうかいしよう	読むときには、次のようなことにも気をつけましょう。	1		1							1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
777	4	下	６伝えたいことを選んで書こう・ローマ字２	キーボードで入力するときは、ローマ字の表を参考にしましょう。	1			1				1	1			1			1
778	4	下	6伝えたいことを選んで書こう・ローマ字2	身の周りのローマ字をさがそう	1			1				1	1			1			1
779	4	下	6伝えたいことを選んで書こう・ローマ字2	自分の名前を書いてみましょう。	1			1		1			1			1			1
780	4	下	6伝えたいことを選んで書こう・ローマ字2	自分の学校と組、自分の住所などを書いてみましょう。	1			1		1			1			1			1
781	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	表現のくふうを考えながら、声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
782	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	声の調子や音の高低に注意して読もう。	1			1			1			1		1			1
783	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	「だいじょうぶ　だいじょうぶ」を声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
784	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	くり返し出てくる「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」という文を、それぞれどのように読んだらよいか考えよう。	1			1			1			1		1			1
785	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	声に出して読むときにくふうすることを考えよう	1			1			1			1		1			1
786	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	「だいじょうぶ　だいじょうぶ」の好きな場面や、二つの詩のうちのひとつを選んで、ノートに書き写そう。	1			1		1				1		1			1
787	5	上	だいじょうぶ　だいじょうぶ	ノートに書き写した場面や詩に、声に出して読むときにくふうすることを書きこみ、読み方を練習しよう。	1			1			1			1		1			1
788	5	上	山頂から	きみは山頂よりも上に青い大きな弧をえがく水平線を見たことがあるか。		1	1				1		1			1			1
789	5	上	山頂から	二つの詩を、言葉の意味を考えたり、えがかれている情景を想像したりしながら、声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
790	5	上	山頂から	文末に特に注意しながら、声の調子を上げたり下げたりして読み、どのように意味が変わるか考えよう。	1			1			1			1		1			1
791	5	上	山頂から	―を引いた部分の、どの音を高く読むかで、どのように意味が変わってくるか考えよう。	1			1			1			1		1			1
792	5	上	言葉の種類に気をつけよう	右の絵を見て、名詞・動詞・様子や気持ちを表す言葉を使った文を作りましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
793	5	上	言葉の広場	農業に関係する言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
794	5	上	言葉の広場	頭に「不」の付く言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
795	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	自分の思いや考えが聞き手に伝わるように、話の組み立てをくふうし、理由や例を挙げて話そう。	1			1	1					1			1		1
796	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	話しての考えをとらえて聞こう。	1			1	1					1			1		1
797	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	五年生になって、あなたはどんなことにいっしょうけんめい取り組んだり、努力したりしようと思っていますか。		1		1	1						1	1		1	
798	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	これからがんばっていきたいことを、スピーチで伝え合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
799	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	話すことを考えよう	1			1	1					1		1			1
800	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	いろいろな生活の場面を思い起こし、それぞれの場面ごとに、取り組みたいこと、努力したいことをノートに書き出しましょう。	1			1		1				1		1			1
801	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	ノートに書き出したことを見て、自分が最も話してみたいと思う話題を一つ選びましょう。	1			1			1			1		1			1
802	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	そして、そのことをがんばってやっていこうと思う理由や、そのことに関する具体的な事実など、スピーチに取り上げることがらを考えましょう。	1			1			1			1		1			1
803	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	メモを作ってスピーチの練習をしよう	1			1		1				1		1			1
804	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	取り上げることがらが決まったら、次のような点に気をつけて組み立てを考え、スピーチメモを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
805	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	メモにそって話す練習をしましょう。	1			1	1					1			1		1
806	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	グループで聞き合い、もっとくふうするとよい点などを教えあいましょう。	1			1	1					1			1	1	
807	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	スピーチをしよう	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
808	5	上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	聞くときは、話し手が、どんなことについて話しているのかを考えながら聞くようにしよう。	1			1	1					1			1		1
809	5	上	質問の手紙を書こう	それぞれの目的にふさわしい書き方をくふうしましょう。	1			1		1				1		1			1
810	5	上	質問の手紙を書こう	書くときに注意しましょう	1			1		1				1		1			1
811	5	上	質問の手紙を書こう	校外の人に質問の手紙を出すときは、何について、だれに、どのようなことを聞きたいのかをはっきりさせるようにしましょう。	1			1		1				1			1		1
812	5	上	質問の手紙を書こう	手紙を出す理由についても、分かりやすく書くようにしましょう。	1			1		1				1			1		1
813	5	上	質問の手紙を書こう	質問の手紙を出すときは、返信用ふうとうを同ふうするようにしましょう。	1			1		1				1			1		1
814	5	上	質問の手紙を書こう	返事をもらったら、お礼の手紙を出しましょう。	1			1		1				1			1		1
815	5	上	続けてみよう	国語の学習を続けていく計画を立てましょう。	1			1			1			1		1			1
816	5	上	続けてみよう	次にしょうかいすることを参考にしましょう。	1			1			1			1		1			1
817	5	上	続けてみよう	朝の会や帰りの会で、一分間スピーチをしましょう。	1			1	1					1			1	1	
818	5	上	続けてみよう	自分の身の回りの出来事をしょうかいし、それについての自分の感想や意見を話しましょう。	1			1	1					1			1	1	
819	5	上	続けてみよう	学習したことや体験したことについて、記録や感想をメモやカードに書いて残しておきましょう。	1			1		1				1		1			1
820	5	上	続けてみよう	本をたくさん読みましょう。	1			1			1				1	1			1
821	5	上	続けてみよう	読んだ本のことを、自分の「読書ノート」に記録しましょう。	1			1		1				1		1			1
822	5	上	国語辞典を活用しよう	次の「破る」は、文の中でそれぞれどういう意味を表しているか考えましょう。	1			1			1			1		1			1
823	5	上	国語辞典を活用しよう	言葉の意味が分からないときや、意味のとらえ方が正しいかどうかはっきりしないときには、国語辞典でたしかめるようにしましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
824	5	上	国語辞典を活用しよう	次の「断る」の意味を調べましょう。	1			1			1			1		1			1
825	5	上	国語辞典を活用しよう	次の（　　）の中には、「回答」と「解答」のどちらが入るか考えましょう。	1			1			1			1		1			1
826	5	上	国語辞典を活用しよう	このように、言葉の書き表し方が分からないときも、国語辞典でたしかめましょう。	1			1			1			1		1			1
827	5	上	国語辞典を活用しよう	言葉の意味を考えて、どちらの漢字を使うか調べましょう。	1			1			1			1		1			1
828	5	上	言葉の広場	□に入る言葉を○から選びましょう。	1			1			1			1		1			1
829	5	上	言葉の広場	地理に関係する言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
830	5	上	言葉の広場	平和に関係する言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
831	5	上	言葉の広場	次の日付が、それぞれ、上じゅん、中じゅん、下じゅんのどれに当たるか、□に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
832	5	上	動物の体	暑くないのかな？		1	1				1				1	1		1	
833	5	上	動物の体	寒くないのかな?		1	1				1				1	1		1	
834	5	上	動物の体	文章の仕組みを考えて、書かれていることを読み取ろう。	1			1			1			1		1			1
835	5	上	動物の体	まとまりごとに、書いてあることをノートに整理しよう。	1			1			1			1		1			1
836	5	上	動物の体	だん落ごとに番号をつけよう。	1			1			1			1		1			1
837	5	上	動物の体	それぞれのだん落に書いてある内容を考えて、全体を六つのまとまりに分けよう。	1			1			1			1		1			1
838	5	上	動物の体	それぞれのまとまりに番号をつけ、小見出しを考えよう。	1			1			1			1		1			1
839	5	上	動物の体	動物の体の特ちょうを読み取ろう。	1			1			1		1			1			1
840	5	上	動物の体	動物の体の形と気候との関係についてまとめよう。	1			1			1		1			1			1
841	5	上	動物の体	動物の体内の仕組みと環境との関係についてまとめよう。	1			1			1		1			1			1
842	5	上	動物の体	動物の体の形と気候との関係や、動物の体内の仕組みと環境との関係が、どのようなだん落の組み立てで書かれているかまとめよう。	1			1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
843	5	上	動物の体	筆者がいちばん言いたいことは何か。		1		1			1		1			1			1
844	5	上	動物の体	また、それはどのだん落に述べられているか考えよう。	1			1			1		1			1			1
845	5	上	動物の体	動物や自然環境について書かれたほかの本や文章も読んでみよう。	1			1			1				1	1			1
846	5	上	動物の体	教科書の「付録」も参考にしよう。	1			1			1				1	1			1
847	5	上	会話をはずませよう	日常の会話での、私たちの話し方や聞き方をふり返ってみましょう。	1			1			1			1			1		1
848	5	上	会話をはずませよう	梅木さんと竹田さんの会話について考えてみましょう。	1			1			1			1			1		1
849	5	上	会話をはずませよう	二人のやりとりは、会話になっているでしょうか。		1		1			1			1			1		1
850	5	上	会話をはずませよう	この二組の会話について、どう考えますか。		1		1			1			1			1		1
851	5	上	会話をはずませよう	ふだんの会話で、このような話し方をしていることはありませんか。		1		1			1			1			1		1
852	5	上	会話をはずませよう	小林さんと倉田さんの会話について考えよう	1			1			1			1			1		1
853	5	上	会話をはずませよう	小林さんは、どんな話をしようとしていたと思いますか。		1		1			1			1			1		1
854	5	上	会話をはずませよう	倉田さんのたずね方をどう思いますか。		1		1			1			1			1		1
855	5	上	会話をはずませよう	小林さんは、倉田さんの質問に答えているでしょうか。		1		1			1			1			1		1
856	5	上	会話をはずませよう	早川さんと山根さんの会話について考えよう	1			1			1			1			1		1
857	5	上	会話をはずませよう	早川さんが知りたかったことは、どんなことでしょう。		1		1			1			1			1		1
858	5	上	会話をはずませよう	山根さんの話し方をどう思いますか。		1		1			1			1			1		1
859	5	上	会話をはずませよう	早川さんの知りたかったことに答えていますか。		1		1			1			1			1		1
860	5	上	会話をはずませよう	会話をするときに気をつけよう	1			1			1			1			1		1
861	5	上	会話をはずませよう	かみ合った会話を続ける練習をしよう二人一組になって、自分がしたことや、見たこと、聞いたことなどから、友だちに教えてあげたいことを話しましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
862	5	上	会話をはずませよう	聞く側は、その話の内容が深まるように、受け答えしましょう。	1			1	1					1			1		1
863	5	上	漢字の由来に関心を持とう	次の漢字の成り立ちを調べましょう。	1			1			1			1		1			1
864	5	上	言葉の広場	次のものを見るとき、望遠鏡とけんび鏡のどちらを使うでしょうか。□に書きましょう。	1			1		1			1			1			1
865	5	上	言葉の広場	□に入る言葉を○から選びましょう。	1			1			1			1		1			1
866	5	上	言葉の広場	次の言葉の意味を、○からそれぞれ選びましょう。	1			1			1			1		1			1
867	5	上	言葉の広場	上の言葉と結び付く下の言葉を線でつなぎましょう。	1			1		1				1		1			1
868	5	上	ちかい	出来事に注意して物語の流れをまとめ、最も強く心に残ったことを短い文で表そう。	1			1		1				1		1			1
869	5	上	ちかい	物語の流れをまとめよう	1			1			1			1		1			1
870	5	上	ちかい	どんな出来事が起こり、それがどうなったのか、次のような点に注意して、物語の流れをノートにまとめよう。	1			1			1			1		1			1
871	5	上	ちかい	最も強く心に残ったことを短い文で表そう	1			1		1				1		1			1
872	5	上	ちかい	物語を読んで、最も強く心に残ったこと、その物語が自分に強く語りかけてきたことを、自分の言葉で一文に書き表そう。	1			1		1				1		1			1
873	5	上	ちかい	最も強く心に残ったことを話し合おう	1			1	1					1			1	1	
874	5	上	ちかい	まとめた文をグループやクラスで発表しよう。	1			1	1					1			1	1	
875	5	上	ちかい	友だちと自分との感じ方の違いなどについて話し合い、考えを深めよう。	1			1	1					1			1	1	
876	5	上	ちかい	テーマにそって読書をしよう	1			1			1				1	1			1
877	5	上	ちかい	「人間と動物」「人間と自然」など、自分が興味を持ったテーマにそって、本を読み広げていこう。	1			1			1				1	1		1	
878	5	上	ちかい	本を探すときには、教科書の「付録」も参考にしよう。	1			1			1				1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
879	5	上	ちかい	「読書の部屋」にある、「大造じいさんとがん」という物語も読んでみよう。	1			1			1				1	1			1
880	5	上	相手や目的を考えて	二つの文章を比べて、どんなちがいがあるか考えてみましょう。	1			1			1			1		1		1	
881	5	上	相手や目的を考えて	しょうかいや報告、よびかけの文章を書くときは、だれに、何のために伝えるのかを考えて、必要なことがらを整理し、相手に合わせた表現をくふうしましょう。	1			1		1				1			1		1
882	5	上	相手や目的を考えて	このメモをもとに、図書委員になったつもりで文章を考えましょう。	1			1		1				1		1			1
883	5	上	相手や目的を考えて	自分が参加している委員会やクラブについて、次のような文章を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
884	5	上	相手や目的を考えて	書いた文章をそれぞれの人たちに読んでもらい、感想を聞かせてもらいましょう。	1			1	1					1			1	1	
885	5	上	ニュースを伝え合おう	どんなことが、どのように、ニュースになって伝えられているかな。		1		1			1		1			1			1
886	5	上	ニュースを伝え合おう	取材したことや考えたことを聞き手にはっきり伝えるために、話の組み立てをくふうして話そう。	1			1	1					1			1		1
887	5	上	ニュースを伝え合おう	話し手の話し方のくふうに注意しながら聞こう。	1			1	1					1			1		1
888	5	上	ニュースを伝え合おう	そこでは、どのようなことがニュースとして取り上げられていたでしょうか。		1		1	1				1			1			1
889	5	上	ニュースを伝え合おう	身の回りに起こったことなどから話題を見つけ、ニュースにして伝え合いましょう。	1			1			1			1			1	1	
890	5	上	ニュースを伝え合おう	ニュースについて調べよう	1			1	1					1		1			1
891	5	上	ニュースを伝え合おう	テレビやラジオでは、どのようなことがニュースになっているでしょう。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
892	5	上	ニュースを伝え合おう	また、見る人や聞く人が分かりやすいように、どんなくふうがされているでしょう。		1		1			1		1			1			1
893	5	上	ニュースを伝え合おう	いくつかのニュースについて、「だれが」「いつ」「何を」したかや、「いつ」「どんなこと 」が起こったかをかん単にメモしましょう。	1			1			1			1		1			1
894	5	上	ニュースを伝え合おう	そして、ニュースの内容に合ったタイトルをつけましょう。	1			1		1				1		1			1
895	5	上	ニュースを伝え合おう	ビデオやテープにとったニュース番組から、興味を持ったニュースを一つか二つ選びましょう。	1			1		1				1		1			1
896	5	上	ニュースを伝え合おう	そして、くり返し見たり聞いたりして、どんな内容が、どのように構成されているかノートにまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
897	5	上	ニュースを伝え合おう	アナウンサーやキャスターの話し方に注意してみましょう。	1			1		1				1		1			1
898	5	上	ニュースを伝え合おう	聞く人に分かりやすい話し方とは、どのようなものでしょうか。		1		1	1					1		1			1
899	5	上	ニュースを伝え合おう	ニュースを伝える練習をしよう	1			1	1					1			1		1
900	5	上	ニュースを伝え合おう	グループごとに身の回りから話題を見つけ、テレビやラジオのニュースについて調べたことを活用してニュースにしましょう。	1			1	1					1			1		1
901	5	上	ニュースを伝え合おう	ニュースをさがそう	1			1			1			1		1			1
902	5	上	ニュースを伝え合おう	学校や家で起こった出来事の中から、みんなに知らせたいことをさがして、何を取り上げるか決めましょう。	1			1			1			1		1			1
903	5	上	ニュースを伝え合おう	取材をしよう	1			1	1					1		1			1
904	5	上	ニュースを伝え合おう	写真をとる、資料を集めて図や表、グラフを作る、インタビューをするなど、取り上げる内容に応じて、分たんを決め、取材しましょう。	1			1	1					1		1			1
905	5	上	ニュースを伝え合おう	ニュースを原こうにまとめて、発表の練習をしよう	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
906	5	上	ニュースを伝え合おう	司会者、アナウンサー、解説者などの役わりを考えて原こうを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
907	5	上	ニュースを伝え合おう	原こうができたら、発表の練習をしましょう。	1			1	1					1			1		1
908	5	上	ニュースを伝え合おう	練習するときに気をつけましょう	1			1	1					1			1		1
909	5	上	ニュースを伝え合おう	ニュースを伝えよう	1			1	1					1			1		1
910	5	上	ニュースを伝え合おう	グループごとに、自分たちのニュースを伝え合う発表会を開きましょう。	1			1	1					1			1	1	
911	5	上	ニュースを伝え合おう	聞き手は、話し手の話し方のくふうに注意しながら聞きましょう。	1			1	1					1			1		1
912	5	上	ニュースを伝え合おう	ビデオやテープで、おたがいの発表をふり返り、話し方や写真、図表の見せ方、役わり分たんの仕方など、良かったところについて話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
913	5	上	方言と共通語に関心を持とう	テレビやラジオのニュース番組について調べたとき、アナウンサーはどんな話し方をしていたでしょう。		1		1	1				1				1		1
914	5	上	方言と共通語に関心を持とう	日常の生活で、自分たちが使う言葉や聞く言葉とちがうところはなかったでしょうか。		1		1	1				1				1		1
915	5	上	言葉の広場	１２９・１３０ページの「言葉の世界」を見て、組になる言葉を□の中に入れましょう。	1			1			1			1		1			1
916	5	上	言葉の広場	□に入る言葉を○から選びましょう。	1			1			1			1		1			1
917	5	上	人はねむる、動物もねむる	夜、「早くねなさい。」と言われて、「まだちっともねむくないのに、なぜ。」と思ったことはありませんか。		1	1				1		1			1		1	
918	5	上	人はねむる、動物もねむる	長い間ねむらずにいたために死んでしまった動物たちの体の中では、いったいどんなことが起こったのでしょうか。		1	1				1		1			1		1	
919	5	上	人はねむる、動物もねむる	ところで、人間以外の動物たちも、人間と同じようにねむるのでしょうか。		1	1				1		1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
920	5	上	ローマ字の表	コンピューターで日本語を入力するときに参考にしましょう。	1			1			1			1		1			1
921	5	上	ローマ字の表	「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」の使い分けに注意しましょう。	1			1			1			1		1			1
922	5	上	図書館へ行こう	図書館で、あなたの好きな本を選びましょう。	1			1			1				1	1			1
923	5	上	図書館へ行こう	そして、本の背にはってあるラベルを見てみましょう。	1			1			1				1	1			1
924	5	上	図書館へ行こう	図書館のどの場所に、どんな内容の本があるか確めましょう。	1			1			1			1		1			1
925	5	上	漢字の練習	四年で習った漢字を書きましょう。	1			1		1			1			1			1
926	5	上	漢字の練習	付録の漢字の表で、ほかの読み方や使い方をたしかめましょう。	1			1		1				1		1			1
927	5	上	漢字の練習	□の中をえん筆でこすってみよう。	1			1		1					1	1			1
928	5	上	漢字の練習	「●送りがなに注意する漢字（１７ページ）」の送りがなは、１２４ページからの「四年で習った漢字」の表でたしかめましょう。	1			1		1				1		1			1
929	5	下	マザー・テレサ	「貧しい人たちのために働こう。」何不自由ない生活を送っていたテレサは、なぜ、そう決心したのでしょう。		1	1				1			1		1			1
930	5	下	マザー・テレサ	伝記に書かれた人物のしたことや主な出来事をまとめ、人物の考えや生き方について考えよう。	1			1			1			1		1			1
931	5	下	マザー・テレサ	伝記を読み、本のカバーを作ってしょうかいしよう。	1			1			1			1			1	1	
932	5	下	マザー・テレサ	テレサがしたことを表にまとめよう	1			1			1			1		1			1
933	5	下	マザー・テレサ	それぞれどんなことだったか、表にまとめよう。	1			1			1			1		1			1
934	5	下	マザー・テレサ	また、テレサがしたことのきっかけとなった出来事や、テレサの考え・理想もいっしょに表にまとめよう。	1			1			1			1		1			1
935	5	下	マザー・テレサ	テレサの考えや生き方について話し合おう	1			1	1					1			1	1	
936	5	下	マザー・テレサ	伝記を読もう	1			1			1				1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
937	5	下	マザー・テレサ	伝記など、事実にもとづいた物語を読もう。	1			1			1				1	1			1
938	5	下	マザー・テレサ	「付録」に紹介されている本も読んでみよう。	1			1			1				1	1			1
939	5	下	マザー・テレサ	本のカバーを作ろう	1			1		1				1		1			1
940	5	下	マザー・テレサ	自分で読んだ伝記をしょうかいする、本のカバーを作ろう。	1			1		1				1		1			1
941	5	下	マザー・テレサ	本のカバーに書く内容を決めよう。	1			1		1				1		1			1
942	5	下	マザー・テレサ	伝記では、人物の名前がそのまま本のタイトルになっているものが多いが、その伝記を読んで最も強く感じたことを短くまとめて、自分なりの本のタイトルを考えてみよう。	1			1		1				1		1			1
943	5	下	マザー・テレサ	本のカバーを作ろう。	1			1		1				1		1			1
944	5	下	マザー・テレサ	絵なども入れながら、①で決めた内容を本のカバーにしよう。	1			1		1				1		1			1
945	5	下	マザー・テレサ	友達がその本を読みたくなるように、くふうして作ろう。	1			1		1				1		1			1
946	5	下	マザー・テレサ	本のカバーをしょうかいしよう	1			1	1					1			1	1	
947	5	下	マザー・テレサ	できた本のカバーをしょうかいしよう。	1			1	1					1			1	1	
948	5	下	マザー・テレサ	友達のしょうかいを聞いて、おもしろそうだと思った本を読んでみよう。	1			1			1				1		1		1
949	5	下	マザー・テレサ	できた本のカバーは、本に付けて学級文庫や学校図書館に置き、本を選ぶときに、おたがいに役立てよう。	1			1			1				1		1		1
950	5	下	一まいの地図から	絵を見て、想像してみよう	1			1			1			1		1		1	
951	5	下	一まいの地図から	想像したことを物語に書こう	1			1		1				1		1			1
952	5	下	一まいの地図から	ゆみたち四人が「勇気のつるぎ」を見つけるまでのことを物語にしてみましょう。	1			1		1				1		1			1
953	5	下	一まいの地図から	できあがった物語を友達と交かんして読み合いましょう。	1			1			1			1			1	1	
954	5	下	森林のおくりもの	この森林は、だれからのおくりものなのでしょう。		1	1				1		1			1			1
955	5	下	森林のおくりもの	題名のくふうや述べ方に注意して、筆者の考えを読み取ろう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
956	5	下	森林のおくりもの	いろいろな環境問題について資料を読んで調べ、ブックガイドにまとめよう。	1			1			1			1		1			1
957	5	下	森林のおくりもの	下流に下ろされた木材は、では、どのように使われたでしょうか。		1	1				1		1			1			1
958	5	下	森林のおくりもの	たき火のとき、キリが手もとにあったなら、ほかの木と比べてごらんなさい。	1		1				1			1		1			1
959	5	下	森林のおくりもの	例えば、法隆寺を考えてみましょう。	1		1				1			1		1			1
960	5	下	森林のおくりもの	ところが、かわらや土を取りのぞいてみると、どうでしょう。		1	1				1		1			1			1
961	5	下	森林のおくりもの	紙のない生活がどんなものか、考えてみたことがありますか。		1	1				1		1			1			1
962	5	下	森林のおくりもの	新聞や本やノートを思い浮かべてみてください。	1		1				1			1		1			1
963	5	下	森林のおくりもの	例えば、お札を思いうかべてみてください。	1		1				1			1		1			1
964	5	下	森林のおくりもの	もう、どれほどの長い年月、人類はこの地球上で火を使い続けてきたことでしょうか。		1	1				1		1			1			1
965	5	下	森林のおくりもの	そして、どれほどたくさんの火を、森林は地球のすみずみにまでおくり続けてきたことでしょうか。		1	1				1		1			1			1
966	5	下	森林のおくりもの	あなたは、川の水がなぜなくならないか、考えたことがありますか。		1	1				1		1			1			1
967	5	下	森林のおくりもの	ですから、いつかなくなってもよさそうなものなのに、なくならないのはなぜでしょうか。		1	1				1		1			1			1
968	5	下	森林のおくりもの	それなのに、晴れた日でも流れているのはなぜでしょうか。		1	1				1		1			1			1
969	5	下	森林のおくりもの	森林の土は、なぜ雨に流されてなくなってしまわないのでしょうか。		1	1				1		1			1			1
970	5	下	森林のおくりもの	でも、どうして、毎年毎年同じようにお米を作り続けることができたのでしょうか。		1	1				1		1			1			1
971	5	下	森林のおくりもの	どうして、土がなくなってしまったり、土地がやせてしまったりしなかったのでしょうか。		1	1				1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
972	5	下	森林のおくりもの	では、その森林はだれのおくりものでしょう。		1	1				1		1			1			1
973	5	下	森林のおくりもの	この文章を読んで、次のことを考え、ノートにまとめよう。	1			1		1				1		1			1
974	5	下	森林のおくりもの	筆者は、なぜ、「森林のおくりもの」という題をつけたのだろうか。		1		1			1		1			1			1
975	5	下	森林のおくりもの	「森林のおくりもの」の具体例として、どんなものが挙げられているか。		1		1			1		1			1			1
976	5	下	森林のおくりもの	筆者は、森林をだれのおくりものだと言っているか。		1		1			1		1			1			1
977	5	下	森林のおくりもの	この文章を読み、「初めて知ったこと」「知ってはいたが、改めて考えさせられたこと」「もっとくわしく知りたいと思ったこと」について、各自の感想を発表しよう。	1			1	1					1			1	1	
978	5	下	森林のおくりもの	環境問題について調べて、ブックガイドを作ろう	1			1		1				1		1			1
979	5	下	森林のおくりもの	知りたいことをまとめよう	1			1			1			1		1			1
980	5	下	森林のおくりもの	「森林のおくりもの」を読み返して、もっとくわしく知りたいと思ったことを中心にして、下のような、「こんなことが分かる本を教えてカード」を作ろう。	1			1		1				1		1			1
981	5	下	森林のおくりもの	教科書には書かれていないことでも、知りたいと思ったことがあれば、カードに書こう。	1			1		1				1		1			1
982	5	下	森林のおくりもの	各自が書いたカードを集めて分類しよう。	1			1			1			1			1		1
983	5	下	森林のおくりもの	そして、下のように、まとまりごとに名前を付けよう。	1			1		1				1			1		1
984	5	下	森林のおくりもの	調べてみたい問題についての資料を見つけよう	1			1			1			1			1		1
985	5	下	森林のおくりもの	「こんなことが分かる本を教えてカード」に書いたことや、友達のカードを読んで興味を持ったことなどをもとにして、各自、調べてみたい問題を決めよう。	1			1			1			1			1		1
986	5	下	森林のおくりもの	そして、資料をさがして読もう。	1			1			1			1			1		1
987	5	下	森林のおくりもの	ブックガイドを作ろう	1			1		1				1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
988	5	下	森林のおくりもの	見つけた本や資料を各自でブックガイドに整理しよう。	1			1		1				1		1			1
989	5	下	森林のおくりもの	ブックガイドには、分類名をきちんと書いておこう。	1			1		1				1		1			1
990	5	下	森林のおくりもの	成果を分かち合おう	1			1			1			1			1	1	
991	5	下	森林のおくりもの	各自が書いたブックガイドをみんなで読みあった後、分類ごとにまとめよう。	1			1			1			1			1		1
992	5	下	森林のおくりもの	そして、まとめたものをみんなで読み合い、感想を書き加えるなどして成果を分かち合おう。	1			1			1			1			1	1	
993	5	下	考えをまとめて書こう	自分の意見を書いて、みんなに伝えましょう。	1			1	1					1			1	1	
994	5	下	考えをまとめて書こう	いろいろな角度から考えて、自分の考えを整理し、筋道を立てて書こう。	1			1		1				1		1			1
995	5	下	考えをまとめて書こう	生活の中の通信手だんには、それぞれどんな良さや問題点があるでしょうか。		1		1			1			1		1			1
996	5	下	考えをまとめて書こう	自分の考えを整理して、分かりやすく文章に書いてみましょう。	1			1		1				1		1			1
997	5	下	考えをまとめて書こう	いろいろな角度から考えよう	1			1			1			1		1			1
998	5	下	考えをまとめて書こう	グループごとに、いくつかの通信手だんを取り上げ、次の点について比べて話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
999	5	下	考えをまとめて書こう	考えをまとめて文章を書こう	1			1		1				1		1			1
1000	5	下	考えをまとめて書こう	自分の考えが読み手に伝わるようにくふうして文章を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
1001	5	下	考えをまとめて書こう	書き上げた文章を友達と交かんして読み合い、感想や意見を伝え合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
1002	5	下	動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	①の文の「おく」と②の文の「おく」、③の文の「しまう」と④の文の「しまう」は、それぞれ何がちがうのでしょう。		1		1			1		1			1			1
1003	5	下	動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	次の二つの文を比べて、それぞれのとらえ方のちがいを考えましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1004	5	下	言葉の広場	□に入る言葉を○から選びましょう。	1			1			1			1		1			1
1005	5	下	言葉の広場	次の言葉を「・・・できる」という意味の言い方にしましょう。	1			1			1			1		1			1
1006	5	下	言葉の広場	人の気持ちや心の動きに関係のある言葉を集めましょう。	1			1			1			1		1			1
1007	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	文章の組み立てに注意して、筆者の考えを読み取ろう。	1			1			1			1		1			1
1008	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	身近な生活の中の問題を取り上げて討論しよう。	1			1	1					1			1		1
1009	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	なぜ、インスタント食品は生まれ、なぜ、そんなにかんげいされたのでしょう。		1	1				1		1			1		1	
1010	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	まとまりごとの内容をまとめ、筆者が、どんな組み立てで考えを述べているかとらえよう。	1			1			1			1		1			1
1011	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	文章の中で筆者が述べていること以外に、インスタント食品にはどんな良さや問題点があるか考えてみよう。	1			1			1			1		1			1
1012	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	インスタント食品の良さとして挙げられること、問題点としてあげられることへの反論を考え、カードなどに書き出してみよう。	1			1		1				1		1			1
1013	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	身近な問題を取り上げて討論しよう	1			1	1					1			1		1
1014	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	インスタント食品をめぐって討論をしよう	1			1	1					1			1		1
1015	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	まず、「インスタント食品とわたしたちの生活」の筆者が述べていた考えも借りて、「インスタント食品は、積極的に利用すべきである」という論題で討論をしてみよう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1016	5	下	インスタント食品とわたしたちの生活	インスタント食品をめぐって行った討論を生かし、身近な問題を論題にして討論をしてみよう。	1			1	1					1			1		1
1017	5	下	短歌と俳句を味わおう	次の短歌や俳句から、好きなものを選んで覚えましょう。	1			1			1		1			1			1
1018	5	下	注文の多い料理店	物語を読んで、表現のくふうや登場人物の心情の変化について考えよう。	1			1			1			1		1			1
1019	5	下	注文の多い料理店	読み取ったことを生かし、方法を選んで学習しよう。	1			1			1			1		1			1
1020	5	下	注文の多い料理店	表現のくふうや,登場人物の心情の変化について考えよう	1			1			1			1		1			1
1021	5	下	注文の多い料理店	おもしろいと感じた表現や、くふうしていると思った表現をノートに書こう。	1			1		1				1		1			1
1022	5	下	注文の多い料理店	それぞれの戸に書かれている言葉について、次のような表にまとめよう。	1			1		1				1		1			1
1023	5	下	注文の多い料理店	物語の初めと終わりで、二人のしんしがどのように変化したか話し合おう。	1			1	1					1			1	1	
1024	5	下	注文の多い料理店	学習方法を選ぼう	1			1			1			1		1			1
1025	5	下	注文の多い料理店	出来事の流れを短い文章にまとめよう。	1			1			1			1		1			1
1026	5	下	注文の多い料理店	二人のしんしの心情の変化を中心に、出来事の流れを考えよう。	1			1			1			1		1			1
1027	5	下	注文の多い料理店	最も強く心に残ったことを短い言葉で表現し、それを中心に感想をまとめよう。	1			1			1			1		1			1
1028	5	下	注文の多い料理店	次のようなことを入れた「注文の多い料理店」の本のカバーを作ろう。	1			1		1				1		1			1
1029	5	下	注文の多い料理店	完成した本のカバーを発表しよう。	1			1	1					1		1		1	
1030	5	下	注文の多い料理店	グループごとに話し合い、解説ノートに書く内容を決めよう。	1			1	1					1			1		1
1031	5	下	注文の多い料理店	書く内容を分たんし、解説ノートを作ろう。	1			1		1				1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1032	5	下	注文の多い料理店	おたがいの下書きをもとに話し合い、よりよいノートにしよう。	1			1	1					1			1		1
1033	5	下	注文の多い料理店	解説ノートの最後に、グループの一人一人が最も強く心に残ったことを書こう。	1			1		1				1			1		1
1034	5	下	注文の多い料理店	完成した解説ノートの内容を、グループ全員でしょうかいしよう。	1			1	1					1			1	1	
1035	5	下	注文の多い料理店	だれがどの内容を話すかを決めよう。	1			1	1					1			1		1
1036	5	下	注文の多い料理店	最も強く心に残ったことは、全員が話すようにしよう。	1			1	1					1			1		1
1037	5	下	注文の多い料理店	「注文の多い料理店」を読んで、最も強く心に残った場面を選ぼう。	1			1			1			1		1			1
1038	5	下	注文の多い料理店	最も強く心に残ったことを、短い言葉でまとめておこう。	1			1			1			1		1			1
1039	5	下	注文の多い料理店	選んだ場面の様子や、二人のしんしの心情を考えよう。	1			1			1			1		1			1
1040	5	下	注文の多い料理店	場面の様子や、二人のしんしの心情がよく表れるように、朗読の仕方を考えよう。	1			1			1			1		1			1
1041	5	下	注文の多い料理店	朗読の練習をしよう。	1			1			1			1		1			1
1042	5	下	注文の多い料理店	読む速さや声の大きさを考えよう。	1			1			1			1		1			1
1043	5	下	注文の多い料理店	声の調子や音の高低を考えよう。	1			1			1			1		1			1
1044	5	下	注文の多い料理店	最も強く心に残ったことを話した後で、朗読の発表会をしよう。	1			1			1			1			1	1	
1045	5	下	注文の多い料理店	友達の発表を聞き、よいところを教え合おう。	1			1	1					1			1	1	
1046	5	下	注文の多い料理店	命を題材にした物語を読もう	1			1			1				1	1			1
1047	5	下	注文の多い料理店	命を題材にしたほかの物語も読んでみよう。	1			1			1				1	1			1
1048	5	下	熟語の意味を考えよう	熟語の構成を考え、①～⑥のグループに分類しましょう。	1			1			1			1		1			1
1049	5	下	言葉の広場	１３７・１３８ページの「言葉の世界」を見て、それぞれの仕事を説明した文章の□に言葉を入れましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1050	5	下	昔話をしょうかいしよう	いろいろな昔話を読み、昔話について調べたことを書いたり、昔話の「語り」をしたりしよう。	1			1			1			1		1			1
1051	5	下	昔話をしょうかいしよう	今までに聞いたり読んだりして、知っている昔話には、どんなものがありますか。		1		1			1		1			1		1	
1052	5	下	昔話をしょうかいしよう	みんなで出し合ってみましょう。	1			1	1					1			1	1	
1053	5	下	昔話をしょうかいしよう	自分たちの地いきの昔話を知ろう	1			1			1		1				1		1
1054	5	下	昔話をしょうかいしよう	自分たちが住んでいる町や村、地方の昔話を調べてみましょう。	1			1			1			1			1		1
1055	5	下	昔話をしょうかいしよう	昔話のあらすじを書こう	1			1		1				1		1			1
1056	5	下	昔話をしょうかいしよう	地いきの昔話を読んで、いちばんおもしろいと思った話を選びましょう。	1			1			1			1		1			1
1057	5	下	昔話をしょうかいしよう	選んだ話のあらすじをまとめて、グループの中でしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
1058	5	下	昔話をしょうかいしよう	それぞれの場面を短い文でまとめ、「あらすじカード」にしてみましょう。	1			1		1				1		1			1
1059	5	下	昔話をしょうかいしよう	昔話のしょうかいをしよう	1			1	1					1			1	1	
1060	5	下	昔話をしょうかいしよう	昔話の「研究ノート」を書いたり、好きな話の「語り」をしたりしましょう。	1			1			1			1		1			1
1061	5	下	昔話をしょうかいしよう	選んだ昔話について、テーマを決めて調べ、分かったことを「研究ノート」にまとめましょう。	1			1			1			1		1			1
1062	5	下	昔話をしょうかいしよう	「研究ノート」が完成したら、みんなにしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
1063	5	下	昔話をしょうかいしよう	昔話に親しもう	1			1			1				1	1			1
1064	5	下	昔話をしょうかいしよう	発表を聞きあって感想を述べたり、友達のしょうかいした話を読んだりして、昔話に親しみましょう。	1			1			1				1		1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1065	5	下	この道	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
1066	5	下	竹取物語	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
1067	5	下	竹取物語	みなさんは、「かぐやひめ」のお話を知っていますか。		1		1			1		1			1			1
1068	5	下	竹取物語	くり返し声に出して読んで、言葉のひびきを味わいましょう。	1			1			1			1		1			1
1069	5	下	百人一首	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
1070	5	下	吾輩は猫である	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
1071	5	下	蜘蛛の糸	声に出して読みましょう。	1			1			1			1		1			1
1072	5	下	漢字の練習	四年で習った漢字を書きましょう。	1			1		1			1			1			1
1073	5	下	漢字の練習	付録の漢字の表で、ほかの読み方や使い方を確かめましょう。	1			1		1				1		1			1
1074	5	下	漢字の練習	□の中をえん筆でこすってみよう。	1			1		1					1	1			1
1075	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう	心情や情景を想像し、表現を味わいながら、声に出して読もう。	1		1				1			1		1			1
1076	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう	文中の強調する言葉に注意して読もう。	1		1				1			1		1			1
1077	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	声に出して読もう	1			1			1			1		1		1	
1078	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	「風切るつばさ」を、「クルル」の言葉や思ったこと、行動などをもとに、「クルル」の心情を想像しながら声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
1079	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	３つの詩を、情景や言葉の意味に注意しながら、声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
1080	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	声に出して読むときにくふうすることを考えよう	1			1			1			1		1		1	
1081	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	「風切るつばさ」の好きな場面や、３つの詩のうちの１つを選んで、ノートに書き写そう。	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1082	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	ノートに書き写した場面や詩に、声に出して読むときにくふうすることを書きこみ、読み方を練習しよう。	1			1			1			1		1			1
1083	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	強調する言葉について考え、声に出して読むときに生かそう。	1			1				1		1		1			1
1084	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	１・２・３の、どれを強調して読むかで、相手に伝えたいことがどう変わるか考えよう。	1			1				1		1		1			1
1085	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・てびき	１・２・３の、どれを強調して読むかで、それぞれがどんな気持ちを表すように変わるか考えよう。	1			1				1		1		1		1	
1086	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・言葉の広場	□に入る言葉を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1087	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・言葉の広場	考えることや、考えを述べることに関係のある言葉を集めましょう。	1			1				1	1			1			1
1088	6	上	１表現を味わいながら声に出して読もう・言葉の広場	線を引いた言葉の意味のちがいを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
1089	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう	自分の考えや意図が伝わるように、事実と感想・意見との区別や、資料の提示の仕方をくふうして話そう。	1		1		1					1		1			1
1090	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう	話し手の意図を考えながら聞こう。	1		1		1					1		1			1
1091	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	新聞を読んで興味を持った記事を選び、その内容と、その内容について自分が考えたことを話しましょう。	1		1		1						1	1			1
1092	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	記事を読み、それについて自分が考えたことを簡単にメモしていきましょう。	1		1			1				1		1			1
1093	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	スピーチメモを作って、スピーチの練習をしよう	1		1		1					1		1			1
1094	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	話題を決めたら、次のような点に気をつけて組み立てを考え、スピーチメモを作りましょう。	1		1			1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1095	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	記事の内容を分かりやすく伝えるために、必要な資料も用意しましょう。	1		1							1		1			1
1096	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	メモに沿って話す練習をしましょう。	1		1		1					1		1			1
1097	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	資料の提示の仕方もくふうしましょう。	1		1							1		1			1
1098	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	スピーチをしよう	1		1		1					1		1		1	
1099	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・伝え合おう、わたしの意見	聞くときは、話し手の意図を考えながら聞くようにしよう。	1		1		1					1		1			1
1100	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・依頼の手紙を書こう	それぞれの目的にふさわしい書き方をくふうしましょう。	1			1		1				1		1			1
1101	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・依頼の手紙を書こう	書くときに注意しましょう	1			1		1				1		1		1	
1102	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・依頼の手紙を書こう	依頼の手紙をかくときには、依頼の理由や内容を整理して、分かりやすく書きましょう。	1			1		1				1		1			1
1103	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	国語の学習を続けていく計画を立てましょう。	1			1							1	1			1
1104	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	次にしょうかいすることを参考にしましょう。	1			1						1		1			1
1105	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	朝の会や帰りの会で、スピーチをしましょう。	1			1	1					1		1			1
1106	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	そのときどきの新聞やテレビのニュースの中から自分が興味を持った出来事をしょうかいし、それについての自分の感想や意見を話しましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1107	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	毎日の体験の中で、心を動かされたことや考えさせられたことを短い言葉で書く、「1言日記」をつけましょう。	1			1		1				1		1			1
1108	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	読んだり聞いたりした言葉で、印象に残ったものを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
1109	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	本をたくさん読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
1110	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・続けてみよう	そして、読んだ本のことを、自分の「読書ノート」に記録しましょう。	1			1		1				1		1			1
1111	6	上	2自分の意見を伝えるスピーチをしよう・ことわざや昔の言い方に関心を持とう	次のことわざは、どんな意味を表しているでしょうか。		1		1				1	1			1			1
1112	6	上	2自分の意見を伝えるスピーチをしよう・ことわざや昔の言い方に関心を持とう	例えば、「こいのぼり」の２番の歌詞を見てみましょう。	1			1					1			1			1
1113	6	上	2自分の意見を伝えるスピーチをしよう・ことわざや昔の言い方に関心を持とう	音楽の教科書を見て、歌詞の中から昔の言い方を見つけてみましょう。	1			1				1	1			1			1
1114	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・言葉の広場	□に入る言葉を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1115	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・言葉の広場	□に入る言葉を選んで入れてみましょう。	1			1				1	1			1			1
1116	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・言葉の広場	産業に関係する言葉を集めましょう。	1			1				1	1			1			1
1117	6	上	２自分の意見を伝えるスピーチをしよう・言葉の広場	それぞれの言葉の組について、意味のちがいを調べましょう。	1			1				1	1			1			1
1118	6	上	３文章の構成を考えながら読もう	文章の構成を考えて、書かれていることを読み取ろう。	1		1				1		1			1			1
1119	6	上	3文章の構成を考えながら読もう・てびき	文章の構成を考えながら、書かれていることを読み取ろう	1			1			1		1			1			1
1120	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	まとまりごとの内容を考えて、書いてあることをノートに整理しよう。	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1121	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	それぞれの段落に書いてある内容を考え、全体の３つの大きなまとまりに分けよう。	1			1		1			1			1			1
1122	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	それぞれのまとまりでは、どのような話題について述べられているか、短くまとめよう。	1			1		1			1			1			1
1123	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	イースター島にはなぜ森林がないのかについて読み取ろう。	1			1			1		1			1			1
1124	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	筆者が原因として挙げていることを２つ、文中から探して書き出そう。	1			1		1			1			1			1
1125	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	原因の具体例を、ノートに整理しよう。	1			1		1			1			1			1
1126	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	筆者がこの文章でうったえようとしているのはどんなことか、話し合おう。	1			1	1				1				1		1
1127	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	教科書の「付録」も参考にして、自然や環境について書かれた本や文章を読んでみよう。	1			1			1			1		1			1
1128	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・てびき	そのうえで、筆者の伝えたいことがよく分かるように、だいじな文や言葉を使いながら、書かれている内容を短くまとめていくようにしよう。	1			1		1			1			1			1
1129	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	内山さんは、どんな言い方をすればよかったのでしょうか。		1		1	1					1		1			1
1130	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	相手のことを思いやった言葉づかいをしよう	1			1				1		1		1			1
1131	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	相手の状きょうに気を配るようにしましょう。	1			1						1		1			1
1132	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	伝える内容にも気を配るようにしましょう。	1			1						1		1			1
1133	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	内山さんになったつもりで、和田さんにたのんでみましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1134	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	「はい、どうぞ。」と、和田さんが気持ちよく本をわたせるように言いましょう。	1			1	1					1		1			1
1135	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	相手が校長先生だとしたら、どのように言うとよいでしょう。		1		1	1					1		1			1
1136	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	内山さんと、男の子の道のゆずり方を比べてみましょう。	1			1					1			1			1
1137	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	内山さんに道をゆずられた人は、どんなふうに感じたと思いますか。		1		1					1			1			1
1138	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	言葉づかいをくふうしよう	1			1				1		1		1			1
1139	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	このようなことに気を配り、自分らしい言葉づかいを見つけていこう。	1			1				1		1		1			1
1140	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・気持ちのよい話し方をしよう	話す練習をしよう	1			1	1					1		1		1	
1141	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・言葉の広場	１４１・１４２ページの「言葉の世界」を見て、□に言葉を入れましょう。	1			1				1	1			1			1
1142	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・言葉の広場	□に入る言葉を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1143	6	上	３文章の構成を考えながら読もう・言葉の広場	線を引いた言葉の、意味のちがいについて考えましょう。	1			1				1	1			1			1
1144	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう	物語の流れをとらえ、自分に最も強く語りかけてきたことをまとめよう。	1		1				1		1			1			1
1145	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	物語の流れをとらえよう	1			1			1		1			1		1	
1146	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	この物語では、何年間にわたる出来事がえがかれているだろうか。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1147	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	時間のまとまりごとに、どんな出来事があったかを考えよう。	1			1			1		1			1			1
1148	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめよう	1			1			1		1			1			1
1149	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	登場人物の会話文や行動に着目しながら、重要だと思う文をぬき出そう。	1			1			1		1			1			1
1150	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	物語全体を通して、最も重要だと考える文を１つ選ぼう。	1			1			1		1			1			1
1151	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	どうして、その１文を最も重要だと考えたのか、理由もまとめよう。	1			1			1		1			1			1
1152	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	「ヒロシマのうた」という題目には、どのような意味があるだろう。		1		1			1		1			1			1
1153	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	物語全体を思い返しながら、題名の持つ意味について、自分の考えをまとめよう。	1			1			1			1		1			1
1154	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	「ヒロシマのうた」を読んで、この物語が読者である自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉で表現してみよう。	1			1			1			1		1			1
1155	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて話し合おう	1			1	1					1		1			1
1156	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	感想を出し合い、感じ方のちがいなどについて話し合おう。	1			1	1					1		1			1
1157	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	読書を通じて考えを深めよう	1			1			1				1	1		1	
1158	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	「人間の生き方」「人間と社会のかかわり」「人間と戦争（平和）」などのテーマで、本を読み広げていこう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1159	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・てびき	本を探すときには、教科書の「付録」も参考にしよう。	1			1			1			1		1		1	
1160	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・しょうかい文を書こう	上の文章と下の文章とを比べてみましょう。	1			1			1			1		1			1
1161	6	上	４強く語りかけてきたことを考えながら読もう・しょうかい文を書こう	クラスや人物など、１つの題材についてのしょうかいを、目的と意図を考えてくわしく書いたり、簡単に書いたりしましょう。	1			1		1				1		1			1
1162	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして	ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方をくふうして、分かりやすく伝えよう。	1		1		1					1		1			1
1163	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして	ニュース番組の構成や話し方のくふうに注意しながら聞こう。	1		1		1					1		1			1
1164	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	自分たちでも学校版のニュース番組を作りましょう。	1		1								1		1		1
1165	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	身近なことがらを取り上げ、構成をくふうして、楽しい番組を作りましょう。	1		1		1					1			1		1
1166	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	生番組のような形式で、グループごとに順番に発表したり、各グループの番組をビデオにとって、全員で見たりしましょう。	1		1		1					1			1		1
1167	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	ニュース番組について調べよう	1		1		1					1			1		1
1168	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	ニュース番組はどのような内容で構成されているでしょう。		1	1		1					1			1		1
1169	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	いくつかの番組について、次のようなことを調べて話し合いましょう。	1		1		1					1			1		1
1170	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	どんなコーナーがあるのか		1	1		1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1171	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	各コーナーは、どのくらいの時間でまとめられているか		1	1		1					1			1		1
1172	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	どんな役割の人がいるか		1	1		1					1			1		1
1173	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	分かりやすく伝えたり、見る人の興味をひきつけたりするために、どんなくふうがされているか		1	1		1					1			1		1
1174	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	自分たちのニュース番組を作り、発表の練習をしよう	1		1		1					1			1		1
1175	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	ニュース番組について調べたことを生かして、自分たちでも番組を作り、発表の練習をしましょう。	1		1		1					1			1		1
1176	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	番組の構成について話し合おう	1		1		1					1			1		1
1177	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	番組の全体構成を決めよう	1		1		1					1			1		1
1178	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	何分ぐらいの番組にするのか、その中にどんなコーナーを設けるのかをまず決めましょう。	1		1		1					1			1		1
1179	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	それぞれのコーナーで取り上げる内容を考えよう	1		1		1					1			1		1
1180	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	身の回りで起こったことや、見聞きしたことの中から、それぞれのコーナーでしょうかいすることを決めましょう。	1		1		1					1			1		1
1181	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	取材に出かけよう	1		1		1					1			1		1
1182	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	番組の構成が決まったら、分担を決めて取材をしましょう。	1		1		1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1183	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	写真やビデオを使う、インタビュー形式を取り入れるなど、どのように仕立てるかを考えておき、それに応じた方法で取材しましょう。	1		1		1					1			1		1
1184	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	番組の台本を作ろう	1		1			1				1			1		1
1185	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	進行表を作ろう	1		1			1				1			1		1
1186	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	コーナーの順番や、各コーナーの時間配分を考え、全体の番組進行表を作りましょう。	1		1			1				1			1		1
1187	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	その際に、司会者、アナウンサー、キャスター、レポーターなど、実際のニュース番組を参考にして、各自の役割を考えましょう。	1		1		1					1			1		1
1188	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	進行表の時間配分に沿って台本を作ろう。	1		1			1				1			1		1
1189	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	それぞれの役割の人がいる①や、写真を映すタイミングなどが分かるように、くふうして台本を作りましょう。	1		1			1				1			1		1
1190	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	発表の練習をしよう	1		1		1					1			1		1
1191	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	台本ができたら、それをもとに、発表の練習をしましょう。	1		1		1					1			1		1
1192	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	練習するときに気をつけましょう	1		1		1					1			1	1	
1193	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	ニュース番組発表会を開こう	1		1		1					1			1		1
1194	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	グループごとに、生番組のような形式でニュース番組を発表しましょう。	1		1		1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1195	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	聞き手は、話し方や構想のくふうに注意しながら聞きましょう。	1		1		1					1			1		1
1196	6	上	５役割に応じた話し方をくふうして・ニュース番組を作ろう	ほかのグループの番組を見て、話し方や構成がくふうされていたところや、内容がおもしろかったところを教え会いましょう。	1		1		1					1			1		1
1197	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう	宮沢賢治の生がいについて書かれたことをまとめ、その理想や生き方について考えよう。	1		1				1		1			1			1
1198	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう	賢治や他の作家の作品を読み、ポスター・セッションでしょうかいしよう。	1		1		1						1		1		1
1199	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	宮沢賢治の年表を作ろう	1			1		1				1		1			1
1200	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	賢治の行動や起こった出来事を整理して、賢治の年表を作ろう。	1			1		1				1		1			1
1201	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	また、賢治の願いや理想もいっしょに表にまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
1202	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	賢治の理想や生き方について話し合いましょう	1			1	1					1			1		1
1203	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	まとめた年表を参考にしながら、賢治の理想や生き方についてどう思うか話し合ってみよう。	1			1	1					1			1		1
1204	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	賢治や他の作家の作品を読もう	1			1			1				1				1
1205	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	賢治の作品や、興味を持った他の作家の作品をいろいろ読んで見よう。	1			1			1			1		1			1
1206	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	ポスター・セッションをしよう	1			1	1						1	1		1	
1207	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	読んだ作品をしょうかいするポスターを使って発表し合おう。	1			1	1					1			1		1
1208	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	ポスターにかく内容を決めよう。	1			1			1			1		1			1
1209	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	ポスターを作って、説明の練習をしよう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1210	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	①で決めた内容を文章や絵で表して、ポスターを作ろう。	1			1		1				1		1			1
1211	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	ポスターができたら、内容が分かりやすく伝わるように、説明の練習をしよう。	1			1	1					1		1			1
1212	6	下	1作家と作品をかかわらせて読もう・てびき	ポスターを使って発表し合おう。	1			1	1					1			1		1
1213	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	６年生の作った俳句を読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
1214	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	俳句を作ろう	1			1		1				1		1			1
1215	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	季節の変わりめや自分たちの毎日の生活をふり返り、季節感があると思う言葉を集めてノートに書き出してみましょう。	1			1		1				1		1			1
1216	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	また、毎日の生活の中で気づいたこと、はっとしたこと、感動したことなどを短い言葉でメモしましょう。	1			1		1				1		1			1
1217	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	集めた言葉や、気づいたこと、発見したことなどをもとに「5・7・5」のリズムを生かして俳句を作りましょう。	1			1		1				1		1			1
1218	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	作った俳句は、おたがいに読み合い、感想を話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
1219	6	下	１作家と作品をかかわらせて読もう・感動をリズムにのせて	歳時記も参考にしてみよう。	1			1			1		1			1		1	
1220	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・言葉の意味を追って	国語辞典は、どのようにしてできるかしっていますか。		1	1					1	1			1			1
1221	6	下	２いろいろな言葉について調べよう	文章の構成に注意して読み辞典作りについて述べられていることを読み取ろう。	1		1				1		1			1			1
1222	6	下	２いろいろな言葉について調べよう	身近な生活にかかわる言葉を集めて、辞典を作ろう。	1		1					1		1		1			1
1223	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	次のことを整理しよう。	1			1				1	1			1			1
1224	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	国語辞典とはどのようなものか。		1		1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1225	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	この文章を読んで、辞典作りについて分かったことをまとめよう。	1			1				1	1			1			1
1226	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	国語辞典は、どのような作業の過程を経て出版されるのか。		1		1			1		1			1			1
1227	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典を作るときに大切なことや難しいことはどんなことか。		1		1			1		1			1			1
1228	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典を作ろう	1			1				1			1		1	1	
1229	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典作りにちょう戦しよう	1			1				1		1			1		1
1230	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	身近な生活にかかわる言葉を集めて説明した辞典作りにちょう戦してみよう。	1			1				1		1			1		1
1231	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	グループに分かれて、学校生活やふだんの暮らしの中から、どんな言葉を集めて辞典にまとめるか、話し合って決めよう。	1			1	1					1			1		1
1232	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	言葉を説明する観点を考えよう	1			1				1		1			1		1
1233	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	どんな辞典を作るか決まったら、グループで分担して言葉を集めよう。	1			1				1		1			1		1
1234	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	そして、集めた言葉を整理して、どの言葉を辞典に取り上げるか話し合って決めましょう。	1			1				1		1			1		1
1235	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	取り上げる言葉が決まったら、それぞれの言葉は、どんな観点から説明する必要があるか考えよう。	1			1				1		1			1	1	
1236	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	左に示した「くまで」と「ふく」の例を参考にして考えてみよう。	1			1				1		1			1	1	
1237	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典に取り上げる言葉を説明しよう	1			1	1					1			1		1
1238	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典を使ってしょうかいし合おう	1			1	1					1			1		1
1239	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・てびき	辞典が完成したら、目次や表紙なども付けて、おたがいに読み合おう。	1			1			1			1			1		1
1240	6	下	2いろいろな言葉について調べよう・てびき	そして感想を伝え合おう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1241	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・言葉の由来に関心を持とう	身近な外来語について、どこの国の言葉だったか調べてみましょう。	1			1				1	1			1			1
1242	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・言葉の広場	それぞれの組の言葉を作って、意味のちがいを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
1243	6	下	２いろいろな言葉について調べよう・言葉の広場	線を引いた言葉の使い方が、まちがっている文を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1244	6	下	３構成をくふうして書こう	書くことがらを整理し、構成をくふうして自分の考えを書こう。	1		1			1				1		1			1
1245	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	生活の中の言葉の使い方をふり返ってみましょう。	1		1					1		1		1			1
1246	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	取り上げる問題を決めよう	1		1			1				1			1		1
1247	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	グループで話し合い、それぞれの問題を見つけましょう。	1		1			1				1			1		1
1248	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	いろいろな方法で取材し、メモを書こう	1		1			1				1			1		1
1249	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	自分の考えをはっきりさせて、構成メモを書こう	1		1			1				1		1			1
1250	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	取材メモを見直して、取り上げた問題に対する自分の考えをはっきりさせましょう。	1		1			1				1		1			1
1251	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	構成をくふうしましょう	1		1			1				1		1		1	
1252	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	意見文を書こう	1		1			1				1		1		1	
1253	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	構成メモをもとに、自分の意見がはっきり読み手に伝わる文章をかきましょう。	1		1			1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1254	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	書き上げた文章は、必ず見直しましょう。	1		1			1				1		1			1
1255	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	意見を伝え合おう	1		1		1					1			1		1
1256	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	書き上げた意見文を、友達と交かんして読み合いましょう。	1		1				1			1			1		1
1257	6	下	３構成をくふうして書こう・「わたしの意見」を書こう	友達の文章を読むときは、構成の良いところや表現がくふうされているところに気をつけましょう。	1		1			1				1			1		1
1258	6	下	３構成をくふうして書こう・文末の言い方に目を向けよう	また、話すときは自分の判断の仕方が適切に表せるように、文末の言い方に注意しましょう。	1			1	1				1			1			1
1259	6	下	３構成をくふうして書こう・文末の言い方に目を向けよう	２つの文をそれぞれ比べて、判断の仕方がどうちがうか話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
1260	6	下	３構成をくふうして書こう・文末の言い方に目を向けよう	次の「」のような場面では、文末がどのような言い方になるか、話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
1261	6	下	3構成をくふうして書こう・言葉の広場	□に入る言葉を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1262	6	下	3構成をくふうして書こう・言葉の広場	□に入る言葉を選びましょう。	1			1				1	1			1			1
1263	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう	文章にしょうかいされている内容から、筆者の考えを読み取ろう。	1		1				1		1			1			1
1264	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう	文章を読んで考えたことをもとに、「未来」について討論会をしよう。	1		1		1					1			1		1
1265	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・百年前の未来予測	いったいどうやって２時間半という数字を考え出したのでしょう		1	1				1		1			1			1
1266	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・百年前の未来予測	１０年後，１００年後わたしたちはどんな生活をしているのでしょう。		1	1				1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1267	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・百年前の未来予測	１００年前の人が予測したように，わたしたちの生きていく，そしてわたしたちがつくりあげていく未来について考えよう。	1		1							1		1			1
1268	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	予測記事のしょうかいとして挙げられているそれぞれの内容は、どういう分野に関することか、整理してみよう。	1			1					1			1			1
1269	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	科学技術が進歩し、生活が便利になるとよもに起こってきた問題について、筆者はどんな例を挙げ、どんな考えを述べているか。		1		1			1		1			1			1
1270	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	５０年後、１００年後のわたしたちの生活の様子や、できることを予測してみよう。	1			1						1		1			1
1271	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	また、それぞれにともなって起きる問題も考えてみよう。	1			1						1		1		1	
1272	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	「衣・食・住」「学校」「仕事」、また、「宇宙」「自然」などの言葉を手がかりに、それぞれの分野ごとに考え、カードに書き出してみよう。	1			1		1				1		1			1
1273	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	「未来」についての討論会を開こう	1			1	1						1		1		1
1274	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	討論会の進め方を知り、計画を立てよう	1			1	1					1			1		1
1275	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	未来の生活について予測したことをもとに、分野ごとの討論会を行う計画を立てよう。	1			1	1					1			1		1
1276	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	討論会と司会者を決めよう	1			1	1					1			1		1
1277	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	例えば、次のようにして、分野ごとの討論会と司会者を決めよう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1278	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	分野ごとに討論会をしよう	1			1	1					1			1		1
1279	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	下の例を参考にして、分野ごとに討論会を開こう。	1			1	1					1			1		1
1280	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	討論では、参加者も、討論者の話をよく聞き、質問をしたり、自分が書いたカードの内容をもとに意見を述べたりして、積極的に討論に加わろう。	1			1	1					1			1		1
1281	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・てびき	話し合うときに注意しましょう	1			1	1					1			1	1	
1282	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・文の組み立てに目を向けよう	線を引いた言葉が、どの言葉を修飾しているかに注意して文の意味のちがいを話し合いましょう。	1			1	1				1			1			1
1283	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・言葉の広場	組になる言葉を選んで、□に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
1284	6	下	４わたしたちの「未来」について討論しよう・言葉の広場	経済に関係する言葉を集めましょう。	1			1				1	1			1			1
1285	6	下	５人物の生き方を考えよう	物語を読んで、登場人物の生き方を中心に感想をまとめましょう。	1		1				1		1			1			1
1286	6	下	５人物の生き方を考えよう	読み取ったことを生かし、方法を選んで学習しよう。	1		1				1			1		1		1	
1287	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	物語の登場人物の行き方を考えながら読もう	1			1			1			1		1			1
1288	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	「海」は、登場するそれぞれの人物にとって、どのような意味を持っているのか考えよう。	1			1			1		1			1			1
1289	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	「瀬の主」に対する太一の考えは、どのように変化しただろう。		1		1			1		1			1			1
1290	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	ノートにまとめよう。	1			1		1			1			1			1
1291	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	「海のいのち」を読んで、人物の生き方を中心に感想をまとめよう。	1			1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1292	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	まとめた感想を発表しよう。	1			1	1				1			1		1	
1293	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	学習方法を選ぼう	1			1						1		1		1	
1294	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	「海のいのち」を読んで、ポスターを作ろう。	1			1		1				1		1			1
1295	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	ポスターには、必ず、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉にまとめて、書き入れるようにしよう。	1			1		1				1		1			1
1296	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	このほか、次のようなことを参考にして、ポスターに書く内容を決めよう。	1			1		1				1		1			1
1297	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	ポスター・セッションで説明する練習をしよう。	1			1	1					1		1			1
1298	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	説明する内容をノートにまとめておこう。	1			1		1				1		1			1
1299	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	自分に最も強く語りかけてきたことを中心に、説明するようにしよう。	1			1	1					1		1			1
1300	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	説明役と聞き役とに分かれて、ポスター・セッションをしよう。	1			1	1					1			1		1
1301	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	自分に最も強く語りかけてきたことについて、友達と自分の感じ方のちがいに注意しながら、友達の発表を聞こう。	1			1	1					1		1			1
1302	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	発表を聞いた後は、説明後に感想を伝えるようにしよう。	1			1	1					1		1			1
1303	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	グループごとにテーマを決めて話し合おう。	1			1	1					1			1		1
1304	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	話し合ったことをふまえて、自分に最も強く語りかけてきたことをまとめよう。	1			1						1		1			1
1305	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	そのまとめをもとに、さらに、グループで話し合おう。	1			1	1					1			1		1
1306	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	「海のいのち」を読んで、自分に最も強く語りかけてきたことをノートにまとめよう。	1			1		1				1		1			1
1307	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	最も強く心に残った場面を選び、「語り」の練習をしよう。	1			1	1					1		1			1
1308	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	場面のようすや人物の気持ちを考えながら、話す速さや声の大きさなどわくふうしよう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1309	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	自分に最も強く語りかけてきたことについて話した後、「語り」を発表しよう。	1			1	1					1			1		1
1310	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	友達の発表の良いところを見つけよう。	1			1				1		1			1		1
1311	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	同じ作者の本を読もう	1			1			1			1		1		1	
1312	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	立松和平の本を読もう	1			1			1			1		1		1	
1313	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	これらの作品を読んで見よう。	1			1			1			1		1		1	
1314	6	下	５人物の生き方を考えよう・てびき	作品を読んだら、もう1度「海のいのち」を読んでみよう。	1			1			1			1		1			1
1315	6	下	５人物の生き方を考えよう・熟語の構成について考えよう	意味を考えながら、上の例のように熟語の構成を図で示しましょう。	1			1		1			1			1			1
1316	6	下	５人物の生き方を考えよう・言葉の広場	１３３・１３４ページの「言葉の世界」を見て、□に言葉を入れましょう。	1			1				1	1			1			1
1317	6	下	５人物の生き方を考えよう・言葉の広場	「言葉の世界」を見て、組になる言葉を□に入れましょう。	1			1				1	1			1			1
1318	6	下	５人物の生き方を考えよう・言葉の広場	それぞれの場所から連想するものを挙げましょう。	1			1				1	1			1			1
1319	6	下	６さまざまな表現方法を生かして	これまでに学習した表現方法を生かして、思い出や将来への願いを書こう。	1		1			1									
1320	6	下	６さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	どんな思い出がありますか。		1	1												
1321	6	下	６さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	どんな夢がありますか。		1	1												
1322	6	下	６さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	６年間の小学校生活をふくめたこれまでの１２年間、あなたは、どんな人と出会い、どんな出来事を経験してきたでしょうか。		1	1								1	1			1
1323	6	下	６さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	また、１０年後、２０年後のあなたはどのように生きているのでしょうか。		1	1								1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1324	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	自分の成長を確かめながらこれまでの出来事をふり返り、また、これからの自分の将来の姿にも思いをはせ、それを文章に表現してみましょう。	1		1			1					1	1			1
1325	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	調べる、人に聞く、思い起こす、想像するなど、さまざまな方法で材料を集め、文集や新聞の形にまとめて、自分たちの「未来へのメッセージ」を作りましょう。	1		1			1				1		1			1
1326	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	文集か新聞か、また、クラスやグループで作るか個人で作るかは考えましょう。	1		1							1		1			1
1327	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	次のような項目を参考にして、題材や記事の内容を考えましょう。	1		1			1				1		1			1
1328	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	内容に応じた書き方もくふうしましょう。	1		1			1				1		1			1
1329	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	メッセージを伝え合おう	1		1		1					1			1		1
1330	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	まとめた文集や新聞を友達や家の人に見てもらい、感想をもらいましょう。	1		1			1				1			1		1
1331	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	読んでもらうときには、感謝の気持ちを伝える言葉をそえましょう。	1		1			1				1		1			1
1332	6	下	6さまざまな表現方法を生かして・「未来へのメッセージ」を書こう	また、文集や新聞にまとめるときに協力してくださった人がいたら、作品が完成した後、報告とお礼の手紙を書くようにしましょう。	1		1			1				1		1			1
				total	1160	172	254	1078	320	336	526	91	277	923	122	934	388	207	1119

教科書分析（大阪書籍・小学校）

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	上	あいうえおの　うた	はっきりと　よもう。	1		1				1		1		1			
2	1	上	あいうえおの　うた	たてに　よんで　みよう。	1		1				1				1			
3	1	上	あいうえおの　うた	よこに　よんで　みよう。	1		1				1				1			
4	1	上	だいじな　たまご	つばめは、どうして　のきしたに　たまごを　うむのでしょう。		1	1					1						1
5	1	上	だいじな　たまご	いしがめは、　どうして　ひあたりの　よいところに　たまごを　うむのでしょう。		1	1					1						1
6	1	上	だいじな　たまご	あげはは、どうして　みかんの　きの　はに　たまごを　うむのでしょう。		1	1					1						1
7	1	上	えにっきを　かこう	おもしろかった　ことや　たのしかった　ことを、えと　ぶんに　かきましょう。	1		1			1				1	1		1	
8	1	上	なつやすみの　こと	なつやすみに，どんな　ことを　しましたか。		1	1		1							1	1	
9	1	上	なつやすみの　こと	ともだちに　おしえて　あげましょう。	1		1		1					1		1	1	
10	1	上	なつやすみの　こと	ともだちが、なにを　していたか、おしえて　もらいましょう。	1		1		1					1		1	1	
11	1	上	なつやすみの　こと	みなさんも、ともだちと　はなしあって　みましょう。	1			1	1					1		1	1	
12	1	上	なつやすみの　こと	できるだけ　たくさんの　ことを、たずねたり　こたえたり　しましょう。	1	1		1	1					1		1	1	
13	1	上	なつやすみの　こと	たくさん　たずねたり　こたえたり　することが、できましたか。		1		1	1					1		1	1	
14	1	上	なつやすみの　こと	はなして　いる　ひとの　ほうを　みて、ききましょう。	1			1	1							1		
15	1	上	なつやすみの　こと	きく　ひとの　ほうを　みて、はなしましょう。	1			1	1							1		
16	1	上	いろいろな　かぞえかた	みの　まわりに　ある、いろいろな　ものを　かぞえて　みましょう。	1			1					1					1
17	1	上	一ねんせいの　ほんだな	こえに　だして　よんで　みましょう。	1			1			1			1	1			

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
18	1	上	こえを　だそう	口を　しっかり　あけて、はっきり　よもう。	1			1			1		1		1			
19	1	上	こえを　だそう	よむ　まえに　れんしゅうしましょう。	1			1			1			1	1			
20	1	上	こえを　だそう	口の　かたちに　きを　つけて、よみましょう。	1			1			1		1		1			
21	1	上	こえを　だそう	おおきな　こえで　よみましょう。	1			1			1		1		1			
22	1	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										
23	1	下	もくじ	たいせつに　つかいましょう。	1			1										
24	1	下	もくじ	きょうみが　あれば、じぶんで　とりくんで　みましょう。	1			1										
25		下	この　きょうかしょの　つかいかた	さいしょに、なにを　、まなぶのかをたしかめよう。	1			1										
26	1	下	この　きょうかしょの　つかいかた	だいじな　ことは、こんな　ふうに　かかれているから、ちゅういしよう。	1			1										
27	1	下	この　きょうかしょの　つかいかた	いちばん　うしろに　ある　ページは、じぶんで、がくしゅうしよう。	1			1										
28	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	おはなしを　よんで、どうぶつたちの　したことを　はなしあいましょう。	1			1										
29	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	だれが、どう　したかに　きを　つけて、こえに　だして　よみましょう。	1			1										
30	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	森の　くまじいさんは、さけを　どう　しましたか。		1		1										
31	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	はなしあいましょう。	1			1										
32	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	ほかの　どうぶつたちは、どう　しましたか。		1		1										
33	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	ノートに　かきましょう。	1			1										
34	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	どうぶつたちが　てがみと　マフラーを　とどけたのは　なぜですか。		1		1										
35	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	とどけた　どうぶつに　なって、はなしましょう。	1			1										
36	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	くまじいさんに　なって、へんじの　てがみをかいて、　はっぴょうしましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
37	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	おはなしを　よむ　ときは、だれが　どんなことを　したのかを　かんがえて　よもう。	1			1										
38	1	下	はんぶんずつ　すこしずつ	でて　きた　どうぶつたちの　した　ことがわかりましたか。		1		1										
39	1	下	おしえて　あげたい　こと	みの　まわりの　ことや、じぶんが　した　ことで、学校の　みんなが　しらない　ことは、ありませんか。		1	1											
40	1	下	おしえて　あげたい　こと	よく　おもいだして、さくぶんに　かき、ともだちや　先生に　よんで　もらいましょう。	1		1											
41	1	下	おしえて　あげたい　こと	かく　ことを　みつけよう。	1			1										
42	1	下	おしえて　あげたい　こと	よく　おもいだして　かこう。	1			1										
43	1	下	おしえて　あげたい　こと	みなさんも、きくつぎさんのように、かいて　みましょう。	1			1										
44	1	下	おしえて　あげたい　こと	かく　ことを　みつけて、どんな　ことが　あったか、よく　おもいだしましょう。	1			1										
45	1	下	おしえて　あげたい　こと	かく　ことを　みつける　ことが　できましたか。		1		1										
46	1	下	くらべて　せつめいしよう	二つの　ものの、おなじ　ところや　ちがった　ところを　みつけて、せつめいして　みましょう。	1		1											
47	1	下	くらべて　せつめいしよう	みなさんも、「いぬと　ねこ」　「トラックと　バス」などで、おなじ　ところや　ちがった　ところを　みつけて、せつめいして　みましょう。	1			1										
48	1	下	よう日の　よみかた	きょうは、なん年　なん月　なん日　なんよう日ですか。		1		1										
49	1	下	たねの　たび	どんな　ふうに　たびを　するのでしょうか。		1	1											
50	1	下	たねの　たび	草や　木の　たねが、どのように　たびを　するのかを　よみましょう。	1			1										
51	1	下	たねの　たび	といかけて　いる　ぶんを　みつけて、ノートに　かきうつしましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
52	1	下	たねの　たび	「□を　みて　ください。」という　ぶんに　きを　つけて　よみとり、つぎの　ことを　はなしあいましょう。	1			1										
53	1	下	たねの　たび	どんな　草や　木の　ことが　かかれて　いますか。		1		1										
54	1	下	たねの　たび	それぞれの　草や　木の　たねは、どこに　ありますか。		1		1										
55	1	下	たねの　たび	それぞれの　たねは、そんな　たびの　しかたを　しますか。		1		1										
56	1	下	たねの　たび	「おおくの　たねは、たびを　しやすい　ふくを　きて」とかかれて　いますが、三つの　たねは、どんな　ふくを　きて　いますか。		1		1										
57	1	下	たねの　たび	えを　かいて、せつめいしましょう。	1			1										
58	1	下	たねの　たび	せつめいの　ぶんを　よむ　ときは、なにが　どう　したかに　きを　つけよう。	1			1										
59	1	下	たねの　たび	たねの　たびの　しかたが　わかりましたか。		1		1										
60	1	下	かずの　よみかた	よんで　みましょう。	1			1										
61	1	下	かずの　よみかた	かぞえて　みましょう。	1			1										
62	1	下	天に　のぼった　おけや	おもしろい　ところを　みつけて、たのしく　よみましょう。	1			1										
63	1	下	天に　のぼった　おけや	おはなしの　すじの　おもしろい　ところを　みつけながら、こえに　出して　よみましょう。	1			1										
64	1	下	天に　のぼった　おけや	ともだちと　やくわりを　きめて　よみましょう。	1			1										
65	1	下	天に　のぼった　おけや	「トーンカッカ」「ピイピイ　カラカラ」などの　いいかたを、いろいろな　よみかたで　たのしみましょう。	1			1										
66	1	下	天に　のぼった　おけや	おもしろいと　おもった　ところを、えに　かいて　はっぴょうしましょう。	1			1										
67	1	下	天に　のぼった　おけや	しって　いる　ほかの　むかしばなしを、ともだちと　おしえあいしましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
68	1	下	天に　のぼった　おけや	としょかんで、むかしばなしの　ほんを　えらんで　よみましょう。	1			1										
69	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	学校の　としょかんで、おもしろそうな　本をたくさん　さがして　よんで　みましょう。	1			1										
70	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	よんだ　日と、本と、かいた　人を、「おはなしノート」に　かいて　おきましょう。	1			1										
71	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	おもしろかった　本の　すきな　ところや、おもった　ことを、えと　文に　して　かいて　おきましょう。	1			1										
72	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	いちばん　おもしろいと　おもった　本を　えらんで、ともだちと　おしえっこしましょう。	1		1											
73	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	みなさんも、おもしろかった　本を　かみ人ぎょうで　おしえっこしましょう。	1			1										
74	1	下	おはなしを　おしえっこしよう	おはなしを　おしえっこする　ことが　できましたか。		1		1										
75	1	下	かたかな　1	かたかなを　よんだり　かいたり　して　みましょう。	1			1										
76	1	下	なぞなぞで　あそぼう	つぎの　なぞなぞの　こたえが　わかりますか。		1		1										
77	1	下	なぞなぞで　あそぼう	なぞなぞを　つくって　みましょう。	1			1										
78	1	下	なぞなぞで　あそぼう	なぞなぞを　つくったら　みんなで　あそびましょう。	1			1										
79	1	下	なぞなぞで　あそぼう	なぞなぞを　つくって　あそぶ　ことが　できましたか。		1		1										
80	1	下	みんなの　し	はなしかけるように　かきましょう。	1			1										
81	1	下	かたかな　2	よんで　みましょう。	1			1										
82	1	下	かたかな　2	かきあらわしかたを　くらべて　みましょう。	1			1										
83	1	下	よんで　つくって　みよう	いままでに、じぶんで　おもちゃを　つくったことが　ありますか。		1		1										
84	1	下	よんで　つくって　みよう	せつめいを　よく　よんで、かみコップ人ぎょうをつくり、みんなで　たのしく　あそびましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
85	1	下	よんで　つくって　みよう	よういする　ものを　よみとりましょう。	1			1										
86	1	下	よんで　つくって　みよう	じゅんじょを　あらわす　ことばに　気をつけて、つくりかたを　よみとりましょう。	1			1										
87	1	下	よんで　つくって　みよう	つくりかたが　わかったら、じぶんで　つくりましょう。	1			1										
88	1	下	よんで　つくって　みよう	うまく　できなかった　ときは、もう　一どよんで、やりなおしましょう。	1			1										
89	1	下	よんで　つくって　みよう	（□に　○を　つけましょう。）	1			1										
90	1	下	よんで　つくって　みよう	ものの　つくりかたの　かいて　ある、ほかの　本を　よんで、みんなに　はっぴょうしましょう。	1			1										
91	1	下	かみコップ人ぎょう	かみコップで、人ぎょうを　つくりましょう。	1		1											
92	1	下	かみコップ人ぎょう	どうぶつが　はなしたり　うたったり　して　いるようなかみコップ人ぎょうを　つくって　あそびましょう。	1		1											
93	1	下	かみコップ人ぎょう	できあがったら、人ぎょうげきを　したり　うたを　うたったりして、あそびましょう。	1		1											
94	1	下	かみコップ人ぎょう	かみコップ人ぎょうを　つくる　ことが　できましたか。		1		1										
95	1	下	かん字さがし	さがして　みましょう。	1		1											
96	1	下	かん字さがし	かん字で　かける　ものを、えの　なかからさがして、ともだちと　はなしたり、ノートにかいたり　して　みましょう。	1		1											
97	1	下	たのしい　こうえん	みんなと　あそびましょう。	1		1											
98	1	下	たのしい　こうえん	こどもたちは、どんな　あそびを　して　いますか。		1	1											
99	1	下	たのしい　こうえん	こどもたちに　名まえを　つけて、それぞれのこどもに　なって、あそんで　みましょう。	1		1											
100	1	下	たのしい　こうえん	ほかに、どんな　人たちが　いるでしょう。	1		1											
101	1	下	たのしい　こうえん	どんな　ことを　したり、はなしたり　して　いるでしょう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
102	1	下	たのしい　こうえん	みなさんも　なかまに　入って、いっしょにあそびましょう。	1		1											
103	1	下	じぶんの　力で　よもう	みなさん　ひとりひとりに　どんな　力が　ついたか　たしかめるために、つぎの　「ぴかぴかの　ウーフ」を、じぶんの　力で　学しゅうしましょう。	1		1											
104	1	下	じぶんの　力で　よもう	おはなしの　はじめから　おわりまで、はっきりした　こえで　よみましょう。	1			1										
105	1	下	じぶんの　力で　よもう	ウーフは、だれと　出あいましたか。		1		1										
106	1	下	じぶんの　力で　よもう	また、その　とき　どう　しましたか。		1		1										
107	1	下	じぶんの　力で　よもう	じゅんばんに　ノートに　かきましょう。	1			1										
108	1	下	じぶんの　力で　よもう	おはなしの　おもしろい　ところを　見つけて、はなしましょう。	1			1										
109	1	下	ぴかぴかの　ウーフ	「ぴかぴかの　ウーフ」の　学しゅうを　たしかめましょう。	1			1										
110	1	下	ぴかぴかの　ウーフ	できたら、☆に　いろを　ぬりましょう。	1			1										
111	1	下	ぴかぴかの　ウーフ	一年かんの　学しゅうで、すきに　なった　ことを　かきましょう。	1			1										
112	1	下	かきうつそう	すきな　うたや　しや　おはなしを　かきうつしましょう。	1			1										
113	1	下	かきうつそう	字を　まちがえないように、さいごまで　ていねいに　かきましょう。	1			1										
114	1	下	かきうつそう	どんな　ことを　うたった　うたなのかを、かんがえましょう。	1			1										
115	1	下	かきうつそう	こえに　出して　たのしく　よみながら、おぼえましょう。	1			1										
116	1	下	こえの　大きさ	こえの　大きさに　気を　つけながら、はなしましょう。	1			1										
117	1	下	こえの　大きさ	①の　ばめんで、④の　こえの　大きさで　はなしたら　どう　なるか、かんがえて　みましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
118	1	下	こえの　大きさ	ふだんの　せいかつの　なかでも、こえの　大きさを　かんがえて、はなす　ように　しましょう。	1			1										
119	1	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										
120	2	上	表紙	たいせつに　つかいましょう。	1			1							1			
121	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	下の　それぞれの　学しゅうを　おえた　ときに、いろを　ぬろう。	1			1						1	1			1
122	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	めあてを　もつ　ことが　できましたか。		1		1						1	1		1	
123	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	じんぶつの　した　ことに　気を　つけて　よめましたか。		1		1			1		1		1			
124	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	できごとの　じゅんばんが　わかるように　かけましたか。		1		1		1			1		1			
125	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	せつめいの　じゅんじょに　気を　つけて　よめましたか。		1		1			1		1		1			
126	2	上	学しゅうの　きろくを　のこそう	たのしく　話を　つづける　ことが　できましたか。		1		1	1				1			1	1	
127	2	上	一年で、学しゅうした　こと	学しゅうする　とき、このページを　ひらいて　おいて　さんこうに　しよう。	1			1										
128	2	上	この　きょうかしょの　つかいかた	『小学こくご　２上』では、「はなす　こと・きく　こと」「かく　こと」「よむ　こと」の、だいじな　ことを学びましょう。	1			1										
129	2	上	この　きょうかしょの　つかいかた	まず、なにを学ぶのかをたしかめよう。	1			1							1			1
130	2	上	この　きょうかしょの　つかいかた	だいじな　ことに　気をつけて　学しゅうを　すすめよう。	1			1							1			1
131	2	上	この　きょうかしょの　つかいかた	さいごに、学んだ　ことを　ふりかえって、はじめの　おりこみに　きろくして　おこう。	1			1		1					1			1
132	2	上	たけのこ　ぐん！	こえに　出して　よみましょう。	1			1	1				1		1		1	
133	2	上	大きな　キャベツ	先生に　おはなしを　よんで　もらって、ききましょう。	1			1	1					1		1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
134	2	上	大きな　キャベツ	おはなしを　きいて　おもった　ことを　はなしましょう。	1			1	1					1		1	1	
135	2	上	お話の　はこを　作ろう	いろいろな　ことを　書きましょう。	1			1		1				1	1		1	
136	2	上	お話の　はこを　作ろう	お話の　たねを　たくさん　あつめて、「お話の箱」に　入れましょう。	1		1											
137	2	上	お話の　はこを　作ろう	お話の　はこから　一まいずつ　カードをとり出して、たずねたい　ことを　その　人にあてて　書きましょう。	1		1			1				1		1	1	
138	2	上	お話の　はこを　作ろう	おたずねの　カードを　もとに、いろいろ　おもい出して　作文に　書いて　みましょう。	1		1			1					1		1	
139	2	上	お話の　はこを　作ろう	「たけのこ　ぐん！」「大きな　キャベツ」「お話の　はこを　作ろう」の学しゅうで、はんや　みんなで　した　ことに　○を　つけましょう。	1			1										1
140	2	上	お話の　はこを　作ろう	はじめの　折り込み「一年で　学しゅうしたこと」を　見て、いまの　じぶんの　国語の力を　たしかめましょう。	1			1					1		1			
141	2	上	お話の　はこを　作ろう	下のように　いろを　ぬりましょう。	1			1							1			1
142	2	上	お話の　はこを　作ろう	国語の学しゅうで、どんなことが　じょうずになりたいか　話しあいましょう。	1			1	1					1		1	1	
143	2	上	お話の　はこを　作ろう	これから　一年かん、あなたが　いちばん　がんばりたい　ことを　書いて　おきましょう。	1			1		1				1	1		1	
144	2	上	お話の　はこを　作ろう	書けたら、はじめの　おりこみに、　学しゅうの　きろくを　のこそう。	1			1							1		1	
145	2	上	わたしの　すきな　ことを　話そう	学きゅうの　みんなに、「わたしの　すきなこと」を　話しましょう。	1			1	1							1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
146	2	上	わたしの　すきな　ことを　話そう	話す　ときは、聞く　人に　聞こえる　声で、じゅんじょよく、ていねいに　話しましょう。	1			1	1				1			1		
147	2	上	わたしの　すきな　ことを　話そう	聞く　ときは、話を　さいごまで　しっかり聞きましょう。	1			1	1				1			1		
148	2	上	お手紙	じんぶつ（かえるくんや　がまくんなど）のした　ことを　よみましょう。	1			1			1				1			
149	2	上	お手紙	かえるくんや　がまくん、かたつむりくんに　なった　つもりで、　声に　出して　よみましょう。	1			1			1		1		1			
150	2	上	お手紙	１７ページと　２５ページの　かえるくんとがまくんの　えを　見ながら、その　ときのようすを　話しあいましょう。	1			1	1							1	1	
151	2	上	お手紙	つぎの　ことを　かんがえて　ノートに　書き、話しあいましょう。	1			1	1							1		
152	2	上	お手紙	この　お話で　おもしろいなあと　思ったところを　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1		1	1	
153	2	上	お手紙	お話を　よむ　ときは、じんぶつの　した　ことや言った　ことに　気を　つけて　よもう。	1			1			1		1		1			
154	2	上	お手紙	じんぶつの　した　ことに　気を　つけて　よめましたか。		1		1			1		1		1			
155	2	上	お手紙	学しゅうの　きろくを　のこそう。	1			1							1			
156	2	上	とらと　ふえふき	このような　おもしろい　お話を　たくさん見つけて、　よんで　みましょう。	1			1			1			1	1			
157	2	上	とらと　ふえふき	「ちじみました」と　書かないように　気を　つけよう。	1			1		1		1			1			1
158	2	上	文を　作ろう	□の　中に、あとの　■の　中の　ことばを入れて、　文を　作りましょう。	1		1			1			1					1
159	2	上	文を　作ろう	つぎの　□の　中に、あとの　■の　中の　ことばを　入れて　文を　作りましょう。	1		1			1		1						1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
160	2	上	文を　作ろう	つぎの　上の　ことばと　下の　ことばを　くみ合わせて、文を　作りましょう。	1		1			1		1						1
161	2	上	学校での　できごと	しらせたい　ことを　見つけて、作文に　書くためには、どう　すれば　いいでしょうか。		1		1		1							1	
162	2	上	学校での　できごと	こころに　のこって　いる　ことから、書きたい　ことを　きめよう。	1			1							1			
163	2	上	学校での　できごと	書きたい　ことの　じゅんじょを　かんがえよう。	1			1					1		1			
164	2	上	学校での　できごと	小林さんのように、学校での　できごとを、じゅんじょよく　作文に　書きましょう。	1			1		1			1		1			
165	2	上	学校での　できごと	書きおわったら、よみかえしたり、ともだちによんで　もらったり　して、わかりやすく　書き直しましょう。	1			1		1			1		1			
166	2	上	学校での　できごと	できあがった　作文は、声に　出して　よみ、家の　人に　聞いて　もらいましょう。	1			1	1					1		1		
167	2	上	学校での　できごと	できごとの　じゅんばんが　わかるようにかけましたか。		1		1		1			1		1			
168	2	上	学校での　できごと	学しゅうの　きろくを　のこそう。	1			1							1			
169	2	上	かん字の　組み合わせゲーム	かん字カードを　作り、形のにた　かん字を組み合わせるゲームを　して　みましょう。	1		1							1		1		
170	2	上	かん字の　組み合わせゲーム	合計で　何まい　あつめられるか、みんなできょうそうしましょう。	1		1							1		1		
171	2	上	じゅんじょを　かんがえて　せつめいしよう	みなさんも、この　地図を　見ながら、石川さんの家からいろいろな　ところへ　行く　道じゅんを、書いたり　話したり　して、せつめいして　みましょう。	1			1					1			1	1	
172	2	上	じゅんじょを　かんがえて　せつめいしよう	おなじように、竹中さんの　家からも　せつめいして　みましょう。	1			1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
173	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	どのように　して　たまごを　うむのでしょうか。		1	1					1						1
174	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	なぜ、そんなに　たかい　ところまで　行くのでしょう。		1	1					1						1
175	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	アカウミガメの　する　ことを、じゅんじょに気を　つけて　よみましょう。	1			1			1		1		1			1
176	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	アカウミガメの　お母さんが　することを　かんがえながら、はっきりした　声で　よみましょう。	1			1			1		1		1			
177	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	もんだいを　出している　文を　見つけて、ノートに　書きましょう。	1			1		1			1		1			1
178	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	アカウミガメの　お母さんが　たまごを　うむ　ために　する　ことを、ノートに　書きましょう。	1			1		1					1			1
179	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	その　一つ一つに　ついて、わけを　話しあいましょう。	1			1	1					1		1	1	
180	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	じゅんじょを　あらわす　ことばに　気をつけて　よみましょう。	1			1			1		1		1			
181	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	アカウミガメの　お母さんの　しゃしんを　見て、思ったことや　かんがえた　ことを　話しあいましょう。	1			1	1					1		1	1	
182	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	せつめい文を　よむ　ときは、もんだいと　その　こたえや、書かれて　いる　じゅんじょに　気を　つけよう。	1			1			1		1		1			
183	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	せつめいの　じゅんじょに　気を　つけて　よめましたか。		1		1			1		1		1			
184	2	上	すなはまに　上がった　アカウミガメ	学しゅうの　きろくを　のこそう。	1			1							1			
185	2	上	はしの　話	このように、いろいろな　ことを　文や　しゃしんで　せつめいして　いる　本を　さがして、よんで　みましょう。	1			1			1			1	1			
186	2	上	はしの　話	むかしから　今まで、どんな　はしが　作られて　きたのでしょうか。		1	1					1						1
187	2	上	本の　せかいを　たのしもう	そして、本の　名前と　おもしろかった　ところを「お話カード」に　記ろくして　おきましょう。	1		1			1				1	1			
188	2	上	本の　せかいを　たのしもう	本の　名前や、書いた　人の　名前で　さがそう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
189	2	上	みんなの　詩	「こんな　ことが　あったよ。」と　いう　気もちで　かきましょう。	1			1		1					1		1	
190	2	上	いろいろな　人に　なって	よく　思い出し、いろいろな　人に　なったつもりで、会話を　してみましょう。	1		1		1					1		1		
191	2	上	いろいろな　人に　なって	あいてに　聞こえる　声で、じゅんじょよく、ていねいに　話そう。	1			1	1				1			1		
192	2	上	いろいろな　人に　なって	あいての　話を、さいごまで　しっかり　聞こう。	1			1	1				1			1		
193	2	上	いろいろな　人に　なって	田中さんたちのように、いろいろな　人に　なって、会話をして　みましょう。	1			1	1					1		1		
194	2	上	いろいろな　人に　なって	会話が　つづくように　なったら、みんなの前で　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1		1		
195	2	上	いろいろな　人に　なって	たのしく　話を　つづける　ことが　できましたか。		1		1	1				1			1		
196	2	上	いろいろな　人に　なって	学しゅうの　記ろくを　のこそう。	1			1							1			
197	2	上	なかまの　かん字あつめ	なかまの　かん字を　あつめて、あそびましょう。	1		1							1		1		
198	2	上	２上の　まとめ	たしかめて　みよう。	1			1						1				
199	2	上	２上の　まとめ	はじめの　おりこみ　「学しゅうの　きろくを　のこそう」は、二年が　おわるまで　のこして　おこう。	1			1							1			
200	2	上	コスモスさんから　お電話です	すきな　ときに　すすんで　読みましょう。	1			1			1			1	1			
201	2	上	お話の　たね	絵や　ことばを　手がかりに、話したい　ことや　書きたい　ことを　見つけましょう。	1			1						1	1		1	
202	2	上	ノートの　くふう	何を　学んだのかを　書きとめて、たしかめましょう。	1			1		1			1		1			
203	2	上	二年生の本だな	いろいろな　本と　友だちに　なりましょう。	1			1						1				
204	2	上	げんこう用紙の　つかい方	読む　人に　わかりやすいように、ていねいに書きましょう。	1			1		1					1			
205	2	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1							1			

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
206	2	下	もくじ	たいせつにつかいましょう。	1													
207	2	下	もくじ	きょうみがあれば、自分でとりくんでみましょう。	1													
208	2	下	学習のきろくをのこそう	下のそれぞれの学習をおえたときに、色をぬろう。	1													
209	2	下	学習のきろくをのこそう	本を友だちにすすめたり，すすめられた本を読んだりできましたか。		1												
210	2	下	学習のきろくをのこそう	読んでわかったことやかんがえたことを、はっぴょうできましたか。		1												
211	2	下	学習のきろくをのこそう	あいてや時間を考えて、あいさつをしてみることができましたか。		1												
212	2	下	学習のきろくをのこそう	話し合って、図かんを作ることができましたか。		1												
213	2	下	学習のきろくをのこそう	一年間の学習をふりかえることができましたか。		1												
214	2	下	２上で学習したこと	学習するとき、このページをひらいておいて、さんこうにしよう。	1													
215	2	下	このきょうかしょのつかい方	『小学こくご　２下』では、『小学こくご　２上』で学んだだいじなことを生かして学習し、こくごの力をつけましょう。	1													
216	2	下	このきょうかしょのつかい方	さいごに、学んだことをふりかえって、はじめのおりこみに記ろくしておこう。	1													
217	2	下	このきょうかしょのつかい方	まず、何を学ぶのかをたしかめよう。	1													
218	2	下	このきょうかしょのつかい方	２上の学習をよく思い出して学習をすすめよう。	1													
219	2	下	このきょうかしょのつかい方	さいごに、学んだことをふりかえって、はじめのおりこみに記ろくしておこう。	1													
220	2	下	このきょうかしょのつかい方	いちばん後ろにある「ゆたかなことば」は、自分で学習しよう。	1													
221	2	下	かさこじぞう	「ちかずいて」と書かないように気をつけよう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
222	2	下	かさこじぞう	もっとさがしてみよう。	1													
223	2	下	かさこじぞう	「かさこじぞう」では、じんぶつのようすを思いうかべながら、たのしく読みましょう。	1													
224	2	下	かさこじぞう	じいさま、ばあさまなどのやくにわかれ、声に出して読みましょう。	1													
225	2	下	かさこじぞう	大みそかのできごとをばめんにわけ、それぞれのばめんでのじんぶつのようすをまとめましょう。	1													
226	2	下	かさこじぞう	じいさまやばあさまのやさしさがわかるのはどんなところか、ばめんごとに話し合いましょう。	1													
227	2	下	かさこじぞう	「かさこじぞう」のようなむかし話を読んで、みんなにしょうかいしましょう。	1													
228	2	下	本の中の音楽をさがそう	いろいろな本を、中の歌や音楽をさがしながら読んでみましょう。	1													
229	2	下	本の中の音楽をさがそう	いろいろなしゅるいの本を読んで、中の音楽を楽しみましょう。	1													
230	2	下	「読書ゆうびん」を出し合おう	「読書ゆうびん」を出し合って、友だちに本をしょうかいしたり、さがしている本を教えてもらったりしましょう。	1													
231	2	下	「読書ゆうびん」を出し合おう	みなさんも、いろいろな「読書ゆうびん」を出し合いましょう。	1													
232	2	下	「読書ゆうびん」を出し合おう	本を友だちにすすめたり、すすめられた本をよんだりできましたか。		1												
233	2	下	「読書ゆうびん」を出し合おう	学習の記ろくをのこそう。	1													
234	2	下	どんぐりとどうぶつたち	地面や土の中にあったどんぐりは、どうなっているでしょうか。		1												
235	2	下	どんぐりとどうぶつたち	「どんぐりとどうぶつたち」では、いっそうくわしく読みましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
236	2	下	どんぐりとどうぶつたち	書かれていることを、夏・秋・冬・春にわけて、ひょうにまとめましょう。	1													
237	2	下	どんぐりとどうぶつたち	さし絵をさんこうにして、せつめいしてあることをたしかめましょう。	1													
238	2	下	どんぐりとどうぶつたち	地面や土の中のどんぐりについて、もんだいを出している文を書きうつし、そのこたえを話し合いましょう。	1													
239	2	下	どんぐりとどうぶつたち	「そのかわり」（２５ページ８行目）ということばの、前の文とあとの文をノートに書きうつして話し合いましょう。	1													
240	2	下	どんぐりとどうぶつたちをしょうかいしよう	どんぐりやどうぶつたちについて、わかったことやかんがえたことをしょうかいし合いましょう。	1													
241	2	下	どんぐりとどうぶつたちをしょうかいしよう	つぎの二つから、やってみたいことをえらんで、学習しましょう。	1													
242	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	読んでわかったことやかんがえたことを、はっぴょうできましたか。		1												
243	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	学習の記ろくをのこそう。	1													
244	2	下	楽しいどうぶつ園	どうぶつ園で、たくさんの友だちを作りましょう。	1													
245	2	下	楽しいどうぶつ園	どうぶつ園の中に入りましょう。	1													
246	2	下	楽しいどうぶつ園	どんなじゅんに回りますか。		1												
247	2	下	楽しいどうぶつ園	どうぶつのようすを、よくかんさつしましょう。	1													
248	2	下	楽しいどうぶつ園	さて、それぞれのどうぶつは、今、何を思っているのでしょう。		1												
249	2	下	楽しいどうぶつ園	どうぶつになって話してみましょう。	1													
250	2	下	楽しいどうぶつ園	どうぶつ園には、どんな人たちがいますか。		1												
251	2	下	楽しいどうぶつ園	いろいろな人と話をして、親しくなりましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
252	2	下	楽しいどうぶつ園	どれだけたくさん友だちができるでしょう。		1												
253	2	下	ことばをふやす	いろいろななかまになることばをあつめ、かん字をつかて書いてみましょう。	1													
254	2	下	あいさつをしよう	朝、人に出会ったときに、「おはよう。」とあいさつされたら、「おはよう。」とかえしたくなりませんか。		1												
255	2	下	あいさつをしよう	はんたいに、人とわかれるときに、「さようなら。」というあいさつをしなかったら、どんなかんじがするでしょう。	1													
256	2	下	あいさつをしよう	つぎの絵の場面ではどんなあいさつをするか、考えましょう。	1													
257	2	下	あいさつをしよう	場面とやくわりをきめて、あいさつをしてみましょう。	1													
258	2	下	あいさつをしよう	その人になったつもりで、気もちをこめてあいさつをしましょう。	1													
259	2	下	あいさつをしよう	みぶりをつけたり、あいさついがいの会話も入れたりしてみましょう。	1													
260	2	下	あいさつをしよう	あいさつをしたときとしなかったときを、りょうほうやってみて、どんな気もちがしたか、くらべてみましょう。	1													
261	2	下	あいさつをしよう	あいさつについて、気づいたことや考えたことを話し合いましょう。	1													
262	2	下	あいさつをしよう	あいてや時間を考えて、あいさつをしてみることができましたか。		1												
263	2	下	あいさつをしよう	学習の記ろくをのこそう。	1													
264	2	下	かたかなで書くことば	かたかなで書くことばには、どんなものがあるでしょうか。		1												
265	2	下	かたかなで書くことば	みの回りで、かたかなで書くことばをさがしてみましょう。	1													
266	2	下	みんなで話し合って作ろう	読んだあとで、みの回りの道具についてしらべ、図かんを作りましょう。	1													
267	2	下	みんなで話し合って作ろう	どんな道具がどんなしごとをするのかを考えて読みましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
268	2	下	みんなで話し合って作ろう	いろんな道具のしょうかいを読みとり、ノートに書きましょう。	1													
269	2	下	みんなで話し合って作ろう	家にあるいろいろな道具について話し合いましょう。	1													
270	2	下	みんなで話し合って作ろう	つぎのしごとをする道具を見つけ、べんりなところを考えてはっぴょうしましょう。	1													
271	2	下	みんなで話し合って作ろう	「もっとちがった道具」にはどんなものがあるか、本でしらべたり家の人に聞いたりして、はっぴょうしましょう。	1													
272	2	下	図かんをつくろう	くらしの中でつかわれているいろいろな道具のなかから、きょうみのある道具についてしらべ、絵と文でしょうかいする図かんを作りましょう。	1													
273	2	下	図かんをつくろう	みなさんも、みの回りの道具についてしらべ、図かんを作ってみましょう。	1													
274	2	下	図かんをつくろう	話し合って、図かんを作ることができましたか。		1												
275	2	下	図かんをつくろう	学習の記ろくをのこそう。	1													
276	2	下	かん字クイズ	はんたいのことをあらわすかん字で、クイズを作りましょう。	1													
277	2	下	かん字クイズ	つぎの絵の中の〇に入る、はんたいのことをあらわすかん字を当てましょう。	1													
278	2	下	かん字クイズ	みなさんも、はんたいのことをあらわすかん字のクイズを出し合って、答えを考えましょう。	1													
279	2	下	自分の力をたしかめよう	ここでは、みなさん一人一人にどんな力がついたかをたしかめるために、「いいものもらった」を自分の力で学習しましょう。	1													
280	2	下	自分の力をたしかめよう	ようすを思いうかべながら、はっきりした声で読みましょう。	1													
281	2	下	自分の力をたしかめよう	すきなとことやおもしろいところを話し合いましょう。														
282	2	下	自分の力をたしかめよう	タンゴのしたことを、じゅんじょよくノートにまとめましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
283	2	下	自分の力をたしかめよう	タンゴになって、おばあさんにおれいの手紙を書きましょう。	1													
284	2	下	自分の力をたしかめよう	ほかのお話を読んで、友だちと教え合いましょう。	1													
285	2	下	自分の力をたしかめよう	自分の力でできないことは、先生や友だちにそうだんしてすすめましょう。	1													
286	2	下	いいものもらった	「いいものもらった」の学習をふりかえりましょう。	1													
287	2	下	いいものもらった	「いいものもらった」を、楽しく学習することができましたか。		1												
288	2	下	いいものもらった	自分の力で学習できたことに色をつけましょう。	1													
289	2	下	いいものもらった	一年間の学習をふりかえりましょう。	1													
290	2	下	いいものもらった	２上と２下のはじめのおりこみにある「学習の記ろくをのこそう」を見て、色をぬった花びらの数を数えてみましょう。	1													
291	2	下	いいものもらった	国語でどんな学習をしたか、思い出しましょう。	1													
292	2	下	いいものもらった	二年のはじめに書いた「がんばりたいこと」を思い出して、一年間の学習でできるようになったことや、これからやってみたいことを書きましょう。	1													
293	2	下	わにのおじいさんのたからもの	すきなときにすすんで読みましょう。	1													
294	2	下	ゆたかなことば	自分でちょうせんしてみよう。	1													
295	2	下	いろいろな文字を見つけよう	文字には、どんなものがあるかをしらべてみましょう。	1													
296	2	下	いろいろな文字を見つけよう	ほかに、どんなところでつかわれているかさがしましょう。	1													
297	2	下	いろいろな文字を見つけよう	下のローマ数字を、算用数字におきかえましょう。	1													
298	2	下	いろいろな文字を見つけよう	このほかにも、いのまわりから、いろいろな文字をさがしてみましょう。	1													
299	2	下	国語のことば	学習の中で出てきたことばをまとめておきましょう。	1													
300	2	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1													
301	3	上	表紙	たいせつに使いましょう。	1			1						1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
302	3	上	学習の記ろくをのこそう	下のそれぞれの学習をおえたときに、色をぬろう。	1			1							1			
303	3	上	学習の記ろくをのこそう	めあてをもつことができましたか。		1		1						1	1		1	
304	3	上	学習の記ろくをのこそう	場面や人物のようすに気をつけて読めましたか。		1		1			1		1		1			1
305	3	上	学習の記ろくをのこそう	見たことやものの様子を、わかりやすく書くことができましたか。		1		1		1			1		1		1	
306	3	上	学習の記ろくをのこそう	区切りごとに、大事なことに気をつけて読めましたか。		1		1			1		1		1			1
307	3	上	学習の記ろくをのこそう	はんの話し合いで、自分の考えを話したり、人の話を聞き取ったりすることができましたか。		1		1	1				1			1	1	
308	3	上	２年で学習したこと	学習するとき、このページをひらいておいて、さんこうにしよう。	1			1										
309	3	上	この教科書のつかい方	『小学国語　3上』では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の、だいじなことを学びましょう。	1			1										
310	3	上	この教科書のつかい方	まず、何を学ぶのかをたしかめよう。	1			1										
311	3	上	この教科書のつかい方	だいじなことに気をつけて学習をすすめよう。	1			1										
312	3	上	この教科書のつかい方	さいごに、学んだことをふりかえって、はじめのおりこみに記ろくしておこう。	1			1										
313	3	上	ふしぎ	声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
314	3	上	里の春、山の春	先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。	1			1	1					1		1		1
315	3	上	里の春、山の春	お話を聞いて思ったことを話しましょう。	1			1	1					1		1	1	
316	3	上	絵や写真から題を考えよう	いろいろなことを書きましょう。	1			1		1				1	1		1	
317	3	上	絵や写真から題を考えよう	絵や写真から、学級のみんなでいろいろな作文の題を出し合ってみましょう。	1		1		1							1	1	
318	3	上	絵や写真から題を考えよう	そして、一つ題をえらんで、作文を書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
319	3	上	自分のめあてをきめよう	したことに〇をつけましょう。	1			1										1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
320	3	上	自分のめあてをきめよう	はじめのおりこみ「２年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力をたしかめて、次のマークに色をぬりましょう。	1			1					1		1			
321	3	上	自分のめあてをきめよう	次のれいを読んで話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
322	3	上	自分のめあてをきめよう	自分のめあてを書いておきましょう。	1			1		1				1	1		1	
323	3	上	自分のめあてをきめよう	めあてが書けたら、はじめのおりこみ「学習の記ろくをのこそう」に記ろくしておこう。	1			1		1					1			
324	3	上	わたしのたから物を話そう	自分がたいせつにしているたから物のことを、みんなにしょうかいしましょう。	1			1	1							1	1	
325	3	上	わたしのたから物を話そう	話すときは、聞く人によくわかるように、声の大きさや速さに気をつけて話しましょう。	1			1	1				1			1		
326	3	上	わたしのたから物を話そう	聞くときは、話の大事なことを聞き取るようにしましょう。	1			1	1				1			1		
327	3	上	くわしくすることば	下の絵を見て、□にいろいろなことばを入れてみましょう。	1			1		1								1
328	3	上	つり橋わたれ	「ふじずる」と書かないように気をつけよう。	1			1		1		1			1			1
329	3	上	つり橋わたれ	トッコとそのまわりのようすを思いうかべながら読みましょう。	1			1			1		1		1			1
330	3	上	つり橋わたれ	この物語を読んで、みんなで考えてみたいことを話し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
331	3	上	つり橋わたれ	ノートにまとめましょう。	1			1		1			1		1			1
332	3	上	つり橋わたれ	人物のようすがよく表れるように、声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1			
333	3	上	つり橋わたれ	トッコになって、東京のお母さんに、この山でのできごとを知らせる手紙を書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
334	3	上	つり橋わたれ	物語を読むときは、場面のうつりかわりや人物のようすを思いうかべながら読もう。	1			1			1		1		1			
335	3	上	つり橋わたれ	場面や人物のようすに気をつけて読めましたか。		1		1			1		1		1			

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
336	3	上	つり橋わたれ	学習の記ろくをのこそう。	1			1		1					1		1	
337	3	上	あらしの夜に	読んでみたい本を、図書かんなどでいろいろとさがして、読んでみましょう。	1			1			1				1		1	
338	3	上	あらしの夜に	「体」と「休」は形がにているにで、まちがえないように気をつけよう。	1			1		1		1			1			1
339	3	上	あらしの夜に	「星が」というのとどうちがうか、くらべてみよう。	1			1				1			1			1
340	3	上	お礼のはがきを書こう	あいてに感しゃの気もちをつたえるために、お礼のはがきを書きましょう。	1		1			1			1				1	
341	3	上	お礼のはがきを書こう	はがきを受け取ったときには、返事を出すようにしましょう。	1		1			1								1
342	3	上	お礼のはがきを書こう	受け取った人が何度も見たくなるように、気もちをこめて、ていねいな字で書きましょう。	1			1		1			1					1
343	3	上	漢字の組み立て	・をつけた漢字の同じ部分を見つけましょう。	1			1				1						1
344	3	上	スケッチしたいこと	ふつうは、見たものを絵で写生することをスケッチといいますが、ここでは、文章でスケッチをしてみましょう。	1		1			1			1					
345	3	上	スケッチしたいこと	そして、書いた文章をけいじして、みんなに知らせましょう。	1		1			1						1		
346	3	上	スケッチしたいこと	文章でスケッチするにはどうすればいいか、考えてみましょう。	1			1					1				1	
347	3	上	スケッチしたいこと	いろいろな見方から、書くことをあつめよう。	1			1									1	
348	3	上	スケッチしたいこと	様子がわかるように書こう。	1			1		1			1		1		1	
349	3	上	スケッチしたいこと	川上さんの学級のように、学校の中の場所や生き物などを文章でスケッチしてみましょう。	1			1		1				1			1	
350	3	上	スケッチしたいこと	ふだんあまり見たことがないようなことをスケッチしてみましょう。	1			1		1				1			1	
351	3	上	スケッチしたいこと	文章を書き終わったら、みんなで読み合って、わかりやすくなるようにくふうしましょう。	1			1	1							1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
352	3	上	スケッチしたいこと	かべ新聞などに仕上げて、教室やろうかなどにけいじし、学校じゅうの人に読んでもらいましょう。	1			1						1		1	1	
353	3	上	スケッチしたいこと	見たことやものの様子を、わかりやすく書くことができましたか。		1		1		1			1		1			
354	3	上	スケッチしたいこと	学習の記ろくをのこそう。	1			1		1					1		1	
355	3	上	漢字の部分合わせゲーム	漢字の部分合わせゲームをしましょう。	1		1					1				1		1
356	3	上	漢字の部分合わせゲーム	いろいろな漢字を、部分に分けてカードを作りましょう。	1		1					1				1		1
357	3	上	わけをせつめいしよう	みなさんも、自分がすきなこと、したいと思うこと、考えていることなどを、そのわけといっしょに書いたり話したりして、せつめいしてみましょう。	1			1					1			1	1	
358	3	上	動物たちのしぐさ	このしぐさは、何を表しているのでしょうか。		1	1					1						1
359	3	上	動物たちのしぐさ	では、みなさんがよく知っている動物たちのしぐさが、何を表しているか考えてみましょう。	1		1					1						1
360	3	上	動物たちのしぐさ	みなさんも、身近な動物のしぐさをよく見て、その体で表していることばを読み取ってみましょう。	1		1						1				1	
361	3	上	動物たちのしぐさ	「合いことば」などとのちがいに気をつけよう。	1			1				1			1			1
362	3	上	動物たちのしぐさ	動物ごとに大事なことをまとめながら読みましょう。	1			1			1		1		1			1
363	3	上	動物たちのしぐさ	このせつめい文を読んで、はじめて知ったこと、おどろいたこと、ふしぎに思ったことなどを話し合いましょう。	1			1	1							1	1	
364	3	上	動物たちのしぐさ	「何を表しているのでしょうか。」のようなといかけの文を□でかこみ、その答えを見つけて、よこに線を引きましょう。	1			1							1			1
365	3	上	動物たちのしぐさ	それぞれの動物のしぐさが何を表しているのか、次のような表にまとめて考えてみましょう。	1			1										1
366	3	上	動物たちのしぐさ	いろいろな動物たちのしぐさについて、まとめて書いてあるところを見つけ、ノートに写しましょう。	1			1		1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
367	3	上	動物たちのしぐさ	あなたのすきな動物のしぐさについて、しらべたことを表にまとめて発表しましょう。	1			1	1							1	1	
368	3	上	動物たちのしぐさ	せつめい文の内ようを読み取るために、大事なことを表にまとめてみよう。	1			1										1
369	3	上	動物たちのしぐさ	区切りごとに、大事なことに気をつけて読めましたか。		1		1			1		1		1			
370	3	上	動物たちのしぐさ	学習の記ろくをのこそう。	1			1		1					1		1	
371	3	上	地らいをふんだゾウ　モタラ	きょうみのあるできごとを書いた本をいろいろ見つけて読んでみましょう。	1			1			1			1	1		1	
372	3	上	地らいをふんだゾウ　モタラ	三画目を書きわすれないように気をつけよう。	1			1				1			1			1
373	3	上	こそあどことば	これまでに学習した文章をふり返ってみましょう。	1			1										
374	3	上	こそあどことば	こそあどことばをあつめた、次の表をかんせいさせましょう。	1			1										1
375	3	上	本のせかいで新しいはっけんをしよう	本を読み終わったら、心にのこったことやわかったことを、カードに記ろくしておきましょう。	1		1								1		1	
376	3	上	みんなの詩	「たとえ」のことばを使って書きましょう。	1			1		1					1		1	
377	3	上	インタビューの計画	みなさんも、どんな人からどんなお話を聞きたいかを話し合って、インタビューの計画を立てましょう。	1		1		1					1		1	1	
378	3	上	インタビューの計画	声の大きさや速さに気をつけて、聞く人によくわかるように話そう。	1			1	1					1		1		
379	3	上	インタビューの計画	話の大事なところを聞き取ろう。（ひつようなときは、メモを取ろう。）	1			1	1					1		1		
380	3	上	インタビューの計画	みなさんも、川上さんのはんのように、インタビューの計画について、話し合ってみましょう。	1			1	1							1		
381	3	上	インタビューの計画	決めたことにもとづいて、計画を立て、実行しましょう。	1			1									1	
382	3	上	インタビューの計画	ほかにも、みんながきょうみをもっている話題について、はんで話し合ってみましょう。	1			1	1					1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
383	3	上	インタビューの計画	しかいを交代して、何回もやってみましょう。	1			1	1					1		1		
384	3	上	インタビューの計画	はんの話し合いで、自分の考えを話したり、人の話を聞き取ったりすることができましたか。		1		1	1							1		
385	3	上	インタビューの計画	学習の記ろくをのこそう。	1			1		1					1		1	
386	3	上	漢字のビンゴゲーム	ふつうは、数字を書いたます目を使って遊びますが、ここでは、漢字のビンゴゲームをしましょう。	1		1							1		1		
387	3	上	漢字のビンゴゲーム	漢字のなかまをふやしたり、見つける漢字の数をふやしたりして、たてよこ五ますのビンゴゲームをやってみましょう。	1			1						1		1		
388	3	上	国語辞典の使い方	次のことばは、どのようなじゅんにならんでいるのかたしかめましょう。	1			1					1		1			1
389	3	上	国語辞典の使い方	次の－のことばの意味のちがいを調べ、使い方のれいをあつめましょう。	1			1					1					1
390	3	上	国語辞典の使い方	次の－のことばは、どんな漢字を書くといいか調べましょう。	1			1					1		1			1
391	3	上	国語辞典の使い方	国語辞典を、本を読んだり文章を書いたりする時に使うようにしましょう。	1			1						1				1
392	3	上	３上のまとめ	たしかめてみよう。	1			1										
393	3	上	３上のまとめ	はじめのおりこみ「学習の記ろくをのこそう」は、三年が終わるまでのこしておこう。	1			1										
394	3	上	母さんの歌	すきなときにすすんで読みましょう。	1			1			1				1			
395	3	上	お話のたね	絵やことばを手がかりに、話したいことや書きたいことを見つけましょう。	1			1										
396	3	上	ノートのくふう	学んだことや聞いたことを書きながら、自分のことばで表せるようになろう。	1			1		1					1			
397	3	上	音読記号	内ようがよくわかるように音読するために、音読記号をつけて、読み表し方をくふうしましょう。	1			1			1				1			1
398	3	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
399	3	下	もくじ	たいせつに使いましょう。	1													
400	3	下	もくじ	きょうみがあれば、自分で取り組んでみましょう。	1													
401	3	下	学習のきろくをのこそう	下のそれぞれの学習をおえたときに、色をぬろう。	1													
402	3	下	学習のきろくをのこそう	しょうかいしたいことを、うまくつたえることができましたか。		1												
403	3	下	学習のきろくをのこそう	読んだことから学習を深め、発表することができましたか。		1												
404	3	下	学習のきろくをのこそう	クロスワードパズルをといたり，作ったりすることができましたか。		1												
405	3	下	学習のきろくをのこそう	しょうかいしたいことがよくわかる絵本を作ることができましたか。		1												
406	3	下	学習のきろくをのこそう	一年間の学習をふり返ることができましたか。		1												
407	3	下	このきょうかしょのつかい方	『小学国語　３下』では、『小学国語　３上』で学んだだいじなことを生かして学習し、国語の力をつけましょう。	1													
408	3	下	このきょうかしょのつかい方	学習するとき、このページをひらいておいて、さんこうにしよう。	1													
409	3	下	このきょうかしょのつかい方	まず、何を学ぶのかをたしかめよう。	1													
410	3	下	このきょうかしょのつかい方	３上の学習をよく思い出して学習をすすめよう。	1													
411	3	下	このきょうかしょのつかい方	さいごに、学んだことをふりかえって、はじめのおりこみに記ろくしておこう。	1													
412	3	下	このきょうかしょのつかい方	いちばん後ろにある「ゆたかなことば」は、自分で学習しよう。	1													
413	3	下	きつねをつれて村祭り	それを生かして、「きつねをつれて村祭り」を読みましょう。	1													
414	3	下	きつねをつれて村祭り	場面の様子を思いうかべながら、声に出して読みましょう。	1													
415	3	下	きつねをつれて村祭り	この物語の次の場面でどんなできごとがあったか、かんたんにノートにまとめましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
416	3	下	きつねをつれて村祭り	読み方をくふうして、声に出して読みましょう。	1													
417	3	下	きつねをつれて村祭り	はんに分かれて、声に出して読む練習をし、発表し合いましょう。	1													
418	3	下	きつねをつれて村祭り	次の場面での人物の様子を想ぞうして話し合いましょう。	1													
419	3	下	あなたはどのきつねがすき？	あなたはどのきつねがすきですか？		1												
420	3	下	クイズで本をしょうかいし合おう	たいせつな本、おもしろい本、大すきな本、とっておきの本を、クイズを作って友だちにしょうかいしてみましょう。	1													
421	3	下	クイズで本をしょうかいし合おう	みなさんも、いろいろなクイズを作って、答えを考えてもらいながら、本をしょうかいしてみましょう。	1													
422	3	下	クイズで本をしょうかいし合おう	しょうかいしたいことを、うまくつたえることができましたか。		1												
423	3	下	クイズで本をしょうかいし合おう	学習の記ろくをのこそう。	1													
424	3	下	自転車の活やく	では、まねのできないこととは、どんなことでしょうか。		1												
425	3	下	自転車の活やく	それでは、そのすぐれた乗り物の自転車は、どんなふうに活やくしているのでしょう。		1												
426	3	下	自転車の活やく	ここでは、それを生かして、自転車という乗り物のすばらしさを読み取りましょう。	1													
427	3	下	自転車の活やく	文章の中からさがして、□でかこみましょう。	1													
428	3	下	自転車の活やく	自転車にある、ひこうきや電車や自動車あどがまねのできないこととは、どんなことですか。		1												
429	3	下	自転車の活やく	「自転車の活やく」を読んで、次のことを表にまとめ、ノートに書きましょう。	1													
430	3	下	自転車の活やく	日本ではまだ、自転車の使い方に問題があるといっていますが、それはどんなことでしょう。	1													
431	3	下	自転車の活やく	ノートにまとめ、自転車の使い方について話し合いましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
432	3	下	自転車について考えよう	今度は、次の三つからすきなやり方をえらんで、自転車について、もっと学習を深めていきましょう。	1													
433	3	下	自転車について考えよう	そして、学習したことを発表し合いましょう。	1													
434	3	下	自転車について考えよう	自転車について読んだことから学習を深め、発表することができましたか。		1												
435	3	下	自転車について考えよう	学習の記ろくをのこそう。	1													
436	3	下	山の湖でのできごと	さて、どうなるのでしょう。		1												
437	3	下	山の湖でのできごと	さて、このあと、どうなるのでしょう。		1												
438	3	下	山の湖でのできごと	きょうりゅうの親子があらわれてから帰っていくまでを、ア、イ、ウのどれかの立場になってお話にしましょう。	1													
439	3	下	ことばをふやす	同じなかまを表すときに使われることばをさがしてみましょう。	1													
440	3	下	クロスワードパズルをしよう	上の空いたます目の中に文字を入れて、ことばを作ってみましょう。	1													
441	3	下	クロスワードパズルをしよう	次のページのクロスワードパズルをといてみましょう。	1													
442	3	下	クロスワードパズルをしよう	ます目は四つだから、「びっくり」と入れてみましょう。	1													
443	3	下	クロスワードパズルをしよう	今度は、クロスワードパズルを作ってみましょう。	1													
444	3	下	クロスワードパズルをしよう	クロスワードパズルができたら、友だちと交かんして遊びましょう。	1													
445	3	下	クロスワードパズルをしよう	クロスワードパズルをといたり、作ったりすることができましたか。		1												
446	3	下	クロスワードパズルをしよう	学習の記ろくをのこそう。	1													
447	3	下	送りがな	次の文を読んでみましょう。	1													
448	3	下	送りがな	文中の□の中には、次の二つのうち、どちらが入るでしょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
449	3	下	わかりやすくまとめよう	それを読み取った後で、身体の不自由な人の生活や、それをささえている人や道具について調べ、絵本を作りましょう。	1													
450	3	下	わかりやすくまとめよう	「点字と手話」を読んで、どんなことがせつめいされているか、話し合いましょう。	1													
451	3	下	わかりやすくまとめよう	目や耳の不自由な人たちとつたえ合うために、どんなものが発明されていますか。		1												
452	3	下	わかりやすくまとめよう	その名前をノートに書きましょう。	1													
453	3	下	わかりやすくまとめよう	このせつめい文を書いた人は、みなさんが点字を書けるようになったら、どんなことができるといっているでしょう。		1												
454	3	下	わかりやすくまとめよう	二つに分けてノートに書きましょう。	1													
455	3	下	わかりやすくまとめよう	「手話」と「指文字」のしくみをせつめいしているところに線を引き、れいを見ながら、実さいにやってみましょう。	1													
456	3	下	わかりやすくまとめよう	このせつめい文を書いた人は、みなさんが手話をおぼえたら、どのようになるといっているでしょう。	1													
457	3	下	わかりやすくまとめよう	二つに分けてノートに書きましょう。	1													
458	3	下	わかりやすくまとめよう	体の不自由な人たちがくらしやすくなるために、「こうなってほしい」と思うことを絵本にして発表しましょう。	1													
459	3	下	点字と手話	みなさんは、自分の気持ちや考えを相手につたえるために、また、相手の気持ちや考えを知るために、どうしていますか。		1												
460	3	下	点字と手話	下の点字を読んでみましょう。	1													
461	3	下	点字と手話	録音テープの手紙もそえて、友だちに送りましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
462	3	下	絵本を作ろう	身体の不自由な人がくらしやすくなるために、「実さいにこんなふうになっている」「こんなふうになったらいいな」ということを、絵本にしてしょうかいし合いましょう。	1													
463	3	下	絵本を作ろう	みなさんも、いろいろなクイズを作って、答えを考えてもらいながら、はんで話し合って、調べたことや考えたことを、絵本にしてみましょう。	1													
464	3	下	絵本を作ろう	しょうかいしたいことがよくわかる絵本を作ることができましたか。		1												
465	3	下	絵本を作ろう	学習の記ろくをのこそう。	1													
466	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	あいさつをするとき、相手によって「おはよう」と「おはようございます」、「おやすみ」と「おやすみなさい」を使い分けたことはありませんか。		1												
467	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	次の文章を読んでみましょう。	1													
468	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	文章を書くときには、普通の言い方ならふつうの言い方で、ていねいな言い方ならていねいな言い方で、はじめから終わりまで通すようにしましょう。	1													
469	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	次の文は、ふつうの言い方でしょうか。		1												
470	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	それともていねいな言い方でしょうか。		1												
471	3	下	ふつうの言い方　ていねいな言い方	ふつうの言い方はていねいな言い方に、ていないな言い方はふつうの言い方に、それぞれ直してみましょう。	1													
472	3	下	漢字のクロスワードパズル	ここでは漢字のクロスワードパズルをしましょう。	1													
473	3	下	漢字のクロスワードパズル	ほかにどんなことばが入るか、みなさんも考えてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
474	3	下	漢字のクロスワードパズル	ゲームが終わったら、漢字が正しく書けているかどうか、国語辞典で調べてみましょう。	1													
475	3	下	漢字のクロスワードパズル	ます目をふやしたり、せいげん時間を短くしたりして、友だちどうしや家の人とやってみましょう。	1													
476	3	下	自分の力をたしかめよう	ここでは、みなさん一人一人にどんな力がついたかをたしかめるために、「やまんばのにしき」を、自分の力で学習しましょう。	1													
477	3	下	自分の力をたしかめよう	みなさんも、自分の力で学習する問題を作り、実さいにやってみましょう。	1													
478	3	下	やまんばのにしき	「やまんばのにしき」の学習をふり返りましょう。	1													
479	3	下	やまんばのにしき	「やまんばのにしき」を楽しく学習することができましたか。		1												
480	3	下	やまんばのにしき	自分の力で学習できたことに○をつけましょう。	1													
481	3	下	やまんばのにしき	一年間の学習をふり返りましょう。	1													
482	3	下	やまんばのにしき	３上と３下のはじめのおりこみにある「学習の記ろくをのこそう」を見て、色をぬった花びらの数を数えてみましょう。	1													
483	3	下	やまんばのにしき	国語でどんな学習をしたか、思い出しましょう。	1													
484	3	下	やまんばのにしき	三年のはじめに書いた、「がんばりたいこと」を思い出して、一年間の学習でできるようになったことや、これからやってみたいことを書きましょう。	1													
485	3	下	おにたのぼうし	すきなときにすすんで読みましょう。	1													
486	3	下	ゆたかなことば	自分でちょうせんしてみよう。	1													
487	3	下	つたえ方を考えよう	絵や写真を使ってつたえると、どんなよいことがあるのか、考えてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
488	3	下	つたえ方を考えよう	絵や写真でつたえるとべんりなこと、ことばでつたえるとべんりなことを、さがしてみましょう。	1													
489	3	下	つたえ方を考えよう	何かをつたえるときの、写真や絵のよいところと、ことばのよいところを考えてみましょう。	1													
490	3	下	外来語を書き表そう	外国から入ってきたことばの書き表し方を調べてみましょう。	1													
491	3	下	外来語を書き表そう	かたかなで書いてみましょう。	1													
492	3	下	外来語を書き表そう	英語から来た外来語のれいを見てみましょう。	1													
493	3	下	外来語を書き表そう	読んでみましょう。	1													
494	3	下	外来語を書き表そう	下のことばの、二通りの書き表し方をくらべてみましょう。	1													
495	3	下	外来語を書き表そう	身の回りで外来語をさがして、その書き表し方を調べてみましょう。	1													
496	3	下	書き写そう	歌や詩や文章を書き写して、場面の様子を思いうかべてみましょう。	1													
497	3	下	書き写そう	ことばのまとまりごとに、つづけて書きましょう。	1													
498	3	下	書き写そう	すきな部分を見つけて、様子を思いうかべたり、絵にかいたりしましょう。	1													
499	3	下	書き写そう	様子を思いうかべながら、声に出して何度も読んで、おぼえましょう。	1													
500	3	下	国語のことば	学習の中で出てきたことばをまとめておきましょう。	1													
501	3	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1													
502	4	上	表紙	たいせつに使いましょう。	1			1						1	1			1
503	4	上	学習の記ろくをのこそう	下のそれぞれの学習を終えたときに、色をぬろう。	1			1										
504	4	上	学習の記ろくをのこそう	めあてをもつことができましたか。		1		1						1	1		1	
505	4	上	学習の記ろくをのこそう	場面のつながりや人物の様子を考えながら読めましたか。		1		1			1		1		1			1
506	4	上	学習の記ろくをのこそう	組み立てを考え、まとまりに分けて書けましたか。		1		1		1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
507	4	上	学習の記ろくをのこそう	だんらくをもとにして、内ようを正しく読み取れましたか。		1		1			1		1		1			1
508	4	上	学習の記ろくをのこそう	話の流れや、ほかの人の考えをふまえて、発言し合えましたか。		1		1	1				1			1	1	
509	4	上	３年で学習したこと	学習するとき、このページを開いておいて、さんこうにしよう。	1			1										
510	4	上	この教科書の使い方	『小学国語４上では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の大事なことを学びましょう。	1			1										
511	4	上	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのかをたしかめよう。	1			1										
512	4	上	この教科書の使い方	大事なことに注意して学習を進めよう。	1			1										
513	4	上	この教科書の使い方	さいごに、学んだことをふり返って、はじめのおりこみに記ろくしておこう。	1			1										
514	4	上	春のうた	声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
515	4	上	ならなしどり	先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。	1			1	1					1		1		1
516	4	上	ならなしどり	お話を聞いて思ったことを話しましょう。	1			1	1					1		1	1	
517	4	上	取材を広げよう	いろいろなことを書きましょう。	1			1		1				1	1		1	
518	4	上	取材を広げよう	自分のことをふり返って、作文の題材になりそうなことを考えましょう。	1		1			1				1	1		1	
519	4	上	取材を広げよう	いろいろな題のなかから、とくに書きたいことをはっきりさせましょう。	1		1			1			1		1			1
520	4	上	自分のめあてを決めよう	「春のうた」「ならなしどり」「取材を広げよう」の学習では、どんなことをしましたか。		1		1										
521	4	上	自分のめあてを決めよう	したことに○をつけましょう。	1			1							1			1
522	4	上	自分のめあてを決めよう	はじめのおりこみ「３年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力をたしかめて、次のマークに色をぬりましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
523	4	上	自分のめあてを決めよう	下のように色をぬりましょう。	1			1										
524	4	上	自分のめあてを決めよう	国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。		1		1									1	
525	4	上	自分のめあてを決めよう	次の例を読んで話し合いましょう。	1			1	1					1		1		
526	4	上	自分のめあてを決めよう	これから一年間、あなたがいちばんがんばりたいと思う国語の学習はどんなことですか。		1		1									1	
527	4	上	自分のめあてを決めよう	自分のめあてを書いておきましょう。	1			1		1				1	1			
528	4	上	自分のめあてを決めよう	めあてが書けたら、はじめのおりこみ「学習の記ろくをのこそう」に記ろくしておこう。	1			1										
529	4	上	ニュースを話そう。	自分の身の回りで起こったできごとを、ニュースにして、みんなに伝えましょう。	1			1	1					1		1	1	
530	4	上	ニュースを話そう。	話すときは、聞く人の様子を見ながら、声の調子や間に気をつけて話しましょう。	1			1	1				1			1	1	
531	4	上	ニュースを話そう。	聞くときは、あいづちをうちながら聞き、自分の感想や意見をもつようにしましょう。	1			1	1				1			1	1	
532	4	上	漢字の音読みと訓読み	次の言葉を読んでみましょう。	1			1			1	1						1
533	4	上	漢字の音読みと訓読み	次の文を読んでみましょう。	1			1			1	1						1
534	4	上	漢字の音読みと訓読み	（棒線）を引いた言葉には, どちらの漢字が当てはまるでしょう。		1		1			1	1						1
535	4	上	雨の夜のるすばん	「体重を量る」「時間を計る」のような、いろいろな使い方を国語辞典で調べてみよう。	1			1				1			1			1
536	4	上	雨の夜のるすばん	物語を三つの場面に分け、「ぼく」と弟の様子や場面のつながりを考えながら読みましょう。	1			1			1		1		1			1
537	4	上	雨の夜のるすばん	場面ごとに、書かれていることのあらましをノートにまとめましょう。	1			1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
538	4	上	雨の夜のるすばん	場面ごとの様子を想ぞうしながら音読し、次のことをノートにまとめて話し合いましょう。	1			1			1		1			1		1
539	4	上	雨の夜のるすばん	登場人物の役を決め、場面の様子がよくわかるように音読しましょう。	1			1			1		1		1		1	
540	4	上	雨の夜のるすばん	声の大きさや速さに気をつけながら音読しよう。	1			1			1		1		1			1
541	4	上	雨の夜のるすばん	間の取り方やリズムをくふうしながら音読しよう。	1			1			1		1		1			1
542	4	上	雨の夜のるすばん	物語の内ようをくわしく読み取るために、場面ごとに分けたり、場面のつながりを考えたりしよう。	1			1			1		1		1			1
543	4	上	雨の夜のるすばん	場面のつながりや人物の様子を考えながら読めましたか。		1		1			1		1		1			1
544	4	上	雨の夜のるすばん	学習の記録を残そう。	1			1										
545	4	上	白いぼうし	このように、同じ登場人物が出てくる物語を見つけて、読んでみましょう。	1			1			1			1	1		1	
546	4	上	白いぼうし	「始め」とのちがいに気をつけよう。	1			1				1			1			1
547	4	上	白いぼうし	意味を調べてみよう。	1			1				1			1			1
548	4	上	白いぼうし	「一人でドアを開けた。」とのちがいを考えてみよう。	1			1				1						1
549	4	上	しょうたいじょうを書こう	行事などに来てもらいたい人に、来てほしい気持ちや、日時などを伝えるしょうたいじょうを出しましょう。	1		1			1				1	1		1	
550	4	上	しょうたいじょうを書こう	ゆうびん番号をわすれずに書きましょう。	1			1		1			1		1			
551	4	上	しょうたいじょうを書こう	失礼のないように、相手の立場や都合を考えて書きましょう。	1			1		1			1		1			
552	4	上	文のほね組み	次の文ではどうでしょうか。		1	1						1		1			1
553	4	上	文のほね組み	次の文のほね組みを見つけましょう。	1			1					1		1			1
554	4	上	文のほね組み	次の文のほね組みと、くわしく説明している言葉を見つけ、例にならって図に表しましょう。	1			1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
555	4	上	学級しょうかい	それを文章にまとめ、ほかの学級や家の人にしょうかいしましょう。	1		1		1					1		1	1	
556	4	上	学級しょうかい	あつめた事がらをみわたしていちばん言いたいことを決めよう。	1			1		1			1			1		1
557	4	上	学級しょうかい	組み立てを考えて、メモを作ろう。	1			1		1			1			1		
558	4	上	学級しょうかい	四年一組のみんなの場合を参考にして、一人、あるいははんで、学級のことを調べて、文章にまとめてみましょう。	1			1		1				1		1	1	
559	4	上	学級しょうかい	文章が書けたら、言葉や文をけずったり、書き変えたり、書き加えたりして、よりわかりやすい文章になるように、見直しましょう。	1			1		1			1			1		
560	4	上	学級しょうかい	最後に、みんなの文章を一つにまとめてとじ、いろいろな人に見てもらえるようにしましょう。	1			1		1				1		1	1	
561	4	上	学級しょうかい	組み立てを考え、まとまりに分けて書けましたか。		1		1		1			1		1			
562	4	上	学級しょうかい	学習の記ろくをのこそう。	1			1										
563	4	上	漢字の画数合わせゲーム	同じ画数の漢字を集めて、漢字の画数合わせゲームをしましょう。	1		1											
564	4	上	漢字の画数合わせゲーム	なれてきたら、画数の種類をふやしてやってみましょう。	1			1										
565	4	上	分類して説明しよう	みなさんも、見たり聞いたり調べたりしたことを、見方を決めて分類し、書いたり話したりして、わかりやすく説明してみましょう。	1			1					1					
566	4	上	夜に鳴くセミ	どうしてなのでしょう。		1	1				1	1						1
567	4	上	夜に鳴くセミ	「かって」と書くと、ちがう意味（勝手）になるので気をつけよう。	1			1				1			1			1
568	4	上	夜に鳴くセミ	事がらのまとまりごとに、セミについて、どんなことが説明されているかを考えながら読みましょう。	1			1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
569	4	上	夜に鳴くセミ	一字下げのところに番号を付け、いくつのだんらくでできているか、たしかめましょう。	1			1			1		1					1
570	4	上	夜に鳴くセミ	それぞれ、どこからどこまでか、だんらくの番号をノートに書き出しましょう。	1			1			1		1		1			1
571	4	上	夜に鳴くセミ	２の部分について、次のことをノートにまとめましょう。	1			1			1		1		1			1
572	4	上	夜に鳴くセミ	読み取ったことをもとに、クイズを作って答え合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
573	4	上	夜に鳴くセミ	説明文の内ようを正しく読み取るために、だんらくをもとに、書かれている事がらをまとめながら読もう。	1			1			1		1		1			1
574	4	上	夜に鳴くセミ	だんらくをもとにして、内ようを正しく読み取れましたか。		1		1			1		1		1			1
575	4	上	夜に鳴くセミ	学習の記録を残そう。	1			1										
576	4	上	漢和辞典の使い方	（棒線）の漢字の読みや意味を、漢和辞典で調べましょう。	1			1				1			1			1
577	4	上	本の世界を広げよう	自分が読みたい本や調べてみたい事がらにかんけいのある本をさがして読んでみましょう。	1		1				1			1	1		1	
578	4	上	本の世界を広げよう	読んだ本について、「読書カード」に次のようなことを記録しておきましょう。	1		1				1			1	1		1	
579	4	上	本の世界を広げよう	くふうしてみましょう。	1		1				1			1	1		1	
580	4	上	みんなの詩	様子や心の動きがわかるように書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
581	4	上	学級の行事について	学級の行事がうまく進み、楽しくなるように、学級のみんなで話し合いましょう。	1		1		1					1		1	1	
582	4	上	学級の行事について	聞く人の様子を見ながら、声の調子や間に気をつけて話そう。	1			1	1				1			1		
583	4	上	学級の行事について	あいづちをうちながら聞き、自分の感想や意見をもとう。	1			1	1				1			1		
584	4	上	学級の行事について	水野さんの学級のように話し合ってみましょう。	1			1	1							1		
585	4	上	学級の行事について	話し合いのときには、自分の意見をきちんと言うとともに、友だちの意見もしっかり聞き、みんなの意見がまとまるように、おたがいに協力しましょう。	1			1	1					1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
586	4	上	学級の行事について	学級の話し合いでは、次のようなことの記録を残しておきましょう。	1			1	1				1			1		
587	4	上	学級の行事について	行事だけでなく、いろいろなことを話し合って決めましょう。	1			1	1					1		1		
588	4	上	学級の行事について	話の流れや、ほかの人の考えをふまえて、発言し合えましたか。		1		1	1				1			1	1	
589	4	上	学級の行事について	学習の記録を残そう。	1			1										
590	4	上	漢字の十字路クイズ	矢印の方向に気をつけて、どんな漢字が入るか考えてみましょう。	1		1			1		1			1			1
591	4	上	漢字の十字路クイズ	では、次はどうでしょう。		1	1			1		1			1			1
592	4	上	漢字の十字路クイズ	さあ、どんな漢字が入るのでしょう。		1	1			1		1			1			1
593	4	上	漢字の十字路クイズ	今度は、まわりの漢字を考えてみましょう。	1		1			1		1			1			1
594	4	上	漢字の十字路クイズ	漢和辞典をなどを使って考えてみましょう。	1		1			1		1			1			1
595	4	上	漢字の十字路クイズ	矢印の方向に気をつけて考えてみましょう。	1		1			1		1			1			1
596	4	上	漢字の十字路クイズ	みなさんも、いろいろな漢字の十字路を作り、友だちと問題を出し合ってみましょう。	1			1		1				1		1	1	
597	4	上	ローマ字	いろいろな言葉をローマ字で書いてみましょう。	1			1		1			1		1			1
598	4	上	ローマ字	次の言葉を読んでみましょう。	1			1			1		1		1			1
599	4	上	ローマ字	次のパズルを組み合わせて、言葉を作ってみましょう。	1			1					1		1			1
600	4	上	４上のまとめ	初めのおりこみ「学習の記ろくをのこそう」は、四年が終わるまで残しておこう。	1			1										
601	4	上	ねこが見分ける	好きなときにすすんで読みましょう。	1			1			1			1	1			
602	4	上	お話のたね	絵や言葉を手がかりに、話したいことや書きたいことを見つけましょう。	1			1						1	1		1	
603	4	上	ノートのくふう	わき出る思いや考えを書きながら、自分の考えを育てよう。	1			1		1			1		1		1	
604	4	上	四年生の本だな	すてきな自分の本だなを作っていきましょう。	1			1			1			1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
605	4	上	四年生の本だな	想ぞう力を自由にはたらかせて読んでみましょう。	1			1			1			1	1			
606	4	上	四年生の本だな	海や月などの自然のえがき方や、美しい色の表し方にも注目して読んでみましょう。	1			1			1			1	1			
607	4	上	四年生の本だな	本の題にあるように、声に出して読んだり、詩のリズムに合わせて体を動かしたりしながら、楽しんでみましょう。	1			1			1			1	1			
608	4	上	漢字の筆順	主な筆順の決まりを知って、漢字を正しく書きましょう。	1			1		1			1		1			1
609	4	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1						1	1			1
610	4	下	もくじ	たいせつに使いましょう。	1			1										
611	4	下	もくじ	きょうみがあれば，自分で取り組んでみましょう。	1			1										
612	4	下	学習の記録を残そう	下のそれぞれの学習を終えたときに、色をぬろう。	1			1										
613	4	下	学習の記録を残そう	わかりやすい記事を書いて、読んだ本をしょうかいできましたか。		1		1										
614	4	下	学習の記録を残そう	「ごんぎつね」を読んで思ったことをさらに深めて、交流できましたか。		1		1										
615	4	下	学習の記録を残そう	言葉の使い方をくふうして、広告の言葉を作ることができましたか。		1		1										
616	4	下	学習の記録を残そう	みんなの力を合わせて、パンフレットを仕上げることができましたか。		1		1										
617	4	下	学習の記録を残そう	一年間の学習をふり返ることができましたか。		1		1										
618	4	下	この教科書の使い方	『小学国語　4下』では、『小学国語　4上』で学んだ大事なことを生かして学習し、国語の力をつけましょう。	1			1										
619	4	下	この教科書の使い方	学習するとき、このページを開いておいて、参考にしよう。	1			1										
620	4	下	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのかをたしかめよう。	1			1										
621	4	下	この教科書の使い方	４上の学習をよく思い出して学習を進めよう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
622	4	下	この教科書の使い方	さいごに、学んだことをふり返って、初めのおりこみに記録しておこう。	1			1										
623	4	下	この教科書の使い方	いちばん後ろにある「ゆたかな言葉」は、自分で学習しよう。	1			1										
624	4	下	カレーの旅	キャンプに行ったときなど、カレーを作ったことはありませんか。		1	1											
625	4	下	カレーの旅	いったいどこから来たのでしょう。	1		1											
626	4	下	カレーの旅	それでは、どこからやってきたのでしょうか。		1	1											
627	4	下	カレーの旅	「夜に鳴くセミ」で学んだ説明文の読み方を思い出して、だんらくをもとにして、書かれている事がらをまとめながら、「カレーの旅」を読み取りましょう。	1			1										
628	4	下	カレーの旅	「カレーの旅」を、次の三つの大きなまとまりに分けて、それぞれのだんらく番号を全部書き出しましょう。	1			1										
629	4	下	カレーの旅	問題について説明している部分を、次の三つに分けて読み取り、ノートにまとめましょう。	1			1										
630	4	下	カレーの旅	読者を引き付けるために、筆者がどのような書き方のくふうをしているか、話し合いましょう。	1			1										
631	4	下	食べよう、作ろう、読んでみよう	食べ物が出てくる本を読んで、その世界をたんけんしてみましょう。	1		1											
632	4	下	読書新聞を作ろう	本を読んで思ったことやわかったことを、読書新聞を作ってしょうかいし合いましょう。	1			1										
633	4	下	読書新聞を作ろう	みなさんも、読書新聞を作って本をしょうかいし合いましょう。	1			1										
634	4	下	読書新聞を作ろう	わかりやすい記事を書いて、読んだ本をしょうかいできましたか。		1		1										
635	4	下	読書新聞を作ろう	学習の記録を残そう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
636	4	下	つながりを表す言葉	これまでに学習した文章から、つながりを表す言葉をさがしましょう。	1			1										
637	4	下	つながりを表す言葉	（　）の中に、後ろの□から言葉をえらんで、文と文をつないでみましょう。	1			1										
638	4	下	つながりを表す言葉	次の言葉を使って文章を作ってみましょう。	1			1										
639	4	下	ごんぎつね	それを生かして「ごんぎつね」を読み深めましょう。	1			1										
640	4	下	ごんぎつね	この物語のあらすじをまとめて、聞く人によくわかるように発表しましょう。	1			1										
641	4	下	ごんぎつね	次のときの、ごんや兵十の様子を想ぞうして話し合いましょう。	1			1										
642	4	下	ごんぎつね	次のところを、くふうして、声に出して読みましょう。	1			1										
643	4	下	ごんぎつね	いちばん強く心に残ったことを中心に、感想文を書いて発表しましょう。	1			1										
644	4	下	「ごんぎつね」への思いを深めよう	今度は、次の三つのやり方から一つを選んで、この物語についての思いや考えをもっと深めていきましょう。	1		1											
645	4	下	「ごんぎつね」への思いを深めよう	そして、深まった思いを発表し合いましょう。	1		1											
646	4	下	「ごんぎつね」への思いを深めよう	「ごんぎつね」を読んで思ったことをさらに深めて、交流できましたか。		1		1										
647	4	下	「ごんぎつね」への思いを深めよう	学習の記録を残そう。	1			1										
648	4	下	山中の家でのできごと	そこでは、どんな人がどんなくらしをしていたのでしょう。		1	1											
649	4	下	山中の家でのできごと	ここでは、どんな人々がどんなふうにくらしていたのでしょう。	1			1										
650	4	下	山中の家でのできごと	ここで見つけたものから、いろいろ想ぞうしてみましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
651	4	下	山中の家でのできごと	この場面の人物になって、そこでの光景や体験したことを想ぞうして、物語を作りましょう。	1			1										
652	4	下	広告の言葉を考えよう	広告の言葉を集めよう。	1			1										
653	4	下	広告の言葉を考えよう	みなさんも自分の周りにある広告のなかから、くふうされた言葉を集めてノートにまとめてみましょう。	1			1										
654	4	下	広告の言葉を考えよう	そして、気に入った言葉について、おたがいに発表し合いましょう。	1			1										
655	4	下	広告の言葉を考えよう	広告の言葉を作ろう。	1			1										
656	4	下	広告の言葉を考えよう	今までに調べたことを参考にしながら、広告の言葉を作ってみましょう。	1			1										
657	4	下	広告の言葉を考えよう	みんなの広告の言葉ができあがったら、一まいの紙や冊子にまとめててんじするなどして、読み合いましょう。	1			1										
658	4	下	広告の言葉を考えよう	言葉の使い方について話し合おう。	1			1										
659	4	下	広告の言葉を考えよう	広告の言葉を作るときに、言葉の使い方をどんなふうにくふうしたかを発表し合いましょう。	1			1										
660	4	下	広告の言葉を考えよう	そして、言葉の使い方のおもしろさについて話し合ってみましょう。	1			1										
661	4	下	広告の言葉を考えよう	言葉の使い方をくふうして、広告の言葉を作ることができましたか。		1		1										
662	4	下	広告の言葉を考えよう	学習の記録を残そう。	1			1										
663	4	下	言葉のいろいろな意味	次の①～⑧の文を読んで、意味を考えてみましょう。	1		1											
664	4	下	言葉のいろいろな意味	④～⑧についても、国語辞典で意味を調べましょう。	1		1											
665	4	下	言葉のいろいろな意味	ほかにも多くの意味を持っている言葉をさがして、いろいろな意味と使い方を調べましょう。	1			1										
666	4	下	言葉のいろいろな意味	ほかにもどんな慣用句があるか、さがしてみましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
667	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	それを読み取ったあとで、自分たちの町に作ってみたいものなどを考えて、それをしょうかいするパンフレットを作りましょう。	1			1										
668	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	「進化した路面電車」を読んで、次のことをノートにまとめましょう。	1			1										
669	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	「第一に」「第二に」という言葉に注目して、今までの路面電車の長所と短所を表にまとめ、ノートに書きましょう。	1			1										
670	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	「進化した路面電車」が、なぜ「公共交通機関の主役」になるのかを考えて、ノートにまとめましょう。	1			1										
671	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	未来の交通のしくみについて考え、話し合いましょう。	1			1										
672	4	下	ねらいに合わせて整理しながらまとめよう	自分たちの住んでいる町や村にある交通機関について、その長所や短所について話し合いましょう。	1			1										
673	4	下	進化した路面電車	みなさんは、路面電車という言葉からどんな電車を思いうかべますか。		1	1											
674	4	下	進化した路面電車	ガッタン、ゴットンと、のんびり走っている様子を思いうかべる人が多いのではないでしょうか。		1	1											
675	4	下	進化した路面電車	では、それまでの路面電車には、どんな短所と長所があったのでしょうか。		1	1											
676	4	下	パンフレットを作ろう	自分たちの町に作りたいものを考えたり、知らない町の様子を想ぞうしたりして、それを紹介するパンフレットを作りましょう。	1			1										
677	4	下	パンフレットを作ろう	みなさんも、学級やはんで、いろいろなパンフレットを作りましょう。	1			1										
678	4	下	パンフレットを作ろう	みんなの力を合わせて、パンフレットを仕上げることができましたか。		1		1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
679	4	下	パンフレットを作ろう	学習の記録を残そう。	1			1										
680	4	下	ローマ字２	次の二つの書き表し方のちがいをくらべてみましょう。	1			1										
681	4	下	ローマ字２	身の回りのどんなところでローマ字が使われているか、集めてみましょう。	1			1										
682	4	下	漢字当てクイズ	元の漢字は、なんという漢字でしょうか。		1	1											
683	4	下	漢字当てクイズ	考えてみましょう。	1		1											
684	4	下	漢字当てクイズ	みなさんも、同じように漢字当てクイズをしてみましょう。	1		1											
685	4	下	漢字当てクイズ	問題のカードは、いくつか作っておきましょう。	1		1											
686	4	下	漢字当てクイズ	どちらのグループが多く点を取るか競争しましょう。	1		1											
687	4	下	漢字当てクイズ	六つや九つに切りはなしたカードも作って、やってみましょう。	1			1										
688	4	下	自分の力をたしかめよう	ここでは、みなさん一人一人にどんな力がついたかをたしかめるために、「風のゆうれい」を、自分の力で学習しましょう。	1			1										
689	4	下	自分の力をたしかめよう	みなさんも、自分の力で学習する課題を作り、自分一人の力で学習しましょう。	1			1										
690	4	下	風のゆうれい	「風のゆうれい」の学習をふり返りましょう。	1			1										
691	4	下	風のゆうれい	「風のゆうれい」を、楽しく学習することができましたか。		1		1										
692	4	下	風のゆうれい	自分の力で学習できたことに〇をつけましょう。	1			1										
693	4	下	風のゆうれい	一年間の学習をふり返りましょう。	1			1										
694	4	下	風のゆうれい	４上と４下の初めの折りこみにある「学習の記録を残そう」を見て、色をぬった花びらの数を数えてみましょう。	1			1										
695	4	下	風のゆうれい	国語でどんな学習をしたか、思い出しましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
696	4	下	風のゆうれい	四年の初めに書いた「がんばりたいこと」を思い出して、一年間の学習でできるようになったことや、これからやってみたいことを書きましょう。	1			1										
697	4	下	ゆたかな言葉	自分でちょうせんしてみよう。	1			1										
698	4	下	伝え方を考えよう	いろいろな記録する道具を調べて、それぞれの特ちょうについて考えましょう。	1			1										
699	4	下	伝え方を考えよう	次の場面に出てくる友達は、どんな道具を使って記録したのでしょうか。		1		1										
700	4	下	伝え方を考えよう	そして、どうしてその道具を使ったかを考えてみましょう。	1			1										
701	4	下	伝え方を考えよう	いろいろな事がらについて、どの道具を使って記録すればうまく伝えられるか、考えてみましょう。	1			1										
702	4	下	世界の言葉と出会おう	言葉がちがうと、どんなことがちがうのか、たしかめましょう。	1			1										
703	4	下	世界の言葉と出会おう	左の表のいろいろな言葉を声に出して読んで、言い方をくらべ、にているところやちがうところをさがしましょう。	1			1										
704	4	下	世界の言葉と出会おう	また、？のところに、当てはまることを考えましょう。	1			1										
705	4	下	世界の言葉と出会おう	正しい発音は、外国の人と話したり、テレビやラジオやCDなどを聞いたりしてたしかめましょう。	1			1										
706	4	下	世界の言葉と出会おう	いろいろなものごとについて、外国では、どう言い表すのか、調べてみましょう。	1			1										
707	4	下	書き写そう	歌や詩や文章を書き写して、作者の思いを感じ取りましょう。	1			1										
708	4	下	書き写そう	意味を考えながら書きましょう。	1			1										
709	4	下	書き写そう	語りかけるような言葉で書かれているところの調子を味わいましょう。	1			1										
710	4	下	書き写そう	作者の思いを感じながら、声に出して何度も読み、覚えましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
711	4	下	国語の言葉	学習の中で出てきた言葉をまとめておきましょう。	1			1										
712	4	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										
713	5	上	表紙	たいせつに使いましょう。	1			1						1	1			1
714	5	上	学習の記録を残そう	下のそれぞれの学習を終えたときに、色をぬろう。	1			1										
715	5	上	学習の記録を残そう	めあてをもつことができましたか。		1		1						1	1		1	
716	5	上	学習の記録を残そう	登場常人物の気持ちのうつり変わりを読めましたか。		1		1			1		1		1			1
717	5	上	学習の記録を残そう	根きょとなる事実を挙げ、自分の意見を整理して書けましたか。		1		1		1			1		1			1
718	5	上	学習の記録を残そう	構成にしたがって、文章の内容を読み取り、ノートにまとめられましたか。		1		1			1		1		1			1
719	5	上	学習の記録を残そう	自分の立場から、論を組み立てて、説得力のある話ができましたか。		1		1	1				1			1	1	
720	5	上	４年で学習したこと	学習するとき、このページを開いておいて、参考にしよう。	1			1										
721	5	上	この教科書の使い方	『小学国語　5上』では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の大事なことを学びましょう。	1			1										
722	5	上	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのかを確かめよう。	1			1										
723	5	上	この教科書の使い方	大事なことに注意して学習を進めよう。	1			1										
724	5	上	この教科書の使い方	最後に、学んだことをふり返って、初めのおりこみに記録しておこう。	1			1										
725	5	上	コブシの花	声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
726	5	上	四万十川と生きる	先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。	1			1	1					1		1		1
727	5	上	四万十川と生きる	お話を聞いて思ったことを話しましょう。	1			1	1					1		1	1	
728	5	上	発想を豊かに	いろいろなことを書きましょう。	1			1		1				1	1		1	
729	5	上	発想を豊かに	「桜」という一つの言葉から、さまざまな題材を見つけましょう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
730	5	上	発想を豊かに	一つの言葉から三つの題材を考えて、作文を書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
731	5	上	自分のめあてを決めよう	「コブシの花」「四万十川と生きる」「発想を豊かに」の学習では、どんなことをしましたか。		1		1										
732	5	上	自分のめあてを決めよう	したことに〇を付けましょう。	1			1							1			1
733	5	上	自分のめあてを決めよう	初めの折りこみ「4年で学習したこと」を見ながら、自分の国語の力を確かめて、次のマークに色をぬりましょう。	1			1										
734	5	上	自分のめあてを決めよう	下のように色をぬりましょう。	1			1										
735	5	上	自分のめあてを決めよう	国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。		1		1									1	
736	5	上	自分のめあてを決めよう	次の例を参考にして話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
737	5	上	自分のめあてを決めよう	これから一年間の国語の学習で、あなたが目標としてがんばりたいと思うことは、どんなことですか。		1		1									1	
738	5	上	自分のめあてを決めよう	書いておきましょう。	1			1		1				1	1		1	
739	5	上	自分のめあてを決めよう	目標が書けたら、初めの折りこみ「学習の記録を残そう」に記録しておこう。	1			1										
740	5	上	みんなに相談したいことを話そう	いつも気になっていることやこまっていることについて、一分間スピーチをして、みんなでいっしょに考えましょう。	1			1	1					1		1	1	
741	5	上	みんなに相談したいことを話そう	話すときには、事実と自分の考えがはっきりとわかるように話しましょう。	1			1	1				1			1		1
742	5	上	みんなに相談したいことを話そう	聞くときは、自分の考えと比べながら聞くようにしましょう。	1			1	1				1			1		1
743	5	上	二つの事がらをつないだ文	例えば「と」という言葉で考えてみましょう。	1		1			1		1						1
744	5	上	二つの事がらをつないだ文	次の文の中にある二つの事がらの関係を考えてみましょう。	1			1		1		1						1
745	5	上	かばんの中にかばんを入れて	一郎さんの気持ちのうつり変わりをまとめながら読みましょう。	1			1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
746	5	上	かばんの中にかばんを入れて	「かばんの中にかばんを入れて」という題名について、思ったことや感じたことを話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
747	5	上	かばんの中にかばんを入れて	この物語の次の場面で、一郎さんとトランクとの会話や行動に注目しながら読み、一郎さんの気持ちの変化をノートにまとめましょう。	1			1			1		1		1			1
748	5	上	かばんの中にかばんを入れて	一郎さんからトランクへあてて、または、トランクから一郎さんへあてての手紙を書いてみましょう。	1			1		1				1	1		1	
749	5	上	かばんの中にかばんを入れて	一郎さんとトランクの気持ちを想ぞうしながら、会話文をくふうして声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
750	5	上	かばんの中にかばんを入れて	登場人物の気持ちの変化を読み取るためには、場面の様子、人物の行動や心情の表現などに着目しよう。	1			1			1		1		1			1
751	5	上	かばんの中にかばんを入れて	登場人物の気持ちのうつり変わりを読めましたか。		1		1			1		1		1			1
752	5	上	かばんの中にかばんを入れて	学習の記録を残そう。	1			1										
753	5	上	手紙	平和や命のとうとさについて、いろいろな本を読みながら、自分でも考えてみましょう。	1			1			1			1	1		1	
754	5	上	手紙	「会社ずとめ」と書かないように気をつけよう。	1			1		1		1			1			1
755	5	上	いらい状を書こう	そんなときには、いらい状を書きましょう。	1		1			1			1		1			
756	5	上	いらい状を書こう	協力していただいたことはじゅうぶんに活用し、その成果は、お礼といっしょに報告するようにしましょう。	1		1			1				1				
757	5	上	いらい状を書こう	お願いをするときは、自分たちの都合でお願いしているということをわすれずに、相手にめいわくがかからないように気をつけましょう。	1			1		1								
758	5	上	提案したいこと（意見文）	学級のみんなに知ってほしいこと、考えてほしいこと、いっしょにしてほしいことなどはありませんか。		1	1									1	1	
759	5	上	提案したいこと（意見文）	頭の中で考えるだけでなく、自分の意見として文章に書き、毎日いっしょに生活している仲間に伝えてみましょう。	1		1			1			1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
760	5	上	提案したいこと（意見文）	どうやったら自分の意見を文章にまとめることができるのか、考えてみましょう。	1			1		1			1		1			
761	5	上	提案したいこと（意見文）	言いたいことと、その根きょとなる事実をはっきりさせよう。	1			1		1			1		1			1
762	5	上	提案したいこと（意見文）	書く目的に合わせて、文章の展開をくふうしよう。	1			1		1			1		1		1	
763	5	上	提案したいこと（意見文）	藤崎さんの学級のように、自分の思いや考えを文章にまとめてみましょう。	1			1		1								
764	5	上	提案したいこと（意見文）	自分の意見をより強くうったえることができるように、書いた文章を見直し、意見や根きょを付け足したり、のべる順番やのべ方をくふうしましょう。	1			1		1			1		1		1	
765	5	上	提案したいこと（意見文）	書いた文章の合評会をして、それぞれのよいところなどを話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
766	5	上	提案したいこと（意見文）	最後に、みんなの意見を一つにとじて読み合い、それぞれの意見について話し合いましょう。	1			1	1							1	1	
767	5	上	提案したいこと（意見文）	そして、提案を実行にうつしたり、生活に生かしたりしましょう。	1			1						1		1	1	
768	5	上	提案したいこと（意見文）	根きょとなる事実を挙げ、自分の意見を整理して書けましたか。		1		1		1			1		1			1
769	5	上	提案したいこと（意見文）	学習の記録を残そう。	1			1										
770	5	上	漢字の音合わせゲーム	漢字カードを作り、同じ音をもつ漢字を集めるゲームをしてみましょう。	1		1											
771	5	上	漢字の音合わせゲーム	ほかに、「イ」「カン」「サン」「シュウ」などについても集めてみましょう。	1		1											
772	5	上	例を挙げて説明しよう	みなさんも、いろいろなことを調べて考えたことやわかったことを、例を挙げて書いたり話したりして、説明してみましょう。	1			1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
773	5	上	花を食べる	めでたいことがあるときに、お茶の代わりに飲むとされているが、きみたちは飲んだことがあるだろうか。		1	1				1	1						
774	5	上	花を食べる	これを食べたことがあるだろうか。		1	1				1	1						
775	5	上	花を食べる	そのちえとはどんなものかさぐってみよう。	1		1				1	1						
776	5	上	花を食べる	では、花を食べることには、どんな意味があるだろうか。		1	1				1	1						
777	5	上	花を食べる	「花を食べる」の構成を考えながら、内容をくわしく読みましょう。	1			1			1		1		1			1
778	5	上	花を食べる	「花を食べる」という題名について、思ったことや感じたことを話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
779	5	上	花を食べる	それぞれのまとまりごとに、次のことを読み取り、ノートにまとめましょう。	1			1			1	1			1			1
780	5	上	花を食べる	筆者は、読者に対して、どんなのべ方のくふうをしているか話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
781	5	上	花を食べる	「花を食べる」を読んで、おもしろいなと思ったこと、初めて知ったことなどを話し合いましょう。	1			1	1			1				1	1	
782	5	上	花を食べる	説明文では、文章の中心になっている大事な事がらを、構成にしたがって、まとめながら読もう。	1			1			1		1		1			1
783	5	上	花を食べる	構成にしたがって、文章の内容を読み取り、ノートにまとめられましたか。		1		1			1		1		1			1
784	5	上	花を食べる	学習の記録を残そう。	1			1										
785	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	いろいろの論説文を読んで、ものの見方や考え方を学びましょう。	1			1			1			1			1	
786	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	「せいたい」と読まないように気をつけよう。	1			1			1	1			1			1
787	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	なんとなく、うす気味悪いものを感じないだろうか。		1	1				1							
788	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	夜、真っ暗な所で、便所に起きるのがこわいと思ったことは、ないだろうか。		1	1				1							

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
789	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	このあたりで、きみたちは、ぼくがなぜおばけの話などを始めたのか、やっとわかりかけたのではなかろうか。		1	1				1							
790	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	「現れる」と「表れる」のちがいに気をつけよう。	1			1			1	1			1			1
791	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	「探検」と「危険・冒険」のちがいを考えてみよう。	1			1			1	1			1			1
792	5	上	仮名づかいのまとめ	文章を書くときには、国語辞典などで、仮名づかいを確かめるようにしましょう。	1			1		1		1			1			1
793	5	上	本の世界を深めよう	自分が読んだ本から、本の世界をどんどん深めていきましょう。	1		1				1			1	1		1	
794	5	上	本の世界を深めよう	本を読み終わったら、読書の記録を「読書カード」に書きこんでおきましょう。	1		1				1			1	1		1	
795	5	上	やしの実	詩を何度も読んで、文語の調子を味わいましょう。	1		1				1		1		1			
796	5	上	みんなの詩	イメージが目にうかぶように書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
797	5	上	みんなの詩	一言でずばり、特ちょうをとらえて書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
798	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	何かをしようとして、判断に迷ったことはありませんか。		1	1										1	
799	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	また、友達と意見が食いちがってしまったことはありませんか。		1	1										1	
800	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	学級で論題を決め、討論会をしてみましょう。	1		1		1					1		1		
801	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	事実と自分の考えが、聞き手にはっきりわかるように話そう。	1			1	1				1					1
802	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	自分の考えと比べながら聞こう。	1			1	1				1					1
803	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	村田さんの学級のように、論題を決めて、討論会をしてみましょう。	1			1	1									
804	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	討論会のあと、両方の側の討論のしかたをふり返り、「評価カード」にまとめましょう。	1			1	1					1		1	1	
805	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	自分の立場から、論を組み立てて、説得力のある話ができましたか。		1		1	1				1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
806	5	上	賛成？それとも反対？（討論会）	学習の記録を残そう。	1			1										
807	5	上	５上のまとめ	確かめてみよう。	1			1										
808	5	上	５上のまとめ	初めの折りこみ「学習の記録を残そう」は、五年が終わるまで残しておこう。	1			1										
809	5	上	とび出し注意	好きなときにすすんで読みましょう。	1			1			1			1	1			
810	5	上	題材のファイル	写真・絵や言葉を手がかりに、話したいことや書きたいことを見つけてファイルしましょう。	1			1						1	1		1	
811	5	上	ノートのくふう	いろいろな考えを書きながら整理して、新しい考えを生み出そう。	1			1		1			1		1		1	
812	5	上	五年生の本だな	いろいろな本を読んで読書の世界を深めましょう。	1			1			1			1	1		1	
813	5	上	五年生の本だな	さあ、どんなこわい話がとび出すのでしょうか。		1		1			1							
814	5	上	五年生の本だな	のろいはとけるのでしょうか。		1		1			1							
815	5	上	五年生の本だな	最後に勝ったのはどちらでしょうか。		1		1			1							
816	5	上	すいこうのしかた	文章を書いたときには、よりわかりやすくするために、読み直して、すいこうしましょう。	1			1		1			1					
817	5	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1						1	1			1
818	5	下	もくじ	たいせつに使いましょう。	1			1										
819	5	下	もくじ	きょうみがあれば、自分で取り組んでみましょう。	1			1										
820	5	下	学習の記録を残そう	読書発表会をして、テーマについて考えを深められましたか。		1		1										
821	5	下	学習の記録を残そう	読み取ったことを、研究してさらに深め、説明できましたか。		1		1										
822	5	下	学習の記録を残そう	方言を調べたりして、方言について考えることができましたか。		1		1										
823	5	下	学習の記録を残そう	人物の生がいや功績をわかりやすくしょうかいする作品を作り上げられましたか。		1		1										
824	5	下	学習の記録を残そう	一年間の学習をふり返ることができましたか。		1		1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
825	5	下	この教科書の使い方	学習するとき、このページを開いておいて、参考にしよう。	1			1										
826	5	下	この教科書の使い方	『小学国語　５下』では、『小学国語　５上』で学んだ大事なことを生かして学習し、国語の力をつけましょう。	1			1										
827	5	下	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのかを確かめよう。	1			1										
828	5	下	この教科書の使い方	５上の学習をよく思い出して学習を進めよう。	1			1										
829	5	下	この教科書の使い方	最後に、学んだことをふり返って、初めの折りこみに記録しておこう。	1			1										
830	5	下	この教科書の使い方	いちばん後ろにある「豊かな言葉」は、自分で学習しよう。	1			1										
831	5	下	注文の多い料理店	この物語も、登場人物の会話や行動のおもしろさに着目しながら、楽しく読みましょう。	1			1										
832	5	下	注文の多い料理店	次の場面で二人の紳士の気持ちを想ぞうしましょう。	1			1										
833	5	下	注文の多い料理店	次のような、表現がおもしろいと思う文を書き出して、そのおもしろさについて話し合いましょう。	1			1										
834	5	下	注文の多い料理店	二人の紳士の会話や、戸に書いてある言葉などに着目しながら、声に出して読みましょう。	1			1										
835	5	下	注文の多い料理店	作者宮沢賢治は、この物語を通して、読者にどんなことを伝えたかったのでしょうか。		1		1										
836	5	下	注文の多い料理店	みんなで話し合いましょう。	1			1										
837	5	下	注文の多い料理店	宮沢賢治のいろいろな作品を読み、作家と作品について話し合いましょう。	1			1										
838	5	下	自然や動物と人間との関係	童話「なめとこ山の熊」「よだかの星」「フランドン農学校のぶた」なども読んでみましょう。	1		1											
839	5	下	自然や動物と人間との関係	自然や動物と人間との関係をえがいた本をさがし、読み広げてみましょう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
840	5	下	読書発表会を開こう	今まで学習したことや関心のあることのなかからテーマを決めて読書をし、わかったことや考えたことを発表し合いましょう。	1			1										
841	5	下	読書発表会を開こう	みなさんも、テーマを決めて、読書発表会を開いてみましょう。	1			1										
842	5	下	読書発表会を開こう	読書発表会をして、テーマについて考えを深められましたか。		1		1										
843	5	下	読書発表会を開こう	学習の記録を残そう。	1			1										
844	5	下	マンガの表現を楽しむ	「マンガの表現を楽しむ」でも、大きなまとまりに分けて、要旨を読み取りましょう。	1			1										
845	5	下	マンガの表現を楽しむ	それぞれ、どんなことが書かれているか話し合いましょう。	1			1										
846	5	下	マンガの表現を楽しむ	文中の言葉を使って、ノートに書き出しましょう。	1			1										
847	5	下	マンガの表現を楽しむ	図１の四コママンガの例について、次のことを調べて、表にまとめましょう。	1			1										
848	5	下	マンガの表現を楽しむ	図6を見ながら、次の表現についてノートにまとめましょう。	1			1										
849	5	下	マンガの表現を楽しむ	筆者は、マンガを楽しむためにどんなことをしてほしいといっていますか。		1		1										
850	5	下	マンガの表現を楽しむ	みんなで話し合いましょう。	1			1										
851	5	下	マンガを研究しよう	今度は、次の三つから好きな方法を選び、マンガの表現について、より深く調べたり、自分でマンガをかいたりして、研究してみましょう。	1		1											
852	5	下	マンガを研究しよう	そして、研究の成果を、資料を示しながらわかりやすく発表し合いましょう。	1		1											
853	5	下	マンガを研究しよう	読み取ったことを、研究してさらに深め、説明できましたか。		1		1										
854	5	下	マンガを研究しよう	学習の記録を残そう。	1			1										
855	5	下	ベンチの一日	ベンチは、どんなことを見てきたのでしょう。		1	1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
856	5	下	ベンチの一日	さまざまな時間におとずれる人やできごとについて想像し、ベンチになって語りましょう。	1			1										
857	5	下	ベンチの一日	一日のいろいろな時間に来る人やものを挙げてみましょう。	1			1										
858	5	下	ベンチの一日	それぞれの人やものは、そこで、どんなことをするのでしょうか。		1		1										
859	5	下	ベンチの一日	この木とベンチの会話を想像して、やりとりしてみましょう。	1			1										
860	5	下	言葉を増やす	いろいろな言葉を集めて、名詞・動詞・形容詞を見つけましょう。	1			1										
861	5	下	方言を考えよう	次の１～３の文で、あなたは、ふだん{　}のうちのどの言い方をしますか。		1	1											
862	5	下	方言を考えよう	ほかの地いきではどうでしょう。		1	1											
863	5	下	方言を考えよう	みなさんも、作ってみて、どんな分布がうかび上がってくるか、確かめてみましょう。	1		1											
864	5	下	方言を考えよう	みなさんの地いきには、どんな方言があるでしょうか。		1		1										
865	5	下	方言を考えよう	そして、それらの方言は、共通語で言うとどうなるでしょうか。		1		1										
866	5	下	方言を考えよう	いろいろな方言を集めて、確かめてみましょう。	1			1										
867	5	下	方言を考えよう	方言を調べたりして、方言について考えることができましたか。		1		1										
868	5	下	方言を考えよう	学習の記録を残そう。	1			1										
869	5	下	漢字の成り立ち	次の漢字の成り立ちを、漢和辞典で調べてみましょう。	1			1										
870	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	初めに洪庵の生き方を読んだ後、郷土の人物を調べ、ほかの人にしょうかいする作品をつくってみましょう。	1			1										
871	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	緒方洪庵の生まれてから死ぬまでの生き方を、時代に分けて年表にまとめましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
872	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	洪庵の生き方について、次のことを事実と意見に分けて読み取り、まとめましょう。	1			1										
873	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	洪庵の一生を、作者はどんな言葉で表現していますか。		1		1										
874	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	文中からさがして、ノートに書き出しましょう。	1			1										
875	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	洪庵はどんな一生を送ったか、全体を読んで話し合いましょう。	1			1										
876	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	作者は、なぜ、「洪庵のたいまつ」という題を付けたのでしょう。	1			1										
877	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	作者の立場に立って考え、話し合いましょう。	1			1										
878	5	下	表現のしかたをくふうしてまとめよう	心に残る郷土の人物をしょうかいし合いましょう。	1			1										
879	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	自分たちの郷土に生まれて活やくした人物について調べ、しょうかいし合いましょう。	1			1										
880	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	案内書を作ろう	1			1										
881	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	みなさんも、郷土の人物について調べて、自分たち独自の作品を制作しましょう。	1			1										
882	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	そして、多くの人々に伝えましょう。	1			1										
883	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	人物の生がいや功績をわかりやすくしょうかいする作品を作り上げられましたか。		1		1										
884	5	下	伝記新聞やカセットブックなどを作ろう	学習の記録を残そう。	1			1										
885	5	下	組み合わせ言葉	「てっぽうゆり」という名前の花を見たことがありますか。		1	1											
886	5	下	組み合わせ言葉	次のカードの言葉を組み合わせて、いろいろな言葉を作りましょう。	1			1										
887	5	下	漢字のつながり作り	一つの漢字から出発して、漢字のつながりを作ってみましょう。	1		1											
888	5	下	漢字のつながり作り	次の漢字のつながりの続きを、考えてみましょう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
889	5	下	漢字のつながり作り	どのようにすれば、長いつながりができるでしょうか。		1	1											
890	5	下	漢字のつながり作り	みんなで、漢字の長いつながりを作るゲームをしましょう。	1		1											
891	5	下	自分の力を確かめよう	その結果、みなさんにはどのような力がついたでしょうか。		1		1										
892	5	下	自分の力を確かめよう	ここでは、「森を育てる漁師の話」を自分の力で学習しましょう。	1			1										
893	5	下	自分の力を確かめよう	そして、後で自分の力を確かめましょう。	1			1										
894	5	下	自分の力を確かめよう	次の方法を参考にして、課題をもち、自分の力で学習しましょう。	1			1										
895	5	下	自分の力を確かめよう	みなさんも、自分の力で学習する課題を作り、自分一人の力で学習しましょう。	1			1										
896	5	下	森を育てる漁師の話	「森を育てる漁師の話」の学習をふり返りましょう。	1			1										
897	5	下	森を育てる漁師の話	「森を育てる漁師の話」を、自分の力で学習することができましたか。		1		1										
898	5	下	森を育てる漁師の話	学習したことに〇を付け、結果を自分で評価してみましょう。	1			1										
899	5	下	森を育てる漁師の話	一年間の学習をふり返りましょう。	1			1										
900	5	下	森を育てる漁師の話	５上と５下の初めの折りこみにある「学習の記録を残そう」を見て、色をぬった花びらの数を数えてみましょう。	1			1										
901	5	下	森を育てる漁師の話	国語でどんな学習をしたか、思い出しましょう。	1			1										
902	5	下	森を育てる漁師の話	五年の初めに書いた「がんばりたいこと」を思い出して、一年間の学習でできるようになったことや、これからやってみたいことを書きましょう。	1			1										
903	5	下	大造じいさんとがん	好きなときにすすんで読みましょう。	1			1										
904	5	下	豊かな言葉	自分でちょうせんしてみよう。	1			1										
905	5	下	豊かな言葉	テレビや新聞の情報の伝え方について調べ、情報を受け取るときに気をつけたいことを考えましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
906	5	下	豊かな言葉	テレビと新聞の伝え方の長所と短所を整理してまとめて見ましょう。	1			1										
907	5	下	豊かな言葉	同じ事実を、新聞とテレビがどのように報道しているかを調べてみましょう。	1			1										
908	5	下	豊かな言葉	同じ日の新聞を何種類か集め、紙面のちがいを比べてみましょう。	1			1										
909	5	下	豊かな言葉	情報の受け手として、どんな点に気をつければいいか、考えましょう。	1			1										
910	5	下	昔の仮名づかいを調べよう	昔の文章などに使われている、今とはちがった仮名づかいについて、調べてみましょう。	1			1										
911	5	下	昔の仮名づかいを調べよう	なぜでしょうか。		1	1											
912	5	下	昔の仮名づかいを調べよう	次の言葉は、歴史的仮名づかいではどのように書かれるのか、調べてみましょう。	1			1										
913	5	下	昔の仮名づかいを調べよう	ほかにも、歴史的仮名づかいで、今とはちがう書き表し方をする言葉をさがしてみましょう。	1			1										
914	5	下	書き写そう	昔の人が作った物語を書き写して、文語の調子に親しみましょう。	1			1										
915	5	下	書き写そう	仮名づかいに気をつけて、ていねいに書き写しましょう。	1			1										
916	5	下	書き写そう	ふだん使っている言葉とはちがった文語の言葉づかいを見つけて、仮名づかいのちがいや意味を確かめましょう。	1			1										
917	5	下	書き写そう	文語のリズムを味わいながら、何度も声に出して読み、覚えましょう。	1			1										
918	5	下	国語の言葉	学習の中で出てきた言葉をまとめておきましょう。	1			1										
919	5	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										
920	6	上	表紙	たいせつに使いましょう。	1			1						1	1			1
921	6	上	学習の記録を残そう	下のそれぞれの学習を終えたときに、色をぬろう。	1			1										1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
922	6	上	学習の記録を残そう	めあてをもつことができましたか。		1		1						1	1		1	
923	6	上	学習の記録を残そう	人物の人がらや気持ちを想像し、内容を読み深めることができましたか。		1		1			1		1		1			1
924	6	上	学習の記録を残そう	自分の意図が伝わるように、書き方をくふうすることができましたか。		1		1		1			1		1		1	
925	6	上	学習の記録を残そう	文章の要旨をまとめることができましたか。		1		1			1		1		1			1
926	6	上	学習の記録を残そう	意図をくみ取りながら聞いたり、話し方をくふうして話したりすることができましたか。		1		1	1				1			1	1	
927	6	上	５年で学習したこと	学習するとき、このページを開いておいて、参考にしよう。	1			1										
928	6	上	この教科書の使い方	『小学国語　6上』では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の大事なことを学びましょう。	1			1										
929	6	上	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのか確かめよう。	1			1										1
930	6	上	この教科書の使い方	大事なことに注意して学習を進めよう。	1			1										
931	6	上	この教科書の使い方	最後に、学んだことをふり返って、初めの折りこみに記録しておこう。	1			1										
932	6	上	出発	声に出して読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
933	6	上	南極のペンギン	先生にお話を読んでもらって、聞きましょう。	1			1	1					1		1		1
934	6	上	南極のペンギン	お話を聞いて思ったことを話しましょう。	1			1	1					1		1	1	
935	6	上	視野の広がりを	いろいろなことを書きましょう	1			1		1				1	1		1	
936	6	上	視野の広がりを	ものごとを、いろいろなものや場所とのつながりのなかで考えたり、長い時間のなかでとらえたりするなど、広い視野をもつようにしましょう。	1		1						1		1			
937	6	上	視野の広がりを	視野を広げて考えたことを作文に書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
938	6	上	視野の広がりを	「出発」「南極のペンギン」「視野の広がりを」の学習では、どんなことをしましたか。		1		1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
939	6	上	視野の広がりを	したことに〇を付けましょう。	1			1							1			1
940	6	上	視野の広がりを	初めの折りこみ「5年で学習したこと」を見ながら、今の自分の国語の力を確かめて次のマークに色をぬりましょう。	1			1							1			
941	6	上	視野の広がりを	下のように色をぬりましょう。	1			1										
942	6	上	視野の広がりを	国語の学習をして、どんなことができるようになりたいですか。		1		1									1	
943	6	上	視野の広がりを	次の例を参考にして話し合いましょう。	1			1	1					1		1		
944	6	上	視野の広がりを	これから一年間の国語の学習で、あなたが目標としてがんばりたいと思うことは、どんなことですか。		1		1									1	
945	6	上	視野の広がりを	書いておきましょう。	1			1		1				1	1			
946	6	上	視野の広がりを	目標が書けたら、初めの折りこみ「学習の記録を残そう」に記録しておこう。	1			1										
947	6	上	うったえたいことを話そう	学級や学校に対して、あるいは社会に対して、自分のうったえたいことを、3分間スピーチで発表しましょう。	1			1	1				1			1	1	
948	6	上	うったえたいことを話そう	話すときは、聞く人に理解され、共感を得られるように、話し方をくふうしましょう。	1			1	1				1			1	1	
949	6	上	うったえたいことを話そう	聞くときは、話の意図をくみ取りながら聞き、自分の考えを参考にできるようにしましょう。	1			1	1				1			1	1	
950	6	上	Ｏじいさんのチェロ	Ｏじいさんの人がらや気持ちを考えながら、作品の内容を味わいましょう。	1			1			1		1					1
951	6	上	Ｏじいさんのチェロ	全文を通して読み、中心となる人物の様子について話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
952	6	上	Ｏじいさんのチェロ	「まったく、いやになっちゃう。」とは、何の、どんなことを表していますか。		1		1										1
953	6	上	Ｏじいさんのチェロ	か条書きでノートに書き出して、話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
954	6	上	Ｏじいさんのチェロ	「わたし」のＯじいさんへの態度や気持ちがどう変わっていったか、ノートに書き出して話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
955	6	上	Ｏじいさんのチェロ	Ｏじいさんの人がらや気持ちを想像して、ノートに書き、話し合いましょう。	1			1	1					1		1		
956	6	上	Ｏじいさんのチェロ	「わたし」の気持ちを考えながら音読しましょう。	1			1			1		1		1		1	
957	6	上	Ｏじいさんのチェロ	主人公の「わたし」がいちばん言いたいことはどんなことでしょう。	1			1					1					1
958	6	上	Ｏじいさんのチェロ	ノートにまとめて話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
959	6	上	Ｏじいさんのチェロ	物語の情景や心情を読み味わうためには、場面ごとの大事な言葉や表現に着目しよう。	1			1			1		1		1			1
960	6	上	Ｏじいさんのチェロ	登場人物の人がらや気持ちを考え、内容を味わえましたか。		1		1			1		1		1			
961	6	上	Ｏじいさんのチェロ	学習の記録を残そう。	1			1							1		1	
962	6	上	冬きたりなば	「冬きたりなば」の作品の世界を楽しみ、このような空想的な作品をさがして読んでみましょう。	1			1			1			1	1		1	
963	6	上	ファックスやメールを利用しよう	郵便、電話、ファックスやメールなど、場面や相手に合わせて、適切な方法を選んで用件を伝えるようにしましょう。	1		1		1				1		1			1
964	6	上	ファックスやメールを利用しよう	相手に見えないからといって、いいかげんな内容にせず、直接会って話をするつもりで書くようにしましょう。	1			1	1				1		1			1
965	6	上	新聞の研究（調査・報告）	そんなたいせつな情報源である新聞の紙面について研究してみましょう。	1		1					1				1	1	
966	6	上	新聞の研究（調査・報告）	そして、わかったことを報告文にまとめ、いろいろな人に読んでもらいましょう。	1		1		1					1		1		
967	6	上	新聞の研究（調査・報告）	研究したことの報告をまとめるには、どうすればいいか、考えてみましょう。	1			1	1				1			1	1	
968	6	上	新聞の研究（調査・報告）	書く材料を整理・分せきして、意図をはっきりさせて書こう。	1			1		1			1			1		

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
969	6	上	新聞の研究（調査・報告）	目的に応じて、表現をくふうして書こう。	1			1		1			1			1	1	
970	6	上	新聞の研究（調査・報告）	みなさんも、川上さんの学級のように、一人で、あるいは、班で研究したことを報告にまとめてみましょう。	1			1		1				1				
971	6	上	新聞の研究（調査・報告）	投書らん以外にも、いろいろな観点から、新聞の紙面について研究してみましょう。	1			1				1					1	
972	6	上	新聞の研究（調査・報告）	書いた報告を読み合ったあと、みんなの研究の成果について、話し合ったり、みんなの報告をとじて報告集を作ったりしましょう。	1			1	1					1		1		
973	6	上	新聞の研究（調査・報告）	自分の意図が伝わるように、書き方をくふうすることができましたか。		1		1		1			1			1		
974	6	上	新聞の研究（調査・報告）	学習の記録を残そう。	1			1							1		1	
975	6	上	漢字のジグソーパズル	これから、漢字を使ったジグソーパズルをしてみましょう。	1		1									1		
976	6	上	漢字のジグソーパズル	そして、友達と交かんして遊びましょう。	1		1									1		
977	6	上	漢字のジグソーパズル	また、「五年生で習った漢字」「政治に関係のある熟語」などいろいろなテーマでパズルを作ってみましょう。	1		1									1		
978	6	上	漢字のジグソーパズル	ちょう戦してみましょう。	1			1						1		1		
979	6	上	推論によって説明しよう	みなさんも、いろいろな事実から自分なりに推論したことを、書いたり話したりして、発表してみましょう。	1			1					1			1	1	
980	6	上	川の自然	ほかにもさがしてみよう。	1			1			1	1					1	
981	6	上	川の自然	「復」を「複」と書かないように気をつけよう。	1			1		1		1			1			1
982	6	上	川の自然	自分の住んでいる地域の川の自然が今どんなふうになっているか、瀬と淵に注意しながら自分の目で確かめてみましょう。	1		1				1			1			1	
983	6	上	川の自然	「川の自然」を、内容の述べ方に着目して読み、要旨をまとめましょう。	1			1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
984	6	上	川の自然	全文を読み、「川の自然」という題名について、思ったことや考えたことを話し合いましょう。	1			1	1					1		1	1	
985	6	上	川の自然	それぞれのまとまりごとに、次のことを読み取り、ノートにまとめましょう。	1			1			1		1		1			1
986	6	上	川の自然	筆者は、「川の自然」を取りもどすことをうったえるために、どんな事実や理由を挙げて説明しているか、話し合いましょう。	1			1	1			1				1		1
987	6	上	川の自然	この説明文の要旨をノートにまとめ、話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
988	6	上	川の自然	説明文の要旨をとらえるために、事実と、それをもとにして考えたことを区別し、その関係を読み取ろう。	1			1			1		1		1			1
989	6	上	川の自然	文章の要旨をまとめることができましたか。		1		1			1		1		1			1
990	6	上	川の自然	学習の記録を残そう。	1			1							1		1	
991	6	上	インタビュー　地球環境を考える	インタビューやざ談会などを記録した本を見つけて、たずね方や答え方にも着目しながら読んでみましょう。	1			1	1				1		1			
992	6	上	インタビュー　地球環境を考える	「応」は「オウ」と読む漢字だけれど、「反応」は「ハンノウ」となるので注意しよう。	1			1			1	1			1			1
993	6	上	インタビュー　地球環境を考える	「中ば」と書かないように気をつけよう。	1			1		1		1			1			1
994	6	上	本の世界で学ぼう	今までの読書をふり返って、今後の読書計画を立ててみましょう。	1		1				1			1	1		1	
995	6	上	本の世界で学ぼう	読書記録をもとに、自分の読書のとくちょうやけいこうについて、班の友達と話し合ってみましょう。	1		1		1					1		1	1	
996	6	上	短歌と俳句	短歌や俳句を繰り返し声に出して読んで、そのリズムやひびきを味わいましょう。	1		1				1			1				
997	6	上	みんなの詩	心と言葉をひびき合わせて書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
998	6	上	みんなの詩	リズムを整えて書きましょう。	1			1		1			1		1			
999	6	上	みんなの詩	それぞれの句から、どんな情景が浮かんできますか。		1	1				1							

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1000	6	上	みんなの詩	みなさんも俳句を作って、読み合ったり、ときにはどの句がいいか、批評し合ったりしましょう。	1		1			1			1			1	1	
1001	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	みなさんは、自分が大人になったときのことを考えたことがありますか。		1	1										1	
1002	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	そのことについて、友達はどんな考えを持っているのでしょうか。		1	1											
1003	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	未来の社会について、調べたり考えたりしたことを、みんなで話し合いましょう。	1		1		1					1		1	1	
1004	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	パネルディスカッションをして、おたがいの考えを深め合いましょう。	1		1		1				1			1	1	
1005	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	聞く人に理解され、共感を得られるように、話し方をくふうしよう。	1			1	1				1			1	1	
1006	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	話の意図をくみ取りながら聞き、自分の考えの参考にできるようにしよう。	1			1	1				1			1	1	
1007	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	橋本さんの学級のように、未来の社会について、話し合ってみましょう。	1			1	1					1		1		
1008	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	それ以外にも、いろいろな立場に分かれて検討し合える話題を選んで、パネルディスカッションをしてみましょう。	1			1	1				1			1	1	
1009	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	意図をくみ取りながら聞いたり、話し方をくふうして話したりすることができましたか。		1		1	1				1			1		
1010	6	上	未来社会を考える（パネルディスカッション）	学習の記録を残そう。	1			1							1		1	
1011	6	上	漢字のトランプ	漢字の画数を、トランプの数字の代わりにしてゲームをしてみましょう。	1		1									1		
1012	6	上	６上のまとめ	６上では、どんなことを学習したか、確かめてみよう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1013	6	上	６上のまとめ	初めの折りこみ「学習の記録を残そう」は、六年が終わるまで残しておこう。	1			1										
1014	6	上	桃源郷ものがたり	好きなときにすすんで読みましょう。	1			1			1			1	1			
1015	6	上	題材のファイル	写真・絵や言葉を手がかりに話したいことや書きたいことを見つけてファイルしましょう。	1			1						1	1		1	
1016	6	上	ノートのくふう	そのときそのときの自分の考えを書きためながら、自己をのばしていこう。	1			1		1			1		1		1	
1017	6	上	六年生の本だな	読書のはばを広げていきましょう。	1			1			1			1	1		1	
1018	6	上	表現のくふう	相手に理解され、共感を得られるように、表現をくふうしましょう。	1			1					1			1		
1019	6	上	表現のくふう	効果的な表現のしかたを学びましょう。	1		1						1					
1020	6	上	裏表紙	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1						1	1			1
1021	6	下	もくじ	たいせつに使いましょう。	1			1										
1022	6	下	もくじ	興味があれば、自分で取り組んでみましょう。	1			1										
1023	6	下	学習の記録を残そう	調べたことをポスターにまとめて、発表し合うことができましたか。		1		1										
1024	6	下	学習の記録を残そう	読んだ伝記をもとに、人間の生き方を考え、交流することができましたか。		1		1										
1025	6	下	学習の記録を残そう	思い出と結び付く言葉を集めて、言葉の説明をくふうし、辞典を作ることができましたか。		1		1										
1026	6	下	学習の記録を残そう	楽しんで聞いてもらえるように語ることができましたか。		1		1										
1027	6	下	学習の記録を残そう	一年間の学習をふり返ることができましたか。		1		1										
1028	6	下	この教科書の使い方	学習するとき、このページを開いておいて、参考にしよう。	1			1										
1029	6	下	この教科書の使い方	『小学国語　6下』では、『小学国語　6上』で学んだ大事なことを生かして学習し、国語の力をつけましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1030	6	下	この教科書の使い方	まず、何を学ぶのかを確かめよう。	1			1										
1031	6	下	この教科書の使い方	６上の学習をよく思い出して学習を進めよう。	1			1										
1032	6	下	この教科書の使い方	最後に、学んだことをふり返って、初めの折りこみに記録しておこう。	1			1										
1033	6	下	この教科書の使い方	いちばん後ろにある「豊かな言葉」は、自分で学習しよう。	1			1										
1034	6	下	外国の人と理解し合うために	「外国の人と理解し合うために」でも、事実や理由をもとに、筆者の考えを読み深めましょう。	1			1										
1035	6	下	外国の人と理解し合うために	全文を読んで、外国の人といっしょに過ごしたことや、ものをたずねられた経験について話し合いましょう。	1			1										
1036	6	下	外国の人と理解し合うために	それぞれのまとまりごとの内容を簡単にまとめ、筆者の説明のしかたのくふうについて話し合いましょう。	1			1										
1037	6	下	外国の人と理解し合うために	筆者が問題を提示している文を書き写しましょう。	1			1										
1038	6	下	外国の人と理解し合うために	次の、人との付き合い方について、日本人と外国の人とのちがいをまとめましょう。	1			1										
1039	6	下	外国の人と理解し合うために	筆者は、外国の人と接する日本人の言い方や態度をどのようにとらえていますか。		1		1										
1040	6	下	外国の人と理解し合うために	みんなで話し合いましょう。	1			1										
1041	6	下	外国の人と理解し合うために	本論で筆者がいちばん言いたいことを、次の言葉に続けて、二十字くらいでノートにまとめましょう。	1			1										
1042	6	下	外国の人と理解し合うために	この文章で、筆者の主張がまとめて書かれている文を、ぬき書きしましょう。	1			1										
1043	6	下	外国の人と理解し合うために	次の言い方を比べて話し合ってみましょう。	1			1										
1044	6	下	外国の人と理解し合うために	また、これと同じような例をさがしてみましょう。	1			1										
1045	6	下	異なる文化との出会い	日本語の特色について知り、さまざまな文化について考えてみましょう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1046	6	下	異なる文化との出会い	異文化を題材にした本を読み広げましょう。	1		1											
1047	6	下	読書による異文化交流会をしよう	みなさんも、テーマを決めて、異文化交流会を開きましょう。	1			1										
1048	6	下	読書による異文化交流会をしよう	調べたことをポスターにまとめて、発表し合うことができましたか。		1		1										
1049	6	下	読書による異文化交流会をしよう	学習の記録を残そう。	1			1										
1050	6	下	和語・漢語・外来語	次の言葉の意味や、感じのちがいを考えてみましょう。	1			1										
1051	6	下	愛を運ぶ人　マザー＝テレサ	ここでは、マザー＝テレサの一生という時の流れにそって、その生きる姿を読み取り、人間としてのすばらしい生き方について話し合いましょう。	1			1										
1052	6	下	愛を運ぶ人　マザー＝テレサ	マザー＝テレサの一生を年れいにそって読み取り、次の表のようにまとめましょう。	1			1										
1053	6	下	愛を運ぶ人　マザー＝テレサ	次のときのマザー＝テレサの考え方を読み取り、話し合いましょう。	1			1										
1054	6	下	愛を運ぶ人　マザー＝テレサ	マザー＝テレサの考えていた「愛」「幸せ」についての感想文を書き、発表し合って、意見を述べ合いましょう。	1			1										
1055	6	下	伝記から生き方を見つめよう	貧しい人々の中に生き、貧しい人のためにすべてをささげたマザー＝テレサの愛と勇気に満ちた伝記を読んで、どんなことを考えましたか。		1	1											
1056	6	下	伝記から生き方を見つめよう	今度は、次の三つから好きな方法を選んで、「愛を運ぶ人　マザー＝テレサ」の学習を深め、人間の生き方について考えていきましょう。	1		1											
1057	6	下	伝記から生き方を見つめよう	そして、それぞれの考えを交流し合いましょう。	1		1											
1058	6	下	伝記から生き方を見つめよう	読んだ伝記をもとに、人間の生き方を考え、交流することができましたか。		1		1										
1059	6	下	伝記から生き方を見つめよう	学習の記録を残そう。	1			1										
1060	6	下	時空をこえて	さあ、どうしますか。		1	1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1061	6	下	時空をこえて	この時代の日本や中国について、本や資料でいろいろ調べ、望や有希子になって、見聞きしたことを語りましょう。	1			1										
1062	6	下	時空をこえて	また、望と有希子は、次にどんな世界に行くのでしょうか。		1		1										
1063	6	下	時空をこえて	絵を手がかりに、二人の旅を想像して、物語にしましょう。	1			1										
1064	6	下	時空をこえて	あなたは、どんな時代やどんな世界に興味がありますか。		1		1										
1065	6	下	時空をこえて	興味のある時代や世界についてわかる限り調べたうえで、その世界に旅してみましょう。	1			1										
1066	6	下	時空をこえて	あなたの想像する体験を、臨場感が出るようにくふうして語りましょう。	1			1										
1067	6	下	言葉を増やす	「組み立て」「折り紙」などの使い方と比べて、どのような場合に送り仮名を省くか、調べてみましょう。	1			1										
1068	6	下	「思い出辞典」を作ろう	そんな言葉を集めて、自分たちの「思い出辞典」を作ってみましょう。	1		1											
1069	6	下	「思い出辞典」を作ろう	たとえば、左のような辞典を、在校生にプレゼントしてみませんか。		1	1											
1070	6	下	「思い出辞典」を作ろう	次のページに、作り方の手順がありますので、学級のみんなで力を合わせて、作ってみましょう。	1		1											
1071	6	下	「思い出辞典」を作ろう	また、図書館には、いろいろな辞典がありますので、集める言葉を決めるときや、集めた言葉をまとめるときの参考にするとよいでしょう。	1		1											
1072	6	下	「思い出辞典」を作ろう	辞典ができ上がったら、そこにのっているそれぞれの言葉を主題にして、小学校生活の思い出について話し合ってみましょう。	1		1											
1073	6	下	「思い出辞典」を作ろう	また、作った辞典は、学校図書館に置いてもらってはどうでしょうか。		1	1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1074	6	下	「思い出辞典」を作ろう	思い出と結び付く言葉を集めて、言葉の説明をくふうし、辞典を作ることができましたか。		1		1										
1075	6	下	「思い出辞典」を作ろう	学習の記録を残そう。	1			1										
1076	6	下	漢語の組み立て	次の熟語は、①～⑤のどの組み合わせになるか、考えましょう。	1			1										
1077	6	下	漢語の組み立て	次の熟語を（1）～（3）のように分けてみましょう。	1			1										
1078	6	下	漢語の組み立て	できるだけ長い熟女を集めて、右のように区切ってみましょう。	1			1										
1079	6	下	言葉の文化を受けつごう	書かれている内容を読み取り、笑いの文化のおく深さを理解しましょう。	1			1										
1080	6	下	言葉の文化を受けつごう	その後で、自分たちのお気に入りの話芸を選び、ちょう戦してみましょう。	1			1										
1081	6	下	言葉の文化を受けつごう	落語について知っていることを話し合いましょう。	1			1										
1082	6	下	言葉の文化を受けつごう	「落語の話術」について、次のことをノートにまとめましょう。	1			1										
1083	6	下	言葉の文化を受けつごう	「サゲの効果」について、次のことを説明しましょう。	1			1										
1084	6	下	言葉の文化を受けつごう	「落語のおもしろさ」について、筆者の体験をノートにまとめましょう。	1			1										
1085	6	下	言葉の文化を受けつごう	四十九～五十ページにある、『崇徳院』という落語のせりふの部分を音読しましょう。	1			1										
1086	6	下	言葉の文化を受けつごう	次のことをノートにまとめて話し合いましょう。	1			1										
1087	6	下	言葉の文化を受けつごう	話芸を選んでちょう戦し、発表会をしましょう。	1			1										
1088	6	下	語りにちょう戦しよう	小学校生活最後の仕上げとして、いろいろな語りにちょう戦し、発表会を開きましょう。	1			1										
1089	6	下	語りにちょう戦しよう	みなさんも、語りにちょう戦して、楽しい発表会を開きましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1090	6	下	語りにちょう戦しよう	楽しんで聞いてもらえるように語ることができましたか。		1		1										
1091	6	下	語りにちょう戦しよう	学習の記録を残そう。	1			1										
1092	6	下	伝統芸能への招待	機会があれば、これらの伝統芸能を実際に見て、そのすばらしさを味わい、こうした伝統を守り育ててきた人々の努力やくふうについて考えてみましょう。	1		1											
1093	6	下	相手を尊重した言葉づかい	次の四つの言い方のちがいを考えてみましょう。	1		1											
1094	6	下	相手を尊重した言葉づかい	次の四つの言い方は、どうちがうでしょうか。		1	1											
1095	6	下	相手を尊重した言葉づかい	⑤と⑥、⑦と⑧をそれぞれ比べた場合には、どんなちがいが感じられるでしょう。		1		1										
1096	6	下	相手を尊重した言葉づかい	自分たちの地いきでは、どんな言い方があるか、またそれをどんな気持ちで使い分けているか、考えてみましょう。	1			1										
1097	6	下	漢字の熟語作り	友達とチームに分かれて、漢字の熟語を作るゲームをしましょう。	1		1											
1098	6	下	自分の力を確かめよう	その結果、みなさんにはどのような力がついたでしょうか。		1		1										
1099	6	下	自分の力を確かめよう	みなさん一人一人で、自分の力で学習して、六年間に身につけた力を確かめ、中学校での国語の学習に生かすようにしましょう。	1			1										
1100	6	下	自分の力を確かめよう	みなさんも、自分の力で学習する課題を作り、自分一人の力で学習しましょう。	1			1										
1101	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	「二十一世紀に生きる君たちへ」の学習をふり返りましょう。	1			1										
1102	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	「二十一世紀に生きる君たちへ」を、自分の力で学習することができましたか。		1		1										
1103	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	学習したことに〇を付け、結果を自分で評価してみましょう。	1			1										
1104	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	一年間の学習をふり返りましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1105	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	６上と６下の初めの折りこみにある「学習の記録を残そう」を見て、色をぬった花びらの数を数えてみましょう。	1			1										
1106	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	国語でどんな学習をしたか、思い出しましょう。	1			1										
1107	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	六年の初めに書いた「がんばりたいこと」を思い出して、一年間の学習でできるようになったことや、これからやってみたいことを書きましょう。	1			1										
1108	6	下	川とノリオ	好きなときにすすんで読みましょう。	1			1										
1109	6	下	豊かな言葉	自分でちょうせんしてみよう。	1			1										
1110	6	下	情報について考えよう	インターネットでできることや、その使い方を調べて、これからの生活に役立てられるようにしましょう。	1			1										
1111	6	下	情報について考えよう	自分が調べたいことを、インターネットで調べてみましょう。	1			1										
1112	6	下	情報について考えよう	ホームページ作りにちょう戦してみましょう。	1			1										
1113	6	下	言葉のアクセントを調べよう	ということは、声に出して言うとき、同じになってしまうのでしょうか。		1	1											
1114	6	下	言葉のアクセントを調べよう	次の文を声に出して読み、□の言葉の読み方を比べてみましょう。	1			1										
1115	6	下	言葉のアクセントを調べよう	①と②と③では、高く発音する位置がちがいませんでしたか。		1		1										
1116	6	下	言葉のアクセントを調べよう	みなさんの地域の方言では、①～③を表すとき、ア～オのどの言い方をするか、確かめましょう。	1			1										
1117	6	下	言葉のアクセントを調べよう	また、次の言葉は、どんなアクセントで話しますか。		1		1										
1118	6	下	言葉のアクセントを調べよう	ちがいを確かめて、記号を付けましょう。	1			1										
1119	6	下	言葉のアクセントを調べよう	このほかにも、地域によってアクセントがちがう言葉を探してみましょう。	1			1										
1120	6	下	書き写そう	昔の人が作った歌や文章を書き写して、文語の調子を味わいましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1121	6	下	書き写そう	五七五七七の調子を確かめながら、書きましょう。	1			1										
1122	6	下	書き写そう	ふだん使っている言葉とはちがった文語の言葉づかいを見つけて、仮名づかいのちがいや意味を確かめましょう。	1			1										
1123	6	下	書き写そう	百人一首のほかの歌も書き写して、何度も声に出して読み、覚えましょう。	1			1										
1124	6	下	国語の言葉	学習の中で出てきた言葉をまとめておきましょう。	1			1										
1125	6	下	背表紙裏	不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。	1			1										
				total	915	210	162	765	112	110	118	55	183					

教科書分析（学校図書・小学校）

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	上	あいうえおのうた	おおきな　こえで　よみましょう	1			1			1			1		1			1
2	1	上	あいさつ	はっきりと　いいましょう	1			1	1					1		1			1
3	1	上	いい　もの　みつけた	はっきりと　よみましょう	1			1			1			1		1			1
4	1	上	ききたいな　はなしたいな	はっきりと　はなしましょう	1			1	1					1		1			1
5	1	上	ききたいな　はなしたいな	ともだちと　はなしましょう	1			1	1					1			1	1	
6	1	上	ききたいな　はなしたいな	しっかりと　ききましょう	1			1	1					1		1			1
7	1	上	まて　まて　かえるくん	えを　みて　おはなしを　しましょう	1			1	1						1	1			1
8	1	上	ひらがなの　ひょう	はっきりと　よみましょう	1			1			1			1		1			1
9	1	上	ひらがなの　ひょう	みじかく　きって　たてに　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
10	1	上	ひらがなの　ひょう	みじかく　きって　よこに　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
11	1	上	ひらがなの　ひょう	ながく　のばして　たてに　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
12	1	上	ひらがなの　ひょう	ながく　のばして　よこに　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
13	1	上	あかさたなの　うた	たのしく　よみましょう	1			1			1				1	1		1	
14	1	上	こんな　おはなし　ききたいな	おはなしを　ききましょう	1			1	1					1		1			1
15	1	上	きのうの　こと	おもいだして　はなしましょう	1			1	1					1		1			1
16	1	上	きのうの　こと	。や、（てん）を　かく　ばしょに　きを　つけましょう。	1			1		1				1		1			1
17	1	上	は・を・へ	は・を・へのつかいかたに　きを　つけて　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
18	1	上	たぬきの　じてんしゃ	たのしく　よみましょう	1			1			1				1	1			1
19	1	上	せんせい　あのね	はなしたい　ことを　かきましょう	1			1		1				1		1			1
20	1	上	いきものの　あし	しゃしんで　たしかめながら　よみましょう	1			1			1			1		1			1
21	1	上	いきものの　あし	これは、なんの　あしでしょう。		1		1					1						
22	1	上	いきものの　あし	これは、なんの　あしでしょう。		1		1					1						
23	1	上	いきものの　あし	これは、なんの　あしでしょう。		1		1					1						
24	1	上	おおきな　かぶ	おおきな　こえで　たのしく　よみましょう	1			1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
25	1	上	かずの　かんじ	かんじで　かきましょう	1			1		1				1		1			1
26	1	上	かずの　かんじ	よんで　みましょう。	1			1			1			1		1			1
27	1	上	かずの　かんじ	かぞえて　みましょう。	1			1			1			1		1			1
28	1	上	えにっき	たのしく　よみましょう	1			1			1			1		1		1	
29	1	上	なみは　てかな	しを　よもう	1			1			1				1	1			1
30	1	上	ことばで　あそぼう	ことばで　あそぼう	1			1	1						1	1			1
31	1	上	ことばで　あそぼう	この　中から、どうぶつの　名まえを　見つけましょう。	1			1	1						1	1			1
32	1	上	ことばで　あそぼう	見つけたら　ぬりつぶしましょう。	1			1								1			1
33	1	上	ことばで　あそぼう	たて、よこ、ななめで、二もじの　ことばを　さがしましょう。	1			1	1				1			1			1
34	1	上	つたわったかな	「でんごんゲーム」を　しましょう。	1			1	1						1		1		1
35	1	上	つたわったかな	はじめの　人と　さいごの　人は、みんなのまえで　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1	1	
36	1	上	つたわったかな	はじめと　さいごを　くらべて　みましょう。	1			1	1				1				1		1
37	1	上	つたわったかな	どんな　ことに　きを　つければ　きちんとつたわるか、かんがえましょう。	1			1					1			1			1
38	1	上	よく　見て　かこう	しろう・つたえよう	1			1	1				1				1	1	
39	1	上	よく　見て　かこう	見つけた　ことが　よく　わかるように　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
40	1	上	よく　見て　かこう	みの　まわりに　ある　どうぶつや　草花などを　よく　見て、気が　ついた　ことを、先生や　ともだちに　つたえましょう。	1			1	1					1			1	1	
41	1	上	よく　見て　かこう	見て　気が　ついたことを　いくつか　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
42	1	上	よく　見て　かこう	おもった　ことも　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
43	1	上	よく　見て　かこう	こんどは、みなさんが　見つけた　ことを、ともだちに　しらせましょう。	1			1	1					1			1	1	
44	1	上	よく　見て　かこう	かいた　ものは、かならず　よみかえしましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
45	1	上	よく　見て　かこう	かいたら、きょうしつに　はったり、はっぴょうかいを　したり　して、みんなに　つたえましょう。	1			1	1				1				1	1	
46	1	上	ことばを　ひろげる	ことばを　みつけよう	1			1	1				1			1			1
47	1	上	ことばを　ひろげる	どんな　ものが、いくつ　見つかるかな。		1		1							1	1			1
48	1	下	はじめは「や！」	なかよく　よもう	1			1			1			1			1	1	
49	1	下	はじめは「や！」	たのしみながら　こえに　出して　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
50	1	下	はじめは「や！」	おはなしの　じゅんに、つぎの　えに　ばんごうを　つけましょう。	1			1		1						1			1
51	1	下	はじめは「や！」	いちばん　すきな　ばめんを、こえに　出して　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
52	1	下	かんじと　あそびましょう	かんじと　あそびましょう	1			1		1					1	1			1
53	1	下	はなす・きく	左の　かたちを　つかって、えを　かきましょう。	1			1		1					1	1			1
54	1	下	はなす・きく	先生の　はなしを　よく　きいて、きいた　とおりの　かたちの　えを　かきましょう。	1			1		1				1		1			1
55	1	下	はなす・きく	ともだちとも　やって　みましょう。	1			1		1					1		1	1	
56	1	下	はなす・きく	よく　つたわるように　するには、どう　すれば　よいでしょうか。		1		1					1						1
57	1	下	かく　こと	さいきん　した　ことを　つたえよう	1			1	1					1		1		1	
58	1	下	かく　こと	かく　ときには、つぎの　ことに　気を　つけましょう。	1			1					1			1			1
59	1	下	かく　こと	みなさんも、した　こと、見た　こと、きいた　ことを　先生や　ともだちに　しらせましょう。	1			1		1				1			1	1	
60	1	下	まめ	じゅんじょに　気を　つけて　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
61	1	下	まめ	この　中に、あなたの　しって　いる　まめが　ありますか。	1			1					1			1			1
62	1	下	まめ	まめが　そだつ　じゅんに、しゃしんに　ばんごうを　つけましょう。	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
63	1	下	まめ	つぎの　ぶんに　あう、(1)のしゃしんの　ばんごうを　つけましょう。	1			1		1			1			1			1
64	1	下	きかせて　しって　いる　こと	じゅんじょに　気を　つけて、はなしたり　きいたり　しましょう。	1			1	1					1		1			1
65	1	下	きかせて　しって　いる　こと	草花や　やさいの　生ちょうに　ついて、しって　いることや　きいて　きた　ことを　はっぴょうしましょう。	1			1	1					1		1		1	
66	1	下	きかせて　しって　いる　こと	はなす　人は、ゆっくり　はっきり　はなしましょう。	1			1	1					1		1			1
67	1	下	きかせて　しって　いる　こと	きく　人は、はなす　人を　見ながら、大じなことを　おとさずに　ききとりましょう。	1			1	1					1		1			1
68	1	下	文を　つくりましょう	文を　つくりましょう	1			1		1				1		1			1
69	1	下	文を　つくりましょう	えを　見て、文を　つくりましょう。	1			1		1				1		1			1
70	1	下	ことばを　つくる	えを　見て　はなそう	1			1	1					1		1			1
71	1	下	ことばを　つくる	下の　えを　見ましょう。	1			1				1			1	1			1
72	1	下	ことばを　つくる	だれが　いますか。		1		1				1							
73	1	下	ことばを　つくる	なにが　ありますか。		1		1				1							
74	1	下	ことばを　つくる	なにを　して　いますか。		1		1				1							
75	1	下	ことばを　つくる	見つけた　ことを　みんなで　出しあいましょう。	1			1	1				1				1	1	
76	1	下	ことばを　つくる	つぎは、　音を　さがしましょう。	1			1				1			1	1			1
77	1	下	ことばを　つくる	どんな　音が　きこえますか。		1		1				1							1
78	1	下	ことばを　つくる	どんな　こえが　きこえますか。		1		1				1							1
79	1	下	ことばを　つくる	こんどは、えの　中の　人や　ものに　なったつもりで、はなしを　しましょう。	1			1	1					1		1			1
80	1	下	ことばを　つくる	どんな　はなしが　おもいうかびますか。		1		1				1							1
81	1	下	ことばを　つくる	どんな　ことばを　つかいますか。		1		1				1							1
82	1	下	。（まる）の　つけかた	こんな　ことに　気を　つけましょう	1			1		1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
83	1	下	。（まる）の　つけかた	では、「。」が　ついて　いない　文しょうは、どんな　ふうに　なるのでしょう。		1		1				1	1						1
84	1	下	。（まる）の　つけかた	つぎの　文しょうを　よんで、たしかめましょう。	1			1			1					1			1
85	1	下	。（まる）の　つけかた	それでは、右の　文しょうに「。」を　つけて、ノートに　かいて、よんで　たしかめましょう。	1			1			1		1			1			1
86	1	下	ふしぎだな！	しを　かこう	1			1		1				1		1			1
87	1	下	ことばと　あそびましょう	ことばと　あそびましょう	1			1			1				1	1			1
88	1	下	かたかな	こえに　出して　よんだり、かいたり　しましょう。	1			1						1		1			1
89	1	下	おにごっこ	じゅんじょに　気を　つけて　よみましょう。	1			1			1			1		1			1
90	1	下	おにごっこ	あなたは、どんな　おにごっこを　した　ことがありますか。		1	1								1				1
91	1	下	おにごっこ	じゅんじょを　たしかめよう	1			1		1			1			1			1
92	1	下	おにごっこ	かくれんぼの　あそびかたの　じゅんに、（）に　ばんごうを　入れましょう。	1			1		1						1			1
93	1	下	おにごっこ	手つなぎおにの　あそびかたを、じゅんじょよく　はなしましょう。	1			1		1				1		1			1
94	1	下	わかりやすく　かこう	わかりやすく　かこう	1			1		1				1		1			1
95	1	下	わかりやすく　かこう	大じな　ことを　おとさずに、じゅんじょよくかきましょう。	1			1		1				1		1			1
96	1	下	わかりやすく　かこう	かきおわったら、ともだちと　こうかんしてよみあいましょう。	1			1			1		1				1	1	
97	1	下	わかりやすく　かこう	かいて　ある　とおりに　あそべるか　たしかめましょう。	1			1						1			1		1
98	1	下	文を　つくりましょう	文を　つくりましょう	1			1		1					1	1			1
99	1	下	文を　つくりましょう	えを　見て、文を　つくりましょう。	1			1		1				1		1			1
100	1	下	文を　つくりましょう	カードの　ことばを　つかいましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
101	1	下	文を　つくりましょう	「はい。」「いいえ。」に　つづけて、正しくへんじを　しましょう。	1			1	1					1		1			1
102	1	下	ことばを　おくる	ゆうびんやさんごっこを　しよう	1			1							1		1	1	
103	1	下	ことばを　おくる	ゆうびんやさんごっこを　して、ゆうびんを出しあいましょう。	1			1							1		1	1	
104	1	下	ことばを　おくる	見つけた　ことや　しらせたい　ことを　かいて、クラスの　ポストに入れましょう。	1			1							1	1			1
105	1	下	ことばを　おくる	かん字の　よみかきは、正かくに　学びましょう。	1			1			1			1		1			1
106	1	下	ことばを　おくる	もちものには、名字と名まえを　わすれずに　かきましょう。	1			1			1			1		1			1
107	1	下	ことばを　おくる	みちを　わたる　ときは、左右を　よく　見ましょう。	1			1			1			1		1			1
108	1	下	ろくべえ　まってろよ	たのしんで　よもう	1			1			1				1	1		1	
109	1	下	ろくべえ　まってろよ	そうぞうしながら　たのしんで　よみましょう。	1			1			1			1		1		1	
110	1	下	ろくべえ　まってろよ	つぎの　とき、かんちゃんたちは、どんな　ことを　おもったでしょうか。		1		1					1						1
111	1	下	ろくべえ　まってろよ	この　おはなしを、やくわりを　きめて　おんどくしたり、げきに　したり　しましょう。	1			1			1				1		1		1
112	1	下	一年生を　ふりかえって	この　一年、こくごの　べんきょうで、あなたが　いちばん　たのしかった　ことや　がんばった　ことを　はなしましょう。	1			1	1						1	1			1
113	1	下	ひらがな	・の　ついて　いる　字は、ここで　おぼえましょう。	1			1					1			1			1
114	1	下	かたかな	ページの　かいて　ない　字は、ここで　おぼえましょう。	1			1					1			1			1
115	1	下	ことばを　ひろげる	ことばを　みつけよう	1			1				1				1			1
116	1	下	ことばを　ひろげる	どんな　ものが　見えるかな。		1		1				1				1			1
117	2	上	出あう・つたえあう	ふたりではなしましょう・・・この　本　大すき！・・・	1			1	1					1			1		1
118	2	上	出あう・つたえあう	大すきな本をもってきてともだちにしょうかいしよう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
119	2	上	出あう・つたえあう	おもしろいところやたのしいところをよんであげよう。	1			1	1					1			1		1
120	2	上	出あう・つたえあう	あなたはどうおもった？		1		1								1		1	
121	2	上	はるですよ	こえに出してよもう	1			1	1					1		1			1
122	2	上	たんぽぽ	こえに出してよもう	1			1	1					1		1			1
123	2	上	花いっぱいになあれ	なかよく読もう	1			1	1					1			1	1	
124	2	上	花いっぱいになあれ	ようすをそうぞうしながら　読みましょう。	1			1	1					1		1		1	
125	2	上	花いっぱいになあれ	お花をうえましょう。	1		1											1	
126	2	上	花いっぱいになあれ	お花をいっぱいさかせましょう。	1		1											1	
127	2	上	花いっぱいになあれ	おはなしのじゅんに、えにばんごうをつけましょう。	1			1						1		1			1
128	2	上	花いっぱいになあれ	下のえのばめんで、みなさんがおもったことを出しあいましょう。	1			1	1					1			1	1	
129	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	かん字を読みましょう・つかいましょう	1			1			1		1			1			1
130	2	上	ことばのいずみ１	下の絵の中から、どんな音が聞こえてくるか、さがしてみましょう。	1			1			1			1		1			1
131	2	上	ことばのいずみ１	つぎの、音をあらわすことばをつかって、文をつくりましょう。	1			1	1					1		1		1	
132	2	上	ことばのいずみ１	下の絵の中から、ようすをあらわすことばをさがしてみましょう。	1			1			1			1		1			1
133	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	おはなしを音読しましょう。	1			1			1			1		1			1
134	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	月明かりのみちをさんぽしましょう。	1			1											
135	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	一言言っていいですか。		1		1											
136	2	上	ここまでに出たあたらしいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
137	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	あそびをきめよう	1			1							1	1			1
138	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	あい手がよく分かるようにじゅんじょをかんがえて話しましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
139	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	みんなの意見のよいところを聞きとりましょう。	1			1	1					1		1			1
140	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	せつ明のしかたをかんがえよう。	1			1						1		1		1	
141	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	話し合ったことは，紙に書いておきましょう。	1			1		1				1		1			1
142	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	れんしゅうしよう。	1			1						1		1		1	
143	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	はじめにつぎにさいごに，などのことばをつかって，話しましょう。	1			1	1					1		1			1
144	2	上	やってごらん　おもしろいよ・	一年生に分りやすいように，大きい声で，ゆっくりはっきり話しましょう。	1			1	1					1		1			1
145	2	上	ことばのきまり１	１　つぎの文を読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
146	2	上	ことばのきまり２	２　□のなかに入ることばをかんがえて「前のこと」「いまのこと」「これからのこと」の三つの言い方にしましょう。	1			1						1		1			1
147	2	上	友だちにつたえよう	毎日のできごとやしたこと、見たことの中から、先生や友だちにつたえたいことをえらんで、「書くことカード」を作りましょう。	1			1		1				1		1			1
148	2	上	友だちにつたえよう	したこと、見たことのじゅんじょをおもい出して書きましょう。	1			1		1				1		1			1
149	2	上	友だちにつたえよう	カードができたら、それをもとにして文章を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
150	2	上	友だちにつたえよう	書いたら読みかえしましょう。	1			1			1			1		1		1	
151	2	上	友だちにつたえよう	でき上がったものを、みんなで読みあいましょう。	1			1			1			1			1	1	
152	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	正直に話してください。	1			1	1						1	1			1
153	2	上	ここまでに出たあたらしいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
154	2	上	ほたるの一生	時間のじゅんじょに気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
155	2	上	ほたるの一生	ほたるは、なんのために光るのでしょうか。		1	1						1			1			1
156	2	上	ほたるの一生	ほたるがとびかうのはいつですか。		1		1					1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
157	2	上	ほたるの一生	ほたるは「なんのために光るのですか。		1		1					1			1			1
158	2	上	ほたるの一生	ほたるの幼虫はどこにすんでいますか。		1		1					1			1			1
159	2	上	ほたるの一生	ほたるの幼虫はなにを食べていますか。		1		1					1			1			1
160	2	上	ほたるの一生	ほたるの一生を，下のひょうにまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
161	2	上	分かったことをつたえよう	しりたいことを本でしらべて分かったことを話しましょう。	1			1	1					1		1			1
162	2	上	分かったことをつたえよう	1　しりたいことはなんですか。		1		1						1		1		1	
163	2	上	分かったことをつたえよう	2　図書室に行って本をさがして読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
164	2	上	分かったことをつたえよう	図かんのあるところをさがしてみよう。	1			1			1			1		1			1
165	2	上	分かったことをつたえよう	このあたりかな。		1		1											
166	2	上	分かったことをつたえよう	3　読んで分かったことをみんなにつたえましょう。	1			1	1					1		1		1	
167	2	上	ことばのいずみ２	つぎのことばを読みましょう。	1			1			1		1			1			1
168	2	上	スイミー	ものがたりを楽しんで読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
169	2	上	スイミー	お話の本を楽しく読もう	1			1			1				1	1		1	
170	2	上	すきな本のポスターを作ろう	読んだ本のおもしろいところをしょうかいしましょう。	1			1	1					1		1			1
171	2	上	すきな本のポスターを作ろう	すきな本のポスターを作ってみんなにしょうかいしましょう。	1			1	1					1		1			1
172	2	上	すきな本のポスターを作ろう	ポスターには、読んだ本の名前、おもしろかったところ、読んでおもったことなどを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
173	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	気もちを新たに，つぎのしごとにとりかかりましょう。	1			1							1	1		1	
174	2	上	せいのび	しを読もう	1			1			1			1		1			1
175	2	上	風	しを読もう	1			1			1			1		1			1
176	2	上	ことばであそぼう	いぬをねこにへんしんさせよう！	1			1				1			1	1			1
177	2	上	ことばであそぼう	ひといきに言ってみよう。	1			1	1					1		1			1
178	2	上	ことばであそぼう	つっかえないで言えるかな。		1		1	1					1		1			1
179	2	上	ことばであそぼう	どこまでつづけられるかな。		1		1	1					1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
180	2	上	コミュニケーション	どう言えばいいかな		1		1	1					1		1			1
181	2	上	コミュニケーション	あなたのまわりで，こんなことはないですか。		1		1				1	1			1			1
182	2	上	コミュニケーション	みんながえがおになるように話しましょう。	1			1	1						1	1			1
183	2	上	コミュニケーション	どんな顔で話せたかな。		1		1	1						1	1		1	
184	2	上	コミュニケーション	あい手にもきいてみましょう。	1			1	1								1		1
185	2	上	かん字のまめちしき	どの絵から，どの字ができたのかな。		1		1				1	1			1			1
186	2	上	ちがいをくらべて書こう	しろう・つたえよう	1			1	1					1		1		1	
187	2	上	しろう・つたえよう	ちがいがよく分かるように、文章に書いて、友だちにつたえましょう。	1			1	1					1			1		1
188	2	上	しろう・つたえよう	どんなものがくらべられるか、出し合ってみましょう。	1			1	1					1			1	1	
189	2	上	しろう・つたえよう	大きさ・色・形などに注目しましょう。	1			1						1		1			1
190	2	上	しろう・つたえよう	二つのちがいがよく分かるかどうか、書きおわった文章を読みかえしましょう。	1			1			1			1		1			1
191	2	上	しろう・つたえよう	友だちと読み合って、よいところを見つけましょう。	1			1							1		1		1
192	2	上	しろう・つたえよう	書いた文章は、教室にはったり、読んでもらったりして、くらべたことをみんなにつたえましょう。	1			1	1		1			1			1		1
193	2	上	ことばのきまり２	１　□に，ことばを入れましょう。	1			1		1				1		1		1	
194	2	上	ことばのきまり３	２　絵を見て，文を作りましょう。	1			1		1				1		1		1	
195	2	上	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
196	2	上	ことばを見つけよう	ことばを見つけよう。	1			1						1		1		1	
197	2	上	ことばを見つけよう	ようすが分かることばをみつけよう。	1			1						1		1			1
198	2	下	くま一ぴき分はねずみ百ぴき分か	みんなで読もう	1			1			1			1			1		1
199	2	下	くま一ぴき分はねずみ百ぴき分か	楽しみながら読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
200	2	下	くま一ぴき分はねずみ百ぴき分か	楽しかったばめんをえらんで話しましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
201	2	下	くま一ぴき分はねずみ百ぴき分か	おとうさんが、ウーフにいちばん言いたかったことばを書きぬきましょう。	1			1		1				1		1			1
202	2	下	ことばのいずみ１	上の絵の中から、かたかなで書く音や鳴き声やものを見つけましょう。	1			1						1		1			1
203	2	下	たからさがしにちょうせん！	グループで力を合わせて、かくれたたからをさがしましょう。	1			1							1		1	1	
204	2	下	たからさがしにちょうせん！	今度は、みなさんがかくす場所をきめ、友だちにヒントを出して、たからものをさがしてもらいましょう。	1			1	1						1		1		1
205	2	下	たからさがしにちょうせん！	きちんと伝わるようにするには、どうすればよいでしょうか。		1		1						1		1		1	
206	2	下	ふだんのできごとを書こう	ふだんの生活の中で、見たことや聞いたことや、したことや思ったことを、先生や友だち家族の人に、文章で書いて知らせましょう。	1			1		1				1		1			1
207	2	下	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
208	2	下	あいさつのみぶりとことば	大事なことに気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
209	2	下	あいさつのみぶりとことば	どのようなあいさつのみぶりがしょうかいされていましたか。		1		1						1		1			1
210	2	下	あいさつのみぶりとことば	書き出しましょう。	1			1			1			1		1		1	
211	2	下	あいさつのみぶりとことば	どのようなあいさつのことばがしょうかいされていましたか。		1		1						1		1			1
212	2	下	あいさつのみぶりとことば	書き出しましょう。	1			1			1			1		1			1
213	2	下	あいさつのみぶりとことば	どのようなあいさつのみぶりやことばでも、かわりのないことはどんなことでしょうか。		1		1					1			1			1
214	2	下	あいさつのみぶりとことば	文章から見つけましょう。	1			1		1			1			1			1
215	2	下	はっぴょう会をしよう	大事なことをおとさないで、話したり聞いたりしましょう。	1			1	1					1		1		1	
216	2	下	はっぴょう会をしよう	話すじゅんじょを考えて、ノートに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
217	2	下	はっぴょう会をしよう	ノートを見ながら、はっぴょうしましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
218	2	下	はっぴょう会をしよう	みんなに分かるように、ゆっくり、はっきり話しましょう。	1			1	1					1		1			1
219	2	下	はっぴょう会をしよう	聞く人は、話す人を見ながら、大事なことをおとさないように聞きとりましょう。	1			1	1					1		1		1	
220	2	下	はっぴょう会をしよう	分からないこと、もっと知りたいことはしつもんしましょう。	1			1	1						1	1			1
221	2	下	ことばのきまり 1	みんなの風船は、何色ですか。		1		1								1			1
222	2	下	ことばのきまり 1	どんな風船かよく分かるように話しましょう。	1			1	1					1		1		1	
223	2	下	ことばのきまり 1	つぎの、音をあらわすことばをつかって、文をつくりましょう。この・その・あの・は、だれの風船をさしていますか。		1		1								1			1
224	2	下	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
225	2	下	しゃしんから話を作ろう	分かったことや思ったことから、話を作りましょう。	1			1						1		1			1
226	2	下	しゃしんから話を作ろう	つぎのページのしゃしんを見ましょう。	1			1								1			1
227	2	下	しゃしんから話を作ろう	だれがいますか。		1		1								1			1
228	2	下	しゃしんから話を作ろう	何がありますか。		1		1								1			1
229	2	下	しゃしんから話を作ろう	何をしていますか。		1		1								1			1
230	2	下	しゃしんから話を作ろう	今度は、しゃしんの中のようすをそうぞうしてみましょう。	1			1						1		1		1	
231	2	下	しゃしんから話を作ろう	どんな場面でしょう。		1		1						1		1		1	
232	2	下	しゃしんから話を作ろう	何を話しているのでしょう。	1			1						1		1		1	
233	2	下	しゃしんから話を作ろう	右のページの三まいのしゃしんを、じゆうにならべかえて、話を作りましょう。	1			1						1		1		1	
234	2	下	しゃしんから話を作ろう	しゃしんをならべるじゅんばんをきめましょう。	1			1						1		1		1	
235	2	下	しゃしんから話を作ろう	はじめのしゃしんの話を作りましょう。	1			1						1		1			1
236	2	下	しゃしんから話を作ろう	何をしているのかな。		1		1						1		1		1	
237	2	下	しゃしんから話を作ろう	どんなことを話しているのかな。		1		1						1		1		1	
238	2	下	しゃしんから話を作ろう	中、おわりのしゃしんの話も考え、ひとつづきの話にして、みんなにはっぴょうしましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
239	2	下	しゃしんから話を作ろう	しゃしんのじゅんじょをかえたり、ほかのしゃしんにしたりするとどんな話ができるでしょうか。		1		1						1		1		1	
240	2	下	しゃしんから話を作ろう	どんなところに注目しているのかを考えながら、友だちの話を聞きましょう。	1			1	1					1			1	1	
241	2	下	話しことばの書き方	こんなことに気をつけましょう	1			1								1		1	
242	2	下	話しことばの書き方	つぎの文章を読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1
243	2	下	話しことばの書き方	だれが話しているか分かりますか。		1		1						1		1			1
244	2	下	心がふわっ！	しを書こう	1			1		1				1		1		1	
245	2	下	ことばのいずみ２	読んでみましょう。	1			1			1			1		1		1	
246	2	下	ことばのいずみ２	まとめて、何とよびますか。		1		1				1	1			1			1
247	2	下	ことばのいずみ２	まとめて「自動車」「どうぶつ」とよばれるものには、どんなものがありますか。		1		1				1	1			1			1
248	2	下	ことばのいずみ２	もっとまとめてよぶことばをひょうの中に書きましょう。	1			1		1			1			1			1
249	2	下	かん字のまめちしき	どの絵から，どの字ができたのかな。		1		1				1	1			1			1
250	2	下	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
251	2	下	うごく虫を作ろう	作り方のじゅんじょに気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
252	2	下	うごく虫を作ろう	みなさんも、うごく虫を作ってみましょう。	1		1	1							1	1			1
253	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	文章の組み立てを考えながら、じゅんじょよく書きましょう。	1			1		1				1		1			1
254	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	今度は、みなさんが、おもちゃの作り方を友だちにつたえましょう。	1			1	1					1			1	1	
255	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	みなさんも、かんたんなおもちゃを作って、作り方を知らせる文章を書きましょう。	1			1		1				1			1		1
256	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	作り方が分かるように、じゅんじょに気をつけて書きましょう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
257	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	書いた文章を友だちと交かんして、読みながらおもちゃを作ってあそびましょう。	1			1	1					1			1	1	
258	2	下	ことばのきまり２	下の絵を見ながら、□の中に、「わ・は」「お・を」「え・へ」のどれかを入れて、文を作りましょう。	1			1		1			1			1			1
259	2	下	ことばのきまり２	どこがちがいますか。		1		1				1				1			1
260	2	下	ことばのきまり２	かんじ方のちがいも話し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
261	2	下	ことばのきまり２	ていねいな言い方に直しましょう。	1			1	1					1		1			1
262	2	下	「ありがとう」のカードをおくろう	家族や友だちや近所の人に、「ありがとう」のカードをおくりましょう。	1			1		1				1		1			1
263	2	下	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
264	2	下	かさこじぞう	むかし話を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
265	2	下	かさこじぞう	場面のようすをそうぞうしながら読みましょう。	1			1			1			1		1		1	
266	2	下	かさこじぞう	つぎの場面についてそうぞうしたことを、みんなで話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
267	2	下	かさこじぞう	このお話を、紙しばいやまきものなどにして、声に出してひょうげんしましょう。	1			1	1					1		1			1
268	2	下	ここまでに出た新しいかん字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
269	2	下	二年生をふりかえって	この一年、国語のべんきょうで、あなたがいちばん楽しかったことやがんばったことについて話しましょう。	1			1	1					1		1			1
270	2	下	話し方・聞き方・まとめ方	どんなときに、どんな声を出しているでしょう。		1		1	1				1			1		1	
271	2	下	ことばを見つけよう	はんたいになることばを見つけよう。	1			1				1	1			1		1	
272	3	上	出会う・つたえ合う	二人で話しましょう	1			1	1						1		1		1
273	3	上	出会う・つたえ合う	とっておきのたからものを　友だちにしょうかいしよう。	1			1	1						1		1	1	
274	3	上	出会う・つたえ合う	すてきなところや　大切にしている理ゆうをつたえよう。	1			1	1					1			1	1	
275	3	上	出会う・つたえ合う	おたがいのたからものについて話そう。	1			1	1						1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
276	3	上	出会う・つたえ合う	交たいして　つづけよう。	1			1	1						1		1	1	
277	3	上	くまさん	声に出して読もう	1			1			1			1		1			1
278	3	上	つり橋わたれ	場面をとらえよう	1			1			1			1		1			1
279	3	上	つり橋わたれ	場面のうつりかわりをそうぞうしながら読もう。	1			1			1			1		1			1
280	3	上	つり橋わたれ	つぎの場面のトッコのようすや、トッコが思ったことを考えましょう。	1			1			1					1			1
281	3	上	つり橋わたれ	トッコになったつもりで、「着物を着た男の子」「山の子たち」「東京のお母さん」「おばあちゃん」などへ手紙を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
282	3	上	つり橋わたれ	つぎの言葉は、上の１・２・３のどれに当たりますか。		1		1				1				1			1
283	3	上	つり橋わたれ	三つに分けた言葉を見て、どんなことに気づきますか。		1		1				1				1			1
284	3	上	つり橋わたれ	つぎの言葉を、前のページの２・３のような言い切りの形にしましょう。	1			1		1				1		1			1
285	3	上	友だちっていいな	思いをつたえ合おう	1			1	1				1				1	1	
286	3	上	友だちっていいな	話題をはっきりさせておたがいの思いをつたえ合おう。	1			1	1					1			1		1
287	3	上	友だちっていいな	みなさんは、友だちと楽しくすごしたことや、こまっているときに　たすけてもらったことはありませんか。		1		1											
288	3	上	友だちっていいな	その時のできごとを、グループの友だちに話しましょう。	1			1	1								1		1
289	3	上	友だちっていいな	つたえたいことをカードに書き出そう	1			1		1				1		1			1
290	3	上	友だちっていいな	聞き合って、カードを整理しよう	1			1						1			1		1
291	3	上	友だちっていいな	発表しよう	1			1	1					1			1		1
292	3	上	友だちっていいな	どんな話し方をするとするとよくつたわるでしょう。		1		1					1			1			1
293	3	上	友だちっていいな	どんな聞き方をすると話がよく聞けるでしょう。		1		1					1			1			1
294	3	上	友だちっていいな	友だちの話を聞いて、カードを交かんしよう	1			1	1						1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
295	3	上	友だちっていいな	友だちの話を聞いて、思ったことや話し方のよかったところをカードに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
296	3	上	友だちっていいな	グループの人どうしで話し合おう	1			1	1						1		1		1
297	3	上	友だちっていいな	友だちの話から考えたことやかんそうをつたえ合いましょう。	1			1	1				1				1	1	
298	3	上	友だちっていいな	司会をきめて話しましょう。	1			1	1					1			1		1
299	3	上	友だちっていいな	同じ考えのときは、さんせいしましょう。	1			1	1					1		1			1
300	3	上	友だちっていいな	友だちの意見につなげて発言しましょう。	1			1	1					1			1		1
301	3	上	友だちっていいな	司会は、みんなの意見を広く聞きましょう。	1			1	1				1				1	1	
302	3	上	手紙を書く	はがきを書こう	1			1		1				1		1			1
303	3	上	手紙を書く	つたえたいことがらをえらんで書こう。	1			1		1				1		1			1
304	3	上	手紙を書く	あて先は正しく書きましょう。	1			1		1				1		1			1
305	3	上	手紙を書く	名前の下には、「様」と書きましょう。	1			1		1				1		1			1
306	3	上	手紙を書く	見たり聞いたりしたことをはがきに書いて、親せきや友だちに知らせましょう。	1			1	1					1		1			1
307	3	上	手紙を書く	夏休みには、先生にもはがきを出しましょう。	1			1							1	1			1
308	3	上	手紙を書く	住所を書くのにつかうかん字をおぼえましょう。	1			1						1		1			1
309	3	上	文の四つのかた	下の絵を見ながら考えましょう。	1			1		1						1			1
310	3	上	文の四つのかた	上の絵を見て、短い文を作りましょう。	1			1		1						1			1
311	3	上	文の四つのかた	そして、作った文が、１の①②③④のどのかたになるのか、考えましょう。	1			1								1			1
312	3	上	書くこと	知らせたいことを整理して書こう	1			1		1				1		1			1
313	3	上	書くこと	友だちや先生に、「こんなことがあったんだよ。」と知らせたくなったことはありませんか。		1		1											
314	3	上	書くこと	書けたら読みかえして、まちがえた所などを直しましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
315	3	上	書くこと	できあがった作品を、みんなで読み合いましょう。	1			1			1		1				1	1	
316	3	上	書くこと	読んでみよう	1			1			1		1			1			1
317	3	上	とんぼのひみつ	だん落をとらえながら読もう。	1			1			1			1		1			1
318	3	上	とんぼのひみつ	ところで、そのとんぼたちが、いろいろなひみつをもっているのを知っていますか。		1		1					1						1
319	3	上	とんぼのひみつ	まとまりを考えて、つぎの表をかんせいさせましょう。	1			1		1				1		1			1
320	3	上	ミラクル　ミルク	だん落ごとに大じなことをとらえながら読もう。	1			1			1			1		1			1
321	3	上	ミラクル　ミルク	ところで、みなさんは、動物のミルクがミラクル（ふしぎなこと）を起こして、さまざまな物に変身することを知っていますか。		1	1						1						1
322	3	上	ミラクル　ミルク	だん落ごとに番号をつけましょう。	1			1		1				1		1			1
323	3	上	ミラクル　ミルク	つぎの表をかんせいさせましょう。	1			1		1				1		1			1
324	3	上	調べたことをカードにしよう	知りたいことを調べて、書き出そう。	1			1		1				1		1			1
325	3	上	調べたことをカードにしよう	今度はみなさんが、身の回りの食べ物のことでぎ問に思ったことを調べて、みんなに教えましょう。	1			1		1				1			1	1	
326	3	上	調べたことをカードにしよう	あなたは、どんなことを調べますか。		1		1								1			1
327	3	上	調べたことをカードにしよう	図書館などで調べたことは、すぐにカードにまとめるようにしましょう。	1			1		1				1		1			1
328	3	上	調べたことをカードにしよう	また、カードには、調べた本と、書いた人の名前、調べて思ったことも書いておきましょう。	1			1		1				1		1			1
329	3	上	調べたことをカードにしよう	書きおわったら、けいじ板などにはって、みんなで知らせ合いましょう。	1			1					1			1		1	
330	3	上	国語じてんを引いてみよう	国語じてんを引いてみよう	1			1				1	1			1			1
331	3	上	国語じてんを引いてみよう	国語じてんは、どのようにして引くのでしょう。		1		1				1	1						1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
332	3	上	国語じてんを引いてみよう	今までにつかったことがある人も、ここでもう一度おさらいしましょう。	1			1				1		1		1			1
333	3	上	国語じてんを引いてみよう	「つりばし」と「たにがわ」（谷川）とでは、どちらが先に出ていますか。		1		1				1	1			1			1
334	3	上	国語じてんを引いてみよう	「つりばし」と、魚をつる「つりばし」とでは、どちらが先に出ていますか。		1		1				1	1			1			1
335	3	上	国語じてんを引いてみよう	調べられましたか。		1		1				1				1			1
336	3	上	国語じてんを引いてみよう	このように、一字めが同じ場合には二字めの五十音じゅん、二字めまで同じときには三字めの五十音じゅん……というように、おしまいまで五十音じゅんにならんでいることをおぼえておきましょう。	1			1				1	1			1			1
337	3	上	国語じてんを引いてみよう	このほか、「ば・び・ぶ・べ・ぼ」などのだく音や、「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ」などの半だく音は、「は・ひ・ふ・へ・ほ」などの清音の後に、だく音のじゅんにならべてあることもおぼえておきましょう。	1			1				1	1			1			1
338	3	上	国語じてんを引いてみよう	今度は、「わたれ」という言葉を調べてみましょう。	1			1				1	1			1			1
339	3	上	国語じてんを引いてみよう	国語じてんで、次の言葉を引いてみましょう。	1			1				1		1		1			1
340	3	上	国語じてんを引いてみよう	国語じてんになれるために、「じてん早引きゲーム」をやってみましょう。	1			1				1			1	1		1	1
341	3	上	国語じてんを引いてみよう	読んでみよう	1			1			1				1	1			1
342	3	上	海の光	いろいろな本を読もう	1			1			1					1			1
343	3	上	海の光	物語にきょう味をもって読もう。	1			1			1				1	1			1
344	3	上	読書あん内	あなたも、「こういうことあるよね。」と、ヨースケくんの気もちになって読めるでしょう。	1			1			1		1			1			1
345	3	上	読書あん内	はたして、姫は山をおさめられるでしょうか。		1		1			1		1						1
346	3	上	本のしょうかいをしよう	本のしょうかいをしよう	1			1	1				1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
347	3	上	本のしょうかいをしよう	しょうかいすることの中心を考えてつたえよう。	1			1	1					1		1			1
348	3	上	本のしょうかいをしよう	今までに読んだ本の中から一さつをえらんで、友だちにしょうかいをしましょう。	1			1	1				1				1		1
349	3	上	本のしょうかいをしよう	いちばん気に入っている本を一さつきめましょう。	1			1			1					1			1
350	3	上	本のしょうかいをしよう	また、気に入っている理由もメモに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
351	3	上	本のしょうかいをしよう	どんな場面をいちばんしょうかいしたいか、考えましょう。	1			1			1					1			1
352	3	上	本のしょうかいをしよう	その理由もメモに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
353	3	上	本のしょうかいをしよう	聞いた人が読みたくなるように、しょうかいのしかたをくふうしましょう。	1			1			1			1		1			1
354	3	上	本のしょうかいをしよう	グループで発表会をして、本をしょうかいし合いましょう。	1			1	1					1			1		1
355	3	上	山	詩を読もう	1			1			1		1			1			1
356	3	上	かくし言葉	言葉で遊ぼう	1			1			1				1	1			1
357	3	上	コミュニケーション	声にとどけよう、受け止めよう	1			1	1						1	1			1
358	3	上	コミュニケーション	次のルールでパスゲームをして、人と話したり人の話を聞いたりするときには、どんなことに気をつければいいのかを考えてみましょう。	1			1	1						1		1		1
359	3	上	コミュニケーション	初めは自由にパスし合いましょう。	1			1	1						1		1		1
360	3	上	コミュニケーション	そして、一通りパスを回した後、その時の感想を話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
361	3	上	コミュニケーション	つぎは、かならず相手と名前をよび合って、相手の顔を見て、とどくようにパスをしましょう。	1			1	1					1		1			1
362	3	上	コミュニケーション	今度はどんな感想をもちましたか。		1		1	1							1			1
363	3	上	コミュニケーション	話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
364	3	上	コミュニケーション	パスゲームで感じたことから、ふだんの会話でどんなことに気をつけたらよいのかを考えましょう。	1			1	1				1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
365	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	見てきたことを新聞にまとめよう	1			1		1			1			1			1
366	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	知ろう・つたえよう	1			1		1			1				1		1
367	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	見てきたことの中心をまとめて、分かりやすく書こう。	1			1		1				1		1			1
368	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	工場で見てきたいことや聞いてきたいことを書き出しておきましょう。	1			1		1				1		1			1
369	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	メモをとりながら、見たり聞いたりしましょう。	1			1		1				1		1			1
370	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	見出しをつけて記事を書こう	1			1		1				1		1			1
371	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	メモの中から、つたえたいことをえらび、記事を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
372	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	新聞にしあげよう	1			1		1				1		1			1
373	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	グループで作るときは、見やすいわりつけを話し合って考えましょう。	1			1	1					1			1		1
374	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	新聞の発表会をしよう	1			1	1						1		1		1
375	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	作った新聞を読み合って、よいところを見つけて、つたえ合いましょう。	1			1	1				1				1		1
376	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	工場の人にも見てもらいましょう。	1			1							1		1		1
377	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	よい表げんのしかたを、つぎの新聞作りに生かしましょう。	1			1					1			1			1
378	3	上	くわしく表す言葉	つぎの文で、□の言葉をくわしく表している言葉にーを引きましょう。	1			1		1				1		1			1
379	3	上	くわしく表す言葉	様子をくわしく表す言葉を入れた文を作りましょう。	1			1		1				1		1			1
380	3	上	くわしく表す言葉	つぎの文の□には、どんな言葉が入りますか。		1		1		1			1			1			1
381	3	上	くわしく表す言葉	■の言葉から考えましょう。	1			1				1	1			1			1
382	3	上	くわしく表す言葉	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
383	3	上	話し方・聞き方・まとめ方	つぎのようなふ号をつかって文しょうを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
384	3	上	漢字のまとめ	場面をとらえよう	1			1				1				1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
385	3	上	漢字のまとめ	思いをつたえ合おう	1			1	1				1				1		1
386	3	上	漢字のまとめ	知らせたいことを整理して書こう	1			1		1				1		1			1
387	3	上	漢字のまとめ	調べたことをカードにしよう	1			1		1				1		1			1
388	3	上	漢字のまとめ	いろいろな本を読もう	1			1			1		1			1			1
389	3	上	漢字のまとめ	本のしょうかいをしよう	1			1	1				1				1	1	
390	3	上	漢字のまとめ	詩を読もう	1			1			1		1			1			1
391	3	上	漢字のまとめ	声をとどけよう、受け止めよう	1			1	1						1		1		1
392	3	上	漢字のまとめ	知ろう・つたえよう	1			1	1				1				1		1
393	3	上	漢字のまとめ	見てきたことを新聞にまとめよう	1			1		1				1		1			1
394	3	上	言葉を広げる	動きを表す言葉をたくさんあつめよう	1			1				1		1		1			1
395	3	下	わにのおじいさんのたから物	想ぞうしながら読もう	1			1			1			1		1			1
396	3	下	わにのおじいさんのたから物	場面の様子やうつりかわりを想ぞうしながら読もう。	1			1			1			1		1			1
397	3	下	わにのおじいさんのたから物	つぎの場面のおにの子について、みんなで話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
398	3	下	わにのおじいさんのたから物	思いを出し合う	1			1	1				1				1		1
399	3	下	わにのおじいさんのたから物	あなたは、夕やけを見ているおにの子に、何と言ってあげたいですか。		1		1								1			1
400	3	下	わにのおじいさんのたから物	考えたことを、みんなで出し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
401	3	下	わにのおじいさんのたから物	漢字を読みましょう・つかいましょう	1			1			1			1		1			1
402	3	下	あの子をさがして！	二人組になって当てっこゲームをしましょう。	1			1	1						1		1		1
403	3	下	あの子をさがして！	絵の中から一人をえらび、相手にヒントを出して、待ち合わせをしている絵の中の友だちを当ててもらいましょう。	1			1	1						1		1		1
404	3	下	あの子をさがして！	どんなことに気をつけて聞きましたか。		1		1	1				1			1			1
405	3	下	書くこと	まとまりをはっきりさせて書こう	1			1		1				1		1			1
406	3	下	書くこと	ちょっと自まんしたいできごとや、友だちや先生に分ってもらいたいことを文章に書いてみましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
407	3	下	書くこと	どこをたんけんしたか、さいしょに書こう。	1			1		1				1		1			1
408	3	下	書くこと	いくつかのことをならべて書くときは、「～たり、～たり」をつかおう。	1			1		1				1		1			1
409	3	下	書くこと	書き終わったら読み返して、まちがえたところなどを直しましょう。	1			1			1			1		1			1
410	3	下	書くこと	99 ページを見よう。	1			1					1			1			1
411	3	下	年の始まり	だん落のまとまりをとらえ、書いてあることの中心をつかもう。	1			1						1		1			1
412	3	下	年の始まり	年の始まりの三つの考え方を、表にまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
413	3	下	年の始まり	小正月のころのさまざまな行事をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
414	3	下	年の始まり	それぞれの年の始まりの行事には、どんなねがいがこめられているかをまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
415	3	下	年の始まり	漢字を読みましょう・つかいましょう	1			1			1			1		1			1
416	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	クラスのみんなにしょうかいしよう	1			1	1				1				1	1	
417	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	すじ道を立てて話し、中心を考えて聞こう。	1			1	1					1		1			1
418	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	しょうかいメモを作ろう	1			1		1				1		1			1
419	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	しょうかいしよう	1			1	1				1				1	1	
420	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	司会は、はじめに何の発表会なのかをつたえましょう。	1			1	1					1			1		1
421	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	調べたこと、調べて分ったこと、自分で考えたことなど、話のじゅんじょを考えて話しましょう。	1			1	1					1		1			1
422	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	聞く人は、話の中心に気をつけて聞いて、感想を話したり、しつ問をしたりしましょう。	1			1	1						1	1			1
423	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	みなさんも、身の回りにある、古くからつたわっているものなどを調べ、しょうかいし合いましょう。	1			1	1				1				1	1	
424	3	下	指ししめす言葉	上の絵を見て考えましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
425	3	下	指ししめす言葉	■の言葉は、どのかきを指していますか。		1		1						1		1			1
426	3	下	指ししめす言葉	ここ・そこ・あそこ・どこ　なども、使ってみましょう。	1			1				1		1		1			1
427	3	下	指ししめす言葉	表の空いている所をうめ、指ししめす言葉をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
428	3	下	指ししめす言葉	次の■の言葉は何を指しているか、考えましょう。	1			1				1				1			1
429	3	下	指ししめす言葉	読んでみよう	1			1			1		1			1			1
430	3	下	メディアを生かす	詩のみりょくをつたえよう	1			1	1				1				1		1
431	3	下	メディアを生かす	いろいろな表げんのしかたをくふうしよう。	1			1				1		1		1			1
432	3	下	メディアを生かす	自分がすきな詩をえらんで、思ったり感じたりしたことをいろいろな方法で表げんして、その詩のみりょくをみんなにつたえましょう。	1			1	1					1			1		1
433	3	下	メディアを生かす	詩のおもろしさを発見しよう	1			1							1		1	1	
434	3	下	メディアを生かす	88ページから95ページにある詩も読んでみましょう。	1			1			1		1			1			1
435	3	下	メディアを生かす	詩のおもしろさや楽しさを、いろいろな方法でつたえよう	1			1	1					1			1		1
436	3	下	メディアを生かす	みんなで、声に出してみましょう。	1			1			1			1			1		1
437	3	下	メディアを生かす	えらんでやってみましょう。	1			1						1		1			1
438	3	下	メディアを生かす	詩のおもしろさや楽しさをつたえ合う発表会を聞こう	1			1					1				1		1
439	3	下	メディアを生かす	88ページから95ページにある詩も読んでみましょう。	1			1			1		1			1			1
440	3	下	文章の分りやすさ	文章の達人になろう	1			1		1				1		1			
441	3	下	文章の分りやすさ	次の三つの文章を読んでくらべてみましょう。	1			1			1			1		1			1
442	3	下	ふしぎの心	詩を書こう	1			1		1				1		1			1
443	3	下	かなで書くと同じになる言葉	かなで次のように書く言葉には、どんなものがありますか。		1		1				1	1			1			1
444	3	下	かなで書くと同じになる言葉	組になっている一の言葉は、それぞれどうちがうか、考えましょう。	1			1				1	1			1			1
445	3	下	かなで書くと同じになる言葉	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
446	3	下	合図としるし	調べたことをつたえよう	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
447	3	下	合図としるし	だん落ごとに大事なことをまとめながら読もう。	1			1			1			1		1			1
448	3	下	合図としるし	わたしたちの生活の中で、合図やしるしがどのように使われているか、調べてみましょう。	1			1						1		1			1
449	3	下	合図としるし	身近にあって以外に気づかない合図やしるしに、あらためて目をとめてみましょう。	1			1					1			1			1
450	3	下	合図としるし	大事なことをとらえよう	1			1						1		1			1
451	3	下	合図としるし	次の表をかんせいさせましょう。	1			1		1			1			1			1
452	3	下	合図としるし	合図やしるしのはたらきについてたしかめましょう。	1			1	1					1		1			1
453	3	下	合図としるし	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1			1		1			1
454	3	下	調べたことをまためながら書こう	調べたことをまとめながら書こう	1			1		1				1		1			1
455	3	下	調べたことをまためながら書こう	だん落ごとのまとまりを考えて書こう。	1			1		1				1		1			1
456	3	下	調べたことをまためながら書こう	「合図としるし」を読んで、もっと調べたい、もう少したしかめたいと思ったことはありませんか。		1		1					1					1	
457	3	下	調べたことをまためながら書こう	自分で調べたことをもとにして、身の回りの合図としるしについてせつ明する文章を書きましょう。	1			1		1				1		1			1
458	3	下	調べたことをまためながら書こう	見つけたものや、考えたことをカードに書こう	1			1		1				1		1			1
459	3	下	調べたことをまためながら書こう	次のようなカードを用意し、それぞれに、自分の見つけた合図やしるしと、そのはたらきなどをまとめておきましょう。	1			1		1				1		1			1
460	3	下	調べたことをまためながら書こう	かじょう書きにして、かんたんにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
461	3	下	調べたことをまためながら書こう	まとまりを考えて文章を書こう	1			1		1				1		1			1
462	3	下	調べたことをまためながら書こう	カードをもとに、身の回りの合図やしるしについて、まとまりを考えて文章を書き、読み合いましょう。	1			1			1			1		1			1
463	3	下	思ったことを表す言葉	次のア・イの文は、意味がどうちがうか、考えましょう。	1			1				1				1			1
464	3	下	思ったことを表す言葉	それぞれ言ってみましょう。	1			1			1		1			1			1
465	3	下	思ったことを表す言葉	それぞれどちらか考えましょう。	1			1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
466	3	下	思ったことを表す言葉	（）の言葉を使って言いかえましょう。	1			1			1			1		1			1
467	3	下	思ったことを表す言葉	また、ほかの「おもったことを表す言葉」も使ってみましょう。	1			1				1		1		1			1
468	3	下	言葉をおくる	カードをおくろう	1			1		1						1			1
469	3	下	言葉をおくる	家族や友だち、お世話になった人たちに、カードを書いておくりましょう。	1			1		1					1	1			1
470	3	下	言葉をおくる	だれに、どんな気持ちをつたえるかを考えて書きましょう。	1			1		1				1		1			1
471	3	下	言葉をおくる	読んでみよう	1			1			1				1	1			1
472	3	下	百羽のつる	表げんを味わう	1			1						1		1			1
473	3	下	百羽のつる	様子を思いうかべながら音読しよう。	1			1			1			1		1			1
474	3	下	百羽のつる	「ひわひわと」や「ゆっくりゆっくりと」などのように、様子を表す言葉をさがして、それぞれの文は、どんな感じがするか、話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
475	3	下	百羽のつる	つるたちの様子を想ぞうしながら、音読しましょう。	1			1			1			1		1			1
476	3	下	百羽のつる	まわりの様子やつるたちの様子が分るようにくふうして、グループ音読をしたりげきをしたりしてみましょう。	1			1			1			1			1		1
477	3	下	百羽のつる	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1			1		1			1
478	3	下	百羽のつる	読んでみよう	1			1			1				1	1			1
479	3	下	三年生をふり返って	この一年、国語の勉強で、あなたがいちばん楽しかったことやがんばったことについて話しましょう。	1			1	1								1	1	
480	3	下	漢字のまとめ	場面をとらえよう	1			1						1		1			1
481	3	下	漢字のまとめ	思いをつたえ合おう	1			1	1				1				1	1	
482	3	下	漢字のまとめ	知らせたいことを整理して書こう	1			1		1				1		1			1
483	3	下	漢字のまとめ	調べたことをカードにしよう	1			1		1				1		1			1
484	3	下	漢字のまとめ	いろいろな本を読もう	1			1			1		1			1			
485	3	下	漢字のまとめ	本のしょうかいをしよう	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
486	3	下	漢字のまとめ	詩を読もう	1			1			1		1			1			
487	3	下	漢字のまとめ	声をとどけよう、受け止めよう	1			1									1	1	
488	3	下	漢字のまとめ	知ろう・つたえよう	1			1	1				1				1	1	
489	3	下	漢字のまとめ	見てきたことを新聞にまとめよう	1			1		1				1		1			1
490	3	下	漢字のまとめ	想ぞうしながら読もう	1			1			1			1		1			1
491	3	下	漢字のまとめ	まとまりをはっきりさせて書こう	1			1		1				1		1			1
492	3	下	漢字のまとめ	詩のみりょくをつたえよう	1			1	1					1		1		1	
493	3	下	漢字のまとめ	調べたことをつたえよう	1			1	1					1		1		1	
494	3	下	漢字のまとめ	調べたことをまとめながら書こう	1			1		1				1		1			1
495	3	下	漢字のまとめ	表げんを味わおう	1			1							1	1			1
496	3	下	言葉を広げる	組になる言葉を見つけよう	1			1				1				1			1
497	3	下	言葉を広げる	「男・女」のように、組になる言葉を見つけよう。	1			1				1				1			1
498	4	上	出会う・つたえ合う	二人で話そう……とっておきの話……	1			1	1					1			1	1	
499	4	上	出会う・つたえ合う	とっておきの話を友だちにしょうかいしよう。	1			1	1						1		1	1	
500	4	上	出会う・つたえ合う	おもしろい話やこわい話をいっしょに話そう。	1			1	1								1	1	
501	4	上	出会う・つたえ合う	話すじゅんじょを考えて聞く人をしっかりひきつけよう。	1			1	1					1			1	1	
502	4	上	出会う・つたえ合う	おたがいの話の内ようや話し方について話し合おう。	1			1	1					1			1	1	
503	4	上	出会う・つたえ合う	交代してつづけよう。	1			1						1			1	1	
504	4	上	春の歌	声に出して読もう	1			1			1			1		1		1	
505	4	上	白いぼうし	情景を思いうかべながら読もう	1			1			1			1		1		1	
506	4	上	白いぼうし	情景を表す言葉に注意して読み、感じたことを出し合おう。	1			1	1					1		1		1	
507	4	上	白いぼうし	四つの場面で、だれが出てきて、どんなことが起こりましたか。		1		1			1			1		1		1	
508	4	上	白いぼうし	次の表にまとめましょう。	1			1		1				1		1		1	
509	4	上	白いぼうし	色やにおいを表す言葉が使われている文を見つけ、それぞれどんな情景を思いうかべるか、話し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
510	4	上	白いぼうし	女の子になったつもりで、松井さんに手紙を書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
511	4	上	三年生で学習した漢字	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1		1			1			1
512	4	上	言葉のいずみ１	次の言葉の意味のちがいを考えましょう。	1			1				1	1			1			1
513	4	上	言葉のいずみ１	次の絵の中の漢字と同じような意味で使われている漢字は、どれでしょう。		1		1				1	1			1			1
514	4	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
515	4	上	わたしはレポーター	聞いたことを整理し、話の中心をはっきりさせて発表しよう。	1			1	1					1		1		1	
516	4	上	わたしはレポーター	調べるものを決めよう	1			1						1		1		1	
517	4	上	わたしはレポーター	取材のじゅんびをしよう	1			1						1		1		1	
518	4	上	わたしはレポーター	取材の前に、調べたいことや調べる方法をまとめておきましょう。	1			1						1		1		1	
519	4	上	わたしはレポーター	取材をしよう	1			1						1		1		1	
520	4	上	わたしはレポーター	発表の内容を整理しよう	1			1						1		1		1	
521	4	上	わたしはレポーター	取材してきたことを整理しましょう	1			1						1		1		1	
522	4	上	わたしはレポーター	発表の中心を決めましょう。	1			1						1		1		1	
523	4	上	わたしはレポーター	話の中心が伝わるように、メモをならべかえながら、発表の組み立てを考えましょう。	1			1						1		1		1	
524	4	上	わたしはレポーター	うまく伝えられるように練習してから、発表しましょう。	1			1	1					1		1		1	
525	4	上	わたしはレポーター	聞く人は、話の中心がどこにあるのかに注意して聞き、しつ問したり感想を伝えたりしましょう。	1			1	1					1		1		1	
526	4	上	手紙を書く―招待状を書こう―	伝えたい事がらを落とさずに書こう。	1			1		1				1		1		1	
527	4	上	手紙を書く―招待状を書こう―	学習発表会やてんらん会などを開くとき、家の人や地いきの人に招待状を出して、日ごろの学習の成果を見ていただきましょう。	1			1		1				1		1		1	
528	4	上	言葉のきまり１	文の組み立てをたしかめましょう。	1			1						1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
529	4	上	言葉のきまり１	次の①～⑥の文を、前のページのように、文の図にして書きましょう。そして読点を打ちましょう。	1			1		1				1		1			1
530	4	上	書くこと	中心を考えて書こう	1			1		1				1		1		1	
531	4	上	書くこと	みなさんも、心に残っている最近のできごとを、文章に書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
532	4	上	書くこと	書き手がいちばん書きたかったことは何かを考えながら、読み合いましょう。	1			1			1			1		1		1	
533	4	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
534	4	上	地下からのおくり物	だん落の要点をつかみ、だん落とだん落の関係をつかもう。	1			1						1		1			1
535	4	上	地下からのおくり物	温泉に入って、病気やけがを治すことがあるのを知っていますか。		1	1						1			1			1
536	4	上	地下からのおくり物	どうして、温泉に入ると体調が良くなるのでしょうか。		1	1						1			1			1
537	4	上	あめんぼはにん者か	だん落の要点をつかみ、だん落とだん落の関係を考えながら読もう。	1			1			1			1		1		1	
538	4	上	あめんぼはにん者か	どうして、あんなにうまく水面にうかんだり、走ったりすることができるのでしょうか。		1	1						1			1		1	
539	4	上	あめんぼはにん者か	これはいったいなんでしょう。		1	1						1			1			1
540	4	上	あめんぼはにん者か	ところで、水の上でくらしているあめんぼは、いったい何を食べて生きているのでしょうか。		1	1						1			1			1
541	4	上	あめんぼはにん者か	次の表を完成させましょう	1			1		1				1		1			1
542	4	上	あめんぼはにん者か	二つの文章を読んで話し合おう	1			1	1					1		1		1	
543	4	上	あめんぼはにん者か	かんきょうをよごすことのえいきょうについて、ほかにどんなことがあるか、話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1	
544	4	上	調べたことを知らせよう	調べたことから必要なことを選んで書き出そう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
545	4	上	調べたことを知らせよう	今度はみなさんが、身の回りの虫や動物・植物のことを調べて、みんなに教えましょう。	1			1	1				1			1		1	
546	4	上	調べたことを知らせよう	調べた本と、読んで思ったことも書いておきましょう。	1			1		1				1		1		1	
547	4	上	調べたことを知らせよう	書き終わったら、けいじ板などにはって、みんなで知らせ合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
548	4	上	言葉のいずみ２	次の漢字を、漢字の部分でなかま分けをしましょう。	1			1					1			1			1
549	4	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
550	4	上	ポレポレ	人物にきょう味を持って読もう。	1			1			1			1		1		1	
551	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	しょうかいすることがよく伝わるようにまとめよう。	1			1		1				1		1		1	
552	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	これまでに読んだ本の中から、好きなものを選んで、友達にしょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
553	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	しょうかいした本を友だちが読みたくなるように、新聞にして、その本のみりょくを十分に伝えられるようにくふうしましょう。	1			1						1		1		1	
554	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	しょうかいしたい本を何さつか選びましょう。	1			1						1		1		1	
555	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	しょうかいする本が決まったら、その本ごとに、あらすじや心に残った部分と、読んで思ったことや考えたこと(感想)を書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
556	4	上	水平線	詩を読もう	1			1			1			1		1		1	
557	4	上	言葉で遊ぼう	言葉の中から言葉をさがそう	1			1				1		1		1		1	
558	4	上	言葉で遊ぼう	作ってみよう	1			1				1		1		1		1	
559	4	上	心をとどけよう、受け止めよう	次の会話を役わり分たんして、声に出して読みましょう。	1			1			1			1			1	1	
560	4	上	心をとどけよう、受け止めよう	どんな感じがしましたか。		1		1						1		1		1	
561	4	上	心をとどけよう、受け止めよう	気がついたことを出し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
562	4	上	心をとどけよう、受け止めよう	あなたが太一さんだったら、つばささんとどんなやりとりをしますか。		1		1						1		1		1	
563	4	上	心をとどけよう、受け止めよう	右の会話と言いかえた会話が、どうちがっているのか話し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
564	4	上	見学の記録文を書こう	見てきたことの中心をまとめて、分かりやすく書こう。	1			1		1				1		1		1	
565	4	上	見学の記録文を書こう	みなさんも、見学して分かったことを記録文に書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
566	4	上	見学の記録文を書こう	見てきたいこと、きいてきたいことを書いておきましょう。	1			1		1				1		1		1	
567	4	上	見学の記録文を書こう	見学して分かったことなどをメモしましょう。	1			1		1				1		1		1	
568	4	上	見学の記録文を書こう	メモや資料をもとに書いてまとめよう	1			1		1				1		1		1	
569	4	上	言葉のきまり２	書いてみよう。読んでみよう。	1			1		1	1			1		1		1	
570	4	上	言葉のきまり３	次のアの文をもとにして、イの文を作りましょう。	1			1				1		1		1		1	
571	4	上	言葉のきまり４	次の文の一のところは、どんな文がもとになったのでしょう。		1		1				1		1		1		1	
572	4	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
573	4	上	じゅ業で使う言葉	取材できるようになりましょう。	1			1	1					1		1		1	
574	4	上	言葉を広げる　関係のある言葉をさがせ	関係のある言葉をたくさん集めよう。	1			1				1		1		1		1	
575	4	下	ごんぎつね	表現をもとに、人物の心情を想ぞうしながら読もう。	1			1			1			1		1		1	
576	4	下	ごんぎつね	次の場面での、ごんと、その心情について話し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
577	4	下	ごんぎつね	「兵十は、火なわじゅうを、ばたりと取り落としました。青いけむりが、まだ、つつ口から細く出ていました。」の言葉から伝わってくる様子について話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
578	4	下	三年生で学習した漢字	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1		1			1			1
579	4	下	言葉のいずみ１	漢和辞典を引いてみよう	1			1				1		1		1		1	
580	4	下	話す・聞く	かざりつけはどうする？		1		1								1		1	
581	4	下	話す・聞く	グループのみんなで食べるケーキのかざりを決めましょう。	1			1									1	1	
582	4	下	話す・聞く	自分の考えでかざりを決めましょう。	1			1								1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
583	4	下	話す・聞く	グループのみんなで決めましょう。	1			1	1					1			1	1	
584	4	下	話す・聞く	自分がかざりを選んだ理由を伝え合い、みんなで一つの考えにまとめましょう。	1			1	1					1			1	1	
585				中心とだん落を考えて書こう	1			1		1				1		1		1	
586	4	下	書くこと	みなさんも、最近のできごとの中から心に残っていることを、中心とだん落のまとまりを考えて、文章に書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
587	4	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
588	4	下	手で食べる、はしで食べる	まとまりごとに、細かい点に注意して内容をとらえよう。	1			1						1		1		1	
589	4	下	手で食べる、はしで食べる	どうして、はしやスプーンを使わないのだろう。		1	1						1			1			1
590	4	下	手で食べる、はしで食べる	同じ米のご飯なのに、なぜ、手で食べるのだろう。		1	1						1			1			1
591	4	下	手で食べる、はしで食べる	文章の前半についてまとまりごとに要点を書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
592	4	下	手で食べる、はしで食べる	文章の後半について、要点をまとめて、次の表をかん成させましょう。	1			1		1				1		1			1
593	4	下	三年生で学習した漢字	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1		1			1			1
594	4	下	文化のちがいを調べて発表しよう	要点をおさえながら、話したり聞いたりしよう。	1			1	1					1		1		1	
595	4	下	文化のちがいを調べて発表しよう	課題を発表しよう	1			1	1					1		1		1	
596	4	下	文化のちがいを調べて発表しよう	聞く人は、要点をメモしながらよく聞いて、感想カードやていあんカードを発表グループにわたしましょう。	1			1						1			1	1	
597	4	下	文化のちがいを調べて発表しよう	感想やていあんを生かして、発表会を聞きましょう。	1			1	1					1			1	1	
598	4	下	言葉のきまり１	つなぎの言葉を集めましょう。	1			1						1		1			1
599	4	下	言葉のきまり１	□に言葉を入れて文を続けましょう。	1			1						1		1			1
600	4	下	漢字の豆知しき																
601	4	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
602	4	下	コマーシャルを作ろう	伝えたいことを、効果的な表現でまとめよう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
603	4	下	コマーシャルを作ろう	ふだんから目や耳にしている「コマーシャル」とは、いったいどんなものなのでしょうか。		1		1						1		1			1
604	4	下	コマーシャルを作ろう	次の説明文を読んで、まずは、「コマーシャル」とはどんなものかを知りましょう。	1			1						1		1		1	
605	4	下	コマーシャルを作ろう	コマーシャルをよく見よう	1			1						1		1		1	
606	4	下	コマーシャルを作ろう	この広告の特ちょうを話し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
607	4	下	コマーシャルを作ろう	言葉づかいにくふうはあるかな		1		1								1		1	
608	4	下	コマーシャルを作ろう	文字の大きさや、色の使い方にくふうはあるかな。		1		1								1		1	
609	4	下	コマーシャルを作ろう	写真や絵の使い方にくふうはあるかな。		1		1								1		1	
610	4	下	コマーシャルを作ろう	何を伝えたいかわかるかな。		1		1						1		1			1
611	4	下	コマーシャルを作ろう	広告を作ってみよう	1			1						1		1		1	
612	4	下	コマーシャルを作ろう	自分たちの住んでいる県や地域の観光地や特産物、または、自分たちがふだんから学校や地いきで取り組んでいる活動などを、他の地いきの人に知らせるコマーシャル広告を作りましょう。	1			1						1		1		1	
613	4	下	コマーシャルを作ろう	ボディーコピーを作ろう	1			1						1		1		1	
614	4	下	コマーシャルを作ろう	キャッチコピーを作ろう	1			1						1		1		1	
615	4	下	コマーシャルを作ろう	広告にしあげよう	1			1						1		1		1	
616	4	下	コマーシャルを作ろう	発表会をしよう	1			1						1		1		1	
617	4	下	まとまりと分かりやすさ	文章の達人になろう	1			1						1		1		1	
618	4	下	まとまりと分かりやすさ	これから、友達の良いところをクラスのみんなにしょうかいしてみましょう。	1			1	1					1			1	1	
619	4	下	まとまりと分かりやすさ	自分がしょうかいしようとする友達の良いところをはっきりさせましょう。	1			1						1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
620	4	下	まとまりと分かりやすさ	できあがった表をもとに、その友達の良さをしょうかいする文章を書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
621	4	下	まとまりと分かりやすさ	上の例と次の文章をくらべて考えてみましょう。	1			1						1		1		1	
622	4	下	感じる心	詩を書こう	1			1		1				1		1		1	
623	4	下	あわのソフトクリーム																
624	4	下	こうようした葉					1											
625	4	下	言葉のいずみ２	言葉の使われ方について考えましょう。	1			1						1		1		1	
626	4	下	言葉のいずみ２	上に続く言葉を、下から選びましょう。それぞれ、どのような様子を表しているのでしょうか。		1		1						1		1			1
627	4	下	言葉のいずみ２	□の中にひらがなを入れましょう。	1			1		1				1		1			1
628	4	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
629	4	下	点字を通して考える	書かれている内容をとらえ、自分の考えを持ちながら読もう。	1			1			1			1		1		1	
630	4	下	点字を通して考える	この文章を大きく三つのまとまりに分け、まとまりごとに見出しをつけましょう。	1			1		1				1		1		1	
631	4	下	点字を通して考える	今の点字ができるまでにどんな文字が考え出されましたか。それらを書き出し、その良い点と悪い点をかじょう書きにしましょう。	1			1		1				1		1		1	
632		下	点字を通して考える	バリアフリーを実現するためには、どうすればよいと、筆者は書いてますか。	1			1						1		1			1
633	4	下	三年生で学習した漢字	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1		1			1			1
634	4	下	暮らしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	自分の考えが明らかになるように、だん落ごとの関係を考えて書こう。	1			1		1				1		1		1	
635	4	下	暮らしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	みなさんの身の回りには、もう少し改良すると、もっと便利になりそうな物やバリアフリーに役立ちそうだと思える物などはありませんか。	1			1						1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
636	4	下	暮らしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	気がついたことや考えたことを、友達とてい案し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
637	4	下	暮らしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	書けたら、かん単な図や絵などを付けて、みんなに回らんして、てい案しましょう。	1			1	1					1		1		1	
638	4	下	暮らしやすさを求めて、アイデアをてい案しよう	みなさんも、身の回りのことから考え付いたことを、みんなにてい案しましょう。	1			1	1					1		1		1	
639	4	下	言葉のきまり２	次のア・イの文は、意味がどうちがうか考えましょう。	1			1					1			1		1	
640	4	下	言葉のきまり３	次のア・イの文の意味のちがいを説明しましょう。	1			1	1				1			1			1
641	4	下	言葉のきまり４	次の文は、ア・イのどちらの表し方ですか。		1		1					1			1			1
642	4	下	言葉のきまり５	次の文を、ア・イの表し方に変えましょう。	1			1					1			1			1
643	4	下	言葉をおくる・漢字をおくろう	友達のことを漢字一字で表して、カードに大きな字を書いてみましょう。	1			1		1			1			1		1	
644	4	下	言葉をおくる・漢字をおくろう	その字を選んだ理由も分かるように、言葉を加えておくりましょう。	1			1		1			1			1		1	
645	4	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
646	4	下	小鳥を好きになった山	情景を想ぞうしながら読もう。	1			1			1			1		1		1	
647	4	下	小鳥を好きになった山	「山」と「小鳥」の会話文を音読して、気づいたことや感じたことを発表しましょう。	1			1	1					1		1		1	
648	4	下	小鳥を好きになった山	この物語を読んで感じたことや考えたことを、話し合ったり、ポスターにしたりしてみましょう。	1			1	1	1				1		1		1	
649	4	下	三年生で学習した漢字	漢字を読みましょう・使いましょう	1			1			1		1			1			1
650	4	下	Romaji	大文字を覚えて、氏名などを書いてみよう。	1			1		1			1			1			1
651	4	下	四年生をふり返って	この一年、国語の勉強で、楽しかったことやがんばったことについて書きましょう。	1			1		1					1	1		1	
652	4	下	漢字のしりとりにちょう戦	次の熟語の□に漢字を入れて、漢字のしりとりをしよう。	1			1	1				1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
653	4	下	漢字のしりとりにちょう戦	次の語を読んでみましょう。	1			1			1		1			1			1
654	4	下	漢字のしりとりにちょう戦	右の例にならって、□に当てはまる漢字を入れましょう。	1					1			1			1			1
655	5	上	二人で話そう	二人で話そう	1			1	1								1	1	
656	5	上	二人で話そう	好きな本を当てよう	1			1	1								1	1	
657	5	上	二人で話そう	自分の好きな本を持ってきて、教室にならべましょう。	1			1									1	1	
658	5	上	二人で話そう	二人組になって、おたがいに相手が持ってきた本を当ててみましょう。	1			1	1								1	1	
659	5	上	二人で話そう	相手のヒントをよく聞いて、持ってきた本を当てましょう。	1			1	1								1		1
660	5	上	ぼくにはぼくの道がある	声に出して読もう	1			1			1			1		1			1
661	5	上	大造じいさんとがん	びょう写を読もう	1			1			1			1		1			1
662	5	上	大造じいさんとがん	場面のびょう写や、人物の心情を読み味わおう。	1			1			1			1		1			1
663	5	上	大造じいさんとがん	本文を三つに分け、がんをとらえるために、大造じいさんが考えた方法とその結果をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
664	5	上	大造じいさんとがん	次の場面の、残雪と大造じいさんの心情を読み取りましょう。	1			1			1			1		1			1
665	5	上	組み合わせの言葉	このような言葉を作ってみましょう。	1			1			1			1		1			1
666	5	上	組み合わせの言葉	次の言葉を短く言いかえましょう。	1			1			1			1		1			1
667	5	上	組み合わせの言葉	次の言葉を、例のように二つの言葉に分けてみましょう。	1			1						1		1			1
668	5	上	意味の似ている言葉	意味の似ている言葉はどれでしょうか。		1		1								1			1
669	5	上	意味の似ている言葉	どちらを使うのがよいでしょうか。		1		1		1						1			1
670	5	上	意味の似ている言葉	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
671	5	上	地域との交流計画を立てよう	地域との交流計画を立てよう	1			1						1			1		1
672	5	上	地域との交流計画を立てよう	意見を交流しよう	1			1							1		1		1
673	5	上	地域との交流計画を立てよう	話題にそって話し合いを進めよう。	1			1	1					1			1		1
674	5	上	地域との交流計画を立てよう	クラスで提案することを、グループごとに話し合ってまとめましょう。	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
675	5	上	地域との交流計画を立てよう	グループでまとまった意見をもとにクラス全体で話し合いましょう。	1			1	1				1				1		1
676	5	上	地域との交流計画を立てよう	グループの意見をまとめよう。	1			1	1					1			1		1
677	5	上	地域との交流計画を立てよう	今度は、田中さんのグループの話し合いを見てみましょう。	1			1	1					1		1			1
678	5	上	地域との交流計画を立てよう	クラス全体で話し合おう	1			1	1								1		1
679	5	上	地域との交流計画を立てよう	クラスでの話し合いの様子を見てみましょう。	1			1							1		1		
680	5	上	地域との交流計画を立てよう	みなさんのクラスでもいろいろな議題で話し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
681	5	上	お礼状を書こう	お礼状を書こう	1			1		1				1		1			1
682	5	上	お礼状を書こう	相手に対する気持ちが伝わるように書こう。	1			1		1				1		1			1
683	5	上	お礼状を書こう	お世話になった人や、感謝したい人に、お礼の手紙を書きましょう。	1			1		1					1	1			1
684	5	上	お礼状を書こう	心と心のふれ合いを大切にしましょう。	1			1						1		1			
685	5	上	お礼状を書こう	書きだしには、季節のあいさつや、相手の様子をたずねるあいさつを書きましょう。	1			1		1				1		1			1
686	5	上	お礼状を書こう	相手を思いうかべ、感謝の気持ちをこめて、直接会って話すように書きましょう。	1			1		1				1		1			1
687	5	上	お礼状を書こう	相手に対する感謝の気持ちを、具体的に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
688	5	上	前後のつながりを示す言葉	前後の事がらの関係を考えましょう。	1			1						1		1			1
689	5	上	前後のつながりを示す言葉	次の文は、上のア・イのどちらの関係と同じでしょう。		1		1						1		1			1
690	5	上	前後のつながりを示す言葉	次の文の■の言葉に注意して、前後の事がらの関係を考えましょう。	1			1						1		1			1
691	5	上	指し示す言葉	次の文章の■の言葉は、何を指しているか、考えましょう。	1			1				1		1		1			1
692	5	上	指し示す言葉	これらの例を24ページ5行から25ページ2行までを読んで、さがして確かめましょう。	1			1				1	1			1			1
693	5	上	書くこと	最近、家や学校や地域で、どんなことがありましたか。		1		1										1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
694	5	上	書くこと	思い出してみましょう。	1			1								1			1
695	5	上	書くこと	みなさんも、最近のできごとの中から思い出したことや、心に残ったことなどを、表現のしかたをくふうして、文章に書きましょう。	1			1		1				1		1			1
696	5	上	書くこと	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
697	5	上	谷津干潟の生き物たち	だん落のまとまりごとに要点をとらえ、筆者の考えをつかもう。	1			1			1			1		1			1
698	5	上	谷津干潟の生き物たち	谷津干潟はどんな所か、48〜49 ページを読んで、要点をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
699	5	上	谷津干潟の生き物たち	下の図の、①〜⑤の場所の様子と、そこにどんな生き物が生息していて、どんなことをしているかをまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
700	5	上	谷津干潟の生き物たち	「生き物たちにとって、谷津干潟の果たしている役わりは小さくありません。」（57 ページ2 行め）とありますが、筆者はなぜこう考えるのか、そのわけを考え、まとめましょう。	1			1		1				1		1			1
701	5	上	谷津干潟の生き物たち	漢字を読もう・使おう	1			1			1			1		1			1
702	5	上	必要なことを選んでまとめよう	必要なことを選んでまとめよう	1			1		1				1		1			1
703	5	上	必要なことを選んでまとめよう	伝えようとすることを選んでまとめよう。	1			1		1				1		1			1
704	5	上	必要なことを選んでまとめよう	身の回りの自然や生き物について調べ、ポスターにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
705	5	上	必要なことを選んでまとめよう	ポスターにまとめるときには、①書いてあることをそのまま写すのではなく、必要なことを選んで書きましょう。	1			1		1				1		1			1
706	5	上	必要なことを選んでまとめよう	②何をくわしく、何をかん単に書くかを決めましょう。	1			1						1		1			1
707	5	上	必要なことを選んでまとめよう	③図や表などを使って、自分なりにくふうをしてまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
708	5	上	必要なことを選んでまとめよう	でき上がったら、発表するなどしてみんなで知らせ合いましょう。	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
709	5	上	必要なことを選んでまとめよう	ここで学んだ調べ方やまとめ方は、ほかの学習にも生かしましょう。	1			1						1		1		1	
710	5	上	共通語と方言	自分の土地の方言と比べてみましょう。	1			1				1	1			1			1
711	5	上	共通語と方言	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
712	5	上	注文の多い料理店	本の世界を広げよう	1			1					1				1		
713	5	上	注文の多い料理店	物語にきょうみを持ち、考えを広げながら読もう。	1			1			1				1	1			1
714	5	上	読書案内	「アイスマン」は、どんな時代を生きた、どんな人間だったのでしょう。		1		1											
715	5	上	読書の楽しみを広げよう	読書の楽しみを広げよう	1			1							1		1	1	
716	5	上	読書の楽しみを広げよう	作品のおもしろさをくふうして伝えよう。	1			1	1					1			1		1
717	5	上	読書の楽しみを広げよう	グループで同じ本を読んで、楽しい読書ゲームをしましょう。	1			1							1		1		1
718	5	上	読書の楽しみを広げよう	グループで一さつの本を読もう	1			1			1				1		1		1
719	5	上	読書の楽しみを広げよう	グループで一さつ選び、みんなで読みましょう。	1			1			1				1		1		1
720	5	上	読書の楽しみを広げよう	そして、各自が、心に残ったことをメモしましょう。	1			1		1				1		1			1
721	5	上	読書の楽しみを広げよう	クイズを作ろう	1			1		1					1	1			1
722	5	上	読書の楽しみを広げよう	メモをもとに、いろいろなクイズを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
723	5	上	読書の楽しみを広げよう	どの順番にならぶでしょう。		1		1											1
724	5	上	読書の楽しみを広げよう	この場面では、だれが、だれに何と言ったでしょう。		1		1											1
725	5	上	読書の楽しみを広げよう	次の文と合うさし絵はどれでしょう。		1		1											1
726	5	上	読書の楽しみを広げよう	読書ゲームをしよう	1			1	1						1		1		1
727	5	上	読書の楽しみを広げよう	グループでクイズを出し合い、楽しい読書ゲームをしましょう。	1			1	1						1		1		1
728	5	上	読書の楽しみを広げよう	カードにして示す、紙しばいにするなど、クイズの出し方をいろいろくふうしてみましょう。	1			1	1					1		1			1
729	5	上	読書の楽しみを広げよう	読んでみよう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
730	5	上	原っぱ	詩を読もう	1			1			1			1		1			1
731	5	上	言葉で遊ぼう	言葉で遊ぼう	1			1			1				1	1		1	
732	5	上	言葉で遊ぼう	想像しよう	1			1								1			1
733	5	上	コミュニケーション	考えてみよう。	1			1						1			1		1
734	5	上	コミュニケーション	次のセリフをいろいろな言い方で言ってみよう。	1			1			1			1		1		1	
735	5	上	コミュニケーション	それぞれの言い方で、どんな気持ちが伝わるか考えてみよう。	1			1						1		1			1
736	5	上	コミュニケーション	いろいろな言い方や伝わり方について分ったことを出し合いましょう。	1			1	1					1			1		1
737	5	上	知ろう・伝えよう	方言を調べて報告しよう	1			1		1			1				1		1
738	5	上	知ろう・伝えよう	書き方をくふうして、調べたことをまとめよう。	1			1		1				1		1			1
739	5	上	知ろう・伝えよう	みなさんの地域では、この「とんぼ」をどのように言っていますか。		1		1					1						1
740	5	上	知ろう・伝えよう	みなさんも、自分の土地や、親せきの住んでいる土地の言葉に注目しましょう。	1			1					1			1			1
741	5	上	知ろう・伝えよう	そして、その言葉と共通語とを比べ、「方言通信」としてまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
742	5	上	知ろう・伝えよう	次の方法を参考にして、調べ方を考えましょう。	1			1						1		1		1	
743	5	上	知ろう・伝えよう	「方言」について調べたことを、文章にまとめるために整理しましょう。	1			1		1				1		1			1
744	5	上	知ろう・伝えよう	まず、「方言通信」にどんなことが書いてあるのかがひと目で分るような題をくふうしたり、こおう目を立てたりしましょう。	1			1		1				1		1			1
745	5	上	知ろう・伝えよう	調べたことを整理してから書こう。	1			1		1				1		1			1
746	5	上	知ろう・伝えよう	みなさんの作った「方言通信」と比べてみましょう。	1			1					1				1		1
747	5	上	知ろう・伝えよう	発信しよう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
748	5	上	知ろう・伝えよう	でき上がった「方言通信」は、友達や先生に読んでもらいましょう。	1			1			1				1		1		1
749	5	上	知ろう・伝えよう	また、ほかの地域の友達と手紙などで交かんし、いろいろな土地の言葉にふれてみましょう。	1			1					1				1		1
750	5	上	知ろう・伝えよう	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
751	5	上	話し方・聞き方・まとめ方	自分の課題や発表の内容をいちばんうまくまとめる方法を考えてみましょう。	1			1					1			1			1
752	5	上	漢字のまとめ	びょう写を読もう	1			1			1			1		1			1
753	5	上	漢字のまとめ	意見を交流しよう	1			1	1				1				1		1
754	5	上	漢字のまとめ	地域との交流計画を立てよう	1			1				1		1		1			1
755	5	上	漢字のまとめ	お礼状を書こう	1			1		1				1		1			1
756	5	上	漢字のまとめ	必要なことを選んでまとめよう	1			1		1				1		1			1
757	5	上	漢字のまとめ	本の世界を広げよう	1			1			1		1						1
758	5	上	漢字のまとめ	言葉で遊ぼう	1			1			1				1	1		1	
759	5	上	漢字のまとめ	知ろう・伝えよう	1			1				1		1			1		1
760	5	上	漢字のまとめ	方言を調べて報告しよう	1			1		1			1			1			1
761	5	上	言葉を広げる	次の漢字から連想する言葉を書こう。	1			1		1				1		1			1
762	5	下	父ちゃんの凧	人物の心情や場面のびょう写を読み味わい、考えを深めよう。	1			1						1		1			1
763	5	下	父ちゃんの凧	次の場面を読み、「父」がどのようなことをおもったかを書きましょう。	1			1		1						1			1
764	5	下	父ちゃんの凧	「父」がどんな人物か分かる表現を書き出しましょう。	1			1		1				1		1			1
765	5	下	父ちゃんの凧	漢字を読もう・使おう	1			1			1			1		1			1
766	5	下	熟語の組み立て	ここでは、漢字二字の熟語の組み立てを考えてみましょう。	1			1			1		1			1			1
767	5	下	話し合いが行きづまったら	あなたのクラスでも、こんなことはありませんか。		1		1											1
768	5	下	話し合いが行きづまったら	話し合いが行きづまったらどうすればよいのでしょうか。		1		1	1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
769	5	下	話し合いが行きづまったら	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
770	5	下	和紙の心	内容をとらえながら読み、筆者の意見をつかもう。	1			1			1			1		1			1
771	5	下	和紙の心	ところで、紙には大きく分けて二つの種類があることを知っていますか。		1	1				1		1						1
772	5	下	和紙の心	これらの和紙お洋紙には、どのようなちがいがあるのでしょうか。		1	1				1		1						1
773	5	下	和紙の心	ところで、和紙はどのようなものに使われているのでしょうか。		1	1				1		1						1
774	5	下	和紙の心	この文章を大きく四つに分けましょう。	1			1		1				1		1			1
775	5	下	和紙の心	和紙と洋紙について、作り方・性質・特長をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
776	5	下	和紙の心	和紙の性質や特長と、それを生かしたものについて整理しましょう。	1			1		1				1		1			1
777	5	下	和紙の心	この文章で、筆者が伝えようとしていることをまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
778	5	下	和紙の心	漢字を読もう・使おう	1			1			1			1		1			1
779	5	下	和紙の心	調べたことをもとに　ポスターセッションを開こう	1			1	1						1		1		1
780	5	下	和紙の心	たがいの考えを出し合おう。	1			1	1					1			1		1
781	5	下	和紙の心	古くからつたわっているものや文化についてテーマを見つけ、みんなでしょうかいし合いましょう。	1			1	1					1			1		1
782	5	下	和紙の心	テーマを決めて調べよう	1			1						1		1			1
783	5	下	和紙の心	ポスターを作ろう	1			1		1				1		1			1
784	5	下	和紙の心	も造紙などを利用して、ポスターを作りましょう。	1			1		1				1		1			1
785	5	下	和紙の心	それぞれ調べてきたことを、絵・図・写真などを入れて、まとめましょう。	1			1		1				1		1			1
786	5	下	和紙の心	ポスターセッションを開こう	1			1	1						1		1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
787	5	下	和紙の心	次の順でポスターセッションを開きましょう。	1			1	1								1		1
788	5	下	和紙の心	ポスターセッションでは、次のことに気をつけましょう。	1			1					1			1			1
789	5	下	「れる」「られる」を使った文	■に適切な言葉を入れましょう。	1			1		1						1			1
790	5	下	「れる」「られる」を使った文	次の文は、ア・イ・ウのどれに当たりますか。		1		1			1					1			1
791	5	下	「れる」「られる」を使った文	「注文の多い料理店」に出てくる、「料理はもうすぐできます。十五分とお待たせはいたしません。すぐ食べられます。」（上・76ページ）の「られ」は、ア・イ・ウのどれに当たるか、考えましょう。	1			1				1	1			1			1
792	5	下	「れる」「られる」を使った文	二つの言い方を比べましょう。	1			1		1			1			1			1
793	5	下	「れる」「られる」を使った文	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
794	5	下	メディアをつくる	わたしたちの本を作ろう	1			1						1			1		
795	5	下	メディアをつくる	伝えたいことを、表現をくふうしてまとめよう。	1			1						1		1			1
796	5	下	メディアをつくる	みなさんの今までの活動や体験を、「本」という形にまとめましょう。	1			1						1			1		1
797	5	下	メディアをつくる	そして、本作りを通して、自分たちの活動や体験を効果的に伝える方法を考えましょう。	1			1	1					1			1		1
798	5	下	メディアをつくる	一人一人の得意なことや、興味のあることを生かして、グループで一さつの本を作りましょう。	1			1						1			1		1
799	5	下	メディアをつくる	どんな本を作りたいか話し合おう	1			1	1					1			1		1
800	5	下	メディアをつくる	だれに読んでもらいたいか、どんな内容をもりこむか、どんな記事を集めたいかなど、自由に意見を出し合い、自分たちの本を企画しましょう。	1			1	1					1			1		1
801	5	下	メディアをつくる	本全体の構成や内容・分量（ページ数）を決めよう	1			1	1					1			1		1
802	5	下	メディアをつくる	下のような表を作って、内容や分量を確かめましょう。	1			1	1					1			1		1
803	5	下	メディアをつくる	分たんを決めて、作業を進めよう	1			1	1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
804	5	下	メディアをつくる	みんなで話し合って、一人一人の記事の分たんを決め、表に書きこみましょう。	1			1		1				1			1		1
805	5	下	メディアをつくる	分たんが決まったら、スケジュールを立てて、作業を進めましょう。	1			1						1			1		1
806	5	下	メディアをつくる	記事の順序やならべ方を検とうしよう	1			1						1			1		1
807	5	下	メディアをつくる	より効果的な構成をくふうしましょう。	1			1						1			1		1
808	5	下	メディアをつくる	最後に「あとがき」もつけましょう。	1			1		1				1			1		1
809	5	下	メディアをつくる	印刷・製本をしよう	1			1						1			1		1
810	5	下	メディアをつくる	友達や先生と相談して、すてきな本にしあげましょう。	1			1	1					1			1		
811	5	下	メディアをつくる	本の合評会を開こう	1			1	1						1		1		1
812	5	下	メディアをつくる	自分たちの作った本の合評会をしましょう。	1			1	1						1		1		1
813	5	下	メディアをつくる	おたがいに、おもしろいと思ったところや、くふうしているなと思ったことを述べ合いましょう。	1			1	1					1			1		1
814	5	下	メディアをつくる	より多くの人に読んでもらおう	1			1			1			1			1		1
815	5	下	メディアをつくる	いろいろな人に読んでもらいましょう。	1			1			1			1			1		1
816	5	下	メディアをつくる	そして、できたら感想も知らせてもらうようにしましょう。	1			1									1		1
817	5	下	伝えることをはっきりと	文章の達人になろう	1			1		1				1		1			1
818	5	下	伝えることをはっきりと	用けんを確実に伝える文章を書こう。	1			1		1				1		1			1
819	5	下	伝えることをはっきりと	それらを使って、「だれ」に「どういう理由」があって、「何をどうしたい」ということが分かるように、文章を組み立ててみましょう。	1			1		1				1		1			1
820	5	下	伝えることをはっきりと	できた文章を友達と交かんして、「だれ」に「どういう理由」があって、「何をどうしたい」ということがきちんと伝わるかどうか、確かめましょう。	1			1			1			1		1			1
821	5	下	大切な心	詩を書こう	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
822	5	下	ことわざ	上と下をつないで、ことわざを完成させましょう。	1			1		1			1			1			1
823	5	下	ことわざ	また、意味も確かめましょう。	1			1					1			1			1
824	5	下	ことわざ	■の中には、どんな動物が入るでしょうか。		1		1		1			1						1
825	5	下	故事成語	次の故事成語の意味と由来を調べましょう。	1			1		1			1			1			1
826	5	下	故事成語	読んでみよう	1			1			1			1		1			1
827	5	下	心をつなぐ	筆者の考えをつかみ、自分の考えを持とう。	1			1			1			1		1			
828	5	下	心をつなぐ	みなさんは、自分たちのお金を作ることを考えたことがありますか。		1	1												
829	5	下	心をつなぐ	例えば、クラスの中だけで通用する「クラスのお金」なんてどうでしょう。	1		1												
830	5	下	心をつなぐ	みなさんが奥田さんの立場ならどうしますか。		1	1									1			
831	5	下	心をつなぐ	二人が話していた「コモ」とは、いったい何のことでしょうか。		1	1									1			1
832	5	下	心をつなぐ	また、紙へいのようなものは、何なのでしょうか。		1	1						1						1
833	5	下	心をつなぐ	この地域通貨は、みなさんがふだん使っているお金とどうちがうのでしょうか。		1	1						1			1			1
834	5	下	心をつなぐ	では、地域通貨を使うことで、どんな良さがあるのでしょうか。		1	1						1						1
835	5	下	心をつなぐ	お金だけでは伝わらない、心のこもった地域通貨によって、人と人との信らいのきずなを広げていくことは、とてもすばらしいことだと思いませんか。		1	1												1
836	5	下	心をつなぐ	地域通貨とふつうのお金のちがいをまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
837	5	下	心をつなぐ	地域通貨を使うことの良さをまとめましょう	1			1		1			1			1			1
838	5	下	心をつなぐ	筆者が地域通貨を広めていきたいと考えるのはなぜか、自分の考えも交えて話し合ってみましょう。	1			1	1				1				1		1
839	5	下	心をつなぐ	漢字を読もう・使おう	1			1			1			1		1			1
840	5	下	意見文を書こう	意見文を書こう	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
841	5	下	意見文を書こう	必要なことを整理して書こう。	1			1		1				1		1			1
842	5	下	意見文を書こう	身の回りのできごとに注目して、その良い点や悪い点について考えてみましょう。	1			1						1		1			1
843	5	下	意見文を書こう	さして、そこから考えたことを、全体の構成を考えながら、意見文にまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
844	5	下	意見文を書こう	みなさんも、いろいろなことに目を向けて考え、自分の意見をまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
845	5	下	組になって使われる言葉	一の言葉は、いつも組になって使われます。何回も読んで確かめましょう。	1			1			1			1		1			1
846	5	下	組になって使われる言葉	次の文で、一の言葉と組になって使われている言葉はどれでしょうか。	1			1		1			1						1
847	5	下	述語のいろいろなすがた	三つの文のちがいを考えましょう。	1			1						1		1			1
848	5	下	述語のいろいろなすがた	次の言い方は、右のア・イ・ウのどの仲間でしょう。	1			1					1						1
849	5	下	言葉をおくる	慣用句やことわざをおくろう	1			1		1			1			1			1
850	5	下	言葉をおくる	慣用句やことわざなど、自分の好きな言葉を選んで、友達におくりましょう。	1			1		1				1		1			1
851	5	下	木竜うるし	表現の効果をとらえながら声に出して読もう。	1			1			1			1		1			1
852	5	下	木竜うるし	権八と藤六は、どのような性格の役がらですか。		1		1		1									1
853	5	下	木竜うるし	せりふやト書きを手がかりにして、それぞれがあたえられている役わりとおもしろさやおかしさをノートにまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
854	5	下	木竜うるし	権八の行動から心情の変化を読み取って、まとめましょう。	1			1			1			1		1			1
855	5	下	木竜うるし	役を決め、人物の性格や場面の情景、心情などがよく表れるように、グループで音読したり、上演したりしましょう。	1			1							1		1		1
856	5	下	木竜うるし	漢字を読もう・使おう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
857	5	下	五年生をふり返って	この一年、国語の勉強で、楽しかったことやがんばったことについて書きましょう。	1			1		1						1			1
858	5	下	話し方・聞き方・まとめ方	発表者は、発表の「ねらい」や「考え」が、聞き手に分かるように話しましょう。	1			1	1					1		1			1
859	5	下	話し方・聞き方・まとめ方	聞き手によく分かってほしいことや、分かりにくいと思われることについては、あらかじめ資料を用意したり、具体的な例を準備したりするなどしておきましょう。	1			1						1		1			1
860	5	下	話し方・聞き方・まとめ方	意見や質問のある人は、そのことをはっきりと伝えましょう。	1			1	1					1		1			
861	5	下	話し方・聞き方・まとめ方	発表者と考えがちがう意見は、どうちがっているのかが分かるように話しましょう。	1			1	1					1		1			1
862	5	下	漢字のまとめ	びょう写を読もう	1			1			1			1		1			1
863	5	下	漢字のまとめ	意見を交流しよう	1			1						1			1		1
864	5	下	漢字のまとめ	地域との交流計画を立てよう	1			1						1		1			1
865	5	下	漢字のまとめ	お礼状を書こう	1			1		1				1		1			1
866	5	下	漢字のまとめ	必要なことを選んでまとめよう	1			1		1				1		1			1
867	5	下	漢字のまとめ	本の世界を広げよう	1			1			1		1						
868	5	下	漢字のまとめ	言葉で遊ぼう	1			1			1				1	1		1	
869	5	下	漢字のまとめ	知ろう・伝えよう	1			1	1				1				1		1
870	5	下	漢字のまとめ	方言を調べて報告しよう	1			1		1			1				1		1
871	5	下	漢字のまとめ	調べたことをもとに　ポスターセッションを開こう	1			1	1						1		1		1
872	5	下	漢字のまとめ	わたしたちの本を作ろう	1			1		1					1		1		1
873	5	下	言葉を広げる	ことわざや慣用句を覚えよう	1			1					1			1			
874	5	下	言葉を広げる	下の絵を参考に、■に言葉を入れてことわざや慣用句を完成させよう。	1			1					1			1			1
875	6	上	出会う・伝え合う	二人で話そう…未来のあなたにインタビュー…	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
876	6	上	出会う・伝え合う	未来のあなたはどんな人になっているでしょうか。		1		1	1					1		1		1	
877	6	上	出会う・伝え合う	立場を交代して、未来の友達にインタビューしてみましょう。	1			1	1					1			1	1	
878	6	上	出会う・伝え合う	未来の自分になりきって、友達のインタビューに答えましょう。	1			1	1					1			1	1	
879	6	上	出会う・伝え合う	友達がすてきな夢を持っていることを知っていましたか。		1		1						1		1		1	
880	6	上	今日からはじまる	声に出して読もう	1			1	1					1		1		1	
881	6	上	あの坂をのぼれば	すぐれた情景びょう写を読み味わおう。	1			1	1					1		1		1	
882	6	上	あの坂をのぼれば	次の場面の情景を想像しましょう。	1			1						1		1		1	
883	6	上	あの坂をのぼれば	「ーあの坂をのぼれば、海が見える。」のくり返し文に着目し、それぞれの時の少年の心情を想像しましょう。	1			1						1		1		1	
884	6	上	あの坂をのぼれば	海鳥を見つけたときの少年の心情の変化を想像しましょう。	1			1						1		1		1	
885	6	上	五年生で学習した漢字	漢字を読もう・使おう	1			1			1		1			1			1
886	6	上	言葉の泉１	声に出して読んでみましょう。	1			1			1			1		1		1	
887	6	上	漢字の豆知識																
888	6	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
889	6	上	わたしたちの学校改善計画	意見を交流しよう	1			1	1					1			1	1	
890	6	上	わたしたちの学校改善計画	立場や意図をはっきりさせながら話し合おう。	1			1	1					1			1	1	
891	6	上	わたしたちの学校改善計画	提案の準備をしよう	1			1						1		1		1	
892	6	上	わたしたちの学校改善計画	提案をしよう	1			1						1		1		1	
893	6	上	わたしたちの学校改善計画	みなさんのクラスでも、学校生活のいろいろな機会に、立場や意図をはっきりさせて提案したり、話し合ったりしましょう。	1			1	1					1			1	1	
894	6	上	依頼状を書こう	相手に依頼する気持ちが伝わるように書こう。	1			1		1				1			1	1	
895	6	上	言葉のきまり１	言葉の働きを考えましょう。	1			1						1		1		1	
896	6	上	言葉のきまり１	１の例と同じような働きをする接続語を使って、例文を作ってみましょう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
897	6	上	言葉のきまり１	次の文をもとに、文のつながりについて考えましょう。	1			1						1		1		1	
898	6	上	書くこと	体験したことを伝えよう	1			1	1						1	1		1	
899	6	上	書くこと	学校や地域、家庭などで、強く心に残る体験をしたことはありませんか。		1		1	1						1	1		1	
900	6	上	書くこと	みなさんも、体験を通して学んだことを文章にして伝え合いましょう。	1			1	1						1	1		1	
901	6	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
902	6	上	自分の脳を自分で育てる	事実と意見を区別して、筆者の意図を読み取ろう。	1			1			1			1		1		1	
903	6	上	自分の脳を自分で育てる	脳はどのように働いているのでしょう。		1	1						1			1			1
904	6	上	自分の脳を自分で育てる	特にどのような部分が活発に働いているのでしょうか。		1	1						1			1			1
905	6	上	自分の脳を自分で育てる	言葉を声だけで聞いたときは、脳はどのように働くのでしょうか。		1	1						1			1			1
906	6	上	自分の脳を自分で育てる	どのようにして前頭前野をきたえればよいでしょうか。		1	1						1			1			1
907	6	上	自分の脳を自分で育てる	こんなことがいえるのではないでしょうか。		1	1						1			1			1
908	6	上	自分の脳を自分で育てる	脳が働いている様子を読み、次の表を完成させましょう。	1			1						1		1			1
909	6	上	自分の脳を自分で育てる	前頭前野の働きを活発にするために、どんな実験結果からどんなことが言えると筆者は考えていますか。		1		1						1		1			1
910	6	上	自分の脳を自分で育てる	まとめましょう。	1			1		1				1		1		1	
911	6	上	五年生で学習した漢字	漢字を読もう・使おう	1			1			1		1			1			1
912	6	上	調べたことを区別してまとめよう	事実と感想・意見を区別して書こう。	1			1						1		1		1	
913	6	上	調べたことを区別してまとめよう	人間の体のしくみについて、疑問に思ったことや知りたいと思ったことを調べましょう。	1			1						1		1		1	
914	6	上	調べたことを区別してまとめよう	調べたことをまとめよう	1			1						1		1		1	
915	6	上	調べたことを区別してまとめよう	ポスターはけい示して、みんなに知らせましょう。	1			1	1					1		1		1	
916	6	上	調べたことを区別してまとめよう	ここで学んだ調べ方を、ほかの学習にも生かしましょう。	1			1						1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
917	6	上	言葉の泉 2	ここでは、三字の熟語・四字の熟語の構成を考えましょう。	1			1					1			1			1
918	6	上	言葉の泉 3	次の三字の熟語の切れ目に/印を入れ、①・②・③のどの型に属するか、考えましょう。	1			1	1				1			1			1
919	6	上	言葉の泉 4	四字の熟語についても構成を考えましょう。	1			1	1				1			1			1
920	6	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
921	6	上	夢に向かって―モンゴメリー伝記―	本の世界を広げよう	1			1							1	1		1	
922	6	上	夢に向かって―モンゴメリー伝記―	人の生き方を読もう。	1			1			1				1	1		1	
923	6	上	読書会をしよう	作品のよさが伝わるように話そう。	1			1	1					1			1	1	
924	6	上	読書会をしよう	読書経験を生かして読書会を開きましょう。	1			1						1			1	1	
925	6	上	読書会をしよう	学級全体に読書の輪を広げましょう。	1			1						1		1		1	
926	6	上	読書会をしよう	しょうかいする本を決めよう。	1			1						1		1		1	
927	6	上	読書会をしよう	しょうかいメモを作ろう	1			1						1		1		1	
928	6	上	読書会をしよう	読書会をしよう	1			1						1			1	1	
929	6	上	読書会をしよう	いろいろな人にしょうかいしたり、しょうかいしてもらったりしながら、豊かな読書生活を送りましょう。	1			1	1						1		1	1	
930	6	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
931	6	上	短歌と俳句	詩を読もう	1			1			1			1		1		1	
932	6	上	言葉で遊ぼう	しゃれで遊ぼう	1			1						1		1		1	
933	6	上	言葉で遊ぼう	考えてみよう	1			1						1		1		1	
934	6	上	コミュニケーションと心のドア	「ここは同じ」という共通点を探してみたことはあるでしょうか。		1		1						1		1		1	
935	6	上	コミュニケーションと心のドア	インタビューゲームをしよう。	1			1						1			1	1	
936	6	上	コミュニケーションと心のドア	これまであまる話したことのない友達との共通点を探してみよう。	1			1						1			1	1	
937	6	上	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
938	6	上	言葉のおもしろさ大研究	事実と感想・意見を区別し、組み立ての効果を考えて書こう。	1			1		1				1		1		1	
939	6	上	言葉のおもしろさ大研究	「言葉研究レポート」にまとめて発信しましょう。	1			1		1				1		1		1	
940	6	上	言葉のおもしろさ大研究	皆さんも、次の例の言葉や、そのほか気になっている言葉の語源を考えて調べてみましょう。	1			1				1		1		1			1
941	6	上	言葉のおもしろさ大研究	次に挙げる例以外にも、たくさんあるので調べてみましょう。	1			1				1		1		1		1	
942	6	上	言葉のおもしろさ大研究	自分の知りたい内容に関する資料を、できるだけたくさん集めましょう。	1			1				1		1		1		1	
943	6	上	言葉のおもしろさ大研究	レポートにまとめてみましょう。	1			1		1				1		1		1	
944	6	上	言葉のおもしろさ大研究	今までの例を参考にしたり、自分で調べたりして話題を見つけ、「言葉研究レポート」を書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
945	6	上	言葉のおもしろさ大研究	できあがったレポートは友達と交かんして、感想や意見を書いてもらいましょう。	1			1		1				1		1		1	
946	6	上	言葉のきまり２	次の①～③のうち、敬語を正しく使っている文はどれでしょうか。		1		1				1	1			1			1
947	6	上	言葉のきまり３	次の文を、敬語を適切に使って話しましょう。	1			1	1				1			1			1
948	6	上	言葉を広げる	四字熟語に全力投球！次の□の中に漢字を入れて、四字熟語を完成させよう。意味も調べてみよう。	1			1		1			1			1			1
949	6	下	山へ行く牛	心情を読み味わい、考えを深めよう。	1			1						1		1		1	
950	6	下	山へ行く牛	次の場面の島子の気持ちを想像して、島子の言葉で話したり書いたりしましょう。	1			1		1				1		1		1	
951	6	下	山へ行く牛	感動した場面をぬき書きして読みましょう。	1			1		1	1			1		1		1	
952	6	下	五年生で学習した漢字	漢字を読もう・使おう	1			1			1		1			1			1
953	6	下	言葉の泉１	次の言葉を、「…を…」の形にして言いましょう。	1			1	1				1			1			1
954	6	下	言葉の泉１	次の言葉を、「…の…」の形にして言いましょう。	1			1	1				1			1			1
955	6	下	言葉の泉１	次のように言いかえましょう。	1			1	1				1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
956	6	下	言葉の泉１	一の言葉のように言いかえましょう。	1			1	1				1			1			1
957	6	下	話す・聞く	こんなときどうする？（話し合いの進め方）		1		1						1		1		1	
958	6	下	話す・聞く	あなたが司会なら、つぎのような話し合いをどうやって進めますか。考えましょう。	1			1	1					1		1		1	
959	6	下	話す・聞く	どんな発言を心がけたらよいか、よく考えてみんなで話し合ってみましょう。	1			1	1					1		1		1	
960	6	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
961	6	下	エネルギー消費社会	事実と意見を整理して、筆者の立場を読もう。	1			1			1			1		1		1	
962	6	下	エネルギー消費社会	それぞれの内容を短い文でまとめましょう。	1			1		1				1		1			1
963	6	下	エネルギー消費社会	筆者は、エネルギーのろう費が環境にえいきょうをあたえるという問題を挙げていますが、その対策として、筆者の主張していることを四つ書き出しましょう。	1			1		1				1		1			1
964	6	下	エネルギー消費社会	この説明文を通して、筆者は何をうったえようとしているのか、まとめましょう。	1			1			1			1		1			1
965	6	下	五年生で学習した漢字	漢字を読もう・使おう	1			1	1				1			1			1
966	6	下	討論会を開こう―考えを深めるために―	たがいの立場を尊重しながら、意見を交流しよう。	1			1	1					1		1		1	
967	6	下	討論会を開こう―考えを深めるために―	今度は、みなさんの身の回りの、見直したい問題を整理して、話し合ってみましょう。	1			1						1		1		1	
968	6	下	言葉のきまり１	文の構造を調べましょう。	1			1				1	1			1		1	
969	6	下	言葉のきまり１	次の例文で考えてみましょう。	1			1				1	1			1		1	
970	6	下	言葉のきまり１	「は」と「が」の使い方を考えましょう。	1			1				1	1			1		1	
971	6	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
972	6	下	ニュースを読み解こう	作り手の意図をとらえながら、情報を読み解こう。	1			1			1			1		1		1	
973	6	下	ニュースを読み解こう	最近、一週間ほどの間にテレビで見たり新聞で読んだりしたニュースとその内容を表に書き出してみましょう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
974	6	下	ニュースを読み解こう	いくつかの放送局の夕方のニュース番組を、放送開始から十分間録画しましょう。	1			1						1		1		1	
975	6	下	ニュースを読み解こう	グループごとに分担してそのビデオを見て、内容を調べましょう。	1			1						1		1		1	
976	6	下	ニュースを読み解こう	トップニュースの中身をくわしく書けるようにしておいて、次のことを書き込んでおきましょう。	1			1		1				1		1		1	
977	6	下	ニュースを読み解こう	グループごとに調べたことを比べ、それぞれの番組の特ちょうをまとめましょう。	1			1		1				1		1		1	
978	6	下	ニュースを読み解こう	テレビニュースというものについて、何が分かったかを出し合いましょう。	1			1	1					1		1		1	
979	6	下	ニュースを読み解こう	今まで調べたことの表や調査カードに感想などを書き加え、まとめましょう。	1			1		1				1		1		1	
980	6	下	文章の達人になろう　効果的な伝え方	次の二つの文を読み比べてみましょう。	1			1			1			1		1		1	
981	6	下	文章の達人になろう　効果的な伝え方	読み手に自分の考えや意見を効果的に伝えるために、いろいろな表現のしかたをくふうしましょう。	1			1						1		1		1	
982	6	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
983	6	下	「連詩」を発見する	連詩を作ろう　1　宇宙短歌を作ってみよう　2　連詩を作ろう	1			1		1				1		1		1	
984	6	下	「連詩」を発見する	みなさんもグループに分かれて連詩を作ってみましょう。	1			1						1		1		1	
985	6	下	「連詩」を発見する	できた詩をクラス全体に発表しましょう。	1			1	1					1		1		1	
986	6	下	言葉の泉 2	どんな漢字を使うのか、考えましょう。	1			1				1	1			1		1	
987	6	下	言葉の泉 3	次の言葉は、どんな「手」からできたのでしょうか。		1		1				1	1			1		1	
988	6	下	言葉の泉 4	それぞれの元の言葉を考えましょう。	1			1				1	1			1		1	
989	6	下	言葉をおくる	詩をおくろう　自分の好きな詩や歌詞などを選んで、友達やお世話になった人におくりましょう。思いをこめたメッセージをそえましょう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
990	6	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
991	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	筆者の主張をつかみ、自分の意見をまとめよう。	1			1						1		1		1	
992	6	下	学習のてびき	筆者が挙げている三つの点を書き出して見ましょう。	1			1		1				1		1		1	
993	6	下	学習のてびき	この文章を読んで、新たに気づいたことや考えたことをまとめましょう。	1			1				1		1		1		1	
994	6	下	五年生で学習した漢字	漢字を読もう・使おう	1			1			1		1			1		1	
995	6	下	言葉のきまり２	一の言葉がどんな意味を付け加えているか、話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1	
996	6	下	言葉のきまり３	一の言葉について話し合いましょう。	1			1	1				1				1	1	
997	6	下	言葉のきまり４	次の文章を読んで。①～⑥の文を完成させましょう。	1			1		1			1			1		1	
998	6	下	言葉のきまり５	左の絵を見て、短い文を作りましょう。中心にする人を決めて考えましょう。	1			1		1			1			1			1
999	6	下	考えを広げよう	自分の考えを深め、未来を語り合おう。	1			1	1					1		1		1	
1000	6	下	このすばらしい世界	情景を想像しながら読み、考えを深めよう。	1			1	1					1		1		1	
1001	6	下	ここまでに出た新しい漢字	読んでみよう	1			1			1			1		1		1	
1002	6	下	六年生をふり返って	六年間の国語の学習をふり返って、楽しかったこと、がんばったことについて書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
1003	6	下	漢字のまとめ									1							
1004	6	下	言葉を広げる	四季のうたに親しもう、声に出して読み、覚えよう。	1			1			1			1		1		1	
				total	871	128	29	971	242	233	210	72	199	620	92	764	187	343	629

教科書分析（教育出版・小学校）

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	上	みつけてみましょう	みつけて　みましょう	1		1			1	1	1	1		1			1
2	1	上	たのしく　よみましょう　1	たのしく　よみましょう	1			1			1		1		1			1
3	1	上	はなしなしょう　ききましょう	はなしましょう　ききましょう	1			1	1				1		1			1
4	1	上	たのしく　よみましょう　2	たのしく　よみましょう	1			1			1		1		1			1
5	1	上	えと　ことばで　かきましょう	えと　ことばで　かきましょう	1			1		1			1		1		1	
6	1	上	ぶんを　つくって　みましょう	ぶんを　つくって　みましょう	1			1		1			1		1		1	
7	1	上	なにが，かくれて　いるのでしょう	なにが，かくれて　いるのでしょう		1		1			1	1			1			1
8	1	上	なにが，かくれて　いるのでしょう	なにが，かくれて　いるのでしょう。		1	1				1	1			1			1
9	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	しらせたい　ことを　かきましょう	1			1		1			1		1		1	
10	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	みなさんは、だれに、どんなことを　しらせたいですか。		1	1			1				1	1		1	
11	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	だいを　つけて、かいてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
12	1	上	おはなしを　みつけましょう	おはなしを　みつけましょう	1			1			1	1		1	1			1
13	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	おおきな　「めいし」を　つくって、ともだちと　こうかんしましょう。	1		1			1			1			1		1
14	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	もらった　めいしを　みながら、ともだちとはなしを　しましょう。	1		1		1				1			1	1	
15	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	はなす　とき，きく　とき，きを　つけましょう	1		1		1				1			1		1
16	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	きく　ひとに　わかるように，はっきりと　した　こえで　はなしましょう。	1		1		1				1			1		1
17	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	ともだちの　はなしは、　さいごまで　ききましょう。	1		1		1				1			1		1
18	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	しつもんは、　ともだちの　はなしが　おわってから　しましょう。	1		1		1				1			1		1
19	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	さいごまで、　はっきりと　した　こえで　はなす　ことが　できましたか。		1		1	1				1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
20	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	ともだちの　はなしを、　さいごまで　きけましたか。		1		1	1				1			1		1
21	1	上	かたかなの　ことばを　あつめましょう	かたかなの　ことばを　さがして　いいましょう。	1		1		1		1	1	1		1			1
22	1	上	かたかなの　ことばを　あつめましょう	つぎの　ことばを、　よんだり　かいたり　しましょう。	1		1			1	1		1		1			1
23	1	上	かんじは　どのように　して　できたのでしょう	なんの　かたちから　できた　かんじでしょう。		1	1					1			1			1
24	1	上	たのしかった　ことを　かきましょう	たのしかった　ことや　おもしろかった　ことを、おもいだして　みましょう。	1		1				1	1			1		1	
25	1	上	たのしかった　ことを　かきましょう	その　なかから　一つを　えらんで、　した　ことや　みた　ことなどの　じゅんに、　かきましょう。	1		1			1			1		1			1
26	1	上	かぞえましょう	よみましょう。	1		1				1		1		1			1
27	1	上	かぞえましょう	かぞえましょう。	1			1			1		1		1			1
28	1	上	口の　たいそう　あ・い・う・え・お	どんな　口の　かたちで　よんで　いるかな。		1		1	1				1		1			1
29	1	上	口の　たいそう　あ・い・う・え・お	かがみを　みて　たしかめて　みよう。	1			1	1				1		1			1
30	1	上	おぼえよう	おぼえよう	1			1		1		1	1		1			1
31	1	上	かきたい	かきたい　ことを　一つ　えらんで　かこう。	1			1		1			1		1		1	
32	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	おわりまで　はっきり　はなそう。	1			1	1				1		1			1
33	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	はなしは　おわりまで　きこう。	1			1	1				1		1			1
34	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	よく　おもいだして　かこう。	1			1		1			1		1			1
35	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	じゅんじょを　かんがえながら　かこう。	1			1		1			1		1			1
36	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	できごとや、　ようすを　おもいうかべて　よもう。	1			1			1		1		1			1
37	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	すきな　ほんを　しらせあおう。	1			1	1				1	1	1			1
38	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	かたかなで　かく　ことばを　しろう。	1			1		1		1			1			1
39	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	はっきりと　した　こえで、よんだり　はなしたり　しよう。	1			1	1		1		1		1			1
40	1	下	どんな　がくしゅうを　するのかな	かんじを　まなぼう。	1			1		1	1	1	1		1			1
41	1	下	たのしく　こえに　だして　よもう	たのしく　こえに　だして　よもう	1			1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
42	1	下	たのしく　こえに　だして　よもう	こえに　だして、　たのしく　よんで　みましょう。	1			1			1		1		1			1
43	1	下	たのしく　こえに　だして　よもう	そして、てんとうむしや　木と　おはなしして　みましょう。	1			1	1					1	1		1	
44	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	じゅんじょを　かんがえよう	1			1			1		1		1			1
45	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	じどう車の　はたらきや　つくりを　かんがえながら　よみ、　いろいろな　のりものに　ついて　かこう。	1			1		1		1	1		1		1	
46	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	『はたらく　じどう車』　を　よんで、　つぎの　ことを　はっぴょうしましょう。	1			1	1				1		1			1
47	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	どんな　じどう車が　でて　きますか。		1		1	1			1			1			1
48	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	それぞれの　じどう車は、　どんな　はたらきを　しますか。		1		1	1			1			1			1
49	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	「つかいみち」に　あわせて、　どのように　つくられて　いますか。		1		1	1			1			1			1
50	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	『はたらく　じどう車』を　よんで、　わかった　ことを　はっぴょうする　ことが　できましたか。		1		1	1			1	1		1			1
51	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	「じどう車には、　いろいろな　ものが　あります。」　の「じどう車」を、　ほかの　ことばに　かえて、　ノートに　かきましょう。	1			1		1		1			1			1
52	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	『はたらく　じどう車』を　よんで、　つぎの　□にあてはまる　ことばを　いれましょう。	1			1		1		1			1			1
53	1	下	じゅんじょを　かんがえよう	えを　みて、あとの　□のなかから、　□にあてはまる　ことばを　いれましょう。	1			1		1		1			1			1
54	1	下	のりものの　ことを　しらせよう	かきおわったら、きょうしつに　はりだして、よみあいましょう。	1		1				1		1		1			1
55	1	下	のりものの　ことを　しらせよう	のりものの　はたらきや　つくりが、　かけましたか。		1		1		1			1		1			1
56	1	下	かたかな	つぎの　ことばを、　よんだり　かいたり　しましょう。	1		1			1	1		1		1			1
57	1	下	かたかな	どこが　ちがうでしょう。		1	1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
58	1	下	かたかな	かたかなの　ことばを、なかまごとに　あつめましょう。	1		1			1		1			1			1
59	1	下	かたかな	『はたらく　じどう車』の　中から、かたかなの　ことばを　見つけて　かきましょう。	1		1			1		1			1			1
60	1	下	よう日や　日づけの　よみかた	カレンダーを　見て、　よう日や　日づけのかん字を　あつめましょう。	1		1			1		1			1			1
61	1	下	本の　せかいを　たのしもう	本の　せかいを　たのしもう	1			1			1			1	1			1
62	1	下	本の　せかいを　たのしもう	どうぶつが　でて　くる　いろいろな　本を　よんで、しょうかいしあいましょう。	1			1	1		1	1	1		1		1	
63	1	下	本の　せかいを　たのしもう	きたの　うみに　くらす　白くまの　きょうだいの　おはなしを　よみましょう。	1			1			1		1		1			1
64	1	下	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	どうぶつが　でて　くる　本を　よんでみましょう。	1		1				1		1		1		1	
65	1	下	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	よんだ　本の　名まえと、かいた　人の　名まえ、じぶんの　名まえを　カードに　かきましょう。	1		1			1		1			1			1
66	1	下	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	できた　カードを　おなじ　どうぶつごとに　まとめて　はり、　「おはなし　どうぶつえん」を　つくりましょう。	1		1			1		1			1			1
67	1	下	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	「おはなし　どうぶつえん」を　見て、よみたいなと　おもった　本を　よんで　みましょう。	1		1				1			1	1			1
68	1	下	「おはなし　どうぶつえん」をつくろう	よみおわった　人は、「おきゃくさまカード」に、じぶんの　名まえを　かいて　はりましょう。	1		1			1		1			1			1
69	1	下	かわる　よみかた	よみましょう。	1		1				1	1			1			1
70	1	下	かわる　よみかた	―せんの かん字に 気をつけて よみましょう。	1		1				1	1			1			1
71	1	下	みんなに　つたえよう	みんなに　つたえよう	1			1	1				1		1			1
72	1	下	みんなに　つたえよう	『みぶりで　つたえる』を　よんで、わかりやすい　つたえかたを　かんがえよう。	1			1					1		1			1
73	1	下	みぶりで　あそぼう	みぶりで　つたえる　あそびを　して　みましょう。	1		1							1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
74	1	下	みぶりで　あそぼう	みんなで　あそんで　みましょう。	1		1							1	1		1	
75	1	下	どんな　みぶりを　するでしょう	『みぶりで　つたえる』を　よんで、どのようなときに、どのような　みぶりを　するか、はなしあって　みましょう。	1		1		1			1				1	1	
76	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	じぶんが　見た　ことの　ある　生きものの　ことを、ともだちに　はなして　みましょう。	1		1		1			1			1		1	
77	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	つたえたい　生きものの　ようすを　くわしく　おもいだして　はなしましょう。	1		1		1			1	1			1	1	
78	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	ともだちに　はなす　ときは、　はっきりと大きな　こえで　はなしましょう。	1		1		1				1		1			1
79	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	だいじな　ことを　じゅんじょよく　つけてはなしましょう。	1		1		1				1		1			1
80	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	だいじなことを　おとさないように　ちゅういして　ききましょう。	1		1		1				1		1			1
81	1	下	みぶりを　つかって　はなそう	じぶんが　はなした　生きものの　ことを、ともだちに　わかって　もらえましたか。		1		1	1				1		1			1
82	1	下	にて　いる　かん字	にて　いる　ところと、ちがう　ところに　きをつけて　かきましょう。	1		1			1		1			1			1
83	1	下	にて　いる　かん字	かん字を　あつめましょう。	1		1			1		1			1			1
84	1	下	にて　いる　かん字	上の　えから、下の　どの　かん字が　つくられたでしょう。		1	1					1			1			1
85	1	下	にて　いる　かん字	せんで　むすびましょう。	1		1			1		1			1			1
86	1	下	した　ことを　おもい出して　かこう	した　ことを　おもい出して　かこう	1			1		1			1		1		1	
87	1	下	した　ことを　おもい出して　かこう	した　ことや　見た　ことの　中から　一つえらんで、よく　おもい出して　かこう。	1			1		1			1		1		1	
88	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	やまざきさんの　さく文を　よんで、つぎのページの　「れい」のように、あてはあまる　ところに　しるしを　つけて　みましょう。	1		1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
89	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	やまざきさんのように、　このごろ　した　ことの　中から、かきたい　ことを　一つ　えらびましょう。	1		1			1			1		1		1	
90	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	かく　ことが　きまったら、その　ことが　はじまった　ところから　じゅんに、「した　こと」「見た　こと」「はなした　こと」「きいた　こと」を　よく　おもい出して　かきましょう。	1		1			1			1		1		1	
91	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	かきおわったら、よみかえしてみましょう。	1		1				1		1		1			1
92	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	そして、・字が　まちがって　いる　ところ　・字や、てん、まるが、ぬけて　いる　ところ　などを、正しく　なおしましょう。	1		1			1			1		1			1
93	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	かいた　さく文を　ともだちや　いえの　人に　よんで　もらいましょう。	1		1			1				1	1			1
94	1	下	かきたい　ことを　一つ　えらんで	じぶんの　かきたい　ことを、じゅんじょよくかけましたか。		1		1		1			1		1			1
95	1	下	文を　つくりましょう	えに　あわせて　文を　くわしく　して　みましょう。	1		1			1			1		1			1
96	1	下	文を　つくりましょう	いみの　ちがいを　かんがえて　みましょう。	1		1				1		1		1			1
97	1	下	しるしから　できた　かん字	つぎの　たしざんや　ひきざんを　すると、どんなかん字に　なるでしょう。		1	1			1		1			1			1
98	1	下	しるしから　できた　かん字	かん字の　けいさんもんだいを　つくり、出しあいましょう。	1		1			1		1				1		1
99	1	下	しるしから　できた　かん字	くみに　なる　かん字を、□に　入れましょう。	1		1			1		1			1			1
100	1	下	こころの　つながりを　よもう	こころの　つながりを　よもう	1			1			1		1		1			1
101	1	下	こころの　つながりを　よもう	かえるくんと　がまくんの　気もちを　おもいうかべながら　よもう。	1			1			1		1		1			1
102	1	下	お手がみ	かえるくんが　かいた　手がみを、こえに　出して　よんでみましょう。	1			1			1		1		1			1
103	1	下	お手がみ	かえるくんの　気もちを　かんがえながら、手がみを　よむことが　できましたか。		1		1			1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
104	1	下	お手がみ	がまくんに　なって、　ことばを　かいて　みましょう。	1			1		1			1		1		1	
105	1	下	お手がみ	みなさんも、だれかに　なにかを　して　もらったり、してあげたり　した　ことが　ありますか。		1		1	1			1			1		1	
106	1	下	お手がみ	その　ときに　おもった　ことを、　はなして　みましょう。	1			1	1				1		1		1	
107	1	下	お手がみ	『お手がみ』の　中から、□に　あてはまることばを　さがしましょう。	1			1			1	1			1			1
108	1	下	これまで　これから	一年生に　なって、『ひろがる　ことば』で　どんな　学しゅうを　して　きましたか。		1		1	1			1			1			1
109	1	下	これまで　これから	みんなで　おもい出して　みましょう。	1			1	1			1			1			1
110	1	下	これまで　これから	こくごの　学しゅうで　たのしかったことは、どんな　ことですか。		1		1		1		1			1		1	
111	1	下	これまで　これから	かき出して　みましょう。	1			1		1		1			1		1	
112	1	下	これまで　これから	こくごの　学しゅうを　して、どんな　ことができるように　なりましたか。		1		1		1		1			1		1	
113	1	下	これまで　これから	いえの　人に　手がみを　かいて、しらせて　みましょう。	1			1		1			1		1		1	
114	1	下	これまで　これから	二年生に　なったら、こくごの　学しゅうで　どんな　ことが　できるように　なりたいですか。		1		1	1					1	1		1	
115	1	下	これまで　これから	ともだちと　はなしあって　みましょう。	1			1	1				1			1	1	
116	1	下	かん字を学ぼう	かん字を学ぼう	1			1		1		1			1			1
117	1	下	おぼえよう	おぼえよう	1			1		1		1			1			1
118	1	下	しりたい	一には、すうじを　入れて　よんで　みましょう。	1		1				1	1			1			1
119	1	下	かきたい	どちらの　ノートが　読みやすいかな。		1	1			1			1		1			1
120	2	上	どんな　学習を　するのかな	これから　学ぶ　ことを　知ろう	1			1										
121	2	上	どんな　学習を　するのかな	ともだちに　わかるように、じゅんじょよく　はなそう。	1			1										
122	2	上	どんな　学習を　するのかな	ともだちに　たずねたり、しつもんに　こたえたり　しよう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
123	2	上	どんな　学習を　するのかな	じゅんじょに　気をつけて　よもう。	1			1										
124	2	上	どんな　学習を　するのかな	はっきりと　こえに　出して　よもう。	1			1										
125	2	上	どんな　学習を　するのかな	おもしろそうな　本を　見つけて、よもう。	1			1										
126	2	上	どんな　学習を　するのかな	こえの　大きさや、はなす　はやさに　気をつけよう。	1			1										
127	2	上	どんな　学習を　するのかな	かたかなで　かく　ことばを　学ぼう。	1			1										
128	2	上	どんな　学習を　するのかな	かん字を　学ぼう。	1			1										
129	2	上	どんな　学習を　するのかな	この　学年の　「国語」で　学しゅうする　内ようでは　ありませんが、もっと　学しゅうしたい　ときに、ちょうせんして　みましょう。	1			1										
130	2	上	元気に　声を　出そう	みんなで　声を　出しましょう。	1			1										
131	2	上	元気に　声を　出そう	みんなの　声を　聞きましょう。	1			1										
132	2	上	やって　みたいな、こんな　こと	それらの　ことを、みんなの　まえで　話して　みましょう。	1		1											
133	2	上	やって　みたいな、こんな　こと	話したり　聞いたり　する　ときには、つぎのことに　気を　つけましょう。	1		1											
134	2	上	やって　みたいな、こんな　こと	みなさんも、じゅんばんを　きめて、まい日、朝の会などで　話して　みましょう。	1		1											
135	2	上	やって　みたいな、こんな　こと	じゅんじょを　かんがえて、話したり　聞いたり　する　ことが　できましたか。		1		1										
136	2	上	はっきりと　した　声で	つぎの　詩を　読んで　みましょう。	1		1											
137	2	上	はっきりと　した　声で	読みにくかった　ところは　ありますか。		1	1											
138	2	上	はっきりと　した　声で	つぎの　ことばを　ともだちに　いって　みましょう。	1		1											
139	2	上	はっきりと　した　声で	聞いて　いる　人が　よく　わかるように、声に　出して　いって　みましょう。	1		1											
140	2	上	わたしの　日記ちょう	「わたしの　日記ちょう」を　つくって、まい日の　生活を　ふりかえって　みましょう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
141	2	上	わたしの　日記ちょう	ノートに、ページの　ばんごうを　書いて　いきましょう。	1		1											
142	2	上	わたしの　日記ちょう	あたらしい　ノートに　なったら、また、目あてを　かんがえて　みましょう。	1		1											
143	2	上	思いを　うけとめて　読もう	できごとの　じゅんじょや　ばめんの　うつりかわりを　かんがえながら　読もう。	1			1										
144	2	上	ひっこして　きた　みさ	まとまりごとに、「みさ」の　ようすを　思いうかべながら、声に　出して　読んで　みましょう。	1			1										
145	2	上	ひっこして　きた　みさ	教科書の　中から、つぎの　文を　ノートに　書きうつして、その　時の　「みさ」や　「しんやくん」の　気もちを　かんがえて　みましょう。	1			1										
146	2	上	ひっこして　きた　みさ	この　お話の　あとの　「みさ」に、手紙を　書いて　みましょう。	1			1										
147	2	上	ひっこして　きた　みさ	そして、書いた　手紙を　はっぴょうしあいましょう。	1			1										
148	2	上	ひっこして　きた　みさ	つぎのように、「……たり、……たり」と　いう　言いかたを　つかって、みじかい　文を　書いて　みましょう。	1			1										
149	2	上	ひっこして　きた　みさ	つぎの　どちらかを　えらんで、グループで学しゅうを　すすめましょう。	1			1										
150	2	上	ひっこして　きた　みさ	かるたを　つくって、みんなで　あそびましょう。	1			1										
151	2	上	ひっこして　きた　みさ	音読テープを　つくって、みんなで　聞きあいましょう。	1			1										
152	2	上	ひっこして　きた　みさ	「お話かるた」や　「音読テープ」で、ばめんの　ようすを　かんがえて　上手に　あらわせましたか。		1		1										
153	2	上	ひっこして　きた　みさ	グループで　たしかめあいましょう。	1			1										
154	2	上	かん字の　ひろ場	画の　数を　たすと　右がわの　数に　なるような　かん字を、下から　えらびましょう。	1		1											
155	2	上	見つけた　ことを　書こう	見つけた　ことや　しらべた　ことを、書いて　しらせよう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
156	2	上	たんけんした　ことを	みなさんも、たんけんした　ことを　書いて、友だちに　しらせましょう。	1		1											
157	2	上	たんけんした　ことを	見つけた　ことや　しらべた　ことを、どのように　書きましたか。		1		1										
158	2	上	かたかなで　書く　ことば	かたかなで　書くのは　どちらでしょう。		1	1											
159	2	上	かたかなで　書く　ことば	絵の　中から、かたかなで　書く　ことばをさがして　書きましょう。	1		1											
160	2	上	かたかなで　書く　ことば	ほかにも、かたかなで　書く　ことばを　あつめて　みましょう。	1		1											
161	2	上	かん字の　ひろ場	かぞくを　あらわす　ことばを　えらんで、□に　書きましょう。	1		1											
162	2	上	かん字の　ひろ場	どんな　仲間か　かんがえながら、□に　かん字を　かきましょう。	1		1											
163	2	上	かん字の　ひろ場	□に、はんたいの　いみの　かん字を　書きましょう。	1		1											
164	2	上	じゅんじょに　気を　つけて　読もう	すみれが　めを　出すまでの　ようすを、じゅんじょに　気を　つけて　読もう。	1			1										
165	2	上	じゅんじょに　気を　つけて　読もう	図書室で、いろいろな　本を　見つけて　読もう。	1			1										
166	2	上	すみれと　あり	この　せつ明文を　読んで、おもしろいな、もっとくわしく　しりたいなと　思った　ことを、ノートに　書きましょう。	1			1										
167	2	上	すみれと　あり	すみれの　たねは、どのように　して　遠くまで　はこばれますか。		1		1										
168	2	上	すみれと　あり	つぎの　ようすを、じゅんじょに　したがって　せつ明して　みましょう。	1			1										
169	2	上	すみれと　あり	すみれの　たねが　いろいろな　ばしょに　はこばれる　わけを、じゅんじょよく　話す　ことが　できましたか。		1		1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
170	2	上	すみれと　あり	友だちと　たしかめあって　みましょう。	1			1										
171	2	上	すみれと　あり	――線の　ことばが　ないと、文の　いみは　どう　かわりますか。		1		1										
172	2	上	すみれと　あり	話しあって　みましょう。	1			1										
173	2	上	図書室へ　行こう	図書室へ　行こう	1		1											
174	2	上	図書室へ　行こう	図書室へ　行って、本を　さがして　みましょう。	1		1											
175	2	上	図書室へ　行こう	みなさんも　図書室へ　行って　みましょう。	1		1											
176	2	上	図書室へ　行こう	そして、さがしたい　本に　ついて　友だちと　話し合って　みましょう。	1		1											
177	2	上	図書室へ　行こう	みなさんも、本の　しゅるいや　だい名を　手がかりに　して、おもしろそうな　本を　さがして　読んで　みましょう。	1		1											
178	2	上	詩を　書こう	詩を　書こう	1			1										
179	2	上	詩を　書こう	学校や　家での　できごとの　中で、心に　強く　のこった　ことや、おもしろいな、と　かんじた　ことは　ありませんか。		1	1											
180	2	上	詩を　書こう	かんじた　ことを　書く　ときには、かわむらさんや　まつおかさんのように、その　時の　気もちに　ぴったりした　ことばを　さがして　みましょう。	1		1											
181	2	上	詩を　書こう	詩を　書いたら、友だちと　読み合って　みましょう。	1		1											
182	2	上	かん字の　ひろ場	読んでみよう・書いてみよう	1		1											
183	2	上	かん字の　ひろ場	■の　かん字に　ついては、その　かん字を　つかって、みじかい　文を　作りましょう。	1		1											
184	2	上	だいじなことを知らせ合おう	だいじなことを知らせ合おう	1			1										
185	2	上	だいじなことを知らせ合おう	つたえたいことを、わかりやすく話したり、書いたりしよう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
186	2	上	たからものを知らせ合おう	たからものを知らせ合おう	1		1											
187	2	上	たからものを知らせ合おう	きき方名人になろう	1		1											
188	2	上	たからものを知らせ合おう	夏休みに見つけたものや　たからものを、二人ひと組になって、友だちと見せ合いましょう。	1		1											
189	2	上	たからものを知らせ合おう	友だちは、どんなものを見せてくれるでしょう。		1	1											
190	2	上	たからものを知らせ合おう	つぎのようなことを、たずねて　みましょう。	1		1											
191	2	上	たからものを知らせ合おう	知りたいことを、たずねることができましたか。		1		1										
192	2	上	たからものを知らせ合おう	きかれたことに、こたえられましたか。		1		1										
193	2	上	たからものを知らせ合おう	こんどは、手紙に書いて、ほかの友だちに、しょうかいしてみましょう。	1		1											
194	2	上	たからものを知らせ合おう	手紙で知らせよう	1		1											
195	2	上	たからものを知らせ合おう	二人ひと組みで話したことを思い出して、手紙に書きましょう。	1		1											
196	2	上	たからものを知らせ合おう	そして、友だちにわたして、知らせましょう。	1		1											
197	2	上	たからものを知らせ合おう	手紙をもらったら、へんじを書きましょう。	1		1											
198	2	上	たからものを知らせ合おう	友だちに知らせたいことを、手紙に書けましたか。		1		1										
199	2	上	かん字の　ひろ場	あとの□から一つえらんで、かん字を作りましょう。	1		1											
200	2	上	かん字の　ひろ場	あいているところに入るものをかんがえ、かん字を作りましょう。	1		1											
201	2	上	かん字の　ひろ場	つぎのかん字を、わけたり、組み合わせたりしてみましょう。	1		1											
202	2	上	思いを見つめて読もう	思いを見つめて読もう	1			1										
203	2	上	思いを見つめて読もう	場めんのうつりかわりを考えながら、「きつね」や「ひよこ」になりきって読もう。	1			1										
204	2	上	きつねのおきゃくさま	すきな場めんを思いうかべてどんなところがすきなのか、思ったことやかんじたことをはっぴょうしましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
205	2	上	きつねのおきゃくさま	ひよこやあひるやうさぎになったつもりで、「親切なお兄ちゃん」の話をしてみましょう。	1			1										
206	2	上	きつねのおきゃくさま	「はずかしそうにわらってしんだ。」（79ページ）時の、きつねが言いたかったことを、だれかに話しかけるように書いてみましょう。	1			1										
207	2	上	きつねのおきゃくさま	きつねやひよこなどの登場人物が思っていることをそうぞうして、話したり書いたりすることができましたか。		1		1										
208	2	上	きつねのおきゃくさま	くりかえしのあるお話をたのしもう	1			1										
209	2	上	きつねのおきゃくさま	つぎの文がお話のどこにあるか、さがしてみましょう。	1			1										
210	2	上	きつねのおきゃくさま	お話を読んでたしかめましょう。	1			1										
211	2	上	きつねのおきゃくさま	きつねは、ひよこやあひるやうさぎからなんとよばれているか、あとの□にあてはまることばを、お話の中からじゅんばんに書き出しましょう。	1			1										
212	2	上	きつねのおきゃくさま	そして、このことばを聞いたきつねの気持ちを話し合いましょう。	1			1										
213	2	上	きつねのおきゃくさま	これまでに読んだお話で、くりかえしのあるものを思い出してはっぴょうしましょう。	1			1										
214	2	上	かん字を学ぼう	かん字を学ぼう	1			1										
215	2	上	かん字を学ぼう	あたらしく　学んだ　かん字は、読み方や　書き方を　おぼえよう。	1			1										
216	2	上	かん字を学ぼう	一年生で　学んだ　かん字は、つかえるように　なろう。	1			1										
217	2	上	かん字を学ぼう	書けるように　なろう。	1			1										
218	2	上	かん字を学ぼう	この　見出しの　ところを　みよう	1			1										
219	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	おぼえよう	1			1										
220	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	しせいや、えんぴつの　もち方にも　ちゅういして　書こう。	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
221	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	書きじゅんにも　気をつけよう。	1		1											
222	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	ちがいに　ちゅういしよう。	1		1											
223	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	「きへん」のかん字を、一つ書いてみましょう。	1		1											
224	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	「ぼくにょう」のあるかん字を、一つ書いてみましょう。	1		1											
225	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	「うかんむり」のあるかん字を、一つ書いてみましょう。	1		1											
226	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	「ひとあし」のかん字を、一つかいてみましょう。	1		1											
227	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	「かん字を学ぼう」（８２ページ）に出ているかん字から書き出してみよう。	1		1											
228	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	プリントは、なくさないように　パンチあなをあけて、じゅんばんに　とじて　いこう。	1		1											
229	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	つかって　みよう	1		1											
230	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	ふだんは　わゴムで　とめて、つくえの　中に入れて　おこう。	1		1											
231	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	友だちの　作ひんや　話で、思った　ことや　ぎもんに　思った　ことを　書いて　わたそう。	1		1											
232	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	大きな　声で　読んで　みて。	1		1											
233	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	あさたろうと　いっしょに　東海どうを　たびしよう。	1		1											
234	2	上	ふろく　ことばの　ポケット	さて、何が　おきたのかな。		1	1											
235	2	下	どんな学習をするのかな	これから学ぶことを知ろう	1			1										
236	2	下	どんな学習をするのかな	話そう・聞こう	1			1										
237	2	下	どんな学習をするのかな	じゅんじょを考えて話そう。	1			1										
238	2	下	どんな学習をするのかな	だいじなところにちゅういして聞こう。	1			1										
239	2	下	どんな学習をするのかな	書こう	1			1										
240	2	下	どんな学習をするのかな	書きたいことをあつめて、まとめよう。	1			1										
241	2	下	どんな学習をするのかな	したことや、できごとのじゅんに、よく思い出して書こう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
242	2	下	どんな学習をするのかな	読もう	1			1										
243	2	下	どんな学習をするのかな	ようすやじゅんじょを考えながら読もう。	1			1										
244	2	下	どんな学習をするのかな	おもしろかった本を、しょうかいし合おう。	1			1										
245	2	下	どんな学習をするのかな	ことばを学ぼう	1			1										
246	2	下	どんな学習をするのかな	音やようすをあらわすことばについて知ろう。	1			1										
247	2	下	どんな学習をするのかな	はんたいのいみのことば、にたいみのことばについて知ろう。	1			1										
248	2	下	どんな学習をするのかな	かん字を学ぼう。	1			1										
249	2	下	たのしく読もう	たのしく読もう	1			1										
250	2	下	ちいさい　おおきい	声の大きさをくふうしながら、みんなで読みましょう。	1			1										
251	2	下	ちいさい　おおきい	詩のたのしいところや、おもしろいところを見つけてみましょう。	1			1										
252	2	下	じゅんじょやようすを考えよう	じゅんじょやようすを考えよう	1			1										
253	2	下	じゅんじょやようすを考えよう	じゅんじょに気をつけて、さけの大きくなるまでを読んだり、しらべたことを図かんにまとめたりしよう。	1			1										
254	2	下	さけが大きくなるまで	さけが大きくなるようすを、時や場所をあらわすことばに気をつけて、つぎのようにまとめてみましょう。	1			1										
255	2	下	さけが大きくなるまで	「れい」にならって、一線のことばをつかって、文を作りましょう。	1			1										
256	2	下	さけが大きくなるまで	つぎのどちらかをえらんで、グループで学しゅうをすすめましょう。	1			1										
257	2	下	さけが大きくなるまで	できあがった紙しばいやすごろくで、さけが大きくなるまでのじゅんじょを正しくあらわせましたか。		1		1										
258	2	下	さけが大きくなるまで	グループでたしかめ合いましょう。	1			1										
259	2	下	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	1		1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
260	2	下	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	みなさんも、友だちといっしょに「生きものふしぎ図かん」を作って、読み合いましょう。	1		1											
261	2	下	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	しらべたことを、じゅんじょを考えて書けましたか。		1		1										
262	2	下	音やようすをあらわすことば	どんなちがいがあるか、考えましょう。	1		1											
263	2	下	音やようすをあらわすことば	つぎの（　）に、音やようすをあらわすことばをあてはめてみましょう。	1		1											
264	2	下	音やようすをあらわすことば	音やようすをあらわすことばをつかって、文を作りましょう。	1		1											
265	2	下	かん字の広場	―線のかん字の読み方を考え、□におくりがなを入れましょう。	1		1											
266	2	下	かん字の広場	つかい方のちがいに気をつけて読んでみましょう。	1		1											
267	2	下	かん字の広場	―線のかん字の読み方のちがいに気をつけて読みましょう。	1		1											
268	2	下	本のせかいを楽しもう	本のせかいを楽しもう	1			1										
269	2	下	本のせかいを楽しもう	いろいろな本を読んでおもしろかったところを絵にかき、だい名をつけてみんなにしょうかいしましょう。	1			1										
270	2	下	本のせかいを楽しもう	じいさまやばあさまのようすを思いうかべながら、『かさこじぞう』を読みましょう。	1			1										
271	2	下	「お話びじゅつかん」を作ろう	「お話びじゅつかん」を作ろう	1		1											
272	2	下	「お話びじゅつかん」を作ろう	かいた絵を教室やろう下にはって、「お話びじゅつかん」を作りましょう。	1		1											
273	2	下	かん字の広場	読んでみよう・書いてみよう	1		1											
274	2	下	かん字の広場	■のかん字については、そのかん字をつかって、みじかい文を作りましょう。	1		1											
275	2	下	つたえ方をくふうしよう	つたえ方をくふうしよう	1			1										
276	2	下	つたえ方をくふうしよう	『きつつき』をもとに、せつ明の仕方をくふうして、いろいろなおもちゃの作り方をせつ明しよう。	1			1										
277	2	下	きつつき	「きつつき」というおもちゃを見たことがありますか。		1	1											

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
278	2	下	きつつき	みなさんも、このおもちゃを作って、よくうごくようにくふうしてみましょう。	1		1											
279	2	下	きつつき	エナメル線をつかって、コイルばねを作りましょう。	1		1											
280	2	下	きつつき	コイルばねを竹ひごにとりつけましょう。	1		1											
281	2	下	きつつき	さあ、コイルばねをゆびではじいてみましょう。	1		1											
282	2	下	きつつき	コイルばねがよくうごいたら、紙のきつつきをとりつけましょう。	1		1											
283	2	下	きつつき	きつつきを、ゆびでかるくはじいてみましょう。	1		1											
284	2	下	きつつき	くちばしがうまく当たらないときは、きつつきのむきを、いろいろにかえてみましょう。	1		1											
285	2	下	きつつき	作り方のじゅんじょに気をつけて読もう	1		1											
286	2	下	きつつき	作り方をせつ明しよう	1		1											
287	2	下	きつつき	二人ひと組みになって、きつつきの作り方をせつ明し合ってみましょう。	1		1											
288	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	「おもちゃ大会」をひらこう	1		1											
289	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	おもちゃを作って、あそぼう	1		1											
290	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	友だちのせつ明はよくわかりましたか。		1	1											
291	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	せつ明をもとに、おもちゃを作ってみましょう。	1		1											
292	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	わからないところは、たずねましょう。	1		1											
293	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	じゅんじょをあらわすことばをつかって、せつ明できましたか。		1		1										
294	2	下	「おもちゃ大会」をひらこう	作り方のじゅんじょにちゅういして聞けましたか。		1		1										
295	2	下	かん字の広場	つぎのかん字の読み方と、いみのちがいを考えましょう。	1		1											
296	2	下	かん字の広場	つぎのかん字には、どんな読み方があるでしょう。		1	1											
297	2	下	じゅんじょよく思い出して書こう	じゅんじょよく思い出して書こう	1			1										
298	2	下	じゅんじょよく思い出して書こう	したことやできごとのじゅんに、よく思い出して書こう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
299	2	下	できごとをふりかえって	どんなじゅんじょで書いているか、考えながら読んでみましょう。	1		1											
300	2	下	できごとをふりかえって	書くことがきまったら、にしやまさんのように、そのできごとがはじまったところから、したことのじゅんに、よく思い出して書きましょう。	1		1											
301	2	下	できごとをふりかえって	書きおわったら読みかえして、・文字がぬけていたり、まちがっていたりするところ ・文のつながりがおかしいところ　をなおしましょう。	1		1											
302	2	下	できごとをふりかえって	したことや気もちが、つたわるように書けましたか。		1		1										
303	2	下	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	はんたいのいみのことばを考えましょう。	1		1											
304	2	下	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	はんたいのいみのことばをあつめましょう。	1		1											
305	2	下	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	―線のことばとにたいみのことばを、考えましょう。	1		1											
306	2	下	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	にたいみのことばを考えて、あつめましょう。	1		1											
307	2	下	かん字の広場	左の絵の□にかん字のぶぶんをあてはめて、「言」のつくかん字を作りましょう。	1		1											
308	2	下	かん字の広場	左の絵をさんこうにして、つぎのかん字のぶぶんをつかったもんだいを作りましょう。	1		1											
309	2	下	かん字の広場	もんだいを作るときには、教科書の「かん字を学ぼう」（７８～８６ページ）をつかいましょう。	1		1											
310	2	下	かん字の広場	□の中に、まん中の読み方のかん字をあてはめて、ことばを作りましょう。	1		1											
311	2	下	かん字の広場	上や右の絵をさんこうにして、つぎのかん字をつかったもんだいを作りましょう。	1		1											
312	2	下	心のつながりを読もう	心のつながりを読もう	1			1										
313	2	下	心のつながりを読もう	場めんのうつりかわりをとらえて、アレクサンダとウイリーの心のふれ合いを読もう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
314	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	つぎの場めんを読みましょう。	1			1										
315	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	右の文を読んで、どう読んだら場めんのようすがよくつたわるか、話し合いましょう。	1			1										
316	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	右の文の「きみ、だれ?」と、６５ページの「きみ、だれ?」とをくらべて、気づいたことを話し合ってみましょう。	1			1										
317	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	アレクサンダのねがいがかわったわけを、話し合ってみましょう。	1			1										
318	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	アレクサンダのねがいについて、自分の考えを話すことができましたか。		1		1										
319	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	とかげに、何かをおねがいするとしたら、あなたは何をおねがいしますか。		1		1										
320	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	ノートに書きましょう。	1			1										
321	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	つぎの「れい」とおなじいみで、―せんのことばをつかっているのは、どちらの文でしょう。		1		1										
322	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	その中で、いちばん楽しかったのはどんなことですか。		1		1										
323	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	思い出して、書いてみましょう。	1			1										
324	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	書き出したことをもとにして、どんな学しゅうが楽しかったか、友だちと話し合ってみましょう。	1			1										
325	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	国語の学しゅうで、できるようになってうれしかったことは、どんなことですか。		1		1										
326	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	また、もっとがんばりたいことはありますか。		1		1										
327	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	書き出してみましょう。	1			1										
328	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	三年生になったら、『ひろがることば』をつかって、どんなことをしてみたいですか。		1		1										
329	2	下	国語の学しゅう　これまで　これから	これまでに学しゅうしたことをもとに、友だちとはっぴょうし合いましょう。	1			1										

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
330	2	下	かん字を学ぼう	かん字を学ぼう	1			1										
331	2	下	かん字を学ぼう	あたらしく学んだかん字は、読み方や書き方をおぼえよう。	1			1										
332	2	下	かん字を学ぼう	一年生で学んだかん字は、つかえるようになろう。	1			1										
333	2	下	かん字を学ぼう	書けるようになろう。	1			1										
334	2	下	かん字を学ぼう	この見出しのところを見よう	1			1										
335	2	下	ふろく　ことばの　ポケット	グループで読もう	1		1											
336	2	下	ふろく　ことばの　ポケット	グループの中で、やくをきめて、読み方をくふうして読んでみましょう。	1		1											
337	2	下	ふろく　ことばの　ポケット	すきなお話を色と形で作ってみよう	1		1											
338	3	上	どんな学習できるかな	メモを作って、わかりやすく話そう。	1			1	1				1		1			1
339	3	上	どんな学習できるかな	友だちの考えをよく聞いて、話し合おう。	1			1	1				1			1		1
340	3	上	どんな学習できるかな	目てきにおうじて、書くことをあつめよう。	1			1		1			1		1			1
341	3	上	どんな学習できるかな	かんさつしたり、しらべたりしたことを、くふうしてまとめよう。	1			1		1			1		1			1
342	3	上	どんな学習できるかな	場めんのようすや、内ようのまとまりに気をつけて読もう。	1			1			1		1		1			1
343	3	上	どんな学習できるかな	内ようがよくわかるように、声に出して読もう。	1			1			1		1		1			1
344	3	上	どんな学習できるかな	目次やさく引をつかってしらべよう。	1			1					1		1			1
345	3	上	どんな学習できるかな	声の大きさや、話すはやさに気をつけよう。	1			1	1				1		1			1
346	3	上	どんな学習できるかな	国語じてんのつかい方を知ろう。	1			1					1		1			1
347	3	上	どんな学習できるかな	かん字を学ぼう。	1			1		1		1			1			1
348	3	上	元気に声を出し合おう	元気に声を出し合おう	1			1	1				1		1			1
349	3	上	元気に声を出し合おう	さあ、はじめよう	1			1	1				1		1			1
350	3	上	元気に声を出し合おう	友だちと声を出し合いましょう。	1			1	1				1		1			1
351	3	上	元気に声を出し合おう	友だちと声を聞き合いましょう。	1			1	1				1		1			1
352	3	上	スピーチをしよう	さあ、今日一日、何をしてあそびましょうか。		1	1		1					1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
353	3	上	スピーチをしよう	楽しい計画を立てて、友だちをさそってみましょう。	1		1		1					1	1		1	
354	3	上	スピーチをしよう	朝の会や帰りの会などで、短いスピーチをしてみましょう。	1		1		1				1		1		1	
355	3	上	スピーチをしよう	みぢかなことがらを話題にえらび、自分の考えをかんたんにまとめてみましょう。	1		1		1				1		1		1	
356	3	上	スピーチをしよう	聞く人がわかりやすいように、組み立てを考えて話すことができましたか。		1		1	1				1		1			1
357	3	上	声の大きさ、話す速さ	あわてて話したり、声が大きすぎたりしたことはありませんか。		1	1		1				1		1			1
358	3	上	声の大きさ、話す速さ	つぎの場面で、声の大きさや話す速さを考えてみましょう。	1		1		1				1		1			1
359	3	上	声の大きさ、話す速さ	みなさんは、ふだん、声の大きさや話す速さに気をつけて話していますか。		1	1		1				1		1			1
360	3	上	声の大きさ、話す速さ	つぎのようなことについて、みんなで話し合ってみましょう。	1		1		1				1			1		1
361	3	上	声の大きさ、話す速さ	場に合った声の大きさで話そう	1		1		1				1		1			1
362	3	上	発見ノート	毎日の生活の中で、発見したり、ふしぎだと思ったりしたことがあったら、「発見ノート」に書きましょう。	1		1			1				1	1		1	
363	3	上	発見ノート	「発見ノート」を作って、みのまわりで発見したことを書いていきましょう。	1		1			1				1	1		1	
364	3	上	発見ノート	そして、スピーチや作文の話題をさがすときに読みかえしてみましょう。	1		1				1		1		1			1
365	3	上	思いをそうぞうして読もう	思いをそうぞうして読もう	1			1			1		1		1			1
366	3	上	思いをそうぞうして読もう	場面のようすや、さおりの心の動きを思い浮かべながら読もう。	1			1			1		1		1			1
367	3	上	消しゴムころりん	この話を読んで、おもしろいな、ふしぎだなと思ったところをしょうかいし合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
368	3	上	消しゴムころりん	次の場面の「さおり」の気もちについて話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
369	3	上	消しゴムころりん	やもりが「さおり」に消しゴムをあげたわけを考えて、話し合ってみましょう。	1			1	1				1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
370	3	上	消しゴムころりん	一線の言葉に気をつけて、次の言い方のちがいをくらべてみましょう。	1			1			1	1			1			1
371	3	上	消しゴムころりん	次のどちらかをえらんで、グループで学習をすすめましょう。	1			1					1			1		1
372	3	上	消しゴムころりん	「さおり」になったつもりで、できごとがわかるように日記を書いてみましょう。	1			1		1			1		1			1
373	3	上	消しゴムころりん	「ひろゆき」になったつもりで、心のつぶやきを書いてみましょう。	1			1		1			1		1			1
374	3	上	消しゴムころりん	「さおりの日記」や「つぶやきノート」に、場面のようすや人物の心の動きが書けましたか。		1		1		1			1		1			1
375	3	上	消しゴムころりん	グループでたしかめ合いましょう。	1			1					1			1		1
376	3	上	漢字学習カード	二年生で学んだ漢字の中からいくつかえらび、上のような漢字学習カードを作りましょう。	1		1			1		1			1			1
377	3	上	漢字学習カード	①その漢字の書きじゅんや画数・部首・読み方などを、「漢字を学ぼう」(９２～１００ページ)をもとにまとめましょう。	1		1			1		1			1			1
378	3	上	漢字学習カード	②その漢字を使った言葉を書きましょう。	1		1			1		1			1		1	
379	3	上	漢字学習カード	③その漢字を使って短文を作りましょう。	1		1			1			1		1		1	
380	3	上	漢字学習カード	④カードにまとめたら、使い方や文を発表し合いましょう。	1		1		1				1			1		1
381	3	上	漢字学習カード	⑤カードは一つにまとめ、新しい使い方がわかったら、書きくわえましょう。	1		1			1		1			1			1
382	3	上	漢字学習カード	「色」につながりのある漢字を思い出し、左のような図を作って、漢字をあてはめてみましょう。	1		1			1		1			1		1	
383	3	上	漢字学習カード	左のような図を書いて、いろいろな漢字を使った言葉をつなげてみましょう。	1		1			1		1			1		1	
384	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	調べたことの中からえらんで書こう	1			1		1			1		1			1
385	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	かんさつしたり、しらべたりしたことを、やり方をくふうしてまとめよう。	1			1		1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
386	3	上	かんさつしたことを	みなさんも、③ページのやり方や、「発見ノート」などをさん考にして、かんさつしたり、調べたりしたことを書き表にしてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
387	3	上	かんさつしたことを	書きおわったら、友だちと読み合ってみましょう。	1		1		1				1			1		1
388	3	上	かんさつしたことを	調べたことを、まとめ方をくふうして、書くことができましたか。		1		1		1			1		1			1
389	3	上	インタビューをしよう	調べていることについて、くわしく知っている人(せんもん家)にインタビューをしてみましょう。	1		1		1				1		1			1
390	3	上	インタビューをしよう	わざわざ時間をとって協力してくださることを、わすれないようにしましょう。	1		1		1				1		1			1
391	3	上	インタビューをしよう	インタビューをする時は、相手にしつれいのないように、話し方に気をつけましょう。	1		1		1				1		1			1
392	3	上	国語じてんの引き方	文しょうを読んだり、書いたりしているときに、言葉の意味や漢字の書き方がわからなくてこまったことはありませんか。		1	1								1			1
393	3	上	国語じてんの引き方	次の文の「ねる」という言葉の意味を、国語じてんで調べてみましょう。	1		1						1		1			1
394	3	上	国語じてんの引き方	これらは、じてんの「使い方」のページに出ているので、それぞれのじてんでたしかめてみましょう。	1		1						1		1			1
395	3	上	国語じてんの引き方	次の言葉は、どのようなじゅんでならんでいるでしょう。	1		1					1			1			1
396	3	上	国語じてんの引き方	「ゃ・ゅ・ょ」(よう音)や、つまる音を表す「っ」(そく音)のように小さく書く文字は、どのようなじゅんでならんでいるでしょう。	1		1					1			1			1
397	3	上	国語じてんの引き方	調べてみましょう。	1		1					1			1			1
398	3	上	国語じてんの引き方	じてんを引いてたしかめましょう。	1		1					1	1		1			1
399	3	上	国語じてんの引き方	次の「あう」は、どのような漢字で書いたらよいでしょう。		1	1					1			1			1
400	3	上	国語じてんの引き方	一線の言葉の意味を調べましょう。	1		1					1	1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
401	3	上	送りがな	次の(　)に送りがなを書きましょう。	1		1			1		1	1		1			1
402	3	上	送りがな	送りがなに気をつけて書きましょう。	1		1			1		1	1		1			1
403	3	上	だいじなことを見つけながら読もう	だいじなことを見つけながら読もう	1			1			1		1		1			1
404	3	上	だいじなことを見つけながら読もう	めだかについてどのようなことが書いてあるのか、だいじなところをおさえながら読もう。	1			1			1		1		1			1
405	3	上	だいじなことを見つけながら読もう	本の目次やさく引を利用して、生き物について知りたいことを調べて読もう。	1			1			1		1		1			1
406	3	上	めだか	では、めだかは、そのようなてきから、どのようにして身を守っているのでしょうか。		1	1				1	1			1			1
407	3	上	めだか	この文しょうを読んで、今まで知っていたことやはじめて知ったこと、もっと知りたいことを発表しましょう。	1			1	1				1			1	1	
408	3	上	めだか	文しょうのだいじなことがはっきりするように、段落に気をつけながら、次のことについてノートにまとめて、発表し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
409	3	上	めだか	ノートを読みかえして、だいじなことをおとさずに書いているか、たしかめましょう。	1			1					1		1			1
410	3	上	めだか	次の―線の言葉に気をつけて、めだかが「どうなのか」「どうなるのか」がわかる言葉をつづけて書きましょう。	1			1		1			1		1			1
411	3	上	めだか	この文しょうの中から、同じような形の文をみつけましょう。	1			1			1	1			1			1
412	3	上	目次をひらこう	どのような「目次」があるか、いろいろな本を見て、たしかめてみましょう。	1		1				1	1			1		1	
413	3	上	目次をひらこう	みなさんも、本の「目次」や「さく引」を手がかりにして、自分の知りたいと思うことについて調べてみましょう。	1		1				1		1		1		1	
414	3	上	森のスケーター　やまね	こんなに小さくてねてばかりいる動物が、どうして、長い間生きぬいてこられたのでしょうか。		1	1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
415	3	上	はっとしたことを	今までなにげなく見ていたものに、はっとしたことがありませんか。		1	1							1	1		1	
416	3	上	はっとしたことを	生活の中ではっとしたことを、詩に書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
417	3	上	読んでみよう・書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1		1			1		1	1		1			1
418	3	上	楽しくつたえ合おう	楽しくつたえ合おう	1			1	1				1		1			1
419	3	上	楽しくつたえ合おう	目あてをもって、グループで話し合ったり、手紙を書いたりしよう。	1			1		1			1		1			1
420	3	上	楽しい活動を考えよう	グループで話し合おう	1		1		1				1			1		1
421	3	上	楽しい活動を考えよう	山本さんたちの話し合いは、どんなところがよかったでしょう。	1			1					1		1			1
422	3	上	楽しい活動を考えよう	また、どんなところに気をつけたらよいかを考え、みなさんも話し合ってみましょう。	1			1	1				1			1	1	
423	3	上	楽しい活動を考えよう	おねがいしたいときやお礼を言いたいときには、その気持ちが表れるように、文字や言葉づかいに気をつけて、ていねいに手紙を書きましょう。	1		1			1			1		1			1
424	3	上	楽しい活動を考えよう	みなさんも、手紙のよさについて考えてみましょう。	1		1								1		1	
425	3	上	楽しい活動を考えよう	そして、だれに、何を伝えるかを考えて、手紙を書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
426	3	上	楽しい活動を考えよう	あなたは、手紙で、だれに何をつたえますか。		1	1								1		1	
427	3	上	楽しい活動を考えよう	住所や名前は、正しく、はっきりと書きましょう。	1		1			1			1		1			1
428	3	上	楽しい活動を考えよう	はがきでもつたえてみましょう。	1		1			1			1		1			1
429	3	上	楽しい活動を考えよう	自分のつたえたいことを、手紙に書いて出すことができましたか。		1		1		1			1		1			1
430	3	上	二つの漢字でできた言葉	□から関係のある漢字を組み合わせて、漢字二文字の言葉を作りましょう。	1		1			1		1	1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
431	3	上	二つの漢字でできた言葉	反対の意味になる漢字を組み合わせて、できた言葉を書きましょう。	1		1			1		1	1		1			1
432	3	上	二つの漢字でできた言葉	上と下の言葉のつながりを考えて、漢字二文字の言葉を書きましょう。	1		1			1		1	1		1			1
433	3	上	二つの漢字でできた言葉	①の言葉の道をたどり、「朝―昼―夜」をつないでみましょう。	1		1			1		1			1			1
434	3	上	二つの漢字でできた言葉	②○にあてはまる漢字を入れましょう。	1		1			1		1			1			1
435	3	上	ねがいを受け止めて読もう	ねがいを受け止めて読もう	1			1			1		1		1			1
436	3	上	ねがいを受け止めて読もう	場面の様子を思いうかべながら、森の動物たちの心の動きを考えて読もう。	1			1			1		1		1			1
437	3	上	わすれられないおくりもの	あなぐまがそれぞれの動物にのこしてくれた「おくりもの」について、次のようにして読み深めましょう。	1			1			1		1		1			1
438	3	上	わすれられないおくりもの	「ありがとう、あなぐまさん。」（８７ページ）のあとに、もぐらはどんな言葉をつづけたと思いますか。		1		1				1			1		1	
439	3	上	わすれられないおくりもの	自分の考えをノートに書き、友達と交かんして読み合いましょう。	1			1			1		1			1		1
440	3	上	わすれられないおくりもの	もぐらがつづけた言葉の中で、自分の考えをくふうして書けましたか。		1		1		1			1		1			1
441	3	上	わすれられないおくりもの	どんな言い方がつづくでしょう	1			1				1			1			1
442	3	上	わすれられないおくりもの	―線の言葉に気をつけて読んでみましょう。	1			1			1	1	1		1			1
443	3	上	わすれられないおくりもの	二つの言い方を使って、短い文を書いてみましょう。	1			1		1		1	1		1		1	
444	3	上	わすれられないおくりもの	―線の言葉に気をつけて、（　）に入る言葉を考えましょう。	1			1				1			1			1
445	3	上	わすれられないおくりもの	このほかにも、このような決まった言い方をする言葉を集めてみましょう。	1			1				1			1		1	
446	3	上	わすれられないおくりもの	そして、集めた言葉を使って、短い文を作ってみましょう。	1			1		1		1	1		1		1	
447	3	上	活動しよう	活動しよう	1			1						1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
448	3	上	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1			1				1	1		1			1
449	3	上	はってん	ローマ字で入力しよう	1		1			1			1		1			1
450	3	上	はってん	下の表と「例」をさん考にして、文字を入力してみましょう	1		1			1			1		1			1
451	3	上	はってん	練習しましょう。	1		1			1			1		1			1
452	3	上	はってん	かんたんな文しょうを入力してみましょう。	1		1			1			1		1			1
453	3	下	どんな学習できるかな	考えがよくつたわるように、すじ道を立てて話そう。	1			1	1				1		1			1
454	3	下	どんな学習できるかな	大事なことや、話の中心に気をつけて聞こう。	1			1	1				1		1			1
455	3	下	どんな学習できるかな	書くひつようのある事がらを、集めよう。	1			1					1		1			1
456	3	下	どんな学習できるかな	中心になることをはっきりさせて書こう。	1			1		1			1		1			1
457	3	下	どんな学習できるかな	場面をそうぞうしながら読もう。	1			1			1		1		1			1
458	3	下	どんな学習できるかな	内ようのまとまりやつながりに気をつけて読もう。	1			1			1		1		1			1
459	3	下	どんな学習できるかな	いろいろな本を読もう。	1			1			1		1		1			1
460	3	下	どんな学習できるかな	「こそあど言葉」を使ってみよう。	1			1				1			1			1
461	3	下	どんな学習できるかな	文の組み立てに気をつけよう。	1			1				1			1			1
462	3	下	どんな学習できるかな	漢字を学ぼう。	1			1		1		1			1			1
463	3	下	様子を思いうかべて読んでみよう	様子を思いうかべて読んでみよう	1			1			1		1		1			1
464	3	下	様子を思いうかべて読んでみよう	みなさんは、どんなことを思い出しますか。		1		1						1	1		1	
465	3	下	様子を思いうかべて読んでみよう	様子を思いうかべながら詩を読み、話し合ってみましょう。	1			1	1				1			1	1	
466	3	下	まとまりやつながりに気をつけよう	まとまりやつながりに気をつけよう	1			1				1			1			1
467	3	下	まとまりやつながりに気をつけよう	まとまりに注意して、広い言葉とせまい言葉の関係を考えたり、せつ明する文しょうを書いたりしよう。	1			1		1		1	1		1			1
468	3	下	広い言葉、せまい言葉	さて、この三つを何か一つの言葉でまとめることができるでしょうか。		1	1				1	1			1			1
469	3	下	広い言葉、せまい言葉	なんという言葉か、わかりますか。		1	1				1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
470	3	下	広い言葉、せまい言葉	それでは、今度は、この三つの仲間を、何かほかの一つの言葉でまとめてみましょう。	1		1				1	1			1			1
471	3	下	広い言葉、せまい言葉	なんという言葉か、わかりますか。		1	1				1	1			1			1
472	3	下	広い言葉、せまい言葉	では、「動物」より「広い言葉」はないのでしょうか。		1	1				1	1			1			1
473	3	下	広い言葉、せまい言葉	次のようにして、この文しょうを読んでみましょう。	1			1			1		1		1		1	
474	3	下	広い言葉、せまい言葉	「問い」と「答え」を表す文をさん考に、身近なものを表す言葉について、どちらが「広い言葉」で、どちらが「せまい言葉」か、問題を出し合いましょう。	1			1	1			1				1	1	
475	3	下	広い言葉、せまい言葉	次の―線の言葉は、なんの言葉がなんの言葉より「広い」といっているのか、考えましょう。	1			1				1			1			1
476	3	下	広い言葉、せまい言葉	次のどちらかをえらんで、グループで学習をすすめましょう。	1			1								1		1
477	3	下	広い言葉、せまい言葉	よい問題を出したり、わかりやすくせつ明したりできましたか。		1		1	1				1		1			1
478	3	下	広い言葉、せまい言葉	グループでたしかめ合いましょう。	1			1					1			1		1
479	3	下	まとまりやじゅんじょを考えて	せつ明したいことを、まとまりやじゅんじょを考えて、書くことができましたか。		1		1					1		1			1
480	3	下	こそあど言葉	右の絵の中から、話をしている二人を見つけ、こそあど言葉を使って話をしましょう。	1		1		1				1		1		1	
481	3	下	こそあど言葉	次の（　）にいろいろなこそあど言葉を入れて、どんなちがいがあるかを考えましょう。	1		1					1			1			1
482	3	下	漢字の音と訓	次の言葉を、音や訓で読みましょう。	1		1				1	1			1			1
483	3	下	漢字の音と訓	―線の部分を漢字で書きましょう。	1		1			1		1			1			1
484	3	下	本の世界を広げよう	本の世界を広げよう	1			1			1			1	1			1
485	3	下	本の世界を広げよう	のらねことリョウのふれ合いを読みましょう。	1			1			1		1		1			1
486	3	下	本の世界を広げよう	そして、読んだ物語の細かいところをとらえて「読書クイズ」を出し合い、新しい発見をしてみましょう。	1			1			1			1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
487	3	下	読書クイズを出し合おう	『のらねこ』のほかにも、グループごとに本をえらんで読み、いろいろな「読書クイズ」を出し合いましょう。	1		1				1			1		1	1	
488	3	下	読書クイズを出し合おう	「読書クイズ」をしてみて、もう一度くわしく読みたくなった本などについて、発表してみましょう。	1		1		1				1			1	1	
489	3	下	読んでみよう・書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1		1			1		1	1		1		1	
490	3	下	身近な話題をとらえて話し合おう	身近な話題をとらえて話し合おう	1			1	1				1			1	1	
491	3	下	身近な話題をとらえて話し合おう	読み取ったことや調べたことをもとに、絵文字について発表しよう。	1			1	1				1			1	1	
492	3	下	いろいろな絵を見つけよう	町で見かける上のような絵を、みなさんは見かけたことがありますか。		1	1					1			1			1
493	3	下	いろいろな絵を見つけよう	それは、どこで見ましたか。		1	1					1			1		1	
494	3	下	いろいろな絵を見つけよう	グループで話し合いましょう。	1		1		1				1			1		1
495	3	下	いろいろな絵を見つけよう	町や家、学校などで上のような絵を見つけて、しょうかいし合いましょう。	1		1		1				1			1	1	
496	3	下	いろいろな絵を見つけよう	カードにかいてしょうかいしよう	1		1		1				1			1		1
497	3	下	いろいろな絵を見つけよう	見つけてきた絵をしょうかいするために、カードをかきましょう。	1		1			1			1		1			1
498	3	下	いろいろな絵を見つけよう	そして、友だちとしょうかいし合いましょう。	1		1		1				1			1		1
499	3	下	いろいろな絵を見つけよう	しょうかいするときには、カードを見せながら、次のようなことを話すとよいでしょう。	1		1		1				1		1			1
500	3	下	いろいろな絵を見つけよう	なぜ、このような絵が使われているのでしょう。		1	1					1			1		1	
501	3	下	くらしと絵文字	このように、たくさんの絵文字が使われているのは、なぜでしょうか。		1	1					1			1		1	
502	3	下	くらしと絵文字	絵文字の特徴から考えてみましょう。	1		1					1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
503	3	下	まとまりごとに大事なことを読み取ろう	まとまりごとに、書き手のせつ明で大事なことを読み取り、まとめましょう。	1		1				1		1		1			1
504	3	下	絵文字かどうか話し合おう	『くらしと絵文字』を読む前にしょうかいし合った絵が、絵文字かどうか、グループで話し合いましょう。	1		1		1				1			1	1	
505	3	下	絵文字かどうか話し合おう	絵文字かどうかはっきりしないものについては、本文をもう一度読み返して考えましょう。	1		1				1	1			1			1
506	3	下	「絵文字発表会」をしよう	オリジナル絵文字を作ろう	1		1			1			1		1		1	
507	3	下	「絵文字発表会」をしよう	じゅんびができたら、発表会をしましょう。	1		1		1				1			1		1
508	3	下	「絵文字発表会」をしよう	自分で考えた絵文字を発表するだけではなく、友だちの発表もしっかり聞くようにしましょう。	1		1		1				1		1			1
509	3	下	「絵文字発表会」をしよう	よくわからなかったところや、もっと知りたいことがあったら、発表した友だちにしつ問してみましょう。	1		1		1				1		1		1	
510	3	下	「絵文字発表会」をしよう	メモをもとに、整理して発表することができましたか。		1		1	1				1		1			1
511	3	下	「絵文字発表会」をしよう	メモを取りながら、聞くことができましたか。		1		1	1				1		1			1
512	3	下	漢字の組み立て（一）	「漢字を学ぼう」（８４～９６ページ）や国語じてんなどを使って、友だちと次のような漢字のゲームをつづけてみましょう。	1		1						1		1			1
513	3	下	中心をはっきりさせて書こう	中心をはっきりさせて書こう	1			1		1			1		1			1
514	3	下	中心をはっきりさせて書こう	中心にする場面をはっきりさせて、その時の気持ちがつたわるように書こう。	1			1		1			1		1			1
515	3	下	強く心にのこっていることを	友だちにつたえたいできごとを、いちばん強く心にのこっている場面を中心にして、書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
516	3	下	強く心にのこっていることを	みなさんも書くことが決まったら、村田さんのように、中心にする場面をはっきりさせて、組み立てを考えましょう。	1		1						1		1			1
517	3	下	強く心にのこっていることを	大事な会話や、その前後の様子をよく思い出して書きましょう。	1		1			1			1		1		1	
518	3	下	強く心にのこっていることを	次のようなことに気をつけて読み返し、書き直したほうがよいところを見つけましょう。	1		1						1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
519	3	下	強く心にのこっていることを	友だちと作文を読み合い、感想を話し合ってみましょう。	1		1		1		1		1			1	1	
520	3	下	強く心にのこっていることを	中心にする場面の書き表し方を、くふうすることができましたか。		1		1					1		1			1
521	3	下	文の組み立て	次の文の意味をくらべてみましょう。	1		1					1			1			1
522	3	下	漢字の組み立て（二）	次の□に、「どうする」「どんなだ」「なんだ」にあたる言葉を入れてみましょう。	1		1			1		1			1			1
523	3	下	漢字の組み立て（二）	漢字を「へん」や「つくり」、「かんむり」、「あし」などの部分に分け、それぞれをカードに書きこみ、カードゲームをしましょう。	1		1			1		1				1		
524	3	下	漢字の組み立て（二）	二まいのカードを組み合わせると、どんな漢字ができるでしょう。		1	1					1			1		1	
525	3	下	漢字の組み立て（二）	「漢字を学ぼう」（８４～８９ページ）をさん考にしましょう。	1		1					1			1			1
526	3	下	心の通い合いを読もう	心の通い合いを読もう	1			1			1		1		1			1
527	3	下	心の通い合いを読もう	場面のうつりかわりをとらえて、おにたのねがいを想ぞうしながら読もう。	1			1			1		1		1			1
528	3	下	おにたのぼうし	次の場面を読みましょう。	1			1			1		1		1		1	
529	3	下	おにたのぼうし	（1）おにたが、「おにだって、いろいろあるのに。おにだって……」と、言葉をとちゅうまでしか言わなかった理由を考えて、ノートに書いてみましょう。	1			1		1			1		1		1	
530	3	下	おにたのぼうし	（2）「おにには、いろいろあるのにな。」（７０ページ）と、「おにだって、いろいろあるのに。おにだって……。」のおにたの気持ちを考えて、話し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
531	3	下	おにたのぼうし	みなさんは、おにたに何か言いたいことはありませんか。		1		1						1	1		1	
532	3	下	おにたのぼうし	その気持ちを知らせる手紙をおにたに書き、友だちと交かんして読み合いましょう。	1			1			1		1			1	1	
533	3	下	おにたのぼうし	おにたに対する気持ちが、はっきりと手紙に書かれていますか。		1		1		1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
534	3	下	おにたのぼうし	気持ちが書かれているところに線を引いて、たしかめましょう。	1			1			1		1		1		1	
535	3	下	これまで　これから	この一年間、『ひろがる言葉』で、どのような学習をしてきましたか。		1		1	1			1			1		1	
536	3	下	これまで　これから	目次や自分のノートをもとにして、思い出してみましょう。	1			1	1			1			1		1	
537	3	下	これまで　これから	それらを友だちと発表し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
538	3	下	これまで　これから	国語の学習で、どんなことをがんばりましたか。		1		1	1			1			1		1	
539	3	下	これまで　これから	書き出して、発表し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
540	3	下	これまで　これから	四年生になったら、国語の学習でどんなことをがんばってみたいですか。		1		1		1				1	1		1	
541	3	下	これまで　これから	ノートに書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
542	3	下	活用しよう	活用しよう	1			1				1			1			1
543	3	下	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1			1		1		1			1			1
544	3	下	はってん	『新しく学んだ漢字(84ページ)』の表の部首らんをさん考にして、「(水)さんずい(みず)」の漢字をぬき出してみましょう。	1		1			1		1			1			1
545	3	下	はってん	そして、どのような意味が共通しているのか、たしかめましょう。	1		1			1		1			1			1
546	3	下	音楽を作ろう	音楽を作ろう	1		1		1					1	1		1	
547	3	下	音楽を作ろう	音で表そう	1		1		1					1	1		1	
548	4	上	どんな学習ができるかな	どんな学習ができるかな		1												
549	4	上	どんな学習ができるかな	これから学ぶことを知ろう	1													
550	4	上	どんな学習ができるかな	話そう・聞こう	1													
551	4	上	どんな学習ができるかな	相手や目てきを考えて言葉づかいをくふうしよう。	1													
552	4	上	どんな学習ができるかな	友だちの考えをよく聞いて、すすんで話し合おう。	1													
553	4	上	どんな学習ができるかな	書こう	1													
554	4	上	どんな学習ができるかな	書くひつようのある事がらを整理しよう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
555	4	上	どんな学習ができるかな	相手や目てきにおうじて、書きたいことをはっきりさせよう。	1													
556	4	上	どんな学習ができるかな	読もう	1													
557	4	上	どんな学習ができるかな	中心をとらえながら読もう。	1													
558	4	上	どんな学習ができるかな	中心や場面の様子がよくわかるように、声に出して読もう。	1													
559	4	上	どんな学習ができるかな	本の分類表をもとに、ひつような本をさがそう。	1													
560	4	上	どんな学習ができるかな	言葉を学ぼう	1													
561	4	上	どんな学習ができるかな	つなぐ言葉のはたらきを考えよう。	1													
562	4	上	どんな学習ができるかな	ローマ字について知ろう。	1													
563	4	上	どんな学習ができるかな	漢字を学ぼう。	1													
564	4	上	さあ、始めよう	さあ、始めよう	1													
565	4	上	元気に声を出し合おう	元気に声を出し合おう	1													
566	4	上	元気に声を出し合おう	友だちと声を出し合いましょう。	1													
567	4	上	元気に声を出し合おう	友だちと声を聞き合いましょう。	1													
568	4	上	楽しいスピーチをしよう	楽しいスピーチをしよう	1													
569	4	上	楽しいスピーチをしよう	「わたしの〇〇」という題でスピーチをしてみましょう。	1													
570	4	上	楽しいスピーチをしよう	マークにどんな意味をこめているのか、絵を見せながら話しましょう。	1													
571	4	上	楽しいスピーチをしよう	みんなが知らない自分の一面を知らせてみましょう。	1													
572	4	上	楽しいスピーチをしよう	話したり、聞いたりするときは、次のことに気をつけましょう。	1													
573	4	上	楽しいスピーチをしよう	話の中心をはっきりさせて、すじ道を立てて話せましたか。		1												
574	4	上	読む速さ、声の強さ	声に出して読んでみましょう。	1													
575	4	上	読む速さ、声の強さ	読む速さや声の強さ、間のとり方をくふうして、人物の気持ちや場面のようすがつたわるように、もう一度読んでみましょう。	1													
576	4	上	読む速さ、声の強さ	場面のうつりかわりに気をつけて読みましょう。	1													
577	4	上	読む速さ、声の強さ	前の場面と、どんなところがかわっているでしょうか。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
578	4	上	読む速さ、声の強さ	それに合わせて、どのように読めばよいでしょうか。		1												
579	4	上	読む速さ、声の強さ	場面のうつりかわりに気をつけて、二つの文章を、つづけて読んでみましょう。	1													
580	4	上	体験ノート	毎日の生活の中で体験したことで、特に心にのこったできごとを、「体験ノート」を作って書いていきましょう。	1													
581	4	上	体験ノート	「体験ノート」は、次のようなことに気をつけて書きましょう。	1													
582	4	上	体験ノート	みなさんも、「体験ノート」を作って、心にのこったことを書いていきましょう。	1													
583	4	上	体験ノート	そして、このあとの、書いたり話したりする学習に生かしましょう。	1													
584	4	上	思いを想ぞうして読もう	思いを想ぞうして読もう	1													
585	4	上	思いを想ぞうして読もう	場面のうつりかわりをとらえ、「ぼく」の心の動きを想ぞうしながら読もう。	1													
586	4	上	やい、とかげ	「やい、とかげ」という題名について、思ったことを話し合いましょう。	1													
587	4	上	やい、とかげ	場面の様子がはっきりとうかんでくるところを見つけて、その中での「ぼく」の様子を読み取って、話し合いましょう。	1													
588	4	上	やい、とかげ	次のそれぞれの言い方には、どのような意味のちがいがありますか。		1												
589	4	上	やい、とかげ	ノートに書いて発表し合いましょう。	1													
590	4	上	やい、とかげ	次のどちらかをえらんで、グループで学習を進めましょう。	1													
591	4	上	やい、とかげ	好きな場面をえらんでおぼえ、えらんだ理由をせつ明してから、友だちに聞いてもらいましょう。	1													
592	4	上	やい、とかげ	心に残った場面をえらび、絵と、えらんだ理由を入れた文章を書いて、一まいの紙しばいにしましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
593	4	上	やい、とかげ	「一人語り」や「一まい紙しばい」の発表で、場面のうつりかわりや、「ぼく」の心の動きを、どのようにくふうしてあらわせましたか。		1												
594	4	上	やい、とかげ	グループごとにたしかめ合いましょう。	1													
595	4	上	漢字の広場	一筆書きのように、それぞれの島をめぐりながら、矢じるしから矢じるしまで通ってみましょう。	1													
596	4	上	漢字の広場	読み方のしりとりをしましょう。	1													
597	4	上	漢字の広場	漢字の言葉を作りましょう。	1													
598	4	上	漢字の広場	前後にある漢字の部分を組み合わせて、漢字を作りましょう。	1													
599	4	上	調べたことを整理して書こう	調べたことを整理して書こう	1													
600	4	上	調べたことを整理して書こう	昔と今のちがいについて、調べたことを整理して書き、文集にまとめよう。	1													
601	4	上	昔のことを調べよう	昔のことを調べよう	1													
602	4	上	昔のことを調べよう	みなさんも、昔と今の生活のちがいを調べて、文集にまとめてみましょう。	1													
603	4	上	昔のことを調べよう	そして、おたがいに読み合って、感想を話し合いましょう。	1													
604	4	上	昔のことを調べよう	調べたことを整理して、わかりやすく書くことができましたか。		1												
605	4	上	二つの事がらをつなぐ	次の文の（　）に、「ので」を入れるのと、「のに」を入れるのとでは、意味はどうちがうのか、くらべてみましょう。	1													
606	4	上	二つの事がらをつなぐ	次の（　）に、□の中から言葉を選んで入れ、意味のちがいを考えましょう。	1													
607	4	上	二つの事がらをつなぐ	次の（　）に、□の中の言葉を入れて、意味のちがいをくらべてみましょう。	1													
608	4	上	二つの事がらをつなぐ	次の―線部の二つの事がらをつなぐ言葉に気をつけて、文の続きを書きましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
609	4	上	漢字の広場	左の文の「書」という漢字の送りがなと、下の「取」という漢字の送りがなをくらべてみましょう。	1													
610	4	上	漢字の広場	次の漢字に送りがなをつけましょう。	1													
611	4	上	中心をとらえながら読もう	中心をとらえながら読もう	1													
612	4	上	中心をとらえながら読もう	花を見つける手がかりを、段落と段落との関係に注意して、中心をとらえて読もう。	1													
613	4	上	中心をとらえながら読もう	本の分類法を知り、本をさがして読もう。	1													
614	4	上	花を見つける手がかり	この文章を読んで、おもしろいな、ふしぎだなと思ったことをグループで話し合いましょう。	1													
615	4	上	花を見つける手がかり	段落と段落とのつながりに気をつけて、三つの実験について、次のことを読み取りましょう。	1													
616	4	上	花を見つける手がかり	大事なことを落とさないようにして、それぞれの実験について、できるだけ短い文章にまとめてみましょう。	1													
617	4	上	花を見つける手がかり	それぞれの実験で、（1）から（5）のことを読み取り、文章にまとめることができましたか。		1												
618	4	上	花を見つける手がかり	次の二つの言い方のちがいを、なぜそのような言い方になっているかを考えながら、話し合いましょう。	1													
619	4	上	「じょうほうけいじ板」を作ろう	「じょうほうけいじ板」を作ろう	1													
620	4	上	「じょうほうけいじ板」を作ろう	みなさんも、分類表などを参考にして、目的に合った本をさがしてみましょう。	1													
621	4	上	詩を書こう	詩を書こう	1													
622	4	上	詩を書こう	新らしい目で身のまわりを見つめ直して、発見したことを詩に書いてみましょう。	1													
623	4	上	詩を書こう	今までとちがう見方で見たり、じっくりと気をつけて見たりしましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
624	4	上	詩を書こう	次のような点を、鈴木さんはどのように書き表しているでしょうか。		1												
625	4	上	詩を書こう	さまざまな季節や場面で、発見したことや想ぞうしたことを書いてみましょう。	1													
626	4	上	詩を書こう	次のような点を、渡辺さんはどのように書き表しているでしょうか。		1												
627	4	上	詩を書こう	みなさんも、発見したことや想ぞうしたことを、書き表し方をくふうして、詩に書いてみましょう。	1													
628	4	上	読んでみよう、書いてみよう	読んでみよう、書いてみよう	1													
629	4	上	読んでみよう、書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1													
630	4	上	楽しく伝え合おう	楽しく伝え合おう	1													
631	4	上	楽しく伝え合おう	目あてをもって、みんなで話し合ったり、新聞を作ったりしよう。	1													
632	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	1													
633	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	学級で話し合おう	1													
634	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	山田さんの学級の話し合いのよいところ、気をつけたほうがよいところを考え、みなさんの学級でも話し合ってみましょう。	1													
635	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	学級新聞を作ろう	1													
636	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	みなさんも、どんな新聞を作るか、どんな記事をのせるかを考えながら、グループで協力して新聞を作ってみましょう。	1													
637	4	上	「みんなで遊ぼう集会」を開こう	作った新聞で、必要な事がらを落とさず、伝えたいことをわかりやすく書き表せましたか。		1												
638	4	上	漢字の広場	共通している部分から、何に関係のある漢字か考えましょう。	1													
639	4	上	漢字の広場	送りがなをヒントにして、漢字を完成させましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
640	4	上	漢字の広場	組み合わさって言葉になるように、漢字を完成させましょう。	1													
641	4	上	願いを受け止めて読もう	願いを受け止めて読もう	1													
642	4	上	願いを受け止めて読もう	お父さんやお母さんが、どのような願いをもっているかを考えながら読もう。	1													
643	4	上	一つの花	「戦争」に関係する言葉を物語の中から見つけ、ノートに書きましょう。	1													
644	4	上	一つの花	意味がよくわからない言葉は、辞典を引いたり、人にたずねたりして調べましょう。	1													
645	4	上	一つの花	次の時のお父さんやお母さんの願いや気持ちを読み取って、話し合いましょう。	1													
646	4	上	一つの花	もっとも心を動かされたのは、どの場面の、だれの、どのような言葉や行動ですか。		1												
647	4	上	一つの花	それらを書き出し、感じたことをノートに書きましょう。	1													
648	4	上	一つの花	お父さんやお母さんが、どのような願いをもっているかを読み取って、発表することができましたか。		1												
649	4	上	一つの花	次のような言葉に気をつけて、物語を読み進めましょう。	1													
650	4	上	一つの花	このほかにも、このような言葉があるか、『一つの花』の中からさがしてみましょう。	1													
651	4	上	一つの花	また、それらの言葉を使って、短い文を作ってみましょう。	1													
652	4	上	ローマ字	次のローマ字で書いて言葉を読みましょう。	1													
653	4	上	ローマ字	書きましょう。	1													
654	4	上	ローマ字	次の□に文字を入れて、言葉をつくりましょう。	1													
655	4	上	ローマ字	８６ページの表を見ながら、ローマ字でしりとりをしましょう。	1													
656	4	上	ローマ字	書きましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
657	4	上	ローマ字	□の中にある文字と、＾（のばす印）を使って、言葉を作りましょう。	1													
658	4	上	ローマ字	どこで買ったのでしょう。		1												
659	4	上	ローマ字	つないでみましょう。	1													
660	4	上	ローマ字	なぜ、次のように書くのか、考えてみましょう。	1													
661	4	上	ローマ字	書きましょう。	1													
662	4	上	ローマ字	つまる音にして書きかえましょう。	1													
663	4	上	ローマ字	つまる音（ｋｋ，ss，ｔｔ，ｐｐ）の入った言葉をさがして、書きましょう。	1													
664	4	上	ローマ字	８６ページの表を見て書きましょう。	1													
665	4	上	ローマ字	大文字と小文字の高さに気をつけましょう。	1													
666	4	上	ローマ字	自分の名前や住んでいる所を、ローマ字で書きましょう。	1													
667	4	上	ローマ字	上の表を見ながら、ローマ字で短い言葉を書いてみましょう。	1													
668	4	上	活用しよう	活用しよう	1													
669	4	上	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1													
670	4	上	漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字は読み方や書き方をおぼえよう。	1													
671	4	上	漢字を学ぼう	三年生で学んだ漢字は、使えるようになろう。	1													
672	4	上	アンケートのとり方	時間をさいて答えてくださったのだから、お礼の言葉はわすれずに入れよう。	1													
673	4	上	アンケートのとり方	できれば結果を伝えよう。	1													
674	4	上	俳句を読み味わおう	次の俳句を覚え、声に出して読んでみましょう。	1													
675	4	上	俳句を読み味わおう	俳句を読み味わおう	1													
676	4	上	音読記号	自分たちでも、音読記号を考えてみよう。	1													
677	4	上	音読記号	「ゆみ。」は、明るくよびかけるように読んだらどうかな。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
678	4	上	じょうほうを集める・調べる	それぞれの実験で、（1）から（5）のことを読み取り、文章にまとめることができましたか。特長を生かして調べてみよう。	1													
679	4	上	じょうほうを集める・調べる	必ず下調べをして、どんなことをたずねたいのか整理してから、うかがおう。	1													
680	4	上	じょうほうを集める・調べる	直せつ調べられることなら、まず自分で調べよう。	1													
681	4	上	じょうほうを集める・調べる	どこで、どんなことが調べられるのかな？		1												
682	4	上	もっと読みたい	苦しみを乗りこえ活やくした女性たちの歩みをたどってみよう。	1													
683	4	上	もっと読みたい	大空を飛ぶゆめを追い続けたライト兄弟の生き方にふれよう。	1													
684	4	上	もっと読みたい	宇宙はどんな所だろう。		1												
685	4	上	もっと読みたい	地球はどう見えるのかな。		1												
686	4	上	もっと読みたい	まずしい人々のために生きたテレサの生き方を学ぼう。	1													
687	4	下	どんな学習ができるかな	どんな学習ができるかな		1												
688	4	下	どんな学習ができるかな	これから学ぶことを知ろう	1													
689	4	下	どんな学習ができるかな	話そう・聞こう	1													
690	4	下	どんな学習ができるかな	調べたことについて、すじ道を立てて発表しよう。	1													
691	4	下	どんな学習ができるかな	発表を聞いて、意見や感想をまとめよう。	1													
692	4	下	どんな学習ができるかな	書こう	1													
693	4	下	どんな学習ができるかな	段落と段落とのつながりをくふうして書こう。	1													
694	4	下	どんな学習ができるかな	文章を読み返して、よいところや書き直したいところを見つけよう。	1													
695	4	下	どんな学習ができるかな	読もう	1													
696	4	下	どんな学習ができるかな	中心をとらえたり、段落のつながりを考えたりしながら読もう。	1													
697	4	下	どんな学習ができるかな	想ぞうしながら読み、考えをまとめよう。	1													
698	4	下	どんな学習ができるかな	いろいろな本を読もう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
699	4	下	どんな学習ができるかな	言葉を学ぼう	1													
700	4	下	どんな学習ができるかな	漢字辞典の使い方を知ろう。	1													
701	4	下	どんな学習ができるかな	「修飾語」のはたらきを知ろう。	1													
702	4	下	どんな学習ができるかな	漢字を学ぼう。	1													
703	4	下	いろいろな詩と出会おう	いろいろな詩と出会おう	1													
704	4	下	いろいろな詩と出会おう	気に入った詩を読み合い、どんな感じがするかを話し合ってみましょう。	1													
705	4	下	すじ道を立てて考えよう	すじ道を立てて考えよう	1													
706	4	下	すじ道を立てて考えよう	文章全体と段落との関係を考えながら、アーチ橋の仕組みについて考えたり、調べたことを記録文に書いたりしよう。	1													
707	4	下	アーチ橋の仕組み	「まず」「次に」「このように」「こうして」などの言葉が、文章のどんなところに使われているか、たしかめましょう。	1													
708	4	下	アーチ橋の仕組み	そして、これらの言葉のはたらきを、ノートにまとめましょう。	1													
709	4	下	アーチ橋の仕組み	三つの大きなまとまりごとに内容を読み取り、それを表す題（小見出し）をそれぞれにつけてみましょう。	1													
710	4	下	アーチ橋の仕組み	アーチ橋の作り方を、友達にわかりやすく説明する文章を書いてみましょう。	1													
711	4	下	アーチ橋の仕組み	次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。	1													
712	4	下	アーチ橋の仕組み	「クイズ」や「豆事典」を作るときに、大事なところを取り上げて、問題を作ったり、説明したりすることができましたか。		1												
713	4	下	アーチ橋の仕組み	グループでたしかめ合いましょう。	1													
714	4	下	実験したことをもとに	みなさんも、かんたんな実験をしたことをもとに記録文を書き、友達に伝えてみましょう。	1													
715	4	下	実験したことをもとに	記録したことを、組み立てをはっきりさせて書けましたか。		1												
716	4	下	実験したことをもとに	次のような文では、どこに点を打つと読みやすくなるでしょう。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
717	4	下	実験したことをもとに	読点を打って書き直しましょう。	1													
718	4	下	実験したことをもとに	意味のちがいがはっきりわかるように、点を打って二つの文に書き直しましょう。	1													
719	4	下	漢字辞典の引き方	部首さく引を使って、―線の漢字を調べてみましょう。	1													
720	4	下	漢字辞典の引き方	音訓さく引を使って、―線の漢字を調べてみましょう。	1													
721	4	下	漢字辞典の引き方	総画さく引を使って、―線の漢字を調べてみましょう。	1													
722	4	下	漢字辞典の引き方	次の―線の漢字を用いたほかの言葉を集めましょう。	1													
723	4	下	漢字辞典の引き方	どのさく引を使ったら引きやすいかを考えて、漢字辞典で調べましょう。	1													
724	4	下	漢字の広場	次の言葉は、それぞれ右の①～⑤のどのグループに入るでしょう。		1												
725	4	下	漢字の広場	次の―線の言葉は、どのような意味で使われているか、漢字辞典で調べてみましょう。	1													
726	4	下	本の世界を広げよう	本の世界を広げよう	1													
727	4	下	本の世界を広げよう	世界のたくさんの笑い話の中から、アジアの笑い話を選んで読んでみましょう。	1													
728	4	下	本の世界を広げよう	読んだ笑い話をもとに、「お笑いけいじ板」を作ってみましょう。	1													
729	4	下	「お笑いけいじ板」を作ろう	「お笑いけいじ板」を作ろう	1													
730	4	下	「お笑いけいじ板」を作ろう	学級のみんなで、「笑い」をテーマに発表し合いましょう。	1													
731	4	下	漢字の広場	読んでみよう・書いてみよう	1													
732	4	下	漢字の広場	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1													
733	4	下	見方を変えて話し合おう	見方を変えて話し合おう	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
734	4	下	見方を変えて話し合おう	読み取ったことや調べたことを整理して、「便利」ということについて発表しよう。	1													
735	4	下	「便利」について考えよう	「便利」について考えよう	1													
736	4	下	「便利」について考えよう	昔は、今ほど便利ではなかったのでしょうか。		1												
737	4	下	「便利」について考えよう	昔にくらべて便利になったと思うものを出し合ってみましょう。	1													
738	4	下	「便利」について考えよう	木下さんのおばあさんは、続けて何が言いたいのでしょうか。		1												
739	4	下	「便利」について考えよう	想ぞうして話し合ってみましょう。	1													
740	4	下	「便利」ということ	段落に気をつけて、書き手の考えを読み取ろう	1													
741	4	下	「便利」ということ	次のことに気をつけて、書き手の考えを読み取りましょう。	1													
742	4	下	「便利」ということ	「便利」について話し合おう	1													
743	4	下	「便利」ということ	『「便利」について考えよう』の学習も思い出して、もう一度次のことを話し合ってみましょう。	1													
744	4	下	「便利」ということ	「便利」ということについて、書き手がどのような具体例で、どんな考えを書いているかがわかりましたか。		1												
745	4	下	ポスターセッションで発表しよう	ポスターセッションで発表しよう	1													
746	4	下	ポスターセッションで発表しよう	ポスターセッションをしよう	1													
747	4	下	ポスターセッションで発表しよう	身のまわりの道具やせつびが、だれにとって便利なのかをグループで調べ、ポスターセッションをしてみましょう。	1													
748	4	下	ポスターセッションで発表しよう	調べたことをもとに、わかりやすく発表することができましたか。		1												
749	4	下	ポスターセッションで発表しよう	発表を聞いて、質問や意見、感想を伝えられましたか。		1												
750	4	下	漢字の広場	反対の意味の漢字を組み合わせた言葉を集めましょう。	1													
751	4	下	漢字の広場	にた意味の漢字を組み合わせた言葉を集めましょう。	1													
752	4	下	漢字の広場	（　）にはどんな言葉が入るでしょう。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
753	4	下	漢字の広場	次の言葉のそれぞれの漢字の意味を漢字辞典で調べ、どのように組み合わせられているかを考えましょう。	1													
754	4	下	漢字の広場	組み合わせる漢字をヒントにして、どんな漢字があてはまるのかを、考えましょう。	1													
755	4	下	段落と段落とのつながりを考えて書こう	段落と段落とのつながりを考えて書こう	1													
756	4	下	段落と段落とのつながりを考えて書こう	身近なできごとを選んで、中心となる場面の心の動きが生き生きと表れるように書こう。	1													
757	4	下	心の動きがわかるように	為広さんのように、身近なできごとの中から心が動いたことを選んで、作文に書きましょう。	1													
758	4	下	心の動きがわかるように	どの部分か、たしかめてみましょう。	1													
759	4	下	心の動きがわかるように	みなさんも、どんなできごとを書くかを決めたあと、心の動いた場面をはっきりさせて、そこを中心に書くようにしましょう。	1													
760	4	下	心の動きがわかるように	また、文章の「初め」、「中」、「終わり」を考えたり、その中の一つ一つの段落をどこで分けるかをはっきりさせたりして書きましょう。	1													
761	4	下	心の動きがわかるように	そうなるまでの心の動きを、かぎかっこの部分などに目を向けながらたしかめてみましょう。	1													
762	4	下	心の動きがわかるように	心の動きが読み手に伝わるように、かぎかっこを使ったり、言葉を選んだりしながら、くふうして書いてみましょう。	1													
763	4	下	心の動きがわかるように	為広さんのようなチェック表を作って作文を読み直し、書き足りないところや書き直したいところをたしかめて、清書をしましょう。	1													
764	4	下	心の動きがわかるように	最後に、友達と読み合って、心の動いた場面が生き生きとわかるように書かれているか、感想を出し合いましょう。	1													
765	4	下	心の動きがわかるように	心の動いた場面を中心にして、様子や気持ちを生き生きと書くことができましたか。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
766	4	下	修飾語	次の文の（　）に、大きい　か　大きく　という言葉を入れて、それぞれの意味をくらべましょう。	1													
767	4	下	修飾語	次の言葉をアの文の（　）に入れ、「どんな」を表す言葉か、「どのように」を表す言葉かをイのような図にしめして、考えましょう。	1													
768	4	下	修飾語	（1）（2）の文の組み立てを、図に表して考えましょう。	1													
769	4	下	漢字の広場	つぎの□に、場面の様子や意味を考えて、下から正しい漢字を入れましょう。	1													
770	4	下	漢字の広場	次の文では、下のどちらが正しいでしょう。		1												
771	4	下	漢字の広場	それぞれの言葉の意味を国語辞典で調べて、短い文を作りましょう。	1													
772	4	下	漢字の広場	「キ」と読む漢字を□に入れて、木を完成させましょう。	1													
773	4	下	心の通い合いを読もう	心の通い合いを読もう	1													
774	4	下	心の通い合いを読もう	「ごん」や「兵十」の様子や場面を想ぞうしながら読み、自分の感想をもとう。	1													
775	4	下	ごんぎつね	次の場面を読みましょう。	1													
776	4	下	ごんぎつね	「ひとりぼっちの兵十か。」のあとには、ごんのどのような言葉が続くか、話し合ってみましょう。	1													
777	4	下	ごんぎつね	次のことをノートにまとめて、発表し合いましょう。	1													
778	4	下	ごんぎつね	『ごんぎつね』を読んで、いちばん心を打たれたことを中心に、感想を書きましょう。	1													
779	4	下	ごんぎつね	また、書いた感想を発表しましょう。	1													
780	4	下	ごんぎつね	書いた感想の中に、心を打たれたことが書かれていますか。		1												
781	4	下	ごんぎつね	次のような言い方を知っていますか。		1												
782	4	下	ごんぎつね	国語辞典などを使って、慣用句を集めてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
783	4	下	ごんぎつね	集めた慣用句を使って、短い文を作ってみましょう。	1													
784	4	下	ローマ字	Ro^mazi-hyo^を見て、読んだり書いたりしましょう。	1													
785	4	下	ローマ字	上の表を見ながら、ローマ字で短い言葉を書いてみましょう。	1													
786	4	下	国語の学習　これまで　これから	この一年間、『ひろがる言葉』で、どのような学習をしてきましたか。		1												
787	4	下	国語の学習　これまで　これから	目次や「どんな学習ができるかな」をもとにして、心に残った学習をふり返りましょう。	1													
788	4	下	国語の学習　これまで　これから	例を参考にして、書き出してみましょう。	1													
789	4	下	国語の学習　これまで　これから	国語の学習で、どんな力をつけることができましたか。		1												
790	4	下	国語の学習　これまで　これから	書き出して、発表し合いましょう。	1													
791	4	下	国語の学習　これまで　これから	五年生になったら、どんな学習をしてみたいですか。		1												
792	4	下	国語の学習　これまで　これから	ノートに書きましょう。	1													
793	4	下	活用しよう	活用しよう	1													
794	4	下	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1													
795	4	下	漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字は読み方や書き方をおぼえよう。	1													
796	4	下	漢字を学ぼう	三年生で学んだ漢字は、使えるようになろう。	1													
797	4	下	方言について知ろう	みなさんの住んでいる所では、「ありがとう」や、じゃんけんのかけ声は、どのように言いますか。		1												
798	4	下	方言について知ろう	次の言葉についても、みなさんの住んでいる所での言い方をたしかめてみましょう。	1													
799	4	下	好きな物語を光と動きで表そう	好きな物語を光と動きで表そう	1													
800	4	下	好きな物語を光と動きで表そう	かいじゅうたちのいる島には、どんな植物がはえているのかな？		1												
801	4	下	好きな物語を光と動きで表そう	さあ、みんなでかいじゅうになって大あばれしてみよう。	1													
802	4	下	好きな物語を光と動きで表そう	かいじゅうって、どんなふうに歩くかな。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
803	5	上	どんな学習をしようかな	自分の立場をはっきりさせながら、計画的に話し合おう。	1			1	1				1		1			1
804	5	上	どんな学習をしようかな	相手の立場や主張をそんちょうして聞こう。	1			1	1				1		1			1
805	5	上	どんな学習をしようかな	文章の内容を的確にとらえたり、気持ちを想像したりしながら読もう。	1			1			1		1		1			1
806	5	上	どんな学習をしようかな	調べるために、さまざまな資料を活用しよう。	1			1					1		1			1
807	5	上	どんな学習をしようかな	情報を整理して書こう。	1			1		1			1		1			1
808	5	上	どんな学習をしようかな	文章の組み立てをくふうして書こう。	1			1		1			1		1			1
809	5	上	どんな学習をしようかな	話すときの言葉の調子に気をつけよう。	1			1	1				1		1			1
810	5	上	どんな学習をしようかな	日本語の由来について知ろう。	1			1				1			1			1
811	5	上	どんな学習をしようかな	漢字を学ぼう。	1			1		1		1	1		1			1
812	5	上	声に出して伝え合おう	声に出して伝え合おう	1			1	1				1		1			1
813	5	上	声に出して伝え合おう	さあ、始めよう	1			1	1					1	1			1
814	5	上	声に出して伝え合おう	友達に声をとどけましょう。	1			1	1				1		1			1
815	5	上	声に出して伝え合おう	友達の声を受け取りましょう。	1			1	1				1		1			1
816	5	上	自分をアピールしよう	友達に、自分のじまんできること、がんばっていることなどを伝えてみましょう。	1		1		1				1	1	1		1	
817	5	上	自分をアピールしよう	自分のことを、友達にアピールすることができましたか。		1	1		1				1		1		1	
818	5	上	自分をアピールしよう	スピーチをするときには、左にあげたことに気をつけましょう。	1		1		1				1		1			1
819	5	上	話し方を考えよう	一線の言葉の調子に気をつけて、次のせりふを音読しましょう。	1		1				1		1		1			1
820	5	上	話し方を考えよう	次の文末を、（　）の意味にふさわしい調子で音読しましょう。	1		1				1		1		1			1
821	5	上	話し方を考えよう	男の子のせりふのどの言葉を強調するかを考えながら、二人のせりふを音読しましょう。	1		1				1		1		1			1
822	5	上	話し方を考えよう	こめられている気持ちを考えながら、次のせりふの中で強調して読む言葉の横に「＝」を書き入れ、音読しましょう。	1		1				1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
823	5	上	情報ノート	興味のあることや疑問に思ったことについて、新聞や本、インターネットで情報を見つけたり調べたりして、「情報ノート」に書きためていきましょう。	1		1			1			1	1	1		1	
824	5	上	情報ノート	みなさんも、いろいろなところから見つけてきた情報を、「情報ノート」に集めていきましょう。	1		1			1			1	1	1		1	
825	5	上	情報ノート	そして、これからの学習に生かしていきましょう。	1		1			1			1	1	1			1
826	5	上	心を見つめて読もう	心を見つめて読もう	1			1			1		1		1			1
827	5	上	心を見つめて読もう	表現と関連づけて、大樹の気持ちの移り変わりを読み取ろう。	1			1			1		1		1			1
828	5	上	五月になれば	文章の中から「時を表す言葉」を見つけ、物語の流れをノートに整理して、発表しましょう。	1			1	1				1		1			1
829	5	上	五月になれば	両親と大樹が転校について話し合う場面（２３ページ）の、それぞれの人物の気持ちや考えていることを話し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
830	5	上	五月になれば	文章の表現で気に入ったところについて、どのようなところがよいのかを考えてみましょう。	1			1			1		1		1		1	
831	5	上	五月になれば	また、その場面をくり返し音読しましょう。	1			1			1		1		1			1
832	5	上	五月になれば	次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。	1			1								1		
833	5	上	五月になれば	大樹の気持ちの移り変わりがわかるように、大樹にインタビューしましょう。	1			1	1				1		1		1	
834	5	上	五月になれば	大樹になったつもりで、できごとを日記の形でノートに書きましょう。	1			1		1			1		1		1	
835	5	上	五月になれば	それぞれの学習で、大樹の気持ちをとらえて、書いたり、話し合ったりすることができましたか。		1		1	1				1			1	1	
836	5	上	五月になれば	グループで確かめ合いましょう。	1			1					1			1	1	
837	5	上	熟語のしりとり	□の中の漢字を用いて、左のような熟語のしりとりを完成させよう。	1		1			1		1	1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
838	5	上	熟語のしりとり	国語辞典や漢字辞典を使って、このような熟語のしりとりをしてみましょう。	1		1					1	1		1		1	
839	5	上	熟語のしりとり	国語辞典や漢字辞典を使って、漢字についてのクイズを作りましょう。	1		1					1	1		1		1	
840	5	上	熟語のしりとり	それらを次のようなクイズカードに書きこみ、友達と問題を出し合いましょう。	1		1			1		1				1	1	
841	5	上	情報を整理して書こう	情報を整理して書こう	1			1		1			1		1			1
842	5	上	情報を整理して書こう	見学したり、調べたりして情報を集め、課題にそって記録文ににまとめましょう。	1			1		1			1		1			1
843	5	上	見学したことをもとに	放送局や工場、流通センターなどを見学したときや、農業や漁業の体験をした時、そこで調べたことやわかったことを、記録文にまとめてみましょう。	1		1			1			1		1			1
844	5	上	見学したことをもとに	どんなことを調べたいのか、自分の課題をはっきりともって、見学したり、体験したりしましょう。	1		1			1			1		1			1
845	5	上	見学したことをもとに	見学したり、体験したりしてわかったことがよく伝わるように、組み立てや表現の仕方のくふうをして、記録文を書けましたか。		1	1			1			1		1			1
846	5	上	和語・漢語・外来語	次の二つの文を読みくらべてみましょう。	1		1				1	1			1			1
847	5	上	和語・漢語・外来語	自分が知っている外来語を書き出し、世界のどの言葉から入ってきたものなのかを辞書で調べてみましょう。	1		1					1	1		1		1	
848	5	上	和語・漢語・外来語	次のそれぞれの言葉の感じや、使い方のちがいなどについて話し合ってみましょう。	1		1		1			1			1		1	
849	5	上	熟語の組み立て	次の熟語の意味を考え、国語辞典を使って確かめましょう。	1		1					1	1		1			1
850	5	上	内容を的確におさえながら読もう	内容を的確におさえながら読もう	1			1			1		1		1			1
851	5	上	内容を的確におさえながら読もう	筆者の言いたいことに着目して、まんがの方法をさぐろう。	1			1			1		1		1			1
852	5	上	内容を的確におさえながら読もう	身近なことのおもしろさについて、さまざまな本や資料を読み、必要な情報をまとめて発表しよう。	1			1	1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
853	5	上	まんがの方法	では、そのおもしろさのひみつは、どんなところにあるのでしょうか。		1	1				1	1		1	1			1
854	5	上	まんがの方法	次のまんがの左下のコマには、「それは来年のことである」という言葉がありますが、これはだれが語っているのでしょうか。		1	1				1	1			1			1
855	5	上	まんがの方法	いままで読んだまんがの中で、おもしろいと思ったものを発表し合いましょう。	1			1	1				1		1		1	
856	5	上	まんがの方法	まんがのおもしろさを生み出している「まんがの方法」とその効果について、わかったことや考えたことを、ノートに書きましょう。	1			1		1		1			1		1	
857	5	上	まんがの方法	それぞれの「まんがの方法」によって、どのような効果が生まれているかを、確かめられましたか。		1		1			1	1			1			1
858	5	上	まんがの方法	グループで好きなまんがを選び、そのなかでどのような「まんがの方法」が使われているかを話し合ってみましょう。	1			1	1			1			1		1	
859	5	上	まんがの方法	「例」のように、次の□で示した「　」や（　）は、どのようなはたらきをしているか話し合ってみましょう。	1			1	1			1			1			1
860	5	上	おもしろさのひみつをさぐろう	みなさんも、おもしろさのひみつについて、調べたことをまとめて発表してみましょう。	1		1		1				1		1		1	
861	5	上	季節の中で	生活の中で、ふと、季節の移り変わりに気づいたことはありませんか。		1	1				1			1	1		1	
862	5	上	季節の中で	身のまわりで気づいた、季節の中でふとしたできごとや、わずかな変化をとらえて、感じたことを詩に書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
863	5	上	季節の中で	いろいろな人の詩集の中から、季節の中で感じたことを書いた詩を見つけて、読みくらべてみましょう。	1		1				1		1		1			1
864	5	上	季節の中で	そして、共感したり、心に深く残ったりした詩との出会いを楽しみましょう。	1		1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
865	5	上	季節の中で	自分でも、詩集で出会った詩の題材や表現を参考にしながら、心に感じたことを詩に書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	
866	5	上	季節の中で	そして、学級や個人の詩集まとめ、みんなで読み味わってみましょう。	1		1				1		1			1		
867	5	上	読んでみよう・書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1		1			1		1			1		1	
868	5	上	考えを伝え合って深めよう	考えを伝え合って深めよう	1			1	1				1		1			1
869	5	上	考えを伝え合って深めよう	討論会をして意見を出し合ったり、意見をもとに文章にまとめたりしましょう。	1			1	1				1		1			1
870	5	上	どちらを選びますか	討論会をしよう	1		1		1				1		1			1
871	5	上	どちらを選びますか	根拠をあげて聞き手をなっとくさせる話し方をするように気をつけて、討論会をしてみましょう。	1		1		1				1		1			1
872	5	上	どちらを選びますか	みなさんなら、どちらを選びますか。		1	1		1					1	1			1
873	5	上	どちらを選びますか	二組に分かれて、意見をのべ合ってみましょう。	1		1		1				1			1	1	
874	5	上	どちらを選びますか	しん判の判定が終わったら、みんなでそれぞれのグループのよかった点や気になった点などについて、話し合ってみましょう。	1			1	1				1			1	1	
875	5	上	どちらを選びますか	ほかの話題についても、理由をはっきりさせて討論してみましょう。	1		1		1				1			1		1
876	5	上	どちらを選びますか	コラムを書こう	1		1			1			1		1		1	
877	5	上	どちらを選びますか	新聞や本にのっている、いろいろなコラムを読んでみましょう。	1		1				1		1		1			1
878	5	上	どちらを選びますか	そして、おもしろいと思った話題や表現について、話し合ってみましょう。	1		1		1				1			1		1
879	5	上	どちらを選びますか	みなさんも、討論会を終えたら、自分の意見として考えていることについて、そのわけや根拠を明らかにしながら、コラムに書いてみましょう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
880	5	上	どちらを選びますか	話し合いをとおして意見が変わったり、新しい見方をするようになったりしたら、そのわけも書くようにしましょう。	1		1			1			1		1			1
881	5	上	どちらを選びますか	コラムを書いたら、学校新聞などにのせ、友達と読み合いましょう。	1		1				1		1			1		1
882	5	上	どちらを選びますか	そして、次のようなことを感想カードに書いて、交かんしましょう。	1		1			1			1	1		1		1
883	5	上	どちらを選びますか	興味をもったり疑問を感じたりしたとき、その話題や、その話題に関する自分の考えや意見を、コラムの形にくふうして書けましたか。		1		1		1			1		1			1
884	5	上	結びついてできる言葉	二つの部分に分けて意味を考えましょう。	1		1		1			1			1			1
885	5	上	結びついてできる言葉	□の中の漢字が結びついてできる言葉をさがして、つなぎましょう。	1		1			1		1			1			1
886	5	上	結びついてできる言葉	どこの読み方が変わりますか。		1	1			1		1			1			1
887	5	上	結びついてできる言葉	次の言葉が結びついてできている言葉を考えましょう。	1		1			1		1			1			1
888	5	上	結びついてできる言葉	下のそれぞれの言葉に打ち消すぼうしをかぶせましょう。	1		1			1		1			1			1
889	5	上	生き方を見つめて読もう	生き方を見つめて読もう	1			1			1		1		1			1
890	5	上	生き方を見つめて読もう	場面の様子や大造じいさんの気持ちを想像しながら読み、生き方について考えよう。	1			1					1		1		1	
891	5	上	大造じいさんとがん	大造じいさんが残雪をとらえるために、どのような方法をとったかをノートに整理し、発表しましょう。	1			1	1				1			1		
892	5	上	大造じいさんとがん	大造じいさんは、残雪に対してどのような思いをもっていましたか。		1		1			1	1			1		1	
893	5	上	大造じいさんとがん	また、その変わっていた理由を話し合ってみましょう。	1			1	1			1				1		
894	5	上	大造じいさんとがん	大造じいさんの残雪に対する思いの変化について考え、話し合うことができましたか。		1		1	1				1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
895	5	上	大造じいさんとがん	このような表現を見つけてノートに書き出し、音読してみましょう。	1			1		1			1		1			1
896	5	上	活用しよう	活用しよう	1			1							1			1
897	5	上	調べたい	インターネットで調べよう	1		1			1		1			1		1	
898	5	上	調べたい	調べたことを整理しよう	1		1			1			1		1		1	
899	5	上	調べたい	整理してしっかり保存しよう。	1		1						1		1			1
900	5	上	調べたい	ビデオも場合も、さつえい日時、さつえい者、さつえい場所を明記しよう。	1		1						1		1			1
901	5	上	調べたい	情報がたくさん集まったら、情報の「グループ分け」をして、考えを整理しよう。	1		1						1		1			1
902	5	上	もっと読みたい	日本各地の民話を読んでみよう。	1		1				1	1			1			1
903	5	上	もっと読みたい	「三まいのお札」など、日本じゅうから集められた昔話を楽しもう。	1		1				1	1			1			1
904	5	上	もっと読みたい	アイヌの人々が語り伝えた話にふれよう。	1		1				1	1			1			1
905	5	上	もっと読みたい	「クスケー」という方言はどんな意味かな。		1	1				1	1			1			1
906	5	上	もっと読みたい	沖縄の民話を読んでみよう。	1		1				1	1			1			1
907	5	下	どんな学習をしようかな	発表の仕方をくふうして、調べたことを発表しよう。	1			1	1				1		1		1	
908	5	下	どんな学習をしようかな	発表の内容を聞き取り、感想をもとう。	1			1	1				1		1			1
909	5	下	どんな学習をしようかな	筆者の言いたいことを考えながら読もう。	1			1			1		1		1			1
910	5	下	どんな学習をしようかな	作者やテーマを決めて、「読書発表会」をしよう。	1			1	1				1			1	1	
911	5	下	どんな学習をしようかな	考えがはっきり伝わるように、構成をくふうしよう。	1			1		1			1		1			1
912	5	下	どんな学習をしようかな	事実をもとに、自分の意見をはっきり書こう。	1			1		1			1		1			1
913	5	下	どんな学習をしようかな	言葉には、さまざまな種類があることを知ろう。	1			1				1			1			1
914	5	下	どんな学習をしようかな	方言について知ろう。	1			1				1			1			1
915	5	下	どんな学習をしようかな	漢字を学ぼう。	1			1		1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
916	5	下	思いをこめて読んでみよう	思いをこめて読んでみよう	1			1			1		1		1			1
917	5	下	思いをこめて読んでみよう	あなたにひびいてきたこの心を、声に出して表現してみましょう。	1			1	1				1		1		1	
918	5	下	情報を正確にとらえよう	情報を正確にとらえよう	1			1			1		1		1			1
919	5	下	情報を正確にとらえよう	事実と意見の関係に注意しながら、文章構成をとらえたり、放送原こうに書いたりしよう。	1			1		1			1		1			1
920	5	下	森を育てる炭作り	次の事がらについて、読み取ったことをノートにまとめましょう。	1			1		1			1		1			1
921	5	下	森を育てる炭作り	次の点に注意して、文章構成のくふうについて話し合ってみましょう。	1			1	1				1			1		1
922	5	下	森を育てる炭作り	この文章を、筆者の言いたいことを中心に要約し、短い文で要旨をまとめてみましょう。	1			1		1			1		1			1
923	5	下	森を育てる炭作り	次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。	1			1								1		1
924	5	下	森を育てる炭作り	新たにわかったこと、炭の使われ方について考えたことを、まとめたり発表したりすることができましたか。		1		1	1				1			1		1
925	5	下	森を育てる炭作り	グループで確かめ合いましょう。	1			1					1			1		1
926	5	下	放送原こうを書こう	放送原こうを読み合い、聞いていてわかりやすい文章を書くくふうをしましょう。	1		1			1			1		1		1	
927	5	下	放送原こうを書こう	書いた放送原こうをおたがいに読み合い、よいところや感想を話し合いましょう。	1		1		1				1			1	1	
928	5	下	放送原こうを書こう	そして、校内放送で読んでみたりビデオライブラリーにとっておいたりして、いろいろな人に感想を聞いてみましょう。	1		1		1				1			1		1
929	5	下	放送原こうを書こう	聞き手にとってわかりやすい構成で、放送原こうを書くことができましたか。		1		1		1			1		1			1
930	5	下	言葉の種類	次の―線の言葉の中から、物や事がらの名前を表す言葉を選びましょう。	1		1					1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
931	5	下	言葉の種類	次の文の中から名詞と動詞をぬき出しましょう。	1		1					1			1			1
932	5	下	言葉の種類	文の意味を考えながら、下の□の中の様子を表す言葉を、（　）に合う形にして入れましょう。	1		1			1		1			1			1
933	5	下	言葉の種類	次の―線の言葉のちがいを考えましょう。	1		1				1	1			1			1
934	5	下	同じ読み方の漢字	「関心」と「感心」の意味を国語辞典で調べて、次の文にあてはめましょう。	1		1					1	1		1			1
935	5	下	同じ読み方の漢字	意味や使い方に注意して、□にあてはまる漢字を書きましょう。	1		1			1		1			1			1
936	5	下	同じ読み方の漢字	意味や使い方に注意して、□にあてはまる漢字を下から選びましょう。	1		1			1		1			1			1
937	5	下	本の世界を深めよう	本の世界を深めよう	1			1			1		1		1			1
938	5	下	本の世界を深めよう	作者やテーマを決めて本を読み、新しい世界を見つけてみましょう。	1			1			1		1		1			1
939	5	下	本の世界を深めよう	『雪わたり』を読んで、宮沢賢治の世界を味わいましょう。	1			1			1		1		1			1
940	5	下	「読書発表会」をしよう	今までに読んだ本の中から、心に残ったものを何さつかずつ選び、しょうかいし合いましょう。	1		1		1			1				1	1	
941	5	下	「読書発表会」をしよう	本を選ぶときは、それぞれの本に共通する事がらや話題をもとに、テーマを決めておきましょう。	1		1				1		1		1		1	
942	5	下	「読書発表会」をしよう	みなさんも、「読書発表会」をしてみましょう。	1		1		1		1			1		1		1
943	5	下	「読書発表会」をしよう	次の例を参考にして、自分のテーマを決めましょう。	1		1				1		1		1		1	
944	5	下	ことわざ	みなさんは、「いろはかるた」で遊んだことはありませんか。		1	1							1	1			1
945	5	下	ことわざ	身近な人にことわざについてきいたり、図書館で調べてみたりして、どのような生活のちえがこめられているか、話し合いましょう。	1		1		1			1				1	1	
946	5	下	ことわざ	自分でなるほどと思ったことわざを思い出して、そのことわざには、表現上、どのようなくふうがしてあるか話し合いましょう。	1		1		1			1				1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
947	5	下	ことわざ	また、自分でもことわざを作ってみましょう。	1		1			1		1			1		1	
948	5	下	ことわざ	なかなかいい言い回しが思いうかばないときは、自分の好きなことわざを一つ選んで、言いかえてみたり、表現の仕方をまねしてみましょう。	1		1			1			1		1			1
949	5	下	読んでみよう・書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、言葉や短い文を作りましょう。	1		1			1		1			1		1	
950	5	下	課題を見つけて伝え合おう	課題を見つけて伝え合おう	1			1	1				1			1	1	
951	5	下	課題を見つけて伝え合おう	読み取ったことをもとに、日本語について調べたことを発表しあおう。	1			1	1				1			1	1	
952	5	下	日本語を考える	いくつか例をあげて、一緒に考えてみよう。	1		1			1				1		1	1	
953	5	下	日本語を考える	筆者の考えをまとめよう	1		1			1			1		1			1
954	5	下	日本語を考える	次のことに注意して読み、あとのような表にまとめましょう。	1		1			1			1		1			1
955	5	下	日本語を考える	自分の考えをまとめよう	1		1			1			1		1		1	
956	5	下	日本語を考える	三つの例について、どのような感想や意見を持ちましたか。		1	1			1		1			1		1	
957	5	下	日本語を考える	ノートに書いて発表し合いましょう。	1		1		1	1			1			1	1	
958	5	下	日本語を考える	経験を発表しあいましょう	1		1		1				1			1	1	
959	5	下	日本語を考える	三つの例のようなことが、ほかにありませんか。		1	1					1			1		1	
960	5	下	日本語を考える	ふだんの生活の中から、「あれ、この日本語おもしろいな。」「変な使い方だな」と思ったことや、言いたいことがうまく伝わらなかった経験などを発表し合ってみましょう。	1		1		1				1			1	1	
961	5	下	日本語を考える	また、身のまわりの人にも同じような経験があるか、たずねてみましょう。	1		1		1					1	1		1	
962	5	下	日本語について調べよう	みなさんも、宮下さんたちの発表を参考にして、日本語についてのテーマを考え、くふうして発表してみましょう。	1		1		1				1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
963	5	下	日本語について調べよう	友達の発表を聞いた感想や、興味をもったことを出し合ってみましょう。	1		1		1			1				1	1	
964	5	下	日本語について調べよう	聞き手の立場を考えて、くふうして発表することができましたか。		1		1	1				1			1		1
965	5	下	日本語について調べよう	発表を聞き、感想や意見を伝え合うことができましたか。		1		1	1				1			1		1
966	5	下	漢字の成り立ち（一）	次の漢字のもとになっている物の形を下から選び、線で結びましょう。	1		1			1		1			1			1
967	5	下	漢字の成り立ち（一）	―線の漢字の中で、物の形かたできた漢字はどれか、漢字辞典で調べましょう。	1		1					1			1			1
968	5	下	漢字の成り立ち（一）	次の漢字のでき方を下から選び、線で結びましょう。	1		1			1		1			1			1
969	5	下	漢字の成り立ち（一）	―線の漢字は、①②のどちらの成り立ちにあてはまるものか、漢字辞典で調べましょう。	1		1					1			1			1
970	5	下	構成をくふうして書こう	構成をくふうして書こう	1			1		1			1		1			1
971	5	下	構成をくふうして書こう	構成をくふうして、体験した事実をもとに、自分の意見をはっきり書こう。	1			1		1			1		1			1
972	5	下	感じたり考えたりしたことを	そうした体験の中から、感じたり考えたりしたことを書いてみましょう。	1		1			1			1		1			1
973	5	下	感じたり考えたりしたことを	佐藤さんの作文を参考にしながら、学校や家で、また、地域の中であった、いろいろな体験を思いうかべてみましょう。	1		1			1		1			1		1	
974	5	下	感じたり考えたりしたことを	そして、ある時の体験がもとになってもつようになった意見や、同じような体験をくり返す中で、考えたり感じたりしていることの中から、題材を選んで、書きましょう。	1		1			1			1		1		1	
975	5	下	感じたり考えたりしたことを	この図を参考に、①から⑤までのまとまりの順序を入れかえるとどんな文章になるかを考えて、自分が作文の構成を考えるときの参考にしましょう。	1		1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
976	5	下	感じたり考えたりしたことを	体験したことを書くときには、その時の自分の行動や会話、様子などの事実をしっかりと書きましょう。	1		1			1			1		1			1
977	5	下	感じたり考えたりしたことを	また、まとまった考えや意見を書くところでは、改行するようにしましょう。	1		1			1			1		1			1
978	5	下	感じたり考えたりしたことを	そして、それぞれの文の内容が、事実であるのか、意見であるのか、はっきりするように、文の終わりの表現にも気をつけましょう。	1		1			1			1		1			1
979	5	下	感じたり考えたりしたことを	書き終わったら、まず、文章の構成を見直してみましょう。	1		1			1			1		1			1
980	5	下	感じたり考えたりしたことを	体験や事実を書いたところと、考えや意見を中心に書いたところを確かめて、文の終わりが適切かどうかを確かめてみましょう。	1		1			1			1		1			1
981	5	下	感じたり考えたりしたことを	どのような体験から、どのような考えをもつようになったのか、事実と意見をはっきりさせて、構成をくふうして書くことができましたか。		1		1		1			1		1			1
982	5	下	方言とアクセント	地図を見て気がついたことを話し合ってみましょう。	1		1		1			1				1	1	
983	5	下	方言とアクセント	みなさんの住んでいる所では、家族のことをよぶ言い方にどんなものがありますか。		1	1					1			1		1	
984	5	下	方言とアクセント	いろいろな場面を考えて、次の□に入れてみましょう。	1		1			1		1			1		1	
985	5	下	方言とアクセント	―線の言葉の発音に注意して読んでみましょう。	1		1				1		1		1			1
986	5	下	方言とアクセント	―線の言葉のアクセントに気をつけながら読んでみましょう。	1		1				1		1		1			1
987	5	下	方言とアクセント	相手や場面によって、方言や共通語がどのように使い分けられているのか、考えてみましょう。	1		1				1	1			1		1	
988	5	下	方言とアクセント	方言が使われている詩や物語をさがして、しょうかいし合いましょう。	1		1		1			1				1	1	
989	5	下	漢字の成り立ち（二）	次の漢字のもとになっている漢字を、□に書きましょう。	1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
990	5	下	漢字の成り立ち（二）	次の―線の漢字のでき方を、漢字辞典で調べてみましょう。	1		1					1			1			1
991	5	下	漢字の成り立ち（二）	左の〇の空いている部分に、下から漢字を選んであてはめ、正しい漢字を完成させましょう。	1		1			1		1			1			1
992	5	下	生き方を考えながら読もう	生き方を考えながら読もう	1			1			1		1		1			1
993	5	下	生き方を考えながら読もう	童謡詩人金子みすゞに思いを寄せる筆者の、行動や気持ちを読み取ろう。	1			1			1		1		1			1
994	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	次の場面を読みましょう。	1			1			1		1		1			1
995	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	この文には、筆者のどのような思いが表されているかを話し合いましょう。	1			1	1				1			1		1
996	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	また、ほかにも筆者の思いが表れているところをさがしましょう。	1			1			1	1			1			1
997	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	筆者はみすゞの作品のどのようなところに心をひかれたのか、話し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
998	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	「いつ」「どのような」ことがあったのかに気をつけて、筆者のみすゞさがしの旅を表にまとめてみましょう。	1			1			1		1		1			1
999	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	そして、その時その時の筆者の気持ちを確かめてみましょう。	1			1			1	1			1		1	
1000	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	金子みすゞの作品にひかれた筆者の気持ちを考えながら、表にまとめることができましたか。		1		1		1			1		1			1
1001	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	みすゞのほかの作品を図書館などでさがしましょう。	1			1			1	1			1		1	
1002	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	そして、好きな作品を選んで音読の練習をし、友達と発表し合いましょう。	1			1	1		1		1			1	1	
1003	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	次の―線の言い方を使って、短い文を作ってみましょう。	1			1		1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1004	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	次の文で、「言う（いう）」が表す意味を比べてみましょう。	1			1			1	1			1			1
1005	5	下	みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい	そして、本文の中から、それぞれと同じ使い方のものをさがしてみましょう。	1			1			1	1			1			1
1006	5	下	これまで　これから	この一年間、『ひろがる言葉』で、どのような学習をしてきましたか。		1		1		1		1			1		1	
1007	5	下	これまで　これから	下の例のような書き出しを参考にして、書いてみましょう。	1			1		1			1		1		1	
1008	5	下	これまで　これから	「学習のとびら」や「学習のてびき」は、どんなときに使いましたか。		1		1	1			1			1		1	
1009	5	下	これまで　これから	また、これからどんな活動をしてみたいですか。		1		1	1				1		1		1	
1010	5	下	これまで　これから	話し合いましょう。	1			1	1				1			1	1	
1011	5	下	これまで　これから	国語の学習で、前より自信がもてるようになったことはありますか。		1		1				1			1		1	
1012	5	下	これまで　これから	みんなで学んできたことを出し合い、それらをもとに、一人一人ふり返りましょう。	1			1				1			1		1	
1013	5	下	これまで　これから	六年生になったら、国語の学習でどんなことをしてみたいですか。		1		1		1				1	1		1	
1014	5	下	これまで　これから	ノートに書き出してみましょう。	1			1		1			1		1		1	
1015	5	下	活用しよう	活用しよう	1			1							1			1
1016	5	下	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1			1		1		1			1			1
1017	5	下	遊びたい	物語の世界を作ろう	1		1						1			1		1
1018	6	上	どんな学習をしようかな	これから学ぶことを知ろう	1													
1019	6	上	どんな学習をしようかな	話そう・聞こう	1													
1020	6	上	どんな学習をしようかな	たがいの意見を受け止めながら、計画的に話し合おう。	1													
1021	6	上	どんな学習をしようかな	相手の意見を考えながら聞こう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1022	6	上	どんな学習をしようかな	読もう	1													
1023	6	上	どんな学習をしようかな	内容や様子をとらえたり、文章を味わったりして読もう。	1													
1024	6	上	どんな学習をしようかな	さまざまな本を選んで読もう。	1													
1025	6	上	どんな学習をしようかな	短歌や俳句に親しもう。	1													
1026	6	上	どんな学習をしようかな	書こう	1													
1027	6	上	どんな学習をしようかな	情報をもとに、間が和えを整理して書こう。	1													
1028	6	上	どんな学習をしようかな	目的や相手に応じて、効果的に表現しよう。	1													
1029	6	上	どんな学習をしようかな	言葉を学ぼう	1													
1030	6	上	どんな学習をしようかな	日本語のリズムや言い回しの特徴を知ろう。	1													
1031	6	上	どんな学習をしようかな	意味をそえる言葉のはたらきを知ろう。	1													
1032	6	上	どんな学習をしようかな	漢字を学ぼう。	1													
1033	6	上	さあ、はじめよう	さあ、はじめよう	1													
1034	6	上	声に出して伝え合おう	声に出して伝え合おう	1													
1035	6	上	声に出して伝え合おう	友達に声をとどけましょう。	1													
1036	6	上	声に出して伝え合おう	友達の声を受け取りましょう。	1													
1037	6	上	リレースピーチをしよう	リレースピーチをしよう	1													
1038	6	上	リレースピーチをしよう	みなさんは、世の中の動きで関心をもったことはありませんか。		1												
1039	6	上	リレースピーチをしよう	身のまわりで起きたことなどを取り上げ、「リレースピーチ」をしてみましょう。	1													
1040	6	上	リレースピーチをしよう	友達の話の中の、中心となるところ（要点）をおさえ、話をつなぎましょう。	1													
1041	6	上	リレースピーチをしよう	みんなで考えを深め合うことのできる話題を選びましょう。	1													
1042	6	上	リレースピーチをしよう	みなさんも、グループごとに毎週話題を変えて、リレースピーチを続けてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1043	6	上	リレースピーチをしよう	友達の話の要点をとらえて、自分の考えを整理して話すことができましたか。		1												
1044	6	上	リレースピーチをしよう	話し手の意図をとらえながら話すことができましたか。		1												
1045	6	上	言葉のリズムを楽しもう	言葉のリズムを楽しもう	1													
1046	6	上	言葉のリズムを楽しもう	次の二つの歌を知っていますか。		1												
1047	6	上	言葉のリズムを楽しもう	七音と五音の組み合わせでできている歌や文句をさがしましょう。	1													
1048	6	上	言葉のリズムを楽しもう	次の歌は、どのようなところに特徴がありますか。		1												
1049	6	上	言葉のリズムを楽しもう	言葉や文の、初めや終わりに決まった音を使って、リズムのある言い回しを作ってみましょう。	1													
1050	6	上	創作ノート	詩、感想文、意見文、物語など、いろいろな種類の文章を書きためていく「創作ノート」を作りましょう。	1													
1051	6	上	創作ノート	そして、毎日の生活の中で、目にしたものや心に残ったこと、考えた意見を、いろいろな表現の仕方で書き留めておきましょう。	1													
1052	6	上	創作ノート	気に入ったものは、きちんと仕上げて発表してみましょう。	1													
1053	6	上	創作ノート	その時改めて、どういう種類の文章にするのがふさわしいか―詩や感想文がいいのか、意見文がいいのか、物語の形はどうか―考えてみましょう。	1													
1054	6	上	創作ノート	そして、積極的に発表する機会をもち、たくさんの人に読んでもらいましょう。	1													
1055	6	上	心を見つめて読もう	心を見つめて読もう	1													
1056	6	上	心を見つめて読もう	場面の移り変わりに気をつけて、美月の「夢」に対する考えの変化を読み取ろう。	1													
1057	6	上	美月の夢	次の時の、美月の心情や夢について話し合いましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1058	6	上	美月の夢	思いえがいた美月の心情や情景が、聞いている人にも伝わるように、音読してみましょう。	1													
1059	6	上	美月の夢	次のそれぞれの表現を比べて、どのようなちがいがあるか話し合いましょう。	1													
1060	6	上	美月の夢	次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。	1													
1061	6	上	美月の夢	物語を読んで、絵まき物を作りましょう。	1													
1062	6	上	美月の夢	物語を読んで、簡単な台本を書きましょう。	1													
1063	6	上	美月の夢	「絵まき物」や「ミニ台本」で、人物の心情や場面の情景をとらえてかくことができましたか。		1												
1064	6	上	美月の夢	グループで確かめ合いましょう。	1													
1065	6	上	漢字の広場	次の言葉の構成は、①～④のどれにあてはまるでしょう。		1												
1066	6	上	漢字の広場	次の熟語の切れめに/を入れ、構成を考えましょう。	1													
1067	6	上	漢字の広場	次の言葉を省略した形を（　）に書きましょう。	1													
1068	6	上	漢字の広場	略す前の言葉を書きましょう。	1													
1069	6	上	漢字の広場	二字の熟語のカードを組み合わせて、四字の熟語を完成させ、辞典で意味を調べましょう。	1													
1070	6	上	情報をもとに考えをまとめて書こう。	情報をもとに考えをまとめて書こう。	1													
1071	6	上	情報をもとに考えをまとめて書こう。	情報を整理して考えをまとめて書き、発信しよう。	1													
1072	6	上	社会に目を向けて	身近で出会った気になるできごとについて、考えたことをまとめて書いてみましょう。	1													
1073	6	上	社会に目を向けて	書くときには、そのできごとをさまざまな角度から調べましょう。	1													
1074	6	上	社会に目を向けて	そして、調べながら気づいたことや考えたことを、メモなどに整理しながらまとめていきましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1075	6	上	社会に目を向けて	みなさんも、興味をもったことについて、さまざまな資料から得た情報を調べ、事実をもとに自分の考えを整理して書いてみましょう。	1													
1076	6	上	社会に目を向けて	自分にとって必要な情報は何かをよく考えて、調べたことや、それについての考えを書くことができましたか。		1												
1077	6	上	意味をそえる言葉	次の文の―線の言葉を（　）の中の言葉にかえると、意味がどう変わるか、考えましょう。	1													
1078	6	上	意味をそえる言葉	「だけ」を用いて次の文を書きかえ、意味のちがいを考えましょう。	1													
1079	6	上	意味をそえる言葉	次の―線の言葉はどんな意味をそえているか、考えてみましょう。	1													
1080	6	上	意味をそえる言葉	次の□にあとの□の中の言葉をあてはめ、文の意味を考えましょう。	1													
1081	6	上	意味をそえる言葉	次の文の終わりに、あとの□の中の言葉をつけて、意味を比べてみましょう。	1													
1082	6	上	意味をそえる言葉	次の文を音読し、―線の言葉が表している気持ちや態度について話し合いましょう。	1													
1083	6	上	漢字の広場	□に漢字を一字入れて、二字の熟語を四つ作りましょう。	1													
1084	6	上	新しい世界を求めながら読もう	新しい世界を求めながら読もう	1													
1085	6	上	新しい世界を求めながら読もう	自分の経験と照らし合わせて、『ぼくの世界、きみの世界』を考えながら読もう。	1													
1086	6	上	新しい世界を求めながら読もう	テーマを決めて本を読み、自分の考えを広げたり、深めたりしよう。	1													
1087	6	上	ぼくの世界、きみの世界	『ぼくの世界、きみの世界』を読んで、自分にも似た経験があるかどうかを思い出し、発表し合いましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1088	6	上	ぼくの世界、きみの世界	次のそれぞれの例は、筆者がどのようなことを言いたいために用いているのか、話し合ってみましょう。	1													
1089	6	上	ぼくの世界、きみの世界	次の三つの言葉に注意しながら、筆者の言いたいこと、それについての自分の考えをノートにまとめましょう。	1													
1090	6	上	ぼくの世界、きみの世界	筆者の言いたいことについて、自分の経験をもとに、考えたことを書くことができましたか。		1												
1091	6	上	ぼくの世界、きみの世界	例と同じ意味で「れる・られる」が用いられているのは、どの文でしょう。		1												
1092	6	上	新しい世界と出会おう	新しい世界と出会おう	1													
1093	6	上	新しい世界と出会おう	『「自分らしさ」ってなんだろう』		1												
1094	6	上	新しい世界と出会おう	『友達と少しでもわかり合うには、どうしたらよいだろう』		1												
1095	6	上	新しい世界と出会おう	『考えるって、どんなことだろう』		1												
1096	6	上	新しい世界と出会おう	『大人になるって、どういうことかなあ』		1												
1097	6	上	新しい世界と出会おう	みなさんも、自分なりのテーマを決め、そのテーマについての本をいろいろな方法で探して読んでみましょう。	1													
1098	6	上	短歌と俳句	なんでもない句のようですが、目に見えるもの、耳に聞こえてくるもの、はだに伝わる空気の感じ、辺りのにおいなど、わずかな言葉の中にさまざまな想像の世界が広がってくるのではないでしょうか。		1												
1099	6	上	短歌と俳句	まずは、わたしたちに身近な、家族をうたった作品を読んでみましょう。	1													
1100	6	上	短歌と俳句	次の、自然をうたった作品を読んでみましょう。	1													
1101	6	上	短歌と俳句	次の句を読んでみましょう。	1													
1102	6	上	短歌と俳句	思わず笑いがこぼれてくるのではないでしょうか。		1												
1103	6	上	短歌と俳句	気に入った作品を、暗唱し合ってみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1104	6	上	漢字の広場	読んでみよう・書いてみよう	1													
1105	6	上	漢字の広場	□の漢字については、その漢字を使って、熟語や短い文を作りましょう。	1													
1106	6	上	考えを伝え合って深めよう	考えを伝え合って深めよう	1													
1107	6	上	考えを伝え合って深めよう	発表したり、パンフレットにまとめたりして、効果的に伝え合えるようにしよう。	1													
1108	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	パネルディスカッションをしよう	1													
1109	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	未来には、どんな車が生まれているでしょうか。		1												
1110	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	「排気ガス」や「道路の渋滞」は、解決しているでしょうか。		1												
1111	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	効果的に発表するために、くふうすることができましたか。		1												
1112	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	ほかの人の意見を聞き取って、自分の考えをもつことがきましたか。		1												
1113	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	パンフレットを作ろう	1													
1114	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	みなさんも、自分が考えた「未来の車」をパンフレットにまとめてみましょう。	1													
1115	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	パンフレットを作ってしょうかいしよう。	1													
1116	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	グループごとに一人ずつ、自分のパンフレットを示しながら「未来の車」をしょうかいしましょう。	1													
1117	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	しょうかいするときは、書いてあることを順に読んでいくだけでなく、聞き手がより興味をもつように、次のような方法を参考に、しょうかいの仕方をくふうしてみましょう。	1													
1118	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	パンフレットを見せ合おう	1													
1119	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	グループでパンフレットを見せ合い、次のような点がどのようにくふうされているか、感想や意見をカードにメモして交かんしましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1120	6	上	みんなでつくろう「未来の車」	自分の「未来の車」に友達が興味をもってくれるように、くふうできましたか。		1												
1121	6	上	漢字の広場	次の文を、一線の部分に注意して読みましょう。	1													
1122	6	上	漢字の広場	音を表す部分はどれでしょう。		1												
1123	6	上	漢字の広場	次の言葉を、一線の漢字に注意して読みましょう。	1													
1124	6	上	漢字の広場	上の漢字を、下の□に一回ずつ入れて熟語を完成させましょう。	1													
1125	6	上	人間を見つめて読もう	人間を見つめて読もう	1													
1126	6	上	人間を見つめて読もう	場面の移り変わりに合わせて、戦争の時代に生きる登場人物の心情を読み深めよう。	1													
1127	6	上	川とノリオ	戦争中の子供たちの生活の様子について、知っていることを発表してみましょう。	1													
1128	6	上	川とノリオ	次のような表現を手がかりにして、その時の情景や人物の心情について話し合ってみましょう。	1													
1129	6	上	川とノリオ	この物語を読んでみたくなるような、簡単なしょうかい文を書いてみましょう。	1													
1130	6	上	川とノリオ	しょうかい文を読み合って、この物語で読みたくなったところや、その理由について話し合いましょう。	1													
1131	6	上	川とノリオ	この物語を読んで、ほかにも同じような表現のくふうがあるか、探しましょう。	1													
1132	6	上	川とノリオ	次の例を参考にして、名詞で止める短い文を作ってみましょう。	1													
1133	6	上	活用しよう	活用しよう	1													
1134	6	上	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1													
1135	6	上	漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字は、読み方や書き方を覚えよう。	1													
1136	6	上	漢字を学ぼう	五年生で学んだ漢字は、使えるようになろう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1137	6	上	漢詩を読み味わおう	漢詩を読み味わおう	1													
1138	6	上	漢詩を読み味わおう	二つの「読み下し文」を、情景を思いうかべながら、声に出して読んでみましょう。	1													
1139	6	上	情報の発信と受信、その注意	正しい情報を選ぶ力を育てよう	1													
1140	6	上	情報の発信と受信、その注意	知りたいことに合わせて、メディアを使い分けよう。	1													
1141	6	下	どんな学習をしようかな	これから学ぶことを知ろう	1													
1142	6	下	どんな学習をしようかな	話そう・聞こう	1													
1143	6	下	どんな学習をしようかな	自分の体験をもとにして，伝えたいことを的確に話そう。	1													
1144	6	下	どんな学習をしようかな	話しての立場や，意図を考えながら聞こう。	1													
1145	6	下	どんな学習をしようかな	読もう	1													
1146	6	下	どんな学習をしようかな	文章の内容や要旨を的確にとらえよう。	1													
1147	6	下	どんな学習をしようかな	書かれている内容について，自分の意見をもとう。	1													
1148	6	下	どんな学習をしようかな	書こう	1													
1149	6	下	どんな学習をしようかな	内容に応じた構成や，書き表し方をくふうしよう。	1													
1150	6	下	どんな学習をしようかな	自分の願いや考えを見つめて書こう。	1													
1151	6	下	どんな学習をしようかな	言葉を学ぼう	1													
1152	6	下	どんな学習をしようかな	敬語の使い方に，気をつけよう。	1													
1153	6	下	どんな学習をしようかな	日本語の由来について知ろう。	1													
1154	6	下	どんな学習をしようかな	漢字を学ぼう。	1													
1155	6	下	思いをこめて読み深めよう	思いをこめて読み深めよう	1													
1156	6	下	思いをこめて読み深めよう	言葉の向こうに見えてくる世界をさぐってみましょう。	1													
1157	6	下	情報の伝え方を考えよう	情報の伝え方を考えよう	1													
1158	6	下	情報の伝え方を考えよう	筆者の表現のくふうをとらえながら読んだり、くふうをして報告文を書いたりしよう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1159	6	下	人類よ、宇宙人になれ	筆者の考えについて、下の表のようにまとめながら読みましょう。	1													
1160	6	下	人類よ、宇宙人になれ	「人類進化のとるべき道」についての筆者の考えに対し、自分の考えたことを書いて、発表しあいましょう。	1													
1161	6	下	人類よ、宇宙人になれ	次のどちらかを選んで、グループで学習を進めましょう。	1													
1162	6	下	人類よ、宇宙人になれ	筆者が取り上げている事実や、使っている「たとえ」の効果について、読み取ることができましたか。		1												
1163	6	下	人類よ、宇宙人になれ	グループで確かめ合いましょう。	1													
1164	6	下	調べたことをまとめる	『人類よ、宇宙人になれ』を学習して、宇宙について興味がわいたり、知りたいと思ったりしたことはありますか。		1												
1165	6	下	調べたことをまとめる	わたしたちも、宇宙について興味がわいたり、知りたくなったりしたことを調べ、小見出しや図を使った簡単な報告文を書いてみましょう。	1													
1166	6	下	調べたことをまとめる	書いた報告文を読みあって、感想やよいところをカードなどに書き、伝え合いましょう。	1													
1167	6	下	調べたことをまとめる	表現をくふうして、わかりやすい文章で報告文が書けましたか。		1												
1168	6	下	調べたことをまとめる	主語を整えよう	1													
1169	6	下	調べたことをまとめる	次のそれぞれの文の続きを考えてみましょう。	1													
1170	6	下	敬語	―線の部分を「先生」に変え、敬語の種類を考えながら適切な文に改めましょう。	1													
1171	6	下	敬語	―線の部分を適切な文に改めましょう。	1													
1172	6	下	読んでみよう・書いてみよう	読んでみよう・書いてみよう	1													
1173	6	下	読んでみよう・書いてみよう	□の漢字については、その漢字を使って、熟語や短い文を作りましょう。	1													
1174	6	下	本の世界を深めよう	テーマを決めて本を読み、友達と話し合い、一人一人の感じ方のちがいを考えてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1175	6	下	本の世界を深めよう	「ぼく」と「子ぎつね」の不思議な世界を読み味わいましょう。	1													
1176	6	下	「読書座談会」をしよう	「読書座談会」をしよう	1													
1177	6	下	「読書座談会」をしよう	みなさんも、話し合う本やテーマを決め、グループに分かれて「読書座談会」を行ってみましょう。	1													
1178	6	下	送り仮名のきまり	―線の部分に注意して、次の文を読みましょう。	1													
1179	6	下	送り仮名のきまり	―線の部分を、漢字と送り仮名で書きましょう。	1													
1180	6	下	生き方を考えながら読もう	生き方を考えながら読もう	1													
1181	6	下	生き方を考えながら読もう	場面ごとに時代背景をとらえ、田中正造の生き方を読み取ろう。	1													
1182	6	下	田中正造	次の場面を読みましょう。	1													
1183	6	下	田中正造	この時農民たちは、どのような気持ちだったでしょう。		1												
1184	6	下	田中正造	また、正造はどのような思いで上京請願を止めたのでしょう。		1												
1185	6	下	田中正造	ノートに書いて発表し合いましょう。	1													
1186	6	下	田中正造	立ちはだかる憲兵や警官らが、なみだをうかべて、正造のうったえに聞き入った理由を考えて、話し合いましょう。	1													
1187	6	下	田中正造	正造についてのできごとを、年表にまとめましょう。	1													
1188	6	下	田中正造	そして、それをもとに、正造の生き方について話し合いましょう。	1													
1189	6	下	田中正造	正造の生き方で深く考えさせられたことを中心に、自分の考えをまとめてノートに書きましょう。	1													
1190	6	下	田中正造	正造の生き方について自分の考えをもち、それを書くことができましたか。		1												
1191	6	下	田中正造	これによって、どんな効果があるでしょうか。		1												
1192	6	下	田中正造	また、同じような書き表し方をしている部分を、本文の中から探しましょう。	1													
1193	6	下	田中正造	次のそれぞれの「か」の意味を考えてみましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1194	6	下	田中正造	また、それぞれと同じような使い方を、本文の中から探しましょう。	1													
1195	6	下	同じ訓をもつ漢字	次の□に、下の■の中からあてはまる漢字を入れましょう。	1													
1196	6	下	同じ訓をもつ漢字	次の□に、意味や使い方を考えて、下の■の中からあてはまる漢字を入れましょう。	1													
1197	6	下	同じ訓をもつ漢字	上段の言葉と組み合わさる言葉を、下の○の中から選んで、「破れる」のように□の中に入れましょう。	1													
1198	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう	効果的な書き方をくふうして書こう	1													
1199	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう	内容に応じて構成や書き表し方をくふうし、自分を見つめて書こう。	1													
1200	6	下	思いや願いを	次の江口さんの作文を参考にしながら、小学校を卒業する自分にとって大切なことを、作文に書きましょう。	1													
1201	6	下	思いや願いを	そして、作文を書くことをとおして、これまでに経験したできごとや、今考えていることなど、自分自身をふり返ったり、見つめ直したりしてみましょう。	1													
1202	6	下	思いや願いを	どんな事実を選び出すか、どのように説明するのかをはっきりさせましょう。	1													
1203	6	下	思いや願いを	そして、そこに自分の考えをどう組み合わせていくのか考え、読み手に、自分の書き表したい中心となる考え（主題）が十分に伝わるように、構成をくふうしましょう。	1													
1204	6	下	思いや願いを	書くときには、読んでもらう相手や内容に応じて、「…だ。」「…である。」と常体で書くのか、「…です。」「…ます。」と敬体で書くのかを決めましょう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1205	6	下	思いや願いを	また、江口さんの作文を参考にしながら、具体的な事実を書く部分、自分の考えを書く部分、必要な説明を書く部分などの文末にも注意しながら、書き進めたり読み直したりしましょう。	1													
1206	6	下	思いや願いを	記念すべき作品として、どのような形で残したらよいか、友達とも話し合ってみましょう。	1													
1207	6	下	思いや願いを	自分の思いや願いについて、構成や、文末の書き方に気をつけて、文章をまとめることができましたか。		1												
1208	6	下	日本語の文字	では、これらの文字は、いつごろから使われるようになったのでしょうか。		1												
1209	6	下	日本語の文字	また、現在では、どのように使い分けられているのでしょうか。		1												
1210	6	下	日本語の文字	「本」や「武」、「問」、「閉」の成り立ちを漢字辞典で調べてみましょう。	1													
1211	6	下	日本語の文字	次の―線の部分の漢字は「音」か「訓」かを調べてみましょう。	1													
1212	6	下	日本語の文字	次の―線の漢字の読み方を確かめましょう。	1													
1213	6	下	日本語の文字	左下の□の中のアとイの文を読んでみましょう。	1													
1214	6	下	日本語の文字	次の新聞記事を、漢字と平仮名、片仮名、ローマ字に色分けし、気づいたことを話し合いましょう。	1													
1215	6	下	漢字の読み方	次の言葉を二通りの読み方で読み、意味や、言い方から受ける感じのちがいを比べましょう。	1													
1216	6	下	漢字の読み方	１１１ページの「特別な読み方の言葉」の一覧表で確かめましょう。	1													
1217	6	下	願いや考えを深めながら読もう	願いや考えを深めながら読もう	1													
1218	6	下	願いや考えを深めながら読もう	筆者の願いや考えを、自分の体験と重ねて読み取ろう。	1													
1219	6	下	体験を発表し合おう	体験を発表し合おう	1													
1220	6	下	体験を発表し合おう	ボランティアという言葉を知っていますか。		1												

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1221	6	下	体験を発表し合おう	ボランティアについて知っていることや、体験などを話し合いましょう。	1													
1222	6	下	ボランティアし合おうよ	気軽に自分のやりたいこと、できることから始めてみよう。	1													
1223	6	下	ボランティアし合おうよ	この文章を読んで、次のことについて、筆者の願いや考えを話し合いましょう。	1													
1224	6	下	ボランティアし合おうよ	文章を読んで、ボランティアについて考えたことをノートにまとめましょう。	1													
1225	6	下	ボランティアし合おうよ	ボランティアに対する筆者の考えについて話し合ったり、書いたりすることができましたか。		1												
1226	6	下	ボランティアし合おうよ	次の外来語の意味を、国語辞典で調べましょう。	1													
1227	6	下	ボランティアし合おうよ	和語や漢語で表せるものは言いかえてみましょう。	1													
1228	6	下	国語の学習　これまで　これから	六年間の言葉の学習の中で、心に残っている言葉はありますか。		1												
1229	6	下	国語の学習　これまで　これから	それらを思い出してみましょう。	1													
1230	6	下	国語の学習　これまで　これから	これまでの言葉の学習をとおして、みなさんはどのような力をつけてきたのでしょう。		1												
1231	6	下	国語の学習　これまで　これから	これからどんな言葉と出会うでしょう。		1												
1232	6	下	国語の学習　これまで　これから	言葉の世界は、どのようにひろがっていくでしょうか。		1												
1233	6	下	活用しよう	活用しよう	1													
1234	6	下	漢字を学ぼう	漢字を学ぼう	1													
1235	6	下	漢字を学ぼう	新しく学んだ漢字は、読み方や書き方を覚えよう。	1													
1236	6	下	漢字を学ぼう	五年生で学んだ漢字は、使えるようになろう。	1													
1237	6	下	さまざまな辞典を使ってみよう	さまざまな辞典を使ってみよう	1													
1238	6	下	さまざまな辞典を使ってみよう	コミュニケーションってよく聞くけど、どんな意味だろう。		1												
1239	6	下	さまざまな辞典を使ってみよう	意味がわからない言葉は、すぐに辞典を引く習慣をつけよう。	1													

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1240	6	下	日本生まれの漢字―国字	右にあげた国字の成り立ちや意味を、漢字辞典で調べてみましょう。	1													
1241	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	心の言葉に耳をかたむけてみよう	1													
1242	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	緑からどんなイメージが広がりますか。		1												
1243	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	はしごは、何と何をつないでいるのでしょう。		1												
1244	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	この作品から、どんな言葉が思いうかびますか。		1												
1245	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	中にはどんなものが入っているでしょう。		1												
1246	6	下	心の言葉に耳をかたむけてみよう	みなさんなら，このランプにどんな名前をつけますか。		1												
				total	1046	200	373	389	158	188	126	186	349	38	455	89	173	366

教科書分析（光村図書・小学校）

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	上	ことばを　いれて、ぶんを　つくろう	ことばを　いれて、ぶんを　つくろう	1			1		1				1		1		1	
2	1	上	あいうえおで　あそぼう	あいうえおで　あそぼう	1			1			1				1	1		1	
3	1	上	あいうえおで　あそぼう	たてに　よんで　みましょう。	1		1				1			1		1			1
4	1	上	あいうえおで　あそぼう	よこに　よんで　みましょう。	1		1				1			1		1			1
5	1	上	あいうえおで　あそぼう	ことばを　みつけましょう。	1		1					1		1		1		1	
6	1	上	いろいろな　くちばし	これは、なんの　くちばしでしょう。		1	1						1			1			1
7	1	上	いろいろな　くちばし	これは、なんの　くちばしでしょう。		1	1						1			1			1
8	1	上	いろいろな　くちばし	これは、なんの　くちばしでしょう。		1	1						1			1			1
9	1	上	は　を　へ　を　つかって　かこう	は　を　へ　を　つかって　かこう	1			1		1				1		1		1	
10	1	上	は　を　へ　を　つかって　かこう	は　を　へ　を　つかって、ぶんを　つくりましょう。	1		1			1				1		1		1	
11	1	上	てがみを　かこう	てがみを　かこう	1			1		1				1		1			
12	1	上	みんなに　しらせたい　こと	はっきり　はなそう	1			1	1					1		1		1	
13	1	上	みんなに　しらせたい　こと	なつやすみに、なにをしましたか。		1	1									1		1	
14	1	上	みんなに　しらせたい　こと	どんなことが　ありましたか。		1	1									1		1	
15	1	上	みんなに　しらせたい　こと	みんなに　しらせたいことを　はなしましょう。	1		1		1					1			1	1	
16	1	上	おおきなかぶ	みんなで　よもう	1			1			1				1		1		1
17	1	上	おおきなかぶ	「大きな　かぶ」のおはなしには、どんなひとや　どうぶつが　でて　きましたか。		1		1			1		1			1			1
18	1	上	おおきなかぶ	だれが、だれを　よんで　きましたか。		1		1			1		1			1			1
19	1	上	おおきなかぶ	みんなで　こえに　だして　よみましょう。	1			1			1			1			1		1
20	1	上	かずと　かんじ	かんじで　かこう	1			1		1					1	1			1
21	1	上	かずと　かんじ	こえに　だして、十まで　かぞえましょう。	1		1				1			1		1			1
22	1	上	かずと　かんじ	かきじゅんに　きを　つけて、かきましょう。	1		1			1				1		1			1
23	1	上	じどう車くらべ	くらべて　よもう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
24	1	上	じどう車くらべ	それぞれの　じどう車は、どんな　しごとを　して　いますか。		1	1						1			1			1
25	1	上	じどう車くらべ	その　ために、どんな　つくりに　なって　いますか。		1	1						1			1			1
26	1	上	じどう車くらべ	どんな　しごとを　して　いますか。		1		1					1			1			1
27	1	上	じどう車くらべ	その　ために、どんな　つくりに　なって　いるでしょうか。		1		1					1			1			1
28	1	上	じどう車くらべ	ほかに、どんな　じどう車が　ありますか。		1		1					1			1			1
29	1	上	じどう車くらべ	ぶんと　えを　かきましょう。	1			1		1				1		1		1	
30	1	上	じどう車くらべ	かたかなを、よんだり　かいたり　しましょう。	1			1		1	1			1		1			1
31	1	上	ことばで　あそぼう	ことばで　あそぼう	1			1		1	1				1	1		1	
32	1	上	ことばで　あそぼう	ことばを　つなげましょう。	1		1					1	1			1		1	
33	1	上	ことばで　あそぼう	かたかなを　かきましょう。	1		1			1				1		1			
34	1	下	くじらぐも	こえに　だして　よもう	1			1			1			1		1			1
35	1	下	くじらぐも	「くじらぐも」を、こえに　だして、よみましょう。	1			1			1			1		1			1
36	1	下	くじらぐも	どんな　ところが　おもしろいですか。		1		1			1		1			1		1	
37	1	下	くじらぐも	かぎ（「」）の　ところは、どのように　よみますか。		1		1			1			1		1		1	
38	1	下	くじらぐも	みんなは、くもの　うえで、どんな　ことを　はなしたでしょう。		1		1			1		1			1		1	
39	1	下	くじらぐも	どんな　かたちの　くもを　見た　ことが　ありますか。		1		1		1						1		1	
40	1	下	くじらぐも	えに　かいて、　くもと　おはなし　したい　ことを　かきましょう。	1			1		1					1	1		1	
41	1	下	かんじの　はなし	たのしく　つかおう	1			1		1	1				1	1			1
42	1	下	かんじの　はなし	かんじを　つかった　文を、よんだり　かいたり　しましょう。	1			1		1	1		1			1			1
43	1	下	しらせたいな、見せたいな	よく　見て　かこう	1			1		1				1		1		1	
44	1	下	しらせたいな、見せたいな	学校に　いる　いきものや、学校で　見つけたものを、いえの　人に　しらせましょう。	1		1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
45	1	下	しらせたいな、見せたいな	よむ　人に、どんな　ものかが　わかるように、よく　見て　かきましょう。	1		1			1				1		1		1	
46	1	下	しらせたいな、見せたいな	かいたら、よみかえしましょう。	1		1				1			1		1			1
47	1	下	しらせたいな、見せたいな	文の　おわりには、。(まる)が　ついて　いますか。		1	1			1				1		1			1
48	1	下	しらせたいな、見せたいな	字は、正しく　かけて　いますか。		1	1			1				1		1			1
49	1	下	しらせたいな、見せたいな	かいた　ぶんしょうを、　いえの　人に　わたして、よんで　もらいましょう。	1		1			1					1	1			1
50	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	本と　ともだちに　なろう	1			1			1				1	1			1
51	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	この　おはなしを　よんで、いい　おはなしだな、よかったなと　おもった　ことを　はなしましょう。	1			1	1				1			1		1	
52	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	すきな　本や、おもしろかった　本を、　ともだちに　しらせましょう。	1			1	1					1		1		1	
53	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	しらせたい　本を　えらんで、おはなしに　出てくる　人や　どうぶつの　えを　かきましょう。	1			1		1				1		1		1	
54	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	えの　うらに、しらせたい　ことを　かきましょう。	1			1		1			1			1			1
55	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	ともだちに　きこえる　こえで、はなしましょう。	1			1	1					1		1			1
56	1	下	あつまれ、ふゆの　ことば	かいて　たのしもう	1			1		1					1	1			1
57	1	下	あつまれ、ふゆの　ことば	「ふゆの　ことば　かるた」をつくって、みんなで　あそびましょう。	1		1			1					1		1		1
58	1	下	あつまれ、ふゆの　ことば	「ふゆ」と　いう　ことばから、どんな　ことばが　うかんで　きますか。		1	1					1	1			1		1	
59	1	下	あつまれ、ふゆの　ことば	ことばを　あつめましょう。	1		1					1	1			1		1	
60	1	下	あつまれ、ふゆの　ことば	あつめた　ことばから　文を　かんがえて、かるたを　つくりましょう。	1		1			1				1		1			1
61	1	下	あめふり　くまの　こ	こえに　だして　よもう	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
62	1	下	ものの　名まえ	この　おみせは、なにやさんでしょう。		1	1				1		1			1			1
63	1	下	ものの　名まえ	おじさんは、なぜ　「わからないよ。」と　いったのでしょう。		1	1				1		1			1			1
64	1	下	おみせやさんごっこを　しよう	おみせやさんごっこを　しよう	1			1							1		1		1
65	1	下	おみせやさんごっこを　しよう	ものの　名まえを　あつめて、おみせやさんごっこを　しましょう。	1		1		1	1				1			1	1	
66	1	下	おみせやさんごっこを　しよう	みんなで、おみせやさんごっこを　しましょう。	1		1		1	1					1		1		1
67	1	下	かたかなの　かたち	かたちに　きを　つけて　かきましょう。	1		1			1				1		1			1
68	1	下	わたしは、なんでしょう	よく　きいて、あてよう	1			1	1						1	1			1
69	1	下	わたしは、なんでしょう	こうたいで、もんだいを　だしたり、あてたり　しましょう。	1		1		1				1				1		1
70	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	ちがいを　かんがえて　よもう	1			1			1			1		1			1
71	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	どうぶつの　赤ちゃんは、生まれたばかりの　ときは、どんな　ようすを　して　いるのでしょう。		1	1				1		1			1			1
72	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	そして、どのように　して、大きく　なって　いくのでしょう。		1	1				1		1			1			1
73	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	ライオンの　赤ちゃんと　しまうまの　赤ちゃんを　くらべましょう。	1			1			1		1			1			1
74	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	生まれた　ときは、どんな　ところが　ちがいますか。		1		1			1		1			1			1
75	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	大きく　なって　いく　ようすも、おなじように　くらべましょう。	1			1			1		1			1			1
76	1	下	どうぶつの　赤ちゃん	ほかの　どうぶつの　赤ちゃんの　ことを　しらべて、カードに　かきましょう。	1			1		1			1			1		1	
77	1	下	にて　いる　かん字	にて　いる　かん字に　気を　つけて、かきましょう。	1		1			1				1		1			1
78	1	下	にて　いる　かん字	かきじゅんや　かたちにも　気を　つけましょう。	1		1			1				1		1			1
79	1	下	いい　こと　いっぱい、一年生	おもい出して　かこう	1			1		1					1	1		1	
80	1	下	いい　こと　いっぱい、一年生	入学してから、どんな　ことが　ありましたか。		1	1			1					1	1		1	
81	1	下	いい　こと　いっぱい、一年生	うれしかった　ことや　おどろいた　ことは　なんでしょう。		1	1			1					1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
82	1	下	いい　こと　いっぱい、一年生	しゃしんを　見ながら、その　ときの　ようすを　おもい出して、ぶんしょう　に　かきましょう。	1		1			1				1		1		1	
83	1	下	いい　こと　いっぱい、一年生	なんまいか　かいたら、できごとの　じゅんに　ならべて　まとめましょう。	1		1			1				1		1		1	
84	1	下	たぬきの　糸車	おはなしを　たのしもう	1			1			1				1	1			1
85	1	下	たぬきの　糸車	「たぬきの　糸車」を、たのしく　こえに　出して　よみましょう。	1			1			1				1	1			1
86	1	下	たぬきの　糸車	すきな　ところは　どこですか。		1		1		1				1		1		1	
87	1	下	たぬきの　糸車	えに　かきましょう。	1			1		1					1	1		1	
88	1	下	たぬきの　糸車	えに　あわせて、文を　うつしましょう。	1			1		1				1		1			1
89	1	下	たぬきの　糸車	たぬきや　おかみさんに　なったつもりで、きょうかしょに　ないことばも　かんがえましょう。	1			1			1			1		1		1	
90	1	下	たぬきの　糸車	どんなふうに　よむかを　かんがえて、なんども　れんしゅうしましょう。	1			1			1			1		1			1
91	1	下	たぬきの　糸車	えを　見せながら　よんで、みんなで　たのしみましょう。	1			1	1						1		1		1
92	1	下	たぬきの　糸車	いままでに　よんだ　中で、「みんなにも　よんで　もらいたいな。」と　おもう　おはなしは　ありませんか。		1		1			1				1	1		1	
93	1	下	たぬきの　糸車	ともだちに、おすすめの　おはなしを　しょうかいしましょう。	1			1	1					1		1			1
94	1	下	正しく　かこう	文の　おわりには、まる。をつけましょう。	1		1			1				1		1			1
95	1	下	正しく　かこう	人が　はなした　ことばを　かく　ときは、かぎ「」を　つけましょう。	1		1			1				1		1			1
96	1	下	「ことばの　森（もり）」あんない	さあ、森への　とびらを　あけて　みましょう。	1			1							1				
97	1	下	どうぶつ村の　おんがくかい	どうぶつの　うたを　たくさん　あつめて、よんだり　かいたり　しましょう。	1			1		1	1				1	1		1	
98	1	下	なかよしの　うた	なかよしの　もじの　うたを　おぼえましょう。	1			1				1			1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
99	2	上	裏表紙	ふろくをつかいましょう。	1			1							1	1			1
100	2	上	裏表紙	かん字の読みかたやつかいかた、書きかたをたしかめましょう。	1			1				1			1	1			1
101	2	上	ふきのとう	みんなでよもう	1			1			1				1		1		1
102	2	上	ふきのとう	みんなでこえに出して、たのしくよみましょう。	1			1			1			1			1		1
103	2	上	ふきのとう	ふきのとうや　竹やぶ　春風や　お日さまの　やくに　わかれて、こえに　出して、よみましょう。	1			1			1			1			1		1
104	2	上	ふきのとう	学校やのはらやこうえんで、春らしいとおもうことばを見つけましょう。	1			1				1			1	1		1	
105	2	上	ふきのとう	見つけたことばを、みんなに　はなしましょう。	1			1	1					1			1	1	
106			ふきのとう	あつめた春らしいことばをかみにかきましょう。	1			1		1				1		1		1	
107	2	上	今週のニュース	しらせたいことを見つけて書こう	1			1		1					1	1		1	
108	2	上	今週のニュース	みんなにしらせたいことを、カードに書いてはりましょう。	1		1			1				1		1		1	
109	2	上	たんぽぽのちえ	じゅんじょに気をつけてよもう	1			1			1				1	1			1
110	2	上	たんぽぽのちえ	たんぽぽのようすは、どのようにかわっていくのでしょう。		1	1				1		1			1			1
111	2	上	たんぽぽのちえ	それは、なぜでしょう。		1	1				1		1			1			1
112	2	上	たんぽぽのちえ	なぜ、こんなことをするのでしょう。		1	1				1		1			1			1
113	2	上	たんぽぽのちえ	「たんぽぽのちえ」をよんで、はじめてしったことや、おもしろいと思ったことを話しましょう。	1			1	1				1	1		1		1	
114	2	上	たんぽぽのちえ	たんぽぽは、どんなときに、どんなようすをしていますか。		1		1			1		1			1			1
115	2	上	たんぽぽのちえ	かわっていくじゅんじょに気をつけてよみましょう。	1			1			1				1	1			1
116	2	上	たんぽぽのちえ	たんぽぽには、どんなちえがありましたか。		1		1			1		1			1			1
117	2	上	たんぽぽのちえ	ちえと、ちえをはたらかせているわけを書きましょう。	1			1		1			1			1			1
118	2	上	たんぽぽのちえ	文のおわりまでしっかりよみましょう。	1			1			1				1	1			1
119	2	上	たんぽぽのちえ	ようすを書いている文と、わけを書いている文とでは、おわりかたにどんなちがいがありますか。		1		1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
120	2	上	たんぽぽのちえ	学校やいえの近くで、たんぽぽを見つけたら、どんなようすか書きましょう。	1			1		1					1	1		1	
121	2	上	たんぽぽのちえ	教科書に書いてあることとくらべて、気がついたことも書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
122	2	上	かん字のひろば	えの中のことばをつかって、うんどうかいのようすを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
123	2	上	かんさつ名人になろう	書いて知らせよう	1			1		1					1		1		
124	2	上	かんさつ名人になろう	よく見て気づいたことを、友だちに知らせましょう。	1			1		1					1		1	1	
125	2	上	かんさつ名人になろう	みぢかなものをかんさつしてみましょう。	1		1								1	1		1	
126	2	上	かんさつ名人になろう	そして、みつけたことをぶんしょうに書いて、友だちに知らせましょう。	1		1			1					1	1		1	
127	2	上	かんさつ名人になろう	ひと目見て気がつくことは、どんなことですか。		1	1							1		1		1	
128	2	上	かんさつ名人になろう	書き出しましょう。	1		1			1					1	1		1	
129	2	上	かんさつ名人になろう	その中で、「ここが、いちばんおもしろい。」「みんなに知らせたいな。」と思うことを、えらびましょう。	1		1							1		1		1	
130	2	上	かんさつ名人になろう	えらんだところをくわしくかんさつして、わかったことを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
131	2	上	かんさつ名人になろう	文をつないで、「ミニトマトのみ」のことが、友だちにもよくわかるようにまとめましょう。	1		1			1				1		1		1	
132	2	上	かんさつ名人になろう	書いたぶんしょうを、みんなで読みましょう。	1		1				1				1		1		1
133	2	上	かんさつ名人になろう	友だちが見つけたことで、おもしろいな、おどろいたなと思うことをつたえましょう。	1		1		1					1			1	1	
134	2	上	ともこさんはどこかな	だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう	1			1	1					1			1		1
135	2	上	ともこさんはどこかな	よく聞いて、前のページの絵の中から、ともこさんをさがしましょう。	1		1		1				1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
136	2	上	ともこさんはどこかな	ともこさんをさがすために、聞きおとしてはいけないだいじなことは、なんですか。		1	1				1			1		1			1
137	2	上	ともこさんはどこかな	だいじなことに気をつけて、話しましょう。	1		1		1					1		1			1
138	2	上	同じぶぶんをもつかん字	絵の中のかん字を見てみましょう。	1		1					1			1	1			1
139	2	上	同じぶぶんをもつかん字	同じぶぶんはどこでしょう。		1	1					1		1		1			1
140	2	上	同じぶぶんをもつかん字	同じぶぶんに気をつけて、一線のかん字を、読んだり書いたりしましょう。	1		1			1	1			1		1			1
141	2	上	スイミー	本と友だちになろう	1			1			1				1	1		1	
142	2	上	スイミー	スイミーといっしょにおよいでいるような気もちで、読みましょう。	1			1			1			1		1			1
143			スイミー	スイミーが元気をとりもどしたのは、海の中でどんな「すばらしいもの」「おもしろいもの」を見たからでしょう。		1		1			1		1			1			1
144			スイミー	よく読んで書きうつしましょう。	1			1		1	1		1	1		1			1
145	2	上	スイミー	スイミーや小さな魚のきょうだいたちは、どんなときに、どんなことを言ったと思いますか。		1		1			1		1			1			1
146	2	上	スイミー	「」をつけて書きましょう。	1			1		1				1		1			1
147	2	上	スイミー	いちばんすきなところをこえに出して読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
148	2	上	スイミー	どこを、どんなふうに読みますか。		1		1			1			1		1		1	
149	2	上	スイミー	「―ような」「―みたいな」をつかって、みのまわりのもののことを書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
150	2	上	スイミー	図書室で、「おもしろそうだな。」と思う本をさがして読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
151	2	上	スイミー	読んだあとで、友だちにお話をしょうかいするカードを書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
152	2	上	スイミー	みんなのカードをつないで、「お話れっしゃ」をつくりましょう。	1			1		1					1		1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
153	2	上	かん字のひろば	犬といっしょにさんぽをするお話をつくりましょう。	1		1					1			1	1		1	
154	2	上	もうすぐ夏休み	たずねたことをもとに書こう	1			1		1					1	1		1	
155	2	上	もうすぐ夏休み	夏休みにしてみたいことはなんですか。		1	1								1	1		1	
156	2	上	もうすぐ夏休み	教えてほしいことを一つきめて、ききましょう。	1		1		1						1	1		1	
157	2	上	もうすぐ夏休み	そして、きいたことをクラスのみんなにつたえましょう。	1		1		1					1			1	1	
158	2	上	もうすぐ夏休み	友だちが書いたぶんしょうをみんなで読みましょう。	1		1				1				1		1		1
159	2	上	おおきくなあれ	こえに出して読もう	1			1			1			1		1			1
160	2	上	あったらいいな、こんなもの	友達に分かるように話そう	1			1	1					1			1		1
161	2	上	あったらいいな、こんなもの	じぶんが考えたものを、友だちにつたえましょう。	1			1	1					1			1		1
162	2	上	あったらいいな、こんなもの	それを、クラスの友だちにつたえましょう。	1		1		1						1		1		1
163	2	上	あったらいいな、こんなもの	どのように話したら、分かりやすいでしょう。		1	1		1					1		1		1	
164	2	上	あったらいいな、こんなもの	あったらいいなと思うものを、まず、となりの人と話し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
165	2	上	あったらいいな、こんなもの	どんなものなのか、くわしく分かるようにたがいにたずねましょう。	1		1		1					1			1	1	
166	2	上	あったらいいな、こんなもの	あったらいいなと思うもののことが、聞いている人によく分かるように、話す前にカードにまとめましょう。	1		1			1				1		1		1	
167	2	上	あったらいいな、こんなもの	ふたりひと組になって、交たいでれんしゅうをしましょう。	1		1		1						1		1		1
168	2	上	あったらいいな、こんなもの	みんなにつたえましょう。	1		1		1						1		1		1
169	2	上	あったらいいな、こんなもの	話す人は、みんなに聞こえる声の大きさで、はっきり話しましょう。	1		1		1					1			1		1
170	2	上	あったらいいな、こんなもの	聞く人は、分からないところやもっとしりたいことをたずねたり、思ったことを言ったりしましょう。	1		1		1					1			1	1	
171	2	上	カンジーはかせの大はつめい	つぎの二つのかん字を入れると、なにが出てくるでしょう。		1	1			1			1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
172	2	上	カンジーはかせの大はつめい	このきかいでつぎのかん字を出すには、ほかになにを入れればいいでしょう。		1	1			1			1			1			1
173	2	上	カンジーはかせの大はつめい	次の矢を弓でとばすと、どのまとに当たるでしょうか。		1	1			1			1			1			1
174	2	上	カンジーはかせの大はつめい	どんなことばができますか。		1	1			1			1			1			1
175	2	上	サンゴの海の生きものたち	だいじなところに気をつけて読もう	1			1			1			1		1			1
176	2	上	サンゴの海の生きものたち	海の中では、どんな生きものが、どのようにくらしているのでしょう。		1		1			1		1			1			1
177	2	上	サンゴの海の生きものたち	どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。		1	1				1		1			1			1
178	2	上	サンゴの海の生きものたち	海の中をのぞいてみましょう。	1		1				1				1	1			
179	2	上	サンゴの海の生きものたち	「サンゴの海の生きものたち」を読んで、どんなことをかんじたり考えたりしましたか。		1		1			1			1		1		1	
180	2	上	サンゴの海の生きものたち	海の生きものたちになって、それぞれ、どのようにかかわり合っているのか、たしかめましょう。	1			1			1		1			1			1
181	2	上	サンゴの海の生きものたち	何人かでグループになり、やくわりをきめましょう。	1			1			1				1		1	1	
182	2	上	サンゴの海の生きものたち	ぶんしょうに合わせて、体をうごかしてみたり、せつめいしたりしましょう。	1			1	1					1		1		1	
183	2	上	サンゴの海の生きものたち	さいごに、魚たちのかかわり合いをまとめましょう。	1			1		1	1		1			1			1
184	2	上	サンゴの海の生きものたち	おもしろそうだなと思う本を読んで、「生きものカード」をつくりましょう。	1			1		1					1	1		1	
185	2	上	サンゴの海の生きものたち	「海の生きもの」のほかに、どんな生きものがいるでしょう。	1			1			1		1			1		1	
186	2	上	かん字のひろば	絵の中のことばをつかって、一週間のできごとを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
187	2	上	「ことばの森」あんない	さあ、森へのとびらをあけてみましょう。	1			1							1	1			
188	2	上	「ことばの森」あんない	紙しばいをつくって、だれかに読んであげましょう。	1			1			1				1		1		1
189	2	上	「ことばの森」あんない	何まいの絵をかきますか。		1		1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
190	2	上	「ことばの森」あんない	きつねくんは、どんな気もちだったのでしょう。		1		1			1			1		1		1	
191	2	下	裏表紙	ふろくをつかいましょう。	1			1							1	1			1
192	2	下	裏表紙	かん字の読み方やつかい方、書き方をたしかめましょう。	1			1							1	1			1
193	2	下	お手紙	ようすを考えて読もう	1			1			1				1	1			1
194	2	下	お手紙	だれが、何をしたのでしょう。		1		1			1		1			1			1
195	2	下	お手紙	どんなことを言ったのでしょう。		1		1			1		1			1			1
196	2	下	お手紙	じんぶつが言ったことやしたことで、おもしろいなと思ったところはどこですか。		1		1			1		1			1		1	
197	2	下	お手紙	会話（かぎ「」のところ）の読み方に気をつけて、声に出して読みましょう。	1			1			1				1	1			1
198	2	下	お手紙	グループをつくって、会話を読む人、会話ではないところを読む人などの、やくわりをきめましょう。	1			1			1			1			1	1	
199	2	下	お手紙	会話の一つ一つについて、つぎのことをたしかめ、どのように読むかを話し合いながら、れんしゅうしましょう。	1			1	1					1			1		1
200	2	下	お手紙	だれが言ったことばですか。		1		1			1		1				1		1
201	2	下	お手紙	そのとき、そのじんぶつは何をしていますか。		1		1			1		1				1		1
202	2	下	お手紙	そのじんぶつは、どんなことをおもっているのでしょうか。		1		1			1		1				1	1	
203	2	下	お手紙	グループごとに、はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1		1
204	2	下	お手紙	お話を読むとき、「だれが」「どうした」に気をつけましょう。	1			1			1				1	1			1
205	2	下	お手紙	がまくん、かえるくん、かたつむりくんに、手紙を書きましょう。	1			1		1					1	1		1	
206	2	下	お手紙	下の絵を見て、主語とじゅつ語がそろった文を作りましょう。	1			1		1				1		1		1	
207	2	下	お手紙	一線を引いたかん字に気をつけて、読みましょう。	1		1				1			1		1			1
208	2	下	かん字の読み方	読んでみましょう。	1		1				1				1	1			1
209	2	下	かん字の読み方	気をつけてつかいましょう。	1		1					1			1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
210	2	下	見たこと、かんじたこと	みじかいことばで書こう	1			1		1					1	1			1
211	2	下	見たこと、かんじたこと	「あれっ。」とか、「おやっ。」とか思ったことを、みじかいことばで書いてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
212	2	下	お話がいっぱい	先生に読んでもらうお話を楽しみましょう。	1			1			1				1		1		
213	2	下	お話がいっぱい	じぶんでお話を考えて、絵本を作りましょう。	1			1		1					1	1		1	
214	2	下	こんなお話を考えた	お話を考えて、絵本を作りましょう。	1		1			1					1	1		1	
215	2	下	こんなお話を考えた	つぎのページを見て、お話を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
216	2	下	こんなお話を考えた	三まいの絵を、どんなじゅんじょでならべますか。		1	1			1				1		1		1	
217	2	下	こんなお話を考えた	お話の「はじめ」は、どのようにしますか。		1	1			1				1		1		1	
218	2	下	こんなお話を考えた	「中」は、どうしますか。		1	1			1				1		1		1	
219	2	下	こんなお話を考えた	お話の「おわり」は、どのようにしますか。		1	1			1				1		1		1	
220			こんなお話を考えた	お話にぴったりの題名をつけましょう。	1			1		1					1	1		1	
221	2	下	こんなお話を考えた	お話ができたら、①と②を後ろにつけて、絵本を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
222	2	下	こんなお話を考えた	くふうしたところ、すこしむずかしかったところなどを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
223	2	下	こんなお話を考えた	じぶんのことを、読む人に知ってもらいましょう。	1		1			1				1		1		1	
224	2	下	こんなお話を考えた	書き方をくふうしましょう。	1		1			1					1	1		1	
225	2	下	かたかなで書くことば	かたかなで書くものを、学校の中でさがしてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
226	2	下	一本の木	たしかめながら読もう	1			1			1				1	1			1
227	2	下	一本の木	ぶんしょうと絵とのつながりをたしかめながら、読みましょう。	1			1			1			1		1			1
228	2	下	一本の木	一本の木の絵をかいてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
229	2	下	一本の木	みんなでいっしょにかいてみましょう。	1		1			1					1		1	1	
230	2	下	一本の木	こんどは、外へ出て、木をよく見て、かいてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
231	2	下	一本の木	一本一本の木を、よく見てみましょう。	1		1								1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
232	2	下	一本の木	「一本の木」を読んで、ムナーリさんのかき方で木の絵をかいてみましょう。	1			1		1			1			1		1	
233	2	下	一本の木	それぞれの木をせつめいしている文をさがしましょう。	1			1			1		1			1			1
234	2	下	一本の木	絵をゆびさしながら、つぎのようにはっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1	1	
235	2	下	一本の木	左のようなカードを作って、ムナーリさんの木のかき方が分かる絵入りのせつめい書を作りましょう。	1			1		1				1		1		1	
236	2	下	一本の木	絵入りのせつめい書を作って、絵のかき方やものの作り方などを友だちにつたえましょう。	1			1	1					1			1	1	
237	2	下	かん字の広場	絵の中のようすを書きましょう。	1		1			1					1	1		1	
238	2	下	いるか	声に出して読もう	1			1			1				1	1			1
239	2	下	何に見えるかな	すすんで話したり聞いたりしよう	1			1	1						1		1		1
240	2	下	何に見えるかな	つぎの形をよく見ましょう。	1		1								1	1			1
241	2	下	何に見えるかな	何に見えますか。		1	1							1		1		1	
242	2	下	何に見えるかな	何に見えるか、思いついたことを、話しましょう。	1		1		1					1		1		1	
243	2	下	何に見えるかな	友だちの話を聞いて、「なるほどな。」「おもしろいな。」と思うことや、「どうしてかな。」と思うことを出し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
244	2	下	何に見えるかな	紙をちぎって、、何に見えるかを話し合い、楽しみましょう。	1		1		1						1		1	1	
245	2	下	何に見えるかな	グループで出たいろいろな見え方と、その理由について、クラスのみんなにはっぴょうしましょう。	1		1		1					1			1	1	
246	2	下	音やようすをあらわすことば	音やようすをあらわすことばで、ゲームなどをして、みんなで楽しみましょう。	1			1	1	1	1				1		1	1	
247	2	下	音やようすをあらわすことば	つぎの歌を知っていますか。		1	1		1		1		1			1			1
248	2	下	音やようすをあらわすことば	「トントントン　なんの音」とたずねられたら、なんの音を思いうかべますか。		1	1		1				1			1		1	
249	2	下	音やようすをあらわすことば	また、「ドンドンドンなんの音」とでは、どうですか。		1	1		1				1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
250	2	下	音やようすをあらわすことば	「トントントン」と「ドンドンドン」では、音の大きさ、たたく強さ、音を出しているものなどがちがうかんじがしませんか。		1	1		1					1		1			1
251	2	下	音やようすをあらわすことば	「ぎんぎんぎらぎら　夕日が沈む」ではじまる歌を知っていますか。		1	1		1		1		1			1			1
252	2	下	ことばであそぼう	音やようすをあらわすことばをつかって、みんなであそびましょう。	1		1		1						1		1	1	
253	2	下	ことばであそぼう	音をあらわすことばを考えて、当てっこしよう。	1		1		1						1		1	1	
254	2	下	ことばであそぼう	ようすをあらあわすことばで、もんだいを作ったり答えたりしよう。	1		1			1	1				1		1	1	
255	2	下	ことばであそぼう	まんがやお話の中で見つけたことばをしょうかいしよう。	1		1		1					1			1	1	
256	2	下	ことばであそぼう	にているけれどちがうことばをあつめよう。	1		1					1			1	1		1	
257	2	下	ことばであそぼう	なかまのことばをあつめよう。	1		1					1			1	1		1	
258	2	下	なかまのことばとかん字	なかまのことばとかん字を、いっしょにおぼえましょう。	1		1					1			1	1			1
259			楽しかったよ、二年生	二年生の思い出をまとめて、文集を作りましょう	1			1		1				1		1		1	
260	2	下	楽しかったよ、二年生	二年生になってから、どんなことがありましたか。		1	1						1			1		1	
261	2	下	楽しかったよ、二年生	心にのこったできごとを思い出して、書きましょう。	1		1			1			1			1		1	
262	2	下	楽しかったよ、二年生	文集にまとめて、友達どうしで読んだり、家の人に読んでもらったりしましょう。	1		1			1	1				1		1		1
263	2	下	楽しかったよ、二年生	みんなで、学校であったできごとをカードに書いて、黒ばんにはりましょう。	1		1			1				1			1	1	
264	2	下	楽しかったよ、二年生	カードの中から、自分はどのできごとを書くかをきめましょう。	1		1			1				1		1		1	
265	2	下	楽しかったよ、二年生	そして、そのときに、どんなことをしたかを、じゅんばんに思い出して、みじかいことばで書き出してみましょう。	1		1			1				1		1		1	
266	2	下	楽しかったよ、二年生	書き出したことについて、もっとくわしく思い出しましょう。	1		1			1					1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
267	2	下	楽しかったよ、二年生	いっしょにいた人のことや、見たもののこと、かんじたことなどを思い出したら、はじめのメモにつけたしましょう。	1		1			1				1		1		1	
268	2	下	楽しかったよ、二年生	くわしくなったメモをもとに、ぶんしょうを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
269	2	下	楽しかったよ、二年生	つぎのことに気をつけて、読み直しましょう。	1		1				1				1	1			1
270	2	下	楽しかったよ、二年生	丸（。）、点（、）、かぎ（「」）は、正しくつかえましたか。		1	1			1				1		1			1
271	2	下	楽しかったよ、二年生	「は、を、へ」や、小さく書く字（ゃ、ゅ、ょ、っ）は、正しく書けましたか。		1	1			1				1		1			1
272	2	下	楽しかったよ、二年生	かん字やかたかなは、正しく書けましたか。		1	1			1				1		1			1
273	2	下	楽しかったよ、二年生	みんなの作品をまとめて、ひょうしをつけましょう。	1		1							1			1	1	
274	2	下	楽しかったよ、二年生	文集の名前も考えましょう。	1		1			1					1		1	1	
275	2	下	かん字の広場	絵の中の言葉をつかって、公園のようすを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
276	2	下	スーホの白い馬	お話を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
277	2	下	スーホの白い馬	どんなお話かにちゅういしながら読みましょう。	1			1			1				1	1			1
278	2	下	スーホの白い馬	すきなお話をしょうかいしましょう。	1			1	1						1		1	1	
279	2	下	スーホの白い馬	いったい、どうして、こういうがっきができたのでしょう。		1		1			1		1			1			1
280	2	下	スーホの白い馬	白馬は、どうなったのでしょう。		1		1			1		1			1			1
281	2	下	スーホの白い馬	「スーホの白い馬」を読んで、おもしろいと思ったところ、心にのこったところを話しましょう。	1			1	1					1			1	1	
282	2	下	スーホの白い馬	白馬は、どんなことをしましたか。		1		1			1		1			1			1
283	2	下	スーホの白い馬	したことに気をつけて読みましょう。	1			1			1				1	1			1
284	2	下	スーホの白い馬	スーホととのさまは、どんなことを言ったり、したりしましたか。		1		1			1		1			1			1
285	2	下	スーホの白い馬	「スーホの白い馬」で、いちばんすきなところを、声に出して読みましょう。	1			1			1				1	1		1	
286	2	下	スーホの白い馬	一線の、たとえのことばをぬいて読んでみましょう。	1			1			1			1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
287	2	下	スーホの白い馬	あるとないのとでは、どんなちがいがかんじられるでしょう。		1		1			1			1		1			1
288	2	下	スーホの白い馬	くらべてみましょう。	1			1			1				1	1			1
289	2	下	スーホの白い馬	友だちにも読んでほしいと思うお話を、しょうかいしましょう。	1			1	1					1			1	1	
290	2	下	「ことばの森」あんない	さあ、森へのとびらをあけてみましょう。	1			1							1	1			
291	2	下	ことばのしらべ	ほかに、どんな歌があるでしょう。		1		1			1				1	1		1	
292	2	下	ことばのしらべ	本でさがしたり、おとなの方にきいたりしてあつめ、あそびましょう。	1			1				1			1		1	1	
293	2	下	ことばとことばでタタタタタ	音の数を考えて、みじかいことばで書いてみましょう。	1			1		1				1		1		1	
294	3	上	裏表紙	おぼえておきましょう。	1			1							1	1			1
295	3	上	裏表紙	テープなどを使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
296	3	上	裏表紙	ふろくを活用しましょう。	1			1							1	1			1
297	3	上	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方をたしかめましょう。	1			1				1			1	1			1
298	3	上	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、ひつようなときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
299	3	上	つづけてみよう	つづけてみよう	1			1		1					1	1			1
300	3	上	つづけてみよう	日記を書こう	1			1		1					1	1			1
301	3	上	つづけてみよう	いろいろくふうして、つづけてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
302	3	上	きつつきの商売	森の中で聞こえる音や会話を考えて、友だちといっしょに音読しましょう。	1			1			1			1			1		1
303	3	上	きつつきの商売	「1」と「2」の「おとや」について、くらべましょう。	1			1			1			1		1			1
304	3	上	きつつきの商売	だれが、どんなことをしましたか。		1		1			1		1			1			1
305	3	上	きつつきの商売	どんなことがありましたか。		1		1			1		1			1			1
306	3	上	きつつきの商売	ほかにも気づいたことがあったら、はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
307	3	上	きつつきの商売	「1」と「2」のどちらかの「おとや」をえらんで、聞こえてきた音や、登場人物の様子がよく分かるように音読しましょう。	1			1			1			1		1		1	
308	3	上	きつつきの商売	グループになって、読むところをきめたり、読み方をくふうしたりしましょう。	1			1			1			1			1	1	
309	3	上	きつつきの商売	どんなくふうをしたかせつめいしてから、音読しましょう。	1			1			1			1			1	1	
310	3	上	きつつきの商売	聞く人は、かんそうをつたえましょう。	1			1	1						1		1	1	
311	3	上	きつつきの商売	言葉のむすびつきを考えて、くぎって読むところとつづけて読むところをくふうしましょう。	1			1			1			1		1		1	
312	3	上	きつつきの商売	つぎの文をいろいろにくぎって読み、聞いてみましょう。	1			1	1		1				1	1			1
313	3	上	きつつきの商売	声の大きさ、はやさ、間をとるところをくふうしましょう。	1			1			1			1		1			1
314	3	上	きつつきの商売	音をあらわす言葉を見つけたり考えたりして、はっぴょうしましょう。	1			1	1					1			1	1	
315	3	上	きつつきの商売	友だちとにているところやちがうところを見つけましょう。	1			1	1					1			1	1	
316	3	上	きつつきの商売	おぼえてつかいましょう。	1			1			1			1		1			1
317	3	上	きつつきの商売	聞いてほしい人をしょうたいして、音読はっぴょう会を開きましょう。	1			1			1				1		1		1
318	3	上	きつつきの商売	あなたがしょうたいしたい人はだれですか。		1		1			1					1		1	
319	3	上	きつつきの商売	来てもらいたい人に、しょうたいじょうを出しましょう。	1			1		1					1	1		1	
320	3	上	きつつきの商売	しょうたいじょうを作るときには、大事なことを落とさずに書きましょう。	1			1		1				1		1			1
321	3	上	きつつきの商売	また、うけとった人がよろこんでくれるように、書き方や形をくふうしましょう。	1			1		1					1	1		1	
322	3	上	きつつきの商売	大事なことを落とさずに書きましょう。	1			1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
323	3	上	漢字の音と訓(くん)	新しい漢字を学習するときには、どんな読み方があるのか、どんな意味で、どんなつかい方をするのかをたしかめるようにしましょう。	1		1					1		1		1			1
324	3	上	漢字の音と訓(くん)	教科書のふろくを活用しましょう。	1		1							1		1			1
325	3	上	ありの行列	まとまりに気をつけて読もう	1			1			1			1		1			1
326	3	上	ありの行列	ありの行列は、なぜできるのでしょう。		1		1			1		1			1			1
327	3	上	ありの行列	だれが、どのようにして、その答えを見つけようとしたのでしょう。		1		1			1		1			1			1
328	3	上	ありの行列	それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか。		1	1				1		1			1			1
329	3	上	ありの行列	「ありの行列」を読んで、はじめて知ったことやおどろいたこと、ぎもんに思ったことを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
330	3	上	ありの行列	どんな「問い」でしょう。		1		1			1		1			1			1
331	3	上	ありの行列	「問い」の「答え」は、どこに書いてあるでしょう。		1		1			1		1			1			1
332	3	上	ありの行列	書いてある段落を見つけましょう。	1			1			1		1			1			1
333	3	上	ありの行列	どの言葉や文で、それが分かりますか。		1		1			1		1			1			1
334	3	上	ありの行列	「答え」を出すために、ウィルソンはどんな実験や研究をしたのでしょう。		1		1			1		1			1			1
335	3	上	ありの行列	段落ごとにたしかめましょう。	1			1			1		1			1			1
336	3	上	ありの行列	段落に何が書いてあるかを考えるときは、その段落の中でいちばん大事な文、中心になる文を見つけましょう。	1			1			1			1		1			1
337	3	上	ありの行列	また、文章の中でくりかえし出てくる言葉、題名とつながりのある言葉などにも気をつけましょう。	1			1			1			1		1			1
338	3	上	ありの行列	かんさつしたり研究したりしたことを書いた文には、どちらの書き方が多くつかわれていますか。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
339	3	上	ありの行列	分かったことをせつめいしている文ではどちらの書き方が多いですか。		1		1			1		1			1			1
340	3	上	ありの行列	「ありの行列」に出てきた、次の言葉のはたらきを考えてみましょう。	1			1			1			1		1			1
341	3	上	漢字の広場	男の子は、どんなぼうけんをしてねこをさがしたのでしょう。		1	1				1				1	1			1
342	3	上	漢字の広場	絵の中の言葉をつかって、お話を書きましょう。	1		1			1					1	1			1
343	3	上	国語辞典を使おう	では、「いちがん」という言葉を辞典で見てみましょう。	1		1					1			1	1			1
344	3	上	国語辞典を使おう	あなたがよく使う国語辞典で、次の言葉はどちらが先に出ているか調べてみましょう。	1		1					1		1		1			1
345	3	上	国語辞典を使おう	次の＿＿＿線の言葉を国語辞典でさがして、意味を調べてみましょう。	1		1					1		1		1			1
346	3	上	国語辞典を使おう	次の＿＿＿線の言葉を国語辞典で調べ、どの意味が当てはまるか考えましょう。	1		1					1		1		1			1
347	3	上	国語辞典を使おう	国語辞典を使って、いろいろな問題を作り、楽しみましょう。	1		1					1			1	1		1	
348	3	上	わたしと小鳥とすずと	詩を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
349	3	上	おもしろいもの、見つけた	分かりやすく書こう	1			1		1					1	1			1
350	3	上	おもしろいもの、見つけた	どこで、どんなものを見つけたのか、くわしく書いて友だちに知らせましょう。	1			1	1	1				1		1		1	
351	3	上	おもしろいもの、見つけた	ひなが生まれたつばめの巣、人間の顔に見える木など、何かを見つけて、「おもしろいな、みんなに教えたいな。」と思ったことはありませんか。		1	1									1		1	
352	3	上	おもしろいもの、見つけた	見つけたもののことを文章に書いて、クラスの友だちに知らせましょう。	1		1		1					1			1	1	
353	3	上	おもしろいもの、見つけた	知らせたいものを決めよう。	1		1							1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
354	3	上	おもしろいもの、見つけた	学校や家のまわりで見つけたものの中から、何について知らせるかを決めましょう。	1		1			1				1		1		1	
355	3	上	おもしろいもの、見つけた	知らせたいことを整理して書こう。	1		1			1				1		1			1
356	3	上	おもしろいもの、見つけた	そのためには、何をつたえたらいいでしょう。		1	1			1				1		1		1	
357	3	上	おもしろいもの、見つけた	書いた文章を読み直そう。	1		1				1								
358	3	上	おもしろいもの、見つけた	一つの事がらが一つの段落に書かれているか、段落のはじめは一字下がっているか、読み直してたしかめましょう。	1		1				1			1		1			1
359	3	上	おもしろいもの、見つけた	また、習った漢字は使うようにしましょう。	1		1			1			1			1			1
360	3	上	おもしろいもの、見つけた	上の二つの文章を読みくらべてみましょう。	1			1			1			1		1			1
361	3	上	おもしろいもの、見つけた	「ぼく」を知らない読者につたえるには、どんな書き方をするのがいいでしょう。		1		1		1				1		1			1
362	3	上	おもしろいもの、見つけた	右のように、「かわいい」と、書き手がかんじたことを書くのと、左のように、「気にもたれて……向けています。」と事実を書くのとでは、どちらのほうが、様子がよくつたわりますか。		1		1		1				1		1			1
363	3	上	くわしくする言葉	次の文を読んでみましょう。	1		1				1				1	1			1
364	3	上	くわしくする言葉	では、次の文はどうでしょう。		1	1				1				1	1			1
365	3	上	くわしくする言葉	次の文に修飾語を足して、文をくわしくしましょう。	1		1			1				1		1			1
366	3	上	くわしくする言葉	次のゲームをしてみましょう。	1		1		1	1				1		1		1	
367	3	上	漢字の広場	どんな動物がいますか。		1	1				1		1			1			1
368	3	上	漢字の広場	どんな物がありますか。		1	1				1		1			1			1
369	3	上	漢字の広場	どんな人が何をしていますか。		1	1				1		1			1			1
370	3	上	漢字の広場	くわしくする言葉を使って書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
371	3	上	道あんないをしよう	じゅんじょが分かるように、話したり聞いたりしよう	1			1	1					1		1			1
372	3	上	道あんないをしよう	谷川さんといっしょに、森さんの道あんないを聞きながら、次ページの地図をゆびでたどってみましょう。	1		1		1				1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
373	3	上	道あんないをしよう	どこかで道にまよったとしたら、どうしてまよってしまったのか、考えましょう。	1		1		1					1		1		1	
374	3	上	道あんないをしよう	また、森さんは、どのように道あんないをすればよかったのか、考えてみましょう。	1		1		1					1		1		1	
375	3	上	道あんないをしよう	前のページの地図を使って、道あんないのれんしゅうをしましょう。	1		1		1					1		1			1
376	3	上	道あんないをしよう	話す人は、相手の様子をたしかめながら、はっきり発音しましょう。	1			1	1					1		1			1
377	3	上	道あんないをしよう	聞く人は、メモにとって、分からない言葉を後でだずねたり、「こうですか」と、相手の言葉をくりかえしたりして、せいかくに聞けたかをたしかめましょう。	1			1	1					1		1			1
378	3	上	三年とうげ	本と友だちになろう	1			1			1				1	1			
379	3	上	三年とうげ	いろいろな本を読んで、おもしろさを見つけ、友だちにしょうかいしましょう。	1			1	1						1	1		1	
380	3	上	三年とうげ	「三年とうげ」を読んで、おもしろいと思ったことや心にのこったことを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
381	3	上	三年とうげ	わけもいっしょに話しましょう。	1			1	1		1			1			1	1	
382	3	上	三年とうげ	友だちと自分の考えをくらべて、同じところやちがうところを見つけましょう。	1			1	1					1		1		1	
383	3	上	三年とうげ	さがして、読みましょう。	1			1			1		1			1			1
384	3	上	本は友だち	いろいろな本を読もう。	1		1				1				1	1			1
385	3	上	本は友だち	あなたは、どんな本が読みたいですか。		1	1				1				1	1		1	
386	3	上	本は友だち	本のおびを作ろう。	1		1			1	1				1	1			1
387	3	上	本は友だち	おもしろかった本、ほかの人にもすすめたいと思う本におびをつけて、しょうかいしましょう。	1		1		1						1	1		1	
388	3	上	本は友だち	本の、どんなおもしろさについて書きますか。		1	1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
389	3	上	本は友だち	おもしろさを、どのようにつたえますか。		1	1		1					1		1		1	
390	3	上	本は友だち	おびの、どこに、何を、どれぐらいの長さで書くかを考えましょう。	1		1			1				1		1		1	
391	3	上	本は友だち	読み手を引きつける書き方や、文字の大きさ、絵もくふうしましょう。	1		1			1					1	1		1	
392	3	上	漢字の広場	その時々の出来事をそうぞうして、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
393	3	上	キリン	詩を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
394	3	上	へんとつくり	次のようなカードをたくさん作って、組み合わせゲームをしましょう。	1		1					1			1	1			1
395	3	上	へんとつくり	「きへん・にんべん・いとへん」のついた漢字は、何に関係があるしょう。		1	1					1	1			1			1
396	3	上	「分類」ということ	進んで話し合い、発表しよう	1			1	1					1			1		1
397	3	上	「分類」ということ	話し合って、いろいろな見方・考え方を知りましょう。	1			1	1					1		1			1
398	3	上	「分類」ということ	調べて分かったことを、発表して知らせましょう。	1			1	1					1			1	1	
399	3	上	「分類」ということ	次の絵にかかれたねこを、二つか三つのグループに分けましょう。	1		1								1	1		1	
400	3	上	「分類」ということ	自分の考えと友だちの考えをくらべよう。	1		1		1					1			1		1
401	3	上	「分類」ということ	どのように分けたか、それは何を手がかりにしたのかを話し合って、たがいの考えの同じところやちがうところを見つけましょう。	1		1		1					1		1		1	
402	3	上	「分類」ということ	友だちの意見を聞くときは、自分と同じところはどこか、ちがうところはどこかに注意しましょう。	1			1	1					1		1			1
403	3	上	「分類」ということ	友だちの意見で、分からないところは、しつもんしましょう。	1			1	1						1	1			1
404	3	上	「分類」ということ	つくえやたんすに引き出しがいくつかあれば、ここには何を入れ、ここには何を入れると決めていませんか。		1	1									1			1
405	3	上	「分類」ということ	発表しよう。	1		1		1						1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
406	3	上	「分類」ということ	身の回りで分類されているものをさがして、何が、どのように分類されているか、その分類がどんなことに役立っているかを発表しましょう。	1		1		1					1		1		1	
407	3	上	「分類」ということ	インタビューをするときは、前もって、だれに、どんなことをたずねるのかを考えて決めましょう。	1			1	1					1			1	1	
408	3	上	「分類」ということ	インタビューをするときは、次のことに気をつけて、ていねいな言葉づかいで話しましょう。	1			1	1					1			1		1
409	3	上	「分類」ということ	インタビューが終わったら、メモをもとに聞いたことを整理しましょう。	1			1		1				1		1			1
410	3	上	反対の意味の言葉	次の中から、反対の意味を表す言葉の組み合わせを見つけましょう。	1		1					1			1	1			1
411	3	上	反対の意味の言葉	反対の意味の言葉の組み合わせを集めて、ゲームをしましょう。	1		1					1			1		1		1
412	3	上	「言葉(ことば)の森」あんない	さあ、森へのとびらを開(あ)けてみましょう。	1			1							1	1			
413	3	上	「言葉(ことば)の森」あんない	いろいろな地方の昔話(むかし)を楽しみましょう。	1			1			1				1	1		1	
414	3	上	「言葉(ことば)の森」あんない	そして、お話をおぼえて、だれかに聞かせてあげましょう。	1			1	1						1		1	1	
415	3	下	裏表紙	おぼえておきましょう。	1			1							1	1			1
416	3	下	裏表紙	テープなどを使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
417	3	下	裏表紙	ふろくを活用しましょう。	1			1							1	1			1
418	3	下	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方をたしかめましょう。	1			1							1	1			1
419	3	下	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、ひつようなときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
420	3	下	ちいちゃんのかげおくり	場面の様子をそうぞうしながら読もう	1			1			1			1		1			1
421	3	下	ちいちゃんのかげおくり	「かげおくり」って、どんな遊びなのでしょう。		1		1			1		1			1			1
422	3	下	ちいちゃんのかげおくり	だれが、いつ、どんな「かげおくり」をするのでしょう。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
423	3	下	ちいちゃんのかげおくり	二つの場面をくらべてみましょう。	1			1			1			1		1			1
424	3	下	ちいちゃんのかげおくり	どんなところが同じですか。		1		1			1		1			1			1
425	3	下	ちいちゃんのかげおくり	ちがいはなんでしょう。		1		1			1		1			1			1
426	3	下	ちいちゃんのかげおくり	読んで分かったことと感じたことを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
427	3	下	ちいちゃんのかげおくり	二つの「かげおくり」の間には、どんな出来事があったのでしょう。		1		1			1		1			1			1
428	3	下	ちいちゃんのかげおくり	その間に、「ちいちゃん」のまわりからうしなわれていったものを、じゅんばんに考えてみましょう。	1			1			1		1			1			1
429	3	下	ちいちゃんのかげおくり	このような言葉が表している様子に気をつけて、会話のところを声に出して読みましょう。	1			1			1		1			1			1
430	3	下	ちいちゃんのかげおくり	「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、いちばん心にのこったところはどこでしょう。		1		1			1			1		1		1	
431	3	下	ちいちゃんのかげおくり	言葉や文を書き出し、その理由といっしょに発表しましょう。	1			1	1					1		1		1	
432	3	下	ちいちゃんのかげおくり	えらんだ言葉や文がある場面を、聞き手に様子がよく分かるように音読しましょう。	1			1			1			1		1			1
433	3	下	ちいちゃんのかげおくり	それぞれ、どんな様子を表すでしょう。		1		1			1		1			1			1
434	3	下	ちいちゃんのかげおくり	それぞれ、意味を考えたり短い文を作ったりしましょう。	1			1		1				1		1		1	
435	3	下	ちいちゃんのかげおくり	一つ一つの言葉が表す意味を、できるだけくっきりと、心の中に絵をかくように思いうかべましょう。	1			1			1			1		1			1
436	3	下	ちいちゃんのかげおくり	「青い空」の「青」は、あなたが知っているどんな「青」に近いでしょう。		1		1			1			1		1		1	
437	3	下	ちいちゃんのかげおくり	「見る」と「見つめる」、「言う」と「つぶやく」は、どうちがうでしょう。		1		1			1			1		1		1	
438	3	下	こそあど言葉	どんなときに、どんな「こそあど言葉」を使っていますか。		1	1		1		1			1			1		1
439	3	下	こそあど言葉	上の絵を見て、同じようにとなりの人とやりとりをして、たしかめましょう。	1		1		1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
440	3	下	こそあど言葉	次の表をかんせいさせましょう。	1		1			1			1			1			1
441	3	下	こそあど言葉	教室の中で、友だちと組になって、「こそあど言葉」を使ったやりとりをしてみましょう。	1		1		1					1			1		1
442	3	下	漢字の広場	だれがどんなことをしていますか。		1	1				1			1		1		1	
443	3	下	漢字の広場	こそあど言葉もいくつか入れて、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
444	3	下	すがたをかえる大豆	大事なことをたしかめよう	1			1			1			1		1			1
445	3	下	すがたをかえる大豆	身の回りの食べ物には、どんなひみつがあるのでしょう。		1		1			1		1			1			1
446	3	下	すがたをかえる大豆	大事なことに気をつけて、読んだり書いたりしましょう。	1			1		1	1			1		1			1
447	3	下	すがたをかえる大豆	なんだか分かりますか。		1	1						1			1			1
448	3	下	すがたをかえる大豆	「すがたをかえる大豆」には、大豆の食べ方がいくつに分けて書いてありましたか。		1		1			1		1			1			1
449	3	下	すがたをかえる大豆	ノートに、おいしく食べるくふうと食品を書き出して整理しましょう。	1			1		1			1			1			1
450	3	下	すがたをかえる大豆	「すがたをかえる大豆」の文章の書き方について考えてみましょう。	1			1			1		1			1			1
451	3	下	すがたをかえる大豆	「中」の部分は、いくつ段落があり、何が、どのように書いてあるでしょう。		1		1			1		1			1			1
452	3	下	すがたをかえる大豆	さがしてみましょう。	1			1			1		1			1			1
453	3	下	食べ物はかせになろう	「すがたをかえる大豆」を学習して、「もっとくわしく知りたい。」「これはどうなんだろう。」と思ったことはありませんでしたか。		1	1				1					1		1	
454	3	下	食べ物はかせになろう	今度は自分たちで、身近な食べ物について本で調べてみましょう。	1		1				1			1			1	1	
455	3	下	食べ物はかせになろう	そして、分かったことをクラスのみんなに知らせましょう。	1		1		1					1			1	1	
456	3	下	食べ物はかせになろう	調べることを決めよう。	1		1				1				1	1		1	
457	3	下	食べ物はかせになろう	まず、調べる食べ物を決めましょう。	1		1				1				1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
458	3	下	食べ物はかせになろう	次に、その食べ物の、どんなことについて調べるのか決めましょう。	1		1				1			1		1		1	
459	3	下	食べ物はかせになろう	調べよう。	1		1				1				1	1		1	
460	3	下	食べ物はかせになろう	学校の図書室や地いきの図書館で、調べたいことがのっていそうな本を何さつかさがしましょう。	1		1				1			1		1		1	
461	3	下	食べ物はかせになろう	調べたことを整理して、文章にまとめよう。	1		1			1				1		1		1	
462	3	下	食べ物はかせになろう	調べて分かったことを、事がらごとにまとめ、「すがたをかえる大豆」のように、段落を分けて書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
463	3	下	食べ物はかせになろう	みんなの文章をまとめて、グループやクラスで本を作りましょう。	1		1			1				1			1	1	
464	3	下	カンジーはかせの音訓(くん)遊び歌	カンジーはかせの歌で、かるたを作って遊びましょう。	1		1					1			1	1		1	
465	3	下	せつめい書を作ろう	まとまりに分けて書こう	1			1		1				1		1			1
466	3	下	せつめい書を作ろう	とくいなことについて、練習のしかたや作り方を友だちにせつめいしましょう。	1			1	1					1		1		1	
467	3	下	せつめい書を作ろう	何についてせつめいするかを決めよう。	1		1			1					1	1		1	
468	3	下	せつめい書を作ろう	スポーツ・遊び・楽器(き)・工作・料(りょう)理などの中から、あなたがとくいなものをえらびましょう。	1		1			1				1		1		1	
469	3	下	せつめい書を作ろう	できるようになるまでに、どんなくふうや練習をしたかを、思い出してみましょう。	1		1			1				1		1		1	
470	3	下	せつめい書を作ろう	どんなせつめい書にするかを考えて書こう。	1		1			1				1		1		1	
471	3	下	せつめい書を作ろう	読む人に、「やり方がよく分かった。」「わたしも、ためしてみたい。」と思ってもらえるには、どんな書き方をしたらいいでしょう。		1	1			1				1		1		1	
472	3	下	せつめい書を作ろう	次のことに気をつけましょう。	1		1			1				1		1		1	
473	3	下	せつめい書を作ろう	このほかに、どんなくふうがありますか。		1	1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
474	3	下	せつめい書を作ろう	本を見たり、友だちと話し合ったりして、考えてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
475	3	下	せつめい書を作ろう	みんなに読んでもらおう。	1		1			1					1		1		1
476	3	下	せつめい書を作ろう	せつめい書を、クラスのみんなに読んでもらいましょう。	1		1			1					1		1		1
477	3	下	せつめい書を作ろう	おたがいのかんそうもつたえましょう。	1		1		1					1			1	1	
478	3	下	漢字の広場	何がありますか。		1	1					1	1			1			1
479	3	下	漢字の広場	どんな人がいますか。		1	1					1	1			1			1
480	3	下	漢字の広場	文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
481	3	下	名前をつけよう	考えを整理して話し合おう	1			1	1					1			1		1
482	3	下	名前をつけよう	話し合って、名前をつけましょう。	1		1		1					1			1	1	
483	3	下	漢字の意味	絵を見て、＿＿＿線のついた言葉に当てはまる漢字を書きましょう。	1		1			1			1			1			1
484	3	下	漢字の意味	次の文の□には、（　）の中のどちらが当てはまるでしょうか。		1	1			1			1			1			1
485	3	下	たから物をさがしに	そうぞうをふくらませて書こう	1			1		1				1		1			1
486	3	下	たから物をさがしに	次のページにある、たから島の地図を見てみましょう。	1		1								1	1			1
487	3	下	たから物をさがしに	絵地図を見ながら、男の子と女の子が、たから物を手に入れるまでのことをそうぞうして、物語を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
488	3	下	たから物をさがしに	書く前に考えよう	1		1			1				1		1		1	
489	3	下	たから物をさがしに	二人は、どうやって地図を手に入れたのでしょう。		1	1							1		1		1	
490	3	下	たから物をさがしに	出発するまでの様子を考えて、書きだしをくふうしましょう。	1		1			1					1	1		1	
491	3	下	たから物をさがしに	二人は、どの道をえらんで行きますか。		1	1							1		1		1	
492	3	下	たから物をさがしに	通る道を考え、出会うものや動物をたしかめましょう。	1		1								1	1			1
493	3	下	たから物をさがしに	きけんなものに出会ったとき、どうするでしょうか。		1	1							1		1		1	
494	3	下	たから物をさがしに	二人の行動をそうぞうしましょう。	1		1								1	1		1	
495	3	下	たから物をさがしに	まわりの様子や二人の気持ち、二人が話した言葉なども考えましょう。	1		1								1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
496	3	下	たから物をさがしに	書いたら、読み返そう	1		1			1	1			1		1			1
497	3	下	たから物をさがしに	様子や気持ちがよく分かるように書けていますか。		1	1			1				1		1			1
498	3	下	たから物をさがしに	文と文とのつながりは、分かりにくくありませんか。		1	1			1				1		1			1
499	3	下	たから物をさがしに	言い方のおかしいところや、文字のまちがいはありませんか。		1	1			1				1		1			1
500	3	下	たから物をさがしに	文の終わりは、「です」「ました」か、「だ」「だった」にそろっていますか。		1	1			1				1		1			1
501	3	下	たから物をさがしに	友だちの物語で、おもしろいな、くふうしているなと思うところを、感想カードに書いて、わたしましょう。	1		1			1				1		1		1	
502	3	下	漢字と友だち	漢字をめぐって､みんなで楽しく話したり書いたりしましょう。	1			1	1	1					1	1		1	
503	3	下	漢字と友だち	漢字のなりたちを知ろう。	1		1					1	1			1			1
504	3	下	漢字と友だち	では、見えないものや、絵にかけないものを表す漢字は、どのように作られたのでしょう。		1	1					1	1			1			1
505	3	下	漢字と友だち	漢字で遊ぼう。	1		1					1			1			1	
506	3	下	漢字と友だち	楽しく遊びましょう。	1		1					1			1			1	
507	3	下	漢字と友だち	その二つを組み合わせて、「名」のように、「漢字たんじょうものがたり」を書いてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
508	3	下	漢字と友だち	漢字の書き方を思い出すのに役立つ「漢字の書き方歌」を作りましょう。	1		1		1	1					1	1		1	
509	3	下	漢字と友だち	新しい漢字を発明して、そのたんじょう物語を書いてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
510	3	下	漢字の広場	それぞれの教科でどんなことをしますか。		1	1						1			1		1	
511	3	下	漢字の広場	そうぞうしたことも入れて、文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
512	3	下	学習したことを生かして	一年間つみ重ねてきた学習を生かして、自分の力で「モチモチの木」に取り組みましょう。	1			1							1	1		1	
513	3	下	「言葉の森」あんない	さあ、森へのとびらを開けてみましょう。	1			1							1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
514	3	下	へんしん物語	何かの目と心になったつもりで、身の回りの出来事を物語のように書いてみましょう。	1			1		1				1		1		1	
515	3	下	世界の「こんにちは」と文字	ここにある言葉を知っている人がいたら、あいさつしてみましょう。	1			1	1						1	1		1	
516	3	下	世界の「こんにちは」と文字	「ありがとう」はどう言うのかな。		1		1	1				1			1			1
517	3	下	世界の「こんにちは」と文字	知っている人にきいたり、調べたりしてみましょう。	1			1				1			1		1		1
518	4	上	裏表紙	覚えておきましょう。	1			1							1	1			1
519	4	上	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
520	4	上	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方をたしかめましょう。	1			1							1	1			1
521	4	上	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
522	4	上	つづけてみよう	次にしょうかいすることを参考にして、一年間つづけてみましょう。	1		1								1	1			1
523	4	上	つづけてみよう	ふと目にしたり耳にしたりする言葉に立ち止まってみましょう。	1		1		1		1				1	1		1	
524	4	上	つづけてみよう	「いい言葉だな。」「おもしろいな。」と思ったら、朝の会などでみんなにしょうかいしましょう。	1		1		1					1			1	1	
525	4	上	つづけてみよう	友だちのたんじょう日に言葉のプレゼントをしましょう。	1		1		1						1	1		1	
526	4	上	三つのお願い	だれが、どんなことを願うのでしょう。		1		1			1		1			1			1
527	4	上	三つのお願い	それはかなうのでしょうか。		1		1			1		1			1			1
528	4	上	三つのお願い	三つのお願いについて、それぞれの次のことをたしかめましょう。	1			1			1				1	1			1
529	4	上	三つのお願い	だれがしたお願いでしょうか。		1		1			1		1			1			1
530	4	上	三つのお願い	どんなお願いでしたか。		1		1			1		1			1			1
531	4	上	三つのお願い	いつのことですか。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
532	4	上	三つのお願い	どこでしたことですか。		1		1			1		1			1			1
533	4	上	三つのお願い	だれといっしょでしたか。		1		1			1		1			1			1
534	4	上	三つのお願い	すきな場面をえらんで、みなさんも聞き手にかたりかけるつもりで音読しましょう。	1			1			1			1		1			1
535	4	上	三つのお願い	次のことに気をつけて、くふうしましょう。	1			1			1				1	1			1
536	4	上	三つのお願い	教科書に印を付けたり、書きこみをしたりして、気持ちや様子が表れるように練習してみましょう。	1			1			1			1		1			1
537	4	上	三つのお願い	題名につながりのある言葉、くり返し出てくる言葉、書きだしの部分、むすびの部分に注意して、「三つのお願い」の中で、大事だと思う言葉を考えてみましょう。	1			1			1		1			1			1
538	4	上	三つのお願い	次の話題のどれかについて発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
539	4	上	三つのお願い	発表した自分の体験や思いを入れて、ノービィかドクターにあてた手紙を書きましょう。	1			1		1					1	1		1	
540	4	上	漢字の組み立て	組み合わせを考えて、元の漢字を作ってみましょう。	1		1					1			1	1			1
541	4	上	漢字の組み立て	[心]や[雨]は、どんな意味があるでしょう。		1	1					1	1			1			1
542	4	上	漢字の組み立て	「これまでに習った漢字」（93ページ）を見て、ここに出てきた部分をもつ漢字をさがしましょう。	1		1					1	1			1			1
543	4	上	「かむ」ことの力	段落のつながりに気をつけて読もう	1			1			1				1	1			1
544	4	上	「かむ」ことの力	わたしたちの体には、どんな力があるのでしょう。		1	1				1		1			1			1
545	4	上	「かむ」ことの力	自分の体や生活について考えてみましょう。	1		1						1			1		1	
546	4	上	「かむ」ことの力	「よくかんで食べなさい。」と、いつも言われていませんか。		1	1						1			1		1	
547	4	上	「かむ」ことの力	かむって、どういうことなのでしょう。		1	1						1			1			1
548	4	上	「かむ」ことの力	また、よくかむと、どんないいことがあるのでしょう。		1	1						1			1			1
549	4	上	「かむ」ことの力	いっしょに考えてみましょう。	1		1								1	1			
550	4	上	「かむ」ことの力	食べ物を一口、口の中に入れてみましょう。	1		1								1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用例文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
551	4	上	「かむ」ことの力	「『かむ』ことの力」を読んで、初めて知ったことや大切だなと思ったことを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
552	4	上	「かむ」ことの力	それぞれのまとまりは、いくつかの段落からできているでしょう。		1		1			1		1			1			1
553	4	上	「かむ」ことの力	また、一つ一つの段落には、どんな内容が書かれているでしょう。		1		1			1		1			1			1
554	4	上	「かむ」ことの力	「『かむ』ことの力」は、中心となる二つの大きなまとまりのほかに、どんなまとまりからできているでしょうか。		1		1			1		1			1			1
555	4	上	「かむ」ことの力	「『かむ』ことの力」から、そういう段落を見つけて、たしかめましょう。	1			1			1		1			1			1
556	4	上	「かむ」ことの力	様子を表す反対の言葉を集めましょう。	1			1				1			1	1		1	
557	4	上	「かむ」ことの力	このように、たがいに関係のある言葉の仲間集めをしましょう。	1			1				1			1	1		1	
558	4	上	漢字の広場	この町の住人になったつもりで、町のまわりの様子をしょうかいする文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
559	4	上	春のうた	詩を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
560	4	上	漢字辞典の使い方	漢字の読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」で調べましょう。	1		1					1		1		1			1
561	4	上	漢字辞典の使い方	部首が分かるときは、「部首さくいん」で調べましょう。	1		1					1		1		1			1
562	4	上	漢字辞典の使い方	漢字の音か訓の読み方が分かっているときは、「音訓さくいん」を見ましょう。	1		1					1		1		1			1
563	4	上	漢字辞典の使い方	漢字辞典を使って、一線の漢字の意味や使い方を調べてみましょう。	1		1					1		1		1			1
564	4	上	新聞記者になろう	伝えたいことをはっきりさせて書こう	1			1		1				1		1			1
565	4	上	新聞記者になろう	一人一人が新聞記者になって、伝えたいことを記事に書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
566	4	上	新聞記者になろう	新聞の形式と内容を調べよう。	1		1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
567	4	上	新聞記者になろう	家の人が毎日読んでいる新聞、小学生新聞、スポーツ新聞など、いくつかの新聞を持ちよりましょう。	1		1			1					1	1			1
568	4	上	新聞記者になろう	そして、どんな記事があるか、どんな書き方をしているかを調べ、気づいたことを発表しましょう。	1		1		1					1			1	1	
569	4	上	新聞記者になろう	どんな新聞を作るか、どんな話題をのせるのかを考えよう。	1		1			1				1		1		1	
570	4	上	新聞記者になろう	グループごとに、ほかのクラスの人やほかの学年の人、家の人などに、自分たちのことを知らせる新聞を作りましょう。	1		1			1				1			1	1	
571	4	上	新聞記者になろう	だれに読んでもらいますか。		1	1			1				1		1		1	
572	4	上	新聞記者になろう	どんな内容にしますか。		1	1			1				1		1		1	
573	4	上	新聞記者になろう	新聞の大きさや形、記事の量はどれぐらいにしますか。		1	1			1				1		1		1	
574	4	上	新聞記者になろう	取り上げた話題について、取材しよう。	1		1		1						1		1	1	
575	4	上	新聞記者になろう	大事なことはメモにとって、まちがいのないようにたしかめましょう。	1		1		1	1				1		1			1
576	4	上	新聞記者になろう	記事の下書きをしよう。	1		1			1					1	1			1
577	4	上	新聞記者になろう	取材メモをもとに、記事の文章を下書きしてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
578	4	上	新聞記者になろう	記事にすることをえらびましょう。	1		1			1				1		1		1	
579	4	上	新聞記者になろう	また、その内容を知らない人が読んでも分かるように、組み立てを考え、必要なところは説明を加えましょう。	1		1			1				1		1		1	
580	4	上	新聞記者になろう	新聞に仕上げよう。	1		1			1					1	1			1
581	4	上	新聞記者になろう	新聞の名前を決めましょう。	1		1			1				1		1		1	
582	4	上	新聞記者になろう	見出しや写真・絵の大きさ、入れ方も考えて、わり付けをしましょう。	1		1			1				1		1		1	
583	4	上	新聞記者になろう	わり付けをしたら、分かりやすい記事になるように、みんなで下書きを読んで、意見を出し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
584	4	上	新聞記者になろう	記事を仕上げましょう。	1		1			1					1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
585	4	上	新聞記者になろう	まちがいがないかたしかめ、ていねいな字で書きましょう。	1		1			1				1		1			1
586	4	上	漢字の広場	人々が「していること」を中心に、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1			1
587	4	上	ローマ字	表をたてに見てみましょう。	1		1					1			1	1			1
588	4	上	ローマ字	次に、横に見てみましょう。	1		1					1			1	1			1
589	4	上	ローマ字	ほかの段や行には、どんな特ちょうがあるでしょうか。		1	1					1		1		1			1
590	4	上	ローマ字	表を見ながら、□や○の中に文字を入れ、声に出して読んでみましょう。	1		1				1				1	1			1
591	4	上	ローマ字	声に出して読みましょう。	1		1				1			1		1			1
592	4	上	ローマ字	ローマ字で書きましょう。	1		1			1				1		1			1
593	4	上	ローマ字	注意して読みましょう。	1		1				1				1	1			1
594	4	上	ローマ字	声に出して読んでみましょう。	1		1				1			1		1			1
595	4	上	ローマ字	ローマ字で書きましょう。	1		1			1				1		1			1
596	4	上	ローマ字	49 ページの表を見て、たしかめましょう。	1		1					1			1	1			1
597	4	上	ローマ字	さかしてみましょう。	1		1					1			1	1		1	
598	4	上	ローマ字	教室にあるものを、ローマ字を使って書いてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
599	4	上	ローマ字	[　]内の書き方でも書いてみましょう。	1		1			1				1		1			1
600	4	上	ローマ字	自分の名前や学校名をローマ字で書いて、めいしを作ってみましょう。	1		1			1					1	1			1
601	4	上	伝言はまちがえずに	大事なことを落とさずに話したり聞いたりしよう	1			1	1					1		1			1
602	4	上	伝言はまちがえずに	田中さんと青山さんの受けこたえは、どこがちがうでしょうか。		1	1		1				1			1			1
603	4	上	伝言はまちがえずに	あなたなら、どのように聞いて、どんなメモをとりますか。		1	1		1	1				1		1		1	
604	4	上	伝言はまちがえずに	また、あなたが話すほうだったら、どんな話し方をしますか。		1	1		1					1		1		1	
605	4	上	伝言はまちがえずに	次のような場面を考えて、メモをとりながら聞いたり、相手が聞き取りやすいように話したりしてみましょう。	1		1		1					1			1		1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
606	4	上	伝言はまちがえずに	速く、正確にメモがとれるように、工夫したり練習したりしましょう。	1		1			1					1	1			1
607	4	上	白いぼうし	本と友達になろう	1			1			1				1	1			1
608	4	上	白いぼうし	いろいとな読み物を読んで、その本の特色や心の残る言葉、表現を見つけ、友達にしょうかいしましょう。	1			1	1		1			1			1	1	
609	4	上	白いぼうし	この作品で、いちばんおもしろいな、すてきだなと思うところ、心に残るところを発表しましょう。	1			1	1					1			1	1	
610	4	上	白いぼうし	その部分をいくつか書き出し、どんな人がらについて話し合ってみましょう。	1			1	1	1				1			1	1	
611	4	上	白いぼうし	これらの言葉から、どんな様子が思いうかぶでしょうか。		1		1			1			1		1		1	
612	4	上	白いぼうし	また、これらの言葉は作品全体にどんな感じをあたえているでしょうか。		1		1			1			1		1		1	
613	4	上	白いぼうし	ほかの例もさがして、考えて見ましょう。	1			1			1			1		1		1	
614	4	上	白いぼうし	言葉や表現に注意して、いろいろな物語を楽しみましょう。	1			1			1				1	1		1	
615	4	上	本は友達	いろいろな本を読もう。	1		1				1				1	1			1
616	4	上	本は友達	本を手に取り、開いてみましょう。	1		1				1				1	1		1	
617			本は友達	「おすすめの本」カード集を作ろう。	1			1		1					1	1		1	
618	4	上	本は友達	読んでおもしろいと思った本を、友達にしょうかいしましょう。	1		1		1		1			1			1	1	
619	4	上	本は友達	あなたが、その本をしょうかいしたいいちばんの理由はなんでしょう。		1	1							1		1		1	
620	4	上	本は友達	その文を中心に、しょうかいすることを考え、文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
621	4	上	本は友達	友達がその本を読みたくなるように、よびかけや問いかけの文を入れるなど、書き方も工夫しましょう。	1		1			1				1		1		1	
622	4	上	漢字の広場	どこで、どんなことが行われていますか。	1		1					1		1		1			1
623	4	上	漢字の広場	想像したことも加えて、文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
624	4	上	ぼく	詩を楽しもう	1			1			1				1	1		1	
625	4	上	「伝え合う」ということ	調べて発表しよう	1			1	1						1		1	1	
626	4	上	「伝え合う」ということ	知らせたいことの中心が分かるように話しましょう。	1			1	1					1			1	1	
627	4	上	「伝え合う」ということ	友達の発表の大事なところを聞き取りましょう。	1			1	1					1			1	1	
628	4	上	「伝え合う」ということ	たくさんの人たちと、より深く分かり合うには、どうしたらいいでしょうか。		1	1		1						1	1		1	
629	4	上	「伝え合う」ということ	調べたことをもとに、みんなで考えてみましょう。	1		1		1					1			1		
630	4	上	「伝え合う」ということ	自分の課題をもって調べよう。	1		1								1	1		1	
631	4	上	「伝え合う」ということ	次の資料を参考にして、もっと知りたいこと、自分でたしかめたいことなどを出し合うことから始めましょう。	1		1		1					1		1		1	
632	4	上	手と心で読む	みなさんの中で、駅の自動券売機の表面に、小さな点のうき出たところがあるのに気づいた人はいませんか。		1	1				1		1			1			
633	4	上	「伝え合う」ということ	そして、決まった課題に取り組みましょう。	1		1							1		1		1	
634	4	上	「伝え合う」ということ	みなさんも、中村さんのようにじゅんびして、発表しましょう。	1		1		1						1		1	1	
635	4	上	「伝え合う」ということ	友達の発表は、メモをとりながら聞きましょう。	1		1		1					1			1		1
636	4	上	「伝え合う」ということ	聞き取りメモも工夫しましょう。	1		1		1	1					1	1			1
637	4	上	「伝え合う」ということ	知らせたいことが聞き手によく分かるように、次のことに気をつけましょう。	1		1		1					1		1			1
638	4	上	「伝え合う」ということ	感想を交流して、考えを深めよう。	1		1		1						1		1	1	
639	4	上	「伝え合う」ということ	友達の発表を聞いて、どんなことが分かりましたか。		1	1		1					1			1	1	
640	4	上	「伝え合う」ということ	自分が調べたことや考えたこととくらべて、どんな感想をもちましたか。		1	1							1			1	1	
641	4	上	「伝え合う」ということ	いろいろな「伝え合い」の方法や、人と深く分かり合うためにすること、できることについて、話し合って考えを深めましょう。	1		1		1						1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
642	4	上	にた意味の言葉	「友達の手をにぎる」のは、どんなときですか。		1	1					1	1			1			1
643	4	上	にた意味の言葉	「友達の手をつかむ」のは、どんなときですか。		1	1					1	1			1			1
644	4	上	にた意味の言葉	次のそれぞれについて、文を作ってちがいを考えてみましょう。	1		1					1		1		1			1
645	4	上	にた意味の言葉	また、ほかにも、にた意味の言葉を集めましょう。	1		1					1	1			1		1	
646	4	上	漢字の広場	絵の中の言葉を使って、二つの昔話を完成させましょう。	1		1			1				1		1		1	
647	4	上	「言葉の森」あんない	さあ、森へのとびらを開けてみましょう。	1			1							1	1		1	
648	4	上	いろはにほへと	場面のうつり変わりのおもしろさや表現のおもしろさを味わいながら、物語を楽しみましょう。	1			1			1				1	1		1	
649	4	下	裏表紙	覚えておきましょう。	1			1							1	1			1
650	4	下	裏表紙	テープなど使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
651	4	下	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
652	4	下	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方を確かめましょう。	1			1				1			1	1			1
653	4	下	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
654	4	下	一つの花	場面をくらべて読もう	1			1			1			1		1			1
655	4	下	一つの花	どんな時代の物語でしょう。		1		1			1		1			1			1
656	4	下	一つの花	どんな人が、どんな気持ちで、どんなことを言ったりしたりしたのでしょう。		1		1			1		1			1			1
657	4	下	一つの花	場面ごとの様子や、場面と場面のつながりについて、登場人物に注目してくわしく読みましょう。	1			1			1		1			1			1
658	4	下	一つの花	「お母さん」は、どんなことをし、どんなことを言ったと思いますか。		1		1			1		1			1			1
659	4	下	一つの花	それは、文章のどの部分から分かりますか。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
660	4	下	一つの花	他の場面についても、書かれていることを手がかりにして、書かれていないことを想像し、「ゆみ子」「お母さん」「お父さん」の会話・行動、そして気持ちを考えましょう。	1			1			1		1			1		1	
661	4	下	一つの花	戦争中と戦争後の場面について、次のことに気をつけてくらべてみましょう。	1			1			1		1			1			1
662	4	下	一つの花	題名の「一つの花」は、物語のどんなところに出てきますか。	1			1			1		1			1			1
663	4	下	一つの花	この題名の付け方について、思ったことや考えたことを話し合いましょう。	1			1	1					1			1	1	
664	4	下	一つの花	作品の中の大事な言葉に気をつけて読みましょう。	1			1			1			1		1			1
665	4	下	一つの花	使い方や使われている場面について考えましょう。	1			1			1			1		1			1
666	4	下	一つの花	言葉を置き換えると、様子はどのようにちがってきますか。		1		1			1			1		1		1	
667	4	下	文と文のつながり	（　）に接続語を入れましょう。	1		1					1	1			1			1
668	4	下	文と文のつながり	（　）に接続語を入れましょう。	1		1					1	1			1			1
669	4	下	文と文のつながり	どんな接続語を入れると、どんな意味になるでしょう。		1	1					1	1			1			1
670	4	下	アップとルーズで伝える	材料の選び方を考えよう	1			1		1	1				1	1		1	
671	4	下	アップとルーズで伝える	テレビの画面は、わたしたちに何を伝えようとしているのでしょうか。		1		1	1				1			1		1	
672	4	下	アップとルーズで伝える	目的に合わせた伝え方について考えましょう。	1			1						1		1		1	
673	4	下	アップとルーズで伝える	アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしょう。		1	1				1		1			1			1
674	4	下	アップとルーズで伝える	アップでとったゴール直後のシーンを見てみましょう。	1		1				1				1	1			1
675	4	下	アップとルーズで伝える	どの写真の内容が、どの段落に書かれているでしょうか。		1		1			1		1			1			1
676	4	下	アップとルーズで伝える	第三段落は、前の二つとどのような関係でつながっているでしょう。		1		1			1		1			1			1
677	4	下	アップとルーズで伝える	第六段落は、どの段落の内容をまとめているのでしょう。		1		1			1		1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
678	4	下	アップとルーズで伝える	最後の二つの段落は、それぞれ他の段落とどのような関係なのでしょう。		1		1			1		1			1			1
679	4	下	アップとルーズで伝える	「しかし」（20ページ7行目）、「でも」（21ページ8行目）に着目して、アップとルーズが、それぞれ伝えられることと伝えられないことをまとめましょう。	1			1		1			1			1			1
680	4	下	アップとルーズで伝える	本文の中から、次の言葉を書き出しましょう。	1			1		1			1			1			1
681	4	下	アップとルーズで伝える	また、知っているほかの言葉も集めて、書き足しましょう。	1			1		1			1			1		1	
682	4	下	四年三組から発信します	ふだん見なれている学校の中の物、地いきにある物について、くわしく知りたいことや疑問に思うことを調べ、かべ新聞やポスターを作って、知らせましょう。	1		1		1					1			1	1	
683	4	下	四年三組から発信します	だれに知らせるのかを決めて、いちばん知らせたいことは何か、相手が知りたいと思うことは何かを考えましょう。	1		1							1		1		1	
684	4	下	四年三組から発信します	下書きを書いたら、知らせたいことが伝わるか、読者が知ってよかったと思える内容が、分かりやすく言葉で書けているかを考えて読み返しましょう。	1		1				1			1		1			1
685	4	下	四年三組から発信します	新聞作りの学習を思い出し、わり付けを考えて清書しましょう。	1		1			1				1		1			1
686	4	下	漢字の広場	どこで、どんな人が、どんなことをしているかを、文章に書いてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
687	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	次の□に入る言葉を考えましょう。	1		1					1	1			1			1
688	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	次の「ひく」「かける」を使って、「とる」にならった言葉遊びの歌を作ってみましょう。	1		1					1			1	1		1	
689	4	下	生活を見つめて	調べたことを知らせよう	1			1	1						1		1		
690	4	下	生活を見つめて	生活の中で疑問に思ったことについて、調べたことが分かるように、組み立てを考えて書きましょう。	1			1		1				1		1		1	
691	4	下	生活を見つめて	毎日の生活にかかわることで、「本当にそうなのかな。」「友達はどうなのだろう。」と思うことはありませんか。		1	1						1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
692	4	下	生活を見つめて	そのような問題を取り上げて、調べてみましょう。	1		1							1		1		1	
693	4	下	生活を見つめて	そして、調べたこと、分かったことをまとめて、クラスのみんなに知らせましょう。	1		1		1						1		1	1	
694	4	下	生活を見つめて	調べることを決めよう。	1		1								1	1		1	
695	4	下	生活を見つめて	ふだん、友達と話していること、家の人や先生に言われること、テレビや新聞で見たことなどの中から、自分たちの生活に関係のある話題を出し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
696	4	下	生活を見つめて	そして、同じ話題に関心のある人どうしでグループを作り、どんなことを調べるかを話し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
697	4	下	生活を見つめて	調べ方を決めて、調べよう。	1		1								1	1		1	
698	4	下	生活を見つめて	調べることが決まったら、どんな方法で調べるかを考えましょう。	1		1							1		1		1	
699	4	下	生活を見つめて	調べたこと、分かったことを整理しよう。	1		1							1		1		1	
700	4	下	生活を見つめて	調べたことから、どんなことが分かるか。		1	1							1		1		1	
701	4	下	生活を見つめて	さらに調べたほうがよいことはあるか。		1	1							1		1		1	
702	4	下	生活を見つめて	どのようなまとめ方が分かりやすいか。		1	1			1				1		1		1	
703	4	下	生活を見つめて	まとめたことを知らせる文章を書こう。	1		1			1				1		1		1	
704	4	下	生活を見つめて	感想や意見の交流をしよう。	1		1		1						1		1	1	
705	4	下	生活を見つめて	感想や意見を交流して、考えるきっかけにしましょう。	1		1		1						1	1		1	
706	4	下	生活を見つめて	そのほかには、どんなことが読み取れますか。		1	1				1			1		1		1	
707	4	下	生活を見つめて	同じアンケートを、時期をずらしたり、相手を変えたりして行い、結果をくらべると、どんなことが分かるでしょうか。		1	1							1		1		1	
708	4	下	生活を見つめて	例えば、三学期にクラスでもう一度同じアンケートをして、結果をくらべてみましょう。	1		1								1	1		1	
709	4	下	熟語の意味	訓を手がかりにして、次の言葉の意味を考えましょう。	1		1					1		1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
710	4	下	熟語の意味	漢字の組み合わせを手がかりにして、次の熟語の意味を考えてみましょう。	1		1					1		1		1			1
711	4	下	熟語の意味	その後、漢字辞典などでたしかめてみましょう。	1		1					1		1		1			1
712	4	下	話し合って決めよう	よりよい意見にまとめよう	1			1	1						1		1	1	
713	4	下	話し合って決めよう	話し合いを上手に進めるためには、どのようなことに気をつけるといいでしょうか。		1	1		1					1		1		1	
714	4	下	話し合って決めよう	のぞみさんのグループの話し合いをもとに、考えてみましょう。	1		1		1					1		1		1	
715	4	下	話し合って決めよう	次のような話題で話し合ってみましょう。	1		1		1					1		1		1	
716	4	下	つぶやきを言葉に	心にとまったことを書こう	1			1		1					1	1		1	
717	4	下	つぶやきを言葉に	友達の詩を参考にして、不思議だなと思ったり、はっとしたりしたことを、言葉にしてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
718	4	下	言葉遊びの世界	いろいろな言葉遊びを知り、自分たちでも作ってみましょう。	1			1		1				1			1	1	
719	4	下	言葉遊びの世界	そして、みんなで楽しみましょう。	1			1				1			1		1	1	
720	4	下	言葉遊びの世界	次の文章を読んで、いろいろな言葉遊びを知りましょう。	1		1				1				1	1			1
721	4	下	言葉遊びの世界	その後で、自分たちでも集めたり作ったりして、言葉遊びを楽しみましょう。	1		1					1			1		1	1	
722	4	下	言葉遊びの世界	同じ音の言葉が入っているだけで、なんだかおもしろい感じがしませんか。		1	1					1			1	1		1	
723	4	下	言葉遊びの世界	次の文は、どのような言葉遊びか分かりますか。		1	1				1		1			1			1
724	4	下	言葉遊びの世界	分かりますか。		1	1				1		1			1			1
725	4	下	言葉遊びの世界	ここでは、外国のなぞなぞをいくつかしょうかいしましょう。	1		1					1		1		1			1
726	4	下	言葉遊びの世界	自分も、人も、いっしょに楽しくなれるように、言葉の世界で遊んでみましょう。	1		1					1			1		1	1	
727	4	下	言葉遊びの世界	次の中からいくつか選んでやってみましょう。	1		1					1			1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
728	4	下	言葉遊びの世界	「こんにちは」「ありがとう」などのあいさつや、人やものの名前などを行の頭に置いて、詩を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
729	4	下	言葉遊びの世界	クロスワードパズルやなぞなぞ作りに挑戦しましょう。	1		1					1			1	1		1	
730	4	下	言葉遊びの世界	自分で考えたり、本でさがしたりして、「しゃれ」や「回文」を集めましょう。	1		1					1	1			1		1	
731	4	下	言葉遊びの世界	後書きに感想なども書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
732	4	下	言葉遊びの世界	図書室などで言葉遊びの本をさがして読みましょう。	1		1				1			1		1		1	
733	4	下	言葉遊びの世界	おもしろい遊びを見つけたら、遊び方を説明する文章を書いて、みんなにしょうかいしましょう。	1		1		1	1				1			1	1	
734	4	下	漢字の広場	絵の中の言葉を使って、学校や家での勉強について、文章に書いてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
735	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	みなさんもいっしょに、いろいろな漢字しりとりに挑戦しましょう。	1		1					1			1		1	1	
736	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	かごの中から□に当てはまる漢字を選び、しりとりを完成させましょう。	1		1					1	1			1			1
737	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	箱の中ｋら、①②の□に当てはまる漢字を選び、二字の熟語のしりとりを完成させましょう。	1		1					1	1			1			1
738	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	「入浴」→「浴場」→「場□」→･･･のように、二字の熟語を作りながら進みましょう。	1		1					1	1			1			1
739	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	漢字の読み方や意味が分からないときは、漢字辞典で調べよう。	1		1					1		1		1			1
740	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	どんな決まりのしりとりでしょう。		1	1					1	1			1			1
741	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	□にあてはまる言葉を考えてしりとりを完成させましょう。	1		1					1	1			1			1
742	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	それを、同じ読み方の漢字でつないで、しりとりをしましょう。	1		1					1	1			1			1
743	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	「二十一世紀」から始めて、すべての漢字を一回ずつ使い、ひとつながりのしりとりができますか。		1	1					1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
744	4	下	学習したことを生かして	一年間積み重ねてきた学習を生かして、自分の力で「ごんぎつね」に取り組みましょう。	1		1				1				1	1		1	
745	4	下	「言葉の森」案内	さあ、森へのとびらを開けてみましょう。	1			1							1			1	
746	4	下	言葉のおうえんだん	次の中から選んでやってみましょう。	1			1		1					1	1			
747	4	下	言葉のおうえんだん	走り終わった人に言う言葉を考えて、空いているふき出しに入れましょう。	1			1		1	1			1		1		1	
748	4	下	言葉のおうえんだん	いくつ考えられますか。		1		1				1		1		1		1	
749	4	下	言葉のおうえんだん	ふき出しの中の言葉を使って、短いお話を考えましょう。	1			1		1				1		1		1	
750	4	下	言葉のおうえんだん	感謝している気持ちや様子を表す、いろいろな言い方を集めましょう。	1			1				1		1		1		1	
751	4	下	心でパチリ	声に出してくり返し読み、パチリととらえられた世界と言葉のひびきを味わいましょう。	1			1			1				1	1		1	
752	5	上	裏表紙	覚えておきましょう。	1			1							1	1			1
753	5	上	裏表紙	テープなどを使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
754	5	上	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
755	5	上	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方を確(たし)かめましょう。	1			1				1			1	1			1
756	5	上	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
757	5	上	続けてみよう	身の回りだけでなく、少し広い世界に関心を向けて、物事を考えましょう。	1		1								1	1			1
758	5	上	続けてみよう	興味を引かれたニュースについて、新聞から記事を選び、自分の意見や感想を加えて友達に知らせましょう。	1		1		1					1		1		1	
759	5	上	続けてみよう	みんなで続けてみませんか。		1	1		1						1		1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
760	5	上	続けてみよう	記事を切り取って台紙にはり、意見や感想をそえて、掲示板（けいじ）などで知らせてもいいでしょう。	1		1			1				1		1			1
761	5	上	続けてみよう	友達は、どんなことに興味をもち、どんなことを考えるのでしょうか。		1	1										1	1	
762	5	上	新しい友達	本に親しみ人間を見つめよう	1			1			1				1	1			1
763	5	上	新しい友達	人物の気持ちは、人とのかかわりの中でどのようにゆれ動くだろう。		1		1			1		1			1			1
764	5	上	新しい友達	二年ぶりの「まりちゃん」を、「わたし」はどう見ているのだろうか。		1		1			1		1			1			1
765	5	上	新しい友達	「わたし」から見た「まりちゃん」を表す表現を書き出し、なぜそのように表しているのか、そのときの「わたし」の心情を考えてみよう。	1			1			1		1			1			1
766	5	上	新しい友達	「まりちゃん」の心情についても、想像してみよう。	1			1			1		1			1		1	
767	5	上	新しい友達	「わたし」や「まりちゃん」の心情で、共感できるところ、疑問に思うところはどこだろうか。		1		1			1		1			1		1	
768	5	上	新しい友達	話し合ってみよう。	1			1	1					1	1		1	1	
769	5	上	新しい友達	この作品で、「坂本君」はどんな役わりを果たしているだろうか。		1		1			1		1			1			1
770	5	上	新しい友達	考えてみよう。	1			1			1				1	1		1	
771	5	上	新しい友達	どの場面のクロッカスが心に残っただろうか。		1		1			1			1		1		1	
772	5	上	新しい友達	それは、なぜだろう。		1		1			1			1		1		1	
773	5	上	新しい友達	「新しい」について、次のような観点から言葉を集めてみよう。	1			1				1			1	1		1	
774	5	上	新しい友達	次にしめす事がらを生かして、「わたし（ぼく）と友達」という内容で、自分の体験を文章に書いてみよう。	1			1		1					1	1		1	
775	5	上	漢字の成り立ち	どの部分が音を表していますか。		1	1					1	1			1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
776	5	上	漢字の成り立ち	考えて、漢字辞典でたしかめましょう。	1		1					1			1	1			1
777	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	用件や気持ちが相手に伝わるように書こう	1			1		1				1		1		1	
778	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	資料をいただきたい、見学をさせていただきたい、お話をうかがいたい、そういうときは、お願いをする手紙を書きましょう。	1		1			1					1	1		1	
779	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	次の例を見ながら、だれに、どんなお願いをするかを決めて、手紙の書き方を練習してみましょう。	1		1			1					1	1			1
780	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	お願いを聞きとどけてもらったときや、お世話になったときには、お礼のお手紙を書いて感謝の気持ちを伝えましょう。	1		1			1				1		1		1	
781	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	お願いの手紙やお礼の手紙は、ぜひお願いしたいという思いや、感謝の気持ちが伝わるように、ていねいな文字や言葉づかいで書きましょう。	1		1			1				1		1			1
782	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	相手と出来事を決めて、お礼の手紙の書き方を練習してみましょう。	1		1			1					1		1		1
783	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	書いた手紙を友達に読んでもらいましょう。	1		1				1				1		1		1
784	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	用件や気持ちがきちんと伝わるか、分かりにくいところはないかを、たがいに確かめましょう。	1		1				1			1			1		1
785	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	要旨をとらえよう	1			1			1			1		1			1
786	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	サクラソウとトラマルハナバチは、どのような関係なのだろうか。		1		1			1		1			1			1
787	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	筆者がいちばん伝えたいことはなんだろう。		1		1			1		1			1			1
788	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	サクラソウを知っていますか。		1	1				1		1			1		1	
789	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	どうして、こんなことになってしまったのでしょう。		1	1				1		1			1			1
790	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	まず、サクラソウの受粉の仕組みを考えてみましょう。	1		1				1				1	1			1
791	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	トラマルハナバチは、なぜいなくなったのでしょう。		1	1				1		1			1			1
792	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	次は、それを考えてみましょう。	1		1				1				1	1			
793	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	それぞれ、どこからどこまでか、本文で確かめてみよう。	1			1			1		1		1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
794	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	筆者が、この文章を通して読者に考えてもらいたいと思っていることは、どういうことだろうか。		1		1			1		1			1			1
795	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	それについてどう思うかを話し合おう。	1			1	1					1	1	1		1	
796	5	上	詩を味わおう	詩を味わおう	1			1			1				1	1		1	
797	5	上	言葉の研究レポート	調べたことを整理して書こう	1			1		1				1		1		1	
798	5	上	言葉の研究レポート	自分の課題をもって調べ、調べて分かったことと考えたことを区別して、分かりやすくまとめよう。	1			1		1				1		1			1
799	5	上	言葉の研究レポート	ここでは、身の回りで使われている言葉について、「どんな意味かな。」「どうしてこういう使われ方をするんだろう。」など、気になることを取り上げ、調べてみましょう。	1		1					1			1	1		1	
800	5	上	言葉の研究レポート	そして、言葉に関する研究レポートを書きましょう。	1		1			1					1	1			1
801	5	上	言葉の研究レポート	課題を決めよう。	1		1					1			1	1		1	
802	5	上	言葉の研究レポート	まず、言葉について疑(ぎ)問に思うことや気になることを、思いつくままに挙げましょう。	1		1					1		1		1		1	
803	5	上	言葉の研究レポート	出された言葉や事がらから連想したこと、知っていることなども出しましょう。	1		1					1	1	1		1		1	
804	5	上	言葉の研究レポート	調べよう。	1		1								1	1		1	
805	5	上	言葉の研究レポート	あなたの課題を解決するには、どのような調べ方が最も適切でしょうか。		1	1						1			1		1	
806	5	上	言葉の研究レポート	レポートを書こう。	1		1			1					1	1		1	
807	5	上	言葉の研究レポート	調査･研究した事がらと、それにもとづいて考えたことがよく分かるように、レポートを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
808	5	上	言葉の研究レポート	小見出しをつけたり、かじょう書きにしたりして、書き方を工夫しましょう。	1		1			1				1		1		1	
809	5	上	インタビュー名人になろう	話の組み立てや言葉づかいを考えてたずねよう	1			1	1					1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
810	5	上	インタビュー名人になろう	よりよいインタビューができるように、計画を立て、練習してみましょう。	1		1		1						1	1		1	
811	5	上	インタビュー名人になろう	インタビューする人とされる人を交代して、練習しましょう。	1		1		1					1			1		1
812	5	上	インタビュー名人になろう	練習を友達に見てもらって、助言しあいましょう。	1		1							1			1	1	
813	5	上	漢字の広場	うめおばあちゃんになって、自分の生活やしゅみなどをしょうかいする文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
814	5	上	千年の釘にいどむ	読書の世界を広げよう	1			1			1				1	1		1	
815	5	上	千年の釘にいどむ	いろいろな読み物に興味をもって読み、友達と感想を話し合って考えを深めよう。	1			1	1		1			1			1	1	
816	5	上	千年の釘にいどむ	千年先のわたしたちの周りはどうなっているだろう。		1	1									1		1	
817	5	上	千年の釘にいどむ	次のどちらかの方法で、「千年の釘にいどむ」を読んでみよう。	1			1			1				1	1			1
818	5	上	千年の釘にいどむ	「千年の釘にいどむ」の感想をまとめよう。	1			1		1				1		1		1	
819	5	上	本は友達	読書の楽しさを知ろう。	1		1				1				1	1		1	
820	5	上	本は友達	同じ種類の動物の顔を、いくつもならべて見くらべたことがありますか。		1	1						1			1		1	
821	5	上	本は友達	そこを通りぬけた後、あなたの心には、どんな思いが広がっているでしょう。		1	1				1				1	1		1	
822	5	上	本は友達	読書会をしよう。	1		1				1				1	1			1
823	5	上	本は友達	何人かでグループになって、読書会をしましょう。	1		1				1				1		1		1
824	5	上	漢字の広場　四年生で習った漢字②	放送係が運動会の様子を放送しているように、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
825	5	上	漢字の広場　四年生で習った漢字②	今、目の前で起きているように伝える表現を工夫しましょう。	1		1			1				1		1		1	
826	5	上	詩を味わおう	詩を味わおう	1			1			1				1	1		1	
827	5	上	カンジー博士の暗号解読	みなさんも、カンジー博士といっしょに、暗号解読に挑戦しましょう。	1		1					1			1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
828	5	上	人と「もの」とのつき合い方	伝え合って考えよう	1			1	1						1		1		1
829	5	上	人と「もの」とのつき合い方	自分の課題をもって調べ、発表したり友達の発表を聞いたりして考えよう。	1			1	1					1			1	1	
830	5	上	人と「もの」とのつき合い方	書くことによって、考えを確かめたり深めたりしよう。	1			1		1				1		1		1	
831	5	上	人と「もの」とのつき合い方	みなさんは、「環境問題」というと何を思いうかべますか。		1	1						1			1		1	
832	5	上	人と「もの」とのつき合い方	次の資料を読んで、ごみの問題や、人と「もの」とのつき合い方について考えてみましょう。	1		1				1				1	1			1
833	5	上	ごみ問題ってなあに	「ごみ」ってなんでしょう。		1	1				1		1			1		1	
834	5	上	ごみ問題ってなあに	いっしょに考えてみましょう。	1		1				1				1	1			
835	5	上	ごみ問題ってなあに	もし、そのえんぴつが道ばたに落ちていたらどうでしょう。		1	1				1				1	1		1	
836	5	上	ごみ問題ってなあに	みなさんは、どう思いますか。		1	1				1		1			1		1	
837	5	上	人と「もの」とのつき合い方	課題を決めて、調べよう。	1		1							1		1		1	
838	5	上	人と「もの」とのつき合い方	「ごみ問題ってなあに」を読んで、どんな感想をもちましたか。		1	1				1			1		1		1	
839	5	上	人と「もの」とのつき合い方	また、疑問に思ったことや、くわしく知りたくなったことはありませんか。		1	1								1	1		1	
840	5	上	人と「もの」とのつき合い方	自分なりの課題を決め、調べる活動に取り組みましょう。	1		1								1	1		1	
841	5	上	人と「もの」とのつき合い方	調べたことを、発表したり聞いたりしよう。	1		1		1					1			1	1	
842	5	上	人と「もの」とのつき合い方	どんな課題に、どのように取り組んだか、結果はどうであったかをまとめて、発表しましょう。	1		1		1	1				1		1		1	
843	5	上	人と「もの」とのつき合い方	必要に応じて、写真・図表・具体物を見せながら、聞く人によく分かるように、話の組み立てや話し方を工夫しましょう。	1		1		1					1		1		1	
844	5	上	人と「もの」とのつき合い方	友達の発表の中で、自分が知らなかった新しい情報には、どんなものがあるでしょう。		1	1		1				1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
845	5	上	人と「もの」とのつき合い方	友達の発表を聞いて、ごみ問題や「もの」とのつき合い方について、さらに考えを深めましょう。	1		1		1				1			1		1	
846	5	上	人と「もの」とのつき合い方	自分の考えを文章に書こう。	1		1			1				1		1		1	
847	5	上	人と「もの」とのつき合い方	自分が調べたことや、友達の発表を聞いたときのメモをもとに、もう一度「ごみ問題」や「『もの』とのつき合い方」について、今の自分の生活を見つめ直し、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
848	5	上	漢字の広場	絵を見て、あらすじを決め、短いお話を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
849	5	上	和語・漢語･外来語	（1）と（2）では、どのように感じがちがいますか。		1	1				1			1			1		1
850	5	上	和語・漢語･外来語	話し合ってみましょう。	1		1		1								1	1	
851	5	上	和語・漢語･外来語	次の文中の＿＿＿線の言葉は、漢語と和語とで意味がどうちがうでしょうか。		1	1					1	1			1			1
852	5	上	和語・漢語･外来語	また、文中からほかの漢語や外来語をさがしましょう。	1		1					1	1			1		1	
853	5	上	通信文のいろいろ	例を見て、覚えておきましょう。	1		1					1	1			1			1
854	5	上	「言葉の森」案内	さあ、森へのとびらを開けてみましょう。	1			1							1	1		1	
855	5	上	どうして泣くのかな	泣いたときのことを思い出して、詩や文章に書いてみよう。	1			1		1					1	1		1	
856	5	上	どうして泣くのかな	「泣くこと」に関連して、言葉や表現（げん）を調べたり、詩や文章を集めて暗唱・朗読（ろう）したりしよう。	1			1			1				1	1			1
857	5	上	歌う日本列島	自分の住む所に古くからある歌やその地域（いき）を歌った歌について調べよう。	1			1							1	1		1	
858	5	上	歌う日本列島	また、ほかの地域の歌について、インターネットなどで調べてみよう。	1			1							1	1		1	
859	5	上	ちえの言葉、言葉のちえ	声に出して読み、独特の調子を味わおう。	1			1			1				1	1		1	
860	5	上	ちえの言葉、言葉のちえ	意味や成り立ちも調べてみよう。	1			1				1			1			1	
861	5	下	この本で学習するみなさんへ	覚えておきましょう。	1			1					1						

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
862	5	下	裏表紙	テープなどを使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
863	5	下	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
864	5	下	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方を確かめましょう。	1			1				1			1	1			1
865	5	下	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
866	5	下	わらぐつの中の神様	人物の考え方や生き方をとらえよう	1			1			1				1	1			1
867	5	下	わらぐつの中の神様	どんな人物が登場し、どんな行動をするだろう。		1		1			1		1			1			1
868	5	下	わらぐつの中の神様	また、どんな考え方をし、どのように人とかかわり合っているだろう。		1		1			1		1			1			1
869	5	下	わらぐつの中の神様	現在の「マサエ」の家庭の話があることによって、どんな効果が生まれているか、次のことを話題にして話し合おう。	1			1	1					1			1	1	
870	5	下	わらぐつの中の神様	「おばあちゃん」の思い出話を、次のような、わらぐつと人物との関係に気をつけて読もう。	1			1			1		1			1			1
871	5	下	わらぐつの中の神様	人物の人がらや考え方が表れている言葉、場面の様子がよく表れている表現の中から、いちばん心に残ったところを書き出し、発表しよう。	1			1	1	1				1		1		1	
872	5	下	わらぐつの中の神様	なぜ、自分がその言葉や表現を選んだのか、その理由も付け加えよう。		1		1	1	1				1		1		1	
873	5	下	わらぐつの中の神様	次の表現の意味を考えよう。	1			1			1		1			1			1
874	5	下	わらぐつの中の神様	次のページの地図を見てみましょう。	1			1							1	1			1
875	5	下	漢字の広場	各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように、文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
876	5	下	言葉の組み立て	上の絵を参考にして、「飛び上がる」のほかに、「飛び―」という言葉を集めましょう。	1		1					1	1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
877	5	下	言葉の組み立て	それぞれどういう意味か、どのように使うかを考え、短い文を作ってみましょう。	1		1			1				1		1		1	
878	5	下	言葉の組み立て	複合語を集めましょう。	1		1					1	1			1		1	
879	5	下	言葉の組み立て	それぞれ、どんな組み合わせでできているか、どういう意味かを調べましょう。	1		1					1		1		1			1
880	5	下	ニュース作りの現場から	目的に応じた伝え方を考えよう	1			1	1					1		1		1	
881	5	下	ニュース作りの現場から	テレビニュースの「特集」がどのように作られているか、内容をおさえながら読もう。	1			1			1			1		1			1
882	5	下	ニュース作りの現場から	集めた材料を、目的に合わせて整理し、編集して伝えよう。	1			1	1					1		1		1	
883	5	下	ニュース作りの現場から	ここでは、あるニュース番組で、防災訓練が特集として取り上げられるまでの過程を見てみましょう。	1		1								1	1			1
884	5	下	ニュース作りの現場から	過程が分かるように、次のような表に整理しよう。	1			1			1		1			1			1
885	5	下	ニュース作りの現場から	番組作りのそれぞれの過程で、大事なこと、気をつけることはなんだろう。		1		1			1		1			1			1
886	5	下	ニュース作りの現場から	四字以上の漢字から成る熟語をさがそう。	1			1				1	1			1			1
887	5	下	ニュース作りの現場から	どんな言葉が結び付いているだろうか。		1		1				1	1			1			1
888	5	下	ニュース作りの現場から	外来語をふくむ複合語をさがそう。	1			1				1	1			1			1
889	5	下	ニュース作りの現場から	その外来語をふくんだ、ほかの複合語も集めよう。	1			1				1	1			1			1
890	5	下	工夫して発信しよう	工夫して発信しよう	1			1	1	1				1		1		1	
891	5	下	工夫して発信しよう	みなさんも、自分の興味や関心を出発点に取材をし、自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて、情報を発信しましょう。	1		1							1		1		1	
892	5	下	工夫して発信しよう	話し合って計画を立てよう。	1		1		1					1			1	1	
893	5	下	工夫して発信しよう	必要な材料を集めよう。	1		1		1					1			1	1	
894	5	下	工夫して発信しよう	編集しよう。	1		1		1	1				1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
895	5	下	漢字の広場	だれが、どこで、何をしていますか。		1	1						1			1			1
896	5	下	漢字の広場	人物の様子や気持ちが分かる言葉も入れて、文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
897	5	下	詩を味わおう	詩を味わおう	1			1			1				1	1		1	
898	5	下	漢字の読み方と使い方	言葉による読み方のちがいを、辞典で確かめましょう。	1		1				1		1			1			1
899	5	下	漢字の読み方と使い方	例にならって、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ四つの熟語を作りましょう。	1		1					1	1			1			1
900	5	下	漢字の読み方と使い方	それなのに、「七夕」を「たなばた」と読むのはなぜでしょう。		1	1				1		1			1			1
901	5	下	「失敗」をめぐって	意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう	1			1	1					1			1	1	
902	5	下	「失敗」をめぐって	「失敗」をめぐって、グループやクラスで話し合いをしましょう。	1		1		1						1		1	1	
903	5	下	「失敗」をめぐって	また、目的にせまるために、何を、どういう順序で話し合っていくかという見通しをもって進めるようにしましょう。	1		1		1					1			1	1	
904	5	下	「失敗」をめぐって	みなさんも、「失敗」をめぐって、グループで話し合ってみましょう。	1		1		1						1		1	1	
905	5	下	「失敗」をめぐって	話し合ったことは、クラスで発表しましょう。	1		1		1					1			1		1
906	5	下	物語を作ろう	表現を工夫して書こう	1			1		1				1		1		1	
907	5	下	物語を作ろう	写真をもとに想像を広げて、あなただけの物語を作りましょう。	1		1			1					1	1		1	
908	5	下	物語を作ろう	５４・５６ページの写真から好きな一枚を選びましょう。	1		1									1		1	
909	5	下	物語を作ろう	写っている物、様子を表す言葉、それから連想される言葉を、できるだけたくさん書き出してみましょう。	1		1			1				1		1		1	
910	5	下	物語を作ろう	書き出した言葉を見ながら、物語の大まかなイメージを思いうかべましょう。	1		1							1		1		1	
911	5	下	物語を作ろう	どんな内容の物語にしたいですか。		1	1							1		1		1	
912	5	下	物語を作ろう	物語の大まかな「すじ」を考えましょう。	1		1							1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
913	5	下	物語を作ろう	表現を工夫して、物語を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
914	5	下	物語を作ろう	このほかに、これまでに読んだ物語で、参考にしたいところはありますか。		1	1						1			1		1	
915	5	下	物語を作ろう	書き終わったら読み返しましょう。	1		1				1			1		1			1
916	5	下	物語を作ろう	ここを工夫したいと思ったところが、そのように書けていますか。		1	1			1				1		1		1	
917	5	下	どんなとき、だれに	相手や場がちがうと、言葉づかいはどう変わるだろうか。		1		1				1	1			1			1
918	5	下	どんなとき、だれに	いろいろな場面を想定して、話したり書いたりしよう。	1			1	1	1				1		1		1	
919	5	下	どんなとき、だれに	一週間の生活を思い返してみましょう。	1		1								1	1		1	
920	5	下	どんなとき、だれに	あなたは、どれだけの人とふれ合いましたか。		1	1								1	1		1	
921	5	下	どんなとき、だれに	どんなことを話し、どんな種類の文章を書きましたか。		1	1		1	1			1			1		1	
922	5	下	どんなとき、だれに	「言葉や表現のちがい」ということを考えながら、次の文章を読みましょう。	1		1				1		1			1			1
923	5	下	どんなとき、だれに	次の課題に取り組みましょう。	1		1								1	1			1
924	5	下	どんなとき、だれに	日本全国の人に向けた公式のあいさつにふさわしい文章にするには、このメッセージをどのように直したらいいでしょう。		1	1			1				1		1		1	
925	5	下	どんなとき、だれに	直したほうがいいと思うところを書きかえて、友達に読んでもらいましょう。	1		1			1	1			1			1		1
926	5	下	どんなとき、だれに	たがいに、どこをどんなふうに直したか比べてみましょう。	1		1			1	1			1			1	1	
927	5	下	どんなとき、だれに	相手を決めて、自分の最近の生活を報告したり、相手の様子をたずねたりする手紙を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
928	5	下	どんなとき、だれに	相手に応じて、ふさわしいと思う言葉や表現を考えながら書きましょう。	1		1			1				1		1			1
929	5	下	どんなとき、だれに	あなたの住んでいる地方では、どんな言い方をしますか。		1	1						1			1		1	
930	5	下	どんなとき、だれに	また、絵の中で話しかけられている人が、先生に変わった場合、話し手の言葉や表現はどのように変わるでしょう。		1	1		1				1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
931	5	下	どんなとき、だれに	先生の言葉も考えて、実際に演じてみましょう。	1		1		1					1			1	1	
932	5	下	どんなとき、だれに	はかにも、いろいろな人物や場面を考えて、演じてみましょう。	1		1		1					1			1	1	
933	5	下	どんなとき、だれに	次の①、②では、伝える言葉や表現にどんなちがいが出てくるでしょう。		1	1		1					1		1		1	
934	5	下	どんなとき、だれに	両方の伝え方をためしてみましょう。	1		1		1						1	1			1
935	5	下	どんなとき、だれに	最後に、相手や場に応じた言葉や表現について、ここでの学習をふり返って感じたり考えたりしたことを、みんなで話し合いましょう。	1		1		1					1			1	1	
936	5	下	言葉や表現のちがいから	「　」の中に入る言葉を考えましょう。	1		1					1	1			1			1
937	5	下	言葉や表現のちがいから	②ではどうでしょう。		1	1					1	1			1			1
938	5	下	言葉や表現のちがいから	③④⑤の場合にも、話し手の人物像や「わたし」との関係、「出かけた」人との関係を考えてみましょう。	1		1					1	1			1			1
939	5	下	漢字の広場	今日一日の出来事を伝える新聞記事を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
940	5	下	漢字の広場	「いつ」「どこで」「だれが」など、必要な事がらを考えましょう。	1		1					1		1		1		1	
941	5	下	同じ読み方の熟(じゅく)語	次の文を読んで、同じ音の熟語に____線を引きましょう。	1		1				1		1			1			1
942	5	下	同じ読み方の熟(じゅく)語	ほかにも、同じ読み方の熟語を集めたり、それを使った文を考えたりしましょう。	1		1				1		1			1		1	
943	5	下	学習したことを生かして	それらをふり返り、自分なりの学習課題を決めて「大造(だいぞう) じいさんとガン」に取り組みましょう。	1			1			1			1	1	1			1
944	5	下	「言葉の森」案内	さあ、森へのとびらを開けてみましょう。	1			1							1	1		1	
945	5	下	月夜のみみずく	様子がよく分かるように、朗(ろう)読したり暗唱したりしよう。	1			1			1			1		1			1
946	5	下	月夜のみみずく	「とうさん」の自然に対する考え方、それについての自分の考えをまとめよう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
947	6	上	裏表紙	覚えておきましょう。	1			1							1	1			1
948	6	上	裏表紙	テープなど使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
949	6	上	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
950	6	上	裏表紙	「この本で習う漢字」「これまでに習った漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方を確かめましょう。	1			1				1			1	1			1
951	6	上	裏表紙	「『たいせつ』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
952	6	上	続けてみよう	一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
953	6	上	カレーライス	本に親しみ、自分と対話しよう	1			1			1				1	1			1
954	6	上	カレーライス	そんな人物の心情と行動を読んで考えよう。	1			1			1		1			1			1
955	6	上	カレーライス	次の (1)　(2)　(3) の場面で、心情を表している言葉や言動に着目して、「ぼく」の気持ちを考えてみよう。	1			1			1		1			1			1
956	6	上	カレーライス	(1)　(2)　(3) の場面の「ぼく」の気持ちに対して、・共感するところ・反発を感じるところ・疑問に思うところはないだろうか。		1		1			1			1		1		1	
957	6	上	カレーライス	話し合おう。	1			1	1						1		1	1	
958	6	上	カレーライス	またそれぞれの場面での「お父さん」の気持ちを想像してみよう。	1			1			1			1		1		1	
959	6	上	カレーライス	この二つの言葉には、どんな意味がこめられているだろうか。		1		1			1		1			1			1
960	6	上	カレーライス	「ぼく」と「お父さん」の立場で考えてみよう。	1			1			1		1			1			1
961	6	上	カレーライス	そのことは、どのような効果を上げているだろうか。		1		1			1		1			1			1
962	6	上	カレーライス	考えてみよう。	1			1			1				1	1		1	
963	6	上	カレーライス	次のどれかの課題で書いてみよう。	1			1		1				1		1		1	
964	6	上	カレーライス	友達の作品を読んで、感想を伝えよう。	1			1			1			1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
965	6	上	漢字の形と音・意味	次の各文の□に当てはまる漢字を、下の□から選びましょう。	1		1					1	1			1			1
966	6	上	漢字の形と音・意味	どの部分が共通で、どんな読み方でしょうか。		1	1					1	1			1			1
967	6	上	漢字の形と音・意味	巻末の付録から、次の部分を持つ漢字を集めましょう。	1		1					1		1		1			1
968	6	上	漢字の形と音・意味	そして、その部分が表す意味を考え、漢字辞典で確かめてみましょう。	1		1					1			1	1			1
969	6	上	生き物はつながりの中に	文章を読んで、自分の考えをもとう	1			1			1				1	1		1	
970	6	上	生き物はつながりの中に	「生き物」ってなんだろう。		1		1			1		1			1		1	
971	6	上	生き物はつながりの中に	筆者が読者に考えてほしいと願っていることを読み取り、自分の考えをまとめよう。	1			1		1	1		1			1		1	
972	6	上	生き物はつながりの中に	イヌ型ロボットを知っていますか。		1	1				1		1			1		1	
973	6	上	生き物はつながりの中に	どこがちがうのでしょう。		1	1				1		1			1			1
974	6	上	生き物はつながりの中に	そのちがいを考えながら、生き物の特徴をさぐってみましょう。	1		1				1		1			1			1
975	6	上	生き物はつながりの中に	ロボットはどうでしょう。		1	1				1		1			1			1
976	6	上	生き物はつながりの中に	本当に同じでしょうか。		1	1				1		1			1			1
977	6	上	生き物はつながりの中に	次に、生まれ方を見てみましょう。	1		1				1		1			1			1
978	6	上	生き物はつながりの中に	そう考えると、自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことだという気持ちになりませんか。		1	1				1				1	1		1	
979	6	上	生き物はつながりの中に	そして、今、あなたが生き物として生きているということが、とてもすてきなことに思えてきませんか。		1	1				1				1	1		1	
980	6	上	生き物はつながりの中に	「生き物の特徴」は、その後の説明でいくつ挙げられているだろう。		1		1			1		1			1			1
981	6	上	生き物はつながりの中に	それぞれ、どこからどこまでに書かれているだろうか。		1		1			1		1			1			1
982	6	上	生き物はつながりの中に	「生き物の特徴」をまとめている段落をみつけよう。	1			1			1		1			1			1
983	6	上	生き物はつながりの中に	それはなぜだろうか、考えてみよう。	1			1			1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
984	6	上	生き物はつながりの中に	この文章全体で、最終段落はどのような役割をしているのだろうか。		1		1			1		1			1			1
985	6	上	生き物はつながりの中に	次の内容をそれぞれひとまとまりにして、二つのまとまりから成る文章を書こう。	1			1		1			1			1			1
986	6	上	生き物はつながりの中に	その文章で筆者がいちばん言いたいことは何か、どのまとまり、どの段落の、どの文に表れているかを探そう。	1			1			1		1			1			1
987	6	上	生き物はつながりの中に	また、その文章中の大事な言葉を落とさずにまとめよう。	1			1		1			1			1			1
988	6	上	生き物はつながりの中に	言葉や表現に気をつけて、本物のイヌとロボットのイヌの何が比べられているかを見つけよう。	1			1			1		1			1			1
989	6	上	生き物はつながりの中に	次のような表現を使って、短い文を作ってみよう。	1			1		1				1		1		1	
990	6	上	漢字の広場	新聞記事のように、出来事を伝える文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
991	6	上	短歌・俳句の世界	言葉のひびきを味わおう	1			1			1				1	1		1	
992	6	上	短歌・俳句の世界	あなたに、夏から秋への移り変わりを真っ先に伝えてくれるものは、なんですか。		1	1						1			1		1	
993	6	上	短歌・俳句の世界	目の前に、作者が見ている光景が絵のようにうかんできませんか。		1	1				1			1	1	1		1	
994	6	上	短歌・俳句の世界	声に出してくり返し読み、それぞれの作品のおもしろさや味わいをさぐってみましょう。	1		1				1				1	1		1	
995	6	上	短歌・俳句の世界	あなたは、どの作品が好きですか。		1	1				1				1	1		1	
996	6	上	暮らしの中の言葉	安易な使い方や、まちがった使い方をしないようにしましょう。	1		1					1		1		1			1
997	6	上	暮らしの中の言葉	例にならって、ことわざの意味や由来を調べましょう。	1		1					1		1		1			1
998	6	上	暮らしの中の言葉	ことわざや漢字四字の言葉を使って、短い文を作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
999	6	上	ガイドブックを作ろう	相手や目的に合わせて書こう	1			1		1				1		1			1
1000	6	上	ガイドブックを作ろう	読み手にとって必要な情報は何か、あなたが伝えたいいことは何かを考えて書こう。	1			1		1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1001	6	上	ガイドブックを作ろう	自分の見たことや調べたことを生かして、施設や町のガイドブックを作りましょう。	1		1			1				1		1		1	
1002	6	上	ガイドブックを作ろう	読んだ人が行きたくなったり、実際に行ったとき役に立つように、書き方・まとめ方を工夫しましょう。	1		1			1				1		1		1	
1003	6	上	ガイドブックを作ろう	あなたは、だれにその場所をしょうかいしたいですか。		1	1			1				1		1		1	
1004	6	上	ガイドブックを作ろう	どんなガイドブックにするかを考えよう。	1		1			1				1		1		1	
1005	6	上	ガイドブックを作ろう	材料を集めて全体の構成を決めよう。	1		1			1				1		1		1	
1006	6	上	ガイドブックを作ろう	ガイドブックを作ろう。	1		1			1					1	1			
1007	6	上	ガイドブックを作ろう	項目ごとにページ内の割り付けを考え、文章を書いて、ガイドブックを作りましょう。	1		1			1				1		1			
1008	6	上	ガイドブックを作ろう	集めた資料を書き写すだけでなく、読む人に合わせて分かりやすい説明に直したり、自分たちで考えたことを書いたりしましょう。	1		1			1				1		1		1	
1009	6	上	ガイドブックを作ろう	表紙や題名も工夫して、手にとって読みたくなるようなガイドブックにしましょう。	1		1			1				1		1		1	
1010	6	上	ガイドブックを作ろう	できあがったガイドブックは、たがいに読み合って、感想を交換しましょう。	1		1				1			1			1	1	
1011	6	上	ガイドブックを作ろう	行きたくなった場所はありましたか。		1	1			1				1		1		1	
1012	6	上	ガイドブックを作ろう	場所をしょうかいしたガイドブックがあったら、しょうかいのしかたや順番などを比べてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
1013	6	上	ガイドブックを作ろう	文章を書いたら読み返す習慣をつけましょう。	1			1		1	1			1		1			1
1014	6	上	ガイドブックを作ろう	相手や目的にあった文章でしょうか。		1		1		1				1		1			1
1015	6	上	ガイドブックを作ろう	読者の立場になって読み返しましょう。	1			1			1			1		1			1
1016	6	上	ガイドブックを作ろう	伝えたいことがはっきり分かりますか。		1		1		1				1		1			1
1017	6	上	ガイドブックを作ろう	話題の中心がどこかがわかりますか。		1		1		1				1		1			1
1018	6	上	ガイドブックを作ろう	意見を述べたとき、その理由ははっきりしていますか。		1		1		1				1		1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1019	6	上	ガイドブックを作ろう	事実と意見を区別して書いていますか。		1		1		1				1		1			1
1020	6	上	ガイドブックを作ろう	段落ごとに内容がまとまっていますか。		1		1		1				1		1			1
1021	6	上	ガイドブックを作ろう	段落どうしのつながりは分かりますか。		1		1		1				1		1			1
1022	6	上	ガイドブックを作ろう	長すぎて分かりにくい文はないですか。		1		1		1				1		1			1
1023	6	上	ガイドブックを作ろう	「だ・である」と「です・ます」が混在していませんか。		1		1		1				1		1			1
1024	6	上	ガイドブックを作ろう	主語と述語は対応していますか。		1		1		1				1		1			1
1025	6	上	ガイドブックを作ろう	漢字や送り仮名のまちがいはありませんか。		1		1				1	1			1			1
1026	6	上	ガイドブックを作ろう	句読点、かぎなどの符号は適切ですか。		1		1						1		1			1
1027	6	上	ガイドブックを作ろう	読者を引きつける効果も考えて、題名や書きだしなども見直しましょう。	1			1			1			1		1			1
1028	6	上	漢字の広場	キャンプ場での人々の行動を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
1029	6	上	漢字の広場	友達が書いたものを読んで、上手だなと思う文をみつけましょう。	1		1				1			1		1		1	
1030	6	上	学級討論をしよう	相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう	1			1	1					1			1		1
1031	6	上	学級討論をしよう	話題を決めて討論会をしてみよう。	1		1		1						1		1	1	
1032	6	上	森へ	読書の世界を深めよう	1			1			1				1	1			1
1033	6	上	森へ	筆者が行った「森」へ、文章をたどって行ってみよう。	1			1			1		1			1			1
1034	6	上	森へ	いろいろな読み物を読んで、自分なりに考えたことを書いたり話したりしよう。	1			1	1	1				1				1	
1035	6	上	森へ	広い海原にいるはずのクジラが、どうしてこんな所にいるのだろう。		1	1				1		1			1			1
1036		上	森へ	いったいだれが来たのだろう。		1	1				1		1			1			1
1037		上	森へ	あれは、いったいなんなのだろう。		1	1				1		1			1			1
1038	6	上	森へ	筆者といっしょに森を歩いているつもりで、「森へ」を読んでみよう。	1			1			1		1			1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1039	6	上	森へ	いろいろな感覚を働かせて、どんな様子かを想像しよう。	1			1			1			1		1		1	
1040	6	上	森へ	同じような表現を探したり、ほかにもすてきだと思う表現をみつけたりして、発表しよう。	1			1	1		1			1			1	1	
1041	6	上	森へ	「森へ」を読んで、どんなことを考えただろうか。		1		1			1			1		1		1	
1042	6	上	森へ	次のテーマから一つ選んで、考えをまとめよう。	1			1		1				1		1		1	
1043	6	上	森へ	同じテーマを選んだ人どうしでグループになって話し合い、たがいの考えを深めよう。	1			1	1					1			1	1	
1044	6	上	森へ	その効果を考えてみよう。	1			1					1			1			1
1045	6	上	森へ	どんなものが見えるかに気をつけて読もう。	1			1			1			1		1			1
1046	6	上	森へ	どんな音が聞こえるかを考えながら読もう。	1			1			1			1		1			1
1047	6	上	森へ	どんなにおいがするかを想像しながら読もう。	1			1			1			1		1			1
1048	6	上	森へ	さわったら、どんな感じがするかを想像したり、痛さやくすぐったさなどを想像しながら読もう。	1			1			1			1		1			1
1049	6	上	森へ	いろいろな感覚を思い切り働かせて読もう。	1			1			1			1		1			1
1050	6	上	森へ	そして、どのような表現から、そう感じられるのかを考えてみよう。	1			1			1			1		1		1	
1051	6	上	本は友達	いろいろな本を読もう。	1		1				1				1	1		1	
1052	6	上	本は友達	読書発表会をしよう。	1		1		1						1		1	1	
1053	6	上	本は友達	みんなで、おすすめの本をしょうかいする読書発表会を開きましょう。	1		1		1					1			1	1	
1054	6	上	本は友達	司会を決めて、読書発表会をしましょう。	1		1		1					1			1		1
1055	6	上	本は友達	友達の発表を聞いて、読んでみたいなと思う本があったら、メモをしておきましょう。	1		1		1	1				1		1		1	
1056	6	上	漢字の広場	絵の中の男は、どんな事件をどのように解決するのでしょう。	1		1					1		1		1		1	
1057	6	上	漢字の広場	作家になったつもりで、探偵物語を書いてみましょう。	1		1			1				1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1058	6	上	船	詩を味わおう	1			1			1				1	1		1	
1059	6	上	同じ訓をもつ漢字	上の言葉と下の言葉をつなぎましょう。	1		1					1	1			1			1
1060	6	上	同じ訓をもつ漢字	前後の関係から、どの漢字を使えのが適切かを判断しましょう。	1		1					1	1			1			1
1061	6	上	同じ訓をもつ漢字	各文の□には、どの漢字を使った言葉が適切でしょうか。	1		1					1	1			1			1
1062	6	上	同じ訓をもつ漢字	□から選びましょう。	1		1					1	1			1			1
1063	6	上	みんなで生きる町	共に考えるために伝えよう	1			1	1						1	1		1	
1064	6	上	みんなで生きる町	誰もが不便を感じずに暮らすには、どうしたらいいだろう。		1		1							1	1		1	
1065	6	上	みんなで生きる町	目的を明確にして、調べたことや考えたことを伝えよう。	1			1	1					1			1	1	
1066	6	上	みんなで生きる町	ここでは、身の回りの施設や物について考えてみましょう。	1		1							1		1		1	
1067	6	上	みんなで生きる町	そして、よりよい暮らしのための提案をしましょう。	1		1							1			1	1	
1068	6	上	みんなで生きる町	問題意識をもとう。	1		1								1	1		1	
1069	6	上	みんなで生きる町	次の資料を読んで、身の回りの施設や物について考える視点をもちましょう。	1		1							1		1			1
1070	6	上	みんなで生きる町	まず、多くの人が使う施設や、そこにある物を思い浮かべてみましょう。	1		1						1			1		1	
1071	6	上	みんなで生きる町	入り口に階段がある場合と、階段がなく平らになっている場合とでは、どちらが入りやすいでしょうか。		1	1				1					1			1
1072	6	上	みんなで生きる町	エレベーターがなかったらどうですか。		1	1				1					1			1
1073	6	上	みんなで生きる町	エレベーターがあっても、ボタンが高い位置に付いていたら、使いにくい人はいないでしょうか。		1	1				1					1			1
1074	6	上	みんなで生きる町	縦に長い取っ手を付けるとどうでしょう。		1	1				1					1			1
1075	6	上	みんなで生きる町	調べたことを発表し、考えよう。	1		1		1					1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1076	6	上	みんなで生きる町	身の回りにある公共の施設や、そこにある物について調べ、だれもが使えるように、どんな工夫がされているか、足りないことがあったら、どうすればよくなるのかを、みんなで考えましょう。	1		1							1		1		1	
1077	6	上	みんなで生きる町	学校、公園、市や町の施設などで、現在どんな工夫がされているか、これからどんな工夫が必要かを調べましょう。	1		1							1		1		1	
1078	6	上	みんなで生きる町	調べるときは、「もし、小さい子どもだったら」「もし、たくさんの荷物を持っている人だったら」など、いろいろな人の立場に立ってみましょう。	1		1							1		1		1	
1079	6	上	みんなで生きる町	発表し、考えを話し合おう。	1		1		1						1		1	1	
1080	6	上	みんなで生きる町	調べて分かったことを発表しましょう。	1		1		1					1			1	1	
1081	6	上	みんなで生きる町	どんな工夫があるかを知ったら、みんなで、その工夫をほかのところでも生かせないかを考えましょう。	1		1							1			1	1	
1082	6	上	みんなで生きる町	また、このままでは不便だなというところがあったら、どんな工夫が考えられるか、みんなのちえを集めましょう。	1		1						1				1	1	
1083	6	上	みんなで生きる町	調べた物や場所についての写真や絵、模型、場合によっては地図や図表などを用意して、それらを示しながら話しましょう。	1		1		1					1			1	1	
1084	6	上	みんなで生きる町	聞く人によく分かるように、話の組み立てや話し方を工夫しましょう。	1		1		1					1		1		1	
1085	6	上	みんなで生きる町	友達の発表の中で、自分の考えの参考になる情報には、どんなものがありましたか。		1	1		1					1		1		1	
1086	6	上	みんなで生きる町	友達の意見で、共感できることや疑問に思うことは、どんなことでしたか。		1	1		1					1		1		1	
1087	6	上	みんなで生きる町	提案を文章にまとめよう。	1		1			1					1	1		1	
1088	6	上	みんなで生きる町	深まった考えを提案として文章にまとめ、多くの人に読んでもらいましょう。	1		1			1				1			1	1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1089	6	上	みんなで生きる町	提案を理解してもらうために、できるだけ具体的に説明しましょう。	1		1			1				1		1		1	
1090	6	上	みんなで生きる町	また、なぜそう考えたかという理由を、分かりやすく述べましょう。	1		1			1				1		1		1	
1091	6	上	みんなで生きる町	提案に対する意見がもらえたら、さらに考えてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
1092	6	上	漢字の広場	家の人に、学校での学習や活動を伝える文章を書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
1093	6	上	日本で使う文字	次の二つの文を比べて、漢字と仮名を交ぜて書き表す利点を話し合いましょう。	1		1		1					1			1		1
1094	6	上	日本で使う文字	どの部分を漢字で書き、どの部分を仮名で書いているか、次の文を例に考えてみましょう。	1		1							1		1			1
1095	6	上	付録：手紙の形式	手紙を書くときは、相手に応じてふさわしい言葉づかいをし、敬語も正しく使うように心がけましょう。	1		1			1				1		1			1
1096	6	上	付録：手紙の形式	出す前に必ず読み直して、用件が正しく伝わるか、失礼な表現はないか、誤字･脱字はないかなどを確かめるようにしましょう。	1		1			1				1		1			1
1097	6	上	「言葉の森」案内	おもしろそうだなと思ったら、挑戦してみましょう。	1			1							1	1		1	
1098	6	上	今も昔も	調べる・見る・聞く・演じる・遊ぶ・読む―なんでもやってみよう。	1			1	1		1				1	1		1	
1099	6	上	今も昔も	みなさんも、登場人物のせりふややり取りから、狂言のおもしろさを味わってみましょう。	1			1	1		1				1	1		1	
1100	6	下	裏表紙	覚えておきましょう。	1			1							1	1			1
1101	6	下	裏表紙	テープなど使って学習しましょう。	1			1							1	1			1
1102	6	下	裏表紙	付録を活用しましょう。	1			1							1	1			1
1103	6	下	裏表紙	「この本で習う漢字」「六年間に習う漢字」で、漢字の読み方や使い方、書き方を確かめましょう。	1			1							1	1			1

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1104	6	下	裏表紙	「『たいせつ:』のまとめ」は、必要なときに、いつでも活用しましょう。	1			1							1	1			1
1105	6	下	やまなし	表現を味わい、豊かに想像しよう	1			1			1				1	1			1
1106	6	下	やまなし	作品の特色や作者のものの見方について考えよう。	1			1			1			1		1		1	
1107	6	下	やまなし	どこから見た風景が映し出されているのだろう。		1		1			1		1			1		1	
1108	6	下	やまなし	自分もその場にいて、自分の目で見ているような気持ちで読み味わってみよう。	1			1			1			1		1		1	
1109	6	下	やまなし	「やまなし」の特色を、次の点から考えて、話し合ってみよう。	1			1	1				1				1		1
1110	6	下	やまなし	この作品に、どうして「やまなし」という題名が付けられたかを、次のことから考えてみよう。	1			1			1		1				1		1
1111	6	下	やまなし	作品を読んで、自分なりに考えたこと、感じたことを書き、発表しよう。	1			1	1	1				1			1	1	
1112	6	下	やまなし	友達の発表を聞いて、考えを深めよう。	1			1	1					1			1	1	
1113	6	下	やまなし	次の表現から、どんな情景が目にうかぶか想像してみよう。	1			1					1			1		1	
1114	6	下	やまなし	書き出して、情景を想像してみよう。	1			1		1			1			1		1	
1115	6	下	熟語の成り立ち	次の熟語は、上の①から④のどれに当たるでしょうか。		1	1					1	1			1			1
1116	6	下	熟語の成り立ち	漢字辞典を使って意味を調べ、考えましょう。	1		1					1		1		1			1
1117	6	下	熟語の成り立ち	知っている熟語をつなげて、漢字四字以上の長い熟語を作ってみましょう。	1		1			1				1		1		1	
1118	6	下	熟語の成り立ち	意味をよく理解しましょう。	1		1					1			1	1			1
1119	6	下	漢字の広場	商店街の通りやお店の中の様子を、文章に書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
1120	6	下	漢字の広場	会話を想像して書き、その効果を考えましょう。	1		1			1				1		1		1	
1121	6	下	平和のとりでを築く	筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう	1			1	1		1			1		1		1	
1122	6	下	平和のとりでを築く	筆者は、どのような考えを持ち、何を伝えたいのだろう。		1		1			1			1		1		1	
1123	6	下	平和のとりでを築く	自分と対話し、考えたことを発信しよう。	1			1		1	1			1		1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1124	6	下	平和のとりでを築く	広島の「産業奨励館」が「原爆ドーム」とよばれているのはなぜだろう。		1		1			1		1			1			1
1125	6	下	平和のとりでを築く	どうして保存されることになったのだろうか。		1		1			1		1			1			1
1126	6	下	平和のとりでを築く	そのわけをまとめよう。	1			1		1	1		1			1			1
1127	6	下	平和のとりでを築く	「規模が小さいうえ、歴史も浅い」遺跡である原爆が世界遺産になったのはなぜだろうか。		1		1			1		1			1			1
1128	6	下	平和のとりでを築く	筆者がどのように考えているかをまとめよう。	1			1			1			1		1			1
1129	6	下	平和のとりでを築く	次のどちらか一つを選んで自分の考えを発信しよう。	1			1	1					1			1	1	
1130	6	下	平和のとりでを築く	筆者がこの文章を通じて読者にうったえたいことは何か。		1		1			1			1		1		1	
1131	6	下	平和のとりでを築く	それについて自分はどう考えるか。		1		1			1			1		1		1	
1132	6	下	平和のとりでを築く	「戦争は人の心の中で生まれるものである」ということについて、どう考えるか。		1		1			1			1		1		1	
1133	6	下	平和のとりでを築く	文の書き方の特徴に気をつけて読もう。	1			1			1			1		1			1
1134	6	下	平和のとりでを築く	それぞれ何を指し示すかを考えよう。	1			1			1			1		1			1
1135	6	下	平和のとりでを築く	文末表現の「―た。」と「―る。」は、どのように書き分けられているだろうか。		1		1			1			1		1			1
1136	6	下	平和のとりでを築く	最後の一文だけ「―だ。」で結ばれているのはなぜだろう。		1		1			1			1		1			1
1137	6	下	自分の考えを発信しよう	「平和」に関する多様な材料を通じて自分の考えを組み立て、文章に書いて発信しましょう。	1		1			1				1		1		1	
1138	6	下	自分の考えを発信しよう	「平和」について考えてみよう。	1		1								1	1		1	
1139	6	下	自分の考えを発信しよう	「平和のとりでを築く」の学習や、41 ページの資料から、「平和」に関連してもっと知りたくなったこと、感じたことはどんなことでしょう。		1	1							1		1		1	
1140	6	下	自分の考えを発信しよう	それらを出し合い、これまでに見聞きしたことや新たに調べたことを知らせ合って、「平和」をめぐる話し合いをしましょう。	1		1		1					1			1	1	
1141	6	下	自分の考えを発信しよう	自分の考えを書こう。	1		1			1					1	1		1	

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1142	6	下	自分の考えを発信しよう	意見や感想を交流し、より深く考え続けましょう。	1		1		1					1			1	1	
1143	6	下	自分の考えを発信しよう	利用するときは、「だれが、いつ発信したものか。」「信用できる情報か。」ということなどを確認しましょう。	1		1							1		1			1
1144	6	下	自分の考えを発信しよう	また、その一部を引用して使うときには、作った人の名前や連らく先をきちんと表示しましょう。	1		1			1				1		1			1
1145	6	下	自分の考えを発信しよう	自分が考えたこと、何かの資料で調べて分かったことは、きちんと区別しておきましょう。	1		1		1					1		1			1
1146	6	下	自分の考えを発信しよう	質問が来ることも想定して、内容を確かなものにしておきましょう。	1		1		1					1		1			1
1147	6	下	自分の考えを発信しよう	あなたが身につけてきた「言葉の力」を思い切り生かして、インターネットを学習に役立てていきましょう。	1		1							1		1			
1148	6	下	漢字の広場	どんなとき、どんなことがあったか、そのとき、どんな気持ちだったか。		1	1				1			1		1		1	
1149	6	下	漢字の広場	絵を見て想像し、文章に書いてみましょう。	1		1			1				1		1		1	
1150	6	下	今、わたしは、ぼくは	聞き手の心に届くように発表しよう	1			1	1						1		1	1	
1151	6	下	今、わたしは、ぼくは	小学校生活をふり返って真っ先にうかんでくる思い出や出来事はなんでしょう。		1	1								1	1		1	
1152	6	下	今、わたしは、ぼくは	たった一度しかない十二さいの今、心に思うことはなんでしょう。		1	1								1	1		1	
1153	6	下	今、わたしは、ぼくは	そんな話題を中心に、お世話になった先生や仲良しの友達、家族に向けて、スピーチをしましょう。	1		1		1					1			1	1	
1154	6	下	今、わたしは、ぼくは	次の手順でスピーチを考えましょう。	1		1								1	1			1
1155	6	下	今、わたしは、ぼくは	中心となる部分の、声の大きさや調子、話す速さを、考えながら練習しましょう。	1		1		1						1	1			1
1156	6	下	感動を言葉に	表現のしかたをくふうして書こう	1			1		1				1		1		1	
1157	6	下	感動を言葉に	みなさんも、表現のしかたを工夫して書いてみましょう。	1		1			1					1	1		1	
1158	6	下	わたしたちの言葉	言葉をめぐって考えよう。	1			1				1			1	1			

番号	学年	上下	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動				ねらい			活動形態		話題機能	
					指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	言語	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1159	6	下	わたしたちの言葉	ダレン先生や健一さんたちといっしょに、「言葉」の世界を探検してみましょう。	1		1					1			1	1			1
1160	6	下	わたしたちの言葉	次の課題に取り組んでみましょう。	1		1					1	1			1			1
1161	6	下	わたしたちの言葉	「おかしい」を使っていろいろな文を作ってみましょう。	1		1					1	1			1		1	
1162	6	下	わたしたちの言葉	作った文を出し合い、それぞれの文の中の「おかしい」が表す意味を考えて、分類しましょう。	1		1					1	1			1			1
1163	6	下	わたしたちの言葉	例文を作って、どのような意味があるかを確かめましょう。	1		1					1		1		1		1	
1164	6	下	わたしたちの言葉	次の課題に取り組んでみましょう。	1		1					1			1	1			1
1165	6	下	わたしたちの言葉	場所を表す「に」と「で」を使った文章を考えて書き、森先生の説明を確かめてみましょう。	1		1					1	1			1			1
1166	6	下	わたしたちの言葉	次の一線部分の使い分けについて考えてみましょう。	1		1					1		1		1			1
1167	6	下	わたしたちの言葉	それぞれを使ったほかの例文を作って、ちがいを説明しましょう。	1		1					1		1		1		1	
1168	6	下	わたしたちの言葉	次の課題に取り組んでみましょう。	1		1					1			1	1			1
1169	6	下	わたしたちの言葉	次に挙げたものを参考にして、生活の中のいろいろなあいさつ言葉を集めてみましょう。	1		1					1		1		1		1	
1170	6	下	わたしたちの言葉	家の人や先生方にもたずねて、自分たちのあいさつと比べ、気づいたことや感じたことをまとめましょう。	1		1					1		1		1		1	
1171	6	下	わたしたちの言葉	日本語のあいさつ言葉にこめられた意味や思いについて、調べたり、友達と話し合ったりしましょう。	1		1		1					1			1	1	
1172	6	下	わたしたちの言葉	六年間の学校生活をふり返って、「言葉って、すばらしいなあ。」、また、「言葉って難しいなあ。」と思ったことはありませんか。		1	1					1				1		1	
1173	6	下	わたしたちの言葉	次に挙げたことを参考にして、思い出したことを書きましょう。	1		1			1				1		1		1	
1174	6	下	わたしたちの言葉	書いたものを集めて、一冊の本にまとめましょう。	1		1					1		1		1		1	
1175	6	下	カンジー博士の漢字クイズ大会	みなさんは、見事ゴールにたどり着くことができますか。		1	1					1		1		1			1
				total	880	295	638	537	217	333	388	140	269	538	359	980	187	591	106

教科書分析（光村図書・中学校）

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
1	1	1・ 野原は歌う	「みなさんへ」やそれぞれの詩を読んで、作者の思いや、ものの見方、感じ方をとらえよう。	1			1			1		1		1		1	
2	1	野原は歌う	好きな詩を選び、登場する生き物の気持ちになって朗読しよう。	1			1	1				1		1		1	
3	1	野原は歌う	どうか、みなさんも耳をすましてみてください。	1		1		1					1		1	1	
4	1	野原は歌う	そして、仲間たちといっしょに、うたってやってください。	1		1		1					1		1	1	
5	1	1・ 声を届ける	次のようなことに注意して、みんなに聞こえるように自分の声を届けよう。	1			1	1				1		1		1	
6	1	声を届ける	発言したり発表したりするときは、顔を上げ、聞いてくれる友達の方を向いて話すように心がけよう。	1			1	1				1		1		1	
7	1	声を届ける	相手が聞き取りやすい速さで、話したり読んだりするようにしよう。	1			1	1				1		1		1	
8	1	声を届ける	文章の内容や表現の特色を考えながら、速さや声の強弱、言葉の調子などを工夫してみよう。	1			1	1				1		1		1	
9	1	声を届ける	場面の移り変わりや文と文、言葉の意味のつながりなどを考え、書き手や自分の思いが伝わるように、効果的な間のとり方を工夫しよう。	1			1	1				1		1			1
10	1	声を届ける	どのように読めば、聞いている人たちに自分の好きな言葉や表現をつたえることができるかを考え、「野原はうたう」の「みなさんへ」や、四編の詩を、声に出して読んでみよう。	1			1	1				1		1		1	
11	1	1・にじの見える橋	次のような部分に着目しながら作品を読み、少年の心の動きをとらえよう。	1			1			1		1		1		1	
12	1	にじの見える橋	少年の行動が書かれている部分をぬき出し、その行動から、「にじを見る前」と「にじを見た後」で少年の気持ちがどのように変化しているかを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
13	1	にじの見える橋	少年にとっての「にじ」のように、自分の気持ちが何かと出会うことで変わった経験を思い出し、話し合ってみよう。	1			1	1				1		1		1	
14	1	にじの見える橋	次の言葉の意味を調べ、少年の気持ちを追いかける手がかりにしよう。	1			1			1		1		1		1	
15	1	にじの見える橋	右の例文を比べて考えてみよう。	1		1				1		1		1		1	
16	1	にじの見える橋	次のなぞなぞの答えに当てはまるかんじはなんだろう。		1	1			1			1		1			1
17	1	にじの見える橋	同じようにして、次の漢字で問題を作ってみよう。	1		1			1			1		1			1
18	1	にじの見える橋	漢和辞書で調べよう。	1		1				1	1			1			1
19	1	発見したことを伝えよう	発見したことを伝えよう	1		1				1		1		1		1	
20	1	発見したことを伝えよう	日常生活の中で、「中学生になったんだな。」と実感するのは、どんなときだろう。		1	1							1	1		1	
21	1	発見したことを伝えよう	中学校生活が新鮮に感じられる今、新しい世界で発見した喜びやおどろきを、一分間スピーチで伝えよう。	1		1		1				1		1		1	
22	1	発見したことを伝えよう	小学校と中学校のちがいを発見しよう	1		1						1		1		1	
23	1	発見したことを伝えよう	中学校に入学してどんな「発見」があっただろうか。		1	1							1	1		1	
24	1	発見したことを伝えよう	下の表などを参考にしながら一日の生活を振り返り、小学校とちがうところを挙げていこう。	1		1		1				1		1		1	
25	1	発見したことを伝えよう	いちばん伝えたい話題にしぼりこもう。	1		1						1		1		1	
26	1	発見したことを伝えよう	「発見」の中から自分が最も伝えたいことを次のような観点で選び、スピーチの話題を決めよう。	1		1						1		1		1	
27	1	発見したことを伝えよう	スピーチの構成を考えよう	1		1		1				1		1		1	
28	1	発見したことを伝えよう	下の例を参考にしながら、言いたいことが効果的に伝わるスピーチの構成を工夫しよう。	1		1		1				1		1		1	
29	1	発見したことを伝えよう	スピーチメモを作ろう	1		1			1			1		1		1	
30	1	発見したことを伝えよう	スピーチの会を開こう	1		1			1			1		1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
31	1	発見したことを伝えよう	話す順番を決めて、スピーチの会を開こう。	1		1		1				1		1		1	
32	1	発見したことを伝えよう	感想を伝え合おう	1		1		1				1		1		1	
33	1	発見したことを伝えよう	スピーチを聞いて興味や関心を持ったこと、共感したことなどを話した人に伝えよう。	1		1		1				1			1	1	
34	1	発見したことを伝えよう	また、もっとくわしくしりたいことを質問しよう。	1		1		1				1		1		1	
35	1	発見したことを伝えよう	自分の考えをわかりやすく伝えるために，どんな具体例を入れたか。	1		1		1					1	1		1	
36	1	発見したことを伝えよう	1分間で伝えられるように，どんな点に気をつけて構成したか。		1	1			1			1		1		1	
37	1	発見したことを伝えよう	話題をしぼりこんだか。		1	1			1			1		1		1	
38	1	発見したことを伝えよう	出だし・展開･結びの時間配分を考えたか。		1	1						1		1		1	
39	1	発見したことを伝えよう	友達のスピーチを聞いて，どのような感想や質問を持ったか。		1	1		1				1		1		1	
40	1	発見したことを伝えよう	自分の体験と比べたり，自分ならどうするかを考えたりしながら聞いたか。		1	1		1				1		1		1	
41	1	発見したことを伝えよう	上の図の場合はどうであろうか。		1	1		1				1		1		1	
42	1	2・ ちょっと立ち止まって	左の図を見てみよう。		1	1				1			1	1		1	
43	1	ちょっと立ち止まって	目を遠ざけてみよう。	1		1				1			1	1		1	
44	1	ちょっと立ち止まって	そこで、物を見るときには、ちょっと立ち止まって、ほかの見方を試してはどうだろうか。	1		1				1			1	1		1	
45	1	ちょっと立ち止まって	考えよう		1	1				1			1	1		1	
46	1	ちょっと立ち止まって	それぞれの段落には、どのようなことが書かれているだろう。	1		1							1	1		1	
47	1	ちょっと立ち止まって	考えよう		1	1				1		1		1		1	
48	1	ちょっと立ち止まって	文中に示されている三つの図について説明しているのは、それぞれどの段落からどの段落までだろう。	1		1							1	1		1	
49	1	ちょっと立ち止まって	考えよう		1	1				1		1		1		1	
50	1	ちょっと立ち止まって	全体をまとめている段落はどれだろう。	1		1							1	1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
51	1	ちょっと立ち止まって	また、その段落の中で筆者の意見はどの部分に書かれているだろう。		1	1				1		1		1			1
52	1	ちょっと立ち止まって	考えよう		1	1				1		1		1		1	
53	1	ちょっと立ち止まって	筆者が述べているように、立ち止まって考えたほうがよいと思うものが、生活の中にないだろうか。	1		1							1	1		1	
54	1	ちょっと立ち止まって	文中の例を参考に探してみよう。		1	1							1	1			1
55	1	ちょっと立ち止まって	説明的な文章を読むときは、文章中に何が書かれているかを読み取ると同時に、それがどのように説明されているかも考えよう。	1		1				1		1		1		1	
56	1	ちょっと立ち止まって	読み取ったことをもとに、問題意識をもって、ものを見たり、考えたりしていこう。	1		1				1		1		1		1	
57	1	ちょっと立ち止まって	文章を読んで、クジラたちの情報の受信・発信について、わかったことを話し合おう。	1		1				1		1		1		1	
58	1	2・クジラたちの声	「コミュニケーション」について理解を深めよう。	1			1	1					1	1		1	
59	1	クジラたちの声	コミュニケーションの意味を国語辞典や百科事典を使って調べよう。	1			1	1				1		1			1
60	1	クジラたちの声	ここではクジラのどのような行為をコミュニケーションといっているのだろう。	1			1			1	1			1			1
61	1	クジラたちの声	考えてみよう。		1		1			1		1		1		1	
62	1	クジラたちの声	次の①を声に出して読んでみよう。	1			1						1	1			1
63	1	クジラたちの声	意味が伝わりやすいように、内容のまとまりを考えて、「。」（句点）を打ってみよう。	1		1		1				1		1			1
64	1	クジラたちの声	一つ一つの言葉を正確にはっきりと伝えるためには、①～③のどの区切り方がよいだろう。	1		1			1			1		1			1
65	1	クジラたちの声	声に出して読み、考えてみよう。		1	1				1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
66	1	クジラたちの声	次の①を、言葉としての意味をこわさずに、より細かく分け、②に書きこんでみよう。	1		1		1				1		1			1
67	1	クジラたちの声	それぞれの読み方と意味を調べよう。	1		1				1		1		1			1
68	1	クジラたちの声	ab の語句の□の部分に入るのは、それぞれどちらの漢字だろう。	1		1				1	1			1			1
69	1	クジラたちの声	次の文章の□に入る漢字を下の () から選ぼう。		1	1			1		1			1			1
70	1	クジラたちの声	わかりやすく説明しよう	1		1			1		1			1		1	
71	1	わかりやすく説明しよう	相手に理解してもらえるように説明するにはどうすればよいだろう。	1		1							1	1		1	
72	1	わかりやすく説明しよう	伝える目的と相手をはっきりさせよう		1	1		1				1		1			1
73	1	わかりやすく説明しよう	次の例を参考に、わかりやすい文章の書き方を考えていこう。	1		1						1		1		1	
74	1	わかりやすく説明しよう	協力してさがしてもらうためには、どうすればよいだろう。	1		1			1			1		1		1	
75	1	わかりやすく説明しよう	情報を集めよう		1	1						1		1		1	
76	1	わかりやすく説明しよう	対象を細かく観察したり、くわしく思い出したりして、書くための情報を集めよう。	1		1							1	1		1	
77	1	わかりやすく説明しよう	情報を整理して選ぼう。	1		1			1			1		1		1	
78	1	わかりやすく説明しよう	集めた情報を、左の表のように、観点を決めて整理し、なにが必要かを考えよう。	1		1						1		1			1
79	1	わかりやすく説明しよう	「町内の人に「犬さがしに協力してもらう」場合は、どの観点の、どの情報が必要だろうか。	1		1			1			1		1			1
80	1	わかりやすく説明しよう	構成を考えよう		1	1						1		1		1	
81	1	わかりやすく説明しよう	必要な情報が決まったら、それらをどの順序で伝えるとわかりやすいかを考えよう。	1		1						1		1			1
82	1	わかりやすく説明しよう	まとめ方を工夫しよう	1		1			1			1		1			
83	1	わかりやすく説明しよう	相手の立場に立って、言葉づかいや語句の選び方を考えよう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
84	1	わかりやすく説明しよう	目的や相手を変えて考えてみよう	1		1		1				1		1		1	
85	1	わかりやすく説明しよう	50ページにある観点別の表をもとに、次の場合はどのように伝えればよいか、考えてみよう。	1		1			1			1		1			1
86	1	わかりやすく説明しよう	目的や相手を意識して、表の中から情報を選ぼう。	1		1				1		1		1			1
87	1	わかりやすく説明しよう	相手が、タロウに会いたいと思うような書き方を意識しよう。	1		1			1			1		1		1	
88	1	わかりやすく説明しよう	タロウを町内の人にさがしてもらう場合と、タロウのよさを友達に伝える場合とでは、どんな点が違っただろうか。	1		1			1			1		1		1	
89	1	わかりやすく説明しよう	気づいたことを話し合おう。		1	1			1			1		1		1	
90	1	わかりやすく説明しよう	題材を選び、書いてみよう	1		1		1				1		1		1	
91	1	わかりやすく説明しよう	学習したことを生かし、自分や身の回りのことについて情報を集め、文章にまとめよう。	1		1			1			1		1		1	
92	1	わかりやすく説明しよう	次の例などを参考に、友達にわかりやすく伝えよう。	1		1			1			1		1			
93	1	わかりやすく説明しよう	次へつなげよう	1		1			1			1		1		1	
94	1	わかりやすく説明しよう	情報を集めるために，どのような工夫をしたか。	1		1						1		1			1
95	1	わかりやすく説明しよう	伝える目的や相手を明確にしたか。		1	1						1		1			1
96	1	わかりやすく説明しよう	マッピングなどをもとに，必要な情報を集められたか。		1	1						1		1			1
97	1	わかりやすく説明しよう	情報を整理するとき，どのような点に注意したか。		1	1			1			1		1			1
98	1	わかりやすく説明しよう	観点を決めて分類するなどして，情報を選んだか。		1	1						1		1			1
99	1	わかりやすく説明しよう	相手がどの程度知っているかを考えて情報を選んだか。		1	1						1		1			1
100	1	わかりやすく説明しよう	わかりやすく伝えるために，どのような工夫をしたか。		1	1						1		1			1
101	1	わかりやすく説明しよう	最初に文章の内容や目的を述べるなど，伝える順序を考えたか。		1	1						1		1			1
102	1	わかりやすく説明しよう	ここでは、宮沢賢治の詩にふれ、詩の言葉の豊かさを体験しよう。		1	1		1				1		1		1	
103	1	2・光と風からもらった贈り物	「高原」という詩を読んでみましょう。	1		1				1			1	1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
104	1	光と風からもらった贈り物	見渡す限りの広い高原に立ったとき、例えば、すすきが一面きらきらと銀色に波打って光っていれば、目の前の風景は、まるで海のようにも見えてくるでしょう。	1		1				1			1	1		1	
105	1	光と風からもらった贈り物	みなさんも実際に声に出して読んでみてください。	1		1				1			1	1		1	
106	1	光と風からもらった贈り物	何度もくり返して、いろいろな読み方を試してみるといいでしょう。	1		1		1					1	1		1	
107	1	光と風からもらった贈り物	そうすると、詩がもっている表情がさらに生き生きとして、言葉に命がふきこまれてくるように感じませんか。		1	1		1					1	1		1	
108	1	光と風からもらった贈り物	「高原」の詩を筆者のいうように、「ゆっくりと、楽しく愉快に、多少おどけて……。」など、読み方を工夫して朗読しよう。		1	1		1					1	1		1	
109	1	光と風からもらった贈り物	「するとどうでしょう、……自分自身も……一つにとけ合っているということに気づくのです。」とはどうゆうことだろう。	1			1	1				1		1			1
110	1	光と風からもらった贈り物	自分にとってそれに近い体験はないか、話し合ってみよう。	1			1			1		1		1		1	
111	1	光と風からもらった贈り物	読書をしたら、その記録を残すようにしよう。	1			1	1					1		1		1
112	1	2・さつき	自分の感想を振り返り、ものの見方や考え方を深めていこう。	1		1			1			1		1			1
113	1	さつき	読書記録を残そう	1		1				1		1		1			1
114	1	さつき	ノートやカードに、今までに読んだ本や最近読んだ本の読書記録を残そう。	1		1			1				1	1			1
115	1	さつき	書名と著者名を書き、自分がその本を選んだ理由や読み終えた日付、読後の感想や、覚えた知識などを短くまとめておこう。	1		1			1			1		1			1
116	1	さつき	読書感想文を書こう	1		1			1			1		1			1
117	1	さつき	特に心に残った本の感想を文章にまとめ、身の回りの人に読んでもらおう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
118	1	さつき	読み取った内容を、自分自身の体験と重ね、自分の考えをつ作りあげていく気持ちで書いてみよう。	1		1		1					1	1		1	
119	1	さつき	作品を読んで、どこが、どのように心に残ったかをノートに書こう。	1		1			1				1	1		1	
120	1	3・麦わら帽子	無人島に行く前と、無人島にいるとき、そして、帰ってきてからでは、マキの気持ちはどのように変わっただろう。	1			1		1			1		1		1	
121	1	麦わら帽子	また、それぞれの場面で、麦わら帽子はマキにとってどんな意味をもつものになっているかを考えよう。		1		1			1		1		1		1	
122	1	麦わら帽子	「あんちゃたちは、ひと夏じゅう、マキも麦わら帽子もカモメも、まぶしくて見ることができなかった。」という表現は、あんちゃたちのマキに対するどのような気持ちを表しているだろう。	1			1			1		1		1		1	
123	1	麦わら帽子	話し合ってみよう。		1		1			1		1		1		1	
124	1	麦わら帽子	「母」のことについて書かれた次の部分から、「僕」のどのような思いが伝わってくるだろう。	1			1	1					1		1	1	
125	1	３・大人になれなかった弟たちに……	ノートにまとめてみよう。		1		1			1		1		1		1	
126	1	大人になれなかった弟たちに……	「僕」の心の中で「ひもじかったこと」と「弟の死」はどのようにつながって記憶されているのだろう。	1			1		1			1		1		1	
127	1	大人になれなかった弟たちに……	そのときの「僕」の気持ちと、そのことを思い出している今の「僕」の気持ちとを比べて考えよう。		1		1			1		1		1		1	
128	1	大人になれなかった弟たちに……	題名を「弟たちに」と複数にし、また、弟の名前を「ヒロユキ」と片仮名で書いたことで、作者はだれに、どのような思いを伝えようとしたのだろう。	1			1			1		1		1		1	
129	1	大人になれなかった弟たちに……	話し合ってみよう。		1		1			1		1		1		1	
130	1	大人になれなかった弟たちに……	手紙を書こう	1			1	1					1		1	1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
131	1	手紙を書こう	相手や目的に応じ、さまざまな場面で手紙を利用できるようになろう。	1		1			1			1		1		1	
132	1	手紙を書こう	手紙の書き方を知ろう	1		1			1			1		1		1	
133	1	手紙を書こう	用件を決め、手紙を書こう	1		1			1		1			1		1	
134	1	手紙を書こう	次の手順に沿って、手紙を書いてみよう。	1		1			1			1		1		1	
135	1	手紙を書こう	受け取る相手の気持ちを考え、推敲しよう。	1		1			1			1		1		1	
136	1	手紙を書こう	手書きにするか、ワープロソフトなどで作成するかを考えよう。	1		1			1			1		1		1	
137	1	手紙を書こう	手書きの場合は、ていねいに書くように心がけよう。	1		1			1			1		1		1	
138	1	手紙を書こう	手紙を受け取ったら、できるだけ早く返事を書こう。	1		1			1			1		1		1	
139	1	手紙を書こう	手紙を書いてくれた人への感謝を忘れずに、自分の考えや答えをわかりやすく伝えよう。	1		1			1			1		1		1	
140	1	手紙を書こう	次へつなげよう	1		1			1			1		1			1
141	1	手紙を書こう	手紙の書式について理解し、相手や目的を考えて手紙を書くことができたか。	1		1							1	1			1
142	1	手紙を書こう	漢語・和語・外来語のうち、どの語が、どの文章に使用されているか調べよう。		1	1			1			1		1			1
143	1	手紙を書こう	後ろのわくの中から、□に入る四字熟語を選ぼう。	1		1				1	1			1			1
144	1	手紙を書こう	AとBの漢語を組み合わせ、四字熟語を作ろう。	1		1			1		1			1			1
145	1	手紙を書こう	また、その意味にふさわしいものをア～エの中から選ぼう。	1		1			1		1			1			1
146	1	手紙を書こう	次の□に適切な漢数字をいれて、四字熟語を完成させよう。	1		1					1			1			1
147	1	手紙を書こう	話し合って考えよう	1		1			1		1			1		1	
148	1	話し合って考えよう	ここではグループ・ディスカッション（グループでの話し合い）を通して、「人に気持ちを伝える方法」について考えていこう。	1		1		1					1		1	1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
149	1	話し合って考えよう	目的と考慮すべき点を確認しよう	1		1		1				1			1		1
150	1	話し合って考えよう	まず、気持ちを伝える目的と考慮すべき点をはっきりさせておこう。	1		1						1		1			1
151	1	話し合って考えよう	気持ちを伝える方法を考えよう	1		1		1				1		1			1
152	1	話し合って考えよう	思いを伝えるための方法を、思いつくだけ挙げてみよう。	1		1		1				1		1			1
153	1	話し合って考えよう	自分の意見をもとう	1		1		1				1		1			1
154	1	話し合って考えよう	気持ちを伝える方法について、自分の意見を組み立てるために次の（）に書きこもう。	1		1							1	1			1
155	1	話し合って考えよう	グループで意見を交換しよう	1		1			1			1		1		1	
156	1	話し合って考えよう	六人以内のグループを作って、司会者と書記を決め、意見を交換しよう。	1		1		1					1		1	1	
157	1	話し合って考えよう	次のような観点で比べてみよう。	1		1		1					1		1	1	
158	1	話し合って考えよう	③で確認した特長と問題点を踏まえ、グループとしての意見をまとめよう。	1		1						1			1	1	
159	1	話し合って考えよう	話し合いの結果を報告しよう	1		1		1				1			1	1	
160	1	話し合って考えよう	次へつなげよう	1		1		1				1			1	1	
161	1	話し合って考えよう	筋道の通った意見にするために，どのような工夫をしたか。	1		1							1	1		1	
162	1	話し合って考えよう	自分の意見の特長を確認し，問題点の解決方法をあらかじめ考えておいたか。		1	1		1				1		1			1
163	1	話し合って考えよう	話し合いの話題をとらえて発言することができたか。		1	1						1		1			1
164	1	話し合って考えよう	よりよい解決方法を見つけるために，どのような点に注意して話し合ったか。		1	1		1				1			1		1
165	1	話し合って考えよう	問題の目的や考慮すべき点を意識したか。		1	1		1				1		1			1
166	1	話し合って考えよう	特長と問題点を整理したか。		1	1						1		1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
167	1	話し合って考えよう	仮名のみの原文や、漢字と濁点を当てた歌をくり返し声に出して読み、古文の言葉の響きや調子に読み慣れよう。		1	1						1		1		1	
168	1	4・いろは歌	古典との出会いを通して、時代をこえた人々の姿、人々の思いを受け止めよう。	1		1		1					1	1		1	
169	1	いろは歌	古典の文章をくり返し声に出して読み、読み慣れよう。	1		1				1		1		1		1	
170	1	いろは歌	現代語訳や「古典の言葉」を参考にしながら、「蓬莱の玉の枝」の中で確かめよう。	1			1	1				1		1		1	
171	1	いろは歌	「蓬莱の玉の枝」を読んで、登場人物たちの思いや行動について考えてみよう。	1			1			1		1		1		1	
172	1	4・蓬莱の玉の枝	喜びや悲しみなど、現代に通じるところはないだろうか。	1			1			1		1		1		1	
173	1	蓬莱の玉の枝	古典語（文語）と現代語（口語）にはどのような違いがあるだろうか。		1		1			1			1	1		1	
174	1	蓬莱の玉の枝	言葉遣いの変化、違いについて考えてみよう。		1	1				1	1			1		1	
175	1	蓬莱の玉の枝	「矛盾」の上段の文章をくり返し声に出して読み、漢文独特の言い回しに慣れよう。	1		1				1	1			1		1	
176	1	4・今に生きる言葉	「矛盾」がどんな故事によって、どんな意味に使われるようになったか、本文の言葉を使って説明しよう。	1			1	1				1		1		1	
177	1	今に生きる言葉	「推敲」「五十歩百歩」「背水の陣」「蛇足」の言葉の由来や意味などを調べてみよう。	1			1	1				1		1		1	
178	1	今に生きる言葉	音・訓ともにどんな読み方があり、どんな語として使われるか、漢和辞典などで調べてみよう。	1			1			1	1			1		1	
179	1	今に生きる言葉	それぞれの文では、どのような音読みをし、どんな意味だろうか。	1		1				1	1			1		1	
180	1	今に生きる言葉	それぞれ、読み方と意味を考えよう。		1	1		1			1			1		1	
181	1	今に生きる言葉	一字一字の漢字の意味をよく考えたうえで、正しい漢字表記を行うように注意しよう。	1		1				1	1		1	1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
182	1	今に生きる言葉	次の文の片仮名の語は、（）の中のどちらの語を使うか。	1		1				1		1		1		1	
183	1	今に生きる言葉	また、もう一方の語は、どういう使い方をするだろうか。		1	1					1			1		1	
184	1	今に生きる言葉	文章中から必要な情報を選び出し、次の言葉をわかりやすく説明しよう。		1	1					1			1		1	
185	1	5・ 未来をひらく微生物	まず短い文で簡潔に説明し、次に、例やくわしい説明などを付け足してみよう。	1			1	1				1		1		1	
186	1	未来をひらく微生物	それぞれの段落に説明されていることを考えながら、文章の構成をとらえよう。	1			1		1			1		1		1	
187	1	未来をひらく微生物	微生物を利用した環境問題の解決策には、ほかにどのようなものがあるだろうか。	1			1			1		1		1		1	
188	1	未来をひらく微生物	図書館などで資料を探し、調べてみよう。		1		1				1			1		1	
189	1	未来をひらく微生物	調べたことを正確に伝えよう	1		1				1	1			1		1	
190	1	調べたことを正確に伝えよう	それらを正確にわかりやすく伝えるためには、どうすればよいだろう。	1		1						1		1		1	
191	1	調べたことを正確に伝えよう	ここでは、課題について調べたことを、レポートの形式に沿ってまとめる方法を学習しよう。		1	1							1	1		1	
192	1	調べたことを正確に伝えよう	課題を決めよう	1		1			1			1		1		1	
193	1	調べたことを正確に伝えよう	次の観点を参考に、課題を見つけよう。	1		1							1	1		1	
194	1	調べたことを正確に伝えよう	調査して情報を集めよう	1		1				1		1		1		1	
195	1	調べたことを正確に伝えよう	選んだ課題にふさわしい方法を考え、情報を集めよう。	1		1						1		1		1	
196	1	調べたことを正確に伝えよう	調べたことは、カードやノートに記入する・コピーをとる・写真を撮る・録音するなど、工夫して記録しよう。	1		1						1		1			1
197	1	調べたことを正確に伝えよう	全体の構成を考えて下書きをしよう	1		1			1			1		1		1	
198	1	調べたことを正確に伝えよう	形式を整えてレポートにまとめよう	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
199	1	調べたことを正確に伝えよう	事実と意見・感想を書き分け、言葉遣いや誤字脱字に気をつけて、レポートにまとめよう。	1		1			1			1		1		1	
200	1	調べたことを正確に伝えよう	レポートを読み合おう	1		1			1			1		1		1	
201	1	調べたことを正確に伝えよう	レポートは、発表会を聞いたり、文集にまとめて読み合ったりして、意見を交換しよう。	1		1		1					1	1		1	
202	1	調べたことを正確に伝えよう	次へつなげよう	1		1		1					1	1		1	
203	1	調べたことを正確に伝えよう	具体的な課題を見つけるために，どのような工夫をしたか。	1		1							1	1		1	
204	1	調べたことを正確に伝えよう	マッピングなどをもとに，具体的な課題にしぼりこめたか。		1	1						1		1		1	
205	1	調べたことを正確に伝えよう	課題にふさわしい調べ方ができたか。		1	1						1		1		1	
206	1	調べたことを正確に伝えよう	課題をよく理解し，どうすれば必要な情報が得られるかを考えたか。		1	1						1		1		1	
207	1	調べたことを正確に伝えよう	調べたことをカードなどに記録し，整理できたか。		1	1						1		1		1	
208	1	調べたことを正確に伝えよう	調べたことを正確にまとめるために，どのような工夫をしたか。		1	1			1			1		1		1	
209	1	調べたことを正確に伝えよう	事実と意見・感想とを書き分けたか。		1	1			1			1		1		1	
210	1	調べたことを正確に伝えよう	全体の構成を考えて，小見出しをつけたり，図表を活用したりしたか。		1	1			1			1		1		1	
211	1	調べたことを正確に伝えよう	では、次の文で「書いた」のはだれだろう。		1	1			1			1		1		1	
212	1	調べたことを正確に伝えよう	どんな鳥がどのように鳴くのかなどを考えてみよう。		1	1				1	1			1		1	
213	1	調べたことを正確に伝えよう	文法②「文の組み立て」と合わせて学習しよう。	1		1				1	1		1	1		1	
214	1	調べたことを正確に伝えよう	それらの言葉に出会ったら、言葉メモを作って記入しておこう。	1		1					1			1		1	
215	1	調べたことを正確に伝えよう	() の中には目・歯・口のどの言葉が入るか調べよう。	1		1			1			1		1			1
216	1	調べたことを正確に伝えよう	新聞・テレビの報道などで見たり聞いたりする―線の言葉について、読み方と意味を調べよう。	1		1				1	1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
217	1	調べたことを正確に伝えよう	次の一線の漢字の部首を調べよう。	1		1				1	1			1			1
218	1	調べたことを正確に伝えよう	辞典で読み方を調べよう。	1		1				1	1			1			1
219	1	調べたことを正確に伝えよう	次の①～⑦は、（）の中のどちらの漢字を使うのが正しいだろうか。	1		1				1	1			1			1
220	1	調べたことを正確に伝えよう	辞典で調べよう。		1	1				1	1			1			1
221	1	調べたことを正確に伝えよう	「江戸っ子」とよばれる庶民の日常生活をのぞき、その暮らしぶりから、現代のわたしたちの生活を見つめ直してみよう。	1		1				1	1			1		1	
222	1	5・江戸からのメッセージ	図書館を利用しよう	1		1							1	1		1	
223	1	江戸からのメッセージ	図書館を利用し、学習を深めていこう。	1		1							1	1		1	
224	1	江戸からのメッセージ	わからないことは「レファレンス」や「利用案内」などと書かれた場所で尋ねよう。	1		1					1			1		1	
225	1	江戸からのメッセージ	その図書館にない本も、他の図書館から取り寄せてもらえることがあるので、相談してみよう。	1		1		1					1	1		1	
226	1	江戸からのメッセージ	図書館の本の探し方を知ろう	1		1		1					1	1		1	
227	1	江戸からのメッセージ	目的の本を早く探すために、まず、その図書館で本がどのように分類され、並べられているかを知ろう。	1		1					1			1		1	
228	1	江戸からのメッセージ	そのおおよそを理解しておこう。	1		1					1			1		1	
229	1	江戸からのメッセージ	書棚にない本が所蔵されていることもあるので目録やコンピューターで検索するとよい。	1		1						1		1		1	
230	1	江戸からのメッセージ	「僕」と「エーミール」の関係を読み取ろう。	1		1						1		1		1	
231	1	6・少年の日の思い出	「僕」から見たエーミールの人柄を端的に表している描写を作品中から抜き出そう。	1			1			1		1		1		1	
232	1	少年の日の思い出	「僕」のエーミールに対する気持ちを、次の表現などに着目して考えよう。	1			1			1		1		1		1	
233	1	少年の日の思い出	次の「僕」の行動について考え、話し合おう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
234	1	少年の日の思い出	最後に、「僕」が「……ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった。」のはなぜか。	1			1	1				1		1		1	
235	1	少年の日の思い出	「一つ一つ」「粉々に」などの語に着目しよう。		1		1			1		1		1		1	
236	1	少年の日の思い出	その行動は、「僕」のとってどんな意味をもっていたのだろう。	1			1			1		1		1		1	
237	1	少年の日の思い出	「僕」は、自分の少年時代の出来事と、長い間どのような気持ちで向かい合ってきたのだろう。		1		1			1		1		1		1	
238	1	少年の日の思い出	また、どうしてここで友人に語る気になったのだろう。		1		1			1		1		1		1	
239	1	少年の日の思い出	考えてみよう		1		1			1		1		1		1	
240	1	少年の日の思い出	訳者が選んだ言葉に注意しながら、翻訳作品を読み味わおう。	1			1						1	1		1	
241	1	少年の日の思い出	「熱情」と「情熱」の意味を調べ、印象がどのように違うか比べよう。	1			1	1				1		1		1	
242	1	少年の日の思い出	体験を伝え合おう	1			1			1	1			1		1	
243	1	体験を伝え合おう	今までの体験の中で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出し、文章にまとめよう。	1		1								1		1	
244	1	体験を伝え合おう	伝える「体験」を決めよう	1		1			1			1		1		1	
245	1	体験を伝え合おう	下の例や題材の例などを参考に、心に残る体験を幾つか書き出し、一つを選ぼう。	1		1						1		1		1	
246	1	体験を伝え合おう	そして、選んだ体験の何を中心にして伝えるかを考え、くわしく思い出してみよう。	1		1			1			1		1		1	
247	1	体験を伝え合おう	材料を決めよう	1		1							1	1		1	
248	1	体験を伝え合おう	左に示した観点から、材料となるものを書き出そう。	1		1							1	1		1	
249	1	体験を伝え合おう	全体の構成を考え、下書きをしよう	1		1			1			1		1		1	
250	1	体験を伝え合おう	推敲して清書しよう	1		1			1			1		1		1	
251	1	体験を伝え合おう	体験をより鮮明に伝えられるよう、表現を工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
252	1	体験を伝え合おう	「体験」を伝え合おう	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
253	1	体験を伝え合おう	「体験」を書くことで、自分の思いや考えは深まっただろうか。また、友達はどんな体験をし、何を感じていただろうか。	1		1		1				1		1		1	
254	1	体験を伝え合おう	発表したり、文章にしたりして、感想を伝え合おう。		1	1						1		1		1	
255	1	体験を伝え合おう	次へつなげよう	1		1		1				1		1		1	
256	1	体験を伝え合おう	体験を明確に伝えるための材料を集めたか。	1		1								1		1	
257	1	体験を伝え合おう	心に残る体験を選び，それを通して感じたこと・考えたことを書いたか。		1	1						1		1		1	
258	1	体験を伝え合おう	読む人にとって必要な情報を与えたか。		1	1		1				1		1		1	
259	1	体験を伝え合おう	思いがより伝わる文章にするために，どのような工夫をしたか。		1	1						1		1		1	
260	1	体験を伝え合おう	最も伝えたい部分をどこにおくと効果的かを考えて構成したか。		1	1						1		1		1	
261	1	体験を伝え合おう	題名や書き出し，表現などを工夫したか。		1	1		1				1		1		1	
262	1	体験を伝え合おう	書くことを通して，自分の体験の意味を考えたか。		1	1			1			1		1		1	
263	1	体験を伝え合おう	次の□の語を一回ずつ使って、①～④のせりふを作ってみよう。		1	1			1			1		1		1	
264	1	体験を伝え合おう	では、次の「その」が指しているのは、どの部分だろうか、考えてみよう。	1		1		1				1		1		1	
265	1	体験を伝え合おう	次の①②を見てみよう。	1		1				1		1		1		1	
266	1	体験を伝え合おう	③④に、二つの内容をつなぐ言葉を入れてみよう。	1		1				1			1	1			1
267	1	体験を伝え合おう	次の漢字を音の部分と意味の部分とに分けてみよう。	1		1			1			1		1			1
268	1	体験を伝え合おう	また、（）内で使われている意味を調べよう。	1		1						1		1			1
269	1	体験を伝え合おう	次の漢字の成り立ちを調べ、象形・指示・会意・形声に分類してみよう。	1		1					1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
270	1	体験を伝え合おう	次の一線の漢字の意味と読み方を調べよう。	1		1					1			1			1
271	1	7・言葉を探検する	これまでの学習の中で、言葉について、どんなおもしろさ、不思議さに出会ってきただろう。		1	1							1	1		1	
272	1	言葉を探検する	わたしたちの身の回りにある言葉をもう一度じっくりと見つめ直し、言葉の世界を探ってみよう。		1	1						1		1		1	
273	1	言葉を探検する	また、調べたことをわかりやすく発表しよう。	1		1				1		1		1		1	
274	1	言葉を探検する	研究の課題を見つけよう	1		1				1		1		1		1	
275	1	言葉を探検する	次の例を参考に研究の課題を選び、同じ課題を選んだ人どうしで、グループを作ろう。	1		1						1		1		1	
276	1	言葉を探検する	研究計画を立て、言葉について調べよう	1		1									1	1	
277	1	言葉を探検する	次の観点を参考に、選んだ課題について、グループごとに研究計画書を作り、研究を進めていこう。	1		1				1	1				1	1	
278	1	言葉を探検する	研究結果をまとめよう	1		1				1		1			1	1	
279	1	言葉を探検する	集めた情報を取捨選択し、研究結果を整理して、発表会に向けて資料を準備しよう。	1		1						1			1	1	
280	1	言葉を探検する	全体の構成を考えて目次を作り、だれがどこをまとめるかなど分担を決めよう。	1		1						1			1	1	
281	1	言葉を探検する	わかりやすい発表のために資料の作り方も工夫しよう。	1		1			1			1			1	1	
282	1	言葉を探検する	研究発表会を開こう	1		1						1			1	1	
283	1	言葉を探検する	研究結果をもとに、クラスの中で、あるいは、ほかのクラスの人や家族、地域の方たちなどを対象にした発表会を開こう。	1		1							1		1	1	
284	1	言葉を探検する	次へつなげよう	1		1		1					1		1	1	
285	1	言葉を探検する	言葉についての課題を見つけることができたか。	1		1							1	1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
286	1	言葉を探検する	身の回りの生活，今までに学習してきたことの中から，課題を見つけることができたか。		1	1							1	1		1	
287	1	言葉を探検する	研究を進めるとき，どんな工夫をしたか。		1	1						1		1		1	
288	1	言葉を探検する	情報の取捨選択・整理をし，結果をわかりやすくまとめたか。		1	1						1		1		1	
289	1	言葉を探検する	発表会のとき，どんなところを注意したか。		1	1			1			1		1		1	
290	1	言葉を探検する	わかりやすい発表になるように，資料などを工夫したか。		1	1						1		1		1	
291	1	言葉を探検する	ほかの人の発表に質問や発言をすることができたか。		1	1			1			1		1			1
292	1	言葉を探検する	筆者は、人は言葉との出会いを、どのようなものととらえているか、読み取ろう。		1	1		1				1		1		1	
293	1	7・胸の底の人と言葉たち	自分にとっての「胸のそこの人と言葉たち」を考えてみよう。	1			1			1		1		1		1	
294	1	胸の底の人と言葉たち	自分に影響を与えた人や言葉との出会いにはどんなものがあっただろう。	1			1			1		1		1		1	
295	1	胸の底の人と言葉たち	話し合ってみよう。		1		1					1		1		1	
296	1	胸の底の人と言葉たち	「山の上に白い家がある」という文を、次の①～③の区切り方で読んでみよう。	1			1	1					1	1		1	
297	1	文法	次の文を読んでみよう。	1		1		1				1		1		1	
298	1	文法	次の文に句点を打ってみよう。	1		1		1				1		1			1
299	1	文法	次の文を、文節に区切ってみよう。	1		1			1		1			1			1
300	1	文法	次の文を、単語に分けてみよう。	1		1			1		1			1			1
301	1	文法	それでは、次の～線と―線は、どのような関係にあるだろうか。	1		1			1		1			1			1
302	1	文法	次に、①②の文を見てみよう。		1	1					1			1			1
303	1	文法	次の文から主語と述語を抜き出そう。	1		1						1		1			1
304	1	文法	―線部の修飾語はどの文節を修飾しているか。	1		1			1		1			1			
305	1	文法	次の文中の接続語、独立語はどれか。		1	1					1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
306	1	文法	次の文の主部には＝線、述部には―線、修飾部には～線を、引いてみよう。		1	1					1			1			1
307	1	文法	意味がはっきり伝わるように書き換えよう。	1		1					1			1			1
308	1	文法	次の文にある並立の関係、補助の関係に、それぞれ＝線、～線を引こう。	1		1			1		1			1			1
309	1	文法	次の文を読んでみよう。	1		1			1		1			1			
310	1	文法	次に、③を読み、②と比べてみよう。	1		1				1		1		1			1
311	1	文法	次の文を、全体の意味を変えずに、接続する語句を使って、二つの文に分けてみよう。	1		1						1		1			1
312	1	文法	次の () には、入れるとすれば、どんな言葉が入るだろうか。	1		1					1			1			1
313	1	文法	「わたしは、話題の映画を母と見に行きました。」のあとに「すると」「ただし」「さらに」を使って文を作ってみよう。		1	1			1		1			1			1
314	1	文法	「学習を広げる」268 ページの一覧表と合わせて活用し、中学三年間で正確に書けるようにしよう。	1		1						1		1			1
315	1	漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を書こう。	1		1			1		1			1			1
316	1	漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を書こう。	1		1			1		1			1			
317	1	漢字に親しもう	次の□に入る語句を、左のわくの中から選び、慣用句を完成させよう。	1		1			1		1			1			1
318	1	漢字に親しもう	また、その慣用句を使って短文を作ろう。	1		1			1		1			1			1
319	1	漢字に親しもう	例にならって、次の□に共通する部分を入れ、二字の熟語を完成させよう。	1		1			1			1		1			1
320	1	漢字に親しもう	例にならって漢字を並び換え四字の熟語を完成させよう。	1		1			1		1			1			1
321	1	漢字に親しもう	次の□に入る漢字を、左のわくの中から選んで、文章を完成させよう。	1		1			1		1			1			1
322	1	漢字に親しもう	左のわくの中から選んで、熟語を完成させよう。	1		1			1			1		1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
323	1	漢字に親しもう	学習や生活の中で生まれた課題について、調べたり考えたりするときの手がかりとして活用しよう。	1		1			1			1		1			1
324	1	学習を広げる	学んだことを日常の中に生かし、伝え合う力を高めていこう。	1		1					1			1			1
325	1	学習を広げる	この例をきっかけにして、自分の発想を大きく広げていこう。	1		1		1				1		1			1
326	1	学習を広げる	また、自分が情報を発信するときは、間違った情報や、あいまいな情報などを流してしまわないよう、十分に注意をはらうようにしよう。	1		1						1		1			1
327	1	学習を広げる	ルールやモラルを守ってインターネットを活用し、国語の力を高めていこう。	1		1					1			1		1	
328	1	学習を広げる	ノートには、どのような使い方があるだろう。	1		1					1			1		1	
329	1	学習を広げる	これらを参考に、学習や生活のさまざまな場面で、ノートを活用していこう。		1	1			1		1			1		1	
330	1	学習を広げる	次のことなどをもとに、ノートの書き方を工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
331	1	学習を広げる	友達とノートを見せ合い、互いに参考にしながら、見やすいノートになるよう工夫していこう。	1		1			1			1		1		1	
332	1	学習を広げる	さまざまな用具を利用し、わかりやすく記録しよう。	1		1			1			1		1		1	
333	1	学習を広げる	聞いたことの要点をメモするときは、次のようなことに注意しよう。	1		1			1			1		1		1	
334	1	学習を広げる	文章を書いたら必ず読み返し、表現したいことが十分に書き表されているか、読み手に伝わる表現になっているか、もっと適切な表現がないかを考えて推敲しよう。	1		1			1			1		1		1	
335	1	学習を広げる	また、原稿用紙の使い方を身につけ、文章を読みやすく書き表そう。	1		1			1			1		1		1	
336	1	学習を広げる	次のような決まりを身につけ、読みやすいように書こう。	1		1			1			1		1		1	
337	1	学習を広げる	いろいろな通信文の形式を知り、目的や内容に合ったものを活用していこう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
338	1	学習を広げる	目的に応じて、用件や気持ちが伝わるよう簡潔に書こう。絵をかいたり、写真をはったりと、いろいろな工夫をしよう。	1		1			1			1		1		1	
339	1	学習を広げる	あて先であるメールアドレスは、一文字でも間違うと相手に届かないので気をつけよう。	1		1			1			1		1		1	
340	1	学習を広げる	電子メールの見出しとなる件名は、わかりやすく、内容をとらえやすいものにしよう。	1		1			1			1		1		1	
341	1	学習を広げる	受け取る相手にとって、読みやすい書き方を工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
342	1	学習を広げる	発信する前には読み手の立場になって読み直し、誤解が生じないように推敲しよう。	1		1			1			1		1		1	
343	1	学習を広げる	住所・電話番号・ファックス番号・メールアドレスを書くことが多いが、書かれた情報が世界中に広がっていく可能性もあることを知っておこう。	1		1			1			1		1		1	
344	1	学習を広げる	三年間で、何冊の本と出会えるだろうか。	1		1			1		1			1		1	
345	1	学習を広げる	友達に会ったとき、どんなあいさつをするだろうか。		1	1							1	1		1	
346	1	学習を広げる	では、あいさつのときに「昼寝のめざめはいい？」と言われたらどうだろう。		1	1		1			1			1		1	
347	1	学習を広げる	相手に感謝を表すような場面を考えてみよう。		1	1		1					1	1		1	
348	1	学習を広げる	さまざまな辞書を使いこなし、言葉の知識を確かなものにしよう。	1		1							1	1		1	
349	1	学習を広げる	言葉の並べられた順を手がかりに、見当をつけてからページを開くなどして、言葉を早く見つけられるようにしよう。	1		1					1			1		1	
350	1	学習を広げる	部首についての知識などは、漢和辞典を使い慣れることで身についていくので、できるだけ多くの漢字を調べよう。	1		1				1	1			1		1	
351	1	学習を広げる	物事をくわしく知りたいときや、どんな資料を調べればよいのかがわからないときなどには、百科事典を調べてみよう。	1		1				1	1			1		1	
352	1	学習を広げる	利用するときは、まず索引を使って調べよう。	1		1				1	1			1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
353	1	学習を広げる	図書館などで見つけて活用してみよう。	1		1				1	1			1		1	
354	1	学習を広げる	簡単に調べられるため、こまめに使うことができるが、よく考えながら使わないと、せっかく調べた言葉の意味が身につかないこともあるので気をつけよう。	1		1				1		1		1		1	
355	1	学習を広げる	この教科書の本文と、欄外や教材末の漢字欄の新出漢字を見比べてみよう。	1		1				1		1		1		1	
356	1	学習を広げる	相手に届く声を出すためには、息の流れを適切に調節して、必要に応じた大きさの声を出すとともに、しっかり口を運動させて発音するようにしよう。	1		1				1		1		1		1	
357	1	学習を広げる	次の文を声に出して読んでみよう。	1		1				1	1			1		1	
358	1	学習を広げる	「き」「く」には「i」[u] という母音があるが、「i」「u」を続けて発音するとき、舌はどのような動き方をしているだろう。	1		1				1			1	1			1
359	1	学習を広げる	観察しながらいろいろな発音をしてみよう。		1	1				1		1		1		1	
360	1	学習を広げる	次の文をはっきり言えるよう練習してみよう。	1		1				1		1		1		1	
361	1	学習を広げる	活用の違いに着目してみよう。	1		1		1				1		1		1	
362	1	学習を広げる	最初に覚えた読み方のほかに、どのような音訓があるだろうか。	1		1					1			1		1	
363	1	学習を広げる	漢字の形と読み方と意味を関連させながら覚えていこう。		1	1					1			1		1	
364	1	学習を広げる	中学校一年生の段階では、小学校で習った漢字と一年生で学習した漢字をしっかり読めるようにしておこう。	1		1					1			1		1	
365	1	学習を広げる	また、小学校で学習した漢字は、正確に書けるように練習しよう。	1		1				1		1		1		1	
366	2	1・春に	作者は、どのように春を受け止め、どのような言葉や表現で伝えようとしているだろう。	1						1		1		1		1	
367	2	1・春に	作品を読んで、作者のものの見方や感じ方をとらえよう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
368	2	1・春に	作品から好きな言葉や表現を見つけ、そこを選んだ気持ちが伝わるように、声に出して読んでみよう。	1			1			1		1		1		1	
369	2	1・雨の日と青い鳥	育海は兄の豊海に対してどのような気持ちを抱いているのだろう。		1		1			1		1		1		1	
370	2	1・雨の日と青い鳥	次の表現などに着目して考えよう。	1			1			1		1		1		1	
371	2	1・雨の日と青い鳥	「港では雨の中で、並んだ漁船がしょんぼりしていた。」（１８ページ１１行目）などの情景を抜き出し、登場人物の気持ちや関係を読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
372	2	1・雨の日と青い鳥	最後の場面で、「また兄ちゃんとけんかをするのだろうな」（２４ページ１１行目）と思う育海の気持ちを、それまでの育海の、豊海への気持ちと比べながら話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
373	2	1・対義語・類義語・多義語	同じように「兄」・「姉」についても考えてみよう。	1		1				1	1			1			1
374	2	1・対義語・類義語・多義語	分や語の中で類義語の使い方を比較してみよう。	1		1				1	1			1			1
375	2	1・対義語・類義語・多義語	次の例文の「結ぶ」を「縛る」「つなぐ」で置き換えてみて、自然な文章になるものと、ならないものとがあることを確かめよう。	1		1				1	1			1			1
376	2	1・対義語・類義語・多義語	このような言葉をほかにも考えてみよう。	1		1				1	1			1			1
377	2	1・対義語・類義語・多義語	次の文の（）に入る語を、「つける」の意味を考えて□の中から選ぼう。	1		1			1		1			1			1
378	2	1・同じ訓をもつ漢字	このように同じ訓をもつ漢字は注意して使い分けよう。	1		1					1			1			1
379	2	1・同じ訓をもつ漢字	次の①から⑫は、（）の中のどちらの漢字を使うのが正しいだろうか。		1	1			1		1			1			1
380	2	1・同じ訓をもつ漢字	後ろのわくの中からえらんで答えよう。	1		1			1		1			1			1
381	2	1・「聞く生活」を考えよう	自分たちの「聞く生活」を振り返り、必要な情報を的確に得るためには、どのような聞き方をすればいいのかを改めて考えてみよう。	1		1				1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
382	2	1・「聞く生活」を考えよう	実際の練習を通して、「聞く生活」を充実させていこう。	1		1		1				1		1		1	
383	2	1・「聞く生活」を考えよう	山本さんの立場になって、メモを取りながら聞き取ってみよう。	1		1		1				1		1		1	
384	2	1・「聞く生活」を考えよう	立場を変えて情報を聞き取ろう。	1		1		1				1		1		1	
385	2	1・「聞く生活」を考えよう	次のニュースを、野鳥観察に行く人と、桜を見に行く人の二つの立場から聞き、それぞれに必要な情報を聞き取ろう。	1		1		1				1			1	1	
386	2	1・「聞く生活」を考えよう	工夫して情報を聞き取ろう。	1		1		1				1		1		1	
387	2	1・「聞く生活」を考えよう	必要な情報は何かを考え、メモを取ったり、図をかいたりしながら、次の聞き取りに取り組もう。	1		1		1				1		1		1	
388	2	1・「聞く生活」を考えよう	あなたも木村さんになったつもりで、内田さんの話をしっかり聞き取ろう。	1		1		1				1		1		1	
389	2	1・「聞く生活」を考えよう	「聞く生活」について考えよう。	1		1				1		1		1		1	
390	2	1・「聞く生活」を考えよう	体験をもとに話し合おう。	1		1		1				1			1	1	
391	2	1・「聞く生活」を考えよう	これまでの練習などを振り返り、聞くことの目的や方法について考えを深め、自分たちの「聞く生活」を充実させていこう。	1		1		1					1		1	1	
392	2	2・文化を伝えるチンパンジー	チンパンジーのことを、あなたはどれだけ知っているだろうか。		1	1							1	1		1	
393	2	2・文化を伝えるチンパンジー	筆者は、何に興味を持ち、何を調べようとしてチンパンジーの研究を続けてきたのだろう。		1		1			1		1		1		1	
394	2	2・文化を伝えるチンパンジー	そのことが分かる部分を抜き出そう。	1			1		1			1		1			1
395	2	2・文化を伝えるチンパンジー	このことをもとに次の①②③について考えよう。	1			1			1		1		1		1	
396	2	2・文化を伝えるチンパンジー	中心部分の前半で、考察したことが書かれているのはどの段落か。		1		1			1		1		1			1
397	2	2・文化を伝えるチンパンジー	またそこでは何を考察しているか考えよう。	1			1			1		1		1		1	
398	2	2・文化を伝えるチンパンジー	それぞれの部分に書かれていることを読み分けよう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
399	2	2・文化を伝えるチンパンジー	中心部分の後半で、筆者は何を知るために実験を行ったのだろう。		1		1			1		1		1		1	
400	2	2・文化を伝えるチンパンジー	そのことが分かる段落を見つけよう。	1			1			1		1		1			1
401	2	2・文化を伝えるチンパンジー	この文章を読んで分かったことや、興味を持った事実について話し合ってみよう。	1			1	1					1		1	1	
402	2	2・単語の分け方	右の文の「シカ」と「しか」にはどのような違いがあるだろう。		1	1				1	1			1			1
403	2	2・単語の分け方	文節（/）に区切り、さらに単語（・）に分解して考えよう。	1		1			1		1			1			1
404	2	2・単語の分け方	次の文の「カエル」と「かえる」の違いを、①から③の文を参考にして考えてみよう。	1		1				1	1			1			1
405	2	2・同じ音をもつ漢字	次の文の一線に適した漢字を、後ろの□の中から選ぼう。	1		1			1		1			1			1
406	2	2・同じ音をもつ漢字	次の文の一線に適した漢字を、下の（）の中から選ぼう。	1		1			1		1			1			1
407	2	2・同じ音をもつ漢字	次の文の一線に適した漢字を、下の（）の中からひとつずつ選ぼう。	1		1			1		1			1			1
408	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	じぶんが興味を持った人物についてパンフレットを作り、友達に紹介しよう。	1		1		1				1		1		1	
409	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	読んだ人がその人物を深く知りたいと思えるように、情報を編集し、効果的な紙面構成を工夫しよう。	1		1		1				1		1		1	
410	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	企画を立て、情報を集めよう	1		1		1				1		1		1	
411	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	自分が興味を持っている人物や深く知りたい人物、友達にぜひ知ってもらいたい人物を挙げてみよう。	1		1		1					1	1		1	
412	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	選んだ人物のどんなところを伝えるのか、次のような観点を意識して決めよう。	1		1		1					1	1		1	
413	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	はっきり決められない場合は、その人物についての情報を集めてから、再検討しよう。	1		1		1					1	1		1	
414	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	いつ、どこで、何をどのように調べるかについて、計画を立てよう。	1		1		1				1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
415	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	情報を整理しよう	1		1		1				1		1		1	
416	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	調べていく中で付け加えたい情報が見つかったら、それらも合わせて、もう一度何を中心に伝えるかを見直そう。	1		1		1				1		1		1	
417	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	集めた情報は、次の観点を元に整理しよう。	1		1		1				1		1		1	
418	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	紙面構成を考えよう	1		1		1				1		1		1	
419	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	選んだ情報をどのように割り付けるかを考え、下の例を参考に、紙面のイメージを簡単な図にしてみよう。	1		1			1			1		1		1	
420	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	次の観点を意識して、見やすい紙面構成を工夫しよう。	1		1		1					1	1		1	
421	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	下書きをし、パンフレットを作ろう。	1		1			1			1		1		1	
422	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	次の観点を意識して、キャッチコピーを考えてみよう。	1		1		1					1	1		1	
423	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	紙面のイメージ図をもとに、下書きをしよう。	1		1			1			1		1		1	
424	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	書いたら友達と見せ合い、相手に内容が伝わる紙面になっているか、助言し合おう。	1		1		1				1			1	1	
425	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	友達の助言を参考にして、色の使い方や文字の形、大きさなどを工夫し、パンフレットを完成させよう。	1		1		1				1		1		1	
426	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	発表して感想を伝え合おう	1		1		1				1			1	1	
427	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	その人物を選んだ理由などを述べながら、パンフレットを見せ合おう。	1		1		1				1			1	1	
428	2	2・人物紹介パンフレットを作ろう	また、作るうえで工夫した点を発表し、互いに感想を伝えるようにしよう。	1		1		1				1			1	1	
429	2	2・短歌を味わう	ここでは、短歌に深く関わって生きてきた筆者の思いを読み味わいながら、短歌に対する理解を深め、そのリズムを楽しもう。	1			1			1			1	1		1	
430	2	2・短歌を味わう	次に見る短歌一首を、小さな声でゆっくりと読んでみよう。	1			1			1		1		1			1
431	2	2・短歌を味わう	文章中に示された読み方を参考にしながら、それぞれの短歌の美しさが伝わるよう、工夫して音読しよう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
432	2	2・短歌を味わう	自分が心を惹かれた言葉や表現を抜き出そう。	1			1					1		1		1	
433	2	2・短歌を味わう	筆者にならって、「短歌十二首」も参考にしながら、好きな短歌をノートに書き写してみよう。	1			1		1			1		1			1
434	2	2・読書活動	これまでに読んだ本の中から、友達に推薦したい一冊を選び、紹介しよう。	1		1		1				1			1	1	
435	2	2・読書活動	また、友達の推薦した本を通して、自分の読書を広げていこう。	1		1		1					1		1	1	
436	2	2・読書活動	友達に推薦したい本が決まったら、紹介カードを作ろう。	1		1		1				1		1		1	
437	2	2・読書活動	どう書けば、自分の思いが相手に伝わるだろう。		1	1			1				1	1		1	
438	2	2・読書活動	構想メモなどを使い、カードを読んだ人が「読んでみたい」と思うように書き方を工夫しよう。	1		1			1				1	1		1	
439	2	2・読書活動	紹介カードは、互いに交換したり、教室や学校図書館の掲示板に張り出したりして読み合おう。	1		1		1					1		1	1	
440	2	3・盆土産	登場人物の様子が描かれている表現をいくつか抜き出し、そこから読み取れるそれぞれの人柄や心情について考えよう。	1			1			1			1	1		1	
441	2	3・盆土産	それぞれ、話してのどのような心情が込められているだろう。		1		1			1		1		1		1	
442	2	3・盆土産	次の場面について考えよう。	1			1			1		1		1		1	
443	2	3・盆土産	作品を読んで、次のような印象を受ける場面はどこだろう。		1		1			1		1		1		1	
444	2	3・盆土産	表現に即して読み味わってみよう。	1			1			1			1	1		1	
445	2	3・盆土産	この作品に登場する家族は、普段どのような気持ちで父親を思っているのだろう。		1		1			1		1		1		1	
446	2	3・盆土産	また、この家族にとって盆や正月とはどのような日だったのだろう。		1		1			1		1		1		1	
447	2	3・盆土産	作品を読んで分かったことや感じたことを話し合ってみよう。	1			1	1				1		1		1	
448	2	3・盆土産	印象的な一場面を書こう。	1			1		1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
449	2	3・盆土産	体験やイメージをもとに、自分にとって忘れられない思い出や、人やものとの出会いの一場面を、四百字程度で書こう。	1			1		1			1		1		1	
450	2	3・盆土産	次の①②について考え、会話や場面描写を工夫しよう。	1			1			1		1		1		1	
451	2	3・盆土産	継ぎの一線の語句の意味を調べ、同じような意味をあらわす語句を挙げてみよう。	1			1					1		1		1	
452	2	3・字のないはがき	次の内容を手がかりにして、父親の人柄や心情を読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
453	2	3・字のないはがき	次の部分から考えよう。	1			1			1		1		1		1	
454	2	3・字のないはがき	「終戦の年」の家族の様子がわかる描写を抜き出し、家族のおかれた状況と「父」「母」「末の妹」の心情を考えてみよう。	1			1			1		1		1		1	
455	2	3・字のないはがき	また、この家族の人間関係について話し合ってみよう。	1			1	1				1		1		1	
456	2	3・字のないはがき	次の「筆」の表す意味を調べよう。	1			1				1			1			1
457	2	3・方言と共通語	次の例を見て、自分たちの言い方について考えよう。	1		1						1			1	1	
458	2	3・方言と共通語	学校図書館などを利用して、地域の民話などを探し、方言に着目しながら読んでみよう。	1		1				1		1		1		1	
459	2	3・提案のしかたを工夫しよう	聞き手の理解や同意を得るためには、どのような工夫をすればいいだろうか。		1	1						1			1	1	
460	2	3・提案のしかたを工夫しよう	また、そのために必要な準備とはなんだろうか。		1	1						1			1	1	
461	2	3・提案のしかたを工夫しよう	ここでは、未来に残したいと思う言葉について、効果的な提案のしかたを考えよう。	1		1						1			1	1	
462	2	3・提案のしかたを工夫しよう	テーマを決めよう	1		1						1			1	1	
463	2	3・提案のしかたを工夫しよう	身の回りの言葉を見つめ、プレゼンテーションのテーマを決めよう。	1		1						1			1	1	
464	2	3・提案のしかたを工夫しよう	グループで提案する言葉を決め、その言葉の価値を、クラスのみんなに理解してもらう方法を考えよう。	1		1						1			1	1	
465	2	3・提案のしかたを工夫しよう	テーマを分析しよう。	1		1						1			1	1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
466	2	3・提案のしかたを工夫しよう	グループで話し合うなどしてテーマを分析し、提案にあたって考えておくべき内容や範囲を明確にしよう。	1		1		1				1			1	1	
467	2	3・提案のしかたを工夫しよう	そのとき、自分たちの考えたことが、他の人の共感を得やすいかどうかについても検討しよう。	1		1		1				1			1	1	
468	2	3・提案のしかたを工夫しよう	言葉を集めよう	1		1						1			1	1	
469	2	3・提案のしかたを工夫しよう	グループで出た意見から、言葉を選ぶときの基準をまとめ、当てはまる言葉を見つけよう。	1		1		1				1			1	1	
470	2	3・提案のしかたを工夫しよう	集めた言葉は、後で選びやすいように付箋紙やカードに書きとめておこう。	1		1			1			1			1	1	
471	2	3・提案のしかたを工夫しよう	提案する言葉を決めよう	1		1		1				1			1	1	
472	2	3・提案のしかたを工夫しよう	集めた言葉を、印象の似ている言葉、同じような場面で使われる言葉などの観点で、大まかに分類しよう。	1		1		1				1			1	1	
473	2	3・提案のしかたを工夫しよう	次に、それぞれの言葉を比較しながら、候補を三つ以内に絞り込もう。	1		1		1				1			1	1	
474	2	3・提案のしかたを工夫しよう	どんな情報があれば、説得力のあるプレゼンテーションができるかを考え、それぞれの候補について情報を集めよう。	1		1		1				1			1	1	
475	2	3・提案のしかたを工夫しよう	集めた情報をもとに、次のような観点で、プレゼンテーションする言葉をひとつ選ぼう。	1		1		1				1			1	1	
476	2	3・提案のしかたを工夫しよう	次の点についてグループで確認し、資料を用意しよう。	1		1						1			1	1	
477	2	3・提案のしかたを工夫しよう	プレゼンテーションの説明をより印象づける資料を工夫しよう。	1		1						1			1	1	
478	2	3・提案のしかたを工夫しよう	資料を作成するときは、文字や図が、一番後ろの席からも見えるかどうか、確かめておこう。	1		1						1			1	1	
479	2	3・提案のしかたを工夫しよう	プレゼンテーションをしよう	1		1		1				1			1	1	
480	2	3・提案のしかたを工夫しよう	各グループの持ち時間を決め、プレゼンテーションをしよう。	1		1		1				1			1	1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
481	2	3・提案のしかたを工夫しよう	聞き手は後で質問したり意見を言ったりできるように、発表の内容だけでなく、資料の作り方や示し方にも注意しよう。	1		1		1				1			1	1	
482	2	3・提案のしかたを工夫しよう	発表について評価し合おう	1		1		1				1			1	1	
483	2	4・枕草子	声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しもう。	1			1			1		1		1		1	
484	2	4・枕草子	そして、自分が感じる四季それぞれの趣と比べてみよう。	1			1			1		1		1		1	
485	2	4・扇の的	次の点に注意して、原文を朗読しよう。	1			1			1		1		1			1
486	2	4・扇の的	場面の状況と、そのときの人物の心情を考えよう。	1			1			1		1		1		1	
487	2	4・扇の的	みぎわに向かって馬を歩ませる那須与一を見送る源氏の武士たちや、義経の思いはどのようなものだっただろう。	1			1			1		1		1		1	
488	2	4・扇の的	１１２ページ１０行目から１３ページ６行目の文章中から抜き出そう。	1			1					1		1			1
489	2	4・扇の的	扇の的を射るために、海に馬を乗り入れた与一の気持ちが表現されている部分を原文から抜き出そう。	1			1					1		1			1
490	2	4・扇の的	最後の場面の状況について、「あ、射たり。」といった人と、「情けなし。」といった人の気持ちについて考え、話し合おう。	1			1	1				1		1		1	
491	2	4・仁和寺にある法師	仁和寺の法師の勘違いが分かる部分を原文から抜き出そう。	1			1					1		1			1
492	2	4・仁和寺にある法師	そのことを作者はどのように考えているだろう。		1		1			1		1		1		1	
493	2	4・仁和寺にある法師	作者の考えが分かる部分を原文から抜き出そう。	1			1					1		1			1
494	2	4・仁和寺にある法師	この作品を読んで、感じたり考えたりしたことを話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
495	2	4・仁和寺にある法師	文語や口語で書かれた次の随筆を読み比べ、それぞれの書き手の思いを読み味わってみよう。	1			1			1			1	1		1	
496	2	4・仁和寺にある法師	「ぞ」や「こそ」を入れることで、どのような思いが強調されるかを考えてみよう。	1			1			1		1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
497	2	4・漢詩の風景	三編の漢詩を、解説の文章を読みながら、歌われている季節、情景、作者の思いなどに注意して、それぞれ読み味わおう。	1			1			1			1	1		1	
498	2	4・漢詩の風景	これらの表現に慣れ、漢詩の趣が表れるように朗読してみよう。	1			1			1		1		1		1	
499	2	4・漢詩の風景	好きな漢詩を選んで、繰り返し読み、暗唱してみよう。	1			1			1		1		1		1	
500	2	4・漢字を分解して考える	それらを下の枠の中に書き入れて、一つの熟語になるようにしよう。	1		1			1		1			1			1
501	2	4・漢字を分解して考える	次のそれぞれの漢字の一部分を取り換えて、別の漢字を作ってみよう。	1		1			1		1			1			1
502	2	4・漢字を分解して考える	次に示す各組の漢字の読み方と意味を調べ、（）の中の漢字と結び付けて、それぞれ熟語を作ろう。	1		1			1		1			1			1
503	2	4・漢字を分解して考える	次の各組の一線をつけた漢字の音は何か。		1	1					1			1			1
504	2	5・モアイは語る	君たちはモアイを知っているだろうか。		1	1						1		1		1	
505	2	5・モアイは語る	次の表を参考にして、構成をまとめよう。	1			1			1		1		1		1	
506	2	5・モアイは語る	筆者の意見を二百時程度でまとめ、書いてみよう。	1			1		1			1		1		1	
507	2	5・モアイは語る	説明文の文章や意見文などを読むときには、文章全体がどのようなまとまりに分かれているかを考えよう。	1			1			1		1		1		1	
508	2	5・根拠を明らかにして書こう	自分の意見には、いつも確かな根拠をもつようにしよう。	1		1							1	1		1	
509	2	5・根拠を明らかにして書こう	また、その書き表し方について工夫し、クラスの人に向けて意見文を書いてみよう。	1		1			1			1		1		1	
510	2	5・根拠を明らかにして書こう	自分の立場を決めよう	1		1						1		1		1	
511	2	5・根拠を明らかにして書こう	よい点、問題点の両方を考え合わせながら、まず肯定か否定か、自分の立場をしっかりと決めよう。	1		1						1		1		1	
512	2	5・根拠を明らかにして書こう	根拠を明らかにしよう	1		1						1		1		1	
513	2	5・根拠を明らかにして書こう	自分がそう考えた意見の根拠をはっきりさせよう。	1		1						1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
514	2	5・根拠を明らかにして書こう	根拠となることを付箋紙やカードなどに書き出し、自分の立場にあった具体的で分かりやすいものに絞り込んでいこう。	1		1			1			1		1		1	
515	2	5・根拠を明らかにして書こう	反論に対する意見を考える。		1	1						1		1		1	
516	2	5・根拠を明らかにして書こう	相手がどんな根拠を挙げて反論するかを予想し、それに対する意見を考えよう。	1		1						1		1		1	
517	2	5・根拠を明らかにして書こう	構成を考えよう	1		1						1		1		1	
518	2	5・根拠を明らかにして書こう	絞った根拠をどんな順序で述べるかを考えよう。	1		1						1		1		1	
519	2	5・根拠を明らかにして書こう	根拠や構成について、友達に乾燥や助言をもらい、わかりやすいかどうか自分でもう一度見直してみよう。	1		1		1				1			1	1	
520	2	5・根拠を明らかにして書こう	意見をまとめよう	1		1						1		1		1	
521	2	5・根拠を明らかにして書こう	構成案を元に、次の例文を参考にして文章を書いてみよう。	1		1			1			1		1		1	
522	2	5・根拠を明らかにして書こう	意見文を読み合おう	1		1		1				1			1	1	
523	2	5・根拠を明らかにして書こう	文章にまとめていく中で、自分の意見はより確固としたものになっただろうか。		1	1						1		1		1	
524	2	5・根拠を明らかにして書こう	また、相手が納得する根拠をあげることができただろうか。		1	1						1		1		1	
525	2	5・根拠を明らかにして書こう	自分たちが書いた意見文を読み合い、いい点・改善点などを話し合おう。	1		1		1				1			1	1	
526	2	5・自立語のいろいろ	次の①～⑦の一線部を比べて，猫の「動作」を表すものに分類してみよう。	1		1				1	1			1			1
527	2	5・自立語のいろいろ	絵を参考にして、「猫は…」に続く動作や状態・性質をあらわす言葉を他にも挙げてみよう	1		1					1			1		1	
528	2	5・自立語のいろいろ	□の中の単語を①～⑤の（）に当てはめてみよう。	1		1			1				1	1			1
529	2	5・自立語のいろいろ	「あらゆる」の下には、他にどんな言葉が付くかな。		1	1			1		1			1		1	
530	2	5・自立語のいろいろ	三つ挙げてみよう。	1		1					1			1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
531	2	5・自立語のいろいろ	文法②「自立語のいろいろ」（199 ページ～203 ページ）と合わせて学習しよう。	1		1							1	1		1	
532	2	5・熟語の成り立ち	どのような成り立ちがあるか知っておこう。	1		1					1			1		1	
533	2	5・熟語の成り立ち	次の熟語を、漢字一字、または二字の組み合わせに分けてみよう。	1		1					1			1			1
534	2	5・情報を検索する	検索の仕方を学んで、学習に役立てよう。	1		1						1		1		1	
535	2	5・情報を検索する	索引を利用しよう	1		1							1	1		1	
536	2	5・情報を検索する	実際に、百科事典などの索引を利用してみよう。	1		1							1	1		1	
537	2	5・情報を検索する	キーワード検索を使おう	1		1						1		1		1	
538	2	5・情報を検索する	図書館の検索システムやインターネットの検索を活用して、学習に必要な情報を探してみよう。	1		1						1		1		1	
539	2	6・走れメロス	初めの部分（１５８ページ２行目から１５９ページ１９行目）でメロスはどのような人物として描かれているかを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
540	2	6・走れメロス	「暴君」の意味を調べ、初めのメロスと王の会話の部分（１５９ページ２０行目から１６２ページ9行目）から、王がどのような人物かを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
541	2	6・走れメロス	特に大きな変化が見える部分を三箇所程度抜き出そう。	1			1					1		1			1
542	2	6・走れメロス	何故メロスの考え方はその部分で変化したのだろう。	1			1			1		1		1		1	
543	2	6・走れメロス	作品を読み返して考えよう。	1			1			1		1		1		1	
544	2	6・走れメロス	メロスの生き方について、共感できたか、できなかったかをその理由も考えながら話し合ってみよう。	1			1	1					1		1	1	
545	2	6・視点を変えて書こう	友達や家族から、自分では気づいていなかった一面を指摘された経験はないだろうか。		1	1						1		1		1	
546	2	6・視点を変えて書こう	周囲の様々なものの視点から、自分という人間を書き表してみよう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
547	2	6・視点を変えて書こう	視点を探そう	1		1						1		1		1	
548	2	6・視点を変えて書こう	下の図を参考に、自分の身の回りにどんなものがあり、どんな人物がいるかを考えよう。	1		1						1		1		1	
549	2	6・視点を変えて書こう	視点を選び、自分との関係を整理しよう。	1		1							1	1		1	
550	2	6・視点を変えて書こう	探し出した様々な視点の中から、どの立場になって文章を書くかを決めよう。	1		1						1		1		1	
551	2	6・視点を変えて書こう	選んだものや人物は、自分とどのような関係にあるだろうか。		1	1						1		1		1	
552	2	6・視点を変えて書こう	まず、視点となったものや人物の特徴を考え、自分との関係を整理しよう。	1		1						1		1		1	
553	2	6・視点を変えて書こう	次に、その視点から見た自分の姿について考えよう。	1		1						1		1		1	
554	2	6・視点を変えて書こう	定めた視点から、文体を工夫して自分について書こう。	1		1			1			1		1		1	
555	2	6・視点を変えて書こう	定めた視点にふさわしい文体を考えてみよう。	1		1						1		1		1	
556	2	6・視点を変えて書こう	次にあげる例を参考に文体を工夫し、視点にたつものや人の特徴、雰囲気などが見えてくるような文章にしていこう。	1		1			1			1		1		1	
557	2	6・視点を変えて書こう	どんな自分が見えてきたか振り返ろう。	1		1						1		1		1	
558	2	6・視点を変えて書こう	様々な視点から自分を書くことで、どのような自分の姿が見えてきたかを振り返ろう。	1		1							1	1		1	
559	2	6・視点を変えて書こう	また、クラスの中で、それぞれが書いた文章を読み合ってみよう。	1		1		1				1			1	1	
560	2	6・視点を変えて書こう	友達はどんな視点に立っていただろうか。		1	1						1			1	1	
561	2	6・用言の活用	「ない」「とき」などを付けて、どのように形が変わるか確認してみよう。	1		1			1		1			1			1
562	2	6・用言の活用	次の文で適切でない部分はどこだろう。		1	1			1		1			1			1
563	2	6・用言の活用	文法③「用言の活用」（２０４～２０６ページ）と合わせて学習しよう。	1		1			1		1			1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
564	2	6・送り仮名	送り仮名のつけ方の原則を知ろう	1		1					1			1			1
565	2	7・小さな「物語」を探る	インタビューで取材し、そこに隠れている小さな「物語」を掘り起こして、「聞き書き文集」を作ってみよう。	1		1			1			1		1		1	
566	2	7・小さな「物語」を探る	「物語」を探る構想を持とう	1		1						1		1		1	
567	2	7・小さな「物語」を探る	次の観点を参考に、誰に、何を尋ねるかを考えよう。	1		1						1		1		1	
568	2	7・小さな「物語」を探る	テーマと相手が決まったら、インタビューを行うためにどんな準備が必要かを考え、計画を立てよう。	1		1						1		1		1	
569	2	7・小さな「物語」を探る	計画に沿って、相手に連絡を取ったり、インタビューしようとする内容について事前に調べたりしよう。	1		1						1		1		1	
570	2	7・小さな「物語」を探る	質問項目を検討しよう	1		1						1		1		1	
571	2	7・小さな「物語」を探る	事前の調査をもとに質問項目を整理し、相手が気持ちよく答えられるように、尋ね方を考えておこう。	1		1						1		1		1	
572	2	7・小さな「物語」を探る	インタビューをしよう	1		1		1				1		1		1	
573	2	7・小さな「物語」を探る	質問項目をもとに、実際にインタビューを行おう。	1		1		1				1		1		1	
574	2	7・小さな「物語」を探る	情報を整理しよう	1		1						1		1		1	
575	2	7・小さな「物語」を探る	インタビューによって得た情報から、どんな「物語」が浮かび上がってきただろう。	1		1						1		1		1	
576	2	7・小さな「物語」を探る	情報を整理し、流れを組み立ててみよう。	1		1						1		1		1	
577	2	7・小さな「物語」を探る	「聞き書き文集」の原稿を作ろう	1		1			1			1		1		1	
578	2	7・小さな「物語」を探る	「補助犬と共に」（１９０ページ）などを参考に、インタビューで得た情報のまとめ方を工夫しよう。	1		1						1		1		1	
579	2	7・小さな「物語」を探る	その人の魅力が伝わるように文章を工夫しよう。	1		1						1		1		1	
580	2	7・小さな「物語」を探る	下書きをインタビューした人に見せ、内容を確認してもらおう。	1		1		1				1		1		1	
581	2	7・小さな「物語」を探る	感想を伝え合おう	1		1		1				1			1	1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
582	2	7・小さな「物語」を探る	自分たちが見つけた「物語」を、「聞き書き文集」にまとめ、次のような形を例に伝え合おう。	1		1		1				1			1	1	
583	2	7・小さな「物語」を探る	インタビューでお世話になった人にはお礼状を書き、自分たちがまとめた文章を添えて送ろう。	1		1			1			1		1		1	
584	2	7・言葉の力	文章を読んで、言葉に対する筆者の考えを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
585	2	7・言葉の力	美しい言葉、正しい言葉について、筆者はどのように考えているか。		1		1			1		1		1		1	
586	2	7・言葉の力	またそれに対して、自分はどのように考えるか		1		1			1		1		1		1	
587	2	7・言葉の力	話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
588	2	単語の分け方	次の文を文節に区切り、自立語に線を引いてみよう。	1		1			1			1		1			1
589	2	単語の分け方	次の文中の活用する語を、例にならって、□で囲んでみよう。	1		1			1			1		1			1
590	2	自立語のいろいろ	次の単語から用言を抜き出そう。	1		1			1		1			1			1
591	2	自立語のいろいろ	次の一線部を「猫」にかかる形にしてみよう。	1		1			1		1			1			1
592	2	自立語のいろいろ	次の単語を動詞・形容詞・形容動詞に分けてみよう。	1		1			1		1			1			1
593	2	自立語のいろいろ	次の文から用言を見つけ、その品詞を答えよう。	1		1				1	1			1			1
594	2	自立語のいろいろ	次の呼応の副詞を使って短文を作ろう。	1		1			1		1			1			1
595	2	自立語のいろいろ	次の一線部の品詞が何か考えてみよう。	1		1				1	1			1			1
596	2	用言の活用	動詞「起こる」と「起きる」の活用について、違いを考えてみよう。	1		1				1	1			1			1
597	2	用言の活用	次の動詞の活用を考えよう。	1		1			1		1			1			1
598	2	用言の活用	次の文を単語にわけ、その中から動詞を抜き出し、活用の種類と活用形を考えよう。	1		1			1		1			1			1
599	2	用言の活用	次の単語を活用させ、表を完成させよう。	1		1			1		1			1			1
600	2	用言の活用	次の文から、形容詞、形容動詞を抜き出し、その活用形を考えてみよう。	1		1			1		1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
601	2	漢字に親しもう	「学習を広げる」268 ページの一覧表と合わせて活用し、中学校三年間で正確に書けるようにしよう。	1		1			1		1			1			1
602	2	漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を書こう。	1		1			1		1			1			1
603	2	漢字に親しもう	次の□に入る漢字を、（）の中から選んで書こう。	1		1			1		1			1			1
604	2	漢字に親しもう	送り仮名の正しいものを選ぼう。	1		1			1		1			1			1
605	2	漢字に親しもう	また、それぞれの言葉で短文を作ってみよう。	1		1			1		1			1			1
606	2	漢字に親しもう	例にならって、次の四枚のカードを組み合わせ、二字の熟語を作ろう。	1		1			1		1			1			1
607	2	漢字に親しもう	次の□に入る漢字を左の枠の中から選び、二字の熟語のしりとりをしよう。	1		1			1		1			1			1
608	2	漢字に親しもう	適切な漢字を左下の枠の中から選んで書こう。	1		1			1		1			1			1
609	2	漢字に親しもう	例にならって、次の□に入る適切な漢字を入れ、二字の熟語になるようにしよう。	1		1			1		1			1			1
610	2	漢字に親しもう	次の各組で、□に入る適切な漢字を、（）の中から選んで完成させよう。	1		1			1		1			1			1
611	2	伝え合うために	学習や生活の中で生まれた課題について、調べたり考えたりするときの手がかりとして活用しよう。	1		1					1			1		1	
612	2	伝え合うために	学んだことを日常の中に生かし、伝え合う力を高めていこう。	1		1						1		1		1	
613	2	発想を広げる	この例をきっかけにして、自分の発想を大きく広げていこう。	1		1						1		1		1	
614	2	情報を集める	次の例で考えよう。	1		1						1		1		1	
615	2	情報を集める	答える側にたって、分かりやすく、失礼のない尋ね方を工夫しよう。	1		1						1		1		1	
616	2	情報を集める	目的に応じて回答の形式を決めよう。	1		1						1		1		1	
617	2	情報を集める	回答が集まったら表にまとめて集計し、グラフなどを使って分かりやすく表す方法を考えよう。	1		1						1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
618	2	情報を集める	事前準備をしっかりと行い、相手に失礼にならないようにインタビューに臨もう。	1		1		1				1		1		1	
619	2	資料の工夫	伝える目的や内容に応じて、ふさわしい図解表現を選び、活用していこう。	1		1						1		1		1	
620	2	文語の活用	活用の違いに着目してみよう。	1		1					1			1		1	
621	3		ことばの広がりを楽しもう。	1		1							1	1		1	
622	3	1・わたしを束ねないで	詩の中の言葉や表現から、作者の思い、ものの見方や感じ方をとらえよう。	1			1			1		1		1		1	
623	3	1・わたしを束ねないで	それぞれの連の中で繰り返される言葉や、比喩、対比の表現など、この詩の特徴を生かして朗読しよう。	1			1	1		1		1		1		1	
624	3	１・握手	次の言葉を手がかりに、ルロイ修道士の人物像をとらえよう。	1			1			1		1		1		1	
625	3	１・握手	次の表現から、ルロイ修道士の心情を考えよう。	1			1			1		1		1		1	
626	3	1・握手	思い出と再会の二つの場面から考え、話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
627	3	1・言語①敬語	ＡとＢのいい方を比べてみよう。	1		1					1			1		1	
628	3	1・言語①敬語	ここでは、わたしたちが普段使っている敬語を見つめ直し、どんな決まりで使い分けているのか考えてみよう。	1		1					1			1		1	
629	3	1・言語①敬語	そして、より豊かに正確に敬語を使いこなすためのきっかけとしてみよう。	1		1							1	1		1	
630	3	1・言語①敬語	左の文でそれぞれの敬語の種類を確かめてみよう。	1		1					1			1		1	
631	3	1・言語①敬語	次の内容を先生に伝える場合、どのように敬語を使うとよいだろう。		1	1					1			1			1
632	3	1・言語①敬語	先生への伝え方を考えてみよう。	1		1					1			1		1	
633	3	1・漢字①形に着目して漢字を考える	それぞれの漢字の読み方と意味を調べよう。	1		1					1			1			1
634	3	1・漢字①形に着目して漢字を考える	ab の語句の□を漢字で書くには、上のどちらの漢字を用いるのがよいだろうか。		1	1					1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
635	3	1・漢字①形に着目して漢字を考える	それぞれの漢字を音で読み、また、その漢字を用いた熟語を挙げてみよう。	1		1		1			1			1			1
636	3	1・相手を意識して伝えよう	ここでは、相手にとってわかりやすい伝え方とはどのようなものかを、小学生に向けた説明を例に考えていこう。	1		1						1		1		1	
637	3	1・相手を意識して伝えよう	①情報を正確に把握しよう	1		1				1		1		1		1	
638	3	1・相手を意識して伝えよう	あとの説明を読み、「纏」についての理解を深めた上で、小学三年生にわかりやすく伝える方法を考えていこう。	1		1						1		1		1	
639	3	1・相手を意識して伝えよう	②相手に合わせて説明のしかたを考えよう	1		1						1		1		1	
640	3	1・相手を意識して伝えよう	解説を読み、わからない言葉があったら、辞書などで調べておこう。	1		1				1	1			1			1
641	3	1・相手を意識して伝えよう	相手が小学三年生であることを考えて、次の順序で情報を選び、整理しよう。	1		1			1			1		1		1	
642	3	1・相手を意識して伝えよう	このような場合には、解説を加えるなどして、説明しよう。	1		1			1			1		1		1	
643	3	1・相手を意識して伝えよう	例を参考に説明用のメモを作ろう。	1		1			1			1		1		1	
644	3	1・相手を意識して伝えよう	③練習しよう	1		1		1				1		1		1	
645	3	1・相手を意識して伝えよう	説明する人と、小学三年生の立場で聞く人に分かれて練習してみよう。	1		1		1				1			1	1	
646	3	1・相手を意識して伝えよう	わかりやすい説明になっているかどうか、直すべき点があるかどうかお互いに検討し合おう。	1		1		1				1			1	1	
647	3	1・相手を意識して伝えよう	④実際に話してみよう	1		1		1				1		1		1	
648	3	1・相手を意識して伝えよう	次の例を参考に、説明の内容を完成させて、実際に話してみよう。	1		1		1				1			1	1	
649	3	1・相手を意識して伝えよう	また、聞いている人に、わかりにくかったところを指摘してもらおう。	1		1		1				1			1	1	
650	3	2・メディア社会を生きる	初めから 41 ページ 10 行目までを読み、メディアとは何かを定義した部分を探して抜き出そう。	1			1		1		1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
651	3	2・メディア社会を生きる	また、メディアの二つの働きについて述べられている部分を読み取り、メディアがどのような働きをしているかを考えよう。	1			1					1		1		1	
652	3	2・メディア社会を生きる	筆者がこのように述べている理由を二つ抜き出そう。	1			1					1		1			1
653	3	2・メディア社会を生きる	筆者は最終段落で、「メディアの読み書き」について、どんなことが大切だと述べているだろう。		1		1					1		1			1
654	3	2・メディア社会を生きる	筆者が述べていることをもとに、自分たちにできることが何かを話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
655	3	2・文法の広場①助詞と助動詞	例を参考に、①②の絵に合わせて（）に平仮名一文字を入れてみよう。	1		1			1		1			1			1
656	3	2・文法の広場①助詞と助動詞	次の①～③は「小学生が完走した」という文とどのように違うか説明してみよう。	1		1		1			1			1		1	
657	3	2・文法の広場①助詞と助動詞	次の表現の違いを、―線部に注意して比べてみよう。	1		1					1			1		1	
658	3	2・文法の広場①助詞と助動詞	文法①「助詞と助動詞」（194～199 ページ）と合わせて学習しよう。	1		1					1			1		1	
659	3	2・漢字②異なる意味を持つ漢字	例文と（）内の―線の読み方と意味を調べ、比べてみよう。	1		1					1			1			1
660	3	2・漢字②異なる意味を持つ漢字	次の熟語の―線の漢字について、下の（）の二つの語のうち、どちらの意味で使われているかを考えてみよう。	1		1					1			1			1
661	3	2・漢字②異なる意味を持つ漢字	次の―線の漢字の中から（）内の意味で使われているものを選ぼう。	1		1					1			1			1
662	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	新聞の特徴を生かして書こう	1		1			1		1			1		1	
663	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	新聞記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る練習をしよう。	1		1				1		1		1		1	
664	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	また、伝える内容や意図を明確にして記事を書いてみよう。	1		1			1			1		1		1	
665	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	新聞の紙面構成の特徴を知ろう	1		1				1	1			1		1	
666	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	これを使い、新聞の紙面構成の特徴を理解しよう。	1		1				1	1			1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
667	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	また、一面以外にも経済面や社会面、スポーツ面などさまざまな面があることも知っておこう。	1		1				1	1			1		1	
668	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	二つの記事をくらべてみよう	1		1						1		1		1	
669	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	次ページの観点に沿って、二つの記事を比べてみよう。	1		1						1		1		1	
670	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	①見出しを比べよう。	1		1						1		1		1	
671	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	また、書き手が注目しているものが何かを考えよう。	1		1						1		1		1	
672	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	②リード文を比べよう。	1		1						1		1		1	
673	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	使われている言葉などに着目し、書き手が桜の開花に対して、何を伝えようとしているかを読み取ろう。	1		1				1		1		1		1	
674	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	③本文を比べよう。	1		1						1		1		1	
675	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	開花が早いことが、どのように名所や行楽地へ影響したかについて、事実の取り上げ方の違いを比べよう。	1		1						1		1		1	
676	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	④写真を比べよう。	1		1						1		1		1	
677	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	どんな場面を写しているかを比べ、その場面を取り上げた意図を考えよう。	1		1						1		1		1	
678	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	また文章と写真との関係を考えてみよう。	1		1						1		1		1	
679	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	記事の違いをまとめ，クラスで話し合おう	1		1		1				1			1	1	
680	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	二つの記事の違いを書き出し、伝えようとしていることの違いをまとめよう。	1		1			1			1		1		1	
681	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	自分なりに工夫してまとめ、それぞれの記事がどのような意図で編集されているかをクラスで話し合おう。	1		1		1				1			1	1	
682	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	新聞記事を書こう	1		1			1			1		1		1	
683	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	身近な話題から、クラスのみんなに知らせたい題材をひとつ選び、記事にしよう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
684	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	まず、必要な情報をメモ用紙やカードに書き、伝えたいいことの中心を決めて構成を考えよう。	1		1			1			1		1		1	
685	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	次に5W1H（いつ・だれが・どこで・何を・なぜ・どのように）が正確に伝わるように文章をまとめ、それをもとにし、「見出し」「リード文」「本文」「写真」などを工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
686	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	記事を発表しよう	1		1		1				1		1		1	
687	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	それぞれの記事が伝えようとしていることの中心を考え、それが読み取れるかどうかを感想に書いて伝えよう。	1		1			1			1		1		1	
688	3	2・新聞の特徴を生かして書こう	また、ほかの人たちの編集のしかたや表現の工夫をノートに記録し、これからの学習に生かしていこう。	1		1			1			1		1		1	
689	3	2・俳句の可能性	筆者の解説に導かれて、十七音に込められた表現の深さを自由に読み味わおう。	1			1			1		1		1		1	
690	3	2・俳句の可能性	俳句について理解し、表現の深さを味わう。	1			1			1	1			1		1	
691	3	2・俳句の可能性	この文章から、次の言葉の意味を理解しよう。	1			1				1			1		1	
692	3	2・俳句の可能性	それぞれの俳句について、省略されている部分には、どんな情景や気持ちが込められているか考えよう。	1			1			1		1		1		1	
693	3	2・俳句の可能性	「これ以上はいえないという断念を表している」（58ページ8行目）とはどういうことだろう。		1		1			1		1		1		1	
694	3	2・俳句の可能性	話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
695	3	2・高瀬舟	歩む道のりの先に何を目指そう。		1		1					1		1		1	
696	3	2・読書活動	読書記録の方法を自分なりに工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
697	3	2・読書活動	あらすじや感想ばかりでなく、その著書の中の心に残った表現を書き記してみよう。	1		1			1			1		1		1	
698	3	2・読書活動	詞華集を作ろう	1		1			1			1		1		1	
699	3	2・読書活動	読んだ本の中から、文章の一節を選んで書き写し、そこに感想などを書き加えて、自分だけの詞華集を作ろう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
700	3	2・読書活動	できあがった詞華集は、繰り返し読めるように手近なところにおき、新しく読んだ本の内容を付け加えていこう。	1		1			1			1		1		1	
701	3	3・挨拶	第三連に「向き合った互の顔」とあるが、だれとだれの顔が向き合っているというのだろう。		1		1					1		1		1	
702	3	3・挨拶	また、作品中に出てくるほかの「顔」についても、それがだれの顔であるのかを考えよう。	1			1					1		1		1	
703	3	3・挨拶	その表現に、作者はどのような意味を込めているのだろう。		1		1					1		1		1	
704	3	3・挨拶	意見を出し合おう。	1			1	1				1			1	1	
705	3	3・挨拶	ここで使われている「油断」の意味をとらえ、また、今の自分が同じ意味で「油断」しているかどうかも考えてみよう。	1			1					1		1		1	
706	3	3・故郷	次の風物や人物について、「わたし」の思い出の世界と現在の様子では、どのように変化したか、描写に着目して読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
707	3	3・故郷	「わたし」と「ルントウ」の関係について考えよう。	1			1					1		1		1	
708	3	3・故郷	再開した「わたし」と「ルントウ」の関係は、昔と比べてどのように変わっただろうか。		1		1					1		1		1	
709	3	3・故郷	二人の関係の変化を最も象徴的に表した部分を抜き出そう。	1			1					1		1			1
710	3	3・故郷	「魯迅と『故郷』の時代」（102ページ）などをもとに「わたし」と「ルントウ」の生活の違いを考え合わせながら、二人の間になぜ隔たりができたのかを考えよう。	1			1					1		1		1	
711	3	3・故郷	故郷を離れようとするとき、「わたし」は「希望」という言葉を思い浮かべるが、そのとき「わたし」は、どのような社会を望んでいたのだろう。		1		1					1		1		1	
712	3	3・故郷	読み取ったことをもとに、話し合ってみよう。	1			1	1				1			1	1	
713	3	3・故郷	身の回りの風景を描写しよう	1			1		1			1		1		1	
714	3	3・故郷	次のような観点を踏まえて、身の回りの風景を二百～四百字で描写しよう。	1			1		1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
715	3	3・言語②比喩と慣用句	()に、言葉を入れて、比喩を使った表現を作ってみよう。	1		1			1		1			1		1	
716	3	3・言語②比喩と慣用句	次の①～⑧の慣用句の意味を調べよう。	1		1					1			1		1	
717	3	3・言語②比喩と慣用句	また、その中から一つを選んで文を作ろう。	1		1			1		1			1		1	
718	3	3・漢字③熟語の読み方　重箱読み・湯桶読み	次のＡ・Ｂからそれぞれ一つの漢字を選んで、六つの熟語を作ろう。	1		1			1		1			1			1
719	3	3・漢字③熟語の読み方　重箱読み・湯桶読み	どちらの読み方か調べよう。	1		1					1			1			1
720	3	3・話し合って考えを深めよう	言葉の使い方について、家族や友達と意見が分かれたことはないだろうか。		1	1						1		1		1	
721	3	3・話し合って考えを深めよう	日常生活の中での言葉に対する違和感や疑問をもとに、テーマを決めて調べ、パネル･ディスカッションという形式で話し合おう。	1		1		1				1			1	1	
722	3	3・話し合って考えを深めよう	異なる立場から意見を出し合い、言葉についての考えを深めよう。	1		1						1			1	1	
723	3	3・話し合って考えを深めよう	パネリストとして発言したり、フロアとして参加したりする中で、根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明できるようにしよう。	1		1		1				1		1		1	
724	3	3・話し合って考えを深めよう	①話し合うテーマを決めよう	1		1						1		1		1	
725	3	3・話し合って考えを深めよう	次の観点を参考に、言葉についての疑問を出し合おう。	1		1		1				1			1	1	
726	3	3・話し合って考えを深めよう	クラスの人の多くが感心を寄せていることから、話し合うテーマを決めよう。	1		1						1		1		1	
727	3	3・話し合って考えを深めよう	②自分の意見をもち、根拠となる事柄を調べよう	1		1						1		1		1	
728	3	3・話し合って考えを深めよう	さまざまな資料や手段を使って、自分の意見の根拠となる事柄を調べていこう。	1		1						1		1		1	
729	3	3・話し合って考えを深めよう	下の例を参考に、これまでに学習した調査方法のなかから、自分の意見に適したものを選ぼう。	1		1						1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
730	3	3・話し合って考えを深めよう	③パネリスト･司会者･書記・時計係を決めよう。	1		1						1			1	1	
731	3	3・話し合って考えを深めよう	次の方法を参考にして、異なった意見をもつパネリストを三人程度選ぼう。	1		1						1			1	1	
732	3	3・話し合って考えを深めよう	また、司会者･書記･時計係（討論の内容に沿って時間を想定する係）を立候補や推薦によって決めよう。	1		1						1			1	1	
733	3	3・話し合って考えを深めよう	④パネリスト･司会者･書記･時計係で事前の打ち合わせをしよう	1		1		1				1			1	1	
734	3	3・話し合って考えを深めよう	パネリスト･司会者･書記･時計係で打ち合わせをし、次のような点について確認しておこう。	1		1						1			1	1	
735	3	3・話し合って考えを深めよう	打ち合わせが終わったら、パネリストは自分の意見をもう一度整理し、根拠となる事柄を確認しておこう。	1		1						1		1		1	
736	3	3・話し合って考えを深めよう	説得力のある意見の述べ方を練習したり、新たな資料から別の根拠を導き出したりしてもよいだろう。	1		1						1		1		1	
737	3	3・話し合って考えを深めよう	討論のテーマとともに、各パネリストの意見を二百字程度にまとめた資料を配布しよう。	1		1			1			1		1		1	
738	3	3・話し合って考えを深めよう	⑤パネル･ディスカッションをしよう	1		1		1				1			1	1	
739	3	3・話し合って考えを深めよう	進行計画にしたがって、実際にパネル･ディスカッションをしよう。	1		1		1				1			1	1	
740	3	3・話し合って考えを深めよう	参加者は、パネリストの意見を聞き比べながら、対比点を明確にし、自分の考えを深めよう。	1		1		1				1			1	1	
741	3	3・話し合って考えを深めよう	全体討論ではお互いの考えを深め合うために、積極的に討論に参加しよう。	1		1		1				1			1	1	
742	3	3・話し合って考えを深めよう	⑥討論を振り返ろう	1		1		1				1		1		1	
743	3	3・話し合って考えを深めよう	パネル･ディスカッションへの参加を通して、言葉について考えの深まったところを確かめ合おう。	1		1		1				1			1	1	
744	3	3・話し合って考えを深めよう	まず、自分の役割について改善したいところをまとめよう。	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
745	3	3・話し合って考えを深めよう	次にパネル･ディスカッション全体について振り返り、みんなで改善点を出し合おう。	1		1		1				1			1	1	
746	3	4・古今和歌集	和歌に表れた昔の人の思いや情景を味わう。	1			1			1	1			1		1	
747	3	4・古今和歌集	和歌の効果的な表現や獄の使い方をとらえる。	1			1			1	1			1		1	
748	3	4・古今和歌集	それぞれの時代の歌人たちの自然や人間を愛する心、生活の中の折々の感動がどのように歌われているか読み味わおう。	1			1			1	1			1		1	
749	3	4・古今和歌集	また、声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しもう。	1			1			1		1		1		1	
750	3	4・古今和歌集	それぞれの歌に歌われている作者の心情や情景を、脚注を参考にしながら、短い文章にまとめてみよう。	1			1		1			1		1		1	
751	3	4・古今和歌集	自分の心に響いた歌を選び、観賞文を書いてみよう。	1			1		1			1		1		1	
752	3	4・古今和歌集	また、「仮名序」や、好きな歌を暗唱してみよう。	1			1			1		1		1		1	
753	3	4・古今和歌集	次の場合は、どこにどんな助動詞を補うことになるか、考えてみよう。	1			1					1		1			1
754	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	［1］［2］に出てくる俳句と地の文を朗読しよう。	1			1			1		1		1			1
755	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	［1］［2］の文章を読み、芭蕉の思いを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
756	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、話し合おう。	1			1	1				1		1		1	
757	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	［2］の部分を読み、芭蕉が高館や光堂で、何を見、何を感じたか、その思いを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
758	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	次のような表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わおう。	1			1			1	1			1		1	
759	3	4･夏草−「おくのほそ道」から−	［夏草］と「『おくのほそ道』俳句地図」（128・129ページ）から好きな俳句を選び、暗唱してみよう。	1			1			1	1			1			1
760	3	4・学びて時にこれを習ふ−「論語」から−	次のような、漢文特有の言い回しに注意して、書き下し文を繰り返し音読しよう。	1			1			1		1		1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
761	3	4・学びて時にこれを習ふ-「論語」から-	それぞれの言葉がどのような考え方を示しているかを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
762	3	4・学びて時にこれを習ふ-「論語」から-	四つの言葉の中で気に入ったものを選び、暗唱してみよう。	1			1			1	1			1			1
763	3	4・漢字④身の回りの漢字	線の語の意味や使い方を調べ、自分でも短文を作ってみよう。	1		1			1			1		1		1	
764	3	4・漢字④身の回りの漢字	次の-線の語の読み方と意味を調べよう。	1		1					1			1			1
765	3	5・生き物として生きる	この文書を読んで、どんなことを感じたり考えたりしただろうか。		1		1						1	1		1	
766	3	5・生き物として生きる	「この点は納得できた。」「この部分はまだよく理解できない。」など、書かれている内容について話し合おう。	1			1	1				1			1	1	
767	3	5・生き物として生きる	それぞれの意味のまとまりがどこからどこまでかを読み取ろう。	1			1			1		1		1		1	
768	3	5・生き物として生きる	また、筆者は、「生き物が思い通りになるものではないと考えた方がよいようだ。」（144ページ5・6行目）と述べているが、その根拠を示している段落を見つけよう。	1			1					1		1		1	
769	3	5・生き物として生きる	次の四つの立場から一つを選び、生きることと科学技術について、自分の考えを根拠や理由を明確にして、述べてみよう。	1			1	1				1		1		1	
770	3	5・生き物として生きる	根拠がどの様に示されているかに着目して文章を読み、意見文などを書く場合の参考にしよう。	1			1		1			1		1		1	
771	3	5・説得力のある文章を書こう	その際、どうすれば内容を正しく理解し、納得してもらえるだろうか。		1	1			1				1	1		1	
772	3	5・説得力のある文章を書こう	例文を参考に、説得の仕方について考え、実際に身の回りや社会をよりよくしていくための提案を意見文に書こう。	1		1			1			1		1		1	
773	3	5・説得力のある文章を書こう	どんな根拠を挙げ、何を提案しているだろうか。		1	1			1			1		1			1
774	3	5・説得力のある文章を書こう	主張のまとめ方を学び、自分の意見を生かしていこう。	1		1			1			1		1		1	
775	3	5・説得力のある文章を書こう	②主張の述べ方を知ろう	1		1			1		1			1		1	
776	3	5・説得力のある文章を書こう	③根拠を明らかにしよう	1		1			1			1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
777	3	5･説得力のある文章を書こう	④異なる立場から見直そう	1		1			1			1		1		1	
778	3	5･説得力のある文章を書こう	自分の意見には、「そうは思わない。」と考える人が必ずいるものだと認識しよう。	1		1			1			1		1		1	
779	3	5･説得力のある文章を書こう	反論を想定して、主張や提案を見直し、補強していこう。	1		1			1			1		1		1	
780	3	5･説得力のある文章を書こう	⑤構成を考えよう	1		1			1			1		1		1	
781	3	5･説得力のある文章を書こう	より効果的に、説得力をもって自分の主張を伝えるには、どのような順序で述べればよいだろう。	1		1			1			1		1		1	
782	3	5･説得力のある文章を書こう	主張をどこにおくか、根拠となる具体例は、どこに、幾つ入れるかなどを考え、全体の構成を工夫しよう。	1		1			1			1		1		1	
783	3	5･説得力のある文章を書こう	⑥テーマを見つけ、意見文を書こう	1		1			1			1		1		1	
784	3	5･説得力のある文章を書こう	学習したことを生かし、身の回りや社会の出来事などに目を向けて、実際に意見文にまとめよう。	1		1			1			1		1		1	
785	3	5･説得力のある文章を書こう	「〇〇するには〇〇すればよいのではないか。」、「〇〇とはこういうことではないか。」など、具体的な形で考えよう。	1		1			1			1		1		1	
786	3	5･説得力のある文章を書こう	⑦意見文を読み合おう	1		1						1			1	1	
787	3	5･説得力のある文章を書こう	意見文を読み合い、気付いたことを伝え合おう。	1		1		1				1			1	1	
788	3	5･説得力のある文章を書こう	提案の内容に応じて、実際に新聞などに投稿したり、相手に伝えたりしてもよいだろう。		1	1		1				1		1		1	
789	3	5･文法の広場②	②の表現は、①と違って二つの意味に解釈できる。それぞれ、どのような意味なのか、考えてみよう。	1		1						1			1	1	
790	3	5･文法の広場②	次の絵を見て、二人の聞き手の返事の違いからどんなことが考えられるか話し合ってみよう。	1		1		1				1			1	1	
791	3	5･文法の広場②	文法②「コミュニケーション」（200～202）と合わせて学習しよう。	1		1					1			1		1	
792	3	漢字⑤反対の意味の熟語・似た意味の熟語	このような言葉と言葉の関係に気をつけて熟語を覚えよう。	1		1					1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
793	3	漢字⑤反対の意味の熟語・似た意味の熟語	次の語の読み方と意味を辞書で調べ、反対の意味で使われている語を、□の中から選ぼう。	1		1					1			1			1
794	3	漢字⑤反対の意味の熟語・似た意味の熟語	次の−線の読み方と意味を調べ、似た意味で使われている語を□の中から選ぼう。	1		1					1			1			1
795	3	5・読書活動	それぞれの資料についての知識を増やし、有効に活用しよう。	1		1					1			1		1	
796	3	5・読書活動	複数の資料で調べよう。	1		1					1			1		1	
797	3	5・読書活動	情報を収集するときは、できるだけ多くの資料をしらべるようにしよう。	1		1						1		1		1	
798	3	5・読書活動	書籍などのほかの資料ともあわせて、情報の正確性を確認するようにしよう。	1		1						1		1		1	
799	3	5・読書活動	最新の情報を確かめるようにしよう。	1		1						1		1		1	
800	3	5・読書活動	複製してほかの人に配ったりする場合は、必要に応じて著作権者に許可を取ろう。	1		1						1		1		1	
801	3	5・読書活動	引用する場合には、どの部分をなんという資料から引用したかを記そう。	1		1			1			1		1		1	
802	3	5・読書活動	本の名称を知ろう。	1		1					1			1		1	
803	3	5・読書活動	左の図で知っているものは幾つあるだろう。	1		1					1			1		1	
804	3	6・未来に向かって	アルバムを編み、語り合う	1		1		1				1		1		1	
805	3	6・未来に向かって	新たな旅立ちを迎えようとする今、心を占めているのはどんなことだろう。		1	1							1	1		1	
806	3	6・未来に向かって	これまでの生活を振り返り、未来に向かう記念碑として、世界に一冊しかない「わたしのアルバム」を編集しよう。	1		1			1			1		1		1	
807	3	6・未来に向かって	そして、アルバムをもとに、「今まで」と「これから」をスピーチの会を開いて発表し、語り合おう。	1		1		1				1			1	1	
808	3	6・未来に向かって	①作品から考えよう。	1		1						1		1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
809	3	6・未来に向かって	この単元にある文章や詩を読み、これぞれに込められたメッセージを受け止めよう。	1		1						1		1		1	
810	3	6・未来に向かって	文章や詩をきっかけにして、自分たちの「出会い」や「未来」、「生き方」について語り合おう。	1		1		1				1			1	1	
811	3	6・未来に向かって	②アルバム作りの計画を立てよう	1		1			1			1		1		1	
812	3	6・未来に向かって	文章や詩を読んで話し合ったことをもとに、自分のアルバムに残す内容を考えよう。	1		1						1		1		1	
813	3	6・未来に向かって	何を、どのように伝えるかを決め、そのために必要な準備を進めよう。	1		1						1		1		1	
814	3	6・未来に向かって	③アルバムを作ろう	1		1			1			1		1		1	
815	3	6・未来に向かって	全体の構成とともに、ページごとの紙面をどう作るかも考えよう。	1		1						1		1		1	
816	3	6・未来に向かって	自分らしさが現れるように、次のような点を工夫しよう。	1		1						1		1		1	
817	3	6・未来に向かって	④「今まで」と「これから」を語り合おう	1		1		1				1			1	1	
818	3	6・未来に向かって	できあがったアルバムをもとに、スピーチの会を開こう。	1		1		1				1			1	1	
819	3	6・未来に向かって	アルバムに込めた思いを発表し、自分たちの「今まで」と「これから」を語り合おう。	1		1		1				1			1	1	
820	3	6・未来に向かって	また、作るうえで工夫した点、苦労した点などを発表し、感を伝え合おう。	1		1		1				1			1	1	
821	3	6・未来に向かって	スピーチは録音したり、ビデオに撮ったりして、作品として残るようにしておいてもいいだろう。	1		1						1		1		1	
822	3	6・未来に向かって	それぞれの「わたしのアルバム」を教室に展示しよう。	1		1						1			1	1	
823	3	6・未来に向かって	保護者の方や地域の方など、お世話になった方々を招くことができたら、その人たちからも感想や批評をもらおう。	1		1		1				1			1	1	
824	3	6・未来に向かって	次へつなげよう	1		1							1	1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
825	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の–線の漢字を漢和辞書で調べ、同じ部首をもつものどうしを選ぼう。	1		1					1			1			1
826	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の各組の□に入る漢字を、下の（）から選ぼう。	1		1					1			1			1
827	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の–線の片仮名に当てはまるのは（）のうちのどちらだろう。		1	1					1			1			1
828	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の–線の漢字の読み方と意味を調べよう。	1		1					1			1			1
829	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の（）の中の語で、正しい送り仮名はどちらだろうか。		1	1					1			1			1
830	3	6・漢字⑥漢字の総まとめ	次の–線と読み方と意味を調べよう。	1		1					1			1			1
831	3	6・文法①助詞と助動詞	次の文を見てみよう。	1		1					1			1			1
832	3	6・文法①助詞と助動詞	次の文を文節に区切り、助詞に線を引こう。	1		1					1			1			1
833	3	6・文法①助詞と助動詞	次の助詞を含む文を自由に作ろう。	1		1					1			1			1
834	3	6・文法①助詞と助動詞	次の各組の–線を引いた助詞は、意味・用法がどう違うか考えよう。	1		1					1			1			1
835	3	6・文法①助詞と助動詞	「行くか。」という文を、調子を変えて、声に出して読んでみよう。	1		1					1			1			1
836	3	6・文法①助詞と助動詞	例えば、助動詞「た」を使用した次の文を見てみよう。	1		1					1			1			1
837	3	6・文法①助詞と助動詞	次の文を文節に区切り、助動詞に線を引こう。	1		1					1			1			1
838	3	6・文法①助詞と助動詞	次の各組の文で、–線を引いた助動詞のうち、意味や用法がほかと違うのはどれか。	1		1					1			1			1
839	3	6・文法①助詞と助動詞	次の文の（）に、希望を表す助動詞を「たい」「たがる」入れるとしたら、どちらが自然だろうか。		1	1					1			1			1
840	3	6・文法①助詞と助動詞	だれが希望しているかを考えながら、（）に当てはめ、その違いについて考えてみよう。	1		1					1			1			1
841	3	6・文法②コミュニケーション	しかし、「ケーキ」を「先生」にするとどうだろう。		1	1					1			1		1	
842	3	6・文法②コミュニケーション	それでは、「太郎さんは次郎さんと花子さんに会った。」という文を考えてみよう。	1		1					1			1			1

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
843	3	6・文法②コミュニケーション	次の表現はどんな意味に解釈できるか、また、あいまいな解釈を防ぐにはどうすればよいのかを考えよう。	1		1					1			1			1
844	3	6・文法②コミュニケーション	次の会話を考えてみよう。	1		1					1			1			1
845	3	6・文法②コミュニケーション	「いい天気だよ。」「いい天気だね。」はどう違うか考えてみよう。	1		1					1			1			1
846	3	6・文法②コミュニケーション	ここで「え。」と言うと、どのようなサインになるだろうか。		1	1					1			1			1
847	3	6・文法②コミュニケーション	言葉の細部に目を向け、コミュニケーションを大切にしていこう。	1		1					1			1			1
848	3	6・漢字に親しもう	「学習を広げる」269ページの一覧表と合わせて活用し、中学三年間で正確に書けるようにしよう。	1		1					1			1			1
849	3	6・漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を書こう。	1		1			1		1			1			1
850	3	6・漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を左の枠から選んで、熟語を完成させよう。	1		1					1			1			1
851	3	6・漢字に親しもう	次の□に入る適切な漢字を下の（）の中から選ぼう。	1		1					1			1			1
852	3	学習を広げる・資料	学習や生活の中で生まれた課題について、調べたり考えたりするときの手がかりとして活用しよう。	1		1						1		1		1	
853	3	学習を広げる・資料	学んだことを日常の中に生かし、伝え合う力を高めていこう。	1		1						1		1		1	
854	3	学習を広げる・資料	この例をきっかけにして、自分の発想を大きく広げていこう。	1		1							1	1		1	
855	3	学習を広げる・資料	話し合いの形式の幾つかを知り、参加したり活用したりできるようになろう。	1		1						1		1		1	
856	3	学習を広げる・資料・二つの悲しみ	わたしたちは、この二つのことから、この悲しみから、何を考えるべきであろうか。		1	1							1	1		1	
857	3	学習を広げる・資料・二つの悲しみ	私たちは、何をすべきであろうか。		1	1							1	1		1	

番号	学年	単元・教材名	用　例　文	構文形式		出所		言語活動			ねらい			活動形態		話題機能	
				指示型	疑問型	教材文	手引等	話聞	書く	読む	知識	技能	意欲	個人	集団	拡散	収束
858	3	学習を広げる・資料・受け継がれる物語	ここでは、前漢の時代に司馬遷によって書かれた「史記」の一場面と、日本の作家司馬遼太郎の「項羽と劉邦」の一部とを読み比べ、人の心を打つ物語が、時代を超え、またジャンルやメディアを超えて語り継がれていくことを理解しよう。	1		1						1		1		1	
859	3	学習を広げる・資料・文語の活用	活用の違いに着目してみよう。	1		1					1			1		1	
860	3	付録	最初に覚えた読み方のほかに、どのような音訓があるだろうか。		1	1					1			1			1
861	3	付録	漢字の字形と読み方と意味を関連させながら覚えていこう。	1		1					1			1		1	
			total	717	144	681	179	179	205	178	196	567	97	753	108	649	207

5　平成 18 年度版小学校国語教科書における悉皆調査 ―季節を表す表現―

調査担当　藤森裕治（信州大学教育学部）

＊発行社略称　学図：学校図書　教出：教育出版　大書：大阪書籍　東書：東京書籍　光村：光村図書出版

番号	会社	学年	上下	単元・教材名	ページ	本文	該当語句	文種	季節	翻訳
1	学図	1	上	あいうえお	14	うみ	うみ	非文学	夏	
2	学図	1	上	あいうえおのうた	17	えんそくえいえいあいうえお	えんそく	その他	春	
3	学図	1	上	しりとり	18	つくし	つくし	その他	春	
4	学図	1	上	しりとり	18	きのこ	きのこ	その他	秋	
5	学図	1	上	しりとり	18	ことり	ことり	その他	秋	
6	学図	1	上	しりとり	19	つくし	つくし	その他	春	
7	学図	1	上	しりとり	19	ことり	ことり	その他	秋	
8	学図	1	上	いいものみつけた	24	どんぐりをひろったよ。	どんぐり	その他	秋	
9	学図	1	上	いいものみつけた	26	ふたりで、たねとどんぐりを、つちのなかにうめました。	どんぐり	その他	秋	
10	学図	1	上	どこがにている・どこがちがう	30	たぬき	たぬき	その他	冬	
11	学図	1	上	どこがにている・どこがちがう	31	けむし	けむし	その他	夏	
12	学図	1	上	゛のつくじ	32	か	か	その他	夏	
13	学図	1	上	゛のつくじ	32	かき	かき	その他	秋	
14	学図	1	上	゛のつくじ	32	ふぐ	ふぐ	その他	冬	
15	学図	1	上	゛のつくじ	32	こま	こま	その他	新年	
16	学図	1	上	゜のつくじ	33	たんぽぽ	たんぽぽ	その他	春	
17	学図	1	上	゜のつくじ	33	たんぽぽいっぱい	たんぽぽ	その他	春	
18	学図	1	上	いちばんぼし	34	ゆうぐれゆうやけ	ゆうやけ	その他	夏	
19	学図	1	上	いちばんぼし	34	ふくろうぼうやはくいしんぼう	ふくろう	その他	冬	
20	学図	1	上	いちばんぼし	35	ゆうやけゆうひ	ゆうやけ	その他	夏	
21	学図	1	上	きのうのこと	47	わたしは、おかあさんとおにいちゃんとこうえんにいって、ぶらんこであそびました。	ぶらんこ	その他	春	

22	学図	1	上	は・を・へ	49	へちまばたけへいきます。	へちま	その他	秋	
23	学図	1	上	つまるおん	50	きつね	きつね	その他	冬	
24	学図	1	上	ちいさいゃ・ゅ・ょ	51	きゅうりと	きゅうり	その他	夏	
25	学図	1	上	ちいさいゃ・ゅ・ょ	51	かぼちゃと	かぼちゃ	その他	秋	
26	学図	1	上	ちいさいゃ・ゅ・ょ	51	じゃがいもが	じゃがいも	その他	秋	
27	学図	1	上	たぬきのじてんしゃ	52	たぬきのこどもは、ながいあいだのゆめがかなって、あかいじてんしゃをかってもらいました。	たぬき	文学	冬	
28	学図	1	上	たぬきのじてんしゃ	53	たぬきは、しっぽをくわえてはしりました。	たぬき	文学	冬	
29	学図	1	上	たぬきのじてんしゃ	53	やあい。たぬきのくいしんぼ。	たぬき	文学	冬	
30	学図	1	上	たぬきのじてんしゃ	54	たぬきは、うっかりしゃべってしまいました。	たぬき	文学	冬	
31	学図	1	上	たぬきのじてんしゃ	54	たぬきのこどもは、ひめいをあげてしまいました。	たぬき	文学	冬	
32	学図	1	上	せんせいあのね	57	せんせい、あのね、あめのあと、そらににじがかかっていたよ。	にじ	その他	夏	
33	学図	1	上	せんせいあのね	58	もんしろちょうをとりました。	ちょう	その他	春	
34	学図	1	上	せんせいあのね	59	きのうのよる、はなびをしました。	はなび	その他	夏	
35	学図	1	上	おおきなかぶ	68	あまい、げんきのよい、とてつもなくおおきなかぶができました。	かぶ	文学	冬	1
36	学図	1	上	おおきなかぶ	68	あまいあまいかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
37	学図	1	上	たのしくかきましょう	80	なつまつりで、たいこをたたきました。	なつまつり	その他	夏	
38	学図	1	上	よく見てかこう	90	けんじさんのクラスでは、あさがおのたねを見て、気がついたことを出しあいました。	あさがお	その他	秋	
39	学図	1	上	よく見てかこう	92	きょう、学校の花だんで、あさがおのたねを見つけました。	あさがお	その他	秋	
40	学図	1	上	よく見てかこう	93	はたけのだいこんを見てこよう。	だいこん	その他	冬	
41	学図	1	上	よく見てかこう	94	まなみさんは、しいくごやのうさぎを見て、つぎのようにかきました。	うさぎ	その他	冬	
42	学図	1	上	よく見てかこう	94	うさぎのくろすけ	うさぎ	その他	冬	
43	学図	1	上	よく見てかこう	94	わたしは、きょう、しいくごやで、うさぎのくろすけをだきました。	うさぎ	その他	冬	

44	学図	1	上	月よに	100	月よに、ねずみのこどもが、ふしぎなものをひろいました。	月よ	文学	秋	
45	学図	1	上	月よに	103	みんな、しろいばらの花になったみたいだねえ。	ばら	文学	夏	
46	学図	1	上	おおきなかぶ	72	いぬが、まごをひっぱって、まごが、おばあさんをひっぱって、おばあさんが、おじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ。どっこいしょ。」まだまだまだまだ、ぬけません。	かぶ	文学	冬	1
47	学図	1	上	おおきなかぶ	68	おおきなおおきなかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
48	学図	1	上	おおきなかぶ	68	おじいさんが、かぶをうえました。	かぶ	文学	冬	1
49	学図	1	上	おおきなかぶ	69	おじいさんは、かぶをぬこうとしました。	かぶ	文学	冬	1
50	学図	1	上	おおきなかぶ	70	おばあさんが、おじいさんをひっぱって、おじいさんが、かぶをひっぱって、「うんとこしょ。どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
51	学図	1	上	おおきなかぶ	70	それでも、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
52	学図	1	上	おおきなかぶ	75	それでも、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
53	学図	1	上	おおきなかぶ	69	ところが、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
54	学図	1	上	おおきなかぶ	74	ねこが、いぬをひっぱって、いぬが、まごをひっぱって、まごが、おばあさんをひっぱって、おばあさんが、おじいさんをひっぱって、おじいさんが、かぶをひっぱって、「うんとこしょ。どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
55	学図	1	上	おおきなかぶ	76	ねずみが、ねこをひっぱって、ねこが、いぬをひっぱって、いぬが、まごをひっぱって、まごが、おばあさんをひっぱって、おばあさんが、おじいさんをひっぱって、おじいさんが、かぶをひっぱって、「うんとこしょ。どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
56	学図	1	上	おおきなかぶ	71	まごが、おばあさんをひっぱって、おばあさんが、おじいさんをひっぱって、おじいさんが、かぶをひっぱって、「うんとこしょ。どっこいしょ。」まだまだ、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
57	学図	1	上	おおきなかぶ	71	まだまだ、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1

58	学図	1	上	おおきなかぶ	77	やっと、かぶはぬけました。	かぶ	文学	冬	1
59	学図	1	下	かってなくま	93	くまは、…オレンジの花をかかえて、木の下にすわりこみました。	花	文学	春	
60	学図	1	下	かってなくま	93	といって、いつまでも花を見ていました。	花	文学	春	
61	学図	1	下	はじめは「や！」	4	くまさんが、お手がみを出しにいきます。	くま	文学	冬	
62	学図	1	下	はじめは「や！」	4	するとむこうからきつねさんがあるいてくるんです。	きつね	文学	冬	
63	学図	1	下	はじめは「や！」	5	くまさんは、きつねさんを見ました。	くま	文学	冬	
64	学図	1	下	はじめは「や！」	5	くまさんは、きつねさんを見ました。	きつね	文学	冬	
65	学図	1	下	はじめは「や！」	5	きつねさんも、くまさんを見ました。	きつね	文学	冬	
66	学図	1	下	はじめは「や！」	5	きつねさんも、くまさんを見ました。	くま	文学	冬	
67	学図	1	下	はじめは「や！」	6	くまさんは、手がみをポトリポストに入れると、	くま	文学	冬	
68	学図	1	下	はじめは「や！」	6	すると、むこうからきつねさんがやってくるのにあいました。	きつね	文学	冬	
69	学図	1	下	はじめは「や！」	7	あ、さっきのきつねさんだ。	きつね	文学	冬	
70	学図	1	下	はじめは「や！」	7	くまさんはおもいました。	くま	文学	冬	
71	学図	1	下	はじめは「や！」	7	あ、さっきのくまさんだ。	くま	文学	冬	
72	学図	1	下	はじめは「や！」	7	きつねさんもおもいました。	きつね	文学	冬	
73	学図	1	下	はじめは「や！」	8	くまさんは、しんごうが青になったら、	くま	文学	冬	
74	学図	1	下	はじめは「や！」	8	きつねさんもまっていました。	きつね	文学	冬	
75	学図	1	下	はじめは「や！」	9	でも、くまさんときつねさんは、ともだちじゃないから	くま	文学	冬	
76	学図	1	下	はじめは「や！」	9	でも、くまさんときつねさんは、ともだちじゃないから	きつね	文学	冬	
77	学図	1	下	はじめは「や！」	10	くまさんは、本やさんで本をかいました。	くま	文学	冬	
78	学図	1	下	はじめは「や！」	10	そこには、いつもくまさんがすわるベンチがありました。	くま	文学	冬	
79	学図	1	下	はじめは「や！」	10	くまさんは、そこでひと休み。	くま	文学	冬	
80	学図	1	下	はじめは「や！」	10	さっきのきつねさんがやってきました。	きつね	文学	冬	
81	学図	1	下	はじめは「や！」	10	きつねさんはにもつをいっぱいもっています。	きつね	文学	冬	
82	学図	1	下	はじめは「や！」	10	きつねさん、ちょっと休んでいくといいのに。	きつね	文学	冬	
83	学図	1	下	はじめは「や！」	10	それでくまさんは、ベンチにおいたぼうしをとって、	くま	文学	冬	

84	学図	1	下	はじめは「や！」	10	それからみどりのこうえんにいきました。	みどり	文学	夏	
85	学図	1	下	はじめは「や！」	11	きつねさんがすわりました。	きつね	文学	冬	
86	学図	1	下	はじめは「や！」	11	くまさんは、きつねさんのにもつをもってあげたくなりました。	くま	文学	冬	
87	学図	1	下	はじめは「や！」	11	くまさんは、きつねさんのにもつをもってあげたくなりました。	きつね	文学	冬	
88	学図	1	下	はじめは「や！」	12	くまさんは、またさんぽに出かけました。	くま	文学	冬	
89	学図	1	下	はじめは「や！」	13	また、きのうのきつねさんにあいました。	きつね	文学	冬	
90	学図	1	下	はじめは「や！」	13	くまさんはおもわず、	くま	文学	冬	
91	学図	1	下	はじめは「や！」	13	きつねさんもおもわず、	きつね	文学	冬	
92	学図	1	下	ここまでに出たかんじのよみかえ	15	町ないのうんどうかいに出ます。	うんどうかい	非文学	秋	
93	学図	1	下	ことばのいずみ１	17	りんご	りんご	その他	秋	
94	学図	1	下	さいきん　した　ことを　つたえよう	20	ゆうきさんは、おじいさんにこままわしをおしえてもらったときのことをかきました。	こま	その他	新年	
95	学図	1	下	かく　こと	21	きょう、おじいちゃんと、こままわしをしました。	こま	その他	新年	
96	学図	1	下	かく　こと	21	つぎに、こまのなげかたをおしえてくれました。	こま	その他	新年	
97	学図	1	下	かく　こと	22	おじいちゃんとこままわし	こま	その他	新年	
98	学図	1	下	かく　こと	22	きょう、ぼくはおじいちゃんとこままわしをしました。	こま	その他	新年	
99	学図	1	下	かく　こと	22	あっというまにこまをほうりなげると、	こま	その他	新年	
100	学図	1	下	かく　こと	22	手の上にこまをのせました。	こま	その他	新年	
101	学図	1	下	かく　こと	22	つぎに、こまのなげかたをおしえてくれました。	こま	その他	新年	
102	学図	1	下	かく　こと	23	おじいちゃんのこまは、	こま	その他	新年	
103	学図	1	下	かく　こと	23	ぼくのこまははねかえされました。	こま	その他	新年	
104	学図	1	下	かく　こと	23	こまがまわるようすをくわしくかいているね	こま	その他	新年	
105	学図	1	下	かんじの　まめちしき	24	くもの糸	くも	その他	夏	
106	学図	1	下	ここまでに　出た　あたらしいかんじ	25	虫	虫	その他	秋	
107	学図	1	下	まめ	26	ささげ	ささげ	非文学	秋	

108	学図	1	下	まめ	28	しばらくすると、花がさきます。	花	文学	春	
109	学図	1	下	まめ	28	花がさいたあとに、あたらしいまめができます。	花	文学	春	
110	学図	1	下	まめ	31	とんぼがとまるさおの先。	とんぼ	その他	秋	
111	学図	1	下	ここまでに出たかんじのよみかえ	31	校しゃのよこに、いちょうの大木があります。	いちょう	非文学	秋	
112	学図	1	下	きかせて　しって　いる　こと	32	ぼくは、おじいちゃんにさつまいものことをきいてきたよ。	さつまいも	その他	秋	
113	学図	1	下	きかせてしっていること	32	わたしは、おかあさんがそだてたミニトマトについて、はっぴょうしよう。	トマト	非文学	夏	
114	学図	1	下	きかせて　しって　いる　こと	32	わたしがそだてたあさがおについてはっぴょうします。	あさがお	その他	秋	
115	学図	1	下	きかせてしっていること	33	つるがどんどんのびて、花がさきました。	花	非文学	春	
116	学図	1	下	きかせてしっていること	33	なにいろの花がさきましたか。	花	非文学	春	
117	学図	1	下	きかせてしっていること	33	むらさきいろの花がさきました。	花	非文学	春	
118	学図	1	下	かんじの　まめちしき	36	夕やけ小やけ	夕やけ	その他	夏	
119	学図	1	下	かんじの　まめちしき	36	お年だま	お年だま	その他	新年	
120	学図	1	下	ふしぎだな！	44	かに	かに	文学	夏	
121	学図	1	下	ふしぎだな！	44	きょう生きたかにを見ました。	かに	文学	夏	
122	学図	1	下	これまでに　出た　かん字のよみかえ	50	火よう日は、えん足でした。	えん足	その他	春	
123	学図	1	下	いろいろな　あそび	56	そりあそび	そり	その他	冬	
124	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	57	木からなわを下げて、ぶらんこあそびをしました。	ぶらんこ	その他	春	
125	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	57	かみなりがひどいときは、からだから金ものをはなしましょう。	かみなり	その他	夏	
126	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	57	いねかりのおわった水田に、すずめがたくさんいます。	いねかり	その他	冬	
127	学図	1	下	いろいろな　あそび	57	竹うま	竹うま	その他	冬	
128	学図	1	下	ゆうびんやさんごっこを　しよう	62	はっぱが赤くなって落ちていたよ。	はっぱが赤く	その他	秋	

129	学図	1	下	ゆうびんやさんごっこを　しよう	63	ゆきちゃん、おちばがきれいだよ。	おちば	その他	冬	
130	学図	1	下	ゆうびんやさんごっこを　しよう	64	お正月に、車で出かけたときのしゃしんができました。	お正月	その他	新年	
131	学図	1	下	ここまでに出たかんじのよみかえ	64	このさむさで、小川はこおってしまいました。	さむさ	非文学	冬	
132	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	64	このさむさで、小川はこおってしまいました。	こおって	その他	冬	
133	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	65	森林の上に天の川が見えています。	天の川	その他	夏	
134	学図	1	下	ここまでに　出た　かん字のよみかえ	65	みずうみに白ちょうがとんできます。	白ちょう	その他	冬	
135	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	66	青年だんのさくらまつりにいきます。	さくらまつり	その他	春	
136	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	73	えいじくんは、そういって、「どんぐりころころ」のうたをうたいました。	どんぐり	文学	秋	
137	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	73	ろくべえは、シャボン玉がすきでしょ。	シャボン玉	文学	春	
138	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	73	シャボン玉をふいてあげたら、げん気が出るかも。	シャボン玉	文学	春	
139	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	74	ろくべえは、シャボン玉をみると、たべものとまちがえるのか、すぐとびつきます。	シャボン玉	文学	春	
140	学図	1	下	ろくべえ　まってろよ	74	それから、きょうそうのようにして、シャボン玉をふきました。	シャボン玉	文学	春	
141	学図	1	下	ここまでに出たかんじのよみかえ	83	青年だんのさくらまつりにいきます。	さくら	非文学	春	
142	学図	1	下	一年生を　ふりかえって	84	なつ休みにかきはじめて、いまでもつづけています。	なつ休み	その他	夏	
143	学図	1	下	一年生をふりかえって	84	「おおきなかぶ」のはっぴょうかいがとてもおもしろかったです。	かぶ	その他	冬	
144	学図	1	下	一年生をふりかえって	84	かぶをぬくところで、ぼくは犬のやくをしました。	かぶ	その他	冬	
145	学図	1	下	一年生をふりかえって	85	なつ休みにかきはじめて、いまでもつづけています。	なつ休み	その他	夏	
146	学図	1	下	かってなくま	86	森のおくに、くまがすんでいました。	くま	文学	冬	

147	学図	1	下	かってなくま	86	あるあさ、くまは目をさますと、まどをあけました。	くま	文学	冬	
148	学図	1	下	かってなくま	86	くまはしんこきゅうをしました。	くま	文学	冬	
149	学図	1	下	かってなくま	86	くまは、ものおきからくわとシャベルをもってくると、てくてくあるいて、ひらべったいじめんをたがやしはじめました。	くま	文学	冬	
150	学図	1	下	かってなくま	87	くまは、ものおきからくわとシャベルをもってくると、てくてくあるいて、ひらべったいじめんをたがやしはじめました。	たがやし	文学	春	
151	学図	1	下	かってなくま	87	あせびっしょりになって、いっしんふらんに土をほりかえしました。	あせ	文学	夏	
152	学図	1	下	かってなくま	87	うさぎが、「なにしているの？」とききました。	うさぎ	文学	冬	
153	学図	1	下	かってなくま	87	「かってだろ。」と、くまはこたえました。	くま	文学	冬	
154	学図	1	下	かってなくま	87	「もしかしたら、にんじん？」	にんじん	文学	冬	
155	学図	1	下	かってなくま	87	くまは、うさぎなんか見ないで、いいました。	くま	文学	冬	
156	学図	1	下	かってなくま	87	くまは、うさぎなんか見ないで、いいました。	うさぎ	文学	冬	
157	学図	1	下	かってなくま	88	つぎの日、くまはたねをまきました。	くま	文学	冬	
158	学図	1	下	かってなくま	88	つぎの日、くまはたねをまきました。	たねをまき	文学	春	
159	学図	1	下	かってなくま	88	たぬきがきて、「なにまいてるの？」とききました。	たぬき	文学	冬	
160	学図	1	下	かってなくま	88	「けち。」といって、たぬきはかえりました。	たぬき	文学	冬	
161	学図	1	下	かってなくま	88	それから、くまは水をまきました。	くま	文学	冬	
162	学図	1	下	かってなくま	89	「うるさいな。めをたべるとふみつぶすぞ。」と、くまはいいました。	くま	文学	冬	
163	学図	1	下	かってなくま	89	くまがはたけでなにかしているのが、見えました。	くま	文学	冬	
164	学図	1	下	かってなくま	89	「くまなんか、かってなんだから、ほっとこう。」	くま	文学	冬	
165	学図	1	下	かってなくま	90	ふくろうは、よる、目をあけて、まいばんくまのはたけをじっと見ていました。	ふくろう	文学	冬	
166	学図	1	下	かってなくま	90	ふくろうは、よる、目をあけて、まいばんくまのはたけをじっと見ていました。	くま	文学	冬	
167	学図	1	下	かってなくま	90	くまは、ある日目をさますと、いちもくさんにはたけを	くま	文学	冬	

						とんでゆきました。				
168	学図	1	下	かってなくま	90	くまは、むらさきいろの花を一本、じめんに立てておきました。	くま	文学	冬	
169	学図	1	下	かってなくま	90	「ねずみ、おきろよ。」と、くまはまだねているねずみのいえのまえでいいました。	くま	文学	冬	
170	学図	1	下	かってなくま	90	くまは、むらさきいろの花を一本…おきました。	花	文学	春	
171	学図	1	下	かってなくま	91	くまは、たぬきのいえのドアをドンドンたたきました。	くま	文学	冬	
172	学図	1	下	かってなくま	91	くまは、たぬきのいえのドアをドンドンたたきました。	たぬき	文学	冬	
173	学図	1	下	かってなくま	91	そして、いえのまえにきいろい花をおきました。	花	文学	春	
174	学図	1	下	かってなくま	91	目をこすっているたぬきに、ピンクの花をドサッともたせました。	花	文学	春	
175	学図	1	下	かってなくま	91	くまは、うさぎのいえのまえに、白い花をたくさんおきました。	花	文学	春	
176	学図	1	下	かってなくま	92	くまは、うさぎのいえのまえに、白い花をたくさんおきました。	くま	文学	冬	
177	学図	1	下	かってなくま	92	くまは、うさぎのいえのまえに、白い花をたくさんおきました。	うさぎ	文学	冬	
178	学図	1	下	かってなくま	92	うさぎは、まどから花を見ていいました。	うさぎ	文学	冬	
179	学図	1	下	かってなくま	92	くまはゆさゆさゆれて、かえってゆきました。	くま	文学	冬	
180	学図	1	下	かってなくま	92	くまは、ふくろうの木の下でさけびました。	くま	文学	冬	
181	学図	1	下	かってなくま	92	くまは、ふくろうの木の下でさけびました。	ふくろう	文学	冬	
182	学図	1	下	かってなくま	92	うさぎは、まどから花を見ていいました。	花	文学	春	
183	学図	1	下	かってなくま	92	オレンジの花あげる。	花	文学	春	
184	学図	1	下	かってなくま	92	ふくろうは、「ぼくねるの。それに、ぼく、花のしゅみはない。それきみにあげる。	ふくろう	文学	冬	
185	学図	1	下	かってなくま	92	それに、ぼく、花のしゅみはない。	花	文学	春	
186	学図	1	下	かってなくま	93	くまは、「ああそうなの。じゃああありがとう。」と、オレンジの花をかかえて、木の下にすわりこみました。	くま	文学	冬	
187	学図	1	下	かってなくま	93	「ふっふっふ、みんなよろこんだな。でも、ふくろうっ	ふくろう	文学	冬	

						て、いいやつだな。」				
188	学図	1	下	じゅぎょうでつかうことば	95	「おおきなかぶ」のあらすじは、みんなで大きなかぶをひっぱってぬくというおはなしです。	かぶ	その他	冬	
189	学図	1	下	じゅぎょうでつかうことば	95	「かぶがぬけたばめんは、とてもおもしろかったよ。」	かぶ	その他	冬	
190	学図	2	上	はるですよ	6	わらびの太郎が目をさます。	わらび	文学	春	
191	学図	2	上	はるですよ	6	わらびの次郎が目をさます。	わらび	文学	春	
192	学図	2	上	はるですよ	7	はるですよ。	はる	文学	春	
193	学図	2	上	はるですよ	7	はるですよ。	はる	文学	春	
194	学図	2	上	はるですよ	7	かえるの太郎がかおあらう。	かえる	文学	春	
195	学図	2	上	はるですよ	7	かえるの次郎がかおあらう。	かえる	文学	春	
196	学図	2	上	はるですよ	7	はるですよ。	はる	文学	春	
197	学図	2	上	はるですよ	7	はるですよ。	はる	文学	春	
198	学図	2	上	たんぽぽ	8	たんぽぽがたくさんとんでいく	たんぽぽ	文学	春	
199	学図	2	上	花いっぱいになあれ	10	学校の子どもたちが、ふうせんに花のたねをつけてとばしました。	ふうせん	文学	春	
200	学図	2	上	花いっぱいになあれ	11	それから、みんなでいっせいに、「花いっぱいになあれ。わあい。」と言って、ふうせんをとばしました。	ふうせん	文学	春	
201	学図	2	上	花いっぱいになあれ	11	ふうせんは、ふわふわとんでいきました。	ふうせん	文学	春	
202	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	そのふうせんの一つが、どうまちがえたのか、町を通りぬけ、村を通りぬけ、山までとんできました。	ふうせん	文学	春	
203	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	それは、まっかなふうせんでした。	ふうせん	文学	春	
204	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	まっかなふうせんは、しずかに、ふわふわふわふわ下りました。	ふうせん	文学	春	
205	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	下りたところに、小さなきつねの子が、ひるねをしていました。	きつね	文学	冬	
206	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	下りたところに、小さなきつねの子が、ひるねをしていました。	ひるね	文学	夏	
207	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	子ぎつねのコンでした。	きつね	文学	冬	
208	学図	2	上	花いっぱいになあれ	12	子ぎつねのコンは、とってもいいゆめを見ていました。	きつね	文学	冬	

209	学図	2	上	花いっぱいになあれ	15	そうですとも、ふうせんの花ですもの。	ふうせん	文学	春	
210	学図	2	上	花いっぱいになあれ	19	ひまわりの花でした。	ひまわり	文学	夏	
211	学図	2	上	花いっぱいになあれ	19	学校の子どもたちは、赤いふうせんに、ひまわりのたねをつけてとばしたのです。	ふうせん	文学	春	
212	学図	2	上	花いっぱいになあれ	19	学校の子どもたちは、赤いふうせんに、ひまわりのたねをつけてとばしたのです。	ひまわり	文学	夏	
213	学図	2	上	花いっぱいになあれ	19	そして、秋には、びっしりたねがみのりました。	秋	文学	秋	
214	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	おなかがすいたとき、コンは、ひまわりのたねをたべました。	ひまわり	文学	夏	
215	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	こぼれたたねからは、つぎの年、また、ひまわりがめを出して、のはらじゅうに、大きな金色のひまわりの花をさかせました。	ひまわり	文学	夏	
216	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	こぼれたたねからは、つぎの年、また、ひまわりがめを出して、のはらじゅうに、大きな金色のひまわりの花をさかせました。	ひまわり	文学	夏	
217	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	もし、あなたが山に上って、ぽっかりとさいたひまわりの花を見たら、それはコンのひまわりです。	ひまわり	文学	夏	
218	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	もし、あなたが山に上って、ぽっかりとさいたひまわりの花を見たら、それはコンのひまわりです。	ひまわり	文学	夏	
219	学図	2	上	花いっぱいになあれ	20	そして、学校の子どもたちが、「花いっぱいになあれ。」と言って、ふうせんにつけてとばした花なのですよ。	ふうせん	文学	春	
220	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	23	村のはずれのたけやぶで、竹の子をほる。	竹の子	その他	夏	
221	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	23	とんぼがとまるさおの先。	とんぼ	その他	秋	
222	学図	2	上	ことばのいずみ１	25	ちょうちょう	ちょうちょう	その他	春	
223	学図	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	26	わたしは、毎週、プールに通っています。	プール	非文学	夏	
224	学図	2	上	ことばのきまり１	35	いま、むこうの空は、まっかな夕やけです。	夕やけ	その他	夏	
225	学図	2	上	友だちにつたえよう	36	遠足	遠足	その他	春	
226	学図	2	上	友だちにつたえよう	37	遠足に行く前から楽しみにしていました。	遠足	その他	春	

227	学図	2	上	友だちにつたえよう	38	きれいな花もありました。	花	非文学	春	
228	学図	2	上	友だちにつたえよう	38	わたしは、遠足に行く前からわくわくして、楽しみにしていました。	遠足	その他	春	
229	学図	2	上	友だちにつたえよう	38	はじめに、遠足に行く前の気もちを書いているね。	遠足	その他	春	
230	学図	2	上	友だちにつたえよう	38	遠足に行く前から楽しみにしていました。	遠足	その他	春	
231	学図	2	上	友だちにつたえよう	38	はじめて見た花もありました。	花	非文学	春	
232	学図	2	上	ほたるの一生	42	夏の夜、小川のほとりを、小さな光がいくつもいくつもとびかっています。	夏	非文学	夏	
233	学図	2	上	ほたるの一生	42	ほたるです。	ほたる	非文学	夏	
234	学図	2	上	ほたるの一生	42	ほたるは、なんのために光るのでしょうか。	ほたる	非文学	夏	
235	学図	2	上	ほたるの一生	42	ほたるの光は、おすとめすの間のしんごうなのです。	ほたる	非文学	夏	
236	学図	2	上	ほたるの一生	43	七月のはじめごろ、ほたるのめすは、水べのこけに小さなたまごをうみつけます。	七月	非文学	夏	
237	学図	2	上	ほたるの一生	43	七月のはじめごろ、ほたるのめすは、水べのこけに小さなたまごをうみつけます。	ほたる	非文学	夏	
238	学図	2	上	ほたるの一生	44	水の中で、幼虫は、カワニナという貝の肉を食べてそだちます。	カワニナ	非文学	春	
239	学図	2	上	ほたるの一生	45	つぎの年の四月のおわりごろ、カワニナを食べて大きくなった幼虫は、雨のふる夜に、水の中から出て、川ぎしに上がります。	四月	非文学	春	
240	学図	2	上	ほたるの一生	45	つぎの年の四月のおわりごろ、カワニナを食べて大きくなった幼虫は、雨のふる夜に、水の中から出て、川ぎしに上がります。	カワニナ	非文学	春	
241	学図	2	上	ほたるの一生	45	カワニナを食べる幼虫	カワニナ	非文学	春	
242	学図	2	上	ほたるの一生	46	土まゆを作ってからやく五週間後、ほたるの幼虫は、ようやくさなぎになります。	ほたる	非文学	夏	
243	学図	2	上	ほたるの一生	46	さなぎになってからやく二週間後、ほたるは、いよいよ成虫になります。	ほたる	非文学	夏	
244	学図	2	上	ほたるの一生	46	ほたるの光のまい	ほたる	非文学	夏	

245	学図	2	上	ほたるの一生	46	ほたるの木	ほたる	非文学	夏	
246	学図	2	上	ほたるの一生	46	日本のいろいろなほたる	ほたる	非文学	夏	
247	学図	2	上	ほたるの一生	47	夏の夜、小川のほとりは、ほたるのせかいです。	夏	非文学	夏	
248	学図	2	上	ほたるの一生	47	夏の夜、小川のほとりは、ほたるのせかいです。	ほたる	非文学	夏	
249	学図	2	上	ほたるの一生	48	ほたるがとびかうのはいつですか。	ほたる	非文学	夏	
250	学図	2	上	ほたるの一生	48	ほたるはなんのために光るのですか。	ほたる	非文学	夏	
251	学図	2	上	ほたるの一生	48	ほたるの幼虫は、どこにすんでいますか。	ほたる	非文学	夏	
252	学図	2	上	ほたるの一生	48	ほたるの幼虫は、なにを食べていますか。	ほたる	非文学	夏	
253	学図	2	上	ほたるの一生	48	ほたるの一生を、下のひょうにまとめましょう。	ほたる	非文学	夏	
254	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	49	火よう日は、遠足で天文台に行った。	遠足	その他	春	
255	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	49	たん生日は、六月十五日です。	六月	その他	夏	
256	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	49	七月と八月は夏休みだ。	七月	その他	夏	
257	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	49	七月と八月は夏休みだ。	八月	その他	夏	
258	学図	2	上	一年生で学しゅうしたかん字	49	七月と八月は夏休みだ。	夏休み	その他	夏	
259	学図	2	上	分かったことをつたえよう	50	「ほたるの一生」を読んで、ほたるが大きくなるようすが分かりましたね。	ほたる	その他	夏	
260	学図	2	上	分かったことをつたえよう	50	「ほたるの一生」を読んで、ほたるが大きくなるようすが分かりましたね。	ほたる	その他	夏	
261	学図	2	上	分かったことをつたえよう	50	こんどはみなさんが、ほたるや、ほかの生きもののことが書いてある本をさがして、友だちに分かったことをつたえましょう。	ほたる	その他	夏	
262	学図	2	上	分かったことをつたえよう	50	ほたるのしゅるい	ほたる	その他	夏	
263	学図	2	上	分かったことをつたえよう	50	ありのくらし	あり	その他	夏	
264	学図	2	上	分かったことをつたえよう	51	ほたるには、ゲンジボタルやヘイケボタルのほかにもいろいろななかまがいることが分かりました。	ほたる	その他	夏	
265	学図	2	上	ことばのいずみ２	53	十二月	十二月	その他	冬	
266	学図	2	上	ことばのいずみ３	53	新年	新年	その他	新年	
267	学図	2	上	ことばのいずみ４	53	新しい年	新しい年	その他	新年	
268	学図	2	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	54	来月、白鳥を見に行くつもりです。	白鳥	その他	冬	

269	学図	2	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	54	新聞に、ほたるまつりのことが書いてありました。	ほたる	その他	夏	
270	学図	2	上	スイミー	56	広い海のどこかに、小さな魚のきょうだいたちが、楽しくくらしていた。	海	文学	夏	1
271	学図	2	上	スイミー	56	およぐのは、だれよりもはやかった。	およぐ	文学	夏	1
272	学図	2	上	スイミー	58	ある日、おそろしいまぐろが、おなかをすかせて……つっこんできた。	まぐろ	文学	冬	1
273	学図	2	上	スイミー	58	一口で、まぐろは小さな赤い魚たちを、一ぴきのこらずのみこんだ。	まぐろ	文学	冬	1
274	学図	2	上	スイミー	59	スイミーはおよいだ、くらい海のそこを。	およいだ	文学	夏	1
275	学図	2	上	スイミー	59	スイミーはおよいだ、くらい海のそこを。	海	文学	夏	1
276	学図	2	上	スイミー	59	けれど、海には、すばらしいものがいっぱいあった。	海	文学	夏	1
277	学図	2	上	スイミー	60	にじ色のゼリーのようなくらげ。	にじ	文学	夏	1
278	学図	2	上	スイミー	60	にじ色のゼリーのようなくらげ。	くらげ	文学	夏	1
279	学図	2	上	スイミー	61	水中ブルドーザーみたいないせえび。	いせえび	文学	新年	1
280	学図	2	上	スイミー	61	ドロップみたいな岩から生えている、こんぶやわかめの林	こんぶ	文学	夏	1
281	学図	2	上	スイミー	61	ドロップみたいな岩から生えている、こんぶやわかめの林	わかめ	文学	春	1
282	学図	2	上	スイミー	62	うなぎ。	うなぎ	文学	夏	1
283	学図	2	上	スイミー	62	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎんちゃく。	もも色	文学	春	1
284	学図	2	上	スイミー	62	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎんちゃく。	やしの木	文学	夏	1
285	学図	2	上	スイミー	62	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎんちゃく。	いそぎんちゃく	文学	春	1
286	学図	2	上	スイミー	64	みんないっしょにおよぐんだ。	およぐ	文学	夏	1
287	学図	2	上	スイミー	65	みんなが、一ぴきの大きな魚みたいにおよげるようになったとき、スイミーは言った。	およげる	文学	夏	1
288	学図	2	上	スイミー	65	あさのつめたい水の中を、ひるのかがやく光の中を、み	およぎ	文学	夏	1

						んなはおよぎ、大きな魚をおい出した。				
289	学図	2	上	すきな本のポスターを作ろう	69	大のなかよしのこぐまくんとはりねずみくんのお話が、たくさんのっています。	くま	その他	冬	
290	学図	2	上	すきな本のポスターを作ろう	69	さるかに	かに	その他	夏	
291	学図	2	上	すきな本のポスターを作ろう	69	これは、こぐまくんがはりねずみくんに名前をつけてあげたあと、とてもうれしくなっているところ。	くま	その他	冬	
292	学図	2	上	風	74	ぶらんこがゆれている	ぶらんこ	文学	春	
293	学図	2	上	ことばであそぼう	76	となりのきゃくはよくかき食うきゃくだ	かき	その他	秋	
294	学図	2	上	ことばであそぼう	76	生麦生米生たまご	麦	その他	夏	
295	学図	2	上	ことばであそぼう	76	かえるぴょこぴょこ三ぴょこぴょこ	かえる	その他	春	
296	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	83	水そうの中の金魚をくらべてみようかな。	金魚	その他	夏	
297	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	83	りんごとなしは、色はちがうけど、形がにてるね。	りんご	その他	秋	
298	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	83	りんごとなしは、色はちがうけど、形がにてるね。	なし	その他	秋	
299	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	83	へちまは、きゅうりのおばけみたいだね。	へちま	その他	秋	
300	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	83	へちまは、きゅうりのおばけみたいだね。	きゅうり	その他	夏	
301	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	84	ちかさんは、レモンとみかんのちがいを書くことにしました。	レモン	その他	秋	
302	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	84	ちかさんは、レモンとみかんのちがいを書くことにしました。	みかん	その他	冬	
303	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	85	レモン	レモン	その他	秋	
304	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	85	みかん	みかん	その他	冬	
305	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	レモンとみかんのちがい	みかん	その他	冬	
306	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	わたしは、レモンとみかんをくらべてみました。	レモン	その他	秋	
307	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	わたしは、レモンとみかんをくらべてみました。	みかん	その他	冬	
308	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	レモンはきれいな黄色です。	レモン	その他	秋	
309	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	みかんは、オレンジ色で、みどり色のところもあります。	みかん	その他	冬	
310	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	レモンは丸いけど、りょうはしがとんがっています。	レモン	その他	秋	
311	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	みかんは丸い形です。	みかん	その他	冬	
312	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	レモンはすっぱいあじです。	レモン	その他	秋	

313	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	みかんはあまいあじがします。	みかん	その他	冬	
314	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	86	レモンとみかんのちがい	レモン	その他	秋	
315	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	87	レモンのかわはかたくて、でこぼこしています。	レモン	その他	秋	
316	学図	2	上	ちがいをくらべて書こう	87	みかんのかわはうすくてつるつるしています。	みかん	その他	冬	
317	学図	2	上	ことばのきまり２	88	ふうせんが、	ふうせん	その他	春	
318	学図	2	上	ことばのきまり２	89	うさぎさんが、	うさぎ	その他	冬	
319	学図	2	上	ことばのきまり２	89	きつねさん	きつね	その他	冬	
320	学図	2	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	90	風むきがかわり、いよいよ台風がやって来ました。	台風	非文学	秋	
321	学図	2	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	91	秋分の日に、どうぶつ園に行きました。	秋分	その他	秋	
322	学図	2	上	お手紙	92	がまくんはげんかんの前にすわっていました。	がま	文学	夏	1
323	学図	2	上	お手紙	92	かえるくんがやって来て言いました。	かえる	文学	春	1
324	学図	2	上	お手紙	92	どうしたんだい、がまがえるくん。	がま	文学	夏	1
325	学図	2	上	お手紙	92	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
326	学図	2	上	お手紙	92	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
327	学図	2	上	お手紙	92	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
328	学図	2	上	お手紙	93	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
329	学図	2	上	お手紙	93	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
330	学図	2	上	お手紙	93	すると、かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
331	学図	2	上	お手紙	93	ぼくもう家へかえらなくっちゃ、がまくん。	がま	文学	夏	1
332	学図	2	上	お手紙	93	かえるくんは大いそぎで家へかえりました。	かえる	文学	春	1
333	学図	2	上	お手紙	93	がまがえるくんへ	がま	文学	夏	1
334	学図	2	上	お手紙	94	かえるくんは家からとび出しました。	かえる	文学	春	1
335	学図	2	上	お手紙	94	しり合いのかたつむりくんにあいました。	かたつむり	文学	夏	1
336	学図	2	上	お手紙	94	かたつむりくん。	かたつむり	文学	夏	1
337	学図	2	上	お手紙	94	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
338	学図	2	上	お手紙	94	おねがいだけど、この手紙をがまくんの家へもっていって、ゆうびんうけに入れてきてくれないかい。	がま	文学	夏	1
339	学図	2	上	お手紙	94	かたつむりが言いました。	かたつむり	文学	夏	1

340	学図	2	上	お手紙	94	それからかえるくんはがまくんの家へもどりました。	かえる	文学	春	1
341	学図	2	上	お手紙	94	それからかえるくんはがまくんの家へもどりました。	がま	文学	夏	1
342	学図	2	上	お手紙	94	がまくんは、ベッドでお昼ねをしていました。	がま	文学	夏	1
343	学図	2	上	お手紙	94	がまくんは、ベッドでお昼ねをしていました。	昼ね	文学	夏	1
344	学図	2	上	お手紙	94	がまくん。	がま	文学	夏	1
345	学図	2	上	お手紙	94	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
346	学図	2	上	お手紙	95	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
347	学図	2	上	お手紙	95	かえるくんはまどからゆうびんうけを見ました。	かえる	文学	春	1
348	学図	2	上	お手紙	95	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
349	学図	2	上	お手紙	95	がまくん。	がま	文学	夏	1
350	学図	2	上	お手紙	95	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
351	学図	2	上	お手紙	95	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
352	学図	2	上	お手紙	95	かえるくんはまどからのぞきました。	かえる	文学	春	1
353	学図	2	上	お手紙	95	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
354	学図	2	上	お手紙	95	でもね、がまくん。	がま	文学	夏	1
355	学図	2	上	お手紙	95	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
356	学図	2	上	お手紙	96	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
357	学図	2	上	お手紙	96	かえるくんはまどからのぞきました。	かえる	文学	春	1
358	学図	2	上	お手紙	96	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
359	学図	2	上	お手紙	96	かえるくん、どうしてきみはずっとまどの外を見ているの。	かえる	文学	春	1
360	学図	2	上	お手紙	96	がまくんがたずねました。	がま	文学	夏	1
361	学図	2	上	お手紙	96	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
362	学図	2	上	お手紙	96	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
363	学図	2	上	お手紙	96	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
364	学図	2	上	お手紙	97	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
365	学図	2	上	お手紙	97	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
366	学図	2	上	お手紙	97	しんあいなるがまくん。	がま	文学	夏	1
367	学図	2	上	お手紙	97	きみのしんゆう、かえる	かえる	文学	春	1

368	学図	2	上	お手紙	97	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
369	学図	2	上	お手紙	97	四日たって、かたつむりくんががまくんの家につきました。	かたつむり	文学	夏	1
370	学図	2	上	お手紙	97	四日たって、かたつむりくんががまくんの家につきました。	がま	文学	夏	1
371	学図	2	上	お手紙	97	そしてかえるくんからの手紙をがまくんにわたしました。	かえる	文学	春	1
372	学図	2	上	お手紙	97	そしてかえるくんからの手紙をがまくんにわたしました。	がま	文学	夏	1
373	学図	2	上	お手紙	97	手紙をもらって、がまくんはとてもよろこびました。	がま	文学	夏	1
374	学図	2	上	としょしつたんけんをしよう	見開き	ほたるのことが書かれている本を読みたいな	ほたる	非文学	夏	
375	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	4	木も草もかわいて、ききょうの花も、白くなっていましたし、つぼみのまま、ひらかないでかれていました。	ききょう	文学	秋	
376	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	4	ウーフの家に、きつねも、やぎも、りすも、みんながバケツをさげて、水をもらいに来ました。	きつね	文学	冬	
377	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	5	ウーフがやぶに行くと、やぶの小えだに、かたつむりがひからびていました。	かたつむり	文学	夏	
378	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	5	「かたつむり、角を出してごらん。」	かたつむり	文学	夏	
379	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	5	ウーフは、かたつむりをつつきました。	かたつむり	文学	夏	
380	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	5	けれど、かたつむりは、歩くのもうごくのもいやになったらしく、からのおくにひっこんで、でてこようとしませんでした。	かたつむり	文学	夏	
381	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	6	原っぱに出て、川へ歩いていくと、道のはしっこに、小さなかにがいました。	かに	文学	夏	
382	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	6	「ねえ、かたつむり、きみ、水がほしいのかい。」	かたつむり	文学	夏	
383	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき	6	けれども、かたつむりは、もう、へんじをしませんでし	かたつむり	文学	夏	

				分か		た。				
384	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	6	ウーフは、かたつむりをポケットに入れました。	かたつむり	文学	夏	
385	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	6	「やあ、かに。そんなところで、何かんがえてるの。」	かに	文学	夏	
386	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	7	かには、かすれたきしきしする声でつぶやきました。	かに	文学	夏	
387	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	7	かには、もう、へんじをしませんでした。	かに	文学	夏	
388	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	7	ウーフはかにをポケットに入れて、川の方へ歩いていきました。	かに	文学	夏	
389	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	7	ねじりはちまきをしたきつねのおじさんが、両手に魚のはいったバケツをさげて、かけてきました。	きつね	文学	冬	
390	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	8	「水がないって、かたつむりや、かににやる水もないの。」	かたつむり	文学	夏	
391	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	8	「水がないって、かたつむりや、かににやる水もないの。」	かに	文学	夏	
392	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	9	「かたつむりとかにを、水のあるところにつれてきたのさ。	かたつむり	文学	夏	
393	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	9	「かたつむりとかにを、水のあるところにつれてきたのさ。	かに	文学	夏	
394	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	11	「かたつむりもかにも、もう少しまつんだよ。	かたつむり	文学	夏	
395	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	11	「かたつむりもかにも、もう少しまつんだよ。	かに	文学	夏	
396	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	11	ミミの家には、もう、バケツをさげた、やぎときつねが来てならんでいました。	きつね	文学	冬	
397	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	山にいちごがなったって、かきやくりがなったって、くま一ぴきで、ぼくらの百ぴき分食べちまうんだ。	いちご	文学	夏	

398	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	山にいちごがなったって、かきやくりがなったって、くま一ぴきで、ぼくらの百ぴき分食べちまうんだ。	かき	文学	秋	
399	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	山にいちごがなったって、かきやくりがなったって、くま一ぴきで、ぼくらの百ぴき分食べちまうんだ。	くり	文学	秋	
400	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	やぎときつねが、水をもらって帰りました。	きつね	文学	冬	
401	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	「こまるなあ。くまなんか、いつもそうなんだ。」	くま	文学	冬	
402	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	12	ウーフが子どものくまだからか、いばって言いました。	くま	文学	冬	
403	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	13	かたつむり一ぴき分と、かに一ぴき分の水だけもらうよ。	かたつむり	文学	夏	
404	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	13	かたつむり一ぴき分と、かに一ぴき分の水だけもらうよ。	かに	文学	夏	
405	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	13	ウーフは、ポケットのかたつむりとかにをバケツに入れて、水をたらっとかけてやりました。	かたつむり	文学	夏	
406	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	13	ウーフは、ポケットのかたつむりとかにをバケツに入れて、水をたらっとかけてやりました。	かに	文学	夏	
407	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	14	「ねえ、おとうさん、くまなんか食べるのものむのも、ねずみの百ぴき分だって、山のかきもくりも、くま一ぴきで百ぴき分食べちゃうって、ねずみのチチがおこるんだ。	くま	文学	冬	
408	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	14	「ねえ、おとうさん、くまなんか食べるのものむのも、ねずみの百ぴき分だって、山のかきもくりも、くま一ぴきで百ぴき分食べちゃうって、ねずみのチチがおこるんだ。	かき	文学	秋	
409	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	14	「ねえ、おとうさん、くまなんか食べるのものむのも、ねずみの百ぴき分だって、山のかきもくりも、くま一ぴきで百ぴき分食べちゃうって、ねずみのチチがおこるん	くり	文学	秋	

						だ。				
410	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	14	「ねえ、おとうさん、くまなんか食べるのものむのも、ねずみの百ぴき分だって、山のかきもくりも、くま一ぴきで百ぴき分食べちゃうって、ねずみのチチがおこるんだ。	くま	文学	冬	
411	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	14	でもね、きみ一ぴきでかたつむり百ぴき分だなんて、言わないぞ。	かたつむり	文学	夏	
412	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	15	「あ、にじだ。」	にじ	文学	夏	
413	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	15	かたつむりは角を出したり、ひっこめたりして歩き回り、かにははさみをふって、ばんざいしました。	かたつむり	文学	夏	
414	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	15	かたつむりは角を出したり、ひっこめたりして歩き回り、かにははさみをふって、ばんざいしました。	かに	文学	夏	
415	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	16	「おとうさん、にじだよ。」	にじ	文学	夏	
416	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	16	「おかあさん、にじだよ。	にじ	文学	夏	
417	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	17	「くまは百ぴき分食べるから、百ぴき分はたらけばいいんだ。	くま	文学	冬	
418	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	17	ねずみは、ねずみの一ぴき分、きつねはきつねの一ぴき分はたらくのさ。	きつね	文学	冬	
419	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	17	おとうさんはくまだから、くまの一ぴき分。	くま	文学	冬	
420	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	17	ウーフなら、くまの子一ぴき分さ。	くま	文学	冬	
421	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	17	や、にじがむこうの上までかかったよ。	にじ	文学	夏	
422	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	「ほんとに、ひさしぶりのにじね。」	にじ	文学	夏	

423	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	ぼうしをもってきたおかあさんも、まどからにじを見上げました。	にじ	文学	夏	
424	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	まっさおな空にかかったにじの色は、今までに見たどのにじよりも、くっきりとうつくしく見えました。	にじ	文学	夏	
425	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	まっさおな空にかかったにじの色は、今までに見たどのにじよりも、くっきりとうつくしく見えました。	にじ	文学	夏	
426	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	にじも、にじ一本分、いっしょうけんめいかかっているように見えました。	にじ	文学	夏	
427	学図	2	下	くま一ぴき分は　ねずみ百ぴき分か	18	にじも、にじ一本分、いっしょうけんめいかかっているように見えました。	にじ	文学	夏	
428	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	21	大きな音をたてて花火が上がる。	花火	その他	夏	
429	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	37	木からなわを下げて、ぶらんこあそびをした。	ぶらんこ	その他	春	
430	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	37	いねかりのおわった水田に、すずめがたくさんいます。	いねかり	その他	冬	
431	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	37	みずうみに白鳥がとんでくる。	白鳥	その他	冬	
432	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	37	お正月に、車で出かけた時のしゃしんができた。	お正月	その他	新年	
433	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	37	このさむさで、小川はこおってしまいました。	こおって	その他	冬	
434	学図	2	下	はっぴょう会をしよう	38	かぜをひいておいしゃさんにみてもらった後、わたしが「ありがとうございました。」と言うと、おいしゃさんは、「お大事に。」と言いました。	かぜ	非文学	冬	
435	学図	2	下	ことばのきまり１	40	子どもたちが風船をもってあそんでいます。	風船	その他	春	
436	学図	2	下	ことばのきまり１	40	みんなの風船は何色ですか。	風船	その他	春	
437	学図	2	下	ことばのきまり１	40	たかしさんの風船は、赤い風船です。	風船	その他	春	
438	学図	2	下	ことばのきまり１	40	たかしさんの風船は、赤い風船です。	風船	その他	春	
439	学図	2	下	ことばのきまり１	40	よし子さんの風船は、	風船	その他	春	
440	学図	2	下	ことばのきまり１	40	ゆりえさんの風船は、	風船	その他	春	
441	学図	2	下	ことばのきまり１	40	大きさや形にも目をむけると、どんな風船かもっとよく分かります。	風船	その他	春	
442	学図	2	下	ことばのきまり１	41	どんな風船かよく分かるように話しましょう。	風船	その他	春	
443	学図	2	下	ことばのきまり１	41	よし子さんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	

444	学図	2	下	ことばのきまり１	41	よし子さんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
445	学図	2	下	ことばのきまり１	41	ゆりえさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
446	学図	2	下	ことばのきまり１	41	ゆりえさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
447	学図	2	下	ことばのきまり１	41	あきらさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
448	学図	2	下	ことばのきまり１	41	あきらさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
449	学図	2	下	ことばのきまり１	41	たかしさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
450	学図	2	下	ことばのきまり１	41	たかしさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
451	学図	2	下	ことばのきまり１	41	まことさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
452	学図	2	下	ことばのきまり１	41	まことさんの風船は、（中略）風船です。	風船	その他	春	
453	学図	2	下	ことばのきまり１	41	つぎの、この、その、あの、は、だれの風船をさしていますか。	風船	その他	春	
454	学図	2	下	ことばのきまり１	41	「どの風船がいちばん高くあがるかな。」	風船	その他	春	
455	学図	2	下	ことばのきまり１	41	「この風船だと思うよ。	風船	その他	春	
456	学図	2	下	ことばのきまり１	41	「それは、あの風船と同じ大きさだから、同じね。」	風船	その他	春	
457	学図	2	下	ことばのきまり１	41	「その風船は細長くて小さいから、どうかな。」	風船	その他	春	
458	学図	2	下	かん字のまめ知しき	42	春	春	その他	春	
459	学図	2	下	かん字のまめ知しき	42	草がはじめて生えるきせつ、はるといういみをあらわす。	草がはじめて生えるきせつ、はる	その他	春	
460	学図	2	下	かん字のまめ知しき	42	あたたかい春	春	その他	春	
461	学図	2	下	かん字のまめ知しき	42	春分の日	春分	その他	春	
462	学図	2	下	話しことばの書き方	48	くまなんか、いつもそうなんだ。	くま	その他	冬	
463	学図	2	下	話しことばの書き方	49	「くまなんか、いつもそうなんだ。」	くま	その他	冬	
464	学図	2	下	しを書こう・ふわっ	52	くらげがふわっ。	くらげ	文学	夏	
465	学図	2	下	しを書こう・ふわっ	53	ふわふわってふとんの中にいるみたいで、大すき。	ふとん	文学	冬	
466	学図	2	下	ことばのいずみ２	54	「りんごとみかんをくださいな。」	りんご	その他	秋	
467	学図	2	下	ことばのいずみ２	54	「りんごとみかんをくださいな。」	みかん	その他	冬	
468	学図	2	下	ことばのいずみ２	54	だいこん	だいこん	その他	冬	
469	学図	2	下	ことばのいずみ２	54	なす	なす	その他	夏	
470	学図	2	下	ことばのいずみ２	54	きゅうり	きゅうり	その他	夏	

471	学図	2	下	ことばのいずみ２	55	だいこん	だいこん	その他	冬	
472	学図	2	下	ことばのいずみ２	55	きゅうり	きゅうり	その他	夏	
473	学図	2	下	かん字のまめ知しき	56	二月の半ば	二月の半ば	その他	冬	
474	学図	2	下	かん字の豆知しき	57	里の秋	秋	非文学	秋	
475	学図	2	下	うごく虫を作ろう	58	うごく虫は…おもちゃです。	虫	非文学	秋	
476	学図	2	下	うごく虫を作ろう	60	つぎに、虫の体を作ります。	虫	非文学	秋	
477	学図	2	下	うごく虫を作ろう	60	工作用モールで…虫の体につけます。	虫	非文学	秋	
478	学図	2	下	うごく虫を作ろう	61	できあがった虫を床において、後ろに引きます。	虫	非文学	秋	
479	学図	2	下	うごく虫を作ろう	61	そうすると、虫はゴトゴト前にすすみます。	虫	非文学	秋	
480	学図	2	下	うごく虫を作ろう	61	みなさんも、うごく虫を作ってみましょう。	虫	非文学	秋	
481	学図	2	下	うごく虫を作ろう	61	しあげのときにくふうをすると、いろいろな虫ができます。	虫	非文学	秋	
482	学図	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	62	ぴょんぴょんがえる	ぴょんぴょんがえる	その他	春	
483	学図	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	62	ぶんぶんごま	ぶんぶんごま	その他	新年	
484	学図	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	63	なお子さんは、「ぶんぶんごま」の作り方を、つぎのように書きはじめました。	ぶんぶんごま	その他	新年	
485	学図	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	63	ぶんぶんごまの作り方	ぶんぶんごま	その他	新年	
486	学図	2	下	おもちゃの作り方を知らせよう	63	ぶんぶんごまは、ぐるぐる回って、「ブーンブーン」と音を立てるおもちゃです。	ぶんぶんごま	その他	新年	
487	学図	2	下	ことばのきまり２	66	まめで、おに□おいはらう。	まめで、おに□おいはらう。	その他	冬	
488	学図	2	下	ことばのきまり２	67	冬になった。	冬	その他	冬	
489	学図	2	下	かさこじぞう	80	すると、ばあさまも、ほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました。	あわ	文学	秋	
490	学図	2	下	かさこじぞう	83	のきの下には、米のもち、あわのもちのたわらがおいてありました。	あわ	文学	秋	
491	学図	2	下	かさこじぞう	79	じいさまは、いろりの上にかぶさるようにして、ひえた体をあたためました。	いろり	文学	冬	

492	学図	2	下	かさこじぞう	79	さあさあ、じいさま、いろりに来て、あたってくだされ。	いろり	文学	冬	
493	学図	2	下	かさこじぞう	80	じいさまは、米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました。	いろり	文学	冬	
494	学図	2	下	かさこじぞう	74	町には、大年の市がたっていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	大年の市	文学	新年	
495	学図	2	下	かさこじぞう	72	ある年の大みそか、じいさまは、ためいきをついて言いました。	大みそか	文学	新年	
496	学図	2	下	かさこじぞう	75	おかざりのまつはいらんか。	おかざりのまつ	文学	新年	
497	学図	2	下	かさこじぞう	83	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	おかざりのまつ	文学	新年	
498	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	85	森林の上に天の川が見える。	天の川	その他	夏	
499	学図	2	下	一年生で学しゅうしたかん字	85	青年だんのさくらまつりに行く。	さくら	その他	春	
500	学図	2	下	ここまでに出たかん字の読みかえ	86	市の音楽会で、校歌と春の歌を歌います。	春	その他	春	
501	学図	2	下	ここまでに出たかん字の読みかえ	86	元日には、親るいがみんなあつまります。	元日	その他	新年	
502	学図	2	下	ここまでに出たかん字の読みかえ	87	わたしがつかっている羽毛のふとんは、かるくてあたたかです。	ふとん	その他	冬	
503	学図	2	下	頭にかきの木	90	ある日中、かきの木にもたれて、昼ねをしておったと。	かき	文学	秋	
504	学図	2	下	頭にかきの木	90	ある日中、かきの木にもたれて、昼ねをしておったと。	昼ね	文学	夏	
505	学図	2	下	頭にかきの木	90	すると、ぴっちゃんぽっこと、あんにゃの頭にかきが一つおちたって。	かき	文学	秋	
506	学図	2	下	頭にかきの木	90	頭さ手を当ててたまげたのなんの、でっこいかきの木が生えてたもんな。	かき	文学	秋	
507	学図	2	下	頭にかきの木	91	それも赤いかきがいっぺえなっておった。	かき	文学	秋	
508	学図	2	下	頭にかきの木	91	「や、やこら、えがった。そうだ、かき売りに行ご。	かき	文学	秋	
509	学図	2	下	頭にかきの木	91	あんにゃは、かき売りになってさっそく、町さ出かけた。	かき	文学	秋	
510	学図	2	下	頭にかきの木	91	「えーあまいあまいかき、うんまい頭がきはいかがかやー。」	かき	文学	秋	

511	学図	2	下	頭にかきの木	91	「えーあまいあまいかき、うんまい頭がきはいかがかやー。」	頭がき	文学	秋	
512	学図	2	下	頭にかきの木	91	町の人たち、めずらしがって頭のかきによじのぼってかきを食べると、あまくてうまいもんで、「おら三つおくれ。」「おら五つくれ。」って、たちまち売り切れてしまった。	かき	文学	秋	
513	学図	2	下	頭にかきの木	91	町の人たち、めずらしがって頭のかきによじのぼってかきを食べると、あまくてうまいもんで、「おら三つおくれ。」「おら五つくれ。」って、たちまち売り切れてしまった。	かき	文学	秋	
514	学図	2	下	頭にかきの木	91	ひとばんたつと、ふしぎなことに、ざんざらざんと、また、かきがすずろなりになったと。	かき	文学	秋	
515	学図	2	下	頭にかきの木	92	来る日も来る日も、いっぺえかきがみのって、みんな売り切れ、お金がざっくざっくともうかった。	かき	文学	秋	
516	学図	2	下	頭にかきの木	92	おもしろくないのは町のかき売りたち。	かき	文学	秋	
517	学図	2	下	頭にかきの木	92	「あのかき売りのせいじゃ。」	かき	文学	秋	
518	学図	2	下	頭にかきの木	92	そんで、あんにゃは町のかき売りたちによばれて、さけをのまされた。	かき	文学	秋	
519	学図	2	下	頭にかきの木	93	町のかき売りたちは、みんなして、あんにゃの頭のかきの木、ばっさと切りたおしてしまったと。	かき	文学	秋	
520	学図	2	下	頭にかきの木	93	町のかき売りたちは、みんなして、あんにゃの頭のかきの木、ばっさと切りたおしてしまったと。	かき	文学	秋	
521	学図	2	下	頭にかきの木	93	頭のかきの木切られ、たおされ、しおれておったものな。	かき	文学	秋	
522	学図	2	下	頭にかきの木	93	「ああこれでかき売りもおしまいか。」	かき	文学	秋	
523	学図	2	下	頭にかきの木	94	なんとなめこがびっしりととれたと。	なめこ	文学	冬	
524	学図	2	下	頭にかきの木	94	今度はなめこ売りだ。」	なめこ	文学	冬	
525	学図	2	下	頭にかきの木	94	「なめこはいかがかや。	なめこ	文学	冬	
526	学図	2	下	頭にかきの木	94	頭なめこ。」	なめこ	文学	冬	
527	学図	2	下	頭にかきの木	94	町の人たち、かごをもって頭の切りかぶによじのぼり、	なめこ	文学	冬	

						なめこがりして大よろこび。				
528	学図	2	下	頭にかきの木	95	あわてたのは、町のなめこ売りたち。	なめこ	文学	冬	
529	学図	2	下	頭にかきの木	95	「町の中でなめこがりされてたまるか。」	なめこ	文学	冬	
530	学図	2	下	頭にかきの木	95	「そうだ。なめこが生えんようにあの切りかぶぬいてしまうべ。」	なめこ	文学	冬	
531	学図	2	下	頭にかきの木	95	町のなめこ売りたち、あんにゃの頭の木のねっこば引っこぬいてしまったと。	なめこ	文学	冬	
532	学図	2	下	頭にかきの木	99	秋になると、うんまい米が、さらさらと、たんとできてな。	秋	文学	秋	
533	学図	2	下	かさこじぞう	72	「ああ、そのへんまで、お正月さんがござらっしゃるというに、もちこの用意もできんのう。」	正月	文学	新年	
534	学図	2	下	かさこじぞう	83	じいさまとばあさまは、よいお正月をむかえることができましたと。	正月	文学	新年	
535	学図	2	下	かさこじぞう	74	にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。	ごんぼ（ごぼう）	文学	冬	
536	学図	2	下	かさこじぞう	83	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	ごんぼ（ごぼう）	文学	冬	
537	学図	2	下	かさこじぞう	74	町には、大年の市がたっていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	正月	文学	新年	
538	学図	2	下	かさこじぞう	81	ちょうじゃどんのわかいしゅが正月買いもんをしのこして、今ごろ引いてきたんじゃろうか。	正月	文学	新年	
539	学図	2	下	かさこじぞう	80	すると、ま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりを引くかけ声がしてきました。	そり	文学	冬	
540	学図	2	下	かさこじぞう	81	ところが、そりを引くかけ声は、ちょうじゃどんのやしきの方には行かず、こっちに近づいてきました。	そり	文学	冬	
541	学図	2	下	かさこじぞう	82	じいさまとばあさまが、おきていって雨戸をくると、かさこをかぶったじぞうさまと、手ぬぐいをかぶったじぞうさまが、じょいやさじょいやさと、空ぞりを引いて帰っていくところでした。	そり	文学	冬	
542	学図	2	下	かさこじぞう	84	空ぞりを引いて帰っていくじぞうさまを見た時。	そり	文学	冬	

543	学図	2	下	かさこじぞう	83	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	だいこん	文学	冬	
544	学図	2	下	かさこじぞう	76	じい様は、ぬれてつめたいじぞうさまの、かたやらせなかやらをなでました。	つめたい	文学	冬	
545	学図	2	下	かさこじぞう	76	さぞつめたかろうのう。	つめたい	文学	冬	
546	学図	2	下	かさこじぞう	77	じいさまは、ぬれてつめたいぞぞうさまの、かたやらせなかやらをなでました。	つめたい	文学	冬	
547	学図	2	下	かさこじぞう	78	さぞつめたかったろうの。	つめたい	文学	冬	
548	学図	2	下	かさこじぞう	79	じぞうさまも、この雪じゃ、さぞつめたかろうもん。	つめたい	文学	冬	
549	学図	2	下	かさこじぞう	76	はなからつららを下げてござらっしゃる。」	つらら	文学	冬	
550	学図	2	下	かさこじぞう	75	「年こしの日に、かさこなんか買うもんはおらんじゃろ。	年こし	文学	冬	
551	学図	2	下	かさこじぞう	79	「やれやれ、とうとうもちこなしの年こしだ。	年こし	文学	冬	
552	学図	2	下	かさこじぞう	73	すると、夏の間にかりとっておいたすげが、つんでありました。	夏	文学	夏	
553	学図	2	下	かさこじぞう	73	にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。	にんじん	文学	冬	
554	学図	2	下	かさこじぞう	81	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	にんじん	文学	冬	
555	学図	2	下	かさこじぞう	75	風が出てきて、ひどいふぶきになりました。	ふぶき	文学	冬	
556	学図	2	下	かさこじぞう	73	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというのに、もちこのよういもできんのう」	もち	文学	新年	
557	学図	2	下	かさこじぞう	74	かさが五つできると、じいさまはそれをしょって、「かえりには、もちこ買ってくるで」	もち	文学	新年	
558	学図	2	下	かさこじぞう	74	「じいさま、かさここさえて、町さ売りに行ったら、もちこかえんかのう」	もち	文学	新年	
559	学図	2	下	かさこじぞう	75	「ああ、もちこももたんでかえれば、ばあさまはがっかりするじゃろうのう」	もち	文学	新年	
560	学図	2	下	かさこじぞう	76	米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました	もち	文学	新年	

561	学図	2	下	かさこじぞう	76	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ」	もち	文学	新年	
562	学図	2	下	かさこじぞう	80	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました	もち	文学	新年	
563	学図	2	下	かさこじぞう	81	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました	もち	文学	新年	
564	学図	2	下	かさこじぞう	86	そんならひとつもちつきのまねごとでもしようかのう。	もちつき	文学	冬	
565	学図	2	下	かさこじぞう	76	じいさまは、じぞうさまのおつむの雪をかきおとしました。	雪	文学	冬	
566	学図	2	下	かさこじぞう	76	おどうはなし、木のかげもなし、ふきっさらしの野っ原なもんで、じぞうさまは、かたがわだけ雪にうもれているのでした。	雪	文学	冬	
567	学図	2	下	かさこじぞう	78	じいさまは、とちゅうまで来るとじぞうさまが雪にうもれた話をして、「それで、おら、かさこかぶせてきた。	雪	文学	冬	
568	学図	2	下	かさこじぞう	79	じぞうさまも、この雪じゃ、さぞつめたかろうもん。	雪	文学	冬	
569	学図	2	下	かさこじぞう	80	すると、ま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりを引くかけ声がしてきました。	雪	文学	冬	
570	学図	3	上	くまさん	6	はるがきて	はる	文学	春	
571	学図	3	上	くまさん	6	くまさんぼんやりかんがえた	くま	文学	冬	
572	学図	3	上	くまさん	6	さいているのはたんぽぽだが	たんぽぽ	文学	春	
573	学図	3	上	くまさん	7	はるがきて	はる	文学	春	
574	学図	3	上	くまさん	7	くまさんぼんやりかわにきた	くま	文学	冬	
575	学図	3	上	くまさん	7	そうだぼくはくまだった	くま	文学	冬	
576	学図	3	上	かえるのぴょん	8	かえるのぴょん	かえる	文学	春	
577	学図	3	上	かえるのぴょん	8	かえるのぴょん	かえる	文学	春	
578	学図	3	上	かえるのぴょん	9	かえるのぴょん	かえる	文学	春	
579	学図	3	上	かえるのぴょん	9	かえるのぴょん	かえる	文学	春	
580	学図	3	上	つり橋わたれ	13	ただ、遠くの方で、かっこうの鳴くのが聞こえました。	かっこう	文学	夏	
581	学図	3	上	つり橋わたれ	13	花をつんだり、ちょうちょうをおいかけたり、小鳥のすをのぞいたり。	小鳥	文学	春	

582	学図	3	上	つり橋わたれ	14	それがだんだん…木の葉をトッコにふきつけました。	木の葉	文学	冬	
583	学図	3	上	つり橋わたれ	13	花をつんだり、ちょうちょうをおいかけたり、小鳥のすをのぞいたり。	ちょうちょう	文学	春	
584	学図	3	上	つり橋わたれ	13	花をつんだり、ちょうちょうをおいかけたり、小鳥のすをのぞいたり。	花	文学	春	
585	学図	3	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	18	新緑にいろどられた山。	新緑	非文学	夏	
586	学図	3	上	二年生で学しゅうしたかん字	21	夏の空にうかぶ入道雲	夏	その他	夏	
587	学図	3	上	二年生で学しゅうしたかん字	21	夏の空にうかぶ入道雲	入道雲	その他	夏	
588	学図	3	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	24	新緑にいろどられた山	新緑	その他	夏	
589	学図	3	上	手紙を書く	32	この前の火曜日、学年の遠足で、高尾山に行きました。	遠足	その他	春	
590	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	36	雅隆さんは、家のゆうびん受けにすを作ったしじゅうからのことをみんなに知らせようと思い、まず、書きたいことを三つあげました。	しじゅうから	その他	夏	
591	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	36	ゆうびん受けのしじゅうから	しじゅうから	その他	夏	
592	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	36	しじゅうからの様子	しじゅうから	その他	夏	
593	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	37	つぎに、「しじゅうからの様子」と「ぼくの思い」を中心にして、どんな組み立てにするかを考えながら、カードに整理しました。	しじゅうから	その他	夏	
594	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	37	しじゅうからの様子	しじゅうから	その他	夏	
595	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	37	しじゅうからがいない。	しじゅうから	その他	夏	
596	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	37	四月のおわりごろ、いなくなってとても心配だったよ。	しじゅうから	その他	夏	
597	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	38	しじゅうからという鳥です。	しじゅうから	その他	夏	

598	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	38	ぼくがゆうびん受けを開けると、手紙が入っていて、しじゅうからがいませんでした。	しじゅうから	その他	夏	
599	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	38	しじゅうからの様子	しじゅうから	その他	夏	
600	学図	3	上	知らせたいことを整理して書こう	38	しじゅうからがいない。	しじゅうから	その他	夏	
601	学図	3	上	ここまでに出たかん字の読みかえ	40	七夕でかざる短ざくを作りました。	七夕	その他	秋	
602	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	夏から秋にかけて、あちらこちらの水辺でたくさんのとんぼを見かけます。	夏	非文学	夏	
603	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	夏から秋にかけて、あちらこちらの水辺でたくさんのとんぼを見かけます。	秋	非文学	秋	
604	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	夏から秋にかけて、あちらこちらの水辺でたくさんのとんぼを見かけます。	とんぼ	非文学	秋	
605	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	わたしたちにとって、とんぼはとても身近なこん虫です。	とんぼ	非文学	秋	
606	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	ところで、そのとんぼたちが、いろいろなひみつをもっているのを知っていますか。	とんぼ	非文学	秋	
607	学図	3	上	とんぼのひみつ	42	日本には、およそ二百しゅるい、世界には、なんとやく五千しゅるいものとんぼが生きています。	とんぼ	非文学	秋	
608	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	とんぼのそ先が生まれたのは、やく三億年前です。	とんぼ	非文学	秋	
609	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	日本には、ムカシトンボというめずらしいとんぼがいます。	とんぼ	非文学	秋	
610	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	このとんぼは、「生きた化石」とよばれています。	とんぼ	非文学	秋	
611	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	一億五千年ほど前に生きていたとんぼによくにているからです。	とんぼ	非文学	秋	
612	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	このように、身近なとんぼにも意外と知られていないことがあります。	とんぼ	非文学	秋	
613	学図	3	上	とんぼのひみつ	43	同じ地球にすむなか間としては、人間よりもずっと先ぱ	とんぼ	非文学	秋	

						いのとんぼには、まだまだわたしたちの知らないたくさんのひみつがかくされているかもしれません。				
614	学図	3	上	ミラクルミルク	44	犬・ねこ・牛・馬・くじらなど、たくさんいます。	くじら	非文学	冬	
615	学図	3	上	ミラクルミルク	46	この地方では、暑いときには…にもなります。	暑い	非文学	夏	
616	学図	3	上	ミラクルミルク	47	暑いさばくをぬけ…出てきました。	暑い	非文学	夏	
617	学図	3	上	二年生で学しゅうしたかん字	51	雪どけ水が谷川にながれる。	雪	その他	冬	
618	学図	3	上	二年生で学しゅうしたかん字	51	市場で、米と麦を買う。	麦	その他	夏	
619	学図	3	上	調べたことをカードにしよう	52	なっとうのでき方	なっとう	その他	冬	
620	学図	3	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	58	きつねとたぬきの化かし合い。	きつね	その他	冬	
621	学図	3	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	58	きつねとたぬきの化かし合い。	たぬき	その他	冬	
622	学図	3	上	海の光	63	畑に出ると、おじいちゃんは小さなトマトを何度も指でなでていた。	トマト	文学	夏	
623	学図	3	上	海の光	64	夜光虫だ。	夜光虫	文学	夏	
624	学図	3	上	海の光	68	ぼくとおじいちゃんで、さつまいものなえをつぎつぎと植えた。	さつまいものなえ	文学	夏	
625	学図	3	上	海の光	68	さて、来年は、すいかにでもちょうせんしてみるかな。	すいか	文学	秋	
626	学図	3	上	海の光	68	トマトはたおれそうになりながら…実をのこしていた。	トマト	文学	夏	
627	学図	3	上	海の光	69	トマトの根っこに、ぼくたちはそっと土をもった。	トマト	文学	夏	
628	学図	3	上	海の光	70	トマトの根っことおんあじだ。	トマト	文学	夏	
629	学図	3	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	76	花だんにチューリップの球根を植えました。	チューリップ	その他	春	
630	学図	3	上	星とたんぽぽ	81	ちってすがれたたんぽぽの、	たんぽぽ	文学	春	
631	学図	3	上	星とたんぽぽ	81	春のくるまでかくれてる、	春	文学	春	
632	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	90	あじを開く	あじ	その他	夏	
633	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	90	おいしいひものを作るために手ばやくあじを開いているところを見て、とてもびっくりしました。	あじ	その他	夏	
634	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	91	冬のさむい日は、水がつめたくて大へん。	冬	その他	冬	
635	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよ	91	冬のさむい日は、水がつめたくて大へん。	さむい	その他	冬	

				う						
636	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	91	冬のさむい日は、水がつめたくて大へん。	つめたい	その他	冬	
637	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	92	とどいたあじはれいとうこにほぞんしておきます。	あじ	その他	夏	
638	学図	3	上	見てきたことを新聞にまとめよう	92	おいしいひものを作るために手ばやくあじを開いているところを見て、とてもびっくりしました。	あじ	その他	夏	
639	学図	3	上	漢字のまめ知しき	96	炭をやく	炭	その他	冬	
640	学図	3	上	モチモチの木	99	秋になると、茶色いぴかぴか光った実をいっぱいふり落としてくれる。	秋	文学	秋	
641	学図	3	上	モチモチの木	102	頭の上で、くまのうなり声が聞こえたからだ。	くま	文学	冬	
642	学図	3	上	モチモチの木	100	おく山じゃぁ、しかやくまめらが、はなぢょうちん出して、ねっこけてやがるべ、それ、シーッ。	くま	文学	冬	
643	学図	3	上	モチモチの木	99	けれど豆太のおとうだって、くまと組みうちして、頭をぶっかされてしんだほどのきもすけだったし、じさまだって六十四の今、まだ青じしをおっかけて、きもをひやすような岩から岩へのとびうつりだって、見事にやってのける。	くま	文学	冬	
644	学図	3	上	モチモチの木	103	まくらの元で、くまみたいに体を丸めてうなっていたのは、じさまだった。	くま	文学	冬	
645	学図	3	上	モチモチの木	104	いたくて、さむくて、こわかったからなぁ。	さむくて	文学	冬	
646	学図	3	上	モチモチの木	100	おく山じゃぁ、しかやくまめらが、はなぢょうちん出して、ねっこけてやがるべ、それ、シーッ。	しか	文学	秋	
647	学図	3	上	モチモチの木	104	しもが足にかみついた。	霜	文学	冬	
648	学図	3	上	モチモチの木	104	とうげの下りの坂道は、一面のまっ白いしもで、雪みたいだった。	霜	文学	冬	
649	学図	3	上	モチモチの木	101	しも月二十日のうしみつにゃぁ、モチモチの木に灯がともる。	霜月	文学	冬	
650	学図	3	上	じゅぎょうでつかう言葉	109	「とんぼのひみつ」は、つぎのようにつながって組み立	とんぼ	その他	秋	

						てられています。				
651	学図	3	上	じゅぎょうでつかう言葉	109	とんぼは身近なこん虫	とんぼ	その他	秋	
652	学図	3	上	じゅぎょうでつかう言葉	109	とんぼのひみつ	とんぼ	その他	秋	
653	学図	3	上	話し方・聞き方・まとめ方	111	松・竹・梅	梅	その他	春	
654	学図	3	上	つり橋わたれ	10	ふじづるでできた橋の下には、谷川がゴーゴーとしぶきを上げてながれています。	ふじ	文学	春	
655	学図	3	上	つり橋わたれ	11	おまけに、今にもふじづるが切れそうなほど、ギュッ、ギュッと、きしむのです。	ふじ	文学	春	
656	学図	3	上	つり橋わたれ	17	しらかばのこずえが、さやさや鳴り、ほおの木の広い葉を通してくれる日の光が、トッコの顔を緑色にそめました。	ほお	文学	夏	
657	学図	3	上	つり橋わたれ	13	かさなり合った緑の山に向かって、…よびました。	緑	文学	夏	
658	学図	3	上	つり橋わたれ	18	そばの山つつじの後ろから、サブがひょっこり顔を出しました。	山つつじ	文学	春	
659	学図	3	上	モチモチの木	101	しも月二十日のばん	霜月	文学	冬	
660	学図	3	上	モチモチの木	105	外はすごい星で、月も出ていた。	月	文学	秋	
661	学図	3	上	モチモチの木	107	だども、あれは、とちの木の後ろにちょうど月が出てきて、えだの間に星が光ってるんだ。	月	文学	秋	
662	学図	3	上	モチモチの木	106	とちゅうで、月が出てるのに、雪がふり始めた。	月	文学	秋	
663	学図	3	上	モチモチの木	107	だども、あれは、とちの木の後ろにちょうど月が出てきて、えだの間に星が光ってるんだ。	とちの木	文学	冬	
664	学図	3	上	モチモチの木	105	豆太は、そいつをねんねこの中から見た。	ねんねこ	文学	冬	
665	学図	3	上	モチモチの木	104	「おうおう……。」と言って、ねんねこばんてんにくすりばこと豆太をおぶうと、ま夜中のとうげ道を、えっちら、おっちら、じさまの小屋へ上がってきた。	ねんねこばんてん	文学	冬	
666	学図	3	上	モチモチの木	102	豆太は、はじめっからあきらめて、ふとんにもぐりこむと、じさまのたばこくさいむねん中にはなをおしつけて、よいの口からねてしまった。	ふとん	文学	冬	
667	学図	3	上	モチモチの木	102	だって、じさまも、おとうも見たんなら、自分も見たか	冬	文学	冬	

						ったけど、こんな冬のま夜中に、モチモチの木を、それもたった一人で見に出るなんて、とんでもねえ話だ。				
668	学図	3	上	モチモチの木	105	この冬はじめての雪だ。	雪	文学	冬	
669	学図	3	上	モチモチの木	105	そこに雪がふってるから、明かりがついたように見えるんだべ。	雪	文学	冬	
670	学図	3	上	モチモチの木	104	とうげの下りの坂道は、一面のまっ白いしもで、雪みたいだった。	雪	文学	冬	
671	学図	3	上	モチモチの木	105	とちゅうで、月が出てるのに雪がふりはじめた。	雪	文学	冬	
672	学図	3	上	モチモチの木	100	こなにしたやつをもちにこねあげて、ふかして食べると、ほっぺたが落っこちるほどうまいんだ。	もち	文学	新年	
673	学図	3	上	モチモチの木	108	おまえは、山の神様の祭りを見たんだ。	山の神様の祭り	文学	冬	
674	学図	3	上	モチモチの木	102	山の神様のお祭りなんだ。	山の神様の祭り	文学	冬	
675	学図	3	下	ななくさ	1	なずな	なずな	文学	新年	
676	学図	3	下	ななくさ	1	おみなえし	おみなえし	文学	秋	
677	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	4	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	へび	文学	夏	
678	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	4	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	かえる	文学	春	
679	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	4	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	文学	冬	
680	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	6	おにの子は、そのあたりの野山を歩いて、地面に落ちているほおの木の大きな葉っぱを拾っては、わにの所に運び、体のまわりにつみ上げていきました。	ほおの木	文学	夏	
681	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	6	朝だったのが昼になり、やがて夕方近くになって、わにの体は、半分ほど、ほおの木の葉っぱでうまりました。	ほおの木	文学	夏	
682	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	12	口で言えないほど美しい夕やけが、いっぱいに広がっていたのです。	夕やけ	文学	夏	
683	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	12	ここは、世界じゅうでいちばんすてきな夕やけが見られる場所なんだーと思いました。	夕やけ	文学	夏	
684	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	13	おにの子は、いつまでも、夕やけを見ていました。	夕やけ	文学	夏	

685	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	14	わにの体のまわりに、ほおの葉をつみ上げていった時。	ほおの葉	文学	夏	
686	学図	3	下	わにのおじいさんのたから物	14	あなたは、夕やけを見ているおにの子に何と言ってあげたいですか。	夕やけ	文学	夏	
687	学図	3	下	二年で学しゅうした漢字	15	春と秋ではどちらがすきですか。	春	その他	春	
688	学図	3	下	二年で学しゅうした漢字	15	春と秋ではどちらがすきですか。	秋	その他	秋	
689	学図	3	下	二年で学しゅうした漢字	15	冬の北風はつめたい。	冬	その他	冬	
690	学図	3	下	二年で学しゅうした漢字	15	冬の北風はつめたい。	つめたい	その他	冬	
691	学図	3	下	あの子をさがして！	18	今日はお祭りです。	祭り	その他	夏	
692	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	20	毛虫がいた。	毛虫	その他	夏	
693	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	20	むかでややすでもいた。	むかで	その他	夏	
694	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	20	むかでややすでもいた。	やすで	その他	夏	
695	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	21	そこで、今年の夏休みに、思い切ってちょう上まで行ってみることにした。	夏休み	その他	夏	
696	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	21	目がだんだんなれてきて、いちばん先に見えたのは毛虫だった。	毛虫	その他	夏	
697	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	21	足のあたりでは、むかでややすでがもぞもぞと動いて、落ち葉のすき間に入っていく。	むかで	その他	夏	
698	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	21	足のあたりでは、むかでややすでがもぞもぞと動いて、落ち葉のすき間に入っていく。	やすで	その他	夏	
699	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	21	足のあたりでは、むかでややすでがもぞもぞと動いて、落ち葉のすき間に入っていく。	落ち葉	その他	冬	
700	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	22	山に行っていろいろな木を見たり、かぶと虫やくわがたをとったり、どんぐりやあけびをとったりする。	かぶと虫	その他	夏	
701	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	22	山に行っていろいろな木を見たり、かぶと虫やくわがたをとったり、どんぐりやあけびをとったりする。	くわがた	その他	夏	
702	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こ	22	山に行っていろいろな木を見たり、かぶと虫やくわがた	どんぐり	その他	秋	

				う		をとったり、どんぐりやあけびをとったりする。				
703	学図	3	下	まとまりをはっきりさせて書こう	22	山に行っていろいろな木を見たり、かぶと虫やくわがたをとったり、どんぐりやあけびをとったりする。	あけび	その他	秋	
704	学図	3	下	ここまでに出たかん字の読みかえ	24	強い寒波がやって来るので、今夜からとても寒くなりそうだ。	寒波	その他	冬	
705	学図	3	下	ここまでに出たかん字の読みかえ	24	強い寒波がやって来るので、今夜からとても寒くなりそうだ。	寒く	その他	冬	
706	学図	3	下	年の始まり	26	秋も深まり、年のくれが近づくと、新しい年をむかえるじゅんびが始まります。	秋	非文学	秋	
707	学図	3	下	年の始まり	26	秋も深まり、年のくれが近づくと、新しい年をむかえるじゅんびが始まります。	年のくれ	非文学	冬	
708	学図	3	下	年の始まり	26	秋も深まり、年のくれが近づくと、新しい年をむかえるじゅんびが始まります。	新しい年	非文学	新年	
709	学図	3	下	年の始まり	26	正月には一年の始まりをいわう行事があります。	正月	非文学	新年	
710	学図	3	下	年の始まり	26	正月には一年の始まりをいわう行事があります。	一年の始まり	非文学	新年	
711	学図	3	下	年の始まり	26	昔から、正月には年神様が町や村の家々にやってくるとしんじられてきました。	正月	非文学	新年	
712	学図	3	下	年の始まり	26	そして、正月の行事は、年の始まりに当たって年神様をむかえ、一年の安全と幸福をいのるために行われているのです。	正月	非文学	新年	
713	学図	3	下	年の始まり	26	そして、正月の行事は、年の始まりに当たって年神様をむかえ、一年の安全と幸福をいのるために行われているのです。	年の始まり	非文学	新年	
714	学図	3	下	年の始まり	26	そして、正月の行事は、年の始まりに当たって年神様をむかえ、一年の安全と幸福をいのるために行われているのです。	年神様	非文学	新年	
715	学図	3	下	年の始まり	27	今は、一月一日から七日まで、つまり門松を立ててある期間を「松の内」とよんで、正月と考えています。	一月一日	非文学	新年	
716	学図	3	下	年の始まり	27	今は、一月一日から七日まで、つまり門松を立ててある	門松	非文学	新年	

						期間を「松の内」とよんで、正月と考えています。				
717	学図	3	下	年の始まり	27	今は、一月一日から七日まで、つまり門松を立ててある期間を「松の内」とよんで、正月と考えています。	松の内	非文学	新年	
718	学図	3	下	年の始まり	27	今は、一月一日から七日まで、つまり門松を立ててある期間を「松の内」とよんで、正月と考えています。	正月	非文学	新年	
719	学図	3	下	年の始まり	27	これを、ふつう、「小正月」といいます。	小正月	非文学	新年	
720	学図	3	下	年の始まり	27	これは、昔の人が、一月一日からおよそ一か月の長い期間を、正月と考えていたなごりです。	一月一日	非文学	新年	
721	学図	3	下	年の始まり	27	これは、昔の人が、一月一日からおよそ一か月の長い期間を、正月と考えていたなごりです。	正月	非文学	新年	
722	学図	3	下	年の始まり	28	また、二月四日か五日の「立春」の前の日に、節分の行事をして、悪やけがれをはらうのは、立春を年の始まりと考えていたことのなごりです。	立春	非文学	春	
723	学図	3	下	年の始まり	28	また、二月四日か五日の「立春」の前の日に、節分の行事をして、悪やけがれをはらうのは、立春を年の始まりと考えていたことのなごりです。	節分	非文学	冬	
724	学図	3	下	年の始まり	28	また、二月四日か五日の「立春」の前の日に、節分の行事をして、悪やけがれをはらうのは、立春を年の始まりと考えていたことのなごりです。	立春	非文学	春	
725	学図	3	下	年の始まり	28	また、二月四日か五日の「立春」の前の日に、節分の行事をして、悪やけがれをはらうのは、立春を年の始まりと考えていたことのなごりです。	年の始まり	非文学	新年	
726	学図	3	下	年の始まり	28	年の始まりの行事には、さまざまなものがあります。	年の始まり	非文学	新年	
727	学図	3	下	年の始まり	28	元日の朝早く、井戸やいずみからくむ水を「わか水」といいます。	元日	非文学	新年	
728	学図	3	下	年の始まり	28	元日の朝早く、井戸やいずみからくむ水を「わか水」といいます。	わか水	非文学	新年	
729	学図	3	下	年の始まり	28	わか水には、人の命を新しくする力があるとしんじられていて、それでぞうにをにたり、お茶をたてたりします。	わか水	非文学	新年	

730	学図	3	下	年の始まり	28	わか水には、人の命を新しくする力があるとしんじられていて、それでぞうにをにたり、お茶をたてたりします。	ぞうに	非文学	新年	
731	学図	3	下	年の始まり	28	沖縄県のある土地では、元日にわか水をくんでひたいにつける行事をします。	元日	非文学	新年	
732	学図	3	下	年の始まり	28	沖縄県のある土地では、元日にわか水をくんでひたいにつける行事をします。	わか水	非文学	新年	
733	学図	3	下	年の始まり	28	子どもたちがわか水を持って、「わか水をさしあげましょう。」と、家々を回ります。	わか水	非文学	新年	
734	学図	3	下	年の始まり	28	命の水であるわか水をひたいにつけて、その人の命を新しくするという考えがあるのです。	わか水	非文学	新年	
735	学図	3	下	年の始まり	29	正月には、多くの土地で火祭りが行われます。	正月	非文学	新年	
736	学図	3	下	年の始まり	29	よび方は「どんどやき」「さぎちょう」「さいの神」など、土地によってさまざまです。	どんどやき	非文学	新年	
737	学図	3	下	年の始まり	29	よび方は「どんどやき」「さぎちょう」「さいの神」など、土地によってさまざまです。	さぎちょう	非文学	新年	
738	学図	3	下	年の始まり	29	よび方は「どんどやき」「さぎちょう」「さいの神」など、土地によってさまざまです。	さいの神	非文学	新年	
739	学図	3	下	年の始まり	29	また、行う日も多少のちがいがありますが、ほぼ小正月の間に行う所が多いようです。	小正月	非文学	新年	
740	学図	3	下	年の始まり	29	静岡県のある土地では、「さいとやき」といいます。	さいとやき	非文学	新年	
741	学図	3	下	年の始まり	29	一月十四日の夕方、子どもたちが家々を回って、正月にかざったしめかざりを集め、村外れでもやします。	正月	非文学	新年	
742	学図	3	下	年の始まり	29	一月十四日の夕方、子どもたちが家々を回って、正月にかざったしめかざりを集め、村外れでもやします。	しめかざり	非文学	新年	
743	学図	3	下	年の始まり	30	この時、書きぞめが高くまい上がると習字が上手になるとか、この火でだんごをやいて食べるとかぜをひかないとかいいます。	書きぞめ	非文学	新年	
744	学図	3	下	年の始まり	30	小正月にはまた、子どもたちが家々を回って歩く行事もあります。	小正月	非文学	新年	

745	学図	3	下	年の始まり	30	静岡県のある土地では、一月十五日の朝早く、子どもたちが「成り申そう」という歌を歌いながら、かきやくりなどの実のなる木をたたき、終わると木にあずきがゆをぬって歩き回る行事があります。	あずきがゆ	非文学	新年	
746	学図	3	下	年の始まり	30	静岡県のある土地では、一月十五日の朝早く、子どもたちが「成り申そう」という歌を歌いながら、かきやくりなどの実のなる木をたたき、終わると木にあずきがゆをぬって歩き回る行事があります。	かき	非文学	秋	
747	学図	3	下	年の始まり	30	静岡県のある土地では、一月十五日の朝早く、子どもたちが「成り申そう」という歌を歌いながら、かきやくりなどの実のなる木をたたき、終わると木にあずきがゆをぬって歩き回る行事があります。	くり	非文学	秋	
748	学図	3	下	年の始まり	32	立春を始まりとする考え方からいえば、立春の前日である「節分」は、今のおおみそかに当たるわけです。	立春	非文学	春	
749	学図	3	下	年の始まり	32	立春を始まりとする考え方からいえば、立春の前日である「節分」は、今のおおみそかに当たるわけです。	立春	非文学	春	
750	学図	3	下	年の始まり	32	立春を始まりとする考え方からいえば、立春の前日である「節分」は、今のおおみそかに当たるわけです。	節分	非文学	冬	
751	学図	3	下	年の始まり	32	立春を始まりとする考え方からいえば、立春の前日である「節分」は、今のおおみそかに当たるわけです。	おおみそか	非文学	新年	
752	学図	3	下	年の始まり	33	節分の夜には、「福は内、おには外。」ととなえながら、豆をまきます。	節分	非文学	冬	
753	学図	3	下	年の始まり	33	節分の夜には、「福は内、おには外。」ととなえながら、豆をまきます。	豆をまきます	非文学	冬	
754	学図	3	下	年の始まり	33	お寺でも、「おにやらい」「ついな」という豆まきの行事をします。	おにやらい	非文学	冬	
755	学図	3	下	年の始まり	33	お寺でも、「おにやらい」「ついな」という豆まきの行事をします。	ついな	非文学	冬	
756	学図	3	下	年の始まり	33	お寺でも、「おにやらい」「ついな」という豆まきの行	豆まき	非文学	冬	

						事をします。				
757	学図	3	下	年の始まり	33	いろいろな悪いものを、おにに見立てて追いはらい、新しい年、新しい春をむかえる用意をするのです。	新しい年	非文学	新年	
758	学図	3	下	年の始まり	33	いろいろな悪いものを、おにに見立てて追いはらい、新しい年、新しい春をむかえる用意をするのです。	春	非文学	春	
759	学図	3	下	年の始まり	33	節分がすむと、立春です。	節分	非文学	冬	
760	学図	3	下	年の始まり	33	節分がすむと、立春です。	立春	非文学	春	
761	学図	3	下	年の始まり	33	立春をむかえて、農家では、田畑の作業が始まります。	立春	非文学	春	
762	学図	3	下	年の始まり	33	年の始まりの行事には、子どもの活やくするものがたくさんあります。	年の始まり	非文学	新年	
763	学図	3	下	年の始まり	33	そして、子どもたちが、新しい年をむかえる行事の主役にふさわしいと考えられてきたからです。	新しい年	非文学	新年	
764	学図	3	下	二年生で学習した漢字	35	来週は遠足です。	遠足	その他	春	
765	学図	3	下	二年生で学習した漢字	35	二羽の白鳥がとんでいる。	白鳥	その他	冬	
766	学図	3	下	二年生で学習した漢字	35	夏は海水よくに行く。	夏	その他	夏	
767	学図	3	下	二年生で学習した漢字	35	夏は海水よくに行く。	海水よく	その他	夏	
768	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	市川さんのクラスでは、「年の始まり」を学習した後、昔からつたわっている新年をむかえる行事などを調べて、しょうかいし合うことになりました。	年の始まり	その他	新年	
769	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	市川さんは、「どんどやき」について調べて、下のようなメモを書きました。	どんどやき	その他	新年	
770	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	どんどやき	どんどやき	その他	新年	
771	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	長い三本の竹を組んで立て、そこに、わら、お正月のまつかざり、そのほかのお正月のかざりなどをつみ上げてやく。	お正月	その他	新年	
772	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	長い三本の竹を組んで立て、そこに、わら、お正月のまつかざり、そのほかのお正月のかざりなどをつみ上げてやく。	まつかざり	その他	新年	

773	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	36	長い三本の竹を組んで立て、そこに、わら、お正月のまつかざり、そのほかのお正月のかざりなどをつみ上げてやく。	お正月	その他	新年	
774	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	37	これから、昔からつたわっている新年をむかえる行事などについて、調べたことを発表してもらいます。	新年をむかえる行事	その他	新年	
775	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	37	わたしは、毎年さんかしているこの地の「どんどやき」について発表します。	どんどやき	その他	新年	
776	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	37	どんどやきは、。。	どんどやき	その他	新年	
777	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	37	ぼくも「どんどやき」が。。とは知りませんでした。	どんどやき	その他	新年	
778	学図	3	下	クラスのみんなにしょうかいしよう	37	書きぞめは自分たちで火に入れるのですか。	書きぞめ	その他	新年	
779	学図	3	下	言葉のきまり１	39	ここは、世界じゅうでいちばんすてきな夕やけが見られる場所なんだーと思いました。	夕やけ	その他	夏	
780	学図	3	下	漢字の豆知識	40	去年の夏	夏	その他	夏	
781	学図	3	下	詩のみりょくをつたえよう	42	つなひきわっしょいと	つなひき	その他	新年	
782	学図	3	下	二年生で学習した漢字	65	年が明けたら元日です。	元日	その他	新年	
783	学図	3	下	二年生で学習した漢字	65	遠足中止のお知らせを用紙に書く。	遠足	その他	春	
784	学図	3	下	言葉のきまり２	71	この毛皮は高い。	毛皮	その他	冬	
785	学図	3	下	百羽のつる	76	つめたい月の光でこうこうと明るい、夜ふけの広い空でした。	つめたい	文学	冬	
786	学図	3	下	百羽のつる	76	つめたい月の光でこうこうと明るい、夜ふけの広い空でした。	月	文学	秋	
787	学図	3	下	百羽のつる	77	なにせ、北のはてのさびしい氷の国から、昼も夜も休みなしに、とびつづけてきたのです。	氷	文学	冬	
788	学図	3	下	百羽のつる	77	雪のかむった高いみねだけが、月の光をはね返して、はがねのように光っていました。	雪	文学	冬	
789	学図	3	下	百羽のつる	78	百羽のつるは、目をきろきろと光らせながら、つかれた	つめたい	文学	冬	

						羽に力をこめて、しびれるほどつめたい夜の空気をたたきました。				
790	学図	3	下	百羽のつる	78	雪をかむった高いみねだけが、月の光をはね返して、はがねのように光っていました。	月	文学	秋	
791	学図	3	下	百羽のつる	80	子どものつるよりも、もっと速く、月の光をつらぬいてとぶ銀色の矢のように速く落ちました。	月	文学	秋	
792	学図	3	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	84	この冬は氷点下の気温の日が多かったです。	冬	その他	冬	
793	学図	3	下	ゆめみるいなご	88	ぼくはいつもゆめみるいなご	いなご	文学	秋	
794	学図	3	下	ゆめみるいなご	88	たびにでたいとゆめみるいなご	いなご	文学	秋	
795	学図	3	下	ゆめみるいなご	89	ぼくはいつもゆめみるいなご	いなご	文学	秋	
796	学図	3	下	ゆめみるいなご	89	たびにでたいとゆめみるいなご	いなご	文学	秋	
797	学図	3	下	きゅうしょく	91	こむぎをこなにひいたひと	こむぎ	文学	夏	
798	学図	3	下	きゅうしょく	91	こむぎのたねをまいたひと	こむぎ	文学	夏	
799	学図	3	下	きゅうしょく	91	こむぎをそだてたつちとみず	こむぎ	文学	夏	
800	学図	4	上	春の歌	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	かえる	文学	春	
801	学図	4	上	春の歌	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	冬	文学	冬	
802	学図	4	上	春の歌	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	春	文学	春	
803	学図	4	上	めがさめた	9	雪どけみずがちょろちょろしてさ	雪どけ水	文学	春	
804	学図	4	上	めがさめた	9	かえるはごそごそのねずみかさこそ	かえる	文学	春	
805	学図	4	上	めがさめた	9	山がわらって春がきた	山がわらって	文学	春	
806	学図	4	上	白いぼうし	10	今日は、六月の始め。	六月	文学	夏	
807	学図	4	上	白いぼうし	10	夏がいきなり始まったような暑い日です。	暑い日	文学	夏	
808	学図	4	上	白いぼうし	18	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています。	クローバー	文学	春	
809	学図	4	上	白いぼうし	17	それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。	シャボン玉	文学	春	

810	学図	4	上	白いぼうし	10	松井さんもお客さんも、白いワイシャツのそでを、うでもでたくしあげていました。	白いワイシャツ	文学	夏	
811	学図	4	上	白いぼうし	16	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています。	たんぽぽ	文学	春	
812	学図	4	上	白いぼうし	16	白いちょうが、二十も三十も、いえ、もっとたくさん飛んでいました。	ちょう	文学	春	
813	学図	4	上	白いぼうし	17	その上を、おどるように飛んでいるちょうをぼんやり見ているうち、松井さんには、こんな声が聞こえてきました。	ちょう	文学	春	
814	学図	4	上	言葉のいずみ１	21	ちょうが飛ぶ	ちょう	その他	春	
815	学図	4	上	あめんぼはにん者か	42	ちょっとした池や水たまり、または、ゆるやかな流れの水面をしばらく見ていると、あめんぼが何びきか見つかることがあります。	あめんぼ	非文学	夏	
816	学図	4	上	あめんぼはにん者か	42	あめんぼは水面に軽々とういて、すいすいと走っています。	あめんぼ	非文学	夏	
817	学図	4	上	あめんぼはにん者か	42	池や水たまりの浅い所では、天気のよい日に、水底にあめんぼのかげがうつっていることがあります。	あめんぼ	非文学	夏	
818	学図	4	上	あめんぼはにん者か	43	まず、真ん中にあめんぼの体のかげ。	あめんぼ	非文学	夏	
819	学図	4	上	あめんぼはにん者か	43	これは、あめんぼと同じくらいの長さと太さのぼうのように見えるので、あめんぼのかげだということはすぐに分かります。	あめんぼ	非文学	夏	
820	学図	4	上	あめんぼはにん者か	43	それはあめんぼの足の先のかげなのです。	あめんぼ	非文学	夏	
821	学図	4	上	あめんぼはにん者か	43	いえ、もっと正かくに言えば、あめんぼの足先でおされてくぼんだ水面のかげなのです。	あめんぼ	非文学	夏	
822	学図	4	上	あめんぼはにん者か	44	あめんぼがにん者のように水面に立っていられるのも、同じ理くつです。	あめんぼ	非文学	夏	
823	学図	4	上	あめんぼはにん者か	44	あめんぼの足の先は、水をはじくようになっています。	あめんぼ	非文学	夏	
824	学図	4	上	あめんぼはにん者か	44	その足を広げてあめんぼが水面に立つと、それぞれの足は水面をおしてくぼませます。	あめんぼ	非文学	夏	

825	学図	4	上	あめんぼはにん者か	44	すると水の表面張力によって、あめんぼは水面にうかぶのです。	あめんぼ	非文学	夏	
826	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	でもこれだけだと、あめんぼは水面に立っているだけです。	あめんぼ	非文学	夏	
827	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	あめんぼの足は六本ありますが、そのうち、二本の前足と二本の後足の先で水面に立ち、残りの二本の中足の先を、走るためのオールにしています。	あめんぼ	非文学	夏	
828	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	中足は、ごく先の部分しか水をはじかないので、あめんぼは根もとの方まで水の中につっこんで、オールのように動かすのです。	あめんぼ	非文学	夏	
829	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	ところで、水の上でくらしているあめんぼは、いったい何を食べて生きているのでしょう。	あめんぼ	非文学	夏	
830	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	あめんぼは、うっかり水面に落ちてばたばたもがいている虫を食べ物にしています。	あめんぼ	非文学	夏	
831	学図	4	上	あめんぼはにん者か	45	あめんぼは前足の先でその波をキャッチし、中足のオールを動かして、急いでそこへかけつけます。	あめんぼ	非文学	夏	
832	学図	4	上	あめんぼはにん者か	46	それらの多くは、生きた小魚やおたまじゃくしをつかまえて食べ物にしています。	おたまじゃくし	非文学	春	
833	学図	4	上	あめんぼはにん者か	46	けれど、あめんぼは水面に落ちてきた虫だけをねらって食べるという生き方をするようになったこん虫です。	あめんぼ	非文学	夏	
834	学図	4	上	あめんぼはにん者か	46	そのために、あめんぼは、自分の足で水面にうかび、また、水面を走ることができるようになっているのです。	あめんぼ	非文学	夏	
835	学図	4	上	あめんぼはにん者か	46	このように、あめんぼは水面でくらすこん虫として生きてきました。	あめんぼ	非文学	夏	
836	学図	4	上	あめんぼはにん者か	46	よごれた水の表面張力はとても小さくなるので、軽いあめんぼの重ささえ、ささえきれなくなってしまいます。	あめんぼ	非文学	夏	
837	学図	4	上	あめんぼはにん者か	47	あめんぼがいくら足をふんばっても、ずぶずぶと水にしずんでいって、おぼれてしまうのです。	あめんぼ	非文学	夏	
838	学図	4	上	あめんぼはにん者か	47	そのため、あめんぼがわたしたちの近くからほとんどす	あめんぼ	非文学	夏	

						がたを消してしまった時代もありました。				
839	学図	4	上	あめんぼはにん者か	47	気づきにくいのは、人間にとってはほんの少しのせんざいでも、あめんぼにとっては生きていけなくなるということです。	あめんぼ	非文学	夏	
840	学図	4	上	あめんぼはにん者か	47	ですから、わたしたちは周りのかんきょうに気を配り、きれいな池や小川にたくさんのあめんぼが見られる、そんな自然を大切にする心をわすれないようにしなければならないと思います。	あめんぼ	非文学	夏	
841	学図	4	上	ポレポレ	60	運動場の周囲の木々は、太陽の光を浴びて、わか葉がかがやいていた。	わか葉	文学	夏	
842	学図	4	上	ポレポレ	60	村人が病気になって、きとうしの所に行くと、不思議なひょうたんから声がして、薬を教えてくれるという、とても信じられないような話をした。	ひょうたん	文学	秋	
843	学図	4	上	ポレポレ	62	あしたから夏休み。	夏休み	文学	夏	
844	学図	4	上	ポレポレ	67	かみなり！	かみなり	文学	夏	
845	学図	4	上	ポレポレ	69	ぼくたちは、ピーターのおみまいが、夏休みの宿題になった。	夏休み	文学	夏	
846	学図	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	74	ふぶきの道	ふぶき	その他	冬	
847	学図	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	75	ふぶきの道	ふぶき	その他	冬	
848	学図	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	75	年をとっていて、自分も大変なはずなのに、ふぶきの中、最後までモーリーを守りとおしたベルはすごい！！	ふぶき	その他	冬	
849	学図	4	上	本のしょうかい新聞を作ろう	75	ある日ピアノ教室の帰り道でふぶきにあって・・	ふぶき	その他	冬	
850	学図	4	上	ここまでに出た漢字の読みかえ	76	天然のうなぎを好んで食べます。	うなぎ	その他	夏	
851	学図	4	上	言葉のきまり２	94	白鳥が池で泳いでいる。	白鳥	その他	冬	
852	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	次の「梅」といっしょに、「松竹梅」としておぼえておこう。	梅	その他	春	
853	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	次の「梅」といっしょに、「松竹梅」としておぼえておこう。	梅	その他	春	
854	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	「松」も「梅」も木なので、「きへん」がつく。	梅	その他	春	

855	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	松竹梅	梅	その他	春	
856	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	梅の花	梅	その他	春	
857	学図	4	上	漢字の豆知しき	100	梅ぼし	梅ぼし	その他	夏	
858	学図	4	上	りんご畑の九月	102	トマトやメロンのきせつが終わると、九月でした。	トマト	文学	夏	
859	学図	4	上	りんご畑の九月	102	トマトやメロンのきせつが終わると、九月でした。	メロン	文学	夏	
860	学図	4	上	りんご畑の九月	102	トマトやメロンのきせつが終わると、九月でした。	九月	文学	秋	
861	学図	4	上	りんご畑の九月	102	九月の夜は、ゆでたてのとうきびをかじりながら、だれもが、いつまでも、茶の間にいました。	九月	文学	秋	
862	学図	4	上	りんご畑の九月	102	九月の夜は、ゆでたてのとうきびをかじりながら、だれもが、いつまでも、茶の間にいました。	とうきび	文学	秋	
863	学図	4	上	りんご畑の九月	102	夏休みには、みんなよく手伝ってくれたな。	夏休み	文学	夏	
864	学図	4	上	りんご畑の九月	102	ぼくらは九月が大好きでした。	九月	文学	秋	
865	学図	4	上	りんご畑の九月	102	りんごどろぼうです。	りんご	文学	秋	
866	学図	4	上	りんご畑の九月	102	けさも、ヤッさんのりんご畑が、あらされました。	りんご	文学	秋	
867	学図	4	上	りんご畑の九月	103	りんご畑の真ん中に小屋を建てて、一ばんじゅう、見はっているというのです。	りんご	文学	秋	
868	学図	4	上	りんご畑の九月	104	りんご畑の見回りは、全然やりません。	りんご	文学	秋	
869	学図	4	上	りんご畑の九月	105	あのねえ、おれは、かかしだよ。	かかし	文学	秋	
870	学図	4	上	りんご畑の九月	105	りんごどろぼうをつかまえる気なんか、全然ないよ。	りんご	文学	秋	
871	学図	4	上	りんご畑の九月	105	りんごどろぼうは、おれたちがつかまえる。	りんご	文学	秋	
872	学図	4	上	りんご畑の九月	106	夜のりんご畑は、不気味でした。	りんご	文学	秋	
873	学図	4	上	りんご畑の九月	106	百本の木のかげには、りんごどろぼうだけでなく、お化けやかいじゅうたちが、ギラギラと目を光らせてひそんでいるように思えてなりませんでした。	りんご	文学	秋	
874	学図	4	上	りんご畑の九月	106	日本のみなさーん、日本の米とりんごを守りましょう！	りんご	文学	秋	
875	学図	4	上	りんご畑の九月	107	九月も終わりになりました。	九月	文学	秋	
876	学図	4	上	りんご畑の九月	108	りんご畑は、あまずっぱいにおいでむせかえっています。	りんご	文学	秋	
877	学図	4	上	りんご畑の九月	108	ちょっぴりさみしいような気分で見回りをしていたら、	りんご	文学	秋	

						ビシッと、りんごの小えだを引きちぎる音が聞こえました。				
878	学図	4	上	りんご畑の九月	108	りんご畑の西のはて。	りんご	文学	秋	
879	学図	4	上	りんご畑の九月	108	とうきび畑ととなりあわせになったあたりに、かげが二つ。	とうきび	文学	秋	
880	学図	4	上	りんご畑の九月	108	ほんもののりんごどろぼうが、あらわれたのです。	りんご	文学	秋	
881	学図	4	上	りんご畑の九月	109	とうきび畑がザザザッザザザッと、あらしのようにゆれていきました。	とうきび	文学	秋	
882	学図	4	上	りんご畑の九月	109	すがたは見えませんが、りんごどろぼうたちが、必死でにげているのでした。	りんご	文学	秋	
883	学図	4	上	りんご畑の九月	109	ぼくはありったけの十字手りけんを投げて、とうきび畑の中まで追いかけようとしましたが、お兄ちゃんに止められてしまいました。	りんご	文学	秋	
884	学図	4	上	りんご畑の九月	109	夜空いっぱいに、天の川がうねっていました。	天の川	文学	夏	
885	学図	4	上	りんご畑の九月	109	とうきび畑は静まりかえっていましたが、おどろいてまい上がったいく百ぴきものとんぼたちが、キラキラと羽を銀色にかがやかせながら、せわしなく飛びかっていました。	とうきび	文学	秋	
886	学図	4	上	りんご畑の九月	109	とうきび畑は静まりかえっていましたが、おどろいてまい上がったいく百ぴきものとんぼたちが、キラキラと羽を銀色にかがやかせながら、せわしなく飛びかっていました。	とんぼ	文学	秋	
887	学図	4	上	りんご畑の九月	112	しゅうかくの仕事は、お祭りのようににぎやかでした。	祭り	文学	夏	
888	学図	4	上	りんご畑の九月	112	父さんも、母さんも、妹も、十数人の手伝いのおばさんたちも、りんごどろぼうのことは、しりません。	りんご	文学	秋	
889	学図	4	上	りんご畑の九月	112	しゅうかくが終わって、がらんとしてしまったりんご畑には、お兄ちゃんの小屋だけがぽつんと残りました。	りんご	文学	秋	
890	学図	4	上	りんご畑の九月	113	ぼくと妹は、ときどきホエーホエーとホイッスルをふきながら、ゆでたとうきびをとどけてやります。	とうきび	文学	秋	

891	学図	4	上	じゅ業で使う言葉	115	「あめんぼはにん者か」	あめんぼ	その他	夏	
892	学図	4	上	しりょうしつ	130	お月見	お月見	その他	秋	
893	学図	4	上	しりょうしつ	130	お年玉	お年玉	その他	新年	
894	学図	4	上	しりょうしつ	130	ご入学	ご入学	その他	春	
895	学図	4	上	しりょうしつ	130	お正月	お正月	その他	新年	
896	学図	4	上	しりょうしつ	130	お年賀	お年賀	その他	新年	
897	学図	4	上	白いぼうし	12	そんな松井さんの目の前を、ちょうはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなりました。	ちょう	文学	春	
898	学図	4	上	白いぼうし	15	なにしろ、ちょうが化けたんだから。	ちょう	文学	春	
899	学図	4	上	白いぼうし	14	本当のちょうちょが、いたんだもん。	ちょう	文学	春	
900	学図	4	上	白いぼうし	10	夏がいきなり始まったような暑い日です。	夏	文学	夏	
901	学図	4	上	白いぼうし	10	いいえ、夏みかんですよ。	夏みかん	文学	夏	
902	学図	4	上	白いぼうし	13	運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。	夏みかん	文学	夏	
903	学図	4	上	白いぼうし	17	車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいがのこっています。	夏みかん	文学	夏	
904	学図	4	上	白いぼうし	10	ほう、夏みかんてのは、こんなにもにおうものですか。	夏みかん	文学	夏	
905	学図	4	上	白いぼうし	13	松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、飛ばないように、石でつばをおさえました。	夏みかん	文学	夏	
906	学図	4	上	白いぼうし	14	……ええ、あの、あのね、菜の花横町ってあるかしら。	菜の花	文学	春	
907	学図	4	上	白いぼうし	14	菜の花橋のことですね。	菜の花	文学	春	
908	学図	4	上	白いぼうし	15	まほうのみかんと思うかな。	みかん	文学	冬	
909	学図	4	上	白いぼうし	15	お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうっと開けたとき―。	虫とりあみ	文学	夏	
910	学図	4	上	白いぼうし	12	もんしろちょうです。	もんしろちょう	文学	春	
911	学図	4	上	白いぼうし	12	緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちょこんとおいてあります。	やなぎ	文学	春	
912	学図	4	上	白いぼうし	15	やなぎのなみ木が、みるみる後ろに流れていきます。	やなぎ	文学	春	
913	学図	4	上	白いぼうし	10	これは、レモンのにおいですか。	レモン	文学	秋	
914	学図	4	下	ぶどう	1	ぶどう	ぶどう	文学	秋	

915	学図	4	下	ごんぎつね	4	……ひとりぼっちの子ぎつねがすんでいました。	きつね	文学	冬	
916	学図	4	下	ごんぎつね	4	畑に入っていもをほり散らしたり、……とんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。	いも	文学	秋	
917	学図	4	下	ごんぎつね	4	……「ごんぎつね」というきつねがいました。	きつね	文学	冬	
918	学図	4	下	ごんぎつね	4	ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、……	きつね	文学	冬	
919	学図	4	下	ごんぎつね	4	……ひゃくしょうの家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、……	とんがらし	文学	秋	
920	学図	4	下	ごんぎつね	5	菜種がらのほしてあるのに火をつけて、いったり	菜種がら	文学	夏	
921	学図	4	下	ごんぎつね	5	ある秋のことでした。	秋	文学	秋	
922	学図	4	下	ごんぎつね	5	……もずの声がきんきんひびいていました。	もず	文学	秋	
923	学図	4	下	ごんぎつね	6	辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。	すすき	文学	秋	
924	学図	4	下	ごんぎつね	6	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	すすき	文学	秋	
925	学図	4	下	ごんぎつね	6	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	はぎ	文学	秋	
926	学図	4	下	ごんぎつね	7	……円いはぎの葉が一まい、大きなほくろみたいにへばりついていました。	はぎ	文学	秋	
927	学図	4	下	ごんぎつね	7	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	うなぎ	文学	夏	
928	学図	4	下	ごんぎつね	7	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	きす	文学	夏	
929	学図	4	下	ごんぎつね	7	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	うなぎ	文学	夏	
930	学図	4	下	ごんぎつね	8	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	きす	文学	夏	
931	学図	4	下	ごんぎつね	8	いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、……	うなぎ	文学	夏	
932	学図	4	下	ごんぎつね	8	……うなぎの頭を口にくわえました。	うなぎ	文学	夏	
933	学図	4	下	ごんぎつね	8	うなぎは、キュッといって、ごんの首へまき付きました。	うなぎ	文学	夏	
934	学図	4	下	ごんぎつね	8	うわあ、ぬすとぎつねめ。	きつね	文学	冬	
935	学図	4	下	ごんぎつね	8	うなぎをふりすててにげようとしましたが、……	うなぎ	文学	夏	
936	学図	4	下	ごんぎつね	9	……うなぎは、ごんの首にまき付いたままはなれませ	うなぎ	文学	夏	

						ん。				
937	学図	4	下	ごんぎつね	9	ごんはほっとして、うなぎの頭をかみくだき、……	うなぎ	文学	夏	
938	学図	4	下	ごんぎつね	9	……そこの、いちじくの木のかげで、弥助の家内が、……	いちじく	文学	秋	
939	学図	4	下	ごんぎつね	11	秋祭りかな。	秋祭り	文学	秋	
940	学図	4	下	ごんぎつね	11	祭りなら、たいこや笛の音がしそうなものだ。	祭り	文学	夏	
941	学図	4	下	ごんぎつね	11	墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いていました。	ひがんばな	文学	秋	
942	学図	4	下	ごんぎつね	12	人々が通ったあとには、ひがんばながふみおられていました。	ひがんばな	文学	秋	
943	学図	4	下	ごんぎつね	12	いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、……	さつまいも	文学	秋	
944	学図	4	下	ごんぎつね	12	……うなぎが食べたいと言ったにちがいない。	うなぎ	文学	夏	
945	学図	4	下	ごんぎつね	12	ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。	うなぎ	文学	夏	
946	学図	4	下	ごんぎつね	12	だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。	うなぎ	文学	夏	
947	学図	4	下	ごんぎつね	13	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
948	学図	4	下	ごんぎつね	13	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
949	学図	4	下	ごんぎつね	13	兵十が、赤いいどの所で、麦をといでいました。	麦	文学	夏	
950	学図	4	下	ごんぎつね	13	……どこかでいわしを売る声がします。	いわし	文学	秋	
951	学図	4	下	ごんぎつね	13	いわしの安売りだあい。	いわし	文学	秋	
952	学図	4	下	ごんぎつね	13	いきのいい、いわしだあい。	いわし	文学	秋	
953	学図	4	下	ごんぎつね	13	いわしをおくれ。	いわし	文学	秋	
954	学図	4	下	ごんぎつね	13	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
955	学図	4	下	ごんぎつね	14	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置い	いわし	文学	秋	

						て、……				
956	学図	4	下	ごんぎつね	14	……ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、……	いわし	文学	秋	
957	学図	4	下	ごんぎつね	14	……かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、……	いわし	文学	秋	
958	学図	4	下	ごんぎつね	14	……うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。	いわし	文学	秋	
959	学図	4	下	ごんぎつね	14	……まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。	麦	文学	夏	
960	学図	4	下	ごんぎつね	14	ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。	うなぎ	文学	夏	
961	学図	4	下	ごんぎつね	15	……ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、……	くり	文学	秋	
962	学図	4	下	ごんぎつね	15	いったい、だれが、いわしなんかを、……	いわし	文学	秋	
963	学図	4	下	ごんぎつね	15	……いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。	いわし	文学	秋	
964	学図	4	下	ごんぎつね	15	かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、……	いわし	文学	秋	
965	学図	4	下	ごんぎつね	15	……その入り口に、くりを置いて帰りました。	くり	文学	秋	
966	学図	4	下	ごんぎつね	15	……ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。	くり	文学	秋	
967	学図	4	下	ごんぎつね	15	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	くり	文学	秋	
968	学図	4	下	ごんぎつね	17	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	松たけ	文学	秋	
969	学図	4	下	ごんぎつね	17	……松虫が鳴いています。	松虫	文学	秋	
970	学図	4	下	ごんぎつね	17	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	くり	文学	秋	
971	学図	4	下	ごんぎつね	19	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	松たけ	文学	秋	
972	学図	4	下	ごんぎつね	19	そのくりを見せてやるよ。	くり	文学	秋	

973	学図	4	下	ごんぎつね	19	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	くり	文学	秋	
974	学図	4	下	ごんぎつね	19	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	松たけ	文学	秋	
975	学図	4	下	ごんぎつね	19	……ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。	くり	文学	秋	
976	学図	4	下	ごんぎつね	19	……きつねがうちの中へ入ったではありませんか。	きつね	文学	冬	
977	学図	4	下	ごんぎつね	19	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	うなぎ	文学	夏	
978	学図	4	下	ごんぎつね	19	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	きつね	文学	冬	
979	学図	4	下	ごんぎつね	20	うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてあるのが目につきました。	くり	文学	秋	
980	学図	4	下	ごんぎつね	20	いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
981	学図	4	下	三年生で学習した漢字	23	りんごの皮を皿にのせる。	りんご	その他	秋	
982	学図	4	下	三年生で学習した漢字	23	くりの実を拾って食べる。	くり	その他	秋	
983	学図	4	下	三年生で学習した漢字	23	暑い日は氷水を飲む。	暑い日	その他	夏	
984	学図	4	下	言葉のいずみ１	24	春風	春風	その他	春	
985	学図	4	下	中心とだん落を考えて書こう	32	よく見ると、木でできたピンクのかわいいうさぎのブローチでした。	うさぎ	その他	冬	
986	学図	4	下	中心とだん落を考えて書こう	32	うさぎは笑っていました。	うさぎ	その他	冬	
987	学図	4	下	三年生で学習した漢字	43	岸に上がると強い寒風がふいてきた。	寒風	その他	冬	
988	学図	4	下	コマーシャルを作ろう	57	太田さんは、自分たちが取り組んでいる「どんぐり大作戦」を、瀬戸内海に面した学校や全国の小学生に知ってもらい、また取り組んでもらうために、下のようなボディーコピーを作りました。	どんぐり	その他	秋	
989	学図	4	下	コマーシャルを作ろう	57	この活動は、たった一つぶのどんぐりの実から始められます。	どんぐり	その他	秋	
990	学図	4	下	コマーシャルを作ろう	57	みなさんも、わたしたちといっしょにどんぐりを植えて、瀬戸内海をきれいにしませんか。	どんぐり	その他	秋	
991	学図	4	下	こうようした葉	64	さくらの花びらのように	さくら	文学	春	
992	学図	4	下	こうようした葉	64	色づいた葉が落ちた	葉が落ちた	文学	秋	

993	学図	4	下	こうようした葉	65	色づいた葉が落ちた	色づいた葉	文学	秋	
994	学図	4	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	68	今夜の月は赤みを帯びています。	月	非文学	秋	
995	学図	4	下	三年生で学習した漢字	79	待望の暑中見まいのはがきが来た。	暑中見まい	その他	夏	
996	学図	4	下	言葉のきまり２	85	この冬はいい季節になりそうだ。	冬	その他	冬	
997	学図	4	下	漢字をおくろう	87	もうすぐ，町のお祭りですね。	お祭り	その他	夏	
998	学図	4	下	小鳥を好きになった山	90	山は、太陽に照らされ、風にふかれることはあっても、山はだにじかにふりかかるのは、雨や雪だけ。	雪	文学	冬	1
999	学図	4	下	小鳥を好きになった山	90	ごつごつした山には…けものも鳥も虫も、全く住めなかった。	虫	文学	秋	1
1000	学図	4	下	小鳥を好きになった山	90	その冷たさしか、山は知らなかった。	冷たさ	文学	冬	1
1001	学図	4	下	小鳥を好きになった山	91	ある日のこと、どこからか一羽の小鳥がやって来た。	小鳥	文学	秋	1
1002	学図	4	下	小鳥を好きになった山	91	小鳥は岩山の上をひと回り飛ぶと、岩角に止まって羽をつくろった。	小鳥	文学	秋	1
1003	学図	4	下	小鳥を好きになった山	91	山は、小鳥の小さなつめにやさしくつかまれるのを感じ、小鳥がうずくまると、羽におおわれた体のやわらかさにびっくりした。	小鳥	文学	秋	1
1004	学図	4	下	小鳥を好きになった山	91	山は、小鳥の小さなつめにやさしくつかまれるのを感じ、小鳥がうずくまると、羽におおわれた体のやわらかさにびっくりした。	小鳥	文学	秋	1
1005	学図	4	下	小鳥を好きになった山	92	「わたしは小鳥よ。	小鳥	文学	秋	1
1006	学図	4	下	小鳥を好きになった山	92	毎年春になると、巣を作りひなを育てる場所をさがして旅に出るの。	春	文学	春	1
1007	学図	4	下	小鳥を好きになった山	92	「小鳥は生き物です。	小鳥	文学	秋	1
1008	学図	4	下	小鳥を好きになった山	93	だからこれからは、春になって旅に出たら、必ずここに立ちよることにします。	春	文学	春	1
1009	学図	4	下	小鳥を好きになった山	93	それにしても、山はいつまでも長生きできるけれど、小鳥はそういうわけにはいきません。	小鳥	文学	秋	1
1010	学図	4	下	小鳥を好きになった山	94	そして、ここへ来る道を教え、春ごとにあなたに歌をお聞かせするよう言い残します。	春	文学	春	1

1011	学図	4	下	小鳥を好きになった山	94	こうすれば、ジョイという名は次々に受けつがれ、何年たっても春になれば、あなたはジョイの歌声を聞くことができますものね。	春	文学	春	1
1012	学図	4	下	小鳥を好きになった山	94	それじゃ来年の春までごきげんよう。	春	文学	春	1
1013	学図	4	下	小鳥を好きになった山	95	それから春がめぐってくるたびに、一羽の小鳥が山を訪れるようになった。	春	文学	春	1
1014	学図	4	下	小鳥を好きになった山	95	小鳥は歌いながら山の上を飛び回り、岩かげにつばさを休めた。	小鳥	文学	秋	1
1015	学図	4	下	小鳥を好きになった山	95	小鳥がふたたび飛び立つ時、山は決まってたずねた。	小鳥	文学	秋	1
1016	学図	4	下	小鳥を好きになった山	95	でも、来年の春も必ずまいります。	春	文学	春	1
1017	学図	4	下	小鳥を好きになった山	96	とうとう百回めの春のこと。	春	文学	春	1
1018	学図	4	下	小鳥を好きになった山	96	でも、来年の春も必ずまいります。	春	文学	春	1
1019	学図	4	下	小鳥を好きになった山	96	次の春ジョイが来ても、山はだまってなみだを流し続けるばかり。	春	文学	春	1
1020	学図	4	下	小鳥を好きになった山	97	また来年の春まで、苦しいほど待ちこがれるだけだ。	春	文学	春	1
1021	学図	4	下	小鳥を好きになった山	97	次の春になると、ジョイは一つぶの種をくわえてやって来た。	春	文学	春	1
1022	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	また春がやって来ると、ジョイはもう一つぶ種をくわえてきた。	春	文学	春	1
1023	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	次の春も、そのまた次の春も。	春	文学	春	1
1024	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	次の春も、そのまた次の春も。	春	文学	春	1
1025	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	春がめぐってくるたびに、ジョイは種を運び、なみだのかわのほとりに植えた。	春	文学	春	1
1026	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	このようにしていくたびも春はめぐり、次々に芽ぶく草や木の根は岩をもろくしていき、くだけた岩は、やがて土に変わった。	春	文学	春	1
1027	学図	4	下	小鳥を好きになった山	98	このようにしていくたびも春はめぐり、次々に芽ぶく草や木の根は岩をもろくしていき、くだけた岩は、やがて土に変わった。	春	文学	春	1

1028	学図	4	下	小鳥を好きになった山	99	辺りにはこけがむし始め、風に乗ってきた小さな虫たちが、草むらをいそがしくはい回るようになった。	こけ	文学	夏	1
1029	学図	4	下	小鳥を好きになった山	99	辺りにはこけがむし始め、風に乗ってきた小さな虫たちが、草むらをいそがしくはい回るようになった。	虫	文学	秋	1
1030	学図	4	下	小鳥を好きになった山	99	それからも、毎年春になると、ジョイは種を運んできた。	春	文学	春	1
1031	学図	4	下	小鳥を好きになった山	99	いたみが消え、…緑がしげり始めたのに気がついた。	緑	文学	夏	1
1032	学図	4	下	小鳥を好きになった山	100	でも，来年の春も必ずまいります。	春	文学	春	1
1033	学図	4	下	小鳥を好きになった山	100	さらにいく年もたち、…いつしか見わたす限り緑に変わった。	緑	文学	夏	1
1034	学図	4	下	小鳥を好きになった山	101	次の春飛んできたジョイがくわえていたのは、種ではなく、小さな木のえだだった。	春	文学	春	1
1035	学図	4	下	三年生で学習した漢字	103	この登山道路は新緑が美しい。	新緑	その他	夏	
1036	学図	4	下	三年生で学習した漢字	103	日に焼けて皮ふにしみができた。	日に焼けて	その他	夏	
1037	学図	4	下	三年生で学習した漢字	103	こう葉のきれいな観光地に行く。	こう葉	その他	秋	
1038	学図	4	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	106	にがした小鳥を、学校の付近で見失いました。	小鳥	その他	秋	
1039	学図	4	下	四年生をふり返って	108	わたしは「小鳥を好きになった山」のお話が大好きです。	小鳥	その他	秋	
1040	学図	4	下	四年生をふり返って	108	小鳥も山も幸せにくらしてほしいと思いました。	小鳥	その他	秋	
1041	学図	4	下	いちばんの願いごと	114	ビロードにシルクに毛皮	毛皮	文学	冬	
1042	学図	4	下	じゅ業で使う言葉	118	「ごんぎつね」	ごんぎつね	その他	冬	
1043	学図	5	上	大造じいさんとがん	10	今年も、残雪は、がんの群れを率いて、ぬま地にやってきました。	がん	文学	秋	
1044	学図	5	上	大造じいさんとがん	10	残雪は、このぬま地に集まるがんの頭領らしい、なかなかろこうなやつで、えさをあさっている間も、油断なく気を配って、りょうじゅうのとどくところまで、けっして人間をよせつけませんでした。	がん	文学	秋	
1045	学図	5	上	大造じいさんとがん	10	残雪は、このぬま地をかり場にしていましたが、いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のがんも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていました。	がん	文学	秋	

1046	学図	5	上	大造じいさんとがん	11	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面に、くいを打ちこんで、たにしの付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	がん	文学	秋	
1047	学図	5	上	大造じいさんとがん	11	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面に、くいを打ちこんで、たにしの付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	たにし	文学	春	
1048	学図	5	上	大造じいさんとがん	11	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面に、くいを打ちこんで、たにしの付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	うなぎ	文学	夏	
1049	学図	5	上	大造じいさんとがん	11	じいさんは、一晩じゅうかかって、たくさんのうなぎばりをしかけておきました。	うなぎ	文学	夏	
1050	学図	5	上	大造じいさんとがん	12	一羽だけでしたが、生きているがんが、上手く手に入ったのです。	がん	文学	秋	
1051	学図	5	上	大造じいさんとがん	12	がんは、さかんにばたついたとみえて、辺り一面に、羽が飛び散っていました。	がん	文学	秋	
1052	学図	5	上	大造じいさんとがん	12	がんの群れは、危険を感じて、えさ場を変えたらしく、辺りには一羽も見えませんでした。	がん	文学	秋	
1053	学図	5	上	大造じいさんとがん	12	秋の日が美しくかがやいていました。	秋	文学	秋	
1054	学図	5	上	大造じいさんとがん	12	じいさんがぬま地にすがたを現すと、大きな羽音と共に、がんの大群が飛び立ちました。	がん	文学	秋	
1055	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	つりばりをしかけておいた辺りで、確かに、がんがえさをあさったあとがあるのに、今日は、一羽もはりにかかっていません。	がん	文学	秋	
1056	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	がんは、昨日の失敗にこりて、えさをすぐには飲みこまないで、まず、くちばしの先にくわえて、ぐうっと引っぱってみてから、だいじょうぶだとみとめると、初めて飲みこんだものらしいのです。	がん	文学	秋	
1057	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	がんとか、かもという鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないと言われていますが、どうしてなかな	がん	文学	秋	

						か、あの小さい頭の中に、大した知えを持っているものだな、ということを、今さらのように感じたのでありました。				
1058	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	がんとか、かもという鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないと言われていますが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、大した知えを持っているものだな、ということを、今さらのように感じたのでありました。	かも	文学	冬	
1059	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	夏	文学	夏	
1060	学図	5	上	大造じいさんとがん	13	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	たにし	文学	春	
1061	学図	5	上	大造じいさんとがん	14	そして、それを、がんの好みそうな場所にばらまいておきました。	がん	文学	秋	
1062	学図	5	上	大造じいさんとがん	14	がんの群れは、思わぬごちそうが四、五日も続いたので、ぬま地のうちでも、そこがいちばん気に入りの場所となったようでありました。	がん	文学	秋	
1063	学図	5	上	大造じいさんとがん	14	そして、ねぐらをぬけ出してこのえさ場にやって来るがんの群れを待っているのでした。	がん	文学	秋	
1064	学図	5	上	大造じいさんとがん	15	ぬま地にやって来るがんのすがたが、かなたの空に、黒く、点々と見えだしました。	がん	文学	秋	
1065	学図	5	上	大造じいさんとがん	16	今年もまた、ぽつぽつ、例のぬま地にがんの来る季節になりました。	がん	文学	秋	
1066	学図	5	上	大造じいさんとがん	16	じいさんが小屋に入ると、一羽のがんが、羽をばたつかせながら、じいさんに飛びついてきました。	がん	文学	秋	
1067	学図	5	上	大造じいさんとがん	16	このがんは、二年前、じいさんがつりばりの計りゃくで生けどったものだったのです。	がん	文学	秋	
1068	学図	5	上	大造じいさんとがん	17	じいさんは、長年の経験で、がんはいちばん最初の飛び立ったものの後について飛ぶ、ということを知っていた	がん	文学	秋	

						ので、このがんを手に入れた時から、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろうとお考えていたのでした。				
1069	学図	5	上	大造じいさんとがん	17	じいさんは、長年の経験で、がんはいちばん最初の飛び立ったものの後について飛ぶ、ということを知っていたので、このがんを手に入れた時から、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろうとお考えていたのでした。	がん	文学	秋	
1070	学図	5	上	大造じいさんとがん	18	がんたちは、昨年じいさんが小屋がけした所から、たまのとどくきょりの三倍もはなれている地点を、えさ場としているようでした。	がん	文学	秋	
1071	学図	5	上	大造じいさんとがん	18	そこには、夏の出水で、大きな水たまりができて、がんのえさが十分にあるらしいのです。	夏	文学	夏	
1072	学図	5	上	大造じいさんとがん	18	そこには、夏の出水で、大きな水たまりができて、がんのえさが十分にあるらしいのです。	がん	文学	秋	
1073	学図	5	上	大造じいさんとがん	18	その夜のうちに、飼い慣らしたがんを例のえさ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんで、がんの群れを待つことにしました。	がん	文学	秋	
1074	学図	5	上	大造じいさんとがん	18	その夜のうちに、飼い慣らしたがんを例のえさ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんで、がんの群れを待つことにしました。	がん	文学	秋	
1075	学図	5	上	大造じいさんとがん	19	と、その時、ものすごい羽音と共に、がんの群れが、一度にバタバタと飛び立ちました。	がん	文学	秋	
1076	学図	5	上	大造じいさんとがん	19	がんの群れを目がけて、白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました。	がん	文学	秋	
1077	学図	5	上	大造じいさんとがん	19	はやぶさです。	はやぶさ	文学	冬	
1078	学図	5	上	大造じいさんとがん	19	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらませながら、飛び去っていきます。	がん	文学	秋	
1079	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	大造じいさんのおとりのがんです。	がん	文学	秋	

1080	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	はやぶさは、その一羽を見逃しませんでした。	はやぶさ	文学	冬	
1081	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたと見えて、がんは、こっちに方向を変えました。	がん	文学	秋	
1082	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	はやぶさは、その道をさえぎって、ぱあんと、一けり、けりました。	はやぶさ	文学	冬	
1083	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	がんの体は、ななめにかたむきました。	がん	文学	秋	
1084	学図	5	上	大造じいさんとがん	20	もう一けりと、はやぶさがこうげきしせいをとった時、さっと、大きなかげが空を横切りました。	はやぶさ	文学	冬	
1085	学図	5	上	大造じいさんとがん	21	残雪の目には、人間もはやぶさもありませんでした。	はやぶさ	文学	冬	
1086	学図	5	上	大造じいさんとがん	22	不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめきました。	はやぶさ	文学	冬	
1087	学図	5	上	大造じいさんとがん	22	が、はやぶさもさるものです。	はやぶさ	文学	冬	
1088	学図	5	上	大造じいさんとがん	22	そのまま、はやぶさと残雪は、もつれ合って、ぬま地に落ちていきました。	はやぶさ	文学	冬	
1089	学図	5	上	大造じいさんとがん	22	が、はやぶさは、にんげんのすがたをみとめると、急に戦いをやめて、よろめきながら飛び立っていきました。	はやぶさ	文学	冬	
1090	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	残雪は、大造じいさんのおりの中で、ひと冬をこしました。	冬	文学	冬	
1091	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	春になると、そのむねのきずも治り、体力も元のようになりました。	春	文学	春	
1092	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	ある晴れた春の朝でした。	春	文学	春	
1093	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。	すももの花	文学	春	
1094	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	らんまんとさいたすももの花が、…雪のように清らかに、はらはらと散りました。	雪	文学	冬	
1095	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	がんの英雄よ。	がん	文学	秋	
1096	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	今年の冬も、仲間を連れてぬま地へやって来いよ。	冬	文学	冬	
1097	学図	5	上	大造じいさんとがん	24	大造じいさんは、花の下に立って、こう、大きな声で、がんによびかけました。	がん	文学	秋	

1098	学図	5	上	言葉のいずみ１	28	「暑い」と「苦しい」で「暑苦しい」という言葉ができます。	暑い	その他	夏	
1099	学図	5	上	お礼状を書こう	38	わか葉がきれいな季節になりました。	わか葉	その他	夏	
1100	学図	5	上	お礼状を書こう	38	わか葉の緑がきれいな季節になりました。	わか葉	文学	夏	
1101	学図	5	上	お礼状を書こう	39	手品でもこままわしでも、ふだん自分たちがしていることが、ちょっとしたくふうや気の配り方でもっと上手にできることが、分かりました。	こま	その他	新年	
1102	学図	5	上	言葉のきまり１	41	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	夏	その他	夏	
1103	学図	5	上	言葉のきまり２	41	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	たにし	その他	春	
1104	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	48	谷津干潟には、一年じゅう、たくさんのわたり鳥が飛んできて、歩き回ったり、えさを食べたり、休んだりしています。	わたり鳥	非文学	秋	
1105	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	48	特に三月から五月、九月から十一月には、たくさんのしぎや千鳥が見られ、多い日には、約二千羽を数えることができます。	しぎ	非文学	秋	
1106	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	48	特に三月から五月、九月から十一月には、たくさんのしぎや千鳥が見られ、多い日には、約二千羽を数えることができます。	千鳥	非文学	冬	
1107	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	49	どうして谷津干潟には、こんなに多くのわたり鳥が集まってくるのでしょう。	わたり鳥	非文学	秋	
1108	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	49	五月の終わり、しぎや千鳥はみんな北へ飛んでいってしまい、干潟は広々した感じになります。	しぎ	非文学	秋	
1109	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	49	五月の終わり、しぎや千鳥はみんな北へ飛んでいってしまい、干潟は広々した感じになります。	千鳥	非文学	冬	
1110	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	50	ここにわたり鳥が多く集まってくるのは、えさとなる小さな生き物が、数多く生息しているからです。	わたり鳥	非文学	秋	
1111	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	51	コメツキガニは、甲のはば一センチメートルほどの小さ	かに	非文学	夏	

						なかにです。				
1112	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	52	すな地の表面に散らばっているすなだんごは、このかにがすなを食べた後のかすでした。	かに	非文学	夏	
1113	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	52	次の場所に行くとちゅうのすな地で、やどかりが魚の死がいに群がっていました。	やどかり	非文学	春	
1114	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	53	やどかりは、干潟で魚や貝の死がいを見つけると、集まってきて、たちまちのうちに、食べてきれいにしてしまいます。	やどかり	非文学	春	
1115	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	53	このかには、甲はば一センチメートルぐらいで、日本の干潟にはどこにでもいるものです。	かに	非文学	夏	
1116	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	56	このかには、甲のはばが三・五センチメートルもあるおおきなかにです。	かに	非文学	夏	
1117	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	56	このかには、甲のはばが三・五センチメートルもあるおおきなかにです。	かに	非文学	夏	
1118	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	56	海水の中の小さな生き物を食べるごかい類・かに類は、しぎや千鳥などの鳥たちに食べられる。	かに	非文学	夏	
1119	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	56	海水の中の小さな生き物を食べるごかい類・かに類は、しぎや千鳥などの鳥たちに食べられる。	しぎ	非文学	秋	
1120	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	56	海水の中の小さな生き物を食べるごかい類・かに類は、しぎや千鳥などの鳥たちに食べられる。	千鳥	非文学	冬	
1121	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	特にわたり鳥にとっては、わたりのとちゅうの中けい地として、また冬鳥のえっ冬地として大変重要な場所となっています。	わたり鳥	非文学	秋	
1122	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	特にわたり鳥にとっては、わたりのとちゅうの中けい地として、また冬鳥のえっ冬地として大変重要な場所となっています。	冬鳥	非文学	冬	
1123	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	特にわたり鳥にとっては、わたりのとちゅうの中けい地として、また冬鳥のえっ冬地として大変重要な場所となっています。	えっ冬	非文学	冬	

1124	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	谷津干潟は、水鳥と水鳥のすむしっ地を守るために作られた「ラムサール条約」の登録地になっているほか、しぎや千鳥を守るための国際的なネットワークが定めた保護地いきにもなっています。	水鳥	非文学	冬	
1125	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	谷津干潟は、水鳥と水鳥のすむしっ地を守るために作られた「ラムサール条約」の登録地になっているほか、しぎや千鳥を守るための国際的なネットワークが定めた保護地いきにもなっています。	しぎ	非文学	秋	
1126	学図	5	上	谷津干潟の生き物たち	57	谷津干潟は、水鳥と水鳥のすむしっ地を守るために作られた「ラムサール条約」の登録地になっているほか、しぎや千鳥を守るための国際的なネットワークが定めた保護地いきにもなっています。	千鳥	非文学	冬	
1127	学図	5	上	四年生で学習した漢字	59	梅の木の周囲でで日光浴をする。	梅	その他	春	
1128	学図	5	上	四年生で学習した漢字	59	さばの塩焼きには栄養がある。	さば	その他	夏	
1129	学図	5	上	四年生で学習した漢字	59	松たけを加熱して食べる。	松たけ	その他	秋	
1130	学図	5	上	必要なことを選んでまとめよう。	61	アオサギ	アオサギ	その他	夏	
1131	学図	5	上	必要なことを選んでまとめよう。	61	カイツブリ	カイツブリ	その他	冬	
1132	学図	5	上	言葉のいずみ２	63	菜の花畑に入り日うすれ	菜の花	その他	春	
1133	学図	5	上	言葉のいずみ２	63	春風	はるかぜ	その他	春	
1134	学図	5	上	言葉のいずみ	63	これは、「おぼろ月夜」という歌の歌詞で…書かれています。	おぼろ月夜	非文学	春	
1135	学図	5	上	言葉のいずみ２	63	夕月かかりて　にほいあはし	夕月	その他	秋	
1136	学図	5	上	言葉のいずみ２	63	うさぎおいしかの山	うさぎ	その他	冬	
1137	学図	5	上	注文の多い料理店	68	二人のしんしは、ザワザワ鳴るすすきの中で、こんなことを言いました。	すすき	文学	秋	
1138	学図	5	上	原っぱ	90	ブランコも、遊動円木もなかった。	ブランコ	文学	春	
1139	学図	5	上	原っぱ	90	きみがはじめてとかげをみたのは、原っぱの草むらだ。	とかげ	文学	夏	

1140	学図	5	上	原っぱ	91	はじめてカミキリムシをつかまえたのも。	カミキリムシ	文学	夏	
1141	学図	5	上	原っぱ	91	春にたんぽぽがいっせいに空飛ぶのを見たのも、夏に、はじめてアンタレスという名の星をおぼえたのも、原っぱだ。	春	文学	春	
1142	学図	5	上	原っぱ	91	春にたんぽぽがいっせいに空飛ぶのを見たのも、夏に、はじめてアンタレスという名の星をおぼえたのも、原っぱだ。	たんぽぽ	文学	春	
1143	学図	5	上	原っぱ	91	春にたんぽぽがいっせいに空飛ぶのを見たのも、夏に、はじめてアンタレスという名の星をおぼえたのも、原っぱだ。	夏	文学	夏	
1144	学図	5	上	原っぱ	91	冬の風にはじめて大凧を揚げたのも。	大凧	文学	新年	
1145	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	100	あ、とんぼだ。	とんぼ	非文学	秋	
1146	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	100	みなさんの地域では、この「とんぼ」をどのように言っていますか。	とんぼ	非文学	秋	
1147	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	103	長崎県では、「雪がふっている」ときの雪の状態を、雪がフリヨル（雪がふりつつある）。雪がフッチョル（雪がすでに降り積もっている）のように、二通りに言い分けています。	雪	非文学	冬	
1148	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	104	きびしい寒さで体がこわばるような感じを表すには、「冷える」「冷えこむ」ではなく、やはり「シバレル」でなければならないのでしょう。	寒さ	非文学	冬	
1149	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	104	きびしい寒さで体がこわばるような感じを表すには、「冷える」「冷えこむ」ではなく、やはり「シバレル」でなければならないのでしょう。	冷える	非文学	冬	
1150	学図	5	上	方言を調べて報告しよう。	104	きびしい寒さで体がこわばるような感じを表すには、「冷える」「冷えこむ」ではなく、やはり「シバレル」でなければならないのでしょう。	冷えこむ	非文学	冬	
1151	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	116	異人館、風見どり、門についてたライオンのノッカー、金属でできたつたのからまった電気スタンド、坂道、風	風船	文学	春	

						船売り、チョコレート。				
1152	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	116	男は風船売りでした。	風船	文学	春	
1153	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	116	そう教えてくれた日には、港で風船を売りました。	風船	文学	春	
1154	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	117	風船がたくさん売れると、男はおみやげにチョコレートを買って帰りました。	風船	文学	春	
1155	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	117	男は風船を売りながら街で見たことを話し、にわとりは家の周りであったことを話しました。	風船	文学	春	
1156	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	117	にわとりの風の予報のおかげで男の風船はよく売れ、二人は幸せでした。	風船	文学	春	
1157	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	118	強い風に、風船を持ったまま飛ばされてしまったんだ。	風船	文学	春	
1158	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	121	風船売りを見なかった？	風船	文学	春	
1159	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	122	死んでしまえば、風船売りがもどってきても、風の向きを教えてやることはできんではないか。	風船	文学	春	
1160	学図	5	上	チョコレートのおみやげ	122	こいつでたたくとライオンでもつたの葉でも金物になれる。	つた	文学	秋	
1161	学図	5	上	注文の多い料理店	66	二人のわかいしんしが、…木の葉のかさかさしたとこを、こんなことを言いながら歩いておりました。	木の葉	文学	冬	
1162	学図	5	上	注文の多い料理店	68	風がどうとふいてきて、…木の葉はカサカサ、…鳴りました。	木の葉	文学	冬	
1163	学図	5	上	注文の多い料理店	82	風がどうとふいてきて、…木の葉はカサカサ、…鳴りました。	木の葉	文学	冬	
1164	学図	5	上	注文の多い料理店	68	うさぎも出ていたねえ。	うさぎ	文学	冬	
1165	学図	5	上	注文の多い料理店	73	部屋があんまりあたたかいとひびが切れるから、その予防なんだ	ひび（あかぎれ）	文学	冬	
1166	学図	5	上	注文の多い料理店	74	あぶなく耳にひびを切らすとこだった	ひび（あかぎれ）	文学	冬	
1167	学図	5	上	注文の多い料理店	62	しかの黄色な横っぱらなんぞに、二、三発おみまいもうしたら、……	しか	文学	秋	
1168	学図	5	上	注文の多い料理店	68	さあ、ぼくもちょうど寒くはなったし、はらはすいてきたし、……	寒く	文学	冬	

1169	学図	5	上	注文の多い料理店	72	寒いとこや山の中はみんなこうさ。	寒い	文学	冬	
1170	学図	5	上	注文の多い料理店	77	これはね、外が非常に寒いだろう。	寒い	文学	冬	
1171	学図	5	上	注文の多い料理店	68	……その白くまのような犬が、二ひきいっしょにめまいを起こして、……	くま	文学	冬	
1172	学図	5	上	注文の多い料理店	67	……白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のかさかさしたとこを、……	くま	文学	冬	
1173	学図	5	上	注文の多い料理店	73	……あの白くまのような犬が二ひき、戸をつき破って部屋の中にとびこんできました。	くま	文学	冬	
1174	学図	5	上	注文の多い料理店	75	二人はぼうしとオーバーコートをくぎにかけ、くつをぬいでペタペタ歩いて戸の中に入りました。	オーバーコート	文学	冬	
1175	学図	5	下	父ちゃんの凧	4	どうです、りっぱな凧でしょう。	凧	文学	春	
1176	学図	5	下	父ちゃんの凧	4	わたしのいなかでは、男の子が生まれると、凧を作ったものです。	凧	文学	春	
1177	学図	5	下	父ちゃんの凧	4	父は、魚屋でしたが、凧作りが大好きで、ご近所や、お客さんの家で男の子が生まれると、凧作りをかって出たそうです。	凧	文学	春	
1178	学図	5	下	父ちゃんの凧	5	父は、凧をあげるのも大好きで、五月のお節句の凧あげ大会には、たたみ二まいぐらいもある大きなのを作って、町のわかいしゅうとあげたそうです。	凧	文学	春	
1179	学図	5	下	父ちゃんの凧	5	父は、凧をあげるのも大好きで、五月のお節句の凧あげ大会には、たたみ二まいぐらいもある大きなのを作って、町のわかいしゅうとあげたそうです。	五月のお節句	文学	夏	
1180	学図	5	下	父ちゃんの凧	5	父は、凧をあげるのも大好きで、五月のお節句の凧あげ大会には、たたみ二まいぐらいもある大きなのを作って、町のわかいしゅうとあげたそうです。	凧	文学	春	
1181	学図	5	下	父ちゃんの凧	5	凧あげ大会が近づくと、父はもう仕事が手につかなくなったといいます。	凧	文学	春	
1182	学図	5	下	父ちゃんの凧	5	凧のほねにする竹を山に切りに行ったり、それを組み立てたり、絵をかいたり、その紙をはったり、糸目を付け	凧	文学	春	

						たり、しっぽをさげたり。				
1183	学図	5	下	父ちゃんの凧	6	わたしが母のおなかにできた時、父はとても喜んで、生まれてくる子は、もう男の子だと勝手に決めちゃって、どんな凧を作ってやろうかと、うれしそうにしょっちゅう考えていたそうです。	凧	文学	春	
1184	学図	5	下	父ちゃんの凧	7	それでも、父は、わたしのために凧を作ってくれたのです。	凧	文学	春	
1185	学図	5	下	父ちゃんの凧	7	それが、この六角凧なんです。	凧	文学	春	
1186	学図	5	下	父ちゃんの凧	7	父ったら、まるで、その凧の絵に合わせるみたいに、わたしに友江と名前を付けたんです。	凧	文学	春	
1187	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	ところが、父ときたらのん気なもので、兵隊として中国に行ってまでも、凧を作っていたんですって。	凧	文学	春	
1188	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	父は、中国の少年がむかで凧をあげているのを見つけると、すっかり興ふんしちゃって、それを手に取って見せてもらったそうです。	凧	文学	春	
1189	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	むかで凧というのは、小さな円の凧を何まいもつなげたものです。	凧	文学	春	
1190	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	むかで凧というのは、小さな円の凧を何まいもつなげたものです。	凧	文学	春	
1191	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	凧好きの父でしたが、むかで凧を見るのは、初めてだったそうです。	凧	文学	春	
1192	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	凧好きの父でしたが、むかで凧を見るのは、初めてだったそうです。	凧	文学	春	
1193	学図	5	下	父ちゃんの凧	9	凧は日本だけのものではなく、世界じゅうどこにもあるんだということを知った、父の感激はどんなだったでしょう。	凧	文学	春	
1194	学図	5	下	父ちゃんの凧	10	父が糸の付け方や、凧と凧のつなげ方や、バランスのとり方などを、あまり熱心にいつまでも見ているので、少年は、凧を取られやしないかと心配したそうです。	凧	文学	春	

1195	学図	5	下	父ちゃんの凧	10	父が糸の付け方や、凧と凧のつなげ方や、バランスのとり方などを、あまり熱心にいつまでも見ているので、少年は、凧を取られやしないかと心配したそうです。	凧	文学	春	
1196	学図	5	下	父ちゃんの凧	10	父が糸の付け方や、凧と凧のつなげ方や、バランスのとり方などを、あまり熱心にいつまでも見ているので、少年は、凧を取られやしないかと心配したそうです。	凧	文学	春	
1197	学図	5	下	父ちゃんの凧	10	戦地では、凧作りの材料を集めるのも大変でしたが、父の熱心さに戦友たちも協力して、竹や紙やひもなどをさがしてくれたそうです。	凧	文学	春	
1198	学図	5	下	父ちゃんの凧	10	父は、どんな短い休み時間ものがさずに、こつこつ働いて、五十まいもの凧を作ったそうです。	凧	文学	春	
1199	学図	5	下	父ちゃんの凧	11	その凧をあげた時のそう観さといったら。	凧	文学	春	
1200	学図	5	下	父ちゃんの凧	12	巴御前の凧は、一日じゅうよくあがっていたそうです。	凧	文学	春	
1201	学図	5	下	父ちゃんの凧	13	国の子どもたちも、凧をあげているだろうか。	凧	文学	春	
1202	学図	5	下	父ちゃんの凧	13	凧を見ながら、兵隊たちは、いろんなことを考えていたといいます。	凧	文学	春	
1203	学図	5	下	父ちゃんの凧	13	夕方になって、父が凧をおろそうとした時です。	凧	文学	春	
1204	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	父は、その場にばったりたおれ、父の手をはなれた凧は、ひもを引きずりながら、どこまでもどこまでも飛んでいってしまったそうです。	凧	文学	春	
1205	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	遠い山なみのみねに雪がかがやいていて、巴御前の凧は、夕焼けにそまりながら、ぐんぐん小さくなっていったそうです。	雪	文学	冬	
1206	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	遠い山なみのみねに雪がかがやいていて、巴御前の凧は、夕焼けにそまりながら、ぐんぐん小さくなっていったそうです。	夕焼け	文学	夏	
1207	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	遠い山なみのみねに雪がかがやいていて、巴御前の凧は、夕焼けにそまりながら、ぐんぐん小さくなっていったそうです。	凧	文学	春	

1208	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	わたしは、その凧を見たわけではありませんのに、それが今でもはっきり見えるような気がします。	凧	文学	春	
1209	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	だって、敵の凧が、わがもの顔で、自分たちの空を飛んでいるんですもの。	凧	文学	春	
1210	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	敵も味方もなく、世界の国々のいろんな凧が仲良くあげられたら、どんなにいいでしょう。	凧	文学	春	
1211	学図	5	下	父ちゃんの凧	14	この六角凧を見ていると、顔も覚えていない父の、そんな夢が伝わってくるような気がします。	凧	文学	春	
1212	学図	5	下	四年生で学習した漢字	17	卒業まで、泣いても笑ってもあと一年あまりだ。	卒業	その他	春	
1213	学図	5	下	四年生で学習した漢字	17	寒さで手足の感覚が失われた。	寒さ	その他	冬	
1214	学図	5	下	和紙の心	25	和紙の原料は、コウゾ・ミツマタ・ガンピなどの木の皮です。	コウゾ	非文学	春	
1215	学図	5	下	和紙の心	25	和紙の原料は、コウゾ・ミツマタ・ガンピなどの木の皮です。	ミツマタ	非文学	夏	
1216	学図	5	下	和紙の心	25	アサを用いることもありますし、沖縄県ではゲットウという植物を用いて作った紙もあります。	アサ	非文学	夏	
1217	学図	5	下	和紙の心	29	まず、空気や光を通しやすい性質を生かしたものの代表としては、障子があります。	障子	非文学	冬	
1218	学図	5	下	和紙の心	29	この、光と空気を通しやすい性質を利用して、和紙は昔からちょうちんや灯ろうなどの照明器具にも使われてきました。	灯ろう	非文学	秋	
1219	学図	5	下	和紙の心	31	折り紙・めんこ・かるた・凧などは、子どもの遊びの中で活やくしてきました。	かるた	非文学	新年	
1220	学図	5	下	和紙の心	31	折り紙・めんこ・かるた・凧などは、子どもの遊びの中で活やくしてきました。	凧	非文学	春	
1221	学図	5	下	和紙の心	31	せんすやうちわ、おみくじなど、今でも生活の中で使われているものもあります。	せんす	非文学	夏	
1222	学図	5	下	和紙の心	31	せんすやうちわ、おみくじなど、今でも生活の中で使われているものもあります。	うちわ	非文学	夏	

1223	学図	5	下	調べたことをもとにポスターセッションを開こう	34	この町に伝わる、「虫おくり」のお祭りがいいな。	祭り	その他	夏	
1224	学図	5	下	伝えることをはっきりと	48	学校から帰ったときに、「今日は帰りがおそくなるので、玉ねぎを買っておいてね。」というメモがありました。	玉ねぎ	その他	夏	
1225	学図	5	下	伝えることをはっきりと	48	母が用事でおそくなるのだなと思ったわたしは、すぐに八百屋さんへ玉ねぎを買いに行きました。	玉ねぎ	その他	夏	
1226	学図	5	下	伝えることをはっきりと	48	玉ねぎを買って家に帰ると、妹が玉ねぎをふくろから出しているところでした。	玉ねぎ	その他	夏	
1227	学図	5	下	伝えることをはっきりと	48	どうやら、同じメモを見た妹も、私と同じように玉ねぎを買ってしまったのです。	玉ねぎ	その他	夏	
1228	学図	5	下	伝えることをはっきりと	48	このメモは、母が家のだれかに向けて書いたものですが、「家のだれか」が書いてなかったために、メモを見た妹もわたしも、同じように玉ねぎを買ってしまったのです。	玉ねぎ	その他	夏	
1229	学図	5	下	伝えることをはっきりと	49	八百屋さんで玉ねぎを買う。	玉ねぎ	その他	夏	
1230	学図	5	下	伝えることをはっきりと	49	でも材料が足りないので、お姉さんは八百屋さんと肉屋さんで玉ねぎと牛肉を買ってきてください。	玉ねぎ	その他	夏	
1231	学図	5	下	言葉のいずみ２	54	魚をとるのが上手な鵜を見ていたからすが、自分もやってみようと思って、水に飛びこんだら、おぼれてしまいました。	鵜	その他	夏	
1232	学図	5	下	言葉のいずみ２	54	このことを、「鵜のまねをするからす」といいます。	鵜	その他	夏	
1233	学図	5	下	言葉のいずみ２	54	暑さも寒さもひがんまで	暑さ	その他	夏	
1234	学図	5	下	言葉のいずみ２	54	暑さも寒さもひがんまで	寒さ	その他	冬	
1235	学図	5	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	56	台風の勢力は、なかなかおとろえません。	台風	非文学	秋	
1236	学図	5	下	四年生で学習した漢字	69	天然のうなぎはとてもおいしい。	うなぎ	その他	夏	
1237	学図	5	下	言葉のきまり２	73	まるで綿のようにやわらかい。	綿	その他	秋	
1238	学図	5	下	木竜うるし（人形げき）	78	小鳥の鳴き声がピーチクピーチク。	小鳥	文学	秋	
1239	学図	5	下	木竜うるし（人形げき）	82	大きななまずが、とつぜんにょろりととび出して消えていく。	なまず	文学	夏	

1240	学図	5	下	四年生で学習した漢字	93	夏は冷たいものの食べすぎに注意する。	夏	その他	夏	
1241	学図	5	下	四年生で学習した漢字	93	かれ葉の散る歩道を歩く。	かれ葉	その他	冬	
1242	学図	5	下	四年生で学習した漢字	93	お堂の屋根に雪が積もっている。	雪	その他	冬	
1243	学図	5	下	四年生で学習した漢字	93	リボンを結んだ風船を空に飛ばした。	風船	その他	春	
1244	学図	5	下	小鳥を好きになった山	95	それから春がめぐってくるたびに，一羽の小鳥が山を訪れるようになった。	小鳥	文学	秋	
1245	学図	5	下	まんじゅうこわい	98	おれはなんといっても、へびが、きらいだねえ。	へび	文学	夏	
1246	学図	5	下	まんじゅうこわい	98	おれは、たぬきだ。	たぬき	文学	冬	
1247	学図	5	下	まんじゅうこわい	98	おれは、くもが、きらいだねえ。	くも	文学	夏	
1248	学図	5	下	まんじゅうこわい	99	やっぱり、こうもりだよ、こうもり。	こうもり	文学	夏	
1249	学図	5	下	まんじゅうこわい	99	やっぱり、こうもりだよ、こうもり。	こうもり	文学	夏	
1250	学図	5	下	まんじゅうこわい	99	おれは、毛虫が、きらいだ。	毛虫	文学	夏	
1251	学図	5	下	まんじゅうこわい	99	ありが、いやだねえ。	あり	文学	夏	
1252	学図	5	下	まんじゅうこわい	100	「じゃあ、松つぁんは、へびやお化けは、こわくないのかい？」	へび	文学	夏	
1253	学図	5	下	まんじゅうこわい	100	へびなんてものは、頭のいたい時に、頭にまけばいいんだよ。	へび	文学	夏	
1254	学図	5	下	まんじゅうこわい	100	へびの方で、勝手にしめてくれるから、冷たくって、気持ちがいいや。	へび	文学	夏	
1255	学図	5	下	まんじゅうこわい	100	たぬきが、化けるう？	たぬき	文学	冬	
1256	学図	5	下	まんじゅうこわい	100	くもなんてものは、糸を出させて、なっとうに混ぜれば、ねばりがでらあ。	くも	文学	夏	
1257	学図	5	下	まんじゅうこわい	101	こうもりなんか、何びきかつかまえて、まとめて、かさにしちゃうね。	こうもり	文学	夏	
1258	学図	5	下	まんじゅうこわい	101	毛虫は、はしに結び付けて、歯ブラシだ。	毛虫	文学	夏	
1259	学図	5	下	まんじゅうこわい	101	ありなんぞは、まとめておいて、ごまのかわりに、ご飯にまくよ。	あり	文学	夏	
1260	学図	5	下	まんじゅうこわい	101	ありなんぞは、まとめておいて、ごまのかわりに、ご飯にまくよ。	ごま	文学	秋	

1261	学図	5	下	まんじゅうこわい	101	まあ、ごまが、動き回って、食べづらいだろうけど。	ごま	文学	秋	
1262	学図	5	下	まんじゅうこわい	104	栗まんじゅう	栗	文学	秋	
1263	学図	5	下	まんじゅうこわい	104	よもぎまんじゅう	よもぎ	文学	春	
1264	学図	5	下	まんじゅうこわい	107	栗まんじゅうだ！	栗	文学	秋	
1265	学図	5	下	まんじゅうこわい	107	栗がむぐむぐ、うーん、栗もこわい！	栗	文学	秋	
1266	学図	5	下	授業で使う言葉	110	凧あげ大会が近づくと、父はもう仕事が手につかなくなったといいます。	凧	その他	春	
1267	学図	5	下	授業で使う言葉	110	凧のほねにする竹を山に切りに行ったり、それを組み立てたり、絵をかいたり、その紙をはったり、糸目を付けたり、しっぽをさげたり。	凧	その他	春	
1268	学図	5	下	授業で使う言葉	110	「父」の凧作りに対する思いや心情を想像することができます。	凧	その他	春	
1269	学図	5	下	授業で使う言葉	110	小鳥の鳴き声がピーチクピーチク。	小鳥	その他	秋	
1270	学図	5	下	ことわざ・故事成語	132	一年の計は元旦にあり	元旦	その他	新年	
1271	学図	5	下	ことわざ・故事成語	132	桃栗三年柿八年	桃	その他	秋	
1272	学図	5	下	ことわざ・故事成語	132	桃栗三年柿八年	栗	その他	秋	
1273	学図	5	下	ことわざ・故事成語	132	桃栗三年柿八年	柿	その他	秋	
1274	学図	5	下	注文の多い料理店	83	……二人は寒さにぶるぶるふるえて、草の中に立っていました。	寒さ	文学	冬	
1275	学図	6	上	今日からはじまる	7	子犬も小鳥も草の芽も	小鳥	その他	秋	
1276	学図	6	上	どこかで春が	8	どこかで「春」が	春	その他	春	
1277	学図	6	上	どこかで春が	9	どこかで雲雀が	雲雀	その他	春	
1278	学図	6	上	どこかで春が	9	山の三月	三月	文学	春	
1279	学図	6	上	どこかで春が	9	東風吹いて	東風	文学	春	
1280	学図	6	上	どこかで春が	9	どこかで「春」が	春	その他	春	
1281	学図	6	上	あの坂をのぼれば	10	草いきれがむっと立ちこめる山道である。	草いきれ	文学	夏	
1282	学図	6	上	あの坂をのぼれば	14	手のひらをすぼめて受け止めると、それは、雪のようなひとひらの羽毛だった。	雪	その他	冬	
1283	学図	6	上	依頼状を書こう	28	若葉の緑がきれいな季節となりました。	若葉	その他	夏	

1284	学図	6	上	依頼状を書こう	28	若葉の緑がきれいな季節となりました。	若葉の緑	非文学	夏	
1285	学図	6	上	言葉のきまり１	30	これは、きつねの巣だろうか。それとも、たぬきの巣だろうか。	きつね	その他	冬	
1286	学図	6	上	言葉のきまり１	30	これは、きつねの巣だろうか。それとも、たぬきの巣だろうか。	たぬき	その他	冬	
1287	学図	6	上	五年生で学習した漢字「	47	年賀状に似顔絵を書く。	年賀状	その他	新年	
1288	学図	6	上	夢に向かって	55	おかにはえぞまつや…緑の山はだや牧場をぬうようにどこまでも続いています。	緑	文学	夏	
1289	学図	6	上	夢に向かって	57	庭のからみあったかえでととうひの木には、「恋人たち」という名を名をつけました。」	かえで	非文学	秋	
1290	学図	6	上	夢に向かって	57	「秋」と題した初めての自作の詩を、モードは訪ねてきた父親に読んで聞かせました。	秋	非文学	秋	
1291	学図	6	上	夢に向かって	58	モードは落ちこみましたが…星や花や夕日などを題材にした詩をたくさん作りました。	花	文学	春	
1292	学図	6	上	夢に向かって	59	にじ色のかがやきに包まれて	にじ	非文学	夏	
1293	学図	6	上	夢に向かって	60	一八九〇年の初夏、モードはキャベンディッシュをはなれることになりました。	初夏	非文学	夏	
1294	学図	6	上	夢に向かって	64	朝の六時に起き、いちばん厚手のコートを着こんでブーツをはき、手ぶくろをはめて机に向かいました。	手ぶくろ	非文学	冬	
1295	学図	6	上	夢に向かって	64	一九〇一年の秋、モードは友人の紹介で、ハリファックス市の新聞デイリー・エコーで女性記者として働ける機会を得ました。	秋	非文学	秋	
1296	学図	6	上	夢に向かって	66	一九〇四年の晩春、雨上がりの窓辺のテーブルについて、モードはアンの物語に取りかかりました。	晩春	非文学	春	
1297	学図	6	上	夢に向かって	67	このときモードは三十四才、プリンスエドワード島には初夏のさわやかな風がふいていました。	初夏	非文学	夏	
1298	学図	6	上	短歌と俳句	75	春過ぎて夏きたるらし白たへの衣ほしたり天の香具山	春	文学	春	
1299	学図	6	上	短歌と俳句	75	春過ぎて夏きたるらし白たへの衣ほしたり天の香具山	夏	非文学	夏	
1300	学図	6	上	短歌と俳句	75	若葉の季節の山に、真っ白な衣が干されている、という	若葉	非文学	夏	

						短歌です。				
1301	学図	6	上	短歌と俳句	76	万緑やの中や吾子の歯生えそむる	万緑	文学	夏	
1302	学図	6	上	短歌と俳句	76	「万緑」は、初夏、若葉の季節の一面の緑のことです。	初夏	非文学	夏	
1303	学図	6	上	短歌と俳句	76	「万緑」は、初夏、若葉の季節の一面の緑のことです。	若葉	非文学	夏	
1304	学図	6	上	短歌と俳句	76	「万緑」は、初夏、若葉の季節の一面の緑のことです。	緑	文学	夏	
1305	学図	6	上	短歌と俳句	76	その、一面の緑の中に、…との意味です。	緑	文学	夏	
1306	学図	6	上	短歌と俳句	77	親としての喜びを表現した俳句ですが、緑・白・赤の対比が、実にあざやかです。	緑	文学	夏	
1307	学図	6	上	短歌と俳句	77	ひまはりは金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ	ひまはり	文学	夏	
1308	学図	6	上	短歌と俳句	77	この短歌は、ゴッホのひまわりの絵をもとにして作られたようです。	ひまはり	非文学	夏	
1309	学図	6	上	短歌と俳句	77	ひまわりの花と真夏の太陽。	ひまわり	非文学	夏	
1310	学図	6	上	短歌と俳句	77	ひまわりの花と真夏の太陽。	真夏	非文学	夏	
1311	学図	6	上	短歌と俳句	77	だいたんな遠近法で、金色のひまわりの花の方が太陽よりも大きく見える、というのです。	ひまわり	非文学	夏	
1312	学図	6	上	短歌と俳句	78	菜の花や月は東に日は西に	菜の花	文学	春	
1313	学図	6	上	短歌と俳句	78	一面の菜の花花畑。	菜の花	非文学	春	
1314	学図	6	上	短歌と俳句	78	季節は春、時刻は夕方です。	春	非文学	春	
1315	学図	6	上	短歌と俳句	78	十本や二十本の菜の花ではありません。	菜の花	非文学	春	
1316	学図	6	上	短歌と俳句	78	何万、何十万もの菜の花が、地平線まで続いており、そこに、夕日が赤く差しているのです。	菜の花	非文学	春	
1317	学図	6	上	短歌と俳句	79	赤い椿白い椿と落ちにけり	赤い椿	文学	春	
1318	学図	6	上	短歌と俳句	79	赤い椿白い椿と落ちにけり	白い椿	文学	春	
1319	学図	6	上	短歌と俳句	79	金色のちひさき鳥のかたちして銀杏ちるなり夕日のおかに	銀杏	文学	秋	
1320	学図	6	上	言葉で遊ぼう	80	秋になって，プールがら空き	秋	その他	秋	
1321	学図	6	上	言葉で遊ぼう	81	レモンは	レモン	その他	秋	
1322	学図	6	上	言葉で遊ぼう	81	レモンは	レモン	その他	秋	

1323	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	88	「かえで」など	かえで	その他	秋	
1324	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	89	今日はとても暑い	暑い	その他	夏	
1325	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	89	暑い	暑い	その他	夏	
1326	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	94	桃栗三年柿八年	桃	その他	秋	
1327	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	94	桃栗三年柿八年	栗	その他	秋	
1328	学図	6	上	言葉のおもしろさ大研究	94	桃栗三年柿八年	柿	その他	秋	
1329	学図	6	上	ロシアパン	113	大きなきりの葉が、白い秋の日の光を受けてかさかさゆれると、なにかその辺がものさびしく見えるのであった。	秋	文学	秋	
1330	学図	6	下	なだれ	1	峯の雪が裂け	雪	文学	冬	
1331	学図	6	下	なだれ	1	雪がなだれる	雪	文学	冬	
1332	学図	6	下	なだれ	1	そのなだれに	なだれ	文学	春	
1333	学図	6	下	なだれ	1	熊が乗っている	熊	文学	冬	
1334	学図	6	下	なだれ	1	そこに一ぴきの熊がいる	熊	文学	冬	
1335	学図	6	下	山へ行く牛	4	かきの木には子牛がつながれ、心細い声で鳴き立てていた。	かき	文学	秋	
1336	学図	6	下	山へ行く牛	4	島子は、母の手の下をくぐりぬけて、わら束のたき火をしている芳太郎じいさんに、「何すんの？たき火なんかたいたりして。」と、口をとがらせた。	たき火	文学	冬	
1337	学図	6	下	山へ行く牛	6	秋になって草がかれると、島子は、ブラシをかけたり、水を運んだり、しきわらを入れたりするのが仕事になっていた。	草がかれる	文学	秋	
1338	学図	6	下	山へ行く牛	8	横目で人間たちをにらみながら、右に左に動くので、かきの木のこずえがゆれていた。	かき	文学	秋	
1339	学図	6	下	山へ行く牛	10	それから田植えや。	田植え	文学	夏	
1340	学図	6	下	山へ行く牛	11	今年の冬だけは、うちに置いてやって。	冬	文学	冬	
1341	学図	6	下	山へ行く牛	11	村では、来年の初夏まで耕牛の用がない。	初夏	文学	夏	
1342	学図	6	下	山へ行く牛	11	村では、来年の初夏まで耕牛の用がない。	耕牛	文学	春	
1343	学図	6	下	山へ行く牛	11	麦をまきつけてしまった後、牛は一日じゅうねているこ	麦	文学	夏	

						とになる。				
1344	学図	6	下	山へ行く牛	11	それでは体がなまるというので、春までの間、山の村へ貸してやる。	春	文学	春	
1345	学図	6	下	山へ行く牛	11	牛たちにとっては、冬の間も、休みのない重労働が待っていた。	冬	文学	冬	
1346	学図	6	下	山へ行く牛	11	土手の下の島子の家でも、母牛の背中に、麦を入れた二つのふくろを積んだ。	麦	文学	夏	
1347	学図	6	下	山へ行く牛	11	冬の間の食料だった。	冬	文学	冬	
1348	学図	6	下	山へ行く牛	12	四月になったら、また会えるやないの。	四月	文学	春	
1349	学図	6	下	山へ行く牛	13	耕牛として二頭も必要ではなかった。	耕牛	文学	春	
1350	学図	6	下	山へ行く牛	13	春になって親牛がもどってきたとしても、子牛は、もう家にはいない。	春	文学	春	
1351	学図	6	下	山へ行く牛	14	北村のおじさんは、まず「おけかぶり」を見つけ、そばでぐったりしてしゃがんでいるもんぺすがたの島子を見つけた。	もんぺ	文学	冬	
1352	学図	6	下	山へ行く牛	15	おととしの秋、父が牛を引いてきた時には、島子は、くらの上に乗っけてもらってやって来た。	秋	文学	秋	
1353	学図	6	下	山へ行く牛	15	ほんまはね、冬の間ゆっくり休ませたかったんよ。	冬	文学	冬	
1354	学図	6	下	山へ行く牛	15	大事にして、春にうんと太らせとくことにしよう。	春	文学	春	
1355	学図	6	下	山へ行く牛	16	そして、ふとのぞきこむと、腹の下に二ひきのあぶが、ふくれ上がって血をすっていた。	あぶ	文学	春	
1356	学図	6	下	山へ行く牛	16	春になって帰ってきたら、また、堤防の草を食べに連れてったるよってにな。	春	文学	春	
1357	学図	6	下	山へ行く牛	17	春には、炭だの、くりだの、しいたけを、背中に積んで帰ってもらうでよ。	炭	文学	冬	
1358	学図	6	下	山へ行く牛	17	春には、炭だの、くりだの、しいたけを、背中に積んで帰ってもらうでよ。	くり	文学	秋	
1359	学図	6	下	山へ行く牛	17	春には、炭だの、くりだの、しいたけを、背中に積んで帰ってもらうでよ。	しいたけ	文学	秋	

1360	学図	6	下	山へ行く牛	18	あんねえ、まるまるの大根だけはやらんといてなあ。	大根	文学	冬	
1361	学図	6	下	五年生で学習した漢字	21	雪解け水が河川に流れこむ。	雪解け	その他	春	
1362	学図	6	下	言葉の泉１	22	氷が解ける。	氷	その他	冬	
1363	学図	6	下	こんなときどうする？（話し合いの進め方）	24	「子供遊び祭り」について話し合っています。	祭り	その他	夏	
1364	学図	6	下	五年生で学習した漢字	37	桜の大木のそばに銅像を築く。	桜	その他	春	
1365	学図	6	下	言葉のきまり１	44	初雪が降った山頂が、白く光っている。	初雪	その他	冬	
1366	学図	6	下	言葉のきまり１	44	初雪が降った	初雪	その他	冬	
1367	学図	6	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	47	花のみつを吸いに、ちょうがたくさんやってきます。	ちょう	その他	春	
1368	学図	6	下	ニュースを読み解こう	50	なだれで三人ゆくえ不明	なだれ	非文学	春	
1369	学図	6	下	ニュースを読み解こう	50	体長二メートルのカニ水あげ	カニ	非文学	夏	
1370	学図	6	下	ニュースを読み解こう	52	「こたつ」火災が起きるまでの図をかいたパネル	こたつ	非文学	冬	
1371	学図	6	下	ニュースを読み解こう	52	こたつのつけっぱなしには気をつけないといけない。	こたつ	非文学	冬	
1372	学図	6	下	ニュースを読み解こう	53	「こたつ」火災でお年寄りがなくなるという火事が、去年から今年にかけて相次いでいる。	こたつ	非文学	冬	
1373	学図	6	下	ニュースを読み解こう	53	その「こたつ」火災が起きてしまうしくみの解説と、火事を起こさないための注意の呼びかけ。	こたつ	非文学	冬	
1374	学図	6	下	「連詩」を発見する	63	暑さがやわらぎ	暑さ	文学	夏	
1375	学図	6	下	「連詩」を発見する	63	赤とんぼ	赤とんぼ	文学	秋	
1376	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	赤とんぼの数が増え	赤とんぼ	文学	秋	
1377	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	近くの野山が秋色に	秋色	文学	秋	
1378	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	野山にひびく虫の声	虫	文学	秋	
1379	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	秋の感じを教えてくれる	秋	文学	秋	
1380	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	きれいなもみじもだんだん散って	もみじ	文学	秋	
1381	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	もう冬の始まりです	冬	文学	冬	
1382	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	動物たちも冬ごもり	冬	文学	冬	
1383	学図	6	下	「連詩」を発見する	64	寒さが身にしみる季節になって	寒さ	文学	冬	
1384	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	卒業に向けて	卒業	文学	春	
1385	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	笑って卒業できるかな	卒業	文学	春	

1386	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	みんなの連想が、赤とんぼ→虫の声→秋の海→最後の持久走大会→卒業に向けて→新しい一歩、と動いていっているのが分かります。	赤とんぼ	その他	秋	
1387	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	みんなの連想が、赤とんぼ→虫の声→秋の海→最後の持久走大会→卒業に向けて→新しい一歩、と動いていっているのが分かります。	虫	その他	秋	
1388	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	みんなの連想が、赤とんぼ→虫の声→秋の海→最後の持久走大会→卒業に向けて→新しい一歩、と動いていっているのが分かります。	秋	その他	秋	
1389	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	みんなの連想が、赤とんぼ→虫の声→秋の海→冬の始まり→最後の持久走大会→卒業に向けて→新しい一歩、と動いていっているのが分かります。	冬	その他	冬	
1390	学図	6	下	「連詩」を発見する	65	みんなの連想が、赤とんぼ→虫の声→秋の海→最後の持久走大会→卒業に向けて→新しい一歩、と動いていっているのが分かります。	卒業	その他	春	
1391	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	76	例えば、養蚕業を考えてみましょう。	養蚕	非文学	春	
1392	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	76	蚕から絹を作ることは日本でも古くから行われてきましたが、三千年以上前にすでに中国で行われていました。	蚕	非文学	春	
1393	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	76	今でも世界一の養蚕国は中国であり、そのほかインドや朝鮮半島でもさかんに行われています。	養蚕	非文学	春	
1394	学図	6	下	言葉の泉２	77	「かえで」は、葉の形がかえるの手に似ていることから、「かえるで→かえで」となってできた言葉です。	かえで	その他	秋	
1395	学図	6	下	言葉の泉２	77	「かえで」は、葉の形がかえるの手に似ていることから、「かえるで→かえで」となってできた言葉です。	かえる	その他	春	
1396	学図	6	下	言葉の泉２	77	「かえで」は、葉の形がかえるの手に似ていることから、「かえるで→かえで」となってできた言葉です。	かえる	その他	春	
1397	学図	6	下	言葉の泉２	77	「かえで」は、葉の形がかえるの手に似ていることから、	かえで	その他	秋	

						「かえるで→かえで」となってできた言葉です。				
1398	学図	6	下	言葉の泉２	77	やつで	やつで	その他	冬	
1399	学図	6	下	言葉の泉２	77	ひまわり	ひまわり	その他	夏	
1400	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	77	さらに、あの最も日本らしいものと考えられている納豆さえも、東南アジア大陸部の山岳地帯から、ブータンやインド東北部、ネパールなどのヒマラヤ地域のかけて同じようなものが作られています。	納豆	非文学	冬	
1401	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	77	インド東北部での納豆作り	納豆	非文学	冬	
1402	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	77	中国の茶つみ	茶つみ	非文学	春	
1403	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	78	長崎県のおくんち祭り	祭り	非文学	夏	
1404	学図	6	下	アジアを見つめる、アジアから考える	78	日本でも古くから行われてきた養蚕業は、中国やインド、朝鮮半島でも行われている。	養蚕	非文学	春	
1405	学図	6	下	五年生で学習した漢字	83	桜の木の根元から大判小判が出てきた。	桜	その他	春	
1406	学図	6	下	五年生で学習した漢字	83	寒いので、毛布を一枚増やしてねる。	寒い	その他	冬	
1407	学図	6	下	五年生で学習した漢字	83	寒いので、毛布を一枚増やしてねる。	毛布	その他	冬	
1408	学図	6	下	五年生で学習した漢字	83	桜を見物に来る人があとを絶たない。	桜	その他	春	
1409	学図	6	下	言葉のきまり２	86	見ると、小皿に、むき実のあわのつぶが、山盛りになっています。	あわ	その他	秋	
1410	学図	6	下	言葉のきまり２	86	よし子さんは、むき実のあわにお湯をかけてしめれせました。	あわ	その他	秋	
1411	学図	6	下	言葉のきまり２	86	そのあわを、まだ温かいうちに指先でつまんで、ひなのくちばしをやさしくつつくようにしました。	あわ	その他	秋	
1412	学図	6	下	言葉のきまり２	86	ひなは、大きな口を開けて、よし子さんの指先のあわを食べました。	あわ	その他	秋	
1413	学図	6	下	このすばらしい世界	90	蜃気楼のようにうかび上がった小さな町にたどり着いた時、一頭の年老いたロバと出会った。	蜃気楼	文学	春	

1414	学図	6	下	このすばらしい世界	92	ロバがついていくと、りんごの木の下で立ち止まった。	りんご	文学	秋	
1415	学図	6	下	このすばらしい世界	92	人間はりんごを食べるだけじゃないんだ。	りんご	文学	秋	
1416	学図	6	下	このすばらしい世界	93	男は手ぶくろの手でりんごをもぐと、キスをした。	りんご	文学	秋	
1417	学図	6	下	このすばらしい世界	96	男はりんごを目の前に持ち上げた。	りんご	文学	秋	
1418	学図	6	下	このすばらしい世界	97	この知えの実がささやいたんだ。	りんご	文学	秋	
1419	学図	6	下	このすばらしい世界	97	男はりんごを額にくっつけた。	りんご	文学	秋	
1420	学図	6	下	このすばらしい世界	98	りんごがうまいかは分かるがね。	りんご	文学	秋	
1421	学図	6	下	このすばらしい世界	102	男はロバの口にりんごをわたすと、「共に生きるおまえたちのために。」そう言って、空っぽの木を後にした。	りんご	文学	秋	
1422	学図	6	下	ここまでに出た漢字の読みかえ	104	じゃがいもは保存食です。	じゃがいも	その他	秋	
1423	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	梅一輪一輪ほどの暖かさ	梅	文学	春	
1424	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	梅一輪一輪ほどの暖かさ	暖かさ	文学	春	
1425	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	目には青葉山ほととぎす初がつを	青葉	文学	夏	
1426	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	目には青葉山ほととぎす初がつを	山ほととぎす	文学	夏	
1427	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	目には青葉山ほととぎす初がつを	初がつを	文学	夏	
1428	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	雪とけて村いっぱいの子どもかな	雪とけて	文学	春	
1429	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ	春	文学	春	
1430	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ	花の散る	文学	春	
1431	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	この里に手まりつきつつ子どもらと遊ぶ春日はくれずともよし	春日	文学	春	
1432	学図	6	下	四季のうたに親しもう	130	汽車の旅とある野中の停車場の夏草の香のなつかしかりき	夏草	文学	夏	
1433	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	夏河をこすうれしさよ手にざうり	夏河	文学	夏	
1434	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	朝顔につるべとられてもらひ水	朝顔	文学	秋	
1435	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	かき食へばかねが鳴るなり法隆寺	かき	文学	秋	
1436	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	名月をとってくれろとなく子かな	名月	文学	秋	
1437	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	旅にやんで夢は枯れ野をかけめぐる	枯れ野	文学	冬	
1438	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる	秋	文学	秋	

1439	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲	秋	文学	秋	
1440	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	白鳥は哀しからずや空の青海の青にも染まずただよふ	白鳥	文学	冬	
1441	学図	6	下	四季のうたに親しもう	131	田子の浦ゆうちいでてみれば真白にそ富士の高ねに雪は降りける	雪	文学	冬	
1442	学図	6	下	季節の言葉集め	132	初日の出	初日の出	その他	新年	
1443	学図	6	下	季節の言葉集め	132	書きぞめ	書きぞめ	その他	新年	
1444	学図	6	下	季節の言葉集め	132	門松	門松	その他	新年	
1445	学図	6	下	季節の言葉集め	132	ぞうに	ぞうに	その他	新年	
1446	学図	6	下	季節の言葉集め	132	とそ	とそ	その他	新年	
1447	学図	6	下	季節の言葉集め	132	鏡もち	鏡もち	その他	新年	
1448	学図	6	下	季節の言葉集め	132	七草がゆ	七草がゆ	その他	新年	
1449	学図	6	下	季節の言葉集め	132	お年玉	お年玉	その他	新年	
1450	学図	6	下	季節の言葉集め	132	凧上げ	凧上げ	その他	新年	
1451	学図	6	下	季節の言葉集め	132	羽根つき	羽根つき	その他	新年	
1452	学図	6	下	季節の言葉集め	132	カルタ	カルタ	その他	新年	
1453	学図	6	下	季節の言葉集め	132	春分	春分	その他	春	
1454	学図	6	下	季節の言葉集め	132	おぼろ月夜	おぼろ月夜	その他	春	
1455	学図	6	下	季節の言葉集め	132	花見	花見	その他	春	
1456	学図	6	下	季節の言葉集め	132	ひな祭り	ひな祭り	その他	春	
1457	学図	6	下	季節の言葉集め	132	入学式	入学式	その他	春	
1458	学図	6	下	季節の言葉集め	132	卒業式	卒業式	その他	春	
1459	学図	6	下	季節の言葉集め	132	つみ草	つみ草	その他	春	
1460	学図	6	下	季節の言葉集め	132	つばめ	つばめ	その他	春	
1461	学図	6	下	季節の言葉集め	132	かえる	かえる	その他	春	
1462	学図	6	下	季節の言葉集め	132	種まき	種まき	その他	春	
1463	学図	6	下	季節の言葉集め	132	ばらの芽	ばらの芽	その他	春	
1464	学図	6	下	季節の言葉集め	132	夏至	夏至	その他	夏	
1465	学図	6	下	季節の言葉集め	132	麦の秋	麦の秋	その他	夏	
1466	学図	6	下	季節の言葉集め	132	新緑	新緑	その他	夏	

1467	学図	6	下	季節の言葉集め	132	梅雨	梅雨	その他	夏	
1468	学図	6	下	季節の言葉集め	132	さみだれ	さみだれ	その他	夏	
1469	学図	6	下	季節の言葉集め	132	ゆかた	ゆかた	その他	夏	
1470	学図	6	下	季節の言葉集め	132	ふうりん	ふうりん	その他	夏	
1471	学図	6	下	季節の言葉集め	132	衣がえ	衣がえ	その他	夏	
1472	学図	6	下	季節の言葉集め	132	土用干し	土用干し	その他	夏	
1473	学図	6	下	季節の言葉集め	132	冷や麦	冷や麦	その他	夏	
1474	学図	6	下	季節の言葉集め	132	夏休み	夏休み	その他	夏	
1475	学図	6	下	季節の言葉集め	132	秋分	秋分	その他	秋	
1476	学図	6	下	季節の言葉集め	132	きくの花	きくの花	その他	秋	
1477	学図	6	下	季節の言葉集め	132	秋晴れ	秋晴れ	その他	秋	
1478	学図	6	下	季節の言葉集め	132	木の実	木の実	その他	秋	
1479	学図	6	下	季節の言葉集め	132	もみじ	もみじ	その他	秋	
1480	学図	6	下	季節の言葉集め	132	落ち葉	落ち葉	その他	冬	
1481	学図	6	下	季節の言葉集め	132	きのこ	きのこ	その他	秋	
1482	学図	6	下	季節の言葉集め	132	虫の声	虫の声	その他	秋	
1483	学図	6	下	季節の言葉集め	132	月見	月見	その他	秋	
1484	学図	6	下	季節の言葉集め	132	文化祭	文化祭	その他	秋	
1485	学図	6	下	季節の言葉集め	132	いねかり	いねかり	その他	冬	
1486	学図	6	下	季節の言葉集め	132	冬至	冬至	その他	冬	
1487	学図	6	下	季節の言葉集め	132	雪	雪	その他	冬	
1488	学図	6	下	季節の言葉集め	132	スキー	スキー	その他	冬	
1489	学図	6	下	季節の言葉集め	132	スケート	スケート	その他	冬	
1490	学図	6	下	季節の言葉集め	132	大みそか	大みそか	その他	新年	
1491	学図	6	下	季節の言葉集め	132	かれ木	かれ木	その他	冬	
1492	学図	6	下	季節の言葉集め	132	年の市	年の市	その他	冬	
1493	学図	6	下	季節の言葉集め	132	こたつ	こたつ	その他	冬	
1494	学図	6	下	季節の言葉集め	132	なべやき	なべやき	その他	冬	
1495	学図	6	下	季節の言葉集め	132	みかん	みかん	その他	冬	

1496	学図	6	下	季節の言葉集め	132	冬眠	冬眠	その他	冬	
1497	学図	6	下	こんなときどうする？（話し合いの進め方）	131	卒業前に、学校のためにできることを話し合っています。	卒業	その他	春	
1498	教出	1	上	おおきなかぶ	64	「あまい、あまい　かぶになれ。おおきな、おおきなかぶに　なれ。」	かぶ	文学	冬	1
1499	教出	1	上	おおきなかぶ	66	「うんとこしょ、どっこいしょ。」それでも、かぶは　ぬけません。	かぶ	文学	冬	1
1500	教出	1	上	おおきなかぶ	69	「うんとこしょ、どっこいしょ。」それでも、かぶは　ぬけません。	かぶ	文学	冬	1
1501	教出	1	上	おおきなかぶ	65	「うんとこしょ、どっこいしょ。」ところが、かぶは　ぬけません。	かぶ	文学	冬	1
1502	教出	1	上	おおきなかぶ	67	「うんとこしょ、どっこいしょ。」まだ　まだ、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
1503	教出	1	上	おおきなかぶ	64	あまそうな、げんきの　いい、とてつもなく　おおきなかぶが　できました。	かぶ	文学	冬	1
1504	教出	1	上	おおきなかぶ	68	いぬが　まごを　ひっぱって、まごが　おばあさんをひっぱって、おばあさんが　おじいさんをひっぱって、おじいさんが　かぶをひっぱって―。	かぶ	文学	冬	1
1505	教出	1	上	はるの　おたより	13	つくし	つくし	その他	春	
1506	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	20	しりとり→りす→すいか	すいか	その他	秋	
1507	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	20	かい→いけ→けむし→しろくま	けむし	その他	夏	
1508	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	20	かい→いか→かき	かき	その他	秋	
1509	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	か	か	その他	夏	
1510	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	しか	しか	その他	秋	
1511	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	ゆり	ゆり	その他	夏	
1512	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	いるか	いるか	その他	冬	
1513	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	へちま	へちま	その他	秋	
1514	教出	1	上	みんなと　たのしくしりとり	21	たぬき	たぬき	その他	冬	
1515	教出	1	上	たのしく　よみましょう　1	24	かきのき　かくから　かきくけこ	かきのき	文学	秋	

				あいうえおの　うた						
1516	教出	1	上	たのしく　よみましょう　1 あいうえおの　うた	25	はるのひ　はなふる　はひふへほ	はるのひ	文学	春	
1517	教出	1	上	たのしく　よみましょう　1 あいうえおの　うた	25	やみよの　やまゆり　やいゆえよ	やまゆり	文学	夏	
1518	教出	1	上	はなしましょう　ききましょう	26	あのね、しいくごやでうさぎをみたよ。	うさぎ	その他	冬	
1519	教出	1	上	はなしましょう　ききましょう	27	うさがは、なにをしていたの。	うさぎ	その他	冬	
1520	教出	1	上	はなしましょう　ききましょう たい、だい	30	かき⇔かぎ	かき	その他	秋	
1521	教出	1	上	はなしましょう　ききましょう たい、だい	31	とんぼ　たんぼ	とんぼ	その他	秋	
1522	教出	1	上	はなしましょう　ききましょう たい、だい	31	さんぽ　たんぽぽ	たんぽぽ	その他	春	
1523	教出	1	上	たのしく　よみましょう　2 がぎぐげごの　うた	32	がぎぐげ　ごぎぐげ　がまがえる	がまがえる	文学	夏	
1524	教出	1	上	けむりの　きしゃ	36	ながれぼしが、おちて　きました。	ながれぼし	文学	秋	
1525	教出	1	上	けむりの　きしゃ	38	おじいさんは、ながれぼしをえんとつの　てっぺんにおきました。	ながれぼし	文学	秋	
1526	教出	1	上	けむりの　きしゃ	41	ながれぼしは、けむりに　のって、そらへ　そらへとのぼって　いきました。	ながれぼし	文学	秋	
1527	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう	42	うさぎが　はねる。	うさぎ	その他	冬	
1528	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう	43	ながれぼしが、おちて　きました。	ながれぼし	その他	秋	
1529	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう	43	かめは、うさぎをおいぬきました。	うさぎ	その他	冬	
1530	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう なつ、なっぱ	44	なつ　なっぱ	なつ	その他	夏	
1531	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう なつ、なっぱ	44	きつね　きって	きつね	その他	冬	
1532	教出	1	上	ぶんを　つくって　みましょう なつ、なっぱ	45	ふうせん	ふうせん	その他	春	

1533	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	46	ばらの　きに、なにか　います。	ばらの　き	非文学	夏	
1534	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	48	しゃくとりむしが、かくれて　いるのです。	しゃくとりむし	非文学	夏	
1535	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	49	かれはの　なかに、なにか　います。	かれは	非文学	冬	
1536	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	50	はねを　とじると、かれはと　そっくりになります。	かれは	非文学	冬	
1537	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	51	にいにいぜみ	にいにいぜみ	非文学	夏	
1538	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	51	おおかまきり	おおかまきり	非文学	秋	
1539	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	51	しょうりょうばった	しょうりょうばった	非文学	秋	
1540	教出	1	上	なにが、かくれて　いるのでしょう	51	とのさまばった	とのさまばった	非文学	秋	
1541	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	54	かたつむりはら　ことみ	かたつむり	その他	夏	
1542	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	54	かたつむりがいたよ。	かたつむり	その他	夏	
1543	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	55	うさぎさかもと　まさし	うさぎ	その他	冬	
1544	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	55	あのね、ぼく、うさぎはだっこできなかったけど、うさぎとあそべたよ。	うさぎ	その他	冬	
1545	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	55	あのね、ぼく、うさぎはだっこできなかったけど、うさぎとあそべたよ。	うさぎ	その他	冬	
1546	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきましょう	56	にじもり　たかし	にじ	その他	夏	
1547	教出	1	上	しらせたい　ことを　かきまし	56	せんせい、あのね、きのう、ぼくは、にじをみたよ。	にじ	その他	夏	

				ょう						
1548	教出	1	上	おおきなかぶ	64	おじいさんが、かぶのたねを　まきました。	かぶ	文学	冬	1
1549	教出	1	上	おおきなかぶ	65	おじいさんは、かぶをぬこうと　しました。	かぶ	文学	冬	1
1550	教出	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	72	よしかわ　あきなつやすみにやまに　のぼりました。	なつやすみ	その他	夏	
1551	教出	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしよう	75	これは、はるから　そだてて　いる　ミニトマトです。	はる	その他	春	
1552	教出	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしようかたかなの　ことばをあつめましょう	77	すいか　アイス	すいか	その他	秋	
1553	教出	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしようかたかなの　ことばをあつめましょう	77	おとうさん　マフラー　トースト　カヌー	マフラー	その他	冬	
1554	教出	1	上	「めいし」で　じこしょうかいしようかたかなの　ことばをあつめましょう	77	とけい　きっぷ　スケート　ヨット	スケート	その他	冬	
1555	教出	1	上	けんかした　山	79	お月さまも　いいました。	お月さま	文学	秋	
1556	教出	1	上	けんかした山	80	たくさんのみどりの木が、あっというまに、火につつまれました。	みどりの木	文学	夏	
1557	教出	1	上	けんかした山	83	山は、すっかりみどりにつつまれました。	みどり	文学	夏	
1558	教出	1	上	かんじは　どのように　してできたのでしょう	84	「月」は、「つき」のかたちから　できたかんじです。	月	その他	秋	
1559	教出	1	上	あたらしくまなんだかんじ	92	月がでる	月	その他	秋	
1560	教出	1	上	ことばのぽけっと　えにっき	98	（ひらの　りか）ぷうる	ぷうる	その他	夏	
1561	教出	1	上	ことばのぽけっと　えにっき	98	たいいくのじかんに、ぷうるにはいりました。	ぷうる	その他	夏	
1562	教出	1	上	はるの　おたより	1	はるの　おたより	はる	その他	春	
1563	教出	1	上	おおきなかぶ	66	おばあさんがおじいさんを　ひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって―。	かぶ	文学	冬	1
1564	教出	1	上	おおきなかぶ	69	ねこが　いぬを　ひっぱって、いぬが　まごを　ひっぱ	かぶ	文学	冬	1

						って、まごが　おばあさんを　ひっぱって、おばあさんが　おじいさんを　ひっぱって、おじいさんが　かぶをひっぱって―。				
1565	教出	1	上	おおきなかぶ	70	ねずみが　ねこを　ひっぱって、ねこが　いぬを　ひっぱって、いぬが　まごを　ひっぱって、まごが　おばあさんを　ひっぱって、おばあさんが　おじいさんを　ひっぱって、おじいさんが　かぶを　ひっぱって―。	かぶ	文学	冬	1
1566	教出	1	上	おおきなかぶ	67	まごが　おばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんを　ひっぱって、おじいさんが　かぶをひっぱって―。	かぶ	文学	冬	1
1567	教出	1	上	おおきなかぶ	71	やっと、かぶはぬけました。	かぶ	文学	冬	1
1568	教出	1	下	てんとうむし	6	てんとうむしかわさき　ひろし	てんとうむし	文学	夏	
1569	教出	1	下	てんとうむし	6	いっぴきでも　てんとうむしだよ	てんとうむし	文学	夏	
1570	教出	1	下	てんとうむし	7	こんにちはって　いってね　そしたら　ぼくも　てんとうむしの　ことばで　こんにちはって　いうから　きみには　きこえないけど	てんとうむし	文学	夏	
1571	教出	1	下	てんとうむし	8	木は　いいな　ことりが　とまりに　くるから。	ことり	文学	秋	
1572	教出	1	下	じゅんじょを　かんがえようかたかな	20	チャイム　チューリップ　チョコレート	チューリップ	非文学	春	
1573	教出	1	下	じゅんじょを　かんがえようかたかな	20	テント　ピーナッツ　マラソン　シーツ	ピーナッツ	その他	秋	
1574	教出	1	下	かん字の　ひろばよう日や　日づけの　よみかた	22	つき（お月さま）	月	その他	秋	
1575	教出	1	下	かん字の　ひろば　よう日や日づけのよみかた	22	「月」は、「つき」のほかに、「げつ」や「がつ」ともよみます。	月	その他	秋	
1576	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	28	白くまの　きょうだいだ。	白くま	文学	冬	
1577	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	28	ふゆの　あいだじゅう、生まれてから　ずっと　すごして　きた　あなの　中と　くらべて、ここは　なんと　あかるい　ことか。	ふゆ	文学	冬	

1578	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	29	二人の　あたまの　うえには、ぬけるような　青いはるの　空が　ひろがっている。	青いはるの　空	文学	春	
1579	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	29	見わたす　かぎり　ひろがる　ゆきのはらの　白さが、まぶしすぎる。	ゆきのはら	文学	冬	
1580	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	30	かあさんぐまは　かんがえて　いる	かあさんぐま	文学	冬	
1581	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	31	水しか　のめなかった　かあさんぐまは、そろそろ　うみへ　もどらないと　からだが　もたなく　なる。	かあさんぐま	文学	冬	
1582	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	32	ゆきの　うえに　うずくまり、かあさんぐまは　じっと耳を　すまし、目を　とじる。	ゆき	文学	冬	
1583	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	32	ゆきの　うえに　うずくまり、かあさんぐまは　じっと耳を　すまし、目を　とじる。	かあさんぐま	文学	冬	
1584	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	33	そして　ある　日、かあさんぐまは　二人を　つれてたびだった。	かあさんぐま	文学	冬	
1585	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	33	ゆきのはらを、こまかな　ゆきが　とぶ　中を　まっすぐにあるく。	ゆきのはら	文学	冬	
1586	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	34	かあさんぐまは、きょうだいを　はげましながら　あるきつづける。	かあさんぐま	文学	冬	
1587	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	36	ふいに、でっかいおすぐまが　すがたを　あらわした。	おすぐま	文学	冬	
1588	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	36	それでも　かあさんぐまは、おもいきって、その　まんまえに　立ちふさがる。	かあさんぐま	文学	冬	
1589	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	37	かわいい　こぐまとめすぐまを　見かけて、ちょいといたずらしたく　なって　いた。	こぐま	文学	冬	
1590	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	37	かわいい　こぐまとめすぐまを　見かけて、ちょいといたずらしたく　なって　いた。	めすぐま	文学	冬	
1591	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	38	かあさんぐまの　おもいは、まちがって　いなかった。	かあさんぐま	文学	冬	
1592	教出	1	下	うみへの　ながい　たび	41	このように　して、なん百　なん千もの　白くまの　おやこが、きたの　うみで、きょうも　くらして　いる……。	白くま	文学	冬	
1593	教出	1	下	かん字を　学ぼうかん字の　ひ	42	火―たき火	たき火	その他	冬	

				ろば②　かわる　よみかた						
1594	教出	1	下	かん字を　学ぼうかん字の　ひろば②　かわる　よみかた	42	車―かざ車	かざ車	その他	春	
1595	教出	1	下	みんなに　つたえようみぶりでつたえる	48	ともだちに、「大きな　さつまいもを　ほったよ。」とはなす　とき、さつまいもの　ながさや　ふとさを　りょう手で　あらわせば、その　大きさが　よく　つたわります。	さつまいも	その他	秋	
1596	教出	1	下	みんなに　つたえようみぶりでつたえる	48	ともだちに、「大きな　さつまいもを　ほったよ。」とはなす　とき、さつまいもの　ながさや　ふとさを　りょう手で　あらわせば、その　大きさが　よく　つたわります。	さつまいも	その他	秋	
1597	教出	1	下	みんなに　つたえようみぶりをつかって　はなそう	53	ぼくは、ふゆ休みに、水ぞくかんで見た　生きもののことを、はなします。	ふゆ休み	その他	冬	
1598	教出	1	下	した　ことを　おもい出してかこう文を　つくりましょう	65	ちょうちょが　とんで　います。	ちょうちょ	その他	春	
1599	教出	1	下	お手がみ	68	がまくんは、げんかんの　まえに　すわって　いました。	がまくん	文学	夏	1
1600	教出	1	下	お手がみ	68	かえるくんが　やって　きて、いいました。	かえる	文学	春	1
1601	教出	1	下	お手がみ	68	「どう　したんだい、がまがえるくん。きみ、かなしそうだね。」	がまがえるくん	文学	夏	1
1602	教出	1	下	お手がみ	69	「うん、そうなんだ。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1603	教出	1	下	お手がみ	69	「そりゃ、どういう　わけ。」　かえるくんが　たずねました。	かえる	文学	春	1
1604	教出	1	下	お手がみ	69	「だって、ぼく、お手がみ　もらった　こと　ないんだもの。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1605	教出	1	下	お手がみ	69	「一どもかい。」　かえるくんが　たずねました。	かえる	文学	春	1
1606	教出	1	下	お手がみ	70	「ああ。一ども。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1607	教出	1	下	お手がみ	70	すると、かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1608	教出	1	下	お手がみ	71	「ぼく、もう　いえへ　かえらなくっちゃ、がまくん。	がまくん	文学	夏	1

						しなくちゃ　いけない　ことが　あるんだ。」				
1609	教出	1	下	お手がみ	71	かえるくんは、大いそぎで、いえへかえりましいた。	かえる	文学	春	1
1610	教出	1	下	お手がみ	71	「がまがえるくんへ」	がまがえるくん	文学	夏	1
1611	教出	1	下	お手がみ	71	かえるくんは、いえから　とび出しました。	かえる	文学	春	1
1612	教出	1	下	お手がみ	71	しりあいの　かたつむりくんに　あいました。	かたつむりくん	文学	夏	1
1613	教出	1	下	お手がみ	72	「かたつむりくん。」	かたつむりくん	文学	夏	1
1614	教出	1	下	お手がみ	72	かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1615	教出	1	下	お手がみ	72	「おねがいだけど、この　手がみを　がまくんの　いえへ　もって　いって、ゆうびんうけに　入れて　きてくれないかい。」	がまくん	文学	夏	1
1616	教出	1	下	お手がみ	72	「まかせて　くれよ。」　かたつむりくんが　いいました。	かたつむりくん	文学	夏	1
1617	教出	1	下	お手がみ	72	それから、かえるくんは、がまくんの　いえへ　もどりました。	かえる	文学	春	1
1618	教出	1	下	お手がみ	72	それから、かえるくんは、がまくんの　いえへ　もどりました。	がまくん	文学	夏	1
1619	教出	1	下	お手がみ	72	がまくんは、ベッドで、おひるねを　して　いました。	がまくん	文学	夏	1
1620	教出	1	下	お手がみ	73	「がまくん。」　かえるくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1621	教出	1	下	お手がみ	73	「がまくん。」　かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1622	教出	1	下	お手がみ	73	「いやだよ。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1623	教出	1	下	お手がみ	73	かえるくんは、まどから　ゆうびんうけを　見ました。	かえる	文学	春	1
1624	教出	1	下	お手がみ	73	かたつむりくんは、まだ　やって　きません。	かたつむりくん	文学	夏	1
1625	教出	1	下	お手がみ	73	「がまくん。」	がまくん	文学	夏	1
1626	教出	1	下	お手がみ	74	かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1627	教出	1	下	お手がみ	74	「そんな　こと、あるものかい。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1628	教出	1	下	お手がみ	74	かえるくんは、まどから　のぞきました。	かえる	文学	春	1
1629	教出	1	下	お手がみ	74	かたつむりくんは、まだ　やって　きません。	かたつむりくん	文学	夏	1
1630	教出	1	下	お手がみ	74	「でもね、がまくん。」	がまくん	文学	夏	1

1631	教出	1	下	お手がみ	74	かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1632	教出	1	下	お手がみ	75	「ばからしい　こと　いうなよ。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1633	教出	1	下	お手がみ	75	かえるくんは、まどから　のぞきました。	かえる	文学	春	1
1634	教出	1	下	お手がみ	75	かたつむりくんは、まだ　やって　きません。	かたつむりくん	文学	夏	1
1635	教出	1	下	お手がみ	75	「かえるくん、どうして　きみ、ずっと　まどの　そとを　見て　いるの。」	かえる	文学	春	1
1636	教出	1	下	お手がみ	75	がまくんが　たずねました。	がまくん	文学	夏	1
1637	教出	1	下	お手がみ	76	「だって、いま、ぼく、手がみを　まって　いるんだもの。」　かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1638	教出	1	下	お手がみ	76	「でも、　きや　しないよ。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1639	教出	1	下	お手がみ	76	「きっと　くるよ。」　かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1640	教出	1	下	お手がみ	76	「きみが。」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1641	教出	1	下	お手がみ	77	かえるくんが　いいました。	かえる	文学	春	1
1642	教出	1	下	お手がみ	77	「ぼくは、こう　かいたんだ。『しんあいなる　がまがえるくん。ぼくは、きみが　ぼくの　しんゆうで　あることを　うれしく　おもって　います。きみの　しんゆう、かえる。』」	がまがえるくん	文学	夏	1
1643	教出	1	下	お手がみ	77	「ぼくは、こう　かいたんだ。『しんあいなる　がまがえるくん。ぼくは、きみが　ぼくの　しんゆうで　あることを　うれしく　おもって　います。きみの　しんゆう、かえる。』」	かえる	文学	春	1
1644	教出	1	下	お手がみ	77	「ああ、」　がまくんが　いいました。	がまくん	文学	夏	1
1645	教出	1	下	お手がみ	78	四日　たって、かたつむりくんが、がまくんの　いえにつきました。	かたつむりくん	文学	夏	1
1646	教出	1	下	お手がみ	78	四日　たって、かたつむりくんが、がまくんの　いえにつきました。	がまくん	文学	夏	1
1647	教出	1	下	お手がみ	78	そして、かえるくんからの　手がみを、がまくんに　わ	かえる	文学	春	1

						たしました。				
1648	教出	1	下	お手がみ	78	そして、かえるくんからの　手がみを、がまくんに　わたしました。	がまくん	文学	夏	1
1649	教出	1	下	お手がみ	78	手がみを　もらって、がまくんは　とても　よろこびました。	がまくん	文学	夏	1
1650	教出	1	下	お手がみ	79	「ああ、」　がまくんが　いいました。	がまくん	その他	夏	
1651	教出	1	下	お手がみ	79	（1）　かえるくんが　かいた　手がみを、こえに　出して　よんで　みましょう。	かえる	その他	春	
1652	教出	1	下	お手がみ	79	かえるくんの　気もちを　かんがえながら、手がみを　よむ　ことが　できましたか。	かえる	その他	春	
1653	教出	1	下	お手がみ	79	（2）　がまくんは、手がみの　なかみを　きいて、こころの　中で、かえるくんに　どんなことをいったでしょう。	がまくん	その他	夏	
1654	教出	1	下	お手がみ	79	（2）　がまくんは、手がみの　なかみを　きいて、こころの　中で、かえるくんに　どんなことをいったでしょう。	かえる	その他	春	
1655	教出	1	下	お手がみ	79	がまくんに　なって、ことばを　かいて　みましょう。	がまくん	その他	夏	
1656	教出	1	下	あたらしく学んだかん字	84	花火を上げる	花火	その他	夏	
1657	教出	1	下	ノートのかきかた・うつしかた	93	ふいにでっかいおすぐまがすがたをあらわした。	おすぐま	その他	冬	
1658	教出	1	下	ノートのかきかた・うつしかた	93	それでもかあさんぐまはおもいきってそのまんまえに立ちふさがる。	かあさんぐま	その他	冬	
1659	教出	1	下	ノートのかきかた・うつしかた	93	ふいにでっかいおすぐまがすがたをあらわした。	おすぐま	その他	冬	
1660	教出	1	下	ノートのかきかた・うつしかた	93	それでもかあさんぐまはおもいきってそのまんまえに立ちふさがる。	かあさんぐま	その他	冬	
1661	教出	1	下	ノートのかきかた・うつしかた	93	「でっかいおすぐまが」のように、まとまりごとにおぼえてかく。	おすぐま	その他	冬	
1662	教出	2	上	つくし　だれの　子	6	つくし　だれの　子わらべうた	つくし	文学	春	
1663	教出	2	上	つくし　だれの　子	6	つくし　だれの　子　すぎなの　子	すぎな	文学	春	
1664	教出	2	上	つくし　だれの　子	6	つくしの　ぼうやは　目が　さめた	つくし	文学	春	

1665	教出	2	上	つくし　だれの　子	7	みわたす　かぎり　よめなに　たんぽぽ。	よめな	文学	春	
1666	教出	2	上	つくし　だれの　子	7	みわたす　かぎり　よめなに　たんぽぽ。	たんぽぽ	文学	春	
1667	教出	2	上	つくし　だれの　子	7	いもとの　すきな　むらさき　すみれ。	むらさき　すみれ	文学	春	
1668	教出	2	上	つくし　だれの　子	7	なのはな　さいた。	なのはな	文学	春	
1669	教出	2	上	つくし　だれの　子	7	やさしい　ちょうちょ。	ちょうちょ	文学	春	
1670	教出	2	上	はっきりとした声で	12	はえがしちひき	はえ	文学	夏	
1671	教出	2	上	はっきりとした声で	13	いんことりんご	りんご	その他	秋	
1672	教出	2	上	元気に　声を　出そうはっきりと　した　声で	13	のはらの　はこべ　母の　花	はこべ	非文学	春	
1673	教出	2	上	元気に　声を　出そうはっきりと　した　声で	13	となりの　きゃくは　よく　かき　くう　きゃくだ	かき	非文学	秋	
1674	教出	2	上	わたしの日記ちょう	14	四月二十日（水）はれ	四月二十日	その他	春	
1675	教出	2	上	わたしの日記ちょう	15	四月二十六日（火）くも	四月二十六日	その他	春	
1676	教出	2	上	思いを　うけとめて　読もう　ひっこしてきたみさ	19	夕ぐれの、はるの　だんちの　西の　空は、うすももいろの　夕やけでした。	はる	文学	春	
1677	教出	2	上	ひっこしてきたみさ	22	みさは、子犬を下におくと、そらまめみたいなはなをつんと上げて、言いかえしました。	そらまめ	文学	夏	
1678	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	34	たんぽぽ花（黄色）	たんぽぽ	その他	春	
1679	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	34	つゆくさ	つゆくさ	その他	春	
1680	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	35	「ねえ、ねえ、見て。たんぽぽが　さいて　いるよ。」	たんぽぽ	その他	春	
1681	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	35	その　となりには、たんぽぽの　白い　わた毛も　ありました。	たんぽぽの白いわた毛	その他	春	
1682	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	36	のださんは、ピンクの　つつじを　見つけました。	ピンクの　つつじ	その他	春	
1683	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	36	また、しろつめくさの　白い　花も　ありました。	しろつめくさの白い　花	その他	春	
1684	教出	2	上	見つけた　ことを　書こう	37	学校に　かえってから、青い　花の　ことを　図書館の図かんで　しらべると、つゆくさの　花だと　わかりま	つゆくさの　花	その他	春	

						した。				
1685	教出	2	上	すみれと　あり	42	春の　みちばたに、すみれの花が　さいて　います。	春の　みちばた	非文学	春	
1686	教出	2	上	すみれと　あり	42	春の　みちばたに、すみれの花が　さいて　います。	すみれの花	非文学	春	
1687	教出	2	上	すみれと　あり	42	よく　見ると、すみれは、コンクリートの　われめや、高い　石がきの　すき間にも　さいて　います。	すみれ	非文学	春	
1688	教出	2	上	すみれと　あり	43	すみれは、花を　さかせた　あと、みを　つけます。	すみれ	非文学	春	
1689	教出	2	上	すみれと　あり	44	ありが、地めんに　おちて　いる　すみれの　たねを見つけました。	あり	非文学	夏	
1690	教出	2	上	すみれと　あり	44	ありが、地めんに　おちて　いる　すみれの　たねを見つけました。	すみれの　たね	非文学	春	
1691	教出	2	上	すみれと　あり	44	ありは、たねを　じぶんの　すの　中へ　はこんでいきます。	あり	非文学	夏	
1692	教出	2	上	すみれと　あり	45	すみれは、仲間を　ふやす　ために、いろいろな　ばしょに　めを　出そうと　します。	すみれ	非文学	春	
1693	教出	2	上	すみれと　あり	45	そこで、すみれは、ありの　すきな　かたまりを　たねに　つけて、いろいろな　ばしょに　はこんで　もらうのです。	すみれ	非文学	春	
1694	教出	2	上	すみれと　あり	45	そこで、すみれは、ありの　すきな　かたまりを　たねに　つけて、いろいろな　ばしょに　はこんで　もらうのです。	あり	非文学	夏	
1695	教出	2	上	すみれと　あり	46	ありの　すは、地めんの　上だけで　なく、コンクリートの　われめや、高い　石がきにも　あります。	ありの　す	非文学	夏	
1696	教出	2	上	すみれと　あり	46	そのため、ありが　はこんだ　すみれの　たねは、このような　ばしょでも　めを　出し、花を　さかせて　いるのです。	あり	非文学	夏	
1697	教出	2	上	すみれと　あり	46	そのため、ありが　はこんだ　すみれの　たねは、このような　ばしょでも　めを　出し、花を　さかせて　いるのです。	すみれの　たね	非文学	春	
1698	教出	2	上	すみれと　あり	47	すみれの　たねは、どのようにして　遠くまで　はこば	すみれの　たね	その他	春	

						れますか。				
1699	教出	2	上	すみれと　あり	47	（1）すみれが　たねを　とばす　ときの　ようす。	すみれ	その他	春	
1700	教出	2	上	すみれと　あり	47	（2）ありが　たねを　はこぶ　ときの　ようす。	あり	その他	夏	
1701	教出	2	上	すみれと　あり	47	すみれの　たねが　いろいろなばしょに　はこばれるわけを、じゅんじょよく　話す　ことが　できましたか。	すみれの　たね	その他	春	
1702	教出	2	上	すみれと　あり	47	すみれは、コンクリートの　われめや、高い　石がきのすき間にも　さいて　います。	すみれ	その他	春	
1703	教出	2	上	図書室へ　行こう	50	かわださんは、『すみれと　あり』を　呼んで、ありについて　もっと　いろいろな　ことを　しりたく　なりました。	あり	その他	夏	
1704	教出	2	上	図書室へ　行こう	51	そこで、かわださんは、まず、本の　だい名から、ありの　本を　さがしました。	あり	その他	夏	
1705	教出	2	上	図書室へ　行こう	51	『アリの　世界』（くりばやし　さとし）	アリ	その他	夏	
1706	教出	2	上	図書室へ　行こう	51	『クロクサアリの　ひみつ』（やまぐち　すすむ）	クロクサアリ	その他	夏	
1707	教出	2	上	図書室へ　行こう	51	『ありの　ごちそう』（たかいえ　ひろしげ）	あり	その他	夏	
1708	教出	2	上	図書室へ　行こう	56	やまがらと　いう　鳥が　います。	やまがら	非文学	夏	
1709	教出	2	上	図書室へ　行こう	56	やまがらは、体の　長さが　十五センチメートルほどの小さな　鳥です。	やまがら	非文学	夏	
1710	教出	2	上	図書室へ　行こう	56	やまがらは、あきに　なると、木のみを、木の　われめや　ねもとなどに　たくわえます。	やまがら	非文学	夏	
1711	教出	2	上	図書室へ　行こう	56	やまがらは、あきに　なると、木のみを、木の　われめや　ねもとなどに　たくわえます。	あき	非文学	秋	
1712	教出	2	上	図書室へ　行こう	56	そして、ふゆに　なってから　とり出して　食べます。	ふゆ	非文学	冬	
1713	教出	2	上	図書室へ　行こう	57	やまがらは、何か月　あとに　なっても、たくわえておいた　場所を　おぼえて　いるのです。	やまがら	非文学	夏	
1714	教出	2	上	図書室へ　行こう	57	やまがらは、食べものを　かくして　たくわえる　鳥のだいひょうです。	やまがら	非文学	夏	
1715	教出	2	上	かん字の　ひろ場③　読んでみ	60	まん丸な　月	月	その他	秋	

				よう・書いてみよう						
1716	教出	2	上	だいじなことを知らせ合おう たからものを知らせ合おう	62	夏休みに見つけたものやたからものを、二人ひと組になって、友だちと見せ合いましょう。	夏休み	その他	夏	
1717	教出	2	上	だいじなことを知らせ合おう たからものを知らせ合おう	62	これは、わたしが夏休みに見つけたものです。	夏休み	その他	夏	
1718	教出	2	上	たからものを知らせ合おう	63	海がんで見つけました。	海がん	その他	夏	
1719	教出	2	上	だいじなことを知らせ合おう 手紙で知らせよう	66	わたしのたからものは、夏休みに海がんでひろった貝がらです。	夏休み	その他	夏	
1720	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	70	きつねのおきゃくさまあまん　きみこ	きつね	文学	冬	
1721	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	70	はらぺこきつねが歩いていると、やせたひよこがやってきた。	きつね	文学	冬	
1722	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	71	「やあ、きつねお兄ちゃん。」	きつね	文学	冬	
1723	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	71	きつねは、ぶるるとみぶるいした。	きつね	文学	冬	
1724	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	71	きつねは、心の中でにやりとわらった。	きつね	文学	冬	
1725	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	72	「きつねお兄ちゃんって、やさしいねえ。」	きつね	文学	冬	
1726	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	72	でも、きつねは、生まれてはじめて「やさしい」なんて言われたので、少しぼうっとなった。	きつね	文学	冬	
1727	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	72	きつねは、ひよこに、それはやさしく食べさせた。	きつね	文学	冬	
1728	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	73	きつねは、そうっとついていった。	きつね	文学	冬	
1729	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	73	ひよこが春の歌なんか歌いながら歩いていると、やせたあひるがやってきたとさ。	春の歌	文学	春	
1730	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	73	「あるわよ。きつねお兄ちゃんちよ。あたしといっしょに行きましょ。」	きつね	文学	冬	
1731	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	73	「きつね？とうんでもない。がぶりとやられるよ。」	きつね	文学	冬	
1732	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	73	「ううん。きつねお兄ちゃんは、とっても親切なの。」	きつね	文学	冬	
1733	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	74	それをかげで聞いたきつねは、うっとりした。	きつね	文学	冬	
1734	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	74	そして、「親切なきつね」ということばを、五かいもつぶやいたとさ。	きつね	文学	冬	
1735	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	74	きつねは、ひよことあひるに、それは親切だった。	きつね	文学	冬	

1736	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	75	きつねは、そうっとついていった。	きつね	文学	冬	
1737	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	75	ひよことあひるが夏の歌なんか歌いながら歩いていると、やせたうさぎがやってきたとさ。	夏の歌	文学	夏	
1738	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	75	ひよことあひるが夏の歌なんか歌いながら歩いていると、やせたうさぎがやってきたとさ。	うさぎ	文学	冬	
1739	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	75	「あるわよ。きつねお兄ちゃんちよ。あたしたちといっしょに行きましょ。」	きつね	文学	冬	
1740	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	76	「きつねだって？とうんでもない。がぶりとやられるぜ。」	きつね	文学	冬	
1741	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	76	「ううん。きつねお兄ちゃんは、かみさまみたいなんだよ。」	きつね	文学	冬	
1742	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	76	それをかげで聞いたきつねは、うっとりして、気ぜつしそうになったとさ。	きつね	文学	冬	
1743	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	76	そこで、きつねは、ひよことあひるとうさぎを、そうとも、かみさまみたいにそだてた。	きつね	文学	冬	
1744	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	76	そこで、きつねは、ひよことあひるとうさぎを、そうとも、かみさまみたいにそだてた。	うさぎ	文学	冬	
1745	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	77	うさぎも、まるまる太ってきたぜ。	うさぎ	文学	冬	
1746	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	77	「こりゃ、うまそうなにおいだねえ。ふんふん、ひよこに、あひるに、うさぎだな。」	うさぎ	文学	冬	
1747	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	77	「いや、まだいるぞ。きつねがいるぞ。」	きつね	文学	冬	
1748	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	77	言うなり、きつねはとび出した。	きつね	文学	冬	
1749	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	77	きつねの体に、ゆう気がりんりんとわいた。	きつね	文学	冬	
1750	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	78	きつねは、はずかしそうにわらってしんだ。	きつね	文学	冬	
1751	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	78	まるまる太った、ひよことあひるとうさぎは、にじの森に、小さいおはかを作った。	うさぎ	文学	冬	
1752	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	78	そして、せかい一やさしい、親切な、かみさまみたいな、そのうえゆうかんなきつねのために、なみだをながしたとさ。	きつね	文学	冬	

1753	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	80	ひよこやあひるやうさぎになったつもりで、「親切なお兄ちゃん」の話をしてみましょう。	うさぎ	その他	冬	
1754	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	80	「はずかしそうにわらってしんだ。」時の、きつねが言いたかったことを、だれかに話しかけるように書いてみましょう。	きつね	その他	冬	
1755	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	80	きつねやひよこなどの登場人物が思っていることをそうぞうして、話したり書いたりすることができましたか。	きつね	その他	冬	
1756	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	81	③そろって、きつねの家に行く。	きつね	その他	冬	
1757	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	81	そして、「まるまる太ってきた」ものが、ひよこからあひる、うさぎへと、かわっていきます。	うさぎ	その他	冬	
1758	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	81	きつねは、ひよこやあひるやうさぎからなんとよばれているか、	きつね	その他	冬	
1759	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	81	きつねは、ひよこやあひるやうさぎからなんとよばれているか、	うさぎ	その他	冬	
1760	教出	2	上	きつねのおきゃくさま	81	そして、このことばを聞いたきつねの気もちを話し合いましょう。	きつね	その他	冬	
1761	教出	2	上	あたらしく学んだかん字	85	春がきた	春	その他	春	
1762	教出	2	上	はがきの書き方	98	かわたしは、きのう海へ行きました。	海	その他	夏	
1763	教出	2	上	はがきの書き方	98	かにを見つけたり、貝をひろったりしました。	かに	その他	夏	
1764	教出	2	上	はがきの書き方	98	先生も海に行きましたか。	海	その他	夏	
1765	教出	2	下	かさこじぞう	36	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました	あわ	文学	秋	
1766	教出	2	下	かさこじぞう	37	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました	あわ	文学	秋	
1767	教出	2	下	かさこじぞう	34	すると、ばあさまはいやな顔ひとつしないで、「おお、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ。」	いろり	文学	冬	

1768	教出	2	下	かさこじぞう	34	じいさまは、いろりの上にかぶさるようにして、ひえた体をあたためました。	いろり	文学	冬	
1769	教出	2	下	かさこじぞう	35	じいさまは、米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました。	いろり	文学	冬	
1770	教出	2	下	かさこじぞう	30	町には大年の市が立っていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	大年の市	文学	新年	
1771	教出	2	下	かさこじぞう	28	ある年の大みそか、じいさまは、ためいきをついて言いました。	大みそか	文学	新年	
1772	教出	2	下	かさこじぞう	37	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	おかざりのまつ	文学	新年	
1773	教出	2	下	ちいさい　おおきい	5	ちいさい　おおきい　ちいさい　おおきい　ちいさくって　ちいさくって　ちいさくって　おおきい　かえるの　おなか	かえる	文学	春	
1774	教出	2	下	ちいさい　おおきい	5	ちいさい　おおきい　ちいさい　おおきい　ちいさくって　ちいさくって　ちいさくって　おおきい　ありさんの　にもつ	ありさん	文学	夏	
1775	教出	2	下	ちいさい　おおきい	6	ちいさい　おおきい　ちいさい　おおきい　ちいさくって　ちいさくって　ちいさくって　ちいさい　めだかの　あくび	めだか	文学	夏	
1776	教出	2	下	ちいさい　おおきい	6	ちいさい　おおきい　ちいさい　おおきい　おおきくって　おおきくって　おおきくって　おおきい　くじらの　くしゃみ	くじら	文学	冬	
1777	教出	2	下	さけが大きくなるまで	8	さけは、北の海にすむ大きな魚です。	さけ	非文学	秋	
1778	教出	2	下	さけが大きくなるまで	8	秋になるころから、大人のさけは、たくさんあつまって、たまごをうみに、海から川へやってきます。	秋になるころ	非文学	秋	
1779	教出	2	下	さけが大きくなるまで	8	秋になるころから、大人のさけは、たくさんあつまって、たまごをうみに、海から川へやってきます。	さけ	非文学	秋	
1780	教出	2	下	さけが大きくなるまで	8	三メートルぐらいのたきでものりこえて、川上へ川上へとすすんでいきます。	たき	非文学	夏	

1781	教出	2	下	さけが大きくなるまで	10	やがて、水のきれいな川上にたどりつくと、さけは、おびれをふるわせて、すなや小石の川ぞこをほります。	さけ	非文学	秋	
1782	教出	2	下	さけが大きくなるまで	10	冬の間に、たまごからさけの赤ちゃんが生まれます。	冬の間	非文学	冬	
1783	教出	2	下	さけが大きくなるまで	10	冬の間に、たまごからさけの赤ちゃんが生まれます。	さけ	非文学	秋	
1784	教出	2	下	さけが大きくなるまで	10	はじめは、ちょうど赤いぐみのみのようなものをおなかにつけていますが、やがて、それがなくなって、三センチメートルぐらいの小魚になります。	ぐみのみ	非文学	秋	
1785	教出	2	下	さけが大きくなるまで	11	春になるころ、五センチメートルぐらいになったさけの子どもたちは、海にむかって川を下りはじめます。	春になるころ	非文学	春	
1786	教出	2	下	さけが大きくなるまで	11	春になるころ、五センチメートルぐらいになったさけの子どもたちは、海にむかって川を下りはじめます。	さけ	非文学	秋	
1787	教出	2	下	さけが大きくなるまで	12	川を下ってきたさけの子ども、たちは一か月ぐらいの間、川の水と海の水がまじった川口のところでくらしています。	さけ	非文学	秋	
1788	教出	2	下	さけが大きくなるまで	13	そして、たまごをうむ時には、北の海から自分が生まれたもとの川へかえってくるのです。	たまごをうむ時	非文学	秋	
1789	教出	2	下	さけが大きくなるまで	14	冬の間	冬の間	その他	冬	
1790	教出	2	下	さけが大きくなるまで	14	さけの赤ちゃんが生まれる。	さけ	その他	秋	
1791	教出	2	下	さけが大きくなるまで	14	さけは、川を上ります。そして、川上でたまごをうみます。	さけ	その他	秋	
1792	教出	2	下	さけが大きくなるまで	14	さけの子どもたちは、一か月ぐらいの間、川口のところでくらしています。	さけ	その他	秋	
1793	教出	2	下	さけが大きくなるまで	15	①一行あいているところに気をつけて、『さけが大きくなるまで』の七つのまとまりをたしかめる。	さけ	その他	秋	
1794	教出	2	下	さけが大きくなるまで	15	①『さけが大きくなるまで』の中から、グループごとに、だいじなことがらを十ぐらいあげて、メモする。	さけ	その他	秋	
1795	教出	2	下	さけが大きくなるまで	15	できあがった紙しばいやすごろくで、さけが大きくなるまでのじゅんじょを正しくあらわせましたか。	さけ	その他	秋	
1796	教出	2	下	さけが大きくなるまで	16	『さけが大きくなるまで』を呼んだなかむらさんの学級	さけ	その他	秋	

						では、ほかの生きものが、どのようなくらし方をしているかを、一人一人がしらべることにしました。				
1797	教出	2	下	さけが大きくなるまで	16	なかむらさんは、夏にうんどう場のすみで見つけた「ありじごく」のすのことがおもしろいと思い、図書室に行ってしらべることにしました。	夏	その他	夏	
1798	教出	2	下	さけが大きくなるまで	16	なかむらさんは、夏にうんどう場のすみで見つけた「ありじごく」のすのことがおもしろいと思い、図書室に行ってしらべることにしました。	ありじごく	その他	夏	
1799	教出	2	下	さけが大きくなるまで	17	先生が、「ありじごくは大きくなると『うすばかげろう』になるから、『うすばかげろう』のところを見てごらん。」と、教えてくださいました。	ありじごくうすばかげろう	その他	夏	
1800	教出	2	下	さけが大きくなるまで	17	先生が、「ありじごくは大きくなると『うすばかげろう』になるから、『うすばかげろう』のところを見てごらん。」と、教えてくださいました。	うすばかげろう	その他	夏	
1801	教出	2	下	さけが大きくなるまで	17	ありじごくのす	ありじごく	その他	夏	
1802	教出	2	下	さけが大きくなるまで	17	ありじごくの大きさ……1センチメートル	ありじごく	その他	夏	
1803	教出	2	下	さけが大きくなるまで	17	ありじごくは、あなをほって、おちてきた小さな虫をつかまえる。	ありじごく	その他	夏	
1804	教出	2	下	さけが大きくなるまで	18	つぎに、カードをもとにして、せつ明のじゅんじょを考え、「ありじごくのすのふしぎ」のページを作りました。	ありじごく	その他	夏	
1805	教出	2	下	さけが大きくなるまで	18	ありじごくのすのふしぎなかむら　たろう	ありじごく	その他	夏	
1806	教出	2	下	さけが大きくなるまで	18	夏休みに、うんどう場のすみで、ありじごくのすを見つけました。	夏休み	その他	夏	
1807	教出	2	下	さけが大きくなるまで	18	夏休みに、うんどう場のすみで、ありじごくのすを見つけました。	ありじごく	その他	夏	
1808	教出	2	下	さけが大きくなるまで	18	ありじごくは、このようにして作ったすのそこにかくれて、おちてきたありなどの小さな虫をつかまえるのです。	ありじごく	その他	夏	
1809	教出	2	下	さけが大きくなるまで	19	うさぎの耳はなぜ長い？	うさぎ	その他	冬	

1810	教出	2	下	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	19	あさがおのつるは、上から見るとどれも左まきになっています。	あさがお	非文学	秋	
1811	教出	2	下	「生きものふしぎ図かん」を作ろう	19	ほうせんかは、自分でたねをはじきとばします。	ほうせんか	非文学	秋	
1812	教出	2	下	音やようすをあらわすことば	21	うさぎがぴょんとはねた。	うさぎ	その他	冬	
1813	教出	2	下	音やようすをあらわすことば	21	うさぎがぴょんぴょんはねた。	うさぎ	その他	冬	
1814	教出	2	下	かさこじぞう	28	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというに、もちこのよういもできんのう。」	正月	文学	新年	
1815	教出	2	下	かさこじぞう	37	じいさまとばあさまは、よいお正月をむかえることができましたと。	正月	文学	新年	
1816	教出	2	下	かさこじぞう	29	「かえりには、もちこ買ってくるで。にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。」と言うて、出かけました。	ごんぼ（ごぼう）	文学	冬	
1817	教出	2	下	かさこじぞう	37	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	ごんぼ（ごぼう）	文学	秋	
1818	教出	2	下	かさこじぞう	30	町には大年の市が立っていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	正月	文学	新年	
1819	教出	2	下	かさこじぞう	35	「ばあさま、今ごろだれじゃろ。長者どんのわかいしゅが、正月買いもんをしのこして、今ごろひいてきたんじゃろうか。」	正月	文学	新年	
1820	教出	2	下	かさこじぞう	35	ところが、そりをひくかけ声は、長者どんのやしきの方には行かず、こっちに近づいてきました。	そり	文学	冬	
1821	教出	2	下	かさこじぞう	35	するとま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさ　じょうやさと、そりをひくかけ声がしてきました。	そり	文学	冬	
1822	教出	2	下	かさこじぞう	37	じいさまとばあさまがおきていって、雨戸をくると、かさこをかぶったじぞうさまと、手ぬぐいをかぶったじぞうさまが、じょいやさじょいやさと、空ぞりをひいて、かえっていくところでした。	そり	文学	冬	
1823	教出	2	下	かさこじぞう	37	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	だいこん	文学	冬	

1824	教出	2	下	きつつき	40	きつつき	きつつき	その他	秋	
1825	教出	2	下	きつつき	40	「きつつき」というおもちゃを見たことがありますか。	きつつき	その他	秋	
1826	教出	2	下	きつつき	40	きつつきが、くちばしでぼうをつつきながら下りていくおもちゃです。	きつつき	非文学	秋	
1827	教出	2	下	きつつき	42	（三）　きつつきをとりつける	きつつき	その他	秋	
1828	教出	2	下	きつつき	43	コイルばねがよくうごいたら、紙のきつつきをとりつけましょう。	きつつき	非文学	秋	
1829	教出	2	下	きつつき	43	まず、画用紙に、体の長さが四センチメートルぐらいのきつつきの絵をかきます。	きつつき	その他	秋	
1830	教出	2	下	きつつき	43	つぎに、そのきつつきを切りぬきます。	きつつき	非文学	秋	
1831	教出	2	下	きつつき	43	これで、「きつつき」はできあがりです。	きつつき	その他	秋	
1832	教出	2	下	きつつき	43	きつつきを、ゆびでかるくはじいてみましょう。	きつつき	その他	秋	
1833	教出	2	下	きつつき	43	きつつきが、竹ひごをつつくようにしながら下りていきます。	きつつき	その他	秋	
1834	教出	2	下	きつつき	44	くちばしがうまく当たらないときは、きつつきのむきを、いろいろにかえてみましょう。	きつつき	その他	秋	
1835	教出	2	下	きつつき	44	きつつきのほかに、ちょうちょやさるなど、すきなものをとりつけることもできます。	きつつき	その他	秋	
1836	教出	2	下	きつつき	44	きつつきのほかに、ちょうちょやさるなど、すきなものをとりつけることもできます。	ちょうちょ	その他	春	
1837	教出	2	下	きつつき	44	ちょうちょのときは、コイルばねを少し引きのばします。	ちょうちょ	その他	春	
1838	教出	2	下	きつつき	44	そうすると、ゆれ方がゆっくりになり、ちょうちょがとんでいるように見えます。	ちょうちょ	その他	春	
1839	教出	2	下	きつつき	45	（4）きつつきのとりつけ方	きつつき	その他	秋	
1840	教出	2	下	きつつき	45	二人ひと組になって、きつつきの作り方をせつ明し合ってみましょう。	きつつき	非文学	秋	
1841	教出	2	下	きつつき	45	そのとき、きつつきの作り方で気をつけることをノートに書き出しておき、せつ明するときにつけくわえてもい	きつつき	その他	秋	

						いでしょう。				
1842	教出	2	下	つたえ方をくふうしよう「おもちゃ大会」をひらこう	46	『きつつき』を学習したしのざきさんの学級では、ほかにどんな手作りおもちゃがあるか、家の人にきいたり、本でさがしたりすることにしました。	きつつき	その他	秋	
1843	教出	2	下	かん字のつかい方と読み方	52	この道は、麦ばたけに通じる。	麦	その他	夏	
1844	教出	2	下	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	60	「きつねのお兄ちゃんちに行く。」	きつね	その他	冬	
1845	教出	2	下	じゅんじょよく思い出して書こう　はんたいのいみのことば、にたいみのことば	61	いさましいきつね	きつね	その他	冬	
1846	教出	2	下	じゅんじょよく思い出して書こう　はんたいのいみのことば、にたいみのことば	61	ゆうかんなきつね	きつね	その他	冬	
1847	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	66	「夜になると、白いまくらをして、人形とぬいぐるみのくまの間で、ぼくねむるんだ。」	くま	文学	冬	1
1848	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	67	ウィリーは、ぺんぎんやぬいぐるみのくま、そして、おもにアニーの話をした。	くま	文学	冬	1
1849	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	68	「にわの小石の小道のはじの、きいちごのしげみの近くに、生きものをほかの生きものにかえることのできる、まほうのとかげがすんでるそうだよ。」	きいちご	文学	夏	1
1850	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	68	「にわの小石の小道のはじの、きいちごのしげみの近くに、生きものをほかの生きものにかえることのできる、まほうのとかげがすんでるそうだよ。」	とかげ	文学	夏	1
1851	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	「とかげよ、とかげ、」かれはささやいた。	とかげ	文学	夏	1
1852	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	「とかげよ、とかげ、」かれはささやいた。	とかげ	文学	夏	1
1853	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	すると、とつぜん目の前に、花々とちょうちょうの色をした、大きなとかげがあらわれた。	ちょうちょう	文学	春	1
1854	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	すると、とつぜん目の前に、花々とちょうちょうの色をした、大きなとかげがあらわれた。	とかげ	文学	夏	1

1855	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	「月がまん丸の時、」とかげは言った。	月	文学	秋	1
1856	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	69	「月がまん丸の時、」とかげは言った。	とかげ	文学	夏	1
1857	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	71	まん月だった。	まん月	文学	秋	1
1858	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	71	いきをきらして、アレクサンダは、きいちごのしげみのそばで立ち止まった。	きいちご	文学	夏	1
1859	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「しげみの中のとかげよ、とかげ。」大いそぎで、かれはよんだ。	とかげ	文学	夏	1
1860	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「しげみの中のとかげよ、とかげ。」大いそぎで、かれはよんだ。	とかげ	文学	夏	1
1861	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	はっぱがかさかさ鳴って、とかげがあらわれた。	とかげ	文学	夏	1
1862	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「月はみちた。小石は見つかった。」とかげは言った。	月	文学	秋	1
1863	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「月はみちた。小石は見つかった。」とかげは言った。	とかげ	文学	夏	1
1864	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「とかげよ、とかげ。ウイリーを、ぼくみたいなねずみにかえてくれる？」	とかげ	文学	夏	1
1865	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	72	「とかげよ、とかげ。ウイリーを、ぼくみたいなねずみにかえてくれる？」	とかげ	文学	夏	1
1866	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	73	とかげは、まばたきした。	とかげ	文学	夏	1
1867	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	74	「とかげは……、とかげは、ほんとにやってくれた！」	とかげ	文学	夏	1
1868	教出	2	下	アレクサンダとぜんまいねずみ	74	「とかげは……、とかげは、ほんとにやってくれた！」	とかげ	文学	夏	1
1869	教出	2	下	新しく学んだかん字	78	秋の空	秋	その他	秋	
1870	教出	2	下	新しく学んだかん字	78	冬をこす	冬	その他	冬	
1871	教出	2	下	グループで読もう	89	するとま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりをひくかけ声がしてきました。	雪	その他	冬	
1872	教出	2	下	グループで読もう	89	するとま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりをひくかけ声がしてきました。	そり	その他	冬	
1873	教出	2	下	グループで読もう	89	長者どんのわかいしゅが、正月買いもんをしのこして、今ごろひいてきたんじゃろうか。	正月	その他	新年	
1874	教出	2	下	グループで読もう	89	ところが、そりをひくかけ声は、長者どんのやしきの方には行かず、こっちに近づいてきました。	そり	その他	冬	

1875	教出	2	下	わにのおじいさんのたからもの	90	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	かえる	文学	春	
1876	教出	2	下	わにのおじいさんのたからもの	90	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	へび	文学	夏	
1877	教出	2	下	わにのおじいさんのたからもの	90	へびもかえるも、土の中にもぐりました。	土の中に	文学	冬	
1878	教出	2	下	わにのおじいさんのたからもの	93	とんとむかしの、そのまたむかし、ももたろうがおにからたからものをそっくりもっていってしまってからというものは、おには、たからものとはぜんぜんえんがないのです。	もも	文学	秋	
1879	教出	2	下	かさこじぞう	31	「おお、気のどくにな。さぞつめたかろうのう。」	つめたい	文学	冬	
1880	教出	2	下	かさこじぞう	32	じいさまは、ぬれてつめたいぞぞうさまの、かたやらせなかやらをなでました。	つめたい	文学	冬	
1881	教出	2	下	かさこじぞう	33	「おお、おお、じいさまかい。さぞつめたかったろうの。かさこは売れたのかね。」	つめたい	文学	冬	
1882	教出	2	下	かさこじぞう	34	すると、ばあさまはいやな顔ひとつしないで、「おお、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ。」	つめたい	文学	冬	
1883	教出	2	下	かさこじぞう	32	「こっちのじぞうさまは、ほおべたにしみをこさえて。それから、このじぞうさまはどうじゃ。はなからつららを下げてござらっしゃる。」	つらら	文学	冬	
1884	教出	2	下	かさこじぞう	30	「年こしの日に、かさこなんか買うもんは、おらんのじゃろ。	年こし	文学	冬	
1885	教出	2	下	かさこじぞう	34	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ。そんならひとつ、もちつきのまねごとでもしようかのう。」	年こし	文学	冬	
1886	教出	2	下	かさこじぞう	29	すると、夏の間にかりとっておいたすげが、つんでありました。	夏	文学	夏	
1887	教出	2	下	かさこじぞう	29	「かえりには、もちこ買ってくるで。にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。」と言うて、出かけました。	にんじん	文学	冬	
1888	教出	2	下	かさこじぞう	37	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	にんじん	文学	冬	

1889	教出	2	下	かさこじぞう	31	風が出てきて、ひどいふぶきになりました。	ふぶき	文学	冬	
1890	教出	2	下	かさこじぞう	28	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというに、もちこのよういもできんのう。」	もち	文学	新年	
1891	教出	2	下	かさこじぞう	29	「じいさま、じいさま、かさここさえて、町さ売りに行ったら、もちこ買えんかのう。」	もち	文学	新年	
1892	教出	2	下	かさこじぞう	29	「かえりには、もちこ買ってくるで。にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。」と言うて、出かけました。	もち	文学	新年	
1893	教出	2	下	かさこじぞう	31	「年こしの日に、かさこなんか買うもんは、おらんのじゃろ。ああ、もちこももたんでかえれば、ばあさまはがっかりするじゃろうのう。」	もち	文学	新年	
1894	教出	2	下	かさこじぞう	34	じいさまは、米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました。	もち	文学	新年	
1895	教出	2	下	かさこじぞう	34	じいさまは、米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました。	もち	文学	新年	
1896	教出	2	下	かさこじぞう	34	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ。」	もち	文学	新年	
1897	教出	2	下	かさこじぞう	37	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました。	もち	文学	新年	
1898	教出	2	下	かさこじぞう	34	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ。そんならひとつ、もちつきのまねごとでもしようかのう。」	もちつき	文学	冬	
1899	教出	2	下	かさこじぞう	31	じいさまは、じぞうさまのおつむの雪をかきおとしました	雪	文学	冬	
1900	教出	2	下	かさこじぞう	31	おどうはなし、木のかげもなし、ふきっさらしの野っ原なもんで、じぞうさまは、かたがわだけ雪にうもれているのでした。	雪	文学	冬	
1901	教出	2	下	かさこじぞう	33	じいさまは、とちゅうまで来ると、じぞうさまが雪にうもれていた話をして、「それでおら、かさこかぶせてきた。」と言いました。	雪	文学	冬	
1902	教出	2	下	かさこじぞう	34	すると、ばあさまはいやな顔ひとつしないで、「おお、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じ	雪	文学	冬	

						ゃさぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ。」				
1903	教出	2	下	かさこじぞう	35	するとま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさ　じょうやさと、そりをひくかけ声がしてきました。	雪	文学	冬	
1904	教出	3	上	かえるのぴょん	6	かえるのぴょん　とぶのがだいすき　はじめにかあさんとびこえて　それからとうさんとびこえる　ぴょん	かえる	文学	春	
1905	教出	3	上	かえるのぴょん	6	かえるのぴょん　とぶのがだいすき　つぎにはじどうしゃとびこえて　しんかんせんもとびこえる　ぴょんぴょん	かえる	文学	春	
1906	教出	3	上	かえるのぴょん	7	かえるのぴょん　とぶのがだいすき　とんでるひこうきとびこえて　ついでにおひさまとびこえる　ぴょんぴょん　ぴょん	かえる	文学	春	
1907	教出	3	上	かえるのぴょん	7	かえるのぴょん　とぶのがだいすき　とうとうきょうをとびこえて　あしたのほうへきえちゃった　ぴょんぴょん　ぴょん　ぴょん	かえる	文学	春	
1908	教出	3	上	元気に声を出し合おうスピーチをしよう	10	今日は、春の子どもまつりです。	春の子どもまつり	その他	春	
1909	教出	3	上	元気に声を出し合おうスピーチをしよう	12	お花見広場（おべんとう）	お花見	その他	春	
1910	教出	3	上	元気に声を出し合おうスピーチをしよう	13	そのあとは、お花見広場に行きます。	お花見	その他	春	
1911	教出	3	上	元気に声を出し合おうスピーチをしよう	13	お花見広場についたら、おべんとうを食べたいと思います。	お花見	その他	春	
1912	教出	3	上	元気に声を出し合おうスピーチをしよう	16	・さくらには、花が先にさくものと、はが先に出るものとがある。	さくら	その他	春	
1913	教出	3	上	消しゴムころりん	20	それは、一ぴきのやもりだった。	やもり	文学	夏	
1914	教出	3	上	消しゴムころりん	20	やもりはりょう手をゆかにかけ、さおりを見上げているように見えた。	やもり	文学	夏	
1915	教出	3	上	消しゴムころりん	20	さおりは、かえるややもりにがてではない。	かえる	文学	春	

1916	教出	3	上	消しゴムころりん	20	さおりは、かえるややもりにがてではない。	やもり	文学	夏	
1917	教出	3	上	消しゴムころりん	21	さいしょのおどろきがおさまると、心の中でやもりに話しかけてみた。	やもり	文学	夏	
1918	教出	3	上	消しゴムころりん	21	ねえ、やもり。	やもり	文学	夏	
1919	教出	3	上	消しゴムころりん	21	さっと、やもりがあなの中に消えた。	やもり	文学	夏	
1920	教出	3	上	消しゴムころりん	21	やもりは、すぐに出てきた。	やもり	文学	夏	
1921	教出	3	上	消しゴムころりん	21	びっくりしたのは、やもりが消しゴムをかかえていることだった。	やもり	文学	夏	
1922	教出	3	上	消しゴムころりん	21	やもりは、白い消しゴムをかた手でかかえ、もうかた方の手の人さしゆびでさおりをゆびさし、次にかかえた消しゴムをゆびさした。	やもり	文学	夏	
1923	教出	3	上	消しゴムころりん	22	すると、やもりは、その白い消しゴムをゆかの上におき、あなの中にもどると、こんどは、べつの消しゴムをもって出てきた。	やもり	文学	夏	
1924	教出	3	上	消しゴムころりん	22	やもりはさっきと同じ動作をした。	やもり	文学	夏	
1925	教出	3	上	消しゴムころりん	22	それを見てやもりは、消しゴムをさおりにむかってさし上げた。	やもり	文学	夏	
1926	教出	3	上	消しゴムころりん	22	そう思いながら、さおりは手をのばして、自分の消しゴムをやもりの手から受けとった。	やもり	文学	夏	
1927	教出	3	上	消しゴムころりん	23	それで、やもりが引っこむかと思ったら、白い消しゴムもさし出すではないか。	やもり	文学	夏	
1928	教出	3	上	消しゴムころりん	23	心の中でそう話しかけてみたが、やもりは同じしせいでさおりを見上げ、大きくうなずいた。	やもり	文学	夏	
1929	教出	3	上	消しゴムころりん	23	さおりがまよっていると、やもりは、その白い消しゴムをゆかの上におき、さおりを見上げた。	やもり	文学	夏	
1930	教出	3	上	消しゴムころりん	23	さおりは顔を近づけ、やもりを見つめた。	やもり	文学	夏	
1931	教出	3	上	消しゴムころりん	24	やもりは、同じことをやり始めた。	やもり	文学	夏	
1932	教出	3	上	消しゴムころりん	24	やもりも、わかってくれてうれしいという感じでうなずき、「さあ、これをもっていきなさい。」と、手でしめ	やもり	文学	夏	

						した。				
1933	教出	3	上	消しゴムころりん	24	手をのばして白い消しゴムを拾い上げると、やもりはゆっくりとあなに消えた。	やもり	文学	夏	
1934	教出	3	上	消しゴムころりん	25	さおりは口をとがらせて、やもりがくれた白い消しゴムで字を消した。	やもり	文学	夏	
1935	教出	3	上	消しゴムころりん	27	それから、あのやもりのジェスチャーを思い出してみた。	やもり	文学	夏	
1936	教出	3	上	消しゴムころりん	28	「やもりがくれたんだろ。」	やもり	文学	夏	
1937	教出	3	上	消しゴムころりん	30	やもりから消しゴムを受けとった場面。	やもり	その他	夏	
1938	教出	3	上	消しゴムころりん	30	やもりが「さおり」に消しゴムをあげたわけを考えて、話し合ってみましょう。	やもり	その他	夏	
1939	教出	3	上	消しゴムころりん	30	やもりは、ジェスチャーでつたえようとしているのだ。	やもり	その他	夏	
1940	教出	3	上	消しゴムころりん	30	やもりは、ジェスチャーでつたえようとしている。	やもり	その他	夏	
1941	教出	3	上	消しゴムころりん	31	「やもり」とのやりとりのこと	やもり	その他	夏	
1942	教出	3	上	漢字の広場①漢字学習カード	33	雪	雪	その他	冬	
1943	教出	3	上	漢字の広場①漢字学習カード	33	春	春	その他	春	
1944	教出	3	上	漢字の広場①漢字学習カード	33	入学式	入学式	その他	春	
1945	教出	3	上	漢字の広場①漢字学習カード	33	ひな祭り	ひな祭り	その他	春	
1946	教出	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	38	６月７日に、たがめが２回めのだっ皮をした。	たがめ	その他	夏	
1947	教出	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	40	たがめが皮をぬいだ時、山野さんは、白い糸のようなものを発見しました。	たがめ	その他	夏	
1948	教出	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	41	山野さんのグループではたがめを、田口さんのグループではやごを、村山さんのグループではこおろぎを育てています。	たがめ	その他	夏	
1949	教出	3	上	調べたことの中からえらんで書こう	41	山野さんのグループではたがめを、田口さんのグループではやごを、村山さんのグループではこおろぎを育てています。	こおろぎ	その他	秋	
1950	教出	3	上	国語じてんの引き方	43	はす→バス→パス	はす	その他	夏	

1951	教出	3	上	めだか	48	めだかの学校は　川の中	めだか	非文学	夏	
1952	教出	3	上	めだか	48	（茶木　滋『めだかの学校』より）	めだか	非文学	夏	
1953	教出	3	上	めだか	48	春になると、小川や池の水面近くに、めだかがすがたをあらわします。	春	非文学	春	
1954	教出	3	上	めだか	48	春になると、小川や池の水面近くに、めだかがすがたをあらわします。	めだか	非文学	夏	
1955	教出	3	上	めだか	48	めだかは、大変小さな魚です。	めだか	非文学	夏	
1956	教出	3	上	めだか	49	めだかは、のんびり楽しそうに泳いでいるようですが、いつも、たくさんのてきにねらわれています。	めだか	非文学	夏	
1957	教出	3	上	めだか	49	「たがめ」や「げんごろう」、「やご」や「みずかまきり」などの、水の中にいるこん虫は、とくにこわいてきです。	たがめ	非文学	夏	
1958	教出	3	上	めだか	49	「たがめ」や「げんごろう」、「やご」や「みずかまきり」などの、水の中にいるこん虫は、とくにこわいてきです。	げんごろう	非文学	夏	
1959	教出	3	上	めだか	49	「たがめ」や「げんごろう」、「やご」や「みずかまきり」などの、水の中にいるこん虫は、とくにこわいてきです。	みずかまきり	非文学	秋	
1960	教出	3	上	めだか	49	では、めだかは、そのようなてきから、どのようにして身を守っているのでしょうか。	めだか	非文学	夏	
1961	教出	3	上	めだか	50	てきを見つけためだかが、きけんがせまっていることを仲間に知らせると、みんなはいっせいにちらばります。	めだか	非文学	夏	
1962	教出	3	上	めだか	51	めだかは、こうして、てきから身を守っているだけではありません。	めだか	非文学	夏	
1963	教出	3	上	めだか	51	めだかの体には、自然のきびしさにもたえられる、とくべつな仕組みがそなわっているのです。	めだか	非文学	夏	
1964	教出	3	上	めだか	51	夏の間、何日も雨がふらないと、小川や池の水がどんどん少なくなり、「ふな」や「こい」などは、次々に死んでしまいます。	夏の間	非文学	夏	

1965	教出	3	上	めだか	51	でも、めだかは、体が小さいので、わずかにのこされた水たまりでもだいじょうぶです。	めだか	非文学	夏	
1966	教出	3	上	めだか	51	小さな水たまりでは、水温がどんどん上がりますが、めだかの体は、四十度近くまで水温が上がってもたえられるようにできています。	めだか	非文学	夏	
1967	教出	3	上	めだか	51	また、大雨になると、小川や池の水があふれ、めだかは大きな川におし流されてしまいます。	めだか	非文学	夏	
1968	教出	3	上	めだか	52	しかし、めだかは、真水に海水のまざる川口ふきんでも生きることができます。	めだか	非文学	夏	
1969	教出	3	上	めだか	52	めだかの体は、海水にもたえられるようにできているのです。	めだか	非文学	夏	
1970	教出	3	上	めだか	52	海に流されためだかは、やがて、みちしおに乗って、川にもどってくることもできます。	めだか	非文学	夏	
1971	教出	3	上	めだか	52	小川や池の中で泳いでいるめだかを見ると、ただ「おゆうぎ」をしているようにしか見えないかもしれません。	めだか	非文学	夏	
1972	教出	3	上	めだか	52	しかし、めだかは、いろいろな方法でてきから身を守り、自然のきびしさにたえながら生きているのです。	めだか	非文学	夏	
1973	教出	3	上	めだか	53	（1）　めだかは、どのようにしててきから身を守っているのか。	めだか	その他	夏	
1974	教出	3	上	めだか	53	（2）　自然のきびしさにたえられる、めだかの体のとくべつな仕組みとは、どのようなものか。	めだか	その他	夏	
1975	教出	3	上	めだか	53	次の―線の言葉に気をつけて、めだかが「どうなのか」「どうなるのか」がわかる言葉をつづけて書きましょう。	めだか	その他	夏	
1976	教出	3	上	めだか	53	・めだかは、体が小さいので、（どうなのか）	めだか	その他	夏	
1977	教出	3	上	めだか	56	寺田さんは、『めだか』を読んで、ほかの魚の仲間にも、それぞれの身の守り方があるのではないかと考えました。	めだか	その他	夏	
1978	教出	3	上	めだか	56	クワガタやゾウムシの仲間	クワガタ	その他	夏	

1979	教出	3	上	目次をひらこう	56	『くさばな』という図鑑のさく引を見ると、あさがおやチューリップの出ているページがたくさん見つかるよ。	あさがお	その他	秋	
1980	教出	3	上	目次をひらこう	56	『くさばな』という図鑑のさく引を見ると、あさがおやチューリップの出ているページがたくさん見つかるよ。	チューリップ	その他	春	
1981	教出	3	上	目次をひらこう	57	アイスランド・ポピー	アイスランド・ポピー	その他	春	
1982	教出	3	上	目次をひらこう	57	あおうきくさ	あおうきくさ	その他	夏	
1983	教出	3	上	目次をひらこう	57	あおうきくさ	あおうきくさ	その他	夏	
1984	教出	3	上	目次をひらこう	57	あかつめくさ	あかつめくさ	その他	夏	
1985	教出	3	上	目次をひらこう	57	あきのきりんそう	あきのきりんそう	その他	秋	
1986	教出	3	上	目次をひらこう	57	秋の七草	秋の七草	その他	秋	
1987	教出	3	上	目次をひらこう	57	あさがお	あさがお	その他	秋	
1988	教出	3	上	目次をひらこう	57	あさくさのり	あさくさのり	その他	春	
1989	教出	3	上	目次をひらこう	57	あさつき	あさつき	その他	春	
1990	教出	3	上	目次をひらこう	57	あじさい	あじさい	その他	夏	
1991	教出	3	上	目次をひらこう	57	あしたば	あしたば	その他	春	
1992	教出	3	上	森のスケーター　やまね	60	また、つめは、わしのくちばしのような形のかぎづめになっていて、みきやえだをひっかけやすくなっています。	わし	非文学	冬	
1993	教出	3	上	森のスケーター　やまね	60	その様子は、まるで森のスケーターです。	スケーター	非文学	冬	
1994	教出	3	上	森のスケーター　やまね	60	えだの下を走るのは、ふくろうなどの天てきに見つかりにくいからともいわれています。	ふくろう	非文学	冬	
1995	教出	3	上	森のスケーター　やまね	61	子どもがこまった時に出す声は、母親に子どもの世話をしようと思わせるはたらきがあり、この声は、ふくろうには聞こえない高い音です。	ふくろう	非文学	冬	
1996	教出	3	上	森のスケーター　やまね	61	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の	冬みん	非文学	冬	

						皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。				
1997	教出	3	上	森のスケーター　やまね	61	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。	春	非文学	春	
1998	教出	3	上	森のスケーター　やまね	61	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。	秋	非文学	秋	
1999	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。	あけび	非文学	秋	
2000	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。	が	非文学	夏	
2001	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	冬みんからさめた春から、次の冬みんに入る秋までの間、やまねはきせつによって花の花ふんやみつ、あけびなどの木のみ、えいようが多くふくまれたかれた木の皮、そして、がやかなぶんなどの虫も食べます。	かなぶん	非文学	夏	
2002	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	秋のおわりになると、えいようをたくわえて太り、長い冬みんのじゅんびをします。	秋のおわり	非文学	秋	
2003	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	秋のおわりになると、えいようをたくわえて太り、長い冬みんのじゅんびをします。	冬みん	非文学	冬	
2004	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	五つ目の理由は、冬みんの仕組みにあります、	冬みん	非文学	冬	
2005	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	やまねは、さむい地方では秋から春までの一年の半分ほどを、おち葉やかれた木の中で、何も食べずにねむりつづけます。	秋	非文学	秋	

2006	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	やまねは、さむい地方では秋から春までの一年の半分ほどを、おち葉やかれた木の中で、何も食べずにねむりつづけます。	春	非文学	春	
2007	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	やまねは、さむい地方では秋から春までの一年の半分ほどを、おち葉やかれた木の中で、何も食べずにねむりつづけます。	おち葉	非文学	冬	
2008	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	やまねは、さむい地方では秋から春までの一年の半分ほどを、おち葉やかれた木の中で、何も食べずにねむりつづけます。	かれた木	非文学	冬	
2009	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	冬みん中、やまねは体をつめたくして体温をぐんと下げ、動きません。	冬みん	非文学	冬	
2010	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	やまねにとって、えさのないきびしい冬の間、ねむることは生きのびるためにひつようなことなのです。	冬の間	非文学	冬	
2011	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	もし、冬みん中に、まわりの温度が下がりすぎて、きん肉も血もこおりつくきけんがせまると、やまねは体温を自然に上げはじめ、目をさましてあん全な冬みん場所にうつります。	冬みん中	非文学	冬	
2012	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	もし、冬みん中に、まわりの温度が下がりすぎて、きん肉も血もこおりつくきけんがせまると、やまねは体温を自然に上げはじめ、目をさましてあん全な冬みん場所にうつります。	冬みん	非文学	冬	
2013	教出	3	上	森のスケーター　やまね	62	もし、冬みん中に、まわりの温度が下がりすぎて、きん肉も血もこおりつくきけんがせまると、やまねは体温を自然に上げはじめ、目をさましてあん全な冬みん場所にうつります。	こおりつく	非文学	冬	
2014	教出	3	上	はっとしたことを	63	こたつやエアコンのように、きまった温度になると自動てきに動きだす仕組みを、小さな体の中にもっているのです。	こたつ	非文学	冬	
2015	教出	3	上	はっとしたことを	64	まん丸の夕やけ	夕やけ	文学	夏	

2016	教出	3	上	はっとしたことを	64	階だんのまどいっぱいに　まん丸の夕やけが見えた。	夕やけ	文学	夏	
2017	教出	3	上	はっとしたことを	64	「目をつぶっても　丸い夕やけがのこっているよ。」	夕やけ	文学	夏	
2018	教出	3	上	はっとしたことを	64	校庭にも　夕やけが広がっていた。	夕やけ	文学	夏	
2019	教出	3	上	はっとしたことを	64	わたしの家も夕やけの中だ。	夕やけ	文学	夏	
2020	教出	3	上	はっとしたことを	64	夕やけが目の中に入ったみたいだ。	夕やけ	文学	夏	
2021	教出	3	上	はっとしたことを	65	『まん丸の夕やけ』	夕やけ	その他	夏	
2022	教出	3	上	はっとしたことを	65	細川さんは、「発見ノート」を読み返して、「まん丸の夕やけ」のことを詩に書きかえました。	夕やけ	その他	夏	
2023	教出	3	上	はっとしたことを	65	《まん丸の夕やけを見たこと》	夕やけ	その他	夏	
2024	教出	3	上	はっとしたことを	65	・学校の階だんから、まん丸の夕やけが見えた。	夕やけ	その他	夏	
2025	教出	3	上	はっとしたことを	65	目をつぶっても、丸い夕やけがのこっていた。	夕やけ	その他	夏	
2026	教出	3	上	はっとしたことを	65	しちょうかく室から見たら、わたしの家も夕やけの中に見えた。	夕やけ	その他	夏	
2027	教出	3	上	はっとしたことを	65	夕やけが目の中に入ったみたい。	夕やけ	その他	夏	
2028	教出	3	上	漢字の広場③読んでみよう・書いてみよう	66	春	春	その他	春	
2029	教出	3	上	漢字の広場③読んでみよう・書いてみよう	66	夏	夏	その他	夏	
2030	教出	3	上	漢字の広場③読んでみよう・書いてみよう	66	秋	秋	その他	秋	
2031	教出	3	上	漢字の広場③読んでみよう・書いてみよう	66	冬	冬	その他	冬	
2032	教出	3	上	楽しくつたえ合おう　手紙でつたえよう	74	だんだんすずしくなってきましたが、お元気ですか。	すずしく	その他	秋	
2033	教出	3	上	楽しくつたえ合おう　手紙でつたえよう	75	東京もまだ暑いですか。	まだ暑い	その他	秋	
2034	教出	3	上	楽しくつたえ合おう　手紙でつたえよう	75	夏休みにはせみとりをして、とても楽しかったですね。	夏休み	その他	夏	
2035	教出	3	上	楽しくつたえ合おう　手紙でつ	75	夏休みにはせみとりをして、とても楽しかったですね。	せみとり	その他	夏	

				たえよう						
2036	教出	3	上	楽しくつたえ合おう　手紙でつたえよう	75	そろそろぶどうがおいしくなってきました。	ぶどう	その他	秋	
2037	教出	3	上	手紙でつたえよう	75	おばあちゃんも楽しみにしているので、ご家族みんなでぶどうがりに来てください。	ぶどう	その他	秋	
2038	教出	3	上	わすれられないおくりもの	78	あなぐまは、かしこくて、いつもみんなにたよりにされてます。	あなぐま	文学	冬	1
2039	教出	3	上	わすれられないおくりもの	78	あなぐまは、自分の年だと、死ぬのがそう遠くはないことも、知っていました。	あなぐま	文学	冬	1
2040	教出	3	上	わすれられないおくりもの	79	あなぐまは、死ぬことをおそれてはいません。	あなぐま	文学	冬	1
2041	教出	3	上	わすれられないおくりもの	79	ある日のこと、あなぐまは、もぐらとかえるのかけっこを見に、おかにのぼりました。	あなぐま	文学	冬	1
2042	教出	3	上	わすれられないおくりもの	79	ある日のこと、あなぐまは、もぐらとかえるのかけっこを見に、おかにのぼりました。	かえる	文学	春	1
2043	教出	3	上	わすれられないおくりもの	79	あと一度だけでも、みんなといっしょに走れたらと思いましたが、あなぐまの足では、もうむりなことです。	あなぐま	文学	冬	1
2044	教出	3	上	わすれられないおくりもの	79	夜になって、あなぐまは家に帰ってきました。	あなぐま	文学	冬	1
2045	教出	3	上	わすれられないおくりもの	80	月におやすみを言って、カーテンをしめました。	月	文学	秋	1
2046	教出	3	上	わすれられないおくりもの	80	そこでは、だんろがもえています。	だんろ	文学	冬	1
2047	教出	3	上	わすれられないおくりもの	80	ゆりいすをだんろのそばに引きよせて、しずかにゆらしているうちに、あなぐまは、ぐっすりねいってしまいました。	だんろ	文学	冬	1
2048	教出	3	上	わすれられないおくりもの	80	ゆりいすをだんろのそばに引きよせて、しずかにゆらしているうちに、あなぐまは、ぐっすりねいってしまいました。	あなぐま	文学	冬	1
2049	教出	3	上	わすれられないおくりもの	80	おどろいたことに、あなぐまは走っているのです。	あなぐま	文学	冬	1
2050	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	あなぐまは、すっかり自由になったと感じました。	あなぐま	文学	冬	1
2051	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	次の日の朝、あなぐまの友だちは、みんな心配して集まりました。	あなぐま	文学	冬	1

2052	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	あなぐまが、いつものように、おはようを言いに来てくれないからです。	あなぐま	文学	冬	1
2053	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	きつねが、悲しい知らせをつたえました。	きつね	文学	冬	1
2054	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	あなぐまが死んでしまったのです。	あなぐま	文学	冬	1
2055	教出	3	上	わすれられないおくりもの	81	そして、あなぐまの手紙を、みんなに読んでくれました。	あなぐま	文学	冬	1
2056	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	長いトンネルのむこうに行くよさようなら　あなぐまより	あなぐま	文学	冬	1
2057	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	森のみんなは、あなぐまをとてもあいしていましたから、悲しまない者はいませんでした。	あなぐま	文学	冬	1
2058	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	ベッドの中で、もぐらは、あなぐまのことばかり考えていました。	あなぐま	文学	冬	1
2059	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	その夜、雪がふりました。	雪	文学	冬	1
2060	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	冬が始まったのです。	冬	文学	冬	1
2061	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	これからのさむいきせつ、みんなをあたたかく守ってくれる家の上にも、雪はふりつもりました。	雪	文学	冬	1
2062	教出	3	上	わすれられないおくりもの	82	これからのさむいきせつ、みんなをあたたかく守ってくれる家の上にも、雪はふりつもりました。	さむい	文学	冬	1
2063	教出	3	上	わすれられないおくりもの	83	雪は、地上をすっかりおおいました。	雪	文学	冬	1
2064	教出	3	上	わすれられないおくりもの	83	あなぐまは、いつでも、そばにいてくれたのに―みんなは、今どうしていいか、とほうにくれていたのです。	あなぐま	文学	冬	1
2065	教出	3	上	わすれられないおくりもの	83	あなぐまは、悲しまないようにと言っていましたが、それは、とてもむずかしいことでした。	あなぐま	文学	冬	1
2066	教出	3	上	わすれられないおくりもの	83	春が来て、外に出られるようになると、みんな、たがいに行き来しては、あなぐまの思い出を語り合いました。	春	文学	春	1
2067	教出	3	上	わすれられないおくりもの	83	春が来て、外に出られるようになると、みんな、たがいに行き来しては、あなぐまの思い出を語り合いました。	あなぐま	文学	冬	1
2068	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	切りぬき方は、あなぐまが教えてくれたものでした。	あなぐま	文学	冬	1
2069	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	かえるはスケートがとくいです。	かえる	文学	春	1
2070	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	スケートを、はじめてあなぐまに習った時のことを話し	あなぐま	文学	冬	1

						ました。				
2071	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	あなぐまは、かえるが一人でりっぱにすべれるようになるまで、ずっとやさしく、そばについてくれていたのです。	あなぐま	文学	冬	1
2072	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	あなぐまは、かえるが一人でりっぱにすべれるようになるまで、ずっとやさしく、そばについてくれていたのです。	かえる	文学	春	1
2073	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	きつねは、子どものころあなぐまに教えてもらうまで、ネクタイがむすべなかったことを思い出しました。	きつね	文学	冬	1
2074	教出	3	上	わすれられないおくりもの	84	きつねは、子どものころあなぐまに教えてもらうまで、ネクタイがむすべなかったことを思い出しました。	あなぐま	文学	冬	1
2075	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	きつねは今、どんなむすび方だってできますし、自分で考え出したむすび方もあるんです。	きつね	文学	冬	1
2076	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	うさぎのおくさんの料理上手は、村じゅうに知れわたっていました。	うさぎ	文学	冬	1
2077	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	でも、さいしょに料理を教えてくれたのは、あなぐまでした。	あなぐま	文学	冬	1
2078	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	ずっと前、あなぐまは、うさぎにしょうがパンのやき方を教えてくれたのです。	あなぐま	文学	冬	1
2079	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	ずっと前、あなぐまは、うさぎにしょうがパンのやき方を教えてくれたのです。	うさぎ	文学	冬	1
2080	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	ずっと前、あなぐまは、うさぎにしょうがパンのやき方を教えてくれたのです。	しょうがパン	文学	秋	1
2081	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	うさぎのおくさんは、はじめて料理を教えてもらった時のことを思い出すと、今でも、やきたてのしょうがパンのかおりが、ただよってくるようだと言いました。	うさぎ	文学	冬	1
2082	教出	3	上	わすれられないおくりもの	85	うさぎのおくさんは、はじめて料理を教えてもらった時のことを思い出すと、今でも、やきたてのしょうがパンのかおりが、ただよってくるようだと言いました。	しょうがパン	文学	秋	1

2083	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	みんなだれにも、なにかしら、あなぐまの思い出がありました。	あなぐま	文学	冬	1
2084	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	あなぐまは、一人一人に、わかれたあとでもたからものとなるような、ちえやくふうをのこしてくれたのです。	あなぐま	文学	冬	1
2085	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	最後の雪が消えたころ、あなぐまがのこしてくれたもののゆたかさで、みんなの悲しみも、消えていました。	雪	文学	冬	1
2086	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	最後の雪が消えたころ、あなぐまがのこしてくれたもののゆたかさで、みんなの悲しみも、消えていました。	最後の雪が消えたころ	文学	春	1
2087	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	最後の雪が消えたころ、あなぐまがのこしてくれたもののゆたかさで、みんなの悲しみも、消えていました。	あなぐま	文学	冬	1
2088	教出	3	上	わすれられないおくりもの	86	あなぐまの話が出るたびに、だれかがいつも、楽しい思い出を、話すことができるようになったのです。	あなぐま	文学	冬	1
2089	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	あるあたたかい春の日に、もぐらは、いつかかえるとかけっこをしたおかにのぼりました。	あるあたたかい春の日	文学	春	1
2090	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	あるあたたかい春の日に、もぐらは、いつかかえるとかけっこをしたおかにのぼりました。	かえる	文学	春	1
2091	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	もぐらは、あなぐまがのこしてくれた、おくりもののお礼が言いたくなりました。	あなぐま	文学	冬	1
2092	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	「ありがとう、あなぐまさん。」	あなぐまさん	文学	冬	1
2093	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	もぐらは、なんだか、そばであなぐまが、聞いていてくれるような気がしました。	あなぐま	文学	冬	1
2094	教出	3	上	わすれられないおくりもの	87	そうですね―きっとあなぐまに―聞こえたにちがいありませんよね。	あなぐま	文学	冬	1
2095	教出	3	上	新しく学んだ漢字	99	りんごの実がなる	りんご	その他	秋	
2096	教出	3	上	新しく学んだ漢字	100	雪がふる	雪	その他	冬	
2097	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	右の写真はシオカラトンボ、まん中はハグロトンボ、左はオニヤンマです。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2098	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	右の写真はシオカラトンボ、まん中はハグロトンボ、左はオニヤンマです。	ハグロトンボ	非文学	秋	

2099	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	右の写真はシオカラトンボ、まん中はハグロトンボ、左はオニヤンマです。	オニヤンマ	非文学	秋	
2100	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	しかし、この三つは、どれもトンボの仲間です。	トンボ	非文学	秋	
2101	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	ですから、この三つをまとめて、トンボということができます。	トンボ	非文学	秋	
2102	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	左下の絵を見ると、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマは小さな箱、トンボは大きな箱になっています。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2103	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	左下の絵を見ると、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマは小さな箱、トンボは大きな箱になっています。	ハグロトンボ	非文学	秋	
2104	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	左下の絵を見ると、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマは小さな箱、トンボは大きな箱になっています。	オニヤンマ	非文学	秋	
2105	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	10	左下の絵を見ると、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマは小さな箱、トンボは大きな箱になっています。	トンボ	非文学	秋	
2106	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	ほかに、ギンヤンマ・アオイトトンボなども入れることができるわけです。	ギンヤンマ	非文学	秋	
2107	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	ほかに、ギンヤンマ・アオイトトンボなども入れることができるわけです。	アオイトトンボ	非文学	秋	
2108	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	つまり、「トンボ」という言葉は、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…より、「広い意味をもった言葉」ということになります。	トンボ	非文学	秋	
2109	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	つまり、「トンボ」という言葉は、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…より、「広い意味をもった言葉」ということになります。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2110	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	つまり、「トンボ」という言葉は、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…より、「広い意味をもった	ハグロトンボ	非文学	秋	

						言葉」ということになります。				
2111	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	つまり、「トンボ」という言葉は、シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…より、「広い意味をもった言葉」ということになります。	オニヤンマ	非文学	秋	
2112	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	トンボ	トンボ	非文学	秋	
2113	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	シオカラトンボ	シオカラトンボ	非文学	秋	
2114	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	ハグロトンボ	ハグロトンボ	非文学	秋	
2115	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	オニヤンマ	オニヤンマ	非文学	秋	
2116	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	11	上はシオカラトンボです。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2117	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	これはトンボの仲間でしたね。	トンボ	非文学	秋	
2118	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	まん中はヒグラシですが、ミンミンゼミ・アブラゼミなどといっしょに、セミの仲間です。	ヒグラシ	非文学	秋	
2119	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	まん中はヒグラシですが、ミンミンゼミ・アブラゼミなどといっしょに、セミの仲間です。	ミンミンゼミ	非文学	夏	
2120	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	まん中はヒグラシですが、ミンミンゼミ・アブラゼミなどといっしょに、セミの仲間です。	アブラゼミ	非文学	夏	
2121	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	まん中はヒグラシですが、ミンミンゼミ・アブラゼミなどといっしょに、セミの仲間です。	セミ	非文学	夏	
2122	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	同じように考えて、下のモンシロチョウは、チョウの仲間となります。	モンシロチョウ	非文学	春	
2123	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	同じように考えて、下のモンシロチョウは、チョウの仲間となります。	チョウ	非文学	春	
2124	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2125	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	ハグロトンボ	非文学	秋	
2126	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトン	オニヤンマ	非文学	秋	

						ボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。				
2127	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	トンボ	非文学	秋	
2128	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	トンボ	非文学	秋	
2129	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	セミ	非文学	夏	
2130	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	12	シオカラトンボ・ハグロトンボ・オニヤンマ・…をトンボという言葉でまとめたように、トンボ・セミ・チョウも、ほかの一つの言葉でまとめようというのです。	チョウ	非文学	春	
2131	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	トンボもセミもチョウも、六本のあしをもっていて、頭・むね・はらの三つに分かれています。	トンボ	非文学	秋	
2132	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	トンボもセミもチョウも、六本のあしをもっていて、頭・むね・はらの三つに分かれています。	セミ	非文学	夏	
2133	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	トンボもセミもチョウも、六本のあしをもっていて、頭・むね・はらの三つに分かれています。	チョウ	非文学	春	
2134	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	下の絵のように、「こん虫」という言葉は、トンボ・セミ・チョウ・…よりも、もっと「広い言葉」といえるわけです。	トンボ	非文学	秋	
2135	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	下の絵のように、「こん虫」という言葉は、トンボ・セミ・チョウ・…よりも、もっと「広い言葉」といえるわけです。	セミ	非文学	夏	
2136	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	13	下の絵のように、「こん虫」という言葉は、トンボ・セミ・チョウ・…よりも、もっと「広い言葉」といえるわけです。	チョウ	非文学	春	

2137	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	14	上のシオカラトンボを、これまで出てきたうちでいちばん「広い言葉」で表すと、「こん虫」という言葉になりますね。	シオカラトンボ	非文学	秋	
2138	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	14	同じように、まん中のリュウキンは「キンギョ」の仲間であり、もっと「広い言葉」で表せば「魚」の仲間となります。	リュウキン	非文学	夏	
2139	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	14	同じように、まん中のリュウキンは「キンギョ」の仲間であり、もっと「広い言葉」で表せば「魚」の仲間となります。	キンギョ	非文学	夏	
2140	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	15	トンボ・チョウなどは、もっと「せまい言葉」になります。	トンボ	非文学	秋	
2141	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	15	トンボ・チョウなどは、もっと「せまい言葉」になります。	チョウ	非文学	春	
2142	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	18	１トンボのかわりに、チョウやセミを取り上げて、さいしょのまとまりのところを書き直す。	トンボ	その他	秋	
2143	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	18	１トンボのかわりに、チョウやセミを取り上げて、さいしょのまとまりのところを書き直す。	チョウ	その他	春	
2144	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	18	１トンボのかわりに、チョウやセミを取り上げて、さいしょのまとまりのところを書き直す。	セミ	その他	夏	
2145	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	18	４チョウやセミを取り上げることによって、せつ明する言葉がかわるところに気をつけながら書く。	チョウ	その他	春	
2146	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	18	４チョウやセミを取り上げることによって、せつ明する言葉がかわるところに気をつけながら書く。	セミ	その他	夏	
2147	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	19	右の絵はアゲハ、まん中はモンシロチョウ、左はキチョウです。	アゲハ	その他	春	
2148	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	19	右の絵はアゲハ、まん中はモンシロチョウ、左はキチョウです。	モンシロチョウ	その他	春	
2149	教出	3	下	広い言葉、せまい言葉	19	右の絵はアゲハ、まん中はモンシロチョウ、左はキチョウです。	キチョウ	その他	春	

2150	教出	3	下	漢字の広場⑤漢字の音と訓	24	き（ももの木）	ももの木	その他	春	
2151	教出	3	下	漢字の広場⑤漢字の音と訓	24	春夏秋冬	春	その他	春	
2152	教出	3	下	漢字の広場⑤漢字の音と訓	24	春夏秋冬	夏	その他	夏	
2153	教出	3	下	漢字の広場⑤漢字の音と訓	24	春夏秋冬	秋	その他	秋	
2154	教出	3	下	漢字の広場⑤漢字の音と訓	24	春夏秋冬	冬	その他	冬	
2155	教出	3	下	本の世界を広げよう「読書クイズ」を出し合おう	40	ねこ、かっこう、たぬき、のねずみだったよね。	かっこう	その他	夏	
2156	教出	3	下	本の世界を広げよう「読書クイズ」を出し合おう	40	ねこ、かっこう、たぬき、のねずみだったよね。	たぬき	その他	冬	
2157	教出	3	下	漢字の広場⑥読んでみよう・書いてみよう	42	竹馬	竹馬	その他	冬	
2158	教出	3	下	漢字の広場⑥読んでみよう・書いてみよう	42	入道雲	入道雲	その他	夏	
2159	教出	3	下	身近な話題をとらえて話し合おう	44	ぼくが見つけたものは、ストーブについていました。	ストーブ	その他	冬	
2160	教出	3	下	身近な話題をとらえて話し合おうくらしと絵文字	50	「地しんや火事のときは、ここからにげなさい。」	火事	非文学	冬	
2161	教出	3	下	漢字の広場⑦漢字の組み立て（一）	56	夏休み	夏休み	その他	夏	
2162	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	58	村田さんは、長なわ大会に向けて、友だちと練習していることを書くことにしました。	長なわ大会	その他	冬	
2163	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	58	長なわとび	長なわとび	その他	冬	
2164	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	59	①長なわ大会で勝つための、はじめての日の練習で、十回とべた。	長なわ大会	その他	冬	
2165	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	59	わたしは、今、集会委員が計画した長なわ大会で勝つために、クラスの友だちと七人で、長なわとびの練習をしています。	長なわ大会	その他	冬	
2166	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強	59	わたしは、今、集会委員が計画した長なわ大会で勝った	長なわとび	その他	冬	

				く心にのこっていることを		めに、クラスの友だちと七人で、長なわとびの練習をしています。				
2167	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	60	「わたしたち、長なわ大会出るの、やめるね。」	長なわ大会	その他	冬	
2168	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	62	でも、わたしは、そのことよりも、さっちゃんたちとみんなで長なわとびができるようになったことのほうが、もっとうれしかったです。	長なわとび	その他	冬	
2169	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう強く心にのこっていることを	62	そして、長なわとびの練習がみんなでつづけられるかどうか心配した②の場面を中心にして、書くことにしました。	長なわとび	その他	冬	
2170	教出	3	下	中心をはっきりさせて書こう文の組み立て	65	小鳥がさえずる。	小鳥	その他	秋	
2171	教出	3	下	漢字の広場⑧漢字の組み立て（二）	66	草（野草・草花）	野草	その他	夏	
2172	教出	3	下	おにたのぼうし	72	女の子は、新しい雪でひやしたタオルを、お母さんのひたいにのせました。	雪	文学	冬	
2173	教出	3	下	おにたのぼうし	69	その物おき小屋の天じょうに、去年の春から、小さな黒おにの子どもが住んでいました。	春	文学	春	
2174	教出	3	下	おにたのぼうし	76	氷がとけたように、急におにたがいなくなりました。	氷	文学	冬	
2175	教出	3	下	おにたのぼうし	70	こな雪がふっていました。	こな雪	文学	冬	
2176	教出	3	下	おにたのぼうし	73	おにたは、もうむちゅうで、台所のまどのやぶれた所から、寒い外へとび出していきました。	寒い	文学	冬	
2177	教出	3	下	おにたのぼうし	71	それから、赤くなった小さな指を口に当てて、ハーッと、白い息をふきかけています。	白い息	文学	冬	
2178	教出	3	下	おにたのぼうし	74	「節分だから、ごちそうがあまったんだ。」	節分	文学	冬	
2179	教出	3	下	おにたのぼうし	73	今日は節分でしょう。	節分	文学	冬	
2180	教出	3	下	おにたのぼうし	68	節分の夜のことです。	節分	文学	冬	
2181	教出	3	下	おにたのぼうし	73	大根一切れありません。	大根	文学	冬	
2182	教出	3	下	おにたのぼうし	70	おにたのはだしの小さな足が、つめたい雪の中に、とき	つめたい	文学	冬	

						どき、すぽっと入ります。				
2183	教出	3	下	おにたのぼうし	71	「こりゃあ、豆のにおいがしないぞ。しめた。ひいらぎもかざっていない。」	ひいらぎ	文学	冬	
2184	教出	3	下	おにたのぼうし	70	ひいらぎは、おにの目をさすからです。	ひいらぎ	文学	冬	
2185	教出	3	下	おにたのぼうし	70	でも、今夜は、どのうちも、ひいらぎの葉をかざっているので、入ることができません。	ひいらぎの葉	文学	冬	
2186	教出	3	下	おにたのぼうし	75	「あたしも、豆まき、したいなあ。」	豆まき	文学	冬	
2187	教出	3	下	おにたのぼうし	75	「もう、みんな、豆まきすんだかな、と思ったの。」	豆まき	文学	冬	
2188	教出	3	下	おにたのぼうし	77	とてもしずかな豆まきでした。	豆まき	文学	冬	
2189	教出	3	下	おにたのぼうし	68	まこと君が、元気に豆まきを始めました。	豆まき	文学	冬	
2190	教出	3	下	おにたのぼうし	69	豆まきの音を聞きながら、おにたは思いました。	豆まき	文学	冬	
2191	教出	3	下	おにたのぼうし	77	麦わらぼうしから、黒い豆をまきながら、女の子は、「さっきの子は、きっと神様だわ。そうよ、神様よ…。」と考えました。	豆まき	文学	冬	
2192	教出	3	下	おにたのぼうし	76	あとには、あの麦わらぼうしだけが、ぽつんとのこっています。	麦わらぼうし	文学	夏	
2193	教出	3	下	おにたのぼうし	74	女の子が出ていくと、雪まみれの麦わらぼうしを深くかぶった男の子が立っていました。	麦わらぼうし	文学	夏	
2194	教出	3	下	おにたのぼうし	70	そして、古い麦わらぼうしをかぶりました。	麦わらぼうし	文学	夏	
2195	教出	3	下	おにたのぼうし	77	麦わらぼうしから、黒い豆をまきながら、女の子は、「さっきの子は、きっと神様だわ。そうよ、神様よ…。」と考えました。	麦わらぼうし	文学	夏	
2196	教出	3	下	おにたのぼうし	70	おにたのはだしの小さな足が、つめたい雪の中に、ときどき、すぽっと入ります。	雪	文学	冬	
2197	教出	3	下	おにたのぼうし	71	その子は、でこぼこしたせんめんきの中に、雪をすくって入れました。	雪	文学	冬	
2198	教出	3	下	おにたのぼうし	74	女の子が出ていくと、雪まみれの麦わらぼうしを深くかぶった男の子が立っていました。	雪	文学	冬	
2199	教出	4	上	春のうた	6	春のうた　　草野心平	春	文学	春	

2200	教出	4	上	春のうた	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	かえる	文学	春	
2201	教出	4	上	春のうた	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	冬	文学	冬	
2202	教出	4	上	春のうた	6	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上に出てきます。	春	文学	春	
2203	教出	4	上	春のうた	7	ほっ　いぬのふぐりがさいている。	いぬのふぐり	文学	春	
2204	教出	4	上	春のうた	7	ほっ　おおきなくもがうごいてくる	おおきなくも	文学	春	
2205	教出	4	上	あり	8	あり	あり	文学	夏	
2206	教出	4	上	あり	8	十八メートルもあるありさん	ありさん	文学	夏	
2207	教出	4	上	あり	8	そんなありありっこないさ	あり	文学	夏	
2208	教出	4	上	あり	8	ペンギンとあひるで満員の車を引っ張るありさん	ありさん	文学	夏	
2209	教出	4	上	あり	8	そんなありありっこないさ	あり	文学	夏	
2210	教出	4	上	あり	9	フランス語を話すありさん	ありさん	文学	夏	
2211	教出	4	上	あり	9	ラテン語とジャヴァ語を話すありさん	ありさん	文学	夏	
2212	教出	4	上	あり	9	そんなありありっこないさ	あり	文学	夏	
2213	教出	4	上	あり	9	ほんと！でもそんなありさん　なぜいないんだろ？	ありさん	文学	夏	
2214	教出	4	上	元気に声を出し合おう体験ノート	17	図書館でかりた『ぬまをわたるかわせみ』（今西祐行）を読んで、ひとりぼっちのかわせみのさびしさを強く感じたこと。	かわせみ	文学	夏	
2215	教出	4	上	やい、とかげ	22	ぼくを見ていたのは、石の上の一ぴきのとかげだった。	とかげ	文学	夏	
2216	教出	4	上	やい、とかげ	22	とかげの横目はそう言っていた。	とかげ	文学	夏	
2217	教出	4	上	やい、とかげ	22	生意気なとかげをおどろかせてやろうと、ぼくはとかげのいる石にろう石を投げた。	とかげ	文学	夏	
2218	教出	4	上	やい、とかげ	22	生意気なとかげをおどろかせてやろうと、ぼくはとかげのいる石にろう石を投げた。	とかげ	文学	夏	
2219	教出	4	上	やい、とかげ	22	石に当たったろう石はバウンドして、とかげに当たった。	とかげ	文学	夏	
2220	教出	4	上	やい、とかげ	23	石の上に、とかげのしっぽだけが残った。	とかげ	文学	夏	

2221	教出	4	上	やい、とかげ	23	さくらの花がいちばんきれいにさいた日、明るい花の下で、ぼくはのぶちゃんと友だちになった。	さくらの花	文学	春	
2222	教出	4	上	やい、とかげ	23	さくらの花がいちばんきれいにさいた日、明るい花の下で、ぼくはのぶちゃんと友だちになった。	花	文学	春	
2223	教出	4	上	やい、とかげ	23	ざりがにをつりに行った日、どろやなぎの葉が風に光る川原で、ぼくはのぶちゃんと待ち合わせをした。	どろやなぎの葉	文学	春	
2224	教出	4	上	やい、とかげ	23	ざりがにをつりに行った日、どろやなぎの葉が風に光る川原で、ぼくはのぶちゃんと待ち合わせをした。	ざりがに	文学	夏	
2225	教出	4	上	やい、とかげ	24	まつの実、しいの実、どんぐりの実、いろんな実のふる音の中を、ぼくはのぶちゃんとどこかへ急いでいた。	まつの実	文学	秋	
2226	教出	4	上	やい、とかげ	24	まつの実、しいの実、どんぐりの実、いろんな実のふる音の中を、ぼくはのぶちゃんとどこかへ急いでいた。	しいの実	文学	秋	
2227	教出	4	上	やい、とかげ	24	まつの実、しいの実、どんぐりの実、いろんな実のふる音の中を、ぼくはのぶちゃんとどこかへ急いでいた。	どんぐりの実	文学	秋	
2228	教出	4	上	やい、とかげ	24	冬休みに入ったさいしょの日、ぼくはのぶちゃんと学校へ遊びに行った。	冬休み	文学	冬	
2229	教出	4	上	やい、とかげ	24	ふながねむる、こいがねむる、たにしがねむる池を、ぼくとのぶちゃんはいつまでものぞきこんだ。	たにし	文学	春	
2230	教出	4	上	やい、とかげ	25	それは、石の上の一ぴきのとかげだった。	とかげ	文学	夏	
2231	教出	4	上	やい、とかげ	26	とかげは、ぼくの方に生えたてのしっぽを投げ出して、「見ろよ！」というように、横目でぼくを見ている。	とかげ	文学	夏	
2232	教出	4	上	やい、とかげ	27	ふり返ると、石の上に、とかげはもういなかった。	とかげ	文学	夏	
2233	教出	4	上	やい、とかげ	27	とかげのいない石がまぶしかった。	とかげ	文学	夏	
2234	教出	4	上	やい、とかげ	27	やい、とかげ、せっかく生えたしっぽ、なくすなよ。	とかげ	文学	夏	
2235	教出	4	上	調べたことを整理して書こう昔のことを調べよう	33	角のビルが建っている場所は、れんげ畑だったこと。	れんげ畑	その他	夏	
2236	教出	4	上	調べたことを整理して書こう昔のことを調べよう	33	学校が終わると、みんなで虫とりやゴムとびをして遊んだこと。	ゴムとび	その他	冬	
2237	教出	4	上	調べたことを整理して書こう昔	35	その本から，男の子は，自転車のリムを使ったわ回し，	なわとび	その他	冬	

				のことを調べよう		かんけり，ビー玉，めんこ，べいごまなど，女の子は，なわとび，ゴムとび，石けりなどでよく遊んだということがわかりました。				
2238	教出	4	上	調べたことを整理して書こう昔のことを調べよう	35	その本から，男の子は，自転車のリムを使ったわ回し，かんけり，ビー玉，めんこ，べいごまなど，女の子は，なわとび，ゴムとび，石けりなどでよく遊んだということがわかりました。	ゴムとび	その他	冬	
2239	教出	4	上	花を見つける手がかり	42	もんしろちょうは，日本じゅうどこにでもいる，ありふれたちょうです。	もんしろちょう	非文学	春	
2240	教出	4	上	花を見つける手がかり	42	もんしろちょうは，日本じゅうどこにでもいる，ありふれたちょうです。	ちょう	非文学	春	
2241	教出	4	上	花を見つける手がかり	42	みなさんも知っているように，もんしろちょうは，花に止まって，そのみつをすいます。	もんしろちょう	非文学	春	
2242	教出	4	上	花を見つける手がかり	42	いったい，もんしろちょうは，何を手がかりにして，花を見つけるのでしょう。	もんしろちょう	非文学	春	
2243	教出	4	上	花を見つける手がかり	42	もんしろちょうにきいてみればわかるのですが、そんなわけにはいきません。	もんしろちょう	非文学	春	
2244	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	実験には、たくさんのもんしろちょうが必要です。	もんしろちょう	非文学	春	
2245	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	一度に百ぴき、二百ぴきというもんしろちょうを放し、花を見つける様子をえい画のカメラで記録して、くわしく観察するためです。	もんしろちょう	非文学	春	
2246	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	キャベツをえさに青虫を育て、実験に使うもんしろちょうを用意しました。	青虫	非文学	春	
2247	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	キャベツをえさに青虫を育て、実験に使うもんしろちょうを用意しました。	もんしろちょう	非文学	春	
2248	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	少しはなれた所で、生まれてから花を見たことのないもんしろちょうを、いっせいに放しました。	もんしろちょう	非文学	春	
2249	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	もんしろちょうは、いっせいに、花だんに向かってとんでいきます。	もんしろちょう	非文学	春	

2250	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	もんしろちょうは、生まれながらに、花を見つける力を身につけているようです。	もんしろちょう	非文学	春	
2251	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	花だんは、たちまち、ちょうでいっぱいになってしまいました。	ちょう	非文学	春	
2252	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	注意して見ると、ちょうのよく集まる花と、そうでない花とがあります。	ちょう	非文学	春	
2253	教出	4	上	花を見つける手がかり	43	もんしろちょうは、色で花を見分けているのでしょうか。	もんしろちょう	非文学	春	
2254	教出	4	上	花を見つける手がかり	44	もんしろちょうを放すと、やはり、まっすぐに造花に向かってとんでいきました。	もんしろちょう	非文学	春	
2255	教出	4	上	花を見つける手がかり	44	ですから、もんしろちょうは、においではなく、花の色か形にひかれていると考えられるでしょう。	もんしろちょう	非文学	春	
2256	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	色紙にも集まってくれば、花の形が問題なのではなく、色だけが、もんしろちょうをひきつけているということになるでしょう。	もんしろちょう	非文学	春	
2257	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	もんしろちょうは、色紙を花だと思ってくれるでしょうか。	もんしろちょう	非文学	春	
2258	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	いよいよ、二百ぴきほどのもんしろちょうを放してみました。	もんしろちょう	非文学	春	
2259	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	ただの紙なのに、やはり、ちょうは集まってきます。	ちょう	非文学	春	
2260	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	止まったちょうは、長い口をのばして、みつをすおうとしています。	ちょう	非文学	春	
2261	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	もんしろちょうは、色紙を花だと思っているようです。	もんしろちょう	非文学	春	
2262	教出	4	上	花を見つける手がかり	45	念のため、赤い色紙にみつをつけたものを用意してみましたが、これにもちょうは来ませんでした。	ちょう	非文学	春	
2263	教出	4	上	花を見つける手がかり	46	このような実験から、もんしろちょうは、色によって花を見つけること、赤い花は見えないらしいことがわかりました。	もんしろちょう	非文学	春	
2264	教出	4	上	花を見つける手がかり	46	「そんなことをいったって、赤い花にもんしろちょうが	もんしろちょう	非文学	春	

						来ているのを見たことがあるよ。」と言う人が、いるかもしれません。				
2265	教出	4	上	花を見つける手がかり	46	もんしろちょうは、その黄色を目あてに、やってきたのでしょう。	もんしろちょう	非文学	春	
2266	教出	4	上	「じょうほうけいじ板」を作ろう	48	四年一組では、『花を見つける手がかり』を読んで、ちょうやそのほかのこん虫について疑問に思うことを、グループごとに調べて知らせ合うことにしました。	ちょう	その他	春	
2267	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	48	もんしろちょうは、いつ活動するか。	もんしろちょう	その他	春	
2268	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	48	『モンシロチョウの観察』（石井象二郎）という本が、おすすめです。	モンシロチョウ	その他	春	
2269	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	48	もんしろちょうは、活動にてきした温度が決まっている。	もんしろちょう	その他	春	
2270	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	48	長田さんのグループは、もんしろちょうは、いつ活動するかについて調べることにしました。	もんしろちょう	その他	春	
2271	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	大山さんのグループは、ちょうやとんぼなどのこん虫には、周りのものがどのように見えているのかについて調べることにしました。	ちょう	その他	春	
2272	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	大山さんのグループは、ちょうやとんぼなどのこん虫には、周りのものがどのように見えているのかについて調べることにしました。	トンボ	その他	秋	
2273	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	あげは	あげは	その他	春	
2274	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	たんぽぽ・やぶからし・ひゃくにちそう・チトニア	たんぽぽ	その他	春	
2275	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	たんぽぽ・やぶがらし・ひゃくにちそう・チトニア	ひゃくにちそう	その他	夏	
2276	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	きちょう	きちょう	その他	春	

2277	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	れんげ・チトニア・けいとう・つりふねそう・せんだんぐさなど	れんげ	その他	夏	
2278	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	れんげ・チトニア・けいとう・つりふねそう・せんだんぐさなど	けいとう	その他	秋	
2279	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	49	れんげ・チトニア・けいとう・つりふねそう・せんだんぐさなど	つりふねそう	その他	秋	
2280	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	50	そこで、何さつか選んで、ちょうのことについて調べることにしました。	ちょう	その他	春	
2281	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	51	アカトンボの一生	アカトンボ	その他	秋	
2282	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	51	アキアカネやナツアカネのことが、いろいろ書かれている。	アキアカネ	その他	秋	
2283	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	51	アキアカネやナツアカネのことが、いろいろ書かれている。	ナツアカネ	その他	夏	
2284	教出	4	上	読書の広場「じょうほうけいじ板」を作ろう	51	とんぼの目は「ふくがん」といって、約三万こもの目が集まっている。	とんぼ	その他	秋	
2285	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	とんぼの楽園づくり	とんぼ	その他	秋	
2286	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	わたしの少年時代には、夏の夕方になると、たくさんのぎんやんまがとんできました。	夏	非文学	夏	
2287	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	わたしの少年時代には、夏の夕方になると、たくさんのぎんやんまがとんできました。	ぎんやんま	非文学	秋	
2288	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	ぎんやんまは、夕方になるとえさを求めて、小さな虫のいる原っぱや水辺に集まるせいしつをもっています。	ぎんやんま	非文学	秋	
2289	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	とんでいるぎんやんまは、なかなかつかまえることができませんでしたが、つかまえることができた時には、むねがどきどきしたことを今でもおぼえています。	ぎんやんま	非文学	秋	
2290	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	秋には、あきあかねなどを指の先に止まらせて遊びました。	秋	非文学	秋	
2291	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	秋には、あきあかねなどを指の先に止まらせて遊びまし	あきあかね	非文学	秋	

						た。				
2292	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	とんぼの種類や数が多いところは、水田やため池などの流れのない水辺です。	とんぼ	非文学	秋	
2293	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	日本では米作りがさかんであったため、とんぼのすみやすいかんきょうが人の手でつくられ、たくさんのとんぼがとびかうようになったのです。	とんぼ	非文学	秋	
2294	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	52	ところが、近年、土地の開発や水のおせんなどで、とんぼの成長や生活にてきした水辺が少なくなってきています。	とんぼ	非文学	秋	
2295	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	日本には、今、約二百種のとんぼがいます。	とんぼ	非文学	秋	
2296	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	その中でも、べっこうとんぼとひぬまいととんぼは、今では生息地もかぎられ、ぜつめつするおそれが高い種に指定されています。	べっこうとんぼ	非文学	秋	
2297	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	その中でも、べっこうとんぼとひぬまいととんぼは、今では生息地もかぎられ、ぜつめつするおそれが高い種に指定されています。	ひぬまいととんぼ	非文学	秋	
2298	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	ほかにも、ちょうとんぼやはぐろとんぼなどのように、場所によってはすがたを消しつつあるとんぼもかなりいます。	ちょうとんぼ	非文学	秋	
2299	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	ほかにも、ちょうとんぼやはぐろとんぼなどのように、場所によってはすがたを消しつつあるとんぼもかなりいます。	はぐろとんぼ	非文学	秋	
2300	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	ほかにも、ちょうとんぼやはぐろとんぼなどのように、場所によってはすがたを消しつつあるとんぼもかなりいます。	とんぼ	非文学	秋	
2301	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	あきあかねやぎんやんまのように、昔はむれをなしてとんでいたとんぼも、数が大変少なくなりました。	あきあかね	非文学	秋	
2302	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	あきあかねやぎんやんまのように、昔はむれをなしてとんでいたとんぼも、数が大変少なくなりました。	ぎんやんま	非文学	秋	

2303	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	53	あきあかねやぎんやんまのように、昔はむれをなしてとんでいたとんぼも、数が大変少なくなりました。	とんぼ	非文学	秋	
2304	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	そこで、身近にとんぼのすみやすいかんきょうをつくって、とんぼをよびもどそうという活動が、この二十年ほどの間で全国に広がっています。	とんぼ	非文学	秋	
2305	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	そこで、身近にとんぼのすみやすいかんきょうをつくって、とんぼをよびもどそうという活動が、この二十年ほどの間で全国に広がっています。	とんぼ	非文学	秋	
2306	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	例えば、埼玉県の寄居町では、地元の人々が中心となって、一九八九年に「寄居町にとんぼ公園を作る会」ができました。	とんぼ	非文学	秋	
2307	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	そして、農家から休耕田を借りて、田んぼだった所をほり下げたり、あぜを高くしたりして、「とんぼ池」をつくっています。	とんぼ	非文学	秋	
2308	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	とんぼ池をつくるときには、葉を水の上に出す水草や、葉を水面にうかべる水草を植えます。	とんぼ	非文学	秋	
2309	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	とんぼ池をつくるときには、葉を水の上に出す水草や、葉を水面にうかべる水草を植えます。	水草	非文学	夏	
2310	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	しおからとんぼやあきあかねの仲間の多くは、水面におを打ちつけてたまごを産みます。	しおからとんぼ	非文学	秋	
2311	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	しおからとんぼやあきあかねの仲間の多くは、水面におを打ちつけてたまごを産みます。	あきあかね	非文学	秋	
2312	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	一方、いととんぼややんまの仲間は、水草のくきや葉に管をさしこみ、たまごをうめこんで産みつけます。	いととんぼ	非文学	秋	
2313	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	一方、いととんぼややんまの仲間は、水草のくきや葉に管をさしこみ、たまごをうめこんで産みつけます。	やんま	非文学	秋	
2314	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	54	ですから、池に水草を植えると、いろいろな種類のとんぼがやってくることになるのです。	とんぼ	非文学	秋	
2315	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	折原とんぼ公園	とんぼ	非文学	秋	

2316	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	たまごを産むしおからとんぼ	しおからとんぼ	非文学	秋	
2317	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	まこも	まこも	非文学	夏	
2318	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	ひし	ひし	非文学	夏	
2319	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	しょうぶ	しょうぶ	非文学	夏	
2320	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	あさざ	あさざ	非文学	夏	
2321	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	55	おもだか	おもだか	非文学	夏	
2322	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	かわせみ	かわせみ	非文学	夏	
2323	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	水草は、とんぼが羽を休めるためにも必要ですし、とんぼのよう虫であるやごが羽化するときのささえにもなります。	とんぼ	非文学	秋	
2324	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	水草は、とんぼが羽を休めるためにも必要ですし、とんぼのよう虫であるやごが羽化するときのささえにもなります。	水草	非文学	夏	
2325	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	とんぼ	非文学	秋	
2326	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	めだか	非文学	夏	
2327	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	げんごろう	非文学	夏	
2328	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	おたまじゃくし	非文学	春	

2329	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	たにし	非文学	春	
2330	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	とんぼとのかかわりだけでなく、水草は、めだかやふな、げんごろうやゆすりか、そして、おたまじゃくしやたにし、えびなど、さまざまな水生生物のすみかにもなります。	水草	非文学	夏	
2331	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	また、とんぼ池には、ちょうや小鳥たちも水を飲みにやってきます。	とんぼ	非文学	秋	
2332	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	また、とんぼ池には、ちょうや小鳥たちも水を飲みにやってきます。	ちょう	非文学	春	
2333	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	また、とんぼ池には、ちょうや小鳥たちも水を飲みにやってきます。	小鳥	非文学	秋	
2334	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	かわせみが、池のめだかやもつごをねらってとんでくる所もあります。	かわせみ	非文学	夏	
2335	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	56	かわせみが、池のめだかやもつごをねらってとんでくる所もあります。	めだか	非文学	夏	
2336	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	このように、とんぼ池は、とんぼだけでなく、さまざまな生き物のにぎわう楽園にもなるのです。	とんぼ	非文学	秋	
2337	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	このように、とんぼ池は、とんぼだけでなく、さまざまな生き物のにぎわう楽園にもなるのです。	とんぼ	非文学	秋	
2338	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	とんぼの楽園づくりは、このような新しい自然ほご活動の一つなのです。	とんぼ	非文学	秋	
2339	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	かんたんなとんぼ池のつくり方	とんぼ	非文学	秋	
2340	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	ひし、あさざなど	ひし	非文学	夏	
2341	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	ひし、あさざなど	あさざ	非文学	夏	
2342	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	まこも、しょうぶ、おもだかなど	まこも	非文学	夏	
2343	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	まこも、しょうぶ、おもだかなど	しょうぶ	非文学	夏	

2344	教出	4	上	とんぼの楽園づくり	57	まこも、しょうぶ、おもだかなど	おもだか	非文学	夏	
2345	教出	4	上	詩を書こう新しい目で	59	北風	北風	その他	冬	
2346	教出	4	上	詩を書こう新しい目で	59	出口をさがしながら走っている北風が見える。	北風	その他	冬	
2347	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級で話し合おう	64	わたしたちは、みんなで楽しく遊べるように、全員が参加できるリレーと大なわとびをていあんします。	大なわとび	その他	冬	
2348	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級で話し合おう	64	・大なわとび	大なわとび	その他	冬	
2349	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級で話し合おう	65	ぼくは、大なわとびに賛成です。	大なわとび	その他	冬	
2350	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級新聞を作ろう	66	○大なわとびについて（田中）	大なわとび	その他	冬	
2351	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級新聞を作ろう	66	大なわとびにちょうせんしたこと	大なわとび	その他	冬	
2352	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級新聞を作ろう	67	やった!!みんなで作った大記録大なわ、212回	大なわ	その他	冬	
2353	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級新聞を作ろう	67	全員リレーゆう勝ははやぶさチーム	はやぶさ	その他	冬	
2354	教出	4	上	楽しく伝え合おう学級新聞を作ろう	67	全員リレーは、練習の時からゆう勝こうほといわれていたはやぶさチームが、すばらしい速さを見せた。	はやぶさ	その他	冬	
2355	教出	4	上	一つの花	72	食べる物といえば、お米の代わりに配給される、おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした。	いも	文学	秋	
2356	教出	4	上	一つの花	72	食べる物といえば、お米の代わりに配給される、おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした。	かぼちゃ	文学	秋	
2357	教出	4	上	一つの花	74	…一つだけのいも、一つだけのにぎりめし、一つだけのかぼちゃのにつけ…。	いも	文学	秋	
2358	教出	4	上	一つの花	74	…一つだけのいも、一つだけのにぎりめし、一つだけのかぼちゃのにつけ…。	かぼちゃ	文学	秋	
2359	教出	4	上	一つの花	77	お父さんは、プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていたコスモス	コスモスの花	文学	秋	

						の花を見つけたのです。				
2360	教出	4	上	一つの花	77	あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。	コスモスの花	文学	秋	
2361	教出	4	上	一つの花	78	でも、今、ゆみ子のとんとんぶきの小さな家は、コスモスの花でいっぱいに包まれています。	コスモスの花	文学	秋	
2362	教出	4	上	一つの花	78	「母さん、お肉とお魚と、どっちがいいの。」と、ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました。	コスモス	文学	秋	
2363	教出	4	上	一つの花	78	やがて、ミシンの音がまたいそがしく始まった時、買い物かごをさげたゆみ子が、スキップをしながら、コスモスのトンネルをくぐって出てきました。	コスモス	文学	秋	
2364	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	古池や蛙飛こむ水のおと	蛙	文学	春	
2365	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	のどかな春の日、しずまりかえった古池に、とつぜんかえるがとびこむ水音がした。そして、ふたたび深いしずけさがもどった	春の日	文学	春	
2366	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	のどかな春の日、しずまりかえった古池に、とつぜんかえるがとびこむ水音がした。そして、ふたたび深いしずけさがもどった	かえる	文学	春	
2367	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	閑さや岩にしみ入る蝉の声	蝉	文学	夏	
2368	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	なんというしずけさだろう。せみの声だけが、こけむした岩にしみ通っていくように聞こえている。	せみ	文学	夏	
2369	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	名月や池をめぐりて夜もすがら	名月	文学	秋	
2370	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	今夜は中秋の名月。その光が池の水にうつって、あまりに美しいので、しとばんじゅう池の周りをめぐりながら、ながめてしまったよ。	中秋の名月	文学	秋	
2371	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	初しぐれ猿も古蓑をほしげ也	初しぐれ	文学	冬	
2372	教出	4	上	俳句を読み味わおう	110	冬を告げる通り雨がふってきた。ふと見ると、道ばたの猿も、小さなみのをつけて歩きたそうにしているよ。	冬	文学	冬	
2373	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	雪とけて村一ぱいの子ども哉	雪とけて	文学	春	
2374	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	雪がとけたとたん、家にとじこめられていた子どもたち	雪	文学	冬	

						が、いっせいに外にとび出して遊び始めた。村じゅう、春のおとずれを喜ぶ子どもたちでいっぱいだ。				
2375	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	雪がとけたとたん、家にとじこめられていた子どもたちが、いっせいに外にとび出して遊び始めた。村じゅう、春のおとずれを喜ぶ子どもたちでいっぱいだ。	雪がとけた	文学	春	
2376	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	雪がとけたとたん、家にとじこめられていた子どもたちが、いっせいに外にとび出して遊び始めた。村じゅう、春のおとずれを喜ぶ子どもたちでいっぱいだ。	春	文学	春	
2377	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	やれ打な蠅が手を摺足をする	蠅	文学	夏	
2378	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	やあ、打つなよ。はえが手足をすり合わせて、まるで命ごいをしているようじゃないか。	はえ	文学	夏	
2379	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	名月を取ってくれろと泣子かな	名月	文学	秋	
2380	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	おさない子が、手のとどきそうなほど大きく美しい満月を、取ってくれとせがむ。なんとむじゃきなことよ。	満月	文学	秋	
2381	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	うまそうな雪がふうわりふわり哉	雪	文学	冬	
2382	教出	4	上	俳句を読み味わおう	111	うまそうな雪が、空からふわりふわりとまいおりてくるよ。	雪	文学	冬	
2383	教出	4	下	いろいろな詩と出会おういろいろな詩	4	ヘビ　こいつは長すぎる。	ヘビ	文学	夏	
2384	教出	4	下	いろいろな詩と出会おういろいろな詩	4	ミドリカナヘビ　ペンキ塗り立て！	ミドリカナヘビ	文学	夏	
2385	教出	4	下	いろいろな詩と出会おういろいろな詩	5	ニンジン　おふろあがり	ニンジン	文学	冬	
2386	教出	4	下	いろいろな詩と出会おういろいろな詩	5	ケムシ　さんぱつはきらい	ケムシ	文学	夏	
2387	教出	4	下	いろいろな詩と出会おういろいろな詩	5	ミミズ	ミミズ	文学	夏	
2388	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう実験したことをもとに	19	花びらの赤い庭のすみにさいている花は梅です。	梅	その他	春	

2389	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう実験したことをもとに	19	今日は山登りに行くか海水浴に行くか相談しよう。	山登り	その他	夏	
2390	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう実験したことをもとに	19	今日は山登りに行くか海水浴に行くか相談しよう。	海水浴	その他	夏	
2391	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう漢字辞典の引き方	22	新緑	新緑	その他	夏	
2392	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう漢字辞典の引き方	23	桜	桜	その他	春	
2393	教出	4	下	すじ道を立てて考えよう漢字辞典の引き方	23	卒業	卒業	その他	春	
2394	教出	4	下	本の世界を広げようアジアの笑い話	28	春や夏には羊の肉を食べ、秋や冬には馬の肉のソーセージを作って食べます。	春	文学	春	
2395	教出	4	下	本の世界を広げようアジアの笑い話	28	春や夏には羊の肉を食べ、秋や冬には馬の肉のソーセージを作って食べます。	夏	文学	夏	
2396	教出	4	下	本の世界を広げようアジアの笑い話	28	春や夏には羊の肉を食べ、秋や冬には馬の肉のソーセージを作って食べます。	秋	文学	秋	
2397	教出	4	下	本の世界を広げようアジアの笑い話	28	春や夏には羊の肉を食べ、秋や冬には馬の肉のソーセージを作って食べます。	冬	文学	冬	
2398	教出	4	下	漢字の広場⑥読んでみよう・書いてみよう	48	氷	氷	その他	冬	
2399	教出	4	下	見方を変えて話し合おう「便利」について考えよう	50	火ばち	火ばち	非文学	冬	
2400	教出	4	下	ごんぎつね	78	……ひとりぼっちの子ぎつねがすんでいました。	きつね	文学	冬	
2401	教出	4	下	ごんぎつね	78	畑に入っていもをほり散らしたり、……とんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。	いも	文学	秋	
2402	教出	4	下	ごんぎつね	79	……「ごんぎつね」というきつねがいました。	きつね	文学	冬	
2403	教出	4	下	ごんぎつね	79	ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、……	きつね	文学	冬	
2404	教出	4	下	ごんぎつね	79	……ひゃくしょうの家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、……	とんがらし	文学	秋	

2405	教出	4	下	ごんぎつね	79	菜種がらのほしてあるのに火をつけて、いったり	菜種がら	文学	夏	
2406	教出	4	下	ごんぎつね	79	ある秋のことでした。	秋	文学	秋	
2407	教出	4	下	ごんぎつね	79	……もずの声がきんきんひびいていました。	もず	文学	秋	
2408	教出	4	下	ごんぎつね	79	辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。	すすき	文学	秋	
2409	教出	4	下	ごんぎつね	79	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	すすき	文学	秋	
2410	教出	4	下	ごんぎつね	80	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	はぎ	文学	秋	
2411	教出	4	下	ごんぎつね	81	……円いはぎの葉が一まい、大きなほくろみたいにへばりついていました。	はぎ	文学	秋	
2412	教出	4	下	ごんぎつね	81	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	うなぎ	文学	夏	
2413	教出	4	下	ごんぎつね	81	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	きす	文学	夏	
2414	教出	4	下	ごんぎつね	81	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	うなぎ	文学	夏	
2415	教出	4	下	ごんぎつね	81	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	きす	文学	夏	
2416	教出	4	下	ごんぎつね	81	いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、……	うなぎ	文学	夏	
2417	教出	4	下	ごんぎつね	81	……うなぎの頭を口にくわえました。	うなぎ	文学	夏	
2418	教出	4	下	ごんぎつね	81	うなぎは、キュッといって、ごんの首へまき付きました。	うなぎ	文学	夏	
2419	教出	4	下	ごんぎつね	81	うわあ、ぬすとぎつねめ。	きつね	文学	冬	
2420	教出	4	下	ごんぎつね	82	うなぎをふりすててにげようとしましたが、……	うなぎ	文学	夏	
2421	教出	4	下	ごんぎつね	82	……うなぎは、ごんの首にまき付いたままはなれません。	うなぎ	文学	夏	
2422	教出	4	下	ごんぎつね	82	ごんはほっとして、うなぎの頭をかみくだき、……	うなぎ	文学	夏	
2423	教出	4	下	ごんぎつね	83	……そこの、いちじくの木のかげで、弥助の家内が、……	いちじく	文学	秋	
2424	教出	4	下	ごんぎつね	84	秋祭りかな。	秋祭り	文学	秋	
2425	教出	4	下	ごんぎつね	84	祭りなら、たいこや笛の音がしそうなものだ。	祭り	文学	夏	
2426	教出	4	下	ごんぎつね	84	墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続い	ひがんばな	文学	秋	

						ていました。				
2427	教出	4	下	ごんぎつね	84	人々が通ったあとには、ひがんばながふみおられていました。	ひがんばな	文学	秋	
2428	教出	4	下	ごんぎつね	84	いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、……	さつまいも	文学	秋	
2429	教出	4	下	ごんぎつね	84	……うなぎが食べたいと言ったにちがいない。	うなぎ	文学	夏	
2430	教出	4	下	ごんぎつね	84	ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。	うなぎ	文学	夏	
2431	教出	4	下	ごんぎつね	84	だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。	うなぎ	文学	夏	
2432	教出	4	下	ごんぎつね	85	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
2433	教出	4	下	ごんぎつね	85	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
2434	教出	4	下	ごんぎつね	85	兵十が、赤いいどの所で、麦をといでいました。	麦	文学	夏	
2435	教出	4	下	ごんぎつね	85	……どこかでいわしを売る声がします。	いわし	文学	秋	
2436	教出	4	下	ごんぎつね	85	いわしの安売りだあい。	いわし	文学	秋	
2437	教出	4	下	ごんぎつね	85	いきのいい、いわしだあい。	いわし	文学	秋	
2438	教出	4	下	ごんぎつね	85	いわしをおくれ。	いわし	文学	秋	
2439	教出	4	下	ごんぎつね	85	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
2440	教出	4	下	ごんぎつね	85	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
2441	教出	4	下	ごんぎつね	86	……ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、……	いわし	文学	秋	
2442	教出	4	下	ごんぎつね	86	……かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、……	いわし	文学	秋	
2443	教出	4	下	ごんぎつね	86	……うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。	いわし	文学	秋	
2444	教出	4	下	ごんぎつね	86	……まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えま	麦	文学	夏	

						した。				
2445	教出	4	下	ごんぎつね	86	ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。	うなぎ	文学	夏	
2446	教出	4	下	ごんぎつね	86	……ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、……	くり	文学	秋	
2447	教出	4	下	ごんぎつね	86	いったい、だれが、いわしなんかを、……	いわし	文学	秋	
2448	教出	4	下	ごんぎつね	87	……いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。	いわし	文学	秋	
2449	教出	4	下	ごんぎつね	87	かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、……	いわし	文学	秋	
2450	教出	4	下	ごんぎつね	87	……その入り口に、くりを置いて帰りました。	くり	文学	秋	
2451	教出	4	下	ごんぎつね	87	……ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。	くり	文学	秋	
2452	教出	4	下	ごんぎつね	87	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	くり	文学	秋	
2453	教出	4	下	ごんぎつね	88	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	松たけ	文学	秋	
2454	教出	4	下	ごんぎつね	88	……松虫が鳴いています。	松虫	文学	秋	
2455	教出	4	下	ごんぎつね	88	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	くり	文学	秋	
2456	教出	4	下	ごんぎつね	90	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	松たけ	文学	秋	
2457	教出	4	下	ごんぎつね	90	そのくりを見せてやるよ。	くり	文学	秋	
2458	教出	4	下	ごんぎつね	88	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	くり	文学	秋	
2459	教出	4	下	ごんぎつね	88	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	松たけ	文学	秋	
2460	教出	4	下	ごんぎつね	90	……ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。	くり	文学	秋	
2461	教出	4	下	ごんぎつね	90	……きつねがうちの中へ入ったではありませんか。	きつね	文学	冬	
2462	教出	4	下	ごんぎつね	90	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	うなぎ	文学	夏	
2463	教出	4	下	ごんぎつね	90	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめ	きつね	文学	冬	

						が、またいたずらをしに来たな。				
2464	教出	4	下	ごんぎつね	91	うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてあるのが目につきました。	くり	文学	秋	
2465	教出	4	下	ごんぎつね	91	いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
2466	教出	4	下	新しく学んだ漢字	100	雪が積もる	雪	その他	冬	
2467	教出	4	下	方言について知ろう	116	じゃんけんじゃがいもさつまいもあいこでアメリカヨーロッパ！	じゃがいも	その他	秋	
2468	教出	4	下	方言について知ろう	116	じゃんけんじゃがいもさつまいもあいこでアメリカヨーロッパ！	さつまいも	その他	秋	
2469	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	118	で、七日たちますと、お七夜といいまして、名前をつけることになります。	お七夜	文学	冬	
2470	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	118	「急には無理だよ。やっとお七夜だもの。」	お七夜	文学	冬	
2471	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	120	「昔から、『藪柑子』という植物は百両金を表すこともあり、おめでたいとされているな。」	藪柑子	文学	冬	
2472	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	122	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2473	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	122	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2474	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	122	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2475	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	122	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2476	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	123	今日は、その入学式。	入学式	文学	春	
2477	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	123	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2478	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	123	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2479	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	123	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2480	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	123	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2481	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2482	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2483	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2484	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	
2485	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪ら柑子	文学	冬	
2486	教出	4	下	もっと読みたい寿限無（落語）	124	藪ら柑子の藪柑子。	藪柑子	文学	冬	

2487	教出	4	下	遊びたい　言葉の遊び	125	秋だね	秋	その他	秋	
2488	教出	5	上	うぐいす	6	うぐいす	うぐいす	文学	春	
2489	教出	5	上	うぐいす	6	うぐいすのこえ	うぐいす	文学	春	
2490	教出	5	上	うぐいす	6	はるのつめたさにおわせて	はる	文学	春	
2491	教出	5	上	うぐいす	7	うぐいすのこえ	うぐいす	文学	春	
2492	教出	5	上	声に出して伝え合おう話し方を考えよう	15	今日は暑いから、麦茶を飲みましょう。	麦茶	文学	夏	
2493	教出	5	上	声に出して伝え合おう話し方を考えよう	15	なんてきれいなんだろう、この桜は。	桜	文学	春	
2494	教出	5	上	情報ノート	17	校庭の桜のひみつ	桜	非文学	春	
2495	教出	5	上	五月になれば	18	雪が解けて、町の少年野球の練習がそろそろ始まる。	雪	文学	冬	
2496	教出	5	上	五月になれば	18	雪が解けて、町の少年野球の練習がそろそろ始まる。	雪がとけて	文学	春	
2497	教出	5	上	五月になれば	19	ちょっと自転車で走ればやまべがぴゅっとつれるサクルー川のような川が、向こうの街にあるはずがない。	やまべ	文学	夏	
2498	教出	5	上	五月になれば	21	大きなやちだもの木が、足を半分川に入れた形で立っている。	やちだも	文学	春	
2499	教出	5	上	五月になれば	21	去年、二十三センチのやまべをつった所。	やまべ	文学	夏	
2500	教出	5	上	五月になれば	22	えだ川をさかのぼっていけば、ちょっとしたよどみでやまべがつれる。	やまべ	文学	夏	
2501	教出	5	上	五月になれば	22	日が照っている夏の朝、浅い所では小さなやまべが光といっしょにはねている。	夏の朝	文学	夏	
2502	教出	5	上	五月になれば	22	日が照っている夏の朝、浅い所では小さなやまべが光といっしょにはねている。	やまべ	文学	夏	
2503	教出	5	上	五月になれば	22	四月だもの、冷たいはずだ。	四月	文学	春	
2504	教出	5	上	五月になれば	22	やまべたちは、今は水底でじっとしているのだろう。	やまべ	文学	夏	
2505	教出	5	上	五月になれば	23	六月になったら、やまべつりが解禁になる。	やまべ	文学	夏	
2506	教出	5	上	五月になれば	24	「でも、夏休み前までよ。母さんも残るから。」	夏休み	文学	夏	
2507	教出	5	上	五月になれば	24	「夏休みまで転校しません。」	夏休み	文学	夏	
2508	教出	5	上	五月になれば	24	「かわいそうに。今年もやまべ、大樹につられるのか。」	やまべ	文学	夏	

2509	教出	5	上	五月になれば	26	山の木はまだ冬のままの茶色だけれど、川ぶちのやなぎはぬれたような緑色だ。	冬	文学	冬	
2510	教出	5	上	五月になれば	26	山の木はまだ冬のままの茶色だけれど、川ぶちのやなぎはぬれたような緑色だ。	やなぎ	文学	春	
2511	教出	5	上	五月になれば	26	でも、五月になれば、梅も桜もこぶしもいっせいに花がさいて、ばく発するような春が来る。	五月	文学	春	
2512	教出	5	上	五月になれば	26	でも、五月になれば、梅も桜もこぶしもいっせいに花がさいて、ばく発するような春が来る。	梅	文学	春	
2513	教出	5	上	五月になれば	26	でも、五月になれば、梅も桜もこぶしもいっせいに花がさいて、ばく発するような春が来る。	桜	文学	春	
2514	教出	5	上	五月になれば	26	でも、五月になれば、梅も桜もこぶしもいっせいに花がさいて、ばく発するような春が来る。	こぶし	文学	春	
2515	教出	5	上	五月になれば	26	でも、五月になれば、梅も桜もこぶしもいっせいに花がさいて、ばく発するような春が来る。	春	文学	春	
2516	教出	5	上	五月になれば	26	「早く、この毛ばりでやまべつりたいな。」	やまべ	文学	夏	
2517	教出	5	上	五月になれば	26	その日のやまべはどんな虫に飛びつきたいか、それに合わせて毛ばりを選ぶのがむずかしい。	やまべ	文学	夏	
2518	教出	5	上	五月になれば	26	父とサクルー川の本流に入ったのは、その夏の終わりのころで、思ったより暗くなるのが早かった。	夏	文学	夏	
2519	教出	5	上	五月になれば	26	父とサクルー川の本流に入ったのは、その夏の終わりのころで、思ったより暗くなるのが早かった。	夏の終わり	文学	秋	
2520	教出	5	上	五月になれば	27	中くらいのやまべを大樹が一ぴき、父が六ぴきつった時、父が言った。	やまべ	文学	夏	
2521	教出	5	上	五月になれば	28	「五月になれば？どうして？五月はまだ、やまべ禁漁だぞ。」	やまべ	文学	夏	
2522	教出	5	上	五月になれば	28	やまべがつってもいい六月が、そのぶんだけ早く来る―。	やまべ	文学	夏	
2523	教出	5	上	五月になれば	29	その日初めての日の光が水面にさあっとやってくるしゅん間、大きなやまべが飛びついてくるのど。	やまべ	文学	夏	

2524	教出	5	上	漢字の広場①熟語のしりとり	32	火災	火災	その他	冬	
2525	教出	5	上	和語・漢語・外来語	44	外来語は、ふつう片仮名で書かれますが、十六世紀にポルトガル語から入ってきた「かるた」「たばこ」のような古くからの外来語は、平仮名で書かれることもあります。	かるた	その他	新年	
2526	教出	5	上	和語・漢語・外来語	45	かるた	かるた	その他	新年	
2527	教出	5	上	漢字の広場②熟語の組み立て	46	残雪（残っている→雪）	残雪	その他	春	
2528	教出	5	上	まんがの方法	51	登場人物の表情は、なみだやあせを意味するマークや、いかりを表すマークなど、まんがの基本的な約束ごとをもとにえがかれています。	あせ	非文学	夏	
2529	教出	5	上	まんがの方法	52	だめよ夏風邪はこじらせると大変なんだから	夏風邪	非文学	夏	
2530	教出	5	上	まんがの方法	54	ちょっとあんたスズムシどうにかしてよっうるさくて本も読めやしない	スズムシ	非文学	秋	
2531	教出	5	上	まんがの方法	54	あんたが去年スズムシなんてもらってくるからわるいのよっ	スズムシ	非文学	秋	
2532	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	62	もくれん	もくれん	文学	春	
2533	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	62	季節外れのもくれんの花	もくれんの花	文学	春	
2534	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	62	つゆが終わって本当に夏がきたということを告げてくれる	つゆ(梅雨)	文学	夏	
2535	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	62	つゆが終わって本当に夏がきたということを告げてくれる	夏	文学	夏	
2536	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	秋	秋	文学	秋	
2537	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	入道雲はどこへ行ったんだろう	入道雲	文学	夏	
2538	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	せみの声	せみの声	文学	夏	

2539	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	風りんの音	風りんの音	文学	夏	
2540	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	緑の葉が	緑の葉	文学	夏	
2541	教出	5	上	詩を書こう季節の中で―詩集を読んで	63	さくら	さくら	文学	春	
2542	教出	5	上	考えを伝え合って深めようコラムを書こう	73	昨年の秋に登った時は、くり拾いをして、帰ってからくりご飯にして食べました。	秋	その他	秋	
2543	教出	5	上	考えを伝え合って深めようコラムを書こう	73	昨年の秋に登った時は、くり拾いをして、帰ってからくりご飯にして食べました。	くり拾い	その他	秋	
2544	教出	5	上	考えを伝え合って深めようコラムを書こう	73	昨年の秋に登った時は、くり拾いをして、帰ってからくりご飯にして食べました。	くりご飯	その他	秋	
2545	教出	5	上	大造じいさんとがん	78	大造じいさんとがん	がん	文学	秋	
2546	教出	5	上	大造じいさんとがん	78	今年も、残雪は、がんの群れを率いて、ぬま地にやってきた。	がん	文学	秋	
2547	教出	5	上	大造じいさんとがん	78	残雪というのは、一羽のがんにつけられた名前である。	がん	文学	秋	
2548	教出	5	上	大造じいさんとがん	78	残雪は、このぬま地に集まるがんの頭領らしい。	がん	文学	秋	
2549	教出	5	上	大造じいさんとがん	78	大造じいさんは、このぬま地をかり場にしていたが、いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のがんも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていた。	がん	文学	秋	
2550	教出	5	上	大造じいさんとがん	79	そこは、いつもがんのえをあさる辺りに、一面、くいを打ちこんで、たにしをつけたうなぎつりばりを、たたみ糸で結びつけておくことだった。	がん	文学	秋	
2551	教出	5	上	大造じいさんとがん	79	そこは、いつもがんのえをあさる辺りに、一面、くいを打ちこんで、たにしをつけたうなぎつりばりを、たたみ糸で結びつけておくことだった。	たにし	文学	春	
2552	教出	5	上	大造じいさんとがん	79	そこは、いつもがんのえをあさる辺りに、一面、くいを打ちこんで、たにしをつけたうなぎつりばりを、たたみ	うなぎ	文学	夏	

						糸で結びつけておくことだった。				
2553	教出	5	上	大造じいさんとがん	79	じいさんは、一晩じゅうかかって、たくさんのうなぎつりばりをしかけておいた。	うなぎ	文学	夏	
2554	教出	5	上	大造じいさんとがん	79	一羽だけであったが、生きているがんがうまく手に入ったので、じいさんはうれしかった。	がん	文学	秋	
2555	教出	5	上	大造じいさんとがん	80	がんの群れは、これにきけんを感じてえ場を変えたらしく、付近には一羽もいなかった。	がん	文学	秋	
2556	教出	5	上	大造じいさんとがん	80	秋の日が美しかった。	秋の日	文学	秋	
2557	教出	5	上	大造じいさんとがん	80	じいさんがぬま地にすがたを現すと、大きな羽音とともに、がんの大群が飛び立った。	がん	文学	秋	
2558	教出	5	上	大造じいさんとがん	80	つりばりをしかけておいた辺りで、確かにがんがえをあさった形せきがあるのに、今日は一羽もはりにかかっていない。	がん	文学	秋	
2559	教出	5	上	大造じいさんとがん	80	がんは、昨日の失敗にこりて、えをすぐには飲みこまないで、まずくちばしの先にくわえて、ぐうと引っぱってみてから、いじょうなしとみとめると、初めて飲みこんだものらしかった。	がん	文学	秋	
2560	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	がんとか、かもとかいう鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないといわれていたが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだな、ということを、今さらのように感じたのであった。	がん	文学	秋	
2561	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	がんとか、かもとかいう鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないといわれていたが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだな、ということを、今さらのように感じたのであった。	かも	文学	冬	
2562	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておいた。	夏	文学	夏	

2563	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておいた。	たにし	文学	春	
2564	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	それをがんの好みそうな場所にばらまいておいた。	がん	文学	秋	
2565	教出	5	上	大造じいさんとがん	81	がんの群れは、思わぬごちそうが四、五日も続いたので、ぬま地のうちでも、そこがいちばん気に入りの場所となったらしい。	がん	文学	秋	
2566	教出	5	上	大造じいさんとがん	82	そして、ねぐらをぬけ出してこのえ場にやってくるがんの群れを待った。	がん	文学	秋	
2567	教出	5	上	大造じいさんとがん	82	ぬま地にやってくるがんのすがたが、かなたの空に、黒く、点々と見えだした。	がん	文学	秋	
2568	教出	5	上	大造じいさんとがん	83	今年もまた、ぽつぽつ、例のぬま地にがんの来る季節になった。	がん	文学	秋	
2569	教出	5	上	大造じいさんとがん	83	じいさんが小屋に入ると、一羽のがんが、羽をばたつかせながら、じいさんに飛びついてきた。	がん	文学	秋	
2570	教出	5	上	大造じいさんとがん	83	このがんは、二年前、じいさんがつりばりの計略で生けどったものだった。	がん	文学	秋	
2571	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	大造じいさんは、がんがどんぶりからえを食べているのを、じっと見つめながら、「今年は、ひとつ、これを使ってみるかな。」と、独り言を言った。	がん	文学	秋	
2572	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	じいさんは、長年の経験で、がんはいちばん最初に飛び立ったもののあとについて飛ぶ、ということを知っていたので、このがんを手に入れた時から、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろう、と考えていたのだ。	がん	文学	秋	
2573	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	じいさんは、長年の経験で、がんはいちばん最初に飛び立ったもののあとについて飛ぶ、ということを知っていたので、このがんを手に入れた時から、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろう、と考えていたのだ。	がん	文学	秋	

2574	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	がんたちは、昨年じいさんが小屋がけした所から、たまのとどくきょりの三倍もはなれている地点を、え場にしているらしかった。	がん	文学	秋	
2575	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	そこは、夏の出水で大きな水たまりができて、がんのえが十分にあるらしかった。	出水	文学	夏	
2576	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	そこは、夏の出水で大きな水たまりができて、がんのえが十分にあるらしかった。	がん	文学	秋	
2577	教出	5	上	大造じいさんとがん	84	その夜のうちに、飼いならしたがんを例のえ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんだ。	がん	文学	秋	
2578	教出	5	上	大造じいさんとがん	85	と、その時、ものすごい羽音とともに、がんの群れが、一度にばたばたと飛び立った。	がん	文学	秋	
2579	教出	5	上	大造じいさんとがん	85	がんの群れを目がけて、白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてくる。	がん	文学	秋	
2580	教出	5	上	大造じいさんとがん	85	はやぶさだ。	はやぶさ	文学	冬	
2581	教出	5	上	大造じいさんとがん	85	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらましながら飛び去っていく。	がん	文学	秋	
2582	教出	5	上	大造じいさんとがん	85	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらましながら飛び去っていく。	はやぶさ	文学	冬	
2583	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	大造じいさんのおとりのがんだ。	がん	文学	秋	
2584	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	はやぶさは、その一羽を見のがさなかった。	はやぶさ	文学	冬	
2585	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたとみえて、がんは、こっちに方向を変えた。	がん	文学	秋	
2586	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	はやぶさは、その道をさえぎって、パーンと一つけった。	はやぶさ	文学	冬	
2587	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	がんの体は、ななめにかたむいた。	がん	文学	秋	
2588	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	もう一けりと、はやぶさがこうげきのしせいをとった時、さっと、大きなかげが空を横切った。	はやぶさ	文学	冬	
2589	教出	5	上	大造じいさんとがん	86	残雪の目には、人間もはやぶさもなかった。	はやぶさ	文学	冬	
2590	教出	5	上	大造じいさんとがん	87	不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめいた。	はやぶさ	文学	冬	

2591	教出	5	上	大造じいさんとがん	87	が、はやぶさもさるものだ。	はやぶさ	文学	冬	
2592	教出	5	上	大造じいさんとがん	87	そのまま、はやぶさと残雪は、もつれ合って、ぬま地に落ちていった。	はやぶさ	文学	冬	
2593	教出	5	上	大造じいさんとがん	87	が、はやぶさは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめて、よろめきながら飛び去っていった。	はやぶさ	文学	冬	
2594	教出	5	上	大造じいさんとがん	88	残雪は、大造じいさんのおりの中で、ひと冬をこした。	冬	文学	冬	
2595	教出	5	上	大造じいさんとがん	88	春になると、そのむねのきずも治り、体力も元のようになった。	春	文学	春	
2596	教出	5	上	大造じいさんとがん	88	ある晴れた春の朝だった。	春の朝	文学	春	
2597	教出	5	上	大造じいさんとがん	88	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように清らかにはらはらと散った。	すももの花	文学	春	
2598	教出	5	上	大造じいさんとがん	88	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように清らかにはらはらと散った。	雪	文学	冬	
2599	教出	5	上	大造じいさんとがん	89	「おうい。がんの英ゆうよ。おまえみたいなえらぶつを、おれは、ひきょうなやり方でやっつけたかあないぞ。なあおい。今年の冬も、仲間を連れて、ぬま地にやってこいよ。そうして、おれたちは、また、堂々と戦おうじゃないか。」	がん	文学	秋	
2600	教出	5	上	大造じいさんとがん	89	「おうい。がんの英ゆうよ。おまえみたいなえらぶつを、おれは、ひきょうなやり方でやっつけたかあないぞ。なあおい。今年の冬も、仲間を連れて、ぬま地にやってこいよ。そうして、おれたちは、また、堂々と戦おうじゃないか。」	冬	文学	冬	
2601	教出	5	上	大造じいさんとがん	89	大造じいさんは、花の下に立って、こう大きな声で、がんによびかけた。	がん	文学	秋	
2602	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはたのうた	はたはた	文学	冬	
2603	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはたといふさかな、	はたはた	文学	冬	
2604	教出	5	下	はたはたのうた	4	うすべにいろのはたはた、	はたはた	文学	冬	
2605	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはたがとれる日は	はたはた	文学	冬	

2606	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはた雲といふ雲があらはれる。	はたはた	文学	冬	
2607	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはたやいてたべるのは	はたはた	文学	冬	
2608	教出	5	下	はたはたのうた	4	はたはたみれば	はたはた	文学	冬	
2609	教出	5	下	はたはたのうた	4	冬のならひなり。	冬	文学	冬	
2610	教出	5	下	思いをこめて読んでみよう素朴な琴	6	秋の美しさに耐えかねて	秋	文学	秋	
2611	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	森を育てる炭作り	炭	非文学	冬	
2612	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	かつて炭は、多くの家庭で、部屋をあたためたり、お湯をわかしたり、魚を焼いたりする燃料として使われていました。	炭	非文学	冬	
2613	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	それが、電気やガス、石油などが広がるにつれ、家庭の中で炭を燃やすことは、ほとんどなくなってしまいました。	炭	非文学	冬	
2614	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	しかし、身のまわりを見てみると、今でも、炭は、形を変えて、さまざまなところで使われています。	炭	非文学	冬	
2615	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	例えば、冷蔵庫の中の脱臭剤には、たいてい、炭の仲間である活性炭が使われています。	炭	非文学	冬	
2616	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	例えば、冷蔵庫の中の脱臭剤には、たいてい、炭の仲間である活性炭が使われています。	活性炭	非文学	冬	
2617	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	脱臭剤に使われている炭を取り出して電子顕微鏡で調べると、小さなあながたくさんあいているのがわかります。	炭	非文学	冬	
2618	教出	5	下	森を育てる炭作り	8	木炭（くぬぎ）	木炭	非文学	冬	
2619	教出	5	下	森を育てる炭作り	9	木を焼いて炭にすると、もとの大きさの三分の一ほどにちぢんでしまいますが、たくさんの管も同じようにちぢみ、とても小さなあなになります。	炭	非文学	冬	
2620	教出	5	下	森を育てる炭作り	9	そこで、炭は、水そうや川などの水をきれいにするのにも使われています。	炭	非文学	冬	
2621	教出	5	下	森を育てる炭作り	9	水道の蛇口についている浄水器の中には、炭のはたらき	炭	非文学	冬	

						を利用したものがあります。				
2622	教出	5	下	森を育てる炭作り	9	脱臭剤として使われている炭	炭	非文学	冬	
2623	教出	5	下	森を育てる炭作り	9	炭の電子顕微鏡写真（200倍）	炭	非文学	冬	
2624	教出	5	下	森を育てる炭作り	10	炭作りは、森を育てるためにも役立ってきました。	炭	非文学	冬	
2625	教出	5	下	森を育てる炭作り	10	炭を作ることは、木を切ることであり、森のはかいにつながると思われているからです。	炭	非文学	冬	
2626	教出	5	下	森を育てる炭作り	10	人々は、そこの木や枝を切ってまきや炭にしたり、下草をかり、落ち葉を集めて田畑に使う肥料を作ったりしていました。	炭	非文学	冬	
2627	教出	5	下	森を育てる炭作り	10	人々は、そこの木や枝を切ってまきや炭にしたり、下草をかり、落ち葉を集めて田畑に使う肥料を作ったりしていました。	落ち葉	非文学	冬	
2628	教出	5	下	森を育てる炭作り	10	また、適度に枝を切ったり、下草をかったり、落ち葉を集めたりすることは、木々や芽に対する光の当たりぐあいを調節し、その成長を助けます。	落ち葉	非文学	冬	
2629	教出	5	下	森を育てる炭作り	11	炭焼きをする人々は、必要以上に木を切ることはしません。	炭焼き	非文学	冬	
2630	教出	5	下	森を育てる炭作り	11	このごろは、しだいに手入れの行きとどかない森も見られるようになりましたが、本来、このように炭を作りながら同時に森を保全するのが、日本の炭焼き技術だったのです。	炭	非文学	冬	
2631	教出	5	下	森を育てる炭作り	11	このごろは、しだいに手入れの行きとどかない森も見られるようになりましたが、本来、このように炭を作りながら同時に森を保全するのが、日本の炭焼き技術だったのです。	炭焼き	非文学	冬	
2632	教出	5	下	森を育てる炭作り	11	炭焼き小屋	炭焼き	非文学	冬	
2633	教出	5	下	森を育てる炭作り	12	そこで着目したのが、日本の炭焼き技術です。	炭焼き	非文学	冬	
2634	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	一九九四年、炭焼きを海外に広める活動をしている日本のボランティアグループが、インドネシアの団体から求	炭焼き	非文学	冬	

						められて、トホ＝イリル村をおとずれました。				
2635	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	まず、炭の材料としてどんな木を使うかが、大きな問題になりました。	炭	非文学	冬	
2636	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	ボランティアの人たちは、村の内外の木を調べ、炭焼きに適した木をさがしました。	炭焼き	非文学	冬	
2637	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	しかし、比較的成長が早く、なえ木を植えてから五年で十センチメートルほどの太さになるので、炭の材料には適しています。	炭	非文学	冬	
2638	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	日本で炭の材料としてよく使われるくぬぎが、十年以上たたないと炭にできないことに比べると、効率よく利用できます。	炭	非文学	冬	
2639	教出	5	下	森を育てる炭作り	13	日本で炭の材料としてよく使われるくぬぎが、十年以上たたないと炭にできないことに比べると、効率よく利用できます。	炭	非文学	冬	
2640	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	そこで、炭焼き用にラバンのなえを育てることにしました。	炭焼き	非文学	冬	
2641	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	次は、炭焼きがまの問題です。	炭焼き	非文学	冬	
2642	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	良質の炭を焼くには、高い温度が必要です。	炭	非文学	冬	
2643	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	残念ながら、トホ＝イリル村周辺のねん土は、炭焼きがまには適していませんでした。	炭焼き	非文学	冬	
2644	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	そこで、ボランティアの人と相談して、かまの天じょうに鉄板を使ったところ、良質な炭を製造できるようになりました。	炭	非文学	冬	
2645	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	こうして、村の人たちが作った炭は、主にバーベキュー用としてヨーロッパや日本に輸出されるまでになりました。	炭	非文学	冬	
2646	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	さらに、炭作りだけでなく、炭を使って土を改良する方法も開発されました。	炭作り	非文学	冬	
2647	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	さらに、炭作りだけでなく、炭を使って土を改良する方	炭	非文学	冬	

						法も開発されました。				
2648	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	炭の小さなあなには、水分をたくわえるはたらきもあります。	炭	非文学	冬	
2649	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	その性質を生かして、炭を粉末やつぶ状にして畑にまぜて、土の水はけをよくしたり、適度な水分を保持したりすることができるようになりました。	炭	非文学	冬	
2650	教出	5	下	森を育てる炭作り	14	設置されたかまと、焼きあがった炭	炭	非文学	冬	
2651	教出	5	下	森を育てる炭作り	15	炭作りは、古い技術ではなく、今でもりっぱに役に立っています。	炭作り	非文学	冬	
2652	教出	5	下	森を育てる炭作り	15	また、炭作りは、森とうまくつき合わなければ成り立たない仕事です。	炭作り	非文学	冬	
2653	教出	5	下	森を育てる炭作り	15	炭を畑にまぜる	炭	非文学	冬	
2654	教出	5	下	森を育てる炭作り	18	『森を育てる炭作り』では、文章構成を考えながら読む学習をしました。	炭作り	非文学	冬	
2655	教出	5	下	森を育てる炭作り	19	ヒント②森林や炭について調べる。	炭	非文学	冬	
2656	教出	5	下	森を育てる炭作り	19	「いろいろな炭」	炭	非文学	冬	
2657	教出	5	下	言葉の種類	22	小さい炭のかけらでも大変な保水力がある。	炭	その他	冬	
2658	教出	5	下	雪わたり	26	雪わたり	雪	文学	冬	
2659	教出	5	下	雪わたり	26	その一（子ぎつねの紺三郎）	子ぎつね	文学	冬	
2660	教出	5	下	雪わたり	26	雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり、空も冷たいなめらかな青い石の板でできているらしいのです。	雪	文学	冬	
2661	教出	5	下	雪わたり	26	雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり、空も冷たいなめらかな青い石の板でできているらしいのです。	こおって	文学	冬	
2662	教出	5	下	雪わたり	26	雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり、空も冷たいなめらかな青い石の板でできているらしいのです。	空も冷たい	文学	冬	
2663	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	かた雪	文学	冬	
2664	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	しみ雪	文学	冬	
2665	教出	5	下	雪わたり	26	お日様が、真っ白に燃えてゆりのにおいをまき散らし、また雪をぎらぎら照らしました。	雪	文学	冬	

2666	教出	5	下	雪わたり	26	お日様が、真っ白に燃えてゆりのにおいをまき散らし、また雪をぎらぎら照らしました。	ゆり	文学	夏	
2667	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	かた雪	文学	冬	
2668	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	しみ雪	文学	冬	
2669	教出	5	下	雪わたり	26	四郎とかん子とは、小さな雪ぐつをはいてキックキックキック、野原に出ました。	雪ぐつ	文学	冬	
2670	教出	5	下	雪わたり	26	いつもは歩けないきびの畑の中でも、すすきでいっぱいだった野原の上でも、好きな方へどこまででも行けるのです。	きびの畑	文学	秋	
2671	教出	5	下	雪わたり	26	いつもは歩けないきびの畑の中でも、すすきでいっぱいだった野原の上でも、好きな方へどこまででも行けるのです。	すすき	文学	秋	
2672	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	かた雪	文学	冬	
2673	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	しみ雪	文学	冬	
2674	教出	5	下	雪わたり	26	大きなかしわの木は、枝もうずまるくらいりっぱなすきとおったつららを下げて、重そうに体を曲げておりました。	つらら	文学	冬	
2675	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	かた雪	文学	冬	
2676	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	しみ雪	文学	冬	
2677	教出	5	下	雪わたり	26	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	きつねの子	文学	冬	
2678	教出	5	下	雪わたり	27	「しみ雪しんしん、かた雪かんかん。」と言いながら、キシリキシリ雪をふんで、白いきつねの子が出てきました。	しみ雪	文学	冬	
2679	教出	5	下	雪わたり	27	「しみ雪しんしん、かた雪かんかん。」と言いながら、キシリキシリ雪をふんで、白いきつねの子が出てきました。	かた雪	文学	冬	

2680	教出	5	下	雪わたり	27	「しみ雪しんしん、かた雪かんかん。」と言いながら、キシリキシリ雪をふんで、白いきつねの子が出てきました。	雪	文学	冬	
2681	教出	5	下	雪わたり	27	「しみ雪しんしん、かた雪かんかん。」と言いながら、キシリキシリ雪をふんで、白いきつねの子が出てきました。	きつねの子	文学	冬	
2682	教出	5	下	雪わたり	27	「きつねこんこん白ぎつね、およめほしけりゃ、とってやろよ。」	きつね	文学	冬	
2683	教出	5	下	雪わたり	27	するときつねが、まだまるで小さいくせに、銀のはりのようなおひげをピンと一つひねって言いました。	きつね	文学	冬	
2684	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこん、きつねの子、およめがいらなきゃもちやろか。」	きつね	文学	冬	
2685	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこん、きつねの子、およめがいらなきゃもちやろか。」	きつねの子	文学	冬	
2686	教出	5	下	雪わたり	28	するときつねの子も、頭を二つ三つふって、おもしろそうに言いました。	きつねの子	文学	冬	
2687	教出	5	下	雪わたり	28	「四郎はしんこ、かん子はかんこ、きびのだんごをおれやろか。」	きび	文学	秋	
2688	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。」	きつね	文学	冬	
2689	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。」	きつねの子	文学	冬	
2690	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。」	きつね	文学	冬	
2691	教出	5	下	雪わたり	28	「きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。」	うさ	文学	冬	
2692	教出	5	下	雪わたり	28	すると子ぎつね紺三郎が、笑って言いました。	子ぎつね	文学	冬	
2693	教出	5	下	雪わたり	28	「いいえ、決してそんなことはありません。あなたがたのようなりっぱなおかたが、うさぎの茶色のだんごなん	うさぎ	文学	冬	

						かめしあがるもんですか。わたしらは、ぜんたい、今まで人をだますなんて、あんまり無実の罪をきせられていたのです。」				
2694	教出	5	下	雪わたり	28	「そいじゃ、きつねが人をだますなんてうそかしら。」	きつね	文学	冬	
2695	教出	5	下	雪わたり	28	「うそですとも。けだし最もひどいうそです。だまされたという人は、たいていお酒によったり、おく病でくるくるしたりした人です。おもしろいですよ。甚兵衛さんがこの前、月夜の晩、わたしたちのおうちの前にすわって、一晩じょうるりをやりましたよ。わたしらは、みんな出て見たのです。」	月夜の晩	文学	秋	
2696	教出	5	下	雪わたり	28	子ぎつね紺三郎は、なるほどという顔をして、「ええ、そうかもしれません。とにかくおだんごをおあがりなさい。わたしのさしあげるのは、ちゃんとわたしが、畑を作って、まいて、草を取って、かって、たたいて、粉にして、練って、むして、おさとうをかけたのです。いかかがですか。一皿さしあげましょう。」と言いました。	子ぎつね	文学	冬	
2697	教出	5	下	雪わたり	29	子ぎつねの紺三郎が、うれしがって、短いうでをばたばたして言いました。	子ぎつね	文学	冬	
2698	教出	5	下	雪わたり	29	「そうですか。そんなら今度げん灯会の時さしあげましょう。でん灯会にはきっといらっしゃい。この次の雪のこおった月夜の晩です。八時から始めますから、入場券をあげておきましょう。何まいあげましょうか。」	雪	文学	冬	
2699	教出	5	下	雪わたり	29	「そうですか。そんなら今度げん灯会の時さしあげましょう。でん灯会にはきっといらっしゃい。この次の雪のこおった月夜の晩です。八時から始めますから、入場券をあげておきましょう。何まいあげましょうか。」	こおった	文学	冬	
2700	教出	5	下	雪わたり	29	「そうですか。そんなら今度げん灯会の時さしあげましょう。でん灯会にはきっといらっしゃい。この次の雪のこおった月夜の晩です。八時から始めますから、入場券	月夜の晩	文学	秋	

						をあげておきましょう。何まいあげましょうか。」				
2701	教出	5	下	雪わたり	30	きつねは、おかしそうに口を曲げて、キックキックトントンキックキックトントンと足ぶみを始めて、しっぽと頭をふってしばらく考えていましたが、やっと思いついたらしく、両手をふって調子をとりながら歌い始めました。	きつね	文学	冬	
2702	教出	5	下	雪わたり	30	「しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。よってひょろひょろ太右衛門が、去年、三十八、食べた。しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。よってひょろひょろ清作が、去年十三ばい食べた。」	しみ雪	文学	冬	
2703	教出	5	下	雪わたり	30	「しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。よってひょろひょろ太右衛門が、去年、三十八、食べた。しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。よってひょろひょろ清作が、去年十三ばい食べた。」	かた雪	文学	冬	
2704	教出	5	下	雪わたり	30	「しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。よってひょろひょろ太右衛門が、去年、三十八、食べた。しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。よってひょろひょろ清作が、去年十三ばい食べた。」	しみ雪	文学	冬	
2705	教出	5	下	雪わたり	30	「しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。よってひょろひょろ太右衛門が、去年、三十八、食べた。しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。よってひょろひょろ清作が、去年十三ばい食べた。」	かた雪	文学	冬	
2706	教出	5	下	雪わたり	30	四郎もかん子も、すっかりつりこまれて、もうきつねといっしょにおどっています。	きつね	文学	冬	
2707	教出	5	下	雪わたり	30	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛	きつね	文学	冬	

						が、左の足をわなに入れ、こんこんばたばたこんこんこん。」				
2708	教出	5	下	雪わたり	30	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が、左の足をわなに入れ、こんこんばたばたこんこんこん。」	きつねの子	文学	冬	
2709	教出	5	下	雪わたり	30	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が、左の足をわなに入れ、こんこんばたばたこんこんこん。」	きつね	文学	冬	
2710	教出	5	下	雪わたり	31	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、焼いた魚を取ろうとして、おしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつね	文学	冬	
2711	教出	5	下	雪わたり	31	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、焼いた魚を取ろうとして、おしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつねの子	文学	冬	
2712	教出	5	下	雪わたり	31	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、焼いた魚を取ろうとして、おしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつね	文学	冬	
2713	教出	5	下	雪わたり	31	赤いふうろう細工のほおの木の芽が、風にふかれてピッカリピッカリと光り、林の中の雪にはあい色の木のかげが一面あみになって落ちて、日光の当たるところには銀のゆりがさいたように見えました。	ほおの木	文学	夏	
2714	教出	5	下	雪わたり	31	赤いふうろう細工のほおの木の芽が、風にふかれてピッカリピッカリと光り、林の中の雪にはあい色の木のかげが一面あみになって落ちて、日光の当たるところには銀のゆりがさいたように見えました。	雪	文学	冬	
2715	教出	5	下	雪わたり	31	赤いふうろう細工のほおの木の芽が、風にふかれてピッカリピッカリと光り、林の中の雪にはあい色の木のかげが一面あみになって落ちて、日光の当たるところには銀のゆりがさいたように見えました。	ゆり	文学	夏	

2716	教出	5	下	雪わたり	31	すると、子ぎつね紺三郎が言いました。	子ぎつね	文学	冬	
2717	教出	5	下	雪わたり	31	「しかの子もよびましょうか。しかの子は、そりゃ笛がうまいんですよ。」	しかの子	文学	秋	
2718	教出	5	下	雪わたり	31	「しかの子もよびましょうか。しかの子は、そりゃ笛がうまいんですよ。」	しかの子	文学	秋	
2719	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	かた雪	文学	冬	
2720	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	しみ雪	文学	冬	
2721	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	しかの子	文学	秋	
2722	教出	5	下	雪わたり	32	「北風ぴいぴい風三郎、西風どうどう又三郎。」	北風	文学	冬	
2723	教出	5	下	雪わたり	32	きつねの子の紺三郎が、いかにもばかにしたように、口をとがらして言いました。	きつねの子	文学	冬	
2724	教出	5	下	雪わたり	32	「あれはしかの子です。あいつはおく病ですから、とてもこっちへ来そうにありません。けれど、もう一ぺんさけんでみましょうか。」	しかの子	文学	秋	
2725	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	かた雪	文学	冬	
2726	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	しみ雪	文学	冬	
2727	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	しかの子	文学	秋	
2728	教出	5	下	雪わたり	32	すると今度は、ずうっと遠くで、風の音か笛の声か、またはしかの子の歌か、こんなように聞こえました。	しかの子	文学	秋	
2729	教出	5	下	雪わたり	32	「北風ぴいぴい、かんこかんこ西風どうどう、どっこどっこ。」	北風	文学	冬	
2730	教出	5	下	雪わたり	32	きつねはまた、ひげをひねって言いました。	きつね	文学	冬	
2731	教出	5	下	雪わたり	32	「雪がやわらかになるといけませんから、もうお帰りな	雪	文学	冬	

						さい。今度月夜に雪がこおったら、きっとおいでください。さっきのげん灯をやりますから。」				
2732	教出	5	下	雪わたり	32	「雪がやわらかになるといけませんから、もうお帰りなさい。今度月夜に雪がこおったら、きっとおいでください。さっきのげん灯をやりますから。」	月夜	文学	秋	
2733	教出	5	下	雪わたり	32	「雪がやわらかになるといけませんから、もうお帰りなさい。今度月夜に雪がこおったら、きっとおいでください。さっきのげん灯をやりますから。」	雪	文学	冬	
2734	教出	5	下	雪わたり	32	「雪がやわらかになるといけませんから、もうお帰りなさい。今度月夜に雪がこおったら、きっとおいでください。さっきのげん灯をやりますから。」	こおった	文学	冬	
2735	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」と歌いながら、銀の雪をわたっておうちへ帰りました。	かた雪	文学	冬	
2736	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」と歌いながら、銀の雪をわたっておうちへ帰りました。	しみ雪	文学	冬	
2737	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」と歌いながら、銀の雪をわたっておうちへ帰りました。	銀の雪	文学	冬	
2738	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	かた雪	文学	冬	
2739	教出	5	下	雪わたり	32	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ。」	しみ雪	文学	冬	
2740	教出	5	下	雪わたり	32	その二（きつね小学校のげん灯会）	きつね	文学	冬	
2741	教出	5	下	雪わたり	32	青白い大きな十五夜のお月様が、静かに氷の上山から上りました。	十五夜	文学	秋	
2742	教出	5	下	雪わたり	32	青白い大きな十五夜のお月様が、静かに氷の上山から上りました。	お月様	文学	秋	
2743	教出	5	下	雪わたり	32	雪はチカチカ青く光り、そして今日も寒水石のようにかたくこおりました。	雪	文学	冬	
2744	教出	5	下	雪わたり	32	雪はチカチカ青く光り、そして今日も寒水石のようにかたくこおりました。	寒水石	文学	冬	
2745	教出	5	下	雪わたり	32	雪はチカチカ青く光り、そして今日も寒水石のようにか	こおりました	文学	冬	

						たくこおりました。				
2746	教出	5	下	雪わたり	32	四郎は、きつねの紺三郎との約束を思い出して、妹のかん子にそっと言いまいた。	きつね	文学	冬	
2747	教出	5	下	雪わたり	33	「今夜きつねのげん灯会なんだね。行こうか。」	きつね	文学	冬	
2748	教出	5	下	雪わたり	33	するとかん子は、「行きましょう。行きましょう。きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。」とはね上がって、高くさけんでいました。	きつね	文学	冬	
2749	教出	5	下	雪わたり	33	するとかん子は、「行きましょう。行きましょう。きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。」とはね上がって、高くさけんでいました。	きつねの子	文学	冬	
2750	教出	5	下	雪わたり	33	するとかん子は、「行きましょう。行きましょう。きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。」とはね上がって、高くさけんでいました。	きつね	文学	冬	
2751	教出	5	下	雪わたり	33	すると、二番めの兄さんの二郎が、「おまえたちはきつねのところへ遊びに行くのかい。ぼくも行きたいな。」と言いました。	きつね	文学	冬	
2752	教出	5	下	雪わたり	33	「大兄さん。だって、きつねのげん灯会は十一才までですよ。入場券に書いてあるんだもの。」	きつね	文学	冬	
2753	教出	5	下	雪わたり	33	「どれ、ちょっとお見せ。ははあ、学校生徒の父兄にあらずして十二才以上の来ひんは入場をお断りも申しそうろう。きつねなんて、なかなかうまくやってるね。ぼくは行けないんだね。しかたないや。おまえたち行くんなら、おもちを持っていっておやりよ。そら、この鏡もちがいいだろう。」	きつね	文学	冬	
2754	教出	5	下	雪わたり	33	「どれ、ちょっとお見せ。ははあ、学校生徒の父兄にあらずして十二才以上の来ひんは入場をお断りも申しそうろう。きつねなんて、なかなかうまくやってるね。ぼくは行けないんだね。しかたないや。おまえたち行くんなら、おもちを持っていっておやりよ。そら、この鏡も	鏡もち	文学	新年	

						ちがいいだろう。」				
2755	教出	5	下	雪わたり	33	四郎とかん子は、そこで小さな雪ぐつをはいて、おもちをかついで外に出ました。	雪ぐつ	文学	冬	
2756	教出	5	下	雪わたり	33	「行っておいで。大人のきつねに会ったら、急いで目をつぶるんだよ。そら、ぼくらはやしてやろうか。かた雪かんこ、しみ雪しんこ、きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	きつね	文学	冬	
2757	教出	5	下	雪わたり	33	「行っておいで。大人のきつねに会ったら、急いで目をつぶるんだよ。そら、ぼくらはやしてやろうか。かた雪かんこ、しみ雪しんこ、きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	雪	文学	冬	
2758	教出	5	下	雪わたり	33	「行っておいで。大人のきつねに会ったら、急いで目をつぶるんだよ。そら、ぼくらはやしてやろうか。かた雪かんこ、しみ雪しんこ、きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	雪	文学	冬	
2759	教出	5	下	雪わたり	33	「行っておいで。大人のきつねに会ったら、急いで目をつぶるんだよ。そら、ぼくらはやしてやろうか。かた雪かんこ、しみ雪しんこ、きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。」	きつねの子	文学	冬	
2760	教出	5	下	雪わたり	34	お月様は空に高く上り、森は青白いけむりに包まれています。	お月様	文学	秋	
2761	教出	5	下	雪わたり	34	すると、むねにどんぐりの記章をつけた白い小さなきつねの子が立っていて、言いました。	どんぐり	文学	秋	
2762	教出	5	下	雪わたり	34	すると、むねにどんぐりの記章をつけた白い小さなきつねの子が立っていて、言いました。	きつねの子	文学	冬	
2763	教出	5	下	雪わたり	34	きつねの子が、もっともらしく体を曲げて、目をパチパチしながら、林のおくを手で教えました。	きつねの子	文学	冬	
2764	教出	5	下	雪わたり	34	林の中には、月の光が青いぼうを何本もななめに投げこんだようにさしておりました。	月	文学	秋	

2765	教出	5	下	雪わたり	35	見ると、もうきつねの学校生徒が、たくさん集まって、くりの皮をぶっつけ合ったりすもうをとったり、ことにおかしいのは、小さな小さなねずみぐらいのきつねの子が、大きな子どものきつねのかた車に乗って、お星様を取ろうとしているのです。	きつね	文学	冬	
2766	教出	5	下	雪わたり	35	見ると、もうきつねの学校生徒が、たくさん集まって、くりの皮をぶっつけ合ったりすもうをとったり、ことにおかしいのは、小さな小さなねずみぐらいのきつねの子が、大きな子どものきつねのかた車に乗って、お星様を取ろうとしているのです。	くりの皮	文学	秋	
2767	教出	5	下	雪わたり	35	見ると、もうきつねの学校生徒が、たくさん集まって、くりの皮をぶっつけ合ったりすもうをとったり、ことにおかしいのは、小さな小さなねずみぐらいのきつねの子が、大きな子どものきつねのかた車に乗って、お星様を取ろうとしているのです。	すもう	文学	秋	
2768	教出	5	下	雪わたり	35	見ると、もうきつねの学校生徒が、たくさん集まって、くりの皮をぶっつけ合ったりすもうをとったり、ことにおかしいのは、小さな小さなねずみぐらいのきつねの子が、大きな子どものきつねのかた車に乗って、お星様を取ろうとしているのです。	きつねの子	文学	冬	
2769	教出	5	下	雪わたり	35	見ると、もうきつねの学校生徒が、たくさん集まって、くりの皮をぶっつけ合ったりすもうをとったり、ことにおかしいのは、小さな小さなねずみぐらいのきつねの子が、大きな子どものきつねのかた車に乗って、お星様を取ろうとしているのです。	きつね	文学	冬	
2770	教出	5	下	雪わたり	35	紺三郎なんか、まるでりっぱなえんび服を着て、すいせんの花をむねにつけて、真っ白なハンケチでしきりにそのとがったお口をふいているのです。	すいせんの花	文学	冬	
2771	教出	5	下	雪わたり	35	きつねの学校生徒は、みんなこっちを見ています。	きつね	文学	冬	

2772	教出	5	下	雪わたり	35	紺三郎は、むねをいっぱいに張って、すましてもちを受け取りました。	紺三郎（きつね）	文学	冬	
2773	教出	5	下	雪わたり	36	紺三郎は、おもちを持って、向こうへ行きました。	紺三郎（きつね）	文学	冬	
2774	教出	5	下	雪わたり	36	きつねの学校生徒は、声をそろえてさけびました。	きつね	文学	冬	
2775	教出	5	下	雪わたり	36	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、かたいおもちはかったらこ、白いおもちはべったらこ。」	雪	文学	冬	
2776	教出	5	下	雪わたり	36	「かた雪かんこ、しみ雪しんこ、かたいおもちはかったらこ、白いおもちはべったらこ。」	雪	文学	冬	
2777	教出	5	下	雪わたり	36	きつねの生徒は、喜んで、手をパチパチたたきました。	きつね	文学	冬	
2778	教出	5	下	雪わたり	36	紺三郎が、エヘンエヘンとせきばらいをしながらまくの横から出てきて、ていねいにおじぎをしました。	紺三郎（きつね）	文学	冬	
2779	教出	5	下	雪わたり	36	今夜は美しい天気です。お月様は、まるで真じゅのお皿です。	お月様	文学	秋	
2780	教出	5	下	雪わたり	36	お星様は、野原のつゆがキラキラ固まったようです。	つゆ(露)	文学	秋	
2781	教出	5	下	雪わたり	36	決して、そっちの方へくりの皮を投げたりしてはなりません。	くりの皮	文学	秋	
2782	教出	5	下	雪わたり	36	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。	しみ雪	文学	冬	
2783	教出	5	下	雪わたり	36	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のまんじゅうはポッポッポ。	かた雪	文学	冬	
2784	教出	5	下	雪わたり	37	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。	しみ雪	文学	冬	
2785	教出	5	下	雪わたり	37	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、野原のおそばはホッホッホ。	かた雪	文学	冬	
2786	教出	5	下	雪わたり	37	かわいらしいきつねの女の子が、きびだんごをのせたお皿を二つ持ってきました。	きつね	文学	冬	
2787	教出	5	下	雪わたり	37	それにきつねの学校生徒が、みんなこっちを向いて、「食うだろうか。ね。食うだろうか。」なんて、ひそひそ話し合っているのです。	きつね	文学	冬	

2788	教出	5	下	雪わたり	38	そして二人は、きびだんごをみんな食べました。	きび	文学	秋	
2789	教出	5	下	雪わたり	38	きつねの学校生徒は、もうあんまり喜んで、みんなおどり上がってしまいました。	きつね	文学	冬	
2790	教出	5	下	雪わたり	38	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえ体をさかれてもきつねの生徒はうそ言うな。」	月明かり	文学	秋	
2791	教出	5	下	雪わたり	38	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえ体をさかれてもきつねの生徒はうそ言うな。」	きつね	文学	冬	
2792	教出	5	下	雪わたり	39	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえこごえてたおれてもきつねの生徒はぬすまない。」	月明かり	文学	秋	
2793	教出	5	下	雪わたり	39	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえこごえてたおれてもきつねの生徒はぬすまない。」	きつね	文学	冬	
2794	教出	5	下	雪わたり	39	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえこごえてたおれてもきつねの生徒はぬすまない。」	月明かり	文学	秋	
2795	教出	5	下	雪わたり	39	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえこごえてたおれてもきつねの生徒はぬすまない。」	こごえて	文学	冬	
2796	教出	5	下	雪わたり	39	「昼はカンカン日の光り夜はツンツン月明かりたとえこごえてたおれてもきつねの生徒はぬすまない。」	きつね	文学	冬	
2797	教出	5	下	雪わたり	40	きつねのこん兵衛が、わなに左足をとられた景色です。	きつね	文学	冬	
2798	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が左の足をわなに入れこんこんばたばたこんこんこん。」と、みんなが歌いました。	きつね	文学	冬	
2799	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が左の足をわなに入れこんこんばたばたこんこんこん。」と、みんなが歌いました。	きつねの子	文学	冬	
2800	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が左の足をわなに入れこんこんばたばたこんこんこん。」と、みんなが歌いました。	きつね	文学	冬	
2801	教出	5	下	雪わたり	40	きつねのこん助が焼いたお魚を取ろうとして、しっぽに火がついたところです。	きつね	文学	冬	

2802	教出	5	下	雪わたり	40	きつねの生徒が、みなさけびました。	きつね	文学	冬	
2803	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が焼いた魚を取ろとしておしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつね	文学	冬	
2804	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が焼いた魚を取ろとしておしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつねの子	文学	冬	
2805	教出	5	下	雪わたり	40	「きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が焼いた魚を取ろとしておしりに火がつききゃんきゃんきゃん。」	きつね	文学	冬	
2806	教出	5	下	雪わたり	40	「みなさん。今晩のげん灯はこれでおしましです。今夜みなさんは、深く心にとめなければならないことがあります。それは、きつねのこしらえたものを、かしこい少しもよわない人間のお子さんが食べてくだすったということです。そこでみなさんは、これからも、大人になっても、うそをつかず、人をそねまず、わたしどもきつねの今までの悪い評判をすっかりなくしてしまうだろうと思います。閉会の辞です。」	きつね	文学	冬	
2807	教出	5	下	雪わたり	40	「みなさん。今晩のげん灯はこれでおしましです。今夜みなさんは、深く心にとめなければならないことがあります。それは、きつねのこしらえたものを、かしこい少しもよわない人間のお子さんが食べてくだすったということです。そこでみなさんは、これからも、大人になっても、うそをつかず、人をそねまず、わたしどもきつねの今までの悪い評判をすっかりなくしてしまうだろうと思います。閉会の辞です。」	きつね	文学	冬	
2808	教出	5	下	雪わたり	40	きつねの生徒は、みんな感動して、両手を上げ、ワーッと立ち上がりました。	きつね	文学	冬	
2809	教出	5	下	雪わたり	41	きつねの生徒たちが、追いかけてきて、二人のふところ	きつね	文学	冬	

						やかくしに、どんぐりだのくりだの青光りの石だのを入れて、「そら、あげますよ。」「そら、取ってください。」なんて言って、風のようににげ帰っていきます。				
2810	教出	5	下	雪わたり	41	きつねの生徒たちが、追いかけてきて、二人のふところやかくしに、どんぐりだのくりだの青光りの石だのを入れて、「そら、あげますよ。」「そら、取ってください。」なんて言って、風のようににげ帰っていきます。	どんぐり	文学	秋	
2811	教出	5	下	雪わたり	41	きつねの生徒たちが、追いかけてきて、二人のふところやかくしに、どんぐりだのくりだの青光りの石だのを入れて、「そら、あげますよ。」「そら、取ってください。」なんて言って、風のようににげ帰っていきます。	くり	文学	秋	
2812	教出	5	下	雪わたり	41	その青白い雪の野原のまん中で、三人の黒いかげが、向こうから来るのを見ました。	雪	文学	冬	
2813	教出	5	下	読書の広場「読書発表会」をしよう	42	『雪わたり』が心に残った大木さんは、「同じ作者」の作品をしょうかいすることにしました。	雪	その他	冬	
2814	教出	5	下	読書の広場「読書発表会」をしよう	43	わたしは、宮沢賢治の『雪わたり』を読んで、四郎とかん子、きつねたちの気持ちが一つになったところが心に残りました。	雪	その他	冬	
2815	教出	5	下	読書の広場「読書発表会」をしよう	43	ほかにも、『どんぐりと山猫』や『なめとこ山のくま』を読んでみました。	どんぐり	その他	秋	
2816	教出	5	下	読書の広場「読書発表会」をしよう	44	この夏休みに、ぼくは、家族で広島の平和資料館を見学して、原爆のおそろしさを実感しました。	夏休み	その他	夏	
2817	教出	5	下	読書の広場「読書発表会」をしよう	45	『長い冬』（ワイルダー）	冬	その他	冬	
2818	教出	5	下	ことわざ	46	みなさんは、「いろはかるた」で遊んだことはありませんか。	かるた	その他	新年	
2819	教出	5	下	ことわざ	46	「かるた」は「い」や「ろ」といった初めの文字をヒントにして札をとっていきますが、ゲームをくり返しているうちに、読み上げられる言葉（決まり文句）も覚えて	かるた	その他	新年	

						しします。				
2820	教出	5	下	ことわざ	47	「いろはかるた」にある言葉のように、昔から人々の間で言い伝えられてきた言葉を、ことわざといいます。	かるた	その他	新年	
2821	教出	5	下	言葉と文化ことわざ	48	ありも積もれば象たおす	あり	その他	夏	
2822	教出	5	下	ことわざ	49	「いろはかるた」の「いろは」も、この「いろはうた」の文字の順番にそって作られています。	かるた	その他	新年	
2823	教出	5	下	方言とアクセント	73	各地の「しもやけ」の言い方	しもやけ	その他	冬	
2824	教出	5	下	方言とアクセント	74	方言は、「かくれんぼ」や「しもやけ」のような物事の名前を表す言葉だけにあるのではありません。	しもやけ	その他	冬	
2825	教出	5	下	方言とアクセント	75	果物の「かき」か、貝の「かき」か区別できましたか。	果物の「かき」	その他	秋	
2826	教出	5	下	方言とアクセント	75	果物の「かき」か、貝の「かき」か区別できましたか。	貝の「かき」	その他	冬	
2827	教出	5	下	方言とアクセント	76	「秋」という言葉を例にとってみましょう。	「秋」	その他	秋	
2828	教出	5	下	方言とアクセント	76	にじがかかったのは午後の二時。	にじ	その他	夏	
2829	教出	5	下	方言とアクセント	77	きんの送ってくれたなんば、うまかったわ。	なんば	その他	秋	
2830	教出	5	下	方言とアクセント	77	昨日、祖母が大阪から送ってきたとうもろこしです。	とうもろこし	その他	秋	
2831	教出	5	下	漢字の広場⑧漢字の成り立ち（二）	79	綿	綿	その他	秋	
2832	教出	5	下	みすずさがしの旅	81	朝やけ小やけだ	朝やけ	文学	夏	
2833	教出	5	下	みすずさがしの旅	81	大ばいわしの大漁だ。	大ばいわし	文学	秋	
2834	教出	5	下	みすずさがしの旅	81	はまは祭りのようだけど海のなかでは何万のいわしのとむらいするだろう。	祭り	文学	夏	
2835	教出	5	下	みすずさがしの旅	81	はまは祭りのようだけど海のなかでは何万のいわしのとむらいするだろう。	いわし	文学	秋	
2836	教出	5	下	みすずさがしの旅	82	大漁を喜ぶ人々の、お祭りのようににぎわうはま辺を見つめながら、そのうちにかくれている、海の魚たちの悲しみを見つめた、一人のやさしい詩人の目を感じたからです。	お祭り	非文学	夏	
2837	教出	5	下	みすずさがしの旅	82	夏休みに出版社でアルバイトをしていたわたしは、詩人の佐藤義美さんのところに、名作を集めた童謡集の解説	夏休み	非文学	夏	

						原こうを受け取りに行きました。				
2838	教出	5	下	みすずさがしの旅	83	「本当は、この童謡集には曲がついている作品しか入れないことになっていたのだけれど、金子みすずはとても大切な詩人で、うもれたら大変なので、『つゆ』という作品に曲をつけて無理に入れることにした。」	つゆ(露)	非文学	秋	
2839	教出	5	下	みすずさがしの旅	84	『童話』にのったみすずの作品を中心に、三十編を集めて一さつにしたもので、『大漁』と『つゆ』しか知らなかったわたしにとって、三十編もの作品が入っているこの本は、たから箱のようでした。	つゆ(露)	非文学	秋	
2840	教出	5	下	みすずさがしの旅	89	それから、一つのものを見て、たくさんの言葉を考える―例えば、落ち葉、かれ葉、かれっ葉というように考えて、その時、その時で、自分にぴったりの言葉を使うのが好きな人でした。	落ち葉	非文学	冬	
2841	教出	5	下	みすずさがしの旅	89	それから、一つのものを見て、たくさんの言葉を考える―例えば、落ち葉、かれ葉、かれっ葉というように考えて、その時、その時で、自分にぴったりの言葉を使うのが好きな人でした。	かれ葉	非文学	冬	
2842	教出	5	下	みすずさがしの旅	89	それから、一つのものを見て、たくさんの言葉を考える―例えば、落ち葉、かれ葉、かれっ葉というように考えて、その時、その時で、自分にぴったりの言葉を使うのが好きな人でした。	かれっ葉	非文学	冬	
2843	教出	5	下	みすずさがしの旅	91	わたしと小鳥とすずと	小鳥	文学	秋	
2844	教出	5	下	みすずさがしの旅	91	とべる小鳥はわたしのように、地面をはやくは走れない。	小鳥	文学	秋	
2845	教出	5	下	みすずさがしの旅	91	すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。	小鳥	文学	秋	
2846	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	羊の番をしている少年が、おおかみがいないのに、「大変だ、おおかみが来た。」と言って、村の人たちをたびたびだましました。	おおかみ	文学	冬	

2847	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	羊の番をしている少年が、おおかみがいないのに、「大変だ、おおかみが来た。」と言って、村の人たちをたびたびだましました。	おおかみ	文学	冬	
2848	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	そのため、本当におおかみが出てきた時、少年が「おおかみが来た。」と言って助けを求めても、村の人たちは、少年の言うことをうそだと思って、助けに行かなかったという話です。	おおかみ	文学	冬	
2849	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	そのため、本当におおかみが出てきた時、少年が「おおかみが来た。」と言って助けを求めても、村の人たちは、少年の言うことをうそだと思って、助けに行かなかったという話です。	おおかみ	文学	冬	
2850	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	「大変だ、おおかみが来た。」というさけびは、実際におおかみが出てきた場合にだけ事実と結びついています。	おおかみ	文学	冬	
2851	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	「大変だ、おおかみが来た。」というさけびは、実際におおかみが出てきた場合にだけ事実と結びついています。	おおかみ	文学	冬	
2852	教出	5	下	もっと読みたい言葉と事実	117	そのため、本当におおかみが出てきた時の少年のさけびが、言葉の役を果たさなくなっていたのです。	おおかみ	文学	冬	
2853	教出	5	下	注意する仮名づかい	120	117ページにでてくる「おおかみ」という言葉は、次の仮名づかいのきまりにしたがえば、ふつう、「おうかみ」となるはずです。	おおかみ	その他	冬	
2854	教出	5	下	注意する仮名づかい	120	しかし、実際は「おおかみ」と書きます。	おおかみ	その他	冬	
2855	教出	5	下	注意する仮名づかい	120	「おおかみ」や「ほお」は、歴史的仮名づかいでは「おほかみ」「ほほ」と書き、「とお」は「とほ」と書いていました。	おおかみ	その他	冬	
2856	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2857	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2858	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	

2859	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2860	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2861	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2862	教出	6	上	風景純銀もざいく	6	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2863	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	かすかなるむぎぶえ	むぎぶえ	文学	夏	
2864	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2865	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2866	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2867	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2868	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2869	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2870	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2871	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2872	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2873	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	ひばりのおしゃべり	ひばり	文学	春	
2874	教出	6	上	風景純銀もざいく	7	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2875	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2876	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2877	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2878	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2879	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2880	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2881	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2882	教出	6	上	風景純銀もざいく	8	いちめんのなのはな	なのはな	文学	春	
2883	教出	6	上	声に出して伝え合おうリレースピーチをしよう	13	春休みにいなかのおじいさんの家に行ったら、どの家の前の歩道にも、パンジーがきれいにさいていました。	春休み	その他	春	
2884	教出	6	上	声に出して伝え合おうリレースピーチをしよう	13	春休みにいなかのおじいさんの家に行ったら、どの家の前の歩道にも、パンジーがきれいにさいていました。	春休み	その他	春	
2885	教出	6	上	声に出して伝え合おうリレース	13	春休みにいなかのおじいさんの家に行ったら、どの家の	パンジー	その他	夏	

				ピーチをしよう		前の歩道にも、パンジーがきれいにさいていました。				
2886	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	14	春のうららの隅田川	春	その他	春	
2887	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	15	春が来た春が来たどこに来た	春	その他	春	
2888	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	15	春が来た春が来たどこに来た	春	その他	春	
2889	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	15	桜にさくらそう	桜	その他	春	
2890	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	15	桜にさくらそう	さくらそう	その他	春	
2891	教出	6	上	言葉のリズムを楽しもう	15	ことり	ことり	その他	秋	
2892	教出	6	上	心を見つめて読もう美月の夢	18	サバンナ、砂ばく、白夜の街	白夜	文学	夏	
2893	教出	6	上	心を見つめて読もう美月の夢	18	だれもいない校庭に春の光が降り注いでいる。	春の光	文学	春	
2894	教出	6	上	心を見つめて読もう美月の夢	21	飼育委員でにわとりとチャボとうさぎの世話をしていること。	うさぎ	文学	冬	
2895	教出	6	上	美月の夢	26	美月のはがきは、最初のところだけ、「もちつき大会があった」「プールに行った」「運動会があった」に変えたけれど、最後はやっぱり「大きな木のような人になるでしょう」にした。	もちつき	文学	冬	
2896	教出	6	上	漢字の広場①漢字三字以上の熟語の構成	32	春夏秋冬	春	その他	春	
2897	教出	6	上	漢字の広場①漢字三字以上の熟語の構成	32	春夏秋冬	夏	その他	夏	
2898	教出	6	上	漢字の広場①漢字三字以上の熟語の構成	32	春夏秋冬	秋	その他	秋	
2899	教出	6	上	漢字の広場①漢字三字以上の熟語の構成	32	春夏秋冬	冬	その他	冬	
2900	教出	6	上	社会に目を向けて	34	授業の時、市の鳥の「こあじさし」について、絶めつが心配されている貴重な野鳥であることを知りました。	こあじさし	その他	夏	
2901	教出	6	上	社会に目を向けて	35	こあじさしのことを知って興味をもつようになった小笠原さんは、こあじさしの保護について調べることにしました。	こあじさし	その他	夏	
2902	教出	6	上	社会に目を向けて	35	こあじさしのことを知って興味をもつようになった小	こあじさし	その他	夏	

						笠原さんは、こあじさしの保護について調べることにしました。				
2903	教出	6	上	社会に目を向けて	35	小笠原さんは、まず、こあじさしが減少する理由や、それに対するさまざまな取り組みについて調べました。	こあじさし	その他	夏	
2904	教出	6	上	社会に目を向けて	36	こあじさし	こあじさし	その他	夏	
2905	教出	6	上	社会に目を向けて	36	営巣地→こあじさし＋営巣地	こあじさし	その他	夏	
2906	教出	6	上	社会に目を向けて	36	保護→こあじさし＋営巣地＋保護	こあじさし	その他	夏	
2907	教出	6	上	社会に目を向けて	39	がんばれ！こあじさし	こあじさし	その他	夏	
2908	教出	6	上	社会に目を向けて	39	こあじさしの絶めつが心配される理由	こあじさし	その他	夏	
2909	教出	6	上	社会に目を向けて	39	さまざまなこあじさしの保護対策	こあじさし	その他	夏	
2910	教出	6	上	社会に目を向けて	39	そこで、こあじさしの絶めつが心配されている理由について調べてみた。	こあじさし	その他	夏	
2911	教出	6	上	社会に目を向けて	39	こあじさしは、海岸や河口、川の中州に巣を作るが、うめ立てや大水、車や人の進入によって、営巣地が減っているらしい。	こあじさし	その他	夏	
2912	教出	6	上	社会に目を向けて	40	しかし、九月になると、こあじさしの営巣地に新しくビルができる。	こあじさし	その他	夏	
2913	教出	6	上	社会に目を向けて	40	それから、川や海の水のよごれも、こあじさしを苦しめている原因だと思う。	こあじさし	その他	夏	
2914	教出	6	上	社会に目を向けて	40	「こあじさしが、この川の水が注ぐ海の魚を食べて、病気になってしまったら。」と思うと、こわくなる。	こあじさし	その他	夏	
2915	教出	6	上	社会に目を向けて	41	こあじさしには、ここにいてもらいたい。	こあじさし	その他	夏	
2916	教出	6	上	美月の夢	26	美月のはがきは、最初のところだけ、「もちつき大会があった」「プールに行った」「運動会があった」に変えたけれど、最後はやっぱり「大きな木のような人になるでしょう」にした。	プール	文学	夏	
2917	教出	6	上	美月の夢	26	美月のはがきは、最初のところだけ、「もちつき大会があった」「プールに行った」「運動会があった」に変えたけれど、最後はやっぱり「大きな木のような人になる	運動会	文学	秋	

						でしょう」にした。				
2918	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	58	石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりにけるかも	さわらび	文学	春	
2919	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	58	石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりにけるかも	春	文学	春	
2920	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	58	雪解けの水がほとばしる、けい流のほとりに立っているのでしょう。	雪解け	その他	春	
2921	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	58	頭をもたげたばかりのわらびの新芽が、滝のしぶきに当たってかがやいています。	わらび	その他	春	
2922	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	58	春をむかえた喜びが、かろやかな水音と明るい光の中で、生き生きとうたわれています。	春	その他	春	
2923	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	59	古池や蛙飛こむ水のおと	蛙	文学	春	
2924	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	59	季語は「蛙」で、春を表しています。	蛙	その他	春	
2925	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	59	季語は「蛙」で、春を表しています。	春	その他	春	
2926	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	60	ひざの児の頬べたなめる小てふ哉	小てふ	文学	春	
2927	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	60	万緑の中や吾子の歯生え初むる	万緑	文学	夏	
2928	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	60	妹を泣かして上がる絵双六	絵双六	文学	新年	
2929	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	60	卒業の兄と来てゐる堤かな	卒業	文学	春	
2930	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	田子の浦ゆうち出でて見ればま白にぞ富士の高嶺に雪は降りける	雪	文学	冬	
2931	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	この道の富士になり行く芒かな	芒	文学	秋	
2932	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	東の野にかぎろひの立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ	月	文学	秋	
2933	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	菜の花や月は東に日は西に	菜の花	文学	春	
2934	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	かすみたつ長き春日に子供らと手まりつきつつこの日暮らしつ	かすみ	文学	春	
2935	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	かすみたつ長き春日に子供らと手まりつきつつこの日暮らしつ	春日	文学	春	
2936	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	61	かすみたつ長き春日に子供らと手まりつきつつこの日	手まり	文学	新年	

						暮らしつ				
2937	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	62	梅一輪一りんほどのあたたかさ	梅	文学	春	
2938	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	62	金色のちひさき鳥のかたちして銀杏ちるなり夕日の岡に	銀杏	文学	秋	
2939	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	62	柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺	柿	文学	秋	
2940	教出	6	上	言葉と文化短歌と俳句	63	まだももは流れてこぬに子はね入り	もも	文学	秋	
2941	教出	6	上	川とノリオ	77	すすきはそれからも川っぷちで、白くほほけた旗をふり、―母ちゃんとノリオは橋の上で、夕焼け空をながめていた。	夕焼け	文学	夏	
2942	教出	6	上	川とノリオ	77	川っぷちの若いやなぎには、銀色の芽がもう大きかった。	やなぎ	文学	春	
2943	教出	6	上	川とノリオ	82	麦わらぼうしも帰ってこない。	麦わらぼうし	文学	夏	
2944	教出	6	上	川とノリオ	82	ノリオのまっさらの麦わらぼうしも、川はぷかぷか流していった。	麦わらぼうし	文学	夏	
2945	教出	6	上	川とノリオ	85	ギラギラ照りつける真夏の太陽も、銀色にキラキラ光るだけ。	真夏の太陽	文学	夏	
2946	教出	6	上	川とノリオ	83	前に死んだ、ばあちゃんの仏だんに、新しいぼんぢょうちんが下がっている。	ぼんぢょうちん	文学	秋	
2947	教出	6	上	川とノリオ	79	冬ズボンのすそをたくし上げて、ノリオは川をわたりだす。	冬ズボン	文学	冬	
2948	教出	6	上	川とノリオ	84	冬	冬	文学	冬	
2949	教出	6	上	川とノリオ	76	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた。	冬	文学	冬	
2950	教出	6	上	川とノリオ	80	あったかい春の日ざしを浴びて、川と一日じゅう遊んで暮らす、ノリオは小さい神様だった。	春の日ざし	文学	春	
2951	教出	6	上	川とノリオ	76	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた。	春	文学	春	
2952	教出	6	上	川とノリオ	85	ノリオは、川っぷちのかれ草の中で、もうじき来る春を待っている。	春	文学	春	

2953	教出	6	上	川とノリオ	77	土くさい、春のにおいをかいだ。	春	文学	春	
2954	教出	6	上	川とノリオ	87	白い日がさがチカチカゆれて、子供の手を引いた女の人が、葉桜の間を遠くなった。	葉桜	文学	夏	
2955	教出	6	上	川とノリオ	84	こおりつくようななまり色の川。	なまり色の川	文学	冬	
2956	教出	6	上	川とノリオ	76	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた。	夏	文学	夏	
2957	教出	6	上	川とノリオ	85	そしてとうとう母ちゃんが、もどってこなかった夏のあの日。	夏	文学	夏	
2958	教出	6	上	川とノリオ	79	三月の川の冷たさに、キャッキャッと一人笑いながら。	冷たさ	文学	冬	
2959	教出	6	上	川とノリオ	79	ひやっと冷たい三月の水。	冷たい	文学	冬	
2960	教出	6	上	川とノリオ	79	泣いている子供なんか知らないよ、というように、大根のかれっ葉をうかべながら、すましこんでさらさら流れていく。	大根のかれっ葉	文学	冬	
2961	教出	6	上	川とノリオ	78	また早春	早春	文学	春	
2962	教出	6	上	川とノリオ	76	早春	早春	文学	春	
2963	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春暁	108	春暁	春暁	文学	春	
2964	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春暁	108	春眠暁を覚えず	春眠	文学	春	
2965	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春暁	108	春の眠りは心地よくて、夜が明けたのも気づかないで、うつらうつらしていると、	春の眠り	文学	春	
2966	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	春夜	春夜	文学	春	
2967	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	春宵一刻値千金	春宵	文学	春	
2968	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	春の夜は、一時一時が千金にあたいするほどだ。	春の夜	文学	春	
2969	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	花に清香有り月に陰有り	月	文学	秋	
2970	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	かぐわしい花のかおりがただよい、月はおぼろにかすんでいる。	月	文学	秋	
2971	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	鞦韆院落夜沈沈	鞦韆	文学	春	
2972	教出	6	上	漢詩を読み味わおう春夜	109	中庭の鞦韆（ぶらんこ）に、夜が静かにふけていく。	鞦韆	文学	春	
2973	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	昨日、ぼくは、せみとりに行きました。	せみとり	その他	夏	
2974	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	大きな鳴き声がするので近づいてみると、今まで見たこ	せみ	その他	夏	

						ともないような、大形のせみがいました。				
2975	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	木の下でせみににげられただ一人	せみ	その他	夏	
2976	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	「せみがおしっこをする。」といいますが、あれは、いわゆるにょうではありません。	せみ	その他	夏	
2977	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	せみに、あみが近づいていく。	せみ	その他	夏	
2978	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	あと、五センチ、三センチ、まさにあみがせみの上におおいかぶさったかと見えたしゅん間、そのあみの間から、ひらりとせみがぬけ出した。	せみ	その他	夏	
2979	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	あと、五センチ、三センチ、まさにあみがせみの上におおいかぶさったかと見えたしゅん間、そのあみの間から、ひらりとせみがぬけ出した。	せみ	その他	夏	
2980	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	子供が一人、せみとりに行ったそうな。	せみとり	その他	夏	
2981	教出	6	上	いろいろな文体で書く	111	だれも近づいてはいけないことになっている大きな木で、世にも大きなせみが人間の声を出しているのを、見つけたそうな。	せみ	その他	夏	
2982	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	112	うぐいすの美しい声で起こされた朝など、一日じゅう幸せな気分です。	うぐいす	非文学	春	
2983	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	112	さて、みなさんは、すずめやからす、うぐいすなどの鳴き声を、どんな言葉で表していますか。	うぐいす	非文学	春	
2984	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	112	すずめは「チュンチュン」、からすは「カアカア」、うぐいすは「ホーホケキョ」と、多くの人が答えるでしょう。	うぐいす	非文学	春	
2985	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	112	すずめは「チュンチュン」、からすは「カアカア」、うぐいすは「ホーホケキョ」と、多くの人が答えるでしょう。	ホーホケキョ	非文学	春	
2986	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	115	ふくろうを思い出してください。	ふくろう	非文学	冬	
2987	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	115	ふくろうの鳴き声は、今はふつう、「ホーホー」と表されています。	ふくろう	非文学	冬	
2988	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	116	ふくろうは、天気予報をする鳥だと思われていたので	ふくろう	非文学	冬	

						す。				
2989	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	116	けれども、当時の人々はふくろうの声を聞いて、「今の晴れと言ったんだ。」「いや、今のは雨と言ったんだ。」と話し合うことに、楽しみを感じていたのだと思われます。	ふくろう	非文学	冬	
2990	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	116	このほか、江戸時代では、ふくろうの声を「夜明けなば巣作ろう（夜が明けたら巣を作ろう）」と聞く地方もあれば、「五郎七奉公」などと聞く地方もありました。	ふくろう	非文学	冬	
2991	教出	6	上	さるは「ココ」と鳴いていた	116	今でも、秋田県・山形県・石川県・富山県・福井県などの日本海側の地域では、ふくろうの声を「ノリツケホーセ」「ノリツケホーセン」「ノリツケホホ」などと、「のり」という言葉を入れて聞いています。	ふくろう	非文学	冬	
2992	教出	6	上	川とノリオ	81	せみの声も川の音も聞こえない、しめっぽい防空ごうの暗いやみで、ノリオは出たいと、ぐずって泣いた。	せみの声	文学	夏	
2993	教出	6	上	川とノリオ	85	さらさらとすずしいせの音をたてて、今日もまた川は流れている。	せ	文学	夏	
2994	教出	6	上	川とノリオ	76	その川はすずしい音をたてて、さらさらと休まず流れている。	すずしい	文学	夏	
2995	教出	6	上	川とノリオ	85	さらさらとすずしいせの音をたてて、今日もまた川は流れている。	すずしい	文学	夏	
2996	教出	6	上	川とノリオ	77	すすきのほが、川っぷちで旗をふった。	すすき	文学	秋	
2997	教出	6	上	川とノリオ	77	すすきはそれからも川っぷちで、白くほほけた旗をふり、―母ちゃんとノリオは橋の上で、夕焼け空をながめていた。	すすき	文学	秋	
2998	教出	6	上	川とノリオ	77	すすきの銀色の旗の波と、真っ白いのぼりに送られて、ノリオの父ちゃんは、行ってしまった。	すすき	文学	秋	
2999	教出	6	上	川とノリオ	84	すすきがまた、銀色の旗をふり、父ちゃんが戦地から帰ってきた。	すすき	文学	秋	
3000	教出	6	上	川とノリオ	79	ひやっと冷たい三月の水。	三月の水	文学	春	

3001	教出	6	上	川とノリオ	84	川っぷちの雑草のしげみのかげで、こおろぎが昼間も、リリリリと鳴いた。	こおろぎ	文学	秋	
3002	教出	6	上	川とノリオ	84	こおりつくようななまり色の川。	こおりつく	文学	冬	
3003	教出	6	上	川とノリオ	85	ノリオは、川っぷちのかれ草の中で、もうじき来る春を待っている。	かれ草	文学	冬	
3004	教出	6	上	川とノリオ	85	弁当を持って、毎日、空っ風の中を。	空っ風	文学	冬	
3005	教出	6	上	川とノリオ	83	おぼんの夜（八月十五日）	おぼん	文学	秋	
3006	教出	6	上	川とノリオ	85	川っぷちにはもう青いいぬふぐりがさいて、タカオが父ちゃんと自転車で通る。	いぬふぐり	文学	春	
3007	教出	6	上	川とノリオ	84	また秋	秋	文学	秋	
3008	教出	6	上	川とノリオ	78	ぬれたような母ちゃんの黒目に映って、赤とんぼがすいすい飛んでいった。	赤とんぼ	文学	秋	
3009	教出	6	上	川とノリオ	86	青々しげった岸辺の草に、サクッ、サクッとまたかまを入れだすと、桜の木につないだやぎっ子が、ミエエ、ミエエとノリオを呼んだ。	青々しげった	文学	夏	
3010	教出	6	下	川とノリオ	83	おぼんの夜（八月十五日）	八月十五日	文学	秋	
3011	教出	6	下	川とノリオ	85	また八月六日が来る	八月	文学	夏	
3012	教出	6	下	川とノリオ	83	じいちゃんがノリオのぞうすいをたいた	ぞうすい	文学	冬	
3013	教出	6	下	イナゴ	4	イナゴ	イナゴ	文学	秋	
3014	教出	6	下	イナゴ	4	はっぱにとまったイナゴの目に一てんもえている夕やけ	イナゴ	文学	秋	
3015	教出	6	下	イナゴ	4	はっぱにとまったイナゴの目に一てんもえている夕やけ	夕やけ	文学	夏	
3016	教出	6	下	イナゴ	4	でもイナゴはぼくしか見ていないのだ	イナゴ	文学	秋	
3017	教出	6	下	イナゴ	5	ああ強い生きものとよわい生きもののあいだを川のように流れるイネのにおい！	イネ	文学	秋	
3018	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	9	天の川（銀河系の中心）	天の川	非文学	夏	
3019	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	13	二酸化炭素には、地球を毛布のように包んで温める作用があり、これを温室効果という。	毛布	非文学	冬	

3020	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	13	温室効果が増して地球の平均温度が数度上がったら、極地の氷が解けだして低地は水ぼつするといわれる。	氷	非文学	冬	
3021	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	13	温室効果がなかったら、地球はこおりついてしまって、とても生命が生きていける状態ではなくなってしまう。	こおりついて	非文学	冬	
3022	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	15	月から見た地球	月	非文学	秋	
3023	教出	6	下	人類よ、宇宙人になれ	16	火星には今、温室効果がないため、大量の水があるにもかかわらず、それがみな地中でこおりついた状態にある。	こおりついた	非文学	冬	
3024	教出	6	下	調べたことをまとめる	27	科学者は、すい星がよごれた雪の玉であるという。	雪の玉	非文学	冬	
3025	教出	6	下	調べたことをまとめる	27	すい星は、よごれた雪の玉であるといわれる。	雪の玉	非文学	冬	
3026	教出	6	下	漢字の広場⑤読んでみよう・書いてみよう	32	養蚕業	養蚕	その他	春	
3027	教出	6	下	きつねの窓	34	それも、一面、青いききょうの花畑なのでした。	ききょう	文学	秋	
3028	教出	6	下	きつねの窓	35	けれど、そこには、いい風がふいていて、ききょうの花畑は、どこまでもどこまでも続いていました。	ききょう	文学	秋	
3029	教出	6	下	きつねの窓	35	ぼくは、そこにこしを下ろして、あせをふきました。	あせ	文学	夏	
3030	教出	6	下	きつねの窓	35	ききょうの花がザザーッと一列にゆれて、その白い生き物は、ボールが転げるように走っていきました。	ききょう	文学	秋	
3031	教出	6	下	きつねの窓	35	確かに、白ぎつねでした。	白ぎつね	文学	冬	
3032	教出	6	下	きつねの窓	36	ダンと一発やってしまえば、それでいいのですが、できれば、ぼくはきつねの巣を見つけたかったのです。	きつね	文学	冬	
3033	教出	6	下	きつねの窓	36	そして、そこにいる親ぎつねをしとめたいと思ったのです。	親ぎつね	文学	冬	
3034	教出	6	下	きつねの窓	36	けれど、子ぎつねは、ちょっと小高くなった辺りへ来て、いきなり花の中にもぐったと思うと、それっきり姿を消しました。	子ぎつね	文学	冬	
3035	教出	6	下	きつねの窓	36	まるで、昼の月を見失ったような感じです。	月	文学	秋	
3036	教出	6	下	きつねの窓	36	〈ははあ、さっきの子ぎつねが化けたんだ。〉	子ぎつね	文学	冬	
3037	教出	6	下	きつねの窓	37	ふうん、これはひとつ、だまされたふりをして、きつね	きつね	文学	冬	

						をつかまえてやろうと、ぼくは思いました。				
3038	教出	6	下	きつねの窓	37	すると、店員に化けた子ぎつねは、にっこり笑って、「どうぞ、どうぞ。」と、ぼくを案内しました。	子ぎつね	文学	冬	
3039	教出	6	下	きつねの窓	37	きつねは、お茶をうやうやしく運んできました。	きつね	文学	冬	
3040	教出	6	下	きつねの窓	37	すると、きつねは、いきなりテーブルの上の、ぼくのぼうしを取り上げて、「はい、なんでもお染めいたします。こんなぼうしも、すてきな青に染まります。」と言うのです。	きつね	文学	冬	
3041	教出	6	下	きつねの窓	37	「そうですか、それでは。」と、きつねは、ぼくの身なりをしげしげと見つめて、こう言いました。	きつね	文学	冬	
3042	教出	6	下	きつねの窓	38	「そのマフラーは、いかがでしょう。それとも、くつ下はどうでしょう。ズボンでも、上着でも、セーターでも、すてきな青に染まります。」	マフラー	文学	冬	
3043	教出	6	下	きつねの窓	38	「そのマフラーは、いかがでしょう。それとも、くつ下はどうでしょう。ズボンでも、上着でも、セーターでも、すてきな青に染まります。」	セーター	文学	冬	
3044	教出	6	下	きつねの窓	38	けれど、それはたぶん、人間もきつねも同じことなのでしょう。	きつね	文学	冬	
3045	教出	6	下	きつねの窓	38	きつねは、きっとお礼がほしいのでしょう。	きつね	文学	冬	
3046	教出	6	下	きつねの窓	38	そこで、ハンカチでも染めさせようかと、ポケットに手をつっこんだ時、きつねは、とっぴょうしもなくかん高い声をあげました。	きつね	文学	冬	
3047	教出	6	下	きつねの窓	39	ところが、きつねは、にっこり笑って、「ねえ、お客様、指を染めるのは、とてもすてきなことなんですよ。」と言うと、自分の両手を、ぼくの目の前に広げました。	きつね	文学	冬	
3048	教出	6	下	きつねの窓	39	きつねは、その両手を寄せると、青く染められた四本の指で、ひし形の窓を作ってみせました。	きつね	文学	冬	
3049	教出	6	下	きつねの窓	40	指でこしらえた、小さな窓の中には、白いきつねの姿が見えるのでした。	白いきつね	文学	冬	

3050	教出	6	下	きつねの窓	40	それは、みごとな母ぎつねでした。	母ぎつね	文学	冬	
3051	教出	6	下	きつねの窓	40	それは、ちょうど窓の中に、一枚のきつねの絵が、ぴたりとはめこまれたような感じなのです。	きつね	文学	冬	
3052	教出	6	下	きつねの窓	40	きつねは、ぽつりと言いました。	きつね	文学	冬	
3053	教出	6	下	きつねの窓	41	きつねは、ぱらりと両手を下ろして、うつむきました。	きつね	文学	冬	
3054	教出	6	下	きつねの窓	41	「そしたらね、やっぱりこんな秋の日に、風がザザーッてふいて、ききょうの花が声をそろえて言ったんです。あなたの指をお染めなさい。それで窓を作りなさいって。ぼくは、ききょうの花をどっさりつんで、その花のしるで、ぼくの指を染めたんです。そうしたら、ほうら、ねっ。」	秋の日	文学	秋	
3055	教出	6	下	きつねの窓	41	「そしたらね、やっぱりこんな秋の日に、風がザザーッてふいて、ききょうの花が声をそろえて言ったんです。あなたの指をお染めなさい。それで窓を作りなさいって。ぼくは、ききょうの花をどっさりつんで、その花のしるで、ぼくの指を染めたんです。そうしたら、ほうら、ねっ。」	ききょう	文学	秋	
3056	教出	6	下	きつねの窓	41	「そしたらね、やっぱりこんな秋の日に、風がザザーッてふいて、ききょうの花が声をそろえて言ったんです。あなたの指をお染めなさい。それで窓を作りなさいって。ぼくは、ききょうの花をどっさりつんで、その花のしるで、ぼくの指を染めたんです。そうしたら、ほうら、ねっ。」	ききょう	文学	秋	
3057	教出	6	下	きつねの窓	41	きつねは、両手をのばして、また、窓を作ってみせました。	きつね	文学	冬	
3058	教出	6	下	きつねの窓	42	すると、きつねは、もううれしくてたまらないという顔をしました。	きつね	文学	冬	
3059	教出	6	下	きつねの窓	42	きつねは、花のしるの入ったお皿と筆を持ってきました。	きつね	文学	冬	

3060	教出	6	下	きつねの窓	42	やがて、ぼくの親指と人差し指は、ききょう色になりました。	ききょう色	文学	秋	
3061	教出	6	下	きつねの窓	43	ぼくは、きつねにこう言いました。	きつね	文学	冬	
3062	教出	6	下	きつねの窓	43	「あいにく、お金が全然ないんだ。だけど、品物なら、なんでもやるよ。ぼうしでも、上着でも、セーターでも、マフラーでも。」	セーター	文学	冬	
3063	教出	6	下	きつねの窓	43	「あいにく、お金が全然ないんだ。だけど、品物なら、なんでもやるよ。ぼうしでも、上着でも、セーターでも、マフラーでも。」	マフラー	文学	冬	
3064	教出	6	下	きつねの窓	43	すると、きつねはこう言いました。	きつね	文学	冬	
3065	教出	6	下	きつねの窓	44	ぼくは、気前よく、鉄砲をきつねにやりました。	きつね	文学	冬	
3066	教出	6	下	きつねの窓	44	きつねは、ぺこっとおじぎをして、鉄砲を受け取ると、おみやげになめこなんかくれました。	きつね	文学	冬	
3067	教出	6	下	きつねの窓	44	きつねは、ぺこっとおじぎをして、鉄砲を受け取ると、おみやげになめこなんかくれました。	なめこ	文学	冬	
3068	教出	6	下	きつねの窓	44	なめこは、ちゃんと、ポリぶくろに入れてありました。	なめこ	文学	冬	
3069	教出	6	下	きつねの窓	44	ぼくは、きつねに帰りの道をききました。	きつね	文学	冬	
3070	教出	6	下	きつねの窓	44	林の中を二百メートルほど歩いたら、ぼくの小屋に出るのだと、きつねは言いました。	きつね	文学	冬	
3071	教出	6	下	きつねの窓	44	秋の日がきらきらとこぼれて、林の中は暖かく静かでした。	秋の日	文学	秋	
3072	教出	6	下	きつねの窓	45	そして、あんなすばらしい花畑と、親切なきつねの店と…、すっかりいい気分になって、ぼくは、ふんふんと鼻歌を歌いました。	きつね	文学	冬	
3073	教出	6	下	きつねの窓	45	細かいきり雨が音もなく。	きり雨	文学	秋	
3074	教出	6	下	きつねの窓	46	庭には、母の作っている小さい菜園があって、青じそがひとかたまり、やっぱり雨にぬれています。	青じそ	文学	夏	
3075	教出	6	下	きつねの窓	47	ぼくはその晩、もらったなめこを食べるのもわすれて、がっくりとうなだれていました。	なめこ	文学	冬	

3076	教出	6	下	きつねの窓	47	次の日、ぼくは、もう一度きつねの家に行って、指を染め直してもらうことにしました。	きつね	文学	冬	
3077	教出	6	下	きつねの窓	47	ききょうの花畑など、どこにもありはしないのでした。	ききょうの花畑	文学	秋	
3078	教出	6	下	きつねの窓	47	きつねの鳴き声が、ちょっとでも聞こえよものなら、そして林の中を、カサリと動く白いかげでもあろうものなら、ぼくは、耳をそばだてて、じっとその方向をさぐりました。	きつね	文学	冬	
3079	教出	6	下	きつねの窓	47	が、あれっきり、一度もぼくは、きつねに会うことはありませんでした。	きつね	文学	冬	
3080	教出	6	下	読書の広場「読書座談会」をしよう	48	松井さんは、『きつねの窓』のようなファンタジー作品で、気に入ったものをしょうかいし合うグループに加わりました。	きつね	その他	冬	
3081	教出	6	下	読書の広場「読書座談会」をしよう	49	『霧のむこうのふしぎな町』	霧	その他	秋	
3082	教出	6	下	読書の広場「読書座談会」をしよう	49	わたしは、今まで、日本のファンタジーはあまり読まなかったけれど、話を聞いているうちに、『霧のむこうのふしぎな町』を読んでみたくなりました。	霧	その他	秋	
3083	教出	6	下	読書の広場「読書座談会」をしよう	49	風に飛ばされたかさを追い、霧の谷の町に着いた、なんて想像するとわくわくします。	霧	その他	秋	
3084	教出	6	下	漢字の広場⑥送り仮名のきまり	53	純白の雪がふりつもる。	純白の雪	その他	冬	
3085	教出	6	下	漢字の広場⑥送り仮名のきまり	53	村のまつりを伝承する。	まつり	その他	夏	
3086	教出	6	下	田中正造	55	春は菜の花が一面に広がり、麦やいねもおどろくほど実りがよく、川沿い、ぬまべりには、林や森が続いていた。	春	非文学	春	
3087	教出	6	下	田中正造	55	春は菜の花が一面に広がり、麦やいねもおどろくほど実りがよく、川沿い、ぬまべりには、林や森が続いていた。	菜の花	非文学	春	
3088	教出	6	下	田中正造	55	春は菜の花が一面に広がり、麦やいねもおどろくほど実りがよく、川沿い、ぬまべりには、林や森が続いていた。	麦	非文学	夏	
3089	教出	6	下	田中正造	55	春は菜の花が一面に広がり、麦やいねもおどろくほど実りがよく、川沿い、ぬまべりには、林や森が続いていた。	いね	非文学	秋	

3090	教出	6	下	田中正造	57	また、ほり出した鉱石をろで焼き、銅を取り出すときの燃料といえば、このころはまき・木炭であったためである。	ろ	非文学	冬	
3091	教出	6	下	田中正造	57	また、ほり出した鉱石をろで焼き、銅を取り出すときの燃料といえば、このころはまき・木炭であったためである。	木炭	非文学	冬	
3092	教出	6	下	田中正造	57	たびたび山火事も起こった。	山火事	非文学	冬	
3093	教出	6	下	田中正造	59	くわも、竹も、立ち木もかれていく。	くわ	非文学	春	
3094	教出	6	下	田中正造	62	十二日の夜ふけ、寒風のふきさらす渡良瀬川べりの村々の寺から、かねの音がひびきわたり、雲龍寺の境内目がけて集まる人の数が増えた。	寒風	非文学	冬	
3095	教出	6	下	漢字の広場⑦同じ訓をもつ漢字	70	卒業文集の編集委員を務める。	卒業文集	その他	春	
3096	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	72	次の江口さんの作文を参考にしながら、小学校を卒業する自分にとって大切なことを、作文に書きましょう。	卒業	その他	春	
3097	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	73	七月に入って、わたしのクラスでは、夏季林間学校に向けての実行委員を決めていた。	夏季林間学校	その他	夏	
3098	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	73	実は、わたしの家は、夏休みに引っこすことが決まっていた。	夏休み	その他	夏	
3099	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	74	いよいよ夏休みに入り、キャンプファイヤーの練習は、前日にまでおよんだ。	夏休み	その他	夏	
3100	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	74	わたしたちは、あせだくになりながら準備を進めた。	あせだく	その他	夏	
3101	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	75	でも、この写真は、わたしのあせと努力の結しょうなのだ。	あせ	その他	夏	
3102	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	77	卒業記念の作品として	卒業記念	その他	春	
3103	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう思いや願いを	77	卒業を間近にひかえたこの時期に書いた作品は、貴重なものとなるでしょう。	卒業	その他	春	
3104	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書	80	桜の花がさく	桜の花	その他	春	

				こう日本語の文字						
3105	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう日本語の文字	83	このほかに「キリン」「メダカ」「タンポポ」「ヒマワリ」など、動植物の名前が片仮名で書かれることもあります。	メダカ	その他	夏	
3106	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう日本語の文字	83	このほかに「キリン」「メダカ」「タンポポ」「ヒマワリ」など、動植物の名前が片仮名で書かれることもあります。	タンポポ	その他	春	
3107	教出	6	下	効果的な書き方をくふうして書こう日本語の文字	83	このほかに「キリン」「メダカ」「タンポポ」「ヒマワリ」など、動植物の名前が片仮名で書かれることもあります。	ヒマワリ	その他	夏	
3108	教出	6	下	漢字の広場⑧漢字の読み方	86	風車	風車	その他	春	
3109	教出	6	下	願いや考えを深めながら読もうボランティアしあおうよ	91	入学したばかりのころは、周りに知っている人がだれもいなくて、食事へ行くにしろ、おふろへ行くにしろ、初対面の人に、「すみませんけど、手伝ってもらえますか。」と、声をかけた。	入学	非文学	春	
3110	教出	6	下	支度	100	これは春の匂い	春	文学	春	
3111	教出	6	下	新しく学んだ漢字	106	雪を頂く山	雪	その他	冬	
3112	教出	6	下	新しく学んだ漢字	108	除夜のかね	除夜	その他	冬	
3113	教出	6	下	さまざまな辞典を使ってみよう	123	霧のように細かい雨	霧	その他	秋	
3114	教出	6	下	川とノリオ	78	三月の川の冷たさに、キャッキャッとひとり笑いながら	三月	文学	春	
3115	教出	6	下	川とノリオ	86	桜の木につないだやぎっ子が、ミエエ、ミエエとノリオを呼んだ	桜	文学	春	
3116	教出	6	下	川とノリオ	83	ときどき、じいちゃんの横顔が、へいけがにのように、ぎゅっとゆがむ	かに	文学	夏	
3117	大書	1	上	おおきなかぶ	63	あまい、げんきのよい、とてつもなくおおきいかぶができました	かぶ	文学	冬	1
3118	大書	1	上	おおきなかぶ	62	あまいあまいかぶになれ	かぶ	文学	冬	1
3119	大書	1	上	おおきなかぶ	67	いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさん	かぶ	文学	冬	1

						がかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」				
3120	大書	1	上	おおきなかぶ	62	おおきなおおきなかぶになれ	かぶ	文学	冬	1
3121	大書	1	上	おおきなかぶ	62	おじいさんが、かぶのたねをまきました	かぶ	文学	冬	1
3122	大書	1	上	みんなのはる	9	みんなのはる	はる	その他	春	
3123	大書	1	上	あいうえお	11	いるかがいるいるあいうえお	いるか	その他	冬	
3124	大書	1	上	あいうえお	11	うさぎがうごいたあいうえお	うさぎ	その他	冬	
3125	大書	1	上	あいうえお	11	おおかみおどろく	おおかみ	非文学	冬	
3126	大書	1	上	みつけたよ	25	かだんですみれをみつけたよ	すみれ	その他	春	
3127	大書	1	上	みつけたよ	25	いけでかえるをみつけたよ	かえる	その他	春	
3128	大書	1	上	まほうのはこ	31	うさぎがやってきました	うさぎ	その他	冬	
3129	大書	1	上	まほうのはこ	31	はこからにんじんがとびだしました	にんじん	その他	冬	
3130	大書	1	上	まほうのはこ	31	はこからきのみがとびだしました	きのみ	その他	秋	
3131	大書	1	上	あいうえおのうた	35	かえるがかわいいかきくけこ	かえる	その他	春	
3132	大書	1	上	あいうえおのうた	35	たけうまたかだかたちつてと	たけうま	その他	冬	
3133	大書	1	上	どうぞのいす	43	うさぎさんがいすをつくりました	うさぎ	文学	冬	
3134	大書	1	上	どうぞのいす	45	うさぎさんはいすをおおきなきのしたにおきました	うさぎ	文学	冬	
3135	大書	1	上	どうぞのいす	45	はなをせおったろばさんがきました	はな	文学	春	
3136	大書	1	上	どうぞのいす	46	くまさんがきました	くま	文学	冬	
3137	大書	1	上	どうぞのいす	46	いすのはなをみると、いいました	はな	文学	春	
3138	大書	1	上	どうぞのいす	46	そして、はなをかかえると、かわりにみつをおいていきました	はな	文学	春	
3139	大書	1	上	どうぞのいす	47	きつねさんがきました	きつね	文学	冬	
3140	大書	1	上	どうぞのいす	47	そして、みつをなめると、かわりにうりをおいていきました	うり	文学	夏	
3141	大書	1	上	どうぞのいす	48	いすのうりをみると、いいました	うり	文学	夏	
3142	大書	1	上	どうぞのいす	48	そして、うりをたべると、かわりにいちごをおいていきました	うり	文学	夏	
3143	大書	1	上	どうぞのいす	48	そして、うりをたべると、かわりにいちごをおいていきました	いちご	文学	夏	

3144	大書	1	上	どうぞのいす	49	あれ、はながいちごになっている	はな	文学	春	
3145	大書	1	上	どうぞのいす	49	あれ、はながいちごになっている	いちご	文学	夏	
3146	大書	1	上	したこと、おしえて	53	みかんがすきです。	みかん	その他	冬	
3147	大書	1	上	だいじなたまご	54	つばめが、のきしたにすをつくっています	つばめ	非文学	春	
3148	大書	1	上	だいじなたまご	54	つばめは、どうしてのきしたにたまごをうむのでしょう	つばめ	非文学	春	
3149	大書	1	上	だいじなたまご	58	あげはが、みかんのきのはにとまっています。	あげは	非文学	春	
3150	大書	1	上	だいじなたまご	58	あげはが、みかんのきのはにとまっています	みかん	非文学	冬	
3151	大書	1	上	だいじなたまご	58	あげはは、どうしてみかんのきのはにたまごをうむのでしょう	みかん	非文学	冬	
3152	大書	1	上	おおきなかぶ	63	おじさんは、かぶをぬこうとしました	かぶ	文学	冬	1
3153	大書	1	上	おおきなかぶ	64	おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
3154	大書	1	上	ぶどう	76	むらさきぶどう	ぶどう	文学	秋	
3155	大書	1	上	ぶどう	77	ふさふさぶどう	ぶどう	文学	秋	
3156	大書	1	上	ぶどう	77	つやつやぶどう	ぶどう	文学	秋	
3157	大書	1	上	なつやすみのこと	78	なつやすみのこと	なつやすみ	非文学	夏	
3158	大書	1	上	なつやすみのこと	79	なつやすみに、なにをしましたか	なつやすみ	非文学	夏	
3159	大書	1	上	なつやすみのこと	79	せみとりをしました。	せみ	非文学	夏	
3160	大書	1	上	なつやすみのこと	80	なつやすみに、おじいちゃんのうちへいきました	なつやすみ	非文学	夏	
3161	大書	1	上	なつやすみのこと	80	おじいちゃんのうちのすぐちかくに、うみがあります	うみ	非文学	夏	
3162	大書	1	上	なつやすみのこと	80	うみで、いろいろなことをしてあそびました	うみ	非文学	夏	
3163	大書	1	上	なつやすみのこと	80	いとこのはるかちゃんとおよいだり、かにをとったりしました	かに	非文学	夏	
3164	大書	1	上	おおきなかぶ	64	それでも、かぶはぬけません	かぶ	文学	冬	1
3165	大書	1	上	おおきなかぶ	69	それでも、かぶはぬけません	かぶ	文学	冬	1
3166	大書	1	上	おおきなかぶ	63	ところが、かぶはぬけません	かぶ	文学	冬	1
3167	大書	1	上	おおきなかぶ	68	ねこがいぬをひっぱって、いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うん	かぶ	文学	冬	1

						とこしょ、どっこいしょ。」				
3168	大書	1	上	おおきなかぶ	70	ねずみがねこをひっぱって、いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
3169	大書	1	上	おおきなかぶ	65	まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
3170	大書	1	上	おおきなかぶ	65	まだまだ、かぶはぬけません	かぶ	文学	冬	1
3171	大書	1	上	おおきなかぶ	71	やっと、かぶはぬけました	かぶ	文学	冬	1
3172	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	2	森のくまじいさんは、さかなとりのめいじんです	くま	文学	冬	
3173	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	2	「それにしても……、こんなに大きなさけをとったのは、ひさしぶりじゃわい」	さけ	文学	秋	
3174	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	3	うちにかえったくまじいさんは、さっそくおりょうりにとりかかりました	くま	文学	冬	
3175	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	4	なにしろ、このさけは、ひとりでたべるには大きすぎるのです	さけ	文学	秋	
3176	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	4	そこで、きつねにあげることにしました	きつね	文学	冬	
3177	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	4	「きつねくん、はんぶんもらってくれんかね」	きつね	文学	冬	
3178	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	4	きつねは、もらったはんぶんのさけの、そのまたはんぶんを、おなべでぐつぐつとにてたべました	きつね	文学	冬	
3179	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	4	きつねは、もらったはんぶんのさけの、そのまたはんぶんを、おなべでぐつぐつとにてたべました	さけ	文学	秋	
3180	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	5	なにしろ、このさけは、ひとりでたべるには大きすぎるのです	さけ	文学	秋	
3181	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	6	そこで、うさぎにあげることにしました	うさぎ	文学	冬	
3182	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	6	「うさぎくん、はんぶんもらってくれるかい」	うさぎ	文学	冬	
3183	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	6	うさぎは、もらったさけのきりみをはんぶんにするとさっそくバターやきにしました	うさぎ	文学	冬	

3184	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	6	うさぎは、もらったさけのきりみをはんぶんにするとさっそくバターやきにしました	さけ	文学	秋	
3185	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	7	あまりいいにおいがするので、そこでうさぎは、さけのきりみののこりのはんぶんをねずみにあげることにしました	うさぎ	文学	冬	
3186	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	7	あまりいいにおいがするので、そこでうさぎは、さけのきりみののこりのはんぶんをねずみにあげることにしました	さけ	文学	秋	
3187	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	7	ねずみのかあさんは、さけのはいったおにぎりを十六こつくりました	さけ	文学	秋	
3188	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	8	つぎの日、ねずみのかあさんは、うさぎにおれいをいいました	うさぎ	文学	冬	
3189	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「きのうは、おいしいさけをごちそうさま」	さけ	文学	秋	
3190	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「いいえ、あれはきつねくんにもらったの」	きつね	文学	冬	
3191	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「それじゃ、きつねくんにもおれいをいわなくちゃ」	きつね	文学	冬	
3192	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	ねずみのかあさんとうさぎは、きつねのうちにいきました	うさぎ	文学	冬	
3193	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	ねずみのかあさんとうさぎは、きつねのうちにいきました	きつね	文学	冬	
3194	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「きのうは、おいしいさけをありがとう」	さけ	文学	秋	
3195	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「いいえ、あれはくまじいさんにもらったんですよ」	くま	文学	冬	
3196	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	「それじゃ、くまじいさんにおれいをいわなくちゃ」	くま	文学	冬	
3197	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	ねずみのかあさんとうさぎときつねが、くまじいさんのうちのまえまできたときです	うさぎ	文学	冬	
3198	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	ねずみのかあさんとうさぎときつねが、くまじいさんのうちのまえまできたときです	きつね	文学	冬	
3199	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	9	ねずみのかあさんとうさぎときつねが、くまじいさんのうちのまえまできたときです	くま	文学	冬	
3200	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	10	あわててうちの中へはいってみますと、くまじいさん	くま	文学	冬	

						は、うんうんうなってねていました				
3201	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	10	「さけをとりに、つめたい川にはいったから、かぜをひいたんだね」	さけ	文学	秋	
3202	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	10	「さけをとりに、つめたい川にはいったから、かぜをひいたんだね」	かぜ	文学	冬	
3203	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	10	それからしばらくして、くまじいさんのうちににもつがとどきました	くま	文学	冬	
3204	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	11	あけてみると、けいとの長いマフラーがありました	マフラー	文学	冬	
3205	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	12	きつね　うさぎ　ねずみより	きつね	文学	冬	
3206	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	12	きつね　うさぎ　ねずみより	うさぎ	文学	冬	
3207	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	12	あたたかいマフラーのおかげで、くまじいさんのかぜはすぐによくなりました	マフラー	文学	冬	
3208	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	12	あたたかいマフラーのおかげで、くまじいさんのかぜはすぐによくなりました	くま	文学	冬	
3209	大書	1	下	はんぶんずつすこしずつ	12	あたたかいマフラーのおかげで、くまじいさんのかぜはすぐによくなりました	かぜ	文学	冬	
3210	大書	1	下	おしえてあげたいこと	17	こおろぎをみつけた	こおろぎ	その他	秋	
3211	大書	1	下	おしえてあげたいこと	18	きくつぎさんは、こおろぎをつかまえたことについて、よくおもいだして、じゅんじょよくかきました	こおろぎ	その他	秋	
3212	大書	1	下	おしえてあげたいこと	18	こおろぎ	こおろぎ	その他	秋	
3213	大書	1	下	おしえてあげたいこと	18	たかとう山にいって、こおろぎをつかまえました	こおろぎ	その他	秋	
3214	大書	1	下	おしえてあげたいこと	19	でも、わたしは、むしかごにいれました	むしかご	その他	秋	
3215	大書	1	下	おしえてあげたいこと	20	こおろぎさん、さようなら	こおろぎ	その他	秋	
3216	大書	1	下	たねのたび	26	たんぽぽをみてください	たんぽぽ	非文学	春	
3217	大書	1	下	たねのたび	29	ななかまどのみをみてください	ななかまど	非文学	秋	
3218	大書	1	下	たねのたび	29	赤いみがことりたちにたべられると、たねは、ことりといっしょにたびをします	ことり	非文学	秋	
3219	大書	1	下	天にのぼったあけや	34	たけのわをはめていると、どうしたことかたけがはじけて、おけやはぽうんとくもの上までとばされてしまった	たけ	文学	秋	

3220	大書	1	下	天にのぼったあけや	35	ふとみると、そばにたいこだのかがみだのをもったかみなりがいる	かみなり	文学	夏	
3221	大書	1	下	天にのぼったあけや	35	かみなりは、ずしりとおもいふくろを、おけやにわたした	かみなり	文学	夏	
3222	大書	1	下	天にのぼったあけや	36	かみなりは、ずしりとおもいふくろを、おけやにわたした、たいこをドコドコガラガラならし、かがみをぴかぴかしゃきしゃきひからせながらはしりだす	かみなり	文学	夏	
3223	大書	1	下	天にのぼったあけや	36	ちくちくまくだけでも、下はひどいゆうだちだ	ゆうだち	文学	夏	
3224	大書	1	下	天にのぼったあけや	36	ちょうどその日は、たなばたまつりだった	たなばた	文学	秋	
3225	大書	1	下	天にのぼったあけや	38	いなびかりやら、かみなりやら、おおみずやらでにげまわっていたが、どこかで、「ほうい。たすけてくれえ。」と声がする	いなびかり	文学	秋	
3226	大書	1	下	天にのぼったあけや	38	いなびかりやら、かみなりやら、おおみずやらでにげまわっていたが、どこかで、「ほうい。たすけてくれえ。」と声がする	かみなり	文学	夏	
3227	大書	1	下	天にのぼったあけや	40	それからも、おけやはなんだかあのかみなりにあいたくて、空をみあげみあげおけのわをはめていたそうな	かみなり	文学	夏	
3228	大書	1	下	おはなしをおしえっこしよう	42	くまのこウーフ	くま	その他	冬	
3229	大書	1	下	おはなしをおしえっこしよう	43	十月十三日	十月	その他	秋	
3230	大書	1	下	おはなしをおしえっこしよう	43	山ごやが火じのとき、大かつやくしました	火じ	その他	冬	
3231	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	71	「ねえ、ウーフ。」と、おかあさんがくまの子ウーフにいいました	くま	文学	冬	
3232	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	73	ウーフがばたばたかけていったら、たもあみを手に、きつねのツネタがやってきました	きつね	文学	冬	
3233	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	75	へびが、くびをもちあげて、ウーフをやさしくにらみました	へび	文学	夏	
3234	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	75	へびは、したをだしてわらいました	へび	文学	夏	
3235	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	76	「はだかにみえたの」	はだか	文学	夏	
3236	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	77	「ウーフちゃん、へびのぬいだふくは、だれもきてくれ	へび	文学	夏	

						ないのよ」				
3237	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	77	ウーフはにげて、にげて、竹やぶにきました	竹	文学	秋	
3238	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	77	「ああ、へびのおばさんって、おかしいや」	へび	文学	夏	
3239	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	「でも、へびがズボンをはくとき、どうやってはくのかなあ」	へび	文学	夏	
3240	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	竹のはがゆれました	竹	文学	秋	
3241	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	「たけのこ見にきたのかい」	たけのこ	文学	夏	
3242	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	あなぐまのおじいさんが、こえをかけました	あなぐま（くま）	文学	冬	
3243	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	ウーフは、竹やぶを見まわしました	竹	文学	秋	
3244	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	「こないだは、小さなたけのこがはえてたのに」	たけのこ	文学	夏	
3245	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	ウーフのせよりまだたかく、すいすいのびたたけのこ立っています	たけのこ	文学	夏	
3246	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	竹かしら、たけのこかしら	竹	文学	秋	
3247	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	竹かしら、たけのこかしら	たけのこ	文学	夏	
3248	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	78	「これ、たけ、の、こ」	たけ	文学	秋	
3249	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	79	ぱらりと、竹のかわがはがれて、おちました	竹	文学	秋	
3250	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	79	「たけのこは、大きくなって、竹になるんだよ」	たけのこ	文学	夏	
3251	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	79	「たけのこは、大きくなって、竹になるんだよ」	竹	文学	秋	
3252	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	79	「たけのこさ、いっぱいきものきて、ふくれてたよね」	たけのこ	文学	夏	
3253	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	「そして、竹になるのか」	竹	文学	秋	
3254	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	「きょうは、まごたちにたのまれて、竹をきりにきたんだよ」	竹	文学	秋	
3255	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	「ウーフくんにも、ひとつ、竹うまをつくってあげような」	竹うま	文学	冬	
3256	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	あなぐまのおじいさんがつくってくれた竹うま	あなぐま（くま）	文学	冬	
3257	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	あなぐまのおじいさんがつくってくれた竹うま	竹うま	文学	冬	
3258	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	80	あなぐまの子どもたちは、おおさわぎ	あなぐま（くま）	文学	冬	
3259	大書	1	下	ぴかぴかのウーフ	82	あら、むこうから、小さなくまの男の子たちがかけてきました	くま	文学	冬	

3260	大書	2	上	たけのこぐん！	2	たけのこぐん！	たけのこ	文学	夏	
3261	大書	2	上	たけのこぐん！	2	たけのこがぐん！	たけのこ	文学	夏	
3262	大書	2	上	たけのこぐん！	3	たけのこのびろぐん！	たけのこ	非文学	夏	
3263	大書	2	上	たけのこぐん！	3	あたまにきらりつゆをのせている	つゆ(露)	文学	秋	
3264	大書	2	上	たけのこぐん！	3	たけのこのびろぐん！	たけのこ	文学	夏	
3265	大書	2	上	お話のはこを作ろう	8	たんぽぽの花を見つけました。	たんぽぽ	非文学	春	
3266	大書	2	上	お話のはこを作ろう	9	たんぽぽは、どこにさいてましたか。	たんぽぽ	非文学	春	
3267	大書	2	上	お話のはこを作ろう	10	きのう、学校にくるときに、たんぽぽの花を見つけました。	たんぽぽ	非文学	春	
3268	大書	2	上	お話のはこを作ろう	10	よくみると、もう、わた毛ができているたんぽぽもありました。	たんぽぽ	非文学	春	
3269	大書	2	上	お手紙	16	がまくんはげんかんの前にすわっていました。	がま	文学	夏	1
3270	大書	2	上	お手紙	16	かえるくんがやって来て言いました。	かえる	文学	春	1
3271	大書	2	上	お手紙	16	どうしたんだい、がまがえるくん。	がま	文学	夏	1
3272	大書	2	上	お手紙	16	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3273	大書	2	上	お手紙	16	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
3274	大書	2	上	お手紙	16	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3275	大書	2	上	お手紙	17	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
3276	大書	2	上	お手紙	17	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3277	大書	2	上	お手紙	17	すると、かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3278	大書	2	上	お手紙	17	ぼくもう家へかえらなくっちゃ、がまくん。	がま	文学	夏	1
3279	大書	2	上	お手紙	17	かえるくんは大いそぎで家へかえりました。	かえる	文学	春	1
3280	大書	2	上	お手紙	17	がまがえるくんへ	がま	文学	夏	1
3281	大書	2	上	お手紙	18	かえるくんは家からとび出しました。	かえる	文学	春	1
3282	大書	2	上	お手紙	18	しり合いのかたつむりくんにあいました。	かたつむり	文学	夏	1
3283	大書	2	上	お手紙	18	かたつむりくん。	かたつむり	文学	夏	1
3284	大書	2	上	お手紙	18	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3285	大書	2	上	お手紙	18	おねがいだけど、この手紙をがまくんの家へもっていって、ゆうびんうけに入れてきてくれないかい。	がま	文学	夏	1

3286	大書	2	上	お手紙	18	かたつむりが言いました。	かたつむり	文学	夏	1
3287	大書	2	上	お手紙	18	それからかえるくんはがまくんの家へもどりました。	かえる	文学	春	1
3288	大書	2	上	お手紙	18	それからかえるくんはがまくんの家へもどりました。	がま	文学	夏	1
3289	大書	2	上	お手紙	18	がまくんは、ベッドでお昼ねをしていました。	がま	文学	夏	1
3290	大書	2	上	お手紙	18	がまくんは、ベッドでお昼ねをしていました。	昼ね	文学	夏	1
3291	大書	2	上	お手紙	18	がまくん。	がま	文学	夏	1
3292	大書	2	上	お手紙	18	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3293	大書	2	上	お手紙	19	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3294	大書	2	上	お手紙	19	かえるくんはまどからゆうびんうけを見ました。	かえる	文学	春	1
3295	大書	2	上	お手紙	19	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
3296	大書	2	上	お手紙	19	がまくん。	がま	文学	夏	1
3297	大書	2	上	お手紙	19	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3298	大書	2	上	お手紙	19	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3299	大書	2	上	お手紙	19	かえるくんはまどからのぞきました。	かえる	文学	春	1
3300	大書	2	上	お手紙	19	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
3301	大書	2	上	お手紙	19	でもね、がまくん。	がま	文学	夏	1
3302	大書	2	上	お手紙	19	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3303	大書	2	上	お手紙	20	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3304	大書	2	上	お手紙	20	かえるくんはまどからのぞきました。	かえる	文学	春	1
3305	大書	2	上	お手紙	20	かたつむりはまだやって来ません。	かたつむり	文学	夏	1
3306	大書	2	上	お手紙	20	かえるくん、どうしてきみはずっとまどの外を見ているの。	かえる	文学	春	1
3307	大書	2	上	お手紙	20	がまくんがたずねました。	がま	文学	夏	1
3308	大書	2	上	お手紙	20	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3309	大書	2	上	お手紙	20	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3310	大書	2	上	お手紙	20	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3311	大書	2	上	お手紙	21	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3312	大書	2	上	お手紙	21	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
3313	大書	2	上	お手紙	21	しんあいなるがまくん。	がま	文学	夏	1

3314	大書	2	上	お手紙	21	きみのしんゆう、かえる	かえる	文学	春	1
3315	大書	2	上	お手紙	21	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
3316	大書	2	上	お手紙	21	四日たって、かたつむりくんががまくんの家につきました。	かたつむり	文学	夏	1
3317	大書	2	上	お手紙	21	四日たって、かたつむりくんががまくんの家につきました。	がま	文学	夏	1
3318	大書	2	上	お手紙	21	そしてかえるくんからの手紙をがまくんにわたしました。	かえる	文学	春	1
3319	大書	2	上	お手紙	21	そしてかえるくんからの手紙をがまくんにわたしました。	がま	文学	夏	1
3320	大書	2	上	お手紙	21	手紙をもらって、がまくんはとてもよろこびました。	がま	文学	夏	1
3321	大書	2	上	とらとふえふき	29	木のえだであそんでいた小鳥たちが、チョロロンチョロロンとさえずりました	小鳥	文学	秋	
3322	大書	2	上	とらとふえふき	30	ところが、すぐとなりを見ますと、大きなやなぎの木が立っています	やなぎ	文学	春	
3323	大書	2	上	とらとふえふき	30	きこりは、やなぎの木にのぼりはじめました	やなぎ	文学	春	
3324	大書	2	上	とらとふえふき	30	やなぎの木は、ウムチックウムチックとゆれました	やなぎ	文学	春	
3325	大書	2	上	とらとふえふき	32	ところが、やなぎの木は、つるつるとすべるので、なかなかうまくのぼることができません	やなぎ	文学	春	
3326	大書	2	上	とらとふえふき	33	おなかをすかせたとらたちは、いっせいにやなぎの木にとびかかりました。	やなぎ	文学	春	
3327	大書	2	上	とらとふえふき	37	きこりは、やなぎの木からそろりそろりと下りると、いちもくさんににげかえりました	やなぎ	文学	春	
3328	大書	2	上	文を作ろう	38	めだかがおよぐ。	めだか	その他	夏	
3329	大書	2	上	文を作ろう	38	めだかは小さい。	めだか	その他	夏	
3330	大書	2	上	文を作ろう	38	めだかは魚だ。	めだか	その他	夏	
3331	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	56	六月になると、アカウミガメのお母さんは、たまごをうむために、かいがんにやってきます。	アカウミガメ	非文学	夏	
3332	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガ	57	夕がた、おきにかおを出したアカウミガメは、すなはま	アカウミガメ	非文学	夏	

				メ		をながめ、あんぜんなすなはまかどうかを、よくたしかめます。				
3333	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	58	たまごをうむばしょがきまると、アカウミガメは、すぐにあなをほりはじめます。	アカウミガメ	非文学	夏	
3334	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	61	あなができあがると、アカウミガメは、しっぽのつけねにあるあなから、白いピンポン玉のようなたまごを、ぽとぽととうみます。	アカウミガメ	非文学	夏	
3335	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	62	アカウミガメは、雨がふってもあながへこまないように、自分のたいじゅうをかけて、しずかに、ていねいに、しっかりとあなをうめます。	アカウミガメ	非文学	夏	
3336	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	62	このようにして、アカウミガメのお母さんはたまごをうむのです。	アカウミガメ	非文学	夏	
3337	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	63	アカウミガメのすることを、じゅんじょに気をつけてよみましょう。	アカウミガメ	非文学	夏	
3338	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	63	アカウミガメのお母さんがすることをかんがえながら、はっきりそた声でよみましょう。	アカウミガメ	その他	夏	
3339	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	63	アカウミガメのお母さんがたまごをうむためにすることを、ノートに書きましょう。	アカウミガメ	その他	夏	
3340	大書	2	上	すなはまに上がったアカウミガメ	63	アカウミガメのお母さんのしゃしんを見て、思ったことやかんがえたことを話し合いましょう。	アカウミガメ	その他	夏	
3341	大書	2	上	あめのうた	72	はなといっしょにはなのうた	はな	文学	春	
3342	大書	2	上	みんなの詩	74	かたつむり	かたつむり	文学	夏	
3343	大書	2	上	みんなの詩	74	かたつむりのたまごが、こどもになった	かたつむり	文学	夏	
3344	大書	2	上	みんなの詩	75	かたつむりの赤ちゃんは、自分の力で、からをやぶる	かたつむり	その他	夏	
3345	大書	2	上	いろいろなひとになって	81	あじです	あじ	その他	夏	
3346	大書	2	上	かんじができた	83	月は、ほそくなったときの月のかたちだ	月	非文学	秋	
3347	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	97	コスモスさんからお電話です	コスモス	文学	秋	
3348	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	97	道のりょうがわは、コスモスの花のまっさかりです	コスモス	文学	秋	
3349	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	97	ルミは、おかしやさんからもらった大きな風船をもっ	風船	文学	春	

						て、コスモス通りを帰ってきます				
3350	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	97	風船が、ゆらゆら	風船	文学	春	
3351	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	98	コスモス通りを歩くと、自分もコスモスになったみたいで、とってもいい気持ち	コスモス	文学	秋	
3352	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	98	ルミは、きゅうに立ち止まって、それから、コスモスのさいている中へ、ずんずん入っていきました	コスモス	文学	秋	
3353	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	98	あのね、コスモスさんが何か言ってるんだけど、よく聞こえないの	コスモス	文学	秋	
3354	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	99	ルミは風船をさし出しました	風船	文学	春	
3355	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	99	風船の糸で、竹のぼうにむすんでもらった花は、しゃんと首をもち上げて、元気になりました	風船	文学	春	
3356	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	100	さあっと風がふいて、コスモスがさわさわゆれると、風船もいっしょにふわふわうごきます	コスモス	文学	秋	
3357	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	100	さあっと風がふいて、コスモスがさわさわゆれると、風船もいっしょにふわふわうごきます	風船	文学	春	
3358	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	100	おじさん、コスモスさんが、ありがとうって言ってるよ	コスモス	文学	秋	
3359	大書	2	上	コスモスさんからお電話です	101	わあっ、大きなにじ！	にじ	文学	夏	
3360	大書	2	下	かさこじぞう	9	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました	あわ	文学	秋	
3361	大書	2	下	かさこじぞう	10	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました	あわ	文学	秋	
3362	大書	2	下	かさこじぞう	8	じいさまは、いろりの上にかぶさるようにして、ひえたからだをあたためました	いろり	文学	冬	
3363	大書	2	下	かさこじぞう	8	米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました	いろり	文学	冬	
3364	大書	2	下	かさこじぞう	8	「さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ」	いろり	文学	冬	
3365	大書	2	下	かさこじぞう	4	町には、大年の市がたっていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした	大年の市	文学	新年	
3366	大書	2	下	かさこじぞう	2	ある年の大みそか、じいさまは、ためいきをついて言い	大みそか	文学	新年	

						ました				
3367	大書	2	下	かさこじぞう	10	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました	おかざりのまつ	文学	新年	
3368	大書	2	下	かさこじぞう	3	「にんじん、ごんぼもしょってくるでのう」	ごんぼ（ごぼう）	文学	秋	
3369	大書	2	下	かさこじぞう	10	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました	ごんぼ（ごぼう）	文学	秋	
3370	大書	2	下	かさこじぞう	2	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというのに、もちこのよういもできんのう」	正月	文学	新年	
3371	大書	2	下	かさこじぞう	4	町には、大年の市がたっていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした	正月	文学	新年	
3372	大書	2	下	かさこじぞう	9	「ちょうじゃどんのわかいしゅが正月買いもんをしのこして、今ごろひいてきたんじゃろうか」	正月	文学	新年	
3373	大書	2	下	かさこじぞう	10	じいさまとばあさまは、よい正月をむかえることができましたと	正月	文学	新年	
3374	大書	2	下	かさこじぞう	9	ところが、そりをひくかけ声は、ちょうじゃどんのやしきの方には行かず、こっちにちかづいてきました	そり	文学	冬	
3375	大書	2	下	かさこじぞう	9	すると、ま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりをひくかけ声がしてきました	そり	文学	冬	
3376	大書	2	下	かさこじぞう	10	じいさまとばあさまが、おきていって雨戸をくると、かさこをかぶったじそうさまと、手ぬぐいをかぶったじぞうさまが、じょいやさじょいやさと、からぞりをひいて、かえっていくところでした	そり	文学	冬	
3377	大書	2	下	かさこじぞう	10	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました	だいこん	文学	冬	
3378	大書	2	下	かさこじぞう	4	「おお、気のどくにな。さぞつめたかろうのう。」	つめたい	文学	冬	
3379	大書	2	下	かさこじぞう	5	じいさまは、ぬれてつめたいじぞうさまのかたやらせなやらをなでました。	つめたい	文学	冬	
3380	大書	2	下	かさこじぞう	6	「おお、おお、じいさまかい。さぞつめたかったろうの。かさこは売れたのかね。」	つめたい	文学	冬	

3381	大書	2	下	かさこじぞう	7	すると、ばあさまはいやな顔ひとつしないで、「おお、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ。」	つめたい	文学	冬	
3382	大書	2	下	かさこじぞう	6	「はなからつららを下げてござっしゃる」	つらら	文学	冬	
3383	大書	2	下	かさこじぞう	5	「年こしの日に、かさこなんて買うもんはおらんのじゃろ」	年こし	文学	冬	
3384	大書	2	下	かさこじぞう	8	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ」	年こし	文学	冬	
3385	大書	2	下	かさこじぞう	3	すると、夏の間にかりとっておいたすげがつんでありました	夏	文学	夏	
3386	大書	2	下	かさこじぞう	3	「にんじん、ごんぼもしょってくるでのう」	にんじん	文学	冬	
3387	大書	2	下	かさこじぞう	10	そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました	にんじん	文学	冬	
3388	大書	2	下	かさこじぞう	5	風が出てきて、ひどいふぶきになりました	ふぶき	文学	冬	
3389	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	『メロンのメロディー』（山下明生）は、ゆかいな音楽が出てくるお話です	メロン	その他	夏	
3390	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	「わたし」はメロンをおいしくするために、えんんそうや歌を聞かせます	メロン	その他	夏	
3391	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	すると、メロンからも、なみやたいこの音が聞こえてきます	メロン	その他	夏	
3392	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	『だんまりこおろぎ』（エリック＝カール）は、虫の歌声が聞こえるしかけがついた絵本です	こおろぎ	その他	秋	
3393	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	『だんまりこおろぎ』（エリック＝カール）は、虫の歌声が聞こえるしかけがついた絵本です	虫	その他	秋	
3394	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	なわとびや雨、たき火などのいろいろな音が歌われている『へんなかくれんぼ』（岸田衿子）は、詩の本です	たき火	その他	冬	
3395	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	春をまつ木のふゆめをしょうかいした『ふゆめがっしょうだん』（長新太／文、冨成忠夫・茂木透／しゃしん）はちしきの本です	春	その他	春	

3396	大書	2	下	本の中の音楽を探そう	13	春をまつ木のふゆめをしょうかいした『ふゆめがっしょうだん』（長新太／文、冨成忠夫・茂木透／しゃしん）はちしきの本です	ふゆめ	その他	冬	
3397	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	20	夏の北海道	夏	非文学	夏	
3398	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	20	秋になると、みずならの木には、たくさんどんぐりがなります	秋	非文学	秋	
3399	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	20	秋になると、みずならの木には、たくさんどんぐりがなります	どんぐり	非文学	秋	
3400	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	21	しばらくして、そのどんぐりは、木のねもとにおちはじめます	どんぐり	非文学	秋	
3401	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	21	すると、おちたどんぐりをひろいに、どうぶつたちがやってきます	どんぐり	非文学	秋	
3402	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	21	りすやねずみなどは、どんぐりを、その場で食べるだけでなく、はこんでいって、すあなにたくわえたり、すあな近くの地面にうめたりします	どんぐり	非文学	秋	
3403	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	21	冬になると、食べるものがなくなるので、秋の間にためておくのです	冬	非文学	冬	
3404	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	21	冬になると、食べるものがなくなるので、秋の間にためておくのです	秋	非文学	秋	
3405	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	22	こうして、どんぐりは、木のねもとの地面だけでなく、木からはなれた土の中でも冬をむかえることになります	どんぐり	非文学	秋	
3406	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	22	こうして、どんぐりは、木のねもとの地面だけでなく、木からはなれた土の中でも冬をむかえることになります	冬	非文学	冬	
3407	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	22	やがて、さむくて長い冬が来ます	冬	非文学	冬	
3408	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	22	りすやねずみなどは、土の中にためておいたどんぐりを食べて、冬をすごします	どんぐり	非文学	秋	
3409	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	22	りすやねずみなどは、土の中にためておいたどんぐりを	冬	非文学	冬	

						食べて、冬をすごします				
3410	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	23	そして、春がやってきます	春	非文学	春	
3411	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	23	みずならの木には、花がさきます	花	非文学	春	
3412	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	23	地面や土の中にあったどんぐりはどうなっているでしょうか	どんぐり	非文学	秋	
3413	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	23	地面におちたままのどんぐりは、ほとんどが、かわいてだめになっています	どんぐり	非文学	秋	
3414	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	24	土の中のどんぐりも、おおくは冬の間に食べられてしまいましたが、そのままのこったものがあります	どんぐり	非文学	秋	
3415	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	24	土の中のどんぐりも、おおくは冬の間に食べられてしまいましたが、そのままのこったものがあります	冬	非文学	冬	
3416	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	24	それらのうち、土のふかいところにのこったどんぐりは、めがつちの上まで出られずに、かれてしまいます	どんぐり	非文学	秋	
3417	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	24	しかし、うまいぐあいに、土のあさいところにのこったどんぐりが、めを出しています	どんぐり	非文学	秋	
3418	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	25	このように、みずならの木は、どうぶつたちに、どんぐりというたいせつな食べものをあたえます	どんぐり	非文学	秋	
3419	大書	2	下	どんぐりとどうぶつたち	25	そのかわり、りすやねずみなどのどうぶつたちは、知らないうちに、どんぐりを木にそだ手つだいをしているのです	どんぐり	非文学	秋	
3420	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	27	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	どんぐり	その他	秋	
3421	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	27	「どんぐりやどうぶつたち」には、おどろくことやはじめて知ることがいろいろと書かれていたでしょう	どんぐり	その他	秋	
3422	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	27	どんぐりやどうぶつたちについて、わかったことやかんがえたことをしょうかいし合いましょう	どんぐり	その他	秋	
3423	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	27	「どんぐりとどうぶつたち」を読んでわかったことや、ほかの本や図かんなどを読んで知ったことを、クイズにしてしょうかいする	どんぐり	その他	秋	

3424	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	27	みずならの木やどんぐりやどうぶつが思っていることをかんがえて、「どんぐりとどうぶつたち」の文につけくわえて読み、ろく音する	どんぐり	その他	秋	
3425	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	どんぐりをひろったどうぶつは、すぐにぜんぶ食べてしまうわけではありません	どんぐり	その他	秋	
3426	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	それでは、ひろったどんぐりを、どうするのでしょうか	どんぐり	その他	秋	
3427	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	みずならの木やどんぐり、どうぶつになったつもりで、かんがえたことをカードに書く	どんぐり	その他	秋	
3428	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	「どんぐりとどうぶつたち」の、どこにどんなことばをつけくわえて読むかをきめ、しるしをつける	どんぐり	その他	秋	
3429	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	どんぐりとどうぶつたちクイズ	どんぐり	その他	秋	
3430	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	つぎのなかで、どんぐりを食べるのがすきなのはどうぶつはどれでしょう	どんぐり	その他	秋	
3431	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	おちたどんぐりをひろいに、どうぶつたちがやってきます	どんぐり	その他	秋	
3432	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	おいしそうなどんぐりだな	どんぐり	その他	秋	
3433	大書	2	下	どんぐりやどうぶつたちをしょうかいしよう	28	りすやねずみなどは、どんぐりを、その場で食べるだけでなく、……	どんぐり	その他	秋	
3434	大書	2	下	道具	38	それから、アイスクリームを食べるでしょう	アイスクリーム	非文学	夏	
3435	大書	2	下	あいさつをしよう	39	正月にしんせきの家に行ったとき	正月	その他	新年	
3436	大書	2	下	図かんを作ろう	55	木村さんのはんでは、冬休みにたこあげをしてあそんだことから、「たこ図かん」を作っています	冬休み	その他	冬	
3437	大書	2	下	図かんを作ろう	55	木村さんのはんでは、冬休みにたこあげをしてあそんだことから、「たこ図かん」を作っています	たこ	その他	新年	
3438	大書	2	下	いいものもらった	61	たぬきのおばあさんが、遠くにすむまごたちをたずねることになりました	たぬき	非文学	冬	

3439	大書	2	下	いいものもらった	64	野ねずみは、地面におちた草のみをせっせとひろっているところでした	草のみ	非文学	秋	
3440	大書	2	下	いいものもらった	64	冬にそなえて、たくわえておくんだ	冬	非文学	冬	
3441	大書	2	下	いいものもらった	64	そして、ちょこちょこかけ回り、草のみをあつめました	草のみ	非文学	秋	
3442	大書	2	下	いいものもらった	65	つぎに出会ったのはきつねでした	きつね	非文学	冬	
3443	大書	2	下	いいものもらった	65	きつねは、かまをつかって、すすきをかりとっているところでした	きつね	非文学	冬	
3444	大書	2	下	いいものもらった	65	きつねは、かまをつかって、すすきをかりとっているところでした	すすき	非文学	秋	
3445	大書	2	下	いいものもらった	65	「冬でもぬくぬく休めるようにね」	冬	非文学	冬	
3446	大書	2	下	いいものもらった	65	そして、すすきをたばねてひなたへはこびました	すすき	非文学	秋	
3447	大書	2	下	いいものもらった	65	きつねは、よろこんで帰っていきました	きつね	非文学	冬	
3448	大書	2	下	いいものもらった	66	それから、くまに会いました	くま	非文学	冬	
3449	大書	2	下	いいものもらった	66	くまは、大きな木を切りたおして、たきぎを作っているところでした	くま	非文学	冬	
3450	大書	2	下	いいものもらった	67	くまは、よろこんで帰っていきました	くま	非文学	冬	
3451	大書	2	下	いいものもらった	67	そのかわり、地面のあちこちから、きのこがにょきにょき顔を出していました	きのこ	非文学	秋	
3452	大書	2	下	いいものもらった	68	タンゴは、ふろしきを広げると、かたっぱしからきのこをとりました	きのこ	非文学	秋	
3453	大書	2	下	いいものもらった	68	そのうちに、せなかのきのこがずんずんおもたくなってきました	きのこ	非文学	秋	
3454	大書	2	下	いいものもらった	69	そのばんのしょくじは、きのこじるでした	きのこ	非文学	秋	
3455	大書	2	下	いいものもらった	71	「ずいぶん長生きをしたが、こんなにおいしいきのこじるははじめてだよ」	きのこ	非文学	秋	
3456	大書	2	下	いいものもらった	72	帰り道、しぐれがぱらぱらふりかかしました	しぐれ	非文学	冬	
3457	大書	2	下	ぴかぴかのウーフ	82	「竹うまにのっている」	竹うま	文学	冬	
3458	大書	2	下	ぴかぴかのウーフ	83	そこで、竹うまをみんなでりょうがわにもって、汽車になって、「ちびっこたち、さあ、のって。」	竹うま	文学	冬	

3459	大書	2	下	わにのおじいさんのたからもの	85	へびもかえるも、土の中にもぐりました	へび	文学	夏	
3460	大書	2	下	わにのおじいさんのたからもの	85	へびもかえるも、土の中にもぐりました	かえる	文学	春	
3461	大書	2	下	わにのおじいさんのたからもの	90	とんとむかしのそのまたむかし、ももたろうがおにからたからものをそっくりもっていってしまってからというものは、おには、たからものとはぜんぜんえんがないのです	もも	文学	秋	
3462	大書	2	下	わにのおじいさんのたからもの	93	口で言えないほどうつくしい夕やけが、いっぱいに広がっていたのです	夕やけ	文学	夏	
3463	大書	2	下	かきうつそう	94	みつばちぶんぶん	みつばち	その他	春	
3464	大書	2	下	かきうつそう	94	花ばたけ	花（梅・桜）	その他	春	
3465	大書	2	下	かきうつそう	94	日なたにとかげ	とかげ	その他	夏	
3466	大書	2	下	かきうつそう	94	へびはひるね	へび	その他	夏	
3467	大書	2	下	かきうつそう	94	へびはひるね	ひるね	その他	夏	
3468	大書	2	下	かきうつそう	94	ばったがとんで	ばった	その他	秋	
3469	大書	2	下	かきうつそう	94	きつねもたぬきも	きつね	その他	冬	
3470	大書	2	下	かきうつそう	94	きつねもたぬきも	たぬき	その他	冬	
3471	大書	2	下	わにのおじいさんのたからもの	94	ここは、せかいじゅうでいちばんすてきな夕やけが見られる場所なんだ―と思いました	夕やけ	文学	夏	
3472	大書	2	下	かさこじぞう	2	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというのに、もちこのよういもできんのう」	もち	文学	新年	
3473	大書	2	下	かさこじぞう	3	かさが五つできると、じいさまはそれをしょって、「かえりには、もちこ買ってくるで」	もち	文学	新年	
3474	大書	2	下	かさこじぞう	3	「じいさま、かさここさえて、町さ売りに行ったら、もちこかえんかのう」	もち	文学	新年	
3475	大書	2	下	かさこじぞう	5	「ああ、もちこももたんでかえれば、ばあさまはがっかりするじゃろうのう」	もち	文学	新年	
3476	大書	2	下	かさこじぞう	8	米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました	もち	文学	新年	
3477	大書	2	下	かさこじぞう	8	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ」	もち	文学	新年	

3478	大書	2	下	かさこじぞう	9	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました	もち	文学	新年	
3479	大書	2	下	かさこじぞう	10	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました	もち	文学	新年	
3480	大書	2	下	かさこじぞう	8	「そんならひとつ、もちつきのまねごとでもしようかのう」	もちつき	文学	冬	
3481	大書	2	下	かさこじぞう	5	おどうはなし、木のかげもなし、ふきっさらしの野っぱらもなんで、じぞうさまは、かたがわだけ雪にうもれているのでした	雪	文学	冬	
3482	大書	2	下	かさこじぞう	6	じいさまは、じぞうさまのおつむの雪をかけおとしました	雪	文学	冬	
3483	大書	2	下	かさこじぞう	7	じいさまは、とちゅうまで来ると、じぞうさまが雪にうもれていた話をして、「それで、おら、かさこをかぶせてきた」	雪	文学	冬	
3484	大書	2	下	かさこじぞう	8	「じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん」	雪	文学	冬	
3485	大書	2	下	かさこじぞう	9	すると、ま夜中ごろ、雪の中を、じょいやさじょいやさと、そりをひくかけ声がしてきました	雪	文学	冬	
3486	大書	3	上	つり橋わたれ	21	ただ、遠くの方で、かっこうの鳴くのが聞こえました	かっこう	文学	夏	
3487	大書	3	上	つり橋わたれ	21	花をつんだり、ちょうちょうを追いかけたり小鳥のすをのぞいたり	小鳥	文学	秋	
3488	大書	3	上	つり橋わたれ	22	それがだんだん大きくなってきたかと思うと、とつぜん、どっと風がふいて、木の葉をトッコにふきつけました	木の葉	文学	冬	
3489	大書	3	上	つり橋わたれ	21	花をつんだり、ちょうちょうを追いかけたり小鳥のすをのぞいたり	ちょうちょう	文学	春	
3490	大書	3	上	つり橋わたれ	21	花をつんだり、ちょうちょうを追いかけたり小鳥のすをのぞいたり	花	文学	春	
3491	大書	3	上	ふしぎ	2	わたしはふしぎでたまらない、青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが	くわ	文学	春	

3492	大書	3	上	ふしぎ	2	わたしはふしぎでたまらない、青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが	かいこ	文学	春	
3493	大書	3	上	ふしぎ	3	私はふしぎでたまらない、たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでぱらりと開くのが	夕顔	文学	夏	
3494	大書	3	上	里の春、山の春	4	さくらがさき、小鳥は鳴いておりました	さくら	文学	春	
3495	大書	3	上	里の春、山の春	4	さくらがさき、小鳥は鳴いておりました	小鳥	文学	秋	
3496	大書	3	上	里の春、山の春	4	山のいただきには、雪も白くのこっていました	雪	文学	冬	
3497	大書	3	上	里の春、山の春	4	里の春、山の春	春	文学	春	
3498	大書	3	上	里の春、山の春	4	野原にはもう春が来ていました	春	文学	春	
3499	大書	3	上	里の春、山の春	4	けれども、山にはまだ春はきていませんでした	春	文学	春	
3500	大書	3	上	里の春、山の春	5	里の春、山の春	春	文学	春	
3501	大書	3	上	里の春、山の春	5	野原にはもう春が来ていました	春	文学	春	
3502	大書	3	上	里の春、山の春	5	さくらがさき、小鳥は鳴いておりました	さくら	文学	春	
3503	大書	3	上	里の春、山の春	5	さくらがさき、小鳥は鳴いておりました	小鳥	文学	秋	
3504	大書	3	上	里の春、山の春	5	けれども、山にはまだ春はきていませんでした	春	文学	春	
3505	大書	3	上	里の春、山の春	5	山のいただきには、雪も白くのこっていました	雪	文学	冬	
3506	大書	3	上	里の春、山の春	5	山のおくには、親子のシカがすんでいました	シカ	文学	秋	
3507	大書	3	上	里の春、山の春	5	ぼうやのシカは、生まれてまだ一年にならないので、春とはどんなものか知りませんでした	シカ	文学	秋	
3508	大書	3	上	里の春、山の春	5	「おとうちゃん、春ってどんなもの。」	春	文学	春	
3509	大書	3	上	里の春、山の春	5	「春には花がさくのさ。」	春	文学	春	
3510	大書	3	上	里の春、山の春	5	「春には花がさくのさ。」	花	文学	春	
3511	大書	3	上	里の春、山の春	5	「おかあちゃん、花ってどんなもの。」	花	文学	春	
3512	大書	3	上	里の春、山の春	5	「花ってね、きれいなものよ。」	花	文学	春	
3513	大書	3	上	里の春、山の春	5	けれど、ぼうやのシカは、花を見たこともないので、花とはどんなものだか、春とはどんなものだか、よくわかりませんでした	シカ	文学	秋	
3514	大書	3	上	里の春、山の春	5	けれど、ぼうやのシカは、花を見たこともないので、花とはどんなものだか、春とはどんなものだか、よくわか	花	文学	春	

						りませんでした				
3515	大書	3	上	里の春、山の春	5	けれど、ぼうやのシカは、花を見たこともないので、花とはどんなものだか、春とはどんなものだか、よくわかりませんでした	春	文学	春	
3516	大書	3	上	里の春、山の春	5	ある日、ぼうやのシカはひとりで山の中を遊んで歩きまわりました	シカ	文学	秋	
3517	大書	3	上	里の春、山の春	6	ぼうやのシカは、ぴんと耳を立てて聞いていました	シカ	文学	秋	
3518	大書	3	上	里の春、山の春	6	野原にはさくらの花がさいていてよいかおりがしました	さくらの花	文学	春	
3519	大書	3	上	里の春、山の春	6	一本のさくらの木の根方に、やさしいおじいさんがいました	さくら	文学	春	
3520	大書	3	上	里の春、山の春	6	子ジカを見るとおじいさんは、さくらをひとえだおって、その小さい角にむすびつけてやりました	子ジカ	文学	夏	
3521	大書	3	上	里の春、山の春	6	子ジカを見るとおじいさんは、さくらをひとえだおって、その小さい角にむすびつけてやりました	さくら	文学	春	
3522	大書	3	上	里の春、山の春	6	子ジカはよろこんで山にかえりました	子ジカ	文学	夏	
3523	大書	3	上	里の春、山の春	6	ぼうやのシカから話を聞くと、お父さんジカとお母さんジカは口をそろえて、「ボーンという音はお寺のかねだよ。」	シカ	文学	秋	
3524	大書	3	上	里の春、山の春	6	「おまえの角についているのが花だよ。」	花	文学	春	
3525	大書	3	上	里の春、山の春	6	「その花がいっぱいさいていて、きもちのよいにおいのしていたところが春だったのさ。」	花	文学	春	
3526	大書	3	上	里の春、山の春	6	「その花がいっぱいさいていて、きもちのよいにおいのしていたところが春だったのさ。」	春	文学	春	
3527	大書	3	上	里の春、山の春	6	それからしばらくすると、山のおくへも春がやってきて、いろんな花はさき始めました	春	文学	春	
3528	大書	3	上	里の春、山の春	6	それからしばらくすると、山のおくへも春がやってきて、いろんな花はさき始めました	花	文学	春	
3529	大書	3	上	絵や写真から題を考えよう	9	店を出ると、目の前にきれいなにじの橋がかかっていま	にじ	非文学	夏	

						した。				
3530	大書	3	上	絵や写真から題を考えよう	9	とても大きなにじでした。	にじ	非文学	夏	
3531	大書	3	上	絵や写真から題を考えよう	9	わたしは、にじの町にいるような気もちになりました。	にじ	非文学	夏	
3532	大書	3	上	つり橋わたれ	18	ふじづるでできた橋の下には、谷川がゴーゴーとしぶきを上げてながれています。	ふじ	文学	春	
3533	大書	3	上	つり橋わたれ	19	おまけに、今にもふじづるが切れそうなほど、ギュッ、ギュッと、きしむのです。	ふじ	文学	春	
3534	大書	3	上	つり橋わたれ	25	しらかばのこずえが、さやさや鳴り、ほおの木の広い葉を通してくれる日の光が、トッコの顔を緑色にそめました。	ほお	文学	夏	
3535	大書	3	上	つり橋わたれ	21	かさなり合った緑の山に向かって、…よびました。	緑	文学	夏	
3536	大書	3	上	つり橋わたれ	25	そばの山つつじの後ろから、サブがひょっこり顔を出しました。	山つつじ	文学	春	
3537	大書	3	上	あらしの夜に	30	そう、そのつえをついてやってきた黒いかげは、ヤギではなく、オオカミだったのだ	オオカミ	文学	冬	
3538	大書	3	上	あらしの夜に	30	とくに、このオオカミ、するどいきばをもち、ヤギの肉が大好物ときている	オオカミ	文学	冬	
3539	大書	3	上	あらしの夜に	31	ヤギのほうは、あいてがオオカミだとは、まだ気がつかない	オオカミ	文学	冬	
3540	大書	3	上	あらしの夜に	31	どうやらオオカミのほうも、あいてがヤギだとは気づいていない	オオカミ	文学	冬	
3541	大書	3	上	あらしの夜に	31	オオカミがのばした足が、チョンとヤギのこしに当たる	オオカミ	文学	冬	
3542	大書	3	上	あらしの夜に	32	とつぜん、オオカミが大きなくしゃみをした	オオカミ	文学	冬	
3543	大書	3	上	あらしの夜に	32	オオカミのわらい声を聞いて、ヤギは思わず、『オオカミみたいなすごみのあるひくいお声で。』	オオカミ	文学	冬	
3544	大書	3	上	あらしの夜に	32	バクバク谷とは、オオカミたちのいる谷である	オオカミ	文学	冬	
3545	大書	3	上	あらしの夜に	35	けれども、ガラガラと遠くで鳴ったかみなりに、ちょうどその声はかきけされた	かみなり	文学	夏	
3546	大書	3	上	あらしの夜に	36	とつぜん、大きなかみなりの音が、小屋じゅうをふるわ	かみなり	文学	夏	

						せる				
3547	大書	3	上	あらしの夜に	39	木の葉のしずくをきらめかせ、ちょっぴりと顔を出してきた朝日にも、そんなこと、わかるはずもない	木の葉	文学	冬	
3548	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	わたしは、春・夏・秋・冬のきせつのなかでは、春がいちばんすきです	春	その他	春	
3549	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	わたしは、春・夏・秋・冬のきせつのなかでは、春がいちばんすきです	夏	その他	夏	
3550	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	わたしは、春・夏・秋・冬のきせつのなかでは、春がいちばんすきです	秋	その他	秋	
3551	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	わたしは、春・夏・秋・冬のきせつのなかでは、春がいちばんすきです	冬	その他	冬	
3552	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	なぜなら、春には、さくらやたんぽぽやすみれやチュウリップなど、きれいな花がたくさんさくのが見られるからです	春	その他	春	
3553	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	なぜなら、春には、さくらやたんぽぽやすみれやチュウリップなど、きれいな花がたくさんさくのが見られるからです	さくら	その他	春	
3554	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	なぜなら、春には、さくらやたんぽぽやすみれやチュウリップなど、きれいな花がたくさんさくのが見られるからです	たんぽぽ	その他	春	
3555	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	なぜなら、春には、さくらやたんぽぽやすみれやチュウリップなど、きれいな花がたくさんさくのが見られるからです	すみれ	その他	春	
3556	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	なぜなら、春には、さくらやたんぽぽやすみれやチュウリップなど、きれいな花がたくさんさくのが見られるからです	チュウリップ	その他	春	
3557	大書	3	上	わけをせつめいしよう	57	それに、学級がかわって新しい友達ができたり、新しい教科書やノートなどの学用品が使えたりするので、春がすきです	春	その他	春	

3558	大書	3	上	動物たちのしぐさ	62	オオカミやキツネもイヌのなかまで、しぐさが表すことは、どれもよくにています	オオカミ	非文学	冬	
3559	大書	3	上	動物たちのしぐさ	62	オオカミやキツネもイヌのなかまで、しぐさが表すことは、どれもよくにています	キツネ	非文学	冬	
3560	大書	3	上	動物たちのしぐさ	64	シカは、きけんがせまると、しっぽを上げます	シカ	非文学	秋	
3561	大書	3	上	地らいをふんだゾウ　モタラ	67	ある暑い日の午後のことです	暑い日	文学	夏	
3562	大書	3	上	地らいをふんだゾウ　モタラ	67	人間も動物も、すずしい木かげで昼ねをしています	すずしい	文学	夏	
3563	大書	3	上	地らいをふんだゾウ　モタラ	70	夜の暗い道を、月が出て、まっすぐ明るくてらし出してくれました	月	文学	秋	
3564	大書	3	上	みんなの詩	80	きり	きり	文学	秋	
3565	大書	3	上	みんなの詩	80	朝、きりがかかっていました	きり	文学	秋	
3566	大書	3	上	みんなの詩	81	へびがしんだように	へび	非文学	夏	
3567	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	101	今、電話くれたの、ほんとにコスモスさん？	コスモス	文学	秋	
3568	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	101	電話ボックスのまわりは、コスモスの花でいっぱい	コスモス	文学	秋	
3569	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	101	風がさわさわふいて、コスモスたちは、そろって首をふりました	コスモス	文学	秋	
3570	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	102	わあっ、すてきな夕やけ！	夕やけ	文学	夏	
3571	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	102	今、電話くれたの、ほんとにコスモスさん？	コスモス	文学	秋	
3572	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	102	赤とんぼが花の間をすいすいおよいで、コスモスたちは、またそろって首をふりました	赤とんぼ	文学	秋	
3573	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	102	赤とんぼが花の間をすいすいおよいで、コスモスたちは、またそろって首をふりました	コスモス	文学	秋	
3574	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	103	コスモス通りのコスモスの花も、みんなかれてしまってさびしくなりました	コスモス	文学	秋	
3575	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	104	ねぇ、きのう電話くれたの、ほんとにコスモスさん？	コスモス	文学	秋	
3576	大書	3	上	コスモスさんからお電話です	104	絵の中の電話ボックスがきらっと光って、コスモスたちはそろって首をふりました	コスモス	文学	秋	
3577	大書	3	上	母さんの歌	105	細い月の出た夜でした	月	文学	秋	
3578	大書	3	上	母さんの歌	107	暑い夏の日でしたが、くすのきのまわりには、ひいやり	夏	文学	夏	

						したかげがあったのです				
3579	大書	3	上	母さんの歌	107	日がくれると、広げたえだのしげった葉が、夜つゆの落ちるのをささえました	夜つゆ	文学	秋	
3580	大書	3	下	おにたのぼうし	93	女の子は、新しい雪でひやしたタオルを、お母さんのひたいにのせました。	雪	文学	冬	
3581	大書	3	下	おにたのぼうし	97	氷がとけたように、急におにたがいなくなりました	氷	文学	冬	
3582	大書	3	下	おにたのぼうし	91	こな雪がふっていました	こな雪	文学	冬	
3583	大書	3	下	おにたのぼうし	94	おにたは、もうむちゅうで、台所のまどのやぶれた所から、寒い外へとび出していきました。	寒い	文学	冬	
3584	大書	3	下	おにたのぼうし	92	それから、赤くなった小さな指を口に当てて、ハーッと、白い息をふきかけています。	白い息	文学	冬	
3585	大書	3	下	おにたのぼうし	94	今日は節分でしょう	節分	文学	冬	
3586	大書	3	下	おにたのぼうし	95	節分だから、ごちそうがあまったんだ	節分	文学	冬	
3587	大書	3	下	おにたのぼうし	89	節分の夜のことです	節分	文学	冬	
3588	大書	3	下	おにたのぼうし	94	大根一切れありません。	大根	文学	冬	
3589	大書	3	下	おにたのぼうし	91	おにたの小さな足が、つめたい雪の中に、ときどきすぽっと入ります	つめたい	文学	冬	
3590	大書	3	下	おにたのぼうし	90	その物おきごやの天じょうに、去年の春から、小さな黒おにの子どもが住んでいました	春	文学	春	
3591	大書	3	下	おにたのぼうし	92	「こりゃあ、豆のにおいがしないぞ。しめた。ひいらぎもかざっていない。」	ひいらぎ	文学	冬	
3592	大書	3	下	おにたのぼうし	91	ひいらぎは、おにの目をさすからです。	ひいらぎ	文学	冬	
3593	大書	3	下	おにたのぼうし	91	でも、今夜は、どのうちも、ひいらぎの葉をかざっているので、入ることができません。	ひいらぎの葉	文学	冬	
3594	大書	3	下	書きうつそう	0	雪	雪	その他	冬	
3595	大書	3	下	書きうつそう	0	雪やこんこんあられやこんこん	雪	その他	冬	
3596	大書	3	下	書きうつそう	0	雪やこんこんあられやこんこん	あられ	その他	冬	
3597	大書	3	下	書きうつそう	0	山も野原もわたぼうしかぶり	わたぼうし	その他	冬	
3598	大書	3	下	書きうつそう	0	かれ木のこらず花がさく	かれ木	その他	冬	

3599	大書	3	下	書きうつそう	0	かれ木のこらず花がさく	花（梅・桜）	その他	春	
3600	大書	3	下	書きうつそう	0	「雪」という歌は、むかしから小学校で歌われてきました	雪	その他	冬	
3601	大書	3	下	書きうつそう	0	雪やこんこんあられやこんこん	雪	その他	冬	
3602	大書	3	下	書きうつそう	0	ねこはこたつで丸くなる	こたつ	その他	冬	
3603	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	2	きつねをつれて村祭り	きつね	文学	冬	
3604	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	2	きつねをつれて村祭り	祭り	文学	夏	
3605	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	2	今日は山の向こうの村でお祭りです	祭り	文学	夏	
3606	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	2	（ほっ、きつねの子どもじゃ。）	きつね	文学	冬	
3607	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	2	やぶのかげで、一ぴきのきつねが、くるんとちゅう返りをしています	きつね	文学	冬	
3608	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	3	だって、体や手や足は人間の子どもなのに、顔だけきつねの男の子が、「どうだい！」というように、立っていたからです	きつね	文学	冬	
3609	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	4	ごんじいは、車につんだ箱の中から、きつねのお面を取り出しました	きつね	文学	冬	
3610	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	5	あせが、ぷつぷつ出てきました	あせ	文学	夏	
3611	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	5	こうたは、顔のあせをぬぐおうとして、お面を取ってしまいました	あせ	文学	夏	
3612	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	6	あせなんか、ひとりでふけるよう	あせ	文学	夏	
3613	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	6	そして、風車やお面を買っていきました	風車	文学	春	
3614	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	7	「さ、さあ、向こうへ行って、おかぐらでも見ながらいただこうな。」	かぐら	文学	冬	
3615	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	7	わあい、おかぐら、おかぐら。	かぐら	文学	冬	
3616	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	おじさんたちは、お面を取って、顔のあせをふきました	あせ	文学	夏	
3617	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	「ぼくも、あせかいた。」	あせ	文学	夏	
3618	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	「ひえっ、お面を取っても、まだきつね？」	きつね	文学	冬	
3619	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	「ほ、本当のきつねだあ！」	きつね	文学	冬	
3620	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	ぼく、顔だけきつねのままだったの	きつね	文学	冬	

3621	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	9	こうたは、ひと声さけぶと、しっぽの先からきつねにもどって、いちもくさんににげだしました	きつね	文学	冬	
3622	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	10	お祭りが終わって、お店をしまって、ごんじいはとうげの道を帰ります	祭り	文学	夏	
3623	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	10	「そうか、きつねとわかってしまったら、人間のおじいとは遊べないが……。」	きつね	文学	冬	
3624	大書	3	下	きつねをつれて村祭り	10	ごんじいは、少し悲しそうな顔をすると、売れのこりのお面や風車やたいこを取り出して、切りかぶの上におきました	風車	文学	春	
3625	大書	3	下	広がる読書	13	「きつねをつれて村祭り」には、人間の子どもに化けるきつねが出てきました	きつね	その他	冬	
3626	大書	3	下	広がる読書	13	「きつねをつれて村祭り」には、人間の子どもに化けるきつねが出てきました	祭り	その他	夏	
3627	大書	3	下	広がる読書	13	きつねは、わたしたち人間にとって身近な動物	きつね	その他	冬	
3628	大書	3	下	広がる読書	13	千年ぎつねの秋冬コレクション	きつね	その他	冬	
3629	大書	3	下	広がる読書	13	千年ぎつねの秋冬コレクション	秋	その他	秋	
3630	大書	3	下	広がる読書	13	千年ぎつねの秋冬コレクション	冬	その他	冬	
3631	大書	3	下	広がる読書	13	化けるのが上手な「千年ぎつね」が大活やくします。	きつね	その他	冬	
3632	大書	3	下	広がる読書	13	『きつねのホイティ』は、人間の服を着て旅人にへんそうしたきつねが、村のおかみさんたちと、ちえくらべをする話です	きつね	その他	冬	
3633	大書	3	下	広がる読書	13	『きつねのスケート』のきつねは、手ぶくろにするためにつかまえた野ねずみと、『ともだちや』のきつねは、強そうなオオカミと、それぞれ友だちになります	きつね	その他	冬	
3634	大書	3	下	広がる読書	13	『きつねのスケート』のきつねは、手ぶくろにするためにつかまえた野ねずみと、『ともだちや』のきつねは、強そうなオオカミと、それぞれ友だちになります	手ぶくろ	その他	冬	
3635	大書	3	下	広がる読書	13	『きつねのスケート』のきつねは、手ぶくろにするためにつかまえた野ねずみと、『ともだちや』のきつねは、	オオカミ	その他	冬	

						強そうなオオカミと、それぞれ友だちになります				
3636	大書	3	下	広がる読書	13	『小さな山神スズナ姫』のきつねたちは、スズナ姫といっしょに木の葉ぞめに挑戦します	きつね	その他	冬	
3637	大書	3	下	広がる読書	13	『きつねのハナジロ』や『森からのてがみ３』では、自然の中で生きるきつねの様子を知ることができます	きつね	その他	冬	
3638	大書	3	下	広がる読書	13	あなたはどのきつねがすきですか？	きつね	その他	冬	
3639	大書	3	下	自転車の活やく	23	夏休みに、お父さんと北海道三百五十一キロメートルを走った小学校五年生の女の子や、日本一週の自転車旅行をした、小学校五年生と三年生の兄弟もいます	夏休み	文学	夏	
3640	大書	3	下	みえないストロー	42	シャボンだまをふきふきおもう	シャボンだま	文学	春	
3641	大書	3	下	みえないストロー	42	そういえばりんごもぶどうもなしもわたしのすきなたべものはみんなまる	りんご	文学	秋	
3642	大書	3	下	みえないストロー	42	そういえばりんごもぶどうもなしもわたしのすきなたべものはみんなまる	ぶどう	文学	秋	
3643	大書	3	下	みえないストロー	42	そういえばりんごもぶどうもなしもわたしのすきなたべものはみんなまる	なし	文学	秋	
3644	大書	3	下	みえないストロー	43	わたしがシャボンだまをふくらますようにだれかがみえないストローでくだものをふくらませているのではないかしら	シャボンだま	文学	春	
3645	大書	3	下	みえないストロー	43	りんごのきのしたで	りんご	文学	秋	
3646	大書	3	下	みえないストロー	43	ぶどうのきのしたで	ぶどう	文学	秋	
3647	大書	3	下	やまんばのにしき	65	夏のよく晴れた日でも、てっぺんに雲がかかって、晴れるということがない	夏	文学	夏	
3648	大書	3	下	やまんばのにしき	65	ある年の秋のことだ	秋	文学	秋	
3649	大書	3	下	やまんばのにしき	65	月のいいばんで、ふもとの村では、村じゅうの者が月見をしていたと	月	文学	秋	
3650	大書	3	下	やまんばのにしき	65	月のいいばんで、ふもとの村では、村じゅうの者が月見をしていたと	月見	文学	秋	
3651	大書	3	下	やまんばのにしき	65	すると、空がにわかにくもってきて、風はふきだす、雨	ひょう	文学	夏	

						はふりだす、しまいには、ひょうまでが音をたててふってきた				
3652	大書	3	下	やまんばのにしき	66	ちょうふくやまのやまんばが子どもうんだで、もちついてこう	もち	文学	新年	
3653	大書	3	下	やまんばのにしき	66	もちついてこねば、人も馬もみな食いころすと言っていたな	もち	文学	新年	
3654	大書	3	下	やまんばのにしき	66	なんとしてももちを持っていかねばならん	もち	文学	新年	
3655	大書	3	下	やまんばのにしき	66	そこで村じゅうが、一けんいくらと米を出して、もちをつくことになった	もち	文学	新年	
3656	大書	3	下	やまんばのにしき	69	話が決まったので、ねぎそべとただはちはもちをかつぎ、あかざばんばが先に立って、いよいよちょうふくやまへ登ることになった	もち	文学	新年	
3657	大書	3	下	やまんばのにしき	70	ようやくほっとして後ろをふり返ってみると、ただはちもねぎそべも、すがたは見えず、もちを入れたおけが二つ、じゃんと重ねておいてあった	もち	文学	新年	
3658	大書	3	下	やまんばのにしき	71	「ごめんくだされ、ふもとの村からもち持ってきたす。」	もち	文学	新年	
3659	大書	3	下	やまんばのにしき	71	もちが食いたくなったもので、この子を使いに出したが、村の人たちにめいわくかけなかったかと、あんじていたところだ	もち	文学	新年	
3660	大書	3	下	やまんばのにしき	71	して、もちはどうした	もち	文学	新年	
3661	大書	3	下	やまんばのにしき	71	「へえ、そのもちだが、あんまり重たくて、山のとちゅうにおいてきた。」	もち	文学	新年	
3662	大書	3	下	やまんばのにしき	72	立ち上がったと思うと、とび出していったが、その速いこと、じきもちの入れ物をかついで持ってきた	もち	文学	新年	
3663	大書	3	下	やまんばのにしき	72	くまのすましじるこさえて、そこへもち入れるだ	くま	文学	冬	
3664	大書	3	下	やまんばのにしき	72	がらはまた出ていったが、すぐくまをぶら下げて帰ってきたと	くま	文学	冬	
3665	大書	3	下	やまんばのにしき	72	そこで、いろりの火をどんどともやして、でっかいなべにくまのすましじるこさえ、もち入れて、はらいっぱい	いろり	文学	冬	

						食った				
3666	大書	3	下	やまんばのにしき	72	そこで、いろりの火をどんどともやして、でっかいなべにくまのすましじるこさえ、もち入れて、はらいっぱい食った	くま	文学	冬	
3667	大書	3	下	やまんばのにしき	72	そこで、いろりの火をどんどともやして、でっかいなべにくまのすましじるこさえ、もち入れて、はらいっぱい食った	もち	文学	新年	
3668	大書	3	下	やまんばのにしき	76	そして、それからというもの、村の人たちはかぜもひかず、楽にくらしたということだ	かぜ	文学	冬	
3669	大書	3	下	おにたのぼうし	96	「あたしも豆まき、したいなあ。」	豆まき	文学	冬	
3670	大書	3	下	おにたのぼうし	98	とてもしずかな豆まきでした	豆まき	文学	冬	
3671	大書	3	下	おにたのぼうし	89	まこと君が元気に豆まきを始めました	豆まき	文学	冬	
3672	大書	3	下	おにたのぼうし	90	豆まきの音を聞きながら、おにたは思いました	豆まき	文学	冬	
3673	大書	3	下	おにたのぼうし	98	麦わらぼうしから黒い豆をまきながら、女の子は、「さっきの子は、きっと神様だわ。	豆まき	文学	夏	
3674	大書	3	下	おにたのぼうし	96	もう、みんな豆まきすんだかなと思ったの	豆まき	文学	冬	
3675	大書	3	下	おにたのぼうし	97	あとには、あの麦わらぼうしだけが、ぽつんとのこっています	麦わらぼうし	文学	夏	
3676	大書	3	下	わにのおじいさんのたからもの	94	おにの子は、いつまでも夕やけを見ていました	夕やけ	文学	夏	
3677	大書	3	下	おにたのぼうし	95	女の子が出ていくと、雪まみれの麦わらぼうしを深くかぶった男の子が立っていました	麦わらぼうし	文学	夏	
3678	大書	3	下	おにたのぼうし	91	そして、古い麦わらぼうしをかぶりました	麦わらぼうし	文学	夏	
3679	大書	3	下	おにたのぼうし	98	麦わらぼうしから黒い豆をまきながら、女の子は、「さっきの子は、きっと神様だわ。	麦わらぼうし	文学	夏	
3680	大書	3	下	おにたのぼうし	91	おにたの小さな足が、つめたい雪の中に、ときどきすぽっと入ります	雪	文学	冬	
3681	大書	3	下	おにたのぼうし	95	女の子が出ていくと、雪まみれの麦わらぼうしを深くかぶった男の子が立っていました	雪	文学	冬	
3682	大書	3	下	おにたのぼうし	92	その子は、でこぼこしたせんめんきの中に、雪をすくっ	雪	文学	冬	

						て入れました。				
3683	大書	4	上	白いぼうし	30	今日は、六月の始め。	六月	文学	夏	
3684	大書	4	上	白いぼうし	30	夏がいきなり始まったような暑い日です	暑い日	文学	夏	
3685	大書	4	上	白いぼうし	36	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています	クローバー	文学	春	
3686	大書	4	上	白いぼうし	37	それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。	シャボン玉	文学	春	
3687	大書	4	上	白いぼうし	30	松井さんもお客さんも、白いワイシャツのそでを、うでもでたくしあげていました。	白いワイシャツ	文学	夏	
3688	大書	4	上	白いぼうし	36	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています	たんぽぽ	文学	春	
3689	大書	4	上	白いぼうし	36	白いちょうが、二十も三十も、いえ、もっとたくさん飛んでいました	ちょう	文学	春	
3690	大書	4	上	白いぼうし	37	その上を、おどるように飛んでいるちょうを、ぼんやり見ているうち、松井さんにはこんな声が聞こえてきました	ちょう	文学	春	
3691	大書	4	上	白いぼうし	32	そんな松井さんの目の前を、ちょうはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなってしまいました	ちょう	文学	春	
3692	大書	4	上	春のうた	2	春のうた	春	文学	春	
3693	大書	4	上	春のうた	3	ほっいぬのふぐりがさいている	いぬのふぐり	文学	春	
3694	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	うら作の麦をかり取り、たまねぎやじゃがいもを取り入れるのは、晴れた日の仕事	麦	文学	夏	
3695	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	うら作の麦をかり取り、たまねぎやじゃがいもを取り入れるのは、晴れた日の仕事	たまねぎ	文学	夏	
3696	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	うら作の麦をかり取り、たまねぎやじゃがいもを取り入れるのは、晴れた日の仕事	じゃがいも	文学	秋	
3697	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	田んぼに水をはって土をこね、さなえを植えつけるのは、雨がやってきてからの仕事	さなえ	文学	夏	

3698	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	田植えでいそがしいのは、人だけではありません	田植え	文学	夏	
3699	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	たがやす牛たちも、きつい仕事のためにやせこけて、うきだしたあばらぼねがいたいたしいほどです	たがやす	文学	夏	
3700	大書	4	上	雨の夜のるすばん	18	それでも、田植えに出かけたはずの父さんも母さんも帰ってきません	田植え	文学	夏	
3701	大書	4	上	雨の夜のるすばん	23	たなににしんのひものが四、五本のっているのを知っていました	にしん	文学	春	
3702	大書	4	上	雨の夜のるすばん	23	取り入れたばかりのじゃがいもとたまねぎを、にしんといっしょに、につける	じゃがいも	文学	秋	
3703	大書	4	上	雨の夜のるすばん	23	取り入れたばかりのじゃがいもとたまねぎを、にしんといっしょに、につける	たまねぎ	文学	夏	
3704	大書	4	上	雨の夜のるすばん	23	取り入れたばかりのじゃがいもとたまねぎを、にしんといっしょに、につける	にしん	文学	春	
3705	大書	4	上	雨の夜のるすばん	27	でも、よほどのことがないかぎり、田植えはとちゅうでやめるわけにはいきません	田植え	文学	夏	
3706	大書	4	上	白いぼうし	36	なにしろ、ちょうが化けたんだから	ちょう	文学	春	
3707	大書	4	上	白いぼうし	35	本当のちょうちょが、いたんだもん	ちょう	文学	春	
3708	大書	4	上	白いぼうし	30	夏がいきなり始まったような暑い日です	夏	文学	夏	
3709	大書	4	上	白いぼうし	30	「いいえ、夏みかんですよ。」	夏みかん	文学	夏	
3710	大書	4	上	白いぼうし	30	「ほう、夏みかんてのは、こんなににおうものですか。」	夏みかん	文学	夏	
3711	大書	4	上	白いぼうし	33	運転席から取り出したのは、あの夏みかんです	夏みかん	文学	夏	
3712	大書	4	上	白いぼうし	37	車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいが残っています	夏みかん	文学	夏	
3713	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	夜に鳴くセミ	セミ	文学	夏	
3714	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	夏といえば、セミの鳴き声が思いうかぶほど、セミは、わたしたちの生活になじみ深いものです	夏	文学	夏	
3715	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	夏といえば、セミの鳴き声が思いうかぶほど、セミは、わたしたちの生活になじみ深いものです	セミ	文学	夏	
3716	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	みなさんのなかでも、夏にセミとりをしたことがあるひ	夏	文学	夏	

						とは多いことでしょう				
3717	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	みなさんのなかでも、夏にセミとりをしたことがあるひとは多いことでしょう	セミ	文学	夏	
3718	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	今、日本には、およそ三十二種類ものセミがいることが、たしかめられています	セミ	文学	夏	
3719	大書	4	上	夜に鳴くセミ	58	そのうち、東京の都心部では、六種類ほどのセミを見ることができます	セミ	文学	夏	
3720	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	クマゼミ	文学	夏	
3721	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	ミンミンゼミ	文学	夏	
3722	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	アブラゼミ	文学	夏	
3723	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	ヒグラシ	文学	秋	
3724	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	ツクツクボウシ	文学	夏	
3725	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	体の大きい順に、クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、そして、ニイニイゼミです	ニイニイゼミ	文学	夏	
3726	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	わたしたちの受ける感じでは、かつては、いちばん数が多いのがアブラゼミ、二位はツクツクボウシ、三位はニイニイゼミ、そして四位がミンミンゼミでした。	アブラゼミ	文学	夏	
3727	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	わたしたちの受ける感じでは、かつては、いちばん数が多いのがアブラゼミ、二位はツクツクボウシ、三位はニイニイゼミ、そして四位がミンミンゼミでした。	ツクツクボウシ	文学	夏	
3728	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	わたしたちの受ける感じでは、かつては、いちばん数が多いのがアブラゼミ、二位はツクツクボウシ、三位はニイニイゼミ、そして四位がミンミンゼミでした。	ニイニイゼミ	文学	夏	
3729	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	わたしたちの受ける感じでは、かつては、いちばん数が	ミンミンゼミ	文学	夏	

						多いのがアブラゼミ、二位はツクツクボウシ、三位はニイニイゼミ、そして四位がミンミンゼミでした。				
3730	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	それが近年、ニイニイゼミがめっきり少なくなってきています	ニイニイゼミ	文学	夏	
3731	大書	4	上	夜に鳴くセミ	59	一方、ミンミンゼミの「みーんみーんみーん」という鳴き声がずいぶん目立つようになってきました	ミンミンゼミ	文学	夏	
3732	大書	4	上	夜に鳴くセミ	60	それによって、土がかわきがちになってきたことが、ニイニイゼミとミンミンゼミの数の変化の原いんなのです	ニイニイゼミ	文学	夏	
3733	大書	4	上	夜に鳴くセミ	60	それによって、土がかわきがちになってきたことが、ニイニイゼミとミンミンゼミの数の変化の原いんなのです	ミンミンゼミ	文学	夏	
3734	大書	4	上	夜に鳴くセミ	60	ミンミンゼミは、少しかわいた土を好みます	ミンミンゼミ	文学	夏	
3735	大書	4	上	夜に鳴くセミ	60	動作がすばやく、木の高いところで鳴くので、発見するのがむずかしいセミでしたが、最近では、子どもたちの首からぶら下がる虫かごにもまじるようになりました	セミ	文学	夏	
3736	大書	4	上	夜に鳴くセミ	60	ミンミンゼミは、土がかわいてきたことによってふえてきたのです	ミンミンゼミ	文学	夏	
3737	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	一方、ニイニイゼミは、しっ気のある土を好みます	ニイニイゼミ	文学	夏	
3738	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	ニイニイゼミのぬけがらに、たくさんの土がこびりついているのは、そのためでもあります	ニイニイゼミ	文学	夏	
3739	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	ニイニイゼミは、土がかわいてきたために、すみにくくなってしまったのです	ニイニイゼミ	文学	夏	
3740	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	そして近年、東京のセミたちには、もう一つの変化が起こっています	セミ	文学	夏	
3741	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	「夜に鳴くセミ」があらわれたことです	セミ	文学	夏	
3742	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	セミは、もともとは日中に鳴きます	セミ	文学	夏	
3743	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	種類によって、鳴く時間にちがいはありますが、夜中に鳴く種類のセミはいません	セミ	文学	夏	

3744	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	それが、今や、深夜にセミの大合唱が聞こえることもめずらしくありません	セミ	文学	夏	
3745	大書	4	上	夜に鳴くセミ	61	セミがうるさくてねられないという苦じょうが役所に持ちこまれることもあるそうです	セミ	文学	夏	
3746	大書	4	上	夜に鳴くセミ	62	セミの変化の場合は、鳴き声として耳ではっきりと知ることができるだけに、人間の生活が自然におよぼすえいきょうを、強く思い知らされるのではないでしょうか	セミ	文学	夏	
3747	大書	4	上	夜に鳴くセミ	62	そして、今、夏の風物詩を代表するセミにも、大きな変化が起きているのです	夏	文学	夏	
3748	大書	4	上	夜に鳴くセミ	62	そして、今、夏の風物詩を代表するセミにも、大きな変化が起きているのです	セミ	文学	夏	
3749	大書	4	上	草の実	72	秋草のなかをかけてきたから	秋草	文学	秋	
3750	大書	4	上	草の実	72	ブドウ棚の下の	ブドウ	文学	秋	
3751	大書	4	上	草の実	72	バラの木のとなりに	バラ	文学	夏	
3752	大書	4	上	みんなの詩	74	コマ	コマ	文学	新年	
3753	大書	4	上	みんなの詩	74	コマを回すと、なぜか「もっと回れもっと回れ。」	コマ	文学	新年	
3754	大書	4	上	白いぼうし	33	松井さんは、その夏みかんに、白いぼうしをかぶせると、飛ばないように、石でつばをおさえました	夏みかん	文学	夏	
3755	大書	4	上	白いぼうし	36	ええ、あの、あのね、菜の花横町ってあるかしら。	菜の花	文学	春	
3756	大書	4	上	白いぼうし	36	菜の花橋のことですね、	菜の花	文学	春	
3757	大書	4	上	白いぼうし	36	まほうのみかんと思うかな	みかん	文学	冬	
3758	大書	4	上	白いぼうし	36	お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうっと開けたとき―。	虫とりあみ	文学	夏	
3759	大書	4	上	白いぼうし	32	もんしろちょうです	もんしろちょう	文学	春	
3760	大書	4	上	白いぼうし	31	緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちょこんと置いてあります	やなぎ	文学	春	
3761	大書	4	上	白いぼうし	35	やなぎのなみ木が、みるみる後ろに流れていきます	やなぎ	文学	春	
3762	大書	4	上	白いぼうし	30	これは、レモンのにおいですか。	レモン	文学	秋	
3763	大書	4	下	書き写そう	0	みみずだっておけらだってあめんぼだって	みみず	その他	夏	

3764	大書	4	下	書き写そう	0	みみずだっておけらだってあめんぼだって	あめんぼ	その他	夏	
3765	大書	4	下	カレーの旅	2	キャンプに行ったときなど、カレーを作ったことはありませんか	キャンプ	文学	夏	
3766	大書	4	下	カレーの旅	2	牛肉やぶた肉、それにじゃがいもやにんじん、たまねぎなどをにこんで、そこに、茶色や黄色のかたまりのカレールーを入れると、とろりとしたおいしいカレーが、かん単にできあがります	じゃがいも	文学	秋	
3767	大書	4	下	カレーの旅	2	牛肉やぶた肉、それにじゃがいもやにんじん、たまねぎなどをにこんで、そこに、茶色や黄色のかたまりのカレールーを入れると、とろりとしたおいしいカレーが、かん単にできあがります	にんじん	文学	冬	
3768	大書	4	下	カレーの旅	2	牛肉やぶた肉、それにじゃがいもやにんじん、たまねぎなどをにこんで、そこに、茶色や黄色のかたまりのカレールーを入れると、とろりとしたおいしいカレーが、かん単にできあがります	たまねぎ	文学	夏	
3769	大書	4	下	カレーの旅	3	こしょうやとうがらし、にんにくなどがその仲間です	とうがらし	文学	秋	
3770	大書	4	下	カレーの旅	3	こしょうやとうがらし、にんにくなどがその仲間です	にんにく	文学	春	
3771	大書	4	下	カレーの旅	3	そして、この粉で、ごはんやじゃがいもやチキンなどのいろいろなものに味をつけて食べるのです	じゃがいも	文学	秋	
3772	大書	4	下	カレーの旅	7	ただし、じゃがいもやたまねぎは、そのころの日本ではまだ広まっておらず、しろねぎを入れたりしたようです	じゃがいも	文学	秋	
3773	大書	4	下	カレーの旅	7	ただし、じゃがいもやたまねぎは、そのころの日本ではまだ広まっておらず、しろねぎを入れたりしたようです	たまねぎ	文学	夏	
3774	大書	4	下	カレーの旅	7	また、牛肉やぶた肉もあまり食べられていなかったので、魚やかき、かえるやうになどを入れてみたことが記録に残っています	かき	文学	秋	
3775	大書	4	下	カレーの旅	7	また、牛肉やぶた肉もあまり食べられていなかったので、魚やかき、かえるやうになどを入れてみたことが記録に残っています	かえる	文学	春	

3776	大書	4	下	カレーの旅	7	また、牛肉やぶた肉もあまり食べられていなかったので、魚やかき、かえるやうになどを入れてみたことが記録に残っています	うに	文学	春	
3777	大書	4	下	広がる読書	9	『ふしぎな木の実の料理法』	木の実	その他	秋	
3778	大書	4	下	ごんぎつね	18	……ひとりぼっちの子ぎつねがすんでいました。	きつね	文学	冬	
3779	大書	4	下	ごんぎつね	18	畑に入っていもをほり散らしたり、……とんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。	いも	文学	秋	
3780	大書	4	下	ごんぎつね	19	……「ごんぎつね」というきつねがいました。	きつね	文学	冬	
3781	大書	4	下	ごんぎつね	19	ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、……	きつね	文学	冬	
3782	大書	4	下	ごんぎつね	19	……ひゃくしょうの家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、……	とんがらし	文学	秋	
3783	大書	4	下	ごんぎつね	19	菜種がらのほしてあるのに火をつけて、いったり	菜種がら	文学	夏	
3784	大書	4	下	ごんぎつね	19	ある秋のことでした。	秋	文学	秋	
3785	大書	4	下	ごんぎつね	19	……もずの声がきんきんひびいていました。	もず	文学	秋	
3786	大書	4	下	ごんぎつね	19	辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。	すすき	文学	秋	
3787	大書	4	下	ごんぎつね	19	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	すすき	文学	秋	
3788	大書	4	下	ごんぎつね	20	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	はぎ	文学	秋	
3789	大書	4	下	ごんぎつね	21	……円いはぎの葉が一まい、大きなほくろみたいにへばりついていました。	はぎ	文学	秋	
3790	大書	4	下	ごんぎつね	21	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	うなぎ	文学	夏	
3791	大書	4	下	ごんぎつね	21	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	きす	文学	夏	
3792	大書	4	下	ごんぎつね	21	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	うなぎ	文学	夏	
3793	大書	4	下	ごんぎつね	21	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	きす	文学	夏	
3794	大書	4	下	ごんぎつね	21	いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、……	うなぎ	文学	夏	
3795	大書	4	下	ごんぎつね	21	……うなぎの頭を口にくわえました。	うなぎ	文学	夏	

3796	大書	4	下	ごんぎつね	22	うなぎは、キュッといって、ごんの首へまき付きました。	うなぎ	文学	夏	
3797	大書	4	下	ごんぎつね	22	うわあ、ぬすとぎつねめ。	きつね	文学	冬	
3798	大書	4	下	ごんぎつね	22	うなぎをふりすててにげようとしましたが、……	うなぎ	文学	夏	
3799	大書	4	下	ごんぎつね	22	……うなぎは、ごんの首にまき付いたままはなれません。	うなぎ	文学	夏	
3800	大書	4	下	ごんぎつね	23	ごんはほっとして、うなぎの頭をかみくだき、……	うなぎ	文学	夏	
3801	大書	4	下	ごんぎつね	23	……そこの、いちじくの木のかげで、弥助の家内が、……	いちじく	文学	秋	
3802	大書	4	下	ごんぎつね	23	秋祭りかな。	秋祭り	文学	秋	
3803	大書	4	下	ごんぎつね	23	祭りなら、たいこや笛の音がしそうなものだ。	祭り	文学	夏	
3804	大書	4	下	ごんぎつね	23	墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いていました。	ひがんばな	文学	秋	
3805	大書	4	下	ごんぎつね	24	人々が通ったあとには、ひがんばながふみおられていました。	ひがんばな	文学	秋	
3806	大書	4	下	ごんぎつね	24	いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、……	さつまいも	文学	秋	
3807	大書	4	下	ごんぎつね	25	……うなぎが食べたいと言ったにちがいない。	うなぎ	文学	夏	
3808	大書	4	下	ごんぎつね	25	ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。	うなぎ	文学	夏	
3809	大書	4	下	ごんぎつね	25	だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。	うなぎ	文学	夏	
3810	大書	4	下	ごんぎつね	25	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
3811	大書	4	下	ごんぎつね	25	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
3812	大書	4	下	ごんぎつね	25	兵十が、赤いいどの所で、麦をといでいました。	麦	文学	夏	
3813	大書	4	下	ごんぎつね	25	……どこかでいわしを売る声がします。	いわし	文学	秋	
3814	大書	4	下	ごんぎつね	25	いわしの安売りだあい。	いわし	文学	秋	
3815	大書	4	下	ごんぎつね	25	いきのいい、いわしだあい。	いわし	文学	秋	

3816	大書	4	下	ごんぎつね	25	いわしをおくれ。	いわし	文学	秋	
3817	大書	4	下	ごんぎつね	25	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
3818	大書	4	下	ごんぎつね	25	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
3819	大書	4	下	ごんぎつね	26	……ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、……	いわし	文学	秋	
3820	大書	4	下	ごんぎつね	27	……かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、……	いわし	文学	秋	
3821	大書	4	下	ごんぎつね	27	……うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。	いわし	文学	秋	
3822	大書	4	下	ごんぎつね	27	……まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。	麦	文学	夏	
3823	大書	4	下	ごんぎつね	27	ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。	うなぎ	文学	夏	
3824	大書	4	下	ごんぎつね	28	……ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、……	くり	文学	秋	
3825	大書	4	下	ごんぎつね	28	いったい、だれが、いわしなんかを、……	いわし	文学	秋	
3826	大書	4	下	ごんぎつね	28	……いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。	いわし	文学	秋	
3827	大書	4	下	ごんぎつね	28	かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、……	いわし	文学	秋	
3828	大書	4	下	ごんぎつね	28	……その入り口に、くりを置いて帰りました。	くり	文学	秋	
3829	大書	4	下	ごんぎつね	28	……ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。	くり	文学	秋	
3830	大書	4	下	ごんぎつね	29	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	くり	文学	秋	
3831	大書	4	下	ごんぎつね	29	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	松たけ	文学	秋	
3832	大書	4	下	ごんぎつね	29	……松虫が鳴いています。	松虫	文学	秋	
3833	大書	4	下	ごんぎつね	31	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれ	くり	文学	秋	

						るんだよ。				
3834	大書	4	下	ごんぎつね	31	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	松たけ	文学	秋	
3835	大書	4	下	ごんぎつね	32	そのくりを見せてやるよ。	くり	文学	秋	
3836	大書	4	下	ごんぎつね	32	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	くり	文学	秋	
3837	大書	4	下	ごんぎつね	32	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	松たけ	文学	秋	
3838	大書	4	下	ごんぎつね	33	……ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。	くり	文学	秋	
3839	大書	4	下	ごんぎつね	33	……きつねがうちの中へ入ったではありませんか。	きつね	文学	冬	
3840	大書	4	下	ごんぎつね	33	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	うなぎ	文学	夏	
3841	大書	4	下	ごんぎつね	33	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	きつね	文学	冬	
3842	大書	4	下	ごんぎつね	33	うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてあるのが目につきました。	くり	文学	秋	
3843	大書	4	下	ごんぎつね	33	いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
3844	大書	4	下	風のゆうれい	73	「ああ……月がほしいと言ったんだ。」	月	文学	秋	
3845	大書	4	下	風のゆうれい	73	コップの中をのぞいてみると、月が明るくかがやいていた	月	文学	秋	
3846	大書	4	下	風のゆうれい	74	もう一つは、この山にすむ、ワシのせなかに乗せてもらう方法じゃ	ワシ	文学	冬	
3847	大書	4	下	風のゆうれい	74	しかし、そのためには、とちゅうで、ワシの質問に答えなけりゃならん	ワシ	文学	冬	
3848	大書	4	下	風のゆうれい	74	ワシのせなかに乗ることにしよう	ワシ	文学	冬	
3849	大書	4	下	風のゆうれい	75	「ワシの質問はなんだった？」	ワシ	文学	冬	
3850	大書	4	下	風のゆうれい	75	「ああ……、真冬に夏のお日様を見つけるには、どうしたらいいか、と聞かれたよ。」	夏	文学	夏	
3851	大書	4	下	風のゆうれい	77	月をくれてやったり、真冬に夏のお日様がどこにいるかを知っている者なら、かん単にできることだよ	月	文学	秋	
3852	大書	4	下	風のゆうれい	77	月をくれてやったり、真冬に夏のお日様がどこにいるか	夏	文学	夏	

						を知っている者なら、かん単にできることだよ				
3853	大書	4	下	風のゆうれい	78	また、雨や寒さや海のかいぶつとも戦いました	寒さ	文学	冬	
3854	大書	4	下	一つの花	93	食べる物といえば、お米の代りに配給される、おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした	いも	文学	秋	
3855	大書	4	下	一つの花	93	食べる物といえば、お米の代りに配給される、おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした	かぼちゃ	文学	秋	
3856	大書	4	下	一つの花	95	一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけ、……みんな一つだけ	いも	文学	秋	
3857	大書	4	下	一つの花	95	一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけ、……みんな一つだけ	かぼちゃ	文学	秋	
3858	大書	4	下	一つの花	97	お父さんは、プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のようなところに、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです	コスモスの花	文学	秋	
3859	大書	4	下	一つの花	97	あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました	コスモスの花	文学	秋	
3860	大書	4	下	一つの花	99	でも、今、ゆみ子のとんとんぶきの小さな家は、コスモスの花でいっぱいに包まれています	コスモスの花	文学	秋	
3861	大書	4	下	一つの花	99	やがて……コスモスのトンネルをくぐって出てきました。	コスモス	文学	秋	
3862	大書	4	下	一つの花	99	ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました	コスモス	文学	秋	
3863	大書	5	上	コブシの花	2	コブシの花	コブシ	文学	春	
3864	大書	5	上	コブシの花	2	谷間の残雪が消え去りがたくて花になりえだえだにとまったかと思われるようなコブシの花	コブシ	文学	春	
3865	大書	5	上	コブシの花	2	いちりんとってほおにあてたらひんやりつめたくしいんと雪のにおいがした	雪	文学	冬	
3866	大書	5	上	コブシの花	2	根から幹からこずえへとふもとの春はもうせわしなくたちのぼっているのに！ふきあげているのに！	春	文学	春	
3867	大書	5	上	四万十川と生きる	3	なんと言うても、四万十川のことは、アユについて話さにゃなるまい	アユ	文学	夏	

3868	大書	5	上	四万十川と生きる	3	わしらは、「アユ」じゃなく「アイ」と言う	アユ	文学	夏	
3869	大書	5	上	四万十川と生きる	3	わしらは、「アユ」じゃなく「アイ」と言う	アイ（あゆ）	文学	夏	
3870	大書	5	上	四万十川と生きる	3	言いやすいし、アユを心から愛しちょる	アユ	文学	夏	
3871	大書	5	上	四万十川と生きる	3	じゃからアイ言うとの言い伝えもある	アイ（あゆ）	文学	夏	
3872	大書	5	上	四万十川と生きる	3	四万十川の春は、よそより一足早くやってくる	春	文学	春	
3873	大書	5	上	四万十川と生きる	3	黄色いじゅうたんを広げたように、菜の花が両岸一面にさきほこっちょる	菜の花	文学	春	
3874	大書	5	上	四万十川と生きる	3	橋の下を流れる川に、青い空が春の日をいっぱいに受けてうつり、「絵にもかけん美しさ」という言葉にぴったりじゃ	春	文学	春	
3875	大書	5	上	四万十川と生きる	4	春「川辺の景色も、ぱっと明るうなる。」	春	文学	春	
3876	大書	5	上	四万十川と生きる	4	夏「夜は、火ぶり漁もさかんじゃった。」	夏	文学	夏	
3877	大書	5	上	四万十川と生きる	4	春の息づかいは、川にすむ生き物からもわかるんじゃ	春	文学	春	
3878	大書	5	上	四万十川と生きる	4	その代表がアイじゃ	アイ（あゆ）	文学	夏	
3879	大書	5	上	四万十川と生きる	4	冬の間、太平洋の荒海で育ったアイの子は、春になるとふるさとの四万十川へちゃんともどってくるんじゃ	冬	文学	冬	
3880	大書	5	上	四万十川と生きる	4	冬の間、太平洋の荒海で育ったアイの子は、春になるとふるさとの四万十川へちゃんともどってくるんじゃ	アイ（あゆ）	文学	夏	
3881	大書	5	上	四万十川と生きる	4	冬の間、太平洋の荒海で育ったアイの子は、春になるとふるさとの四万十川へちゃんともどってくるんじゃ	春	文学	春	
3882	大書	5	上	四万十川と生きる	4	体もきたえられてりっぱな大人のアイに育つんじゃ	アイ（あゆ）	文学	夏	
3883	大書	5	上	四万十川と生きる	4	春の四万十川は、まるで生き返ったみたいで、わしらの体にも元気がわいてくるようじゃ	春	文学	春	
3884	大書	5	上	四万十川と生きる	4	六月ごろになると、ホタルが夜の川辺のあちこちでまい始める	六月	文学	夏	
3885	大書	5	上	四万十川と生きる	4	六月ごろになると、ホタルが夜の川辺のあちこちでまい始める	ホタル	文学	夏	
3886	大書	5	上	四万十川と生きる	4	オオヨシキリというわたり鳥の群れも南方からやってきて、川原の草むらに宿り、夜明けとともに「ギョギョ	わたり鳥	文学	秋	

						シ　ギョギョシ」とにぎやかにさえずりよる				
3887	大書	5	上	四万十川と生きる	4	ただ、今では、ホタルの灯も、野鳥の大合唱もぐんと減ってしもうた	ホタル	文学	夏	
3888	大書	5	上	四万十川と生きる	4	夏はアイ漁でいそがしい	夏	文学	夏	
3889	大書	5	上	四万十川と生きる	4	夏はアイ漁でいそがしい	アイ（あゆ）	文学	夏	
3890	大書	5	上	四万十川と生きる	4	アイは、上流に上りつめたあと、だんだんと下流へと下ってくる	アイ（あゆ）	文学	夏	
3891	大書	5	上	四万十川と生きる	4	だから七月に入ると、上流でアイ漁がさかんになる	七月	文学	夏	
3892	大書	5	上	四万十川と生きる	4	だから七月に入ると、上流でアイ漁がさかんになる	アイ（あゆ）	文学	夏	
3893	大書	5	上	四万十川と生きる	4	そして、八月には、中流辺りで漁が行われるんじゃ	八月	文学	夏	
3894	大書	5	上	四万十川と生きる	4	わん曲しながらゆったりと流れる、川はばが大きい中流辺りに、どっさりのアイが集まる	アイ（あゆ）	文学	夏	
3895	大書	5	上	四万十川と生きる	4	そこでのアイ漁は、アユの宝庫、四万十川を代表するようなもんじゃ	アイ（あゆ）	文学	夏	
3896	大書	5	上	四万十川と生きる	4	そこでのアイ漁は、アユの宝庫、四万十川を代表するようなもんじゃ	アユ	文学	夏	
3897	大書	5	上	四万十川と生きる	4	昔は、体長三十センチほどのまるまる太ったアイの群れが川いっぱいになって下ってきて、アイで川の色が変わって見えたもんじゃった	アイ（あゆ）	文学	夏	
3898	大書	5	上	四万十川と生きる	5	秋「アイは産卵のため下流に集まってくる。」	秋	文学	秋	
3899	大書	5	上	四万十川と生きる	5	秋「アイは産卵のため下流に集まってくる。」	アイ（あゆ）	文学	夏	
3900	大書	5	上	四万十川と生きる	5	冬「落ちアイ漁が行われる。」	冬	文学	冬	
3901	大書	5	上	四万十川と生きる	5	冬「落ちアイ漁が行われる。」	アイ（あゆ）	文学	夏	
3902	大書	5	上	四万十川と生きる	5	何そうものふねで、暗やみの川へ、さしあみを張りめぐらし、たいまつの火をふり回して、アイを追いこむんじゃ	アイ（あゆ）	文学	夏	
3903	大書	5	上	四万十川と生きる	5	引き上げたあみには、アイが何百ぴきもかかっており、一つ一つ外すのが大仕事じゃったのう	アイ（あゆ）	文学	夏	
3904	大書	5	上	四万十川と生きる	5	それが今では、アイがめっきり減ってしもうて、昔の十	アイ（あゆ）	文学	夏	

						分の一もないんじゃないかなあ				
3905	大書	5	上	四万十川と生きる	5	アイのとりすぎかのう	アイ（あゆ）	文学	夏	
3906	大書	5	上	四万十川と生きる	5	昔からここらでくらしていた人々は、川のめぐみのアイ漁で生きてきたんじゃろう	アイ（あゆ）	文学	夏	
3907	大書	5	上	四万十川と生きる	5	夏の大漁で、生活のかてをかせぎ、あとは静かな山の生活を過ごしていたようじゃ	夏	文学	夏	
3908	大書	5	上	四万十川と生きる	5	秋風がふいて、はだ寒くなるころ、アイは産卵のため下流に集まってくる	秋風	文学	秋	
3909	大書	5	上	四万十川と生きる	5	秋風がふいて、はだ寒くなるころ、アイは産卵のため下流に集まってくる	アイ（あゆ）	文学	夏	
3910	大書	5	上	四万十川と生きる	5	わしの家の前辺りの瀬が産卵に一番いい場所で、集まったアイが水しぶきをあげて産卵に夢中になっているのが見える	アイ（あゆ）	文学	夏	
3911	大書	5	上	四万十川と生きる	5	この時期の約一か月の間、アイ漁は絶対にやってはならんことになっちょる	アイ（あゆ）	文学	夏	
3912	大書	5	上	四万十川と生きる	5	初冬には、落ちアイ漁が行われる	初冬	文学	冬	
3913	大書	5	上	四万十川と生きる	5	初冬には、落ちアイ漁が行われる	落ちアイ（あゆ）	文学	秋	
3914	大書	5	上	四万十川と生きる	5	産卵を終えたアイを落ちアイという	落ちアイ（あゆ）	文学	秋	
3915	大書	5	上	四万十川と生きる	5	十二月一日、待ちかねた落ちアイ漁解禁の日がやってくる	十二月	文学	冬	
3916	大書	5	上	四万十川と生きる	5	十二月一日、待ちかねた落ちアイ漁解禁の日がやってくる	落ちアイ（あゆ）	文学	秋	
3917	大書	5	上	四万十川と生きる	6	さおでつる人、あみを投げる人、ふねでくり出す人、何百人もの人いきれと、朝ぎりで、まるでまえているように活気づく	朝ぎり	文学	秋	
3918	大書	5	上	四万十川と生きる	6	その後、落ちアイ漁は続くが、一年魚といわれるアユの一生が終わるとともに、四万十川の一年もくれていくんじゃ	落ちアイ（あゆ）	文学	秋	
3919	大書	5	上	四万十川と生きる	6	その後、落ちアイ漁は続くが、一年魚といわれるアユの	アイ（あゆ）	文学	夏	

						一生が終わるとともに、四万十川の一年もくれていくんじゃ				
3920	大書	5	上	四万十川と生きる	6	アイは、四万十の元気印。	アイ（あゆ）	文学	夏	
3921	大書	5	上	四万十川と生きる	6	春、川を上るすがたはかわいいもんじゃ	春	文学	春	
3922	大書	5	上	四万十川と生きる	6	夏の大洪水にもまけずに上り続けて成長し、漁師にめぐみをくれる	夏	文学	夏	
3923	大書	5	上	四万十川と生きる	6	わしのふね造りは、アイが元気に育つことで続いてきた	アイ（あゆ）	文学	夏	
3924	大書	5	上	四万十川と生きる	6	夏のアイ漁で話した、川いっぱいにあふれたアイは、夢物語になってしもうた	アイ（あゆ）	文学	夏	
3925	大書	5	上	発想を豊かに	8	春・花見	春	その他	春	
3926	大書	5	上	発想を豊かに	8	春・花見	花見	その他	春	
3927	大書	5	上	発想を豊かに	8	桜もち	桜もち	その他	春	
3928	大書	5	上	発想を豊かに	8	桜貝	桜貝	その他	春	
3929	大書	5	上	発想を豊かに	8	花さかじいさん	花（梅・桜）	その他	春	
3930	大書	5	上	発想を豊かに	8	秋・紅葉	秋	その他	秋	
3931	大書	5	上	発想を豊かに	9	桜の色は何かと聞かれると、「ピンク」と答えてしまいそうになる	桜	その他	春	
3932	大書	5	上	発想を豊かに	9	しかし、それは、花にかぎっての色	花	その他	春	
3933	大書	5	上	発想を豊かに	9	桜の木は、春になると、枝にたくさんの花をさかせる	桜	その他	春	
3934	大書	5	上	発想を豊かに	9	桜の木は、春になると、枝にたくさんの花をさかせる	春	その他	春	
3935	大書	5	上	発想を豊かに	9	そして、花の散るころから葉が育ち、初夏には、緑の美しい木となる	花（梅・桜）	その他	春	
3936	大書	5	上	発想を豊かに	9	そして、花の散るころから葉が育ち、初夏には、緑の美しい木となる	初夏	その他	夏	
3937	大書	5	上	発想を豊かに	9	秋には、葉が赤や黄色になって散っていく	秋	その他	秋	
3938	大書	5	上	発想を豊かに	9	「桜」のつくもの	桜	その他	春	
3939	大書	5	上	発想を豊かに	9	「桜」のつくものを挙げてみる	桜	その他	春	
3940	大書	5	上	発想を豊かに	9	桜貝に桜草、桜もちに桜湯、人の苗字としては、桜本さんに桜田さん	桜もち	その他	春	

3941	大書	5	上	発想を豊かに	9	「桜」のつくものは、どこか春のふんいきがあって、やさしい感じがする	桜	その他	春	
3942	大書	5	上	発想を豊かに	9	「桜」のつくものは、どこか春のふんいきがあって、やさしい感じがする	春	その他	春	
3943	大書	5	上	発想を豊かに	9	花さかじいさん	花（梅・桜）	その他	春	
3944	大書	5	上	発想を豊かに	9	「花さかじいさん」を初めて知ったのは、ようち園で先生に絵本を読んでもらったときだ	花（梅・桜）	その他	春	
3945	大書	5	上	発想を豊かに	9	かれた木にはいをまけば花がさくというお話だったが、はいがどんなものかを知らなかった	花（梅・桜）	その他	春	
3946	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	22	北風が、ヒューッとふいて、雪の粉をまき散らしました	北風	文学	冬	
3947	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	22	北風が、ヒューッとふいて、雪の粉をまき散らしました	雪	文学	冬	
3948	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	22	一郎さんは、コートのえりを立てて、マフラーをまき直しました	コート	文学	冬	
3949	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	22	一郎さんは、コートのえりを立てて、マフラーをまき直しました	マフラー	文学	冬	
3950	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	23	一郎さんの住んでいる町よりもずっとあたたかくて、広場には、黄色いスイセンの花がさいていました	スイセン	文学	冬	
3951	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	27	夕日がまぶしくさして、広場のスイセンの花が、かがやいて見えました	スイセン	文学	冬	
3952	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	27	まだ雪の残っている殺風景な北の町に、あの花をどっさり買って帰りたい	雪	文学	冬	
3953	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	27	そうして、スイセンの花を、ひとかかえ買ったのです	スイセン	文学	冬	
3954	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	27	なんとすばらしい春のかたまり！	春	文学	春	
3955	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	27	スイセンの花束をトランクに入れるとき、一郎さんは言いました	スイセン	文学	冬	
3956	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	28	スイセンの花のたくさん入ったトランクをかかえて駅へ行くと、一郎さんは、帰りのきっぷを買いました	スイセン	文学	冬	
3957	大書	5	上	かばんの中にかばんを入れて	28	あしたは店のショーウインドーいっぱいにスイセンの花をかざろうと	スイセン	文学	冬	

3958	大書	5	上	手紙	31	夏休みに入って、もうすぐ一ヶ月ほどたとうかという夜タケオは、ふろからあがり、台所ですいかをきっているお母さんのところに行った	夏休み	文学	夏	
3959	大書	5	上	手紙	31	夏休みに入って、もうすぐ一ヶ月ほどたとうかという夜タケオは、ふろからあがり、台所ですいかをきっているお母さんのところに行った	すいか	文学	秋	
3960	大書	5	上	手紙	31	お母さんは、そう言って、すいかの一切れをおぼんにのせた	すいか	文学	秋	
3961	大書	5	上	手紙	31	タケオは、妹のミカが持っていけばいいのにと思ったが、妹はかぜをひいて熱があり、さっき薬を飲んでねたばかりだった	かぜ	文学	冬	
3962	大書	5	上	手紙	31	タケオは、しかたなく、すいかをのせたおぼんを持って階段を上がった	すいか	文学	秋	
3963	大書	5	上	手紙	31	タケオは、「おじいちゃん、すいかだよ。」と言いかけ、おどろいて、階段のとちゅうで立ち止まった	すいか	文学	秋	
3964	大書	5	上	手紙	32	「すいかだよ。」	すいか	文学	秋	
3965	大書	5	上	手紙	32	そのまま、すいかを置いて、階段を下りてもよかったのに、タケオは、なぜか部屋に入り、「泣いてるの？」と聞きながら、おじいちゃんが手に持っているものをそっとのぞきこんだ	すいか	文学	秋	
3966	大書	5	上	手紙	32	「すいかだよ。」	すいか	文学	秋	
3967	大書	5	上	手紙	32	「タケオは、すいかを食べたのか？」とおじいちゃんは聞いた	すいか	文学	秋	
3968	大書	5	上	手紙	32	「じゃあいっしょに食べよう。自分のすいかを持っといで。」	すいか	文学	秋	
3969	大書	5	上	手紙	33	また何かしかられるのかと思いながら、タケオは台所へ行き、自分のすいかを皿にのせて、おじいちゃんの部屋にもどった	すいか	文学	秋	
3970	大書	5	上	手紙	36	それもなくなってしまい、今は、一日に五切れのいもだ	いも	文学	秋	

						けです				
3971	大書	5	上	手紙	37	「すいか食べよう。」	すいか	文学	秋	
3972	大書	5	上	手紙	37	そう言ったくせに、おじいちゃんは、まどの所につってあるふうりんを、いつまでも見つめ続けた	ふうりん	文学	夏	
3973	大書	5	上	手紙	37	すいかを食べ始めた	すいか	文学	秋	
3974	大書	5	上	例を挙げて説明しよう	54	例えば、台風や大雪による災害は、毎年のように発生している	台風	非文学	秋	
3975	大書	5	上	例を挙げて説明しよう	54	例えば、台風や大雪による災害は、毎年のように発生している	大雪	非文学	冬	
3976	大書	5	上	例を挙げて説明しよう	54	かみなりが落ちることもある。	かみなり	非文学	夏	
3977	大書	5	上	例を挙げて説明しよう	55	一九九五年の阪神・淡路大震災では、多くのビルや高速道路がたおれ、火事があちこちで起こり、六千人以上の人がぎせいになった	火事	非文学	冬	
3978	大書	5	上	花を食べる	58	花を食べる	花	非文学	春	
3979	大書	5	上	花を食べる	58	湯飲み茶わんに、あわいピンクの八重桜の花がういている	八重桜	非文学	春	
3980	大書	5	上	花を食べる	58	桜湯である	桜湯	非文学	春	
3981	大書	5	上	花を食べる	58	また、小さなさしみをもった皿に、小さなきくの花が置いてあることがある	きく	非文学	秋	
3982	大書	5	上	花を食べる	59	日本は、年間を通して花が絶えることはない	花	非文学	春	
3983	大書	5	上	花を食べる	59	その花の多くを、日本人は昔から、実に上手に食べてきた	花	非文学	春	
3984	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	花	非文学	春	
3985	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	桜	非文学	春	
3986	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、た	きく	非文学	秋	

						んぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである				
3987	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	たんぽぽ	非文学	春	
3988	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	すみれ	非文学	春	
3989	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	つばき	非文学	春	
3990	大書	5	上	花を食べる	59	どんな花を食べたかというと、桜やきくはもちろん、たんぽぽ、すみれ、つばき、ぼたんの花まで食べたのである	ぼたん	非文学	夏	
3991	大書	5	上	花を食べる	59	きみたちのなかには、たんぽぽなら食べたという経験の持ち主がいるかもしれない	たんぽぽ	非文学	春	
3992	大書	5	上	花を食べる	59	その人は、きっと山菜や薬草にくわしい人が身近にいて、たんぽぽを使った料理をしてくれたのにちがいない	たんぽぽ	非文学	春	
3993	大書	5	上	花を食べる	59	たんぽぽの料理には、花びらとエビのすみそあえ、花のてんぷらなどがある	たんぽぽ	非文学	春	
3994	大書	5	上	花を食べる	59	また、わかい葉を使ったたんぽぽサラダや、根を使ったかきあげ、きんぴらががある	たんぽぽ	非文学	春	
3995	大書	5	上	花を食べる	59	おどろくことに、たんぽぽご飯やたんぽぽコーヒーもある	たんぽぽ	非文学	春	
3996	大書	5	上	花を食べる	59	たんぽぽの花のてんぷらは、つんだばかりの花のうら側に、うすい衣をつけて、油であげる	たんぽぽ	非文学	春	
3997	大書	5	上	花を食べる	60	ももの花やつぼみは、にょうがよく出るように	ももの花	非文学	春	
3998	大書	5	上	花を食べる	61	コブシの花は、鼻の病気などを治すために	コブシ	非文学	春	
3999	大書	5	上	花を食べる	61	ふきのとうは、胃をじょうぶにするために、また、せき	ふきのとう	非文学	春	

						をしずめるために				
4000	大書	5	上	花を食べる	61	つつじやさつきの花びらのすっぱい味	つつじ	非文学	春	
4001	大書	5	上	花を食べる	61	つつじやさつきの花びらのすっぱい味	さつき	非文学	夏	
4002	大書	5	上	花を食べる	61	ふきのとうや菜の花の苦い味	ふきのとう	非文学	春	
4003	大書	5	上	花を食べる	61	ふきのとうや菜の花の苦い味	菜の花	非文学	春	
4004	大書	5	上	花を食べる	61	花さんしょうのからい味	花さんしょう	非文学	春	
4005	大書	5	上	花を食べる	61	桜花や梅のつぼみのしぶい味など	梅	非文学	春	
4006	大書	5	上	花を食べる	61	きく、桜、ゆず、しその花など、自然のかおりを楽しむ	きく	非文学	秋	
4007	大書	5	上	花を食べる	61	きく、桜、ゆず、しその花など、自然のかおりを楽しむ	桜	非文学	春	
4008	大書	5	上	花を食べる	61	きく、桜、ゆず、しその花など、自然のかおりを楽しむ	ゆず	非文学	秋	
4009	大書	5	上	花を食べる	61	きく、桜、ゆず、しその花など、自然のかおりを楽しむ	しそ	非文学	夏	
4010	大書	5	上	花を食べる	61	桜やももの花を湯にうかせて、その花ごと飲んだり、花びらの小さい花々を料理にそえたりする	桜	非文学	春	
4011	大書	5	上	花を食べる	61	桜やももの花を湯にうかせて、その花ごと飲んだり、花びらの小さい花々を料理にそえたりする	ももの花	非文学	春	
4012	大書	5	上	花を食べる	61	桜やももの花を湯にうかせて、その花ごと飲んだり、花びらの小さい花々を料理にそえたりする	花	非文学	春	
4013	大書	5	上	花を食べる	62	現代のわたしたちが食べる花は、桜やきくのような伝統的なものばかりではない	花	非文学	春	
4014	大書	5	上	花を食べる	62	現代のわたしたちが食べる花は、桜やきくのような伝統的なものばかりではない	桜	非文学	春	
4015	大書	5	上	花を食べる	62	現代のわたしたちが食べる花は、桜やきくのような伝統的なものばかりではない	きく	非文学	秋	
4016	大書	5	上	花を食べる	62	てんぷらにしたり、バターいためにしたり、また、花をしごいて熱湯をかけ、サラダにしたりして食べるそうである	花	非文学	春	
4017	大書	5	上	花を食べる	62	このように、花を食べる日本の伝統的なちえは、今日にも受けつがれ、さらに発展させられている	花	非文学	春	
4018	大書	5	上	花を食べる	62	多くの花をいろいろな形で味わい、楽しむことは、日本	花	非文学	春	

						人の育ててきたすぐれた食文化の一つである				
4019	大書	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	63	真っ昼間、日当たりに出てきて昼ねしているおばけはいない	昼ね	文学	夏	
4020	大書	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	63	「ゆうれいの正体を見たりかれおばな」ということわざがあるのを知っているだろう	かれおばな	文学	冬	
4021	大書	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	64	夜、ゆうれいだとこわがったものが、昼間見たら実はかれすすきだった、ゆうれいの正体なんて、そんなものだということわざなのだ	かれすすき	文学	冬	
4022	大書	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	64	また、人が月に着陸して歩き回り、証こに月の石を持ってくるような時代になると、おばけは出にくくなる	月	文学	秋	
4023	大書	5	上	なぜ、おばけは夜に出る	67	ところが、急に変な風がさあっとふいて、木の葉や草むらがざわめくと、今度はぎくりとするだろう	木の葉	文学	冬	
4024	大書	5	上	本の世界を深めよう	72	なかでも「大造じいさんとがん」に出てくるがんの頭領「残雪」の、どうどうとしたすがたが心に残った	がん	その他	秋	
4025	大書	5	上	みんなの詩	74	お月さん	月	文学	秋	
4026	大書	5	上	みんなの詩	74	月は満月のときは食べすぎです	月	文学	秋	
4027	大書	5	上	みんなの詩	74	月は満月のときは食べすぎです	満月	文学	秋	
4028	大書	5	上	みんなの詩	74	三日月のときはダイエット中です	三日月	文学	秋	
4029	大書	5	上	やしの実	74	ふるさとの岸をはなれてなれはそも波にいく月	月	文学	秋	
4030	大書	5	上	みんなの詩	75	お月見のときはすすきがにあいます	月見	文学	秋	
4031	大書	5	上	みんなの詩	75	お月見のときはすすきがにあいます	すすき	文学	秋	
4032	大書	5	上	想像力をはたらかせて	76	かぼちゃ	かぼちゃ	その他	秋	
4033	大書	5	上	想像力をはたらかせて	76	ぼくは、かぼちゃだ	かぼちゃ	その他	秋	
4034	大書	5	上	想像力をはたらかせて	76	ぼくは、きれいにお花をさかせ、それから、それから受粉をして、大きな、大きな実をつくる	花（梅・桜）	その他	春	
4035	大書	5	上	想像力をはたらかせて	76	ぼくは、かぼちゃだ	かぼちゃ	その他	秋	
4036	大書	5	上	想像力をはたらかせて	77	みんなのために、おいしい、おいしい、かぼちゃになるぞ	かぼちゃ	その他	秋	
4037	大書	5	上	想像力をはたらかせて	77	こおろぎ	こおろぎ	その他	秋	

4038	大書	5	上	ならなしとり	92	ごんごん歩いてゆくと、今度は、木のえだに下がっているひょうたんが風にゆれて鳴りました	ひょうたん	文学	秋	
4039	大書	5	上	ならなしとり	92	ひょうたんはそう歌っています	ひょうたん	文学	秋	
4040	大書	5	上	ならなしとり	93	今度は、ひょうたんが歌っています	ひょうたん	文学	秋	
4041	大書	5	上	ならなしとり	93	三郎は、ひょうたんにお礼を言うと、山道のおくへと入っていきました	ひょうたん	文学	秋	
4042	大書	5	上	とび出し注意	110	うさぎ、たぬき、とび出し　注意	うさぎ	文学	冬	
4043	大書	5	上	とび出し注意	110	うさぎ、たぬき、とび出し　注意	たぬき	文学	冬	
4044	大書	5	上	とび出し注意	110	「おやおや、うさぎに、たぬきか」	うさぎ	文学	冬	
4045	大書	5	上	とび出し注意	110	「おやおや、うさぎに、たぬきか」	たぬき	文学	冬	
4046	大書	5	上	とび出し注意	110	うさぎやたぬきの交通事故なんて、昔話にもならないからな	うさぎ	文学	冬	
4047	大書	5	上	とび出し注意	110	うさぎやたぬきの交通事故なんて、昔話にもならないからな	たぬき	文学	冬	
4048	大書	5	上	とび出し注意	111	それじゃ、うさぎもそこらへんで、ねむりこんでるんじゃないのかな	うさぎ	文学	冬	
4049	大書	5	上	とび出し注意	111	もしかしたら、たぬきもね	たぬき	文学	冬	
4050	大書	5	上	とび出し注意	112	かえる、とび出し　注意	かえる	文学	春	
4051	大書	5	上	とび出し注意	112	へび、とび出し　注意	へび	文学	夏	
4052	大書	5	上	とび出し注意	112	あり、とび出し　注意	あり	文学	夏	
4053	大書	5	上	とび出し注意	113	待ってくれよ、そんなかえるやありなんて、注意しきれないよ	かえる	文学	春	
4054	大書	5	上	とび出し注意	113	待ってくれよ、そんなかえるやありなんて、注意しきれないよ	あり	文学	夏	
4055	大書	5	上	とび出し注意	113	そして、ほんとに、ときどき、道の上を、かえるやへびが横切るので、木村さんはそのたびに車を止めて待ちました	かえる	文学	春	
4056	大書	5	上	とび出し注意	113	そして、ほんとに、ときどき、道の上を、かえるやへびが横切るので、木村さんはそのたびに車を止めて待ちま	へび	文学	夏	

						した				
4057	大書	5	上	とび出し注意	113	ありの行列が、長々と続いていったときは、車からおりて、しゃがみこんで、じいっと、地面を見つめていました	あり	文学	夏	
4058	大書	5	上	とび出し注意	113	木村さんは、ありの行列の最後の一ぴきが草むらの中へ隠れるのを待ってから、なごりおしそうに、車へもどりました	あり	文学	夏	
4059	大書	5	上	とび出し注意	113	風船、とび出し　注意	風船	文学	春	
4060	大書	5	上	とび出し注意	114	思わず見上げると、すぎの木のこずえから、赤い風船が一つ、長い糸を引きずって、ふわり、ふわり	風船	文学	春	
4061	大書	5	上	とび出し注意	114	この山には、風船まで、すんでるのかね	風船	文学	春	
4062	大書	5	上	とび出し注意	115	わらや、木の葉や、細かい枝で作った、あたたかそうな巣の中に、ひなが三羽、大きな口を開けて、ピイピイと鳴いています	木の葉	文学	冬	
4063	大書	5	上	とび出し注意	115	わらや、木の葉や、細かい枝で作った、あたたかそうな巣の中に、ひなが三羽、大きな口を開けて、ピイピイと鳴いています	ひな	文学	春	
4064	大書	5	上	とび出し注意	115	「ひなが無事で、まあ、よかった」	ひな	文学	春	
4065	大書	5	下	注文の多い料理店	9	部屋があんまりあたたかいとひびが切れるから、その予防なんだ	ひび（あかぎれ）	文学	冬	
4066	大書	5	下	注文の多い料理店	10	あぶなく耳にひびを切らすとこだった	ひび（あかぎれ）	文学	冬	
4067	大書	5	下	伝え方を考えよう	0	運動会の様子	運動会	その他	秋	
4068	大書	5	下	伝え方を考えよう	0	花の生長	花（梅・桜）	その他	春	
4069	大書	5	下	書き写そう	0	花（すべての人の心に花を）	花（梅・桜）	その他	春	
4070	大書	5	下	書き写そう	0	花として花として	花（梅・桜）	その他	春	
4071	大書	5	下	書き写そう	0	花をさかそうよ	花（梅・桜）	その他	春	
4072	大書	5	下	注文の多い料理店	14	部屋はけむりのように消え、二人は寒さにぶるぶるふるえて、草の中に立っていました	寒さ	文学	冬	
4073	大書	5	下	注文の多い料理店	9	さあ、ぼくもちょうど寒くはなったし、はらはすいてき	寒く	文学	冬	

						たし、……				
4074	大書	5	下	注文の多い料理店	13	寒いとこや山の中はみんなこうさ。	寒い	文学	冬	
4075	大書	5	下	注文の多い料理店	18	これはね、外が非常に寒いだろう。	寒い	文学	冬	
4076	大書	5	下	注文の多い料理店	2	二人のわかい紳士が、すっかりイギリスの兵隊の形をして、ぴかぴかする鉄砲をかついで、白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のカサカサしたとこを、こんなことを言いながら、歩いておりました	木の葉	文学	冬	
4077	大書	5	下	注文の多い料理店	3	風がどうとふいてきて、草はザワザワ木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました	木の葉	文学	冬	
4078	大書	5	下	注文の多い料理店	15	風がどうとふいてきて、草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました	木の葉	文学	冬	
4079	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	25	雪だ！	雪	非文学	冬	
4080	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	25	どこからでもいい、もっと雪を集めてこい！	雪	非文学	冬	
4081	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	26	こうした記号は、もともと、すなけむりやあせなどのように、実際の事物をなぞったものが多い	あせ	非文学	夏	
4082	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	27	雪のすべり台をすべる動作と、せりふの長さとがうまく合わない	雪	非文学	冬	
4083	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	27	去年は雪ふらなかったよね？	雪	非文学	冬	
4084	大書	5	下	マンガの表現を楽しむ	28	なかには、口の中から外を見る（④）、虫の目から人間をとらえるといった、ふつうにはない設定もあって、読者をあきさせない	虫	非文学	秋	
4085	大書	5	下	洪庵のたいまつ	59	夏は暑かったらしい	夏	非文学	夏	
4086	大書	5	下	森を育てる漁師の話	76	やがて、コンブや魚などの海の幸にめぐまれた、このえりもの地に、豊かなくらしを求めて、本州から次々に人がやってきたんだ	コンブ	非文学	夏	
4087	大書	5	下	森を育てる漁師の話	76	ところが、北海道の冬は、想像した以上に寒かった	冬	非文学	冬	
4088	大書	5	下	森を育てる漁師の話	77	そんなやせ細った森に、追いうちをかけたのは、バッタだ	バッタ	非文学	秋	
4089	大書	5	下	森を育てる漁師の話	77	じいさんの話によると、空をおおいかくすほどのバッタ	バッタ	非文学	秋	

						の大群が、百人浜の森を四年間もおそい続け、緑という緑を食べつくしてしまったんだ				
4090	大書	5	下	森を育てる漁師の話	77	じいさんの話によると、空をおおいかくすほどのバッタの大群が、百人浜の森を四年間もおそい続け、緑という緑を食べつくしてしまったんだ	緑	非文学	夏	
4091	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	コンブというのは、夏から秋にかけて、胞子が海中の岩に根づいて生長するんだが、その岩が土砂をかぶってしまって、根づくことができない	コンブ	非文学	夏	
4092	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	コンブというのは、夏から秋にかけて、胞子が海中の岩に根づいて生長するんだが、その岩が土砂をかぶってしまって、根づくことができない	夏	非文学	夏	
4093	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	コンブというのは、夏から秋にかけて、胞子が海中の岩に根づいて生長するんだが、その岩が土砂をかぶってしまって、根づくことができない	秋	非文学	秋	
4094	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	コンブはだんだんととれなくなり、とれても、はばがせまく、身がうすい	コンブ	非文学	夏	
4095	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	そのうえ、ほし場に運んだものは、砂をかぶってしまい、「どろコンブ」とよばれて、安く買いたたかれた	コンブ	非文学	夏	
4096	大書	5	下	森を育てる漁師の話	78	コンブだけでなく、魚もだんだんととれなくなり、わしら浜のもんのくらしは苦しくなるばかり	コンブ	非文学	夏	
4097	大書	5	下	森を育てる漁師の話	79	だから、種をまいた上を、ヨシを編んだものや木の枝を組んだものでおおっていく	ヨシ	非文学	秋	
4098	大書	5	下	森を育てる漁師の話	79	浜にいくらでもある、ゴタとよばれる食べられない海草を、冬の間に集めて浜に積み上げておくと、春には、くさって、ちょうどいい肥料になる	冬	非文学	冬	
4099	大書	5	下	森を育てる漁師の話	79	浜にいくらでもある、ゴタとよばれる食べられない海草を、冬の間に集めて浜に積み上げておくと、春には、くさって、ちょうどいい肥料になる	春	非文学	春	
4100	大書	5	下	森を育てる漁師の話	79	強い風が年じゅうふきあれ、冬には、きびしい寒さで地	冬	非文学	冬	

						面がこおるため、木のなえを植えてもすぐにかれてしまうんだ				
4101	大書	5	下	森を育てる漁師の話	79	強い風が年じゅうふきあれ、冬には、きびしい寒さで地面がこおるため、木のなえを植えてもすぐにかれてしまうんだ	寒さ	非文学	冬	
4102	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	土砂をかぶっていた海中の岩も海流にあらわれ、できのいい一等コンブがとれるようになった	コンブ	非文学	夏	
4103	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	サケやマスももどってきた	サケ	非文学	秋	
4104	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	サケやマスももどってきた	マス	非文学	春	
4105	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	今では、コンブは四十年前の一・七倍、サケ、マスは十二倍もとれるようになったんだ	コンブ	非文学	夏	
4106	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	今では、コンブは四十年前の一・七倍、サケ、マスは十二倍もとれるようになったんだ	サケ	非文学	秋	
4107	大書	5	下	森を育てる漁師の話	80	今では、コンブは四十年前の一・七倍、サケ、マスは十二倍もとれるようになったんだ	マス	非文学	春	
4108	大書	5	下	森を育てる漁師の話	81	えりもでは、毎年六月、植物祭が開かれます	六月	非文学	夏	
4109	大書	5	下	森を育てる漁師の話	81	畠山さんは、「牡蠣の森を慕う会」の仲間や農家の人たち子どもたちといっしょに、毎年ここに木を植えます	牡蠣	非文学	冬	
4110	大書	5	下	森を育てる漁師の話	81	この室根山の森と、畠山さんがカキの養しょくをしている宮城県気仙沼の海とは、二十キロメートルもはなれています	カキ	非文学	冬	
4111	大書	5	下	森を育てる漁師の話	82	カキのえさになる植物プランクトンが育つためには、ちっ素、りん、カリ、鉄分などの養分が必要なんだが、これらの養分は、山の土にふくまれている	カキ	非文学	冬	
4112	大書	5	下	森を育てる漁師の話	82	それが、雨がふるたびに少しずつ水にとけ出し、川をを通って海に注ぎこみ、カキを育てるんだ	カキ	非文学	冬	
4113	大書	5	下	森を育てる漁師の話	82	山に豊かな森がなければ、いいカキはとれないんだよ	カキ	非文学	冬	
4114	大書	5	下	大造じいさんとがん	97	知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、いのししがりに出かけました	いのしし	文学	秋	

4115	大書	5	下	大造じいさんとがん	97	いのししがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました	いのしし	文学	秋	
4116	大書	5	下	大造じいさんとがん	97	血管のふくれたがんじょうな手を、いろりのたき火にかざしながら、それからそれと、ゆかいなかりの話をしてくれました	いろり	文学	冬	
4117	大書	5	下	大造じいさんとがん	97	さあ、大きな丸太が、パチパチと燃え上がり、しょうじには自在かぎとなべのかげがうつり、すがすがしい木のにおいのするけむりの立ちこめている、山家のろばたを想像しながら、この物語をお読みください	しょうじ	文学	冬	
4118	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	残雪はこのぬま地に集まるがんの頭領らしい、なかなかりこうなやつで、仲間がえをあさっている間も、油断なく気を配っていて、りょうじゅうのとどく所まで、決して人間を寄せつけませんでした	がん	文学	秋	
4119	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	大造じいさんは、このぬま地をかり場にしていましたが、いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のがんも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていました	がん	文学	秋	
4120	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	大造じいさんは、このぬま地をかり場にしていましたが、いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のがんも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていました	がん	文学	秋	
4121	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	それは、いつもがんのえをあさる辺り一面に、くいを打ち込んで、たにしを付けたうなぎつりばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした	がん	文学	秋	
4122	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	それは、いつもがんのえをあさる辺り一面に、くいを打ち込んで、たにしを付けたうなぎつりばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした	たにし	文学	春	
4123	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	それは、いつもがんのえをあさる辺り一面に、くいを打ち込んで、たにしを付けたうなぎつりばりを、たたみ糸	うなぎ	文学	夏	

						で結び付けておくことでした				
4124	大書	5	下	大造じいさんとがん	98	じいさんは、ひとばんじゅうかかって、たくさんのうなぎつりばりをしかけておきました	うなぎ	文学	夏	
4125	大書	5	下	大造じいさんとがん	99	一羽だけであったが、生きているがんがうまく手に入ったので、じいさんはうれしく思いました	がん	文学	秋	
4126	大書	5	下	大造じいさんとがん	99	がんの群れは、これに危険を感じてえさ場を変えたらしく、付近には一羽も見えませんでした	がん	文学	秋	
4127	大書	5	下	大造じいさんとがん	99	秋の日が美しくかがやいていました	秋	文学	秋	
4128	大書	5	下	大造じいさんとがん	99	じいさんがぬま地にすがたを現すと、大きな羽音とともに、がんの大群が飛び立ちました	がん	文学	秋	
4129	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	つりばりをしかけておいた辺りで、確かにがんがえをあさった形せきがあるのに、今日は一羽もはりにかかっていません	がん	文学	秋	
4130	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	がんは、昨日の失敗にこりて、えをすぐには飲みこまないで、まずくちばしの先にくわえて、ぐうと引っぱってみてから、異常なしとみとめると、初めて飲みこんだものらしいのです	がん	文学	秋	
4131	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	がんとかかもとかいう鳥は、鳥類のなかで、あまりりこうなほうではないといわれていますが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだな、ということを、今さらのように感じたのでありました	がん	文学	秋	
4132	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	がんとかかもとかいう鳥は、鳥類のなかで、あまりりこうなほうではないといわれていますが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだな、ということを、今さらのように感じたのでありました	かも	文学	冬	
4133	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました	夏	文学	夏	

4134	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました	たにし	文学	春	
4135	大書	5	下	大造じいさんとがん	100	そして、それを、がんの好みそうな場所にばらまいておきました	がん	文学	秋	
4136	大書	5	下	大造じいさんとがん	101	がんの群れは、思わぬごちそうが四、五日も続いたので、ぬま地のうちでも、そこがいちばん気に入りの場所となったようでありました	がん	文学	秋	
4137	大書	5	下	大造じいさんとがん	101	そして、ねぐらをぬけ出して、このえさ場にやってくるがんの群れを待っているのでした	がん	文学	秋	
4138	大書	5	下	大造じいさんとがん	101	ぬま地にやってくるがんのすがたが、かなたの空に、黒く点々と見えだしました	がん	文学	秋	
4139	大書	5	下	大造じいさんとがん	102	今年もまた、ぽつぽつ、例のぬま地にがんの来る季節になりました	がん	文学	秋	
4140	大書	5	下	大造じいさんとがん	103	じいさんが小屋に入ると、一羽のがんが、羽をばたつかせながら、じいさんに飛びついてきました	がん	文学	秋	
4141	大書	5	下	大造じいさんとがん	103	このがんは、二年前、じいさんがつりばりの計略で生どったものだったのです	がん	文学	秋	
4142	大書	5	下	大造じいさんとがん	103	このがんを手に入れたときから、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろ	がん	文学	秋	
4143	大書	5	下	大造じいさんとがん	104	じいさんは、長年の経験で、がんはいちばん最初に飛び立ったものの後に	がん	文学	秋	
4144	大書	5	下	大造じいさんとがん	104	そこは、夏の出水で大きなみずたまりができて、がんのえがじゅうぶんにあるらしかったのです	夏	文学	夏	
4145	大書	5	下	大造じいさんとがん	104	その夜のうちに、飼い慣らしたがんを例のえさ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんで、がんの群れを待つことにしました	がん	文学	秋	
4146	大書	5	下	大造じいさんとがん	104	と、そのとき、ものすごい羽音とともに、がんの群れが一度にばたばたと飛び立ちました	がん	文学	秋	
4147	大書	5	下	大造じいさんとがん	104	がんの群れを目がけて、白い雲のあたりから、何か一直	がん	文学	秋	

						線に落ちてきました				
4148	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらませながら飛び去っていきます	がん	文学	秋	
4149	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	大造じいさんのおとりのがんです	がん	文学	秋	
4150	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	はやぶさは、その一匹をみのがしませんでした	はやぶさ	文学	冬	
4151	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたとみえて、がんはこっちに方向を変えました	がん	文学	秋	
4152	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	はやぶさは、そのみちをさえぎって、ぱあんと一けりしました	はやぶさ	文学	冬	
4153	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	がんの体はななめにかたむきました	がん	文学	秋	
4154	大書	5	下	大造じいさんとがん	105	もう一けりと、はやぶさのこうげきのしせいを取ったとき、きっと、大きなかげが空を横切りました	はやぶさ	文学	冬	
4155	大書	5	下	大造じいさんとがん	106	残雪の目には、人間もはやぶさもありませんでした	はやぶさ	文学	冬	
4156	大書	5	下	大造じいさんとがん	106	不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめきました	はやぶさ	文学	冬	
4157	大書	5	下	大造じいさんとがん	106	が、はやぶさもさるものです	はやぶさ	文学	冬	
4158	大書	5	下	大造じいさんとがん	106	そのまま、はやぶさと残雪は、もつれあってぬま地に落ちていきました	はやぶさ	文学	冬	
4159	大書	5	下	大造じいさんとがん	106	が、はやぶさは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめて、よろめきながら飛び去っていきました	はやぶさ	文学	冬	
4160	大書	5	下	大造じいさんとがん	107	残雪は、大造じいさんのおりの中で、ひと冬をこしました	冬	文学	冬	
4161	大書	5	下	大造じいさんとがん	107	春になると、そのむねのきずも治り、体力も元のようになりました	春	文学	春	
4162	大書	5	下	大造じいさんとがん	107	ある晴れた春の朝でした	春	文学	春	
4163	大書	5	下	大造じいさんとがん	108	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように、清らかに、はらはらと散りました	すももの花	文学	春	
4164	大書	5	下	大造じいさんとがん	108	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように、清らかに、はらはらと散りました	雪	文学	冬	

4165	大書	5	下	大造じいさんとがん	108	がんのえいゆうよ	がん	文学	秋	
4166	大書	5	下	大造じいさんとがん	108	今年の冬も、仲間を連れてぬま地にやってこいよ	冬	文学	冬	
4167	大書	5	下	広がる読書	110	童話「なめこと山の熊」	熊	その他	冬	
4168	大書	5	下	注文の多い料理店	2	二人のわかい紳士が、すっかりイギリスの兵隊の形をして、ぴかぴかする鉄砲をかついで、白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のカサカサしたとこを、こんなことを言いながら、歩いておりました	くま	文学	冬	
4169	大書	5	下	注文の多い料理店	2	それに、あんまり山がすごいので、その白くまのような犬が、二ひきいっしょにめまいを起こして、しばらくうなって、それからあわをはいて死んでしまいました	くま	文学	冬	
4170	大書	5	下	注文の多い料理店	14	そのとき、後ろからいきなり、「ワン、ワン、グワア。」という声がして、あの白くまのような犬が二ひき、戸をつき破って部屋の中にとびこんできました	くま	文学	冬	
4171	大書	5	下	注文の多い料理店	12	二人はぼうしとオーバーコートをくぎにかけ、くつをぬいでペタペタ歩いて戸の中に入りました。	オーバーコート	文学	冬	
4172	大書	5	下	注文の多い料理店	4	うさぎも出ていたねえ。	うさぎ	文学	冬	
4173	大書	5	下	注文の多い料理店	4	二人のしんしは、ザワザワ鳴るすすきの中で、こんなことを言いました。	すすき	文学	秋	
4174	大書	5	下	注文の多い料理店	2	しかの黄色な横っぱらなんぞに、二、三発おみまいもうしたら、……	しか	文学	秋	
4175	大書	6	上	川とノリオ	104	こおりつくようななまり色の川。	なまり色の川	文学	冬	
4176	大書	6	上	川とノリオ	105	そしてとうとう母ちゃんが、もどってこなかった夏のあの日。	夏	文学	夏	
4177	大書	6	上	川とノリオ	99	三月の川の冷たさに、キャッキャッと一人笑いながら。	冷たさ	文学	冬	
4178	大書	6	上	川とノリオ	99	ひやっと冷たい三月の水。	冷たい	文学	冬	
4179	大書	6	上	南極のペンギン	1	氷の割れる音が当たりに鳴りひびく	氷	非文学	冬	
4180	大書	6	上	南極のペンギン	1	波の形のままこおったような氷が連なっている	氷	非文学	冬	
4181	大書	6	上	南極のペンギン	1	ぼくは犬ぞりをおし、氷の上を歩いていた	氷	非文学	冬	
4182	大書	6	上	南極のペンギン	1	北極よりさらに厳しい寒さのため、南極に生息している	寒さ	非文学	冬	

						生き物は、アザラシとペンギンだけだ				
4183	大書	6	上	南極のペンギン	1	イグルーというのは、固い氷を切り出し、それを積み重ねて作る小さな穴ぐらだ	氷	非文学	冬	
4184	大書	6	上	南極のペンギン	2	海岸沿いの氷のでこぼこ道を進んだ	氷	非文学	冬	
4185	大書	6	上	南極のペンギン	2	雪と氷のかがやく世界をひたすら走り、夕方になるとテントを張ってその中でねる	雪	非文学	冬	
4186	大書	6	上	南極のペンギン	2	雪と氷のかがやく世界をひたすら走り、夕方になるとテントを張ってその中でねる	氷	非文学	冬	
4187	大書	6	上	南極のペンギン	2	あれはねむるというより、寒さで気を失う感じだった	寒さ	非文学	冬	
4188	大書	6	上	南極のペンギン	2	ねぶくろに入った自分の体が氷の上をごろごろ転がっている	氷	非文学	冬	
4189	大書	6	上	南極のペンギン	4	波の形のままこおったような氷が連なっている	氷	文学	冬	
4190	大書	6	上	うったえたいことを話そう	13	聞いた日・四月二十五日	四月	その他	春	
4191	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	16	しょうがないから、あれは、花火なんだって思うことにしているの	花火	文学	夏	
4192	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	17	寒くても、ストーブの油はないから、去年の冬は、服を着たままねちゃった	ストーブ	文学	冬	
4193	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	17	寒くても、ストーブの油はないから、去年の冬は、服を着たままねちゃった	冬	文学	冬	
4194	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	17	もし、次の冬まで、戦争が続いていたら、たんすや本を、燃やさなきゃならないわ	冬	文学	冬	
4195	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	21	おじいさんの高級なチェロは、ドイツのかえでの木でできているんだよ	かえで	文学	秋	
4196	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	22	たいくつな秋の水曜日、四時	秋	文学	秋	
4197	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	26	0じいさんに向かって投げられているきれいな花ももちろんたくさんかいたわ	花	文学	春	
4198	大書	6	上	Ｏじいさんのチェロ	28	そしてコートのポケットから小さい、光っているものを取り出したの	コート	文学	冬	
4199	大書	6	上	冬きたりなば	33	季節は秋に相当するらしく、草や木の葉が色づいたり、	秋	文学	秋	

						散りはじめたりしていた				
4200	大書	6	上	冬きたりなば	33	季節は秋に相当するらしく、草や木の葉が色づいたり、散りはじめたりしていた	木の葉	文学	冬	
4201	大書	6	上	冬きたりなば	33	楽しくお祭りをしているところですが、ごいっしょにいかがですか	祭り	文学	夏	
4202	大書	6	上	冬きたりなば	35	「この星では、これから冬に入るのです。冬のあいだは使えませんから、来年の春にでもなったら……。」	冬	文学	冬	
4203	大書	6	上	冬きたりなば	35	「この星では、これから冬に入るのです。冬のあいだは使えませんから、来年の春にでもなったら……。」	春	文学	春	
4204	大書	6	上	冬きたりなば	35	「冬でも使えますとも。たとえば、この電気毛布はいかがでしょう。原子力電池であたたかく過ごせます。また、冬の化粧品としては……。」	冬	文学	冬	
4205	大書	6	上	冬きたりなば	35	「わたしたちの星では、冬になると、みな冬みんに入るのです。ですから、その間は、何も必要ないのです。」	冬	文学	冬	
4206	大書	6	上	冬きたりなば	35	しかし、春になってすぐお使いになれるよう、今お買いになっては、いかがでしょう	春	文学	春	
4207	大書	6	上	冬きたりなば	35	しかし、冬に備えて、収穫物をすべて貯蔵してしまいました。	冬	文学	冬	
4208	大書	6	上	冬きたりなば	36	来年の春になったら、またまいります	春	文学	春	
4209	大書	6	上	冬きたりなば	36	来年の春でしたら、かならずおはらいします	春	文学	春	
4210	大書	6	上	冬きたりなば	37	つまり、冬が長いというわけだな	冬	文学	冬	
4211	大書	6	上	冬きたりなば	37	太陽のそばにもどって、春がおとずれるまで、どのくらいかかるのだ	春	文学	春	
4212	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	去年の夏、プールを使っていたときには、ヤゴなどいなかったはずだ	夏	その他	夏	
4213	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	去年の夏、プールを使っていたときには、ヤゴなどいなかったはずだ	プール	その他	夏	
4214	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	わたしの町では、夏から秋にかけて、たくさんのアカトンボが見られる	夏	その他	夏	

4215	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	わたしの町では、夏から秋にかけて、たくさんのアカトンボが見られる	秋	その他	秋	
4216	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	わたしの町では、夏から秋にかけて、たくさんのアカトンボが見られる	アカトンボ	その他	秋	
4217	大書	6	上	推論によって説明しよう	54	アカトンボは、ふつう、夜になると池やぬまなどの水の中に卵を産むのだそうだ	アカトンボ	その他	秋	
4218	大書	6	上	推論によって説明しよう	55	それで、学校のプールを池だと思って、卵を産みつけたのではないか	プール	その他	夏	
4219	大書	6	上	推論によって説明しよう	55	秋になったら、アカトンボが卵を産みにやってこないが、プールの周りで観察して確かめてみよう	秋	その他	秋	
4220	大書	6	上	推論によって説明しよう	55	秋になったら、アカトンボが卵を産みにやってこないが、プールの周りで観察して確かめてみよう	アカトンボ	その他	秋	
4221	大書	6	上	川の自然	60	カゲロウやトビケラなどの幼虫を研究していた可児藤吉さんは、川底にすむ虫を食べているうちに、川のもつ次のような特ちょうに気づきました	カゲロウ	非文学	春	
4222	大書	6	上	川の自然	60	カゲロウやトビケラなどの幼虫を研究していた可児藤吉さんは、川底にすむ虫を食べているうちに、川のもつ次のような特ちょうに気づきました	虫	非文学	秋	
4223	大書	6	上	川の自然	60	曲がり方が大きくなると、まるで蛇みたいに見えるので、これを蛇行といいます	蛇	非文学	夏	
4224	大書	6	上	川の自然	60	瀬はそれぞれ落差があって、水がたきのように落ち込んでいる	たき	非文学	夏	
4225	大書	6	上	川の自然	61	瀬と淵は、川に生きる魚や虫たちにとって、たいせつな意味をもっています	虫	非文学	秋	
4226	大書	6	上	川の自然	61	例えば、イトウやサケなどのいる北海道の皮では、イトウは淵が終わって瀬に移り変わる所（瀬頭）で産卵しますし、サケは逆に瀬が終わって次の淵が始まる所（瀬尻）でさんらんします	サケ	非文学	秋	
4227	大書	6	上	川の自然	61	イワナは平瀬といって、浅い瀬がしばらく続くような場	イワナ	非文学	夏	

						所に産卵します				
4228	大書	6	上	川の自然	62	サケ科の魚たちはみんな、メスがおびれで川底をほって卵を産みますから、卵は川底の砂利の中にあります	サケ	非文学	秋	
4229	大書	6	上	川の自然	62	確かに、台風や集中ごう雨の多い日本では、こう水を防ぐことは、治水とよばれるたいせつな事業でした	台風	非文学	秋	
4230	大書	6	上	川の自然	63	そこにすむ魚や虫や鳥たちのことを少しでも考えたなら、もっと別な改修方法があったにちがいないと思えることが多いのです	虫	非文学	秋	
4231	大書	6	上	川の自然	64	いなくなっていたサクラマスなどの川魚も帰ってきました	マス	非文学	春	
4232	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	67	地球が暖かくなると、南極の氷が解けて、町が海にしずんでしまうというのは本当なんですか	氷	非文学	冬	
4233	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	冬でもカ（蚊）が死ななくなったりもします	冬	非文学	冬	
4234	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	一つは、瀬戸内海などで見られる赤潮です	赤潮	非文学	夏	
4235	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	赤潮というのは、四月から十月ごろの暖かいときに発生しますが、温暖化すると冬まで続いてしまうのです	赤潮	非文学	夏	
4236	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	赤潮というのは、四月から十月ごろの暖かいときに発生しますが、温暖化すると冬まで続いてしまうのです	四月	非文学	春	
4237	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	赤潮というのは、四月から十月ごろの暖かいときに発生しますが、温暖化すると冬まで続いてしまうのです	十月	非文学	秋	
4238	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	68	赤潮というのは、四月から十月ごろの暖かいときに発生しますが、温暖化すると冬まで続いてしまうのです	冬	非文学	冬	
4239	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	69	それから、冷蔵庫の裏側が熱くなるのを知っていますか	冷蔵庫	非文学	夏	
4240	大書	6	上	インタビュー　地球環境を考える	69	クーラーも部屋の中は冷やすけれど、外には熱を出します	クーラー	非文学	夏	
4241	大書	6	上	短歌と俳句	80	東の野にかぎろひの立つ見えてかへりみすれば月かた	かぎろひ	文学	春	

						ぶきぬ				
4242	大書	6	上	短歌と俳句	82	あまの原ふりさけみればかすがなるみかさの山にいでし月かも	月	文学	秋	
4243	大書	6	上	短歌と俳句	82	ねこの子のくびのすずがねかすかにもおとのみしたる夏草のうち	夏草	文学	夏	
4244	大書	6	上	短歌と俳句	82	しづかさや岩にしみ入るせみの声	せみ	文学	夏	
4245	大書	6	上	短歌と俳句	83	菜の花や月は東に日は西に	菜の花	文学	春	
4246	大書	6	上	短歌と俳句	83	菜の花や月は東に日は西に	月	文学	秋	
4247	大書	6	上	短歌と俳句	83	東に月が出、太陽は西にかたむいている、黄色い菜の花畑が目に浮かびます。	月	文学	秋	
4248	大書	6	上	短歌と俳句	83	東に月が出、太陽は西にかたむいている、黄色い菜の花畑が目に浮かびます。	菜の花	文学	春	
4249	大書	6	上	短歌と俳句	83	梅雨晴れやところどころに蟻の道	梅雨	文学	夏	
4250	大書	6	上	短歌と俳句	83	梅雨晴れやところどころに蟻の道	蟻	文学	夏	
4251	大書	6	上	短歌と俳句	83	さじなめて童たのしも夏氷	夏氷	文学	夏	
4252	大書	6	上	短歌と俳句	83	月の夜や石に出で鳴くきりぎりす	月	文学	秋	
4253	大書	6	上	短歌と俳句	83	月の夜や石に出で鳴くきりぎりす	きりぎりす	文学	秋	
4254	大書	6	上	短歌と俳句	83	大根引大根で道を教へけり	大根	文学	冬	
4255	大書	6	上	みんなの詩	84	ゆかの冷たさがゆっくりくり返す	冷たさ	文学	冬	
4256	大書	6	上	みんなの詩	84	葉鶏頭が一本りんと立っている	葉鶏頭	文学	秋	
4257	大書	6	上	みんなの詩	85	あさり	あさり	文学	春	
4258	大書	6	上	みんなの詩	85	あさりを砂の上に置いてた	あさり	文学	春	
4259	大書	6	上	みんなの詩	85	ふと見るとあさりが自然に下へ下へともぐっていく	あさり	文学	春	
4260	大書	6	上	みんなの詩	86	チューリップさき観覧車回ってる	チュウリップ	文学	春	
4261	大書	6	上	みんなの詩	86	たんぽぽの綿毛は白いパラシュート	たんぽぽ	文学	春	
4262	大書	6	上	みんなの詩	87	夕立が上がり街また動き出す	夕立	文学	夏	
4263	大書	6	上	みんなの詩	87	秋の風とべたとび箱ふり返る	秋	文学	秋	
4264	大書	6	上	みんなの詩	87	わたり鳥真一文字に飛んでくる	わたり鳥	文学	秋	
4265	大書	6	上	みんなの詩	87	オリオンを母に教えた冬休み	冬休み	文学	冬	

4266	大書	6	上	みんなの詩	87	黒板の文字が光って外は雪	雪	文学	冬	
4267	大書	6	上	川とノリオ	105	さらさらとすずしいせの音をたてて、今日もまた川は流れている。	せ	文学	夏	
4268	大書	6	上	川とノリオ	96	その川はすずしい音をたてて、さらさらと休まず流れている。	すずしい	文学	夏	
4269	大書	6	上	川とノリオ	95	さらさらとすずしいせの音をたてて、今日もまた川は流れている。	すずしい	文学	夏	
4270	大書	6	上	川とノリオ	107	すすきの銀色の旗の波と、真っ白いのぼりに送られて、ノリオの父ちゃんは、行ってしまった。	すすき	文学	秋	
4271	大書	6	上	川とノリオ	104	すすきがまた、銀色の旗をふり、父ちゃんが戦地から帰ってきた。	すすき	文学	秋	
4272	大書	6	上	川とノリオ	104	こおりつくようななまり色の川。	こおりつく	文学	冬	
4273	大書	6	上	川とノリオ	105	ノリオは、川っぷちのかれ草の中で、もうじき来る春を待っている。	かれ草	文学	冬	
4274	大書	6	上	川とノリオ	105	弁当を持って、毎日、空っ風の中を。	空っ風	文学	冬	
4275	大書	6	上	川とノリオ	105	川っぷちにはもう青いいぬふぐりがさいて、タカオが父ちゃんと自転車で通る。	いぬふぐり	文学	春	
4276	大書	6	上	川とノリオ	106	青々しげった岸辺の草に、サクッ、サクッとまたかまを入れだすと、桜の木につないだやぎっ子が、ミエエ、ミエエとノリオを呼んだ。	青々しげった	文学	夏	
4277	大書	6	上	南極のペンギン	3	雪と風はますます強くなった	雪	非文学	冬	
4278	大書	6	上	南極のペンギン	3	この雪あらしの中で、だれか死ぬかもしれない	雪	非文学	冬	
4279	大書	6	上	南極のペンギン	3	雪あらしがおさまって、車が動きだした	雪	非文学	冬	
4280	大書	6	上	南極のペンギン	3	みんな雪あらしのきょうふを知っている	雪	非文学	冬	
4281	大書	6	上	南極のペンギン	3	ゴーゴーとうなる風と、雪がふきつけ、ちょっと先さえ何も見えない	雪	非文学	冬	
4282	大書	6	上	桃源郷ものがたり	121	そのころは国じゅうが乱れていて、戦争があったり、米や麦がとれなかったりして、人々は、毎日苦しい毎日を暮らしをしていました	麦	文学	夏	

4283	大書	6	上	桃源郷ものがたり	122	そこには、ふつうの木は一本もなく、漁師がこれまでに見たこともない見事な桃の林が、川の両岸にどこまでも続いています	桃	文学	秋	
4284	大書	6	上	桃源郷ものがたり	122	そして、とてもよいかおりのする草がびっしりと生えていて、草の上に桃の花びらがはらはらと飛び散っています	桃の花	文学	春	
4285	大書	6	上	桃源郷ものがたり	123	桃の林をなおもおくへとこぎすすんでゆきますと、川がせまくなっている先のほうに、見慣れない山がそびえたっています	桃	文学	秋	
4286	大書	6	上	桃源郷ものがたり	124	それに桑の木や竹やぶも見えます	桑	文学	春	
4287	大書	6	下	川とノリオ	97	すすきはそれからも川っぷちで、白くほほけた旗をふり、母ちゃんとノリオは橋の上で夕焼け空をながめていた	夕焼け	文学	夏	
4288	大書	6	下	川とノリオ	97	川っぷちの若いやなぎには、銀色の芽がもう大きかった。	やなぎ	文学	春	
4289	大書	6	下	川とノリオ	102	麦わらぼうしも帰ってこない	麦わらぼうし	文学	夏	
4290	大書	6	下	川とノリオ	101	ノリオのまっさらの麦わらぼうしも、川はぷかぷか流していった	麦わらぼうし	文学	夏	
4291	大書	6	下	川とノリオ	106	ギラギラ照りつける真夏の太陽も、銀色にキラキラ光るだけ	真夏の太陽	文学	夏	
4292	大書	6	下	川とノリオ	103	前に死んだ、ばあちゃんの仏だんに新しいぼんぢょうちんがさがっている	ぼんぢょうちん	文学	秋	
4293	大書	6	下	川とノリオ	98	冬ズボンのすそをたくし上げて、ノリオは川をわたりだす	冬ズボン	文学	冬	
4294	大書	6	下	川とノリオ	104	冬	冬	文学	冬	
4295	大書	6	下	川とノリオ	95	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた	冬	文学	冬	
4296	大書	6	下	川とノリオ	99	あったかい春の日ざしを浴びて、川と一日じゅう遊んで暮らす、ノリオは小さい神様だった。	春の日ざし	文学	春	

4297	大書	6	下	川とノリオ	95	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた	春	文学	春	
4298	大書	6	下	川とノリオ	95	ノリオは、川っぷちのかれ草の中で、もうじき来る春を待っている。	春	文学	春	
4299	大書	6	下	川とノリオ	96	土くさい、春のにおいかいだ	春	文学	春	
4300	大書	6	下	川とノリオ	103	おぼんの夜（八月十五日）	八月十五日	文学	秋	
4301	大書	6	下	川とノリオ	105	また八月六日が来る	八月	文学	夏	
4302	大書	6	下	川とノリオ	107	葉桜の間を遠くなった	葉桜	文学	夏	
4303	大書	6	下	川とノリオ	95	春にも夏にも、冬の日にも、ノリオはこの川の声を聞いた	夏	文学	夏	
4304	大書	6	下	川とノリオ	99	というように、大根のかれっ葉をうかべながら、すましこんでさらさら流れていく	大根のかれっ葉	文学	冬	
4305	大書	6	下	川とノリオ	103	じいちゃんがノリオのぞうすいをたいた	ぞうすい	文学	冬	
4306	大書	6	下	川とノリオ	98	また早春	早春	文学	春	
4307	大書	6	下	川とノリオ	95	早春	早春	文学	春	
4308	大書	6	下	愛を運ぶ人マザー＝テレサ	17	一九五二年の真夏の暑い日のことでした	夏	非文学	夏	
4309	大書	6	下	愛を運ぶ人マザー＝テレサ	17	カルカッタの八月は、焼けつくような太陽が照りつけ、風がありません	八月	非文学	夏	
4310	大書	6	下	愛を運ぶ人マザー＝テレサ	25	一九九七年九月五日夜九時三十分、カルカッタの修道院本部で、マザー＝テレサは心臓発作のため、息を引き取りました	九月	非文学	秋	
4311	大書	6	下	落語の招待席	47	素顔に高座着、せんすと手ぬぐいだけで、舞台の背景も小道具もありません	せんす	非文学	夏	
4312	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	48	わしがじいさんに手を引かれてお墓参りから帰ってくると、そばの小川の底に光るものがある	墓参り	非文学	秋	
4313	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	49	ああ、熊はんか、だんさんお待ちかねや	熊	非文学	冬	
4314	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	50	あ、だんさん、熊五郎でおます	熊	非文学	冬	
4315	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	50	うむ、ふとした風邪がもとでねこんでしもうた	風邪	非文学	冬	
4316	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	53	例えば、言葉をていねいに言うために、「御」の字や「様」	障子	非文学	冬	

						の字を付けろと言えば、自分の名前に「様」と付けたり、戸や障子にまでも付けて「御木戸を開けますと」などと言ったりします				
4317	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	53	せんすをはしにして刺身を食べたり、うどんをすすったり、よっぱらいのすい態や、座ったままなのにふらふらと歩いているように見せる演技、階段をかけ上がるときの音の立て方……足でトントンと音をさせるしぐさ、そんなちょったしたことがめずらしく、ボーンとかねの音が入ったり、ひぎやかなおはやしがしゃべりにからんだりするのも楽しいものでした	せんす	非文学	夏	
4318	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	54	『うどんや』という話で、夜寒を流して歩くうどんやが、つじを曲がって大通りへ出たとたん、ピューッと強い風にあたって、「うう寒い。」とうなり、次の売り声が風にあおられる	夜寒	非文学	秋	
4319	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	54	朝の田園風景を見ながら、「……たまには、朝早う起きて、田んぼなんかを見るのもええなあ、もう寒うはないし……」というところで、早春の朝の空気が感じられると思います	早春	非文学	春	
4320	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	58	ある年の夏、このままでは干ばつになってしまうということになって、お百姓さんたちは、顔をつきあわせて相談したところ、だぶの木を田んぼに引こうということになった	夏	非文学	夏	
4321	大書	6	下	語りにちょう戦しよう	58	ぬまの水をくみ出すと、底が現れて、コイやらフナやらウナギが見え出した	ウナギ	非文学	夏	
4322	大書	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	75	科学・技術が、こう水のように人間をにみこんでしまってはさらない	こう水	非文学	夏	
4323	大書	6	下	二十一世紀に生きる君たちへ	78	書き終わって、君たちの未来が、真夏の太陽のようにかがやいているように感じた	真夏	非文学	夏	
4324	大書	6	下	川とノリオ	100	せみの声も川の音も聞こえない	せみの声	文学	夏	

4325	大書	6	下	川とノリオ	97	すすきはそれからも川っぷちで、白くほほけた旗をふり、母ちゃんとノリオは橋の上で夕やけ空をながめていた	すすき	文学	秋	
4326	大書	6	下	川とノリオ	96	すすきのほが川っぷちで旗をふった	すすき	文学	秋	
4327	大書	6	下	川とノリオ	98	ひやっと冷たい三月の水	三月の水	文学	春	
4328	大書	6	下	川とノリオ	98	三月の川の冷たさに、キャッキャッとひとり笑いながら	三月	文学	春	
4329	大書	6	下	川とノリオ	106	桜の木につないだやぎっ子が、ミエエ、ミエエとノリオを呼んだ	桜	文学	春	
4330	大書	6	下	川とノリオ	104	川っぷちの雑草のしげみのかげで、こおろぎが昼間も、りりりりと鳴いた	こおろぎ	文学	秋	
4331	大書	6	下	川とノリオ	103	ときどき、じいちゃんの横顔が、へいけがにのように、ぎゅっとゆがむ	かに	文学	夏	
4332	大書	6	下	川とノリオ	103	おぼんの夜（八月十五日）	おぼん	文学	秋	
4333	大書	6	下	川とノリオ	104	また秋	秋	文学	秋	
4334	大書	6	下	川とノリオ	98	ぬれたような母ちゃんの黒目に映って、赤とんぼがすいすい飛んでいった	赤とんぼ	文学	秋	
4335	東書	1	上	おおきなかぶ	68	あまい、げんきのよい、とてつもなくおおきいかぶができました。	かぶ	文学	冬	1
4336	東書	1	上	おおきなかぶ	68	あまいあまいかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
4337	東書	1	上	おおきなかぶ	73	いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
4338	東書	1	上	おおきなかぶ	68	おおきなおおきなかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
4339	東書	1	上	おおきなかぶ	68	おじいさんが、かぶのたねをまきました。	かぶ	文学	冬	1
4340	東書	1	上	おおきなかぶ	70	おじいさんは、かぶをぬこうとしました。	かぶ	文学	冬	1
4341	東書	1	上	おおきなかぶ	70	おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
4342	東書	1	上	あいうえおのうた	14	ありのこあちこちあいうえお	あり	文学	夏	
4343	東書	1	上	あいうえお	16	あり	あり	その他	夏	

4344	東書	1	上	じをかこう	19	つくし	つくし	その他	春	
4345	東書	1	上	じをかこう	19	ことり	ことり	その他	秋	
4346	東書	1	上	ふたとぶた	26	すずめとすずむし	すずむし	その他	秋	
4347	東書	1	上	ふたとぶた	26	かき	かき	その他	秋	
4348	東書	1	上	ふたとぶた	27	かとが	か	その他	夏	
4349	東書	1	上	ふたとぶた	27	かとが	が	その他	夏	
4350	東書	1	上	ふたとぶた	27	すずむし	すずむし	その他	秋	
4351	東書	1	上	わにがわになる	28	しかがしかられる	しか	文学	秋	
4352	東書	1	上	わにがわになる	28	いるかはいるかい	いるか	文学	冬	
4353	東書	1	上	ことばあそび	30	はなび	はなび	その他	夏	
4354	東書	1	上	ことばあそび	30	かるた	かるた	その他	新年	
4355	東書	1	上	ことばあそび	30	すみれ	すみれ	その他	春	
4356	東書	1	上	ことばあそび	30	おちば	おちば	その他	冬	
4357	東書	1	上	ことばあそび	31	へちま	へちま	その他	秋	
4358	東書	1	上	ことばあそび	31	ふとん	ふとん	その他	冬	
4359	東書	1	上	ねことねっこ	36	きつね	きつね	その他	冬	
4360	東書	1	上	ねことねっこ	37	えんそく	えんそく	その他	春	
4361	東書	1	上	あひるのあくび	38	かえるがかけっこかきくけこ	かえる	文学	春	
4362	東書	1	上	あひるのあくび	39	はちさんはらっぱはひふへほ	はち	文学	春	
4363	東書	1	上	てがみ	42	きつねのこは、ひとりでぽかんとしていました。	きつね	文学	冬	
4364	東書	1	上	てがみ	43	うさぎさんや、くまさんや、たぬきさんとは、きのうあそんだばかりです。	うさぎ	文学	冬	
4365	東書	1	上	てがみ	43	うさぎさんや、くまさんや、たぬきさんとは、きのうあそんだばかりです。	くま	文学	冬	
4366	東書	1	上	てがみ	43	うさぎさんや、くまさんや、たぬきさんとは、きのうあそんだばかりです。	たぬき	文学	冬	
4367	東書	1	上	てがみ	44	あめのおとをききながら、きつねのこは、いっしょうけんめいかんがえました。	きつね	文学	冬	
4368	東書	1	上	てがみ	45	えんそくにいったこと。	えんそく	文学	春	

4369	東書	1	上	てがみ	45	でも、きつねのこは、まだそんなにたくさんのじをかくことができません。	きつね	文学	冬	
4370	東書	1	上	てがみ	46	なおったらまたあそぼう。きつね	きつね	文学	冬	
4371	東書	1	上	てがみ	47	きつねのこは、てがみをながめてにっこりしました。	きつね	文学	冬	
4372	東書	1	上	てがみをかこうがっこうのこと	48	わたしは、うさぎをだっこしました。	うさぎ	その他	冬	
4373	東書	1	上	おばさんとおばあさん	51	ふうせん	ふうせん	その他	春	
4374	東書	1	上	おばさんとおばあさん	51	おおかみ	おおかみ	その他	冬	
4375	東書	1	上	おばさんとおばあさん	51	こおり	こおり	その他	冬	
4376	東書	1	上	いしやといしゃ	61	きゅうり	きゅうり	その他	夏	
4377	東書	1	上	きいてきいて	63	ひるやすみに、せんせいとすもうをとりました。	すもう	その他	秋	
4378	東書	1	上	おおきなかぶ	70	それでも、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
4379	東書	1	上	おおきなかぶ	74	それでも、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
4380	東書	1	上	おおきなかぶ	70	ところが、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
4381	東書	1	上	みんなにしらせよう	82	うちのにわで、きゅうりとなすがとれました。	きゅうり	その他	夏	
4382	東書	1	上	みんなにしらせよう	82	うちのにわで、きゅうりとなすがとれました。	なす	その他	夏	
4383	東書	1	上	みんなにしらせよう	82	おおきいきゅうりとかわいいなすでした。	きゅうり	その他	夏	
4384	東書	1	上	みんなにしらせよう	82	おおきいきゅうりとかわいいなすでした。	なす	その他	夏	
4385	東書	1	上	みんなにしらせよう	83	くみこさんとがっこうにくるとき、かなぶんをつかまえました。	かなぶん	その他	夏	
4386	東書	1	上	かぞえうた	88	三つみつけたみつばち三びき	みつばち	文学	春	
4387	東書	1	上	かぞえうた	88	一つひるねのくじらが一とう	くじら	その他	冬	
4388	東書	1	上	かぞえうた	89	八つやまみちやまゆり八りん	やまゆり	文学	夏	
4389	東書	1	上	ひらがな	99	うちわ	うちわ	その他	夏	
4390	東書	1	上	ひらがな	99	きく	きく	その他	秋	
4391	東書	1	上	ひらがな	99	つばめ	つばめ	その他	春	
4392	東書	1	上	ひらがな	99	てぶくろ	てぶくろ	その他	冬	
4393	東書	1	上	ひらがな	100	みかん	みかん	その他	冬	
4394	東書	1	上	ひらがな	100	もうふ	もうふ	その他	冬	
4395	東書	1	上	ひらがな	100	りんご	りんご	その他	秋	

4396	東書	1	上	おおきなかぶ	74	ねこがいぬをひっぱって、いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
4397	東書	1	上	おおきなかぶ	75	ねずみがねこをひっぱって、ねこがいぬをひっぱって、いぬがまごをひっぱって、まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
4398	東書	1	上	おおきなかぶ	72	まごがおばあさんをひっぱって、おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって、「うんとこしょ、どっこいしょ。」	かぶ	文学	冬	1
4399	東書	1	上	おおきなかぶ	72	まだまだ、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
4400	東書	1	上	おおきなかぶ	77	やっと、かぶはぬけました。	かぶ	文学	冬	1
4401	東書	1	上	あひるのあくび	38	たぬきがたこあげたちつてと	たぬき	その他	冬	
4402	東書	1	上	あひるのあくび	38	たぬきがたこあげたちつてと	たこあげ	その他	新年	
4403	東書	1	上	あひるのあくび	38	なまずがなかよくなにぬねの	なまず	その他	夏	
4404	東書	1	上	どうぶつのはな	56	はりもぐらは、おちばや、つちのなかにいる、ありやしろありをたべます。	おちば	非文学	冬	
4405	東書	1	上	どうぶつのはな	56	はりもぐらは、おちばや、つちのなかにいる、ありやしろありをたべます。	あり	非文学	夏	
4406	東書	1	上	どうぶつのはな	57	はりもぐらは、ながくつきでたはなのさきで、おちばやつちをかきわけて、ありやしろありをみつけます。	おちば	非文学	冬	
4407	東書	1	上	どうぶつのはな	57	はりもぐらは、ながくつきでたはなのさきで、おちばやつちをかきわけて、ありやしろありをみつけます。	あり	非文学	夏	
4408	東書	1	上	よんでよんで	65	みわさんが、つるをおったので、びっくりしました。	つる	その他	冬	
4409	東書	1	上	はへを	66	はとは、へびへおへんじをかいた。	へび	その他	夏	
4410	東書	1	上	かんじのはなし	84	お月さまがでる	月	非文学	秋	
4411	東書	1	下	サラダでげんき	8	きゅうりをトントントン、……	きゅうり	文学	夏	
4412	東書	1	下	サラダでげんき	11	とうもろこし入れなきゃ、げんきになれない。	とうもろこし	文学	秋	

4413	東書	1	下	サラダでげんき	11	りっちゃんは、サラダにゆでたとうもろこしを入れました。	とうもろこし	文学	秋	
4414	東書	1	下	サラダでげんき	12	ありがずらりとならんでいました。	あり	文学	夏	
4415	東書	1	下	サラダでげんき	12	おかげで、ありはいつもはたらきものさ。	あり	文学	夏	
4416	東書	1	下	サラダでげんき	13	なんといっても、サラダにはにんじん。	にんじん	文学	冬	
4417	東書	1	下	サラダでげんき	14	サラダにはうみのこんぶ入れろ、かぜひかぬ、いつもげんき。	こんぶ	文学	夏	
4418	東書	1	下	サラダでげんき	14	ほっきょくかい白くまより。	くま	文学	冬	
4419	東書	1	下	サラダでげんき	14	……こんぶをきって、サラダに入れました。	こんぶ	文学	夏	
4420	東書	1	下	サラダでげんき	19	お月さまってどんなあじ？	月	その他	秋	
4421	東書	1	下	サラダでげんき	19	お月さまのかけらは、みんながそれぞれ、いちばんすきなもののあじがしました。	月	その他	秋	
4422	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	20	つよい日ざしの日は	つよい日ざし	その他	夏	
4423	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	21	うまいぞにんじん	にんじん	その他	冬	
4424	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	22	たぬきけをぬくけぬき	たぬき	その他	冬	
4425	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	22	たぬきせんぬくせんぬき	たぬき	その他	冬	
4426	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	22	たぬきおいぬくおいぬき	たぬき	その他	冬	
4427	東書	1	下	ことばあそびうたをつくろう	22	「たぬき」「せんぬき」のように、おなじところのあることばをさがして、……	たぬき	その他	冬	
4428	東書	1	下	わたしのはっけん	48	学校のうさぎを見てみよう。	うさぎ	その他	冬	
4429	東書	1	下	わたしのはっけん	50	てんとう虫	てんとう虫	その他	夏	
4430	東書	1	下	わたしのはっけん	50	おちばのうらに、二十ぴきぐらいいた。	おちば	その他	冬	
4431	東書	1	下	わたしのはっけん	51	てんとう虫を見つけた	てんとう虫	その他	夏	
4432	東書	1	下	わたしのはっけん	51	……おちばのうらに、てんとう虫が二十ぴきぐらいあつまっているのを見つけました。	おちば	その他	冬	
4433	東書	1	下	わたしのはっけん	51	……おちばのうらに、てんとう虫が二十ぴきぐらいあつまっているのを見つけました。	てんとう虫	その他	夏	
4434	東書	1	下	わたしのはっけん	52	……てんとう虫をつつきました。	てんとう虫	その他	夏	
4435	東書	1	下	わたしのはっけん	52	でも、てんとう虫は、じっとしたままうごきませんでし	てんとう虫	その他	夏	

						た。				
4436	東書	1	下	日づけのよびかた	55	お正月のようすをえにかきましょう。	お正月	その他	新年	
4437	東書	1	下	じゃんけん	62	インドネシアというくにでは、「人」と「あり」と「ぞう」でじゃんけんをします。	あり	非文学	夏	
4438	東書	1	下	じゃんけん	62	「人」は、「あり」にかちます。	あり	非文学	夏	
4439	東書	1	下	なんのなかまでしょう	66	「あり」「ちょう」「ばった」は、どれも「こん虫」です。	あり	その他	夏	
4440	東書	1	下	なんのなかまでしょう	66	「あり」「ちょう」「ばった」は、どれも「こん虫」です。	ちょう	その他	春	
4441	東書	1	下	なんのなかまでしょう	66	「あり」「ちょう」「ばった」は、どれも「こん虫」です。	ばった	その他	秋	
4442	東書	1	下	なんのなかまでしょう	67	「りんご」や「みかん」を、まとめてよぶことばはなんでしょう。	りんご	その他	秋	
4443	東書	1	下	なんのなかまでしょう	67	「りんご」や「みかん」を、まとめてよぶことばはなんでしょう。	みかん	その他	冬	
4444	東書	1	下	はるのゆきだるま	69	はるって、いったいなんだろう。	はる	文学	春	
4445	東書	1	下	はるのゆきだるま	69	ゆきだるまはおもいました。	ゆきだるま	文学	冬	
4446	東書	1	下	はるのゆきだるま	70	山の中に、ゆきだるまが立っていました。	ゆきだるま	文学	冬	
4447	東書	1	下	はるのゆきだるま	70	……ときどき木のえだからおちるゆきの音のほかは、なにもきこえません。	ゆき	文学	冬	
4448	東書	1	下	はるのゆきだるま	70	ゆきだるまをつくった村の子どもたちも、もうあそびにきません。	ゆきだるま	文学	冬	
4449	東書	1	下	はるのゆきだるま	70	ゆきだるまは、ずっとひとりぼっちでした。	ゆきだるま	文学	冬	
4450	東書	1	下	はるのゆきだるま	71	「でも、ふもとのほうは、花がさいているかもしれないよ。」	花	文学	春	
4451	東書	1	下	はるのゆきだるま	71	このあたりも、まだ、はるがきていないね。	はる	文学	春	
4452	東書	1	下	はるのゆきだるま	71	はるって、いったいなんだろう。	はる	文学	春	
4453	東書	1	下	はるのゆきだるま	71	ゆきだるまはおもいました。	ゆきだるま	文学	冬	
4454	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	早く、はるを見つけたいねえ。	はる	文学	春	

4455	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	どうぶつたちが、ゆきだるまのすぐそばをとおりかかりました。	ゆきだるま	文学	冬	
4456	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	ねえねえ、みんな、はるをさがしてるの。	はる	文学	春	
4457	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	ゆきだるまは、おもわずこえをかけました。	ゆきだるま	文学	冬	
4458	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	みんなもう、はるがまちきれなくなったんだよ。	はる	文学	春	
4459	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	子うさぎが、かけよっていいました。	うさぎ	文学	冬	
4460	東書	1	下	はるのゆきだるま	72	はるって、そんなにすてきなものなの。	はる	文学	春	
4461	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	「木のえだが、いっぱいみどりのめを出すんだ。」	みどりのめ	文学	春	
4462	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	「お花がいっぱいさいて、ちょうちょがとびはじめるのさ。」	花	文学	春	
4463	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	「お花がいっぱいさいて、ちょうちょがとびはじめるのさ。」	ちょうちょ	文学	春	
4464	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、かけよってきました。	くま	文学	冬	
4465	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、かけよってきました。	きつね	文学	冬	
4466	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、かけよってきました。	たぬき	文学	冬	
4467	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	あのね、ゆきだるまさん。	ゆきだるま	文学	冬	
4468	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	はるってあったかいんだよ。	はる	文学	春	
4469	東書	1	下	はるのゆきだるま	73	……ちょうちょがとびはじめるのさ。	ちょうちょ	文学	春	
4470	東書	1	下	はるのゆきだるま	74	子うさぎが、ふりかえっていいました。	うさぎ	文学	冬	
4471	東書	1	下	はるのゆきだるま	74	はるを見つけたら、ゆきだるまさんにも、はるのおみやげをもってきてあげるね。	はる	文学	春	
4472	東書	1	下	はるのゆきだるま	74	はるを見つけたら、ゆきだるまさんにも、はるのおみやげをもってきてあげるね。	ゆきだるま	文学	冬	
4473	東書	1	下	はるのゆきだるま	74	はるを見つけたら、ゆきだるまさんにも、はるのおみやげをもってきてあげるね。	はる	文学	春	
4474	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	どこからか、小とりのうたごえもきこえてきます。	小とりのうたご	文学	春	

							え			
4475	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	ゆきだるまは、また、ひとりぼっちになりました。	ゆきだるま	文学	冬	
4476	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	子うさぎさんたち、どんなはるのおみやげをもってきてくれるかなあ。	うさぎ	文学	冬	
4477	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	子うさぎさんたち、どんなはるのおみやげをもってきてくれるかなあ。	はる	文学	春	
4478	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	ゆきだるまのこころは、はるのことでいっぱいでした。	ゆきだるま	文学	冬	
4479	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	ゆきだるまのこころは、はるのことでいっぱいでした。	はる	文学	春	
4480	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	……かぜもあたたかくなってきました。	あたたかく	文学	春	
4481	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	ああ、ここにもとうとうはるがやってきたのかなあ。	はる	文学	春	
4482	東書	1	下	はるのゆきだるま	75	ゆきだるまは、うれしくなりました。	ゆきだるま	文学	冬	
4483	東書	1	下	はるのゆきだるま	76	……あっちこっちにはるを見つけました。	はる	文学	春	
4484	東書	1	下	はるのゆきだるま	76	小川の土手のふきのとうやつくしをつんだり、ちょうちょをおいかけたりして、むちゅうであそびました。	ふきのとう	文学	春	
4485	東書	1	下	はるのゆきだるま	76	小川の土手のふきのとうやつくしをつんだり、ちょうちょをおいかけたりして、むちゅうであそびました。	つくし	文学	春	
4486	東書	1	下	はるのゆきだるま	76	小川の土手のふきのとうやつくしをつんだり、ちょうちょをおいかけたりして、むちゅうであそびました。	ちょうちょ	文学	春	
4487	東書	1	下	はるのゆきだるま	76	そうだ、ゆきだるまさんにおみやげをもってかえるんだった。	ゆきだるま	文学	冬	
4488	東書	1	下	はるのゆきだるま	77	子うさぎが、ゆきだるまとのやくそくをおもい出したとき、もうさくらの花はまんかいでした。	うさぎ	文学	冬	
4489	東書	1	下	はるのゆきだるま	77	子うさぎが、ゆきだるまとのやくそくをおもい出したとき、もうさくらの花はまんかいでした。	ゆきだるま	文学	冬	
4490	東書	1	下	はるのゆきだるま	77	子うさぎが、ゆきだるまとのやくそくをおもい出したとき、もうさくらの花はまんかいでした。	さくら	文学	春	
4491	東書	1	下	はるのゆきだるま	77	早く早く、ゆきだるまさんがまっているよ。	ゆきだるま	文学	冬	
4492	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	……ゆきだるまはとけてしまっていました。	ゆきだるま	文学	冬	
4493	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	ごめんね、ゆきだるまさん。	ゆきだるま	文学	冬	

4494	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	子うさぎは、なきながらいいました。	うさぎ	文学	冬	
4495	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	みんなは、とけたゆきの上に、そっとはるのおみやげをおきました。	ゆき	文学	冬	
4496	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	みんなは、とけたゆきの上に、そっとはるのおみやげをおきました。	はる	文学	春	
4497	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	いつか、山はすっかりはるでした。	はる	文学	春	
4498	東書	1	下	はるのゆきだるま	78	ゆきだるまのことは、もう、わすれてしまったかのようでした。	ゆきだるま	文学	冬	
4499	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	あっ、ゆきだるまさんだ。	ゆきだるま	文学	冬	
4500	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	ゆきだるまさんがいる。	ゆきだるま	文学	冬	
4501	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	ある日、山の上から、子うさぎの大きなこえがひびきました。	うさぎ	文学	冬	
4502	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	……子うさぎのゆびさすほうを見下ろしました。	うさぎ	文学	冬	
4503	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	わああい、ゆきだるまさんだ。	ゆきだるま	文学	冬	
4504	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、子うさぎをせんとうに、山をかけ下りました。	くま	文学	冬	
4505	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、子うさぎをせんとうに、山をかけ下りました。	きつね	文学	冬	
4506	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、子うさぎをせんとうに、山をかけ下りました。	たぬき	文学	冬	
4507	東書	1	下	はるのゆきだるま	79	子ぐまも子りすも子ぎつねも子だぬきも、子うさぎをせんとうに、山をかけ下りました。	うさぎ	文学	冬	
4508	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	ちょうどゆきだるまの立っていたあたりにさいたたくさんの白い花でした。	花	文学	春	
4509	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	ちょうどゆきだるまの立っていたあたりにさいたたくさんの白い花でした。	ゆきだるま	文学	冬	
4510	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	どうぶつたちは、だまったままいつまでも、その花のゆきだるまをみつめていました。	ゆきだるま	文学	冬	
4511	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	でも、それは、ゆきだるまではありませんでした。	ゆきだるま	文学	冬	

4512	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	ちょうどゆきだるまの立っていたあたりにさいた、たくさんの白い花でした。	ゆきだるま	文学	冬	
4513	東書	1	下	はるのゆきだるま	80	……その花のゆきだるまを見つめていました。	ゆきだるま	文学	冬	
4514	東書	2	上	はるのはな	1	たんぽぽいぬふぐり	たんぽぽ	文学	春	
4515	東書	2	上	はるのはな	1	たんぽぽいぬふぐり	いぬふぐり	文学	春	
4516	東書	2	上	のはらのシーソー	5	いのししのいえは、山のおくにあります。	いのしし	文学	秋	
4517	東書	2	上	のはらのシーソー	5	そこにも、はるがやってきました。	はる	文学	春	
4518	東書	2	上	のはらのシーソー	6	ある日、いのししのとうさんが、山からたくさんの木をはこんできました。	いのしし	文学	秋	
4519	東書	2	上	のはらのシーソー	9	のはらのたんぽぽのはっぱのかげから、小さなかおが五つ、そうっとのぞきました。	たんぽぽ	文学	春	
4520	東書	2	上	のはらのシーソー	11	ちょうちょと、みつばちと、てんとう虫がきました。	ちょうちょ	文学	春	
4521	東書	2	上	のはらのシーソー	11	ちょうちょと、みつばちと、てんとう虫がきました。	みつばち	文学	春	
4522	東書	2	上	のはらのシーソー	11	ちょうちょと、みつばちと、てんとう虫がきました。	てんとう虫	文学	夏	
4523	東書	2	上	のはらのシーソー	11	とかげと、しゃくとり虫と、かたつむりもきました。	とかげ	文学	夏	
4524	東書	2	上	のはらのシーソー	11	とかげと、しゃくとり虫と、かたつむりもきました。	しゃくとり虫	文学	夏	
4525	東書	2	上	のはらのシーソー	11	とかげと、しゃくとり虫と、かたつむりもきました。	かたつむり	文学	夏	
4526	東書	2	上	のはらのシーソー	11	ありも、ぞろぞろきました。	あり	文学	夏	
4527	東書	2	上	のはらのシーソー	12	春ののはらで、小さなおきゃくさんをおおぜいのせたシーソーが、のんびりのんびりうごいています。	春	文学	春	
4528	東書	2	上	おがわのはる	14	あいうえおがわにはるがきた	はる	文学	春	
4529	東書	2	上	おがわのはる	14	かきくけこおりももうとけて	こおり	文学	冬	
4530	東書	2	上	おがわのはる	14	さしすせそろったつくしんぼ	つくしんぼ	文学	春	
4531	東書	2	上	おがわのはる	15	なにぬねのはらのひばりのこ	ひばり	文学	春	
4532	東書	2	上	おがわのはる	15	まみむめものかげめだかのこ	めだか	文学	夏	
4533	東書	2	上	おがわのはる	15	わいうえおがわにはるがきた	はる	文学	春	
4534	東書	2	上	たけのこぐん	16	たけのこがぐんぐんせのびしてつちをわったよ	たけのこ	文学	夏	
4535	東書	2	上	たけのこぐん	17	あたまにきらりつゆをのせてる	つゆ(露)	文学	秋	
4536	東書	2	上	たけのこぐん	17	たけのこのびろぐん	たけのこ	文学	夏	

4537	東書	2	上	丸、点、かぎをつかおう	21	日よう日に、かぞくでおはなみにいきました	はなみ	その他	春	
4538	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	25	とくにうさぎの石。	うさぎ	その他	冬	
4539	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	25	一年生の遠足で見つけた。	遠足	その他	春	
4540	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	25	うさぎのかおの形。	うさぎ	その他	冬	
4541	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	25	「かわいいうさぎ石ね。」	うさぎ	その他	冬	
4542	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	26	一年生の遠足のときにひろいました。	遠足	その他	春	
4543	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	26	色が白くて、うさぎのかおのような形で、すべすべしているので、大切にしています。	うさぎ	その他	冬	
4544	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	26	「かわいいうさぎ石ね。」	うさぎ	その他	冬	
4545	東書	2	上	教えてあげる、たからもの	27	遠足のとき、どこでひろったんですか。	遠足	その他	春	
4546	東書	2	上	たんぽぽ	37	よく見かけるたんぽぽ。	たんぽぽ	非文学	春	
4547	東書	2	上	たんぽぽ	38	たんぽぽはじょうぶな草です。	たんぽぽ	非文学	春	
4548	東書	2	上	たんぽぽ	39	たんぽぽのねをほってみました。	たんぽぽ	非文学	春	
4549	東書	2	上	たんぽぽ	42	たんぽぽは、そこでおおきくなることでしょう。	たんぽぽ	非文学	春	
4550	東書	2	上	たんぽぽ	42	このようにして、たんぽぽは、いろいろなところに生え、なかまをふやしていくのです。	たんぽぽ	非文学	春	
4551	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	48	てんとう虫が一ぴき、水たまりの中でもがいていた。	てんとう虫	文学	夏	1
4552	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	48	ゆびの先にてんとう虫をのせて、はっぱのかげに、そっと下ろしてやった。	てんとう虫	文学	夏	1
4553	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	49	はい水こうのところに、おちばがたまって、水がながれなくなっていた。	おちば	文学	冬	1
4554	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	49	ぼくは、ぼうでおちばのダムにあなをあけた。	おちば	文学	冬	1
4555	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	51	あした、きのこをとりに来ましょう。	きのこ	文学	秋	1
4556	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	52	雨がふると、きのこがのびるのよ。	きのこ	文学	秋	1
4557	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	52	ぼくは、きのこを見つけた。	きのこ	文学	秋	1
4558	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	52	帰ったら、きのこ入りオムレツをつくってあげるわね。	きのこ	文学	秋	1
4559	東書	2	上	ニャーゴ	65	それじゃあ、ぼくたちはももをとりに行こうか。	もも	文学	秋	
4560	東書	2	上	ニャーゴ	67	じゃあ、ぼくたちといっしょに、おいしいももをとりに行かない。	もも	文学	秋	

4561	東書	2	上	ニャーゴ	67	おいしいももか。	もも	文学	秋	
4562	東書	2	上	ニャーゴ	67	ねこは、子ねずみたちをせなかにのせると、ももの木の方へ走っていきました。	もも	文学	秋	
4563	東書	2	上	ニャーゴ	67	三びきの子ねずみとねこは、ももを食べはじめました。	もも	文学	秋	
4564	東書	2	上	ニャーゴ	68	ねこは、ももを食べながら思いました。	もも	文学	秋	
4565	東書	2	上	ニャーゴ	68	ももを食べおわると、三びきの子ねずみとねこは、のこったももをもって、帰っていきました。	もも	文学	秋	
4566	東書	2	上	ニャーゴ	68	ももを食べおわると、三びきの子ねずみとねこは、のこったももをもって、帰っていきました。	もも	文学	秋	
4567	東書	2	上	ニャーゴ	71	ぼくのももも。	もも	文学	秋	
4568	東書	2	上	ニャーゴ	71	ねこは、ももをかかえて歩きだしました。	もも	文学	秋	
4569	東書	2	上	ニャーゴ	71	ねこは、ももをだいじそうにかかえたまま、ニャーゴ小さな声でこたえました。	もも	文学	秋	
4570	東書	2	上	糸で生きる虫たち	92	カイコガのよう虫は、さなぎになるときに、口からたくさんの糸をはき出して、まゆを作ります。	ガ	非文学	夏	
4571	東書	2	上	糸で生きる虫たち	94	ユキヤナギのえだで、ホシミスジのよう虫がさなぎになりました。	ユキヤナギ	非文学	春	
4572	東書	2	上	糸で生きる虫たち	94	ユキヤナギのえだで、ホシミスジのよう虫がさなぎになりました。	ホンミスジ	非文学	春	
4573	東書	2	上	おがわのはる	14	かきくけこおりももうとけて	こおりももうとけて	その他	春	
4574	東書	2	上	おがわのはる	14	たちつてとんでるもんしろちょう	もんしろちょう	その他	春	
4575	東書	2	上	たんぽぽ	39	春の晴れた日に、花がさきます。	春	非文学	春	
4576	東書	2	上	雨の日のおさんぽ	47	ぬれたセーターをぼくの頭からひっぱりながら、おばあちゃんが言った。	セーター	文学	冬	
4577	東書	2	上	糸で生きる虫たち	92	よう虫からさなぎになるとき、体をおおうために、まゆを作る虫たちがいます。	まゆ	非文学	夏	
4578	東書	2	上	糸で生きる虫たち	92	カイコガのよう虫は、さなぎになるときに、口からたくさんの糸をはき出して、まゆを作ります。	まゆ	非文学	夏	

4579	東書	2	上	糸で生きる虫たち	92	さなぎは、まゆにまもられて、中でねむり、成虫になるのをまちます。	まゆ	非文学	夏	
4580	東書	2	上	糸で生きる虫たち	93	でも、まゆを作るほどたくさんの糸を出すことはありません。	まゆ	非文学	夏	
4581	東書	2	下	かさこじぞう	71	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらとあいどりのまねをしました。	あわ	文学	秋	
4582	東書	2	下	かさこじぞう	74	……あわのもちのたわらがおいてありました。	あわ	文学	秋	
4583	東書	2	下	かさこじぞう	71	じいさまは、いろりの上にかぶさるようにして、……	いろり	文学	冬	
4584	東書	2	下	かさこじぞう	71	さあさあ、じいさま、いろりに来て当たってくだされ。	いろり	文学	冬	
4585	東書	2	下	かさこじぞう	71	……いろりのふちをたたきました。	いろり	文学	冬	
4586	東書	2	下	かさこじぞう	66	町には大年の市が立っていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	大年の市	文学	新年	
4587	東書	2	下	かさこじぞう	63	雪の大みそか。	大みそか	文学	新年	
4588	東書	2	下	かさこじぞう	64	ある年の大みそか、じいさまはためいきをついて言いました。	大みそか	文学	新年	
4589	東書	2	下	かさこじぞう	74	……にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	おかざりのまつ	文学	新年	
4590	東書	2	下	かさこじぞう	66	にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。	ごんぼ（ごぼう）	文学	秋	
4591	東書	2	下	かさこじぞう	74	……にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	ごんぼ（ごぼう）	文学	秋	
4592	東書	2	下	かさこじぞう	64	ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというに、もちこのよういもできんのう。	正月	文学	新年	
4593	東書	2	下	かさこじぞう	66	町には大年の市が立っていて、正月買いもんの人で大にぎわいでした。	正月	文学	新年	
4594	東書	2	下	かさこじぞう	72	長じゃどんのわかいしゅが正月買いもんをしのこして、……	正月	文学	新年	
4595	東書	2	下	かさこじぞう	74	じいさまとばあさまは、よいお正月をむかえることができましたと。	正月	文学	新年	
4596	東書	2	下	かさこじぞう	72	ところが、そりを引くかけ声は、長じゃどんのやしきの	そり	文学	冬	

						方には行かず、……				
4597	東書	2	下	かさこじぞう	72	……そりを引くかけ声がしてきました。	そり	文学	冬	
4598	東書	2	下	かさこじぞう	74	……空ぞりを引いて、帰っていくところでした。	そり	文学	冬	
4599	東書	2	下	かさこじぞう	74	……にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	だいこん	文学	冬	
4600	東書	2	下	かさこじぞう	67	「おお、気のどくにな。さぞつめたかろうのう。」	つめたい	文学	冬	
4601	東書	2	下	かさこじぞう	68	じいさまは、ぬれてつめたいじぞうさまのかたやらせなやらをなでました。	つめたい	文学	冬	
4602	東書	2	下	かさこじぞう	69	「おお、おお、じいさまかい。さぞつめたかったろうの。かさこは売れたのかね。」	つめたい	文学	冬	
4603	東書	2	下	かさこじぞう	70	すると、ばあさまはいやな顔ひとつしないで、「おお、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろりに来てあたってくだされ。」	つめたい	文学	冬	
4604	東書	2	下	かさこじぞう	68	はなからつららを下げてござっしゃる。	つらら	文学	冬	
4605	東書	2	下	かさこじぞう	67	年こしの日に、かさこなんか買うもんはおらんじゃろ。	年こし	文学	冬	
4606	東書	2	下	かさこじぞう	71	やれやれ、とうとうもちこなしの年こしだ。	年こし	文学	冬	
4607	東書	2	下	かさこじぞう	65	すると、夏の間にかりとっておいたすげがつんでありました。	夏	文学	夏	
4608	東書	2	下	かさこじぞう	66	にんじん、ごんぼもしょってくるでのう。	にんじん	文学	冬	
4609	東書	2	下	かさこじぞう	74	……にんじん、ごんぼやだいこんのかます、おかざりのまつなどがありました。	にんじん	文学	冬	
4610	東書	2	下	かさこじぞう	68	風が出てきて、ひどいふぶきになりました。	ふぶき	文学	冬	
4611	東書	2	下	名前を見てちょうだい	8	……赤いぼうしをちょこんとかぶったきつねが一ぴき、白いすすきをもって、……	きつね	文学	冬	
4612	東書	2	下	名前を見てちょうだい	8	……赤いぼうしをちょこんとかぶったきつねが一ぴき、白いすすきをもって、……	すすき	文学	秋	
4613	東書	2	下	名前を見てちょうだい	8	きつねの頭をゆびさして、えっちゃんが言いました。	きつね	文学	冬	
4614	東書	2	下	名前を見てちょうだい	8	すると、ふりむいたきつねは、すましてこたえました。	きつね	文学	冬	

4615	東書	2	下	名前を見てちょうだい	8	きつねは、しぶしぶぼうしをぬいで、名前のところを見せました。	きつね	文学	冬	
4616	東書	2	下	名前を見てちょうだい	9	なるほど、きつねの言うとおり。	きつね	文学	冬	
4617	東書	2	下	名前を見てちょうだい	9	えっちゃんときつねは走りだしました。	きつね	文学	冬	
4618	東書	2	下	名前を見てちょうだい	10	牛の頭をゆびさして、えっちゃんんときつねが言いました。	きつね	文学	冬	
4619	東書	2	下	名前を見てちょうだい	10	そこで、えっちゃんときつねは、いっしょに言いました。	きつね	文学	冬	
4620	東書	2	下	名前を見てちょうだい	11	えっちゃんときつねが顔を見合わせたとき、強い風がふいてきて、……	きつね	文学	冬	
4621	東書	2	下	名前を見てちょうだい	11	えっちゃんときつねと牛は走りだしました。	きつね	文学	冬	
4622	東書	2	下	名前を見てちょうだい	12	えっちゃんときつねと牛は、いっしょに言いました。	きつね	文学	冬	
4623	東書	2	下	名前を見てちょうだい	14	すると、きつねも、後ずさりをしながらつぶやきました。	きつね	文学	冬	
4624	東書	2	下	名前を見てちょうだい	14	きつねも、くるりとむきをかえると、風のように走っていってしまいました。	きつね	文学	冬	
4625	東書	2	下	かんじたことを	20	しゃぼん玉がとんでいるよ。	しゃぼん玉	その他	春	
4626	東書	2	下	かんじたことを	20	麦のストローで、プープープー。	麦	その他	夏	
4627	東書	2	下	かんじたことを	20	みんなのせっけんで作ったしゃぼん玉。	しゃぼん玉	その他	春	
4628	東書	2	下	かんじたことを	20	にじ色のしゃぼん玉。	しゃぼん玉	その他	春	
4629	東書	2	下	かんじたことを	20	にじ色のきれいなしゃぼん玉。	しゃぼん玉	その他	春	
4630	東書	2	下	かんじたことを	20	にじ色のしあわせはこぶしゃぼん玉。	しゃぼん玉	その他	春	
4631	東書	2	下	かんじたことを	21	たけのこを食べた。	たけのこ	その他	夏	
4632	東書	2	下	かんじたことを	21	たけのこは竹になるのに、ぼくは食べた。	たけのこ	その他	夏	
4633	東書	2	下	かんじたことを	21	ぼくのおなかに、たけのこがそだっていく。	たけのこ	その他	夏	
4634	東書	2	下	かんじたことを	21	口からたけのこがのびて、……	たけのこ	その他	夏	
4635	東書	2	下	ビーバーの大工事	26	……ポプラややなぎの木がつぎつぎにたおされていきます。	やなぎ	非文学	春	
4636	東書	2	下	組み合わせたことばをつかおう	36	公園におちているどんぐりをひろってあつめる。	どんぐり	その他	秋	
4637	東書	2	下	組み合わせたことばをつかおう	36	公園におちているどんぐりをひろいあつめる。	どんぐり	その他	秋	
4638	東書	2	下	わたしの見学ノート	42	小麦こ	麦	その他	夏	

4639	東書	2	下	わたしの見学ノート	43	小麦こ、しお、パンをふくらませるもとに、……	麦	その他	夏	
4640	東書	2	下	わたしの見学ノート	44	小麦こから食パンになるまで、いろいろなきかいをつかっていることが分かりました。	麦	その他	夏	
4641	東書	2	下	かさこじぞう	65	「ああ、そのへんまでお正月さんがござらっしゃるというのに、もちこのよういもできんのう」	もち	文学	新年	
4642	東書	2	下	かさこじぞう	66	かさが五つできると、じいさまはそれをしょって、「かえりには、もちこ買ってくるで」	もち	文学	新年	
4643	東書	2	下	かさこじぞう	66	「じいさま、かさここさえて、町さ売りに行ったら、もちこかえんかのう」	もち	文学	新年	
4644	東書	2	下	かさこじぞう	68	「ああ、もちこももたんでかえれば、ばあさまはがっかりするじゃろうのう」	もち	文学	新年	
4645	東書	2	下	かさこじぞう	68	米のもちこひとうすばったらと、いろりのふちをたたきました	もち	文学	新年	
4646	東書	2	下	かさこじぞう	68	「やれやれ、とうとう、もちこなしの年こしだ」	もち	文学	新年	
4647	東書	2	下	かさこじぞう	72	すると、ばあさまもほほとわらって、あわのもちこひとうすばったらと、あいどりのまねをしました	もち	文学	新年	
4648	東書	2	下	かさこじぞう	73	のき下には、米のもち、あわのもちのたわらが、おいてありました	もち	文学	新年	
4649	東書	2	下	かさこじぞう	71	そんならひとつ、もちつきのまねごとでもしようかのう。	もちつき	文学	冬	
4650	東書	2	下	かさこじぞう	63	雪の大みそか。	雪	文学	冬	
4651	東書	2	下	かさこじぞう	68	じいさまは、じぞうさまのおつむの雪をかきおとしました。	雪	文学	冬	
4652	東書	2	下	かさこじぞう	68	……じぞうさまはかたがわだけ雪にうもれているのでした。	雪	文学	冬	
4653	東書	2	下	かさこじぞう	70	……じぞうさまが雪にうもれていた話をして、……	雪	文学	冬	
4654	東書	2	下	かさこじぞう	71	じぞうさまも、この雪じゃさぞつめたかろうもん。	雪	文学	冬	
4655	東書	2	下	かさこじぞう	72	すると、ま夜中ごろ、雪の中を、……	雪	文学	冬	
4656	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作	84	この一年、みなさんは春、夏、秋、冬のきせつをすごし	春	その他	春	

				ろう		てきました。				
4657	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	84	この一年、みなさんは春、夏、秋、冬のきせつをすごしてきました。	夏	その他	夏	
4658	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	84	この一年、みなさんは春、夏、秋、冬のきせつをすごしてきました。	秋	その他	秋	
4659	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	84	この一年、みなさんは春、夏、秋、冬のきせつをすごしてきました。	冬	その他	冬	
4660	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	85	大すきなかきやくりをいっぱい食べられた秋がいいな。	かき	その他	秋	
4661	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	85	大すきなかきやくりをいっぱい食べられた秋がいいな。	くり	その他	秋	
4662	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	85	大すきなかきやくりをいっぱい食べられた秋がいいな。	秋	その他	秋	
4663	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	85	秋は、いろんなうんどうもしたね。	秋	その他	秋	
4664	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	85	生活科で、冬の公園を見に行ったね。	冬	その他	冬	
4665	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	86	きいちゃんが、ひまわりのたねをもらってうえた。	ひまわり	その他	夏	
4666	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	87	チューリップの近くで、かわいいはちがとんでいたのです。	チューリップ	その他	春	
4667	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	87	チューリップの近くで、かわいいはちがとんでいたのです。	はち	その他	春	
4668	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	87	子どものはちかな。	はち	その他	春	
4669	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	87	子どものはちは、みつをすっているようです。	はち	その他	春	
4670	東書	2	下	「きせつの思い出ブック」を作ろう	87	お母さんばちも来ました。	はち	その他	春	

4671	東書	2	下	あしたも友だち	94	みみずくのじいさんは、思わずほほをゆるめました。	みみずく	文学	冬	
4672	東書	2	下	あしたも友だち	94	くまはまったくこまったやつだ	くま	文学	冬	
4673	東書	2	下	あしたも友だち	94	くりやなんかを食べたがる	くり	文学	秋	
4674	東書	2	下	あしたも友だち	95	きつねとおおかみが、くまのからかい歌を歌いながらさん歩をしています。	きつね	文学	冬	
4675	東書	2	下	あしたも友だち	95	きつねとおおかみが、くまのからかい歌を歌いながらさん歩をしています。	おおかみ	文学	冬	
4676	東書	2	下	あしたも友だち	95	きつねとおおかみが、くまのからかい歌を歌いながらさん歩をしています。	くま	文学	冬	
4677	東書	2	下	あしたも友だち	95	おおかみは、木のかげに、そのくまがたおれているのを見つけました。	おおかみ	文学	冬	
4678	東書	2	下	あしたも友だち	95	おおかみは、木のかげに、そのくまがたおれているのを見つけました。	くま	文学	冬	
4679	東書	2	下	あしたも友だち	95	おおかみは、くまにかけよりかけて、はっとふみとどまりました。	おおかみ	文学	冬	
4680	東書	2	下	あしたも友だち	95	おおかみは、くまにかけよりかけて、はっとふみとどまりました。	くま	文学	冬	
4681	東書	2	下	あしたも友だち	95	おれは、やさしいことをしないおおかみだぞ。	おおかみ	文学	冬	
4682	東書	2	下	あしたも友だち	95	おおかみは森一番のらんぼうものときまっていました。	おおかみ	文学	冬	
4683	東書	2	下	あしたも友だち	95	そのおおかみが、くまをたすけたりしたら……。	おおかみ	文学	冬	
4684	東書	2	下	あしたも友だち	95	そのおおかみが、くまをたすけたりしたら……。	くま	文学	冬	
4685	東書	2	下	あしたも友だち	95	いきなりおおかみは、きつねにどなりました。	おおかみ	文学	冬	
4686	東書	2	下	あしたも友だち	95	いきなりおおかみは、きつねにどなりました。	きつね	文学	冬	
4687	東書	2	下	あしたも友だち	96	まだ、いつもの半分も来てないよ、おおかみさん。	おおかみ	文学	冬	
4688	東書	2	下	あしたも友だち	96	きつねは、びっくりして、ふりかえりました。	きつね	文学	冬	
4689	東書	2	下	あしたも友だち	96	おおかみは、きつねをおいてきぼりにして、さっさと帰っていきました。	おおかみ	文学	冬	
4690	東書	2	下	あしたも友だち	96	おおかみは、きつねをおいてきぼりにして、さっさと帰っていきました。	きつね	文学	冬	

4691	東書	2	下	あしたも友だち	96	いいえ、おおかみは帰るふりして岩かげにかくれ、帰っていくきつねを見おくっていました。	おおかみ	文学	冬	
4692	東書	2	下	あしたも友だち	96	いいえ、おおかみは帰るふりして岩かげにかくれ、帰っていくきつねを見おくっていました。	きつね	文学	冬	
4693	東書	2	下	あしたも友だち	96	きつねのすがたが見えなくなると、おおかみは大いそぎでくまのところへかけつけました。	きつね	文学	冬	
4694	東書	2	下	あしたも友だち	96	きつねのすがたが見えなくなると、おおかみは大いそぎでくまのところへかけつけました。	おおかみ	文学	冬	
4695	東書	2	下	あしたも友だち	96	きつねのすがたが見えなくなると、おおかみは大いそぎでくまのところへかけつけました。	くま	文学	冬	
4696	東書	2	下	あしたも友だち	96	だいじょうぶか、くま。	くま	文学	冬	
4697	東書	2	下	あしたも友だち	96	おおかみは、大きなくまにかたをかして歩きはじめました。	おおかみ	文学	冬	
4698	東書	2	下	あしたも友だち	96	おおかみは、大きなくまにかたをかして歩きはじめました。	くま	文学	冬	
4699	東書	2	下	あしたも友だち	97	くまはうめくだけで、声が出せません。	くま	文学	冬	
4700	東書	2	下	あしたも友だち	97	のぼったりんごのえだがぽきりとおれて、……	りんご	文学	秋	
4701	東書	2	下	あしたも友だち	97	きつねがおおかみとあそんでいると、とつぜんおおかみが言いました。	きつね	文学	冬	
4702	東書	2	下	あしたも友だち	97	きつねがおおかみとあそんでいると、とつぜんおおかみが言いました。	おおかみ	文学	冬	
4703	東書	2	下	あしたも友だち	97	きつねがおおかみとあそんでいると、とつぜんおおかみが言いました。	おおかみ	文学	冬	
4704	東書	2	下	あしたも友だち	98	何にも知らないきつねは、ぽかあんとなりました。	きつね	文学	冬	
4705	東書	2	下	あしたも友だち	98	いたちがやきもちをやき、したうちをするくらい、……	いたち	文学	冬	
4706	東書	2	下	あしたも友だち	98	おおかみは、ないしょでくまのかんびょうに通っていたのです。	おおかみ	文学	冬	
4707	東書	2	下	あしたも友だち	98	おおかみは、ないしょでくまのかんびょうに通っていたのです。	くま	文学	冬	

4708	東書	2	下	あしたも友だち	98	うまいか、くま。	くま	文学	冬	
4709	東書	2	下	あしたも友だち	98	おおかみは、へやのそうじもしてやりました。	おおかみ	文学	冬	
4710	東書	2	下	あしたも友だち	98	またまたおおかみが、トランプのとちゅうでそわそわしはじめました。	おおかみ	文学	冬	
4711	東書	2	下	あしたも友だち	99	きつねは、とうとうこらえ切れなくなって、おおかみに聞きました。	きつね	文学	冬	
4712	東書	2	下	あしたも友だち	99	きつねは、とうとうこらえ切れなくなって、おおかみに聞きました。	おおかみ	文学	冬	
4713	東書	2	下	あしたも友だち	99	くまのことをないしょにしているおおかみは、きつねから目をそらしました。	くま	文学	冬	
4714	東書	2	下	あしたも友だち	99	くまのことをないしょにしているおおかみは、きつねから目をそらしました。	おおかみ	文学	冬	
4715	東書	2	下	あしたも友だち	99	くまのことをないしょにしているおおかみは、きつねから目をそらしました。	きつね	文学	冬	
4716	東書	2	下	あしたも友だち	99	おおかみさん。	おおかみ	文学	冬	
4717	東書	2	下	あしたも友だち	99	おおかみは、おでこにふかいしわをつくりました。	おおかみ	文学	冬	
4718	東書	2	下	あしたも友だち	100	えらいなあ、おおかみさんは。	おおかみ	文学	冬	
4719	東書	2	下	あしたも友だち	100	きつねは、おおかみのべん強のじゃまをしないで、一人であそびました。	きつね	文学	冬	
4720	東書	2	下	あしたも友だち	100	きつねは、おおかみのべん強のじゃまをしないで、一人であそびました。	おおかみ	文学	冬	
4721	東書	2	下	あしたも友だち	100	おおかみにもらったミニカーで。	おおかみ	文学	冬	
4722	東書	2	下	あしたも友だち	100	……おおかみさん。	おおかみ	文学	冬	
4723	東書	2	下	あしたも友だち	100	きつねは、声をのみました。	きつね	文学	冬	
4724	東書	2	下	あしたも友だち	100	家でむずかしい本を読んでいるはずのおおかみが、どこかへ出かけていきます。	おおかみ	文学	冬	
4725	東書	2	下	あしたも友だち	101	きつねは、目がじわっとうるんできました。	きつね	文学	冬	
4726	東書	2	下	あしたも友だち	101	きつねは、してはいけないことをしていました。	きつね	文学	冬	
4727	東書	2	下	あしたも友だち	101	おおかみのあとを、こっそりつけていたのです。	おおかみ	文学	冬	

4728	東書	2	下	あしたも友だち	101	おおかみは、くりのみをひろいながら歩いていきます。	おおかみ	文学	冬	
4729	東書	2	下	あしたも友だち	101	おおかみは、くりのみをひろいながら歩いていきます。	くり	文学	秋	
4730	東書	2	下	あしたも友だち	101	おおかみが、岩あなの家へ入っていきました。	おおかみ	文学	冬	
4731	東書	2	下	あしたも友だち	101	くまの家です。	くま	文学	冬	
4732	東書	2	下	あしたも友だち	101	きつねは、そっと岩あなへ近づきました。	きつね	文学	冬	
4733	東書	2	下	あしたも友だち	102	ありがとう、おおかみくん。	おおかみ	文学	冬	
4734	東書	2	下	あしたも友だち	102	くまの声でした。	くま	文学	冬	
4735	東書	2	下	あしたも友だち	102	そうか、くまさんがけがをしていて……。	くま	文学	冬	
4736	東書	2	下	あしたも友だち	102	きつねは、そうっと岩あなをはなれました。	きつね	文学	冬	
4737	東書	2	下	あしたも友だち	102	……おおかみは、毎日きつねとあそんでくれました。	おおかみ	文学	冬	
4738	東書	2	下	あしたも友だち	102	……おおかみは、毎日きつねとあそんでくれました。	きつね	文学	冬	
4739	東書	2	下	あしたも友だち	103	ただ、遠くにくまを見かけでもすると、あわてて木のかげにかくれ、……	くま	文学	冬	
4740	東書	2	下	あしたも友だち	103	きばがあるくせに、くりなんかを食べたがる。	くり	文学	秋	
4741	東書	2	下	あしたも友だち	103	だけど、きつねはちゃんと分かっていました。	きつね	文学	冬	
4742	東書	2	下	あしたも友だち	103	おおかみは、くまをかんびょうしたことが知れて、……	おおかみ	文学	冬	
4743	東書	2	下	あしたも友だち	103	おおかみは、くまをかんびょうしたことが知れて、……	くま	文学	冬	
4744	東書	2	下	あしたも友だち	103	おおかみが、くまのからかい歌を歌いながら歩いていきます。	おおかみ	文学	冬	
4745	東書	2	下	あしたも友だち	103	おおかみが、くまのからかい歌を歌いながら歩いていきます。	くま	文学	冬	
4746	東書	2	下	あしたも友だち	104	くまはまったくこまったやつだ	くま	文学	冬	
4747	東書	2	下	あしたも友だち	104	くりやなんかを食べたがる	くり	文学	秋	
4748	東書	2	下	あしたも友だち	104	きつねは、後ろでくすりとわらいました。	きつね	文学	冬	
4749	東書	2	下	あしたも友だち	104	だって、おおかみは、おちているくりを、ふまないようにふまないように歩いていったからです。	おおかみ	文学	冬	
4750	東書	2	下	あしたも友だち	104	だって、おおかみは、おちているくりを、ふまないようにふまないように歩いていったからです。	くり	文学	秋	
4751	東書	2	下	あしたも友だち	105	きつねは、おおかみにさけびました。	きつね	文学	冬	

4752	東書	2	下	あしたも友だち	105	きつねは、おおかみにさけびました。	おおかみ	文学	冬	
4753	東書	2	下	あしたも友だち	105	みみずくのじいさんも、からかい歌がうつったようです。	みみずく	文学	冬	
4754	東書	2	下	夕やけ小やけ	106	夕やけ小やけで日がくれて	夕やけ	文学	夏	
4755	東書	3	上	すいせんのラッパ	5	すいせんがラッパをふいているよ。	すいせん	文学	冬	
4756	東書	3	上	すいせんのラッパ	6	春のまん中のお話です。	春	文学	春	
4757	東書	3	上	すいせんのラッパ	6	池のそばのすいせんが、金色のラッパをプル・プル・プーとふいて、よい音が出るかどうかためしていました。	すいせん	文学	冬	
4758	東書	3	上	すいせんのラッパ	6	そこへ、ありたちが、とっとと走ってきました。	あり	文学	夏	
4759	東書	3	上	すいせんのラッパ	6	「おはよう。すいせん。」	すいせん	文学	冬	
4760	東書	3	上	すいせんのラッパ	6	おはよう。あり。	あり	文学	夏	
4761	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	ありたちは、わいわいはしゃいで、すいせんの葉っぱに上ってきました。	あり	文学	夏	
4762	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	ありたちは、わいわいはしゃいで、すいせんの葉っぱに上ってきました。	すいせん	文学	冬	
4763	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	今日は、すいせんが、今年はじめてラッパをふく日なのです。	すいせん	文学	冬	
4764	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	なぜラッパをふくかというとね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。	冬	文学	冬	
4765	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	なぜラッパをふくかというとね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。	かえる	文学	春	
4766	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	なぜラッパをふくかというとね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。	春	文学	春	
4767	東書	3	上	すいせんのラッパ	7	すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風のはやさをしらべたり、ラッパをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、うんうん、とうなずきます。	すいせん	文学	冬	

4768	東書	3	上	すいせんのラッパ	8	ありたちは、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。	あり	文学	夏	
4769	東書	3	上	すいせんのラッパ	8	すいせんは、大きく息をすって、金色のラッパをふき鳴らします。	すいせん	文学	冬	
4770	東書	3	上	すいせんのラッパ	8	ありたちは、目をまんまるにして、うんとせのびをして、まわりを見ました。	あり	文学	夏	
4771	東書	3	上	すいせんのラッパ	8	……すると、池のそばのつつじの根元がむくっ。	つつじ	文学	春	
4772	東書	3	上	すいせんのラッパ	9	ありたちは、ひじをつついて、ささやきます。	あり	文学	夏	
4773	東書	3	上	すいせんのラッパ	9	目をぱちぱちさせてから、すいせんを見つけると、「やあ、今年もありがとう。」と、大きな声で言いました。	すいせん	文学	冬	
4774	東書	3	上	すいせんのラッパ	9	かえるのおすもうさんだ。	かえる	文学	春	
4775	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	かえるの横綱だ！	かえる	文学	春	
4776	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	ありたちは、葉っぱの上で、とび上がって手をたたきました。	あり	文学	夏	
4777	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	すいせんは、にっこりして、またラッパをふきます。	すいせん	文学	冬	
4778	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	かき根のすみっこのおち葉の中から、みどり色のリボンのようなかえるがとび起きて、「はあい、目ざましラッパ、サンキュー、サンキュー。」	おちば	文学	冬	
4779	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	かき根のすみっこのおち葉の中から、みどり色のリボンのようなかえるがとび起きて、「はあい、目ざましラッパ、サンキュー、サンキュー。」	かえる	文学	春	
4780	東書	3	上	すいせんのラッパ	10	かき根のすみっこのおち葉が、ぱっぱっととびちっています。	おちば	文学	冬	
4781	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	かえるのダンサーだ！	かえる	文学	春	
4782	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	ありたちは、感心して手をたたきました。	あり	文学	夏	
4783	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	すいせんは、いよいよ元気にラッパをふきます。	すいせん	文学	冬	
4784	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	こんどは、どんなかえるが目をさますかな。	かえる	文学	春	
4785	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	すいせんのそばの土が、ちょろっとうごいて、豆つぶみたいなかえるが、ぴいんととび起きました。	すいせん	文学	冬	

4786	東書	3	上	すいせんのラッパ	11	すいせんのそばの土が、ちょろっとうごいて、豆つぶみたいなかえるが、ぴいんととび起きました。	かえる	文学	春	
4787	東書	3	上	すいせんのラッパ	12	すいせんのラッパで目がさめたんだよう。	すいせん	文学	冬	
4788	東書	3	上	すいせんのラッパ	12	ありたちが、口をそろえて教えました。	あり	文学	夏	
4789	東書	3	上	すいせんのラッパ	12	豆つぶのようなかえるは、ぴん、とおじぎをして、「うれしいな。うれしいな。うれしいな。ピコぴん・ぴこぴん・ぴこぴんぴん。」	かえる	文学	春	
4790	東書	3	上	すいせんのラッパ	12	あはは、かわいいかえる。	かえる	文学	春	
4791	東書	3	上	すいせんのラッパ	12	やあもう春だ。	春	文学	春	
4792	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	ありたちは、にこにこして見おくりました。	あり	文学	夏	
4793	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	すいせんは、たくさんたくさんラッパをふきました。	すいせん	文学	冬	
4794	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	それに合わせて、かえるもたくさんたくさんとび起きました。	かえる	文学	春	
4795	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	ありたちは、ラッパに合わせて歌ったり、かえるのまねをしてとんだり……。	あり	文学	夏	
4796	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	ありたちは、ラッパに合わせて歌ったり、かえるのまねをしてとんだり……。	かえる	文学	春	
4797	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	まだねむっているかえるは、いませんか？	かえる	文学	春	
4798	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	24	春がいちばんすきなきせつ	春	その他	春	
4799	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	24	チューリップとなの花がすき	チューリップ	その他	春	
4800	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	24	チューリップとなの花がすき	なの花	その他	春	
4801	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	24	それで名前が「春花」	春	その他	春	
4802	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	24	春に生まれた	春	その他	春	
4803	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	わたしは、春がいちばんすきです。	春	その他	春	
4804	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	わたしは、春に生まれました。	春	その他	春	
4805	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	それで、名前も「春花」といいます。	春	その他	春	
4806	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	チューリップとなの花がすきですが、二つとも春の花だからです。	チューリップ	その他	春	
4807	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	チューリップとなの花がすきですが、二つとも春の花だ	なの花	その他	春	

						からです。				
4808	東書	3	上	知ってほしいな、自分のこと	26	チューリップとなの花がすきですが、二つとも春の花だからです。	春	その他	春	
4809	東書	3	上	自然のかくし絵	38	木のみきにとまったはずのセミや、草のしげみに下りたはずのバッタを、ふと見失うことがあります。	バッタ	非文学	秋	
4810	東書	3	上	自然のかくし絵	38	セミやバッタは、木のみきや草の色と見分けにくい色をしています。	バッタ	非文学	秋	
4811	東書	3	上	自然のかくし絵	38	コノハチョウの羽は、表はあざやかな青とオレンジ色ですが、うらは、かれ葉のような色をしています。	かれ葉	非文学	冬	
4812	東書	3	上	自然のかくし絵	39	ですから、木のえだにとまっていると、えだにのこったかれ葉と見分けがつきません。	かれ葉	非文学	冬	
4813	東書	3	上	自然のかくし絵	40	トノサマバッタは、自分の体の色がほご色になるような場所をえらんですんでいるようです。	バッタ	非文学	秋	
4814	東書	3	上	自然のかくし絵	40	トノサマバッタは、緑色のものとかっ色のものがいます。	バッタ	非文学	秋	
4815	東書	3	上	自然のかくし絵	40	野外で調べてみると、緑色の草むらにいるのは、ほとんど緑色のバッタで、かれ草やおち葉の上にいるのは、ほとんどがかっ色です。	バッタ	非文学	秋	
4816	東書	3	上	自然のかくし絵	40	野外で調べてみると、緑色の草むらにいるのは、ほとんど緑色のバッタで、かれ草やおち葉の上にいるのは、ほとんどがかっ色です。	かれ草	非文学	冬	
4817	東書	3	上	自然のかくし絵	40	野外で調べてみると、緑色の草むらにいるのは、ほとんど緑色のバッタで、かれ草やおち葉の上にいるのは、ほとんどがかっ色です。	おち葉	非文学	冬	
4818	東書	3	上	自然のかくし絵	41	ゴマダラチョウのよう虫は、エノキの葉を食べて育ちます。	ゴマダラチョウ	非文学	夏	
4819	東書	3	上	自然のかくし絵	41	ゴマダラチョウのよう虫は、エノキの葉を食べて育ちます。	エノキ	非文学	夏	
4820	東書	3	上	自然のかくし絵	41	秋になって、エノキの葉が黄色くなるにつれて、この虫	エノキ	非文学	夏	

						の体の色も、だんだん黄色にかわっていきます。				
4821	東書	3	上	自然のかくし絵	41	秋になって、エノキの葉が黄色くなるにつれて、この虫の体の色も、だんだん黄色にかわっていきます。	秋	非文学	秋	
4822	東書	3	上	どちらがすき	49	氷の入ったジュースを飲む	氷	その他	冬	
4823	東書	3	上	言葉の広場	52	赤とんぼ	赤とんぼ	その他	秋	
4824	東書	3	上	言葉の広場	52	春分	春分	その他	春	
4825	東書	3	上	言葉の広場	52	夏休み	夏休み	その他	夏	
4826	東書	3	上	言葉の広場	52	冬休み	冬	その他	冬	
4827	東書	3	上	言葉の広場	52	こたつ	こたつ	その他	冬	
4828	東書	3	上	言葉の広場	52	春休み	春	その他	春	
4829	東書	3	上	言葉の広場	52	夕立	夕立	その他	夏	
4830	東書	3	上	言葉の広場	52	入学	入学	その他	春	
4831	東書	3	上	言葉の広場	52	もみじ	もみじ	その他	秋	
4832	東書	3	上	言葉の広場	52	雪	雪	その他	冬	
4833	東書	3	上	言葉の広場	52	秋分	秋分	その他	秋	
4834	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	53	ゆうすげ村に、小さな旅館があります。	ゆうすげ	文学	夏	
4835	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	54	わか葉の季節でした。	わか葉	文学	夏	
4836	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	54	ゆうすげ村のゆうすげ旅館では、山に林道を通す工事の人たちがとまりに来て、ひさしぶりに、六人ものたいざいのお客さんがありました。	ゆうすげ	文学	夏	
4837	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	54	ゆうすげ村のゆうすげ旅館では、山に林道を通す工事の人たちがとまりに来て、ひさしぶりに、六人ものたいざいのお客さんがありました。	ゆうすげ	文学	夏	
4838	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	56	ゆうすげ旅館では、山の中に小さな畑を持っていました。	ゆうすげ	文学	夏	
4839	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	そうじもせんたくも、さっさとして、まるで、昔から、ゆうすげ旅館をてつだってきたみたいなのです。	ゆうすげ	文学	夏	
4840	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	午後になると、むすめは、ちょっと出かけて、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱをつんできました。	たんぽぽ	文学	春	

4841	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	午後になると、むすめは、ちょっと出かけて、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱをつんできました。	よもぎ	文学	春	
4842	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	こうして、そのばんのゆうすげ旅館のこんだては、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱのてんぷらに、ゆずみそのふろふきダイコンと、ダイコンのサラダ、それから、ぶりの照り焼きになりました。	ゆうすげ	文学	夏	
4843	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	こうして、そのばんのゆうすげ旅館のこんだては、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱのてんぷらに、ゆずみそのふろふきダイコンと、ダイコンのサラダ、それから、ぶりの照り焼きになりました。	たんぽぽ	文学	春	
4844	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	こうして、そのばんのゆうすげ旅館のこんだては、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱのてんぷらに、ゆずみそのふろふきダイコンと、ダイコンのサラダ、それから、ぶりの照り焼きになりました。	よもぎ	文学	春	
4845	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	こうして、そのばんのゆうすげ旅館のこんだては、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱのてんぷらに、ゆずみそのふろふきダイコンと、ダイコンのサラダ、それから、ぶりの照り焼きになりました。	ゆず	文学	秋	
4846	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	58	こうして、そのばんのゆうすげ旅館のこんだては、たんぽぽの花とよもぎの葉っぱのてんぷらに、ゆずみそのふろふきダイコンと、ダイコンのサラダ、それから、ぶりの照り焼きになりました。	ぶり	文学	冬	
4847	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	59	お客さんのひょうばんが、あまりによかったので、よく日も、そのまたよく日も、ゆうすげ旅館のこんだては、ダイコンづくしになりました。	ゆうすげ	文学	夏	
4848	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	59	お客さんのひょうばんが、あまりによかったので、よく日も、そのまたよく日も、ゆうすげ旅館のこんだては、ダイコンづくしになりました。	ダイコン	文学	冬	
4849	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	60	またたく間に、２週間がすぎて、たいざいのお客さんた	ゆうすげ	文学	夏	

						ちは、仕事が終わり、ゆうすげ旅館を引き上げていくことになりました。				
4850	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	62	畑について、つぼみさんの目にとびこんできたのは、二ひきのウサギでした。	ウサギ	文学	冬	
4851	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	62	たいへん、ウサギが、畑をあらしているわ！	ウサギ	文学	冬	
4852	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	62	あおあおとした葉っぱの下から、雪のようにまっ白な根が顔を出しています。	雪	文学	冬	
4853	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	63	山のよい空気と水で、ウサギさんたちが、たんせいこめて育てたダイコンだもの、どんなダイコンよりおいしいはずだわ。	ウサギ	文学	冬	
4854	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	63	よく朝、ゆうすげ旅館の台所の外には、一かかえほどのダイコンがおいてあり、こんな手紙がそえられていました。	ゆうすげ	文学	夏	
4855	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	63	きのう、おかみさんが畑に来たのが、足音で分かったのですが、父さんもわたしも、ウサギの姿を見られるのが、何だかはずかしくて、知らんぷりをしてしまいました。	ウサギ	文学	冬	
4856	東書	3	上	ゆうすげ村の小さな旅館	63	ウサギの美月より	ウサギ	文学	冬	
4857	東書	3	上	出来事をつたえよう	68	先週、家であったことは……、弟がスーパーでまいごになったこと、つばめのひながとんでいったこと……。	つばめ	その他	春	
4858	東書	3	上	出来事をつたえよう	69	わたしの家の、車庫ののき下にすを作っていたつばめのことです。	つばめ	その他	春	
4859	東書	3	上	出来事をつたえよう	69	七月十二日、四羽のつばめのひなが、次々に、すをとび立っていきました。	つばめ	その他	春	
4860	東書	3	上	道具を使う動物たち	84	エジプトハゲワシが、ダチョウのたまごを石でわろうとしていたのです。	ワシ	非文学	冬	
4861	東書	3	上	道具を使う動物たち	85	ワシは、くちばしに石をくわえてたまごに向かって立ち、頭を高く上げていました。	ワシ	非文学	冬	
4862	東書	3	上	道具を使う動物たち	85	エジプトハゲワシと同じように、石を道具に使う動物には、ラッコがいます。	ワシ	非文学	冬	

4863	東書	3	上	道具を使う動物たち	85	ラッコは、アワビなどの貝が大すきです。	アワビ	非文学	夏	
4864	東書	3	上	道具を使う動物たち	85	アメリカの西海岸にすむラッコは、海底の岩についているアワビを、両手にはさんだ石でたたいて、はぎ取ってしまいます。	アワビ	非文学	夏	
4865	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	この鳥は、かれ木の中にいる虫を食べます。	かれ木	非文学	冬	
4866	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	そこで、サボテンをさがしてとげをもぎ取ります。	サボテン	非文学	夏	
4867	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	木の実を食べるときには、太いぼうや石でからをわって食べます。	木の実	非文学	秋	
4868	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	また、オオアリやシロアリをつかまえて食べるときには、細いぼうや木の皮、草のくきなどを上手に使います。	アリ	非文学	夏	
4869	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	また、オオアリやシロアリをつかまえて食べるときには、細いぼうや木の皮、草のくきなどを上手に使います。	アリ	非文学	夏	
4870	東書	3	上	道具を使う動物たち	86	オオアリの中には、木のあなを巣にしているものがいます。	アリ	非文学	夏	
4871	東書	3	上	道具を使う動物たち	87	オオアリがかみつくと、引き出して食べてしまいます。	アリ	非文学	夏	
4872	東書	3	上	道具を使う動物たち	87	シロアリは、地面にとうのような形をした、巣を作ってすんでいます。	アリ	非文学	夏	
4873	東書	3	上	道具を使う動物たち	87	そこへ、ぼうや草のくきなどをさしこんで、シロアリをつります。	アリ	非文学	夏	
4874	東書	3	上	すいせんのラッパ	13	あたりは、どんどんにぎやかになり、お祭りみたいです。	お祭り	文学	夏	
4875	東書	3	上	国語じてんの使い方を知ろう	20	つゆ	つゆ(梅雨)	その他	夏	
4876	東書	3	上	自然のかくし絵	38	木のみきにとまってはずのセミや、草のしげみに下りたはずのバッタを、ふと見うしなうことがあります。	セミ	非文学	夏	
4877	東書	3	上	自然のかくし絵	38	セミやバッタは、木のみきや草の色と見分けにくい色をしています。	セミ	非文学	夏	
4878	東書	3	上	漢字の組み立てと意味を考えよう	52	海水よく	海水よく	その他	夏	
4879	東書	3	下	木の葉	1	春から夏まで編みました	春	文学	春	
4880	東書	3	下	木の葉	1	春から夏まで編みました	夏	文学	夏	

4881	東書	3	下	木の葉	1	秋から冬にはぬぎました	秋	文学	秋	
4882	東書	3	下	木の葉	1	秋から冬にはぬぎました	冬	文学	冬	
4883	東書	3	下	木の葉	1	ちゃいろい木の葉のおようふく	木の葉	文学	冬	
4884	東書	3	下	木の葉	1	春までねている草の芽の	春	文学	春	
4885	東書	3	下	木の葉	1	春までねている草の芽の	草の芽	文学	春	
4886	東書	3	下	木かげにごろり	7	おひゃくしょうたちに土地をかしている地主が、とてもよくばりで、お米や麦などをどっさりと横取りすることです。	麦	文学	夏	
4887	東書	3	下	木かげにごろり	7	ある夏の日のことです。	夏	文学	夏	
4888	東書	3	下	木かげにごろり	9	……たくさんのお米やかぼちゃ、ぶたやにわとりなどを、村じゅうから集めて、……	かぼちゃ	文学	秋	
4889	東書	3	下	木かげにごろり	11	秋風がふきはじめたころのことです。	秋風	文学	秋	
4890	東書	3	下	木かげにごろり	11	地主の家では、ご先ぞ様をくようする「お祭り」をすることにまりました。	祭り	文学	夏	
4891	東書	3	下	木かげにごろり	14	もう、こうなっては「お祭り」どころではありません。	祭り	文学	夏	
4892	東書	3	下	つな引きのお祭り	24	つな引きのお祭り	お祭り	非文学	夏	
4893	東書	3	下	つな引きのお祭り	24	……いろいろなお祭りの中で行われてきたのです。	祭り	非文学	夏	
4894	東書	3	下	つな引きのお祭り	24	今も、日本各地のお祭りでつな引きが行われています。	祭り	非文学	夏	
4895	東書	3	下	つな引きのお祭り	26	ふりしきる雪の中で、大人も子どもも、かけ声に合わせて力をふりしぼります。	雪	非文学	冬	
4896	東書	3	下	つな引きのお祭り	28	引かれた方の人たちは、雪にしゃがみこみ、……	雪	非文学	冬	
4897	東書	3	下	つな引きのお祭り	29	「神様とのつな引き」をするお祭りがあります。	お祭り	非文学	夏	
4898	東書	3	下	つな引きのお祭り	32	……旧暦の端午の節句のころ、小学校一年から中学校二年までの男の子が、……	端午の節句	非文学	夏	
4899	東書	3	下	つな引きのお祭り	32	稲わらを何本もたばね、より合わせて作り、……	稲	非文学	秋	
4900	東書	3	下	つな引きのお祭り	32	……悪いびょう気を遠ざけるといわれる、しょうぶ、かや、よもぎをおりこみます。	しょうぶ	非文学	夏	
4901	東書	3	下	つな引きのお祭り	32	……悪いびょう気を遠ざけるといわれる、しょうぶ、かや、よもぎをおりこみます。	かや（茅）	非文学	秋	

4902	東書	3	下	つな引きのお祭り	32	……悪いびょう気を遠ざけるといわれる、しょうぶ、かや、よもぎをおりこみます。	よもぎ	非文学	春	
4903	東書	3	下	つな引きのお祭り	33	しょうぶをおりこんだのとは反対側の先を、おたがいにむすび合わせて引き合います。	しょうぶ	非文学	夏	
4904	東書	3	下	つな引きのお祭り	33	日本の各地で、つな引きのお祭りが行われています。	祭り	非文学	夏	
4905	東書	3	下	サーカスのライオン	64	寒い風をはらんだテントがハタハタと鳴って、サーカス小屋はまるで海の上を走るほかけ船のようだった。	海	文学	夏	
4906	東書	3	下	サーカスのライオン	64	寒い風をはらんだテントがハタハタと鳴って、……	寒い	文学	冬	
4907	東書	3	下	サーカスのライオン	66	くつをはき、手ぶくろもはめた。	手ぶくろ	文学	冬	
4908	東書	3	下	サーカスのライオン	66	星がちくちくゆれて、北風にふきとびそうだなあ。	北風	文学	冬	
4909	東書	3	下	サーカスのライオン	69	なあに、寒いので毛皮をかぶっているのじゃよ。	寒い	文学	冬	
4910	東書	3	下	サーカスのライオン	69	なあに、寒いので毛皮をかぶっているのじゃよ。	毛皮	文学	冬	
4911	東書	3	下	サーカスのライオン	71	火事だ。	火事	文学	冬	
4912	東書	3	下	「こそあど言葉」を使い分けよう	82	こっちは雪が降っているけれど、そっちはどう？	雪	その他	冬	
4913	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	もしも、「うらしまたろう」が、イルカを助けたら	イルカ	その他	冬	
4914	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	もしも、「ももたろう」が、別の動物をつれていったら	もも	その他	秋	
4915	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	ごんべえさんは、かもをとってくらしていました。	かも	その他	冬	
4916	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	一羽や二羽のかもではつまらん。	かも	その他	冬	
4917	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	一度に百羽のかもをとってやるべえ。	かも	その他	冬	
4918	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	その音におどろいて、かもがたくさん落ちてきました。	かも	その他	冬	
4919	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	87	ごんべえさんは、やっと百羽のかもがとれて大よろこびしました。	かも	その他	冬	
4920	東書	3	下	「もしもの国」に行ってみよう	88	ぼくは、りょう君の家にいるうさぎのモンタロウ。	うさぎ	その他	冬	
4921	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	手ぶくろを買いに	手ぶくろ	文学	冬	
4922	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	寒い冬が、北方から、きつねのすんでいる森へもやってきました。	寒い	文学	冬	
4923	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	寒い冬が、北方から、きつねのすんでいる森へもやってきました。	冬	文学	冬	

4924	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	寒い冬が、北方から、きつねのすんでいる森へもやってきました。	きつね	文学	冬	
4925	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	ある朝、ほらあなから子どものきつねが出ようとしましたが、……	きつね	文学	冬	
4926	東書	3	下	手ぶくろを買いに	96	……目をおさえながら母さんぎつねの所へ転げていきました。	きつね	文学	冬	
4927	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	それはもみのえだから雪がなだれ落ちたのでした。	もみ	文学	秋	
4928	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	母さんぎつねがびっくりして、あわてふためきながら、……	きつね	文学	冬	
4929	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	母さんぎつねは、ほらあなの入り口から外へ出て、……	きつね	文学	冬	
4930	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	さく夜のうちに、真っ白な雪がどっさりふったのです。	雪	文学	冬	
4931	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	その雪の上からお日様がきらきらとてらしていたので、……	雪	文学	冬	
4932	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	……雪はまぶしいほど反しゃしていたのです。	雪	文学	冬	
4933	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	雪を知らなかった子どものきつねは、あまり強い反しゃを受けたので、……	雪	文学	冬	
4934	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	雪を知らなかった子どものきつねは、あまり強い反しゃを受けたので、……	きつね	文学	冬	
4935	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	子どものきつねは遊びに行きました。	きつね	文学	冬	
4936	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	まわたのようにやわらかい雪の上をかけ回ると、雪の粉が、……	雪	文学	冬	
4937	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	まわたのようにやわらかい雪の上をかけ回ると、雪の粉が、……	雪	文学	冬	
4938	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	……パン粉のような粉雪が、ふわあっと子ぎつねにおっかぶさってきました。	雪	文学	冬	
4939	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	……パン粉のような粉雪が、ふわあっと子ぎつねにおっかぶさってきました。	きつね	文学	冬	
4940	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	子ぎつねはびっくりして、雪の中に転がるようにして十メートルも向こうへにげました。	きつね	文学	冬	

4941	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	子ぎつねはびっくりして、雪の中に転がるようにして十メートルも向こうへにげました。	雪	文学	冬	
4942	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	それはもみのえだから雪がなだれ落ちたのでした。	雪	文学	冬	
4943	東書	3	下	手ぶくろを買いに	97	まだえだとえだの間から、白いきぬ糸のように雪がこぼれていました。	雪	文学	冬	
4944	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	間もなくほらあなへ帰ってきた子ぎつねは、「お母ちゃん、おててがつめたい、おててがちんちんする。」	おててがちんちんする	文学	冬	
4945	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	間もなくほらあなへ帰ってきた子ぎつねは、「お母ちゃん、おててがつめたい、おててがちんちんする。」	おててがつめたい	文学	冬	
4946	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	間もなくほらあなへ帰ってきた子ぎつねは、……	きつね	文学	冬	
4947	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	……ぬれてぼたん色になった両手を、母さんぎつねの前にさし出しました。	きつね	文学	冬	
4948	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	母さんぎつねは、その手に、はあっと息をふきかけて、……	きつね	文学	冬	
4949	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	雪にさわると、すぐあたたかくなるもんだよ。	雪	文学	冬	
4950	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	……毛糸の手ぶくろをかってやろうと思いました。	毛糸	文学	冬	
4951	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	……毛糸の手ぶくろをかってやろうと思いました。	手ぶくろ	文学	冬	
4952	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	雪はあまり白いので、つつんでもつつんでも白くうかびあがっていました。	雪	文学	冬	
4953	東書	3	下	手ぶくろを買いに	98	親子の銀ぎつねはほらあなから出ました。	きつね	文学	冬	
4954	東書	3	下	手ぶくろを買いに	99	それを子どものきつねが見つけて、……	きつね	文学	冬	
4955	東書	3	下	手ぶくろを買いに	99	……そのとき、母さんぎつねの足はすくんでいました。	きつね	文学	冬	
4956	東書	3	下	手ぶくろを買いに	99	その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき、……	きつね	文学	冬	
4957	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	……お友だちのきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、……	きつね	文学	冬	
4958	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	……子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのでした。	きつね	文学	冬	
4959	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	……子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、	きつね	文学	冬	

						母さんぎつねはどうしても足が進まないのでした。				
4960	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	……母さんぎつねが言いました。	きつね	文学	冬	
4961	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	その手を、母さんぎつねはしばらくにぎっている間に……	きつね	文学	冬	
4962	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	ぼうやのきつねはその手を広げたり、にぎったり、つねったり、かいでみたりしました。	きつね	文学	冬	
4963	東書	3	下	手ぶくろを買いに	100	……雪明かりに、また、その人間の手にかえられてしまった自分の手を、……	雪	文学	冬	
4964	東書	3	下	手ぶくろを買いに	101	……この手にちょうどいい手ぶくろちょうだいって言うんだよ。	手ぶくろ	文学	冬	
4965	東書	3	下	手ぶくろを買いに	101	……母さんぎつねが言い聞かせました。	きつね	文学	冬	
4966	東書	3	下	手ぶくろを買いに	101	……ぼうやのきつねは聞き返しました。	きつね	文学	冬	
4967	東書	3	下	手ぶくろを買いに	101	人間はね、相手がきつねだと分かると、……	きつね	文学	冬	
4968	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	……手ぶくろを売ってくれないんだよ。	手ぶくろ	文学	冬	
4969	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	……母さんのきつねは、持ってきた二つの白どうかを、……	きつね	文学	冬	
4970	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	子どものきつねは、町の灯をめあてに、雪明りの野原をよちよちやっていきました。	きつね	文学	冬	
4971	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	子どものきつねは、町の灯をめあてに、雪明りの野原をよちよちやっていきました。	雪	文学	冬	
4972	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	きつねの子どもはそれを見て、……	きつね	文学	冬	
4973	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	……道の雪の上に落ちているばかりでした。	雪	文学	冬	
4974	東書	3	下	手ぶくろを買いに	102	……きつねの子は、それを見ながら、ぼうし屋をさがしていきました。	きつね	文学	冬	
4975	東書	3	下	手ぶくろを買いに	103	……町にはじめて出てきた子ぎつねには、それらのものがいったい何であるか分からないのでした。	きつね	文学	冬	
4976	東書	3	下	手ぶくろを買いに	103	子ぎつねは教えられたとおり、トントンと戸をたたきました。	きつね	文学	冬	
4977	東書	3	下	手ぶくろを買いに	104	子ぎつねはその光がまばゆかったので、……すき間から	子ぎつね	文学	冬	

						さしこんでしまいました。				
4978	東書	3	下	手ぶくろを買いに	104	……光のおびが道の白い雪の上に長くのびました。	雪	文学	冬	
4979	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	このおててにちょうどいい手ぶくろをください。	手ぶくろ	文学	冬	
4980	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	きつねの手です。	きつね	文学	冬	
4981	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	きつねの手が手ぶくろをくれと言うのです。	きつね	文学	冬	
4982	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	きつねの手が手ぶくろをくれと言うのです。	手ぶくろ	文学	冬	
4983	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	これはきっと木の葉で買いに来たんだなと思いました。	木の葉	文学	冬	
4984	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	子ぎつねはすなおに、にぎってきた白どうかを二つ、ぼうし屋さんにわたしました。	きつね	文学	冬	
4985	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	……これは木の葉じゃない、ほんとのお金だと思いましたので、……	木の葉	文学	冬	
4986	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	……たなから子ども用の毛糸の手ぶくろを取り出してきて、……	毛糸	文学	冬	
4987	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	……たなから子ども用の毛糸の手ぶくろを取り出してきて、……	手ぶくろ	文学	冬	
4988	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	……子ぎつねの手に持たせてやりました。	きつね	文学	冬	
4989	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	子ぎつねは、お礼を言って、また、もと来た道を帰り始めました。	きつね	文学	冬	
4990	東書	3	下	手ぶくろを買いに	105	けれど子ぎつねは、いったい人間なんてどんなものか見たいと思いました。	きつね	文学	冬	
4991	東書	3	下	手ぶくろを買いに	106	子ぎつねは、その歌声は、きっと人間のお母さんの声にちがいないと思いました。	きつね	文学	冬	
4992	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	だって、子ぎつねがねむるときにも、やっぱり母さんぎつねは、あんなやさしい声でゆすぶってくれるからです。	きつね	文学	冬	
4993	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	だって、子ぎつねがねむるときにも、やっぱり母さんぎつねは、あんなやさしい声でゆすぶってくれるからです。	きつね	文学	冬	
4994	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母ちゃん、こんな寒い夜は、森の子ぎつねは寒い寒いっ	寒い	文学	冬	

						てないてるでしょうね。				
4995	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母ちゃん、こんな寒い夜は、森の子ぎつねは寒い寒いってないてるでしょうね。	きつね	文学	冬	
4996	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母ちゃん、こんな寒い夜は、森の子ぎつねは寒い寒いってないてるでしょうね。	寒い	文学	冬	
4997	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母ちゃん、こんな寒い夜は、森の子ぎつねは寒い寒いってないてるでしょうね。	寒い	文学	冬	
4998	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	森の子ぎつねもお母さんぎつねのお歌を聞いて、ほらあなの中でねむろうとしているでしょうね。	きつね	文学	冬	
4999	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	森の子ぎつねもお母さんぎつねのお歌を聞いて、ほらあなの中でねむろうとしているでしょうね。	きつね	文学	冬	
5000	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	森の子ぎつねとぼうやとどっちが早くねんねするか、……	きつね	文学	冬	
5001	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	それを聞くと、子ぎつねは急にお母さんがこいしくなって、母さんぎつねの待っている方へとんでいきました。	きつね	文学	冬	
5002	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	それを聞くと、子ぎつねは急にお母さんがこいしくなって、母さんぎつねの待っている方へとんでいきました。	きつね	文学	冬	
5003	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母さんぎつねは、心配しながら、ぼうやのきつねの帰ってくるのを、……	きつね	文学	冬	
5004	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	母さんぎつねは、心配しながら、ぼうやのきつねの帰ってくるのを、……	きつね	文学	冬	
5005	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	二ひきのきつねは森の方へ帰っていきました。	きつね	文学	冬	
5006	東書	3	下	手ぶくろを買いに	107	月が出たので、きつねの毛なみが銀色に光り、……	きつね	文学	冬	
5007	東書	3	下	手ぶくろを買いに	108	ちゃんとこんないいあたたかい手ぶくろくれたもの。	手ぶくろ	文学	冬	
5008	東書	3	下	手ぶくろを買いに	109	……手ぶくろのはまった両手をパンパンやってみせました。	手ぶくろ	文学	冬	
5009	東書	3	下	手ぶくろを買いに	109	母さんぎつねは、「まあ！」とあきれましたが、……	きつね	文学	冬	
5010	東書	3	下	どこかで春が	110	どこかで水が流れ出す	水が流れ出す	文学	春	
5011	東書	3	下	どこかで春が	110	どこかで「春」が生まれてる	春	文学	春	

5012	東書	3	下	どこかで春が	110	どこかでひばりがないている	ひばり	文学	春	
5013	東書	3	下	どこかで春が	110	どこかで芽の出る音がする	芽の出る	文学	春	
5014	東書	3	下	どこかで春が	110	山の三月東風ふいて	東風	文学	春	
5015	東書	3	下	どこかで春が	110	どこかで「春」が生まれてる	春	文学	春	
5016	東書	4	上	夏のわすれもの	51	夏休み、まさるは、毎日川へ遊びに行っていました。	夏休み	文学	夏	
5017	東書	4	上	夏のわすれもの	52	暑い暑い日だった。	暑い暑い	文学	夏	
5018	東書	4	上	夏のわすれもの	59	こんな暑い日なのに、しんじられないくらいすずしそうな顔をしていた。	暑い日	文学	夏	
5019	東書	4	上	春	1	山が雪ふるってせいのびするとほッ春だ。	雪	文学	冬	
5020	東書	4	上	春	1	山が雪ふるってせいのびするとほッ春だ。	春	文学	春	
5021	東書	4	上	春	2	梅がさいた。	梅	文学	春	
5022	東書	4	上	春	2	こぶしがさいた。	こぶし	文学	春	
5023	東書	4	上	春	2	いぬふぐり。	いぬふぐり	文学	春	
5024	東書	4	上	春	2	なのはな。	なのはな	文学	春	
5025	東書	4	上	春	2	春がとけて、ほどけて、ここらあたりのけしきをやさしい色にぬっていく。	春	文学	春	
5026	東書	4	上	ふしぎ	12	わたしはふしぎでたまらない、青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。	くわ	文学	春	
5027	東書	4	上	ふしぎ	12	わたしはふしぎでたまらない、青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。	かいこ	文学	春	
5028	東書	4	上	ふしぎ	13	わたしはふしぎでたまらない、たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでぱらりと開くのが。	夕顔	文学	夏	
5029	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	ヤドカリのなかまで、さんご礁に多いソメンヤドカリは、貝がらにイソギンチャクを付けて歩き回っています。	ヤドカリ	非文学	春	
5030	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	ヤドカリのなかまで、さんご礁に多いソメンヤドカリは、貝がらにイソギンチャクを付けて歩き回っています。	ヤドカリ	非文学	春	
5031	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	ヤドカリのなかまで、さんご礁に多いソメンヤドカリ	イソギンチャク	非文学	春	

						は、貝がらにイソギンチャクを付けて歩き回っています。				
5032	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	観察してみると、ソメンヤドカリは、たいてい二つから四つのベニヒモイソギンチャクを、貝がらの上に付けています。	ヤドカリ	非文学	春	
5033	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	観察してみると、ソメンヤドカリは、たいてい二つから四つのベニヒモイソギンチャクを、貝がらの上に付けています。	イソギンチャク	非文学	春	
5034	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	中には九つものイソギンチャクを付けていたヤドカリの例も記録されています。	イソギンチャク	非文学	春	
5035	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	中には九つものイソギンチャクを付けていたヤドカリの例も記録されています。	ヤドカリ	非文学	春	
5036	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	36	このようなヤドカリのすがたは、いかにも重そうに見えます。	ヤドカリ	非文学	春	
5037	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	それなのになぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらに付けているのでしょうか。	ヤドカリ	非文学	春	
5038	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	それなのになぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらに付けているのでしょうか。	イソギンチャク	非文学	春	
5039	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	おなかをすかせたタコのいる水そうに、イソギンチャクを付けていないヤドカリを放します。	イソギンチャク	非文学	春	
5040	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	おなかをすかせたタコのいる水そうに、イソギンチャクを付けていないヤドカリを放します。	ヤドカリ	非文学	春	
5041	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	タコはヤドカリが大好物なので、長いあしですぐヤドカリをつかまえ、貝がらをかみくだいて食べてしまいます。	タコ	非文学	夏	
5042	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	タコはヤドカリが大好物なので、長いあしですぐヤドカリをつかまえ、貝がらをかみくだいて食べてしまいます。	ヤドカリ	非文学	春	
5043	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	次に、イソギンチャクを付けているヤドカリを入れてみ	イソギンチャク	非文学	春	

						ます。				
5044	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	次に、イソギンチャクを付けているヤドカリを入れてみます。	ヤドカリ	非文学	春	
5045	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのばしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。	タコ	非文学	夏	
5046	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのばしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。	ヤドカリ	非文学	春	
5047	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	37	タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのばしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。	イソギンチャク	非文学	春	
5048	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	ヤドカリが近づくと、タコは後ずさりしたり、水そうの中をにげ回ったりします。	ヤドカリ	非文学	春	
5049	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	ヤドカリが近づくと、タコは後ずさりしたり、水そうの中をにげ回ったりします。	タコ	非文学	夏	
5050	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	イソギンチャクのしょく手は、何かがふれるとはりがとび出す仕組みになっています。	イソギンチャク	非文学	春	
5051	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	タコや魚はこのことをよく知っていて、イソギンチャクに近づこうとはしません。	イソギンチャク	非文学	春	
5052	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	タコや魚はこのことをよく知っていて、イソギンチャクに近づこうとはしません。	タコ	非文学	夏	
5053	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	それで、ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらに付けることで、敵から身を守ることができるのです。	ヤドカリ	非文学	春	
5054	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	それで、ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらに付けることで、敵から身を守ることができるのです。	イソギンチャク	非文学	春	
5055	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	では、ヤドカリは、石に付いたイソギンチャクを、どうやって自分の貝がらにうつすのでしょうか。	ヤドカリ	非文学	春	
5056	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	では、ヤドカリは、石に付いたイソギンチャクを、どう	イソギンチャク	非文学	春	

						やって自分の貝がらにうつすのでしょうか。				
5057	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	ヤドカリが、イソギンチャクのはりでさされることはないのでしょうか。	ヤドカリ	非文学	春	
5058	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	38	ヤドカリが、イソギンチャクのはりでさされることはないのでしょうか。	イソギンチャク	非文学	春	
5059	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリとイソギンチャクの関係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。	ヤドカリ	非文学	春	
5060	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリとイソギンチャクの関係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。	イソギンチャク	非文学	春	
5061	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリとイソギンチャクの関係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。	ヤドカリ	非文学	春	
5062	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリとイソギンチャクの関係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。	イソギンチャク	非文学	春	
5063	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ソメンヤドカリを飼っている水そうに、石などに付いたベニヒモイソギンチャクを入れます。	ヤドカリ	非文学	春	
5064	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ソメンヤドカリを飼っている水そうに、石などに付いたベニヒモイソギンチャクを入れます。	イソギンチャク	非文学	春	
5065	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリは、自分の貝がらにイソギンチャクを付けていても、イソギンチャクを見れば、いくつでもほしくなるようです。	ヤドカリ	非文学	春	
5066	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリは、自分の貝がらにイソギンチャクを付けていても、イソギンチャクを見れば、いくつでもほしくなるようです。	イソギンチャク	非文学	春	
5067	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	ヤドカリは、自分の貝がらにイソギンチャクを付けていても、イソギンチャクを見れば、いくつでもほしくなる	イソギンチャク	非文学	春	

						ようです。				
5068	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	39	すぐ近づいてきて、あしを使ってイソギンチャクの体をつついたり、両方のはさみで引っぱったりして、イソギンチャクをはがしてしまいます。	イソギンチャク	非文学	春	
5069	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	すぐ近づいてきて、あしを使ってイソギンチャクの体をつついたり、両方のはさみで引っぱったりして、イソギンチャクをはがしてしまいます。	イソギンチャク	非文学	春	
5070	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	ずいぶん手あらな方法に見えますが、イソギンチャクはしょく手をのばしたままで、いかにも気持ちよさそうに見えます。	イソギンチャク	非文学	春	
5071	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	では、イソギンチャクは、ヤドカリの貝がらに付くことで、何か利益があるのでしょうか。	イソギンチャク	非文学	春	
5072	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	では、イソギンチャクは、ヤドカリの貝がらに付くことで、何か利益があるのでしょうか。	ヤドカリ	非文学	春	
5073	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	ヤドカリに付いていないベニヒモイソギンチャクは、ほとんど動きません。	ヤドカリ	非文学	春	
5074	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	ヤドカリに付いていないベニヒモイソギンチャクは、ほとんど動きません。	イソギンチャク	非文学	春	
5075	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	しかし、ヤドカリに付いていれば、いろいろな場所に移動することができるので、その結果、えさをとる機会がふえます。	ヤドカリ	非文学	春	
5076	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	また、ヤドカリに付いていると、ヤドカリの食べ残しをもらうこともできるのです。	ヤドカリ	非文学	春	
5077	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	また、ヤドカリに付いていると、ヤドカリの食べ残しをもらうこともできるのです。	ヤドカリ	非文学	春	
5078	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	さんご礁の美しい海では、いくつものベニヒモイソギンチャクを貝がらに付けた、ソメンヤドカリを見ることができます。	イソギンチャク	非文学	春	
5079	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	さんご礁の美しい海では、いくつものベニヒモイソギン	ヤドカリ	非文学	春	

						チャクを貝がらに付けた、ソメンヤドカリを見ることができます。				
5080	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	ヤドカリとイソギンチャクは、このように、たがいに助け合って生きているのです。	ヤドカリ	非文学	春	
5081	東書	4	上	ヤドカリとイソギンチャク	40	ヤドカリとイソギンチャクは、このように、たがいに助け合って生きているのです。	イソギンチャク	非文学	春	
5082	東書	4	上	電話で伝え合おう	44	ぼく、夏実さんと同じ組の坂田です。	夏	その他	夏	
5083	東書	4	上	電話で伝え合おう	44	夏実さんはいらっしゃいますか。	夏	その他	夏	
5084	東書	4	上	電話で伝え合おう	44	夏実は、まだ、帰ってきていないのよ。	夏	その他	夏	
5085	東書	4	上	電話で伝え合おう	45	夏実に伝えるわね。	夏	その他	夏	
5086	東書	4	上	夏のわすれもの	52	まどの風りんはチリンとも鳴らない。	風りん	文学	夏	
5087	東書	4	上	夏のわすれもの	53	かずえをにらみ返して、ぼくはビーチサンダルをはいた。	ビーチサンダル	文学	夏	
5088	東書	4	上	夏のわすれもの	53	ぼくはうき輪をおじいちゃんに見せて、かけだした。	うき輪	文学	夏	
5089	東書	4	上	夏のわすれもの	54	「ふんすい岩」には、もういっちゃんたちが来ていた。	ふんすい	文学	夏	
5090	東書	4	上	夏のわすれもの	54	真ん中のひときわ大きい岩のことを、ぼくら、この町の子どもたちはふんすい岩とよんでいた。	ふんすい	文学	夏	
5091	東書	4	上	夏のわすれもの	54	ぼくはうき輪を置いて、急いでランニングと半ズボンをぬいだ。	うき輪	文学	夏	
5092	東書	4	上	夏のわすれもの	54	ぼくはうき輪を置いて、急いでランニングと半ズボンをぬいだ。	ランニング	文学	夏	
5093	東書	4	上	夏のわすれもの	54	ぼくはうき輪を置いて、急いでランニングと半ズボンをぬいだ。	半ズボン	文学	夏	
5094	東書	4	上	夏のわすれもの	55	プールの水とちがって、川の水はびっくりするくらいつめたい。	プール	文学	夏	
5095	東書	4	上	夏のわすれもの	55	ふんすい岩のてっぺんに立って、思いっ切り息をすいこんだ。	ふんすい	文学	夏	
5096	東書	4	上	夏のわすれもの	56	ふんすい岩よりも高い所で、両手と両足がすうっと開いた。	ふんすい	文学	夏	

5097	東書	4	上	夏のわすれもの	57	ムササビは、一直線に秋川の流れにすいこまれていった。	ムササビ	文学	冬	
5098	東書	4	上	夏のわすれもの	57	川上から流したうき輪に足から飛びこんで、命中率をきそうゲームだ。	うき輪	文学	夏	
5099	東書	4	上	夏のわすれもの	57	うき輪を三回くぐりぬけたときだった。	うき輪	文学	夏	
5100	東書	4	上	夏のわすれもの	57	にぎやかだったふんすい岩から音が消えた。	ふんすい	文学	夏	
5101	東書	4	上	夏のわすれもの	59	夏休みになったら、草取りをするって約束したのに、ぼくはまだ一度も手伝っていなかった。	夏休み	文学	夏	
5102	東書	4	上	夏のわすれもの	59	おじいちゃんのかぶっていた麦わらぼうしが、すみのちゃぶ台の上に置いてあった。	麦わらぼうし	文学	夏	
5103	東書	4	上	夏のわすれもの	59	麦わらぼうしがさびしそうだった。	麦わらぼうし	文学	夏	
5104	東書	4	上	夏のわすれもの	60	おそう式も暑い日だった。	暑い	文学	夏	
5105	東書	4	上	夏のわすれもの	60	おきょうのとちゅう、セミがいっせいに鳴きだしたので、ぼくは外を見た。	セミ	文学	夏	
5106	東書	4	上	夏のわすれもの	60	おじいちゃんが、だいじに育てたひまわりが、黄色い麦わらぼうしのような、大きな花をさかせていた。	ひまわり	文学	夏	
5107	東書	4	上	夏のわすれもの	60	おじいちゃんが、だいじに育てたひまわりが、黄色い麦わらぼうしのような、大きな花をさかせていた。	麦わらぼうし	文学	夏	
5108	東書	4	上	夏のわすれもの	60	夏休みも残り少なくなったのに、ぼくは相かわらず、ふんすい岩通いを続けていた。	夏休み	文学	夏	
5109	東書	4	上	夏のわすれもの	60	夏休みも残り少なくなったのに、ぼくは相かわらず、ふんすい岩通いを続けていた。	ふんすい	文学	夏	
5110	東書	4	上	夏のわすれもの	61	ふくらませていたうき輪を、ぼくからうばい取って投げすてた。	うき輪	文学	夏	
5111	東書	4	上	夏のわすれもの	61	セミまでが、川へ「コーイ、コイコイコイ……。」と、鳴いていた。	セミ	文学	夏	
5112	東書	4	上	夏のわすれもの	61	セミの声に合わせて、えん筆でちゃぶ台をたたいた。	セミ	文学	夏	
5113	東書	4	上	夏のわすれもの	62	おばあちゃんが、麦わらぼうしをぼくの前に置いた。	麦わらぼうし	文学	夏	
5114	東書	4	上	夏のわすれもの	62	ぼくはうき輪と麦わらぼうしをかかえて、部屋を飛び出	うき輪	文学	夏	

						した。				
5115	東書	4	上	夏のわすれもの	62	ぼくはうき輪と麦わらぼうしをかかえて、部屋を飛び出した。	麦わらぼうし	文学	夏	
5116	東書	4	上	夏のわすれもの	62	麦わらぼうしをかぶろうとしたぼくの目に、とつぜん黄金の光が飛びこんできた。	麦わらぼうし	文学	夏	
5117	東書	4	上	夏のわすれもの	62	ひまわり畑だった。	ひまわり	文学	夏	
5118	東書	4	上	夏のわすれもの	62	そこにひまわり畑があるのは知っていた。	ひまわり	文学	夏	
5119	東書	4	上	夏のわすれもの	62	だけど、今日はそのひまわり畑が、いつもとちがって見えた。	ひまわり	文学	夏	
5120	東書	4	上	夏のわすれもの	62	ひまわりは、おじいちゃんの大好きだった花だ。	ひまわり	文学	夏	
5121	東書	4	上	夏のわすれもの	62	庭にひまわりを植えながら、「まさる、ひまわりはなあ、小さな太陽だ。太陽と同じ明るさをくれる花だよ……。まさるも、ひまわりのようになればいいなあ……。」	ひまわり	文学	夏	
5122	東書	4	上	夏のわすれもの	62	庭にひまわりを植えながら、「まさる、ひまわりはなあ、小さな太陽だ。太陽と同じ明るさをくれる花だよ……。まさるも、ひまわりのようになればいいなあ……。」	ひまわり	文学	夏	
5123	東書	4	上	夏のわすれもの	62	庭にひまわりを植えながら、「まさる、ひまわりはなあ、小さな太陽だ。太陽と同じ明るさをくれる花だよ……。まさるも、ひまわりのようになればいいなあ……。」	ひまわり	文学	夏	
5124	東書	4	上	夏のわすれもの	63	おじいちゃんの麦わらぼうしをかぶった。	麦わらぼうし	文学	夏	
5125	東書	4	上	夏のわすれもの	63	ふり返ると、ひまわり畑は、悲しいほど明るく、にぎやかに見えた。	ひまわり	文学	夏	
5126	東書	4	上	夏のわすれもの	63	じいちゃん、ぼく、ひまわりのようになるからね。	ひまわり	文学	夏	
5127	東書	4	上	夏のわすれもの	63	麦わらぼうしのひさしを上げて、ぼくは川へ続く道に出た。	麦わらぼうし	文学	夏	
5128	東書	4	上	自分新聞を作ろう	69	もうすぐ夏休み。	夏休み	その他	夏	
5129	東書	4	上	自分新聞を作ろう	69	花火大会や夏祭りが楽しみです。	花火	その他	夏	
5130	東書	4	上	自分新聞を作ろう	69	花火大会や夏祭りが楽しみです。	夏祭り	その他	夏	
5131	東書	4	上	ポレポレ	95	運動場の周囲の木々は、太陽の光を浴びて、わか葉がか	わか葉	文学	夏	

						がやいていた。				
5132	東書	4	上	ポレポレ	97	明日から夏休み。	夏休み	文学	夏	
5133	東書	4	上	ポレポレ	98	ピーターは、ライトを持って先に歩き、ぼくは、かにさされながら、後ろからついていった。	か	文学	夏	
5134	東書	4	上	ポレポレ	102	ぼくたちは、ピーターのお見まいが、夏休みの宿題になった。	夏休み	文学	夏	
5135	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	でも、万年雪をかぶった高い山が連なり、森や見わたす限りの大草原もあって、春になれば花がさきみだれ、夏になれば、果物がたわわに実る美しい自然がいっぱいの国です。	花がさきみだれ	文学	春	
5136	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	でも、万年雪をかぶった高い山が連なり、……	雪	文学	冬	
5137	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	……春になれば花がさきみだれ、……	春	文学	春	
5138	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	……夏になれば、果物がたわわに実る美しい自然がいっぱいの国です。	夏	文学	夏	
5139	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	……あんずや、すももや、さくらんぼをもぎ取ります。	あんず	文学	夏	
5140	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	……あんずや、すももや、さくらんぼをもぎ取ります。	すもも	文学	夏	
5141	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	6	……あんずや、すももや、さくらんぼをもぎ取ります。	さくらんぼ	文学	夏	
5142	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	あんず、なったか、すもも、なったか。	あんず	文学	夏	
5143	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	あんず、なったか、すもも、なったか。	すもも	文学	夏	
5144	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	真っ赤な頭のさくらんぼ。	さくらんぼ	文学	夏	
5145	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	ヤモも、兄さんのハルーンと競争でかごいっぱいのすももやさくらんぼを取ります。	すもも	文学	夏	
5146	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	ヤモも、兄さんのハルーンと競争でかごいっぱいのすももやさくらんぼを取ります。	さくらんぼ	文学	夏	
5147	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	7	でも、今年の夏、兄さんはいません。	夏	文学	夏	
5148	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	8	あまいすももと真っ赤なさくらんぼが、……	すもも	文学	夏	
5149	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	8	あまいすももと真っ赤なさくらんぼが、……	さくらんぼ	文学	夏	
5150	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	9	父さんはこの広場ですももを売るから、……	すもも	文学	夏	
5151	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	9	……ヤモは、町の中を回ってさくらんぼを売ってごら	さくらんぼ	文学	夏	

						ん。				
5152	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	10	さくらんぼ！	さくらんぼ	文学	夏	
5153	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	10	パグマンのさくらんぼ！	さくらんぼ	文学	夏	
5154	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	10	パグマンのさくらんぼ、ちょうだい！	さくらんぼ	文学	夏	
5155	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	11	おじさんは、さくらんぼを口に入れると、大きな声で言いました。	さくらんぼ	文学	夏	
5156	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	11	パグマンのさくらんぼは世界一だ。	さくらんぼ	文学	夏	
5157	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	12	……ヤモのさくらんぼは、飛ぶように売れました。	さくらんぼ	文学	夏	
5158	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	12	ヤモは、まだ半分以上も売れ残ったすももの前にいる父さんの所へ行きました。	すもも	文学	夏	
5159	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	12	パグマンのさくらんぼは、世界一だって。	さくらんぼ	文学	夏	
5160	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	12	ヤモは、ひとにぎりのさくらんぼを取り出しました。	さくらんぼ	文学	夏	
5161	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	13	来年の春には帰ると言ってたんですがね。	春	文学	春	
5162	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	13	……きっと春には元気に帰ってくると、ヤモは信じています。	春	文学	春	
5163	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	13	残りのすももを売ってしまわなくちゃ。	すもも	文学	夏	
5164	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	14	ヤモは、最後に残ったさくらんぼを大切に食べると、……	さくらんぼ	文学	夏	
5165	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	14	ヤモは、すももを売りながら、ずっと父さんの言ったことを考えていました。	すもも	文学	夏	
5166	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	14	ようやく、すももも全部売れました。	すもも	文学	夏	
5167	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	15	……「バハール(春)」という名前を付けようと思いました。	春	文学	春	
5168	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	15	でも、春はまだ先です。	春	文学	春	
5169	東書	4	下	世界一美しいぼくの村	16	その年の冬、村は戦争ではかいされ、今はもうありません。	冬	文学	冬	
5170	東書	4	下	心の目を開いて	21	……最初は固くて冷たかった。	冷たかった	その他	冬	
5171	東書	4	下	心の目を開いて	21	そうだ、コスモスをかこう。	コスモス	その他	秋	
5172	東書	4	下	心の目を開いて	21	冷たい土が自分のお皿になっていくんだね。	冷たい	その他	冬	

5173	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	24	御前崎町は、カツオ漁を中心に発てんした町です。	カツオ	非文学	夏	
5174	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	24	ウミガメがカツオの群れの近くを泳いでいることがあり、……	カツオ	非文学	夏	
5175	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	24	……その様子が、カツオを連れているように見えるからです。	カツオ	非文学	夏	
5176	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	26	……タヌキなどに食べられたりすることが多くなりました。	タヌキ	非文学	冬	
5177	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	28	……花火の音などが聞こえてくると、ウミガメは、……	花火	非文学	夏	
5178	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	29	……夏が終わるとほっとします。	夏	非文学	夏	
5179	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	30	……夏がすぎてからふ化するものがあります。	夏	非文学	夏	
5180	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	30	秋になって生まれた子ガメを、冷たくなってきた海に放すのは心配です。	秋	非文学	秋	
5181	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	30	秋になって生まれた子ガメを、冷たくなってきた海に放すのは心配です。	冷たく	非文学	冬	
5182	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	30	……次の夏が来るまで、五年生全員の手で育てられます。	夏	非文学	夏	
5183	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	30	……次の年の初夏、あたたかくなってきた海に放してやります。	初夏	非文学	夏	
5184	東書	4	下	ウミガメのはまを守る	31	……毎年初夏、全校をあげて海岸のせいそうを行っています。	初夏	非文学	夏	
5185	東書	4	下	言葉の広場	38	暑さ	暑さ	その他	夏	
5186	東書	4	下	言葉の広場	38	寒さ	寒さ	その他	冬	
5187	東書	4	下	活動ほう告を書こう	41	メダカ池は、日本からいなくなりそうなクロメダカを育ててふやすために作ったのに、……	メダカ	その他	夏	
5188	東書	4	下	活動ほう告を書こう	41	メダカ池は、日本からいなくなりそうなクロメダカを育ててふやすために作ったのに、……	メダカ	その他	夏	
5189	東書	4	下	活動ほう告を書こう	41	……だいじに育てた木の実だから、大切にしてほしい。	木の実	その他	秋	
5190	東書	4	下	活動ほう告を書こう	41	メダカ池	メダカ	その他	夏	
5191	東書	4	下	活動ほう告を書こう	41	落ち葉ボックスなどのしょうかい	落ち葉	その他	冬	

5192	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	クロメダカ・トンボをふやす。	メダカ	その他	夏	
5193	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	クロメダカ・トンボをふやす。	トンボ	その他	秋	
5194	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	メダカ池	メダカ	その他	夏	
5195	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	日本からいなくなりそうなクロメダカを守り、ふやす。	メダカ	その他	夏	
5196	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	トンボのよう虫であるヤゴを育て、トンボをふやす。	トンボ	その他	秋	
5197	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	トンボのよう虫であるヤゴを育て、トンボをふやす。	トンボ	その他	秋	
5198	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	実のなる木と落ち葉ボックス	落ち葉	その他	冬	
5199	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	落ち葉ボックスの落ち葉でたいひ作りなどをする。	落ち葉	その他	冬	
5200	東書	4	下	活動ほう告を書こう	42	落ち葉ボックスの落ち葉でたいひ作りなどをする。	落ち葉	その他	冬	
5201	東書	4	下	活動ほう告を書こう	43	メダカ池	メダカ	その他	夏	
5202	東書	4	下	活動ほう告を書こう	43	実のなる木と落ち葉ボックス	落ち葉	その他	冬	
5203	東書	4	下	活動ほう告を書こう	43	木の実を取らないで	木の実	その他	秋	
5204	東書	4	下	活動ほう告を書こう	44	……プールのとなりにある、池や林のある場所のことです。	プール	その他	夏	
5205	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	クロメダカやトンボをふやすことと、……	メダカ	その他	夏	
5206	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	クロメダカやトンボをふやすことと、……	トンボ	その他	秋	
5207	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	まず、メダカ池があります。	メダカ	その他	夏	
5208	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	……日本からすがたを消しそうなクロメダカを育ててふやすための池です。	メダカ	その他	夏	
5209	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	ポンプを使ってメダカの好きな流れを作ったり、……	メダカ	その他	夏	
5210	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	これはトンボのよう虫であるヤゴを育て、……	トンボ	その他	秋	
5211	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	……トンボをふやすための池です。	トンボ	その他	秋	
5212	東書	4	下	活動ほう告を書こう	45	ほかにゲンゴロウなどの水にすむこん虫もいます。	ゲンゴロウ	その他	夏	
5213	東書	4	下	活動ほう告を書こう	46	木の実は、野鳥のえさのなるものなので、……	木の実	その他	秋	
5214	東書	4	下	活動ほう告を書こう	46	また、クロメダカやヤゴはたいへん弱い生き物なので、……	メダカ	その他	夏	
5215	東書	4	下	活動ほう告を書こう	46	……ザリガニなどメダカやヤゴを食べてしまう生き物をぜったいに池に入れないでください。	メダカ	その他	夏	
5216	東書	4	下	ごんぎつね	63	……ひとりぼっちの子ぎつねがすんでいました。	きつね	文学	冬	

5217	東書	4	下	ごんぎつね	64	畑に入っていもをほり散らしたり、……とんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。	いも	文学	秋	
5218	東書	4	下	ごんぎつね	64	……「ごんぎつね」というきつねがいました。	きつね	文学	冬	
5219	東書	4	下	ごんぎつね	64	ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、……	きつね	文学	冬	
5220	東書	4	下	ごんぎつね	64	……ひゃくしょうの家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、……	とんがらし	文学	秋	
5221	東書	4	下	ごんぎつね	64	菜種がらのほしてあるのに火をつけて、いったり	菜種がら	文学	夏	
5222	東書	4	下	ごんぎつね	65	ある秋のことでした。	秋	文学	秋	
5223	東書	4	下	ごんぎつね	65	……もずの声がきんきんひびいていました。	もず	文学	秋	
5224	東書	4	下	ごんぎつね	65	辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。	すすき	文学	秋	
5225	東書	4	下	ごんぎつね	65	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	すすき	文学	秋	
5226	東書	4	下	ごんぎつね	65	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	はぎ	文学	秋	
5227	東書	4	下	ごんぎつね	66	……円いはぎの葉が一まい、大きなほくろみたいにへばりついていました。	はぎ	文学	秋	
5228	東書	4	下	ごんぎつね	67	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	うなぎ	文学	夏	
5229	東書	4	下	ごんぎつね	67	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	きす	文学	夏	
5230	東書	4	下	ごんぎつね	67	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	うなぎ	文学	夏	
5231	東書	4	下	ごんぎつね	67	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	きす	文学	夏	
5232	東書	4	下	ごんぎつね	68	いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、……	うなぎ	文学	夏	
5233	東書	4	下	ごんぎつね	68	……うなぎの頭を口にくわえました。	うなぎ	文学	夏	
5234	東書	4	下	ごんぎつね	68	うなぎは、キュッといって、ごんの首へまき付きました。	うなぎ	文学	夏	
5235	東書	4	下	ごんぎつね	68	うわあ、ぬすとぎつねめ。	きつね	文学	冬	
5236	東書	4	下	ごんぎつね	68	うなぎをふりすててにげようとしましたが、……	うなぎ	文学	夏	
5237	東書	4	下	ごんぎつね	68	……うなぎは、ごんの首にまき付いたままはなれません。	うなぎ	文学	夏	

5238	東書	4	下	ごんぎつね	69	ごんはほっとして、うなぎの頭をかみくだき、……	うなぎ	文学	夏	
5239	東書	4	下	ごんぎつね	69	……そこの、いちじくの木のかげで、弥助の家内が、……	いちじく	文学	秋	
5240	東書	4	下	ごんぎつね	69	秋祭りかな。	秋祭り	文学	秋	
5241	東書	4	下	ごんぎつね	69	祭りなら、たいこや笛の音がしそうなものだ。	祭り	文学	夏	
5242	東書	4	下	ごんぎつね	70	墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いていました。	ひがんばな	文学	秋	
5243	東書	4	下	ごんぎつね	70	人々が通ったあとには、ひがんばながふみおられていました。	ひがんばな	文学	秋	
5244	東書	4	下	ごんぎつね	70	いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、……	さつまいも	文学	秋	
5245	東書	4	下	ごんぎつね	70	……うなぎが食べたいと言ったにちがいない。	うなぎ	文学	夏	
5246	東書	4	下	ごんぎつね	71	ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。	うなぎ	文学	夏	
5247	東書	4	下	ごんぎつね	71	だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。	うなぎ	文学	夏	
5248	東書	4	下	ごんぎつね	71	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
5249	東書	4	下	ごんぎつね	71	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
5250	東書	4	下	ごんぎつね	71	兵十が、赤いいどの所で、麦をといでいました。	麦	文学	夏	
5251	東書	4	下	ごんぎつね	72	……どこかでいわしを売る声がします。	いわし	文学	秋	
5252	東書	4	下	ごんぎつね	72	いわしの安売りだあい。	いわし	文学	秋	
5253	東書	4	下	ごんぎつね	72	いきのいい、いわしだあい。	いわし	文学	秋	
5254	東書	4	下	ごんぎつね	72	いわしをおくれ。	いわし	文学	秋	
5255	東書	4	下	ごんぎつね	72	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
5256	東書	4	下	ごんぎつね	72	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	

5257	東書	4	下	ごんぎつね	72	……ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、……	いわし	文学	秋	
5258	東書	4	下	ごんぎつね	73	……かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、……	いわし	文学	秋	
5259	東書	4	下	ごんぎつね	73	……うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。	いわし	文学	秋	
5260	東書	4	下	ごんぎつね	73	……まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。	麦	文学	夏	
5261	東書	4	下	ごんぎつね	73	ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。	うなぎ	文学	夏	
5262	東書	4	下	ごんぎつね	73	……ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、……	くり	文学	秋	
5263	東書	4	下	ごんぎつね	74	いったい、だれが、いわしなんかを、……	いわし	文学	秋	
5264	東書	4	下	ごんぎつね	74	……いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。	いわし	文学	秋	
5265	東書	4	下	ごんぎつね	74	かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、……	いわし	文学	秋	
5266	東書	4	下	ごんぎつね	75	……その入り口に、くりを置いて帰りました。	くり	文学	秋	
5267	東書	4	下	ごんぎつね	75	……ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。	くり	文学	秋	
5268	東書	4	下	ごんぎつね	75	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	くり	文学	秋	
5269	東書	4	下	ごんぎつね	75	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	松たけ	文学	秋	
5270	東書	4	下	ごんぎつね	75	……松虫が鳴いています。	松虫	文学	秋	
5271	東書	4	下	ごんぎつね	75	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	くり	文学	秋	
5272	東書	4	下	ごんぎつね	75	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	松たけ	文学	秋	
5273	東書	4	下	ごんぎつね	76	そのくりを見せてやるよ。	くり	文学	秋	
5274	東書	4	下	ごんぎつね	78	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	くり	文学	秋	

5275	東書	4	下	ごんぎつね	78	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	松たけ	文学	秋	
5276	東書	4	下	ごんぎつね	78	……ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。	くり	文学	秋	
5277	東書	4	下	ごんぎつね	79	……きつねがうちの中へ入ったではありませんか。	きつね	文学	冬	
5278	東書	4	下	ごんぎつね	79	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	うなぎ	文学	夏	
5279	東書	4	下	ごんぎつね	79	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	きつね	文学	冬	
5280	東書	4	下	ごんぎつね	79	うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてあるのが目につきました。	くり	文学	秋	
5281	東書	4	下	ごんぎつね	80	いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
5282	東書	4	下	一年間の思い出をしょうかいしよう	89	秋の自然教室で行った森林公園で、……	秋	その他	秋	
5283	東書	4	下	一年間の思い出をしょうかいしよう	89	木の葉かるたとり	木の葉	その他	冬	
5284	東書	4	下	一つの花	98	食べるものといえば、お米の代わりに配給される、おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした。	いも	文学	秋	
5285	東書	4	下	一つの花	98	……おいもや、豆や、かぼちゃしかありませんでした。	かぼちゃ	文学	秋	
5286	東書	4	下	一つの花	100	一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけ……。	いも	文学	秋	
5287	東書	4	下	一つの花	100	……一つだけのかぼちゃのにつけ……。	かぼちゃ	文学	秋	
5288	東書	4	下	一つの花	102	……コスモスの花を見つけたのです。	コスモスの花	文学	秋	
5289	東書	4	下	一つの花	102	……一輪のコスモスの花がありました。	コスモスの花	文学	秋	
5290	東書	4	下	一つの花	104	……コスモスの花でいっぱいに包まれています。	コスモスの花	文学	秋	
5291	東書	4	下	一つの花	104	……ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました。	コスモス	文学	秋	
5292	東書	4	下	一つの花	105	……スキップをしながらコスモスのトンネルをくぐって出てきました。	コスモス	文学	秋	
5293	東書	4	下	清水	109	野中の水は、上に木の葉がうかんでいる。	木の葉	文学	冬	
5294	東書	4	下	清水	109	木の葉をかきのけて、底のわきたたぬように、中ほどの	木の葉	文学	冬	

						水をくんでこい。				
5295	東書	4	下	清水	112	夏、かやをつってねさせぬというが、思うてもみよ。	夏	文学	夏	
5296	東書	4	下	清水	112	夏、かやをつってねさせぬというが、思うてもみよ。	かや(蚊帳)	文学	夏	
5297	東書	4	下	清水	112	夏、かやをつらずに何とねられるものじゃ。	夏	文学	夏	
5298	東書	4	下	清水	112	夏、かやをつらずに何とねられるものじゃ。	かや(蚊帳)	文学	夏	
5299	東書	4	下	清水	112	今から、かやをつってねさせるか。	かや(蚊帳)	文学	夏	
5300	東書	5	上	山頂から	14	なだれおちるような若葉みどりのなか。	若葉	文学	夏	
5301	東書	5	上	山頂から	14	かっこうがないている。	かっこう	文学	夏	
5302	東書	5	上	動物の体	35	冬には雪と氷にとざされてしまう所にすんでいる動物。	冬	非文学	冬	
5303	東書	5	上	動物の体	35	冬には雪と氷にとざされてしまう所にすんでいる動物。	雪	非文学	冬	
5304	東書	5	上	動物の体	35	冬には雪と氷にとざされてしまう所にすんでいる動物。	氷	非文学	冬	
5305	東書	5	上	動物の体	36	……逆に、冬にはマイナス数十度にまで下がり、雪と氷にとざされてしまう所もある。	冬	非文学	冬	
5306	東書	5	上	動物の体	36	……逆に、冬にはマイナス数十度にまで下がり、雪と氷にとざされてしまう所もある。	雪	非文学	冬	
5307	東書	5	上	動物の体	36	……逆に、冬にはマイナス数十度にまで下がり、雪と氷にとざされてしまう所もある。	氷	非文学	冬	
5308	東書	5	上	動物の体	37	実際に、寒い地方にすむホッキョクギツネは、まるくて小さい耳をしている。	キツネ	非文学	冬	
5309	東書	5	上	動物の体	38	ニホンシカを例にとってみると、北海道のエゾシカ、本州、四国、九州のホンシュウシカ、屋久島のヤクシカ、沖縄のケラマジカと、北から南にいくにつれて体格が小さくなっていく。	シカ	非文学	秋	
5310	東書	5	上	動物の体	38	ニホンシカを例にとってみると、北海道のエゾシカ、本州、四国、九州のホンシュウシカ、屋久島のヤクシカ、沖縄のケラマジカと、北から南にいくにつれて体格が小さくなっていく。	シカ	非文学	秋	
5311	東書	5	上	動物の体	38	ニホンシカを例にとってみると、北海道のエゾシカ、本州、四国、九州のホンシュウシカ、屋久島のヤクシカ、	シカ	非文学	秋	

						沖縄のケラマジカと、北から南にいくにつれて体格が小さくなっていく。				
5312	東書	5	上	動物の体	38	ニホンシカを例にとってみると、北海道のエゾシカ、本州、四国、九州のホンシュウシカ、屋久島のヤクシカ、沖縄のケラマジカと、北から南にいくにつれて体格が小さくなっていく。	シカ	非文学	秋	
5313	東書	5	上	動物の体	38	ニホンシカを例にとってみると、北海道のエゾシカ、本州、四国、九州のホンシュウシカ、屋久島のヤクシカ、沖縄のケラマジカと、北から南にいくにつれて体格が小さくなっていく。	シカ	非文学	秋	
5314	東書	5	上	動物の体	39	ニホンカモシカは、日本の山がく地帯にすんでいる。	シカ	非文学	秋	
5315	東書	5	上	動物の体	39	ニホンカモシカの冬毛は、実にりっぱである。	シカ	非文学	秋	
5316	東書	5	上	動物の体	39	ニホンカモシカの冬毛は、実にりっぱである。	冬	非文学	冬	
5317	東書	5	上	動物の体	39	カモシカたちは、雪がふっているのに、物かげにも入らず、雪にうもれてすわっているときがあるが、……	シカ	非文学	秋	
5318	東書	5	上	動物の体	39	カモシカたちは、雪がふっているのに、物かげにも入らず、雪にうもれてすわっているときがあるが、……	雪	非文学	冬	
5319	東書	5	上	動物の体	39	カモシカたちは、雪がふっているのに、物かげにも入らず、雪にうもれてすわっているときがあるが、……	雪	非文学	冬	
5320	東書	5	上	会話をはずませよう	45	梅木さんのクラスをのぞいてみましょう。	梅	その他	春	
5321	東書	5	上	会話をはずませよう	46	梅木さんと竹田さんの会話について考えてみましょう。	梅	その他	春	
5322	東書	5	上	会話をはずませよう	49	父さんと、ゆずのクッキーを作ったんだ。	ゆず	その他	秋	
5323	東書	5	上	会話をはずませよう	49	ゆずなんてめずらしいね。	ゆず	その他	秋	
5324	東書	5	上	ちかい	56	見上げると、暑い午後の日差しの中をハゲワシがまっていた。	わし	文学	冬	
5325	東書	5	上	相手や目的を考えて	66	去年は、きくの花をはちで育てたり、ミニトマトのなえを花だんに植えたりしました。	きく	その他	秋	
5326	東書	5	上	相手や目的を考えて	67	去年の学習発表会で、ぶ台をかざったきくの花をおぼえていますか。	きく	その他	秋	

5327	東書	5	上	相手や目的を考えて	67	そして、さいた白や黄色のきくの花は、学習発表会のぶ台をかざりました。	きく	その他	秋	
5328	東書	5	上	大造じいさんとがん	88	今年も、残雪は、がんの群れを率いて、ぬま地にやってきました。	がん	文学	秋	
5329	東書	5	上	大造じいさんとがん	88	残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。	がん	文学	秋	
5330	東書	5	上	大造じいさんとがん	88	残雪は、このぬま地に集まるがんの頭領らしい、なかなかりこうなやつで、……	がん	文学	秋	
5331	東書	5	上	大造じいさんとがん	88	……いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のがんも手に入れることができなくなったので、……	がん	文学	秋	
5332	東書	5	上	大造じいさんとがん	89	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面にくいを打ちこんで、たにしを付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	がん	文学	秋	
5333	東書	5	上	大造じいさんとがん	89	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面にくいを打ちこんで、たにしを付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	たにし	文学	春	
5334	東書	5	上	大造じいさんとがん	89	それは、いつもがんのえさをあさる辺り一面にくいを打ちこんで、たにしを付けたうなぎばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	うなぎ	文学	夏	
5335	東書	5	上	大造じいさんとがん	89	じいさんは、一晩じゅうかかって、たくさんのうなぎばりをしかけておきました。	うなぎ	文学	夏	
5336	東書	5	上	大造じいさんとがん	89	一羽だけであったが、生きているがんがうまく手に入ったので、じいさんはうれしく思いました。	がん	文学	秋	
5337	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	がんの群れは、この危険を感じて、え場を変えたらしく、辺りには、一羽も見えませんでした。	がん	文学	秋	
5338	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	秋の日が美しく輝いていました。	秋	文学	秋	
5339	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	じいさんがぬま地に姿を現すと、大きな羽音とともに、がんの大群が飛び立ちました。	がん	文学	秋	
5340	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	つりばりをしかけておいた辺りで、確かにがんがえさを	がん	文学	秋	

						あさったけいせきがあるのに、今日は一羽もはりにかかっていません。				
5341	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	がんは、昨日の失敗にこりて、えさを、すぐには飲みこまないで、……	がん	文学	秋	
5342	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	がんとか、かもとかいう鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないといわれていますが、……	がん	文学	秋	
5343	東書	5	上	大造じいさんとがん	90	がんとか、かもとかいう鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないといわれていますが、……	かも	文学	冬	
5344	東書	5	上	大造じいさんとがん	91	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	夏	文学	夏	
5345	東書	5	上	大造じいさんとがん	91	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、たにしを五俵ばかり集めておきました。	たにし	文学	春	
5346	東書	5	上	大造じいさんとがん	91	そして、それを、がんの好みそうな場所にばらまいておきました。	がん	文学	秋	
5347	東書	5	上	大造じいさんとがん	91	がんの群れは、思わぬごちそうが四、五日も続いたので、……	がん	文学	秋	
5348	東書	5	上	大造じいさんとがん	91	そして、ねぐらをぬけ出して、このえ場にやってくる、がんの群れを待っているのでした。	がん	文学	秋	
5349	東書	5	上	大造じいさんとがん	92	ぬま地にやってくるがんの姿が、かなたの空に、黒く点々と見えだしました。	がん	文学	秋	
5350	東書	5	上	大造じいさんとがん	93	今年もまた、ぽつぽつ、例のぬま地にがんの来る季節になりました。	がん	文学	秋	
5351	東書	5	上	大造じいさんとがん	93	じいさんが小屋に入ると、一羽のがんが、羽をばたつかせながら、じいさんに飛びついてきました。	がん	文学	秋	
5352	東書	5	上	大造じいさんとがん	93	このがんは、二年前、じいさんがつりばりの計略で生けどったものだったのです。	がん	文学	秋	
5353	東書	5	上	大造じいさんとがん	93	大造じいさんは、がんがどんぶりからえさを食べているのを、……	がん	文学	秋	
5354	東書	5	上	大造じいさんとがん	94	じいさんは、長年の経験で、がんは、いちばん最初に飛	がん	文学	秋	

						び立ったものの後について飛ぶ、ということを知っていたので、このがんを手に入れたときから、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろうと考えていたのでした。				
5355	東書	5	上	大造じいさんとがん	94	じいさんは、長年の経験で、がんは、いちばん最初に飛び立ったものの後について飛ぶ、ということを知っていたので、このがんを手に入れたときから、ひとつ、これをおとりに使って、残雪の仲間をとらえてやろうと考えていたのでした。	がん	文学	秋	
5356	東書	5	上	大造じいさんとがん	94	がんたちは、昨年じいさんが小屋がけした所から、たまのとどくきょりの三倍もはなれている地点をえ場にしているようでした。	がん	文学	秋	
5357	東書	5	上	大造じいさんとがん	94	そこは、夏の出水で大きな水たまりができて、がんのえさが十分にあるらしかったのです。	夏	文学	夏	
5358	東書	5	上	大造じいさんとがん	94	そこは、夏の出水で大きな水たまりができて、がんのえさが十分にあるらしかったのです。	がん	文学	秋	
5359	東書	5	上	大造じいさんとがん	95	その夜のうちに、飼いならしたがんを、例のえ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんで、がんの群れを待つことにしました。	がん	文学	秋	
5360	東書	5	上	大造じいさんとがん	95	その夜のうちに、飼いならしたがんを、例のえ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんで、がんの群れを待つことにしました。	がん	文学	秋	
5361	東書	5	上	大造じいさんとがん	95	と、そのとき、ものすごい羽音とともに、がんの群れが一度にばたばたと飛び立ちました。	がん	文学	秋	
5362	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	がんの群れをめがけて、白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました。	がん	文学	秋	
5363	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	「はやぶさだ。」	はやぶさ	文学	冬	
5364	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらませながら、飛び去っていきます。	がん	文学	秋	

5365	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらませながら、飛び去っていきます。	はやぶさ	文学	冬	
5366	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	大造じいさんのおとりのがんです。	がん	文学	秋	
5367	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	はやぶさは、その一羽を見のがしませんでした。	はやぶさ	文学	冬	
5368	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたとみえて、がんは、こっちに方向を変えました。	がん	文学	秋	
5369	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	はやぶさは、その道をさえぎって、ぱあんと、ひとけりけりました。	はやぶさ	文学	冬	
5370	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	がんの体は、ななめにかたむきました。	がん	文学	秋	
5371	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	もう一けりと、はやぶさがこうげきの姿勢をとったとき、さっと、大きなかげが空を横切りました。	はやぶさ	文学	冬	
5372	東書	5	上	大造じいさんとがん	96	残雪の目には、人間もはやぶさもありませんでした。	はやぶさ	文学	冬	
5373	東書	5	上	大造じいさんとがん	97	不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめきました。	はやぶさ	文学	冬	
5374	東書	5	上	大造じいさんとがん	97	が、はやぶさもさるものです。	はやぶさ	文学	冬	
5375	東書	5	上	大造じいさんとがん	97	そのまま、はやぶさと残雪は、もつれ合って、ぬま地に落ちていきました。	はやぶさ	文学	冬	
5376	東書	5	上	大造じいさんとがん	97	が、はやぶさは、人間の姿をみとめると、急に戦いをやめて、……	はやぶさ	文学	冬	
5377	東書	5	上	大造じいさんとがん	98	残雪は、大造じいさんのおりの中で、一冬をこしました。	冬	文学	冬	
5378	東書	5	上	大造じいさんとがん	98	春になると、そのむねのきずも治り、体力も元のようになりました。	春	文学	春	
5379	東書	5	上	大造じいさんとがん	98	ある晴れた春の朝でした。	春	文学	春	
5380	東書	5	上	大造じいさんとがん	98	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。	すもも	文学	夏	
5381	東書	5	上	大造じいさんとがん	98	らんまんとさいたすももの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。	雪	文学	冬	
5382	東書	5	上	大造じいさんとがん	99	おうい、がんの英ゆうよ。	がん	文学	秋	
5383	東書	5	上	大造じいさんとがん	99	なあ、おい、今年の冬も、仲間を連れてぬま地へやって	冬	文学	冬	

						こいよ。				
5384	東書	5	上	大造じいさんとがん	99	大造じいさんは、花の下に立って、こう、大きな声で、がんによびかけました。	がん	文学	秋	
5385	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	102	マグロのように海洋を泳ぎ続ける魚や、イルカのような海のほ乳動物、……	マグロ	非文学	冬	
5386	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	103	マグロのように海洋を泳ぎ続ける魚や、イルカのような海のほ乳動物、……	イルカ	非文学	冬	
5387	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	103	イルカやカモメなどが泳いだり飛んだりしているとき、かた目をつぶっているときがあります。	イルカ	非文学	冬	
5388	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	103	このとき、イルカやカモメは、左と右の大脳をかわるがわるねむらせながら、……	イルカ	非文学	冬	
5389	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	104	そのほか、動物には、人間と同じように昼間活動して夜ねむるものもいれば、ネズミやタヌキなどのように、夜活動し、昼間ねむるものもいます。	タヌキ	非文学	冬	
5390	東書	5	上	人はねむる、動物もねむる	104	ネズミやタヌキにとって、明るい昼間は敵に見つかりやすいので、……	タヌキ	非文学	冬	
5391	東書	5	下	注文の多い料理店	72	……ザワザワ鳴るすすきの中で、こんなことを言いました。	すすき	文学	秋	
5392	東書	5	下	注文の多い料理店	70	しかの黄色な横っぱらなんぞに、二、三発おみまいもうしたら、……	しか	文学	秋	
5393	東書	5	下	注文の多い料理店	86	……二人は寒さにぶるぶるふるえて、草の中に立っていました。	寒さ	文学	冬	
5394	東書	5	下	注文の多い料理店	71	さあ、ぼくもちょうど寒くはなったし、はらはすいてきたし、……	寒く	文学	冬	
5395	東書	5	下	注文の多い料理店	75	寒いとこや山の中はみんなこうさ。	寒い	文学	冬	
5396	東書	5	下	注文の多い料理店	80	これはね、外が非常に寒いだろう。	寒い	文学	冬	
5397	東書	5	下	注文の多い料理店	70	……白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のかさかさしたとこを、……	木の葉	文学	冬	
5398	東書	5	下	注文の多い料理店	69	……草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴト	木の葉	文学	冬	

						ンと鳴りました。				
5399	東書	5	下	マザー・テレサ	7	……ハイビスカスの花がさきみだれる花園のような所だった。	ハイビスカス	非文学	夏	
5400	東書	5	下	マザー・テレサ	7	第二次世界大戦が終わった翌年の夏のこと、……	夏	非文学	夏	
5401	東書	5	下	マザー・テレサ	7	……むし暑い夜汽車にゆられていたテレサの耳に、……	むし暑い	非文学	夏	
5402	東書	5	下	森林のおくりもの	31	たき火のとき、キリが手もとにあったなら、……	たき火	非文学	冬	
5403	東書	5	下	森林のおくりもの	31	冬のかわいた季節には、机の引き出しが、がたぴしいい、……	冬	非文学	冬	
5404	東書	5	下	森林のおくりもの	31	……逆に梅雨の季節には、重くなることがあります。	梅雨	非文学	夏	
5405	東書	5	下	森林のおくりもの	31	木のそんな働きのおかげで、梅雨のじめじめした季節にも、……	梅雨	非文学	夏	
5406	東書	5	下	森林のおくりもの	33	そのために、たくさんのまきや炭が使われてきました。	炭	非文学	冬	
5407	東書	5	下	森林のおくりもの	33	寒い冬を過ごすにも、火がなくてはなりません。	寒い	非文学	冬	
5408	東書	5	下	森林のおくりもの	33	寒い冬を過ごすにも、火がなくてはなりません。	冬	非文学	冬	
5409	東書	5	下	森林のおくりもの	34	ほんのつい五十年ほど前までは、どの家でも炭やまきを使い続けてきたのです。	炭	非文学	冬	
5410	東書	5	下	森林のおくりもの	34	戦争中には、石油も石炭もなくなって、バスやトラックを炭で動かしたほどでした。	炭	非文学	冬	
5411	東書	5	下	森林のおくりもの	34	日本で、少しくらい日照りが続いても水が絶えないのは、……	日照り	非文学	夏	
5412	東書	5	下	森林のおくりもの	36	また、森林の草や落ち葉が肥料に使われてきました。	落ち葉	非文学	冬	
5413	東書	5	下	考えをまとめて書こう	50	……年賀状や暑中見まいなどの季節のあいさつは手紙やはがきで出すようにするのです。	年賀状	その他	新年	
5414	東書	5	下	考えをまとめて書こう	50	……年賀状や暑中見まいなどの季節のあいさつは手紙やはがきで出すようにするのです。	暑中見まい	その他	夏	
5415	東書	5	下	言葉の広場	54	とんぼはこん虫の一種だ。	とんぼ	その他	秋	
5416	東書	5	下	言葉の広場	54	ちょうにはいろいろな種類がある。	ちょう	その他	春	
5417	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	66	東の野にかぎろひの立つ見えてかへり見すれば月かたぶきぬ	月	その他	秋	

5418	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	五月雨の晴れ間にいでて眺むれば青田すずしく風わたるなり	五月雨	文学	夏	
5419	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	五月雨の晴れ間にいでて眺むれば青田すずしく風わたるなり	青田	文学	夏	
5420	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	金色のちひさき鳥のかたちして銀杏ちるなり夕日の岡に	銀杏	文学	秋	
5421	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	くれなゐの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる	薔薇	文学	夏	
5422	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	くれなゐの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる	春雨	文学	春	
5423	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	いつしかに春の名残となりにけり昆布干し場のたんぽぽの花	春	文学	春	
5424	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	いつしかに春の名残となりにけり昆布干し場のたんぽぽの花	昆布	文学	夏	
5425	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	67	いつしかに春の名残となりにけり昆布干し場のたんぽぽの花	たんぽぽ	文学	春	
5426	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	雪とけて村一ぱいの子どもかな	雪とけて	文学	春	
5427	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	夏の蝶日かげ日なたと飛びにけり	夏	文学	夏	
5428	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	夏の蝶日かげ日なたと飛びにけり	蝶	文学	春	
5429	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	夏草に汽缶車の車輪来て止まる	夏草	文学	夏	
5430	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	とどまればあたりにふゆる蜻蛉かな	蜻蛉	文学	秋	
5431	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	白葱のひかりの棒をいま刻む	葱	文学	冬	
5432	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	閑さや岩にしみいる蝉の声	蝉	文学	夏	
5433	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	大きな自然の中で、小さなせみが、がんばって鳴いている。	せみ	文学	夏	
5434	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	ふだんはうるさいはずのせみの鳴き声を、……	せみ	文学	夏	
5435	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	「蝉」は夏の季語。	蝉	文学	夏	
5436	東書	5	下	短歌と俳句を味わおう	68	「蝉」は夏の季語。	夏	文学	夏	
5437	東書	5	下	注文の多い料理店	71	……その白くまのような犬が、二ひきいっしょにめまい	くま	文学	冬	

						を起こして、……				
5438	東書	5	下	注文の多い料理店	70	……白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のかさかさしたとこを、……	くま	文学	冬	
5439	東書	5	下	注文の多い料理店	86	……あの白くまのような犬が二ひき、戸をつき破って部屋の中にとびこんできました。	くま	文学	冬	
5440	東書	5	下	注文の多い料理店	78	二人はぼうしとオーバーコートをくぎにかけ、くつをぬいでペタペタ歩いて戸の中に入りました。	オーバーコート	文学	冬	
5441	東書	5	下	注文の多い料理店	71	うさぎも出ていたねえ。	うさぎ	文学	冬	
5442	東書	5	下	熟語の意味を考えよう	94	寒冷	寒冷	その他	冬	
5443	東書	5	下	熟語の意味を考えよう	95	温風	温風	その他	春	
5444	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	97	きつねとたぬきも出てきます。	きつね	その他	冬	
5445	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	97	きつねとたぬきも出てきます。	たぬき	その他	冬	
5446	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	昔々、いなごやばったやこおろぎや、……	いなご	その他	秋	
5447	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	昔々、いなごやばったやこおろぎや、……	ばった	その他	秋	
5448	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	昔々、いなごやばったやこおろぎや、……	こおろぎ	その他	秋	
5449	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	そうしたら、いなごが、急に、……	いなご	その他	秋	
5450	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	すると、年取ったかぶと虫が、……	かぶと虫	その他	夏	
5451	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	むかでがよかべ。	むかで	その他	夏	
5452	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	むかでには足が百六もあるから、……	むかで	その他	夏	
5453	東書	5	下	昔話をしょうかいしよう	103	……むかでが医者をむかえに行くことになった。	むかで	その他	夏	
5454	東書	5	下	一〇〇〇の風、一〇〇〇のチェロ	115	秋になっても、練習は続いた。	秋	文学	秋	
5455	東書	5	下	一〇〇〇の風、一〇〇〇のチェロ	115	……いっしょに落ち葉をふみながら散歩した日のことを。	落ち葉	文学	冬	
5456	東書	5	下	一〇〇〇の風、一〇〇〇のチェロ	117	コブシやモクレン、春になると白い花のさく木だ。	コブシ	文学	春	
5457	東書	5	下	一〇〇〇の風、一〇〇〇のチェロ	117	コブシやモクレン、春になると白い花のさく木だ。	モクレン	文学	春	
5458	東書	5	下	一〇〇〇の風、一〇〇〇のチェ	117	コブシやモクレン、春になると白い花のさく木だ。	春	文学	春	

				ロ						
5459	東書	5	下	この道	119	山査子の枝も垂れてる。	山査子	文学	春	
5460	東書	5	下	百人一首	122	田子の浦にうちいでて見れば白たへの富士の高嶺に雪はふりつつ	雪	文学	冬	
5461	東書	5	下	百人一首	122	田子の浦に出てながめると、真っ白な富士の高い峰に雪はふりしきっている。	雪	文学	冬	
5462	東書	5	下	百人一首	122	久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ	春	文学	春	
5463	東書	5	下	百人一首	122	久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ	花	文学	春	
5464	東書	5	下	百人一首	122	日の光がのどかに照らすこの春の日に、どうして落ち着いた心もなく、桜の花が散るのだろうか。	春	文学	春	
5465	東書	5	下	百人一首	122	日の光がのどかに照らすこの春の日に、どうして落ち着いた心もなく、桜の花が散るのだろうか。	桜	文学	春	
5466	東書	5	下	百人一首	123	いにしへの奈良のみやこの八重ざくらけふ九重ににほひぬるかな	八重ざくら	文学	春	
5467	東書	5	下	百人一首	123	昔の都の奈良の八重桜が、今日はこの宮中でさきほこっているよ。	八重桜	文学	春	
5468	東書	5	下	蜘蛛の糸	126	お釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶらお歩きになっていらっしゃいました。	蓮	文学	夏	
5469	東書	5	下	蜘蛛の糸	126	池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のようにまっ白で、……	蓮	文学	夏	
5470	東書	5	下	蜘蛛の糸	126	……水の面をおおっている蓮の葉の間から、ふと下の様子をご覧になりました。	蓮	文学	夏	
5471	東書	5	下	蜘蛛の糸	126	この極楽の蓮池の下は、ちょうど地獄の底に当たっておりますから、……	蓮	文学	夏	
5472	東書	5	下	注文の多い料理店	81	部屋があんまりあたたかいとひびが切れるから、その予防なんだ	ひび（あかぎれ）	文学	冬	
5473	東書	5	下	注文の多い料理店	82	あぶなく耳にひびを切らすとこだった	ひび（あかぎれ）	文学	冬	

5474	東書	5	下	注文の多い料理店	70	二人のわかいしんしが、…木の葉のかさかさしたとこを、こんなことを言いながら歩いておりました。	木の葉	文学	冬	
5475	東書	6	上	風切るつばさ	6	若いアネハヅルの群れが、キツネにおそわれたのだ。	アネハヅル	文学	冬	
5476	東書	6	上	風切るつばさ	6	若いアネハヅルの群れが、キツネにおそわれたのだ。	キツネ	文学	冬	
5477	東書	6	上	風切るつばさ	6	あのとき、すぐキツネに気づいていれば……。	キツネ	文学	冬	
5478	東書	6	上	風切るつばさ	7	キツネに気づかれたのは、そのせいだよ。	キツネ	文学	冬	
5479	東書	6	上	風切るつばさ	7	キツネは、その前からねらっていたんじゃないのか。	キツネ	文学	冬	
5480	東書	6	上	風切るつばさ	8	冬が近づいてくる。	冬	文学	冬	
5481	東書	6	上	風切るつばさ	8	冬のモンゴルの草原は、零下五十度の寒さにおそわれる。	冬	文学	冬	
5482	東書	6	上	風切るつばさ	9	冬を前にして飛べなくなったツルは、死ぬしかない。	冬	文学	冬	
5483	東書	6	上	風切るつばさ	9	冬を前にして飛べなくなったツルは、死ぬしかない。	ツル	文学	冬	
5484	東書	6	上	風切るつばさ	9	白い雪がちらほらとまい始めたときだ。	雪	文学	冬	
5485	東書	6	上	風切るつばさ	10	いきなりしげみからキツネが現れた。	キツネ	文学	冬	
5486	東書	6	上	風切るつばさ	10	目標を失ったキツネが、くやしそうに空を見上げている。	キツネ	文学	冬	
5487	東書	6	上	野のまつり	12	ぐん！と芽を出す春の草	春	文学	春	
5488	東書	6	上	野のまつり	12	その先からうまれてとび立つ春の蝶	春	文学	春	
5489	東書	6	上	野のまつり	12	その先からうまれてとび立つ春の蝶	蝶	文学	春	
5490	東書	6	上	雪	15	太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。	雪	文学	冬	
5491	東書	6	上	雪	15	次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。	雪	文学	冬	
5492	東書	6	上	日本の文字に関心を持とう	50	白い雪が、降り積もっている山	雪	その他	冬	
5493	東書	6	上	ヒロシマのうた	56	木かげや、しまいには何もないぎらぎら太陽の照りつける草原にも、……	太陽の照りつける	文学	夏	
5494	東書	6	上	ヒロシマのうた	65	夏まで待ってください。	夏	文学	夏	
5495	東書	6	上	ヒロシマのうた	65	夏になったら、きっと休みをもらって、広島へ行きます。	夏	文学	夏	
5496	東書	6	上	ヒロシマのうた	65	その年の夏、ちょうどあの日のように朝からぎらぎらと暑い日、広島の駅で、わたしたちは会いました。	夏	文学	夏	
5497	東書	6	上	ヒロシマのうた	65	その年の夏、ちょうどあの日のように朝からぎらぎらと	ぎらぎらと暑い	文学	夏	

						暑い日、広島の駅で、わたしたちは会いました。				
5498	東書	6	上	ヒロシマのうた	69	ところが、今年の春、何年ぶりかで手紙が来ました。	春	文学	春	
5499	東書	6	上	ヒロシマのうた	69	そうして、今年の夏、わたしはまた広島を訪ねることになったのです。	夏	文学	夏	
5500	東書	6	上	ヒロシマのうた	70	とうろう流しです。	とうろう流し	文学	秋	
5501	東書	6	上	ヒロシマのうた	70	去年、わたしも、広島のとうろう流しのことを新聞で読んで知っていました。	とうろう流し	文学	秋	
5502	東書	6	上	ヒロシマのうた	70	原爆ぎせい者の戒名を書いたとうろうを、川に流しているのです。	とうろう	文学	秋	
5503	東書	6	上	ヒロシマのうた	71	わたしは、窓の外のとうろうを見ながら、あの日のヒロ子ちゃんのお母さんの話をしました。	とうろう	文学	秋	
5504	東書	6	上	ヒロシマのうた	72	……とうろうを見る人たちでいっぱいでした。	とうろう	文学	秋	
5505	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	みなさんは、もう秋を見つけましたか。	秋	その他	秋	
5506	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	初めのニュースは、秋の花、コスモスが満開になっているという話題です。	秋	その他	秋	
5507	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	初めのニュースは、秋の花、コスモスが満開になっているという話題です。	コスモス	その他	秋	
5508	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	ここは、前里公園の中にある「コスモス園」です。	コスモス	その他	秋	
5509	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	今、ちょうどコスモスの花がまっさかりです。	コスモス	その他	秋	
5510	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	ここには、世界じゅうからたくさんの種類のコスモスが集められていて、……	コスモス	その他	秋	
5511	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	87	……赤やピンク、黄色など、いろいろな色のコスモスがさいています。	コスモス	その他	秋	
5512	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	88	コスモスが秋の風にゆられて、「みんな来てね。」と手をふっているようです。	コスモス	その他	秋	
5513	東書	6	上	桃花片	98	かざり皿には、やなぎの枝の風にふかれて流れる様が、……	やなぎ	文学	春	
5514	東書	6	上	桃花片	98	春になると、もえたつように芽をふくやなぎの木の下で、……	春	文学	春	

5515	東書	6	上	桃花片	98	春になると、もえたつように芽をふくやなぎの木の下で、……	やなぎ	文学	春	
5516	東書	6	上	桃花片	101	さやを外すと、中からは、やわらかな若草を思わせる、……	若草	文学	春	
5517	東書	6	上	桃花片	108	春がめぐってくるたびに、古いやなぎの木は、やわらかに芽ぶいた。	春	文学	春	
5518	東書	6	上	桃花片	108	春がめぐってくるたびに、古いやなぎの木は、やわらかに芽ぶいた。	やなぎ	文学	春	
5519	東書	6	上	桃花片	108	春がめぐってくるたびに、古いやなぎの木は、やわらかに芽ぶいた。	芽ぶいた	文学	春	
5520	東書	6	上	桃花片	108	……桃花片の水滴があったということでございます。	桃花	文学	春	
5521	東書	6	上	桃花片	109	桃花片とは、ほころびそめた桃の花を思わせるところから付けられた、うわぐすりの名であった。	桃花	文学	春	
5522	東書	6	上	桃花片	109	桃花片とは、ほころびそめた桃の花を思わせるところから付けられた、うわぐすりの名であった。	桃の花	文学	春	
5523	東書	6	上	桃花片	109	桃花片を焼くことは、なかなか難しく、このうわぐすりをかけたうつわは、たいそうとうといものだったのである。	桃花	文学	春	
5524	東書	6	上	桃花片	109	ぼくとつな農家の若者は、そう言いながら、桃花片の水滴を、楊に手わたした。	桃花	文学	春	
5525	東書	6	上	桃花片	109	それに、このおだやかな色といい、暖かな春の感じといい、……	暖かな	文学	春	
5526	東書	6	上	桃花片	109	それに、このおだやかな色といい、暖かな春の感じといい、……	春	文学	春	
5527	東書	6	上	桃花片	109	その水滴の、わずかにむらさき色のかかったうす桃色の地には、……	桃	文学	秋	
5528	東書	6	上	桃花片	109	……けむったような花ぐもりの感じをただよわせている。	花ぐもり	文学	春	
5529	東書	6	上	マンモス絶滅のなぞ	112	温暖化が進むと、北極海などの氷がとけて海面が上しょ	氷	非文学	冬	

						うする。				
5530	東書	6	上	マンモス絶滅のなぞ	112	そして雪の量が増え、くもる日が多くなったため、……	雪	非文学	冬	
5531	東書	6	上	マンモス絶滅のなぞ	112	……かなりのスピードで氷河におおいつくされてしまったのだという。	氷	非文学	冬	
5532	東書	6	上	風切るつばさ	5	アネハヅルの群れが飛ぶ、南に向かって。	ツル	文学	冬	
5533	東書	6	上	風切るつばさ	6	ツルの群れはパニックになる。	ツル	文学	冬	
5534	東書	6	上	風切るつばさ	8	その前に、アネハヅルの群れはヒマラヤ山脈をこえてインドにわたっていくのだ。	ツル	文学	冬	
5535	東書	6	上	風切るつばさ	9	冬を前にして飛べなくなったツルは、死ぬしかない。	ツル	文学	冬	
5536	東書	6	上	風切るつばさ	9	やがてツルの群れが、南に向かって飛んでいくのが見えた。	ツル	文学	冬	
5537	東書	6	上	風切るつばさ	11	二羽のアネハヅルは、最後の群れを追うように、南に向かった。	ツル	文学	冬	
5538	東書	6	上	日本の文学に関心を持とう	50	白雪のふりしくやま……	雪	その他	冬	
5539	東書	6	上	日本の文学に関心を持とう	50	「白」「雪」「山」は漢字の意味も使って日本語を書き表しています。	雪	その他	冬	
5540	東書	6	上	ヒロシマのうた	67	プラットホームに売っていた、パイナップルの氷がしを一ふくろ買って、ヒロ子ちゃんにわたしました。	氷がし	文学	夏	
5541	東書	6	上	ニュース番組を作ろう	88	コスモスが秋の風にゆられて、「みんな来てね。」	秋	その他	秋	
5542	東書	6	下	宮沢賢治	8	ねこやかっこうやたぬきや野ねずみたちの協力によって、……	かっこう	非文学	夏	
5543	東書	6	下	宮沢賢治	8	ねこやかっこうやたぬきや野ねずみたちの協力によって、……	たぬき	非文学	冬	
5544	東書	6	下	宮沢賢治	8	どんぐりと山猫	どんぐり	非文学	秋	
5545	東書	6	下	宮沢賢治	8	水仙月の四日	水仙	非文学	冬	
5546	東書	6	下	宮沢賢治	8	鹿踊りのはじまり	鹿	非文学	秋	
5547	東書	6	下	宮沢賢治	8	雪渡り	雪	非文学	冬	
5548	東書	6	下	宮沢賢治	11	……日照りが続けば、いねがかれるのをじっと見ているほかにどうすることもできない人たち。	日照り	非文学	夏	

5549	東書	6	下	宮沢賢治	11	……日照りが続けば、いねがかれるのをじっと見ているほかにどうすることもできない人たち。	いね	非文学	秋	
5550	東書	6	下	宮沢賢治	12	……なす、かぼちゃ、きゅうり、トマトなどのなえを植えた。	なす	非文学	夏	
5551	東書	6	下	宮沢賢治	12	……なす、かぼちゃ、きゅうり、トマトなどのなえを植えた。	かぼちゃ	非文学	秋	
5552	東書	6	下	宮沢賢治	12	……なす、かぼちゃ、きゅうり、トマトなどのなえを植えた。	きゅうり	非文学	夏	
5553	東書	6	下	宮沢賢治	12	……なす、かぼちゃ、きゅうり、トマトなどのなえを植えた。	トマト	非文学	夏	
5554	東書	6	下	宮沢賢治	17	雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ	雪	非文学	冬	
5555	東書	6	下	宮沢賢治	17	雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ	夏	非文学	夏	
5556	東書	6	下	宮沢賢治	17	雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ	暑さ	非文学	夏	
5557	東書	6	下	宮沢賢治	18	九月十七日から祭りが始まり、町は人出でにぎわった。	祭り	非文学	夏	
5558	東書	6	下	宮沢賢治	18	祭りが明けた二十日の夜、賢治は、……	祭り	非文学	夏	
5559	東書	6	下	感動をリズムにのせて	24	運動会笑顔はどっちも負けてない	運動会	その他	秋	
5560	東書	6	下	感動をリズムにのせて	24	いねかって田んぼの道が遠く見え	いね	文学	秋	
5561	東書	6	下	感動をリズムにのせて	24	秋晴れの空の真ん中かんらん車	秋晴れ	文学	秋	
5562	東書	6	下	感動をリズムにのせて	24	自転車をきれいに洗う秋はじめ	秋	文学	秋	
5563	東書	6	下	感動をリズムにのせて	24	赤とんぼ遊びつかれてさあかえろ	赤とんぼ	文学	秋	
5564	東書	6	下	感動をリズムにのせて	25	虫の声だれかがきっと指揮してる	虫の声	その他	秋	
5565	東書	6	下	感動をリズムにのせて	25	すすきのほ一本ずつは悲しそう	すすき	文学	秋	
5566	東書	6	下	言葉の意味を追って	32	……「てふてふ」は「ちょうちょう」、……	ちょうちょう	非文学	春	
5567	東書	6	下	言葉の意味を追って	33	……一九五三年の春に原こうは完成した。	春	非文学	春	
5568	東書	6	下	言葉の広場	42	去年の冬は、いっさい雪が降った。	冬	その他	冬	
5569	東書	6	下	言葉の広場	42	去年の冬は、いっさい雪が降った。	雪	その他	冬	
5570	東書	6	下	「わたしの意見」を書こう	48	夏のある日、庭で草取りをしたときのことだ。	夏	その他	夏	
5571	東書	6	下	「わたしの意見」を書こう	48	暑かったでしょ。	暑かった	その他	夏	
5572	東書	6	下	言葉の広場	54	冬の天体を観察する。	冬	その他	冬	

5573	東書	6	下	海のいのち	73	中学校を卒業する年の夏、太一は、……	夏	文学	夏	
5574	東書	6	下	海のいのち	75	……小イワシをつり針にかけて水に投げる。	イワシ	文学	秋	
5575	東書	6	下	海のいのち	75	季節によって、タイがイサキになったり、ブリになったりした。	イサキ	文学	夏	
5576	東書	6	下	海のいのち	75	季節によって、タイがイサキになったり、ブリになったりした。	ブリ	文学	冬	
5577	東書	6	下	海のいのち	76	真夏のある日、与吉じいさは暑いのに毛布をのどまでかけてねむっていた。	真夏	文学	夏	
5578	東書	6	下	海のいのち	76	真夏のある日、与吉じいさは暑いのに毛布をのどまでかけてねむっていた。	暑い	文学	夏	
5579	東書	6	下	海のいのち	78	……二十ぴきのイサキを早々ととった太一は、父が死んだ辺りの瀬に船を進めた。	イサキ	文学	夏	
5580	東書	6	下	海のいのち	78	……アワビもサザエもウニもたくさんいた。	アワビ	文学	夏	
5581	東書	6	下	海のいのち	78	……アワビもサザエもウニもたくさんいた。	サザエ	文学	春	
5582	東書	6	下	海のいのち	78	……アワビもサザエもウニもたくさんいた。	ウニ	文学	春	
5583	東書	6	下	熟語の構成について考えよう	89	松竹梅	梅	その他	春	
5584	東書	6	下	雪渡り	100	ねこやかっこうやたぬきや野ねずみたちの協力によって、……賢治ならではの童話である。	かっこう	文学	夏	
5585	東書	6	下	雪渡り	100	雪渡りその一	雪	文学	冬	
5586	東書	6	下	雪渡り	100	小ぎつねの紺三郎	きつね	文学	冬	
5587	東書	6	下	雪渡り	100	雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり、……	雪	文学	冬	
5588	東書	6	下	雪渡り	100	……空も冷たいなめらかな青い石の板でできているらしいのです。	冷たい	文学	冬	
5589	東書	6	下	雪渡り	100	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5590	東書	6	下	雪渡り	100	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5591	東書	6	下	雪渡り	100	お日様が真っ白に燃えてゆりのにおいをまき散らし、……	ゆり	文学	夏	
5592	東書	6	下	雪渡り	100	……また雪をぎらぎら照らしました。	雪	文学	冬	
5593	東書	6	下	雪渡り	100	木なんかみんなザラメをかけたようにしもでぴかぴか	しも	文学	冬	

						しています。				
5594	東書	6	下	雪渡り	100	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5595	東書	6	下	雪渡り	100	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5596	東書	6	下	雪渡り	100	四郎とかん子とは小さな雪ぐつをはいてキックキックキック、……	雪	文学	冬	
5597	東書	6	下	雪渡り	100	いつもは歩けないきびの畑の中でも、……	きび	文学	秋	
5598	東書	6	下	雪渡り	100	……すすきでいっぱいだった野原の上でも、……	すすき	文学	秋	
5599	東書	6	下	雪渡り	100	雪がすっかりこおって大理石よりもかたくなり、……	こおって	文学	冬	
5600	東書	6	下	雪渡り	101	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5601	東書	6	下	雪渡り	101	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5602	東書	6	下	雪渡り	101	大きなかしわの木は、枝もうずまるくらいりっぱなすき通ったつららを下げて重そうに体を曲げておりました。	つらら	文学	冬	
5603	東書	6	下	雪渡り	101	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5604	東書	6	下	雪渡り	101	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5605	東書	6	下	雪渡り	101	きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。	きつね	文学	冬	
5606	東書	6	下	雪渡り	101	しみ雪しんしん、かた雪かんかん。	かた雪	文学	冬	
5607	東書	6	下	雪渡り	101	しみ雪しんしん、かた雪かんかん。	しみ雪	文学	冬	
5608	東書	6	下	雪渡り	101	……キシリキシリ雪をふんで白いきつねの子が出てきました。	雪	文学	冬	
5609	東書	6	下	雪渡り	101	……キシリキシリ雪をふんで白いきつねの子が出てきました。	きつね	文学	冬	
5610	東書	6	下	雪渡り	101	きつねこんこん白ぎつね、……	きつね	文学	冬	
5611	東書	6	下	雪渡り	101	きつねこんこん白ぎつね、……	きつね	文学	冬	
5612	東書	6	下	雪渡り	102	四郎はしんこ、かん子はかんこ、きびのだんごをおれやろか。	きび	文学	秋	
5613	東書	6	下	雪渡り	102	するときつねが、まだまるで小さいくせに、……	きつね	文学	冬	
5614	東書	6	下	雪渡り	102	きつねこんこん、きつねの子、……	きつね	文学	冬	
5615	東書	6	下	雪渡り	102	きつねこんこん、きつねの子、……	きつね	文学	冬	
5616	東書	6	下	雪渡り	102	すると、きつねの子も頭を二つ三つふっておもしろそう	きつね	文学	冬	

						に言いました。				
5617	東書	6	下	雪渡り	102	きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。	きつね	文学	冬	
5618	東書	6	下	雪渡り	102	きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。	きつね	文学	冬	
5619	東書	6	下	雪渡り	102	きつねこんこんきつねの子、きつねのだんごはうさのくそ。	きつね	文学	冬	
5620	東書	6	下	雪渡り	102	すると小ぎつね紺三郎が笑って言いました。	きつね	文学	冬	
5621	東書	6	下	雪渡り	102	あなたがたのようなりっぱなおかたがうさぎの茶色のだんごなんかめし上がるもんですか。	うさぎ	文学	冬	
5622	東書	6	下	雪渡り	102	そいじゃきつねが人をだますなんてうそかしら。	きつね	文学	冬	
5623	東書	6	下	雪渡り	102	小ぎつね紺三郎はなるほどという顔をして、……	きつね	文学	冬	
5624	東書	6	下	雪渡り	103	小ぎつねの紺三郎がうれしがって短いうでをばたばたして言いました。	きつね	文学	冬	
5625	東書	6	下	雪渡り	103	この次の雪のこおった月夜の晩です。	雪	文学	冬	
5626	東書	6	下	雪渡り	103	この次の雪のこおった月夜の晩です。	こおった	文学	冬	
5627	東書	6	下	雪渡り	104	きつねはおかしそうに口を曲げて、……	きつね	文学	冬	
5628	東書	6	下	雪渡り	104	しみ雪しんこ、かた雪かんこ。	かた雪	文学	冬	
5629	東書	6	下	雪渡り	104	しみ雪しんこ、かた雪かんこ。	しみ雪	文学	冬	
5630	東書	6	下	雪渡り	104	しみ雪しんこ、かた雪かんこ。	かた雪	文学	冬	
5631	東書	6	下	雪渡り	104	しみ雪しんこ、かた雪かんこ。	しみ雪	文学	冬	
5632	東書	6	下	雪渡り	104	……もうきつねといっしょにおどっています。	きつね	文学	冬	
5633	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が、……	きつね	文学	冬	
5634	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が、……	きつね	文学	冬	
5635	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん兵衛が、……	きつね	文学	冬	
5636	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、…	きつね	文学	冬	

						…				
5637	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、……	きつね	文学	冬	
5638	東書	6	下	雪渡り	104	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が、……	きつね	文学	冬	
5639	東書	6	下	雪渡り	105	……日光のあたる所には銀のゆりがさいたように見えました。	ゆり	文学	夏	
5640	東書	6	下	雪渡り	105	すると小ぎつね紺三郎が言いました。	きつね	文学	冬	
5641	東書	6	下	雪渡り	105	しかの子も呼びましょうか。	しか	文学	秋	
5642	東書	6	下	雪渡り	105	しかの子はそりゃ笛がうまいんですよ。	しか	文学	秋	
5643	東書	6	下	雪渡り	105	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5644	東書	6	下	雪渡り	105	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5645	東書	6	下	雪渡り	105	しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。	しか	文学	秋	
5646	東書	6	下	雪渡り	105	北風ぴいぴい風三郎、……	北風	文学	冬	
5647	東書	6	下	雪渡り	105	きつねの子の紺三郎がいかにもばかにしたように、……	きつね	文学	冬	
5648	東書	6	下	雪渡り	105	あれはしかの子です。	しか	文学	秋	
5649	東書	6	下	雪渡り	105	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5650	東書	6	下	雪渡り	105	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5651	東書	6	下	雪渡り	105	しかの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。	しか	文学	秋	
5652	東書	6	下	雪渡り	105	……またはしかの子の歌かこんなように聞こえました。	しか	文学	秋	
5653	東書	6	下	雪渡り	105	北風ぴいぴい、かんこかんこ……	北風	文学	冬	
5654	東書	6	下	雪渡り	105	きつねがまたひげをひねって言いました。	きつね	文学	冬	
5655	東書	6	下	雪渡り	105	雪がやわらかになるといけませんからもうお帰りなさい。	雪	文学	冬	
5656	東書	6	下	雪渡り	105	今度月夜に雪がこおったらきっとおいでください。	雪	文学	冬	
5657	東書	6	下	雪渡り	105	今度月夜に雪がこおったらきっとおいでください。	こおった	文学	冬	
5658	東書	6	下	雪渡り	106	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5659	東書	6	下	雪渡り	106	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5660	東書	6	下	雪渡り	106	……と歌いながら銀の雪をわたっておうちへ帰りまし	雪	文学	冬	

						た。				
5661	東書	6	下	雪渡り	106	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	かた雪	文学	冬	
5662	東書	6	下	雪渡り	106	かた雪かんこ、しみ雪しんこ。	しみ雪	文学	冬	
5663	東書	6	下	雪渡り	106	雪渡りその二	雪	文学	冬	
5664	東書	6	下	雪渡り	106	きつね小学校のげんとう会	きつね	文学	冬	
5665	東書	6	下	雪渡り	106	青白い大きな十五夜のお月様が静かに氷の上山からのぼりました。	十五夜	文学	秋	
5666	東書	6	下	雪渡り	106	青白い大きな十五夜のお月様が静かに氷の上山からのぼりました。	氷	文学	冬	
5667	東書	6	下	雪渡り	106	雪はちかちか青く光り、そして今日も寒水石のようにかたくこおりました。	雪	文学	冬	
5668	東書	6	下	雪渡り	106	雪はちかちか青く光り、そして今日も寒水石のようにかたくこおりました。	寒水	文学	冬	
5669	東書	6	下	雪渡り	106	雪はちかちか青く光り、そして今日も寒水石のようにかたくこおりました。	こおりました	文学	冬	
5670	東書	6	下	雪渡り	106	四郎はきつねの紺三郎との約束を思い出して……	きつね	文学	冬	
5671	東書	6	下	雪渡り	106	今夜きつねのげんとう会なんだね。	きつね	文学	冬	
5672	東書	6	下	雪渡り	106	きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。	きつね	文学	冬	
5673	東書	6	下	雪渡り	106	きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。	きつね	文学	冬	
5674	東書	6	下	雪渡り	106	きつねこんこんきつねの子、こんこんきつねの紺三郎。	きつね	文学	冬	
5675	東書	6	下	雪渡り	106	おまえたちはきつねのとこへ遊びに行くのかい。	きつね	文学	冬	
5676	東書	6	下	雪渡り	106	だって、きつねのげんとう会は十一才までですよ、……	きつね	文学	冬	
5677	東書	6	下	雪渡り	106	きつねなんてなかなかうまくやってるね。	きつね	文学	冬	
5678	東書	6	下	雪渡り	107	すると胸にどんぐりの記章を付けた白い小さなきつねの子が立っていて言いました。	どんぐり	文学	秋	
5679	東書	6	下	雪渡り	107	四郎とかん子はそこで小さな雪ぐつをはいて……	雪	文学	冬	
5680	東書	6	下	雪渡り	107	大人のきつねに会ったら急いで目をつぶるんだよ。	きつね	文学	冬	
5681	東書	6	下	雪渡り	107	かた雪かんこ、しみ雪しんこ、	かた雪	文学	冬	
5682	東書	6	下	雪渡り	107	かた雪かんこ、しみ雪しんこ、	しみ雪	文学	冬	

5683	東書	6	下	雪渡り	107	きつねの子ぁ、よめぃほしい、ほしい。	きつね	文学	冬	
5684	東書	6	下	雪渡り	107	……白い小さなきつねの子が立っていて言いました。	きつね	文学	冬	
5685	東書	6	下	雪渡り	108	林の中には月の光が青い棒を何本もななめに投げこんだようにさしておりました。	月	文学	秋	
5686	東書	6	下	雪渡り	108	きつねの子がもっともらしく体を曲げて、……	きつね	文学	冬	
5687	東書	6	下	雪渡り	108	見るともうきつねの学校生徒がたくさん集まってくりの皮をぶっつけ合ったり……	きつね	文学	冬	
5688	東書	6	下	雪渡り	108	見るともうきつねの学校生徒がたくさん集まってくりの皮をぶっつけ合ったり……	くり	文学	秋	
5689	東書	6	下	雪渡り	108	……ねずみぐらいのきつねの子が大きな子供のきつねのかた車に乗って……	きつね	文学	冬	
5690	東書	6	下	雪渡り	108	……ねずみぐらいのきつねの子が大きな子供のきつねのかた車に乗って……	きつね	文学	冬	
5691	東書	6	下	雪渡り	109	……すいせんの花を胸に付けて、……	すいせん	文学	冬	
5692	東書	6	下	雪渡り	109	きつねの学校生徒はみんなこっちを見ています。	きつね	文学	冬	
5693	東書	6	下	雪渡り	109	きつねの学校生徒は声をそろえてさけびました。	きつね	文学	冬	
5694	東書	6	下	雪渡り	109	かた雪かんこ、しみ雪しんこ、	かた雪	文学	冬	
5695	東書	6	下	雪渡り	109	かた雪かんこ、しみ雪しんこ、	しみ雪	文学	冬	
5696	東書	6	下	雪渡り	109	きつねの生徒は喜んで手をパチパチたたきました。	きつね	文学	冬	
5697	東書	6	下	雪渡り	109	お星様は野原のつゆがきらきら固まったようです。	つゆ(露)	文学	秋	
5698	東書	6	下	雪渡り	110	かわいらしいきつねの女の子がきびだんごをのせたお皿を二つ持ってきました。	きび	文学	秋	
5699	東書	6	下	雪渡り	110	決してそっちの方へくりの皮を投げたりしてはなりません。	くり	文学	秋	
5700	東書	6	下	雪渡り	110	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、	かた雪	文学	冬	
5701	東書	6	下	雪渡り	110	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、	しみ雪	文学	冬	
5702	東書	6	下	雪渡り	110	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、	かた雪	文学	冬	
5703	東書	6	下	雪渡り	110	しみ雪しんこ、かた雪かんこ、	しみ雪	文学	冬	
5704	東書	6	下	雪渡り	110	かわいらしいきつねの女の子が……	きつね	文学	冬	

5705	東書	6	下	雪渡り	111	夜はツンツン月明かり	月	文学	秋	
5706	東書	6	下	雪渡り	111	夜はツンツン月明かり	月	文学	秋	
5707	東書	6	下	雪渡り	111	たとえこごえてたおれても	こごえて	文学	冬	
5708	東書	6	下	雪渡り	111	夜はツンツン月明かり	月	文学	秋	
5709	東書	6	下	雪渡り	111	それにきつねの学校生徒がみんなこっちを向いて、……	きつね	文学	冬	
5710	東書	6	下	雪渡り	111	きつねの学校生徒はもうあんまり喜んでみんなおどり上がってしまいました。	きつね	文学	冬	
5711	東書	6	下	雪渡り	111	……きつねの生徒はうそ言うな。	きつね	文学	冬	
5712	東書	6	下	雪渡り	111	……きつねの生徒はぬすまない。	きつね	文学	冬	
5713	東書	6	下	雪渡り	111	……きつねの生徒はそねまない。	きつね	文学	冬	
5714	東書	6	下	雪渡り	111	きつねのこん兵衛がわなに左足をとられた景色です。	きつね	文学	冬	
5715	東書	6	下	雪渡り	112	きつねこんこんきつねの子、……	きつね	文学	冬	
5716	東書	6	下	雪渡り	112	きつねこんこんきつねの子、……	きつね	文学	冬	
5717	東書	6	下	雪渡り	112	去年きつねのこん兵衛が……	きつね	文学	冬	
5718	東書	6	下	雪渡り	112	きつねのこん助が焼いたお魚をとろうとして、……	きつね	文学	冬	
5719	東書	6	下	雪渡り	112	きつねの生徒がみなさけびました。	きつね	文学	冬	
5720	東書	6	下	雪渡り	112	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が……	きつね	文学	冬	
5721	東書	6	下	雪渡り	112	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が……	きつね	文学	冬	
5722	東書	6	下	雪渡り	112	きつねこんこんきつねの子、去年きつねのこん助が……	きつね	文学	冬	
5723	東書	6	下	雪渡り	112	それはきつねのこしらえたものを、……	きつね	文学	冬	
5724	東書	6	下	雪渡り	112	……私どもきつねの今までの悪い評判を……	きつね	文学	冬	
5725	東書	6	下	雪渡り	112	きつねの生徒はみんな感動して両手を上げたり……	きつね	文学	冬	
5726	東書	6	下	雪渡り	113	きつねの生徒たちが追いかけてきて、……	きつね	文学	冬	
5727	東書	6	下	雪渡り	113	……二人のふところやかくしにどんぐりだのくりだの青光りの石だのを入れて、……	どんぐり	文学	秋	
5728	東書	6	下	雪渡り	113	……二人のふところやかくしにどんぐりだのくりだの青光りの石だのを入れて、……	くり	文学	秋	
5729	東書	6	下	雪渡り	113	その青白い雪の野原の真ん中で、……	雪	文学	冬	
5730	東書	6	下	ふるさと	114	うさぎ追いしかの山	うさぎ	文学	冬	

5731	東書	6	下	ふるさと	114	小ぶなつりしかの川	ふな	文学	夏	
5732	東書	6	下	枕草子	116	春は、あけぼの。	春	文学	春	
5733	東書	6	下	枕草子	116	春は、夜明けがよい。	春	文学	春	
5734	東書	6	下	枕草子	117	夏は、夜。	夏	文学	夏	
5735	東書	6	下	枕草子	117	蛍の多く飛びちがひたる、また、ただ一つ二つなど、……	蛍	文学	夏	
5736	東書	6	下	枕草子	117	夏は、夜。	夏	文学	夏	
5737	東書	6	下	枕草子	117	ほたるがたくさん飛びかっているのも、またたった一つ二つと、……	ほたる	文学	夏	
5738	東書	6	下	枕草子	118	秋は、夕暮れ。	秋	文学	秋	
5739	東書	6	下	枕草子	118	まいて、雁などの列ねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。	雁	文学	秋	
5740	東書	6	下	枕草子	118	秋は、夕暮れ。	秋	文学	秋	
5741	東書	6	下	枕草子	118	まして、かりが列を作って飛んでいるのが、たいへん小さく見えるのは、……	かり	文学	秋	
5742	東書	6	下	枕草子	119	冬は、つとめて。	冬	文学	冬	
5743	東書	6	下	枕草子	119	雪の降りたるは、言ふべきにもあらず。	雪	文学	冬	
5744	東書	6	下	枕草子	119	霜のいと白きも。	霜	文学	冬	
5745	東書	6	下	枕草子	119	また、さらでもいと寒きに、……	寒き	文学	冬	
5746	東書	6	下	枕草子	119	冬は、早朝。	冬	文学	冬	
5747	東書	6	下	枕草子	119	雪の降った朝は、言いようもなくすばらしい。	雪	文学	冬	
5748	東書	6	下	枕草子	119	しもがたいへん白く降りたのも。	しも	文学	冬	
5749	東書	6	下	枕草子	119	また、雪やしもがなくても、たいそう寒い朝に、……	雪	文学	冬	
5750	東書	6	下	枕草子	119	また、雪やしもがなくても、たいそう寒い朝に、……	しも	文学	冬	
5751	東書	6	下	枕草子	119	また、雪やしもがなくても、たいそう寒い朝に、……	寒い	文学	冬	
5752	東書	6	下	枕草子	119	……実に冬の早朝にふさわしい。	冬	文学	冬	
5753	東書	6	下	枕草子	119	……だんだん寒さがゆるんで暖かくなっていくと、……	寒さ	文学	冬	
5754	東書	6	下	枕草子	119	……火ばちの火も、白い灰が目立つようになってしまって、……	火ばち	文学	冬	

5755	東書	6	下	平家物語	120	まさに、短くてはかない春の夜の夢のようなものである。	春	文学	春	
5756	東書	6	下	平家物語	120	ただ春の夜の夢のごとし。	春	文学	春	
5757	光村	1	上	おおきなかぶ	77	あまいあまい、大きな大きなかぶになりました。	かぶ	文学	冬	1
5758	光村	1	上	おおきなかぶ	76	あまいあまいかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
5759	光村	1	上	おおきなかぶ	76	大きな大きなかぶになれ。	かぶ	文学	冬	1
5760	光村	1	上	おおきなかぶ	76	おじいさんが、かぶのたねをまきました。	かぶ	文学	冬	1
5761	光村	1	上	おおきなかぶ	77	おじいさんは、かぶをぬこうとしました。	かぶ	文学	冬	1
5762	光村	1	上	おおきなかぶ	78	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5763	光村	1	上	おおきなかぶ	78	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5764	光村	1	上	おおきなかぶ	79	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5765	光村	1	上	おおきなかぶ	79	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5766	光村	1	上	おおきなかぶ	80	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5767	光村	1	上	おおきなかぶ	81	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5768	光村	1	上	おおきなかぶ	81	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5769	光村	1	上	おおきなかぶ	82	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5770	光村	1	上	おおきなかぶ	82	かぶをおじいさんがひっぱって、おじいさんを……かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5771	光村	1	上	おおきなかぶ	77	けれども、かぶはぬけません。	かぶ	文学	冬	1
5772	光村	1	上	おおきなかぶ	83	とうとう、かぶはぬけました。	かぶ	文学	冬	1
5773	光村	1	上	はる	1	はるのはなさいた	春	文学	春	

5774	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	14	えがおでえんそくあいうえお	えんそく	その他	春	
5775	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	17	あり	あり	その他	夏	
5776	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	17	いるか	いるか	その他	冬	
5777	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	17	いのしし	いのしし	その他	秋	
5778	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	17	うみ	うみ	その他	夏	
5779	光村	1	上	うたにあわせてあいうえお	17	うちわ	うちわ	その他	夏	
5780	光村	1	上	かきとかぎ	23	かき	かき	その他	秋	
5781	光村	1	上	かきとかぎ	23	こま	こま	その他	新年	
5782	光村	1	上	かきとかぎ	23	ごま	ごま	その他	秋	
5783	光村	1	上	ねことねっこ	26	ねっことびこえ、ばったとかけっこ。	ばった	その他	秋	
5784	光村	1	上	ねことねっこ	27	たんぽぽ	たんぽぽ	その他	春	
5785	光村	1	上	はなのみち	34	あたたかいかぜがふきはじめました。	あたたかいかぜ	その他	春	
5786	光村	1	上	ことばをいれて、ぶんをつくろう	36	きつねがはしる。	きつね	その他	冬	
5787	光村	1	上	ことばをいれて、ぶんをつくろう	36	きつねが	きつね	その他	冬	
5788	光村	1	上	ことばをいれて、ぶんをつくろう	36	きつねが	きつね	その他	冬	
5789	光村	1	上	ことばをいれて、ぶんをつくろう	36	きつねがわらう。	きつね	その他	冬	
5790	光村	1	上	ことばをいれて、ぶんをつくろう	37	きつねがわらう。	きつね	その他	冬	
5791	光村	1	上	あいうえおであそぼう	38	かきのみくわのみかきくけこ	かき	その他	秋	
5792	光村	1	上	あいうえおであそぼう	38	かきのみくわのみかきくけこ	くわ	その他	春	
5793	光村	1	上	あいうえおであそぼう	38	なのはなののはななにぬねの	なのはな	その他	春	
5794	光村	1	上	あいうえおであそぼう	38	なのはなののはななにぬねの	ののはな	その他	春	
5795	光村	1	上	あいうえおであそぼう	39	はるのひふゆのひはひふへほ	はる	その他	春	
5796	光村	1	上	あいうえおであそぼう	39	はるのひふゆのひはひふへほ	ふゆ	その他	冬	
5797	光村	1	上	あいうえおであそぼう	39	まつむしみのむしまみむめも	まつむし	その他	秋	

5798	光村	1	上	あいうえおであそぼう	39	まつむしみのむしまみむめも	みのむし	その他	秋	
5799	光村	1	上	あいうえおであそぼう	41	すみれ	すみれ	その他	春	
5800	光村	1	上	あいうえおであそぼう	41	みのむし	みのむし	その他	秋	
5801	光村	1	上	いろいろなくちばし	46	これは、きつつきのくつばしです。	きつつき	非文学	秋	
5802	光村	1	上	いろいろなくちばし	46	きつつきは、とがったくちばしで、きにあなをあけます。	きつつき	非文学	秋	
5803	光村	1	上	いろいろなくちばし	50	はちどりは、ほそながいくちばしを、はなのなかにいれます。	はな	その他	春	
5804	光村	1	上	いろいろなくちばし	50	そして、はなのみつをすいます。	はなのみつ	その他	春	
5805	光村	1	上	はをへをつかってかこう	52	りんごをとる。	りんご	非文学	秋	
5806	光村	1	上	はをへをつかってかこう	52	りんごをわける。	りんご	非文学	秋	
5807	光村	1	上	はをへをつかってかこう	53	りんごをたべる。	りんご	非文学	秋	
5808	光村	1	上	おもちやとおもちゃ	56	おもちのならぶおもちやさん。	もち	その他	新年	
5809	光村	1	上	おもちやとおもちゃ	57	おもちや	もち	その他	新年	
5810	光村	1	上	おむすびころりん	58	やまのはたけをたがやして、おなかがすいたおじいさん。	はたけをたがやして	文学	春	
5811	光村	1	上	すきなもの、おしえて	67	ひらせさんは、いちごがすきだといいました。	いちご	その他	夏	
5812	光村	1	上	ほんとなかよし	71	がっきゅうぶんこで、うさぎのほんをみつけたよ。	うさぎ	その他	冬	
5813	光村	1	上	てがみを　かこう	73	わたしのあさがおにはながさきました。	あさがお	その他	秋	
5814	光村	1	上	みんなにしらせたいこと	74	なつやすみに、なにをしましたか。	なつやすみ	その他	夏	
5815	光村	1	上	大きなかぶ	86	『大きなかぶ」のおはなしには、どんなひとやどうぶつがでてきましたか。	かぶ	その他	冬	
5816	光村	1	上	大きなかぶ	86	こえをそろえて「うんとこしょ、どっこいしょ。」といったから、かぶがぬけたんだね。	かぶ	その他	冬	
5817	光村	1	上	大きなかぶ	86	ぼくも、おじいさんになって、かぶをぬきたいな。	かぶ	その他	冬	
5818	光村	1	上	大きなかぶ	87	かぶがなかなかぬけないの。	かぶ	その他	冬	
5819	光村	1	上	じどう車くらべ	98	ばら	ばら	その他	夏	
5820	光村	1	上	ことばであそぼう	99	あり	あり	その他	夏	
5821	光村	1	上	ことばであそぼう	99	きつね	きつね	その他	冬	
5822	光村	1	上	ことばであそぼう	99	みみずく	みみずく	その他	冬	

5823	光村	1	下	くじらぐも	10	「さあ、およぐぞ。」	およぐ	文学	夏	
5824	光村	1	下	くじらぐも	15	とてもさむいところへいくんだよ。	さむい	その他	冬	
5825	光村	1	下	くじらぐも	15	おうい、しろくまさん。	くま	その他	冬	
5826	光村	1	下	くじらぐも	15	「くじらぐも」は、このおはなしの	くじら	その他	冬	
5827	光村	1	下	かんじのはなし	18	月が、水たまりに、うつっています。	月	非文学	秋	
5828	光村	1	下	しらせたいな、見せたいな	21	わたしは、どんぐりをひろったよ。	どんぐり	非文学	秋	
5829	光村	1	下	かたかな	24	セーター⇔おねえさん	セーター	その他	冬	
5830	光村	1	下	かたかな	25	ニュース⇔にゅうがく	にゅうがく	その他	春	
5831	光村	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	35	いつか、ぼくも、ほかの犬をかうだろうし、子ねこやきんぎょもかうだろう。	子ねこ	文学	春	1
5832	光村	1	下	ずうっと、ずっと、大すきだよ	35	いつか、ぼくも、ほかの犬をかうだろうし、子ねこやきんぎょもかうだろう。	きんぎょ	文学	夏	1
5833	光村	1	下	日づけとよう日	38	一月一日お正月。	一月一日	その他	新年	
5834	光村	1	下	日づけとよう日	38	一月一日お正月。	一月	その他	冬	
5835	光村	1	下	日づけとよう日	38	一月一日お正月。	正月	その他	新年	
5836	光村	1	下	日づけとよう日	38	二月二日はみんなでこたつ。	二月	その他	冬	
5837	光村	1	下	日づけとよう日	38	二月二日はみんなでこたつ。	こたつ	その他	冬	
5838	光村	1	下	日づけとよう日	38	三月三日はももの花。	三月	その他	春	
5839	光村	1	下	日づけとよう日	38	三月三日はももの花。	三月三日	その他	春	
5840	光村	1	下	日づけとよう日	38	三月三日はももの花。	ももの花	その他	春	
5841	光村	1	下	日づけとよう日	38	四月四日はさくらの花見。	四月	その他	春	
5842	光村	1	下	日づけとよう日	38	四月四日はさくらの花見。	さくら	その他	春	
5843	光村	1	下	日づけとよう日	38	四月四日はさくらの花見。	花見	その他	春	
5844	光村	1	下	日づけとよう日	38	五月五日はこいのぼり。	五月	その他	春	
5845	光村	1	下	日づけとよう日	38	五月五日はこいのぼり。	五月五日	その他	春	
5846	光村	1	下	日づけとよう日	38	五月五日はこいのぼり。	こいのぼり	その他	夏	
5847	光村	1	下	日づけとよう日	38	六月六日はわかばのこみち。	六月	その他	夏	
5848	光村	1	下	日づけとよう日	38	六月六日はわかばのこみち。	わかば	その他	夏	
5849	光村	1	下	日づけとよう日	38	七月七日は天の川。	七月	その他	夏	

5850	光村	1	下	日づけとよう日	38	七月七日は天の川。	七月七日	その他	夏	
5851	光村	1	下	日づけとよう日	38	七月七日は天の川。	天の川	その他	夏	
5852	光村	1	下	日づけとよう日	38	月が出た出た、月よう日。	月	その他	秋	
5853	光村	1	下	日づけとよう日	39	八月八日はなつやすみ。	八月	その他	夏	
5854	光村	1	下	日づけとよう日	39	八月八日はなつやすみ。	なつやすみ	その他	夏	
5855	光村	1	下	日づけとよう日	39	九月九日虫のこえ。	九月	その他	秋	
5856	光村	1	下	日づけとよう日	39	九月九日虫のこえ。	虫	その他	秋	
5857	光村	1	下	日づけとよう日	39	十月十日はハイキング。	十月	その他	秋	
5858	光村	1	下	日づけとよう日	39	十一月十一日はおちばひろい。	十一月	その他	秋	
5859	光村	1	下	日づけとよう日	39	十一月十一日おちばひろい。	おちば	その他	冬	
5860	光村	1	下	日づけとよう日	39	十二月十二日は、早くこいこいお正月。	十二月	その他	冬	
5861	光村	1	下	日づけとよう日	39	十二月二十日は、早くこいこいお正月。	正月	その他	新年	
5862	光村	1	下	日づけとよう日	39	くりの木見つけた、木よう日。	くり	その他	秋	
5863	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	40	あつまれ、ふゆのことば	ふゆ	その他	冬	
5864	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	40	「ふゆのことばかるた」をつくって、みんなであそびましょう。	ふゆ	その他	冬	
5865	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	40	「ふゆのことばかるた」をつくって、みんなであそびましょう。	かるた	その他	新年	
5866	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	ふゆ休み	ふゆ休み	その他	冬	
5867	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	おとしだま	おとしだま	その他	新年	
5868	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	おぞうに	おぞうに	その他	新年	
5869	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	こたつ	こたつ	その他	冬	
5870	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	ストーブ	ストーブ	その他	冬	
5871	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	さむい	さむい	その他	冬	
5872	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	つめたい	つめたい	その他	冬	
5873	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	ゆきがっせん	ゆきがっせん	その他	冬	
5874	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	マフラー	マフラー	その他	冬	
5875	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	手ぶくろ	手ぶくろ	その他	冬	
5876	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	みかん	みかん	その他	冬	

5877	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	41	たこあげ	たこ	その他	新年	
5878	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	あつめたことばから文をかんがえて、かるたをつくりましょう。	かるた	その他	新年	
5879	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにおもちおとしだま	正月	その他	新年	
5880	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにおもちおとしだま	おぞうに	その他	新年	
5881	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにおもちおとしだま	もち	その他	新年	
5882	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにおもちおとしだま	おとしだま	その他	新年	
5883	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	手ぶくろをすると、つめたい手があたたかくなる。	手ぶくろ	その他	冬	
5884	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	てぶくろをすると、つめたい手があたたかくなる。	つめたい	その他	冬	
5885	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにたべておめでとう	正月	その他	新年	
5886	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	お正月おぞうにたべておめでとう	おぞうに	その他	新年	
5887	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	42	けいとの手ぶくろぽっかぽか	手ぶくろ	その他	冬	
5888	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	43	スケートすいすいすべります	スケート	その他	冬	
5889	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	43	青空に小さくうかぶぼくのたこ	たこ	その他	新年	
5890	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	43	ぼくのたこ	たこ	その他	新年	
5891	光村	1	下	あつまれ、ふゆのことば	43	ふゆやすみに、あそびにいくね。	ふゆ休み	その他	冬	
5892	光村	1	下	あめふりくまのこ	44	いたずらくまのこかけてきて	くま	文学	冬	
5893	光村	1	下	あめふりくまのこ	45	なんにもいないとくまのこは	くま	文学	冬	
5894	光村	1	下	もののなまえ	46	りんご、みかん、バナナなどが、ならんでいます。	りんご	非文学	秋	
5895	光村	1	下	もののなまえ	46	りんご、みかん、バナナなどが、ならんでいます。	みかん	非文学	冬	
5896	光村	1	下	もののなまえ	46	りんご、みかん、バナナなどが、ならんでいます。	バナナ	非文学	夏	
5897	光村	1	下	もののなまえ	46	ふたりは、五百円でりんごをかいました。	りんご	非文学	秋	
5898	光村	1	下	もののなまえ	47	あじ、さば、たいなどが、ならんでいます。	あじ	非文学	夏	
5899	光村	1	下	もののなまえ	47	あじ、さば、たいなどが、ならんでいます。	さば	非文学	夏	
5900	光村	1	下	もののなまえ	48	りんご、みかん、バナナなどは、一つ一つの名まえです。	りんご	非文学	秋	
5901	光村	1	下	もののなまえ	48	りんご、みかん、バナナなどは、一つ一つの名まえです。	みかん	非文学	冬	
5902	光村	1	下	もののなまえ	48	りんご、みかん、バナナなどは、一つ一つの名まえです。	バナナ	非文学	夏	
5903	光村	1	下	もののなまえ	49	りんご、みかん、バナナなどを、まとめてつけた名まえは、くだものです。	りんご	非文学	秋	

5904	光村	1	下	もののなまえ	49	りんご、みかん、バナナなどを、まとめてつけた名まえは、くだものです。	みかん	非文学	冬	
5905	光村	1	下	もののなまえ	49	りんご、みかん、バナナなどを、まとめてつけた名まえは、くだものです。	バナナ	非文学	夏	
5906	光村	1	下	もののなまえ	49	一つ一つをわけていうときには、あじ、さば、たいなどと、一つ一つの名まえをつかいます。	あじ	非文学	夏	
5907	光村	1	下	もののなまえ	49	一つ一つをわけていうときには、あじ、さば、たいなどと、一つ一つの名まえをつかいます。	さば	非文学	夏	
5908	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	52	りんごをください。	りんご	その他	秋	
5909	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	52	りんご	りんご	その他	秋	
5910	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	52	みかん	みかん	その他	冬	
5911	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	52	いちご	いちご	その他	夏	
5912	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	52	もも	もも	その他	秋	
5913	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	あじ	あじ	その他	夏	
5914	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	いわし	いわし	その他	秋	
5915	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	まぐろ	まぐろ	その他	冬	
5916	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	さんま	さんま	その他	秋	
5917	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	ひらめ	ひらめ	その他	冬	
5918	光村	1	下	おみせやさんごっこをしよう	53	さわら	さわら	その他	春	
5919	光村	1	下	どうぶつの赤ちゃん	59	ライオンの赤ちゃんは、生まれたときは、子ねこぐらいの大きさです。	子ねこ	非文学	春	
5920	光村	1	下	どうぶつの赤ちゃん	64	ライオンの赤ちゃんは、生まれたときは、子ねこぐらいの大きさです。	子ねこ	その他	春	
5921	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	68	入学してから、どんなことがありましたか。	にゅうがく	非文学	春	
5922	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	69	これは、六月のうんどうかいのしゃしんです。	うんどうかい	非文学	秋	
5923	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	69	これは、六月のうんどうかいのしゃしんです。	六月	その他	夏	
5924	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	70	十月に、さつまいもほりをしました。	十月	その他	秋	
5925	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	70	十月に、さつまいもほりをしました。	さつまいも	非文学	秋	
5926	光村	1	下	いいこといっぱい、一年生	70	いちばん大きいおいもを先生に見せたら、	いも	非文学	秋	

5927	光村	1	下	たぬきの糸車	72	たぬきの糸車	たぬき	文学	冬	
5928	光村	1	下	たぬきの糸車	73	やまおくの一けんやなので、まいばんのようにたぬきがやってきて、いたずらをしました。	たぬき	文学	冬	
5929	光村	1	下	たぬきの糸車	73	ある月のきれいなばんのこと、おかみさんは、糸車をまわして、糸をつむいでいました。	月	文学	秋	
5930	光村	1	下	たぬきの糸車	74	ふと気がつくと、やぶれしょうじのあなから、二つのくりくりした目玉が、こちらをのぞいていました。	しょうじ	文学	冬	
5931	光村	1	下	たぬきの糸車	74	そして、月のあかるいしょうじに、糸車をまわすまねをするたぬきのかげがうつりました。	月	文学	秋	
5932	光村	1	下	たぬきの糸車	74	そして、月のあかるいしょうじに、糸車をまわすまねをするたぬきのかげがうつりました。	しょうじ	文学	冬	
5933	光村	1	下	たぬきの糸車	74	そして、月のあかるいしょうじに、糸車をまわすまねをするたぬきのかげがうつりました。	たぬき	文学	冬	
5934	光村	1	下	たぬきの糸車	75	それからというもの、たぬきは、まいばんまいばんやってきて、糸車をまわすまねをくりかえしました。	たぬき	文学	冬	
5935	光村	1	下	たぬきの糸車	76	おかみさんがこわごわいってみると、いつものたぬきが、わなにかかっていました。	たぬき	文学	冬	
5936	光村	1	下	たぬきの糸車	76	たぬきじるにされてしまうで。	たぬきじる	文学	冬	
5937	光村	1	下	たぬきの糸車	76	おかみさんは、そういって、たぬきをにがしてやりました。	たぬき	文学	冬	
5938	光村	1	下	たぬきの糸車	76	やがて、山の木のはがおちて、ふゆがやってきました。	木のはがおちて	文学	秋	
5939	光村	1	下	たぬきの糸車	77	やがて、山の木のはがおちて、ふゆがやってきました。	ふゆ	文学	冬	
5940	光村	1	下	たぬきの糸車	77	ゆきがふりはじめると、きこりのふうふは村へ下りていきました。	ゆき	文学	冬	
5941	光村	1	下	たぬきの糸車	77	はるになって、また、きこりのふうふは、山おくのこやにもどってきました。	はる	文学	春	
5942	光村	1	下	たぬきの糸車	79	そっとのぞくと、いつかのたぬきが、じょうずな手つきで、糸をつむいでいるのでした。	たぬき	文学	冬	
5943	光村	1	下	たぬきの糸車	80	たぬきは、つむぎおわると、こんどは、いつもおかみさ	たぬき	文学	冬	

						んがしていたとおりに、たばねてわきにつみかさねました。				
5944	光村	1	下	たぬきの糸車	80	たぬきは、ふいに、おかみさんがのぞいているのに気がつきました。	たぬき	文学	冬	
5945	光村	1	下	たぬきの糸車	80	たぬきは、ぴょこんとそとにとび下りました。	たぬき	文学	冬	
5946	光村	1	下	たぬきの糸車	82	「たぬきの糸車」を	たぬき	その他	冬	
5947	光村	1	下	たぬきの糸車	82	たぬきやおかみさんになったつもりで、	たぬき	その他	冬	
5948	光村	1	下	たぬきの糸車	82	たぬきをにがしている	たぬき	その他	冬	
5949	光村	1	下	たぬきの糸車	85	ななつのことりは、ジオジオのたてがみやしっぽにとまってなきました。	ことり	その他	秋	
5950	光村	1	下	たぬきの糸車	85	ことりのこえを、うれしそうにじっときいていたのです。	ことり	その他	秋	
5951	光村	1	下	たぬきの糸車	85	はる休みによんでみたいな。	はる休み	その他	春	
5952	光村	1	下	どうぶつ村のおんがくかい	95	ありさんとありさんとこっつんこ	あり	その他	夏	
5953	光村	1	下	どうぶつ村のおんがくかい	95	ありさんとありさんとこっつんこ	あり	その他	夏	
5954	光村	1	下	あいうえお･ん	99	たんぼのかえるがたちつてと	かえる	その他	春	
5955	光村	1	下	あいうえお･ん	99	ほらほらみつけたかたつむり	かたつむり	その他	夏	
5956	光村	2	上	たんぽぽ	1	たんぽぽさんって、まぶしいのね。	たんぽぽ	その他	春	
5957	光村	2	上	たんぽぽ	1	ひまわりさんの　子で、お日さまの　まごだから。	ひまわり	その他	夏	
5958	光村	2	上	たんぽぽ	1	『たんぽぽさんって、まぶしいのね。ひまわりさんの子で、お日さまのまごだから。」と、ちょうちょうがきいた。	ちょうちょう	その他	春	
5959	光村	2	上	たんぽぽ	1	たんぽぽは、うふんとわらった。	たんぽぽ	その他	春	
5960	光村	2	上	ふきのとう	5	竹やぶの竹のはっぱが、「さむかったね。」「うん、さむかったね。」と、ささやいています。	「さむかったね。」	文学	冬	
5961	光村	2	上	ふきのとう	5	竹やぶの竹のはっぱが、「さむかったね。」「うん、さむかったね。」と、ささやいています。	「うん、さむかったね。」	文学	冬	
5962	光村	2	上	ふきのとう	5	雪がまだすこしのこって、あたりはしんとしています。	雪	文学	冬	
5963	光村	2	上	ふきのとう	6	竹やぶのそばのふきのとうです。	ふきのとう	文学	春	

5964	光村	2	上	ふきのとう	6	雪の下にあたまを出して、雪をどけようと、ふんばっているところです。	雪	文学	冬	
5965	光村	2	上	ふきのとう	6	雪の下にあたまを出して、雪をどけようと、ふんばっているところです。	雪	文学	冬	
5966	光村	2	上	ふきのとう	7	と、雪が言いました。	雪	文学	冬	
5967	光村	2	上	ふきのとう	7	「わたしも、早くとけて水になり、とおくへいってあそびたいけど。」と、上を見上げます。	とけて水になり	文学	春	
5968	光村	2	上	ふきのとう	8	ゆれておどれば、雪に日があたる。	雪	文学	冬	
5969	光村	2	上	ふきのとう	8	でも春風がまだこない。	春風	文学	春	
5970	光村	2	上	ふきのとう	8	春風がこないと、おどれない	春風	文学	春	
5971	光村	2	上	ふきのとう	8	「でも、春風がまだこない。春風がこないと、おどれない。」とざんねんそうです。	春風	文学	春	
5972	光村	2	上	ふきのとう	8	「でも、春風がまだこない。春風がこないと、おどれない。」とざんねんそうです。	春風	文学	春	
5973	光村	2	上	ふきのとう	9	おや、春風がねぼうしているな。	春風	文学	春	
5974	光村	2	上	ふきのとう	9	おや、春風がねぼうしているな。	春風	文学	春	
5975	光村	2	上	ふきのとう	9	竹やぶも雪もふきのとうも、みんなこまっているな。	雪	文学	冬	
5976	光村	2	上	ふきのとう	9	竹やぶも雪もふきのとうも、みんなこまっているな。	ふきのとう	文学	春	
5977	光村	2	上	ふきのとう	9	おうい、春風。	春風	文学	春	
5978	光村	2	上	ふきのとう	10	お日さまにおこされて、春風は大きなあくび。	春風	文学	春	
5979	光村	2	上	ふきのとう	10	春風は、むねいっぱいにいきをすい、ふうっといきをはきました。	春風	文学	春	
5980	光村	2	上	ふきのとう	11	春風にふかれて、竹やぶが、ゆれるゆれる、おどる。	春風	文学	春	
5981	光村	2	上	ふきのとう	11	雪が、とけるとける、水になる。	とける	文学	春	
5982	光村	2	上	ふきのとう	11	雪が、とけるとける、水になる。	雪	文学	冬	
5983	光村	2	上	ふきのとう	11	ふきのとうが、ふんばる、せがのびる。	ふきのとう	文学	春	
5984	光村	2	上	ふきのとう	12	ふきのとうが、かおを出しました。	ふきのとう	文学	春	
5985	光村	2	上	ふきのとう	12	もう、すっかり春です。	春	文学	春	
5986	光村	2	上	ふきのとう	13	ふきのとうや、竹やぶ、春風やお日さまのやくにわかれ	ふきのとう	その他	春	

						て、こえに出して、よみましょう。				
5987	光村	2	上	ふきのとう	13	ふきのとうや、竹やぶ、春風やお日さまのやくにわかれて、こえに出して、よみましょう。	春風	その他	春	
5988	光村	2	上	ふきのとう	13	さむそうなようすのところは、どんなふうによもうか。	さむそう	その他	冬	
5989	光村	2	上	ふきのとう	13	おうい、春風。	春風	その他	春	
5990	光村	2	上	ふきのとう	14	学校やのはらやこうえんで、春らしいとおもうことばを見つけましょう。	春らしい	その他	春	
5991	光村	2	上	ふきのとう	14	「ぽかぽか」ということばは、春らしいとおもいます。	ぽかぽか	その他	春	
5992	光村	2	上	ふきのとう	14	「ぽかぽか」ということばは、春らしいとおもいます。	春らしい	その他	春	
5993	光村	2	上	ふきのとう	14	四月に、かわいい一年生が学校に入ってきたので、「一年生」ということばは春らしいとおもいました。	四月	その他	春	
5994	光村	2	上	ふきのとう	14	四月に、かわいい一年生が学校に入ってきたので、「一年生」ということばは春らしいとおもいました。	春らしい	その他	春	
5995	光村	2	上	ふきのとう	14	あつめた春らしいことばをかみにかきましょう。	春らしい	その他	春	
5996	光村	2	上	ふきのとう	15	なの花	なの花	その他	春	
5997	光村	2	上	ふきのとう	15	たんぽぽ	たんぽぽ	その他	春	
5998	光村	2	上	ふきのとう	15	すみれ	すみれ	その他	春	
5999	光村	2	上	ふきのとう	15	ももいろ	ももいろ	その他	春	
6000	光村	2	上	ふきのとう	15	さくら	さくら	その他	春	
6001	光村	2	上	ふきのとう	15	春風	春風	その他	春	
6002	光村	2	上	ふきのとう	15	一年生	一年生	その他	春	
6003	光村	2	上	ふきのとう	15	青空	青空	その他	春	
6004	光村	2	上	ふきのとう	15	ぽかぽか	ぽかぽか	その他	春	
6005	光村	2	上	ふきのとう	15	ちょうちょう	ちょうちょう	その他	春	
6006	光村	2	上	ふきのとう	15	ぴかぴかのランドセル	ぴかぴかのランドセル	その他	春	
6007	光村	2	上	ふきのとう	15	たねまき	たねまき	その他	春	
6008	光村	2	上	ふきのとう	15	つくし	つくし	その他	春	
6009	光村	2	上	今週のニュース	16	原っぱに、たんぽぽがたくさんさいていました。	たんぽぽ	その他	春	

6010	光村	2	上	今週のニュース	16	黄色のじゅうたんみたいできれいでした。	黄色のじゅうたん	その他	春	
6011	光村	2	上	たんぽぽのちえ	18	春になると、たんぽぽの黄色いきれいな花がさきます。	春	非文学	春	
6012	光村	2	上	たんぽぽのちえ	18	春になると、たんぽぽの黄色いきれいな花がさきます。	たんぽぽ	非文学	春	
6013	光村	2	上	たんぽぽのちえ	19	二、三日たつと、その花はしぼんで、だんだんくろっぽい色にかわっていきます。	その花	非文学	春	
6014	光村	2	上	たんぽぽのちえ	20	そうして、たんぽぽの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれてしまいます。	たんぽぽ	非文学	春	
6015	光村	2	上	たんぽぽのちえ	20	けれども、たんぽぽは、かれてしまったのではありません。	たんぽぽ	非文学	春	
6016	光村	2	上	たんぽぽのちえ	20	花とじくをしずかに休ませて、たねに、たくさんのえいようをおくっているのです。	花	非文学	春	
6017	光村	2	上	たんぽぽのちえ	20	こうして、たんぽぽは、たねをどんどん太らせるのです。	たんぽぽ	非文学	春	
6018	光村	2	上	たんぽぽのちえ	21	やがて、花はすっかりかれて、そのあとに、白いわた毛がでてきます。	花	非文学	春	
6019	光村	2	上	たんぽぽのちえ	21	たんぽぽは、このわた毛についているたねを、ふわふわととばすのです。	たんぽぽ	非文学	春	
6020	光村	2	上	たんぽぽのちえ	21	このころになると、それまでたおれていた花のじくが、またおき上がります。	花	非文学	春	
6021	光村	2	上	たんぽぽのちえ	23	このように、たんぽぽは、いろいろなちえをはたらかせています。	たんぽぽ	非文学	春	
6022	光村	2	上	たんぽぽのちえ	24	「たんぽぽのちえ」をよんで、はじめてしったことや、おもしろいと思ったことを話しましょう。	たんぽぽ	その他	春	
6023	光村	2	上	たんぽぽのちえ	24	たんぽぽは、どんなときに、どんなようすをしていますか。	たんぽぽ	その他	春	
6024	光村	2	上	たんぽぽのちえ	24	春になると	春	その他	春	
6025	光村	2	上	たんぽぽのちえ	25	たんぽぽには、どんなちえがありましたか。	たんぽぽ	その他	春	
6026	光村	2	上	たんぽぽのちえ	25	たんぽぽのちえ１	たんぽぽ	その他	春	
6027	光村	2	上	たんぽぽのちえ	25	たんぽぽの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれてい	たんぽぽ	その他	春	

						ます。				
6028	光村	2	上	たんぽぽのちえ	25	花とじくをしずかに休ませて、たねに、たくさんのえいようをおくっているのです。	花	その他	春	
6029	光村	2	上	たんぽぽのちえ	26	学校やいえの近くで、たんぽぽを見つけたｓら、どんなようすか書きましょう。	たんぽぽ	その他	春	
6030	光村	2	上	たんぽぽのちえ	26	みんなが書いたものを大きなかみにはって、「たんぽぽのちず」をつくろうよ。	たんぽぽ	その他	春	
6031	光村	2	上	かんさつ名人になろう	29	ミニトマト	ミニトマト	その他	夏	
6032	光村	2	上	かんさつ名人になろう	29	黄色い花が、さいている。	花	その他	春	
6033	光村	2	上	かんさつ名人になろう	29	みどり色の小さなみがついている。	みどり色の小さなみ	その他	春	
6034	光村	2	上	かんさつ名人になろう	30	みどり色の小さなみ	みどり色の小さなみ	その他	春	
6035	光村	2	上	かんさつ名人になろう	30	一つのみでも、こうみどりとうすいみどりのところがある。	こうみどりとうすいみどりのところ	その他	春	
6036	光村	2	上	かんさつ名人になろう	30	みの先に、かれた花がついている。	みの先に、かれた花がついている。	その他	春	
6037	光村	2	上	かんさつ名人になろう	30	トマトを食べたときと、同じにおいがする。	トマト	その他	夏	
6038	光村	2	上	かんさつ名人になろう	31	文をつないで、「ミニトマトのみ」のことが、友だちにもよくわかるようにまとめてみましょう。	ミニトマト	その他	夏	
6039	光村	2	上	かんさつ名人になろう	31	ミニトマトのみ	ミニトマト	その他	夏	
6040	光村	2	上	かんさつ名人になろう	31	六月八日（水曜日）	六月	その他	夏	
6041	光村	2	上	かんさつ名人になろう	31	わたしがそだてているミニトマトに、みがつきました。	ミニトマト	その他	夏	
6042	光村	2	上	かんさつ名人になろう	31	みどり色の小さなみです。	みどり色の小さなみ	その他	春	
6043	光村	2	上	かんさつ名人になろう	32	よく見ると、一つのみでも、こいみどりのところと、うすいみどりのところがあります。	こうみどりとうすいみどりのところ	その他	春	

6044	光村	2	上	かんさつ名人になろう	32	みの先のほうには、かれた花がついています。	みの先のほうには、かれた花がついています。	その他	春	
6045	光村	2	上	かんさつ名人になろう	32	まだみどり色なのに、顔を近づけると、赤いトマトを食べたときと同じにおいがします。	まだみどり色	その他	春	
6046	光村	2	上	かんさつ名人になろう	32	まだみどり色なのに、顔を近づけると、赤いトマトを食べたときと同じにおいがします。	赤いトマト	その他	夏	
6047	光村	2	上	ともこさんはどこかな	36	青いワンピースをきて、リボンのついた白いぼうしをかぶり、うさぎのぬいぐるみをもっています。	青いワンピース	その他	夏	
6048	光村	2	上	同じ文をもつかん字	38	花だんの草とりをする。	花だんの草とり	その他	夏	
6049	光村	2	上	スイミー	40	広い海のどこかに、小さな魚のきょうだいたちが、楽しくくらしていた。	海	文学	夏	1
6050	光村	2	上	スイミー	41	およぐのは、だれよりもはやかった。	およぐ	文学	夏	1
6051	光村	2	上	スイミー	42	ある日、おそろしいまぐろが、おなかをすかせて……つっこんできた。	まぐろ	文学	冬	1
6052	光村	2	上	スイミー	42	一口で、まぐろは小さな赤い魚たちを、一ぴきのこらずのみこんだ。	まぐろ	文学	冬	1
6053	光村	2	上	スイミー	44	スイミーはおよいだ、くらい海のそこを。	およいだ	文学	夏	1
6054	光村	2	上	スイミー	44	スイミーはおよいだ、くらい海のそこを。	海	文学	夏	1
6055	光村	2	上	スイミー	44	けれど、海には、すばらしいものがいっぱいあった。	海	文学	夏	1
6056	光村	2	上	スイミー	44	にじ色のゼリーのようなくらげ。	にじ	文学	夏	1
6057	光村	2	上	スイミー	44	にじ色のゼリーのようなくらげ。	くらげ	文学	夏	1
6058	光村	2	上	スイミー	44	水中ブルドーザーみたいないせえび。	いせえび	文学	新年	1
6059	光村	2	上	スイミー	45	ドロップみたいな岩から生えている、こんぶやわかめの林	こんぶ	文学	夏	1
6060	光村	2	上	スイミー	45	ドロップみたいな岩から生えている、こんぶやわかめの林	わかめ	文学	春	1
6061	光村	2	上	スイミー	45	うなぎ。	うなぎ	文学	夏	1
6062	光村	2	上	スイミー	45	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎん	もも色	文学	春	1

						ちゃく。				
6063	光村	2	上	スイミー	45	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎんちゃく。	やしの木	文学	夏	1
6064	光村	2	上	スイミー	45	そして、風にゆれるもも色のやしの木みたいないそぎんちゃく。	いそぎんちゃく	文学	春	1
6065	光村	2	上	スイミー	48	みんないっしょにおよぐんだ。	およぐ	文学	夏	1
6066	光村	2	上	スイミー	48	みんなが、一ぴきの大きな魚みたいにおよげるようになったとき、スイミーは言った。	およげる	文学	夏	1
6067	光村	2	上	スイミー	49	あさのつめたい水の中を、ひるのかがやく光の中を、みんなはおよぎ、大きな魚をおい出した。	およぎ	文学	夏	1
6068	光村	2	上	スイミー	50	スイミーが元気をとりまどしたのは、海の中でどんな「すばらしいもの」「おもしろいもの」を見たからでしょう。	海	その他	夏	
6069	光村	2	上	スイミー	50	にじ色のゼリーのようなくらげを見たとき、スイミーはこころの中でなんて言ったかな。	にじ	その他	夏	
6070	光村	2	上	スイミー	50	にじ色のゼリーのようなくらげを見たとき、スイミーはこころの中でなんて言ったかな。	くらげ	その他	夏	
6071	光村	2	上	もうすぐ夏休み	55	夏休みにしてみたいことはなんですか。	夏休み	その他	夏	
6072	光村	2	上	もうすぐ夏休み	55	どこへ行けば、かぶと虫がとれますか。	かぶと虫	その他	夏	
6073	光村	2	上	もうすぐ夏休み	56	かぶと虫がとれるところ	かぶと虫	その他	夏	
6074	光村	2	上	もうすぐ夏休み	56	ぼくは、夏休みにかぶと虫をとりたいと思いました。	夏休み	その他	夏	
6075	光村	2	上	もうすぐ夏休み	56	ぼくは、夏休みにかぶと虫をとりたいと思いました。	かぶと虫	その他	夏	
6076	光村	2	上	もうすぐ夏休み	56	どこへ行けば、かぶと虫がとれますか。	かぶと虫	その他	夏	
6077	光村	2	上	おおきくなあれ	60	あめのつぶつぶブドウにはいれ	ブドウ	文学	秋	
6078	光村	2	上	おおきくなあれ	61	あめのつぶつぶリンゴにはいれ	リンゴ	文学	秋	
6079	光村	2	上	あったらいいな、こんなもの	65	とんぼの羽の形。	とんぼ	その他	秋	
6080	光村	2	上	あったらいいな、こんなもの	66	「いつでもとべるん」はとんぼの羽の形をしています。	とんぼ	その他	秋	
6081	光村	2	上	あったらいいな、こんなもの	67	わたしは、海に行けたらいいなと思いました。	海	その他	夏	
6082	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	70	サンゴの海には、たくさんの生きものたちがすんでいま	サンゴの海	非文学	夏	

						す。				
6083	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	70	海の中をのぞいてみましょう。	海	非文学	夏	
6084	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	大きなイソギンチャクがいますね。	イソギンチャク	非文学	春	
6085	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	クマノミです。	クマノミ	非文学	夏	
6086	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	イソギンチャクのしょく手には、どくのはりがあります。	イソギンチャク	非文学	春	
6087	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	イソギンチャクは、これで、小さなどうぶつをつかまえて、食べているのです。	イソギンチャク	非文学	春	
6088	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	クマノミも、さされるとたいへんなことになります。	クマノミ	非文学	夏	
6089	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	クマノミの体は、ねばねばしたえきでおおわれています。	クマノミ	非文学	夏	
6090	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	クマノミを食べる大きな魚は、イソギンチャクをこわがって、近づいてきません。	クマノミ	非文学	夏	
6091	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	72	クマノミを食べる大きな魚は、イソギンチャクをこわがって、近づいてきません。	イソギンチャク	非文学	春	
6092	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	だから、イソギンチャクの中にいれば、クマノミはあんぜんです。	イソギンチャク	非文学	春	
6093	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	だから、イソギンチャクの中にいれば、クマノミはあんぜんです。	クマノミ	非文学	夏	
6094	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	イソギンチャクを食べにくる小さな魚がいます。	イソギンチャク	非文学	春	
6095	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	クマノミは、この魚が近づいてくると、カチカチと音を立てて、おいはらってしまいます。	クマノミ	非文学	夏	
6096	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	こうして、イソギンチャクとクマノミは、たがいにまもり合っているのです。	イソギンチャク	非文学	春	
6097	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	こうして、イソギンチャクとクマノミは、たがいにまもり合っているのです。	クマノミ	非文学	夏	
6098	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	73	サンゴの海には、うつくしい魚がたくさんいます。	サンゴの海	非文学	夏	
6099	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	74	ホンソメワケベラも、その一つです。	ホンソメワケベラ	非文学	夏	

6100	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	74	大きな魚たちは、体についた虫を、ホンソメワケベラがとって、きれいにそうじしてくれるのを知っているからです。	ホンソメワケベラ	非文学	夏	
6101	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	75	ホンソメワケベラは、そうじ魚とよばれています。	ホンソメワケベラ	非文学	夏	
6102	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	75	ホンソメワケベラにとっては、そうじをしてとった虫が、食べものになるのです。	ホンソメワケベラ	非文学	夏	
6103	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	75	このように、サンゴのうつくしい海では、たくさんの生きものたちが、さまざまにかかわり合ってくらしています。	サンゴのうつくしい海	非文学	夏	
6104	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	76	「サンゴの海の生きものたち」を読んで、どんなことをかんじたり考えたりしましたか。	サンゴの海	その他	夏	
6105	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	76	海の生きものたちになって、それぞれ、どのようにかかわり合っているのか、たしかめましょう。	海	その他	夏	
6106	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	76	わたしはクマノミです。	クマノミ	その他	夏	
6107	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	76	わたしはイソギンチャクです。	イソギンチャク	その他	春	
6108	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	77	イソギンチャクは、クマノミを体の中に入れて、大きな魚からまもっています。	イソギンチャク	その他	春	
6109	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	77	イソギンチャクは、クマノミを体の中に入れて、大きな魚からまもっています。	クマノミ	その他	夏	
6110	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	77	このように、イソギンチャクと□は、たがいにかかわり合っています。	イソギンチャク	その他	春	
6111	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	77	「海の生きもの」のほかに、どんな生きものがいるでしょう。	海	その他	夏	
6112	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	77	ハリセンボン	ハリセンボン	その他	夏	
6113	光村	2	上	サンゴの海の生きものたち	78	虫とり	虫とり	その他	夏	
6114	光村	2	上	黄色いバケツ	88	なの花ばたけみたいねえ。	なの花	文学	春	
6115	光村	2	上	黄色いバケツ	92	きつねの子は、草原にすわり、うっとりとバケツをながめていました。	きつね	文学	冬	

6116	光村	2	上	黄色いバケツ	94	きつねの子は、川べりにすわり、魚をつるまねをしました。	魚をつる	文学	夏	
6117	光村	2	上	黄色いバケツ	94	きつねの子は、赤くうれたりんごのみを、黄色いバケツに入れて、うさぎの子やくまの子のところへはこぶ、じぶんのすがたを思いうかべました。	きつね	文学	冬	
6118	光村	2	上	黄色いバケツ	97	あたまの上には、明るい月が光っていました。	月	文学	秋	
6119	光村	2	上	黄色いバケツ	97	水の上に、丸い月がうつりました。	月	文学	秋	
6120	光村	2	上	黄色いバケツ	98	月は、ゆれながらうかんでいました。	月	文学	秋	
6121	光村	2	上	黄色いバケツ	98	きつねの子は、バケツに手をふり、月に「おやすみ」を言ってうちへかえりました。	月	文学	秋	
6122	光村	2	上	黄色いバケツ	98	月の光の下で、バケツは金色にかがやいていました。	月	文学	秋	
6123	光村	2	上	黄色いバケツ	98	バケツは、月へむかって、みるみる小さくなっていきました。	月	文学	秋	
6124	光村	2	下	赤とんぼ	1	つくつくほうしがなくころになると、あのゆうびんのマークがきっと知らせにきます。	つくつくほうし	その他	秋	
6125	光村	2	下	赤とんぼ	1	金色の空からもうあきですよ……って。	あき	その他	秋	
6126	光村	2	下	お手紙	4	がまくんは、	がま	文学	夏	1
6127	光村	2	下	お手紙	4	かえるくんがやって来て、	かえる	文学	春	1
6128	光村	2	下	お手紙	4	「どうしたんだい、がまがえるくん。	がま	文学	夏	1
6129	光村	2	下	お手紙	4	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6130	光村	2	下	お手紙	5	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
6131	光村	2	下	お手紙	5	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6132	光村	2	下	お手紙	5	かえるくんがたずねました。	かえる	文学	春	1
6133	光村	2	下	お手紙	6	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6134	光村	2	下	お手紙	6	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6135	光村	2	下	お手紙	6	家へ帰らなくっちゃ、がまくん。	がま	文学	夏	1
6136	光村	2	下	お手紙	7	かえるくんは、大いそぎで	かえる	文学	春	1
6137	光村	2	下	お手紙	7	「がまがえるくんへ」	がま	文学	夏	1
6138	光村	2	下	お手紙	7	かえるくんは、家からとび出しました。	かえる	文学	春	1

6139	光村	2	下	お手紙	7	かたつむりくんに会いました。	かたつむり	文学	夏	1
6140	光村	2	下	お手紙	8	「かたつむりくん。」かえるくんが言いました。	かたつむり	文学	夏	1
6141	光村	2	下	お手紙	8	「かたつむりくん。」かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6142	光村	2	下	お手紙	8	がまくんの家へもっていって、	がま	文学	夏	1
6143	光村	2	下	お手紙	8	かたつむりくんが言いました。	かたつむり	文学	夏	1
6144	光村	2	下	お手紙	8	かえるくんは、がまくんの家へ	かえる	文学	春	1
6145	光村	2	下	お手紙	8	かえるくんは、がまくんの家へ	がま	文学	夏	1
6146	光村	2	下	お手紙	9	がまくんは、ベッドで	がま	文学	夏	1
6147	光村	2	下	お手紙	9	がまくんは、ベッドでお昼ねをしていました。	昼ね	文学	夏	1
6148	光村	2	下	お手紙	9	「がまくん。」かえるくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6149	光村	2	下	お手紙	9	「がまくん。」かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6150	光村	2	下	お手紙	9	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6151	光村	2	下	お手紙	10	かえるくんは、まどから	かえる	文学	春	1
6152	光村	2	下	お手紙	10	かたつむりくんは、	かたつむり	文学	夏	1
6153	光村	2	下	お手紙	10	「がまくん。」かえるくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6154	光村	2	下	お手紙	10	「がまくん。」かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6155	光村	2	下	お手紙	11	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6156	光村	2	下	お手紙	11	かえるくんは、まどから	かえる	文学	春	1
6157	光村	2	下	お手紙	11	かたつむりくんは、まだ	かたつむり	文学	夏	1
6158	光村	2	下	お手紙	11	「でもね、がまくん。」かえるくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6159	光村	2	下	お手紙	11	「でもね、がまくん。」かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6160	光村	2	下	お手紙	11	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6161	光村	2	下	お手紙	12	かえるくんは、まどから	かえる	文学	春	1
6162	光村	2	下	お手紙	12	かたつむりくんは、まだ	かたつむり	文学	夏	1
6163	光村	2	下	お手紙	12	「かえるくん、どうして、	かえる	文学	春	1
6164	光村	2	下	お手紙	12	がまくんがたずねました。	がま	文学	夏	1
6165	光村	2	下	お手紙	13	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6166	光村	2	下	お手紙	13	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6167	光村	2	下	お手紙	13	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1

6168	光村	2	下	お手紙	13	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6169	光村	2	下	お手紙	13	かえるくんが言いました。	かえる	文学	春	1
6170	光村	2	下	お手紙	14	『親愛なるがまがえるくん、	がま	文学	夏	1
6171	光村	2	下	お手紙	14	きみの親友、かえる。』」	かえる	文学	春	1
6172	光村	2	下	お手紙	14	がまくんが言いました。	がま	文学	夏	1
6173	光村	2	下	お手紙	15	かたつむりくんが、がまくんの	かたつむり	文学	夏	1
6174	光村	2	下	お手紙	15	かたつむりくんが、がまくんの	がま	文学	夏	1
6175	光村	2	下	お手紙	15	かえるくんからのおてがみを、がまくんに	かえる	文学	春	1
6176	光村	2	下	お手紙	15	かえるくんからのおてがみを、がまくんに	がま	文学	夏	1
6177	光村	2	下	お手紙	15	お手紙をもらって、がまくんは、	がま	文学	夏	1
6178	光村	2	下	お手紙	16	かえるくん、がまくん、かたつむりくんの、	かえる	その他	春	
6179	光村	2	下	お手紙	16	かえるくん、がまくん、かたつむりくんの、	がま	その他	夏	
6180	光村	2	下	お手紙	16	かえるくん、がまくん、かたつむりくんの、	かたつむり	その他	夏	
6181	光村	2	下	お手紙	17	がまくんが言いました。	がま	その他	夏	
6182	光村	2	下	お手紙	18	がまくん、かえるくん、かたつむりくんに、	がま	その他	夏	
6183	光村	2	下	お手紙	18	がまくん、かえるくん、かたつむりくんに、	かえる	その他	春	
6184	光村	2	下	お手紙	18	がまくん、かえるくん、かたつむりくんに、	かたつむり	その他	夏	
6185	光村	2	下	お手紙	18	かたつむりくんへ	かたつむり	その他	夏	
6186	光村	2	下	お手紙	18	がまくんがよろこんでくれて	がま	その他	夏	
6187	光村	2	下	かん字の読み方	21	遠足で、遠くまで歩く。	遠足	その他	春	
6188	光村	2	下	かん字の読み方	22	金魚ばちをおく。	きんぎょ	その他	夏	
6189	光村	2	下	かん字の読み方	22	ももがながれてくる。	もも	その他	秋	
6190	光村	2	下	お話がいっぱい	28	「くまの子ウーフ」	くま	その他	冬	
6191	光村	2	下	お話がいっぱい	28	くまの子ウーフの	くま	その他	冬	
6192	光村	2	下	王さまでかけましょう	28	おい、つばめくん。	つばめ	文学	春	
6193	光村	2	下	おさるはおさる	29	しっぽについてたたこはどうなったの。	たこ	文学	新年	
6194	光村	2	下	こんなお話を考えた	32	きつねのコンタが、うさぎのミミの	きつね	その他	冬	
6195	光村	2	下	こんなお話を考えた	32	きつねのコンタが、うさぎのミミの	うさぎ	その他	冬	
6196	光村	2	下	こんなお話を考えた	33	小鳥が、おにごっこをしている	小鳥	その他	秋	

6197	光村	2	下	こんなお話を考えた	35	小鳥のことばを入れたのが、	小鳥	その他	秋	
6198	光村	2	下	こんなお話を考えた	35	三月十日生まれです。	三月	その他	春	
6199	光村	2	下	かたかなで書くことば	36	パンは、小麦から作られます。	小麦	その他	夏	
6200	光村	2	下	かたかなで書くことば	36	市場でバナナを買いました。	バナナ	その他	夏	
6201	光村	2	下	かたかなで書くことば	37	プール	プール	その他	夏	
6202	光村	2	下	一本の木	40	冬のかれた木なら、	冬	非文学	冬	
6203	光村	2	下	一本の木	40	冬のかれた木なら、	かれた木	非文学	冬	
6204	光村	2	下	一本の木	40	はっぱや花や木のみ	花	非文学	春	
6205	光村	2	下	一本の木	40	はっぱや花や木のみ	木のみ	非文学	秋	
6206	光村	2	下	一本の木	40	春、夏、秋の木に	春	非文学	春	
6207	光村	2	下	一本の木	40	春、夏、秋の木に	夏	非文学	夏	
6208	光村	2	下	一本の木	40	春、夏、秋の木に	秋	非文学	秋	
6209	光村	2	下	一本の木	44	こまのじょうずな回し方	こま	その他	新年	
6210	光村	2	下	いるか	46	いるかいるかいないかいるか	いるか	文学	冬	
6211	光村	2	下	いるか	46	いるかいるかいないかいるか	いるか	文学	冬	
6212	光村	2	下	いるか	46	いるかいるかいないかいるか	いるか	文学	冬	
6213	光村	2	下	いるか	46	いないいないいるか	いるか	文学	冬	
6214	光村	2	下	いるか	47	いるかいないかいなかいるか	いるか	文学	冬	
6215	光村	2	下	いるか	47	いるかいないかいなかいるか	いるか	文学	冬	
6216	光村	2	下	いるか	47	いるいるいるか	いるか	文学	冬	
6217	光村	2	下	いるか	47	いっぱいいるか	いるか	文学	冬	
6218	光村	2	下	いるか	47	ねているいるか	いるか	文学	冬	
6219	光村	2	下	いるか	47	ゆめみているか	いるか	文学	冬	
6220	光村	2	下	何に見えるかな	48	くじら	くじら	その他	冬	
6221	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	50	かえるのうた	かえる	非文学	春	
6222	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	50	かえるのうたが	かえる	非文学	春	
6223	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	50	クワクワクワクワ	クワクワクワクワ	その他	春	
6224	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	50	ケケケケケケケケ	ケケケケケケケ	その他	春	

							ケ			
6225	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	50	クワクワクワ	クワクワクワ	その他	春	
6226	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	51	歌の中の「クワクワ」「ケケケ」は、かえるの鳴き声を、ことばであらわしたものです。	クワクワ	その他	春	
6227	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	51	歌の中の「クワクワ」「ケケケ」は、かえるの鳴き声を、ことばであらわしたものです。	ケケケ	その他	春	
6228	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	51	かえるの鳴き声を	かえる	非文学	春	
6229	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	53	すずむしは「リーンリーン」と鳴き	すずむし	非文学	秋	
6230	光村	2	下	音やようすをあらわすことば	53	すず虫は「リーンリーン」と鳴き、船は汽笛を「ボーッ」と鳴らします。	リーンリーン	その他	秋	
6231	光村	2	下	ことばであそぼう	55	里いもをにる	里いも	その他	秋	
6232	光村	2	下	なかまのことばとかん字	58	春 - 夏 - 秋 - 冬	春	その他	春	
6233	光村	2	下	なかまのことばとかん字	58	春 - 夏 - 秋 - 冬	夏	その他	夏	
6234	光村	2	下	なかまのことばとかん字	58	春 - 夏 - 秋 - 冬	秋	その他	秋	
6235	光村	2	下	なかまのことばとかん字	58	春 - 夏 - 秋 - 冬	冬	その他	冬	
6236	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	ミニトマト作り	トマト	その他	夏	
6237	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	プールびらき	プール	その他	夏	
6238	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	うんどう会	うんどう会	その他	秋	
6239	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	くりひろい	くりひろい	その他	秋	
6240	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	くりひろい	くり	その他	秋	
6241	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	遠足	遠足	その他	春	
6242	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	遠足	遠足	その他	春	
6243	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	秋まつり	秋まつり	その他	秋	
6244	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	秋まつり	まつり	その他	夏	
6245	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	音楽会	音楽会	その他	秋	
6246	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	冬の町	冬	その他	冬	
6247	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	61	おぞうにパーティー	おぞうに	その他	新年	
6248	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	秋まつり	秋まつり	その他	秋	
6249	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	秋まつり	まつり	その他	夏	

6250	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おちばとどんぐりをあつめた。	おちば	その他	冬	
6251	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おちばとどんぐりをあつめた。	おちば	その他	冬	
6252	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おちばとどんぐりをあつめた。	どんぐり	その他	秋	
6253	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おちばでようふくを作った。	おちば	その他	冬	
6254	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おちばでようふくを作った。	おちば	その他	冬	
6255	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おまつりでみんなに見せた。	おまつり	その他	夏	
6256	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	62	おまつりでみんなに見せた。	おまつり	その他	夏	
6257	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おちばとどんぐりをあつめた。	おちば	その他	冬	
6258	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おちばとどんぐりをあつめた。	おちば	その他	冬	
6259	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おちばとどんぐりをあつめた。	どんぐり	その他	秋	
6260	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おちばでようふくを作った。	おちば	その他	冬	
6261	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おちばでようふくを作った。	おちば	その他	冬	
6262	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	たくやさんが、どんぐりをボタンにしようと言った。	どんぐり	その他	秋	
6263	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おまつりでみんなに見せた。	おまつり	その他	夏	
6264	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	63	おまつりでみんなに見せた。	おまつり	その他	夏	
6265	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	おちばのようふく作り	おちば	その他	冬	
6266	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	おちばのようふく作り	おちば	その他	冬	
6267	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	十一月のはじめ、生活科の時間に秋まつりをしました。	十一月	その他	秋	
6268	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	十一月のはじめ、生活科の時間に秋まつりをしました。	秋まつり	その他	秋	
6269	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	十一月のはじめ、生活科の時間に秋まつりをしました。	まつり	その他	夏	
6270	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	たくやさんとまいさんとわたしは、おちばでようふくを作りました。	おちば	その他	冬	
6271	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	たくやさんとまいさんとわたしは、おちばでようふくを作りました。	おちば	その他	冬	
6272	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	64	はじめに、学校じゅうの木の下を歩き回って、いろいろな色や形のはっぱとどんぐりをあつめました。	どんぐり	その他	秋	
6273	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	65	たくやさんが、「どんぐりはボタンにしよう。」と言ったので、前につけました。	どんぐり	その他	秋	
6274	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	65	おまつりで、みんなに見せるとき、どきどきしました。	おまつり	その他	夏	

6275	光村	2	下	楽しかったよ、二年生	65	おまつりで、みんなに見せるとき、どきどきしました。	おまつり	その他	夏	
6276	光村	2	下	スーホの白い馬	71	おおかみに食われてしまうかもしれない。	おおかみ	文学	冬	1
6277	光村	2	下	スーホの白い馬	71	子馬を見つけたんだ。	子馬	文学	春	1
6278	光村	2	下	スーホの白い馬	72	子馬は、すくすくとそだちました。	子馬	文学	春	1
6279	光村	2	下	スーホの白い馬	72	体は雪のように白く、きりっと引きしまって、だれでも、思わず見とれるほどでした。	雪	文学	冬	1
6280	光村	2	下	スーホの白い馬	72	大きなおおかみが、	おおかみ	文学	冬	1
6281	光村	2	下	スーホの白い馬	72	おおかみの前に立ちふさがって、	おおかみ	文学	冬	1
6282	光村	2	下	スーホの白い馬	72	おおかみをおいはらって、	おおかみ	文学	冬	1
6283	光村	2	下	スーホの白い馬	72	おおかみとたたかっていたのでしょう。	おおかみ	文学	冬	1
6284	光村	2	下	スーホの白い馬	73	ある年の春、	春	文学	春	1
6285	光村	2	下	スーホの白い馬	73	町でけい馬の大会をひらくというのです。	けい馬	文学	夏	1
6286	光村	2	下	スーホの白い馬	74	けい馬に出てごらん。	けい馬	文学	夏	1
6287	光村	2	下	スーホの白い馬	74	けい馬のひらかれる	けい馬	文学	夏	1
6288	光村	2	下	スーホの白い馬	74	けい馬がはじまりました。	けい馬	文学	夏	1
6289	光村	2	下	スーホの白い馬	76	けい馬に来たのです。	けい馬	文学	夏	1
6290	光村	2	下	スーホの白い馬	80	たきのようにながれおちています。	たき	文学	夏	1
6291	光村	2	下	スーホの白い馬	84	たきのようにながれおちています。	たき	その他	夏	
6292	光村	2	下	ことばのしらべ	99	むぎばたけ	むぎ	その他	夏	
6293	光村	2	下	ことばのしらべ	99	きゅうりがあって	きゅうり	その他	夏	
6294	光村	2	下	ことばとことばでタタタタタ	100	せんせいはしっているかなつばめのす	つばめのす	その他	春	
6295	光村	2	下	ことばとことばでタタタタタ	100	もみじさん赤いきものにきがえます	もみじ	その他	秋	
6296	光村	2	下	ことばとことばでタタタタタ	100	もみじさん赤いきものにきがえます	赤いきものにきがえます	その他	秋	
6297	光村	3	上	わかば	1	わかばを見るとむねが晴れ晴れする。	わかば	非文学	夏	
6298	光村	3	上	わかば	1	ぼくら子どももほんとは人間わかば。	わかば	非文学	夏	
6299	光村	3	上	日記を書こう	2	四月二十一日(木)晴れ	四月	その他	春	
6300	光村	3	上	日記を書こう	2	かわいいキタキツネの絵だった。	きつね	その他	冬	
6301	光村	3	上	日記を書こう	2	夏休みに行けるといいな。	夏休み	その他	夏	

6302	光村	3	上	日記を書こう	2	四月二十五日(月)くもり	四月	その他	春	
6303	光村	3	上	日記を書こう	3	四月十三日(水)	四月	その他	春	
6304	光村	3	上	きつつきの商売	9	きつつきが、お店を開きました。	きつつき	文学	秋	
6305	光村	3	上	きつつきの商売	9	それはもう、きつつきにぴったりのお店です。	きつつき	文学	秋	
6306	光村	3	上	きつつきの商売	9	きつつきは、森中の木の中から……かんばんをこしらえました。	きつつき	文学	秋	
6307	光村	3	上	きつつきの商売	9	それだけでは、なんだか分かりにくいので、きつつきは、その後に、こう書きました。	きつつき	文学	秋	
6308	光村	3	上	きつつきの商売	10	そう言って、真っ先にやって来たのは、茶色い耳をぴんと立てた野うさぎでした。	野うさぎ	文学	冬	
6309	光村	3	上	きつつきの商売	10	野うさぎは、きつつきのさし出した……「これにするわ。」	野うさぎ	文学	冬	
6310	光村	3	上	きつつきの商売	10	野うさぎは、きつつきのさし出した……「これにするわ。」	きつつき	文学	秋	
6311	光村	3	上	きつつきの商売	10	きつつきは、野うさぎをつれて、ぶなの森にやって来ました。	きつつき	文学	秋	
6312	光村	3	上	きつつきの商売	10	きつつきは、野うさぎをつれて、ぶなの森にやって来ました。	野うさぎ	文学	冬	
6313	光村	3	上	きつつきの商売	11	それから、野うさぎを、大きなぶなの木……止まりました。	野うさぎ	文学	冬	
6314	光村	3	上	きつつきの商売	11	きつつきは、木の上から声をかけました。	きつつき	文学	秋	
6315	光村	3	上	きつつきの商売	11	野うさぎは、きつつきを見上げて、こっくりうなずきました。	野うさぎ	文学	冬	
6316	光村	3	上	きつつきの商売	11	野うさぎは、きつつきを見上げて、こっくりうなずきました。	きつつき	文学	秋	
6317	光村	3	上	きつつきの商売	12	きつつきは、ぶなの木のみきを、力いっぱいたたきました。	きつつき	文学	秋	
6318	光村	3	上	きつつきの商売	12	野うさぎは、きつつきを見上げたまま、だまって聞いていました。	野うさぎ	文学	冬	

6319	光村	3	上	きつつきの商売	12	野うさぎは、きつつきを見上げたまま、だまって聞いていました。	きつつき	文学	秋	
6320	光村	3	上	きつつきの商売	12	きつつきも、うっとり聞いていました。	きつつき	文学	秋	
6321	光村	3	上	きつつきの商売	13	きつつきは、新しいメニューを思いつきました。	きつつき	文学	秋	
6322	光村	3	上	きつつきの商売	13	きつつきさん。	きつつき	文学	秋	
6323	光村	3	上	きつつきの商売	13	きつつきさん。	きつつき	文学	秋	
6324	光村	3	上	きつつきの商売	13	見下ろすと、ぶなの木のねもとに……きつつきを見上げています。	きつつき	文学	秋	
6325	光村	3	上	きつつきの商売	13	たちつぼすみれの葉っぱのかさをかたにかついで、……びしょぬれでした。	たちつぼすみれ	文学	春	
6326	光村	3	上	きつつきの商売	14	きつつきは、ぬれた頭をぶるんとふって、言いました。	きつつき	文学	秋	
6327	光村	3	上	きつつきの商売	16	かたつむりたちは、できるけど。	かたつむり	文学	夏	
6328	光村	3	上	きつつきの商売	16	かたつむりじゃなくて、あまがえるだってば。	かたつむり	文学	夏	
6329	光村	3	上	きつつきの商売	16	かたつむりじゃなくて、あまがえるだってば。	あまがえる	文学	夏	
6330	光村	3	上	きつつきの商売	16	きつつきは、木のうろから出て、野ねずみたちのいる場所にとび下りました。	きつつき	文学	秋	
6331	光村	3	上	きつつきの商売	17	野ねずみは、野ねずみのおくさんと……きつつきをふりかえって言いました。	きつつき	文学	秋	
6332	光村	3	上	きつつきの商売	17	葉っぱのかさをさした十ぴきの……きつつきにむけました。	きつつき	文学	秋	
6333	光村	3	上	きつつきの商売	20	「きつつきの商売」には、「１」と「２」の二つのばめんがあります。	きつつき	その他	秋	
6334	光村	3	上	きつつきの商売	22	「きつつきの商売」の音読を、ほかの学年の人たちや、家の人、地いきの人に聞いてもらえるとうれしいですね。	きつつき	その他	秋	
6335	光村	3	上	きつつきの商売	22	五月十日（火曜日）	五月	その他	春	
6336	光村	3	上	きつつきの商売	22	「きつつきの商売」という物語をみんなで読みます。	きつつき	その他	秋	
6337	光村	3	上	ありの行列	26	夏になると、庭のすみなどで、ありの行列をよく見かけます。	夏	非文学	夏	

6338	光村	3	上	ありの行列	26	夏になると、庭のすみで、ありの行列をよく見かけます。	あり	非文学	夏	
6339	光村	3	上	ありの行列	26	その行列は、ありの巣から、えさのある所まで、ずっとつづいています。	あり	非文学	夏	
6340	光村	3	上	ありの行列	26	ありは、ものがよく見えません。	あり	非文学	夏	
6341	光村	3	上	ありの行列	26	それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか。	あり	非文学	夏	
6342	光村	3	上	ありの行列	27	この人は、次のような実験をして、ありの様子をかんさつしました。	あり	非文学	夏	
6343	光村	3	上	ありの行列	27	はじめに、ありの巣から少しはなれた所に、ひとつまみのさとうをおきました。	あり	非文学	夏	
6344	光村	3	上	ありの行列	27	しばらくすると、一ぴきのありが、そのさとうを見つけました。	あり	非文学	夏	
6345	光村	3	上	ありの行列	27	これは、えさをさがすために、外に出ていたはたらきありです。	あり	非文学	夏	
6346	光村	3	上	ありの行列	27	ありは、やがて、巣に帰っていきました。	あり	非文学	夏	
6347	光村	3	上	ありの行列	27	すると、巣の中から、たくさんのはたらきありが、次々と出てきました。	あり	非文学	夏	
6348	光村	3	上	ありの行列	27	ふしぎなことに、その行列は、はじめのありが……外れていないのです。	あり	非文学	夏	
6349	光村	3	上	ありの行列	28	次に、この道すじに大きな石をおいて、ありの行く手をさえぎってみました。	あり	非文学	夏	
6350	光村	3	上	ありの行列	28	すると、ありの行列は、石の所でみだれて、ちりぢりになってしまいました。	あり	非文学	夏	
6351	光村	3	上	ありの行列	28	ようやく、一ぴきのありが、石のむこうがわに道のつづきを見つけました。	あり	非文学	夏	
6352	光村	3	上	ありの行列	28	そのうちに、ほかのありたちも、一ぴき二ひきと道を見つけて歩きだしました。	あり	非文学	夏	
6353	光村	3	上	ありの行列	28	まただんだんに、ありの行列ができていきました。	あり	非文学	夏	
6354	光村	3	上	ありの行列	28	目的地に着くと、ありは、さとうのつぶをもって、巣に帰っていきました。	あり	非文学	夏	

6355	光村	3	上	ありの行列	28	ありの行列は、さとうのかたまりがなくなるまでつづきました。	あり	非文学	夏	
6356	光村	3	上	ありの行列	28	これらのかんさつから、ウイルソンは、はたらきありが……と考えました。	あり	非文学	夏	
6357	光村	3	上	ありの行列	29	そこで、ウイルソンは、はたらきありの体の仕組みを、細かに研究してみました。	あり	非文学	夏	
6358	光村	3	上	ありの行列	29	すると、ありは、おしりの所から、とくべつのえきを出すことが分かりました。	あり	非文学	夏	
6359	光村	3	上	ありの行列	29	この研究から、ウイルソンは、ありの行列のできるわけを知ることができました。	あり	非文学	夏	
6360	光村	3	上	ありの行列	29	はたらきありは、えさを見つけると、……つけながら帰るのです。	あり	非文学	夏	
6361	光村	3	上	ありの行列	29	ほかのはたらきありたちは、そのにおいをかいで、においにそって歩いていきます。	あり	非文学	夏	
6362	光村	3	上	ありの行列	29	そして、そのはたらきありたちも、えさをもって……歩くのです。	あり	非文学	夏	
6363	光村	3	上	ありの行列	30	このように、においをたどって……ありの行列ができるというわけです。	あり	非文学	夏	
6364	光村	3	上	ありの行列	30	このえきのにおいは、ありのしゅるいによってちがうことも分かりました。	あり	非文学	夏	
6365	光村	3	上	ありの行列	30	それで、ちがったしゅるいのありの道しるべが……つづいていくのです。	あり	非文学	夏	
6366	光村	3	上	ありの行列	31	「ありの行列」を読んで、はじめて知ったことやおどろいたこと、ぎもんに思ったことを発表しましょう。	あり	その他	夏	
6367	光村	3	上	ありの行列	31	「ありの行列」には、はじめの段落に「問い」がしめされています。	あり	その他	夏	
6368	光村	3	上	ありの行列	32	「ありの行列」には、「ました。」で終わる文と、「です。」「ます。」で終わる文とがあります。	あり	その他	夏	
6369	光村	3	上	ありの行列	32	「ありの行列」に出てきた、次のことばのはたらきを考え	あり	その他	夏	

						てみましょう。				
6370	光村	3	上	国語辞典を使おう	35	あきかぜ	あきかぜ	その他	秋	
6371	光村	3	上	国語辞典を使おう	37	母が温かいあま酒を出してくれた。	あま酒	その他	夏	
6372	光村	3	上	わたしと小鳥とすずと	38	わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのように、地面をはやく走れない。	小鳥	文学	秋	
6373	光村	3	上	わたしと小鳥とすずと	39	すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。	小鳥	文学	秋	
6374	光村	3	上	おもしろいもの、見つけた	40	ひなが生まれたつばめの巣、人間の顔に見える木……ありませんか。	つばめの巣	その他	春	
6375	光村	3	上	おもしろいもの、見つけた	41	高野さんは、五月の日記に書いていた「ふたに写真がついたマンホール」について、知らせることにしました。	五月	非文学	春	
6376	光村	3	上	おもしろいもの、見つけた	41	五月十九日(木)	五月	非文学	春	
6377	光村	3	上	道あんないをしよう	51	なの花公園	なの花	その他	春	
6378	光村	3	上	三年とうげ	54	春には、すみれ、たんぽぽ、ふでりんどう。	春	文学	春	
6379	光村	3	上	三年とうげ	54	春には、すみれ、たんぽぽ、ふでりんどう。	すみれ	文学	春	
6380	光村	3	上	三年とうげ	54	春には、すみれ、たんぽぽ、ふでりんどう。	たんぽぽ	文学	春	
6381	光村	3	上	三年とうげ	54	春には、すみれ、たんぽぽ、ふでりんどう。	ふでりんどう	文学	春	
6382	光村	3	上	三年とうげ	54	れんげつつじのさくころは、だれだってため息の出るほど、よいながめでした。	つつじ	文学	春	
6383	光村	3	上	三年とうげ	54	秋には、かえで、がまずみ、ぬるでの葉。	秋	文学	秋	
6384	光村	3	上	三年とうげ	54	秋には、かえで、がまずみ、ぬるでの葉。	かえで	文学	秋	
6385	光村	3	上	三年とうげ	54	秋には、かえで、がまずみ、ぬるでの葉。	がまずみ	文学	秋	
6386	光村	3	上	三年とうげ	54	秋には、かえで、がまずみ、ぬるでの葉。	ぬるで	文学	秋	
6387	光村	3	上	三年とうげ	55	白いすすきの光るころは、だれだってため息の出るほど、よいながめでした。	すすき	文学	秋	
6388	光村	3	上	三年とうげ	56	ある秋の日のことでした。	秋	文学	秋	
6389	光村	3	上	三年とうげ	56	白いすすきの光るころでした。	すすき	文学	秋	
6390	光村	3	上	三年とうげ	56	お日さまが西にかたむき、夕やけ空がだんだん暗くなり	夕やけ	文学	夏	

						ました。				
6391	光村	3	上	三年とうげ	59	ぬるでの木のかげから、おもしろい歌が聞こえてきました。	ぬるで	文学	秋	
6392	光村	3	上	三年とうげ	62	ところで、三年とうげのぬるでの木のかげで、……だれだったのでしょうね。	ぬるで	文学	秋	
6393	光村	3	上	本は友だち	65	ひねくれやのフクロウが、友だちを見つける話	フクロウ	その他	冬	
6394	光村	3	上	本は友だち	69	春	春	その他	春	
6395	光村	3	上	本は友だち	69	海	海	その他	夏	
6396	光村	3	上	本は友だち	69	夏	夏	その他	夏	
6397	光村	3	上	本は友だち	69	秋	秋	その他	秋	
6398	光村	3	上	本は友だち	69	麦	麦	その他	夏	
6399	光村	3	上	本は友だち	69	冬	冬	その他	冬	
6400	光村	3	上	本は友だち	69	雪	雪	その他	冬	
6401	光村	3	上	本は友だち	69	春は、校庭のさくらがさきます。	春	その他	春	
6402	光村	3	上	本は友だち	69	春は、校庭のさくらがさきます。	さくら	その他	春	
6403	光村	3	上	へんとつくり	73	泳ぐ	泳ぐ	その他	夏	
6404	光村	3	上	聞き耳ずきん	100	わかものは、ふねを持っていなかったので、毎日……わかめをひろったりしては、それを売ってくらしていました。	わかめ	文学	春	
6405	光村	3	上	聞き耳ずきん	104	そのむすめさんからは、前に、あわつぶをもらったことがあるよ。	あわ	文学	秋	
6406	光村	3	上	聞き耳ずきん	105	いつか、まつりのときにちらと見たっけが、ほんに、やさしげな人じゃった。	まつり	文学	夏	
6407	光村	3	上	聞き耳ずきん	106	そんでも、切りかぶはまだのこっておって、毎年春になると、そこからひょっこり芽が出る。	春	文学	春	
6408	光村	3	上	聞き耳ずきん	106	そんでも、切りかぶはまだのこっておって、毎年春になると、そこからひょっこり芽が出る。	芽が出る	文学	春	
6409	光村	3	上	聞き耳ずきん	106	ところが、そのたんびに、せっかくの芽を庭番がつんでしまうんじゃ。	芽	文学	春	

6410	光村	3	上	聞き耳ずきん	106	芽が出ちゃつまれ、芽が出ちゃつまれ、くすの木は、死のうにも死なれず、生きようにも生きられず、くるしんでおるんよ。	芽	文学	春	
6411	光村	3	上	聞き耳ずきん	106	芽が出ちゃつまれ、芽が出ちゃつまれ、くすの木は、死のうにも死なれず、生きようにも生きられず、くるしんでおるんよ。	芽	文学	春	
6412	光村	3	上	聞き耳ずきん	110	おうよ、さくらの木どんか。	さくら	文学	春	
6413	光村	3	上	聞き耳ずきん	111	青白かったむすめの顔が、ほんのりさくらの花びらの色になりました。	さくら	文学	春	
6414	光村	3	下	モチモチの木	64	秋になると、茶色いぴかぴか光った実を、いっぱいふり落としてくれる。	秋	文学	秋	
6415	光村	3	下	モチモチの木	68	頭の上で、くまのうなり声が聞こえたからだ。	くま	文学	冬	
6416	光村	3	下	モチモチの木	66	おく山じゃあ、しかやくまめらが、鼻ぢょうちん出して、ねっこけてやがるべ。	くま	文学	冬	
6417	光村	3	下	モチモチの木	63	けれど、豆太のおとうだって、くまと組みうちして、頭をぶっさかれて死んだほどのきもすけだったし、じさまだって、六十四の今、まだ青じしを追っかけて、きもをひやすような岩から岩へのとびうつりだって、見事にやってのける。	くま	文学	冬	
6418	光村	3	下	モチモチの木	69	まくら元で、くまみたいに体を丸めてうなっていたのは、じさまだった。	くま	文学	冬	
6419	光村	3	下	モチモチの木	70	いたくて、さむくて、こわかったからなぁ。	さむくて	文学	冬	
6420	光村	3	下	モチモチの木	66	おく山じゃあ、しかやくまめらが、鼻ぢょうちん出して、ねっこけてやがるべ。	しか	文学	秋	
6421	光村	3	下	モチモチの木	70	しもが足にかみついた。	霜	文学	冬	
6422	光村	3	下	モチモチの木	70	とうげの下りの坂道は、一面のまっ白いしもで、雪みたいだった。	霜	文学	冬	
6423	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	8	夏のはじめのある夜、くうしゅうけいほうのサイレンで、ちいちゃんたちは目がさめました。	夏	文学	夏	

6424	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	13	その夜、ちいちゃんは、ざつのうの中に入れてあるほしいいを、少し食べました。	ほしいい	文学	夏	
6425	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	13	ちいちゃんは、ざつのうの中のほしいいを、また少しかじりました。	ほしいい	文学	夏	
6426	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	15	ちいちゃんは、空色の花畑の中に、立っていました。	花	文学	春	
6427	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	15	見回しても、見回しても、花畑。	花	文学	春	
6428	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	16	わらいながら、花畑の中を走りだしました。	花	文学	春	
6429	光村	3	下	ちいちゃんのかげおくり	16	夏のはじめのある朝、こうして、小さな女の子の命が、空にきえました。	夏	文学	夏	
6430	光村	3	下	すがたをかえる大豆	22	すがたをかえる大豆	大豆	非文学	秋	
6431	光村	3	下	すがたをかえる大豆	22	その中で、ごはんになる米、パンやめん類になる麦のほかにも、多くの人がほとんど毎日口にしているものがあります。	麦	非文学	夏	
6432	光村	3	下	すがたをかえる大豆	22	それは、大豆です。	大豆	非文学	秋	
6433	光村	3	下	すがたをかえる大豆	22	大豆がそれほど食べられていることは、意外と知られていません。	大豆	非文学	秋	
6434	光村	3	下	すがたをかえる大豆	22	大豆は、いろいろな食品にすがたをかえていることが多いので気づかれないのです。	大豆	非文学	秋	
6435	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	大豆は、ダイズという植物のたねです。	大豆	非文学	秋	
6436	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	これが、わたしたちが知っている大豆です。	大豆	非文学	秋	
6437	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	かたい大豆は、そのままでは食べにくく、消化もよくありません。	大豆	非文学	秋	
6438	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	いちばん分かりやすいのは、大豆をその形のままいったり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふうです。	大豆	非文学	秋	
6439	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	いると、豆まきに使う豆になります。	豆まき	非文学	冬	
6440	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	正月のおせち料理に使われる黒豆も、に豆のひとつです。	正月	非文学	新年	
6441	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	正月のおせち料理に使われる黒豆も、に豆のひとつです。	おせち料理	非文学	新年	

6442	光村	3	下	すがたをかえる大豆	23	に豆には、黒、茶、白など、いろいろな色の大豆が使われます。	大豆	非文学	秋	
6443	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	もちやだんごにかけるきなこは、大豆をいって、こなにひいたものです。	もち	非文学	新年	
6444	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	もちやだんごにかけるきなこは、大豆をいって、こなにひいたものです。	大豆	非文学	秋	
6445	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	また、大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふうもあります。	大豆	非文学	秋	
6446	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	水をいっぱいにすいこんだ大豆をすりつぶすと、白っぽいしるが出てきます。	大豆	非文学	秋	
6447	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	むした大豆にナットウキンをくわえ、あたたかい場所に一日近くおいて作ります。	大豆	非文学	秋	
6448	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	ナットウキンの力をかりたのが納豆です。	納豆	その他	冬	
6449	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	むした大豆にナットウキンをくわえ、あたたかい場所に一日近くおいて作ります。	ナットウ	その他	冬	
6450	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	みそを作るには、まず、むした米か麦にコウジカビをまぜたものをようういします。	麦	非文学	夏	
6451	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえてまぜ合わせます。	大豆	非文学	秋	
6452	光村	3	下	すがたをかえる大豆	24	ふたをして、風通しのよい暗い所に半年から一年の間おいておくと、大豆はみそになります。	大豆	非文学	秋	
6453	光村	3	下	すがたをかえる大豆	25	ダイズを、まだわかくてやわらかいうちにとり入れ、さやごとゆでて食べるのが、えだ豆です。	えだ豆	非文学	秋	
6454	光村	3	下	すがたをかえる大豆	25	このように、大豆はいろいろなすがたで食べられています。	大豆	非文学	秋	
6455	光村	3	下	すがたをかえる大豆	25	ほかの作物にくらべて、こんなに多くの食べ方が考えられたのは、大豆が味もよく、畑の肉といわれるくらいたくさんのえいようをふくんでいるからです。	大豆	非文学	秋	
6456	光村	3	下	すがたをかえる大豆	25	大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の	大豆	非文学	秋	

						人々のちえにおどろかされます。				
6457	光村	3	下	すがたをかえる大豆	26	えだ豆	えだ豆	その他	秋	
6458	光村	3	下	すがたをかえる大豆	26	納豆	納豆	その他	冬	
6459	光村	3	下	食べ物はかせになろう	28	「すがたをかえる大豆」を学習して、「もっとくわしく知りたい。」	大豆	非文学	秋	
6460	光村	3	下	食べ物はかせになろう	28	大豆･米･麦などは、ざいりょうです。	大豆	非文学	秋	
6461	光村	3	下	食べ物はかせになろう	28	大豆･米･麦などは、ざいりょうです。	麦	非文学	夏	
6462	光村	3	下	食べ物はかせになろう	28	カレーライス･すしなどは料理です。	すし	非文学	夏	
6463	光村	3	下	食べ物はかせになろう	30	日本の祭り・春	祭り	その他	夏	
6464	光村	3	下	食べ物はかせになろう	30	日本の祭り・春	春	その他	春	
6465	光村	3	下	食べ物はかせになろう	30	夏・秋・冬	夏	その他	夏	
6466	光村	3	下	食べ物はかせになろう	30	夏・秋・冬	秋	その他	秋	
6467	光村	3	下	食べ物はかせになろう	30	夏・秋・冬	冬	その他	冬	
6468	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	十一月十七日	十一月	その他	秋	
6469	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	もちとあられについて	もち	非文学	新年	
6470	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	もちとあられについて	あられ	非文学	冬	
6471	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	もちは、もち米をむして、ついたもの。	もち	非文学	新年	
6472	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	あられは、小さく切ってかんそうさせたもちを、やいたり油であげたりしたもの。	あられ	非文学	冬	
6473	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	あられは、小さく切ってかんそうさせたもちを、やいたり油であげたりしたもの。	もち	非文学	新年	
6474	光村	3	下	食べ物はかせになろう	31	「すがたをかえる大豆」のように、段落を分けて書きましょう。	大豆	非文学	秋	
6475	光村	3	下	食べ物はかせになろう	32	まず、みんながよく知っているもちです。	もち	非文学	新年	
6476	光村	3	下	食べ物はかせになろう	32	もちは、もち米をむして、うすときねを使ってついて作ります。	もち	非文学	新年	
6477	光村	3	下	食べ物はかせになろう	32	もちを小さく切ってかんそうさせ、やいたり油であげたりすると、あられになります。	もち	非文学	新年	
6478	光村	3	下	食べ物はかせになろう	32	もちを小さく切ってかんそうさせ、やいたり油であげた	あられ	非文学	冬	

						りすると、あられになります。				
6479	光村	3	下	食べ物はかせになろう	32	だんご・大福・しるこに入っている白玉などは、こなに水を入れてねり、ゆでたりふかしたりしてつくります。	白玉	非文学	夏	
6480	光村	3	下	カンジーはかせの音訓遊び歌	33	遠くへ遠足うれしいな	遠足	その他	春	
6481	光村	3	下	カンジーはかせの音訓遊び歌	33	登山だ、みんなで山登り	登山	その他	夏	
6482	光村	3	下	カンジーはかせの音訓遊び歌	33	登山だ、みんなで山登り	山登り	その他	夏	
6483	光村	3	下	カンジー博士の音訓遊び歌	33	お昼ねしよう	お昼ね	その他	夏	
6484	光村	3	下	カンジーはかせの音訓遊び歌	34	大根にんじんどちらもねっこ	大根	その他	冬	
6485	光村	3	下	カンジーはかせの音訓遊び歌	34	大根にんじんどちらもねっこ	にんじん	その他	冬	
6486	光村	3	下	漢字の意味	47	スケートで、三回転ジャンプをする。	スケート	その他	冬	
6487	光村	3	下	漢字の意味	47	家事のてつだいで、じゃがいもの皮むきと皿あらいをする。	じゃがいも	その他	秋	
6488	光村	3	下	漢字と友だち	52	「山」「日」「川」「月」などの漢字は、じっさいにあるものの形をえがいて作られました。	月	その他	秋	
6489	光村	3	下	漢字と友だち	53	「今年もおいしい麦ができるといいなあ。」	麦	その他	夏	
6490	光村	3	下	漢字と友だち	54	そのおかげで、今年もりっぱな麦がたくさんできました。	麦	その他	夏	
6491	光村	3	下	漢字と友だち	54	見事に実った麦をかり取って、男は家は帰ります。	麦	その他	夏	
6492	光村	3	下	漢字と友だち	57	草むら(「サ」)で、これは「何」かと思ったら、小さなありの小さな「荷」物。	あり	その他	夏	
6493	光村	3	下	漢字と友だち	58	「旅」と「鳥」で、「(わたりどり)」という漢字を作りました。	わたりどり	その他	秋	
6494	光村	3	下	漢字と友だち	58	冬になると、あたりは一面の銀世界。	冬	その他	冬	
6495	光村	3	下	漢字と友だち	58	冬になると、あたりは一面の銀世界。	銀世界	その他	冬	
6496	光村	3	下	漢字と友だち	58	そして、春になったら、またここへもどってくるんだ。	春	その他	春	
6497	光村	3	下	学習したことを生かして	60	一年間つみ重ねてきた学習を生かして、自分の力で「モチモチの木」に取り組みましょう。	モチモチの木	その他	秋	
6498	光村	3	下	学習したことを生かして	61	五月十日(火曜日)	五月	その他	春	
6499	光村	3	下	学習したことを生かして	61	「きつつきの商売」という物語をみんなで読みます。	きつつき	その他	秋	

6500	光村	3	下	学習したことを生かして	61	わたしは、きつつきのやくです。	きつつき	その他	秋	
6501	光村	3	下	学習したことを生かして	61	「モチモチの木」を読む。	モチモチの木	その他	秋	
6502	光村	3	下	モチモチの木	66	霜月の二十日のうしみつにゃあ、モチモチの木に灯がともる。	霜月	文学	冬	
6503	光村	3	下	モチモチの木	66	霜月二十日のばん	霜月	文学	冬	
6504	光村	3	下	モチモチの木	70	外はすごい星で、月も出ていた。	月	文学	秋	
6505	光村	3	下	モチモチの木	72	だども、あれは、とちの木の後ろにちょうど月が出てきて、えだの間に星が光ってるんだ。	月	文学	秋	
6506	光村	3	下	モチモチの木	71	とちゅうで、月が出てるのに、雪がふり始めた。	月	文学	秋	
6507	光村	3	下	モチモチの木	72	だども、あれは、とちの木の後ろにちょうど月が出てきて、えだの間に星が光ってるんだ。	とちの木	文学	冬	
6508	光村	3	下	モチモチの木	68	豆太は、はじめっからあきらめて、ふとんにもぐりこむと、じさまのたばこくさいむねん中に鼻をおしつけて、よいの口からねてしまった。	ふとん	文学	冬	
6509	光村	3	下	モチモチの木	67	だって、じさまもおとうも見たんなら、自分も見たかったけど、こんな冬の真夜中に、モチモチの木を、それも、たった一人で見に出るなんて、とんでもねえ話だ。	冬	文学	冬	
6510	光村	3	下	モチモチの木	65	こなにしたやつをもちにこねあげて、ふかして食べると、ほっぺたが落っこちるほどうまいんだ。	もち	文学	新年	
6511	光村	3	下	モチモチの木	73	おまえは、山の神様の祭りを見たんだ。	山の神様の祭り	文学	冬	
6512	光村	3	下	モチモチの木	67	山の神様のお祭りなんだ。	山の神様の祭り	文学	冬	
6513	光村	3	下	モチモチの木	71	この冬はじめての雪だ。	雪	文学	冬	
6514	光村	3	下	モチモチの木	72	そこに雪がふってるから、明かりがついたように見えるんだべ。	雪	文学	冬	
6515	光村	3	下	モチモチの木	70	とうげの下りの坂道は、一面の真っ白い霜で、雪みたいだった。	雪	文学	冬	
6516	光村	3	下	モチモチの木	71	とちゅうで、月が出てるのに、雪がふり始めた。	雪	文学	冬	
6517	光村	3	下	へんしん物語	92	いちょうの木	いちょう	文学	秋	
6518	光村	3	下	へんしん物語	92	わたしは、校庭のすみのいちょうの木です。	いちょう	文学	秋	

6519	光村	3	下	へんしん物語	92	今、わたしは、黄色いじゅうたんを、地面にいっぱい広げて、みんなにふんでもらっています。	黄色いじゅうたんを、地面にいっぱい広げ	その他	秋	
6520	光村	3	下	モチモチの木	66	豆太は、そいつをねんねこの中から見た。	ねんねこ	文学	冬	
6521	光村	3	下	モチモチの木	72	「おうおう……。」と言って、ねんねこばんてんにくすりばこと豆太をおぶうと、ま夜中のとうげ道を、えっちら、おっちら、じさまの小屋へ上がってきた。	ねんねこばんてん	文学	冬	
6522	光村	4	上	白いぼうし	52	今日は、六月の始め。	六月	文学	夏	
6523	光村	4	上	白いぼうし	52	夏がいきなり始まったような暑い日です。	暑い日	文学	夏	
6524	光村	4	上	白いぼうし	60	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています。	クローバー	文学	春	
6525	光村	4	上	白いぼうし	61	それは、シャボン玉のはじけるような、小さな小さな声でした。	シャボン玉	文学	春	
6526	光村	4	上	白いぼうし	52	松井さんもお客さんも、白いワイシャツのそでを、うでもでたくしあげていました。	白いワイシャツ	文学	夏	
6527	光村	4	上	白いぼうし	60	クローバーが青々と広がり、わた毛と黄色の花の交ざったたんぽぽが、点々のもようになってさいています。	たんぽぽ	文学	春	
6528	光村	4	上	白いぼうし	60	白いちょうが、二十も三十も、いえ、もっとたくさん飛んでいました。	ちょう	文学	春	
6529	光村	4	上	白いぼうし	61	その上を、おどるように飛んでいるちょうをぼんやり見ているうち、松井さんには、こんな声が聞こえてきました。	ちょう	文学	春	
6530	光村	4	上	白いぼうし	54	そんな松井さんの目の前を、ちょうはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなってしまいました。	ちょう	文学	春	
6531	光村	4	上	白いぼうし	59	なにしろ、ちょうが化けたんだから―。	ちょう	文学	春	
6532	光村	4	上	白いぼうし	57	本当のちょうちょが、いたんだもん	ちょう	文学	春	
6533	光村	4	上	白いぼうし	52	夏がいきなり始まったような暑い日です。	夏	文学	夏	
6534	光村	4	上	白いぼうし	52	いいえ、夏みかんですよ。	夏みかん	文学	夏	

6535	光村	4	上	白いぼうし	56	運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。	夏みかん	文学	夏	
6536	光村	4	上	三つのお願い	6	一月一日に、自分が生まれた年にできた一セント玉を拾うと、三つのお願いがかなうっていうの。	一月一日	文学	新年	1
6537	光村	4	上	三つのお願い	6	二人とも、クリスマスにもらった新しいブーツをはいて、……マフラーをまいていた。	クリスマス	文学	冬	1
6538	光村	4	上	三つのお願い	6	二人とも、クリスマスにもらった新しいブーツをはいて、新しいぼうしをかばって、マフラーをまいていた。	ブーツ	文学	冬	1
6539	光村	4	上	三つのお願い	6	二人とも、クリスマスにもらった新しいブーツをはいて、新しいぼうしをかばって、マフラーをまいていた。	ぼうし	文学	冬	1
6540	光村	4	上	三つのお願い	7	二人とも、クリスマスにもらった新しいブーツをはいて、……マフラーをまいていた。	マフラー	文学	冬	1
6541	光村	4	上	三つのお願い	7	わたしは、雪の中にぴかぴか光っている物を見つけた。	雪	文学	冬	1
6542	光村	4	上	三つのお願い	7	お願いっていえば、この寒さ、なんとかならないかなあ。	寒さ	文学	冬	1
6543	光村	4	上	三つのお願い	9	君が、寒いのがなんとかならないかなあって言ったら、とたんにお日様がとんできたじゃないか。	寒い	文学	冬	1
6544	光村	4	上	三つのお願い	10	そのとたん、ビクターもとび上がって……コートをつかんで、表へかけ出した。	コート	文学	冬	1
6545	光村	4	上	三つのお願い	13	わたしは、いすから立ち上がってコートを着ると、表に出て、家の前のかいだんにすわった。	コート	文学	冬	1
6546	光村	4	上	手紙を書く	18	さわやかな日差しに家の前のさくらの葉がかがやいて、とてもきれいです。	さくらの葉	その他	夏	
6547	光村	4	上	手紙を書く	18	夏休みには、家族みんなで遊びに行きます。	夏休み	その他	夏	
6548	光村	4	上	手紙を書く	18	四月二十八日	四月	その他	春	
6549	光村	4	上	はるのうた	30	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上にでてきます。	かえる	文学	春	
6550	光村	4	上	はるのうた	30	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上にでてきます。	冬	文学	冬	
6551	光村	4	上	はるのうた	30	かえるは冬のあいだは土の中にいて春になると地上にでてきます。	春	文学	春	

6552	光村	4	上	春のうた	31	かぜはそよそよ	そよそよ	非文学	春	
6553	光村	4	上	春のうた	31	ケルルンクック。	ケルルンクック	非文学	春	
6554	光村	4	上	春のうた	31	ケルルンクック。	ケルルンクック	非文学	春	
6555	光村	4	上	はるのうた	31	ほっいぬのふぐりがさいている。	いぬのふぐり	文学	春	
6556	光村	4	上	春のうた	31	ケルルンクック。	ケルルンクック	非文学	春	
6557	光村	4	上	春のうた	31	ケルルンクック。	ケルルンクック	非文学	春	
6558	光村	4	上	新聞記者になろう	37	赤レンガ造りの東京駅は一九四五年五月の空襲でドームと三階部分が焼け落ちて二階建てになってしまいましたが、その東京駅丸の内駅舎(駅の建物という意味)が空襲前の姿に復元されます。	五月	その他	春	
6559	光村	4	上	新聞記者になろう	37	ぼくもわたしも新緑の木々をわたる風の中、おどろきももの木たんけん隊。	新緑	その他	夏	
6560	光村	4	上	新聞記者になろう	39	五月三十日(月)五時間目、校庭で。	五月	その他	春	
6561	光村	4	上	新聞記者になろう	40	五月三十日月曜日の五時間目、朝日小の校庭で、「四年生クラスたいこう大なわ大会」が行われた。	五月	その他	春	
6562	光村	4	上	新聞記者になろう	41	あじさい新聞	あじさい	その他	夏	
6563	光村	4	上	ローマ字	47	kingyo	kingyo	その他	夏	
6564	光村	4	上	ローマ字	47	かき	かき	その他	秋	
6565	光村	4	上	白いぼうし	61	車の中には、まだかすかに、夏みかんのにおいが残っています。	夏みかん	文学	夏	
6566	光村	4	上	白いぼうし	53	ほう、夏みかんてのは、こんなににおうものですか。	夏みかん	文学	夏	
6567	光村	4	上	白いぼうし	57	松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、……おさえました。	夏みかん	文学	夏	
6568	光村	4	上	白いぼうし	57	ええ、あの、あのね、菜の花横町ってあるかしら。	菜の花	文学	春	
6569	光村	4	上	白いぼうし	58	菜の花橋のことですね、	菜の花	文学	春	
6570	光村	4	上	白いぼうし	59	まほうのみかんと思うかな。	みかん	文学	冬	
6571	光村	4	上	白いぼうし	59	お母さんが、虫とりあみをかまえて、あの子がぼうしをそうっと開けたとき―。	虫とりあみ	文学	夏	
6572	光村	4	上	白いぼうし	54	もんしろちょうです。	もんしろちょう	文学	春	

6573	光村	4	上	白いぼうし	54	緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちょこんと置いてあります。	やなぎ	文学	春	
6574	光村	4	上	白いぼうし	58	やなぎのなみ木が、みるみる後ろに流れていきます。	やなぎ	文学	春	
6575	光村	4	上	白いぼうし	52	これは、レモンのにおいですか。	レモン	文学	秋	
6576	光村	4	上	白いぼうし	62	これは、レモンのにおいですか。	レモン	その他	秋	
6577	光村	4	上	白いぼうし	62	これは、レモンのにおいですか。	レモン	その他	秋	
6578	光村	4	上	白いぼうし	63	これは、レモンのにおいですか。	レモン	その他	秋	
6579	光村	4	上	本は友達	65	「雪の写真家ベントレー」は、雪の結晶のさつえいに一生をささげたベントレーの人生をまとめた絵本です。	雪	その他	冬	
6580	光村	4	上	本は友達	65	「雪の写真家ベントレー」は、雪の結晶のさつえいに一生をささげたベントレーの人生をまとめた絵本です。	雪の結晶	その他	冬	
6581	光村	4	上	「伝え合う」ということ	74	一九四四年の冬のある日、病室にやって来た母は、少しあつめの紙をわたしに手わたして、言いました。	冬	非文学	冬	
6582	光村	4	上	いろはにほへと	112	ご家老は、すっかり照れてしまって、かえるみたいに……ぼやきました。	かえる	文学	春	
6583	光村	4	下	はばたき	1	白鳥のやって来た空から、ふわりふわりとまい下りてくるのは、あれは雪ではなくて、たくさんの白鳥のはばたきから飛び散ってくる、小さな羽ではないのでしょうか。	白鳥	その他	冬	
6584	光村	4	下	はばたき	1	白鳥のやって来た空から、ふわりふわりとまい下りてくるのは、あれは雪ではなくて、たくさんの白鳥のはばたきから飛び散ってくる、小さな羽ではないのでしょうか。	雪	その他	冬	
6585	光村	4	下	はばたき	1	白鳥のやって来た空から、ふわりふわりとまい下りてくるのは、あれは雪ではなくて、たくさんの白鳥のはばたきから飛び散ってくる、小さな羽ではないのでしょうか。	白鳥	その他	冬	
6586	光村	4	下	一つの花	5	食べる物といえば……おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。	いも	文学	秋	

6587	光村	4	下	一つの花	5	食べる物といえば……おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。	かぼちゃ	文学	秋	
6588	光村	4	下	一つの花	6	一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけ。	いも	文学	秋	
6589	光村	4	下	一つの花	6	一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけ。	かぼちゃ	文学	秋	
6590	光村	4	下	一つの花	10	お父さんは……コスモスの花を見つけたのです。	コスモスの花	文学	秋	
6591	光村	4	下	一つの花	11	あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。	コスモスの花	文学	秋	
6592	光村	4	下	一つの花	12	でも、今……コスモスの花でいっぱいに包まれています。	コスモスの花	文学	秋	
6593	光村	4	下	一つの花	12	……と、ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました。	コスモス	文学	秋	
6594	光村	4	下	一つの花	13	やがて……コスモスのトンネルをくぐって出てきました。	コスモス	文学	秋	
6595	光村	4	下	文と文のつながり	16	（　）、テーブルに梅の花をかざった。	梅の花	その他	春	
6596	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	30	はっけよいすもうとる	すもう	その他	秋	
6597	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	30	セーターのごみをとる	セーター	その他	冬	
6598	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	30	おはなみのばしょをとる	はなみ	その他	春	
6599	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	31	たこをあげる	たこ	その他	新年	
6600	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	31	大根をおろす	大根	その他	冬	
6601	光村	4	下	いろいろな意味をもつ言葉	31	卒業式に出る	卒業式	その他	春	
6602	光村	4	下	熟語の意味	40	流星	流星	その他	秋	
6603	光村	4	下	話し合って決めよう	42	わたしは、「てぶくろ」がいいと思います。	てぶくろ	その他	冬	
6604	光村	4	下	話し合って決めよう	43	でも、「てぶくろ」はやさしすぎませんか。	てぶくろ	その他	冬	
6605	光村	4	下	つぶやきを言葉に	46	ざっ草とり	ざっ草とり	その他	夏	
6606	光村	4	下	つぶやきを言葉に	46	草とりすごくたいへん。	草とり	その他	夏	
6607	光村	4	下	つぶやきを言葉に	46	あっ、とかげだ。	とかげ	その他	夏	
6608	光村	4	下	つぶやきを言葉に	46	だんご虫も、みみずもでてきた。	みみず	その他	夏	

6609	光村	4	下	つぶやきを言葉に	46	ぼくの草とりが、虫とりに変わった。	草とり	その他	夏	
6610	光村	4	下	言葉遊びの世界	50	各行の頭の文字をつなげると、「ゆうやけ」「まちあわせ」という、かくれている言葉が見つかります。	ゆうやけ	その他	夏	
6611	光村	4	下	言葉遊びの世界	51	「秋の夕日」とかけて、なんととく。	秋	その他	秋	
6612	光村	4	下	カンジーはかせの漢字しりとり	59	台風	台風	その他	秋	
6613	光村	4	下	学習したことを生かして	60	一年間……「ごんぎつね」に取り組みましょう。	きつね	その他	冬	
6614	光村	4	下	学習したことを生かして	60	「ごんぎつね」を読む。	きつね	その他	冬	
6615	光村	4	下	学習したことを生かして	60	「ごんぎつね新聞」を作る。	きつね	その他	冬	
6616	光村	4	下	ごんぎつね	62	……ひとりぼっちの子ぎつねがすんでいました。	きつね	文学	冬	
6617	光村	4	下	ごんぎつね	62	畑に入っていもをほり散らしたり、……とんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。	いも	文学	秋	
6618	光村	4	下	ごんぎつね	62	……「ごんぎつね」というきつねがいました。	きつね	文学	冬	
6619	光村	4	下	ごんぎつね	62	ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、……	きつね	文学	冬	
6620	光村	4	下	ごんぎつね	63	……ひゃくしょうの家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、……	とんがらし	文学	秋	
6621	光村	4	下	ごんぎつね	63	菜種がらのほしてあるのに火をつけて、いったり	菜種がら	文学	夏	
6622	光村	4	下	ごんぎつね	63	ある秋のことでした。	秋	文学	秋	
6623	光村	4	下	ごんぎつね	63	……もずの声がきんきんひびいていました。	もず	文学	秋	
6624	光村	4	下	ごんぎつね	63	辺りのすすきのほには、まだ、雨のしずくが光っていました。	すすき	文学	秋	
6625	光村	4	下	ごんぎつね	64	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	すすき	文学	秋	
6626	光村	4	下	ごんぎつね	65	……川べりのすすきや、はぎのかぶが、……	はぎ	文学	秋	
6627	光村	4	下	ごんぎつね	65	……円いはぎの葉が一まい、大きなほくろみたいにへばりついていました。	はぎ	文学	秋	
6628	光村	4	下	ごんぎつね	65	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	うなぎ	文学	夏	
6629	光村	4	下	ごんぎつね	65	それは、太いうなぎのはらや、大きなきすのはらでした。	きす	文学	夏	
6630	光村	4	下	ごんぎつね	66	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっしょにぶちこみました。	うなぎ	文学	夏	
6631	光村	4	下	ごんぎつね	66	兵十は、びくの中へ、そのうなぎやきすを、ごみといっ	きす	文学	夏	

						しょにぶちこみました。				
6632	光村	4	下	ごんぎつね	66	いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、……	うなぎ	文学	夏	
6633	光村	4	下	ごんぎつね	66	……うなぎの頭を口にくわえました。	うなぎ	文学	夏	
6634	光村	4	下	ごんぎつね	66	うなぎは、キュッといって、ごんの首へまき付きました。	うなぎ	文学	夏	
6635	光村	4	下	ごんぎつね	67	うわあ、ぬすとぎつねめ。	きつね	文学	冬	
6636	光村	4	下	ごんぎつね	67	うなぎをふりすててにげようとしましたが、……	うなぎ	文学	夏	
6637	光村	4	下	ごんぎつね	67	……うなぎは、ごんの首にまき付いたままはなれません。	うなぎ	文学	夏	
6638	光村	4	下	ごんぎつね	67	ごんはほっとして、うなぎの頭をかみくだき、……	うなぎ	文学	夏	
6639	光村	4	下	ごんぎつね	68	……そこの、いちじくの木のかげで、弥助の家内が、……	いちじく	文学	秋	
6640	光村	4	下	ごんぎつね	69	秋祭りかな。	秋祭り	文学	秋	
6641	光村	4	下	ごんぎつね	69	祭りなら、たいこや笛の音がしそうなものだ。	祭り	文学	夏	
6642	光村	4	下	ごんぎつね	70	墓地には、ひがんばなが、赤いきれのように、さき続いていました。	ひがんばな	文学	秋	
6643	光村	4	下	ごんぎつね	70	人々が通ったあとには、ひがんばながふみおられていました。	ひがんばな	文学	秋	
6644	光村	4	下	ごんぎつね	70	いつもは、赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、……	さつまいも	文学	秋	
6645	光村	4	下	ごんぎつね	70	……うなぎが食べたいと言ったにちがいない。	うなぎ	文学	夏	
6646	光村	4	下	ごんぎつね	70	ところが、わしがいたずらをして、うなぎを取ってきてしまった。	うなぎ	文学	夏	
6647	光村	4	下	ごんぎつね	70	だから、兵十は、おっかあにうなぎを食べさせることができなかった。	うなぎ	文学	夏	
6648	光村	4	下	ごんぎつね	70	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	
6649	光村	4	下	ごんぎつね	71	ああ、うなぎが食べたい、うなぎが食べたいと思いながら、死んだんだろう。	うなぎ	文学	夏	

6650	光村	4	下	ごんぎつね	71	兵十が、赤いいどの所で、麦をといでいました。	麦	文学	夏	
6651	光村	4	下	ごんぎつね	71	……どこかでいわしを売る声がします。	いわし	文学	秋	
6652	光村	4	下	ごんぎつね	71	いわしの安売りだあい。	いわし	文学	秋	
6653	光村	4	下	ごんぎつね	71	いきのいい、いわしだあい。	いわし	文学	秋	
6654	光村	4	下	ごんぎつね	71	いわしをおくれ。	いわし	文学	秋	
6655	光村	4	下	ごんぎつね	71	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
6656	光村	4	下	ごんぎつね	71	いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、……	いわし	文学	秋	
6657	光村	4	下	ごんぎつね	72	……ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、……	いわし	文学	秋	
6658	光村	4	下	ごんぎつね	72	……かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、……	いわし	文学	秋	
6659	光村	4	下	ごんぎつね	72	……うちの中へいわしを投げこんで、あなへ向かってかけもどりました。	いわし	文学	秋	
6660	光村	4	下	ごんぎつね	72	……まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。	麦	文学	夏	
6661	光村	4	下	ごんぎつね	73	ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。	うなぎ	文学	夏	
6662	光村	4	下	ごんぎつね	73	……ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、……	くり	文学	秋	
6663	光村	4	下	ごんぎつね	73	いったい、だれが、いわしなんかを、……	いわし	文学	秋	
6664	光村	4	下	ごんぎつね	73	……いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。	いわし	文学	秋	
6665	光村	4	下	ごんぎつね	73	かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、……	いわし	文学	秋	
6666	光村	4	下	ごんぎつね	73	……その入り口に、くりを置いて帰りました。	くり	文学	秋	
6667	光村	4	下	ごんぎつね	73	……ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。	くり	文学	秋	
6668	光村	4	下	ごんぎつね	73	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	くり	文学	秋	

6669	光村	4	下	ごんぎつね	73	……くりばかりでなく、松たけも二、三本持っていきました。	松たけ	文学	秋	
6670	光村	4	下	ごんぎつね	74	……松虫が鳴いています。	松虫	文学	秋	
6671	光村	4	下	ごんぎつね	74	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	くり	文学	秋	
6672	光村	4	下	ごんぎつね	75	……おれに、くりや松たけなんかを、毎日、毎日、くれるんだよ。	松たけ	文学	秋	
6673	光村	4	下	ごんぎつね	75	そのくりを見せてやるよ。	くり	文学	秋	
6674	光村	4	下	ごんぎつね	77	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	くり	文学	秋	
6675	光村	4	下	ごんぎつね	77	おれが、くりや松たけを持っていってやるのに、……	松たけ	文学	秋	
6676	光村	4	下	ごんぎつね	78	……ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。	くり	文学	秋	
6677	光村	4	下	ごんぎつね	78	……きつねがうちの中へ入ったではありませんか。	きつね	文学	冬	
6678	光村	4	下	ごんぎつね	78	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	うなぎ	文学	夏	
6679	光村	4	下	ごんぎつね	79	こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたずらをしに来たな。	きつね	文学	冬	
6680	光村	4	下	ごんぎつね	79	うちの中を見ると、土間にくりが固めて置いてあるのが、目につきました。	くり	文学	秋	
6681	光村	4	下	ごんぎつね	79	ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
6682	光村	4	下	心でパチリ	106	うちの中を見ると、土間に、くりがかためて置いてあるのが目につきました。	くり	文学	秋	
6683	光村	4	下	心でパチリ	106	いつも、くりをくれたのは。	くり	文学	秋	
6684	光村	4	下	心でパチリ	106	ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな	桜	その他	春	
6685	光村	4	下	心でパチリ	106	夏	夏	その他	夏	
6686	光村	4	下	心でパチリ	106	しづかさや岩にしみ入る蝉の声	蝉	その他	夏	
6687	光村	4	下	心でパチリ	106	夏河をこすうれしさよ手にざうり	夏河	その他	夏	
6688	光村	4	下	心でパチリ	107	秋	秋	その他	秋	
6689	光村	4	下	心でパチリ	107	柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺	柿	その他	秋	
6690	光村	4	下	心でパチリ	107	をりとりてはらりとおもきすすきかな	すすき	その他	秋	

6691	光村	4	下	心でパチリ	107	冬	冬	その他	冬	
6692	光村	4	下	心でパチリ	107	咳の子のなぞなぞあそびきりもなや	咳	その他	冬	
6693	光村	4	下	心でパチリ	107	木枯らしや海に夕日を吹き落とす	木枯らし	その他	冬	
6694	光村	4	下	心でパチリ	108	夏の思い出日記帳	夏	その他	夏	
6695	光村	4	下	心でパチリ	108	海開き待ちに待ったと雲も言い	海開き	その他	夏	
6696	光村	4	下	心でパチリ	108	一、二、三目覚めの春の体そうだ	春	その他	春	
6697	光村	4	下	心でパチリ	108	あけましておめでとう	あけましておめでとう	その他	新年	
6698	光村	4	下	心でパチリ	108	1月1日	一月一日	その他	新年	
6699	光村	4	下	心でパチリ	108	青空や家の中では初笑い	初笑い	その他	新年	
6700	光村	5	上	新しい友達	8	クロッカス。	クロッカス	文学	春	
6701	光村	5	上	新しい友達	9	黄色いクロッカスのはち植えを持ったまりちゃんの写真もとどいた。	クロッカス	文学	春	
6702	光村	5	上	新しい友達	9	わたしがあげた球根が、ちゃんと花をさかせたんだ。	花をさかせた	文学	春	
6703	光村	5	上	新しい友達	9	クリスマスカードと、暑中みまいと、クリスマスカードを書いた	クリスマスカード	文学	冬	
6704	光村	5	上	新しい友達	9	クリスマスカードと、暑中みまいと、クリスマスカードを書いた	暑中みまい	文学	夏	
6705	光村	5	上	新しい友達	9	クリスマスカードと、暑中みまいと、クリスマスカードを書いた	クリスマスカード	文学	冬	
6706	光村	5	上	新しい友達	9	まりちゃんからの二回目のクリスマスカードには……書いてあった。	クリスマスカード	文学	冬	
6707	光村	5	上	新しい友達	9	まりちゃんからの二回目のクリスマスカードには、「来年の四月に帰るね。五年生からまたいっしょだよ。よいお年を。」と書いてあった。	四月	文学	春	
6708	光村	5	上	新しい友達	9	まりちゃんからの二回目のクリスマスカードには、「来年の四月に帰るね。五年生からまたいっしょだよ。よいお年を。」と書いてあった。	よいお年を	文学	新年	
6709	光村	5	上	新しい友達	11	学校はクラスがえがあるから、今のクラスは、まりちゃ	クラスがえ	文学	春	

						んといたクラスとは少しちがう。				
6710	光村	5	上	新しい友達	15	このクロッカスね、毎年さくよ。	クロッカス	文学	春	
6711	光村	5	上	新しい友達	18	この作品では、クロッカスが三つの場面で出てくる。	クロッカス	その他	春	
6712	光村	5	上	新しい友達	18	どの場面のクロッカスが心に残っただろうか。	クロッカス	その他	春	
6713	光村	5	上	新しい友達	19	新入生	新入生	その他	春	
6714	光村	5	上	新しい友達	19	新人	新人	その他	春	
6715	光村	5	上	新しい友達	19	新米	新米	その他	秋	
6716	光村	5	上	新しい友達	19	新しい教科書	新しい教科書	その他	春	
6717	光村	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	23	平成十七年五月十日	五月	その他	春	
6718	光村	5	上	お願いの手紙、お礼の手紙	25	ご卒業おめでとうございます。	卒業	その他	春	
6719	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	サクラソウを知っていますか。	サクラソウ	非文学	春	
6720	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	サクラソウは、その名のとおり、サクラに似たピンクの花をさかせる小さい草です。	サクラソウ	非文学	春	
6721	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	サクラソウは、その名のとおり、サクラに似たピンクの花をさかせる小さい草です。	サクラ	非文学	春	
6722	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	数十年前までは、日本各地に野生のサクラソウの群生地があり、早春の風物詩にもなっていました。	サクラソウ	非文学	春	
6723	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	数十年前までは、日本各地に野生のサクラソウの群生地があり、早春の風物詩にもなっていました。	早春	非文学	春	
6724	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	なんとかサクラソウを守ろうと、……実らないというのです。	サクラソウ	非文学	春	
6725	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	26	なぜタネができないかをさぐるために、まず、サクラソウの受粉の仕組みを考えてみましょう。	サクラソウ	非文学	春	
6726	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	27	サクラソウの場合、この花粉を運ぶ大切な役わりを、トラマルハナバチという虫が果たしています。	サクラソウ	非文学	春	
6727	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	27	サクラソウをおとずれているトラマルハナバチを……分かります。	サクラソウ	非文学	春	
6728	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	付いた花粉の一部は、このハチがほかのサクラソウから……わたされます。	サクラソウ	非文学	春	

6729	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	こうして、トラマルハナバチは、サクラソウからみつや……しているのです。	サクラソウ	非文学	春	
6730	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	サクラソウは、同じ仲間の花に確実に花粉をわたしてもらえるように、いくつかの工夫をしています。	サクラソウ	非文学	春	
6731	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	サクラソウは、他の花より少し早くさきます。	サクラソウ	非文学	春	
6732	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	同じ時期にさく花が少なければ、ハチに、同じサクラソウの仲間に……なります。	サクラソウ	非文学	春	
6733	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	サクラソウの花は、深い所にみつをためる形をしています。	サクラソウ	非文学	春	
6734	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	サクラソウの花の形に合う長い舌を持つ虫は、次もサクラソウの花をさがしてみつをすうでしょう。	サクラソウ	非文学	春	
6735	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	28	サクラソウの花の形に合う長い舌を持つ虫は、次もサクラソウの花をさがしてみつをすうでしょう。	サクラソウ	非文学	春	
6736	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	29	トラマルハナバチは、そのようなサクラソウに合ったくらし方や体のつくりをしています。	サクラソウ	非文学	春	
6737	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	29	こうして、サクラソウとトラマルハナバチは、おたがいにぴったりの、よい協力者となっているのです。	サクラソウ	非文学	春	
6738	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	29	サクラソウの受粉には、トラマルハナバチが深くかかわっていることが分かりました。	サクラソウ	非文学	春	
6739	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	サクラソウの花がさいても、……すがたを消していました。	サクラソウ	非文学	春	
6740	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	トラマルハナバチの一家の歴史は、冬眠から目覚めたばかりの女王バチが、春先、巣作りにちょうどよいネズミの古巣をさがし当てたときから始まります。	冬眠	非文学	冬	
6741	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	トラマルハナバチの一家の歴史は、冬眠から目覚めたばかりの女王バチが、春先、巣作りにちょうどよいネズミの古巣をさがし当てたときから始まります。	冬眠から目覚めた	非文学	春	
6742	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	トラマルハナバチの一家の歴史は、冬眠から目覚めたばかりの女王バチが、春先、巣作りにちょうどよいネズミ	春先	非文学	春	

						の古巣をさがし当てたときから始まります。				
6743	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	トラマルハナバチの一家の歴史は、冬眠から目覚めたばかりの女王バチが、春先、巣作りにちょうどよいネズミの古巣をさがし当てたときから始まります。	巣作り	非文学	春	
6744	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	女王バチは、最初はたった一ぴきでたまごを産んで子育てをします。	たまごを産んで子育て	非文学	春	
6745	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	サクラソウは、ちょうどそのころ花をさかせます。	サクラソウ	非文学	春	
6746	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	30	女王バチは、サクラソウの花を次々におとずれ、……えさを集めます。	サクラソウ	非文学	春	
6747	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	その時期には、サクラソウの開花は終わっています。	サクラソウ	非文学	春	
6748	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	ですから、働きバチたちは、初夏から秋にかけては、……集めることになります。	初夏	非文学	夏	
6749	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	ですから、働きバチたちは、初夏から秋にかけては、……集めることになります。	秋	非文学	秋	
6750	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	オドリコソウ	非文学	夏	
6751	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	ノアザミ	非文学	春	
6752	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	アヤメ	非文学	夏	
6753	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	ツリフネソウ	非文学	秋	
6754	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	クローバー	非文学	春	

6755	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	ツツジ	非文学	春	
6756	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	オドリコソウ・ノアザミ・アヤメ・ツリフネソウ・クローバーなどのほか、庭のツツジや畑のかぼちゃの花などからも……ふやします。	カボチャの花	非文学	夏	
6757	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	31	そして、秋も深まるころ、新しい女王バチと、たくさんのおすバチが生まれ、一家はその終わりをむかえます。	秋	非文学	秋	
6758	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	けっこんをすませた新しい女王バチだけが冬をこし、翌年の春に……始めるのです。	冬	非文学	冬	
6759	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	けっこんをすませた新しい女王バチだけが冬をこし、翌年の春にまた、自分たちの家族を育て始めるのです。	春	非文学	春	
6760	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	このように、トラマルハナバチは、春から秋まで……残すことができません。	春	非文学	春	
6761	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	このように、トラマルハナバチは、春から秋まで……残すことができません。	秋	非文学	秋	
6762	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	サクラソウだけが、人間に世話をされて花をさかせても、……生きていけないのです。	サクラソウ	非文学	春	
6763	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	サクラソウがタネを実らせるためには、トラマルハナバチがいなければなりません。	サクラソウ	非文学	春	
6764	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	トラマルハナバチが生きていくためには、サクラソウはもちろん、……いなければなりません。	サクラソウ	非文学	春	
6765	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	つまり、サクラソウを絶滅から守るためには、サクラソウだけを保護するのでは不十分です。	サクラソウ	非文学	春	
6766	光村	5	上	サクラソウとトラマルハナバチ	32	つまり、サクラソウを絶滅から守るためには、サクラソウだけを保護するのでは不十分です。	サクラソウ	非文学	春	
6767	光村	5	上	晴間	34	八月の山の昼	八月	非文学	夏	
6768	光村	5	上	晴間	34	遠雷の音をきく。	遠雷	文学	夏	
6769	光村	5	上	晴間	34	雷の音	雷	文学	夏	

6770	光村	5	上	晴間	35	八月の山の昼	八月	非文学	夏	
6771	光村	5	上	雪	37	太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。	雪	文学	冬	
6772	光村	5	上	雪	37	次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。	雪	文学	冬	
6773	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	つゆ(梅雨)	その他	夏	
6774	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	梅雨	その他	夏	
6775	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	春一番	春一番	その他	春	
6776	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	さみだれ	さみだれ	その他	夏	
6777	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	はるさめ	はるさめ	その他	春	
6778	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	カマキリ	カマキリ	その他	秋	
6779	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	オンブバッタ	オンブバッタ	その他	秋	
6780	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	オジギソウ	オジギソウ	その他	夏	
6781	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	カブトムシ	カブトムシ	その他	夏	
6782	光村	5	上	言葉の研究レポート	39	「朝顔」のように、様子や物の形、性質などからつけられた名前は、ほかにもあるのだろうか。	朝顔	その他	秋	
6783	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	六月ごろにふる雨のことを「つゆ」という。	六月	その他	夏	
6784	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	六月ごろにふる雨のことを「つゆ」という。	つゆ(梅雨)	その他	夏	
6785	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」を漢字で書くと、「梅雨」となる。	つゆ(梅雨)	その他	夏	
6786	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」を漢字で書くと、「梅雨」となる。	梅雨	その他	夏	
6787	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	どうして「梅の雨」なのか、ぼくは前から不思議に思っていた。	梅	その他	春	
6788	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	それで、「梅雨」という書き方の由来を調べることにした。	梅雨	その他	夏	
6789	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	つゆ(梅雨)	その他	夏	
6790	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	梅雨	その他	夏	
6791	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	つゆ(梅雨)	その他	夏	
6792	光村	5	上	言葉の研究レポート	41	「つゆ」はどうして「梅雨」と書くのか。	梅雨	その他	夏	
6793	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	日本で雨がふり続く六月から七月の初めころは、ちょうど梅の実が熟するころである。	六月	その他	夏	
6794	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	日本で雨がふり続く六月から七月の初めころは、ちょう	七月	その他	夏	

						ど梅の実が熟するころである。				
6795	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	日本で雨がふり続く六月から七月の初めころは、ちょうど梅の実が熟するころである。	梅	その他	春	
6796	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	日本で雨がふり続く六月から七月の初めころは、ちょうど梅の実が熟するころである。	梅の実の熟するころ	その他	夏	
6797	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	このことから、「梅雨」と書くようになった。	梅雨	その他	夏	
6798	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	また、この課題を調べていて、「梅雨」と関連する言葉が多いことも分かった。	梅雨	その他	夏	
6799	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	梅雨前線	梅雨前線	その他	夏	
6800	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	梅雨入り	梅雨入り	その他	夏	
6801	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	梅雨寒	梅雨寒	その他	夏	
6802	光村	5	上	言葉の研究レポート	42	菜種梅雨	菜種梅雨	その他	春	
6803	光村	5	上	言葉の研究レポート	43	「梅雨」の由来は確定できなかったが、調べた中では、「梅の実が熟するころにふる雨だから」という説が多かった。	梅雨	その他	夏	
6804	光村	5	上	言葉の研究レポート	43	「梅雨」の由来は確定できなかったが、調べた中では、「梅の実が熟するころにふる雨だから」という説が多かった。	梅	その他	春	
6805	光村	5	上	言葉の研究レポート	43	「梅雨」の由来は確定できなかったが、調べた中では、「梅の実が熟するころにふる雨だから」という説が多かった。	梅の実の熟するころ	その他	夏	
6806	光村	5	上	言葉の研究レポート	44	しいたけ	しいたけ	その他	秋	
6807	光村	5	上	言葉の研究レポート	44	こおり	こおり	その他	冬	
6808	光村	5	上	言葉の研究レポート	44	こおり	こおり	その他	冬	
6809	光村	5	上	言葉の研究レポート	44	氷	氷	その他	冬	
6810	光村	5	上	インタビュー名人になろう	49	菜の花	菜の花	その他	春	
6811	光村	5	上	未確認飛行物体	65	天の河に下、渡りの雁の列の下、	天の河	文学	夏	
6812	光村	5	上	未確認飛行物体	65	天の河に下、渡りの雁の列の下、	雁	文学	秋	
6813	光村	5	上	カンジー博士の暗号解読	66	すると、『●角で火事が…』になる。	火事	その他	冬	

6814	光村	5	上	カンジー博士の暗号解読	66	このりんごは、一個百■で買った。	りんご	その他	秋	
6815	光村	5	上	カンジー博士の暗号解読	67	火事のときは、●▲に非常口をさがし、ひなんしましょう。	火事	その他	冬	
6816	光村	5	上	人と「もの」とのつき合い方	79	卒業	卒業	その他	春	
6817	光村	5	上	和語・漢語・外来語	80	夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。	夏休み	その他	夏	
6818	光村	5	上	和語・漢語・外来語	80	夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線はかなりこみ合うものと思われます。	夏休み	その他	夏	
6819	光村	5	上	和語・漢語・外来語	81	山上で初日をおがむ。	初日	その他	新年	
6820	光村	5	上	和語・漢語・外来語	81	妹に風車を貸してあげる。	風車	その他	春	
6821	光村	5	上	通信文のいろいろ	105	2005年5月10日	５月	その他	春	
6822	光村	5	上	なくぞ	109	かみなりなんかきこえなくなる	かみなり	文学	夏	
6823	光村	5	上	歌う日本列島	110	ヤーレンソーランソーランソーランソーラン	ヤーレンソーランソーランソーランソーラン	その他	春	
6824	光村	5	上	歌う日本列島	111	ここの山の刈り干しァすんだヨー	刈り干し	その他	秋	
6825	光村	5	上	歌う日本列島	111	明日は田んぼでエー稲刈ろかヨー	稲刈ろかヨー	その他	秋	
6826	光村	5	上	歌う日本列島	111	テンサグぬ花や爪先に染みり	テンサグぬ花	その他	秋	
6827	光村	5	上	ちえの言葉、言葉のちえ	112	昨日、菜の花畑を見に行ったんだよ。	菜の花	その他	春	
6828	光村	5	上	ちえの言葉、言葉のちえ	112	春眠暁を覚えず	春眠	その他	春	
6829	光村	5	上	ちえの言葉、言葉のちえ	113	春眠暁を覚えず	春眠暁を覚えず	その他	春	
6830	光村	5	下	大地	1	太陽と大地が花をさかせ、若葉を光らせ、鳥を鳴かせ、わたしたちを楽しませてくれる。	若葉	その他	夏	
6831	光村	5	下	大地	1	お礼にわたしたちは、花や若葉や鳥たちに負けないものを作って、プレゼントしよう。	若葉	その他	夏	
6832	光村	5	下	わらぐつの中の神様	4	わらぐつの中の神様	わらぐつ	文学	冬	
6833	光村	5	下	わらぐつの中の神様	4	雪がしんしんとふっています。	雪	文学	冬	
6834	光村	5	下	わらぐつの中の神様	4	マサエは、おばあちゃんといっしょにこたつに当たりながら、本を読んでいました。	こたつ	文学	冬	

6835	光村	5	下	わらぐつの中の神様	4	風が出てきたらしく、まどのしょうじがカタカタと鳴りました。	しょうじ	文学	冬	
6836	光村	5	下	わらぐつの中の神様	4	雪がサラサラと雨戸に当たっては落ちていきます。	雪	文学	冬	
6837	光村	5	下	わらぐつの中の神様	5	お母さん、わたしのスキーぐつ、かわいてる。	スキー	文学	冬	
6838	光村	5	下	わらぐつの中の神様	5	あした、学校でスキーの日だよ。	スキー	文学	冬	
6839	光村	5	下	わらぐつの中の神様	5	マサエは夕方まで、友達と近くのおかでスキーをしていました。	スキー	文学	冬	
6840	光村	5	下	わらぐつの中の神様	5	今日は一度しか転ばなかったので、スキーぐつもズボンも……なっていたのです。	スキー	文学	冬	
6841	光村	5	下	わらぐつの中の神様	5	マサエは、独りでそんなことを言いながら、台所へかけていって、しきいに立てかけてあるスキーぐつから……つっこんでみました。	スキー	文学	冬	
6842	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	すると、茶の間のこたつから、おばあちゃんが口を出しました。	こたつ	文学	冬	
6843	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	かわかんかったら、わらぐつはいていきない。	わらぐつ	文学	冬	
6844	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	わらぐつはいいど、あったかくて。	わらぐつ	文学	冬	
6845	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	やだあ、わらぐつなんて、みったぐない。	わらぐつ	文学	冬	
6846	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	マサエは、大きな……スキーぐつの中につめこみました。	スキー	文学	冬	
6847	光村	5	下	わらぐつの中の神様	6	わらぐつはいいもんだ。	わらぐつ	文学	冬	
6848	光村	5	下	わらぐつの中の神様	7	そうそう、それに、わらぐつの中には神様がいなさるでね。	わらぐつ	文学	冬	
6849	光村	5	下	わらぐつの中の神様	7	わらぐつの中に、神様だって。	わらぐつ	文学	冬	
6850	光村	5	下	わらぐつの中の神様	7	マサエは……こたつへもどってきました。	こたつ	文学	冬	
6851	光村	5	下	わらぐつの中の神様	7	それじゃあ、ひとつ、わらぐつの話をしてやるかね。	わらぐつ	文学	冬	
6852	光村	5	下	わらぐつの中の神様	7	わらぐつの中に神様がいなった話をね。	わらぐつ	文学	冬	
6853	光村	5	下	わらぐつの中の神様	8	そこへ、……こたつへ入ってきました。	こたつ	文学	冬	
6854	光村	5	下	わらぐつの中の神様	8	おばあちゃんはそう言って、雪の音にちょっと耳をすましてから、こんな話を始めました。	雪	文学	冬	

6855	光村	5	下	わらぐつの中の神様	9	さて、このおみつさんが、ある秋の朝、町の朝市へ、野菜を売りに出かけました。	秋	文学	秋	
6856	光村	5	下	わらぐつの中の神様	9	もう冬が近いので……歩いていきます。	冬	文学	冬	
6857	光村	5	下	わらぐつの中の神様	9	入り口近くの台の上に、かわいらしい雪げたが一足かざってあるのが目についたのです。	雪げた	文学	冬	
6858	光村	5	下	わらぐつの中の神様	9	見ただけで……冬のよそおいが目の前にうかんでくるようです。	冬	文学	冬	
6859	光村	5	下	わらぐつの中の神様	10	おみつさんは、その雪げたがほしくてたまらなくなりました。	雪げた	文学	冬	
6860	光村	5	下	わらぐつの中の神様	10	うら返しになっているねだんの札を、あかぎれの指で……ありません。	あかぎれ	文学	冬	
6861	光村	5	下	わらぐつの中の神様	10	おみつさんは……雪げたをながめていました。	雪げた	文学	冬	
6862	光村	5	下	わらぐつの中の神様	10	けれども、市で野菜を売っている間も、あの雪げたのことが、おみつさんの頭をはなれません。	雪げた	文学	冬	
6863	光村	5	下	わらぐつの中の神様	11	いつもは、余計な物など……雪げたばかりは、なんとしてもあきらめられないのです。	雪げた	文学	冬	
6864	光村	5	下	わらぐつの中の神様	11	ほかのお客にまぎれて……雪げたは……ならんでいます。	雪げた	文学	冬	
6865	光村	5	下	わらぐつの中の神様	11	おみつさんには、雪げたがそうよびかけているように思われました。	雪げた	文学	冬	
6866	光村	5	下	わらぐつの中の神様	11	家に帰ったおみつさんは……雪げたのことをたのんでみました。	雪げた	文学	冬	
6867	光村	5	下	わらぐつの中の神様	11	なんだ、雪げたなんて。	雪げた	文学	冬	
6868	光村	5	下	わらぐつの中の神様	12	きれいな雪げた、あたいもはいてみたいな。	雪げた	文学	冬	
6869	光村	5	下	わらぐつの中の神様	12	そして、あの雪げたを買おう。	雪げた	文学	冬	
6870	光村	5	下	わらぐつの中の神様	12	おみつのお父さんは、わらぐつを作るのが上手でした。	わらぐつ	文学	冬	
6871	光村	5	下	わらぐつの中の神様	12	おみつさんは……わらぐつ作りを始めました。	わらぐつ	文学	冬	
6872	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	そんなおかしなわらぐつが、売れるかいなあ。	わらぐつ	文学	冬	
6873	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	うちの人たちは……わらぐつを結び付けて、元気よく町	わらぐつ	文学	冬	

						へ出ていきました。				
6874	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	げた屋さんの……あの雪げたは、まだちゃんとそこにありました。	雪げた	文学	冬	
6875	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	おみつさんは、その雪げたが……楽しくなりました。	雪げた	文学	冬	
6876	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	それから、まっすぐに朝市に出てきたおみつさんは、いつものがんぎの下に……わらぐつを置きました。	がんぎ	文学	冬	
6877	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	それから、まっすぐに朝市に出てきたおみつさんは、いつものがんぎの下に……わらぐつを置きました。	わらぐつ	文学	冬	
6878	光村	5	下	わらぐつの中の神様	14	わらぐつはどうですね。	わらぐつ	文学	冬	
6879	光村	5	下	わらぐつの中の神様	15	へええ、それ、わらぐつかね。	わらぐつ	文学	冬	
6880	光村	5	下	わらぐつの中の神様	15	おみつさんはがっかりして、不細工なわらぐつを見つめました。	わらぐつ	文学	冬	
6881	光村	5	下	わらぐつの中の神様	15	あねちゃ、そのわらぐつ、見せてくんない。	わらぐつ	文学	冬	
6882	光村	5	下	わらぐつの中の神様	15	あんまり、みっともよくねえわらぐつで。	わらぐつ	文学	冬	
6883	光村	5	下	わらぐつの中の神様	15	と、赤くなりながら、おずおずとわらぐつを差し出しました。	わらぐつ	文学	冬	
6884	光村	5	下	わらぐつの中の神様	16	わかい大工さんは……わらぐつを手に取ると……見つめました。	わらぐつ	文学	冬	
6885	光村	5	下	わらぐつの中の神様	16	このわらぐつ、おまんが作んなったのかね。	わらぐつ	文学	冬	
6886	光村	5	下	わらぐつの中の神様	16	大工さんはお金をはらって、わらぐつのひもを……行ってしまいました。	わらぐつ	文学	冬	
6887	光村	5	下	わらぐつの中の神様	16	おみつさんは、初めてわらぐつが売れたので……気がしました。	わらぐつ	文学	冬	
6888	光村	5	下	わらぐつの中の神様	16	その次の市の日までに、おみつさんは、また一つ、わらぐつを編みあげました。	わらぐつ	文学	冬	
6889	光村	5	下	わらぐつの中の神様	17	おみつさんが、わらぐつを持って市に出て……声をかけられました。	わらぐつ	文学	冬	
6890	光村	5	下	わらぐつの中の神様	17	そのわらぐつ、くんない。	わらぐつ	文学	冬	
6891	光村	5	下	わらぐつの中の神様	17	それは、この間もわらぐつを買ってくれた、あのわかい	わらぐつ	文学	冬	

						大工さんなのです。				
6892	光村	5	下	わらぐつの中の神様	17	おみつさんは……わらぐつを売って、お金を受け取りました。	わらぐつ	文学	冬	
6893	光村	5	下	わらぐつの中の神様	17	その次の市の日にも、またあの大工さんが来て、わらぐつを買ってくれました。	わらぐつ	文学	冬	
6894	光村	5	下	わらぐつの中の神様	18	その次も、またその次も……わらぐつを買ってくれるのです。	わらぐつ	文学	冬	
6895	光村	5	下	わらぐつの中の神様	18	あのう、いつも買ってもらって……おらの作ったわらぐつ……ないんですか。	わらぐつ	文学	冬	
6896	光村	5	下	わらぐつの中の神様	18	おまんのわらぐつは、とてもじょうぶだよ。	わらぐつ	文学	冬	
6897	光村	5	下	わらぐつの中の神様	18	ああ、そりゃ、じょうぶでいいわらぐつだから……買ってやったんだよ。	わらぐつ	文学	冬	
6898	光村	5	下	わらぐつの中の神様	19	だけど、あんな不格好なわらぐつで。	わらぐつ	文学	冬	
6899	光村	5	下	わらぐつの中の神様	19	おれは、わらぐつをこさえたことはないけども……分かるつもりだ。	わらぐつ	文学	冬	
6900	光村	5	下	わらぐつの中の神様	20	そして、いつまでもうちにいて、おれにわらぐつを作ってくんないかな。	わらぐつ	文学	冬	
6901	光村	5	下	わらぐつの中の神様	20	そして、しばらくして……夕焼けのように赤くなりました。	夕焼け	文学	夏	
6902	光村	5	下	わらぐつの中の神様	22	開けてみると、つうんと……きれいな雪げたが、きちんとならんでいました。	雪げた	文学	冬	
6903	光村	5	下	わらぐつの中の神様	23	だけど、おじいちゃんが……雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。	雪げた	文学	冬	
6904	光村	5	下	わらぐつの中の神様	23	そのとき、げんかんのたたきで、カッカッと雪げたの雪をはらう音がしました。	雪げた	文学	冬	
6905	光村	5	下	わらぐつの中の神様	23	そのとき、げんかんのたたきで、カッカッと雪げたの雪をはらう音がしました。	雪	文学	冬	
6906	光村	5	下	わらぐつの中の神様	23	マサエは、赤いつま皮の雪げたをかかえたまま、「おかえんなさあい。」	雪げた	文学	冬	

6907	光村	5	下	わらぐつの中の神様	24	「わらぐつの中の神様」は、「おばあちゃん」の思い出話を中心に、その前後に、現在の「マサエ」の家庭の話をした構成になっている。	わらぐつ	その他	冬	
6908	光村	5	下	わらぐつの中の神様	24	わらぐつ	わらぐつ	その他	冬	
6909	光村	5	下	わらぐつの中の神様	24	「おばあちゃん」の思い出話を、次のような、わらぐつと人物との関係に気をつけて読もう。	わらぐつ	その他	冬	
6910	光村	5	下	わらぐつの中の神様	24	作ったわらぐつに表れている、「おみつさん」の人がら。	わらぐつ	その他	冬	
6911	光村	5	下	わらぐつの中の神様	24	わらぐつに対する態度に表れている、わかい「大工さん」の考え方や心の動き。	わらぐつ	その他	冬	
6912	光村	5	下	方言と共通語	25	わらぐつの中の神様	わらぐつ	その他	冬	
6913	光村	5	下	言葉の組み立て	28	墓参り	墓参り	その他	秋	
6914	光村	5	下	言葉の組み立て	28	年賀状	年賀状	その他	新年	
6915	光村	5	下	言葉の組み立て	29	五年生冬季レクリエーション大会実行委員会	冬季	その他	冬	
6916	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	春の花だんの写真	春	その他	春	
6917	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	みなさんは、春の花だんを覚えていますか。	春	その他	春	
6918	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	春に美しく花をさかせるためには、ちょうど今ごろ球根を植えます。	春	その他	春	
6919	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	春に美しく花をさかせるためには、ちょうど今ごろ球根を植えます。	花	その他	春	
6920	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	花いっぱい運動のポスター。	花	その他	春	
6921	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	この行事は、町の「花いっぱい運動」がきっかけで始まりました。	花	その他	春	
6922	光村	5	下	工夫して発信しよう	42	それ以来、学校では、「花と緑の委員会」が設けられています。	花	その他	春	
6923	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	委員会では……花がさくまで、世話や手入れを行います。	花	その他	春	
6924	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	町も学校も花でいっぱいにしたいんですよ。	花	その他	春	
6925	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	花があれば、心がなごんで、楽しい気持ちになれるでしょ。	花	その他	春	

6926	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	「花と緑の委員会」の人たちも、同じ気持ちで作業をしています。	花	その他	春	
6927	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	球根を植えてから、水やりや草取りなどの……気になるそうです。	草取り	その他	夏	
6928	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	わたしたちは、……さいた花だけを……花をさかせるには、……あるのです。	花	その他	春	
6929	光村	5	下	工夫して発信しよう	43	わたしたちは、……さいた花だけを……花をさかせるには、……あるのです。	花	その他	春	
6930	光村	5	下	ケムシ	46	ケムシ	ケムシ	文学	夏	
6931	光村	5	下	蝶	47	二つ折りの恋文が、花の番地を捜している。	花	文学	春	
6932	光村	5	下	漢字の読み方と使い方	49	それなのに、「七夕」を「たなばた」と読むのはなぜでしょう。	七夕	その他	秋	
6933	光村	5	下	漢字の読み方と使い方	49	日本語の「たなばた」に……生まれたのです。	七夕	その他	秋	
6934	光村	5	下	漢字の読み方と使い方	49	この八百屋は元日から営業している。	元日	その他	新年	
6935	光村	5	下	物語を作ろう	56	桜	桜	その他	春	
6936	光村	5	下	物語を作ろう	56	入学式	入学式	その他	春	
6937	光村	5	下	物語を作ろう	56	春	春	その他	春	
6938	光村	5	下	物語を作ろう	56	花見	花見	その他	春	
6939	光村	5	下	物語を作ろう	56	新学期	新学期	その他	春	
6940	光村	5	下	物語を作ろう	57	ゆうかは桜の下をはしっています。	桜	その他	春	
6941	光村	5	下	学習したことを生かして	72	それらをふり返り、自分なりの学習課題を決めて、「大造じいさんとガン」に取り組みましょう。	ガン	その他	秋	
6942	光村	5	下	学習したことを生かして	73	「大造じいさんとガン」を読み、自分なりの学習課題を決める。	ガン	その他	秋	
6943	光村	5	下	学習したことを生かして	73	大造じいさんとガン	ガン	その他	秋	
6944	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。	イノシシ	文学	秋	
6945	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	イノシシがりの人々は、みな栗野岳のふもとの、大造じいさんの家に集まりました。	イノシシ	文学	秋	

6946	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	血管のふくれたがんじょうな手を、いろりのたき火に……くれました。	いろり	文学	冬	
6947	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	血管のふくれたがんじょうな手を、いろりのたき火に……くれました。	たき火	文学	冬	
6948	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	その話の中に……ガンがさかんに来たころの、ガンがりの話もありました。	ガン	文学	秋	
6949	光村	5	下	大造じいさんとガン	74	さあ、大きな丸太がパチパチと燃え上がり、しょうじには……お読みください。	しょうじ	文学	冬	
6950	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	今年も、残雪は、ガンの群れを率いて、ぬま地にやって来ました。	ガン	文学	秋	
6951	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	残雪というのは、一羽のガンにつけられた名前です。	ガン	文学	秋	
6952	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	残雪は、このぬま地に集まるガンの頭領らしい……寄せつけませんでした。	ガン	文学	秋	
6953	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	大造じいさんは……一羽のガンも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていました。	ガン	文学	秋	
6954	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	それは、いつもガンの……タニシをつけた……結び付けておくことでした。	ガン	文学	秋	
6955	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	それは、いつもガンの……タニシをつけた……結び付けておくことでした。	タニシ	文学	夏	
6956	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	それは、いつもガンのえさをあさる辺り一面にくいを打ちこんで、タニシを付けたウナギつりばりを、たたみ糸で結び付けておくことでした。	ウナギ	文学	夏	
6957	光村	5	下	大造じいさんとガン	75	じいさんは、一晩中かかって、たくさんのウナギつりばりをしかけておきました。	ウナギ	文学	夏	
6958	光村	5	下	大造じいさんとガン	76	一羽だけであったが、生きているガンがうまく手に入ったので、じいさんはうれしく思いました。	ガン	文学	秋	
6959	光村	5	下	大造じいさんとガン	76	ガンの群れは、これに危機を感じてえさ場を変えたらしく、付近には一羽も見えませんでした。	ガン	文学	秋	
6960	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	秋の日が、美しくかがやいていました。	秋	文学	秋	

6961	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	じいさんがぬま地にすがたを現すと、大きな羽音とともに、ガンの大群が飛び立ちました。	ガン	文学	秋	
6962	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	つりばりをしかけておいた辺りで、確かに、ガンがえをあさった……かかっていません。	ガン	文学	秋	
6963	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	ガンは、……初めて飲みこんだものらしいのです。	ガン	文学	秋	
6964	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	ガンとかカモとかいう鳥は、……感じたのでありました。	ガン	文学	秋	
6965	光村	5	下	大造じいさんとガン	77	ガンとかカモとかいう鳥は、……感じたのでありました。	カモ	文学	冬	
6966	光村	5	下	大造じいさんとガン	78	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、タニシを五俵ばかり集めておきました。	夏	文学	夏	
6967	光村	5	下	大造じいさんとガン	78	大造じいさんは、夏のうちから心がけて、タニシを五俵ばかり集めておきました。	タニシ	文学	夏	
6968	光村	5	下	大造じいさんとガン	78	そして、それを、ガンの好みそうな場所にばらまいておきました。	ガン	文学	秋	
6969	光村	5	下	大造じいさんとガン	78	ガンの群れは、思わぬ……なったようでありました。	ガン	文学	秋	
6970	光村	5	下	大造じいさんとガン	78	そして、ねぐらをぬけ出して、このえさ場にやって来るガンの群れを待っているのでした。	ガン	文学	秋	
6971	光村	5	下	大造じいさんとガン	79	ぬま地にやって来るガンのすがたが、かなたの空に黒く点々と見えだしました。	ガン	文学	秋	
6972	光村	5	下	大造じいさんとガン	80	今年もまた、ぽつぽつ、例のぬま地にガンの来る季節になりました。	ガン	文学	秋	
6973	光村	5	下	大造じいさんとガン	80	じいさんが小屋に入ると、一羽のガンが、……飛び付いてきました。	ガン	文学	秋	
6974	光村	5	下	大造じいさんとガン	80	このガンは、二年前、じいさんがつりばりの計略で生けどったものだったのです。	ガン	文学	秋	
6975	光村	5	下	大造じいさんとガン	81	大造じいさんはガンがどんぶりから……言いました。	ガン	文学	秋	
6976	光村	5	下	大造じいさんとガン	81	じいさんは、長年の経験で、ガンは……ガンを手に入れたときから……いたのでした。	ガン	文学	秋	

6977	光村	5	下	大造じいさんとガン	81	じいさんは、長年の経験で、ガンは……ガンを手に入れたときから……いたのでした。	ガン	文学	秋	
6978	光村	5	下	大造じいさんとガン	82	ガンたちは、……えさ場にしているようでした。	ガン	文学	秋	
6979	光村	5	下	大造じいさんとガン	82	そこは、夏の出水で……ガンのえが十分にあるらしかったのです。	ガン	文学	秋	
6980	光村	5	下	大造じいさんとガン	82	その夜のうちに、飼い慣らしたガンを……ガンの群れを待つことにしました。	ガン	文学	秋	
6981	光村	5	下	大造じいさんとガン	82	その夜のうちに、飼い慣らしたガンを……ガンの群れを待つことにしました。	ガン	文学	秋	
6982	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	と、そのとき、ものすごい羽音とともに、ガンの群れが一度にバタバタと飛び立ちました。	ガン	文学	秋	
6983	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	ガンの群れを目がけて、白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました。	ガン	文学	秋	
6984	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	ハヤブサだ。	ハヤブサ	文学	冬	
6985	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	ガンの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、ハヤブサの目をくらましながら飛び去っていきます。	ガン	文学	秋	
6986	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	ガンの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、ハヤブサの目をくらましながら飛び去っていきます。	ハヤブサ	文学	冬	
6987	光村	5	下	大造じいさんとガン	83	大造じいさんのおとりのガンです。	ガン	文学	秋	
6988	光村	5	下	大造じいさんとガン	84	ハヤブサは、その一羽を見のがしませんでした。	ハヤブサ	文学	冬	
6989	光村	5	下	大造じいさんとガン	84	こんな命がけの場合でも、……ガンは、こっちに方向を変えました。	ガン	文学	秋	
6990	光村	5	下	大造じいさんとガン	84	ハヤブサは、その道をさえぎって、パーンと一けりけりました。	ハヤブサ	文学	冬	
6991	光村	5	下	大造じいさんとガン	84	ガンの体はななめにかたむきました。	ガン	文学	秋	
6992	光村	5	下	大造じいさんとガン	84	もう一けりと、ハヤブサが……横切りました。	ハヤブサ	文学	冬	
6993	光村	5	下	大造じいさんとガン	85	残雪の目には、人間もハヤブサもありませんでした。	ハヤブサ	文学	冬	
6994	光村	5	下	大造じいさんとガン	85	不意を打たれて、さすがのハヤブサも、空中でふらふらとよろめきました。	ハヤブサ	文学	冬	

6995	光村	5	下	大造じいさんとガン	85	が、ハヤブサも、さるものです。	ハヤブサ	文学	冬	
6996	光村	5	下	大造じいさんとガン	86	そのまま、ハヤブサと残雪は、もつれ合って、ぬま地に落ちていきました。	ハヤブサ	文学	冬	
6997	光村	5	下	大造じいさんとガン	86	が、ハヤブサは、人間の……去っていきました。	ハヤブサ	文学	冬	
6998	光村	5	下	大造じいさんとガン	87	残雪は、大造じいさんのおりの中で、ひと冬をこしました。	冬	文学	冬	
6999	光村	5	下	大造じいさんとガン	87	春になると、そのむねのきずも治り、体力も元のようになりました。	春	文学	春	
7000	光村	5	下	大造じいさんとガン	87	ある晴れた春の朝でした。	春	文学	春	
7001	光村	5	下	大造じいさんとガン	87	らんまんとさいたスモモの花が、……はらはらと散りました。	スモモの花	文学	春	
7002	光村	5	下	大造じいさんとガン	87	おうい、ガンの英雄よ。	ガン	文学	秋	
7003	光村	5	下	大造じいさんとガン	88	今年の冬も、仲間を連れてぬま地にやって来いよ。	冬	文学	冬	
7004	光村	5	下	大造じいさんとガン	88	大造じいさんは、花の下に立って、こう大きな声でガンによびかけました。	花	文学	春	
7005	光村	5	下	大造じいさんとガン	88	大造じいさんは、花の下に立って、こう大きな声でガンによびかけました。	ガン	文学	秋	
7006	光村	5	下	月夜のみみずく	114	冬の夜ふけのことでした	冬	文学	冬	1
7007	光村	5	下	月夜のみみずく	114	みみずくさがしにでかけたよ	みみずく	文学	冬	1
7008	光村	5	下	月夜のみみずく	114	月の光がきらきらこぼれて	月	文学	秋	1
7009	光村	5	下	月夜のみみずく	117	毛糸のぼうしを通りぬけ	毛糸のぼうし	文学	冬	1
7010	光村	5	下	月夜のみみずく	117	雪はしゃりっとこおっていた	雪	文学	冬	1
7011	光村	5	下	月夜のみみずく	118	みみずくに会いにいくときは	みみずく	文学	冬	1
7012	光村	5	下	月夜のみみずく	119	月の光でとうさんの顔は	月	文学	秋	1
7013	光村	5	下	月夜のみみずく	119	わしみみずくの歌声で	みみずく	文学	冬	1
7014	光村	5	下	月夜のみみずく	120	それがみみずくなのさって	みみずく	文学	冬	1
7015	光村	5	下	月夜のみみずく	120	氷の手がせなかをぴたぴた	氷	文学	冬	1
7016	光村	5	下	月夜のみみずく	121	ねだってみみずくに会いたいなら	みみずく	文学	冬	1
7017	光村	5	下	月夜のみみずく	121	寒さふきとばさなきゃでしょ	寒さ	文学	冬	1

7018	光村	5	下	月夜のみみずく	121	白い雪にぴたっとはりついている	雪	文学	冬	1
7019	光村	5	下	月夜のみみずく	121	口の上までマフラーまいて	マフラー	文学	冬	1
7020	光村	5	下	月夜のみみずく	122	みみずくに会うためには	みみずく	文学	冬	1
7021	光村	5	下	月夜のみみずく	122	月は空のてっぺんで	月	文学	秋	1
7022	光村	5	下	月夜のみみずく	122	いちめんの雪を照らしている	雪	文学	冬	1
7023	光村	5	下	月夜のみみずく	122	その雪の白さといったら	雪	文学	冬	1
7024	光村	5	下	月夜のみみずく	122	雪にみとれてため息ついてたら	雪	文学	冬	1
7025	光村	5	下	月夜のみみずく	123	マフラーの上から口をおさえて	マフラー	文学	冬	1
7026	光村	5	下	月夜のみみずく	124	まるでねとうさんとみみずくは	みみずく	文学	冬	1
7027	光村	5	下	月夜のみみずく	124	今夜は月がきれいですねとか	月	文学	秋	1
7028	光村	5	下	月夜のみみずく	124	マフラーの上から	マフラー	文学	冬	1
7029	光村	5	下	月夜のみみずく	125	みみずくの声が近くなる	みみずく	文学	冬	1
7030	光村	5	下	月夜のみみずく	125	みみずくの形したかげがふわりとはなれ	みみずく	文学	冬	1
7031	光村	5	下	月夜のみみずく	125	とうさんとわたしかげのようなみみずくを	みみずく	文学	冬	1
7032	光村	5	下	月夜のみみずく	126	あかりの中のみみずくは	みみずく	文学	冬	1
7033	光村	5	下	月夜のみみずく	126	やがてみみずくは	みみずく	文学	冬	1
7034	光村	5	下	月夜のみみずく	128	みみずくに会うときは	みみずく	文学	冬	1
7035	光村	5	下	月夜のみみずく	128	月がまぶしくかがやく夜に	月	文学	秋	1
7036	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりにけるかも	さわらび	その他	春	
7037	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりにけるかも	春	その他	春	
7038	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	岩の上を水が激しく流れ落ちるたきの……わらび。	わらび	その他	春	
7039	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	いよいよ春になったんだな、というあふれる喜びを歌っています。	春	その他	春	
7040	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	秋立つ日よめる	秋	その他	秋	
7041	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる	秋	その他	秋	
7042	光村	6	上	短歌・俳句の世界	33	こよみの上では今日から秋。	秋	その他	秋	

7043	光村	6	上	短歌･俳句の世界	33	辺りを見回しても、秋が来たとはっきり目に見えて分かるものはない。	秋	その他	秋	
7044	光村	6	上	短歌･俳句の世界	33	けれども、風の様子は、確かに秋のものだと、心の内でおどろいています。	秋	その他	秋	
7045	光村	6	上	短歌･俳句の世界	33	あなたに、夏から秋への移り変わりを真っ先に伝えてくれるものは、なんですか。	夏	その他	夏	
7046	光村	6	上	短歌･俳句の世界	33	あなたに、夏から秋への移り変わりを真っ先に伝えてくれるものは、なんですか。	秋	その他	秋	
7047	光村	6	上	短歌･俳句の世界	34	五月雨を集めて早し最上川	五月雨	その他	夏	
7048	光村	6	上	短歌･俳句の世界	34	ふり続く梅雨の雨をすべて集めて流しているのでしょう	梅雨	その他	夏	
7049	光村	6	上	短歌･俳句の世界	34	菜の花や月は東に日は西に	菜の花	その他	春	
7050	光村	6	上	短歌･俳句の世界	34	見わたすかぎりの菜の花畑。	菜の花	その他	春	
7051	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	夏のかぜ山よりきたり三百の牧の若馬耳ふかれけり	夏	その他	夏	
7052	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ	白鳥	その他	冬	
7053	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	街をゆき子供の傍を通る時蜜柑の香せり冬がまた来る	蜜柑	その他	秋	
7054	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	街をゆき子供の傍を通る時蜜柑の香せり冬がまた来る	冬	その他	冬	
7055	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	外にも出よ触るるばかりに春の月	春	その他	春	
7056	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	万緑の中や吾子の歯生え初むる	万緑	その他	夏	
7057	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり	赤蜻蛉	その他	秋	
7058	光村	6	上	短歌･俳句の世界	35	流れ行く大根の葉の早さかな	大根	その他	冬	
7059	光村	6	上	暮らしの中の言葉	36	天高く馬肥ゆる秋	秋	非文学	秋	
7060	光村	6	上	暮らしの中の言葉	36	秋は気候もよく、食欲の増す季節であるということ。	秋	非文学	秋	
7061	光村	6	上	暮らしの中の言葉	36	秋はさわやかで実り多く、馬もよく食べて太ることから。	秋	非文学	秋	
7062	光村	6	上	森へ	50	きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や森が、ぼんやり見えています。	きり	非文学	秋	
7063	光村	6	上	森へ	50	深いきりに包まれ、静まり返っていました。	きり	非文学	秋	

7064	光村	6	上	森へ	50	ゆっくりと、きりが動いているのです。	きり	非文学	秋	
7065	光村	6	上	森へ	53	ピロロロロ―。	ピロロロロ	非文学	冬	
7066	光村	6	上	森へ	53	ハクトウワシの、小鳥のようなさえずりです。	ワシ	非文学	冬	
7067	光村	6	上	森へ	53	ポチャンと、一ぴきのサケが、海面から三十センチほど飛び上がりました。	サケ	非文学	秋	
7068	光村	6	上	森へ	53	きりは、絶えず形を変えながら、森の木々の間を、生き物のように伝っていきます。	きり	非文学	秋	
7069	光村	6	上	森へ	53	水面を流れるきりは、ぼくの顔や体を、しっとりとぬらしました。	きり	非文学	秋	
7070	光村	6	上	森へ	53	そのときです、不思議な声がきりの中から聞こえてきたのは。	きり	非文学	秋	
7071	光村	6	上	森へ	53	とつぜん、きりの中からすうっと巨大な黒いかげが現れ……いったのです。	きり	非文学	秋	
7072	光村	6	上	森へ	53	ザトウクジラ	クジラ	非文学	冬	
7073	光村	6	上	森へ	53	広い海原にいるはずのクジラが、どうしてこんな所にいるのだろう。	クジラ	非文学	冬	
7074	光村	6	上	森へ	53	やがて、クジラは尾びれを高く上げ、ゆっくりときりの中に消えてゆきました。	クジラ	非文学	冬	
7075	光村	6	上	森へ	53	やがて、クジラは尾びれを高く上げ、ゆっくりときりの中に消えてゆきました。	きり	非文学	秋	
7076	光村	6	上	森へ	54	ふいに、ハクトウワシが森の中からまい上がり、頭上を飛び去ってゆきました。	ワシ	非文学	冬	
7077	光村	6	上	森へ	54	ぼくがこの森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。	ワシ	非文学	冬	
7078	光村	6	上	森へ	54	見わたすかぎりの木々が、いや、地面も岩も倒木も、びっしりと緑のコケにおおわれているのです。	コケ	非文学	夏	
7079	光村	6	上	森へ	56	そう、クマの道だったのです。	クマ	非文学	冬	
7080	光村	6	上	森へ	56	森の中から、今にもクマがやって来そうな気がしました。	クマ	非文学	冬	

7081	光村	6	上	森へ	56	ぼくはクマの道をたどり、森に入ってゆくことに決めました。	クマ	非文学	冬	
7082	光村	6	上	森へ	56	木々やコケ、そして岩や倒木までが、たがいにからみながら助け合い、森全体が、一つの生き物のように呼吸しているようでした。	コケ	非文学	夏	
7083	光村	6	上	森へ	57	いつの間にか、まるで、自分がクマの目になって、この森をながめているみたいなのです。	クマ	非文学	冬	
7084	光村	6	上	森へ	57	もしクマが反対からやって来たら、そっと道をゆずってやればいいのだ。	クマ	非文学	冬	
7085	光村	6	上	森へ	57	なんだろうと思って近づくと、それはクマの古いふんでした。	クマ	非文学	冬	
7086	光村	6	上	森へ	57	おどろいたことに、そのふんの中から、白いキノコがたくさんのびています。	キノコ	非文学	秋	
7087	光村	6	上	森へ	57	あんまりきれいなので、……クマのふんにぐっと顔を近づけてみました。	クマ	非文学	冬	
7088	光村	6	上	森へ	57	クマの道は、しだいに分かれ道が多くなり、いつの間にか森の中に消えてゆくようでした。	クマ	非文学	冬	
7089	光村	6	上	森へ	58	川底の色だと思ったのは、産卵のために川を上るサケの大群だったのです。	サケ	非文学	秋	
7090	光村	6	上	森へ	58	静かに手を水の中に入れ、やっと一ぴきのさけをつかむと、ああ、なんと強い力をもっているのでしょう。	サケ	非文学	秋	
7091	光村	6	上	森へ	58	ふっと前を見ると、対岸の岩の上から、クロクマの親子が、じっとぼくを見ているではないですか。	クマ	非文学	冬	
7092	光村	6	上	森へ	58	川の上流にも下流にも、いつの間にか、クマがあちこちにいるのです。	クマ	非文学	冬	
7093	光村	6	上	森へ	60	今、この森の川は、サケを食べに来るクマの世界でした。	サケ	非文学	秋	
7094	光村	6	上	森へ	60	今、この森の川は、サケを食べに来るクマの世界でした。	クマ	非文学	冬	
7095	光村	6	上	森へ	60	見上げれば、子グマが木の上でねています。	クマ	非文学	冬	
7096	光村	6	上	森へ	60	すでに一生を終えたサケが、たくさん流れてきます。	サケ	非文学	秋	

7097	光村	6	上	森へ	60	サケが森を作る。	サケ	非文学	秋	
7098	光村	6	上	森へ	60	産卵を終えて死んだ無数のサケが、上流から……あたえてゆくからなのです。	サケ	非文学	秋	
7099	光村	6	上	森へ	62	ピロロロロ―。	ピロロロロ	その他	冬	
7100	光村	6	上	本は友達	64	「霧のむこうのふしぎな町」は、六年生の少女リナが、水玉模様のかさにさそわれて迷いこんだ、おかしな町での物語です。	霧	その他	秋	
7101	光村	6	上	本は友達	68	七月十二日(火)	七月	その他	夏	
7102	光村	6	上	りんご	71	林檎が一つ	林檎	その他	秋	
7103	光村	6	上	同じ訓をもつ漢字	72	夏	夏	その他	夏	
7104	光村	6	上	日本で使う文字	85	はる	はる	その他	春	
7105	光村	6	上	日本で使う文字	85	春	春	その他	春	
7106	光村	6	上	日本で使う文字	85	波留	波留	その他	春	
7107	光村	6	上	日本で使う文字	85	なつ	なつ	その他	夏	
7108	光村	6	上	日本で使う文字	85	夏	夏	その他	夏	
7109	光村	6	上	日本で使う文字	85	奈都	奈都	その他	夏	
7110	光村	6	上	日本で使う文字	85	あき	あき	その他	秋	
7111	光村	6	上	日本で使う文字	85	秋	秋	その他	秋	
7112	光村	6	上	日本で使う文字	85	安吉	安吉	その他	秋	
7113	光村	6	上	日本で使う文字	85	ふゆ	ふゆ	その他	冬	
7114	光村	6	上	日本で使う文字	85	冬	冬	その他	冬	
7115	光村	6	上	日本で使う文字	85	布由	布由	その他	冬	
7116	光村	6	上	柿山伏	119	いや、あれに見事な柿がなっている。	柿	その他	秋	
7117	光村	6	上	柿山伏	120	さてもさても、下で見たとはちごうて格別見事な柿じゃ。	柿	その他	秋	
7118	光村	6	上	柿山伏	120	さてもさてもうまい柿じゃ。	柿	その他	秋	
7119	光村	6	上	柿山伏	120	食ぶれば食ぶるほど、うまい柿じゃ。	柿	その他	秋	
7120	光村	6	上	柿山伏	120	山伏が柿を食べ始めるころに登場して、名乗る。	柿	その他	秋	
7121	光村	6	上	柿山伏	120	当年は、とりわけ柿が大なりいたいてござるによって、	柿	その他	秋	

						毎日見まうことでござる。				
7122	光村	6	上	柿山伏	121	いやまことに、総じて柿の色づく時分は……ことでござる。	柿	その他	秋	
7123	光村	6	上	柿山伏	121	(山伏の落とした柿の種が頭に当たって)はて、合点が行かぬ。	柿	その他	秋	
7124	光村	6	上	柿山伏	121	空から柿の種が落つるが、何としたことじゃ知らぬ。	柿	その他	秋	
7125	光村	6	上	柿山伏	121	いかめな山伏が上って柿を食ろう。	柿	その他	秋	
7126	光村	6	上	柿山伏	121	あの柿の木のかげへかくれたを、ようよう見れば、人ではないとみえた。	柿	その他	秋	
7127	光村	6	上	柿山伏	124	看病するはやすけれど、おのれがように柿をぬすんで食ろう山伏を、たが看病するものか。	柿	その他	秋	
7128	光村	6	上	柿山伏	126	うちへ連れていて、看病するはやすけれど、おのれがように柿をぬすんで食ろう山伏は、まっこうしておいたがよい。	柿	その他	秋	
7129	光村	6	上	柿山伏について	127	狂言の「柿山伏」は、空腹のあまり、他人の柿の木に登って、勝手に柿を食べてしまった山伏が、その持ち主にこらしめられるお話です。	柿	その他	秋	
7130	光村	6	上	柿山伏	127	他人の柿の木に登って、勝手に柿を食べてしまった……お話です。	柿	その他	秋	
7131	光村	6	上	柿山伏	127	他人の柿の木に登って、勝手に柿を食べてしまった……お話です。	柿	その他	秋	
7132	光村	6	上	柿山伏	128	また、柿くらい食べさせてやってもよいではないかと思う人もいるでしょう。	柿	その他	秋	
7133	光村	6	上	柿山伏	128	柿の実は大切な食料で、……毎日見回りに行っていたくらいなのです。	柿	その他	秋	
7134	光村	6	上	柿山伏について	128	柿の実は大切な食料で、柿の持ち主はそれをとても大事にして、毎日見回りに行っていたくらいなのです。	柿	その他	秋	
7135	光村	6	上	柿山伏について	128	柿の持ち主は、決して心がせまいのではないのです。	柿	その他	秋	
7136	光村	6	下	やまなし	4	二ひきのかにの子どもらが、青白い水の底で話していま	青白い水の底	文学	夏	

						した。				
7137	光村	6	下	やまなし	5	かにの子どもらも、ぽつぽつぽつと、続けて五、六つぶあわをはきました。	かに	文学	夏	
7138	光村	6	下	やまなし	6	兄さんのかには、その右側の……のせながら言いました。	かに	文学	夏	
7139	光村	6	下	やまなし	7	弟のかにが、まぶしそうに目を動かしながらたずねました。	かに	文学	夏	
7140	光村	6	下	やまなし	8	兄さんのかには、はっきりとその青いものの先が、コンパスのように黒くとがっているのも見ました。	かに	文学	夏	
7141	光村	6	下	やまなし	8	お父さんのかにが出てきました。	かに	文学	夏	
7142	光村	6	下	やまなし	9	かわせみというんだ。	かわせみ	文学	夏	
7143	光村	6	下	やまなし	10	弟のかにも言いました。	かに	文学	夏	
7144	光村	6	下	やまなし	10	かにの子どもらはもうよほど大きくなり、底の景色も夏から秋の間にすっかり変わりました。	かに	文学	夏	
7145	光村	6	下	やまなし	10	かにの子どもらはもうよほど大きくなり、底の景色も夏から秋の間にすっかり変わりました。	夏	文学	夏	
7146	光村	6	下	やまなし	10	かにの子どもらはもうよほど大きくなり、底の景色も夏から秋の間にすっかり変わりました。	秋	文学	秋	
7147	光村	6	下	やまなし	10	その冷たい水の底まで、ラムネのびんの……消したりしているよう。	冷たい水の底	文学	秋	
7148	光村	6	下	やまなし	11	かにの子どもらは、あんまり月が……見ていました。	月	文学	秋	
7149	光村	6	下	やまなし	13	やまなしだよ	やまなし	文学	秋	
7150	光村	6	下	イーハトーブの夢	15	宮沢賢治は、一八九六年(明治二十九年)八月二十七日、岩手県の花巻に生まれた。	八月	その他	夏	
7151	光村	6	下	イーハトーブの夢	15	六月、三陸大津波。	六月	その他	夏	
7152	光村	6	下	イーハトーブの夢	15	七月、大雨による洪水。	七月	その他	夏	
7153	光村	6	下	イーハトーブの夢	15	八月、陸羽大地震。	八月	その他	夏	
7154	光村	6	下	イーハトーブの夢	15	そして、九月には、またまた大雨、洪水。	九月	その他	秋	
7155	光村	6	下	イーハトーヴの夢	18	また賢治は、春、……ひまわりの種を一つぶ植えたこと	春	非文学	春	

						もあった。				
7156	光村	6	下	イーハトーヴの夢	18	また賢治は、春、……ひまわりの種を一つぶ植えたこともあった。	ひまわり	非文学	夏	
7157	光村	6	下	イーハトーヴの夢	19	「グスコーブドリの伝記」は、冷夏で農作物が……暖かくしようとする人々の話。	冷夏	非文学	夏	
7158	光村	6	下	イーハトーヴの夢	20	月の光を集めて作るカステラの製造工場。	月	非文学	秋	
7159	光村	6	下	イーハトーヴの夢	20	「やまなし」のかにたちがすんでいた、イサドの町近くの小さな川。	かに	非文学	夏	
7160	光村	6	下	イーハトーヴの夢	22	「春と修羅」	春	非文学	春	
7161	光村	6	下	イーハトーヴの夢	24	死のとことなった部屋の片すみには、……秋の日差しの中で、光っていた。	秋の日差し	非文学	秋	
7162	光村	6	下	平和のとりでを築く	33	この建物がかげを落とす川には……夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。	夏	非文学	夏	
7163	光村	6	下	平和のとりでを築く	33	この建物がかげを落とす川には……夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。	水遊び	非文学	夏	
7164	光村	6	下	平和のとりでを築く	33	この建物がかげを落とす川には……夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。	水泳	非文学	夏	
7165	光村	6	下	平和のとりでを築く	34	一九四五年(昭和二十年)八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島に原子爆弾が投下された。	八月	その他	夏	
7166	光村	6	下	平和のとりでを築く	34	一九四五年（昭和二十年）……夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。	夏	非文学	夏	
7167	光村	6	下	平和のとりでを築く	35	市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年(昭和三十五年)の春、急性白血病でなくなった一少女は、十数年たって、突然、被爆が原因とみられる病にたおれたのだった。	春	その他	春	
7168	光村	6	下	平和のとりでを築く	36	風や雨、雪に打たれ、震動にさらされる……補強工事が急がれた。	雪	非文学	冬	
7169	光村	6	下	言葉の橋	61	冬は	冬	非文学	冬	
7170	光村	6	下	言葉の橋	62	冬、仕事をしていると、知らないうちに手先が冷たくな	冬	非文学	冬	

						っていることがある。				
7171	光村	6	下	言葉の橋	62	しかし、言葉は、時としてにじのように……わたりにくいこともあるのです。	にじ	非文学	夏	
7172	光村	6	下	言葉の橋	63	シャボン玉の中へは	シャボン玉	非文学	春	
7173	光村	6	下	言葉の橋	63	庭でシャボン玉をふく。	シャボン玉	非文学	春	
7174	光村	6	下	言葉の橋	63	庭の木々やしばふや……シャボン玉の表に映る。	シャボン玉	非文学	春	
7175	光村	6	下	言葉の橋	63	シャボン玉はゆらゆら流れる。	シャボン玉	非文学	春	
7176	光村	6	下	言葉の橋	63	庭は七色にかがやきながら、シャボン玉の表面をくるくる回っている。	シャボン玉	非文学	春	
7177	光村	6	下	言葉の橋	64	朝早くからの演習に……くらい冬の山道を下りてきました。	冬	非文学	冬	
7178	光村	6	下	言葉の橋	64	坂の左手の小さな農家の障子窓には、ぼんやりと黄色い電灯の光がありました。	障子	非文学	冬	
7179	光村	6	下	海の命	72	中学校を卒業する年の夏、太一は与吉じいさに弟子にしてくれるようたのみに行った。	卒業	文学	春	
7180	光村	6	下	海の命	72	中学校を卒業する年の夏、太一は与吉じいさに弟子にしてくれるようたのみに行った。	夏	文学	夏	
7181	光村	6	下	海の命	73	与吉じいさは瀬に着くや、小イワシをつり針にかけて水に投げる。	イワシ	文学	秋	
7182	光村	6	下	海の命	74	季節によって、タイがイサキになったりブリになったりした。	イサキ	文学	夏	
7183	光村	6	下	海の命	74	季節によって、タイがイサキになったりブリになったりした。	ブリ	文学	冬	
7184	光村	6	下	海の命	74	真夏のある日、与吉じいさは暑いのに、毛布をのどまでかけてねむっていた。	真夏	文学	夏	
7185	光村	6	下	海の命	76	いつもの一本づりで二十ぴきのイサキをはやばやととった太一は、父が死んだ辺りの瀬に船を進めた。	イサキ	文学	夏	
7186	光村	6	下	海の命	76	父を最後にもぐり漁師がいなくなったので、アワビもサザエもウニもたくさんいた。	アワビ	文学	夏	

7187	光村	6	下	海の命	76	父を最後にもぐり漁師がいなくなったので、アワビもサザエもウニもたくさんいた。	サザエ	文学	春	
7188	光村	6	下	海の命	76	父を最後にもぐり漁師がいなくなったので、アワビもサザエもウニもたくさんいた。	ウニ	文学	春	
7189	光村	6	下	今、君たちに伝えたいこと	82	その後、農村に移り住み野球とはえんが切れたが……いね作りをした。	いね	非文学	秋	
7190	光村	6	下	今、君たちに伝えたいこと	83	そのころ住んでいた所には、道祖神の祭りがあった。	祭り	非文学	夏	
7191	光村	6	下	生きる	91	かたつむりははうということ	かたつむり	文学	夏	

6　平成17年版小学校「国語」教科書における手紙を扱った単元

調査担当　石塚　修（筑波大学）

	光　村	教　育	東　京	学　校	大　阪
一上	てがみをかこう		はきはきあいさつ		あいさつ
一下					
二上		手紙で知らせよう	手紙で知らせよう 手紙を書こう		いろいろな人になって
二下	かえるくん…手紙を書きましょう　＊「お手紙」の学習課題		「読書ゆうびん」	「ありがとう」のカードをおくろう	「読書ゆうびん」をだしあおう あいさつをしよう
三上		手紙で伝えよう インタビューをしよう	しょうたいじょうを書こう	手紙を書くーはがきを書こうー 見てきたことを新聞にまとめよう	
三下					
四上	手紙を書く	アンケートのとり方	お礼の手紙を書こう	手紙を書くー招待状を書こうー 見学の記録文を書こう	しょうたいじょうを書こう
四下					
五上	お願いの手紙、お礼の手紙		インタビューのこころがまえ	お礼状を書こう	いらい状を書こう

			質問の手紙を書こう		
五下	工夫して発信しよう		敬語を適切に使おう	調べたことをもとにポスターセッションを開こう	
六上	手紙の形式 インターネットと学習		依頼の手紙を書こう	依頼状を書こう	敬語 ファックスやメールを利用しよう
六下			敬語	詩を送ろう	

7　光村図書　「社会性」の扱い方の変遷

調査担当　石塚　修（筑波大学）

２４／２６　１下　おきゃくあそび
にわのそうじ
ゆきのあさ　　＊雪かき
２上　田うえ
２下　わたくしたちの町　＊警察官・消防士・鍛冶屋
３下　みどりの手旗　　１　山のバス　＊車掌・運転手・郵便配達
２　みどりの手旗
＊あごひもをしっかりかけた若い駅員
「ひらりと飛び走る人のかげ夕日を受けてかげえのようだ」
４上　明かるい村（二）ねていて人を起こすな　＊石川理紀之助
（三）明かるい村
＊電線の修理をしている人
＊製材所ではたらく人
「まるたをレールに乗せて、ぐっと、おしだしていく、おじさんのたくましいうで」
夏の夜　（一）ゆうが灯
「おとうさんは、ことばをついで、『なにしろ、日本の土地はせまい上に、たくさんの人間を養っていかなければいけないのだから、農産についてはしんけんに研究しなければならないね』」
（二）こん虫館　＊岐阜　名和靖
４中　谷川の音　（二）あらしの日
＊父が台風の中、大川橋の工事のために見回りに出かけて
「この町にとっては大事な橋だ。じっとしてはいられない…よく朝になっても父のねどこはゆうべのままだった。」
（三）四品の人　＊天竜川の治水工事　金原明善
海に生きる（一）なぎさ
詩「夜明け」ぼくはにしんとりの子どもだ。
大きくなったら、にしんとりになるのだ。
（三）くじらを追って　＊捕鯨団長大西さんの話
人々のために（一）初めての地図　＊伊能忠敬
（二）オランダの少年
（三）テームズ川のトンネル＊マーク＝ブルネル
４下　冬の顔　（三）無言のあいさつ　　＊豊田佐吉

少年の日　（一）屋根うらのオルガン　＊ヘンデル
（二）共に働く　＊エリザベス＝スタントン
（三）アルプスの牧童
＊まさおは、こんな話しあいをしながら、世のため、人のために働いた人たちのことを思いだすと、心の中に大きな望みがわいてくるような気がしました。

5上　緑の国　おじさんのことば「私も日本を緑の国にするために一生をささげるかくごですが、日本人みんながその気にならなければいけないのです。しっかりたのみますよ」
科学の目　（二）目の目
＊顕微鏡の発明者　オランダ　リューエンホック

5中　原動力　（二）限りない力
＊蒸気機関　アレキサンドリアのヘロン
イタリアのブランカ
フランスのソロモン＝ズソン
ドニー＝パパン
イギリスのトーマス＝セーパリー
ジェーズズ＝ワット
（三）消えない光　トーマス＝エディスン
記念の家　＊パストゥール
極光　＊ロアルト＝アムンセン

5下　一つぶの種から（一）この一言　＊クラーク博士
（二）教えの力　＊佐藤昌介　新渡戸稲造
内村鑑三　広井勇
大島正健　宮部金吾
南慶次郎

6中　真実に生きる　（一）かねの音　＊ミレー
（二）さらの色
新生　＊クリストフ

6下　大きな歩み（一）日本の進出　＊湯川秀樹
（二）その母その子　＊キューリ夫人長女ルース
（三）赤十字の旗　＊デュナン

２９　1下　（一）　にわのそうじ
（二）　おきゃくあそび

2上　（一）田うえ　＊「よびかけ」の形になっている
村の人たち　（一）村の道　＊牛乳配達・野菜運搬トラック
（二）水門　＊水門当番

3下　はたらく人たち　（一）山のバス
（二）みどりの旗

（三）手をふる少女
４上　明かるい村　（三）村をすくった人　＊石川理紀之助
海の子　（三）くじらを追って
こん虫　（一）ゆうが灯
（二）こん虫館
（三）名和さん
国土を守る　（一）あらしの日
（二）四品の人
（三）オランダの少年
４下　テームズ川のトンネル
５上　緑の国　（三）もみの林
クラーク先生　（一）この一言
（二）一つぶの種から
５下　発明家の苦心　（一）豊田佐吉
（二）エジソン
地球　（二）極光
６下　美に生きる　（一）かねの音　＊ミレー
（二）さらの色
新生　＊クリストフ
大きな歩み　（一）日本人の進出
（二）その母その子
（三）赤十字の旗

３３　１中　たうえです
１下　もうすぐ二年生　（一）あいさつ
３上　お話と身ぶり　（三）町へ行ったカシム
「…おれはカシムだよ。パン屋の主人は、『知らないよ。そんな人は。いつも来てくれるおじいさんは『こんにちは』とあいさつをしてはいってくるよ。』といってまどをしめてしまいました。」
３下　組み立てを考えて（一）もみすり
＊わたしも、たわらやなわを運んで手つだいました。
４上　だんらくを切って（二）小さなやくそく　＊ファーブル
４下　文章の形　（二）あらしの夜
（三）茶わんのできるまで
話の要点　（二）くじらを追って
ことばをたいせつに（二）アルプスの少年
５上　ことばのはたらき（一）バスで
（二）心と心で　＊金田一京助
話をととのえて　（二）炭こう

文章を書く心がまえ（二）うを育てる話　　＊鵜匠への聞書き
要点をつかんで　（一）かあさんの手のひら　壺井栄
（二）人のために　＊ペスタロッチ
５下　ことばのために　（一）あるおばあさん
＊ローマ字普及運動家北村千代子
（二）共通語を目指して　＊遠藤熊吉
６上　読書のよろこび　（一）伝記を読んで　ヘレンケラー
６下　記おくや想像を加えて（三）白州灯台　岩松助左衛門
自己を読む　　（二）牧野富太郎

３５　１下　ことばをはっきりと　（二）おきゃくごっこ
へんじとあいさつ　（一）のりおさん
（二）せつこさん
２下　じゅんじょよく　（三）やさいいちばへ
３上　みんなの前で　（三）町へ行ったカシム
３下　読んだあとで　（二）小さなかんごふさん
＊ナイチンゲール
４上　だんらくにまとめて　（二）ファーブル
何を書くか　（二）あらしの夜
いろいろな話を　（三）くじらを追って
４下　目あてをはっきりと　（三）茶わんのできるまで
生きていることば　（二）アルプスの少年
５上　ことばのはたらき　（一）お使い
（二）心と心で
書き手の意図は　（一）ふえ
（二）進水式
相手の場合を考えて　（三）炭こう
読みを深めて　（一）かあさんの手のひら　壺井栄
（二）人のために
５下　必要に応じて　（二）心ひかれた人
＊北里柴三郎・サリバン女史・イワン
ことばのひびき　（二）からたちの花　＊北原白秋・山田耕筰
ことばのために　（一）ローマ字とともに
（二）共通語を目指して
６上　確かな読みを　（一）牧野富太郎
６下　国語に親しみながら　（一）心に残ることば　＊クラーク博士

３９　１上　したことをまとめてかきましょう（二）ふとほし
１下　はきはきといいましょう　（二）おきゃくごっこ
ようすがわかるようにかきましょう　（二）おおうりだし

２下　思い出してじゅんじょよく書きましょう　やさいいちばへ
ぼくと牛
３上　何を書くか決めて書こう　（一）お使い
（二）先生へ　＊手紙文
３下　ようすや気持ちがわかるように書こう（二）したがり　＊作文
４上　書くことがらをまとめて書こう　田植え　＊作文
だんらくをまとめて読もう　ゆう便切手　＊ローランド・ヒル
前島密
＊文化人切手　福沢諭吉・樋口一葉・野口英世
人の心や行ないに気をつけて読もう（一）わかい日のアンナ
（二）豊田佐吉
４下　考えたことや感じたことを書こう
（一）「野口英世の少年時代」を読んで
（二）くらしの中から
詩「いねはこび」「道なおし」「福引き」
場面のうつりかわりに気をつけて読もう
くじらを追って
自分の生活とくらべながら読もう
（一）ばらの花　＊盲学校の生徒の話
（二）牛にゅうびん　岡上鈴江
５上　味わいながら声に出して読もう　（二）お母さんの手のひら
人物の心のふれあいを味わって読もう
バスで会ったおばあさん　西山敏夫
心持ちやようすがよくわかるように書こう
父と仕事　＊作文
ことばや文字のはたらきを考えながら読もう　（二）心と心
読んで感想をまとめよう　小さい牛追い
事実をもとにして記録や報告を書こう　かんづめ工場
人間としての生き方を考えながら読もう
（一）津田梅子
（二）アフリカの光明　シュバイツアー
５下　心に強く感じたことを書こう
（一）心をひかれた人　＊牧野富太郎
（二）詩とは
「にいさん」　いつもでんぷん工場へ夜学に行くにいさん……
にいさん　けがするなよ
わたしは、心の中で思いながら、
母と落花生をむく
感想や意見を加えながら読もう　クヌッセン機関長
だんらくをはっきりさせて書こう（二）生きるたい度

よい作品に親しもう　　（二）少年駅夫　鈴木三重吉
6上　身近な生活の中から題材を選んで書こう（二）日曜大工
考えを深めながら読もう　スポーツと生活
＊人見絹枝・古橋広之進・エミール・ザトペック
人間としての生き方や業績をしのびながら読もう
（一）ストウ夫人
（二）道ひとすじに　小川未明
6下　未知の世界を知るために読もう
はじめて地球を見た人　ユーリー＝カガーリン
自分の考えや意見を整えて書こう
（二）自分の意見を　＊エーンリッヒ＝ケストナー

42　1下　はきはきといいましょう　（二）おきゃくごっこ
2下　読みなおしてよくわかるように書きましょう　（二）おつかい
＊パンを買いに行く
ぼくと牛
3上　何を書くか決めて書こう　（一）道路工事
（二）先生へ　＊手紙文
3下　ようすや気持ちがわかるように書こう　（二）お手伝い
＊子守り
4上　ゆう便切手
人の心や行ないに気をつけて読もう　（一）わかい日のアンナ
（二）豊田佐吉
4下　（一）「野口英世の少年時代」を読んで
くじらを追って
5上　（二）お母さんの手のひら
バスで会ったおばあさん　西山敏夫
（一）心と心
小さい牛追い
目あてによって書き表わし方のくふうをしよう
（一）お礼の手紙
（一）津田梅子　（二）アフリカの光明
5下　（一）牧野富太郎　（二）セーラ＝クール
クヌッセン機関長
（二）友だち　＊長所短所
（二）少年駅伝夫　鈴木三重吉
6上　（一）ストウ夫人　（二）道ひとすじに　小川未明
6下　人物の気持ちや考えを読みとろう
はじめて地球を見た人　ユーリー＝カガーリン
（二）自分の意見を　＊エーンリッヒ＝ケストナー

（一）心に残ることば　宮沢賢治

４５　　１上　へんじとあいさつ
１下　よくわかるようにかきましょう　（二）うちのしごと
＊ぼくのうちではポリエチレンのふくろをつくっています。
２下　ぼくと牛
３上　自分のこととくらべながら読もう　＜でん記＞
（一）豊田佐吉　（二）小さなころのファーブル
３下　調べたことをまとめて発表しよう　＜発表＞
＊山下政右衛門　地蔵池の拡張・そうめんの普及
４上　読み取ったことについて考えてみよう
（二）山田耕筰
読書案内　アンデルセン　ナイチンゲール　野口英世
４下　いろいろな読み物を読もう
（二）ゼッケン６７　セイロン　ナルナナンダ選手
５上　書く事がらを整えて書こう
（一）道路と祖母
小さな牛追い
読んで感想をまとめよう
読書案内　宮沢賢治　シュバイツアー　ヘレン＝ケラー
（二）ストウ夫人
５下　事実を確かめながら深く読もう
（二）ネパールにかがやく　＊岩村昇
読書のしかたをくふうして読もう　（二）少年駅伝夫
６上　人物の考えや業績を読み取ろう　＜伝記＞
（二）福沢諭吉
読書案内　牧野富太郎　キューリ夫人　リンカーン
６下　いろいろな読み物を選んで読もう
（二）白い大陸の長い道　＊昭和４３年南極点到達
（三）極点の旗　スコット＝アムンゼン
読んで感想をくらべあう　との様の茶わん　小川未明
ものの見方や考え方を読み取ろう
忘れ難い人々　小泉八雲　モラエス　ベルツ　フェノロサ
チェンバレン
生活を見つめ考えを深めながら書こう
奉仕する心　＊作文
読書案内　ロビンソン＝クルーソー（デフォー）
地球は青かった（ガガーリン）
エベレストを目ざして（ハント）

４８　　１上　へんじとあいさつ
１下　よくわかるようにかきましょう　（二）ぼくのおとうさん
＊そのおおきな手にかなづちをもって　大きないえをたくさん
たてています。
２下
３上　自分のこととくらべながら読もう　＜でん記＞
（一）豊田佐吉　（二）小さなころのファーブル
切手の話
３下　調べたことをまとめて発表しよう　＜発表＞
＊山下政右衛門　地蔵池の拡張・そうめんの普及
気持ちがわかるようにくふうして書こう　るす番
４上　読み取ったことについて考えてみよう
（二）山田耕筰
読書案内　アンデルセン　ナイチンゲール　野口英世
４下　いろいろな読み物を読もう
（二）ゼッケン６７　セイロン　ナルナナンダ選手
５上　書く事がらを整えて書こう
（一）道路と祖母
小さな牛追い
読んで感想をまとめよう
読書案内　宮沢賢治　シュバイツアー　ヘレン＝ケラー
（二）アンリ＝デュナン
５下　事実を確かめながら深く読もう
（二）ネパールにかがやく　＊岩村昇
読書のしかたをくふうして読もう（二）少年駅伝夫
６上　人物の考えや業績を読み取ろう　＜伝記＞
（二）福沢諭吉
読書案内　牧野富太郎　キューリ夫人　リンカーン
６下　いろいろな読み物を選んで読もう
（二）白い大陸の長い道　＊昭和４３年南極点到達
（三）極点の旗　スコット＝アムンゼン
読んで感想をくらべあう　との様の茶わん　小川未明
ものの見方や考え方を読み取ろう
忘れ難い人々　小泉八雲　モラエス　ベルツ　フェノロサ
チェンバレン
生活を見つめ考えを深めながら書こう
母の手紙
読書案内　ロビンソン＝クルーソー（デフォー）
地球は青かった（ガガーリン）
エベレストを目ざして（ハント）

５１　　１下　よく見てかけばいいんだな　　ぼくのおとうさん
　　２上　じゅんじょを考えて書きましょう　学校でのできごと
　　２下　ようすがわかるようにくわしく書きましょう
　　おそろしい大雨
　　＊おとうさんも、いつもより早く会社から帰ってきました。
　　こんなにくわしく書けるようになった
　　かあさんは魚売り　高山京一
　　３上　人物のおこないについても考えながら読もう　＜でん記＞
　　子どものころのファーブル　西沢正太郎
　　３下　書いてみて分かった　　鉄さく場
　　４上　人物の生きるすがたを読み取ろう　＜伝記＞　　山田耕筰
　　４下　文章のまとまりを考えながら読もう＜報道文＞
　　Ｎ大学の学生　栗原一登　＊昭和 49. 12. 21　イーグレット三世号
　　５上　Ｋ農場見学
　　人物の生きるすがたを読み取ろう
　　赤十字の父　アンリー＝デュナン
　　６上　人物の生き方について考えながら読もう
　　田中正造　上笙一郎
　　６下　読んで考えを深めよう
　　（一）責任というもの　松田道雄
　　感動したことを詩に作ろう
　　「買えば高い」「大根洗い」
　　マカルーの日章旗　松尾伸　　＊ヒマラヤの日章旗

５４　　１上　せんせいあのね　のりものあそび
　　＊「へ」の使い方　えきへおとうさんをむかえにいきます。
　　でん車ごっこしよう
　　１下　ものの名まえ
　　＊つぎにさかなやさんにいきました。
　　あじ、さば、たいなどがならんでいます。
　　けんじくんが「おさかなを五百円ください」といって、
　　千円さつをだしました。
　　こんなにながくかけた　　ぼくのおとうさん
　　ぼくのおとうさんはだいくさんです
　　２下　おかあさんは魚売り　高山京一
　　３下　書いてみて分かった　鉄さく場
　　５上　人物の生きる姿を　赤十字の父　ヘンリー＝デュナン
　　６上　人物の生き方や考え方を　田中正造　上笙一郎
　　石うすの歌　壺井栄

６下　　（一）責任というもの　松田道雄

５７　　１上　おやすみ　おやすみ　またあした
せんせいあのね　のりものあそび
＊「へ」の使い方　えきへおとうさんをむかえにいきます。
えとさくぶん
わたしはきのうのよるおかあさんとはなびをしました。
（二）でん車ごっこをしましょう
１下　ぼくのおとうさん
２下　まわりの人のこと　おかあさんは魚売り　高山京一
３下　鉄さく場
５上　人物の生きる姿を　赤十字の父　ヘンリー＝デュナン
５下　君ならどうする　フランク＝Ｒ＝ストックタン
６上　石うすの歌
田中正造　　上笙一郎

６０　　１上　さよなら　さよなら　またあした
おはようっていいな
せんせいあのね
えきへおとうさんをむかえにいきます。
おねえさんとしゃぼんだまをつくりました
２下　まわりの人のこと　おかあさんは魚売り　高山京一
３下　見学したこと　紙ふくろ工場
５上　その日が来る　森忠明
読書案内　　細菌と戦った人々　秋元寿恵夫
食物保存の工夫　　大塚滋
＊今から約百九十年前、フランスのニコラ＝アッペールという人がこのゆめをかなえる画期的な発明をしました。びんづめによる保存方法がそれです。
５下　人間の生きる姿を　赤十字の父　ヘンリー＝デュナン
６上　石うすの歌　壷井栄
６下　田中正造　　上笙一郎
フェアプレー

６３　　１上　おはようっていいな
せんせいあのね
えきへ
おとうさんと山にのぼりました
１下　ことばのべんきょう
気もちをつなぐことば　　あいさつ　ひらいはるみ

２下　まわりの人のこと　おかあさんは魚売り　高山京一
３下　見学したこと　紙ふくろ工場
５上　その日が来る　森忠明
読書案内　細菌と戦った人々　秋元寿恵夫
食物保存の工夫　大塚滋
５下　人間の生きる姿を　赤十字の父　ヘンリー＝デュナン
６上　石うすの歌　壺井栄
６下　田中正造　上笙一郎

3　１上　おはようっていいきもち
せんせいあのね
１下　ものの名まえ　「さかなをください」
こんなにながくかけた　たのしかったこと「人げんせんたくき」
２上　道をきかれたら
２下　あいさつのことば
くわしくかくようになった　くつあらい
３下　ねずみの作った朝ごはん　安房直子
４上　メモを生かして　しょうきゃく工場の見学
アナトール　工場へ行く
４下　世界をひろげよう　一本の鉛筆の向こうに
５上　文章の構成を考えて　大陸は動く
＊ドイツの気象学者　アルフレッド＝ウェゲナー
麦畑　アリスン＝アトリー
粉と生活
５下　心と言葉　言葉は心をつなぐ
構成を工夫して　輪島ぬり
６上　石うすの歌　壺井栄
６下　未来を見つめて　守る　みんなの尾瀬を

7　１上　みんなであいさつ
げんきにあいさつ　たのしいな
ともだちたくさん　うれしいね
１下　ものの名まえ
３下　ねずみの作った朝ごはん
４上　メモを生かして　しょうきゃく工場の見学
４下　世界をひろげよう　一本の鉛筆の向こうに
５上　麦畑
５下　言葉と気持ち
６上　石うすの歌　壺井栄
国境を超える文化　清水克雄

６下　　未来を見つめて　　守る　みんなの尾瀬を

８　　１上　　げんきにあいさつ
１下　　ものの名まえ
３下　　ねずみの作った朝ごはん
４上　　メモを生かして　　しょうきゃく工場の見学
４下　　世界をひろげよう　一本の鉛筆の向こうに
５上　　麦畑
５下　　言葉と気持ち
　　読書　伝え合うよろこび　「その人」と出会って
６上　石うすの歌　壺井栄
６下　未来を見つめて　　守る　みんなの尾瀬をげんきにあいさつ

１３　　１上　　どうぞよろしく
　　てがみをかこう
１下　　おみせやさんごっこをしよう
　　お手がみこうかん会
３上　　しょうたいじょうを作ろう
６上　　イーハトーヴの夢　畑山博　　（伝記）宮沢賢治

８　小学校１学年から４学年の国語科教材の使用実態に関する聞き取り調査

調査担当　松本　修（上越教育大学）

「初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的、比較教育的研究」（教科書研究センター）にかかる基礎資料として、小学校１学年から４学年での国語科教材（副教材等を含む）の使用実態を把握するため、二つの小学校で聞き取り調査を実施したので、その概略を報告する。

１　実施期日　２００５年　８月　２日　石川県小松市立能美小学校
　　２００５年　８月２４日　千葉県千葉市立北貝塚小学校

２　実施校　　小松市立能美小学校　　（小松市能美町ソ５１）
　　校長　濱上ミチコ
　　各学年２クラス
　　千葉市立北貝塚小学校　　（千葉市若葉区貝塚町１０９３）
　　校長　藤村政好

３　実施方法　副教材などを持参いただき、その学習時の使い方などについて質問し、えられた回答をまとめた。

４　内容

４．１　能美小学校における国語科教材の使用実態

・調査協力者　国語科主任　　廣田恵子
　　１年担任　　西村泰子
　　２年担任　　山本千恵子
　　３年担任　　八十山幸代
　　４年担任　　本多満里子

・教材一覧

	１年	２年	３年	４年
使用教科書	光村	光村	光村	光村
使用副教材	話す・聞くスキル（正進社¥280） ひらがなのれんしゅう（光文社¥360）	かん字学しゅうノート（教育同人社¥400） くりかえしかんじドリル（新学社¥330）	はなまる漢字スキル（教育同人社¥480）	世界へジャンプ　ローマ字ワールド（教育同人社¥290） くりかえし漢字ドリル（教育同人社¥320）

＊書写の時間は一応設けているが、弾力的に運用しており、文字の学習・漢字の学習と合わせて行っている。１年生は結果的に多いが、２年生以上では５パーセントくらいの時間。

＊他に、単元テスト用の「ワーク」類がある。

・学習の実態

１年：

「話す・聞くスキル」はモジュール学習の時間（チャレンジタイム・一種の帯単元）で行っている。

「ひらがなのれんしゅう」は授業の中で併用しているが、入学時点で文字を読めない書けない学習者が多くなっており、教科書よりもこの教材を使うことが多い。全体としては６割くらいを占めている。

ファイル用のプリントを用いて一文字ずつ学習させている。

２年：

「かん字学しゅうノート」は教科書の新出時に併用している。１ページに一つの漢字になっており、かなり分量としては多いこともあり、学習の３割程度を占める。

「くりかえしかんじドリル」は主に宿題で漢字練習に用いている。

３年：

「はなまる漢字スキル」は教科書の新出時に併用している。時間の２割くらいを占める。

４年：

「世界へジャンプ　ローマ字ワールド」は、ローマ字学習の時にはむしろ主に用いている。

「くりかえし漢字ドリル」は教科書の単元の切れ目に、まとめて扱うことはあるが、教科書の学習においては、単元の中で漢字学習は辞書の指導などをして自主的に進めさせたりしている。

ローマ字学習が入ったこともあり、時間の３割くらいを占めている。

・全体的に

学年により、学習者の学習への取り組みの状況が異なり、いわゆる副教材については少ないという意見が出る学年もある。

夏休みには夏休み用の教材があるが、一部を夏休み前の授業で用いているクラスもあった。チャレンジタイムには各学年とも「かるた」「視写」など工夫して内容を用意している。

４．２　北貝塚小学校における国語科教材の使用実態

・調査協力者　国語科副主任　北川桂子
　　１年担任　　木内克英

２年担任　　北川桂子
３年担任　　佐瀬静江
４年担任　　落合由美子

・教材一覧

	１年	２年	３年	４年
使用教科書	教育出版	教育出版	教育出版	教育出版
使用副教材	ひらがな・すうじ（文渓堂¥350） 国語ドリル（文渓堂¥480） しょしゃノート（文渓堂¥300） カタカナ（文渓堂¥300）	こくごドリル（新学社¥480） しょしゃノート（光文書院¥300）	国語ドリル（青葉出版¥480）	国語ドリル（青葉出版¥480）

＊書写は各学年とも週に１時間国語とは別の時間割として実施している。
＊他に「国語ワーク」（出版社は日本標準、明治図書、文渓堂など¥400~¥420）がある。いわゆるペーパーテスト。
＊国語の時間以外に、「基礎タイム」（毎朝１５分・週一回の放課後基礎タイム３０分）があり、そこでも国語の学習が行われることがある。

・学習の実態

１年：

「ひらがな・すうじ」のひらがなの部分は、教科書準拠になっており、文字の出現順は教科書通りであるため、教科書を扱いながら、「ひらがな・すうじ」の学習を授業中に行っている。6月までで終了した。授業の教材がドリルのみになることもある。学習時間の５割程度を占めている。

「こくごドリル」はひらがな、カタカナ、漢字、文章題なども含んだ総合的もので、夏休み前までだと、「ひらがな・すうじ」と重なる部分が多く、基礎タイムなどで扱った。

「しょしゃノート」は書写の時間に用いている。学習者にとっては、書写と国語の時間の区別が初期段階ではつかない形になっている。

「カタカナ」は秋から使う。

２年：

「こくごドリル」は、漢字、文章題からなる総合的なもの。基礎タイムで用いている。

「しょしゃノート」は、書写の時間に用いている。

この先生の特徴として、漢字一字につき一枚の自作のシートを作り、ファイルさせている。「漢字博士の学習」として教科書新出時に合わせて学習している。（２年生までは先生が説明する。３年以上なら学習者が交代で担当して調べる。）この学習は調べる力や発表力などをつける効果も持っている。また、音読を重視し、自作の音読詩集（アンソロジー）を作り、シートとして配付、ファイルさせている。群読を取り入れた音読学習の後、全作品を暗唱させている。音読の活動は、授業の始まりの１０分間や教科書の詩の単元に合わせて、また、朝の会で行っている。また、子どもの書いた作文を印刷して配付し、学習材として用いているということである。子どもの詩集や作文集も冊子にして配付している。（日本作文の会会員）

教科書以外の教材を使っている時間は３～４割にのぼると見られるが、自作の教材である。

３年：

「国語ドリル」は、漢字、文章題からなる総合的なもの。漢字の新出時に教科書と併用して授業を進めている。３年からは漢字が増える（２００字）ので、授業時間で間に合わなくなると、基礎タイムで、間違った部分の繰り返し学習などをさせている。

また、準拠のテスト集「国語ワークＡ」（文渓堂）に２ヶ月に一度漢字のまとめのドリルがついているので、それを取り入れている。

教科書付録のＣＤ－ＲＯＭに問題集のようなものがあり、それをプリントして使っている。

基礎タイムの時間が活用されているが、授業時に教科書外の教材が用いられている時間は、１～２割程度と見られる。

４年：

「国語ドリル」は、漢字、文章題からなる総合的なもの。漢字の新出時に教科書と併用して授業を進めている。他に、基礎タイムでも用いている。

また、筆順に焦点化した自作のシートを配付し、書き順の定着を図っている。ファイルさせている。

４年生は毎時間のはじめの３分間に５問テスト（３回同じ問題を行って定着を図る）を実施しており、そこで漢字などの定着が図られている。

教科書以外の教材が用いられている時間は１～２割と見られる。

・全体的に

「基礎タイム」の時間の学習がしっかりと行われているため、ドリル学習などが授業時間をあまり食っていないという印象である。先生によっては、自作教材を豊富に使い、豊かな学習が行われている。現在の教科書は単元としても内実を伴わない活動単元が多いため、意味のある学習活動を組むために単元開発、教材開発が大変だということであった。その中では多くの自作教材が使われているようである。１年生は教材が多いが、重なりも多く、「やや多すぎたか」ということであった。ペーパーテストに対応したドリルを用いており、テスト対策も行われている。

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
平成 18～19 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ））

研究組織

総括

研究代表者	藤　村　和　男	(財)教科書研究センター研究部長（総括）
研究協力者	新　井　郁　男	上越教育大学名誉教授（総括）＊平成 18 年度は研究分担者

国内部会

研究分担者	松　本　　修	上越教育大学大学院学校教育研究科准教授（国内部会主査，国語）
研究分担者	石　塚　　修	筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授
研究分担者	小　林　一　貴	岐阜大学教育学部准教授
研究分担者	藤　森　裕　治	信州大学教育学部教授
研究分担者	吉　田　裕　久	広島大学大学院教育学研究科教授

外国部会

研究分担者	二　宮　　皓	広島大学副学長・大学院教育学研究科教授（外国部会主査，アメリカ）
研究分担者	川野辺　　敏	星槎大学副学長（外国部会副主査）
研究分担者	新　井　浅　浩	西武文理大学サービス経営学部教授（イギリス）
研究分担者	澤　野　由紀子	聖心女子大学文学部准教授（ロシア）
研究分担者	長　島　啓　記	早稲田大学教育・総合科学学術院教授（ドイツ）
研究分担者	藤　井　穂　高	東京学芸大学教育学部准教授（フランス）
研究協力者	中　嶋　　博	早稲田大学名誉教授（フィンランド）

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
―学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として―
課題番号 18330196
平成18年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（B））
研究成果報告書資料編Ⅰ　日本の国語教科書

平成 20（2008）年 3 月 31 日

研究代表者　藤　村　和　男
財団法人教科書研究センター研究部長

東京都江東区千石 1 丁目 9 番 28 号
〒135-0015 電話 03-5606-4311